Amazon EMR リリース ガイド

Amazon EMR

Amazon EMR: Amazon EMR リリース ガイド

Table of Contents

Amazon EMR リリースについて

Amazon EMR リリースは、ビッグデータエコシステムからの一連のオープンソースのアプリケーションです。各リリースは異なるビッグデータアプリケーション、コンポーネント、および機能で構成され、クラスターを作成するときに Amazon EMR でインストールして設定することを選択します。アプリケーションは、Hadoop エコシステムに関連付けられたオープンソースプロジェクトである Apache BigTop に基づくシステムを使用してパッケージ化されています。このガイドでは、Amazon EMR リリースに含まれるアプリケーションの情報を提供します。

Amazon EMR の開始方法および使用方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」を参照してください。

クラスターを起動するときに、複数の Amazon EMR リリースから選択できます。これにより、互換性の要件に適合するアプリケーションバージョンをテストして使用できます。リリース番号はリリースラベルで指定します。リリースラベルの形式は `emr-x.x.x` です。例えば、`emr-7.9.0`。

Amazon EMR 5.18.0 以降では、Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用し、特定の Amazon EMR リリースで利用可能なライブラリおよび依存関係の正確なバージョンに対してジョブコードをビルドできます。詳細については、「Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用して依存関係を確認する」を参照してください。

新しい Amazon EMR リリースが利用可能になったときに更新を取得するには、Amazon EMR リリースノートの RSS フィードにサブスクライブします。

最新リリースの詳細。Amazon EMR 7.x、6 x および 5.x シリーズのアプリケーションバージョン、リリースノート、コンポーネント、設定分類が含まれます。

- Amazon EMR リリース 7.9.0
- Amazon EMR リリース 6.15.0
- Amazon EMR リリース 5.36.2

> **Note**
>
> 新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

最新の Amazon EMR リリースのリリースノートおよびすべてのリリースの履歴:

- 最新情報
- Amazon EMR リリースノートのアーカイブ

各 Amazon EMR リリースの包括的なアプリケーションバージョン履歴:

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

各 Amazon EMR リリースの詳細およびリリースシリーズ間の違い (該当する場合)。

- Amazon EMR 7.x リリースバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースバージョン
- Amazon EMR 2.x および 3.x AMI バージョン

Amazon EMR 標準サポート

Amazon EMR リリースについて

Amazon EMR リリースは、EC2、EKS、または Serverless プラットフォームでオープンソースアプリケーションを実行するために必要なソフトウェアを提供する車両です。Amazon EMR リリースは、ランタイム環境、コアエンジン、および Extras の 3 つの部分で構成されています。

- ランタイム環境 – ランタイム環境には、クラスターまたはコンテナを起動するときに Amazon マシンイメージ (AMI) またはその他のコンテナイメージの一部として含まれるオペレーティングシステム (Amazon Linux 2023 など) が含まれます。また、Amazon Corretto JDK などの言語ランタイムと、イメージがインストールするその他の関連ツールも含まれます。
- コアエンジン – これには、Apache Hive などのコアオープンソースソフトウェアと、Apache Iceberg などのオープンテーブル形式が含まれます。

- 追加 – これには、mariadb-connector-java などのコンビニエンスライブラリと Python パッケージ、および Apache Pig などのオープンソースソフトウェアが含まれます。

選択した Amazon EMR リリースバージョンでは、これらのコンポーネントがすべて新しいバージョンの Amazon Linux (AL) ベースの Amazon マシンイメージ (AMI) またはコンテナイメージにバンドルされます。Amazon EMR は、クラスター、EKS コンテナ、またはサーバーレスアプリケーションのすべてのノードに対して同じ AL バージョンを維持します。Amazon EMR は、Amazon Linux によるリリースから 90 日以内に最新のランタイム環境を取得し、アップストリームリリースから 90 日以内に新しいオープンソースバージョンのコアエンジンを取得することを目指しています。必要に応じて Extras がリリースされます。ソフトウェアのリストは、各 Amazon EMR リリースのリリースノートに記載されています。

リリースバージョニング

各リリースの変更範囲を理解できるように、Amazon EMR ではセマンティックバージョニングを使用しています。セマンティックバージョニングは `<major>.<minor>.<patch>` の形式に従います。例として、7.0.0 リリースを考えてみましょう。

最初の桁はメジャーバージョンリリース、つまりメジャーリリースを表します。メジャーリリースでは、通常、下位互換性のないランタイム環境またはコアエンジンに大幅な変更、改善、新機能が提供されます。例えば、7.x メジャーリリースでは、Amazon Corretto 17 JDK をデフォルトとした Amazon Linux 2023 を使用しています。その結果、このリリースには、Amazon Corretto 8 JDK をデフォルトとした Amazon Linux 2 が搭載されている 6.x メジャーリリースと比較して、いくつかの重大な変更が含まれています。

2 桁目はマイナーバージョンリリース、つまりマイナーリリースを表します。マイナーリリースは、コアエンジンと Extras への段階的な変更、改善、機能、および新機能を含む、後方互換性のないリリースです。例えば、6.15 では Apache Spark 3.4.1 が使用されているのに対し、6.11.1 では Apache Spark 3.3.2 が使用されています。

3 桁目はパッチバージョンリリース、つまりパッチリリースを表します。パッチリリースは、コアエンジンおよび Extras の修正とパッチ更新を含む下位互換性のあるリリースですが、新機能や OSS バージョンのアップグレードはありません。例えば、6.11.1 と 6.11.0 にはどちらも同じ Apache Spark 3.3.2 OSS バージョンが含まれています。6.6.x 以降、最新のパッチリリースでは、最新のランタイム環境パッチを利用できます。ランタイム環境は、Amazon EMR のパッチリリースには影響しません。例えば、6.11.1 は、2023 年 12 月 19 日から 2024 年 1 月 10 日の間は AL バージョン 2.0.20240109.0 で起動されていましたが、2024 年 1 月 11 日からは AL バージョン 2.0.20240124.0 で起動されています。一部の Amazon EMR on EKS リリースでは、セマティックバージョンにタ

グまたはサフィックスを追加して、代替機能を使用できます。例えば、Amazon EMR on EKS の `emr-6.15.0-latest` リリースでは Amazon Corretto 8 JDK 対応リリースバージョンが起動されますが、Amazon EMR on EKS の `emr-6.15.0-java17-latest` リリースでは Amazon Corretto 17 JDK 対応リリースバージョンを起動できます。

サポートポリシー

はじめに

Amazon EMR は、少なくとも 90 日に 1 回新しいマイナーリリースを発行し、リリース日から 24 か月間、マイナーリリースのサポートを提供することを目指しています。このサポートは、ランタイム環境およびコアエンジンとその関連する依存関係を対象としており、Extras またはその関連する依存関係は対象としません。タンタイム環境には、クラスターとアプリケーションの起動、停止、運用に必要な独自のプラットフォームコンポーネントと API も含まれています。この一貫したリリーススケジュールにより、予測可能なサイクルが保証されるため、サポートとセキュリティを提供するバージョンの計画、テスト、および移行が容易になります。

標準サポートで期待されること

標準サポートでは、推奨される設定でランタイム環境およびコアエンジンのコンポーネントで発生した問題に対するテクニカルサポートチケットの修正を提供します。すべての修正は、可用性に応じて行われます。推奨される設定は、Amazon EMR ドキュメントに記載されているものを除き、Amazon EMR リリースに存在するバイナリと設定を修正、追加、または変更することなく Amazon EMR を使用することです。Amazon EMR は、修正を検証してから 90 日以内に、Amazon EMR リリースの最新のパッチ、マイナー、またはメジャーバージョンに修正をデプロイします。Amazon EMR は、EC2 クラスターで新しい EMR を起動したり、EKS コンテナで新しい Amazon EMR を起動したり、新しい EMR Serverless ジョブをトリガーしたりすると、自動的に修正を適用します。Extra コンポーネントは便宜的に提供されており、Amazon EMR は Extras に関連する修正を提供しません。

コンポーネント

標準サポートは、オペレーティングシステム、言語ランタイム、Apache Hive や Apache Iceberg などのコアオープンソースソフトウェアなど、ランタイム環境とコアエンジンのコンポーネントを対象としています。各リリースでサポートされているコンポーネントの完全なリストは、Amazon EMR リリースについて および「Amazon Linux 2023 に関するよくある質問」で確認できます。

次のリストは、標準サポートでさまざまなコンポーネントタイプに対して提供しているサポートについて説明しています。

- ランタイム環境コンポーネント: ランタイム環境コンポーネントは、テクニカルサポートチケットの修正を受け取ります。修正は、(a) 重大なバグ、(b) 重大なデータ破損の問題、および (c) 重大なセキュリティ問題に分類されます。対象となる場合、Amazon EMR はランタイム環境の修正を古いバージョンにバックポートします。オープンソースのコアエンジンコンポーネントと運用上の互換性を保つには、特定のランタイム環境コンポーネントを特定のバージョンに維持して、顧客のアプリケーションが壊れないようにする必要があります。これらのコンポーネントに対し、Amazon EMR は修正の可用性についてアップストリームのオープンソースに依存します。オープンソースで修正が利用可能になると、Amazon EMR によって検証されてから 90 日以内に最新の安定バージョンが提供されます。
- コアエンジンコンポーネント: コアエンジンは、多くのオープンソースプロジェクト用の最新バージョンを提供し、それぞれに数百の一時的な依存関係ライブラリがあります。これらのプロジェクトを管理するオープンソースコミュニティは、問題や既知の共通脆弱性識別子 (CVE) に頻繁に対処しようとしますが、最新バージョンには既知のバグや CVE が含まれている可能性があります。Amazon EMR は、修正の可用性についてアップストリームオープンソースに依存しており、Amazon EMR によって検証されてから 90 日以内にコアエンジンコンポーネントの一部として最新の安定バージョンを提供します。場合によっては、Amazon EMR は、アップストリームオープンソースの前に対処する必要があるコアエンジンコンポーネントの 1 つで CVE の修正を提供することがあります。Amazon EMR では、推奨される設定でオープンソース上に追加された機能に関するテクニカルサポートと修正も提供されます。コアエンジンコンポーネントの修正は、古いパッチまたはマイナーバージョンにバックポートされません。
- Extras コンポーネント: Amazon EMR は Extras コンポーネントをサポートしていません。Extra コンポーネントは、便宜上提供されるオープンソースプロジェクトであり、Amazon EMR はそれらで発生した問題に対する修正を提供しません。サポートリクエストや修正は、これらのコンポーネントをサポートするオープンソースコミュニティを通じて対処できます。

標準サポートのライフサイクル

以下に、標準サポートライフサイクルのマイルストーンについて説明します。

- 標準サポート: Amazon EMR リリースは、リリース日から 24 か月の標準サポートの対象となります。テクニカルサポートチケットを作成し、これらのリリースで発生した問題のアップデートを要求できます。
- サポート終了: 標準サポートが終了すると、Amazon EMR リリースは 12 か月間のサポート終了 (EoS) ステージに入ります。EoS リリースはテクニカルサポートの対象ではなく、これらのリリースで実行されているクラスター、コンテナ、またはジョブのチケットを作成することはできません。EoS リリースでは、修正、パッチ、更新は受信されません。EoS リリースはコンソールから

削除されますが、引き続き API と AWS CLIを通じて利用できます。EoS リリースでは、いつでもワークロードを引き続き実行できます。セキュリティパッチを引き続き受け取り、テクニカルサポートの資格を維持し、必要に応じてサポートチケットを作成できるように、最新の Amazon EMR リリースに移行することを強くお勧めします。

- 生産終了: サポート終了 (EoS) 期間が過ぎると、リリースは生産終了 (EoL) とみなされます。EoL のクラスターは引き続き実行できますが、Amazon EMR は、セキュリティと運用上の懸念により、API と SDK から EoL リリースをケースバイケースで削除する権利を留保します。EoL バージョンは例外的なケースで API と SDK から削除される場合があるため、最新の Amazon EMR リリースに移行することを強くお勧めします。

ブリッジサポート

Amazon EMR は、2024 年 7 月 25 日にこの新しいサポートポリシーを発表しました。このポリシーでは、2022 年 7 月 24 日以前にリリースされた Amazon EMR のバージョンがサポート終了に指定されました。ただし、Amazon EMR は、新しいバージョンを計画して移行するための追加の時間を提供するために、この発表の前の 2 年間にリリースされたこれらの古いバージョンに対して、標準サポートに相当するブリッジサポートを提供します。

2024 年 7 月 25 日以降は、リリースノートで現在のステータスとサポートタイムラインを参照できます。

次の表は、2024 年 7 月 25 日のポリシーの発表時点における、既存のすべての Amazon EMR リリースのサポートステータスを示しています。

リリースとサポートされている期間

Amazon EMR リリースバージョン	初回リリース日	標準サポート終了日	サポート終了開始日	生産終了開始日
7.2.0	2024 年 7 月 25 日	2026 年 7 月 24 日	2026 年 7 月 25 日	2027 年 7 月 25 日
7.1.0	2024 年 4 月 23 日	2026 年 4 月 22 日	2026 年 4 月 23 日	2027 年 4 月 23 日
7.0.0	2023 年 12 月 19 日	2025 年 12 月 18 日	2025 年 12 月 19 日	2026 年 12 月 19 日

Amazon EMR リリースバージョン	初回リリース日	標準サポート終了日	サポート終了開始日	生産終了開始日
5.36.x および 6.6.x ~ 6.15.x	2022 年 5 月 9 日 ~ 2023 年 11 月 13 日	2026 年 1 月 24 日までブリッジサポート	2026 年 1 月 25 日	2026 年 1 月 25 日
• 6.x シリーズ: 6.5.0 以下 • 5.x シリーズ: 5.35.0 以下 • 4.x、3.x、2.x シリーズ	2013 年 1 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 30 日	2025 年 7 月 24 日までブリッジサポート	2025 年 7 月 25 日	2025 年 7 月 25 日

考慮事項

標準サポートは、Amazon EMR が利用可能なすべてのリージョンのすべての Amazon EMR デプロイモデル (EMR on EC2、Amazon EMR on EKS、および EMR Serverless) で追加料金なしで利用できます。推奨設定で実行されているクラスターは、ポリシーで説明されているように、自動的にサポートの対象となります。そのため、サポートをアクティブ化するために追加のアクションを実行する必要はありません。

- 標準サポートは、Amazon EMR クラスターに必要なコンポーネントのみをサポートします。Amazon EMR は、コアエンジンオープンソースコンポーネントが EoL アップストリームに到達した場合、または依存関係でセキュリティ更新プログラムが利用できなくなった場合、セキュリティパッチ適用と修正の可用性を保証できません。Extras のインストールはオプトインできますが、Amazon EMR は Extras やその依存関係をサポートしません。例えば、カスタム AMI にサードパーティーアプリケーションをインストールしてクラスターのセキュリティを強化したり、ブートストラップアクションスクリプトを使用して追加のコンポーネントをインストールしたり、オブジェクトをコピーしたり、クラスターに SSH をインストールしてデフォルトのパッケージバージョンをアップグレードしたりできます。Amazon EMR はこれらのコンポーネントをサポートしていません。標準サポートは、お客様が用意したブートストラップアクション、パッケージ、ライブラリ、カスタムコード、および Amazon EMR にインストールするように設定できるお客様独自のカスタムアプリケーションを対象としていません。

- 実行中の Amazon EMR リリースに関係なく、既存のクラスターには影響しません。中断することなく、既存のクラスターを引き続き実行できます。また、新しいクラスターの起動を継続し、既存のリリースと新しいリリースのいずれかでジョブを実行することもできます。ポリシーの発効時の既存のリリースと新しいリリースはすべて、Amazon EMR リリースバージョンの初回リリース日から 24 か月間、標準サポートの対象となります。Amazon EMR は、ポリシーの最初の発表時にブリッジサポートを提供します。中断のないサポートを受けるには、アプリケーションをテストし、最新の Amazon EMR リリースに迅速にアップグレードすることをお勧めします。
- Amazon EMR は、既存のリリースまたはクラスターの標準サポートコンポーネントを変更しません。ただし、Amazon EMR は、アップストリームの生産終了をケースバイケースで尊重し、新しいリリースでそのようなコンポーネントを削除したり、例外的なケースでは既存のリリースをサポート終了 (EoS) または生産終了 (EoL) ステータスに移行する権利を留保します。利用可能なチャネルを通じて削除があった場合は通知されます。
- 新しいリージョンが起動されると、Amazon EMR は、新しいリージョンが一般公開される日付の 6 か月前にリリースされた、標準サポートに基づく Amazon EMR リリースバージョンのみをサポートします。
- Amazon EMR は、既存のクラスターを最新バージョンに自動的に更新しません。ただし、必要に応じて新しいクラスターを最新のパッチバージョンに更新することができます。
- サポートされていない Amazon EMR の使用コストは、 AWS 請求書にカウントされます。サポートされていない方法で Amazon EMR を使用している場合でも、その使用に関連するコストは全体的な AWS 消費の一部であり、サポート料金の計算に含まれます。

詳細については、AWS 開発者サポートにお問い合わせください。

Amazon EMR 7.x リリースバージョン

このセクションでは、各 Amazon EMR 7.x リリースバージョンのアプリケーションバージョン、リリースノート、コンポーネントバージョン、設定分類を示しています。

クラスターを起動するときに、複数の Amazon EMR リリースから選択できます。これにより、互換性の要件に適合するアプリケーションバージョンをテストして使用できます。リリース番号はリリースラベルで指定します。リリースラベルの形式は `emr-x.x.x` です。例えば、`emr-7.9.0`。

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

すべての Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョンの包括的な表については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。

トピック

Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

各 Amazon EMR 7.x リリースで利用可能なアプリケーションバージョンを示した包括的な表については、ブラウザで「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を開いて確認してください。

Amazon EMR リリース 7.9.0

7.9.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.9.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2025 年 5 月 19 日	
標準サポートの終了日	2027 年 5 月 19 日	

サポートフェーズ	日付	
サポートの終了	2027 年 5 月 20 日	
ライフサイクル終了	2028 年 5 月 19 日	

7.9.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.9.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、Jupy

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.9.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBaseHCatalog、、Hadoop、、HiveHudi、Hue、、Icebe
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.9.0	emr-7.8.0	emr-7.7.0	emr-7.6.0
AWS SDK for Java	2.31.16、1 .12.782	2.29.52、1 .12.780	2.29.44、1 .12.780	2.29.25、1 .12.779
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11
Scala	2.12.18	2.12.18	2.12.18	2.12.18
AmazonClo udWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2
Delta	3.3.0-amzn-1	3.3.0-amzn-0	3.2.1-amzn-2	3.2.1-amzn-1
Flink	1.20.0	1.20.0	1.20.0	1.20.0
HBase	2.6.2	2.6.1	2.6.1	2.6.1
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.4.1	3.4.1	3.4.0	3.4.0
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.15.0-amzn-6	0.15.0-amzn-5	0.15.0-amzn-4	0.15.0-amzn-3
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.7.1-amzn-2	1.7.1-amzn-1	1.7.1-amzn-0	1.6.1-amzn-2
JupyterEn terpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.0

	emr-7.9.0	emr-7.8.0	emr-7.7.0	emr-7.6.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.287	0.287	0.287	0.287
Spark	3.5.5	3.5.4	3.5.3	3.5.3
TensorFlow	2.16.1	2.16.1	2.16.1	2.16.1
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	467	467	467	457
Zeppelin	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.11.1
ZooKeeper	3.9.3	3.9.3	3.9.2	3.9.2

7.9.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.9.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.9.0 application upgrades include AWS SDK for Java 2.31.16/1.12.782, Delta 3.3.0-amzn-1, Hadoop 3.4.1, Hudi 0.15.0-amzn-6, Iceberg 1.7.1-amzn-2, Spark 3.5.5, and Zookeeper 3.9.3。
- 永続アプリケーション UI の CM-CMK サポート – この機能は、カスタマーマネージドカスタムマスターキー (CM-CMK) を尊重するために、EMR サービスバケットで管理されるログに適用される SSE 暗号化を拡張します。この機能を使用すると、お客様はクラスターの終了後にログのアクセシビリティを管理できます。

既知の問題

- EC2 上の EMR のログ記録オプションが無効になっている場合、クラスターの終了後はログを使用できず、永続アプリケーション UIsにログは含まれません。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは ExecutorStateDECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- Oozie の非推奨 – OSS Oozie がアティックモードになったため、Apache Oozie を含む最後のリリースは Amazon EMR リリース 7.9 です。Apache Oozie は Amazon EMR リリース 7.10 以降のリリースから削除されます。Oozie の代わりに MWAA を使用することをお勧めします。お客様は GitHub のユーティリティ oozie-to-airflow-emr を参照して、既存の Oozie ワークフローを MWAA に移行できます。
- YARN コンテナビンパッキング – Amazon EMR バージョン 7.9.0 以降、YARN のマルチノード配置ポリシー上に構築された YARN キャパシティスケジューラでコンテナビンパッキングポリシーが利用可能になりました。
- hudi-cli.sh – hudi-cli.sh スクリプトは EMR リリース 7.9.0 以降で廃止されました。Amazon EMR リリース 7.9.0 以降では、hudi-cli-bundle.jar を使用しています。
- FIPS 対応 AL2023 AMI 上の EMR クラスター – EMR 7.9 以降、お客様は FIPS 対応 AL2023 AMI で EMR クラスターを起動できます。この変更により、EMR のデジタル署名とハッシュアルゴリズムが更新され、すべての EMR パッケージが FIPS 140-3 の推奨暗号化ポリシーに準拠するようになります。注: EMR または AL2023 の FIPS 認定ステータスは対象外です。FIPS 140-3 検証ステータスに関する最新情報については、AL2023 FIPS に関するよくある質問を参照してください。
- ステップレイテンシー – このリリースでは、インストールする Hadoop アプリケーションを明示的に選択せずに、転送中の暗号化を使用する場合にステップレイテンシーが増加する問題を解決します。
- EBS で暗号化されたボリュームを使用したクラスターの起動 – このリリースでは、EBS で暗号化されたボリュームに対する KMS 呼び出しにより EMR クラスターの起動が失敗する問題を修正しました。

•

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (マレーシア） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (マレーシア） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

7.9.0 デフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.9 以降には、Apache Livy を除く Corretto 17 (OpenJDK) をサポートするアプリケーション用に、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.9.0 のアプリケーションのデフォルトの Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	17、11、8
Pig	17、11、8
Zookeeper	17、11、8

7.9.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.3.0-amzn-1	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.18.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.22.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.18.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.39.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.18.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.4	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.70.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.20.0-amzn-3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.20.0-amzn-3	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.4.1-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.4.1-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.4.1-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.4.1-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.4.1-amzn-1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.4.1-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.4.1-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.4.1-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.4.1-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.4.1-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.4.1-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.6.2-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.6.2-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.6.2-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.6.2-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.6.2-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.6.2-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-18	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-18	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-18	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-18	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-18	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-18	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-18	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.15.0-amzn-6	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-6	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-6	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-6	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.7.1-amzn-2	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.2.1	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.287-amzn-3	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.287-amzn-3	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.287-amzn-3	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	467-amzn-2	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	467-amzn-2	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	467-amzn-2	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.5-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.5-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	3.5.5-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.5-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	25.02.1-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-16	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-16	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.3-amzn-1	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.3-amzn-1	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.9.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.9.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop

分類	説明	再設定アクション
		Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j2	HBase の hbase-log4j2.prope rties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j2	Phoenix の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatc hAgent service.

7.9.0 変更ログ

7.9.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2025-05-19	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.9.0 リリースノートが初めて公開されました
2025-05-19	デプロイ完了	Amazon EMR 7.9.0 がサポートされているすべてのリージョンに完全にデプロイされました
2025-05-19	初回限定リリース	Amazon EMR 7.9.0 が最初の商用リージョンに最初にデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.8.0

7.8.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.8.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2025 年 3 月 7 日	
標準サポートの終了日	2027 年 3 月 6 日	
サポートの終了	2027 年 3 月 7 日	
ライフサイクル終了	2028 年 3 月 7 日	

7.8.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.8.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、Jupy

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.8.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHudi、Hue、、Icebe
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.8.0	emr-7.7.0	emr-7.6.0	emr-7.5.0
AWS SDK for Java	2.29.52、1.12.780	2.29.44、1.12.780	2.29.25、1.12.779	2.28.8、1.12.772
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11
Scala	2.12.18	2.12.18	2.12.18	2.12.18
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2
Delta	3.3.0-amzn-0	3.2.1-amzn-2	3.2.1-amzn-1	3.2.1-amzn-0
Flink	1.20.0	1.20.0	1.20.0	1.19.1
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.6.1	2.6.1	2.6.1	2.5.10
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.4.1	3.4.0	3.4.0	3.4.0
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3

	emr-7.8.0	emr-7.7.0	emr-7.6.0	emr-7.5.0
Hudi	0.15.0-amzn-5	0.15.0-amzn-4	0.15.0-amzn-3	0.15.0-amzn-2
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.7.1-amzn-1	1.7.1-amzn-0	1.6.1-amzn-2	1.6.1-amzn-1
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.2.1	5.2.1	5.2.0	5.2.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.287	0.287	0.287	0.287
Spark	3.5.4	3.5.3	3.5.3	3.5.2
Sqoop	-	-	-	-
TensorFlow	2.16.1	2.16.1	2.16.1	2.16.1
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	467	467	457	446
Zeppelin	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.11.1
ZooKeeper	3.9.3	3.9.2	3.9.2	3.9.2

7.8.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.8.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.8.0 application upgrades include AWS SDK for Java 2.29.52/1.12.780, Delta 3.3.0-amzn-0, Hadoop 3.4.1, Hudi 0.15.0-amzn-5, Iceberg 1.7.1-amzn-1, Spark 3.5.4, and Zookeeper 3.9.3。

既知の問題

- このリリースには適用されません。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

•

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン) 、、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年7月2025日428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィッ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年7月2025日0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ）カナダ西部 (カルガリー）アジアパシフィック (マレーシア）アジアパシフィック (マレーシア）メキシコ (中部）、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (マレーシア） メキシコ (中部）

7.8.0 デフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.8 以降には、Apache Livy を除く Corretto 17 (OpenJDK) をサポートするアプリケーション用に、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.8.0 のアプリケーションのデフォルトの Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	17、11、8
Pig	17、11、8
Zookeeper	17、11、8

7.8.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion*` の形式のバージョンラベルがあります。`*EmrVersion*` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.3.0-amzn-0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.17.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.21.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.18.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.38.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.17.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.3	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.69.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.20.0-amzn-2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.20.0-amzn-2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.4.1-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.4.1-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.4.1-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.4.1-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.4.1-amzn-0	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.4.1-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.4.1-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.4.1-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.4.1-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.4.1-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.4.1-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.6.1-amzn-2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.6.1-amzn-2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.6.1-amzn-2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.6.1-amzn-2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.6.1-amzn-2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.6.1-amzn-2	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-17	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-17	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-17	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-17	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-17	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-17	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-17	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.15.0-amzn-5	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-5	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-5	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-5	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.7.1-amzn-1	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.2.1	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.287-amzn-2	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.287-amzn-2	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.287-amzn-2	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	467-amzn-1	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	467-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	467-amzn-1	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.4-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.4-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	3.5.4-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.4-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.12.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-15	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-15	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.3-amzn-0	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.3-amzn-0	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.8.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.8.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler .xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceM anager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServe r2, Hive MetaStore, Hadoop

分類	説明	再設定アクション
		Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j2	Phoenix の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatc hAgent service.

7.8.0 変更ログ

7.8.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2025-03-07	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.8.0 リリースノートが初めて公開されました
2025-03-06	デプロイ完了	Amazon EMR 7.8.0 がサポートされているすべてのリージョンに完全にデプロイされました
2025-02-28	初回限定リリース	Amazon EMR 7.8.0 が最初の商用リージョンに最初にデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.7.0

7.7.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.7.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2025 年 2 月 6 日	
標準サポートの終了日	2027 年 2 月 5 日	
サポートの終了	2027 年 2 月 6 日	
ライフサイクル終了	2028 年 2 月 6 日	

7.7.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.7.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、Jupy

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.7.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHudi、Hue、、Icebe
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.7.0	emr-7.6.0	emr-7.5.0	emr-7.4.0
AWS SDK for Java	2.29.44、1.12.780	2.29.25、1.12.779	2.28.8、1.12.772	2.28.8、1.12.772
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11
Scala	2.12.18	2.12.18	2.12.18	2.12.18
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2
Delta	3.2.1-amzn-2	3.2.1-amzn-1	3.2.1-amzn-0	3.2.0-amzn-1
Flink	1.20.0	1.20.0	1.19.1	1.19.1
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.6.1	2.6.1	2.5.10	2.5.5
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.4.0	3.4.0	3.4.0	3.4.0
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3

	emr-7.7.0	emr-7.6.0	emr-7.5.0	emr-7.4.0
Hudi	0.15.0-amzn-4	0.15.0-amzn-3	0.15.0-amzn-2	0.15.0-amzn-1
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.7.1-amzn-0	1.6.1-amzn-2	1.6.1-amzn-1	1.6.1-amzn-0
JupyterEn terpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.2.1	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.287	0.287	0.287	0.287
Spark	3.5.3	3.5.3	3.5.2	3.5.2
Sqoop	-	-	-	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.16.1	2.16.1	2.16.1
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQ L)	467	457	446	446
Zeppelin	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.11.1
ZooKeeper	3.9.2	3.9.2	3.9.2	3.9.2

7.7.0 リリースコンポーネントの詳細

Amazon EMR 7.7.0 の Extras パッケージの詳細については、次の表を参照してください。

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.4.0-amzn-3-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	s3-dist-cp	Extras	2.37.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-client	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hadoop-kms	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	hudi	Extras	0.15.0.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
HBase	コア	s3-dist-cp	Extras	2.37.0-1.amzn2023
HCatalog	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
HCatalog	コア	mariadb-connector-java	Extras	
[Hive]	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
[Hive]	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
[Hive]	コア	hive-hbase	Extras	3.1.3.amzn.16-1.amzn2023
[Hive]	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	s3-dist-cp	Extras	2.37.0-1.amzn2023
フェニックス	コア	s3-dist-cp	Extras	2.37.0-1.amzn2023
Spark	コア	spark-datanucleus	Extras	3.5.3.amzn.1-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Tez	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-utils	Extras	1.2.0-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-client	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-kms	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-yarn	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hive	Extras	3.1.3.amzn.16-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog-server	Extras	3.1.3.amzn.16-1.amzn2023
Trino	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
Trino	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	bigtop-groovy	Extras	2.5.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-jsvc	Extras	1.2.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-lzo	Extras	0.4.19-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog	Extras	3.1.3.amzn.16-1.amzn2023
Trino	コア	hive-jdbc	Extras	3.1.3.amzn.16-1.amzn2023
Zookeeper	コア	emrfs	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-client	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-kms	Extras	3.9.2.amzn.1-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.4.0.amzn.3-1.amzn2023
Zookeeper	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

7.7.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.7.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.7.0 application upgrades include Delta 3.2.1-amzn-2, Hudi 0.15.0-amzn-4, Iceberg 1.7.1-amzn-0, and Trino 467。

既知の問題

- このリリースには適用されません。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- EMR 7.7.0 で使用されている Iceberg バージョンでは、Java 8 がサポートされなくなりました。さらに、Iceberg は `emr-7.7.0-java8-latest`および の Java 8 イメージから除外されます`emr-7.7.0-spark-rapids-java8-latest`。
- Amazon EMR on EKS での Lake Formation for FGAC – Amazon EMR リリース 7.7 以降では、AWS Lake Formation を活用してAmazon S3 でバックアップされている Data Catalog テーブルにきめ細かなアクセスコントロールを適用できます。この機能を使用すると、Amazon EMR on EKS Spark Jobs 内の読み取りクエリのテーブル、行、列、セルレベルのアクセスコントロールを設定できます。詳細については、「[Using Amazon EMR on EKS with AWS Lake Formation for fine-grained access control]」を参照してください。

-

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、アジアパシフィック (マレーシア) 、 欧州 (ロンドン) 、 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）、 アジアパシフィック (東京）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

7.7.0 デフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.7 以降には、Apache Livy を除く Corretto 17 (OpenJDK) をサポートするアプリケーション用に、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.7.0 のアプリケーションのデフォルトの Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	17、11、8
Pig	17、11、8
Zookeeper	17、11、8

7.7.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.2.1-amzn-2	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.16.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.18.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.37.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.16.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.2	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.68.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.20.0-amzn-1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.20.0-amzn-1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.4.0-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.4.0-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.4.0-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.4.0-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.4.0-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.4.0-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.4.0-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.4.0-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.4.0-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.4.0-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.4.0-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.6.1-amzn-1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.6.1-amzn-1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.6.1-amzn-1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.6.1-amzn-1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.6.1-amzn-1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.6.1-amzn-1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-16	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-16	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-16	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-16	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-16	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-16	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-16	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.15.0-amzn-4	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-4	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-4	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-4	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.7.1-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.2.1	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.287-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.287-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.287-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	467-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	467-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	467-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.3-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.3-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	3.5.3-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.3-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.10.1-amzn-1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-14	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-14	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.2-amzn-1	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.2-amzn-1	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.7.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.7.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop

分類	説明	再設定アクション
		Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.p roperties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhu b_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j2	Phoenix の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatchAgent service.

7.7.0 変更ログ

7.7.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2025-02-07	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.7.0 リリースノートが初めて公開されました
2025-02-06	デプロイ完了	Amazon EMR 7.7.0 がサポートされているすべてのリージョンに完全にデプロイされました
2025-01-30	初回限定リリース	Amazon EMR 7.7.0 が最初の商用リージョンに最初にデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.6.0

7.6.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.6.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付
初回リリース日	2025年1月10日
標準サポートの終了日	2027 年 1 月 9 日
サポートの終了	2027 年 1 月 10 日
ライフサイクル終了	2028 年 1 月 10 日

7.6.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.6.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、Jupy

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.6.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、次のアプリケーションが含まれています。AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、HBase、HCatalog、、HadoopHive、Hudi、Hue、、Iceberg
ZooKeeper

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.6.0	emr-7.5.0	emr-7.4.0	emr-7.3.0
AWS SDK for Java	2.29.25、1 .12.779	2.28.8、1.12.772	2.28.8、1.12.772	2.25.70、1 .12.747
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11
Scala	2.12.18	2.12.18	2.12.18	2.12.18
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2
Delta	3.2.1-amzn-1	3.2.1-amzn-0	3.2.0-amzn-1	3.2.0-amzn-0
Flink	1.20.0	1.19.1	1.19.1	1.18.1
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.6.1	2.5.10	2.5.5	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.4.0	3.4.0	3.4.0	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3

	emr-7.6.0	emr-7.5.0	emr-7.4.0	emr-7.3.0
Hudi	0.15.0-amzn-3	0.15.0-amzn-2	0.15.0-amzn-1	0.15.0-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.6.1-amzn-2	1.6.1-amzn-1	1.6.1-amzn-0	1.5.2-amzn-0
JupyterEn terpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.287	0.287	0.287	0.285
Spark	3.5.3	3.5.2	3.5.2	3.5.1
Sqoop	-	-	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.16.1	2.16.1	2.16.1
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQ L)	457	446	446	442
Zeppelin	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.11.1
ZooKeeper	3.9.2	3.9.2	3.9.2	3.9.1

7.6.0 一般的な脆弱性と露出

次の表は、推奨される Amazon EMR 7.CVEs の一覧です。Amazon EMR は、修正の可用性についてアップストリームオープンソースに依存しており、Amazon EMR が修正を検証してから 90 日以内にコアエンジンコンポーネントの一部として最新の安定バージョンを提供します。

この表は、2025 年 1 月 10 日に更新されました。

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-15250	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-15250
CVE-2020-17521	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-17521
CVE-2024-12798	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-12798
CVE-2024-12801	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-12801
CVE-2024-47554	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47554
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-38749	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38749
CVE-2022-38750	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38750
CVE-2022-38751	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38751

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-38752	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38752
CVE-2022-41854	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41854
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2024-36114	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-36114
CVE-2015-1832	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-1832
CVE-2018-1313	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1313
CVE-2019-10219	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10219
CVE-2020-10693	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10693
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2020-13955	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13955

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-29582	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-29582
CVE-2020-8908	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8908
CVE-2021-28170	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-28170
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-38153	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-38153
CVE-2022-24329	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-24329
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-36364	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-36364
CVE-2022-39135	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-39135
CVE-2022-42889	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42889
CVE-2022-46337	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2022-46751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-20863	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20863
CVE-2023-20883	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20883
CVE-2023-25194	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-25194
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-33201	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-33201
CVE-2023-33202	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-33202
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-42503	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-42503
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072
CVE-2023-51074	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-51074
CVE-2024-23945	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23945
CVE-2024-25710	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-25710
CVE-2024-26308	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-26308
CVE-2024-29857	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29857
CVE-2024-30171	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-30171
CVE-2024-31141	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-31141
CVE-2024-38808	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-38808
CVE-2024-38820	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-38820
CVE-2024-47561	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47561
CVE-2024-52046	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-52046
CVE-2024-53990	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-53990

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2024-56128	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-56128
CVE-2024-7254	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-7254
GHSA-chfm-68vv-pvw5	低	利用可能なリンクはありません。
CVE-2024-47535	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47535
CVE-2012-5783	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-5783
CVE-2012-6153	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-6153
CVE-2016-5018	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-5018
CVE-2016-6796	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-6796
CVE-2018-10237	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10237
CVE-2018-11798	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11798
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2020-15522	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-15522
CVE-2020-1945	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-1945

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-36373	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36373
CVE-2021-36374	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36374
CVE-2018-1000180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1000180
CVE-2020-26939	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-26939
CVE-2020-28052	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-28052
CVE-2021-29425	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-29425
CVE-2015-5237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-5237
CVE-2017-15095	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-15095
CVE-2017-17485	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-17485
CVE-2017-7525	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7525
CVE-2018-11307	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307
CVE-2018-12022	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2018-14719	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719
CVE-2018-14720	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2018-14721	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2018-19360	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2018-19361	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361
CVE-2018-19362	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2018-5968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-5968
CVE-2018-7489	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2019-12384	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12384
CVE-2019-12814	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12814
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-14439	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2019-14540	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2019-14892	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2019-14893	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2019-16942	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2019-17267	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2019-17531	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2019-20330	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2020-10650	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-10672	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-10673	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-10968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-11112	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2020-11113	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2020-14062	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-14195	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2020-24616	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-24750	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-8840	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9546	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2020-9547	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-9548	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-22569	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22569
CVE-2021-22570	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22570
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2023-50387	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50387

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-50868	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50868
CVE-2023-52428	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-52428
CVE-2024-23454	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23454
CVE-2024-23944	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23944
CVE-2024-25638	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-25638
CVE-2024-29025	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29025
CVE-2024-29131	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29131
CVE-2024-29133	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29133
CVE-2024-51504	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-51504
CVE-2024-6763	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-6763
CVE-2024-8184	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-8184
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2013-7285	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-7285
CVE-2014-8125	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2014-8125
CVE-2016-3674	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-3674
CVE-2017-7957	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7957
CVE-2019-10173	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10173
CVE-2020-26217	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-26217
CVE-2020-26258	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-26258
CVE-2021-21341	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21341
CVE-2021-21342	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21342
CVE-2021-21343	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21343

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-21344	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21344
CVE-2021-21345	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21345
CVE-2021-21346	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21346
CVE-2021-21347	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21347
CVE-2021-21348	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21348
CVE-2021-21349	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21349
CVE-2021-21350	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21350
CVE-2021-21351	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21351
CVE-2021-29505	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-29505
CVE-2021-39139	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39139
CVE-2021-39141	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39141
CVE-2021-39144	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39144
CVE-2021-39145	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39145

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-39146	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39146
CVE-2021-39147	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39147
CVE-2021-39148	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39148
CVE-2021-39149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39149
CVE-2021-39150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39150
CVE-2021-39151	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39151
CVE-2021-39152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39152
CVE-2021-39153	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39153
CVE-2021-39154	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-39154
CVE-2021-41411	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-41411
CVE-2021-43859	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-43859
CVE-2022-1415	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1415
CVE-2022-40151	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40151

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-41966	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41966
CVE-2024-47072	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47072
CVE-2019-10172	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10172
CVE-2019-10202	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10202
CVE-2022-45688	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2023-0833	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-0833
CVE-2024-21634	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-21634
CVE-2024-9823	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-9823
CVE-2022-37866	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37866
CVE-2012-0881	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-0881
CVE-2022-23437	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-23437
CVE-2020-13936	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13936
CVE-2022-37865	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37865

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2009-2625	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2009-2625
CVE-2017-10355	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-10355
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2020-14338	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14338
CVE-2018-2799	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-2799
CVE-2021-27568	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-27568
CVE-2013-4002	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-4002
CVE-2020-13956	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13956
CVE-2020-25649	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2023-26049	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-26049
CVE-2024-43382	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-43382
CVE-2023-34462	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34462
CVE-2021-21290	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21290

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-44487	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44487
CVE-2019-20445	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20445
GHSA-xpw8-rcwv-8f8p	高い	利用可能なリンクはありません。
CVE-2021-37136	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37136
CVE-2021-21295	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21295
GHSA-58qw-p7qm-5rvh	低	利用可能なリンクはありません。
CVE-2021-37533	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37533
CVE-2019-20444	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20444
CVE-2022-40152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40152

7.6.0 リリースコンポーネントの詳細

Amazon EMR 7.6.0 の Extras パッケージの詳細については、次の表を参照してください。

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	s3-dist-cp	Extras	2.36.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-client	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-kms	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Flink	コア	hudi	Extras	0.15.0.amzn.3-1.amzn2023
Flink	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
HBase	コア	s3-dist-cp	Extras	2.36.0-1.amzn2023
HCatalog	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
HCatalog	コア	mariadb-connector-java	Extras	
[Hive]	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
[Hive]	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
[Hive]	コア	hive-hbase	Extras	3.1.3.amzn.15-1.amzn2023
[Hive]	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	s3-dist-cp	Extras	2.36.0-1.amzn2023
フェニックス	コア	s3-dist-cp	Extras	2.36.0-1.amzn2023
Spark	コア	spark-datanucleus	Extras	3.5.1.amzn.0-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	bigtop-utils	Extras	1.2.0-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-client	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-kms	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Trino	コア	hive	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog-server	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
Trino	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-groovy	Extras	2.5.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-jsvc	Extras	1.2.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-lzo	Extras	0.4.19-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog	Extras	3.1.3.amzn.15-1.amzn2023
Trino	コア	hive-jdbc	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Zookeeper	コア	emrfs	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-client	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-kms	Extras	3.9.2.amzn.0-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.4.0.amzn.2-1.amzn2023
Zookeeper	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

7.6.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.6.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.6.0 application upgrades include HBase 2.6.1, Flink 1.20.0, Spark 3.5.3, and Trino 457。

既知の問題

- マネージドスケーリングを有効にすると、YARN ResourceManager (RM) で重大なデッドロックの問題が発生し、同時オペレーションで DECOMMISSIONING 状態から DECOMMISSIONED 状態に移行すると、応答しなくなります。これは特に大規模なクラスター環境で発生します。これが発生すると、ノード状態遷移とアプリケーション状態遷移の両方が処理に失敗し、ResourceManager のコア機能を効果的に麻痺させます。回避策として、プライマリノードで次のコマンドを使用して RM JVM を再起動します。

```
sudo systemctl restart hadoop-yarn-resourcemanager
```

- EMR クラスターが `CapacityScheduler`または 以外の YARN スケジューラ `FairScheduler` (FIFO スケジューラなど) で起動されると、`YARNMemoryAvailablePercentage`メトリクスは CloudWatch にプッシュされません。この問題は、マネージドスケーリングが有効なクラスターのダウンスケーリングに影響します。`YARNMemoryAvailablePercentage` メトリクスによっては、カスタムマネージドスケーリングにも影響する可能性があります。回避策として、`CapacityScheduler`または を使用します`FairScheduler`。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `Executor`StateDECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- CloudWatch エージェントは、EMR 7.6 以降のランタイムロールクラスターでサポートされています。詳細については、[Amazon CloudWatch エージェント]」を参照してください。
- Amazon Elastic Map Reduce (EMR) リリースバージョン 7.6.0 以降、S3A ファイルシステムコネクタは Amazon S3 クライアント側の暗号化をサポートするようになりました。

- EMR 7.6.0 以降、TLS は HMaster エンドポイントと RegionServer エンドポイントでサポートされています。詳細については、HBase での TLS サポートに関する次の表を参照してください。[HBase](#)

-

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）、 アジアパシフィック (東京）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023.5.20240916	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 9 月 6 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

7.6.0 デフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.6 以降には、Apache Livy を除く Corretto 17 (OpenJDK) をサポートするアプリケーション用に、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.6.0 のアプリケーションのデフォルトの Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8
HCatalog	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	17、11、8
Pig	17、11、8
Zookeeper	17、11、8

7.6.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.2.1-amzn-1	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.15.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.19.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.18.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.36.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.15.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.1	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.67.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.20.0-amzn-0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.20.0-amzn-0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.4.0-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.4.0-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.4.0-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.4.0-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.4.0-amzn-2	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.4.0-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.4.0-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.4.0-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.4.0-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	3.4.0-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.4.0-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.6.1-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.6.1-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.6.1-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.6.1-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.6.1-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.6.1-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-15	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-15	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-15	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-15	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-15	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-15	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-15	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.15.0-amzn-3	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-3	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-3	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-3	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.6.1-amzn-2	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.287-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.287-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.287-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	457-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-worker	457-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	457-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.3-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.3-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.5.3-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.3-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.10.1-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-13	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-13	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.2-amzn-0	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.2-amzn-0	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.6.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.6.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.p roperties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j2	Phoenix の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatc hAgent service.

7.6.0 変更ログ

7.6.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2025-01-13	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.6.0 リリースノートが初めて公開されました
2025-01-10	デプロイ完了	Amazon EMR 7.6.0 がサポートされているすべてのリージョンに完全にデプロイされました
2025-12-26	初回リリース	Amazon EMR 7.6.0 が最初の商用リージョンに最初にデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.5.0

7.5.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.5.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2024 年 11 月 21 日	
標準サポートの終了日	2026 年 11 月 20 日	
サポートの終了	2026 年 11 月 21 日	
ライフサイクル終了	2027 年 11 月 21 日	

推奨されるソフトウェアと設定で EMR クラスターに影響を与えない重要かつ一般的な脆弱性と露出 (CVEs「7.5.0 known common vulnerabilities and exposures for core engines」を参照してください。

7.5.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.5.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、Jupy

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.5.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHudi、Hue、、Icebe および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.5.0	emr-7.4.0	emr-7.3.0	emr-7.2.0
AWS SDK for Java	2.28.8、1.12.772	2.28.8、1.12.772	2.25.70、1.12.747	2.23.18、1.12.705
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11
Scala	2.12.18	2.12.18	2.12.18	2.12.17
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2
Delta	3.2.1-amzn-0	3.2.0-amzn-1	3.2.0-amzn-0	3.1.0
Flink	1.19.1	1.19.1	1.18.1	1.18.1
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.5.10	2.5.5	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.4.0	3.4.0	3.3.6	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3

	emr-7.5.0	emr-7.4.0	emr-7.3.0	emr-7.2.0
Hudi	0.15.0-amzn-2	0.15.0-amzn-1	0.15.0-amzn-0	0.14.1-amzn-1
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.6.1-amzn-1	1.6.1-amzn-0	1.5.2-amzn-0	1.5.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
MXNet	-	-	-	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.2.0	5.2.0	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.287	0.287	0.285	0.285
Spark	3.5.2	3.5.2	3.5.1	3.5.1
Sqoop	-	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.16.1	2.16.1	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	446	446	442	436
Zeppelin	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.10.1
ZooKeeper	3.9.2	3.9.2	3.9.1	3.9.1

7.5.0 一般的な脆弱性と露出

次の表に、推奨される Amazon EMR 7.CVEs を示します。Amazon EMR は、修正の可用性についてアップストリームオープンソースに依存しており、Amazon EMR が修正を検証してから 90 日以内にコアエンジンコンポーネントの一部として最新の安定バージョンを提供します。

この表は、2024 年 11 月 21 日に更新されました。

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2021-37533	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37533
CVE-2018-14721	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2020-26939	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-26939
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2024-47554	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47554
CVE-2021-38153	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-38153
CVE-2020-36188	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188
CVE-2020-10673	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673
CVE-2020-8908	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8908

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-3509	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-41966	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41966
CVE-2023-3635	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2020-25649	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2017-17485	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-17485
CVE-2024-25710	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-25710
CVE-2023-25194	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-25194
GHSA-58qw-p7qm-5rvh	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/GHSA-58qw-p7qm-5rvh
CVE-2023-51074	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-51074
CVE-2023-20883	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20883
CVE-2022-42004	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2024-47561	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47561
CVE-2023-2976	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2023-33202	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-33202
CVE-2019-14892	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2023-33201	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-33201
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2018-10237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10237
CVE-2015-5237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-5237
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2024-36114	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-36114
CVE-2024-7254	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-7254
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2024-23944	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23944
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-52428	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-52428
CVE-2024-29857	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29857
CVE-2024-30171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-30171
CVE-2022-41854	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41854
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2018-7489	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-15250	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-15250
CVE-2020-9548	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2024-51504	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-51504
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2024-29025	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29025
CVE-2024-36124	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-36124
CVE-2013-4002	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-4002
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379
CVE-2020-36186	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2022-45688	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2020-17521	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-17521
CVE-2024-8184	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-8184
CVE-2020-14195	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2023-40167	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-40167
CVE-2024-6763	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-6763
CVE-2022-25647	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2018-14719	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2024-29131	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29131
CVE-2020-9546	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2018-1000180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1000180
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2021-22570	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22570
CVE-2022-46751	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751
CVE-2021-36373	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36373
CVE-2023-26048	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-26048
CVE-2024-30172	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-30172
CVE-2022-36364	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-36364
CVE-2022-46337	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2019-16869	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16869
CVE-2022-38751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38751

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-1415	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1415
CVE-2021-22569	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22569
CVE-2024-35255	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-35255
CVE-2021-28170	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-28170
CVE-2022-40149	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2023-50868	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50868
CVE-2023-34454	high	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2022-38750	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38750
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2023-42503	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-42503
CVE-2024-25638	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-25638
CVE-2024-29133	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29133
CVE-2022-37865	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37865

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-19361	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361
CVE-2018-19362	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2020-10650	中程度	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-35490	中程度	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2024-23454	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23454
CVE-2023-43642	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2020-24750	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750
CVE-2020-11112	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2019-14439	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2023-34455	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2024-26308	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-26308
CVE-2019-20445	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20445
CVE-2023-0833	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-0833

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2022-38752	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38752
CVE-2020-1945	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-1945
CVE-2020-13936	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13936
CVE-2023-36478	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36478
CVE-2020-10968	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-28052	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-28052
CVE-2021-43859	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-43859
CVE-2021-27568	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-27568
CVE-2020-11113	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-11307	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307
CVE-2024-21634	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-21634
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-36180	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-29425	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-29425
CVE-2020-8840	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9547	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2019-16943	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2016-5018	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-5018
CVE-2024-34447	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-34447
CVE-2024-39676	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-39676

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-21290	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21290
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2022-39135	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-39135
CVE-2019-16335	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2020-14062	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-15522	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-15522
CVE-2019-14540	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2017-15095	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-15095
CVE-2018-5968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-5968

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-14893	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-12814	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12814
CVE-2020-10672	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-24616	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-13949	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2023-50387	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50387
CVE-2018-12022	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2020-36189	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2021-37137	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37137
CVE-2019-12384	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12384
CVE-2023-26049	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-26049
CVE-2022-1471	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-16942	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2022-40152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40152
CVE-2023-20863	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20863
CVE-2018-11798	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11798
CVE-2019-20330	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2019-17531	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619
CVE-2022-40151	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40151
CVE-2019-17267	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2016-6796	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-6796

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2018-10054	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10054
CVE-2018-14720	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2022-24329	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-24329
CVE-2020-36183	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2022-37866	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37866
CVE-2015-1832	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-1832
CVE-2023-38647	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-38647
CVE-2018-1313	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1313
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2024-38808	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-38808

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-20444	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20444
CVE-2012-0881	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-0881
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-13956	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13956
CVE-2022-38749	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38749
CVE-2017-7525	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7525
CVE-2018-19360	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2021-37136	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37136
CVE-2022-42889	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42889
CVE-2021-36374	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36374
CVE-2020-13955	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13955
CVE-2022-25857	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857

7.5.0 リリースコンポーネントの詳細

Amazon EMR 7.5.0 の Extras パッケージの詳細については、次の表を参照してください。

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hudi	Extras	0.15.0.amzn.0-1.amzn2023
Flink	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
HBase	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
HCatalog	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
HCatalog	コア	mariadb-connector-java	Extras	
[Hive]	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
[Hive]	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
[Hive]	コア	hive-hbase	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
[Hive]	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
フェニックス	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
Spark	コア	spark-datanucleus	Extras	3.5.1.amzn.0-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Tez	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-utils	Extras	1.2.0-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hive	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog-server	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
Trino	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	bigtop-groovy	Extras	2.5.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-jsvc	Extras	1.2.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-lzo	Extras	0.4.19-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-jdbc	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Zookeeper	コア	emrfs	Extras	2.64.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

7.5.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.5.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.5.0 application upgrades include Delta 3.2.1-amzn-0, HBase 2.5.10, Hudi 0.15.0-amzn-2, and Iceberg 1.6.1-amzn-1。
- EMR 先行書き込みログ (WAL) は、クロスクラスターレプリケーションをサポートしています。詳細については、「EMR WAL クラスター間レプリケーション」を参照してください。

既知の問題

- Apache Sqoop が Amazon EMR リリース 7.5 以降のリリースから削除されました。
- マネージドスケーリングを有効にすると、YARN ResourceManager (RM) で重大なデッドロックの問題が発生し、同時オペレーションで DECOMMISSIONING 状態から DECOMMISSIONED 状態に移行すると、応答しなくなります。これは特に大規模なクラスター環境で発生します。これが発生すると、ノード状態遷移とアプリケーション状態遷移の両方が処理に失敗し、ResourceManager のコア機能を効果的に麻痺させます。回避策として、プライマリノードで次のコマンドを使用して RM JVM を再起動します。

  ```
  sudo systemctl restart hadoop-yarn-resourcemanager
  ```
- EMR クラスターが `CapacityScheduler`または 以外の YARN スケジューラ `FairScheduler` (FIFO スケジューラなど) で起動されると、`YARNMemoryAvailablePercentage`メトリクスは CloudWatch にプッシュされません。この問題は、マネージドスケーリングが有効なクラスターのダウンスケーリングに影響します。`YARNMemoryAvailablePercentage` メトリクスによっては、カスタムマネージドスケーリングにも影響する可能性があります。回避策として、`CapacityScheduler`または を使用します`FairScheduler`。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。廃止されるエグゼキューターは Yarn がタスクを割り当てるために使用できないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターを

リクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- Amazon EMR は、クラスターに選択したインスタンスタイプに応じて、TensorFlow ライブラリのさまざまなビルドを使用します。Amazon EMR は、EMR-7.5.0 以降の aarch64 インスタンスタイプ (Graviton インスタンス) を持つクラスターの TensorFlow もサポートしています。

  次の表に、EMR-7.5.0 のインスタンスタイプ別のビルドを示します。

EC2 インスタンスタイプ	TensorFlow のビルド		
M5 および C5	TensorFlow 2.16.1 (Intel MKL で最適化)		
P2、P4D、、G4DN、G6、GR6	TensorFlow 2.16.1 (CUDA 12.3、cuDNN 8.9.7.29 を使用)		
P3、P3DN3、G3S	Tensorflow 2.16.1 と CUDA 12.3、cuDNN 8.9.7.29、NCCL 2.20.3-1 Nvidia NCCL は P3 インスタンスでのみ使用できます。エンドユーザーライセンス契約 (EULA) – Amazon EMR で Nvidia コンポーネントを使用することにより、製品 EULA で説明されている利用規約に同意したものとみなされます。		
Graviton (EMR-7.5.0+) を含	TensorFlow 2.16.1		

EC2 インスタンスタイプ	TensorFlow のビルド		
むその他すべての			

- FGAC (ファイングレインアクセスコントロール) が有効になっている AWS Lake Formation の Amazon EMR クラスターは、次の hdfs-site.xml 設定で最大 256 の同時ステップをサポートできるようになりました。

```
[
  {
    "Classification": "hdfs-site",
    "Properties": {
      "dfs.datanode.handler.count": "40",
      "dfs.datanode.max.transfer.threads": "16384",
      "dfs.namenode.handler.count": "64",
      "dfs.replication": "1"
    }
  },
  {
    "Classification": "hdfs-env",
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "export",
        "Properties": {
          "HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE": "5120"
        }
      }
    ],
    "Properties": {}
  }
]
```

-

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ) 、欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、アジアパシフィック (マレーシア) 、 欧州 (ロンドン) 、 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム）、中東 (バーレーン）、 中国 (北京） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、アジアパシフィック (マレーシア）、 欧州 (ロンドン）、、 アジアパシフィック (メルボルン）、欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			シフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023.5.20240916	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 9 月 6 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

7.5.0 デフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.5 以降には、Apache Livy を除く Corretto 17 (OpenJDK) をサポートするアプリケーション用に、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.5.0 のアプリケーションのデフォルトの Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8
HCatalog	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	17、11、8
Pig	8
Zookeeper	17、11、8

7.5.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.2.1-amzn-0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.14.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.16.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.35.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.14.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.1	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.66.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.19.1-amzn-1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.19.1-amzn-1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.4.0-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.4.0-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.4.0-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.4.0-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.4.0-amzn-1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.4.0-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.4.0-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.4.0-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.4.0-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.4.0-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.4.0-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.5.10-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.5.10-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.5.10-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.5.10-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.5.10-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.5.10-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-14	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-14	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-14	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-14	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-14	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-14	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-14	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.15.0-amzn-2	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-2	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-2	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-2	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.6.1-amzn-1	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.287-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.287-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.287-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	446-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-worker	446-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	446-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.2-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.2-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.5.2-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.2-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.08.1-amzn-1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-12	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-12	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.2-amzn-0	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.2-amzn-0	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.5.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.5.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j2	Phoenix の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServe r2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryS erver.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatchAgent service.

7.5.0 変更ログ

7.5.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2024-11-21	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.5.0 リリースノートが初めて公開されました
2024-11-21	デプロイ完了	Amazon EMR 7.5.0 がサポートされているすべてのリージョンに完全にデプロイされました
2024-11-13	初回リリース	Amazon EMR 7.5.0 が最初の商用リージョンに最初にデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.4.0

7.4.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.4.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2024 年 11 月 13 日	
標準サポートの終了日	2026 年 11 月 12 日	
サポートの終了	2026 年 11 月 13 日	
ライフサイクル終了	2027 年 11 月 13 日	

推奨されるソフトウェアと設定で EMR クラスターに影響を与えない重大で一般的な脆弱性と露出 (CVEs「7.4.0 known common vulnerabilities and exposures for core engines」を参照してください。

7.4.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.4.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta、Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、Jupy

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、Sqoop、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.4.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、Icebe
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.4.0	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0
AWS SDK for Java	2.28.8、1.12.772	2.25.70、1 .12.747	2.23.18、1 .12.705	2.23.18、1 .12.656
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11
Scala	2.12.18	2.12.18	2.12.17	2.12.17
AmazonClo udWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2
Delta	3.2.0-amzn-1	3.2.0-amzn-0	3.1.0	3.0.0
Flink	1.19.1	1.18.1	1.18.1	1.18.1
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.5.5	2.4.17	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.4.0	3.3.6	3.3.6	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3

	emr-7.4.0	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0
Hudi	0.15.0-amzn-1	0.15.0-amzn-0	0.14.1-amzn-1	0.14.1-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.6.1-amzn-0	1.5.2-amzn-0	1.5.0-amzn-0	1.4.3-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
MXNet	-	-	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.2.0	5.1.3	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.287	0.285	0.285	0.284
Spark	3.5.2	3.5.1	3.5.1	3.5.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.16.1	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	446	442	436	435
Zeppelin	0.11.1	0.11.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.9.2	3.9.1	3.9.1	3.9.1

7.4.0 一般的な脆弱性と露出

次の表は、推奨される Amazon EMR 7.CVEs の一覧です。Amazon EMR は、修正の可用性についてアップストリームオープンソースに依存しており、Amazon EMR が修正を検証してから 90 日以内にコアエンジンコンポーネントの一部として最新の安定バージョンを提供します。

この表は、2024 年 11 月 15 日に更新されました。

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-37533	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37533
CVE-2018-14721	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2020-26939	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-26939
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2024-47554	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47554
CVE-2021-38153	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-38153
CVE-2022-41966	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41966
CVE-2023-3635	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2020-25649	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2017-17485	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-17485

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2024-25710	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-25710
CVE-2023-25194	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-25194
GHSA-58qw-p7qm-5rvh	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/GHSA-58qw-p7qm-5rvh
CVE-2023-51074	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-51074
CVE-2023-20883	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20883
CVE-2022-42004	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2024-47561	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-47561
CVE-2023-2976	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2023-33202	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-33202
CVE-2019-14892	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2023-33201	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-33201
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-10237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10237
CVE-2015-5237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-5237
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2024-36114	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-36114
CVE-2024-7254	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-7254
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2024-23944	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23944
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2023-52428	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-52428
CVE-2024-29857	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29857
CVE-2024-30171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-30171
CVE-2022-41854	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41854
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-7489	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-15250	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-15250
CVE-2020-9548	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2024-51504	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-51504
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2024-29025	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29025
CVE-2024-36124	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-36124
CVE-2013-4002	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-4002
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379
CVE-2020-36186	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-45688	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2020-17521	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-17521
CVE-2024-8184	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-8184
CVE-2020-14195	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2023-40167	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-40167
CVE-2024-6763	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-6763
CVE-2022-25647	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2018-14719	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719
CVE-2024-29131	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29131
CVE-2020-9546	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2018-1000180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1000180
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2021-22570	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22570

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-46751	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751
CVE-2021-36373	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36373
CVE-2023-26048	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-26048
CVE-2024-30172	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-30172
CVE-2022-36364	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-36364
CVE-2022-46337	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2019-16869	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16869
CVE-2022-38751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38751
CVE-2022-1415	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1415
CVE-2021-22569	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22569
CVE-2024-35255	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-35255
CVE-2021-28170	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-28170
CVE-2022-40149	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-50868	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50868
CVE-2022-38750	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38750
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2023-42503	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-42503
CVE-2024-25638	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-25638
CVE-2024-29133	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-29133
CVE-2022-37865	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37865
CVE-2018-19361	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361
CVE-2018-19362	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2020-10650	中程度	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-35490	中程度	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2024-23454	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-23454
CVE-2023-43642	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-24750	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750
CVE-2020-11112	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2019-14439	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2023-34455	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2024-26308	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-26308
CVE-2019-20445	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20445
CVE-2023-0833	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-0833
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2012-5783	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-5783
CVE-2022-38752	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38752
CVE-2020-1945	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-1945
CVE-2020-13936	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13936

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-36478	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36478
CVE-2020-10968	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-28052	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-28052
CVE-2021-43859	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-43859
CVE-2021-27568	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-27568
CVE-2020-11113	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072
CVE-2018-11307	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2022-39135	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-39135
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2017-7525	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7525

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-19360	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2024-21634	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-21634
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2012-6153	低	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-6153
CVE-2020-36180	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-29425	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-29425
CVE-2020-8840	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9547	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2016-5018	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-5018

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2024-34447	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-34447
CVE-2024-39676	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-39676
CVE-2021-21290	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-21290
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2020-14062	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-15522	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-15522
CVE-2019-14540	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2017-15095	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-15095
CVE-2018-5968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-5968

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-14893	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-12814	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12814
CVE-2020-10672	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-24616	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-13949	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2023-50387	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50387
CVE-2018-12022	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2020-36189	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2021-37137	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37137
CVE-2019-12384	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12384
CVE-2023-26049	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-26049
CVE-2022-1471	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-16942	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2022-40152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40152
CVE-2023-20863	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20863
CVE-2018-11798	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11798
CVE-2019-20330	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2019-17531	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619
CVE-2022-40151	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40151
CVE-2019-17267	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2016-6796	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-6796

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2018-10054	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10054
CVE-2018-14720	中	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2022-24329	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-24329
CVE-2020-36183	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2022-37866	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37866
CVE-2015-1832	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-1832
CVE-2023-38647	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-38647
CVE-2018-1313	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1313
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2024-38808	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-38808

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-20444	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20444
GHSA-chfm-68vv-pvw5	高い	https://github.com/advisories/GHSA-chfm-68vv-pvw5
CVE-2012-0881	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-0881
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-13956	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13956
CVE-2022-38749	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-38749
CVE-2021-37136	解除済み	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37136
CVE-2022-42889	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42889
CVE-2021-36374	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36374
CVE-2020-13955	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13955
CVE-2022-25857	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857

7.4.0 リリースコンポーネントの詳細

Amazon EMR 7.4.0 の Extras パッケージの詳細については、次の表を参照してください。

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hudi	Extras	0.15.0.amzn.0-1.amzn2023
Flink	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
HBase	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
HCatalog	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
HCatalog	コア	mariadb-connector-java	Extras	
[Hive]	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
[Hive]	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
[Hive]	コア	hive-hbase	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
[Hive]	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
フェニックス	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
Spark	コア	spark-datanucleus	Extras	3.5.1.amzn.0-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Tez	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-utils	Extras	1.2.0-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hive	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog-server	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
Trino	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-groovy	Extras	2.5.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-jsvc	Extras	1.2.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-lzo	Extras	0.4.19-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-jdbc	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Zookeeper	コア	emrfs	Extras	2.64.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

7.4.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.4.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.4.0 application upgrades include AWS SDK for Java 2.28.8, Delta 3.2.0-amzn-1, Flink 1.19.1, Hadoop 3.4.0, HBase 2.5.5, Hudi 0.15.0-amzn-1, Iceberg 1.6.1-amzn-0, Phoenix 5.2.0, Presto 0.287, Spark 3.5.2, Trino 446, and Zookeeper 3.9.2。
- このリリースでは、ネットワークを介した転送中の暗号化をサポートする 7 つのオープンソースエンドポイントが追加されました。この改善には、Hue、Livy、JupyterEnterpriseGateway、Zookeeper、Ranger KMS などのオープンソースフレームワークが含まれます。転送中の暗号化を有効にし、これらのエンドポイントに接続する場合は、TLS 通信をサポートするようにコードを変更する必要がある場合があります。必要に応じて、これらのエンドポイントの TLS を無効にすることができます。サポートされているエンドポイントの完全なリストについては、「Understanding in-transit encryption」を参照してください。

既知の問題

- 以前に emr-6.11.0 以降に Hive シャッフルハンドラーをサポートしていた Yarn ResourceManager の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-shuffle-data`プロパティは、emr-7.4.0 で Spark on Yarn を実行するときに、Spark 外部シャッフルサービスによって提供されるファイルに正常な廃止を適用するようになりました。

  Spark on Yarn を実行するときの Spark 外部シャッフルサービスのデフォルトの動作は、アプリケーションの終了時に Yarn NodeManager がアプリケーションシャッフルファイルを削除することです。これは、ノードの廃止速度とコンピューティング使用率に影響する可能性があります。長時間実行されるアプリケーションの場合は、 を `spark.shuffle.service.removeShuffle`に設定`true`して、使用されていないシャッフルファイルを削除することを検討してください。これにより、アクティブなシャッフルデータがないノードをより迅速に廃止できます。
- Amazon S3 Select の可用性 – Amazon S3 Select は、Presto および Trino のクロスリージョンクエリをサポートしていません。Presto および Trino リリースで使用できる特定の機能の詳細については、「Presto および Trino」を参照してください。
- Apache Ranger は Amazon EMR リリース 7.4 ではサポートされていません。
- Apache Sqoop は、SQOOP-3485 という既知の問題のため、Apache Hadoop 3.4 と互換性がありません。Amazon EMR リリース 7.4 には、Apache Sqoop が含まれていますが、サポートされていません。Apache Sqoop は Amazon EMR リリース 7.5 以降のリリースから削除されます。
- マネージドスケーリングを有効にすると、YARN ResourceManager (RM) で重大なデッドロックの問題が発生し、同時オペレーションで DECOMMISSIONING 状態から DECOMMISSIONED 状態に移行すると、応答しなくなります。これは特に大規模なクラスター環境で発生しま

す。これが発生すると、ノード状態遷移とアプリケーション状態遷移の両方が処理に失敗し、ResourceManager のコア機能を効果的に麻痺させます。回避策として、プライマリノードで次のコマンドを使用して RM JVM を再起動します。

```
sudo systemctl restart hadoop-yarn-resourcemanager
```

- EMR クラスターが `CapacityScheduler`または 以外の YARN スケジューラ `FairScheduler` (FIFO スケジューラなど) で起動されると、`YARNMemoryAvailablePercentage`メトリクスは CloudWatch にプッシュされません。この問題は、マネージドスケーリングが有効なクラスターのダウンスケーリングに影響します。`YARNMemoryAvailablePercentage` メトリクスによっては、カスタムマネージドスケーリングにも影響する可能性があります。回避策として、`CapacityScheduler`または を使用します`FairScheduler`。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキュターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- Amazon EMR で使用される TensorFlow ライブラリのビルドは、クラスター用に選択したインスタンスタイプによって異なります。Amazon EMR は、EMR-7.5.0 以降の aarch64 インスタンスタイプ (Graviton インスタンス) を持つクラスターの TensorFlow もサポートしています。
- Iceberg ワークロードの S3 リクエストスケーリングの最適化 – EMR 34 v7.4 リリースにバンドルされた Iceberg を使用するお客様向けに、S3 はデフォルトのエントロピースキームを 20 文字の base-2 (例: 35 01010110100110110010) ハッシュに更新しました。この新しい base-2 エントロピースキームは、文字範囲を減らし、S3 がターゲット Iceberg ワークロードの需要に合わせてリクエスト容量をより迅速に自動的にスケーリングできるようにします。また、ワークロードが 503 個のスロットルレスポンスを観測する時間を短縮します。

-

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィッ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年7月2025日0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (マレーシア） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1121.0	6.1.115-126.197.amzn2023	2024 年 12 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023.5.20240916	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 9 月 6 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

7.4.0 デフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.4 以降には、Apache Livy を除く Corretto 17 (OpenJDK) をサポートするアプリケーション用に、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.4.0 のアプリケーションのデフォルトの Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8
HCatalog	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	17、11、8
Pig	8
Zookeeper	8

7.4.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.2.0-amzn-1	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.17.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.34.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.13.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.1	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.65.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.19.1-amzn-0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.19.1-amzn-0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.4.0-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.4.0-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.4.0-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.4.0-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.4.0-amzn-0	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.4.0-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.4.0-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.4.0-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.4.0-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.4.0-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.4.0-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.5.5-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.5.5-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.5.5-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.5.5-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.5.5-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.5.5-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-13	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-13	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-13	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-13	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-13	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-13	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-13	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.15.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-1	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.6.1-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.287-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.287-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.287-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	446-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-worker	446-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	446-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.2-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.2-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.5.2-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.2-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.08.1-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-11	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-11	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.2-amzn-0	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.2-amzn-0	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.4.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.4.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts HBaseRegi onserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore , Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.prop erties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j2	Phoenix の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatchAgent service.

7.4.0 変更ログ

7.4.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2024-11-18	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.4.0 リリースノートが初めて公開されました
2024-11-13	デプロイ完了	Amazon EMR 7.4.0 がサポートされているすべてのリー

日付	イベント	説明
		ジョンに完全にデプロイされました
2024-10-31	デプロイの開始	Amazon EMR 7.4.0 が最初の商用リージョンに最初にデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.3.0

7.3.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.3.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2024 年 10 月 16 日	
標準サポートの終了日	2026 年 10 月 15 日	
サポートの終了	2026 年 10 月 16 日	
ライフサイクル終了	2027 年 10 月 16 日	

推奨されるソフトウェアと設定で EMR クラスターに影響を与えないクリティカルおよびハイの共通脆弱性識別子 (CVE) のリストについては、「7.3.0 known common vulnerabilities and exposures for core engines」を参照してください。

7.3.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.3.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta
Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、JupyterEnterpriseGateway、Phoenix、S

Extras:

Hue、JupyterHub、Oozie、Pig、Presto、Sqoop、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.3.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、Icebe
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
AWS SDK for Java	2.25.70、1.12.747	2.23.18、1.12.705	2.23.18、1.12.656	2.20.160-amzn-0、1.12.569
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9
Scala	2.12.18	2.12.17	2.12.17	2.12.17
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300031.1

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
Delta	3.2.0-amzn-0	3.1.0	3.0.0	3.0.0
Flink	1.18.1	1.18.1	1.18.1	1.18.0
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.6	3.3.6	3.3.6	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.15.0-amzn-0	0.14.1-amzn-1	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-1
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.5.2-amzn-0	1.5.0-amzn-0	1.4.3-amzn-0	1.4.2-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.7.1
MXNet	-	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.285	0.285	0.284	0.283
Spark	3.5.1	3.5.1	3.5.0	3.5.0

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	442	436	435	426
Zeppelin	0.11.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.9.1	3.9.1	3.9.1	3.5.10

7.3.0 共通脆弱性識別子

次の表に、Amazon EMR 7.3.0 の推奨構成で実行されている EMR クラスターに影響を与えないすべての CVE を一覧表示します。Amazon EMR は、修正の可用性についてアップストリームオープンソースに依存しており、Amazon EMR が修正を検証してから 90 日以内にコアエンジンコンポーネントの一部として最新の安定バージョンを提供します。

この表は 2024 年 10 月 4 日に更新されました。

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-1000180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-1000180
CVE-2020-28052	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-28052
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2022-40152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40152
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-36478	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36478
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2023-50387	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-50387
CVE-2012-0881	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-0881
CVE-2013-4002	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-4002
CVE-2015-1832	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-1832
CVE-2015-5237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-5237
CVE-2018-11307	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-12022	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2018-14719	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719
CVE-2018-14720	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2018-14721	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2018-19360	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2018-19361	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361
CVE-2018-19362	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2018-7489	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379
CVE-2019-14439	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-14540	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2019-14892	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2019-14893	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2019-16942	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2019-17267	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2019-17531	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2019-20330	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2020-10650	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-10672	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-10673	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673
CVE-2020-10968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-11112	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2020-11113	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2020-13936	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13936
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2020-14062	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-14195	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2020-24616	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-24750	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750
CVE-2020-25649	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-8840	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9546	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2020-9547	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-9548	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35517	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35517
CVE-2021-36090	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36090
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-36364	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-36364
CVE-2022-37865	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37865
CVE-2022-37866	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37866
CVE-2022-39135	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-39135
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-46337	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2022-46751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2016-5018	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-5018
CVE-2016-6796	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-6796

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2015-2156	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-2156
CVE-2017-18640	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-18640
CVE-2017-18640	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-18640
CVE-2019-16869	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16869
CVE-2019-20444	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20444
CVE-2019-20445	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20445
CVE-2021-37136	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37136
CVE-2021-37137	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37137
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-36478	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36478
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2022-45688	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2022-46337	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2024-21634	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-21634
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481

7.3.0 リリースコンポーネントの詳細

Amazon EMR 7.3.0 の Extras パッケージの詳細については、次の表を参照してください。

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Flink	コア	hudi	Extras	0.15.0.amzn.0-1.amzn2023
Flink	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
HBase	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
HCatalog	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
HCatalog	コア	mariadb-connector-java	Extras	
[Hive]	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
[Hive]	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
[Hive]	コア	hive-hbase	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
[Hive]	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
フェニックス	コア	s3-dist-cp	Extras	2.33.0-1.amzn2023
Spark	コア	spark-datanucleus	Extras	3.5.1.amzn.0-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Tez	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-utils	Extras	1.2.0-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hive	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog-server	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
Trino	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-groovy	Extras	2.5.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-jsvc	Extras	1.2.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-lzo	Extras	0.4.19-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Trino	コア	hive-jdbc	Extras	3.1.3.amzn.12-1.amzn2023
Zookeeper	コア	emrfs	Extras	2.64.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.5-1.amzn2023
Zookeeper	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

7.3.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.3.0 に関する情報が含まれています。7.3.0 からの変更が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.3.0 application upgrades include Delta 3.2.0-amzn-0, Hudi 0.15.0-amzn-0, TensorFlow 2.16.1, Trino 442, and Zeppelin 0.11.1。
- このリリースでは、ネットワークを介した転送中の暗号化をサポートする 22 のオープンソースエンドポイントが追加されました。この改善には、Hadoop、Hive、Tez、HBase、Phoenix、Flink などのオープンソースフレームワークが含まれます。転送中の暗号化を有効にし、これらのエンドポイントに接続する場合は、TLS 通信をサポートするようにコードを変更する必要がある場合があります。必要に応じて、これらのエンドポイントの TLS を無効にすることができます。サポートされているエンドポイントの完全なリストについては、「Understanding in-transit encryption」を参照してください。
- Amazon EMR 7.3.0 では、Apache Hive with Iceberg が AWS Glue データカタログをメタストアとしてサポートするようになりました。これにより、メタデータの保存、データソースの自動クロールとメタデータの抽出、シームレスなワークフローのための他の サービスとの統合などの利点が得られます。

既知の問題

- Python 3.11 は EMR Studio ではサポートされていません。
- 転送中の暗号化と Kerberos 認証を使用する場合、Hive メタストアに依存する Spark アプリケーションは使用できません。この問題は HIVE-16340 で修正され、オープンソースの Spark が Hive 3 にアップグレードできるときに SPARK-44114 で完全に解決されます。その間、`hive.metastore.use.SSL` を `false` に設定することで、この問題を一時的に回避できます。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。
  - Kerberos 認証を使用しない場合は、SSL を使用するように Spark を設定する必要があります。これを行うには、クラスターをプロビジョニングするときに次の設定を行います。

```
[{
    "Classification": "spark-defaults",
    "Properties": {
        "spark.hadoop.hive.metastore.truststore.path": "/usr/share/aws/emr/
security/conf/keystore-thrift.jks",
        "spark.hadoop.hive.metastore.use.SSL": "true"
    }
}]
```

- カスタムドメインを使用する場合、 AWS コンソールの Spark History Server UI の一部のリンクが機能しない場合があります。次のスクリプトを S3 バケットにアップロードし、シェルスクリプトを使用する[ステップを追加します](#)。

```
#!/bin/bash

if grep -q ":8042" /etc/nginx/nginx.conf; then
    sudo sed -i '=s#\^(\\/nm\\/(?<nodeAddress>.*:8042)\\/(?<url>.*)\$)#^(\\/nm\\/
(?<nodeAddress>(\\.|-|[a-zA-Z0-9])*:8042)\\/(?<url>(node|conf|logs|stacks|jmx).*)\
$)#g' /etc/nginx/nginx.conf
else
    sudo sed -i 's#\^(\\/nm\\/(?<nodeAddress>.*:8044)\\/(?<url>.*)\$)#^(\\/nm\\/
(?<nodeAddress>(\\.|-|[a-zA-Z0-9])*:8044)\\/(?<url>(node|conf|logs|stacks|jmx).*)\
$)#g' /etc/nginx/nginx.conf
fi

sudo systemctl restart nginx
```

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを TRUE (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および`spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- YARN の TLS ホスト名検証をサポートするために、このリリースでは、`yarn.resourcemanager.hostname` 設定をプライマリインスタンスの IP アドレスからプライマリインスタンスのプライベート DNS 名に変更しています。
- [MXNet プロジェクト](#)はサポート終了となり、現在アーカイブされています。 [the section called “emr-7.2.0”](#)は MXNet を含む最後のリリースです。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部）米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ）カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー）欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏）欧州 (チューリッヒ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)、

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）、 アジアパシフィック (東京）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1121.0	6.1.115-126.197.amzn2023	2024 年 12 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1031.0	6.1.112-124.190.amzn2023	2024 年 11 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023.5.20240916	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 9 月 6 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

7.3.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.3 以降には、Corretto 17 (JDK 17) をサポートするアプリケーションには、Apache Livy を除き、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.3.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	17、11、8
HBase	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	17、11、8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	17、11、8

7.3.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は

Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.2.0-amzn-0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.12.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-notebook-env	1.16.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.33.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.12.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.3.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.64.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.18.1-amzn-2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.18.1-amzn-2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.3.6-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.6-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.6-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.6-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.6-amzn-5	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.6-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.6-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.6-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.6-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.6-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.6-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-7	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-7	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-7	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-7	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-7	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-7	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-12	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-12	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-12	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-12	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-12	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-12	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-12	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.15.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.15.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.15.0-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.15.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.5.2-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	12.3.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.285-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.285-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.285-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	442-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-worker	442-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	442-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.1-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.1-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.5.1-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.1-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.06.1-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.16.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-10	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-10	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.11.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.1-amzn-1	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.1-amzn-1	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.3.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.3.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServe r.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authentic ator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatchAgent service.

7.3.0 変更ログ

7.3.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2024-10-17	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.3.0 リリースノートの初版が公開されました
2024-10-16	デプロイ完了	Amazon EMR 7.3.0 がすべてのサポートされているリー

日付	イベント	説明
		ジョンに完全にデプロイされました
2024-10-14	初回リリース	Amazon EMR 7.3.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.2.0

7.2.0 でサポートされているライフサイクル

次の表は、Amazon EMR リリース 7.2.0 でサポートされているライフサイクルの日付を示しています。

サポートフェーズ	日付	
初回リリース日	2024 年 7 月 25 日	
標準サポートの終了日	2026 年 7 月 24 日	
サポートの終了	2026 年 7 月 25 日	
ライフサイクル終了	2027 年 7 月 25 日	

推奨されるソフトウェアと設定で EMR クラスターに影響を与えないクリティカルおよびハイの共通脆弱性識別子 (CVE) のリストについては、「7.2.0 known common vulnerabilities and exposures for core engines」を参照してください。7.2.0 リリースで修正された CVE のリストについては、「7.2.0 fixed common vulnerabilities and exposures」を参照してください。

7.2.0 リリースコンポーネント

Amazon EMR 7.2.0 には、次のアプリケーションが含まれています。

コアエンジン:

AmazonCloudWatchAgent、Delta
Flink、Hadoop、HBase、HCatalog、Hive、Hudi、Livy、Iceberg、JupyterEnterpriseGateway、Phoenix、S

Extras:

Hue、JupyterHub、MXNet、Oozie、Pig、Presto、Sqoop、TensorFlow、Zeppelin

含まれているパッケージの詳細については、「Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。コアエンジンと Extras の詳細については、「Amazon EMR Standard Support」を参照してください。

7.2.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、、HudiHue、、Icebe
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
AWS SDK for Java	2.25.70、1.12.747	2.23.18、1.12.705	2.23.18、1.12.656	2.20.160-amzn-0、1.12.569
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9
Scala	2.12.18	2.12.17	2.12.17	2.12.17
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300031.1

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
Delta	3.2.0-amzn-0	3.1.0	3.0.0	3.0.0
Flink	1.18.1	1.18.1	1.18.1	1.18.0
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.6	3.3.6	3.3.6	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.15.0-amzn-0	0.14.1-amzn-1	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-1
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.5.2-amzn-0	1.5.0-amzn-0	1.4.3-amzn-0	1.4.2-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.7.1
MXNet	-	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.285	0.285	0.284	0.283
Spark	3.5.1	3.5.1	3.5.0	3.5.0

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	442	436	435	426
Zeppelin	0.11.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.9.1	3.9.1	3.9.1	3.5.10

7.2.0 共通脆弱性識別子

このページには、Amazon EMR 7.2.0 に関連する共通脆弱性識別子 (CVE) がすべて一覧表示されます。

7.2.0 コアエンジンの既知の共通脆弱性識別子

次の表に、Amazon EMR 7.2.0 の推奨構成で実行されている EMR クラスターに影響を与えないすべての CVE を一覧表示します。Amazon EMR は、修正の可用性についてアップストリームオープンソースに依存しており、Amazon EMR が修正を検証してから 90 日以内にコアエンジンコンポーネントの一部として最新の安定バージョンを提供します。

この表は、2024 年 9 月 16 日に更新されました。

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2022-40152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40152
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-36478	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36478
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2015-5237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-5237
CVE-2017-15095	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-15095
CVE-2017-17485	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-17485
CVE-2017-7525	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7525
CVE-2018-11307	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307
CVE-2018-12022	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2018-14719	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719
CVE-2018-14720	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2018-14721	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2018-19360	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2018-19361	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361
CVE-2018-19362	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2018-5968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-5968
CVE-2018-7489	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489
CVE-2019-10172	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10172
CVE-2019-10202	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10202
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-14439	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2019-14540	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2019-14892	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2019-14893	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2019-16942	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2019-17267	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2019-17531	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2019-20330	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2020-10650	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-10672	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-10673	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-10968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-11112	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2020-11113	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2020-14062	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-14195	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2020-24616	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-24750	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-8840	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9546	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2020-9547	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-9548	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2021-33813	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-33813
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370
CVE-2023-25194	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-25194
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-34610	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34610
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2012-0881	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-0881
CVE-2013-4002	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-4002
CVE-2015-1832	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-1832
CVE-2015-5237	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-5237
CVE-2018-11307	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307
CVE-2018-12022	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2018-14719	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719
CVE-2018-14720	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2018-14721	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2018-19360	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2018-19361	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2018-19362	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2018-7489	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379
CVE-2019-14439	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2019-14540	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2019-14892	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2019-14893	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2019-16942	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2019-17267	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2019-17531	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-20330	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2020-10650	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-10672	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-10673	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673
CVE-2020-10968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-11112	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2020-11113	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2020-13936	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13936
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2020-14062	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-14195	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2020-24616	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-24750	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750
CVE-2020-25649	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-8840	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9546	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2020-9547	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-9548	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-31684	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-31684
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35517	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35517
CVE-2021-36090	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36090
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-36364	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-36364

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-37865	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37865
CVE-2022-37866	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37866
CVE-2022-39135	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-39135
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2022-46337	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2022-46751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42889	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42889

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-46751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370
CVE-2023-20883	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-20883
CVE-2023-25194	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-25194
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072
CVE-2018-8768	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-8768
CVE-2021-32797	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-32797
CVE-2021-32798	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-32798
CVE-2022-24758	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-24758
CVE-2023-24580	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-24580
CVE-2023-36053	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36053
CVE-2023-41164	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-41164
CVE-2023-43665	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43665
CVE-2023-46695	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-46695
CVE-2024-24680	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-24680
CVE-2016-5018	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-5018
CVE-2016-6796	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-6796

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2012-0881	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2012-0881
CVE-2013-4002	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2013-4002
CVE-2019-17566	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17566
CVE-2019-17566	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17566
CVE-2020-11988	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11988
CVE-2021-33813	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-33813
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-34169	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-34169
CVE-2022-40146	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40146

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-41704	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-41704
CVE-2022-42890	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42890
CVE-2022-44729	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-44729
CVE-2022-44729	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-44729
CVE-2022-44729	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-44729
CVE-2022-46337	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2023-4759	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-4759
CVE-2015-2156	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-2156
CVE-2017-18640	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-18640
CVE-2017-18640	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-18640
CVE-2019-16869	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16869
CVE-2019-20444	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20444
CVE-2019-20445	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20445

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-37136	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37136
CVE-2021-37137	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37137
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-36478	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-36478
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2015-2080	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-2080
CVE-2015-4852	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-4852
CVE-2015-6420	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-6420
CVE-2015-7501	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-7501
CVE-2017-1000034	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-1000034
CVE-2017-12612	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-12612
CVE-2017-15288	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-15288
CVE-2017-5637	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-5637
CVE-2017-7656	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7656
CVE-2017-7657	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7657

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2017-7658	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7658
CVE-2017-7687	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-7687
CVE-2017-9735	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-9735
CVE-2017-9790	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-9790
CVE-2018-11793	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11793
CVE-2018-11804	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11804
CVE-2018-17190	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-17190
CVE-2018-8012	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-8012
CVE-2019-0204	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0204
CVE-2019-10099	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10099
CVE-2020-17533	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-17533
CVE-2020-9480	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9480
CVE-2021-28165	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-28165

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35517	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35517
CVE-2021-35517	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35517
CVE-2021-36090	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36090
CVE-2021-36090	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36090
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-37866	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-37866

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-46751	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46751
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2014-0114	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2014-0114
CVE-2016-1000338	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-1000338
CVE-2016-1000340	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-1000340
CVE-2016-1000342	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-1000342
CVE-2016-1000343	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-1000343
CVE-2016-1000344	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-1000344

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2016-1000352	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2016-1000352
CVE-2017-1000487	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-1000487
CVE-2017-12629	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-12629
CVE-2018-10936	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10936
CVE-2018-3258	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-3258
CVE-2018-3827	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-3827
CVE-2018-3831	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-3831
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2019-10086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10086
CVE-2019-10086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10086
CVE-2019-7611	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7611
CVE-2020-13692	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13692
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-28491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-28491
CVE-2020-7692	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-7692
CVE-2021-22573	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22573
CVE-2021-22573	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22573
CVE-2021-25646	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-25646
CVE-2021-26291	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-26291
CVE-2021-26291	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-26291
CVE-2021-26919	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-26919
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35517	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35517
CVE-2021-36090	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36090
CVE-2022-1471	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1471

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-25857	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25857
CVE-2022-31197	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-31197
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-33980	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-33980
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-4244	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-4244

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-45688	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2023-1370	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1370
CVE-2023-1428	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1428
CVE-2023-25194	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-25194
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-31418	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-31418
CVE-2023-32731	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-32731
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-38647	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-38647
CVE-2023-39410	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-39410
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2023-44981	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-44981
CVE-2023-46120	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-46120
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2024-1597	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-1597
CVE-2024-1597	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-1597
CVE-2021-35958	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35958
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-34538	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-34538
CVE-2022-45688	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2022-46337	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-46337
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2023-5072	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-5072
CVE-2024-21634	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-21634
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35517	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35517
CVE-2021-36090	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-36090
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2014-0114	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2014-0114
CVE-2015-2156	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2015-2156
CVE-2018-10054	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-10054
CVE-2019-0205	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-0205
CVE-2019-10086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10086
CVE-2019-10086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-10086
CVE-2019-16869	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16869
CVE-2019-17195	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17195
CVE-2019-20444	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20444
CVE-2019-20445	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20445

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-13949	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-13949
CVE-2020-9492	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9492
CVE-2021-37136	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37136
CVE-2021-37137	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37137
CVE-2021-37404	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37404
CVE-2022-25168	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25168
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-26612	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-26612
CVE-2022-3171	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3171
CVE-2022-3509	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3509
CVE-2022-3510	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-3510
CVE-2022-40152	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40152

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-34453	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34453
CVE-2023-34454	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34454
CVE-2023-34455	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-34455
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2023-3635	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-3635
CVE-2023-38647	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-38647
CVE-2023-43642	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-43642
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2024-1597	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2024-1597
CVE-2017-15095	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-15095

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2017-17485	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2017-17485
CVE-2018-11307	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-11307
CVE-2018-12022	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12022
CVE-2018-12023	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-12023
CVE-2018-14718	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14718
CVE-2018-14719	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14719
CVE-2018-14720	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14720
CVE-2018-14721	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-14721
CVE-2018-19360	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19360
CVE-2018-19361	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19361
CVE-2018-19362	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-19362
CVE-2018-5968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-5968
CVE-2018-7489	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2018-7489

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2019-12086	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12086
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379
CVE-2019-14379	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14379
CVE-2019-14439	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2019-14439	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14439
CVE-2019-14540	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2019-14540	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14540
CVE-2019-14892	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2019-14892	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14892
CVE-2019-14893	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-14893
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335
CVE-2019-16335	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16335

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-16942	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2019-16942	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16942
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2019-16943	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-16943
CVE-2019-17195	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17195
CVE-2019-17267	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2019-17267	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17267
CVE-2019-17531	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2019-17531	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-17531
CVE-2019-20330	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2019-20330	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-20330
CVE-2020-10650	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650
CVE-2020-10650	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10650

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-10672	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-10672	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10672
CVE-2020-10673	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673
CVE-2020-10673	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10673
CVE-2020-10968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-10968	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10968
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2020-10969	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-10969
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-11111	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11111
CVE-2020-11112	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11112
CVE-2020-11113	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11113
CVE-2020-11619	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11619

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2020-11620	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-11620
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2020-14060	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14060
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2020-14061	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14061
CVE-2020-14062	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-14062	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14062
CVE-2020-14195	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2020-14195	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-14195
CVE-2020-24616	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-24616	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24616
CVE-2020-24750	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-24750	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-24750
CVE-2020-25649	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2020-25649	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2020-25649	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-25649
CVE-2020-35211	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35211
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35490	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35490
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35491	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35491
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-35728	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-35728
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36179	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36179
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36180	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36180
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36181	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36181
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182
CVE-2020-36182	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36182

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36183	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36183
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36184	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36184
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36185	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36185
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2020-36186	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36186
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-36187	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36187
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188
CVE-2020-36188	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36188
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36189	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36189
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-36518	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-36518
CVE-2020-7692	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-7692

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2020-8840	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-8840	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-8840
CVE-2020-9546	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2020-9546	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9546
CVE-2020-9547	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-9547	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9547
CVE-2020-9548	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2020-9548	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2020-9548
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-20190	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-20190
CVE-2021-22573	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-22573
CVE-2021-33036	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-33036

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35515	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35515
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-35516	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-35516
CVE-2021-37714	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37714
CVE-2021-37714	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37714
CVE-2021-37714	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37714
CVE-2021-37714	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-37714
CVE-2021-46877	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-46877
CVE-2022-25647	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-25647
CVE-2022-32532	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-32532
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2022-40664	重大	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40664
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42003	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42003
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-42004	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-42004
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45688	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45688
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2023-2976	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-2976
CVE-2022-40149	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40149
CVE-2022-40150	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-40150
CVE-2022-45685	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45685
CVE-2022-45693	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-45693
CVE-2023-1436	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-1436
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6378	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6378
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481
CVE-2023-6481	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2023-6481

7.2.0 で修正されたコアエンジンの共通脆弱性識別子

次の表に、Amazon EMR 7.2.0 で修正されたすべての CVE を示します。

CVE ID	緊急度	CVE 詳細 URL
CVE-2019-12402	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-12402
CVE-2021-41561	高い	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2021-41561

7.2.0 リリースコンポーネントの詳細

Amazon EMR 7.2.0 の Extras パッケージの詳細については、次の表を参照してください。

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
AmazonCloudWatchAgent	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	s3-dist-cp	Extras	2.32.0-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
AmazonCloudWatchAgent	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Flink	コア	hudi	Extras	0.14.1.amzn.1-1.amzn2023
Flink	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023
Flink	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
HBase	コア	s3-dist-cp	Extras	2.32.0-1.amzn2023
HCatalog	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
HCatalog	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
[Hive]	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
[Hive]	コア	hive-hbase	Extras	3.1.3.amzn.11-1.amzn2023
[Hive]	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
[Hive]	コア	s3-dist-cp	Extras	2.32.0-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
フェニックス	コア	s3-dist-cp	Extras	2.32.0-1.amzn2023
Spark	コア	spark-datanucleus	Extras	3.5.1.amzn.0-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Tez	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-utils	Extras	1.2.0-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hive	Extras	3.1.3.amzn.11-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog-server	Extras	3.1.3.amzn.11-1.amzn2023
Trino	コア	mariadb-connector-java	Extras	2.7.2-1
Trino	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Trino	コア	zookeeper	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	zookeeper-server	Extras	3.9.1.amzn.1-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-groovy	Extras	2.5.4-1.amzn2023
Trino	コア	bigtop-jsvc	Extras	1.2.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Trino	コア	hadoop-lzo	Extras	0.4.19-1.amzn2023
Trino	コア	hive-hcatalog	Extras	3.1.3.amzn.11-1.amzn2023
Trino	コア	hive-jdbc	Extras	3.1.3.amzn.11-1.amzn2023
Zookeeper	コア	emrfs	Extras	2.63.0-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-client	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-datanode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-journalnode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-hdfs-namenode	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-httpfs	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-kms	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-mapreduce-historyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-nodemanager	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-proxyserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-resourcemanager	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023

アプリケーション	アプリケーションタイプ	パッケージ	パッケージタイプ	パッケージバージョン
Zookeeper	コア	hadoop-yarn-timelineserver	Extras	3.3.6.amzn.4-1.amzn2023
Zookeeper	コア	ranger-kms	Extras	2.0.0-1.amzn2023

7.2.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.2.0 に関する情報が含まれています。7.2.0 からの変更が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.2.0 application upgrades include Iceberg 1.5.0-amzn-0 and Delta 3.1.0。
- Amazon EMR は、HBase、Flink、Hive などの他のアプリケーションを Amazon S3 Express One Zone ストレージクラスで使用できるようにサポートを追加します。
- このリリースでは、復元されたオブジェクトを読み取る機能が追加されているため、S3A プロトコルを使用して S3 の場所から Glacier オブジェクトを読み取ることができます。この機能は Spark、Flink、Hive で動作します。
- マネージドスケーリングを使用したノードラベル - 市場タイプまたはノードタイプに基づいてインスタンスでノードラベルを使用して、Amazon EMR の自動スケーリングを改善します。詳細については、「Using managed scaling in Amazon EMR」を参照してください。

既知の問題

- Python 3.11 は EMR Studio ではサポートされていません。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。廃止されるエグゼキューターは Yarn がタスクを割り当てるために使用できないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed

Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- このリリースでは、内部ステップクリーンアップ操作中に発生する可能性のあるデッドロックの問題を修正しました。この操作は、EMR クラスターで完了するステップのライフサイクルを管理します。この問題は、ステップ操作やスケーリングなどの重要な Amazon EMR 操作に影響します。
- このリリースでは、特定の既存のログファイルを持つカスタム AMI を含むカスタムクラスターが Amazon EMR ログ管理デーモンを失敗させる可能性がある問題を解決します。
- Amazon EMR 7.2.0 は、クラスター管理およびモニタリングアクティビティを担当する Amazon EMR デーモンを AWS SDK v1 から v2 にアップグレードします。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカル

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 欧州 (ロンドン）、、 アジアパシフィック (メルボルン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カ

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィッ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)、

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中東 (バーレーン) 、 カナダ (中部) 、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (マレーシア） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (マレーシア) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1121.0	6.1.115-126.197.amzn2023	2024 年 12 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1031.0	6.1.112-124.190.amzn2023	2024 年 11 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年5月2024日1001.1	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0819.0	6.1.102-111.182.amzn2023	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0730.0	6.1.97-104.177.amzn2023	2024 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0722.0	6.1.97-104.177.amzn2023	2024 年 7 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0708.0	6.1.96-102.177.amzn2023	2024 年 7 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

7.2.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.2 以降には、Corretto 17 (JDK 17) をサポートするアプリケーションには、Apache Livy を除き、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.2.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	17、11、8
HBase	11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	21、17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	8

7.2.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は

Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.1.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.11.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.15.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-notebook-env	1.16.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.32.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.11.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.2.2	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.63.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.18.1-amzn-1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.18.1-amzn-1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.3.6-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.6-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.6-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.6-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.6-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.6-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.6-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.6-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.6-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.6-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.6-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-6	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-6	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-6	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-6	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-6	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-6	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-11	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-11	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-11	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-11	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-11	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-11	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-11	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.14.1-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.14.1-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.14.1-amzn-1	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.14.1-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.5.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.285-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.285-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.285-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	436-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	436-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	436-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.1-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.1-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	3.5.1-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.1-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	24.02.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-9	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-9	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.1-amzn-1	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.1-amzn-1	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.2.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-7.2.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler .xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceM anager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServe r2, Hive MetaStore, Hadoop

分類	説明	再設定アクション
		Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。	Restarts the CloudWatchAgent service.

7.2.0 変更ログ

7.2.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2024-07-25	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.2.0 リリースノートの初版が公開されました
2024-07-16	初回リリース	Amazon EMR 7.2.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.1.0

7.1.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、FlinkHBase、HCatalog、、Hadoop、Hive、、HudiHue、、Icebe
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
AWS SDK for Java	2.25.70、1 .12.747	2.23.18、1 .12.705	2.23.18、1 .12.656	2.20.160-amzn-0、1. 12.569
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9
Scala	2.12.18	2.12.17	2.12.17	2.12.17
AmazonClo udWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300031.1
Delta	3.2.0-amzn-0	3.1.0	3.0.0	3.0.0
Flink	1.18.1	1.18.1	1.18.1	1.18.0

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.6	3.3.6	3.3.6	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.15.0-amzn-0	0.14.1-amzn-1	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-1
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.5.2-amzn-0	1.5.0-amzn-0	1.4.3-amzn-0	1.4.2-amzn-0
JupyterEn terpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.7.1
MXNet	-	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.285	0.285	0.284	0.283
Spark	3.5.1	3.5.1	3.5.0	3.5.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.11.0	2.11.0	2.11.0

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	442	436	435	426
Zeppelin	0.11.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.9.1	3.9.1	3.9.1	3.5.10

7.1.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.1.0 に関する情報が含まれています。7.1.0 からの変更が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.1.0 application upgrades include Livy 0.8.0, Trino 435, and ZooKeeper 3.9.1。
- 異常なノードの置換 – Amazon EMR 7.1.0 以降では、異常なノードの置換がデフォルトで有効になっているため、Amazon EMR は異常なノードを正常に置き換えます。Amazon EMR リリース 7.0.0 以前の既存のワークフローに影響しないように、クラスターで終了保護を有効にした場合、異常なノードの置換は無効になります。
- CloudWatch エージェント – Amazon EMR 設定 API を使用して、追加のシステムメトリクスを使用するように CloudWatch エージェントを設定し、アプリケーションメトリクスを追加して、メトリクスの送信先を変更します。

既知の問題

- アプリケーション JupyterEnterpriseGateway (JEG) は、このリリースでは Python 3.11 をサポートしていません。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキュターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn

は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- Amazon EMR 7.1.0 はデフォルトで Python 3.9 をサポートしていますが、Amazon EMR 7.1.0 の Livy 0.8.0 と Spark は Python 3.11 をサポートしています。
- このリリースでは、Python バージョン 3.11 で PySpark を使用する場合に、各行を 1 つずつ実行する必要があるという問題を修正しました。
- Zeppelin のアップグレード – Amazon EMR 7.1.0 には、Zeppelin の AWS SDK for Java v2 へのアップグレードが含まれています。このアップグレードにより、Zeppelin S3 ノートブックはカスタム暗号化マテリアルプロバイダーを受け入れることができます。 AWS SDK for Java v2 は、EncryptionMaterialsProvider インターフェイスを削除します。Amazon EMR 7.1.0 にアップグレードする場合は、カスタム暗号化を使用する場合は、Keyring インターフェイスを実装する必要があります。Keyring インターフェイスを実装する方法の例については、KmsKeyring.java を参照してください。
- Amazon EMR リリース 7.1.0 にアップグレードする場合は、AES/GCM/NoPadding の AES アルゴリズムを使用してキーを生成するように、ローカルディスク暗号化用のカスタムキープロバイダーを変更します。アルゴリズムを更新しない場合、クラスターの作成がエラー `Local disk encryption failed on master instance (i-123456789) due to internal error.` で失敗する可能性があります。カスタムキープロバイダーの作成の詳細については、「Creating a custom key provider」を参照してください。
- Amazon EMR 7.1.0 では、開いているファイルハンドルを持つファイルのログ切り捨てロジックを改善することで、ディスク容量が少ない条件下でのノードの回復性を向上しています。
- このリリースでは、エンコーディングロジックとデコードロジックを強化し、ノードの再起動時に Amazon EMR デーモンがファイルの読み取りと書き込みを行うときのデータ破損やノード障害のリスクを最小限に抑えます。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 また

は Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年6月2025日123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1121.0	6.1.115-126.197.amzn2023	2024 年 12 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1031.0	6.1.112-124.190.amzn2023	2024 年 11 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 1001.1	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0819.0	6.1.102-111.182.amzn2023	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0730.0	6.1.97-104.177.amzn2023	2024 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0722.0	6.1.97-104.177.amzn2023	2024 年 7 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0708.0	6.1.96-102.177.amzn2023	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 3 月 2024 日 0219.0	6.1.77-99.164.amzn2023	2024 年 5 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

7.1.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.1 以降には、Corretto 17 (JDK 17) をサポートするアプリケーションには、Apache Livy を除き、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.1.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	17、11、8
HBase	11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	8

7.1.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は

Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.0.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300032.2-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.10.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.31.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.10.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.2.2	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.62.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.18.1-amzn-0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.18.1-amzn-0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.3.6-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.6-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.6-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.6-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.6-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.6-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.6-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.6-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.6-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.6-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.6-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-5	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-5	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-5	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-5	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-5	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-5	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-10	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-10	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-10	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-10	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-10	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-10	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-10	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.14.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.14.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.14.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.14.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.4.3-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.8.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.284-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.284-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.284-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	435-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	435-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	435-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.0-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.5.0-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	3.5.0-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.0-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.10.0-amzn-1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-8	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-8	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.9.1-amzn-0	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.9.1-amzn-0	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.1.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-7.1.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-logback	ZooKeeper の logback.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
emr-metrics	このノードの emr メトリクス設定を変更します。

7.1.0 変更ログ

7.1.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2024-05-10	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.1.0 リリースノートの初版が公開されました
2024-05-08	デプロイ完了	Amazon EMR 7.1.0 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2024-04-23	初回リリース	Amazon EMR 7.1.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 7.0.0

7.0.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、AmazonCloudWatchAgent、、Delta、Flink、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、Icebe および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
AWS SDK for Java	2.25.70、1 .12.747	2.23.18、1 .12.705	2.23.18、1 .12.656	2.20.160-amzn-0、1. 12.569
Python	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9、3.11	3.9
Scala	2.12.18	2.12.17	2.12.17	2.12.17
AmazonCloudWatchAgent	1.300032.2	1.300032.2	1.300032.2	1.300031.1
Delta	3.2.0-amzn-0	3.1.0	3.0.0	3.0.0
Flink	1.18.1	1.18.1	1.18.1	1.18.0
Ganglia	-	-	-	-
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.6	3.3.6	3.3.6	3.3.6
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.15.0-amzn-0	0.14.1-amzn-1	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-1
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.5.2-amzn-0	1.5.0-amzn-0	1.4.3-amzn-0	1.4.2-amzn-0

	emr-7.3.0	emr-7.2.0	emr-7.1.0	emr-7.0.0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.5.0
Livy	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.7.1
MXNet	-	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.285	0.285	0.284	0.283
Spark	3.5.1	3.5.1	3.5.0	3.5.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.16.1	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	442	436	435	426
Zeppelin	0.11.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.9.1	3.9.1	3.9.1	3.5.10

7.0.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.0.0 に関する情報が含まれています。6.15.0 からの変更が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.0.0 application upgrades include Python 3.9, Spark 3.5, Flink 1.18, and Delta 3.0。また、このリリースでは、Amazon CloudWatch エージェント アプリケーションのサポートが追加され、Ganglia のサポートは削除されました。
- Amazon Corretto 17 - Amazon EMR リリース 7.0 以降には、Corretto 17 (JDK 17) をサポートするアプリケーションには、Apache Livy を除き、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。このリリースでサポートされている JDK バージョンの詳細については、「7.0.0 のデフォルト Java バージョン」を参照してください。
- Amazon Linux 2023 - 7.0 リリースでは、Amazon EMR クラスターはデフォルトで AL2023 で実行されるようになりました。これがデフォルトの AMI バージョンにどのように影響するかについては、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ソフトウェア更新に関する考慮事項」を参照してください。また、AL2023 では Python 2.7 が削除されているため、Python を必要とするコンポーネントはすべて Python 3 で作成する必要があることにも注意してください。
- **s3a** を使用した Outposts での S3 - Amazon EMR は、`s3a` ファイルシステムを使用して Outposts バケットでの Amazon S3 をサポートするようになりました。Outposts 上の S3 の詳細については、Amazon Simple Storage Service ユーザーガイドの「S3 on Outposts とは」を参照してください。

既知の問題

- Python バージョン 3.10 以降で PySpark を使用している場合、一度に複数の行を実行することはできません。各行を 1 つずつ実行する必要があります。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割

り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- クラスター内のすべてのインスタンスの状態を維持するために、Amazon EMR は Apache YARN、Apache HDFS、および Kerberos と統合されています。7.0 では、スケーリングやその他の操作により終了したインスタンスの状態を確実に削除できるように、これらの統合を強化しました。頻繁にスケーリングされ、その存続期間中に終了したインスタンスが何千も蓄積されるため、マネージドスケーリングが有効になっている長期間有効なクラスターでは特に重要です。
- このリリースでは、Kerberos 設定が改善され、AES ベースの暗号のみがサポートされるようになりました。AES ベースではない暗号を使用する Kerberos KDC では、Amazon EMR リリース 7.0.0 以降で実行される EMR クラスターではサポートされなくなりました。AES ベースの暗号は、クラスターに最強のセキュリティを提供します。
- AWS SDK 2.x 移行の一環として、Amazon EMR 7.0 には互換性のために Spark Kinesis コネクタの更新が含まれています。このアップデートは Apache Spark のコミュニティバージョンではご利用いただけません。7.0 より前の Amazon EMR リリースの Spark Kinesis コネクタを使用する場合、ワークロードを Amazon EMR 7.0 に移行する前に、アプリケーションコードを SDK 2.x で実行するように移行する必要があります。詳細については、「Amazon EMR 7.0 用スパークキネシスコネクターの SDK 2.x への移行」を参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカル

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			タ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (マレーシア） 欧州 (ロンドン）、、 アジアパシフィック (メルボルン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ルガリー）欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏）欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン) 、、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 20250510	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 428.1	6.1.134-150.224.amzn2023	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0414.0	6.1.132-147.221.amzn2023	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中東 (バーレーン) 、 カナダ (中部) 、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 123.4	6.1.124-134.200.amzn2023	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 20250110	6.1.119-129.201.amzn2023	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1121.0	6.1.115-126.197.amzn2023	2024 年 12 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2024 日 1031.0	6.1.112-124.190.amzn2023	2024 年 11 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 1001.1	6.1.109-118.189.amzn2023	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0819.0	6.1.102-111.182.amzn2023	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年5月2024日0730.0	6.1.97-104.177.amzn2023	2024 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 5 月 2024 日 0722.0	6.1.97-104.177.amzn2023	2024 年 7 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年5月2024日0708.0	6.1.96-102.177.amzn2023	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 3 月 2024 日 0304.0	6.1.79-99.164.amzn2023	2024 年 3 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年3月2024日0219.0	6.1.77-99.164.amzn2023	2024 年 3 月 1 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 3 月 2024 日 0205.0	6.1.75-99.163.amzn2023	2024 年 2 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023年3月2024日0122.0	6.1.72-96.166.amzn2023	2024 年 2 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 3 月 2024 日 0108.0	6.1.72-96.166.amzn2023	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、カ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 3 月 2023 日 1211.4	6.1.66-91.160.amzn2023	2023 年 12 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

7.0.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 7.0 以降には、Corretto 17 (JDK 17) をサポートするアプリケーションには、Apache Livy を除き、デフォルトで Amazon Corretto 17 (OpenJDK 上に構築) が付属しています。

次の表は、Amazon EMR 7.0.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	11、8
HBase	11、8
HCatalog	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	8

7.0.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
adot-java-agent	1.31.0	アプリケーションデーモンからメトリクスを収集する Java エージェント。
delta	3.0.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。
emr-amazon-cloudwatch-agent	1.300031.1-amzn-0	Amazon EC2 インスタンスから内部システムレベルのメトリクスとカスタムアプリケーションメトリクスを収集するアプリケーション。
emr-ddb	5.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.9.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.13.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.30.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.9.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.2.1	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.61.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.18.0-amzn-0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.18.0-amzn-0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
hadoop-client	3.3.6-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.6-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.6-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.3.6-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.6-amzn-2	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.6-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.6-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.6-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.6-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.6-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.6-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-4	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.4.17-amzn-4	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-4	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-4	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-4	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-4	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-9	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.14.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.14.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.14.0-amzn-1	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.14.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.4.2-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.283-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.283-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.283-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	426-amzn-1	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	426-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	426-amzn-1	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.3.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.5.0-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	3.5.0-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.5.0-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.5.0-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.10.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-7	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-7	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.58	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

7.0.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-7.0.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

7.0.0 変更ログ

7.0.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-12-29	デプロイ完了	Amazon EMR 7.0.0 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-12-28	ドキュメント公開	Amazon EMR 7.0.0 リリースノートの初版が公開されました
2023-12-19	初回リリース	Amazon EMR 7.0.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR 6.x リリースバージョン

このセクションでは、各 Amazon EMR 6.x リリースバージョンで利用可能なアプリケーションバージョン、リリースノート、コンポーネントバージョン、および設定分類を示しています。

クラスターを起動するときに、複数の Amazon EMR リリースから選択できます。これにより、互換性の要件に適合するアプリケーションバージョンをテストして使用できます。リリース番号はリリースラベルで指定します。リリースラベルの形式は `emr-x.x.x` です。例えば、`emr-7.9.0`。

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

すべての Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョンの包括的な表については、「Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。

トピック

- [Amazon EMR リリース 6.1.1]
- [Amazon EMR リリース 6.1.0]
- [Amazon EMR リリース 6.0.1]
- [Amazon EMR リリース 6.0.0]

Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン

各 Amazon EMR 6.x リリースで利用可能なアプリケーションバージョンを示した包括的な表については、ブラウザで「Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン」を開いて確認してください。

Amazon EMR リリース 6.15.0

6.15.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、、Hue、IcebergJupyterEnterpris
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.15.0	emr-6.14.0	emr-6.13.0	emr-6.12.0
AWS SDK for Java	2.20.160-amzn-0、1.12.569	1.12.543	1.12.513	1.12.490
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.17	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.4.0
Flink	1.17.1	1.17.1	1.17.0	1.17.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.17	2.4.17
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.6	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.14.0-amzn-0	0.13.1-amzn-2	0.13.1-amzn-1	0.13.1-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.4.0-amzn-0	1.3.1-amzn-0	1.3.0-amzn-1	1.3.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.5.0	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1

	emr-6.15.0	emr-6.14.0	emr-6.13.0	emr-6.12.0
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.3	5.1.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.283	0.281	0.281	0.281
Spark	3.4.1	3.4.1	3.4.1	3.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	426	422	414	414
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.15.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.15.0 に関する情報が含まれています。6.14.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.15.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 6.15.0 application upgrades include Apache Hadoop 3.3.6, Apache Hudi 0.14.0-amzn-0, Iceberg 1.4.0-amzn-0, and Trino 426.

- EC2 で実行される EMR クラスターの起動時間の短縮 - EC2 クラスターでの Amazon EMR の起動が最大 35% 速くなりました。この改善により、お客様の大多数はクラスターを 5 分以内に起動できます。
- EMR Studio 用 CodeWhisperer - Amazon EMR Studio で Amazon CodeWhisperer を使用すると、JupyterLab でコードを作成する際にリアルタイムで推奨事項を取得できるようになりました。CodeWhisperer により、コメントを完成させたり、1 行のコードを完成させたり、1 行ずつ推奨を行ったり、完全な形式の関数を生成したりできます。
- Flink によるジョブの再起動時間の短縮 - Amazon EMR 6.15.0 以降では、Apache Flink にいくつかの新しいメカニズムが用意され、タスクの回復またはスケーリング操作中のジョブの再起動時間を短縮できます。これにより、実行グラフの回復と再開の速度を最適化してジョブの安定性を高めることができます。
- オープンテーブル形式のテーブルレベルおよびきめ細かなアクセスコントロール – Amazon EMR 6.15.0 以降では、 Glue Data Catalog のデータにアクセスする EC2 クラスターで Amazon EMR で Spark AWS ジョブを実行すると、 AWS Lake Formation を使用して Hudi、Iceberg、または Delta Lake ベースのテーブルにテーブル、行、列、およびセルレベルのアクセス許可を適用できます。
- Hadoop のアップグレード - Amazon EMR 6.15.0 には、Apache Hadoop のバージョン 3.3.6 へのアップグレードが含まれています。Hadoop 3.3.6 は、2023 年 6 月にアパッチによってリリースされた Amazon EMR 6.15 のデプロイ時の最新バージョンでした。Amazon EMR の以前のリリース (6.9.0 から 6.14.x) では Hadoop 3.3.3 が使用されていました。

  このアップグレードには数百の改善と修正が含まれており、再構成可能なデータノードパラメータ、すべてのライブデータノードで一括再構成操作を開始する `DFSAdmin` オプション、シーク負荷の高いリーダーが複数の読み取り範囲を指定できるベクトル API などの機能が含まれています。Hadoop 3.3.6 では、HBase が他のストレージシステム実装でも実行できるように、HDFS API と先行書き込みログ (WAL) のセマンティクスのサポートも追加されています。詳細については、「Apache Hadoop ドキュメント」のバージョン 3.3.4、3.3.5、3.3.6 の変更ログを参照してください。
- AWS SDK for Java バージョン 2 のサポート - アプリケーションが v2 をサポートしている場合は、Amazon EMR 6.15.0 アプリケーションは AWS SDK for Java バージョン 1.12.569 または 2.20.160 を使用できます。 AWS SDK for Java 2.x は、バージョン 1.x コードベースの大幅な書き換えです。今回のバージョンは Java 8 以降をベースに構築されており、これまで要望の声が高かった機能が複数追加されています。このバージョンでは、ノンブロッキング I/O がサポートされており、ランタイム時にさまざまな HTTP 実装をプラグインすることができます。SDK for Java v1 から v2 への移行ガイドを含めた詳細については、AWS SDK for Java バージョン 2 ガイドを参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは ExecutorStateDECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- 高可用性 EMR クラスターを改善するため、このリリースでは、IPv6 エンドポイントを使用するローカルホスト上の Amazon EMR デーモンへの接続が可能になりました。
- このリリースでは、TLS 1.2 が高可用性クラスターのすべてのプライマリノードにプロビジョニングされた ZooKeeper と通信できるようになります。
- このリリースでは、プライマリノードで管理される ZooKeeper トランザクションログファイルの管理が改善され、ログファイルが範囲外になり、クラスターの操作が中断されるシナリオを最小限に抑えることができます。
- このリリースにより、高可用性 EMR クラスターのノード内通信の回復力が高まりました。この改善により、ブートストラップアクションが失敗したり、クラスターの起動に失敗したりする可能性が低くなります。
- Amazon EMR 6.15.0 の Tez では、入力スプリットを Tez グループ分割で非同期的に開くように指定できる設定が導入されています。これにより、1 つの Tez グループ分割で多数の入力分割がある場合に、読み取りクエリのパフォーマンスが向上します。詳細については、「Tez 非同期スプリットオープン」を参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネル バージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、中国 (北京)、アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (ムンバイ)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、米国東部 (バージニア北部)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、、アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア） アジアパシフィッ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (AmazonLinux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (マレーシア）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネル バージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 13 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

6.15.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Trino を除き、Amazon Corretto 8 を使用するすべてのアプリケーションをデフォルトでサポートします。Trino の場合、Amazon EMR は Amazon EMR リリース 6.9.0 以降、デフォルトで Amazon Corretto 17 をサポートしています。Amazon EMR は Amazon Corretto 11 および 17 を使用する一部のアプリケーションもサポートしています。これらのアプリケーションのリストを以下の表に示します。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

Amazon EMR は Apache Spark、Apache Hadoop、および Apache Hive で Amazon Corretto 11 と 17 の両方をサポートしていますが、これらのバージョンの Corretto を使用すると、一部のワークロードでパフォーマンスが低下する可能性があります。デフォルトを変更する前に、ワークロードをテストすることをお勧めします。

次の表は、Amazon EMR 6.15.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	11、8
Ganglia	8
HBase	11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	17
Zeppelin	8
Pig	8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Zookeeper	8

6.15.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.4.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	5.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.8.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.29.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.8.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.2.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.60.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.17.1-amzn-1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.17.1-amzn-1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.6-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.6-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.6-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.6-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.6-amzn-1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.6-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	3.3.6-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.6-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.6-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	3.3.6-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.6-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-3	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-8	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-8	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-8	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-8	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-8	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-8	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-8	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.14.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.14.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-trino	0.14.0-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.14.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.4.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.283-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.283-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.283-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	426-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	426-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-client	426-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.4.1-amzn-2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.4.1-amzn-2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.4.1-amzn-2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.4.1-amzn-2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.08.1-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-6	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-6	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.15.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.15.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler .xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceM anager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServe r2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.15.0 変更ログ

6.15.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-11-17	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.15.0 リリースノートの初版が公開されました
2023-11-17	デプロイ完了	Amazon EMR 6.15.0 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました

日付	イベント	説明
2023-11-13	初回リリース	Amazon EMR 6.15.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.14.0

6.14.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.14.0	emr-6.13.0	emr-6.12.0	emr-6.11.1
AWS SDK for Java	1.12.543	1.12.513	1.12.490	1.12.446
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15

	emr-6.14.0	emr-6.13.0	emr-6.12.0	emr-6.11.1
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.2.0
Flink	1.17.1	1.17.0	1.17.0	1.16.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.17	2.4.15
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.13.1-amzn-2	0.13.1-amzn-1	0.13.1-amzn-0	0.13.0-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.3.1-amzn-0	1.3.0-amzn-1	1.3.0-amzn-0	1.2.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.3	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-6.14.0	emr-6.13.0	emr-6.12.0	emr-6.11.1
Presto	0.281	0.281	0.281	0.279
Spark	3.4.1	3.4.1	3.4.0	3.3.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	422	414	414	410
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.14.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.14.0 に関する情報が含まれています。6.13.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.14.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.14.0 supports Apache Spark 3.4.1, Apache Spark RAPIDS 23.06.0-amzn-2, Flink 1.17.1, Iceberg 1.3.1, and Trino 422.
- Amazon EMR 6.14.0 以降で作成したクラスターについて、`ap-southeast-3` アジアパシフィック (ジャカルタ) リージョンで Amazon EMR Managed Scaling を利用できるようになりました。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを

使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および`spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- 6.14.0 リリースでは、Amazon EC2 で実行されている Amazon EMR でのログ管理が最適化されています。その結果、クラスターログのストレージコストがわずかに削減される可能性があります。
- 6.14.0 リリースでは、Amazon EBS ボリュームのサイズに大きなばらつきがあるさまざまなコアインスタンスを考慮して、スケーリングワークフローが改善されています。この改善はコアノードにのみ適用され、タスクノードのスケールダウン操作には影響しません。
- 6.14.0 リリースでは、Amazon EMR が Apache Hadoop YARN ResourceManager and HDFS NameNode などのオープンソースアプリケーションとやり取りする方法が改善されています。この改善により、クラスタースケーリングによる運用遅延のリスクが軽減され、オープンソースアプリケーションとの接続の問題が原因で発生する起動障害が軽減されます。
- 6.14.0 リリースでは、クラスター起動時のアプリケーションのインストールが最適化されます。これにより、Amazon EMR アプリケーションの特定の組み合わせのクラスター起動時間が短縮されます。
- 6.14.0 リリースでは、カスタムドメインの VPC で実行されているクラスターがコアノードまたはタスクノードの再起動に遭遇したときに、クラスターのスケールダウン操作が停止することがある問題が修正されています。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム）、 中東 (バーレーン）、 中国 (北京）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (マレーシア）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (東京) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 17 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 9 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

6.14.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Trino を除き、Amazon Corretto 8 を使用するすべてのアプリケーションをデフォルトでサポートします。Trino の場合、Amazon EMR は Amazon EMR リリース 6.9.0 以降、デフォルトで Amazon Corretto 17 をサポートしています。Amazon EMR は Amazon Corretto 11 および 17 を使用する一部のアプリケーションもサポートしています。これらのアプリケーションのリストを以下の表に示します。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

Amazon EMR は Apache Spark、Apache Hadoop、および Apache Hive で Amazon Corretto 11 と 17 の両方をサポートしていますが、これらのバージョンの Corretto を使用すると、一部のワークロードでパフォーマンスが低下する可能性があります。デフォルトを変更する前に、ワークロードをテストすることをお勧めします。

次の表は、Amazon EMR 6.14.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Ganglia	8
HBase	11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	8

6.14.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.4.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。
emr-ddb	5.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.7.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.28.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.7.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.1.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.59.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.17.1-amzn-0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.17.1-amzn-0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-6	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-2	Apache HBase クラスター用の修復ツール。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.3-amzn-7	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-7	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-7	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-7	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-7	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-7	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-7	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.13.1-amzn-2	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.13.1-amzn-2	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.13.1-amzn-2	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-spark	0.13.1-amzn-2	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.3.1-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.281-amzn-2	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.281-amzn-2	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.281-amzn-2	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	422-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	422-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-client	422-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.4.1-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.4.1-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.4.1-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.4.1-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.06.0-amzn-2	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-5	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-5	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.14.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.14.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts HBaseRegi onserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore , Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.prop erties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.14.0 変更ログ

6.14.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-11-02	デプロイ完了	Amazon EMR 6.14.0 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-10-10	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.14.0 リリースノートの初版が公開されました

日付	イベント	説明
2023-10-04	初回リリース	Amazon EMR 6.14.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.13.0

6.13.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.13.0	emr-6.12.0	emr-6.11.1	emr-6.11.0
AWS SDK for Java	1.12.513	1.12.490	1.12.446	1.12.446
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15

	emr-6.13.0	emr-6.12.0	emr-6.11.1	emr-6.11.0
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.4.0	2.4.0	2.2.0	2.2.0
Flink	1.17.0	1.17.0	1.16.0	1.16.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.17	2.4.17	2.4.15	2.4.15
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.13.1-amzn-1	0.13.1-amzn-0	0.13.0-amzn-0	0.13.0-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Iceberg	1.3.0-amzn-1	1.3.0-amzn-0	1.2.0-amzn-0	1.2.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.3	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-6.13.0	emr-6.12.0	emr-6.11.1	emr-6.11.0
Presto	0.281	0.281	0.279	0.279
Spark	3.4.1	3.4.0	3.3.2	3.3.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	414	414	410	410
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.13.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.13.0 に関する情報が含まれています。6.12.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.13.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.13.0 supports Apache Spark 3.4.1, Apache Spark RAPIDS 23.06.0-amzn-1, CUDA Toolkit 11.8.0, and JupyterHub 1.5.0.

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。廃止されるエグゼキューターは Yarn がタスクを割り当てるために使用できないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用して

いる場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを TRUE (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- 6.13.0 リリースでは、Amazon EMR ログ管理デーモンが改善され、クラスター終了コマンドが発行されたときに、すべてのログが定期的に Amazon S3 にアップロードされるようになりました。これにより、クラスターの終了が速くなります。
- 6.13.0 リリースでは Amazon EMR のログ管理機能が強化され、すべてのログファイルを Amazon S3 に一貫してタイムリーにアップロードできるようになりました。これは特に、長時間稼働する EMR クラスターにメリットをもたらします。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム）、 中東 (バーレーン）、 中国 (北京） アジアパシフィック (ムンバイ）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京) 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、イスラエル (テルアビブ）カナダ西部 (カルガリー）欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

6.13.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Trino を除き、Amazon Corretto 8 を使用するすべてのアプリケーションをデフォルトでサポートします。Trino の場合、Amazon EMR は Amazon EMR リリース 6.9.0 以降、デフォルトで Amazon Corretto 17 をサポートしています。Amazon EMR は Amazon Corretto 11 および 17 を使用する一部のアプリケーションもサポートしています。これらのアプリケーションのリストを以下の表に示します。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

Amazon EMR は Apache Spark、Apache Hadoop、および Apache Hive で Amazon Corretto 11 と 17 の両方をサポートしていますが、これらのバージョンの Corretto を使用すると、一部のワークロードでパフォーマンスが低下する可能性があります。デフォルトを変更する前に、ワークロードをテストすることをお勧めします。

次の表は、Amazon EMR 6.13.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Ganglia	8
HBase	11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	8

6.13.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.4.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。
emr-ddb	5.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.6.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.27.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.6.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.1.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.58.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.17.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.17.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-5	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.3-amzn-6	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-6	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-6	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-6	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-6	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-6	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-6	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.13.1-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.13.1-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.13.1-amzn-1	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-spark	0.13.1-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.3.0-amzn-1	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.281-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.281-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.281-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	414-amzn-1	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	414-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-client	414-amzn-1	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.4.1-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.4.1-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.4.1-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.4.1-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.06.0-amzn-1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-4	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.13.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.13.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.13.0 変更ログ

6.13.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-09-23	デプロイ完了	Amazon EMR 6.13.0 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-09-12	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.13.0 リリースノートの初版が公開されました

日付	イベント	説明
2023-09-01	初回リリース	Amazon EMR 6.13.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.12.0

6.12.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、、Hudi、Hue、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.12.0	emr-6.11.1	emr-6.11.0	emr-6.10.1
AWS SDK for Java	1.12.490	1.12.446	1.12.446	1.12.397
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15

	emr-6.12.0	emr-6.11.1	emr-6.11.0	emr-6.10.1
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.4.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Flink	1.17.0	1.16.0	1.16.0	1.16.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.17	2.4.15	2.4.15	2.4.15
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.13.1-amzn-0	0.13.0-amzn-0	0.13.0-amzn-0	0.12.2-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.10.0
Iceberg	1.3.0-amzn-0	1.2.0-amzn-0	1.2.0-amzn-0	1.1.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.5.0
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.3	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-6.12.0	emr-6.11.1	emr-6.11.0	emr-6.10.1
Presto	0.281	0.279	0.279	0.278
Spark	3.4.0	3.3.2	3.3.2	3.3.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	414	410	410	403
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.12.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.12.0 に関する情報が含まれています。6.11.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.12.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.12.0 supports Apache Spark 3.4.0, Apache Spark RAPIDS 23.06.0-amzn-0, CUDA 11.8.0, Apache Hudi 0.13.1-amzn-0, Apache Iceberg 1.3.0-amzn-0, Trino 414, and PrestoDB 0.281.
- Amazon EMR リリース 6.12.0 以降は、Apache Livy、HiveServer2 (HS2) 経由の Apache Hive、Trino、Presto、Hue との LDAP 統合をサポートしています。6.12.0 以降を使用する EMR クラスターに Apache Spark と Apache Hadoop をインストールし、LDAP を使用するように設定することもできます。詳細については、「Amazon EMR での認証に Active Directory または LDAP サーバーを使用する」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Java 11 ランタイム環境で Flink を実行できます。詳細については、「Flink が Java 11 で実行されるよう設定する」を参照してください。
- 6.12.0 リリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- 6.12.0 リリースでは、正常に廃止されているコアノードが完全に廃止される前に何らかの理由で異常が発生すると、クラスターのスケールダウン操作が停止することがある問題が修正されています。
- 6.12.0 リリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- 6.12.0 リリースでは、インスタンスの状態変化を記録する速度が向上し、Amazon EMR のヘルスモニタリングサービスのパフォーマンスと効率が向上します。この改善により、複数のカスタムクライアントツールやサードパーティーアプリケーションを実行しているクラスターノードのパフォーマンスが低下する可能性が低くなります。
- 6.12.0 リリースでは、Amazon EMR のクラスター上のログ管理デーモンのパフォーマンスが向上しています。その結果、同時実行性の高いステップを実行する EMR クラスターでは、パフォーマンスが低下する可能性が低くなります。
- Amazon EMR リリース 6.12.0 では、ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関

連するプロセスが識別されるようになりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。

- 6.12.0 リリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。
- 6.12.0 リリースでは、YARN タイムラインサーバーのログのログローテーションが可能になります。これにより、特に長時間稼働するクラスターのディスク過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- Amazon EMR 6.10.0 以降では、デフォルトのルートボリュームサイズが 15 GB に増えました。以前のリリースでは、デフォルトのルートボリュームサイズは 10 GB でした。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、中国 (北京)、アジアパシフィック (ムンバイ)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (パリ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (東京) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京) 、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ）カナダ西部 (カルガリー）欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaLabel (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

6.12.0 のデフォルト Java バージョン

Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Trino を除き、Amazon Corretto 8 を使用するすべてのアプリケーションをデフォルトでサポートします。Trino の場合、Amazon EMR は Amazon EMR リリース 6.9.0 以降、デフォルトで Amazon Corretto 17 をサポートしています。Amazon EMR は Amazon Corretto 11 および 17 を使用する一部のアプリケーションもサポートしています。これらのアプリケーションのリストを以下の表に示します。クラスターのデフォルト JVM を変更する場合は、クラスター上で実行される各アプリケーションに対して「特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定」の手順を実行してください。1 つのクラスターに使用できる Java ランタイムバージョンは 1 つだけです。Amazon EMR は、同じクラスター上の異なるランタイムバージョンで異なるノードやアプリケーションを実行することをサポートしていません。

Amazon EMR は Apache Spark、Apache Hadoop、および Apache Hive で Amazon Corretto 11 と 17 の両方をサポートしていますが、これらのバージョンの Corretto を使用すると、一部のワークロードでパフォーマンスが低下する可能性があります。デフォルトを変更する前に、ワークロードをテストすることをお勧めします。

次の表は、Amazon EMR 6.12.0 のアプリケーションのデフォルト Java バージョンを示しています。

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Delta	17、11、8
Flink	11、8
Ganglia	8
HBase	11、8
HCatalog	17、11、8
Hadoop	17、11、8
[Hive]	17、11、8
Hudi	17、11、8
Iceberg	17、11、8

アプリケーション	Java/Amazon Corretto バージョン (デフォルトは太字)
Livy	17、11、8
Oozie	17、11、8
フェニックス	8
PrestoDB	8
Spark	17、11、8
Spark RAPIDS	17、11、8
Sqoop	8
Tez	17、11、8
Trino	17
Zeppelin	8
Pig	8
Zookeeper	8

6.12.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.4.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。
emr-ddb	5.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.5.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.26.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.5.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emr-wal-cli	1.1.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.57.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.17.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.17.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	2.4.17-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.17-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.17-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.17-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.17-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.17-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-5	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-5	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-5	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-5	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-5	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-5	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-5	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.13.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.13.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.13.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.13.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.3.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.7.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.3	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.281-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.281-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.281-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	414-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	414-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	414-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.4.0-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	3.4.0-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.4.0-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.4.0-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.06.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-3	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-3	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.12.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.12.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode,

分類	説明	再設定アクション
		Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-java-home	Hadoop の KMS java ホームを変更します。	Not available.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.

分類	説明	再設定アクション
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.12.0 変更ログ

6.12.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-07-27	ドキュメントの更新	6.12 の Java オプションを更新し、JVM を更新するための Oozie チュートリアルを追加しました
2023-07-21	デプロイ完了	Amazon EMR 6.12.0 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました

日付	イベント	説明
2023-07-21	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.12.0 リリースノートの初版が公開されました
2023-07-12	初回リリース	Amazon EMR 6.12.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.11.1

6.11.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.11.1	emr-6.11.0	emr-6.10.1	emr-6.10.0
AWS SDK for Java	1.12.446	1.12.446	1.12.397	1.12.397

	emr-6.11.1	emr-6.11.0	emr-6.10.1	emr-6.10.0
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Flink	1.16.0	1.16.0	1.16.0	1.16.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.15	2.4.15	2.4.15	2.4.15
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.13.0-amzn-0	0.13.0-amzn-0	0.12.2-amzn-0	0.12.2-amzn-0
Hue	4.11.0	4.11.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	1.2.0-amzn-0	1.2.0-amzn-0	1.1.0-amzn-0	1.1.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.5.0	1.5.0
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1

	emr-6.11.1	emr-6.11.0	emr-6.10.1	emr-6.10.0
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.279	0.279	0.278	0.278
Spark	3.3.2	3.3.2	3.3.1	3.3.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.11.0	2.11.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2
Trino (PrestoSQL)	410	410	403	403
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.11.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.11.1 に関する情報が含まれています。6.11.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.11.1 変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および

spark.dynamicAllocation.minExecutorsプロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- ノードが廃止試行と同時に追加または削除されると、ロック競合が原因でデッドロックに陥る可能性があります。その結果、Hadoop Resource Manager (YARN) が応答しなくなり、着信コンテナと現在実行中のコンテナのすべてに影響が及びます。
- このリリースには、高可用性クラスターが再起動後に障害状態から回復できるようにする変更が含まれています。
- このリリースには Hue と HBase のセキュリティ修正が含まれています。
- このリリースでは、Amazon EMR で Spark でワークロードを実行しているクラスターが contains、startsWith、endsWith、および like でメッセージが表示されずに間違った結果を受け取る可能性があるという問題が修正されています。この問題は、Amazon EMR Hive3 メタストアサーバー (HMS) のメタデータを含むパーティション化されたフィールドで式を使用する場合に発生します。
- このリリースでは、ユーザー定義関数 (UDF) がない場合の Glue 側のスロットリングの問題が修正されています。
- このリリースでは、YARN が廃止された場合に、ログプッシャーが S3 にコンテナログをプッシュする前に、ノードログ集約サービスによってコンテナログが削除される問題が修正されています。
- このリリースでは、Hadoop でノードラベルが有効になっている場合の FairShare スケジューラメトリクスの問題が修正されています。
- このリリースでは、spark-defaults.conf の spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled 設定にデフォルトの true 値を設定したときに Spark のパフォーマンスに影響する問題が修正されています。
- このリリースでは、低減タスクがシャッフルデータの読み取りに失敗する問題が修正されています。この問題により、メモリ破損エラーで Hive のクエリが失敗していました。
- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関連するプロセスが識別されるよう

になりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。

- このリリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			シフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア) 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (マレーシア) アジアパシフィッ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaLabel (AmazonLinux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (マレーシア）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

6.11.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.2.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。
emr-ddb	5.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.25.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.4.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.1.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.56.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.16.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.16.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-3.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-3.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-3.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-3.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-3.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-3.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-3.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-3.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-3.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-3.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-3.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.15-amzn-1.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.15-amzn-1.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.15-amzn-1.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.15-amzn-1.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.15-amzn-1.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.15-amzn-1.1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.3-amzn-4.1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-4.1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-4.1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-4.1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-4.1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-4.1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-4.1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.13.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.13.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.13.0-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-spark	0.13.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.2.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.2	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.279-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.279-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.279-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	410-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	410-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-client	410-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.2-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.3.2-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.2-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.2-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.02.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-2.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-2.1	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.11.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.11.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.

分類	説明	再設定アクション
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.11.1 変更ログ

6.11.1 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-30	リリースノートの更新	リリースノートにコントロールプレーン関連の修正をいくつか追加しました
2023-08-21	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.11.1 リリースノートの初版が公開されました
2023-08-16	デプロイ完了	Amazon EMR 6.11.1 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-08-04	初回リリース	Amazon EMR 6.11.1 が限定商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.11.0

6.11.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、、Hue、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.11.0	emr-6.10.1	emr-6.10.0	emr-6.9.1
AWS SDK for Java	1.12.446	1.12.397	1.12.397	1.12.170
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.1.0
Flink	1.16.0	1.16.0	1.16.0	1.15.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.11.0	emr-6.10.1	emr-6.10.0	emr-6.9.1
HBase	2.4.15	2.4.15	2.4.15	2.4.13
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.13.0-amzn-0	0.12.2-amzn-0	0.12.2-amzn-0	0.12.1-amzn-0
Hue	4.11.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	1.2.0-amzn-0	1.1.0-amzn-0	1.1.0-amzn-0	0.14.1-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.4.1	1.5.0	1.5.0	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.279	0.278	0.278	0.276
Spark	3.3.2	3.3.1	3.3.1	3.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.11.0	2.10.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2

	emr-6.11.0	emr-6.10.1	emr-6.10.0	emr-6.9.1
Trino (PrestoSQL)	410	403	403	398
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.11.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.11.0 に関する情報が含まれています。6.10.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.11.0 は、Apache Spark 3.3.2-amzn-0、Apache Spark RAPIDS 23.02.0-amzn-0、CUDA 11.8.0、Apache Hudi 0.13.0-amzn-0、Apache Iceberg 1.2.0-amzn-0、Trino 410-amzn-0、PrestoDB 0.279-amzn-0 をサポートしています。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- Amazon EMR 6.11.0 では、DynamoDB コネクタがバージョン 5.0.0 にアップグレードされています。バージョン 5.0.0 では を使用します AWS SDK for Java 2.x。以前のリリースでは AWS SDK

for Java 1.x が使用されていました。このアップグレードの結果として、Amazon EMR 6.11 で DynamoDB コネクタを使用する前にコードをテストすることを強くお勧めします。

- Amazon EMR 6.11.0 の DynamoDB コネクタは、DynamoDB サービスを呼び出すとき、`dynamodb.endpoint` プロパティに指定されたリージョンの値を使用します。`dynamodb.endpoint` を使用するときに `dynamodb.region` も設定し、両方のプロパティで同じ AWS リージョンをターゲットにすることをお勧めします。を使用し`dynamodb.endpoint`、 を設定しない場合`dynamodb.region`、Amazon EMR 6.11.0 の DynamoDB コネクタは無効なリージョン例外を返し、Amazon EC2 インスタンスメタデータサービス (IMDS) からの AWS リージョン 情報の照合を試みます。コネクタが IMDS からリージョンを取得できない場合は、デフォルトで米国東部 (バージニア北部) (`us-east-1`) になります。次のエラーは、 `dynamodb.region`プロパティを適切に設定しない場合に発生する可能性のある無効なリージョン例外の例です。2.x AWS SDK for Java へのアップグレードの影響を受けるクラスの詳細については、Amazon EMR - `error software.amazon.awssdk.services.dynamodb.model.DynamoDbException: Credential should be scoped to a valid region.` DynamoDB コネクタの GitHub リポジトリの「1.x AWS SDK for Java から 2.x (#175) へのアップグレードコミット」を参照してください。
- このリリースでは、列の名前変更操作後に Delta Lake を使用して Amazon S3 に Delta テーブルデータを保存すると列データが `NULL` になる問題が修正されています。Delta Lake のこの実験的機能の詳細については、「Delta Lake User Guide」の「Column rename operation」を参照してください。
- 6.11.0 リリースでは、複数のプライマリノードがあるクラスターからプライマリノードの 1 つを複製してエッジノードを作成する際に発生する可能性のある問題が修正されています。複製されたエッジノードは、スケールダウン操作で遅延を引き起こしたり、プライマリノードのメモリ使用率が高くなったりする可能性があります。EMR クラスターと通信するエッジノードを作成する方法の詳細については、GitHub の `aws-samples` リポジトリにある「Edge Node Creator」を参照してください。
- 6.11.0 リリースでは、Amazon EMR が再起動後に Amazon EBS ボリュームをインスタンスに再マウントするために使用する自動化プロセスが改善されました。
- 6.11.0 リリースでは、Amazon EMR が Amazon CloudWatch に公開する Hadoop メトリクスに断続的なギャップが生じる問題が修正されています。
- 6.11.0 リリースでは、クラスターのノードの除外リストを含む YARN 構成ファイルの更新が、ディスクの過剰使用により中断される EMR クラスターの問題が修正されています。更新が不完全だと、今後のクラスターのスケールダウン操作が妨げられます。このリリースでは、クラスターが正常に動作し、スケーリング操作が期待どおりに機能することが保証されます。

- Amazon EMR 6.10.0 以降では、デフォルトのルートボリュームサイズが 15 GB に増えました。以前のリリースでは、デフォルトのルートボリュームサイズは 10 GB でした。
- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために `yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値が `false` に設定されています。

  この修正は YARN-9608 によって発生した問題を解決するものですが、マネージドスケーリングが有効になっているクラスターでのシャッフルデータ損失が原因で Hive ジョブが失敗する可能性があります。このリリースでは、Hive ワークロードにも `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-shuffle-data` を設定することで、このリスクを軽減しました。この設定は、Amazon EMR リリース 6.11.0 以降でのみ使用できます。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.`*`1`*) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネル バージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

6.11.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.2.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
delta-standalone-connectors	0.6.0	Delta コネクタは、Flink、Hive、Presto などのエンジンと Delta Lake を統合するためのさまざまなランタイムを提供します。
emr-ddb	5.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.25.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.4.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.1.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.56.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.16.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.16.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.15-amzn-1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.15-amzn-1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.15-amzn-1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.15-amzn-1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.15-amzn-1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.15-amzn-1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.3-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-4	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.13.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.13.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.13.0-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-spark	0.13.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.2.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.2	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.279-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.279-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.279-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	410-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	410-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-client	410-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.2-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.3.2-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.2-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.2-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	23.02.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-2	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.11.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.11.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler .xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceM anager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServe r2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.

分類	説明	再設定アクション
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.11.0 変更ログ

6.11.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-21	更新	Hadoop 3.3.3 で発生した問題を修正しました。
2023-07-26	更新	新しい OS リリースラベル `2.0.20230612.0` と `2.0.20230628.0` 。
2023-06-09	デプロイ完了	Amazon EMR 6.11.0 がすべての[サポートされているリージョン](#)に完全にデプロイされました
2023-06-09	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.11.0 リリースノートの初版が公開されました
2023-06-08	初回リリース	Amazon EMR 6.11.0 が初回商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.10.1

6.10.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、、Hue、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.10.1	emr-6.10.0	emr-6.9.1	emr-6.9.0
AWS SDK for Java	1.12.397	1.12.397	1.12.170	1.12.170
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.2.0	2.2.0	2.1.0	2.1.0
Flink	1.16.0	1.16.0	1.15.2	1.15.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.10.1	emr-6.10.0	emr-6.9.1	emr-6.9.0
HBase	2.4.15	2.4.15	2.4.13	2.4.13
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.3.3
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.12.2-amzn-0	0.12.2-amzn-0	0.12.1-amzn-0	0.12.1-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	1.1.0-amzn-0	1.1.0-amzn-0	0.14.1-amzn-0	0.14.1-amzn-0
JupyterEn terpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.6.0
JupyterHub	1.5.0	1.5.0	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.278	0.278	0.276	0.276
Spark	3.3.1	3.3.1	3.3.0	3.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.11.0	2.10.0	2.10.0
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.10.2

	emr-6.10.1	emr-6.10.0	emr-6.9.1	emr-6.9.0
Trino (PrestoSQL)	403	403	398	398
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.10.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.10.1 に関する情報が含まれています。6.10.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.10.1 変更ログ」を参照してください。

既知の問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行中のタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

変更点、機能強化、解決した問題

- ノードが廃止試行と同時に追加または削除されると、ロック競合が原因でデッドロックに陥る可能性があります。その結果、Hadoop Resource Manager (YARN) が応答しなくなり、着信コンテナと現在実行中のコンテナのすべてに影響が及びます。
- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータ

などのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために `yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値が `false` に設定されています。

この修正は YARN-9608 によって発生した問題を解決するものですが、マネージドスケーリングが有効になっているクラスターでのシャッフルデータ損失が原因で Hive ジョブが失敗する可能性があります。このリリースでは、Hive ワークロードにも `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-shuffle-data` を設定することで、このリスクを軽減しました。この設定は、Amazon EMR リリース 6.11.0 以降でのみ使用できます。

- インスタンスグループが設定されているクラスター内のプライマリノードのフェイルオーバー後、メトリクスコレクターはコントロールプレーンにメトリクスを送信しません。
- このリリースには、高可用性クラスターが再起動後に障害状態から回復できるようにする変更が含まれています。
- このリリースには Hue と HBase のセキュリティ修正が含まれています。
- このリリースでは、Amazon EMR で Spark でワークロードを実行しているクラスターが `contains`、`startsWith`、`endsWith`、および `like` でメッセージが表示されずに間違った結果を受け取る可能性があるという問題が修正されています。この問題は、Amazon EMR Hive3 メタストアサーバー (HMS) のメタデータを含むパーティション化されたフィールドで式を使用する場合に発生します。
- このリリースでは、ユーザー定義関数 (UDF) がない場合の Glue 側のスロットリングの問題が修正されています。
- このリリースでは、YARN が廃止された場合に、ログプッシャーが S3 にコンテナログをプッシュする前に、ノードログ集約サービスによってコンテナログが削除される問題が修正されています。
- このリリースでは、Hadoop でノードラベルが有効になっている場合の FairShare スケジューラメトリクスの問題が修正されています。
- このリリースでは、`spark-defaults.conf` の `spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定にデフォルトの `true` 値を設定したときに Spark のパフォーマンスに影響する問題が修正されています。
- このリリースでは、低減タスクがシャッフルデータの読み取りに失敗する問題が修正されています。この問題により、メモリ破損エラーで Hive のクエリが失敗していました。

- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関連するプロセスが識別されるようになりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。
- このリリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。
- このリリースでは、複数のプライマリノードがあるクラスターからプライマリノードの 1 つを複製してエッジノードを作成する際に発生する可能性のある問題が修正されています。複製されたエッジノードは、スケールダウン操作で遅延を引き起こしたり、プライマリノードのメモリ使用率が高くなったりする可能性があります。EMR クラスターと通信するエッジノードを作成する方法の詳細については、GitHub の `aws-samples` リポジトリにある「Edge Node Creator」を参照してください。
- このリリースでは、Amazon EMR が再起動後に Amazon EBS ボリュームをインスタンスに再マウントするために使用する自動化プロセスが改善されました。
- このリリースでは、Amazon EMR が Amazon CloudWatch に公開する Hadoop メトリクスに断続的なギャップが生じる問題が修正されています。
- このリリースでは、クラスターのノードの除外リストを含む YARN 構成ファイルの更新が、ディスクの過剰使用により中断される EMR クラスターの問題が修正されています。更新が不完全だと、今後のクラスターのスケールダウン操作が妨げられます。このリリースでは、クラスターが正常に動作し、スケーリング操作が期待どおりに機能することが保証されます。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (パリ) 、 欧州 (ストックホルム) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中東 (バーレーン) 、 カナダ (中部) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネル バージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

6.10.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.2.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.24.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.3.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.0.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.55.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.16.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.16.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	3.3.3-amzn-2.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-2.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-2.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-2.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-2.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-2.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-2.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-2.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-2.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-2.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-2.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.15-amzn-0.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.15-amzn-0.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.15-amzn-0.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.15-amzn-0.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.15-amzn-0.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.15-amzn-0.1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-3.1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-3.1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-3.1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-client	3.1.3-amzn-3.1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-3.1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-3.1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-3.1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.12.2-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.12.2-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.12.2-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.12.2-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.1.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。

コンポーネント	バージョン	説明
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0-SNAPSHOT	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.278.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.278.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.278.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	403-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	403-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	403-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.1-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.3.1-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.1-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.1-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.12.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-1.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-1.1	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.10.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.10.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.

分類	説明	再設定アクション
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.propert ies ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-password-authenticator	Trino の password-authentic ator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.p roperties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.10.1 変更ログ

6.10.1 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-30	リリースノートの更新	リリースノートにコントロールプレーン関連の修正をいくつか追加しました
2023-08-21	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.10.1 リリースノートの初版が公開されました
2023-08-16	デプロイ完了	Amazon EMR 6.10.1 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-08-04	初回リリース	Amazon EMR 6.10.1 が限定商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.10.0

6.10.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、、Hue、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.10.0	emr-6.9.1	emr-6.9.0	emr-6.8.1
AWS SDK for Java	1.12.397	1.12.170	1.12.170	1.12.170
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.2.0	2.1.0	2.1.0	-
Flink	1.16.0	1.15.2	1.15.2	1.15.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.15	2.4.13	2.4.13	2.4.12
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.3.3	3.2.1
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.12.2-amzn-0	0.12.1-amzn-0	0.12.1-amzn-0	0.11.1-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	1.1.0-amzn-0	0.14.1-amzn-0	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.6.0	2.1.0

	emr-6.10.0	emr-6.9.1	emr-6.9.0	emr-6.8.1
JupyterHub	1.5.0	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.278	0.276	0.276	0.273
Spark	3.3.1	3.3.0	3.3.0	3.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.11.0	2.10.0	2.10.0	2.9.1
Tez	0.10.2	0.10.2	0.10.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	403	398	398	388
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.10.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.10.0 に関する情報が含まれています。6.9.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.10.0 は、Apache Spark 3.3.1、Apache Spark RAPIDS 22.12.0、CUDA 11.8.0、Apache Hudi 0.12.2-amzn-0、Apache Iceberg 1.1.0-amzn-0、Trino 403、PrestoDB 0.278.1 をサポートしています。
- Amazon EMR 6.10.0 には、Hudi テーブル内のデータへの読み取りアクセスを提供するネイティブ Trino-Hudi コネクタが含まれています。コネクタは `trino-cli --catalog hudi` で有効化でき、`trino-connector-hudi` との要件に合わせてコネクタを設定できます。Amazon EMR とのネイティブ統合により、Hudi テーブルのクエリに `trino-connector-hive` を使用する必要がなくなりました。新しいコネクタでサポートされる設定のリストについては、Trino のドキュメントの「Hudi connector」ページを参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.10.0 以降では、Apache Zeppelin と Apache Flink の統合がサポートされています。詳細については「Amazon EMR の Zeppelin から Flink ジョブを操作する」を参照してください。

既知の問題

- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR 6.10.0 でこの問題を回避するには、`yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために設定がデフォルトで `false` にセットされています。
- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および

spark.dynamicAllocation.minExecutorsプロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

変更点、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR 6.10.0 では、Apache Spark 用の Amazon Redshift の統合のために minimal-json.jar の依存関係が削除され、必要な Spark-Redshift 関連の jar が Spark のエグゼキューターのクラスパス spark-redshift.jar、spark-avro.jar、および RedshiftJDBC.jar に自動的に追加されます。
- 6.10.0 リリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが改善され、EMR クラスター内の追加のログフォルダを監視できるようになりました。この改善により、ディスクの過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- 6.10.0 リリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが停止すると、自動的に再起動されます。この改善により、ディスクの過剰使用が原因でノードが異常に見えるリスクが軽減されます。
- Amazon EMR 6.10.0 は EMRFS ユーザーマッピング用のリージョンのエンドポイントをサポートしています。
- Amazon EMR 6.10.0 以降では、デフォルトのルートボリュームサイズが 15 GB に増えました。以前のリリースでは、デフォルトのルートボリュームサイズは 10 GB でした。
- 6.10.0 リリースでは、残りのすべての Spark エグゼキューターが YARN リソースマネージャーを備えた廃止予定のホスト上にあるとき Spark ジョブが停止する問題が修正されています。
- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold プロパティを -1 に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

Note

このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネル バージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)
2.0.20230404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)

6.10.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.2.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.24.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.3.0	EMR S3Select コネクター
emr-wal-cli	1.0.0	emrwal のリスト/削除に使用される CLI。
emrfs	2.55.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.16.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.16.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	3.3.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-2	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.15-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.15-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.15-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.15-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.15-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.15-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-3	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-3	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-3	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-client	3.1.3-amzn-3	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-3	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-3	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-3	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.12.2-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.12.2-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.12.2-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.12.2-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	1.1.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。

コンポーネント	バージョン	説明
jupyterhub	1.5.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.8.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0-SNAPSHOT	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.278.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.278.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.278.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	403-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	403-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	403-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.1-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.3.1-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.1-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.1-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.12.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
tez-on-worker	0.10.2-amzn-1	ワーカーノード用 tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.10.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.10.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.

分類	説明	再設定アクション
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.pro perties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.pr operties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.p roperties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hudi	Trino の hudi.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-logback	Ranger KMS の kms-logback.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.10.0 変更ログ

6.10.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-21	更新	Hadoop 3.3.3 で発生した既知の問題が追加されました。
2023-07-26	更新	新しい OS リリースラベル `2.0.20230612.0` と `2.0.20230628.0` 。
2023-03-02	デプロイ完了	Amazon EMR 6.10 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-03-02	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.10 リリースノートの初版が公開されました
2023-02-27	初回リリース	Amazon EMR 6.10 が限定商用リージョンにデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.9.1

6.9.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、IcebergJupyterEnterpris および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.9.1	emr-6.9.0	emr-6.8.1	emr-6.8.0
AWS SDK for Java	1.12.170	1.12.170	1.12.170	1.12.170
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.1.0	2.1.0	-	-
Flink	1.15.2	1.15.2	1.15.1	1.15.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.13	2.4.13	2.4.12	2.4.12
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.3.3	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hudi	0.12.1-amzn-0	0.12.1-amzn-0	0.11.1-amzn-0	0.11.1-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0

	emr-6.9.1	emr-6.9.0	emr-6.8.1	emr-6.8.0
Iceberg	0.14.1-amzn-0	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-0	0.14.0-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.9.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.276	0.276	0.273	0.273
Spark	3.3.0	3.3.0	3.3.0	3.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.10.0	2.10.0	2.9.1	2.9.1
Tez	0.10.2	0.10.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	398	398	388	388
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.1
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.10

6.9.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.9.1 に関する情報が含まれています。6.9.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.9.1 変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために `yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値が `false` に設定されています。

  この修正は YARN-9608 によって発生した問題を解決するものですが、マネージドスケーリングが有効になっているクラスターでのシャッフルデータ損失が原因で Hive ジョブが失敗する可能性があります。このリリースでは、Hive ワークロードにも `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-shuffle-data` を設定することで、このリスクを軽減しました。この設定は、Amazon EMR リリース 6.11.0 以降でのみ使用できます。
- インスタンスグループが設定されているクラスター内のプライマリノードのフェイルオーバー後、メトリクスコレクターはコントロールプレーンにメトリクスを送信しません。
- このリリースでは、メトリクスコレクターのエンドポイントへの HTTP リクエストが失敗しても再試行する必要がなくなりました。
- このリリースには、高可用性クラスターが再起動後に障害状態から回復できるようにする変更が含まれています。
- このリリースでは、ユーザーが作成した大きな UID がオーバーフロー例外を引き起こしていた問題が修正されています。
- このリリースでは、Amazon EMR 再構成プロセスのタイムアウトの問題が修正されています。
- このリリースにはセキュリティ修正が含まれています。
- このリリースでは、Amazon EMR で Spark でワークロードを実行しているクラスターが `contains`、`startsWith`、`endsWith`、および `like` でメッセージが表示されずに間違った結果を受け取る可能性があるという問題が修正されています。この問題は、Amazon EMR Hive3 メタ

ストアサーバー (HMS) のメタデータを含むパーティション化されたフィールドで式を使用する場合に発生します。

- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。
- HDFS をスクラッチディレクトリとして使用し、小さいファイルのマージを有効にしていて、テーブルに静的なパーティションパスが含まれている場合、Hive でデータが失われる可能性があります。
- このリリースでは、ETL ジョブの終了時に小さいファイルのマージ (デフォルトでは無効) が有効になっている場合の Hive のパフォーマンスの問題が修正されています。
- このリリースでは、ユーザー定義関数 (UDF) がない場合の Glue 側のスロットリングの問題が修正されています。
- このリリースでは、YARN が廃止された場合に、ログプッシャーが S3 にコンテナログをプッシュする前に、ノードログ集約サービスによってコンテナログが削除される問題が修正されています。
- このリリースでは、HBase の永続的なストアファイル追跡による圧縮/アーカイブファイルの処理が修正されています。
- このリリースでは、`spark-defaults.conf` の `spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定にデフォルトの `true` 値を設定したときに Spark のパフォーマンスに影響する問題が修正されています。
- このリリースでは、低減タスクがシャッフルデータの読み取りに失敗する問題が修正されています。この問題により、メモリ破損エラーで Hive のクエリが失敗していました。
- このリリースでは、ノード交換中に HDFS NameNode (NN) サービスがセーフモードで停止した場合に、ノードプロビジョナーが失敗する原因となっていた問題が修正されています。
- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。

- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関連するプロセスが識別されるようになりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。
- このリリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。
- このリリースでは、複数のプライマリノードがあるクラスターからプライマリノードの 1 つを複製してエッジノードを作成する際に発生する可能性のある問題が修正されています。複製されたエッジノードは、スケールダウン操作で遅延を引き起こしたり、プライマリノードのメモリ使用率が高くなったりする可能性があります。EMR クラスターと通信するエッジノードを作成する方法の詳細については、GitHub の `aws-samples` リポジトリにある「[Edge Node Creator]」を参照してください。
- このリリースでは、Amazon EMR が再起動後に Amazon EBS ボリュームをインスタンスに再マウントするために使用する自動化プロセスが改善されました。
- このリリースでは、Amazon EMR が Amazon CloudWatch に公開する Hadoop メトリクスに断続的なギャップが生じる問題が修正されています。
- このリリースでは、クラスターのノードの除外リストを含む YARN 構成ファイルの更新が、ディスクの過剰使用により中断される EMR クラスターの問題が修正されています。更新が不完全だと、今後のクラスターのスケールダウン操作が妨げられます。このリリースでは、クラスターが正常に動作し、スケーリング操作が期待どおりに機能することが保証されます。
- このリリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが改善され、EMR クラスター内の追加のログフォルダを監視できるようになりました。この改善により、ディスクの過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- このリリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが停止すると、自動的に再起動されます。この改善により、ディスクの過剰使用が原因でノードが異常に見えるリスクが軽減されます。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「[Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する]」を参照してください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、イスラエル (テルアビブ）カナダ西部 (カルガリー）欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）
2.0.2023 906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー) 、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー) 、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー) 、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

6.9.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.1.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.23.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.54.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.15.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.15.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-1.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-1.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-1.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-1.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-1.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-1.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-1.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-1.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-1.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-1.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-1.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	2.4.13-amzn-0.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.13-amzn-0.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.13-amzn-0.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.13-amzn-0.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.13-amzn-0.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.13-amzn-0.1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-2.1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-2.1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-2.1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-2.1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-2.1	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-2.1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-2.1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.12.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.12.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.12.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.12.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	0.14.1-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.7.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0-SNAPSHOT	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.276-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.276-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.276-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	398-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	398-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	398-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.0-amzn-1.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	3.3.0-amzn-1.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.0-amzn-1.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.0-amzn-1.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.08.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.10.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-0.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.9.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.9.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ

分類	説明	再設定アクション
		er, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts PhoenixQu eryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.

分類	説明	再設定アクション
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.9.1 変更ログ

6.9.1 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-30	リリースノートの更新	リリースノートにコントロールプレーン関連の修正をいくつか追加しました
2023-08-21	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.9.1 リリースノートの初版が公開されました
2023-08-16	デプロイ完了	Amazon EMR 6.9.1 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-08-04	初回リリース	Amazon EMR 6.9.1 が限定商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.9.0

6.9.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、Ganglia、HBaseHCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、IcebergJupyterEnterpris および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.9.0	emr-6.8.1	emr-6.8.0	emr-6.7.0
AWS SDK for Java	1.12.170	1.12.170	1.12.170	1.12.170
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.15
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	2.1.0	-	-	-
Flink	1.15.2	1.15.1	1.15.1	1.14.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.13	2.4.12	2.4.12	2.4.4
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3
Hadoop	3.3.3	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.3

	emr-6.9.0	emr-6.8.1	emr-6.8.0	emr-6.7.0
Hudi	0.12.1-amzn-0	0.11.1-amzn-0	0.11.1-amzn-0	0.11.0-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	0.14.1-amzn-0	0.14.0-amzn-0	0.14.0-amzn-0	0.13.1-amzn-0
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.9.1	1.8.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.276	0.273	0.273	0.272
Spark	3.3.0	3.3.0	3.3.0	3.2.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.10.0	2.9.1	2.9.1	2.4.1
Tez	0.10.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	398	388	388	378
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.1	0.10.0
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.10	3.5.7

6.9.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.9.0 に関する情報が含まれています。Amazon EMR リリース 6.8.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR リリース 6.9.0 は、Apache Spark RAPIDS 22.08.0、Apache Hudi 0.12.1、Apache Iceberg 0.14.1、Trino 398、Tez 0.10.2 をサポートしています。
- Amazon EMR リリース 6.9.0 には、新しいオープンソースアプリケーションである Delta Lake 2.1.0 が含まれています。
- Apache Spark 用の Amazon Redshift の統合は、Amazon EMR リリース 6.9.0 以降に含まれています。以前はオープンソースツールであったこのネイティブインテグレーションは Spark コネクタと呼ばれるもので、これを使用して Apache Spark アプリケーションを構築することで、Amazon Redshift と Amazon Redshift Serverless 内のデータを読み書きできます。詳細については、「Amazon EMR での Apache Spark 用の Amazon Redshift インテグレーションの使用 」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、クラスターのスケールダウン中に Amazon S3 にログをアーカイブするためのサポートが追加されています。以前は、Amazon S3 にログファイルをアーカイブできるのはクラスター終了時のみでした。この新機能により、クラスターで生成されたログファイルは、ノードが終了した後も Amazon S3 に残ります。詳細については、「クラスターのログ記録とデバッグを設定する」を参照してください。
- 長時間実行されるクエリをサポートするため、Trino には耐障害性実行メカニズムが組み込まれました。耐障害性実行では、失敗したクエリやそのコンポーネントタスクを再試行することで、クエリの失敗を軽減します。
- Amazon EMR で Apache Flink を使用して、Apache Hive テーブル、または Iceberg、Kinesis、Kafka などの任意の Flink テーブルソースのメタデータの `BATCH` 処理と `STREAM` 処理を統合することができます。、、または Amazon EMR API を使用して AWS Management Console AWS CLI、 AWS Glue データカタログを Flink のメタストアとして指定できます。詳細については、「Amazon EMR で Flink を設定する」を参照してください。
- Amazon SageMaker AI Studio を使用してEC2 クラスター上の Amazon EMR の Apache Spark、Apache Hive、Presto クエリに AWS Identity and Access Management (IAM) ランタイムロールと AWS Lake Formationベースのアクセスコントロールを指定できるようになりました。詳細については、「Configure runtime roles for Amazon EMR steps」を参照してください。

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、Apache Ranger が有効になっているクラスターでは Trino は動作しません。Ranger で Trino を使用する必要がある場合は、サポート にお問い合わせください。
- Amazon Redshift integration for Apache Spark を使用している場合に、time、timetz、timestamp、timestamptz のいずれかにマイクロ秒の精度を Parquet 形式で設定していると、コネクタがその時間値を最も近いミリ秒値に四捨五入します。回避策として、テキストアンロード形式 `unload_s3_format` パラメータを使用してください。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。
- Amazon SageMaker AI Studio から Amazon EMR クラスターへの接続は、403 Forbidden レスポンスコードで断続的に失敗することがあります。このエラーは、クラスターでの IAM ロールの設定に 60 秒以上かかる場合に発生します。回避策として、Amazon EMR パッチをインストールして再試行を有効にし、タイムアウトを最低 300 秒に増やすことができます。以下の手順を使用して、クラスターの起動時にブートストラップアクションを適用します。

  1. 次の Amazon S3 URI から、ブートストラップスクリプトと RPM ファイルをダウンロードします。

     ```
     s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/gcsc/replace-rpms.sh
     ```

```
s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/gcsc/emr-
secret-agent-1.18.0-SNAPSHOT20221121212949.noarch.rpm
```

2. 前のステップのファイルを、所有する Amazon S3 バケットにアップロードします。バケットは、クラスターを起動する予定 AWS リージョン と同じ にある必要があります。
3. EMR クラスターを起動するときに、次のブートストラップアクションを含めます。*bootstrap_URI* と *RPM_URI* を Amazon S3 の対応する URI に置き換えます。

```
--bootstrap-actions "Path=bootstrap_URI,Args=[RPM_URI]"
```

- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

  Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

- Apache Flink にはネイティブ S3 FileSystem コネクタと Hadoop FileSystem コネクタが用意されており、アプリケーションが FileSink を作成して Amazon S3 にデータを書き込むことができます。この FileSink は、次の 2 つの例外のいずれかにより失敗します。

```
java.lang.UnsupportedOperationException: Recoverable writers on Hadoop are only
 supported for HDFS
```

```
Caused by: java.lang.NoSuchMethodError:
 org.apache.hadoop.io.retry.RetryPolicies.retryOtherThanRemoteAndSaslException(Lorg/
```

```
apache/hadoop/io/retry/RetryPolicy;Ljava/util/Map;)Lorg/apache/hadoop/io/retry/
RetryPolicy;
                                                at
 org.apache.hadoop.yarn.client.RMProxy.createRetryPolicy(RMProxy.java:302) ~[hadoop-
yarn-common-3.3.3-amzn-0.jar:?]
```

回避策として、Flink の上記の問題を修正する Amazon EMR パッチをインストールできます。クラスターを起動するときにブートストラップアクションを適用するには、以下の手順を実行します。

1. flink-rpm を Amazon S3 バケットにダウンロードします。RPM パスは `s3://DOC-EXAMPLE-BUCKET/rpms/flink/` です。
2. 次の URI を使用して Amazon S3 からブートストラップスクリプトと RPM ファイルをダウンロードします。を、クラスターを起動する AWS リージョン 予定の *regionName*に置き換えます。

   ```
   s3://emr-data-access-control-regionName/customer-bootstrap-actions/gcsc/replace-
   rpms.sh
   ```

3. Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。Amazon EMR 6.8.0 および 6.9.0 の場合、この方法では、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

   Amazon EMR 6.10.0 では、`yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値を `false` に設定することでこの問題を回避できます。Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために設定がデフォルトで `false` にセットされています。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Amazon EMR によってインストールされ、Log4j ライブラリを使用するすべてのコンポーネントは Log4j バージョン 2.17.1 以降を使用します。
- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを

参照している場合でも変わりません。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。

- Amazon EMR 6.9.0 では、Spark SQL を使用してデータを読み取る際の Apache Hudi による Lake Formation ベースのアクセスコントロールに対する限定的なサポートが追加されています。Spark SQL を使用する SELECT クエリがサポートされます。サポートは、列レベルのアクセス制御に限定されます。詳細については、「Hudi と Lake Formation」を参照してください。
- Amazon EMR 6.9.0 を使用して、ノードラベルを有効にした Hadoop クラスターを作成すると、YARN メトリクス API はデフォルトのパーティションではなく、すべてのパーティションの集計情報を返します。詳細については、「YARN-11414」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、Trino を、Java 17 を使用するバージョン 398 にアップデートしました。Amazon EMR 6.8.0 で以前サポートされていた Trino のバージョンは Java 11 で動作する Trino 388 でした。この変更の詳細については、Trino のブログの「Trino updates to Java 17」を参照してください。
- このリリースでは、EC2 クラスターの起動シーケンスでの Apache BigTop と Amazon EMR 間のタイミングシーケンスの不一致の問題が修正されています。このタイミングシーケンスの不一致は、システムが 2 つ以上の操作を適切なシーケンスで実行するのではなく、同時に実行しようとした場合に発生します。その結果、特定のクラスター構成でインスタンスの起動がタイムアウトし、クラスターの起動時間が遅くなりました。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部) 、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン) 、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、イスラエル (テルアビブ）欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.2023 404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022 210.1	4.14.301	2023 年 1 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022 103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

6.9.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
delta	2.1.0	Delta Lake は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.23.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.54.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.15.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.15.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.3.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	3.3.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.3.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.3.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.3.3-amzn-1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.3.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.3.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.3.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.3.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.3.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.3.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	2.4.13-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.13-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.13-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.13-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.13-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.13-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-2	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.12.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.12.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.12.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.12.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	0.14.1-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.7.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	6.0.0-SNAPSHOT	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	6.0.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.276-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.276-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.276-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	398-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	398-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	398-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.0-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	3.3.0-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.0-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.0-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.08.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.10.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.10.2-amzn-0	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.9.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-configure-apps.html)」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「[実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-configure-apps-running-cluster.html)」を参照してください。

emr-6.9.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ

分類	説明	再設定アクション
		er, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts PhoenixQu eryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
delta-defaults	Delta の delta-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j2	Livy の log4j2.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-lakeformation	Presto の lakeformation.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-delta	Trino の delta.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-exchange-manager	Trino の exchange-manager.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.

分類	説明	再設定アクション
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.9.0 変更ログ

6.9.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-30	リリースノートの更新	タイミングシーケンスの不一致の問題の修正が追加されました。
2023-08-21	リリースノートの更新	Hadoop 3.3.3 に関する既知の問題が追加されました。
2023-07-26	更新	新しい OS リリースラベル `2.0.20230612.0` と `2.0.20230628.0` 。
2022-12-13	リリースノートが更新されました	SageMaker AI のランタイムに機能と既知の問題を追加
2022-11-29	リリースノートとドキュメントが更新されました	Apache Spark 用の Amazon Redshift の統合の機能が追加されました
2022-11-23	リリースノートが更新されました	Log4j エントリが削除されました
2022-11-18	デプロイ完了	Amazon EMR 6.9 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました

日付	イベント	説明
2022-11-18	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.9 リリースノートの初版が公開されました
2022-11-14	初回リリース	Amazon EMR 6.9 が限定商用リージョンにデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.8.1

6.8.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、、Iceberg、JupyterEnterpriseGat
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.8.1	emr-6.8.0	emr-6.7.0	emr-6.6.0
AWS SDK for Java	1.12.170	1.12.170	1.12.170	1.12.170

	emr-6.8.1	emr-6.8.0	emr-6.7.0	emr-6.6.0
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.15	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.15.1	1.15.1	1.14.2	1.14.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.12	2.4.12	2.4.4	2.4.4
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.3	3.1.2
Hudi	0.11.1-amzn-0	0.11.1-amzn-0	0.11.0-amzn-0	0.10.1-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	0.14.0-amzn-0	0.14.0-amzn-0	0.13.1-amzn-0	0.13.1
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.9.1	1.8.0	1.8.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1

	emr-6.8.1	emr-6.8.0	emr-6.7.0	emr-6.6.0
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.273	0.273	0.272	0.267
Spark	3.3.0	3.3.0	3.2.1	3.2.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.9.1	2.9.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	388	388	378	367
Zeppelin	0.10.1	0.10.1	0.10.0	0.10.0
ZooKeeper	3.5.10	3.5.10	3.5.7	3.5.7

6.8.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.8.1 に関する情報が含まれています。6.8.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.8.1 変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために `yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値が `false` に設定されています。

この修正は YARN-9608 によって発生した問題を解決するものですが、マネージドスケーリングが有効になっているクラスターでのシャッフルデータ損失が原因で Hive ジョブが失敗する可能性があります。このリリースでは、Hive ワークロードにも `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-shuffle-data` を設定することで、このリスクを軽減しました。この設定は、Amazon EMR リリース 6.11.0 以降でのみ使用できます。

- インスタンスグループが設定されているクラスター内のプライマリノードのフェイルオーバー後、メトリクスコレクターはコントロールプレーンにメトリクスを送信しません。
- このリリースでは、メトリクスコレクターのエンドポイントへの HTTP リクエストが失敗しても再試行する必要がなくなりました。
- このリリースには、高可用性クラスターが再起動後に障害状態から回復できるようにする変更が含まれています。
- このリリースでは、ユーザーが作成した大きな UID がオーバーフロー例外を引き起こしていた問題が修正されています。
- このリリースでは、Amazon EMR 再構成プロセスのタイムアウトの問題が修正されています。
- このリリースでは、再構成に失敗したために他の無関係なプロセスが中断される可能性があるという問題が防止されます。
- このリリースにはセキュリティ修正が含まれています。
- このリリースでは、Amazon EMR で Spark でワークロードを実行しているクラスターが `contains`、`startsWith`、`endsWith`、および `like` でメッセージが表示されずに間違った結果を受け取る可能性があるという問題が修正されています。この問題は、Amazon EMR Hive3 メタストアサーバー (HMS) のメタデータを含むパーティション化されたフィールドで式を使用する場合に発生します。
- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。
- HDFS をスクラッチディレクトリとして使用し、小さいファイルのマージを有効にしていて、テーブルに静的なパーティションパスが含まれている場合、Hive でデータが失われる可能性があります。

- このリリースでは、ETL ジョブの終了時に小さいファイルのマージ (デフォルトでは無効) が有効になっている場合の Hive のパフォーマンスの問題が修正されています。
- このリリースでは、ユーザー定義関数 (UDF) がない場合の Glue 側のスロットリングの問題が修正されています。
- このリリースでは、YARN が廃止された場合に、ログプッシャーが S3 にコンテナログをプッシュする前に、ノードログ集約サービスによってコンテナログが削除される問題が修正されています。
- このリリースでは、HBase の永続的なストアファイル追跡による圧縮/アーカイブファイルの処理が修正されています。
- このリリースでは、`spark-defaults.conf` の `spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定にデフォルトの `true` 値を設定したときに Spark のパフォーマンスに影響する問題が修正されています。
- このリリースでは、低減タスクがシャッフルデータの読み取りに失敗する問題が修正されています。この問題により、メモリ破損エラーで Hive のクエリが失敗していました。
- このリリースでは、ノード交換中に HDFS NameNode (NN) サービスがセーフモードで停止した場合に、ノードプロビジョナーが失敗する原因となっていた問題が修正されています。
- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関連するプロセスが識別されるようになりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。
- このリリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。
- このリリースでは、複数のプライマリノードがあるクラスターからプライマリノードの 1 つを複製してエッジノードを作成する際に発生する可能性のある問題が修正されています。複製されたエッジノードは、スケールダウン操作で遅延を引き起こしたり、プライマリノードのメモリ使用率が高くなったりする可能性があります。EMR クラスターと通信するエッジノードを作成する方法

の詳細については、GitHub の `aws-samples` リポジトリにある「[Edge Node Creator]」を参照してください。

- このリリースでは、Amazon EMR が再起動後に Amazon EBS ボリュームをインスタンスに再マウントするために使用する自動化プロセスが改善されました。
- このリリースでは、Amazon EMR が Amazon CloudWatch に公開する Hadoop メトリクスに断続的なギャップが生じる問題が修正されています。
- このリリースでは、クラスターのノードの除外リストを含む YARN 構成ファイルの更新が、ディスクの過剰使用により中断される EMR クラスターの問題が修正されています。更新が不完全だと、今後のクラスターのスケールダウン操作が妨げられます。このリリースでは、クラスターが正常に動作し、スケーリング操作が期待どおりに機能することが保証されます。
- このリリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが改善され、EMR クラスター内の追加のログフォルダを監視できるようになりました。この改善により、ディスクの過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- このリリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが停止すると、自動的に再起動されます。この改善により、ディスクの過剰使用が原因でノードが異常に見えるリスクが軽減されます。
- このリリースでは、クラスターのスケールダウン中に Amazon S3 にログをアーカイブするためのサポートが追加されています。以前は、Amazon S3 にログファイルをアーカイブできるのはクラスター終了時のみでした。この新機能により、クラスターで生成されたログファイルは、ノードが終了した後も Amazon S3 に残ります。詳細については、「[クラスターのログ記録とデバッグを設定する]」を参照してください。
- このリリースでは、ブートストラップアクションの Amazon S3 URI がポート番号で終わっている場合 (例: `a.b.c.d:4345`) に発生する問題が修正されています。Amazon EMR は、このような URI を誤って解析していたため、関連するブートストラップアクションはすべて失敗していました。
- このリリースでは、EC2 クラスターの起動シーケンスでの Apache BigTop と Amazon EMR 間のタイミングシーケンスの不一致の問題が修正されています。このタイミングシーケンスの不一致は、システムが 2 つ以上の操作を適切なシーケンスで実行するのではなく、同時に実行しようとした場合に発生します。その結果、特定のクラスター構成でインスタンスの起動がタイムアウトし、クラスターの起動時間が遅くなりました。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「[Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する]」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テル

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			アビブ) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			部）、中国 (北京）、中国 (寧夏）
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

6.8.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.22.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.53.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.15.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.15.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-8.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-8.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-8.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-8.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-8.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-8.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-8.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-8.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-8.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-8.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-8.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.12-amzn-0.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.4.12-amzn-0.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.12-amzn-0.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.12-amzn-0.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.12-amzn-0.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.12-amzn-0.1	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-1.1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-1.1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-1.1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-1.1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-1.1	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-1.1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-1.1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.11.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.11.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.11.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.11.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	0.14.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス

コンポーネント	バージョン	説明
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.7.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.2	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	5.1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.273.3-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.273.3-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.273.3-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	388-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	388-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	388-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.0-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	3.3.0-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.0-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.0-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.06.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.9.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.8.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.8.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ

分類	説明	再設定アクション
		er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServe r2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts HBaseRegi onserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore , Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.prop erties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts PhoenixQu eryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServe r2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryS erver.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.8.1 変更ログ

6.8.1 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-30	リリースノートの更新	リリースノートにコントロールプレーン関連の修正をいくつか追加しました
2023-08-21	ドキュメント公開	Amazon EMR 6.8.1 リリースノートの初版が公開されました
2023-08-16	デプロイ完了	Amazon EMR 6.8.1 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-08-04	初回リリース	Amazon EMR 6.8.1 が限定商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 6.8.0

6.8.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、、Iceberg、JupyterEnterpriseGat
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.8.0	emr-6.7.0	emr-6.6.0	emr-6.5.0
AWS SDK for Java	1.12.170	1.12.170	1.12.170	1.12.31
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.15	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.15.1	1.14.2	1.14.2	1.14.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.12	2.4.4	2.4.4	2.4.4
HCatalog	3.1.3	3.1.3	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.3	3.1.3	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.11.1-amzn-0	0.11.0-amzn-0	0.10.1-amzn-0	0.9.0-amzn-1
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.9.0
Iceberg	0.14.0-amzn-0	0.13.1-amzn-0	0.13.1	0.12.0
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-6.8.0	emr-6.7.0	emr-6.6.0	emr-6.5.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.9.1	1.8.0	1.8.0	1.8.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.273	0.272	0.267	0.261
Spark	3.3.0	3.2.1	3.2.0	3.1.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.9.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	388	378	367	360
Zeppelin	0.10.1	0.10.0	0.10.0	0.10.0
ZooKeeper	3.5.10	3.5.7	3.5.7	3.5.7

6.8.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.8.0 に関する情報が含まれています。6.7.0 からの変更が含まれています。

新機能

- Amazon EMR ステップ機能が Apache Livy エンドポイントと JDBC/ODBC クライアントをサポートするようになりました。詳細については、「Configure runtime roles for Amazon EMR steps」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.8.0 には Apache HBase リリース 2.4.12 が付属しています。この HBase リリースでは、HBase テーブルのアーカイブと削除の両方を行うことができます。Amazon S3 アーカイブプロセスでは、すべてのテーブルファイルの名前がアーカイブディレクトリに変更されます。このプロセスにはコストがかかり、時間を要する場合があります。これで、アーカイブプロセスをスキップして、大きなテーブルをすばやく削除することができます。詳細については、「HBase シェルを使用する」を参照してください。

既知の問題

- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。Amazon EMR 6.8.0 および 6.9.0 の場合、この方法では、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR 6.10.0 では、`yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値を `false` に設定することでこの問題を回避できます。Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために設定がデフォルトで `false` にセットされています。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR は `NoSuchMethodError` を生成しました。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- Amazon EMR リリース 6.8.0 には Apache Hudi 0.11.1 が付属していますが、Amazon EMR 6.8.0 クラスターは Hudi 0.12.0 のオープンソース `hudi-spark3.3-bundle_2.12` とも互換性があります。
- Amazon EMR リリース 6.8.0 には、Apache Spark 3.3.0 が付属しています。この Spark リリースでは、Apache Log4j 2 と `log4j2.properties` ファイルを使用して Spark プロセス内の Log4j

を設定します。クラスターで Spark を使用するか、カスタム設定パラメータを使用して EMR クラスターを作成し、Amazon EMR リリース 6.8.0 にアップグレードする場合は、Apache Log4j 2 の新しい `spark-log4j2` 設定分類とキー形式に移行する必要があります。詳細については、「Apache Log4j 1.x から Log4j 2.x への移行」を参照してください。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			オ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.2023 404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220912.1	4.14.291	2022 年 9 月 6 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

既知の問題

- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを参照している場合でも変わりません。これは、Spark 3.2.0 が `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` をデフォルトで `true` に設定しているためです。回避策として、明示的に `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。
- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

6.8.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.2	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.7.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.22.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.53.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.15.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.15.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-8	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-8	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-8	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-8	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-8	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-8	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-8	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-8	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-8	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-8	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-8	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.12-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.12-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.12-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.12-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.12-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.12-amzn-0	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.3-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.11.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.11.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.11.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.11.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
iceberg	0.14.0-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.9.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.7.0	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-connectors	5.1.2	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	5.1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.273.3-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.273.3-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.273.3-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	388-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	388-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	388-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.3.0-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.3.0-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.3.0-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.3.0-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.06.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.9.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.10.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.8.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.8.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.

分類	説明	再設定アクション
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.

分類	説明	再設定アクション
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j2	Spark の log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

6.8.0 変更ログ

6.8.0 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-08-21	更新	Hadoop 3.3.3 に関する既知の問題が追加されました。
2023-07-26	更新	新しい OS リリースラベル `2.0.20230612.0` と `2.0.20230628.0` 。
2022-09-06	デプロイ完了	Amazon EMR 6.8 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2022-09-06	初版発行	Amazon EMR 6.8 リリースノートの初版が公開されました
2022-08-31	初回リリース	Amazon EMR 6.8 が限定商用リージョンにリリースされました

Amazon EMR リリース 6.7.0

6.7.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、Iceberg、、JupyterEnterpriseGat
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.7.0	emr-6.6.0	emr-6.5.0	emr-6.4.0
AWS SDK for Java	1.12.170	1.12.170	1.12.31	1.12.31
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.15	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.2	1.14.2	1.14.0	1.13.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.7.0	emr-6.6.0	emr-6.5.0	emr-6.4.0
HBase	2.4.4	2.4.4	2.4.4	2.4.4
HCatalog	3.1.3	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.3	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.11.0-amzn-0	0.10.1-amzn-0	0.9.0-amzn-1	0.8.0-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.9.0	4.9.0
Iceberg	0.13.1-amzn-0	0.13.1	0.12.0	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.8.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.1.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.272	0.267	0.261	0.254.1
Spark	3.2.1	3.2.0	3.1.2	3.1.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-6.7.0	emr-6.6.0	emr-6.5.0	emr-6.4.0
Trino (PrestoSQL)	378	367	360	359
Zeppelin	0.10.0	0.10.0	0.10.0	0.9.0
ZooKeeper	3.5.7	3.5.7	3.5.7	3.5.7

6.7.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.7.0 に関する情報が含まれています。6.6.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 7 月 15 日

新機能

- Amazon EMR は Apache Spark 3.2.1、Apache Hive 3.1.3、HUDI 0.11、PrestoDB 0.272、Trino 0.378 をサポートするようになりました。
- EC2 クラスター上の Amazon EMR 用の EMR ステップ (Spark、Hive) による IAM ロールおよび Lake Formation ベースのアクセスコントロールをサポートします。
- Apache Ranger 対応クラスターでの Apache Spark データ定義ステートメントをサポートします。これには、Apache Ranger 対応クラスターで Apache Hive メタデータを読み書きする Trino アプリケーションのサポートが含まれるようになりました。詳細については、「Enable federated governance using Trino and Apache Ranger on Amazon EMR」を参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィッ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 イスラエル (テルアビブ） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.2023 404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022 210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022 004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220912.1	4.14.291	2022 年 10 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220719.0	4.14.287	2022 年 8 月 10 日	us-west-1 , eu-west-3 , eu-north-1 , ap-south-1 , me-south-1

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220606.1	4.14.281	2022 年 7 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR が誤った `Hbase.compat.version` を使用しているため、`NoSuchMethodError` が発生します。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを参照している場合でも変わりません。これは、Spark 3.2.0 が `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` をデフォルトで `true` に設定しているためです。回避策として、明示的に `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](https://www.utf8-chartable.de/)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。
- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

- `GetClusterSessionCredentials` API は、Amazon EMR 6.7 以前で実行されるクラスターではサポートされていません。

6.7.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.6.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.22.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.52.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-7	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-7	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-7	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-7	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-7	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-7	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-7	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-7	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-7	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-7	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-7	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.4-amzn-3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.4-amzn-3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.4-amzn-3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.4-amzn-3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.4-amzn-3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.4-amzn-3	Apache HBase クラスター用の修復ツール。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.3-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.3-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.3-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.3-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.3-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.3-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.3-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.11.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.11.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.11.0-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-spark	0.11.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	0.13.1-amzn-0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.0.194	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-connectors	5.1.2	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	5.1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.272-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.272-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.272-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	378-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	378-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
trino-client	378-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.2.1-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.2.1-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.2.1-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.2.1-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.02.0-amzn-1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.7	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.7	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.7.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.7.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts HBaseRegi onserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore , Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.prop erties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.6.0

6.6.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、Iceberg、、JupyterEnterpriseGat
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.6.0	emr-6.5.0	emr-6.4.0	emr-6.3.1
AWS SDK for Java	1.12.170	1.12.31	1.12.31	1.11.977
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.2	1.14.0	1.13.1	1.12.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.6.0	emr-6.5.0	emr-6.4.0	emr-6.3.1
HBase	2.4.4	2.4.4	2.4.4	2.2.6
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.10.1-amzn-0	0.9.0-amzn-1	0.8.0-amzn-0	0.7.0-amzn-0
Hue	4.10.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Iceberg	0.13.1	0.12.0	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.2.2
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.0
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.7.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.1.2	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.267	0.261	0.254.1	0.245.1
Spark	3.2.0	3.1.2	3.1.2	3.1.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-6.6.0	emr-6.5.0	emr-6.4.0	emr-6.3.1
Trino (PrestoSQL)	367	360	359	350
Zeppelin	0.10.0	0.10.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.5.7	3.5.7	3.5.7	3.4.14

6.6.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.6.0 に関する情報が含まれています。6.5.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 5 月 9 日

ドキュメント更新日: 2022 年 6 月 15 日

新機能

- Amazon EMR 6.6 は、Apache Spark 3.2、Apache Spark RAPIDS 22.02、CUDA 11、Apache Hudi 0.10.1、Apache Iceberg 0.13、Trino 0.367、PrestoDB 0.267 をサポートするようになりました。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			中国 (北京）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ダ (中部) 、 欧州 (スペイン) 、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 カナダ (中部) 、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (AmazonLinux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.2023 404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022 103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220912.1	4.14.291	2022 年 10 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.20220805.0	4.14.287	2022 年 8 月 30 日	`us-west-1`

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220719.0	4.14.287	2022 年 8 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220426.0	4.14.281	2022 年 6 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022406.1	4.14.275	2022 年 5 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

- Amazon EMR 6.6 以降では、Log4j 1.x と Log4j 2.x を使用するアプリケーションは、それぞれ Log4j 1.2.17 (またはそれ以上) と Log4j 2.17.1 (またはそれ以上) を使用するようにアップグレードされます。CVE の問題を軽減するために提供されているブートストラップアクションを使用する必要はなくなります。

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配するデータ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。
- Amazon EMR 5.32.0 および 6.5.0 以降、Apache Spark の動的エグゼキューターサイズ設定はデフォルトで有効になっています。この機能をオンまたはオフにするには、`spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定パラメータを使用できます。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR は、EMR のデフォルト AMI オプションを使用し、Apache Hadoop、Apache Spark、Apache Hive などの一般的なアプリケーションのみをインストールするクラスターの場合、クラスターの起動時間を平均で最大 80 秒短縮します。

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR が誤った `Hbase.compat.version` を使用しているため、`NoSuchMethodError` が発生します。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを参照している場合でも変わりません。これは、Spark 3.2.0 が `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` をデフォルトで `true` に設定しているためです。回避策として、明示的に `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。
- Trino の長時間稼働クラスターでは、Amazon EMR 6.6.0 は Trino jvm.config のガベージコレクションログ記録パラメータを有効にして、ガベージコレクションログからより深い知見を得ることができます。この変更により、launcher.log (/var/log/trino/launcher.log) ファイルに多くのガベージコレクションログが追加されます。Amazon EMR 6.6.0 で Trino クラスターを実行している場合、追加されたログが原因で、クラスターを数日間実行した後にノードのディスク容量が不足することがあります。

この問題の回避策は、Amazon EMR 6.6.0 のクラスターを作成またはクローン作成する際に、以下のスクリプトをブートストラップアクションとして実行し、jvm.config のガベージコレクションログ記録パラメータを無効にすることです。

```
#!/bin/bash
  set -ex
  PRESTO_PUPPET_DIR='/var/aws/emr/bigtop-deploy/puppet/modules/trino'
  sudo bash -c "sed -i '/-Xlog/d' ${PRESTO_PUPPET_DIR}/templates/jvm.config"
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

6.6.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.5.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.20.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.50.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-6	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.4-amzn-2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.4-amzn-2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.4-amzn-2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.4-amzn-2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.4-amzn-2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hbase-operator-tools	2.4.4-amzn-2	Apache HBase クラスター用の修復ツール。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-7	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-7	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-7	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-7	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-7	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-7	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-7	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.10.1-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.10.1-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.10.1-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.10.1-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
iceberg	0.13.1	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.0.194	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-connectors	5.1.2	Spark-3 用 Apache Phoenix-Connectors
phoenix-query-server	5.1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.267-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.267-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.267-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	367-amzn-0	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	367-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	367-amzn-0	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.2.0-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.2.0-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.2.0-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.2.0-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	22.02.0-amzn-0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.7	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.7	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.6.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.6.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.

分類	説明	再設定アクション
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.pro perties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.pr operties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.p roperties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-iceberg	Trino の iceberg.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.

分類	説明	再設定アクション
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.5.0

6.5.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、Iceberg、、JupyterEnterpriseGat
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.5.0	emr-6.4.0	emr-6.3.1	emr-6.3.0
AWS SDK for Java	1.12.31	1.12.31	1.11.977	1.11.977
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.0	1.13.1	1.12.1	1.12.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.4.4	2.4.4	2.2.6	2.2.6
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.9.0-amzn-1	0.8.0-amzn-0	0.7.0-amzn-0	0.7.0-amzn-0
Hue	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Iceberg	0.12.0	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.2.2	1.2.2
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.7.0	1.7.0

	emr-6.5.0	emr-6.4.0	emr-6.3.1	emr-6.3.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	5.1.2	5.1.2	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.261	0.254.1	0.245.1	0.245.1
Spark	3.1.2	3.1.2	3.1.1	3.1.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	360	359	350	350
Zeppelin	0.10.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.5.7	3.5.7	3.4.14	3.4.14

6.5.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.5.0 に関する情報が含まれています。6.4.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 1 月 20 日

更新リリース日: 2022 年 3 月 21 日

新機能

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配する

データ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。

- Amazon EMR 5.32.0 および 6.5.0 以降、Apache Spark の動的エグゼキューターサイズ設定はデフォルトで有効になっています。この機能をオンまたはオフにするには、`spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定パラメータを使用できます。
- 巨大な分析データセット用の Apache Iceberg オープンテーブル形式のサポート。
- ranger-trino-plugin 2.0.1-amzn-1 のサポート
- toree 0.5.0 のサポート

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR 6.5 リリースバージョンは Apache Iceberg 0.12.0 をサポートするようになり、Apache Spark 用 Amazon EMR ランタイム、Presto 用 Amazon EMR ランタイム、Apache Hive 用 Amazon EMR ランタイムによりランタイムが改善されています。
- Apache Iceberg は、Amazon S3 の大規模データセット用のオープンテーブル形式であり、大きなテーブルに対する高速のクエリパフォーマンス、アトミックコミット、同時書き込み、および SQL 互換テーブルの進化を提供します。EMR 6.5 では、Apache Spark 3.1.2 を Iceberg テーブル形式で使用できます。
- Apache Hudi 0.9 では Spark SQL DDL と DML のサポートが追加されています。これにより、SQL ステートメントだけを使用して Hudi テーブルを作成し、アップサートできるようになりました。Apache Hudi 0.9 では、クエリ側とライター側のパフォーマンスも向上しています。
- Apache Hive 用 Amazon EMR ランタイムは、ステージング操作中の名前変更操作を削除することで Amazon S3 での Apache Hive のパフォーマンスを向上させ、テーブルの修復に使用されるメタストアチェック (MSCK) コマンドのパフォーマンスを向上させます。

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR が誤った `Hbase.compat.version` を使用しているため、`NoSuchMethodError` が発生します。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- 高可用性 (HA) の Hbase バンドルクラスターは、デフォルトのボリュームサイズとインスタンスタイプではプロビジョニングに失敗します。この問題の回避策は、ルートボリュームのサイズを増やすことです。

- Apache Oozie で Spark アクションを使用するには、以下の設定を Oozie `workflow.xml` ファイルに追加する必要があります。そうしないと、Hadoop や EMRFS などのいくつかの重要なライブラリが、Oozie が起動する Spark エグゼキューターのクラスパスから失われてしまいます。

```
<spark-opts>--conf spark.yarn.populateHadoopClasspath=true</spark-opts>
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

6.5.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.4.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.19.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.48.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-5	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.4-amzn-1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.4-amzn-1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.4-amzn-1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.4-amzn-1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.4-amzn-1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.2-amzn-6	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-6	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-6	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-6	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-6	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-6	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-6	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.9.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.9.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.9.0-amzn-1	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-spark	0.9.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
iceberg	0.12.0	Apache Iceberg は、膨大な分析データセット用のオープンテーブル形式です。
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.261-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.261-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.261-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	360	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	360	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	360	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.1.2-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.1.2-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.1.2-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.1.2-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	0.4.1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.7	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.5.7	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.5.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.5.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.p roperties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
iceberg-defaults	Iceberg の iceberg-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.

分類	説明	再設定アクション
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.4.0

6.4.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.4.0	emr-6.3.1	emr-6.3.0	emr-6.2.1
AWS SDK for Java	1.12.31	1.11.977	1.11.977	1.11.880
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.13.1	1.12.1	1.12.1	1.11.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.4.0	emr-6.3.1	emr-6.3.0	emr-6.2.1
HBase	2.4.4	2.2.6	2.2.6	2.2.6-amzn-0
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.8.0-amzn-0	0.7.0-amzn-0	0.7.0-amzn-0	0.6.0-amzn-1
Hue	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.8.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.2.2	1.2.2	1.1.0
Livy	0.7.1	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.8.0	1.7.0	1.7.0	1.7.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.0
Phoenix	5.1.2	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.254.1	0.245.1	0.245.1	0.238.3
Spark	3.1.2	3.1.1	3.1.1	3.0.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.3.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-6.4.0	emr-6.3.1	emr-6.3.0	emr-6.2.1
Trino (PrestoSQL)	359	350	350	343
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.5.7	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.4.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.4.0 に関する情報が含まれています。6.3.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2021 年 9 月 20 日

更新リリース日: 2022 年 3 月 21 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.12.31
- CloudWatch Sink バージョン 2.2.0
- DynamoDB Connector バージョン 4.16.0
- EMRFS バージョン 2.47.0
- Amazon EMR Goodies バージョン 3.2.0
- Amazon EMR Kinesis Connector バージョン 3.5.0
- Amazon EMR Record Server バージョン 2.1.0
- Amazon EMR Scripts バージョン 2.5.0
- Flink バージョン 1.13.1
- Ganglia バージョン 3.7.2
- AWS Glue Hive メタストアクライアントバージョン 3.3.0
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-4
- HBase バージョン 2.4.4-amzn-0
- HBase-operator-tools 1.1.0
- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-5

- Hive バージョン 3.1.2-amzn-5
- Hudi バージョン 0.8.0-amzn-0
- Hue バージョン 4.9.0
- Java JDK バージョン Corretto-8.302.08.1 (ビルド 1.8.0_302-b08)
- JupyterHub バージョン 1.4.1
- Livy バージョン 0.7.1-incubating
- MXNet バージョン 1.8.0
- Oozie バージョン 5.2.1
- Phoenix バージョン 5.1.2
- Pig バージョン 0.17.0
- Presto バージョン 0.254.1-amzn-0
- Trino バージョン 359
- Apache Ranger KMS (マルチマスター透過的暗号化) バージョン 2.0.0
- ranger-plugins 2.0.1-amzn-0
- ranger-s3-plugin 1.2.0
- SageMaker Spark SDK バージョン 1.4.1
- Scala バージョン 2.12.10 (OpenJDK 64 ビットサーバー VM、Java 1.8.0_282)
- Spark バージョン 3.1.2-amzn-0
- spark-rapids 0.4.1
- Sqoop バージョン 1.4.7
- TensorFlow バージョン 2.4.1
- tez バージョン 0.9.2
- Zeppelin バージョン 0.9.0
- Zookeeper バージョン 3.5.7
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.16.0

新機能

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配する

データ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。

- Apache Ranger 対応の Amazon EMR クラスターでは、Apache Spark SQL を使用して、`INSERT INTO`、`INSERT OVERWRITE`、および `ALTER TABLE` で Apache Hive メタストアテーブルでデータの挿入または更新を実行できます。Spark SQL で ALTER TABLE を使用する場合、パーティションの場所はテーブルの場所の子ディレクトリである必要があります。Amazon EMR は現在、パーティションの場所がテーブルの場所と異なるパーティションへのデータの挿入をサポートしていません。
- PrestoSQL は Trino に名称変更されています。
- Hive: LIMIT 句を使用した簡単な SELECT クエリの実行は、LIMIT 句に記述されているレコード数がフェッチされたらすぐにクエリの実行を停止すると、高速化されます。簡単な SELECT クエリは、GROUP BY/ORDER BY 句のないクエリ、またはリデューサーステージのないクエリです。例えば、`SELECT * from <TABLE> WHERE <Condition> LIMIT <Number>`。

Hudi の同時実行制御

- Hudi はオプティミスティック同時実行制御 (OCC) をサポートするようになりました。この OCC を UPSERT や INSERT などの書き込みオペレーションで利用して、複数のライターから同じ Hudi テーブルへの変更を許可できます。これはファイルレベルの OCC であるため、2 つのコミット (またはライター) は、その変更が競合しなければ、同じテーブルに書き込むことができます。詳細については、「Hudi Concurrency Control」を参照してください。
- Amazon EMR クラスターには Zookeeper がインストールされており、OCC のロックプロバイダーとして利用できます。この機能を使いやすくするために、Amazon EMR クラスターには次のプロパティが事前設定されています。

```
hoodie.write.lock.provider=org.apache.hudi.client.transaction.lock.ZookeeperBasedLockProvider
hoodie.write.lock.zookeeper.url=<EMR Zookeeper URL>
hoodie.write.lock.zookeeper.port=<EMR Zookeeper Port>
hoodie.write.lock.zookeeper.base_path=/hudi
```

OCC を有効にするには、Hudi ジョブオプションを使用して、または Amazon EMR 設定 API を使用してクラスターレベルで、次のプロパティを設定する必要があります。

```
hoodie.write.concurrency.mode=optimistic_concurrency_control
hoodie.cleaner.policy.failed.writes=LAZY (Performs cleaning of failed writes lazily
 instead of inline with every write)
```

```
hoodie.write.lock.zookeeper.lock_key=<Key to uniquely identify the Hudi table> (Table
 Name is a good option)
```

Hudi モニタリング: Hudi メトリクスをレポートするための Amazon CloudWatch の統合

- Amazon EMR は、Amazon CloudWatch への Hudi メトリクスの公開をサポートしています。これを有効にするには、次の必要な設定を行います。

```
hoodie.metrics.on=true
hoodie.metrics.reporter.type=CLOUDWATCH
```

- 変更できるオプションの Hudi 設定を以下に示します。

設定	説明	値
hoodie.metrics.cloudwatch.report.period.seconds	Amazon CloudWatch にメトリクスをレポートする頻度 (秒単位)	デフォルト値は 60 秒で、Amazon CloudWatch が提供するデフォルトの 1 分の解像度では問題ありません
hoodie.metrics.cloudwatch.metric.prefix	各メトリクス名に追加するプレフィックス	デフォルト値は空です (プレフィックスなし)
hoodie.metrics.cloudwatch.namespace	メトリクスが公開される Amazon CloudWatch 名前空間	デフォルト値は Hudi です
hoodie.metrics.cloudwatch.maxDatumsPerRequest	Amazon CloudWatch への 1 つのリクエストに含めるデータムの最大数	デフォルト値は 20 で、Amazon CloudWatch のデフォルトと同じです

Amazon EMR Hudi の設定のサポートと改善

- EMR 設定 API と再設定機能を利用して、クラスターレベルで Hudi 設定を構成できるようになりました。Spark、Hive などの他のアプリケーションに似た /etc/hudi/conf/hudi-defaults.conf を使用して、新しいファイルベースの設定のサポートが導入されました。EMR では、ユーザーエクスペリエンスを向上させるためにデフォルト設定はほとんどありません。

— `hoodie.datasource.hive_sync.jdbcurl` はクラスター Hive サーバ URL に設定されるため、指定する必要がなくなりました。これは、Spark クラスターモードでジョブを実行する場合に特に便利です。この場合、以前は Amazon EMR マスター IP を指定する必要がありました。

— HBase 固有の設定。Hbase のインデックスを Hudi で使用する場合に役立ちます。

— 同時実行制御で説明されているように、Zookeeper はプロバイダー固有の設定をロックします。これにより、オプティミスティック同時実行制御 (OCC) の使用が容易になります。

- 渡す必要がある設定の数を減らし、可能な場合は自動的に推測するために、追加の変更が導入されました。

— `partitionBy` キーワードは、パーティション列を指定するために使用できます。

— Hive Sync を有効にすると、`HIVE_TABLE_OPT_KEY, HIVE_PARTITION_FIELDS_OPT_KEY, HIVE_PARTITION_EXTRACTOR_CLASS_OPT_KEY` を渡すのは必須ではなくなります。これらの値は、Hudi テーブル名とパーティションフィールドから推測できます。

— `KEYGENERATOR_CLASS_OPT_KEY` を渡すのは必須ではなく、より単純な `SimpleKeyGenerator` および `ComplexKeyGenerator` のケースから推測できます。

Hudi Caveats

- Hudi では、読み取り時マージ (MoR) テーブルおよびブートストラップテーブルの Hive でのベクトル化された実行をサポートしていません。例えば、`hive.vectorized.execution.enabled` が true に設定されている場合、Hudi リアルタイムテーブルで `count(*)` は失敗します。回避策として、`hive.vectorized.execution.enabled` を `false` に設定して、ベクトル化された読み取りを無効にすることができます。
- マルチライターサポートは、Hudi ブートストラップ機能とは互換性がありません。
- Flink Streamer と Flink SQL は、このリリースでは実験的な機能です。これらの機能は、実稼働環境での使用はお勧めしません。

変更点、機能強化、解決した問題

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- 以前は、マルチマスタークラスターでリソースマネージャーを手動で再起動すると、Zookeeper などの Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、Zookeeper znode ファイル内の以前に廃止された、または失われたすべてのノードを再ロードしていました。これにより、特定の状況でデフォルトの制限を超えることがありました。Amazon EMR では、1 時間以上経過した、廃止された、または失われたノードレコードが Zookeeper ファイルから削除されるようになり、内部制限も引き上げられました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Apache YARN タイムラインサーバーのバージョン 1 および 1.5 のパフォーマンスの問題を修正するためのクラスターの設定

  Apache YARN タイムラインサーバーのバージョン 1 および 1.5 では、特に Amazon EMR のデフォルト設定である `yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled=true` を使用する場合に、非常にアクティブで大規模な EMR クラスターでパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。オープンソースの YARN タイムラインサーバー v2 では、YARN タイムラインサーバーのスケーラビリティに関連するパフォーマンスの問題が解決されています。

  この問題の他の回避策には、次のものがあります。

  - yarn-site.xml で yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled=false を設定します。

- クラスターの作成時にこの問題の修正を有効にします (以下を参照)。

次の Amazon EMR リリースには、この YARN タイムラインサーバーのパフォーマンス問題の修正が含まれています。

EMR 5.30.2、5.31.1、5.32.1、5.33.1、5.34.x、6.0.1、6.1.1、6.2.1、6.3.1、6.4.x

上記に示されている Amazon EMR リリースで修正を有効にするには、[aws emr create-cluster コマンドのパラメータ](#) `--configurations file://./configurations.json` で渡される設定の JSON ファイルで、以下のプロパティを `true` に設定します。または、[再構成コンソール UI](#) を使用して修正を有効にします。

configurations.json ファイルの内容の例

```
[
{
"Classification": "yarn-site",
"Properties": {
"yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.timeline-server-v1.enable-batch":
 "true",
"yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled": "true"
},
"Configurations": []
}
]
```

- WebHDFS と HttpFS サーバーはデフォルトで無効になっています。Hadoop 設定 `dfs.webhdfs.enabled` を使用して WebHDF を再度有効にすることができます。HttpFS サーバーを起動するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用します。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。[Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories](#)
- Hive: 最後のジョブに HDFS でスクラッチディレクトリを使用できるようにすると、書き込みクエリのパフォーマンスが向上します。最後のジョブの一時データは Amazon S3 ではなく HDFS に書き込まれ、データは Amazon S3 デバイス間ではなく HDFS から最後のテーブルの場所 (Amazon S3) に移動されるため、パフォーマンスが向上します。

- Hive: Glue メタストアパーティションプルーニングにより、クエリのコンパイル時間が最大 2.5 倍に改善されています。
- デフォルトでは、組み込みの UDF が Hive から Hive メタストアサーバーに渡されると、Glue は限定された式演算子しかサポートしていないため、組み込みの UDF のサブセットのみが Glue メタストアに渡されます。`hive.glue.partition.pruning.client=true` を設定した場合、パーティションのプルーニングはすべてクライアント側で行われます。`hive.glue.partition.pruning.server=true` を設定した場合、パーティションのプルーニングはすべてサーバー側で行われます。

既知の問題

- Apache Hadoop HttpFS サーバーはデフォルトで無効になるため、Hue クエリは Amazon EMR 6.4.0 では機能しません。Amazon EMR 6.4.0 で Hue を使用するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して Amazon EMR プライマリノードで HttpFS サーバーを手動で起動するか、または [Amazon EMR のステップを使用]します。
- Livy ユーザー偽装で使用される Amazon EMR Notebooks 機能は、HttpFS がデフォルトで無効になっているため機能しません。この場合、EMR notebooks は Livy 偽装が有効になっているクラスターに接続できません。回避策は、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して EMR notebooks をクラスターに接続する前に、HttpFS サーバーを起動することです。
- Amazon EMR バージョン 6.4.0 では、Phoenix は Phoenix コネクタコンポーネントをサポートしていません。
- Apache Oozie で Spark アクションを使用するには、以下の設定を Oozie `workflow.xml` ファイルに追加する必要があります。そうしないと、Hadoop や EMRFS などのいくつかの重要なライブラリが、Oozie が起動する Spark エグゼキューターのクラスパスから失われてしまいます。

```
<spark-opts>--conf spark.yarn.populateHadoopClasspath=true</spark-opts>
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。

- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](https://www.utf8-chartable.de/)」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

6.4.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.3.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.18.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.47.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.13.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.13.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.4.4-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.4.4-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.4.4-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.4.4-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.4.4-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-5	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-5	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-5	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-5	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-5	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-5	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-5	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.8.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.8.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-trino	0.8.0-amzn-0	Trino を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.8.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.254.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.254.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.254.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
trino-coordinator	359	trino-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
trino-worker	359	いくつかのクエリを実行するサービス。
trino-client	359	Trino サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Trino コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.1.2-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	3.1.2-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.1.2-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.1.2-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	0.4.1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.5.7	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.5.7	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.4.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-configure-apps.html)」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「[実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-configure-apps-running-cluster.html)」を参照してください。

emr-6.4.0 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ

分類	説明	再設定アクション
		er, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts PhoenixQu eryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-log	Trino の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-config	Trino の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)

分類	説明	再設定アクション
trino-password-authenticator	Trino の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-env	Trino の trino-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-node	Trino の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-blackhole	Trino の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-cassandra	Trino の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-hive	Trino の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Trino-Server (for Trino)
trino-connector-jmx	Trino の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-kafka	Trino の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-localfile	Trino の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-memory	Trino の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mongodb	Trino の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-mysql	Trino の mysql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
trino-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-raptor	Trino の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redis	Trino の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-redshift	Trino の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpch	Trino の tpch.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
trino-connector-tpcds	Trino の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.3.1

6.3.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、、HudiHue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.3.1	emr-6.3.0	emr-6.2.1	emr-6.2.0
AWS SDK for Java	1.11.977	1.11.977	1.11.880	1.11.880
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.12.1	1.12.1	1.11.2	1.11.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.2.6	2.2.6	2.2.6-amzn-0	2.2.6-amzn-0
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.7.0-amzn-0	0.7.0-amzn-0	0.6.0-amzn-1	0.6.0-amzn-1
Hue	4.9.0	4.9.0	4.8.0	4.8.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-6.3.1	emr-6.3.0	emr-6.2.1	emr-6.2.0
JupyterHub	1.2.2	1.2.2	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.7.0	1.7.0	1.7.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.0	5.2.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.245.1	0.245.1	0.238.3	0.238.3
Spark	3.1.1	3.1.1	3.0.1	3.0.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.3.1	2.3.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	350	350	343	343
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.3.1 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。

- 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](https://www.utf8-chartable.de/)」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

6.3.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.2.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.18.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.46.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.12.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.12.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-3.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-3.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-3.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-3.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-3.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-3.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-3.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-3.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-3.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-3.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-3.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.2.6-amzn-1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.2.6-amzn-1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.6-amzn-1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.6-amzn-1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.6-amzn-1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	3.1.2-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-4	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.7.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.7.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-prestosql	0.7.0-amzn-0	PrestoSQL を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.7.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.2.2	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.245.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.245.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.245.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
prestosql-coordinator	350	prestosql-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
prestosql-worker	350	いくつかのクエリを実行するサービス。
prestosql-client	350	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.1.1-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.1.1-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.1.1-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.1.1-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	0.4.1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.3.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.3.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode,

分類	説明	再設定アクション
		Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.prop erties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts PhoenixQu eryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Resta rts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)

分類	説明	再設定アクション
prestosql-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-node	PrestoSQL の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-blackhole	PrestoSQL の blackhole .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-cassandra	PrestoSQL の cassandra .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-hive	PrestoSQL の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-connector-jmx	PrestoSQL の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-kafka	PrestoSQL の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-localfile	PrestoSQL の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-memory	PrestoSQL の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
prestosql-connector-mongodb	PrestoSQL の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-mysql	PrestoSQL の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-postgresql	PrestoSQL の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-raptor	PrestoSQL の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redis	PrestoSQL の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redshift	PrestoSQL の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpch	PrestoSQL の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpcds	PrestoSQL の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.3.0

6.3.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.3.0	emr-6.2.1	emr-6.2.0	emr-6.1.1
AWS SDK for Java	1.11.977	1.11.880	1.11.880	1.11.828
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.12.1	1.11.2	1.11.2	1.11.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.3.0	emr-6.2.1	emr-6.2.0	emr-6.1.1
HBase	2.2.6	2.2.6-amzn-0	2.2.6-amzn-0	2.2.5
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.7.0-amzn-0	0.6.0-amzn-1	0.6.0-amzn-1	0.5.2-incubating-amzn-2
Hue	4.9.0	4.8.0	4.8.0	4.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	-
JupyterHub	1.2.2	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.7.0	1.7.0	1.6.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.1	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.245.1	0.238.3	0.238.3	0.232
Spark	3.1.1	3.0.1	3.0.1	3.0.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.3.1	2.3.1	2.1.0

	emr-6.3.0	emr-6.2.1	emr-6.2.0	emr-6.1.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	350	343	343	338
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.3.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.3.0 に関する情報が含まれています。6.2.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2021 年 5 月 12 日

最終更新日: 2021 年 8 月 9 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.977
- CloudWatch Sink バージョン 2.1.0
- DynamoDB Connector バージョン 4.16.0
- EMRFS バージョン 2.46.0
- Amazon EMR Goodies バージョン 3.2.0
- Amazon EMR Kinesis Connector バージョン 3.5.0
- Amazon EMR Record Server バージョン 2.0.0
- Amazon EMR Scripts バージョン 2.5.0
- Flink バージョン 1.12.1
- Ganglia バージョン 3.7.2
- AWS Glue Hive メタストアクライアントバージョン 3.2.0
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-3
- HBase バージョン 2.2.6-amzn-1
- HBase-operator-tools 1.0.0

- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-0
- Hive バージョン 3.1.2-amzn-4
- Hudi バージョン 0.7.0-amzn-0
- Hue バージョン 4.9.0
- Java JDK バージョン Corretto-8.282.08.1 (ビルド 1.8.0_282-b08)
- JupyterHub バージョン 1.2.0
- Livy バージョン 0.7.0-incubating
- MXNet バージョン 1.7.0
- Oozie バージョン 5.2.1
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Pig バージョン 0.17.0
- Presto バージョン 0.245.1-amzn-0
- PrestoSQL バージョン 350
- Apache Ranger KMS (マルチマスター透過的暗号化) バージョン 2.0.0
- ranger-plugins 2.0.1-amzn-0
- ranger-s3-plugin 1.1.0
- SageMaker Spark SDK バージョン 1.4.1
- Scala バージョン 2.12.10 (OpenJDK 64 ビットサーバー VM、Java 1.8.0_282)
- Spark バージョン 3.1.1-amzn-0
- spark-rapids 0.4.1
- Sqoop バージョン 1.4.7
- TensorFlow バージョン 2.4.1
- tez バージョン 0.9.2
- Zeppelin バージョン 0.9.0
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.16.0

新機能

- Amazon EMR は Amazon S3 Access Points をサポートしています。これは、共有データレイクへのアクセスを簡単に管理できる Amazon S3 の機能です。Amazon S3 アクセスポイントのエイリ

アスを使用すると、Amazon EMR で大規模なデータアクセスを簡素化できます。Amazon EMR が利用可能なすべての AWS リージョンで、Amazon EMR のすべてのバージョンで Amazon S3 アクセスポイントを追加料金なしで使用できます。Amazon S3 Access Points および Access Point のエイリアスの詳細については、「Amazon S3 ユーザーガイド」の「アクセスポイントでのバケット形式のエイリアスの使用」を参照してください。

- 新しい `DescribeReleaseLabel` API パラメータおよび `ListReleaseLabel` API パラメータは、Amazon EMR リリースラベルの詳細を提供します。API リクエストが実行されているリージョンで利用可能なリリースをプログラムで一覧表示でき、特定の Amazon EMR リリースラベルで使用可能なアプリケーションをプログラムで一覧表示できます。リリースラベルのパラメータにより、Spark などの指定したアプリケーションをサポートしている Amazon EMR リリースも一覧表示されます。この情報は、Amazon EMR クラスターをプログラムで起動するために使用できます。たとえば、`ListReleaseLabel` の結果から最新のリリースバージョンを使用してクラスターを起動できます。詳細については、「Amazon EMR API リファレンス」の「DescribeReleaseLabel」および「ListReleaseLabels」を参照してください。
- Amazon EMR 6.3.0 では、Apache Ranger とネイティブに統合されるクラスターを起動できます。Apache Ranger は、Hadoop プラットフォーム全体で包括的なデータセキュリティを有効化、監視、管理するためのオープンソースフレームワークです。詳細については、「Apache Ranger」を参照してください。ネイティブ統合により、独自の Apache Ranger を導入して、Amazon EMR できめ細かなデータアクセス制御を実施できます。「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR と Apache Ranger を統合する」を参照してください。
- スコープ管理ポリシー: AWS ベストプラクティスに合わせて、Amazon EMR は v2 EMR スコープのデフォルト管理ポリシーを廃止されるポリシーの置き換えとして導入しました。「Amazon EMR 管理ポリシー」を参照してください。
- インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 6.2 以降では、Amazon EMR コンポーネントはすべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セキュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。以前の Amazon EMR 6.x リリースで IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケー

リングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。

- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Spark SQL UI の explain モードのデフォルトは Spark 3.1 で `extended` から `formatted` に変更されました。Amazon EMR では、それを `extended` に戻し、Spark SQL UI に論理プラン情報を含めるようになっています。`spark.sql.ui.explainMode` を `formatted` に設定すると、これを元に戻すことができます。
- 以下のコミットは Spark マスターブランチからバックポートされました。

  - [SPARK-34752][ビルド] CVE-2020-27223 に対処するために Jetty を 9.4.37 にバンプ。

  - [SPARK-34534] FetchShuffleBlocks を使用してブロックをフェッチするときの blockId の順序を修正。

  - [SPARK-34681] [SQL] 非等化条件で左側を構築するときの、完全外部のシャッフルされたハッシュ結合のバグを修正。

  - [SPARK-34497] [SQL] JVM セキュリティコンテキストの変更を復元するための、組み込みの JDBC 接続プロバイダーを修正。

- Nvidia Spark RAPIDS プラグインとの相互運用性を向上させるために、アダプティブクエリ実行を無効にして Nvidia Spark RAPIDS を使用するときに動的パーティションプルーニングがトリガーされない問題に対処する回避策を追加しました。「RAPIDS の問題 #1378」および「RAPIDS の問題 #1386」を参照してください。新しい設定 `spark.sql.optimizer.dynamicPartitionPruning.enforceBroadcastReuse` の詳細については、「RAPIDS の問題 #1386」を参照してください。
- ファイル出力コミッターのデフォルトアルゴリズムは、オープンソースの Spark 3.1 の v2 アルゴリズムから v1 アルゴリズムに変更されました。詳細については、「Amazon EMR による Spark パフォーマンスの最適化 - ダイナミックパーティションプルーニング」を参照してください。
- パフォーマンスの低下を防ぐため、Amazon EMR は以前の Amazon EMR 6.x リリースで使用されていたデフォルトである v2 アルゴリズムに戻りました。オープンソースの Spark 3.1 の動作を復元するには、`spark.hadoop.mapreduce.fileoutputcommitter.algorithm.version` を 1 に設定します。オープンソースの Spark では、ファイル出力コミッターのアルゴリズム v2 のタスクコミットがアトミックではなく、場合によっては出力データの正確性の問題を引き起こす可能性があるため、この変更が行われました。ただし、アルゴリズム v1 のタスクコミットもアトミックではありません。場合によっては、タスクコミットに名前変更の前に実行された削除が含まれます。これにより、サイレントデータの正確性の問題が発生する可能性があります。
- 以前の Amazon EMR リリースでマネージドスケーリングの問題を修正し、アプリケーションの障害率が大幅に低下するように改善しました。
- 新しいクラスターごとに AWS Java SDK バンドルをインストールしました。これは、個々のコンポーネント jar ではなく、すべてのサービス SDK とその依存関係を含む単一の jar です。詳細については、「Java SDK Bundled Dependency」を参照してください。

既知の問題

- Amazon EMR 6.3.0 および 6.2.0 のプライベートサブネットクラスターで、Ganglia ウェブ UI にアクセスできません。「アクセス拒否 (403)」というエラーが表示されます。Spark、Hue、JupyterHub、Zeppelin、Livy、Tez などの他のウェブ UI は正常に動作します。パブリックサブネットクラスターでの Ganglia ウェブ UI アクセスも正常に動作します。この問題を解決するには、`sudo systemctl restart httpd` を使用してプライマリノードで httpd サービスを再起動します。この問題は、Amazon EMR 6.4.0 で修正されています。
- AWS Glue Data Catalog が有効になっている場合、Spark を使用して null 文字列の場所 URI を持つ AWS Glue DB にアクセスすると、失敗する可能性があります。これは以前の Amazon EMR リリースで発生しますが、SPARK-31709 (https://issues.apache.org/jira/browse/SPARK-31709) ではより多くの場合に当てはまります。たとえば、場所 URI が null 文字列であるデフォルト

の AWS Glue DB 内にテーブルを作成すると、 は「空の文字列からパスを作成できません」というメッセージで`spark.sql("CREATE TABLE mytest (key string) location '/table_path';")`失敗します。これを回避するには、 Glue データベースの場所 URI AWS を手動で設定し、Spark を使用してこれらのデータベース内にテーブルを作成します。

- Amazon EMR 6.3.0 では、PrestoSQL がバージョン 343 からバージョン 350 にアップグレードされました。このバージョン変更に関連して、オープンソースからのセキュリティ関連の変更が 2 つあります。ファイルベースのカタログアクセス制御は、テーブル、スキーマ、またはセッションのプロパティのルールが定義されていない場合、`deny` から `allow` に変更されています。また、ファイルベースのシステムアクセス制御は、カタログルールが定義されていないファイルをサポートするように変更されています。この場合、カタログへのすべてのアクセスが許可されます。

  詳細については、「Release 344 (9 Oct 2020)」を参照してください。

- Hadoop ユーザーディレクトリ (/home/hadoop) はすべての人が読み取り可能であることに注意してください。Unix 755 (drwxr-xr-x) ディレクトリ許可があり、Hive のようなフレームワークによって読み取りアクセスが許可されます。/home/hadoop とそのサブディレクトリにファイルを配置できますが、機密情報を保護するために、これらのディレクトリに対するアクセス許可に注意してください。

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- > **Important**
  >
  > Amazon Linux または Amazon Linux 2 Amazon マシンイメージ (AMI) を実行する EMR クラスターは、デフォルトの Amazon Linux 動作を使用します。再起動が必要な重要かつクリティカルなカーネル更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。これは、デフォルトの Amazon Linux AMI を実行している他の Amazon EC2 インスタンスと同じ動作です。Amazon EMR リリースが利用可能になった後に、再起動が必要な新しい Amazon Linux ソフトウェアアップデート (カーネル、NVIDIA、CUDA のアップデートなど) が使用可能になった場合、デフォルトの AMI を実行する EMR クラスターインスタンスで、それらの更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。カーネルの更新を取得するには、[Amazon EMR AMI をカスタマイズ]して、[最新の Amazon Linux AMI を使用]できるようにします。

- Apache Oozie で Spark アクションを使用するには、以下の設定を Oozie `workflow.xml` ファイルに追加する必要があります。そうしないと、Hadoop や EMRFS などのいくつかの重要なライブラリが、Oozie が起動する Spark エグゼキューターのクラスパスから失われてしまいます。

```
<spark-opts>--conf spark.yarn.populateHadoopClasspath=true</spark-opts>
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

6.3.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.2.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.18.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.1.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.46.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.12.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.12.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.2.6-amzn-1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.2.6-amzn-1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.6-amzn-1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.6-amzn-1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.6-amzn-1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-4	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	3.1.2-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.7.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.7.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-prestosql	0.7.0-amzn-0	PrestoSQL を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.7.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.2.2	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mariadb-server	5.5.68+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.245.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.245.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.245.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
prestosql-coordinator	350	prestosql-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
prestosql-worker	350	いくつかのクエリを実行するサービス。
prestosql-client	350	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.1.1-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.1.1-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.1.1-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.1.1-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-rapids	0.4.1	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.3.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.3.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Secondary Namenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS services Namenode, Datanode, and ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.propert ies ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)

分類	説明	再設定アクション
prestosql-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-node	PrestoSQL の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-blackhole	PrestoSQL の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-cassandra	PrestoSQL の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-hive	PrestoSQL の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-connector-jmx	PrestoSQL の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-kafka	PrestoSQL の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-localfile	PrestoSQL の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-memory	PrestoSQL の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
prestosql-connector-mongodb	PrestoSQL の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-mysql	PrestoSQL の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-postgresql	PrestoSQL の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-raptor	PrestoSQL の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redis	PrestoSQL の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redshift	PrestoSQL の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpch	PrestoSQL の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpcds	PrestoSQL の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie and HiveServer2.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.2.1

6.2.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.2.1	emr-6.2.0	emr-6.1.1	emr-6.1.0
AWS SDK for Java	1.11.880	1.11.880	1.11.828	1.11.828
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.2	1.11.2	1.11.0	1.11.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.2.1	emr-6.2.0	emr-6.1.1	emr-6.1.0
HBase	2.2.6-amzn-0	2.2.6-amzn-0	2.2.5	2.2.5
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.6.0-amzn-1	0.6.0-amzn-1	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.2-incubating-amzn-2
Hue	4.8.0	4.8.0	4.7.1	4.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.7.0	1.6.0	1.6.0
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.238.3	0.238.3	0.232	0.232
Spark	3.0.1	3.0.1	3.0.0	3.0.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.3.1	2.3.1	2.1.0	2.1.0

	emr-6.2.1	emr-6.2.0	emr-6.1.1	emr-6.1.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	343	343	338	338
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.2.1 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。

- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。[Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories]

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

6.2.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通

常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.0.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.16.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.0.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.44.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.11.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.11.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-2.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-2.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-2.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-2.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-2.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-2.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-2.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-2.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-2.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-2.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-2.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.2.6-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.2.6-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.6-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	2.2.6-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.6-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-3	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-3	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-3	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-3	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-3	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-3	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-3	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.6.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.6.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-prestosql	0.6.0-amzn-1	PrestoSQL を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.6.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64+	MariaDB データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.238.3-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.238.3-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.238.3-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
prestosql-coordinator	343	prestosql-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
prestosql-worker	343	いくつかのクエリを実行するサービス。
prestosql-client	343	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.0.1-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.0.1-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.0.1-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.0.1-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
spark-rapids	0.2.0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.3.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0-preview1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.2.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.2.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServe r.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)

分類	説明	再設定アクション
prestosql-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-node	PrestoSQL の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-blackhole	PrestoSQL の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-cassandra	PrestoSQL の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-hive	PrestoSQL の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-connector-jmx	PrestoSQL の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-kafka	PrestoSQL の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-localfile	PrestoSQL の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-memory	PrestoSQL の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
prestosql-connector-mongodb	PrestoSQL の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-mysql	PrestoSQL の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-postgresql	PrestoSQL の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-raptor	PrestoSQL の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redis	PrestoSQL の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redshift	PrestoSQL の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpch	PrestoSQL の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpcds	PrestoSQL の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.2.0

6.2.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.2.0	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1
AWS SDK for Java	1.11.880	1.11.828	1.11.828	1.11.711
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.12.10
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.2	1.11.0	1.11.0	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.2.0	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1
HBase	2.2.6-amzn-0	2.2.5	2.2.5	2.2.3
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.6.0-amzn-1	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.0-incubating-amzn-1
Hue	4.8.0	4.7.1	4.7.1	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.6.0
MXNet	1.7.0	1.6.0	1.6.0	1.5.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.1.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	-
Presto	0.238.3	0.232	0.232	0.230
Spark	3.0.1	3.0.0	3.0.0	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	-
TensorFlow	2.3.1	2.1.0	2.1.0	1.14.0

	emr-6.2.0	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	343	338	338	-
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.2.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.2.0 に関する情報が含まれています。6.1.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 12 月 9 日

最終更新日: 2021 年 10 月 4 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.828
- emr-record-server バージョン 1.7.0
- Flink バージョン 1.11.2
- Ganglia バージョン 3.7.2
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-1
- HBase バージョン 2.2.6-amzn-0
- HBase-operator-tools 1.0.0
- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-0
- Hive バージョン 3.1.2-amzn-3
- Hudi バージョン 0.6.0-amzn-1
- Hue バージョン 4.8.0
- JupyterHub バージョン 1.1.0
- Livy バージョン 0.7.0

- MXNet バージョン 1.7.0
- Oozie バージョン 5.2.0
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Pig バージョン 0.17.0
- Presto バージョン 0.238.3-amzn-1
- PrestoSQL バージョン 343
- Spark バージョン 3.0.1-amzn-0
- spark-rapids 0.2.0
- TensorFlow バージョン 2.3.1
- Zeppelin バージョン 0.9.0-preview1
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.16.0

新機能

- HBase: コミットフェーズでの名前変更を削除し、永続的 HFile トラッキングを追加しました。「Amazon EMR リリース ガイド」の「永続的 HFile トラッキング」を参照してください。
- HBase:「Create a config that forces to cache blocks on compaction」をバックポートしました。
- PrestoDB: ダイナミックパーティションプルーニングの改善。ルールベースの結合順序は、パーティション分割されていないデータに対して機能します。
- スコープ管理ポリシー: AWS ベストプラクティスに合わせて、Amazon EMR は v2 EMR スコープのデフォルト管理ポリシーを廃止されるポリシーの置き換えとして導入しました。「Amazon EMR 管理ポリシー」を参照してください。
- インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 6.2 以降では、Amazon EMR コンポーネントはすべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セキュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。以前の Amazon EMR 6.x リリースで IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Spark: Spark ランタイムのパフォーマンスが向上しました。

既知の問題

- Amazon EMR 6.2 で、EMR 6.2.0 の /etc/cron.d/libinstance-controller-java ファイルに対して正しくないアクセス許可が設定されています。ファイルに対するアクセス許可は、644 (-rw-r—r—) であるべきときに 645 (-rw-r--r-x) になります。その結果、Amazon EMR バージョン 6.2 ではインスタンス状態ログが記録されず、/emr/instance-logs ディレクトリは空になります。この問題は、Amazon EMR 6.3.0 以降で修正されています。

  この問題を回避するには、クラスター起動時に以下のスクリプトをブートストラップアクションとして実行します。

  ```
  #!/bin/bash
  ```

```
sudo chmod 644 /etc/cron.d/libinstance-controller-java
```

- Amazon EMR 6.2.0 および 6.3.0 のプライベートサブネットクラスターで、Ganglia ウェブ UI にアクセスできません。「アクセス拒否 (403)」というエラーが表示されます。Spark、Hue、JupyterHub、Zeppelin、Livy、Tez などの他のウェブ UI は正常に動作します。パブリックサブネットクラスターでの Ganglia ウェブ UI アクセスも正常に動作します。この問題を解決するには、`sudo systemctl restart httpd` を使用してプライマリノードで httpd サービスを再起動します。この問題は、Amazon EMR 6.4.0 で修正されています。
- Amazon EMR 6.2.0 で、httpd が連続して失敗し、Ganglia が利用できないという問題があります。「サーバーに接続できません」というエラーが表示されます。この問題が発生している、既に実行されているクラスターを修正するには、クラスターのプライマリノードに SSH 接続して、`/etc/httpd/conf/httpd.conf` にあるファイル `httpd.conf` に行 `Listen 80` を追加します。この問題は、Amazon EMR 6.3.0 で修正されています。
- セキュリティ設定を使用している場合、EMR 6.2.0 クラスターで HTTPD が失敗します。これにより、Ganglia ウェブアプリケーションのユーザーインターフェイスが使用できなくなります。Ganglia ウェブアプリケーションのユーザーインターフェイスにアクセスするには、クラスターのプライマリノード上の `/etc/httpd/conf/httpd.conf` ファイルに `Listen 80` を追加します。クラスターへの接続の詳細については、「[SSH を使用してプライマリノードに接続する](#)」を参照してください。

  EMR Notebooks では、セキュリティ構成を使用する場合、EMR 6.2.0 クラスターとの接続の確立にも失敗します。ノートブックは、カーネルのリストと Spark ジョブの送信に失敗します。代わりに、別のバージョンの Amazon EMR で EMR Notebooks を使用することをお勧めします。
- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- > **Important**
  >
  > Amazon EMR 6.1.0 および 6.2.0 には、Hudi の挿入、アップサート、および削除操作すべてに大きな影響を及ぼす可能性があるパフォーマンスの問題が含まれています。Amazon EMR 6.1.0 または 6.2.0 で Hudi を使用する予定がある場合は、 AWS サポートに連絡してパッチが適用された Hudi RPM を取得する必要があります。

- > **Important**
  >
  > Amazon Linux または Amazon Linux 2 Amazon マシンイメージ (AMI) を実行する EMR クラスターは、デフォルトの Amazon Linux 動作を使用します。再起動が必要な重要かつクリティカルなカーネル更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。これは、デフォルトの Amazon Linux AMI を実行している他の Amazon EC2 インスタンスと同じ動作です。Amazon EMR リリースが利用可能になった後に、再起動が必要な新しい Amazon Linux ソフトウェアアップデート (カーネル、NVIDIA、CUDA のアップデートなど) が使用可能になった場合、デフォルトの AMI を実行する EMR クラスターインスタンスで、それらの更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。カーネルの更新を取得するには、Amazon EMR AMI をカスタマイズして、最新の Amazon Linux AMI を使用できるようにします。

- Amazon EMR 6.2.0 の Maven アーティファクトは公開されません。これらは Amazon EMR の将来のリリースで公開される予定です。
- HBase ストアファイルシステムテーブルを使用した永続的な HFile トラッキングは、HBase リージョンのレプリケーション機能をサポートしていません。HBase リージョンレプリケーションの詳細については、「Timeline-consistent High Available Reads」を参照してください。
- Amazon EMR 6.x と EMR 5.x の Hive バケット化バージョンの違い

  EMR 5.x では OOS Apache Hive 2 を使用していますが、EMR 6.x では OOS Apache Hive 3を使用しています。オープンソースの Hive2 ではバケット化バージョン 1 を使用していますが、オープンソースの Hive3 ではバケット化バージョン 2 を使用しています。Hive 2 (EMR 5.x) と Hive 3 (EMR 6.x) のこのバケット化バージョンの違いは、Hive のバケット化ハッシュ関数が異なることを意味します。以下の例を参照してください。

  次の表は、それぞれ EMR 6.x および EMR 5.x で作成した例です。

```
-- Using following LOCATION in EMR 6.x
CREATE TABLE test_bucketing (id INT, desc STRING)
```

```
PARTITIONED BY (day STRING)
CLUSTERED BY(id) INTO 128 BUCKETS
LOCATION 's3://your-own-s3-bucket/emr-6-bucketing/';

-- Using following LOCATION in EMR 5.x
LOCATION 's3://your-own-s3-bucket/emr-5-bucketing/';
```

EMR 6.x と EMR 5.x の両方に同じデータを挿入しています。

```
INSERT INTO test_bucketing PARTITION (day='01') VALUES(66, 'some_data');
INSERT INTO test_bucketing PARTITION (day='01') VALUES(200, 'some_data');
```

S3 の場所を確認すると、バケット化ファイル名が異なることが示されています。これは、ハッシュ関数が EMR 6.x (Hive 3) と EMR 5.x (Hive 2) で異なるためです。

```
[hadoop@ip-10-0-0-122 ~]$ aws s3 ls s3://your-own-s3-bucket/emr-6-bucketing/day=01/
2020-10-21 20:35:16         13 000025_0
2020-10-21 20:35:22         14 000121_0
[hadoop@ip-10-0-0-122 ~]$ aws s3 ls s3://your-own-s3-bucket/emr-5-bucketing/day=01/
2020-10-21 20:32:07         13 000066_0
2020-10-21 20:32:51         14 000072_0
```

EMR 6.x で、Hive CLI で次のコマンドを実行し、バージョンの違いを確認することもできます。バケット化バージョン 2 が返されることに注意してください。

```
hive> DESCRIBE FORMATTED test_bucketing;
...
Table Parameters:
    bucketing_version       2
...
```

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

6.2.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.0.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.16.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.0.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.44.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.11.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.11.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-2	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.2.6-amzn-0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	2.2.6-amzn-0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.6-amzn-0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.6-amzn-0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.6-amzn-0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-3	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-3	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-3	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-3	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-3	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-3	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	3.1.2-amzn-3	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.6.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.6.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-prestosql	0.6.0-amzn-1	PrestoSQL を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.6.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mariadb-server	5.5.64+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.238.3-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.238.3-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.238.3-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
prestosql-coordinator	343	prestosql-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
prestosql-worker	343	いくつかのクエリを実行するサービス。
prestosql-client	343	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.0.1-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.0.1-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.0.1-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.0.1-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-rapids	0.2.0	GPU で Apache Spark を高速化する Nvidia Spark RAPIDS プラグイン。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.3.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0-preview1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.2.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-6.2.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services SecondaryNamenode, Datanode, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	This classification should not be reconfigured.
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop HDFS ZKFC.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat server.
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。	Sets configurations to launch Hive LLAP service.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2, HiveMetastore, and Hive HCatalog-Server. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoDB)
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)

分類	説明	再設定アクション
prestosql-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-node	PrestoSQL の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-blackhole	PrestoSQL の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-cassandra	PrestoSQL の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-hive	PrestoSQL の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server (for PrestoSQL)
prestosql-connector-jmx	PrestoSQL の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-kafka	PrestoSQL の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-localfile	PrestoSQL の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-memory	PrestoSQL の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
prestosql-connector-mongodb	PrestoSQL の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-mysql	PrestoSQL の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-postgresql	PrestoSQL の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-raptor	PrestoSQL の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redis	PrestoSQL の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-redshift	PrestoSQL の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpch	PrestoSQL の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
prestosql-connector-tpcds	PrestoSQL の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restart Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 6.1.1

6.1.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HudiHue、、JupyterHub、LivyMXNet、、Oo
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
AWS SDK for Java	1.11.828	1.11.828	1.11.711	1.11.711
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.0	1.11.0	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
HBase	2.2.5	2.2.5	2.2.3	2.2.3
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.0-incubating-amzn-1	0.5.0-incubating-amzn-1
Hue	4.7.1	4.7.1	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.6.0	1.6.0	1.5.1	1.5.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	-	-
Presto	0.232	0.232	0.230	0.230
Spark	3.0.0	3.0.0	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	-	-
TensorFlow	2.1.0	2.1.0	1.14.0	1.14.0

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	338	338	-	-
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.1.1 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。

- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。[Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories]

6.1.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.3.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.0.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.42.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.11.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-1.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-1.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-1.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-1.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-1.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-1.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-1.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-1.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-1.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-1.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-1.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	2.2.5	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.2.5	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.5	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.5	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.5	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.2-incubating-amzn-2	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.2-incubating-amzn-2	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-prestosql	0.5.2-incubating-amzn-2	PrestoSQL を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.5.2-incubating-amzn-2	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.7.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.6.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.3.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.232	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.232	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.232	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
prestosql-coordinator	338	prestosql-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
prestosql-worker	338	いくつかのクエリを実行するサービス。
prestosql-client	338	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.0.0-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.0.0-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	3.0.0-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.0.0-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.1.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0-preview1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.1.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-6.1.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
prestosql-node	PrestoSQL の node.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-blackhole	PrestoSQL の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-cassandra	PrestoSQL の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-hive	PrestoSQL の hive.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-jmx	PrestoSQL の jmx.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-kafka	PrestoSQL の kafka.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-localfile	PrestoSQL の localfile.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-memory	PrestoSQL の memory.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
prestosql-connector-mongodb	PrestoSQL の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-mysql	PrestoSQL の musql.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-postgresql	PrestoSQL の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-raptor	PrestoSQL の raptor.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-redis	PrestoSQL の redis.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-redshift	PrestoSQL の redshift.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-tpch	PrestoSQL の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-tpcds	PrestoSQL の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 6.1.0

6.1.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、次のアプリケーションが含まれています。Flink、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHudi、Hue、JupyterHub、、LivyMXNet、Oozie、ZooKeeper

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
AWS SDK for Java	1.11.828	1.11.828	1.11.711	1.11.711
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.0	1.11.0	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.2.5	2.2.5	2.2.3	2.2.3
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.0-incubating-amzn-1	0.5.0-incubating-amzn-1
Hue	4.7.1	4.7.1	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.6.0	1.6.0	1.5.1	1.5.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	-	-
Presto	0.232	0.232	0.230	0.230

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
Spark	3.0.0	3.0.0	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	-	-
TensorFlow	2.1.0	2.1.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	338	338	-	-
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.1.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.1.0 に関する情報が含まれています。6.0.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 9 月 4 日

最終更新日: 2020 年 10 月 15 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.828
- Flink バージョン 1.11.0
- Ganglia バージョン 3.7.2
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-1
- HBase バージョン 2.2.5
- HBase-operator-tools 1.0.0
- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-0
- Hive バージョン 3.1.2-amzn-1
- Hudi バージョン 0.5.2-incubating
- Hue バージョン 4.7.1

- JupyterHub バージョン 1.1.0
- Livy バージョン 0.7.0
- MXNet バージョン 1.6.0
- Oozie バージョン 5.2.0
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Presto バージョン 0.232
- PrestoSQL バージョン 338
- Spark バージョン 3.0.0-amzn-0
- TensorFlow バージョン 2.1.0
- Zeppelin バージョン 0.9.0-preview1
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.14.0

新機能

- ARM インスタンスタイプは、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降および Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降でサポートされています。
- M6g 汎用インスタンスタイプは、Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降および Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降でサポートされています。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「サポートされるインスタンスタイプ」を参照してください。
- EC2 プレイスメントグループ機能は、複数のプライマリノードクラスターのオプションとして Amazon EMR バージョン 5.23.0 以降でサポートされています。現在、プレイスメントグループ機能ではプライマリノードタイプのみがサポートされており、SPREAD ストラテジーは、これらのプライマリノードに適用されます。SPREAD 戦略では、ハードウェア障害の発生時に複数のプライマリノードが失われるのを防ぐため、少数のインスタンスを別個の基盤となるハードウェア全体に配置します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EC2 プレイスメントグループと EMR の統合」を参照してください。
- マネージドスケーリング - Amazon EMR バージョン 6.1.0 では、Amazon EMR Managed Scaling を有効にすることで、ワークロードに応じてクラスター内のインスタンスやユニットの数を自動的に増減できます。Amazon EMR は引き続きクラスターのメトリクスを評価し、クラスターのコストと速度を最適化するためのスケーリングを決定します。マネージドスケーリングは、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降 (6.0.0 を除く) でも使用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターリソースのスケーリング」を参照してください。

- PrestoSQL バージョン 338 は EMR 6.1.0 でサポートされています。詳細については、「Presto」を参照してください。
  - PrestoSQL は EMR 6.1.0 以降のバージョンでのみサポートされています。EMR 6.0.0 および EMR 5.x ではサポートされていません。
  - アプリケーション名 `Presto` は、クラスターに PrestoDB をインストールするために引き続き使用されます。クラスターに PrestoDB をインストールするには、アプリケーション名 `PrestoSQL` を使用します。
  - PrestoDB または PrestoSQL のいずれかをインストールできますが、両方を 1 つのクラスターにインストールすることはできません。クラスターの作成時に PrestoDB と PrestoSQL の両方を指定すると、検証エラーが発生し、クラスター作成リクエストは失敗します。
  - PrestoSQL は、シングルマスタークラスターとマルチマスタークラスターの両方でサポートされています。マルチマスタークラスターでは、PrestoSQL または PrestoDB を実行するには、外部 Hive メタストアが必要です。「複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターでサポートされるアプリケーション」を参照してください。
- Docker を使用した Apache Hadoop および Apache Spark での ECR 自動認証サポート: Spark ユーザーは、Docker Hub および Amazon Elastic Container Registry (Amazon ECR) の Docker イメージを使用して、環境とライブラリの依存関係を定義できます。

  Docker を設定し、Amazon EMR 6.x を使用して Docker で Spark アプリケーションを実行します。
- EMR は Apache Hive ACID トランザクションをサポートしています。Amazon EMR 6.1.0 では、データベースの ACID プロパティに準拠するように Hive ACID トランザクションのサポートが追加されています。この機能を使用すると、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) のデータを使用して Hive マネージドテーブルで `INSERT`, `UPDATE`, `DELETE`, および `MERGE` の各オペレーションを実行できます。これは、ストリーミングの取り込み、データの再記述、MERGE を使用した一括更新、徐々に変化するディメンションなどのユースケースにとって重要な機能です。設定例とユースケースを含め、詳細については、「Amazon EMR supports Apache Hive ACID transactions」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケー

リングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。

- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Apache Flink は EMR 6.0.0 ではサポートされていませんが、Flink 1.11.0 と EMR 6.1.0 ではサポートされています。これは、Hadoop 3 を公式にサポートする Flink の最初のバージョンです。「Apache Flink 1.11.0 Release Announcement」を参照してください。
- Ganglia はデフォルトの EMR 6.1.0 パッケージバンドルから削除されました。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大

オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
```

```
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- **Important**

  Amazon EMR 6.1.0 および 6.2.0 には、Hudi の挿入、アップサート、および削除操作すべてに大きな影響を及ぼす可能性があるパフォーマンスの問題が含まれています。Amazon EMR 6.1.0 または 6.2.0 で Hudi を使用する予定がある場合は、 AWS サポートに連絡してパッチが適用された Hudi RPM を取得する必要があります。

- `spark.driver.extraJavaOptions` と `spark.executor.extraJavaOptions` を使用してカスタムのガベージコレクション設定を指定すると、ガベージコレクション設定の競合のために、EMR 6.1 でドライバー/エグゼキューターの起動に失敗します。EMR リリース 6.1.0 では、代わりにプロパティ `spark.driver.defaultJavaOptions` と `spark.executor.defaultJavaOptions` を使用して、ドライバーとエグゼキューターのカスタムの Spark ガベージコレクション設定を指定する必要があります。詳細については、「Apache Spark のランタイム環境」および「Amazon EMR 6.1.0 での Spark ガベージコレクションの設定」を参照してください。

- Oozie で Pig を (Hue 内で。Hue では、Oozie アクションを使用して Pig スクリプトを実行するため) 使用すると、native-lzo ライブラリをロードできないというエラーが生成されます。このエラーメッセージは情報であるため、Pig の実行はブロックされません。

- Hudi 同時実行のサポート: 現在、Hudi は単一の Hudi テーブルへの同時書き込みをサポートしていません。さらに、Hudi は新しいライターの起動を許可する前に、進行中のライターによって行われた変更をロールバックします。同時書き込みは、このメカニズムを妨げて、競合状態を引き起こし、データの破損につながる可能性があります。データ処理ワークフローの一部として、いつでも 1 つの Hudi テーブルに対して動作する Hudi ライターが 1 つだけであることを確認してください。Hudi は、同じ Hudi テーブルに対して動作する複数の同時リーダーをサポートしています。

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエスト

と送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Amazon EMR 6.1.0 には、Presto を実行しているクラスターに影響する問題があります。長時間 (日単位) 後に、クラスターが「su: failed to execute /bin/bash: Resource temporarily unavailable」(su: /bin/bash の実行に失敗しました:リソースを一時的に利用できません) または「shell request failed on channel 0」(チャネル 0 でシェルリクエストが失敗しました) などのエラーをスローする可能性があります。この問題は、多すぎるライトウェイトプロセス (LWP) を生成する内部 Amazon EMR プロセス (InstanceController) が原因で発生し、最終的に Hadoop ユーザーが nproc の制限を超えることになります。これにより、ユーザーは追加のプロセスを開くことができなくなります。この問題の解決策は、EMR 6.2.0 にアップグレードすることです。

6.1.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.3.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	2.0.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.42.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.11.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.2.5	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.2.5	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.5	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.5	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.5	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.2-incubating-amzn-2	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.2-incubating-amzn-2	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi-prestosql	0.5.2-incubating-amzn-2	PrestoSQL を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-spark	0.5.2-incubating-amzn-2	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.7.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.6.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	4.3.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.232	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.232	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.232	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
prestosql-coordinator	338	prestosql-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
prestosql-worker	338	いくつかのクエリを実行するサービス。
prestosql-client	338	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	2.0.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	3.0.0-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	3.0.0-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	3.0.0-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	3.0.0-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.1.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.9.0-preview1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.1.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-6.1.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。

分類	説明
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
prestosql-node	PrestoSQL の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
prestosql-connector-blackhole	PrestoSQL の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-cassandra	PrestoSQL の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-hive	PrestoSQL の hive.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-jmx	PrestoSQL の jmx.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-kafka	PrestoSQL の kafka.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-localfile	PrestoSQL の localfile.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-memory	PrestoSQL の memory.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-mongodb	PrestoSQL の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-mysql	PrestoSQL の musql.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-postgresql	PrestoSQL の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-raptor	PrestoSQL の raptor.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-redis	PrestoSQL の redis.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-redshift	PrestoSQL の redshift.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
prestosql-connector-tpch	PrestoSQL の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
prestosql-connector-tpcds	PrestoSQL の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 6.0.1

6.0.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hudi、HueJupyterHub、Livy、、MXNet、、OozieP
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
AWS SDK for Java	1.11.828	1.11.828	1.11.711	1.11.711
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.0	1.11.0	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	2.2.5	2.2.5	2.2.3	2.2.3
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.0-incubating-amzn-1	0.5.0-incubating-amzn-1
Hue	4.7.1	4.7.1	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.6.0	1.6.0	1.5.1	1.5.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	-	-
Presto	0.232	0.232	0.230	0.230
Spark	3.0.0	3.0.0	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	-	-
TensorFlow	2.1.0	2.1.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	338	338	-	-
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.0.1 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- [SPARK-29683](https://issues.apache.org/jira/browse/SPARK-29683)。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- [YARN-9011](https://issues.apache.org/jira/browse/YARN-9011)。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories

6.0.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は

Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.6	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	3.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.5.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.39.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-0.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-0.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-0.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-0.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-0.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-0.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-0.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-0.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-0.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-0.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-0.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	2.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	3.1.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.0-incubating-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.0-incubating-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.230	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.230	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.230	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0-SNAPSHOT	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.0.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-6.0.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。

分類	説明
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 6.0.0

6.0.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hudi、Hue、JupyterHubLivy、、MXNet、、OozieF
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
AWS SDK for Java	1.11.828	1.11.828	1.11.711	1.11.711
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.12.10	2.12.10	2.12.10	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.0	1.11.0	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
HBase	2.2.5	2.2.5	2.2.3	2.2.3
HCatalog	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hadoop	3.2.1	3.2.1	3.2.1	3.2.1
Hive	3.1.2	3.1.2	3.1.2	3.1.2
Hudi	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.2-incubating-amzn-2	0.5.0-incubating-amzn-1	0.5.0-incubating-amzn-1
Hue	4.7.1	4.7.1	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.6.0	1.6.0	1.5.1	1.5.1
Mahout	-	-	-	-
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Pig	0.17.0	0.17.0	-	-
Presto	0.232	0.232	0.230	0.230
Spark	3.0.0	3.0.0	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	-	-
TensorFlow	2.1.0	2.1.0	1.14.0	1.14.0

	emr-6.1.1	emr-6.1.0	emr-6.0.1	emr-6.0.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	338	338	-	-
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

6.0.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.0.0 に関する情報が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 3 月 10 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.711
- Ganglia バージョン 3.7.2
- Hadoop バージョン 3.2.1
- HBase バージョン 2.2.3
- HCatalog バージョン 3.1.2
- Hive バージョン 3.1.2
- Hudi バージョン 0.5.0-incubating
- Hue バージョン 4.4.0
- JupyterHub バージョン 1.0.0
- Livy バージョン 0.6.0
- MXNet バージョン 1.5.1
- Oozie バージョン 5.1.0
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Presto バージョン 0.230
- Spark バージョン 2.4.4
- TensorFlow バージョン 1.14.0

- Zeppelin バージョン 0.9.0-SNAPSHOT
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.14.0

> **Note**
>
> Flink、Sqoop、Pig、および Mahout は、Amazon EMR バージョン 6.0.0 では使用できません。

新機能

- YARN Docker ランタイムのサポート - Spark ジョブなどの YARN アプリケーションは、Docker コンテナのコンテキストで実行できるようになりました。これにより、Amazon EMR クラスターにカスタムライブラリをインストールすることなく、Docker イメージの依存関係を簡単に定義できます。詳細については、「Docker 統合の設定」および「Amazon EMR 6.0.0 を使用して Docker で Spark アプリケーションを実行する」を参照してください。
- Hive LLAP のサポート - クエリのパフォーマンス向上のため、Hive が LLAP 実行モードをサポートしました。詳細については、「Hive LLAP の使用」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Amazon Linux
  - Amazon Linux 2 は EMR 6.x リリースシリーズのオペレーティングシステムです。
  - `systemd` は、Amazon Linux 1 で使用される `upstart` ではなく、サービス管理に使用されます。
- Java Development Kit (JDK)
  - Corretto JDK 8 は、EMR 6.x リリースシリーズのデフォルトの JDK です。
- Scala
  - Scala 2.12 は、Apache Spark および Apache Livy で使用されます。
- Python 3
  - Python 3 が EMR の Python のデフォルトバージョンになりました。
- YARN ノードラベル
  - Amazon EMR 6.x リリースシリーズ以降では、YARN ノードラベル機能はデフォルトで無効になっています。アプリケーションマスタープロセスは、デフォルトでコアノードとタスクノードの両方で実行できます。次のプロパティを設定することで、YARN ノードラベル機能を有効にできます: `yarn.node-labels.enabled` および `yarn.node-labels.am.default-node-label-expression`。詳細については、「Understanding Primary, Core, and Task Nodes」を参照してください。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して

Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
```

```
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- PySpark、SparkR、spark-shell を含む Spark インタラクティブシェルは、追加のライブラリでの Docker の使用をサポートしていません。
- Amazon EMR バージョン 6.0.0 で Python 3 を使用するには、`PATH` を `yarn.nodemanager.env-whitelist` に追加する必要があります。
- AWS Glue データカタログを Hive のメタストアとして使用する場合、Live Long and Process (LLAP) 機能はサポートされていません。
- Spark と Docker の統合で Amazon EMR 6.0.0 を使用する場合、Docker ランタイムで Spark ジョブを送信する際の失敗を回避するために、同じインスタンスタイプおよび同量の EBS ボリュームでクラスター内のインスタンスを設定する必要があります。
- Amazon EMR 6.0.0 では、HBase on Amazon S3 ストレージモードは HBASE-24286 の問題の影響を受けます。既存の S3 データを使用してクラスターを作成する場合、HBase マスターは初期化できません。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

6.0.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.6	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	3.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.5.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.39.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	3.2.1-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	3.2.1-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	3.2.1-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	3.2.1-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	3.2.1-amzn-0	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	3.2.1-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	3.2.1-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	3.2.1-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	3.2.1-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	3.2.1-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	3.2.1-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	2.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	2.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	2.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	2.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	2.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	3.1.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	3.1.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	3.1.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	3.1.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	3.1.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	3.1.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	3.1.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.0-incubating-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.0-incubating-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mariadb-server	5.5.64+	MariaDB データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	5.0.0-HBase-2.0	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	5.0.0-HBase-2.0	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.230	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.230	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.230	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.41+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0-SNAPSHOT	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

6.0.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-configure-apps.html)」を参照してください。

emr-6.0.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-env	HDFS 環境の値を変更します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive	Apache Hive 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR 5.x リリースバージョン

このセクションでは、各 Amazon EMR 5.x リリースバージョンのアプリケーションバージョン、リリースノート、コンポーネントバージョン、および設定分類を示しています。

クラスターを起動するときに、複数の Amazon EMR リリースから選択できます。これにより、互換性の要件に適合するアプリケーションバージョンをテストして使用できます。リリース番号はリリースラベルで指定します。リリースラベルの形式は `emr-x.x.x` です。例えば、`emr-7.9.0`。

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

すべての Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョンの包括的な表については、「Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。

トピック

- Amazon EMR リリース 5.32.1
- Amazon EMR リリース 5.32.0
- Amazon EMR リリース 5.31.1
- Amazon EMR リリース 5.31.0
- Amazon EMR リリース 5.30.2
- Amazon EMR リリース 5.30.1
- Amazon EMR リリース 5.30.0
- Amazon EMR リリース 5.29.0
- Amazon EMR リリース 5.28.1
- Amazon EMR リリース 5.28.0
- Amazon EMR リリース 5.27.1
- Amazon EMR リリース 5.27.0
- Amazon EMR リリース 5.26.0
- Amazon EMR リリース 5.25.0
- Amazon EMR リリース 5.24.1
- Amazon EMR リリース 5.24.0
- Amazon EMR リリース 5.23.1
- Amazon EMR リリース 5.23.0
- Amazon EMR リリース 5.22.0
- Amazon EMR リリース 5.21.2
- Amazon EMR リリース 5.21.1
- Amazon EMR リリース 5.21.0
- Amazon EMR リリース 5.20.1
- Amazon EMR リリース 5.20.0
- Amazon EMR リリース 5.19.1
- Amazon EMR リリース 5.19.0
- Amazon EMR リリース 5.18.1
- Amazon EMR リリース 5.18.0

- Amazon EMR リリース 5.7.1
- Amazon EMR リリース 5.7.0
- Amazon EMR リリース 5.6.1
- Amazon EMR リリース 5.6.0
- Amazon EMR リリース 5.5.4
- Amazon EMR リリース 5.5.3
- Amazon EMR リリース 5.5.2
- Amazon EMR リリース 5.5.1
- Amazon EMR リリース 5.5.0
- Amazon EMR リリース 5.4.1
- Amazon EMR リリース 5.4.0
- Amazon EMR リリース 5.3.2
- Amazon EMR リリース 5.3.1
- Amazon EMR リリース 5.3.0
- Amazon EMR リリース 5.2.3
- Amazon EMR リリース 5.2.2
- Amazon EMR リリース 5.2.1
- Amazon EMR リリース 5.2.0
- Amazon EMR リリース 5.1.1
- Amazon EMR リリース 5.1.0
- Amazon EMR リリース 5.0.3
- Amazon EMR リリース 5.0.2
- Amazon EMR リリース 5.0.1
- Amazon EMR リリース 5.0.0

Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン

各 Amazon EMR 5.x リリースで利用可能なアプリケーションバージョンを示した包括的な表については、ブラウザで「Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン」を開いて確認してください。

Amazon EMR リリース 5.36.2

5.36.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Delta、、Flink、GangliaHBase、HCatalog、、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、IcebergJupyterEnterpris
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.36.2	emr-5.36.1	emr-5.36.0	emr-5.35.0
AWS SDK for Java	206 年 1 月 12 日	206 年 1 月 12 日	206 年 1 月 12 日	1.12.159
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.2	1.14.2	1.14.2	1.14.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.36.2	emr-5.36.1	emr-5.36.0	emr-5.35.0
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.9	2.3.9	2.3.9	2.3.9
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.1
Hive	2.3.9	2.3.9	2.3.9	2.3.9
Hudi	0.10.1-amzn-1	0.10.1-amzn-1	0.10.1-amzn-1	0.9.0-amzn-2
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.6.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.8.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.267	0.267	0.267	0.266
Spark	2.4.8	2.4.8	2.4.8	2.4.8
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.36.2	emr-5.36.1	emr-5.36.0	emr-5.35.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.10.0	0.10.0	0.10.0	0.10.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.36.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.36.2 に関する情報が含まれています。5.36.1 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、Amazon EMR がクラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回ってコアノードをスケールダウンしなくなりました。この改善によりデータの冗長性要件が満たされ、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に実行するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- Amazon EMR がコアノードを正常に廃止し、完全に廃止される前に異常になる間に、クラスターのスケールダウン操作が停止する問題を修正しました。
- Amazon EMR が 1 つのノードを再起動すると、複数のプライマリノードを持つ高可用性クラスター内のノードの安定性が向上します。
- Amazon EC2 で実行されている Amazon EMR でのログ管理が最適化されています。その結果、クラスターログのストレージコストがわずかに削減される可能性があります。
- プライマリノードで管理される ZooKeeper トランザクションログファイルの管理が改善され、ログファイルが範囲外になり、クラスターの操作が中断されるシナリオを最小限に抑えることができます。
- Yarn ResourceManager と通信できないために、複数のプライマリノードを持つ高可用性クラスターが失敗する可能性のあるまれなバグを修正しました。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム）、中東 (バーレーン）、 中国 (北京） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 米国東部 (オハイオ）、 アフリカ (ケープタウン）、 欧州 (アイルランド）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (フランクフルト）、 南米 (サンパウロ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、アジアパシフィック (マレーシア）、 欧州 (ロンドン）、、 アジアパシフィック (メルボルン）、欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			シフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、イスラエル (テルアビブ）カナダ西部 (カルガリー）欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 503.0	4.14.343	2024 年 xxxxxx	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

5.36.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.16.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.5.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.21.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.7.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.51.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.10.1-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.9-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.9-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.9-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.9-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.9-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.9-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.9-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.10.1-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.10.1-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.10.1-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.13.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	11.0.194	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.267-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.267-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.267-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.8-amzn-2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.8-amzn-2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.8-amzn-2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.8-amzn-2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.36.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.36.2 分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode,

分類	説明	再設定アクション
		Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.

分類	説明	再設定アクション
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

5.36.2 変更ログ

5.36.2 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2024-05-28	デプロイ完了	Amazon EMR 5.36.2 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2024-05-28	ドキュメント公開	Amazon EMR 5.36.2 リリースノートの初版が公開されました
2024-05-20	初回リリース	Amazon EMR 5.36.2 が限定商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 5.36.1

5.36.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、、Iceberg、JupyterEnterpriseGat
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.36.1	emr-5.36.0	emr-5.35.0	emr-5.34.0
AWS SDK for Java	206 年 1 月 12 日	206 年 1 月 12 日	1.12.159	1.11.970
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.2	1.14.2	1.14.2	1.13.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.9	2.3.9	2.3.9	2.3.8
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.1
Hive	2.3.9	2.3.9	2.3.9	2.3.8
Hudi	0.10.1-amzn-1	0.10.1-amzn-1	0.9.0-amzn-2	0.9.0-amzn-0
Hue	4.10.0	4.10.0	4.10.0	4.9.0

	emr-5.36.1	emr-5.36.0	emr-5.35.0	emr-5.34.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.6.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.4.1
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.8.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.1
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.267	0.267	0.266	0.261
Spark	2.4.8	2.4.8	2.4.8	2.4.8
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.10.0	0.10.0	0.10.0	0.10.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.36.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.36.1 に関する情報が含まれています。5.36.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR リリース 5.36.1 では、クラスターのスケールダウン中に Amazon S3 にログをアーカイブするためのサポートが追加されています。以前の 5.x リリースでは、クラスター終了時にのみ Amazon S3 にログファイルをアーカイブできました。この改善により、クラスターで生成されたログファイルは、ノードが終了した後も Amazon S3 に残ります。詳細については、「クラスターのログ記録とデバッグを設定する」を参照してください。
- 5.36.1 リリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが改善され、EMR クラスター内の追加のログフォルダを監視できるようになりました。この改善により、ディスクの過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- 5.36.1 リリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが停止すると、自動的に再起動されます。この改善により、ディスクの過剰使用が原因でノードが異常に見えるリスクが軽減されます。
- 5.36.1 リリースでは、プライマリノードの Amazon EMR デーモンが、クラスター内の終了したインスタンスの古いメタデータを保持する問題が修正されています。古いデータを維持すると、クラスター上の CPU とメモリの使用量が際限なく増加し、最終的にはクラスターに障害が発生する可能性があります。
- 複数のプライマリノードで起動されるクラスターの場合、5.36.1 リリースでは、プライマリノードの 1 つで Amazon EC2 ハードウェア障害が発生すると、2 つ目のプライマリノードに障害が発生し、クラスターが不安定になるという問題が修正されています。
- 送信中の暗号化が設定されているクラスターの場合、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータを認識するようになりました。Spark シャッフルデータは、Spark が特定の操作を実行するためにパーティションに再配分するデータです。スケールダウン中、マネージドスケーリングは、シャッフルデータを含むインスタンスを無視します。これにより、料金とパフォーマンスの面でコストがかかる、ジョブの再試行や再計算を防ぐことができます。シャッフル操作の詳細については、Spark のプログラミングガイドを参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

5.36.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.16.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.5.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.21.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.7.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.51.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.9-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.9-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.9-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.9-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.9-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.9-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.9-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.10.1-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.10.1-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.10.1-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.13.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	11.0.194	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.267-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.267-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.267-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.8-amzn-2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.8-amzn-2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.8-amzn-2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.8-amzn-2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.36.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.36.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode,

分類	説明	再設定アクション
		Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.

分類	説明	再設定アクション
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
hudi-defaults	Hudi の hudi-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.

分類	説明	再設定アクション
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServe r.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.

分類	説明	再設定アクション
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.

分類	説明	再設定アクション
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.

分類	説明	再設定アクション
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

5.36.1 変更ログ

5.36.1 リリースおよびリリースノートの変更ログ

日付	イベント	説明
2023-07-26	更新	新しい OS リリースラベル `2.0.20230612.0` と `2.0.20230628.0` 。
2023-05-25	デプロイ完了	Amazon EMR 5.36.1 がすべてのサポートされているリージョンに完全にデプロイされました
2023-05-09	ドキュメント公開	Amazon EMR 5.36.1 リリースノートの初版が公開されました
2023-05-04	初回リリース	Amazon EMR 5.36.1 が限定商用リージョンに初めてデプロイされました

Amazon EMR リリース 5.36.0

5.36.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、Iceberg、、JupyterEnterpriseGat
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.36.0	emr-5.35.0	emr-5.34.0	emr-5.33.1
AWS SDK for Java	206 年 1 月 12 日	1.12.159	1.11.970	1.11.970
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.2	1.14.2	1.13.1	1.12.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.9	2.3.9	2.3.8	2.3.7
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.1
Hive	2.3.9	2.3.9	2.3.8	2.3.7

	emr-5.36.0	emr-5.35.0	emr-5.34.0	emr-5.33.1
Hudi	0.10.1-amzn-1	0.9.0-amzn-2	0.9.0-amzn-0	0.7.0-amzn-1
Hue	4.10.0	4.10.0	4.9.0	4.9.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.4.1	1.2.2
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.0
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.7.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.1	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.267	0.266	0.261	0.245.1
Spark	2.4.8	2.4.8	2.4.8	2.4.7
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.10.0	0.10.0	0.10.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.36.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.36.0 に関する情報が含まれています。5.35.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 6 月 15 日

新機能

- Amazon EMR リリース 5.36.0 では、Apache Ranger 対応クラスターでの Apache Spark によるデータ定義言語 (DDL) のサポートが追加されています。これにより、Apache Ranger を使用して、Amazon EMR クラスターからのデータベースやテーブルの作成、変更、削除などの操作のためのアクセスを管理できます。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			エル (テルアビブ) カナダ (中部) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			イン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、 AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			イン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.20230404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220912.1	4.14.291	2022 年 10 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220719.0	4.14.287	2022 年 8 月 10 日	米国西部 (北カリフォルニア)、欧州 (パリ)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (フランクフルト)、アジアパシフィック (ムンバイ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220426.0	4.14.281	2022 年 6 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR 5.36.0 のアップグレードでは、aws-sdk 1.12.206、Hadoop 2.10.1-amzn-4、Hive 2.3.9-amzn-2、Hudi 0.10.1-amzn-1、Spark 2.4.8-amzn-2、Presto 0.267-amzn-1、Amazon Glue コネクタ 1.18.0、EMRFS 2.51.0 がサポートされるようになりました。

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

  ```
  --bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
  ```

  Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

5.36.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.16.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.5.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.21.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.7.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.51.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.9-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.9-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.9-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.9-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.9-amzn-2	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.9-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.9-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.10.1-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.10.1-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.10.1-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.13.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	11.0.194	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.267-amzn-1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.267-amzn-1	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.267-amzn-1	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.8-amzn-2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.8-amzn-2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.8-amzn-2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.8-amzn-2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.36.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.36.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.

分類	説明	再設定アクション
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.35.0

5.35.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、次のアプリケーションが含まれます。Flink、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hudi、HueIceberg、、、JupyterEnterpriseGatew
ZooKeeper

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.35.0	emr-5.34.0	emr-5.33.1	emr-5.33.0
AWS SDK for Java	1.12.159	1.11.970	1.11.970	1.11.970
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.14.2	1.13.1	1.12.1	1.12.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.35.0	emr-5.34.0	emr-5.33.1	emr-5.33.0
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.9	2.3.8	2.3.7	2.3.7
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.1
Hive	2.3.9	2.3.8	2.3.7	2.3.7
Hudi	0.9.0-amzn-2	0.9.0-amzn-0	0.7.0-amzn-1	0.7.0-amzn-1
Hue	4.10.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.4.1	1.2.2	1.2.2
Livy	0.7.1	0.7.1	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.8.0	1.8.0	1.7.0	1.7.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.1	5.2.1	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.266	0.261	0.245.1	0.245.1
Spark	2.4.8	2.4.8	2.4.7	2.4.7
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.4.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.35.0	emr-5.34.0	emr-5.33.1	emr-5.33.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.10.0	0.10.0	0.9.0	0.9.0
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.35.0 リリースノート

これは Amazon EMR リリース 5.35.0 のリリースノートです。

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.35.0 に関する情報が含まれています。5.34.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 3 月 30 日

新機能

- Log4j 1.x と Log4j 2.x を使用する Amazon EMR リリース 5.35 アプリケーションは、それぞれ Log4j 1.2.17 (またはそれ以上) と Log4j 2.17.1 (またはそれ以上) を使用するようにアップグレードされます。以前のリリースの CVE の問題を軽減するためにブートストラップアクションを使用する必要はなくなります。「CVE-2021-44228 を軽減するためのアプローチ」を参照してください。

変更、拡張、解決した問題

Flink の変更

変更の種類	説明
アップグレード	• Flink のバージョンを 1.14.2 にアップデートします。 • log4j は 2.17.1 にアップグレードされました。

Hadoop の変更

変更の種類	説明
EMR 5.34.0 以降の Hadoop オープンソースバックポート	• YARN-10438: ClientRMService#getContainerReport() で null containerId を処理 • YARN-7266: タイムラインサーバーのイベントハンドラースレッドがロックされている • YARN-10438: RollingLevelDb ファイルが破損しているか、見つからない場合、ATS 1.5 が起動に失敗する • HADOOP-13500: 設定プロパティオブジェクトのイテレーションの同期 • YARN-10651: AbstractYarnScheduler.updateNodeResource() の NPE で CapacityScheduler がクラッシュする • HDFS-12221: XmlEditsVisitor 内の xerces を置き換える • HDFS-16410: OfflineEditsXmlLoader での XML 解析のセキュリティが保護されていない
Hadoop の変更と修正	• KMS と HttpFS で使用されている Tomcat が 8.5.75 にアップグレードされました。 • FileSystemOptimizedCommitterV2 で、コミッターの作成時に定義された commitJob 出力パスに成功マーカーが書き込まれました。commitJob とタスクレベルの出力パスは異なる場合があるため、マニフェストファイルで定義されているものを使用するようにパスが修正されました。これにより、Hive ジョブで、動的パーティションや UNION ALL などの操作を実行すると、成功マーカーが正しく書き込まれるようになりました。

Hive の変更点

変更の種類	説明
Hive がオープンソースリリース 2.3.9 にアップグレードされました (これらの JIRA の修正を含む)	• HIVE-17155: HiveConf.java の findConfFile() の設定パスにいくつか問題がある • HIVE-24797: Avro スキーマを解析するときのデフォルト値の検証を無効にする • HIVE-21563: registerAllFunctionsOnce を無効にすることで Table#getEmptyTable のパフォーマンスを向上させる • HIVE-18147: java.net.BindException が発生してテストが失敗することがある: アドレスが既に使用されている • HIVE-24608: Hive 2.3.x の HMS クライアントで get_table に切り替える • HIVE-21200: ベクトル化 - Parquet の java.lang.UnsupportedOperationException をスローする日付列 • HIVE-19228: commons-httpclient 3.x の使用を削除する
EMR 5.34.0 以降の Hive オープンソースバックポート	• HIVE-19990: 結合条件に間隔のリテラルを含むクエリが失敗する • HIVE-25824: branch-2.3 を log4j 2.17.0 にアップグレードする • TEZ-4062: 投機的試行のスケジューリングはタスクが完了したら中止する必要がある • TEZ-4108: 投機的実行の競合状態中の NullPointerException • TEZ-3918: tez.task.log.level を設定しても機能しない
Hive のアップグレードと修正	• Log4j バージョンの 2.17.1 へのアップグレード

変更の種類	説明
	• ORC バージョンの 1.4.3 へのアップグレード • ShuffleScheduler のペナルティスレッドによる FixED のデッドロック
新機能	• Hive クエリを AM ログに出力する機能が追加されました。これはデフォルトでは無効になっています。フラグ/設定: `tez.am.emr.print.hive.query.in.log` 。ステータス (デフォルト): FALSE。

Oozie の変更

変更の種類	説明
EMR 5.34.0 以降の Oozie オープンソースバックポート	• OOZIE-3652: Oozie ランチャーは NoSuchFileException が発生した場合にディレクトリのリスト化を再試行する必要がある

Pig の変更

変更の種類	説明
アップグレード	• log4j は 1.2.17 にアップグレードされました。

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。

- 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.35.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.15.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.5.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.20.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.7.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.49.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.14.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.14.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.9-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.9-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.9-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.9-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.9-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.9-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.9-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.9.0-amzn-2	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.9.0-amzn-2	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.9.0-amzn-2	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.13.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.266-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.266-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.266-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.8-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.8-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.8-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.8-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.35.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.35.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.34.0

5.34.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.34.0	emr-5.33.1	emr-5.33.0	emr-5.32.1
AWS SDK for Java	1.11.970	1.11.970	1.11.970	1.11.890
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.13.1	1.12.1	1.12.1	1.11.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.34.0	emr-5.33.1	emr-5.33.0	emr-5.32.1
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.8	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.1
Hive	2.3.8	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hudi	0.9.0-amzn-0	0.7.0-amzn-1	0.7.0-amzn-1	0.6.0-amzn-0
Hue	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.8.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.4.1	1.2.2	1.2.2	1.1.0
Livy	0.7.1	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.8.0	1.7.0	1.7.0	1.7.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.1	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.261	0.245.1	0.245.1	0.240.1
Spark	2.4.8	2.4.7	2.4.7	2.4.7
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.4.1	2.3.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.34.0	emr-5.33.1	emr-5.33.0	emr-5.32.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.10.0	0.9.0	0.9.0	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.34.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.34.0 に関する情報が含まれています。5.33.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 1 月 20 日

更新リリース日: 2022 年 3 月 21 日

新機能

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配するデータ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。
- [Hudi] Hudi の設定を簡素化するための改良点。オプティミスティック同時実行制御をデフォルトで無効にしました。

変更、拡張、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- 以前は、マルチマスタークラスターでリソースマネージャーを手動で再起動すると、Zookeeper などの Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、Zookeeper znode ファイル内の以前に廃止された、または失われたすべてのノードを再ロードしていました。これにより、特定の状況でデフォルトの制限を超えることがありました。Amazon EMR では、1 時間以上経過した、廃止された、

または失われたノードレコードが Zookeeper ファイルから削除されるようになり、内部制限も引き上げられました。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Zeppelin をバージョン 0.10.0 にアップグレードしました。
- Livy Fix - 0.7.1 にアップグレード
- Spark のパフォーマンスの向上 - EMR 5.34.0 で特定の Spark 設定値がオーバーライドされると、異種エグゼキューターが無効になります。
- WebHDFS と HttpFS サーバーはデフォルトで無効になっています。Hadoop 設定 `dfs.webhdfs.enabled` を使用して WebHDF を再度有効にすることができます。HttpFS サーバーを起動するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用します。

既知の問題

- Livy ユーザー偽装で使用される Amazon EMR Notebooks 機能は、HttpFS がデフォルトで無効になっているため機能しません。この場合、EMR notebooks は Livy 偽装が有効になっているクラスターに接続できません。回避策は、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して EMR notebooks をクラスターに接続する前に、HttpFS サーバーを起動することです。

- Apache Hadoop HttpFS サーバーはデフォルトで無効になるため、Hue クエリは Amazon EMR 6.4.0 では機能しません。Amazon EMR 6.4.0 で Hue を使用するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して Amazon EMR プライマリノードで HttpFS サーバーを手動で起動するか、または Amazon EMR のステップを使用します。
- Livy ユーザー偽装で使用される Amazon EMR Notebooks 機能は、HttpFS がデフォルトで無効になっているため機能しません。この場合、EMR notebooks は Livy 偽装が有効になっているクラスターに接続できません。回避策は、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して EMR notebooks をクラスターに接続する前に、HttpFS サーバーを起動することです。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.34.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.14.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.4.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.18.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.7.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.48.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.13.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-jobmanager-config	1.13.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-2	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.10.1-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.8-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.8-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.8-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.8-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.8-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.8-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.8-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.9.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.9.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.9.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.4.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.1-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.13.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.8.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.261-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.261-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.261-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.8-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.8-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.8-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.8-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.10.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.34.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.34.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ

分類	説明	再設定アクション
		er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServe r2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts HBaseRegi onserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore , Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.prop erties 設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.33.1

5.33.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.33.1	emr-5.33.0	emr-5.32.1	emr-5.32.0
AWS SDK for Java	1.11.970	1.11.970	1.11.890	1.11.890
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.12.1	1.12.1	1.11.2	1.11.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.33.1	emr-5.33.0	emr-5.32.1	emr-5.32.0
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.1
Hive	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hudi	0.7.0-amzn-1	0.7.0-amzn-1	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0
Hue	4.9.0	4.9.0	4.8.0	4.8.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
JupyterHub	1.2.2	1.2.2	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.7.0	1.7.0	1.7.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.245.1	0.245.1	0.240.1	0.240.1
Spark	2.4.7	2.4.7	2.4.7	2.4.7
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.4.1	2.3.1	2.3.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.33.1	emr-5.33.0	emr-5.32.1	emr-5.32.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.9.0	0.9.0	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.33.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.33.0/5.33.1 に関する情報が含まれています。5.32.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2021 年 4 月 19 日

最終更新日: 2021 年 8 月 9 日

アップグレード

- Amazon Glue コネクタをバージョン 1.15.0 にアップグレードしました
- バージョン 1.11.970 AWS SDK for Java にアップグレード
- EMRFS をバージョン 2.46.0 にアップグレードしました
- EMR Goodies をバージョン 2.14.0 にアップグレードしました
- EMR Record Server をバージョン 1.9.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Dist CP をバージョン 2.18.0 にアップグレードしました
- EMR Secret Agent をバージョン 1.8.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.12.1 にアップグレードしました
- Hadoop をバージョン 2.10.1-amzn-1 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.7-amzn-4 にアップグレードしました
- Hudi をバージョン 0.7.0 にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.9.0 にアップグレードしました
- OpenCV をバージョン 4.5.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.245.1-amzn-0 にアップグレードしました
- R をバージョン 4.0.2 にアップグレードしました

- Spark をバージョン 2.4.7-amzn-1 にアップグレードしました
- TensorFlow をバージョン 2.4.1 にアップグレードしました
- Zeppelin をバージョン 0.9.0 にアップグレードしました

変更、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- [SPARK-29683](https://issues.apache.org/jira/browse/SPARK-29683)。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- [YARN-9011](https://issues.apache.org/jira/browse/YARN-9011)。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Apache YARN タイムラインサーバーのバージョン 1 および 1.5 のパフォーマンスの問題を修正するためのクラスターの設定

  Apache YARN タイムラインサーバーのバージョン 1 および 1.5 では、特に Amazon EMR のデフォルト設定である `yarn.resourcemanager.system-metrics-`

`publisher.enabled=true` を使用する場合に、非常にアクティブで大規模な EMR クラスターでパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。オープンソースの YARN タイムラインサーバー v2 では、YARN タイムラインサーバーのスケーラビリティに関連するパフォーマンスの問題が解決されています。

この問題の他の回避策には、次のものがあります。

- yarn-site.xml で yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled=false を設定します。
- クラスターの作成時にこの問題の修正を有効にします (以下を参照)。

次の Amazon EMR リリースには、この YARN タイムラインサーバーのパフォーマンス問題の修正が含まれています。

EMR 5.30.2、5.31.1、5.32.1、5.33.1、5.34.x、6.0.1、6.1.1、6.2.1、6.3.1、6.4.x

上記に示されている Amazon EMR リリースで修正を有効にするには、[`aws emr create-cluster` コマンドのパラメータ](#) `--configurations file://./configurations.json` で渡される設定の JSON ファイルで、以下のプロパティを `true` に設定します。または、[再構成コンソール UI](#) を使用して修正を有効にします。

configurations.json ファイルの内容の例

```
[
{
"Classification": "yarn-site",
"Properties": {
"yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.timeline-server-v1.enable-batch":
 "true",
"yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled": "true"
},
"Configurations": []
}
]
```

- Spark 挿入クエリのために Hive メタストアからパーティションの場所を取得するときに Spark ランタイムが高速になりました。
- コンポーネントのバージョンをアップグレードしました。コンポーネントのバージョンのリストについては、このガイドの「[Amazon EMR リリースについて](#)」を参照してください。

- 新しいクラスターごとに AWS Java SDK バンドルをインストールしました。これは、個々のコンポーネント jar ではなく、すべてのサービス SDK とその依存関係を含む単一の jar です。詳細については、「Java SDK Bundled Dependency」を参照してください。
- 以前の Amazon EMR リリースでマネージドスケーリングの問題を修正し、アプリケーションの障害率が大幅に低下するように改善しました。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories

新機能

- Amazon EMR は Amazon S3 Access Points をサポートしています。これは、共有データレイクへのアクセスを簡単に管理できる Amazon S3 の機能です。Amazon S3 アクセスポイントのエイリアスを使用すると、Amazon EMR で大規模なデータアクセスを簡素化できます。Amazon EMR が利用可能なすべての AWS リージョンで、Amazon EMR のすべてのバージョンで Amazon S3 アクセスポイントを追加料金なしで使用できます。Amazon S3 Access Points と Access Points のエイリアスの詳細については、「Amazon S3 ユーザー ガイド」の「アクセス ポイントにバケット形式のエイリアスの使用」を参照してください。
- Amazon EMR-5.33 は、新しいAmazon EC2 インスタンスタイプ c5a、c5ad、c6gn、c6gd、m6gd、d3、d3en、m5zn、r5b、r6gd をサポートしています。「サポートされるインスタンスタイプ」を参照してください。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI

の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
```

```
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- Amazon EMR 6.3.0 および 6.2.0 のプライベートサブネットクラスターで、Ganglia ウェブ UI にアクセスできません。「アクセス拒否 (403)」というエラーが表示されます。Spark、Hue、JupyterHub、Zeppelin、Livy、Tez などの他のウェブ UI は正常に動作します。パブリックサブネットクラスターでの Ganglia ウェブ UI アクセスも正常に動作します。この問題を解決するには、`sudo systemctl restart httpd` を使用してプライマリノードで httpd サービスを再起動します。この問題は、Amazon EMR 6.4.0 で修正されています。
- **Important**

  Amazon Linux または Amazon Linux 2 Amazon マシンイメージ (AMI) を実行する EMR クラスターは、デフォルトの Amazon Linux 動作を使用します。再起動が必要な重要かつクリティカルなカーネル更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。これは、デフォルトの Amazon Linux AMI を実行している他の Amazon EC2 インスタンスと同じ動作です。Amazon EMR リリースが利用可能になった後に、再起動が必要な新しい Amazon Linux ソフトウェアアップデート (カーネル、NVIDIA、CUDA のアップデートなど) が使用可能になった場合、デフォルトの AMI を実行する EMR クラスターインスタンスで、それらの更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。カーネルの更新を取得するには、Amazon EMR AMI をカスタマイズして、最新の Amazon Linux AMI を使用できるようにします。
- Ranger AWS 統合オプションを指定するセキュリティ設定を作成するためのコンソールサポートは、現在 GovCloud リージョンではサポートされていません。セキュリティ設定は CLI を使用して実行できます。「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR セキュリティ設定を作成する」を参照してください。
- スコープ管理ポリシー: AWS ベストプラクティスに合わせて、Amazon EMR は v2 EMR スコープのデフォルト管理ポリシーを廃止されるポリシーの置き換えとして導入しました。「Amazon EMR 管理ポリシー」を参照してください。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。

- 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.33.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.14.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.2.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.18.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.6.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.46.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.12.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.12.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-1.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-1.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-1.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-1.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-1.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-1.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-1.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-1.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-1.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-1.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-1.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.7-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.7-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.7-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.7-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.7-amzn-4	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.7-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.7-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.7.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.7.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.7.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.2.2	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.245.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.245.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.245.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.7-amzn-1.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.7-amzn-1.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.7-amzn-1.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.7-amzn-1.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.33.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.33.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.33.0

5.33.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hudi、Hue、、JupyterEnterpriseGateway、Ju
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.33.0	emr-5.32.1	emr-5.32.0	emr-5.31.1
AWS SDK for Java	1.11.970	1.11.890	1.11.890	1.11.852
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.12.1	1.11.2	1.11.2	1.11.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.33.0	emr-5.32.1	emr-5.32.0	emr-5.31.1
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.1	2.10.0
Hive	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hudi	0.7.0-amzn-1	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0
Hue	4.9.0	4.8.0	4.8.0	4.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	2.1.0	-
JupyterHub	1.2.2	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.7.0	1.7.0	1.6.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.245.1	0.240.1	0.240.1	0.238.3
Spark	2.4.7	2.4.7	2.4.7	2.4.6
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.4.1	2.3.1	2.3.1	2.1.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.33.0	emr-5.32.1	emr-5.32.0	emr-5.31.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.9.0	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.33.0 リリースノート

5.33.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.14.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.2.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.18.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.6.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.46.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.12.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.12.1	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.7-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.7-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.7-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.7-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.7-amzn-4	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.7-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.7-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.7.0-amzn-1	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.7.0-amzn-1	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.7.0-amzn-1	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.2.2	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー

コンポーネント	バージョン	説明
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.5.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.245.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.245.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.245.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	4.0.2	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.7-amzn-1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.7-amzn-1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.7-amzn-1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.7-amzn-1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.4.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.9.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.33.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.33.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the

分類	説明	再設定アクション
		Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-session	Kubernetes/Yarn セッションの Flink log4j-session.properties 設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zeppelin-site	zeppelin-site.xml の構成設定を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.32.1

5.32.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、、HudiHue、JupyterEnterpriseGateway、、Ju
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.32.1	emr-5.32.0	emr-5.31.1	emr-5.31.0
AWS SDK for Java	1.11.890	1.11.890	1.11.852	1.11.852
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.2	1.11.2	1.11.0	1.11.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.32.1	emr-5.32.0	emr-5.31.1	emr-5.31.0
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hadoop	2.10.1	2.10.1	2.10.0	2.10.0
Hive	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.7
Hudi	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0
Hue	4.8.0	4.8.0	4.7.1	4.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	2.1.0	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.7.0	1.6.0	1.6.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.240.1	0.240.1	0.238.3	0.238.3
Spark	2.4.7	2.4.7	2.4.6	2.4.6
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.3.1	2.3.1	2.1.0	2.1.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.32.1	emr-5.32.0	emr-5.31.1	emr-5.31.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.32.1 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース

5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。

- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。[Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories](#)

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.32.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.1.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.17.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.6.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.45.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.11.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.11.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-0.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-0.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-0.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-0.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-0.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-0.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-0.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-0.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-0.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-0.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-0.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.7-amzn-3	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.7-amzn-3	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.7-amzn-3	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.7-amzn-3	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.7-amzn-3	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.7-amzn-3	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.7-amzn-3	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.6.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.6.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.6.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.240.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.240.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.240.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.7-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.7-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.7-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.7-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.3.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.32.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.32.1 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ

分類	説明	再設定アクション
		er, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts PhoenixQueryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.32.0

5.32.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、JupyterEnterpriseGateway、、Ju
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.32.0	emr-5.31.1	emr-5.31.0	emr-5.30.2
AWS SDK for Java	1.11.890	1.11.852	1.11.852	1.11.759
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.2	1.11.0	1.11.0	1.10.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.32.0	emr-5.31.1	emr-5.31.0	emr-5.30.2
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.6
Hadoop	2.10.1	2.10.0	2.10.0	2.8.5
Hive	2.3.7	2.3.7	2.3.7	2.3.6
Hudi	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0	0.5.2-incubating
Hue	4.8.0	4.7.1	4.7.1	4.6.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	2.1.0	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.7.0	1.6.0	1.6.0	1.5.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.240.1	0.238.3	0.238.3	0.232
Spark	2.4.7	2.4.6	2.4.6	2.4.5
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.3.1	2.1.0	2.1.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.32.0	emr-5.31.1	emr-5.31.0	emr-5.30.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.32.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.32.0 に関する情報が含まれています。5.31.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2021 年 1 月 8 日

アップグレード

- Amazon Glue コネクタをバージョン 1.14.0 にアップグレードしました
- Amazon SageMaker Spark SDK をバージョン 1.4.1 にアップグレードしました
- バージョン 1.11.890 AWS SDK for Java にアップグレード
- EMR DynamoDB Connector バージョン 4.16.0 にアップグレードしました
- EMRFS をバージョン 2.45.0 にアップグレードしました
- EMR Log Analytics Metrics をバージョン 1.18.0 にアップグレードしました
- EMR MetricsAndEventsApiGateway Client をバージョン 1.5.0 にアップグレードしました
- EMR Record Server をバージョン 1.8.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Dist CP をバージョン 2.17.0 にアップグレードしました
- EMR Secret Agent をバージョン 1.7.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.11.2 にアップグレードしました
- Hadoop をバージョン 2.10.1-amzn-0 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.7-amzn-3 にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.8.0 にアップグレードしました
- MXNet をバージョン 1.7.0 にアップグレードしました

- OpenCV をバージョン 4.4.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.240.1-amzn-0 にアップグレードしました
- Spark をバージョン 2.4.7-amzn-0 にアップグレードしました
- TensorFlow をバージョン 2.3.1 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- [SPARK-29683](https://issues.apache.org/jira/browse/SPARK-29683)。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- [YARN-9011](https://issues.apache.org/jira/browse/YARN-9011)。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- コンポーネントのバージョンをアップグレードしました。
- コンポーネントのバージョンのリストについては、このガイドの「Amazon EMR リリースについて」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 5.32.0 および 6.5.0 以降、Apache Spark の動的エグゼキューターサイズ設定はデフォルトで有効になっています。この機能をオンまたはオフにするには、`spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定パラメータを使用できます。
- インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 5.23.1、5.27.1、および 5.32 以降のコンポーネントは、すべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セキュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。その他の 5.x EMR リリースでは、IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。
- Amazon EMR 5.32.0 以降では、Apache Ranger とネイティブに統合されるクラスターを起動できます。Apache Ranger は、Hadoop プラットフォーム全体で包括的なデータセキュリティを有効化、監視、管理するためのオープンソースフレームワークです。詳細については、「Apache Ranger」を参照してください。ネイティブ統合により、独自の Apache Ranger を導入して、Amazon EMR できめ細かなデータアクセス制御を実施できます。「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR と Apache Ranger を統合する」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 5.32.0 は Amazon EMR on EKS をサポートしています。EMR on EKS の開始方法の詳細については、「Amazon EMR on EKS とは」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 5.32.0 は Amazon EMR Studio (プレビュー) をサポートしています。EMR Studio の開始方法の詳細については、「Amazon EMR Studio (Preview)」を参照してください。
- スコープ管理ポリシー: AWS ベストプラクティスに合わせて、Amazon EMR は v2 EMR スコープのデフォルト管理ポリシーを廃止されるポリシーの置き換えとして導入しました。「Amazon EMR 管理ポリシー」を参照してください。

既知の問題

- Amazon EMR 6.3.0 および 6.2.0 のプライベートサブネットクラスターで、Ganglia ウェブ UI にアクセスできません。「アクセス拒否 (403)」というエラーが表示されます。Spark、Hue、JupyterHub、Zeppelin、Livy、Tez などの他のウェブ UI は正常に動作します。パブリックサブネットクラスターでの Ganglia ウェブ UI アクセスも正常に動作します。この問題を解決するには、`sudo systemctl restart httpd` を使用してプライマリノードで httpd サービスを再起動します。この問題は、Amazon EMR 6.4.0 で修正されています。
- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなりま

す。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
```

```
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- > **Important**
  >
  > Amazon Linux または Amazon Linux 2 Amazon マシンイメージ (AMI) を実行する EMR クラスターは、デフォルトの Amazon Linux 動作を使用します。再起動が必要な重要かつクリティカルなカーネル更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。これは、デフォルトの Amazon Linux AMI を実行している他の Amazon EC2 インスタンスと同じ動作です。Amazon EMR リリースが利用可能になった後に、再起動が必要な新しい Amazon Linux ソフトウェアアップデート (カーネル、NVIDIA、CUDA のアップデートなど) が使用可能になった場合、デフォルトの AMI を実行する EMR クラスターインスタンスで、それらの更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。カーネルの更新を取得するには、Amazon EMR AMI をカスタマイズして、最新の Amazon Linux AMI を使用できるようにします。

- Ranger AWS 統合オプションを指定するセキュリティ設定を作成するためのコンソールサポートは、現在 GovCloud リージョンではサポートされていません。セキュリティ設定は CLI を使用して実行できます。「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR セキュリティ設定を作成する」を参照してください。

- Amazon EMR 5.31.0 または 5.32.0 を使用するクラスターで AtRestEncryption または HDFS 暗号化が有効になっている場合、Hive クエリで次のランタイム例外が発生します。

```
TaskAttempt 3 failed, info=[Error: Error while running task ( failure ) :
 attempt_1604112648850_0001_1_01_000000_3:java.lang.RuntimeException:
 java.lang.RuntimeException: Hive Runtime Error while closing
 operators: java.io.IOException: java.util.ServiceConfigurationError:
 org.apache.hadoop.security.token.TokenIdentifier: Provider
 org.apache.hadoop.hbase.security.token.AuthenticationTokenIdentifier not found
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、

クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。

- 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
- 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.32.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.1	Amazon SageMaker Spark SDK

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.1.0	Jupyter エンタープライズゲートウェイを含む emr ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.17.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.6.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.45.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.11.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.11.2	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.1-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.1-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.1-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.1-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.1-amzn-0	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.1-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.1-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.10.1-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.1-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.1-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.1-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.7-amzn-3	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.7-amzn-3	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.7-amzn-3	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.7-amzn-3	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.7-amzn-3	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.7-amzn-3	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.7-amzn-3	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.6.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.6.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.6.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.7.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.68	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	10.1.243	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.240.1-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.240.1-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.240.1-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.7-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.7-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.7-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.7-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.3.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.32.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

再設定アクションは、実行中のクラスターのインスタンスグループの設定を指定すると発生します。Amazon EMR によって、変更した分類に対してのみ再設定アクションが開始されます。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

emr-5.32.0 の分類

分類	説明	再設定アクション
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the ResourceManager service.
container-executor	Hadoop YARN の container-executor.cfg ファイルの値を変更します。	Not available.
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Hadoop KMS, Ranger KMS, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
docker-conf	Docker 関連の設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts HBaseRegionserver, HBaseMaster, HBaseThrift, HBaseRest, HiveServer2, Hive MetaStore, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。	Not available.
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。	Restarts Flink history server.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts PhoenixQu eryserver, HiveServer2, Hive MetaStore, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServ er, and TimelineServer. Ad ditionally restarts Hadoop KMS, Hadoop Httpfs, and MapReduce-HistoryServer.
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。	Not available.
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。	Custom EMR specific property. Sets emrfs-site and hbase-site configs. See those for their associated restarts.
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.proper ties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hb ase.properties ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMaster, ThriftServer, RestServer.
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the HBase services RegionServer, HBaseMast er, ThriftServer, RestServer. Additionally restarts Phoenix QueryServer.
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。	Should not be reconfigured.
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。	Restarts the Hadoop HDFS services Namenode, SecondaryNamenode, Datanode, ZKFC, and Journalnode. Additionally restarts Hadoop Httpfs.

分類	説明	再設定アクション
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。	Restarts Hive HCatalog Server.
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hive WebHCat Server.
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-env	Hive 環境の値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore.
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore.

分類	説明	再設定アクション
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2 .properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Restarts HiveServer2 and HiveMetastore. Runs Hive schemaTool CLI commands to verify hive-metastore. Also restarts Oozie and Zeppelin.
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します	Restarts Hue. Also activates Hue config override CLI commands to pick up new configurations.
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop Httpfs service.
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS service.
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop-KMS and Ranger-KMS service.
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。	Not available.
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。	Not available.
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。	Not available.
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。	Not available.
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-env	Livy 環境の値を変更します。	Restarts Livy Server.
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。	Restarts Livy Server.
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Hadoop MapReduce-HistoryServer.
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。	Restarts Oozie.

分類	説明	再設定アクション
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Phoenix-QueryServer.
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
pig-env	Pig 環境の値を変更します。	Not available.
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.

分類	説明	再設定アクション
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Presto-Server.
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。	Restarts Ranger KMS Server.
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。	Not available.
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts EMR record server.
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。	This property modifies spark-defaults. See actions there.
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-env	Spark 環境の値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します	Not available.
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Spark history server and Spark thrift server.
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。	Not available.
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.

分類	説明	再設定アクション
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。	Not available.
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts Oozie.
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts MapReduce-HistoryServer.
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。	Restarts the Hadoop YARN services ResourceManager, NodeManager, ProxyServer, and TimelineServer. Additionally restarts Livy Server and MapReduce-HistoryServer.
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。	Restarts Zeppelin.
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。	Restarts Zookeeper server.

Amazon EMR リリース 5.31.1

5.31.1 アプリケーションバージョン

このリリースには[Flink](#)、、、[Ganglia](#)、[HBase](#)、[HCatalog](#)、[Hadoop](#)、[Hive](#)、、[HudiHue](#)、[JupyterHub](#)、、[LivyMXNet](#)、、Ma
および アプリケーションが含まれています[ZooKeeper](#)。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.31.1	emr-5.31.0	emr-5.30.2	emr-5.30.1
AWS SDK for Java	1.11.852	1.11.852	1.11.759	1.11.759
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.0	1.11.0	1.10.0	1.10.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.31.1	emr-5.31.0	emr-5.30.2	emr-5.30.1
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.7	2.3.7	2.3.6	2.3.6
Hadoop	2.10.0	2.10.0	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.7	2.3.7	2.3.6	2.3.6
Hudi	0.6.0-amzn-0	0.6.0-amzn-0	0.5.2-incubating	0.5.2-incubating
Hue	4.7.1	4.7.1	4.6.0	4.6.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.6.0	1.6.0	1.5.1	1.5.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.238.3	0.238.3	0.232	0.232
Spark	2.4.6	2.4.6	2.4.5	2.4.5
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.1.0	2.1.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2

	emr-5.31.1	emr-5.31.0	emr-5.30.2	emr-5.30.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.31.1 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース

5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。

- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。[Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories]

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.31.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.15.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.15.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.6.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.43.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.11.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-jobmanager-config	1.11.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.0-amzn-0.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.10.0-amzn-0.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.0-amzn-0.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.0-amzn-0.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.0-amzn-0.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.0-amzn-0.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.0-amzn-0.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.0-amzn-0.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.0-amzn-0.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.0-amzn-0.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.0-amzn-0.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.7-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.7-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.7-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.7-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.7-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.7-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.7-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.6.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.6.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.6.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.7.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.6.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.3.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.238.3-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.238.3-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.238.3-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.6-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.6-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.6-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.6-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.1.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.31.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.31.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.31.0

5.31.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalogHadoop、、Hive、Hudi、Hue、、JupyterHubLivy、MXNet、、Ma
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.31.0	emr-5.30.2	emr-5.30.1	emr-5.30.0
AWS SDK for Java	1.11.852	1.11.759	1.11.759	1.11.759
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.11.0	1.10.0	1.10.0	1.10.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.13
HCatalog	2.3.7	2.3.6	2.3.6	2.3.6
Hadoop	2.10.0	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.7	2.3.6	2.3.6	2.3.6

	emr-5.31.0	emr-5.30.2	emr-5.30.1	emr-5.30.0
Hudi	0.6.0-amzn-0	0.5.2-incubating	0.5.2-incubating	0.5.2-incubating
Hue	4.7.1	4.6.0	4.6.0	4.6.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.7.0
MXNet	1.6.0	1.5.1	1.5.1	1.5.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.2.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.238.3	0.232	0.232	0.232
Spark	2.4.6	2.4.5	2.4.5	2.4.5
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	2.1.0	1.14.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.31.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.31.0 に関する情報が含まれています。5.30.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 10 月 9 日

最終更新日: 2020 年 10 月 15 日

アップグレード

- Amazon Glue コネクタをバージョン 1.13.0 にアップグレードしました
- Amazon SageMaker Spark SDK をバージョン 1.4.0 にアップグレードしました
- Amazon Kinesis コネクタをバージョン 3.5.9 にアップグレードしました
- バージョン 1.11.852 AWS SDK for Java にアップグレードしました
- Bigtop-tomcat をバージョン 8.5.56 にアップグレードしました
- EMRFS をバージョン 2.43.0 にアップグレードしました
- EMR MetricsAndEventsApiGateway Client をバージョン 1.4.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Dist CP をバージョン 2.15.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Select をバージョン 1.6.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.11.0 にアップグレードしました
- Hadoop をバージョン 2.10.0 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.7 にアップグレードしました
- Hudi をバージョン 0.6.0 にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.7.1 にアップグレードしました
- JupyterHub をバージョン 1.1.0 にアップグレードしました
- MXNet をバージョン 1.6.0 にアップグレードしました
- OpenCV をバージョン 4.3.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.238.3 にアップグレードしました
- TensorFlow をバージョン 2.1.0 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Hive の列統計は、Amazon EMR バージョン 5.31.0 以降でサポートされています。
- コンポーネントのバージョンをアップグレードしました。
- Amazon EMR 5.31.0 での EMRFS S3EC V2 のサポート。S3 Java SDK リリース 1.11.837 以降では、暗号化クライアントバージョン 2 (S3EC V2) がさまざまなセキュリティ機能強化とともに導入されました。詳細については次を参照してください:
  - S3 ブログ投稿: Updates to the Amazon S3 encryption client。
  - AWS SDK for Java デベロッパーガイド: 暗号化クライアントと復号クライアントを V2 に移行します。
  - EMR 管理ガイド: Amazon S3 クライアント側暗号化。

  下位互換性を保つため、暗号化クライアント V1 は SDK で引き続き使用できます。

新機能

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

  コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

  1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

     `LimitNOFILE=65536`

     `LimitNPROC=65536`
  2. InstanceController を再起動します。

     `$ sudo systemctl daemon-reload`

     `$ sudo systemctl restart instance-controller`

  ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

  ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

  ```
  #!/bin/bash
  ```

```
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- Amazon EMR 5.31.0 を使用すると、Lake Formation と統合されるクラスターを起動できます。この統合により、 AWS Glue データカタログのデータベースとテーブルにきめ細かな列レベルのデータフィルタリングが提供されます。また、これにより、企業の ID システムから EMR Notebooks または Apache Zeppelin へのフェデレーションシングルサインオンが可能になります。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR と AWS Lake Formationの統合」を参照してください。

  Amazon EMR with Lake Formation は現在、米国東部 (オハイオ州とバージニア北部) 、米国西部 (北カリフォルニアとオレゴン) 、アジアパシフィック (ムンバイ、ソウル、シンガポール、シドニー、東京) 、カナダ (中部) 、欧州 (フランクフルト、アイルランド、ロンドン、パリ、ストックホルム) 、南米 (サンパウロ) の 16 AWS リージョンで利用できます。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Amazon EMR 5.31.0 または 5.32.0 を使用するクラスターで AtRestEncryption または HDFS 暗号化が有効になっている場合、Hive クエリで次のランタイム例外が発生します。

```
TaskAttempt 3 failed, info=[Error: Error while running task ( failure ) :
 attempt_1604112648850_0001_1_01_000000_3:java.lang.RuntimeException:
 java.lang.RuntimeException: Hive Runtime Error while closing
 operators: java.io.IOException: java.util.ServiceConfigurationError:
 org.apache.hadoop.security.token.TokenIdentifier: Provider
 org.apache.hadoop.hbase.security.token.AuthenticationTokenIdentifier not found
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、s3://bucket/table/p=a は s3://bucket/table/p=a b のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、s3://bucket/table/p=a b の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに

注意してください: !"#$%&'()*+,-。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.31.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.4.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.15.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.15.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.6.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.43.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.11.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
flink-jobmanager-config	1.11.0	Apache Flink JobManager 用の EMR ノード上のリソースの管理。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.10.0-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	2.10.0-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.10.0-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.10.0-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.10.0-amzn-0	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.10.0-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.10.0-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.10.0-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.10.0-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.10.0-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.10.0-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.7-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.7-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.7-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.7-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.7-amzn-1	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.7-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.7-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.6.0-amzn-0	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-spark	0.6.0-amzn-0	Spark を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hudi-presto	0.6.0-amzn-0	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.7.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.6.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	4.3.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.238.3-amzn-0	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.238.3-amzn-0	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.238.3-amzn-0	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.6-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.6-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.6-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.6-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	2.1.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.31.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.31.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。

分類	説明
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。

分類	説明
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。

分類	説明
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.30.2

5.30.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HudiHue、、JupyterHub、LivyMXNet、Mah
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.30.2	emr-5.30.1	emr-5.30.0	emr-5.29.0
AWS SDK for Java	1.11.759	1.11.759	1.11.759	1.11.682
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12

	emr-5.30.2	emr-5.30.1	emr-5.30.0	emr-5.29.0
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.10.0	1.10.0	1.10.0	1.9.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.13	1.4.10
HCatalog	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.6
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.6
Hudi	0.5.2-incubating	0.5.2-incubating	0.5.2-incubating	0.5.0-incubating
Hue	4.6.0	4.6.0	4.6.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.7.0	0.6.0
MXNet	1.5.1	1.5.1	1.5.1	1.5.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.2.0	5.1.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-5.30.2	emr-5.30.1	emr-5.30.0	emr-5.29.0
Presto	0.232	0.232	0.232	0.227
Spark	2.4.5	2.4.5	2.4.5	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.30.2 リリースノート

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN `arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/*` をポリシーに追加する (`$region` を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。[Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories](#)

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

この問題の回避策として、spark-defaults 分類の spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled 設定を false にセットします。

5.30.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.3.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-select	1.5.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.40.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.10.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-6.1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-6.1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-6.1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-6.1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-6.1	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-6.1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-6.1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-6.1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-6.1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-6.1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-6.1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.6-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.6-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.6-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.6-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.6-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.6-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.6-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.2-incubating	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.2-incubating	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.232	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.232	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.232	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.5-amzn-0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.5-amzn-0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.5-amzn-0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.5-amzn-0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.30.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.30.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.30.1

5.30.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HudiHue、、JupyterHub、LivyMXNet、Mah
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.30.1	emr-5.30.0	emr-5.29.0	emr-5.28.1
AWS SDK for Java	1.11.759	1.11.759	1.11.682	1.11.659
Python	2.7、3.7	2.7、3.7	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.10.0	1.10.0	1.9.1	1.9.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.13	1.4.13	1.4.10	1.4.10
HCatalog	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.6
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.6

	emr-5.30.1	emr-5.30.0	emr-5.29.0	emr-5.28.1
Hudi	0.5.2-incubating	0.5.2-incubating	0.5.0-incubating	0.5.0-incubating
Hue	4.6.0	4.6.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.1.0	1.1.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.7.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.5.1	1.5.1	1.5.1	1.5.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.2.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.232	0.232	0.227	0.227
Spark	2.4.5	2.4.5	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.30.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.30.1 に関する情報が含まれています。5.30.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 6 月 30 日

最終更新日: 2020 年 8 月 24 日

変更点、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- インスタンスコントローラープロセスが無限数のプロセスをスポーンする問題を修正しました。
- Hue が Hive クエリを実行できず、「データベースがロックされています」というメッセージが表示され、クエリの実行が妨げられる問題を修正しました。
- EMR クラスターでより多くのタスクを同時に実行できるようにするための Spark の問題を修正しました。
- Jupyter サーバーで「too many files open error」(開いているファイルの数が多すぎるエラー) が発生する、Jupyter Notebook の問題を修正しました。
- クラスターの開始時間の問題を修正しました。

新機能

- Tez UI および YARN タイムラインサーバーの永続アプリケーションインターフェイスは、Amazon EMR バージョン 6.x および EMR バージョン 5.30.1 以降で利用可能です。永続アプリケーション履歴へのワンクリックリンクアクセスにより、SSH 接続でウェブプロキシを設定せずに、ジョブ履歴にすばやくアクセスできます。アクティブなクラスターと終了したクラスターのログは、アプリケーションの終了後 30 日間利用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「永続アプリケーションユーザーインターフェイスの表示」を参照してください。
- EMR Notebooks 実行 API を使用して、スクリプトまたはコマンドラインで EMR Notebooks を実行できます。 AWS コンソールなしで EMR ノートブックの実行を開始、停止、一覧表示、記述する機能により、EMR ノートブックをプログラムで制御できます。パラメータ化されたノートブックセルを使用すると、新しいパラメータ値セットごとにノートブックのコピーを作成しなくても、複数の異なるパラメータ値をノートブックに渡すことができます。「EMR API のアクション」を

参照してください。サンプルコードについては、「EMR Notebooks をプログラムで実行するサンプルコマンド」を参照してください。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

  コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

  1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

     ```
     LimitNOFILE=65536
     ```

     ```
     LimitNPROC=65536
     ```

  2. InstanceController を再起動します。

     ```
     $ sudo systemctl daemon-reload
     ```

     ```
     $ sudo systemctl restart instance-controller
     ```

  ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- EMR Notebooks

  クラスターのプライマリノードにカーネルと追加の Python ライブラリをインストールする機能は、EMR バージョン 5.30.1 ではデフォルトで無効になっています。この機能の詳細については、「クラスターのプライマリノードへのカーネルと Python ライブラリのインストール」を参照してください。

  この機能を有効にするには、以下の操作を行います。

  1. EMR Notebooks のサービスロールにアタッチされているアクセス許可ポリシーで、次のアクションが許可されていることを確認します。

     `elasticmapreduce:ListSteps`

     詳細については、「EMR Notebooks のサービスロール」を参照してください。
  2. を使用して、次の例に示すように EMR Notebooks をセットアップするクラスターでステップ AWS CLI を実行します。*us-east-1* を、クラスターが存在するリージョンに置き換えます。詳細については、「AWS CLIを使用したクラスターへのステップの追加」を参照してください。

```
aws emr add-steps  --cluster-id MyClusterID --steps
 Type=CUSTOM_JAR,Name=EMRNotebooksSetup,ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=s3://us-
east-1.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-runner.jar,Args=["s3://
awssupportdatasvcs.com/bootstrap-actions/EMRNotebooksSetup/emr-notebooks-setup.sh"]
```

- マネージドスケーリング

  Presto がインストールされていない 5.30.0 クラスターおよび 5.30.1 クラスターでマネージドスケーリング操作を実行すると、特にスケールダウン操作の後にすぐ、スケールアップ操作が実行されたときに、アプリケーション障害が発生するか、ユニフォームインスタンスグループまたはインスタンスフリートが ARRESTED 状態のままになる場合があります。

  回避策として、ジョブに Presto が必要ない場合でも、Amazon EMR リリース 5.30.0 および 5.30.1 を使用してクラスターを作成するときに、インストールするアプリケーションとして Presto を選択します。

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

5.30.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion*` の形式のバージョンラベルがあります。`*EmrVersion*` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.3.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.5.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.40.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.10.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-6	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.6-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.6-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.6-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.6-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.6-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.6-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.6-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.2-incubating	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.2-incubating	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.232	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.232	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.232	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System
spark-client	2.4.5-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.5-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.5-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.4.5-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.30.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.30.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。

分類	説明
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.30.0

5.30.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HudiHue、、JupyterHub、LivyMXNet、Mah および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.30.0	emr-5.29.0	emr-5.28.1	emr-5.28.0
AWS SDK for Java	1.11.759	1.11.682	1.11.659	1.11.659
Python	2.7、3.7	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.10.0	1.9.1	1.9.0	1.9.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.13	1.4.10	1.4.10	1.4.10
HCatalog	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.6
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.6
Hudi	0.5.2-incubating	0.5.0-incubating	0.5.0-incubating	0.5.0-incubating
Hue	4.6.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-

	emr-5.30.0	emr-5.29.0	emr-5.28.1	emr-5.28.0
JupyterHub	1.1.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.7.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.5.1	1.5.1	1.5.1	1.5.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.2.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.3
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.232	0.227	0.227	0.227
Spark	2.4.5	2.4.4	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.2
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.30.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.30.0 に関する情報が含まれています。5.29.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 5 月 13 日

最終更新日: 2020 年 6 月 25 日

アップグレード

- バージョン 1.11.759 AWS SDK for Java にアップグレード
- Amazon SageMaker Spark SDK をバージョン 1.3.0 にアップグレードしました
- EMR Record Server をバージョン 1.6.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.10.0 にアップグレードしました
- Ganglia をバージョン 3.7.2 にアップグレードしました
- HBase をバージョン 1.4.13 にアップグレードしました
- Hudi をバージョン 0.5.2 (incubating) にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.6.0 にアップグレードしました
- JupyterHub をバージョン 1.1.0 にアップグレードしました
- Livy をバージョン 0.7.0 (incubating) にアップグレードしました
- Oozie をバージョン 5.2.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.232 にアップグレードしました
- Spark をバージョン 2.4.5 にアップグレードしました
- コネクタとドライバーをアップグレードしました: Amazon Glue Connector 1.12.0、Amazon Kinesis Connector 3.5.0、EMR DynamoDB Connector 4.14.0

新機能

- EMR Notebooks - 5.30.0 を使用して作成された EMR クラスターで使用する場合、EMR ノートブックカーネルはクラスター上で実行されます。これにより、ノートブックのパフォーマンスが向上し、カーネルをインストールおよびカスタマイズすることができます。また、クラスターのプライマリノードに Python ライブラリをインストールすることもできます。詳細については、「EMR 管理ガイド」の「カーネルとライブラリのインストールと使用」を参照してください。
- マネージドスケーリング - Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降では、EMR マネージドスケーリングを有効にすることで、ワークロードに応じてクラスター内のインスタンスやユニットの数を自動的に増減できます。Amazon EMR は引き続きクラスターのメトリクスを評価し、クラスターのコストと速度を最適化するためのスケーリングを決定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターリソースのスケーリング」を参照してください。
- Amazon S3 に保存されているログファイルの暗号化 – Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降では、Amazon S3 に保存されているログファイルを AWS KMS カスタマーマネージドキーで暗号化できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon S3 に保存されているログファイルの暗号化」を参照してください。

- Amazon Linux 2 のサポート - EMR バージョン 5.30.0 以降では、EMR は Amazon Linux 2 OS を使用します。新しいカスタム AMI (Amazon マシンイメージ) は、Amazon Linux 2 AMI に基づいている必要があります。詳細については、「カスタム AMI の使用」を参照してください。
- Presto Graceful Auto Scale - 5.30.0 を使用する EMR クラスターでは、オートスケーリングのタイムアウト期間を設定することで、Presto タスクの実行が終了するまで待ってからノードの使用を停止できます。詳細については、「グレースフルな廃止による Presto Auto Scaling の使用」を参照してください。
- 新しい割り当て戦略オプションを使用したフリートインスタンスの作成 — EMR バージョン 5.12.1 以降では、新しい割り当て戦略オプションを使用できます。これにより、クラスターのプロビジョニングにかかる時間が短縮され、スポット割り当てがより正確になり、スポットインスタンスの中断が低減します。デフォルト以外の EMR サービスロールを更新する必要があります。「インスタンスフリートを構成する」を参照してください。
- sudo systemctl stop コマンドと sudo systemctl start コマンド — Amazon Linux 2 OS を使用する EMR バージョン 5.30.0 以降では、EMR は `sudo systemctl stop` コマンドおよび `sudo systemctl start` コマンドを使用してサービスを再起動します。詳細については、「Amazon EMR でサービスを再起動するにはどうすればよいですか?」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- EMR バージョン 5.30.0 では、デフォルトで Ganglia がインストールされません。クラスターの作成時に、Ganglia を明示的に選択してインストールできます。
- Spark パフォーマンスの最適化。
- Presto パフォーマンスの最適化。
- Python 3 は、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降ではデフォルトです。
- プライベートサブネット内のサービスアクセス用のデフォルトのマネージドセキュリティグループが更新され、複数の新しいルールが追加されました。サービスアクセスにカスタムセキュリティグループを使用している場合は、同じルールをデフォルトのマネージドセキュリティグループとして含める必要があります。詳細については、「サービスアクセスの Amazon EMR マネージドセキュリティグループ (プライベートサブネット)」を参照してください。Amazon EMR でカスタムサービスロールを使用する場合は、`ec2:describeSecurityGroups` にアクセス許可を付与して、セキュリティグループが正常に作成されたかどうかを EMR で検証できるようにする必要があります。`EMR_DefaultRole` を使用する場合、このアクセス許可はデフォルトのマネージドポリシーに既に含まれています。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

  コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

  1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

     `LimitNOFILE=65536`

     `LimitNPROC=65536`
  2. InstanceController を再起動します。

     `$ sudo systemctl daemon-reload`

     `$ sudo systemctl restart instance-controller`

  ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

  ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
```

```
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- マネージドスケーリング

  Presto がインストールされていない 5.30.0 クラスターおよび 5.30.1 クラスターでマネージドスケーリング操作を実行すると、特にスケールダウン操作の後にすぐ、スケールアップ操作が実行されたときに、アプリケーション障害が発生するか、ユニフォームインスタンスグループまたはインスタンスフリートが `ARRESTED` 状態のままになる場合があります。

  回避策として、ジョブに Presto が必要ない場合でも、Amazon EMR リリース 5.30.0 および 5.30.1 を使用してクラスターを作成するときに、インストールするアプリケーションとして Presto を選択します。

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。

- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Hue 4.6.0 のデフォルトのデータベースエンジンは SQLite であり、外部データベースで Hue を使用しようとすると、SQLite が原因で問題が発生します。これを修正するには、hue-ini 設定分類の engine を mysql に設定します。この問題は、Amazon EMR バージョン 5.30.1 で修正されています。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、s3://bucket/table/p=a は s3://bucket/table/p=a b のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、s3://bucket/table/p=a b の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: !"#$%&‘()*+,-。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、spark-defaults 分類の spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled 設定を false にセットします。

5.30.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.3.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.13.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-notebook-env	1.0.0	EMR ノートブック用 Conda env
emr-s3-dist-cp	2.14.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.5.0	EMR S3Select コネクター

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.40.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.10.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-6	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.13	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.13	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.13	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.13	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.13	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.6-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.6-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.6-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.6-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.6-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.6-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.6-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.5.2-incubating	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.2-incubating	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.1.0	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.7.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mariadb-server	5.5.64	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	5.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.232	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.232	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.232	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.3	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
ranger-kms-server	1.2.0	Apache Ranger Key Management System

コンポーネント	バージョン	説明
spark-client	2.4.5-amzn-0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.5-amzn-0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.5-amzn-0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.5-amzn-0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.30.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.30.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
hudi-env	Hudi 環境の値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.29.0

5.29.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、次のアプリケーションが含まれています。Flink、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHudiHue、、JupyterHub、、LivyMXNet、Mahou
ZooKeeper

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.29.0	emr-5.28.1	emr-5.28.0	emr-5.27.1
AWS SDK for Java	1.11.682	1.11.659	1.11.659	1.11.615
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.9.1	1.9.0	1.9.0	1.8.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.10	1.4.10	1.4.10	1.4.10
HCatalog	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.5
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.6	2.3.6	2.3.6	2.3.5

	emr-5.29.0	emr-5.28.1	emr-5.28.0	emr-5.27.1
Hudi	0.5.0-incubating	0.5.0-incubating	0.5.0-incubating	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.5.1	1.5.1	1.5.1	1.4.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.3	4.14.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.227	0.227	0.227	0.224
Spark	2.4.4	2.4.4	2.4.4	2.4.4
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.2	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.29.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.29.0 に関する情報が含まれています。5.28.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 1 月 17 日

アップグレード

- バージョン 1.11.682 AWS SDK for Java にアップグレード
- Hive をバージョン 2.3.6 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.9.1 にアップグレードしました
- EMRFS をバージョン 2.38.0 にアップグレードしました
- EMR DynamoDB Connector をバージョン 4.13.0 にアップグレードしました

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - Spark パフォーマンスの最適化。
- EMRFS
  - 管理ガイドでは、整合性のあるビューを実現するために emrfs-site.xml デフォルト設定が更新されています。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。

- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.29.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.6	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.13.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.12.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.13.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.4.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.38.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクター。
flink-client	1.9.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.8.5-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-5	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.8.5-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.10	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.10	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.10	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.10	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.10	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.6-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.6-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.6-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.6-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.6-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.6-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.6-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.0-incubating	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.0-incubating	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.227	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.227	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-client	0.227	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.29.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.29.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します

分類	説明
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。

分類	説明
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.28.1

5.28.1 アプリケーションバージョン

このリリースにはFlink、、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HudiHue、、JupyterHub、LivyMXNet、、Ma
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.28.1	emr-5.28.0	emr-5.27.1	emr-5.27.0
AWS SDK for Java	1.11.659	1.11.659	1.11.615	1.11.615
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-5.28.1	emr-5.28.0	emr-5.27.1	emr-5.27.0
Delta	-	-	-	-
Flink	1.9.0	1.9.0	1.8.1	1.8.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.10	1.4.10	1.4.10	1.4.10
HCatalog	2.3.6	2.3.6	2.3.5	2.3.5
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.6	2.3.6	2.3.5	2.3.5
Hudi	0.5.0-incubating	0.5.0-incubating	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.5.1	1.5.1	1.4.0	1.4.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.3	4.14.3	4.14.2	4.14.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.227	0.227	0.224	0.224
Spark	2.4.4	2.4.4	2.4.4	2.4.4

	emr-5.28.1	emr-5.28.0	emr-5.27.1	emr-5.27.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.14.0	1.14.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.2	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.28.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.28.1 に関する情報が含まれています。5.28.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 1 月 10 日

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - Spark の互換性の問題が修正されました。
- CloudWatch メトリクス
  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターでの Amazon CloudWatch メトリクスの発行が修正されました。
- 無効化されたログメッセージ
  - 「...using old version (<4.5.8) of Apache http client」(Apache http クライアントの古いバージョン (<4.5.8) を使用) という誤ったログメッセージを無効にしました。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.28.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.6	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクタ。
emr-goodies	2.11.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.13.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.37.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.9.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-5	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.10	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.10	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.10	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.10	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.10	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.6-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.6-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.6-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.6-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.6-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.6-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.6-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hudi	0.5.0-incubating	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.0-incubating	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.227	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.227	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.227	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.28.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.28.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。

分類	説明
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.28.0

5.28.0 アプリケーションバージョン

このリリースにはFlink、、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HudiHue、、JupyterHub、LivyMXNet、、Ma
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.28.0	emr-5.27.1	emr-5.27.0	emr-5.26.0
AWS SDK for Java	1.11.659	1.11.615	1.11.615	1.11.595
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.9.0	1.8.1	1.8.1	1.8.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.10	1.4.10	1.4.10	1.4.10
HCatalog	2.3.6	2.3.5	2.3.5	2.3.5
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.6	2.3.5	2.3.5	2.3.5
Hudi	0.5.0-incubating	-	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.0.0	1.0.0	1.0.0	0.9.6
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.5.1	1.4.0	1.4.0	1.4.0

	emr-5.28.0	emr-5.27.1	emr-5.27.0	emr-5.26.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.3	4.14.2	4.14.2	4.14.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.227	0.224	0.224	0.220
Spark	2.4.4	2.4.4	2.4.4	2.4.3
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.14.0	1.13.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.2	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.28.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.28.0 に関する情報が含まれています。変更は 5.27.0 に関連するものです。

初回リリース日: 2019 年 11 月 12 日

アップグレード

- Flink をバージョン 1.9.0 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.6 にアップグレードしました
- MXNet をバージョン 1.5.1 にアップグレードしました
- Phoenix をバージョン 4.14.3 にアップグレードしました

- Presto をバージョン 0.227 にアップグレードしました
- Zeppelin をバージョン 0.8.2 にアップグレードしました

新機能

- クラスターを作成するときに、Amazon EMR で Apache Hudi をインストールできるようになりました。詳細については、「Hudi」を参照してください。
- (2019 年 11 月 25 日) 複数のステップを並行して選択して、クラスター使用率を改善し、コストを削減できるようになりました。また、保留中および実行中のステップの両方をキャンセルできるようになりました。詳細については、「 AWS CLI および コンソールを使用したステップの操作」を参照してください。
- (2019 年 12 月 3 日) EMR クラスターを on. AWS Outposts enables で作成して実行できるようになりました AWS Outposts。オンプレミス施設でネイティブ AWS サービス、インフラストラクチャ、運用モデルを有効にします。 AWS Outposts 環境では、 AWS クラウドで使用するのと同じ AWS APIs、ツール、インフラストラクチャを使用できます。詳細については、「EMR クラスター AWS Outposts」を参照してください。
- (2020 年 3 月 11 日) Amazon EMR バージョン 5.28.0 以降では、 AWS Local Zones をサポートする AWS リージョンの論理拡張として、Local Zones サブネットで Amazon EMR クラスターを作成して実行できます。Local Zone を使用すると、Amazon EMR の機能や、コンピューティングやストレージ AWS サービスなどのサービスのサブセットをユーザーの近くに配置することができ、ローカルで実行されているアプリケーションへのレイテンシーが非常に低くなります。使用可能な Local Zones のリストについては、「AWS Local Zones」を参照してください。利用可能な AWS ローカルゾーンへのアクセスの詳細については、「 リージョン、アベイラビリティーゾーン、およびローカルゾーン」を参照してください。

  Local Zones は、現在 Amazon EMR Notebooks をサポートしておらず、インターフェイス VPC エンドポイント (AWS PrivateLink) を使用した Amazon EMR への直接接続をサポートしていません。

変更、機能強化、解決した問題

- 高可用性クラスターに対するアプリケーションのサポートを拡大しました。
  - 詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターでサポートされるアプリケーション」を参照してください。
- Spark

  - パフォーマンスの最適化
- [Hive]
  - パフォーマンスの最適化
- Presto
  - パフォーマンスの最適化

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.28.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.6	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクタ。
emr-goodies	2.11.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.13.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.37.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.9.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-5	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.10	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.10	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.10	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.10	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.10	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.6-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.6-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.6-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.6-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.6-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.6-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.6-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hudi	0.5.0-incubating	データパイプラインを強化する低レイテンシーかつ高効率な増分処理フレームワーク。
hudi-presto	0.5.0-incubating	Presto を Hudi で実行するためのバンドルライブラリ。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.5.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.3-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.3-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.227	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.227	いくつかのクエリを実行するサービス。
presto-client	0.227	Presto サーバーが起動されていない HA クラスターのスタンバイマスターにインストールされる Presto コマンドラインクライアント。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.28.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-configure-apps.html)」を参照してください。

emr-5.28.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.27.1

5.27.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.27.1	emr-5.27.0	emr-5.26.0	emr-5.25.0
AWS SDK for Java	1.11.615	1.11.615	1.11.595	1.11.566
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.8.1	1.8.1	1.8.0	1.8.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.10	1.4.10	1.4.10	1.4.9
HCatalog	2.3.5	2.3.5	2.3.5	2.3.5
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.5	2.3.5	2.3.5	2.3.5
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-5.27.1	emr-5.27.0	emr-5.26.0	emr-5.25.0
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.0.0	1.0.0	0.9.6	0.9.6
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.2	4.14.2	4.14.2	4.14.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.224	0.224	0.220	0.220
Spark	2.4.4	2.4.4	2.4.3	2.4.3
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.14.0	1.13.1	1.13.1
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.2
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.14

5.27.1 リリースノート

これはパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 5.23.1、5.27.1、および 5.32 以降のコンポーネントは、すべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セキュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。その他の 5.x EMR リリースでは、IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。

5.27.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.4	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクタ。
emr-goodies	2.11.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.13.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.36.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.8.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.10	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.10	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.10	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.10	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.10	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.5-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.5-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.5-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.5-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.5-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.5-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.5-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.4.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.2-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.2-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.224	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.224	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.27.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.27.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。

分類	説明
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.27.0

5.27.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.27.0	emr-5.26.0	emr-5.25.0	emr-5.24.1
AWS SDK for Java	1.11.615	1.11.595	1.11.566	1.11.546
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.8.1	1.8.0	1.8.0	1.8.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.10	1.4.10	1.4.9	1.4.9
HCatalog	2.3.5	2.3.5	2.3.5	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.5	2.3.5	2.3.5	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	1.0.0	0.9.6	0.9.6	0.9.6
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0

	emr-5.27.0	emr-5.26.0	emr-5.25.0	emr-5.24.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.2	4.14.2	4.14.1	4.14.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.224	0.220	0.220	0.219
Spark	2.4.4	2.4.3	2.4.3	2.4.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.14.0	1.13.1	1.13.1	1.12.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.2	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.14	3.4.13

5.27.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.27.0 に関する情報が含まれています。5.26.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 9 月 23 日

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.615
- Flink 1.8.1
- JupyterHub 1.0.0
- Spark 2.4.4

- Tensorflow 1.14.0
- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.12.0

新機能

- (2019 年 10 月 24 日) EMR ノートブックの次の新機能は、すべての Amazon EMR リリースで利用できます。
  - Git リポジトリを EMR ノートブックに関連付けて、バージョン管理された環境でノートブックを保存できます。リモートの Git リポジトリを使用して、コードをピアと共有し、既存の Jupyter Notebook を再利用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Git リポジトリを Amazon EMR Notebooks に関連付ける」を参照してください。
  - ノートブックの比較とマージを簡素化するために、nbdime ユーティリティが EMR ノートブックで利用できるようになりました。
  - EMR ノートブックが JupyterLab をサポートするようになりました。JupyterLab は、Jupyter Notebook と完全に互換性があるウェブベースのインタラクティブな開発環境です。JupyterLab または Jupyter Notebook エディタでノートブックを開くことができるようになりました。
- (2019 年 10 月 30 日) Amazon EMR バージョン 5.25.0 以降では、コンソールでクラスターの [概要] ページまたは [アプリケーションの履歴] タブから Spark 履歴サーバー UI に接続できます。SSH 接続でウェブプロキシを設定する代わりに、Spark 履歴サーバー UI にすばやくアクセスしてアプリケーションのメトリクスを確認し、アクティブなクラスターと終了したクラスターに関連するログファイルにアクセスできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「永続アプリケーションユーザーインターフェイスへのクラスター外アクセス」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスター
  - 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターに Flink をインストールして実行できます。詳細については、「サポートされるアプリケーションと機能」を参照してください。
  - 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターに HDFS 透過的暗号化を設定することができます。詳細については、「HDFS Transparent Encryption on EMR clusters with Multiple Primary Nodes」を参照してください。
  - 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターで実行されているアプリケーションの設定を変更できるようになりました。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

- Amazon EMR-DynamoDB Connector
  - Amazon EMR-DynamoDB Connector は、boolean、list、map、item、null の DynamoDB データ型をサポートするようになりました。詳細については、「Hive コマンドを実行するように Hive テーブルをセットアップする」を参照してください。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.27.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は

Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.4	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクタ。
emr-goodies	2.11.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.13.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.36.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.8.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.10	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.10	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.10	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.10	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.10	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.5-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.5-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.5-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.5-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.5-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.5-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.5-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	1.0.0	Jupyter ノートブックのマルチユーザーサーバー

コンポーネント	バージョン	説明
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.4.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.2-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.2-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.224	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.224	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.4	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.4	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.4	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.4	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.14.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.27.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.27.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。

分類	説明
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.26.0

5.26.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、およびアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.26.0	emr-5.25.0	emr-5.24.1	emr-5.24.0
AWS SDK for Java	1.11.595	1.11.566	1.11.546	1.11.546
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-5.26.0	emr-5.25.0	emr-5.24.1	emr-5.24.0
Delta	-	-	-	-
Flink	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.8.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.10	1.4.9	1.4.9	1.4.9
HCatalog	2.3.5	2.3.5	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.5	2.3.5	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.4.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.6	0.9.6	0.9.6	0.9.6
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.6.0
MXNet	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.2	4.14.1	4.14.1	4.14.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.220	0.220	0.219	0.219
Spark	2.4.3	2.4.3	2.4.2	2.4.2

	emr-5.26.0	emr-5.25.0	emr-5.24.1	emr-5.24.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.13.1	1.13.1	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.2	0.9.2	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.14	3.4.13	3.4.13

5.26.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.26.0 に関する情報が含まれています。5.25.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 8 月 8 日

最終更新日: 2019 年 8 月 19 日

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.595
- HBase 1.4.10
- Phoenix 4.14.2
- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.11.0
  - MariaDB Connector 2.4.2
  - Amazon Redshift JDBC ドライバー 1.2.32.1056

新機能

- (ベータ) Amazon EMR 5.26.0 を使用すると、Lake Formation と統合されるクラスターを起動できます。この統合により、 AWS Glue データカタログのデータベースとテーブルへのきめ細

かな列レベルのアクセスが可能になります。また、これにより、企業の ID システムから EMR Notebooks または Apache Zeppelin へのフェデレーションシングルサインオンが可能になります。詳細については、「Amazon EMR と AWS Lake Formation（ベータ) の統合」を参照してください。

- (2019 年 8 月 19 日) Amazon EMR のパブリックアクセスブロックが、セキュリティグループをサポートしているすべての Amazon EMR リリースで利用できるようになりました。ブロックパブリックアクセスは、各 AWS リージョンに適用されるアカウント全体の設定です。パブリックアクセスブロックにより、クラスターに関連付けられているセキュリティグループに、ポートで IPv4 0.0.0.0/0 または IPv6 ::/0 (パブリックアクセス) からのインバウンドトラフィックを許可するルールがある場合に、クラスターの起動が禁止されます (ポートが例外として指定されている場合を除く)。ポート 22 は、デフォルトで例外になります。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR のパブリックアクセスブロックの使用」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- EMR Notebooks
  - EMR 5.26.0 以降では、EMR Notebooks はデフォルトの Python ライブラリに加えて、ノートブックスコープの Python ライブラリもサポートしています。ノートブックスコープのライブラリは、クラスターを再作成したりノートブックをクラスターに再アタッチしたりすることなく、ノートブックエディター内からインストールできます。ノートブックスコープのライブラリは Python 仮想環境に作成されるため、現在のノートブックセッションにのみ適用されます。これにより、ノートブックの依存関係を分離できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ノートブックスコープのライブラリの使用」を参照してください。
- EMRFS
  - `fs.s3.consistent.metadata.etag.verification.enabled` を `true` に設定すると、ETag 検証機能 (ベータ) を有効にできます。この機能を有効にすると、EMRFS は Amazon S3 ETags を使用して、読み取られているオブジェクトが利用可能な最新バージョンであることを確認します。この機能は、Amazon S3 上のファイルが同じ名前を維持しながら上書きされる、更新後の読み取りのユースケースに役立ちます。この ETag 検証機能は、現在 S3 Select では使用できません。詳細については、「整合性のあるビューを設定する」を参照してください。
- Spark
  - 現在、次の最適化がデフォルトで有効になります: ダイナミックパーティションプルーニング、DISTINCT before INTERSECT、DISTINCT クエリが後に続く JOIN の SQL 計画統計推論の改善、スカラーサブクエリのフラット化、結合順序の最適化、ブルームフィルター結合。詳細については、「Spark のパフォーマンスの最適化」を参照してください。

  - ソートマージ結合の全体的なステージコード生成が改善されました。
  - クエリフラグメントとサブクエリの再利用が改善されました。
  - Spark の起動時にエグゼキューターを事前割り当てする機能が改善されました。
  - 結合の小さい側にブロードキャストヒントが含まれている場合、ブルームフィルター結合は適用されなくなりました。
- Tez
  - Tez に関する問題を解決しました。Tez UI は、複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターで動作するようになりました。

既知の問題

- ソートマージ結合の全体的なステージコード生成機能が改善されたことにより、有効にした場合、メモリプレッシャーが増加する可能性があります。この最適化によってパフォーマンスは向上しますが、十分なメモリを提供するように `spark.yarn.executor.memoryOverheadFactor` が調整されていない場合、ジョブの再試行または失敗が生じる可能性があります。この機能を無効にするには、`spark.sql.sortMergeJoinExec.extendedCodegen.enabled` を false に設定します。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.26.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.4	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.10.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.12.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.35.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.8.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.10	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.10	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.10	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.10	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.10	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.5-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.5-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.5-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.5-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.5-amzn-0	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.5-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.5-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.6	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.4.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.2-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.2-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.220	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.220	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.13.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.26.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.26.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.25.0

5.25.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHue、JupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.25.0	emr-5.24.1	emr-5.24.0	emr-5.23.1
AWS SDK for Java	1.11.566	1.11.546	1.11.546	1.11.519
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12

	emr-5.25.0	emr-5.24.1	emr-5.24.0	emr-5.23.1
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.8.0	1.8.0	1.8.0	1.7.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.9	1.4.9	1.4.9	1.4.9
HCatalog	2.3.5	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.5	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.4.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.6	0.9.6	0.9.6	0.9.4
Livy	0.6.0	0.6.0	0.6.0	0.5.0
MXNet	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.1	4.14.1	4.14.1	4.14.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-5.25.0	emr-5.24.1	emr-5.24.0	emr-5.23.1
Presto	0.220	0.219	0.219	0.215
Spark	2.4.3	2.4.2	2.4.2	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.13.1	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.2	0.9.1	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.14	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.25.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.25.0 に関する情報が含まれています。5.24.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 17 日

最終更新日: 2019 年 10 月 30 日

Amazon EMR 5.25.0

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.566
- Hive 2.3.5
- Presto 0.220
- Spark 2.4.3
- TensorFlow 1.13.1
- Tez 0.9.2
- Zookeeper 3.4.14

新機能

- (2019 年 10 月 30 日) Amazon EMR バージョン 5.25.0 以降では、コンソールでクラスターの [概要] ページまたは [アプリケーションの履歴] タブから Spark 履歴サーバー UI に接続できます。SSH 接続でウェブプロキシを設定する代わりに、Spark 履歴サーバー UI にすばやくアクセスしてアプリケーションのメトリクスを確認し、アクティブなクラスターと終了したクラスターに関連するログファイルにアクセスできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「永続アプリケーションユーザーインターフェイスへのクラスター外アクセス」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - ブルームフィルターを使用して入力を事前フィルターすることで、一部の結合のパフォーマンスが改善されました。最適化はデフォルトでは無効になっており、Spark 設定パラメータ `spark.sql.bloomFilterJoin.enabled` を `true` に設定すると、有効にできます。
  - 文字列型の列によるグループ化のパフォーマンスが改善されました。
  - HBase がインストールされていないクラスターの R4 インスタンスタイプのデフォルトの Spark エグゼキューターメモリとコアの設定が改善されました。
  - プルーニングするテーブルが結合の左側にある必要がある、ダイナミックパーティションプルーニング機能に関する以前の問題が解決されました。
  - エイリアスを含む追加のケースに適用できるように、DISTINCT before INTERSECT 最適化が改善されました。
  - DISTINCT クエリが後に続く JOIN の SQL 計画統計推論が改善されました。この改善はデフォルトでは無効になっており、Spark 設定パラメータ `spark.sql.statsImprovements.enabled` を `true` に設定すると、有効にできます。この最適化は Distinct before Intersect 機能で必要であり、`spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled` を `true` に設定すると、自動的に有効になります。
  - テーブルのサイズとフィルターに基づいて結合順序が最適化されました。この最適化はデフォルトでは無効になっており、Spark 設定パラメータ `spark.sql.optimizer.sizeBasedJoinReorder.enabled` を `true` に設定すると、有効にできます。

  詳細については、「Spark のパフォーマンスの最適化」を参照してください。
- EMRFS

- EMRFS の設定 `fs.s3.buckets.create.enabled` は、現在、デフォルトでは無効になります。テストでは、この設定を無効にすると、パフォーマンスが向上し、S3 バケットが意図せずに作成されることがなくなることがわかりました。アプリケーションがこの機能に依存する場合は、`emrfs-site` 設定分類でプロパティ `fs.s3.buckets.create.enabled` を `true` に設定すると、この機能を有効にできます。詳細については、「クラスターの作成時に設定を指定する」を参照してください。

- セキュリティ設定のローカルディスク暗号化と S3 暗号化の改善 (2019 年 8 月 5 日)
  - セキュリティ設定のセットアップで、Amazon S3 暗号化設定をローカルディスク暗号化設定から分離しました。
  - リリース 5.24.0 以降で、EBS 暗号化を有効にするオプションが追加されました。このオプションを選択すると、ストレージボリュームに加えてルートデバイスボリュームが暗号化されます。以前のバージョンでは、ルートデバイスボリュームを暗号化するにはカスタム AMI を使用する必要がありました。
  - 詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「暗号化オプション」を参照してください。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.25.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.4	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.9.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.34.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.8.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.9	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.9	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.9	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.9	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.9	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.5-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.5-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.5-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.5-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.5-amzn-0	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.5-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.5-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.6	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.4.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.1-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.1-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.220	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.220	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.13.1	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.2	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.14	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.14	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.25.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.25.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
recordserver-env	EMR RecordServer 環境の値を変更します。
recordserver-conf	EMR RecordServer の erver.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
recordserver-log4j	EMR RecordServer の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.24.1

5.24.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、およびのアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.24.1	emr-5.24.0	emr-5.23.1	emr-5.23.0
AWS SDK for Java	1.11.546	1.11.546	1.11.519	1.11.519
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12

	emr-5.24.1	emr-5.24.0	emr-5.23.1	emr-5.23.0
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.8.0	1.8.0	1.7.1	1.7.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.9	1.4.9	1.4.9	1.4.9
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.4.0	4.4.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.6	0.9.6	0.9.4	0.9.4
Livy	0.6.0	0.6.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.4.0	1.4.0	1.3.1	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.1	4.14.1	4.14.1	4.14.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-5.24.1	emr-5.24.0	emr-5.23.1	emr-5.23.0
Presto	0.219	0.219	0.215	0.215
Spark	2.4.2	2.4.2	2.4.0	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.24.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.24.1 に関する情報が含まれています。5.24.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 6 月 26 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエスト

と送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.24.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.8.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.33.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.8.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.9	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.9	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.9	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.9	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.9	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.6	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.4.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.1-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.1-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.219	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.219	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.24.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.24.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.24.0

5.24.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.24.0	emr-5.23.1	emr-5.23.0	emr-5.22.0
AWS SDK for Java	1.11.546	1.11.519	1.11.519	1.11.510
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12

	emr-5.24.0	emr-5.23.1	emr-5.23.0	emr-5.22.0
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.8.0	1.7.1	1.7.1	1.7.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.9	1.4.9	1.4.9	1.4.9
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.4.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.6	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.6.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.4.0	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.1.0
Phoenix	4.14.1	4.14.1	4.14.1	4.14.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-5.24.0	emr-5.23.1	emr-5.23.0	emr-5.22.0
Presto	0.219	0.215	0.215	0.215
Spark	2.4.2	2.4.0	2.4.0	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.24.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.24.0 に関する情報が含まれています。5.23.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 6 月 11 日

最終更新日: 2019 年 8 月 5 日

アップグレード

- Flink 1.8.0
- Hue 4.4.0
- JupyterHub 0.9.6
- Livy 0.6.0
- MxNet 1.4.0
- Presto 0.219
- Spark 2.4.2
- AWS SDK for Java 1.11.546

- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.9.0
  - MariaDB Connector 2.4.1
  - Amazon Redshift JDBC ドライバー 1.2.27.1051

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - パーティションを動的にプルーニングするための最適化を追加しました。この最適化はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、Spark 設定パラメータ `spark.sql.dynamicPartitionPruning.enabled` を `true` に設定します。
  - `INTERSECT` のクエリのパフォーマンスが改善されました。この最適化はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、Spark 設定パラメータ `spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled` を `true` に設定します。
  - 同じリレーションを使用する集計でスカラーサブクエリをフラット化するための最適化が追加されました。この最適化はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、Spark 設定パラメータ `spark.sql.optimizer.flattenScalarSubqueriesWithAggregates.enabled` を `true` に設定します。
  - 全体的なステージコード生成が改善されました。

  詳細については、「Spark のパフォーマンスの最適化」を参照してください。
- セキュリティ設定のローカルディスク暗号化と S3 暗号化の改善 (2019 年 8 月 5 日)
  - セキュリティ設定のセットアップで、Amazon S3 暗号化設定をローカルディスク暗号化設定から分離しました。
  - EBS 暗号化を有効にするオプションが追加されました。このオプションを選択すると、ストレージボリュームに加えてルートデバイスボリュームが暗号化されます。以前のバージョンでは、ルートデバイスボリュームを暗号化するにはカスタム AMI を使用する必要がありました。
  - 詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「暗号化オプション」を参照してください。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> Note
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.24.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.8.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.3.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.33.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.8.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-4	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.9	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.9	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.9	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.9	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.9	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.4-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.6	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.6.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.4.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.1-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.1-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.219	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.219	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.24.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.24.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。

分類	説明
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.23.1

5.23.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.23.1	emr-5.23.0	emr-5.22.0	emr-5.21.2
AWS SDK for Java	1.11.519	1.11.519	1.11.510	1.11.479
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.7.1	1.7.1	1.7.1	1.7.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.9	1.4.9	1.4.9	1.4.8
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1

	emr-5.23.1	emr-5.23.0	emr-5.22.0	emr-5.21.2
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.1.0	5.0.0
Phoenix	4.14.1	4.14.1	4.14.1	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.215	0.215	0.215	0.215
Spark	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.23.1 リリースノート

これはパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 5.23.1、5.27.1、および 5.32 以降のコンポーネントは、すべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セキュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。その他の 5.x EMR リリースでは、IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。

5.23.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.7.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.32.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.7.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.9	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.9	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.9	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.9	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.9	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.1-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.1-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.215	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.215	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.23.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.23.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.23.0

5.23.0 アプリケーションバージョン

このリリースには Flink、、Ganglia、、HBaseHCatalog、、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.23.0	emr-5.22.0	emr-5.21.2	emr-5.21.1
AWS SDK for Java	1.11.519	1.11.510	1.11.479	1.11.479
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.7.1	1.7.1	1.7.0	1.7.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.9	1.4.9	1.4.8	1.4.8
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4

	emr-5.23.0	emr-5.22.0	emr-5.21.2	emr-5.21.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.1.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.1	4.14.1	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.215	0.215	0.215	0.215
Spark	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.1	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.23.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.23.0 に関する情報が含まれています。5.22.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 4 月 1 日

最終更新日: 2019 年 4 月 30 日

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.519

新機能

- (2019 年 4 月 30 日) Amazon EMR 5.23.0 以降では、YARN リソースマネージャー、HDFS NameNode、Spark、Hive、Ganglia といったアプリケーションの高可用性をサポートできるように、3 つのプライマリノードを持つクラスターを起動できます。プライマリノードは、現在この機能による潜在的な単一障害点ではありません。プライマリノードのいずれかに障害が発生した場合、Amazon EMR は自動的にスタンバイプライマリノードにフェイルオーバーし、障害が発生したプライマリノードを同じ設定とブートストラップアクションを持つ新しいプライマリノードに置き換えます。詳細については、「プライマリノードの計画と設定」を参照してください。

既知の問題

- Tez UI (Amazon EMR リリース 5.26.0 で修正)

  Tez UI は、複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターでは動作しません。
- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
2. テキストエディタを使用して、hue.ini ファイルを開きます。例:

   ```
   sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
   ```
3. 語句 appblacklist を検索して、行を次のように変更します。

   ```
   appblacklist = search
   ```
4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

   ```
   sudo stop hue; sudo start hue
   ```

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.23.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.7.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.32.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.7.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-hdfs-journalnode	2.8.5-amzn-3	HA クラスター上の Hadoop ファイルシステムジャーナルを管理するための HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.9	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.9	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.9	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.9	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.9	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-1	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.1-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.1-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.215	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.215	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.23.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.23.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.22.0

5.22.0 アプリケーションバージョン

このリリースにはFlink、、Ganglia、、HBaseHCatalog、、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.22.0	emr-5.21.2	emr-5.21.1	emr-5.21.0
AWS SDK for Java	1.11.510	1.11.479	1.11.479	1.11.479
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.7.1	1.7.0	1.7.0	1.7.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.22.0	emr-5.21.2	emr-5.21.1	emr-5.21.0
HBase	1.4.9	1.4.8	1.4.8	1.4.8
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.1.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.1	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.215	0.215	0.215	0.215
Spark	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1

	emr-5.22.0	emr-5.21.2	emr-5.21.1	emr-5.21.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.1	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.22.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.22.0 に関する情報が含まれています。5.21.0 からの変更が含まれています。

> **Important**
>
> Amazon EMR リリース 5.22.0 以降、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。以前の Amazon EMR リリースでは、リリースノートで AWS 署名バージョン 4 のみが使用されていることが明記されていない限り、場合によっては署名バージョン 2 が使用されます。詳細については、Amazon Simple Storage Service デベロッパーガイドの「リクエストの認証 (AWS 署名バージョン 4)」および「リクエストの認証 (AWS 署名バージョン 2)」を参照してください。

初回リリース日: 2019 年 3 月 20 日

アップグレード

- Flink 1.7.1
- HBase 1.4.9
- Oozie 5.1.0
- Phoenix 4.14.1
- Zeppelin 0.8.1
- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.8.0
  - MariaDB Connector 2.2.6

- Amazon Redshift JDBC ドライバー 1.2.20.1043

新機能

- EBS 専用ストレージを使用する EC2 インスタンスタイプのデフォルトの EBS 設定を変更しました。Amazon EMR リリース 5.22.0 以降を使用してクラスターを作成する場合、デフォルトの EBS ストレージ容量はインスタンスのサイズに基づいて増加します。さらに、増加したストレージを複数のボリュームに分割することで、IOPS のパフォーマンスが向上しました。別の EBS インスタンスストレージ設定を使用する場合は、EMR クラスターを作成する際、または既存のクラスターをノードに追加する際に指定することができます。インスタンスタイプごとにデフォルトで割り当てられるストレージ容量とボリューム数の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「インスタンスのデフォルト EBS ストレージ」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - YARN の Spark 用に新しい設定プロパティ `spark.yarn.executor.memoryOverheadFactor` が導入されました。このプロパティの値は、メモリオーバーヘッドの値をエグゼキューターメモリのパーセントに設定するスケール係数であり、最小は 384 MB です。`spark.yarn.executor.memoryOverhead` を使用してメモリオーバーヘッドが明示的に設定されている場合、このプロパティは影響しません。デフォルト値は `0.1875` で、18.75% を表します。Amazon EMR のこのデフォルトは、Spark で内部的に設定されたデフォルトの 10% よりも、エグゼキューターのメモリオーバーヘッド用に YARN コンテナに余分なスペースを残します。Amazon EMR のデフォルトの 18.75% では、TPC-DS ベンチマークでメモリ関連の障害が減ることが実証されています。
  - パフォーマンスを向上させるために SPARK-26316 をバックポートしました。
- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。

既知の問題

- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)

- Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

  ```
  Solr server could not be contacted properly: 
  HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal', 
  port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
  system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by 
  NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111] 
  Connection refused',))
  ```

  Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

  1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
  2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

     ```
     sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
     ```

  3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

     ```
     appblacklist = search
     ```

  4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

     ```
     sudo stop hue; sudo start hue
     ```

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.22.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.6.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.31.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.7.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.8.5-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.9	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.9	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.9	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.9	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.9	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-1	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.1.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.1.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.1-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.1-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.215	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.215	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.22.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.22.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.21.2

5.21.2 アプリケーションバージョン

このリリースにはFlink、、Ganglia、、HBaseHCatalog、、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.21.2	emr-5.21.1	emr-5.21.0	emr-5.20.1
AWS SDK for Java	1.11.479	1.11.479	1.11.479	1.11.461
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.7.0	1.7.0	1.7.0	1.6.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.21.2	emr-5.21.1	emr-5.21.0	emr-5.20.1
HBase	1.4.8	1.4.8	1.4.8	1.4.8
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.215	0.215	0.215	0.214
Spark	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.4.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1

	emr-5.21.2	emr-5.21.1	emr-5.21.0	emr-5.20.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.21.2 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.21.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.30.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.7.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.8	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.8	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.8	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.8	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.8	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.4-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.215	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.215	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.21.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.21.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.21.1

5.21.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHue、JupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.21.1	emr-5.21.0	emr-5.20.1	emr-5.20.0
AWS SDK for Java	1.11.479	1.11.479	1.11.461	1.11.461
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.12
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-5.21.1	emr-5.21.0	emr-5.20.1	emr-5.20.0
Delta	-	-	-	-
Flink	1.7.0	1.7.0	1.6.2	1.6.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.8	1.4.8	1.4.8	1.4.8
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.4
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.215	0.215	0.214	0.214
Spark	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.4.0

	emr-5.21.1	emr-5.21.0	emr-5.20.1	emr-5.20.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.12.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.21.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.21.1 に関する情報が含まれています。5.21.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 18 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.21.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.30.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.7.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.8	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.8	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.8	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.8	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.8	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.4-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.215	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.215	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.21.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.21.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.21.0

5.21.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hue、JupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.21.0	emr-5.20.1	emr-5.20.0	emr-5.19.1
AWS SDK for Java	1.11.479	1.11.461	1.11.461	1.11.433
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.4
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.12	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-5.21.0	emr-5.20.1	emr-5.20.0	emr-5.19.1
Delta	-	-	-	-
Flink	1.7.0	1.6.2	1.6.2	1.6.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.8	1.4.8	1.4.8	1.4.7
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.3
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.4	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.215	0.214	0.214	0.212
Spark	2.4.0	2.4.0	2.4.0	2.3.2

	emr-5.21.0	emr-5.20.1	emr-5.20.0	emr-5.19.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.12.0	1.11.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.9.1	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.21.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.21.0 に関する情報が含まれています。5.20.0 からの変更が含まれています。

リリース日: 2019 年 2 月 18 日

最終更新日: 2019 年 4 月 3 日

アップグレード

- Flink 1.7.0
- Presto 0.215
- AWS SDK for Java 1.11.479

新機能

- (2019 年 4 月 3 日) Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface （ AWS CLI ）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Zeppelin
  - ZEPPELIN-3878 をバックポートしました。

既知の問題

- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

    Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

    1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
    2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

       ```
       sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
       ```

    3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

       ```
       appblacklist = search
       ```

    4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

       ```
       sudo stop hue; sudo start hue
       ```

- Tez
  - この問題は、Amazon EMR 5.22.0 で修正されています。

    クラスタープライマリノードへの SSH 接続を使用して http://*MasterDNS*:8080/tez-ui で Tez UI に接続すると、「Adapter operation failed - Timeline server (ATS) is out of reach。Either it is down, or CORS is not enabled」(アダプタの操作に失敗しました - タイムラインサーバー (ATS)

に到達できません。停止しているか、または CORS が有効になっていません) というエラーが表示されるか、タスクで予期せずに N/A と表示されます。

これは、Tez UI がプライマリノードのホスト名ではなく `localhost` を使用して YARN タイムラインサーバーにリクエストを行ったことが原因で発生します。回避策として、ブートストラップアクションまたはステップとしてスクリプトを実行できます。このスクリプトで、Tez `configs.env` ファイル内のホスト名を更新します。スクリプトの詳細と場所については、「[Bootstrap Instructions]」を参照してください。

- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.21.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.11.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.30.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.7.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.8	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.8	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.4.8	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.8	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.8	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.215	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.215	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.21.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.21.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.20.1

5.20.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、およびアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.20.1	emr-5.20.0	emr-5.19.1	emr-5.19.0
AWS SDK for Java	1.11.461	1.11.461	1.11.433	1.11.433
Python	2.7、3.6	2.7、3.6	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.12	2.11.12	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.6.2	1.6.2	1.6.1	1.6.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.8	1.4.8	1.4.7	1.4.7
HCatalog	2.3.4	2.3.4	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.5
Hive	2.3.4	2.3.4	2.3.3	2.3.3

	emr-5.20.1	emr-5.20.0	emr-5.19.1	emr-5.19.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.3.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.9.4
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.1	1.3.0	1.3.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.214	0.214	0.212	0.212
Spark	2.4.0	2.4.0	2.3.2	2.3.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.12.0	1.11.0	1.11.0
Tez	0.9.1	0.9.1	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.13

5.20.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.20.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.29.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.6.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.8	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.8	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.8	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.8	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.8	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.4-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.214	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.214	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.20.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.20.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。

分類	説明
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.20.0

5.20.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHue、JupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.20.0	emr-5.19.1	emr-5.19.0	emr-5.18.1
AWS SDK for Java	1.11.461	1.11.433	1.11.433	1.11.393
Python	2.7、3.6	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.12	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.6.2	1.6.1	1.6.1	1.6.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.8	1.4.7	1.4.7	1.4.7
HCatalog	2.3.4	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.5	2.8.4
Hive	2.3.4	2.3.3	2.3.3	2.3.3

	emr-5.20.0	emr-5.19.1	emr-5.19.0	emr-5.18.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.3.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.9.4	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.1	1.3.0	1.3.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.214	0.212	0.212	0.210
Spark	2.4.0	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.12.0	1.11.0	1.11.0	1.9.0
Tez	0.9.1	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.13	3.4.12

5.20.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.20.0 に関する情報が含まれています。5.19.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 12 月 18 日

最終更新: 2019 年 1 月 22 日

アップグレード

- Flink 1.6.2
- HBase 1.4.8
- Hive 2.3.4
- Hue 4.3.0
- MXNet 1.3.1
- Presto 0.214
- Spark 2.4.0
- TensorFlow 1.12.0
- Tez 0.9.1
- AWS SDK for Java 1.11.461

新機能

- (2019 年 1 月 22 日) Amazon EMR の Kerberos は、外部 KDC からのプリンシパルの認証をサポートするように改善されました。これにより、複数のクラスターが単一の外部 KDC を共有できるため、プリンシパル管理が集中化されます。さらに、外部 KDC は Active Directory ドメインとのクロス領域信頼を得られます。これにより、すべてのクラスターが Active Directory からプリンシパルを認証できます。詳しくは、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Kerberos 認証を使用する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI
  - Python3 パッケージが python 3.4 から 3.6 にアップグレードされました。

- EMRFS S3 向けに最適化されたコミッター
  - 現在、EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターがデフォルトで有効になるため、書き込みパフォーマンスが向上します。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する」を参照してください。
- [Hive]
  - HIVE-16686 をバックポートしました。
- Spark と Hive での Glue
  - EMR 5.20.0 以降では、 Glue Data Catalog をメタストアとして使用すると、Spark および Hive AWS に対してパラレルパーティションプルーニングが自動的に有効になります。この変更により、複数のリクエストを並列に実行してパーティションを取得できるため、クエリ計画時間が大幅に短縮されます。同時に実行できるセグメントの総数は、1～10 の範囲です。デフォルト値は 5 であり、これが推奨される設定です。`hive-site` 設定分類の `aws.glue.partition.num.segments` プロパティを指定すると、これを変更できます。スロットリングが発生した場合は、値を 1 に変更して機能をオフにすることができます。詳細については、「AWS Glue セグメント構造」を参照してください。

既知の問題

- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

    Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

    1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
    2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

       ```
       sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
       ```

    3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

```
appblacklist = search
```

4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

```
sudo stop hue; sudo start hue
```

- Tez
  - この問題は、Amazon EMR 5.22.0 で修正されています。

    クラスタープライマリノードへの SSH 接続を使用して http://*MasterDNS*:8080/tez-ui で Tez UI に接続すると、「Adapter operation failed - Timeline server (ATS) is out of reach。Either it is down, or CORS is not enabled」(アダプタの操作に失敗しました - タイムラインサーバー (ATS) に到達できません。停止しているか、または CORS が有効になっていません) というエラーが表示されるか、タスクで予期せずに N/A と表示されます。

    これは、Tez UI がプライマリノードのホスト名ではなく `localhost` を使用して YARN タイムラインサーバーにリクエストを行ったことが原因で発生します。回避策として、ブートストラップアクションまたはステップとしてスクリプトを実行できます。このスクリプトで、Tez `configs.env` ファイル内のホスト名を更新します。スクリプトの詳細と場所については、「Bootstrap Instructions」を参照してください。
- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。

- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

5.20.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.2.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.29.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.6.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.8.5-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.8.5-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.4.8	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.8	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.8	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.8	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.8	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.4-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.4-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.4-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.4-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.4-amzn-0	Hive-hbase クライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.3.4-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.4-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.1	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.214	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.214	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.4.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.4.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.4.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.4.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.12.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.9.1	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.20.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.20.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.19.1

5.19.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.19.1	emr-5.19.0	emr-5.18.1	emr-5.18.0
AWS SDK for Java	1.11.433	1.11.433	1.11.393	1.11.393
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.6.1	1.6.1	1.6.0	1.6.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.19.1	emr-5.19.0	emr-5.18.1	emr-5.18.0
HBase	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.5	2.8.5	2.8.4	2.8.4
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.9.4	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.0	1.3.0	1.2.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.212	0.212	0.210	0.210
Spark	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.11.0	1.11.0	1.9.0	1.9.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4

	emr-5.19.1	emr-5.19.0	emr-5.18.1	emr-5.18.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.8.0
ZooKeeper	3.4.13	3.4.13	3.4.12	3.4.12

5.19.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.19.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.28.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.6.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.7	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.7	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.7	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.7	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.7	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.3-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.212	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.212	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.2	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.3.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.19.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.19.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.19.0

5.19.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNet、Mahout、およびアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.19.0	emr-5.18.1	emr-5.18.0	emr-5.17.2
AWS SDK for Java	1.11.433	1.11.393	1.11.393	1.11.336
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-5.19.0	emr-5.18.1	emr-5.18.0	emr-5.17.2
Delta	-	-	-	-
Flink	1.6.1	1.6.0	1.6.0	1.5.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.6
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.5	2.8.4	2.8.4	2.8.4
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.9.4	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.3.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.212	0.210	0.210	0.206
Spark	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.1

	emr-5.19.0	emr-5.18.1	emr-5.18.0	emr-5.17.2
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.11.0	1.9.0	1.9.0	1.9.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.8.0	0.7.3
ZooKeeper	3.4.13	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.19.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.19.0 に関する情報が含まれています。5.18.0 からの変更が含まれています。

リリース日: 2018 年 11 月 7 日

最終更新日: 2018 年 11 月 19 日

アップグレード

- Hadoop 2.8.5
- Flink 1.6.1
- JupyterHub 0.9.4
- MXNet 1.3.0
- Presto 0.212
- TensorFlow 1.11.0
- Zookeeper 3.4.13
- AWS SDK for Java 1.11.433

新機能

- (2018 年 11 月 19 日) EMR Notebooks は、Jupyter Notebook に基づいたマネージド環境です。PySpark、Spark SQL、Spark R、および Scala の Sparkmagic カーネルをサポートしています。EMR Notebooks は、Amazon EMR リリース 5.18.0 以降を使用して作成されたクラスターで使用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR Notebooks の使用」を参照してください。
- EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、Spark と EMRFS を使用して Parquet ファイルを書き込むときに利用できます。このコミッターにより、書き込みパフォーマンスが向上します。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- YARN
  - アプリケーションマスタープロセスをコアノードで実行するように制限するロジックを修正しました。現在、この機能では、`yarn-site` 設定分類および `capacity-scheduler` 設定分類の YARN ノードラベル機能とプロパティを使用しています。詳細については、「https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ManagementGuide/emr-plan-instances-guidelines.html#emr-plan-spot-YARN.」を参照してください。
- Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI
  - `ruby18`、`php56`、および `gcc48` は、デフォルトではインストールされなくなりました。必要に応じて、`yum` を使用してインストールできます。
  - aws-sdk ruby gem は、デフォルトではインストールされなくなりました。必要に応じて、`gem install aws-sdk` を使用してインストールできます。特定のコンポーネントをインストールすることもできます。例えば、`gem install aws-sdk-s3`。

既知の問題

- EMR Notebooks — 状況によっては、複数のノートブックエディタが開いているときに、ノートブックエディタがクラスターに接続できないように見えることがあります。このような場合は、ブラウザの Cookie をクリアしてから、ノートブックエディタを再度開きます。
- CloudWatch ContainerPending メトリクスと自動スケーリング — (5.20.0 で修正) Amazon EMR は `ContainerPending` に負の値を出力する可能性があります。`ContainerPending` が自動スケーリングルールで使用されている場合、自動スケーリングは期待どおりに動作しません。`ContainerPending` を自動スケーリングで使用しないでください。

- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。

5.19.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion*` の形式のバージョンラベルがあります。`*EmrVersion*` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.2.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.7.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.1	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.28.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.6.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.5-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.5-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.8.5-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.5-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.5-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.5-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.5-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.5-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.5-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.5-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.7	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.7	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.4.7	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.7	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.7	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.9.4	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.3.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.212	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.212	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	1.11.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.13	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.13	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.19.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.19.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-memory	Presto の memory.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpcds	Presto の tpcds.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.18.1

5.18.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、Hue、JupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.18.1	emr-5.18.0	emr-5.17.2	emr-5.17.1
AWS SDK for Java	1.11.393	1.11.393	1.11.336	1.11.336
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.6.0	1.6.0	1.5.2	1.5.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.7	1.4.7	1.4.6	1.4.6
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.4	2.8.4	2.8.4	2.8.4
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3

	emr-5.18.1	emr-5.18.0	emr-5.17.2	emr-5.17.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.210	0.210	0.206	0.206
Spark	2.3.2	2.3.2	2.3.1	2.3.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.9.0	1.9.0	1.9.0	1.9.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.8.0	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.18.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.18.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.3	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.27.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.6.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.7	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.7	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.7	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.7	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.7	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.3-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.210	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.210	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.9.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.18.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.18.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。

分類	説明
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.18.0

5.18.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- [Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.18.0	emr-5.17.2	emr-5.17.1	emr-5.17.0
AWS SDK for Java	1.11.393	1.11.336	1.11.336	1.11.336
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.6.0	1.5.2	1.5.2	1.5.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.7	1.4.6	1.4.6	1.4.6
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.4	2.8.4	2.8.4	2.8.4
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-5.18.0	emr-5.17.2	emr-5.17.1	emr-5.17.0
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.210	0.206	0.206	0.206
Spark	2.3.2	2.3.1	2.3.1	2.3.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.9.0	1.9.0	1.9.0	1.9.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	0.8.0	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.18.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.18.0 に関する情報が含まれています。5.17.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 10 月 24 日

アップグレード

- Flink 1.6.0
- HBase 1.4.7
- Presto 0.210
- Spark 2.3.2
- Zeppelin 0.8.0

新機能

- Amazon EMR 5.18.0 以降では、Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用し、特定の Amazon EMR リリースで利用可能なライブラリおよび依存関係の正確なバージョンに対してジョブコードをビルドできます。詳細については、「Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用して依存関係を確認する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- [Hive]
  - S3 Select のサポートが追加されました。詳細については、「S3 Select と Hive を使用してパフォーマンスを向上させる」を参照してください。
- Presto
  - S3 Select Pushdown のサポートが追加されました。詳細については、「S3 Select Pushdown と Presto を使用してパフォーマンスを向上させる」を参照してください。
- Spark
  - Spark のデフォルトの log4j 設定が、Spark ストリーミングジョブのコンテナログを毎時ロールするように変更されました。これにより、長時間実行されている Spark ストリーミングジョブのログが削除されるのを防ぐことができます。

5.18.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通

常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.3	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.1.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.27.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.6.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.7	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.7	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.7	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.7	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.7	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.3-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
nginx	1.12.1	nginx [engine x] は HTTP およびリバースプロキシサーバー

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.210	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.210	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.9.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.8.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.18.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.18.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。

分類	説明
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.17.2

5.17.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.17.2	emr-5.17.1	emr-5.17.0	emr-5.16.1
AWS SDK for Java	1.11.336	1.11.336	1.11.336	1.11.336
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4

	emr-5.17.2	emr-5.17.1	emr-5.17.0	emr-5.16.1
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.5.2	1.5.2	1.5.2	1.5.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.4
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.4	2.8.4	2.8.4	2.8.4
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0

	emr-5.17.2	emr-5.17.1	emr-5.17.0	emr-5.16.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.206	0.206	0.206	0.203
Spark	2.3.1	2.3.1	2.3.1	2.3.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.9.0	1.9.0	1.9.0	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.17.2 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.17.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.3	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.0.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.26.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.5.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれ

コンポーネント	バージョン	説明
		た、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.6	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.6	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.6	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.6	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.6	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.3.3-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.206	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.206	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.9.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.17.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.17.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.17.1

5.17.1 アプリケーションバージョン

このリリースには[Flink](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-flink.html)、、[Ganglia](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-ganglia.html)、、[HBase](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-hbase.html)、[HCatalog](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-hcatalog.html)、[Hadoop](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-hadoop.html)、[Hive](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-hive.html)、、[HueJupyterHub](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-jupyterhub.html)、、[Livy](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-livy.html)、[MXNetMahout](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-mahout.html)、、および アプリケーションが含まれています[ZooKeeper](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ReleaseGuide/emr-zookeeper.html)。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.17.1	emr-5.17.0	emr-5.16.1	emr-5.16.0
AWS SDK for Java	1.11.336	1.11.336	1.11.336	1.11.336
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.5.2	1.5.2	1.5.0	1.5.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.17.1	emr-5.17.0	emr-5.16.1	emr-5.16.0
HBase	1.4.6	1.4.6	1.4.4	1.4.4
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.4	2.8.4	2.8.4	2.8.4
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.5.0
MXNet	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.14.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.206	0.206	0.203	0.203
Spark	2.3.1	2.3.1	2.3.1	2.3.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.9.0	1.9.0	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4

	emr-5.17.1	emr-5.17.0	emr-5.16.1	emr-5.16.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.17.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.17.1 に関する情報が含まれています。5.17.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 18 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

5.17.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.3	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.0.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.26.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.5.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.6	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.6	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.6	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.6	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.6	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.3-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.206	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.206	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.3.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tensorflow	1.9.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.17.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.17.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.17.0

5.17.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.17.0	emr-5.16.1	emr-5.16.0	emr-5.15.1
AWS SDK for Java	1.11.336	1.11.336	1.11.336	1.11.333
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.5.2	1.5.0	1.5.0	1.4.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.6	1.4.4	1.4.4	1.4.4
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.4	2.8.4	2.8.4	2.8.3
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3

	emr-5.17.0	emr-5.16.1	emr-5.16.0	emr-5.15.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.5.0	0.4.0
MXNet	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.1.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.14.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.206	0.203	0.203	0.194
Spark	2.3.1	2.3.1	2.3.1	2.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	1.9.0	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.17.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.17.0 に関する情報が含まれています。5.16.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 30 日

アップグレード

- Flink 1.5.2
- HBase 1.4.6
- Presto 0.206

新機能

- TensorFlow のサポートが追加されました。詳細については、「TensorFlow」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- JupyterHub
  - Amazon S3 でのノートブックの永続性のサポートが追加されました。詳細については、「Amazon S3 でノートブックの永続性を設定するには」を参照してください。
- Spark
  - S3 Select のサポートが追加されました。詳細については、「S3 Select と Spark を使用してクエリパフォーマンスを向上させる」を参照してください。
- Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 での Cloudwatch メトリクスと自動スケーリング機能に関する問題が解決されました。

既知の問題

- Livy がインストールされた Kerberized クラスターを作成すると、Livy が失敗して、簡易認証が有効になっていないというエラーが表示されます。Livy サーバーを再起動すると、問題が解決されます。回避策として、クラスターの作成時に、プライマリノードで `sudo restart livy-server` を実行するステップを追加します。
- 作成日が 2018-08-11 の Amazon Linux AMI に基づくカスタム Amazon Linux AMI を使用すると、Oozie サーバーの起動に失敗します。Oozie を使用する場合は、作成日が異なる

Amazon Linux AMI ID に基づいてカスタム AMI を作成します。次の AWS CLI コマンドを使用して、2018.03 バージョンのすべての HVM Amazon Linux AMIs のイメージ IDs とリリース日のリストを返すことができます。これにより、ベースとして適切な Amazon Linux AMI を選択できます。MyRegion はリージョン ID (us-west-2 など) に置き換えます。

```
aws ec2 --region MyRegion describe-images --owner amazon --query 'Images[?
Name!=`null`]|[?starts_with(Name, `amzn-ami-hvm-2018.03`) == `true`].
[CreationDate,ImageId,Name]' --output text | sort -rk1
```

5.17.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.3	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.5.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emr-s3-select	1.0.0	EMR S3Select コネクター
emrfs	2.26.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.5.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.6	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.6	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.6	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.6	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.6	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.3-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.206	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.206	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tensorflow	1.9.0	TensorFlow は、高性能数値計算用のオープンソースのソフトウェアライブラリです。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.17.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.17.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-s3-conf	Jupyter Notebook の S3 の永続性を設定します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.16.1

5.16.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、JupyterHubLivy、、MXNetMahout、、よび アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.16.1	emr-5.16.0	emr-5.15.1	emr-5.15.0
AWS SDK for Java	1.11.336	1.11.336	1.11.333	1.11.333
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.5.0	1.5.0	1.4.2	1.4.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.4	1.4.4	1.4.4	1.4.4
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hadoop	2.8.4	2.8.4	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-

	emr-5.16.1	emr-5.16.0	emr-5.15.1	emr-5.15.0
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.5.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.2.0	1.2.0	1.1.0	1.1.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	5.0.0
Phoenix	4.14.0	4.14.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.203	0.203	0.194	0.194
Spark	2.3.1	2.3.1	2.3.0	2.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.12

5.16.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

Important

このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.16.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.25.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.5.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.4	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.4	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.4	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.4	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.4	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.203	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.203	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.16.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.16.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.16.0

5.16.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.16.0	emr-5.15.1	emr-5.15.0	emr-5.14.2
AWS SDK for Java	1.11.336	1.11.333	1.11.333	1.11.297
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4

	emr-5.16.0	emr-5.15.1	emr-5.15.0	emr-5.14.2
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.5.0	1.4.2	1.4.2	1.4.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.4	1.4.4	1.4.4	1.4.2
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.2
Hadoop	2.8.4	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.3	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.5.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.2.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	5.0.0	4.3.0
Phoenix	4.14.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0

	emr-5.16.0	emr-5.15.1	emr-5.15.0	emr-5.14.2
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.203	0.194	0.194	0.194
Spark	2.3.1	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.12	3.4.10

5.16.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.16.0 に関する情報が含まれています。5.15.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 7 月 19 日

アップグレード

- Hadoop 2.8.4
- Flink 1.5.0
- Livy 0.5.0
- MXNet 1.2.0
- Phoenix 4.14.0
- Presto 0.203
- Spark 2.3.1
- AWS SDK for Java 1.11.336

- CUDA 9.2
- Redshift JDBC ドライバー 1.2.15.1025

変更、機能強化、解決した問題

- HBase
  - HBASE-20723 をバックポートしました。
- Presto
  - LDAP 認証をサポートするための設定変更。詳細については、「Amazon EMR の Presto に LDAP 認証を使用する」を参照してください。
- Spark
  - Apache Spark バージョン 2.3.1 は Amazon EMR リリース 5.16.0 以降で利用でき、CVE-2018-8024 および CVE-2018-1334 に対処します。Spark の以前のバージョンを Spark バージョン 2.3.1 以降に移行することをお勧めします。

既知の問題

- このリリースバージョンでは、c1.medium インスタンスタイプまたは m1.small インスタンスタイプはサポートされていません。これらのインスタンスタイプのいずれかを使用するクラスターは起動しません。回避策として、別のインスタンスタイプを指定するか、別のリリースバージョンを使用します。
- Livy がインストールされた Kerberized クラスターを作成すると、Livy が失敗して、簡易認証が有効になっていないというエラーが表示されます。Livy サーバーを再起動すると、問題が解決されます。回避策として、クラスターの作成時に、プライマリノードで `sudo restart livy-server` を実行するステップを追加します。
- プライマリノードの再起動後またはインスタンスコントローラーの再起動後に、Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 で、CloudWatch メトリクスが収集されず、自動スケーリング機能が使用できなくなります。この問題は、Amazon EMR 5.17.0 で修正されています。

5.16.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.25.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.5.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.4-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.4-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.4-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.4-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.4-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.4-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.4-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.4-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.4-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.4-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.4	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.4	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.4	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.4	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.4	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.5.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.2.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.2.88	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.14.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.14.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.203	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.203	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
spark-client	2.3.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.16.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.16.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-password-authenticator	Presto の password-authenticator.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.15.1

5.15.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNet、Mahout、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.15.1	emr-5.15.0	emr-5.14.2	emr-5.14.1
AWS SDK for Java	1.11.333	1.11.333	1.11.297	1.11.297
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.2	1.4.2	1.4.2	1.4.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.15.1	emr-5.15.0	emr-5.14.2	emr-5.14.1
HBase	1.4.4	1.4.4	1.4.2	1.4.2
HCatalog	2.3.3	2.3.3	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.3	2.3.3	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.2.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	5.0.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.194	0.194	0.194	0.194
Spark	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4

	emr-5.15.1	emr-5.15.0	emr-5.14.2	emr-5.14.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.12	3.4.10	3.4.10

5.15.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.15.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.24.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.4	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.4	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.4	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.4	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.4	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.3-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.3-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.1.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.15.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.15.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。

分類	説明
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.15.0

5.15.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、JupyterHubLivy、、MXNetMahout、、よび アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.15.0	emr-5.14.2	emr-5.14.1	emr-5.14.0
AWS SDK for Java	1.11.333	1.11.297	1.11.297	1.11.297
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.2	1.4.2	1.4.2	1.4.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.4	1.4.2	1.4.2	1.4.2
HCatalog	2.3.3	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.3	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.2.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-5.15.0	emr-5.14.2	emr-5.14.1	emr-5.14.0
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	0.8.1
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.1.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	5.0.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.194	0.194	0.194	0.194
Spark	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.7
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.12	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.15.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.15.0 に関する情報が含まれています。5.14.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 6 月 21 日

アップグレード

- HBase を 1.4.4 にアップグレードしました
- Hive を 2.3.3 にアップグレードしました
- Hue を 4.2.0 にアップグレードしました
- Oozie を 5.0.0 にアップグレードしました
- ZooKeeper を 3.4.12 にアップグレードしました
- AWS SDK を 1.11.333 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- [Hive]
  - HIVE-18069 をバックポートしました。
- Hue
  - Kerberos が有効になっている場合に Livy で正しく認証されるように Hue を更新しました。Amazon EMR で Kerberos を使用する場合、Livy がサポートされるようになりました。
- JupyterHub
  - Amazon EMR がデフォルトで LDAP クライアントライブラリをインストールするように JupyterHub を更新しました。
  - 自己署名証明書を生成するスクリプトのエラーを修正しました。

既知の問題

- このリリースバージョンでは、c1.medium インスタンスタイプまたは m1.small インスタンスタイプはサポートされていません。これらのインスタンスタイプのいずれかを使用するクラスターは起動しません。回避策として、別のインスタンスタイプを指定するか、別のリリースバージョンを使用します。
- プライマリノードの再起動後またはインスタンスコントローラーの再起動後に、Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 で、CloudWatch メトリクスが収集されず、自動スケーリング機能が使用できなくなります。この問題は、Amazon EMR 5.17.0 で修正されています。

5.15.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.24.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.4.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.4	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.4	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.4	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.4	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.4	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.3-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.3-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.3-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.3-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.3-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.3-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.3-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー

コンポーネント	バージョン	説明
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.1.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	5.0.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	5.0.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.12	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.12	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.15.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.15.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。

分類	説明
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.14.2

5.14.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNet、Mahout、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.14.2	emr-5.14.1	emr-5.14.0	emr-5.13.1
AWS SDK for Java	1.11.297	1.11.297	1.11.297	1.11.297
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-

	emr-5.14.2	emr-5.14.1	emr-5.14.0	emr-5.13.1
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.2	1.4.2	1.4.2	1.4.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.2	1.4.2	1.4.2	1.4.2
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	0.8.1	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.1.0	1.1.0	1.1.0	1.0.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.194	0.194	0.194	0.194
Spark	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0

	emr-5.14.2	emr-5.14.1	emr-5.14.0	emr-5.13.1
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.7	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.14.2 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.14.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.23.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計

コンポーネント	バージョン	説明
		する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.1.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.14.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.14.2 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.14.1

5.14.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、、Livy、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.14.1	emr-5.14.0	emr-5.13.1	emr-5.13.0
AWS SDK for Java	1.11.297	1.11.297	1.11.297	1.11.297
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.2	1.4.2	1.4.0	1.4.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.2	1.4.2	1.4.2	1.4.2
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2

	emr-5.14.1	emr-5.14.0	emr-5.13.1	emr-5.13.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	0.8.1	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.1.0	1.1.0	1.0.0	1.0.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.194	0.194	0.194	0.194
Spark	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Sqoop	1.4.7	1.4.7	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.14.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.14.1 に関する情報が含まれています。5.14.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 10 月 17 日

潜在的なセキュリティ脆弱性に対処するために Amazon EMR のデフォルトの AMI を更新しました。

5.14.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.23.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.2	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.4.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.1.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.14.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.14.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.14.0

5.14.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueJupyterHub、Livy、、MXNetMahout、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.14.0	emr-5.13.1	emr-5.13.0	emr-5.12.3
AWS SDK for Java	1.11.297	1.11.297	1.11.297	1.11.267
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8

	emr-5.14.0	emr-5.13.1	emr-5.13.0	emr-5.12.3
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.2	1.4.0	1.4.0	1.4.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.2	1.4.2	1.4.2	1.4.0
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	0.8.1	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.1.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0

	emr-5.14.0	emr-5.13.1	emr-5.13.0	emr-5.12.3
Presto	0.194	0.194	0.194	0.188
Spark	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.2.1
Sqoop	1.4.7	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.14.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.14.0 に関する情報が含まれています。5.13.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 6 月 4 日

アップグレード

- Apache Flink を 1.4.2 にアップグレードしました
- Apache MXNet を 1.1.0 にアップグレードしました
- Apache Sqoop を 1.4.7 にアップグレードしました

新機能

- JupyterHub のサポートを追加しました 詳細については、「JupyterHub」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- EMRFS

  - Amazon S3 へのリクエスト内の UserAgent 文字列が、呼び出し元のプリンシパルのユーザーおよびグループの情報を含めるように更新されました。これは、より包括的なリクエスト追跡のための AWS CloudTrail ログで使用できます。
- HBase
  - HBASE-20447 が含まれました。これにより、特に分割されたリージョンで、キャッシュの問題を引き起こす可能性のある問題に対処します。
- MXNet
  - OpenCV ライブラリを追加しました。
- Spark
  - Spark が EMRFS を使用して Amazon S3 の場所に Parquet ファイルを書き込む場合、FileOutputCommitter アルゴリズムがバージョン 1 ではなくバージョン 2 を使用するように更新されました。これにより、名前変更の数が減り、アプリケーションのパフォーマンスが向上します。この変更は、以下には影響しません。
    - Spark 以外のアプリケーション。
    - HDFS などの他のファイルシステムに書き込むアプリケーション (FileOutputCommitter のバージョン 1 を引き続き使用している)。
    - テキストや csv など、EMRFS 直接書き込みを既に使用している、他の出力形式を使用するアプリケーション。

既知の問題

- JupyterHub
  - クラスターの作成時に、構成分類を使用して JupyterHub および個々の Jupyter Notebook をセットアップすることは、サポートされていません。各ユーザーの jupyterhub_config.py ファイルと jupyter_notebook_config.py ファイルを手動で編集します。詳細については、「JupyterHub の設定」を参照してください。
  - JupyterHub がプライベートサブネット内のクラスターで起動できず、失敗してメッセージ `Error: ENOENT: no such file or directory, open '/etc/jupyter/conf/server.crt'` が表示されます。これは、自己署名証明書を生成するスクリプトのエラーが原因で発生します。次の回避策を使用して自己署名証明書を生成します。すべてのコマンドは、プライマリノードに接続している間に実行されます。

    1. 証明書生成スクリプトをコンテナからプライマリノードにコピーします。

```
sudo docker cp jupyterhub:/tmp/gen_self_signed_cert.sh ./
```

2. テキストエディタを使用して 23 行目を変更し、以下に示すようにパブリックホスト名をローカルホスト名に変更します。

```
local hostname=$(curl -s $EC2_METADATA_SERVICE_URI/local-hostname)
```

3. スクリプトを実行して、自己署名証明書を生成します。

```
sudo bash ./gen_self_signed_cert.sh
```

4. スクリプトによって生成される証明書ファイルを `/etc/jupyter/conf/` ディレクトリに移動します。:

```
sudo mv /tmp/server.crt /tmp/server.key /etc/jupyter/conf/
```

`jupyter.log` ファイルに `tail` を実行して、JupyterHub が再起動しており、200 レスポンスコードを返していることを確認できます。例:

```
tail -f /var/log/jupyter/jupyter.log
```

これで、次のようなレスポンスが返されます。

```
# [I 2018-06-14 18:56:51.356 JupyterHub app:1581] JupyterHub is now running at
 https://:9443/
# 19:01:51.359 - info: [ConfigProxy] 200 GET /api/routes
```

- プライマリノードの再起動後またはインスタンスコントローラーの再起動後に、Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 で、CloudWatch メトリクスが収集されず、自動スケーリング機能が使用できなくなります。この問題は、Amazon EMR 5.17.0 で修正されています。

5.14.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.23.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
jupyterhub	0.8.1	Jupyter Notebook のマルチユーザーサーバー
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.1.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
opencv	3.4.0	オープンソースのコンピュータビジョンライブラリ。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト

コンポーネント	バージョン	説明
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.7	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.14.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.14.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
container-log4j	Hadoop YARN の container-log4j.properties ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。

分類	説明
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
jupyter-notebook-conf	Jupyter Notebook の jupyter_notebook_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-hub-conf	JupyterHubs の jupyterhub_config.py ファイルの値を変更します。
jupyter-sparkmagic-conf	Sparkmagic の config.json ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.13.1

5.13.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.13.1	emr-5.13.0	emr-5.12.3	emr-5.12.2
AWS SDK for Java	1.11.297	1.11.297	1.11.267	1.11.267
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.2	1.4.2	1.4.0	1.4.0
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2

	emr-5.13.1	emr-5.13.0	emr-5.12.3	emr-5.12.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.194	0.194	0.188	0.188
Spark	2.3.0	2.3.0	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.13.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.13.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.22.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.4.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.0.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.13.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.13.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.13.0

5.13.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.13.0	emr-5.12.3	emr-5.12.2	emr-5.12.1
AWS SDK for Java	1.11.297	1.11.267	1.11.267	1.11.267
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.13.0	emr-5.12.3	emr-5.12.2	emr-5.12.1
HBase	1.4.2	1.4.0	1.4.0	1.4.0
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.194	0.188	0.188	0.188
Spark	2.3.0	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4

	emr-5.13.0	emr-5.12.3	emr-5.12.2	emr-5.12.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.13.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.13.0 に関する情報が含まれています。5.12.0 からの変更が含まれています。

アップグレード

- Spark を 2.3.0 にアップグレードしました
- HBase を 1.4.2 にアップグレードしました
- Presto を 0.194 にアップグレードしました
- AWS SDK for Java を 1.11.297 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- [Hive]
  - HIVE-15436 をバックポートしました。ビューのみを返すように Hive API が拡張されました。

既知の問題

- MXNet には現在 OpenCV ライブラリがありません。

5.13.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.10.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.22.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-2	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-2	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-2	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-2	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.0.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.194	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.194	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
r	3.4.1	統計的コンピューティング用 R プロジェクト
spark-client	2.3.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.3.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.3.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.3.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.13.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.13.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.12.3

5.12.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.12.3	emr-5.12.2	emr-5.12.1	emr-5.12.0
AWS SDK for Java	1.11.267	1.11.267	1.11.267	1.11.267
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.4.0
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.8.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.1.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0

	emr-5.12.3	emr-5.12.2	emr-5.12.1	emr-5.12.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.13.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.188	0.188	0.188	0.188
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.12.3 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.12.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.9.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.21.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.4.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.2-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.0.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.188	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.188	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.12.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.12.3 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.12.2

5.12.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.12.2	emr-5.12.1	emr-5.12.0	emr-5.11.4
AWS SDK for Java	1.11.267	1.11.267	1.11.267	1.11.238
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.0	1.4.0	1.4.0	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.8.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.1.0	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.0.0	1.0.0	1.0.0	0.12.0

	emr-5.12.2	emr-5.12.1	emr-5.12.0	emr-5.11.4
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.13.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.188	0.188	0.188	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.12.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.12.2 に関する情報が含まれています。5.12.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

5.12.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.9.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.21.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.4.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.2-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.0.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.188	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.188	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.12.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.12.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.12.1

5.12.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.12.1	emr-5.12.0	emr-5.11.4	emr-5.11.3
AWS SDK for Java	1.11.267	1.11.267	1.11.238	1.11.238
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.0	1.4.0	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.0	1.4.0	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.8.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.1.0	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.0.0	1.0.0	0.12.0	0.12.0

	emr-5.12.1	emr-5.12.0	emr-5.11.4	emr-5.11.3
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.13.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.188	0.188	0.187	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.12.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.12.1 に関する情報が含まれています。5.12.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

5.12.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.9.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.21.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.4.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.4.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.2-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	1.0.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.188	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.188	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.12.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.12.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.12.0

5.12.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.12.0	emr-5.11.4	emr-5.11.3	emr-5.11.2
AWS SDK for Java	1.11.267	1.11.238	1.11.238	1.11.238
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.4.0	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.4.0	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.8.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.1.0	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	1.0.0	0.12.0	0.12.0	0.12.0

	emr-5.12.0	emr-5.11.4	emr-5.11.3	emr-5.11.2
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.13.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.188	0.187	0.187	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.12.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.12.0 に関する情報が含まれています。5.11.1 からの変更が含まれています。

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.238 ⇒ 1.11.267。詳細については、GitHub の「AWS SDK for Java Change Log」を参照してください。
- Hadoop 2.7.3 ⇒ 2.8.3。詳細については、「Apache Hadoop リリース」を参照してください。
- Flink 1.3.2 ⇒ 1.4.0。詳細については、「Apache Flink 1.4.0 リリースに関するお知らせ」を参照してください。

- HBase 1.3.1 ⇒ 1.4.0。詳細については、「HBase リリースに関するお知らせ」を参照してください。
- Hue 4.0.1 ⇒ 4.1.0。詳細については、「リリースノート」を参照してください。
- MxNet 0.12.0 ⇒ 1.0.0。詳細については、GitHub の「MXNet Change Log」を参照してください。
- Presto 0.187 ⇒ 0.188。詳細については、「リリースノート」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Hadoop
  - `yarn.resourcemanager.decommissioning.timeout` プロパティは `yarn.resourcemanager.nodemanager-graceful-decommission-timeout-secs` に変更されました。このプロパティを使用して、クラスターのスケールダウンをカスタマイズできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターのスケールダウン」を参照してください。
  - Hadoop CLI で、直接コピーを指定する `-d` オプションが cp (copy) コマンドに追加されました。これを使用すると、中間の `.COPYING` ファイルを作成しないようにできるため、Amazon S3 間でのデータのコピーが高速になります。詳細については、HADOOP-12384 を参照してください。
- Pig
  - Pig 環境プロパティの設定を簡素化する `pig-env` 構成分類が追加されました。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。
- Presto
  - Presto の `presto-connector-redshift` 設定ファイルで値を指定するために使用できる、`redshift.properties` 設定分類が追加されました。詳細については、Presto のドキュメントの「Redshift Connector」、および「アプリケーションの設定」を参照してください。
  - EMRFS の Presto サポートが追加されました。これがデフォルト設定です。以前の Amazon EMR リリースでは PrestoS3FileSystem が使用されており、これが唯一のオプションでした。詳細については、「EMRFS と PrestoS3FileSystem の設定」を参照してください。

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.12.0 を使用して Amazon S3 で基盤となるデータをクエリするときに、Presto エラーが発生することがあります。これは、Presto が `emrfs-site.xml` から設定分類値を取得できないためです。回避策として、`usr/lib/presto/plugin/hive-hadoop2/` の下に `emrfs` サブディレクトリを作成し、既存

> の /usr/share/aws/emr/emrfs/conf/emrfs-site.xml ファイルへのシンボリックリンクを usr/lib/presto/plugin/hive-hadoop2/emrfs に作成します。次に presto-server プロセスを再起動します (sudo presto-server stop に続いて sudo presto-server start)。

- Spark
  - 「SPARK-22036: BigDecimal multiplication sometimes returns null」をバックポートしました。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- デフォルトでは R はクラスターノードにインストールされないため、カスタム AMI を使用して作成されたクラスターで SparkR を使用することはできません。

5.12.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0.1	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.9.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.21.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.4.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.8.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-datanode	2.8.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.8.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.8.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.8.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.8.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.8.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.8.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.8.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.8.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.4.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-region-server	1.4.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.4.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.4.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.4.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-1	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-1	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-1	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-1	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server2	2.3.2-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	1.0.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.1.85	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.13.0-HBase-1.4	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.13.0-HBase-1.4	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.188	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.188	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.12.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.12.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-env	Pig 環境の値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redshift	Presto の redshift.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.11.4

5.11.4 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、HueLivy、MXNet、、Mahout、Oozie、Phoe
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.11.4	emr-5.11.3	emr-5.11.2	emr-5.11.1
AWS SDK for Java	1.11.238	1.11.238	1.11.238	1.11.238
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2

	emr-5.11.4	emr-5.11.3	emr-5.11.2	emr-5.11.1
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	0.12.0	0.12.0	0.12.0	0.12.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.187	0.187	0.187	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4

	emr-5.11.4	emr-5.11.3	emr-5.11.2	emr-5.11.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.11.4 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.11.4 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.8.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.11.4 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.11.4 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.11.3

5.11.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- [Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.11.3	emr-5.11.2	emr-5.11.1	emr-5.11.0
AWS SDK for Java	1.11.238	1.11.238	1.11.238	1.11.238
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.2

	emr-5.11.3	emr-5.11.2	emr-5.11.1	emr-5.11.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	0.12.0	0.12.0	0.12.0	0.12.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.187	0.187	0.187	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.11.3 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.11.3 に関する情報が含まれています。5.11.2 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 18 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

5.11.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*`-amzn-`*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.8.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.11.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.11.3 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.11.2

5.11.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.11.2	emr-5.11.1	emr-5.11.0	emr-5.10.1
AWS SDK for Java	1.11.238	1.11.238	1.11.238	1.11.221
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.2	2.3.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-

	emr-5.11.2	emr-5.11.1	emr-5.11.0	emr-5.10.1
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	0.12.0	0.12.0	0.12.0	0.12.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.187	0.187	0.187	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.11.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.11.2 に関する情報が含まれています。5.11.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

5.11.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.8.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.11.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.11.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.11.1

5.11.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.11.1	emr-5.11.0	emr-5.10.1	emr-5.10.0
AWS SDK for Java	1.11.238	1.11.238	1.11.221	1.11.221
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.2	2.3.1	2.3.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.2	2.3.1	2.3.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	0.12.0	0.12.0	0.12.0	0.12.0

	emr-5.11.1	emr-5.11.0	emr-5.10.1	emr-5.10.0
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.187	0.187	0.187	0.187
Spark	2.2.1	2.2.1	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.3
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.11.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.11.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.8.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

5.11.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.8.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.11.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.11.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.11.0

5.11.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.11.0	emr-5.10.1	emr-5.10.0	emr-5.9.1
AWS SDK for Java	1.11.238	1.11.221	1.11.221	1.11.183
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	2.7、3.4	追跡されていません

	emr-5.11.0	emr-5.10.1	emr-5.10.0	emr-5.9.1
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonClo udWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.2	2.3.1	2.3.1	2.3.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.2	2.3.1	2.3.1	2.3.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	0.12.0	0.12.0	0.12.0	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0

	emr-5.11.0	emr-5.10.1	emr-5.10.0	emr-5.9.1
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.187	0.187	0.187	0.184
Spark	2.2.1	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.3	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.11.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.11.0 に関する情報が含まれています。5.10.0 からの変更が含まれています。

アップグレード

- Hive 2.3.2
- Spark 2.2.1
- SDK for Java 1.11.238

新機能

- Spark
  - `spark.decommissioning.timeout.threshold` 設定が追加されました。スポットインスタンス使用時の Spark 廃棄の動作が向上します。詳細については、「ノード停止の動作設定」を参照してください。

- aws-sagemaker-spark-sdk コンポーネントが Spark に追加されました。Amazon SageMaker Spark および Spark の Amazon SageMaker との統合用の関連依存関係をインストールします。Amazon SageMaker Spark を使用して、Amazon SageMaker のステージを使用した Spark 機械学習 (ML) パイプラインを作成できます。詳細については、GitHub の SageMaker Spark Readme および Amazon SageMaker 開発者ガイドの Using Apache Spark with Amazon SageMaker を参照してください。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- Hive 2.3.2 では hive.compute.query.using.stats=true がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、hive.compute.query.using.stats=true が設定されたテーブルの LOCATION に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して SELECT COUNT(*) クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、ANALYZE TABLE コマンドを使用して新しい統計を収集するか、hive.compute.query.using.stats=false を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。

5.11.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
aws-sagemaker-spark-sdk	1.0	Amazon SageMaker Spark SDK
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.8.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-6	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-6	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-6	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-6	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-6	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-6	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-6	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-6	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-6	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-6	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.2-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.2-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.2-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.2-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.2-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.2-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.2-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.11.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.11.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.10.1

5.10.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHue、、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、Phoe
よび アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.10.1	emr-5.10.0	emr-5.9.1	emr-5.9.0
AWS SDK for Java	1.11.221	1.11.221	1.11.183	1.11.183
Python	2.7、3.4	2.7、3.4	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.1	2.3.1	2.3.0	2.3.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.1	2.3.1	2.3.0	2.3.0

	emr-5.10.1	emr-5.10.0	emr-5.9.1	emr-5.9.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	4.0.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	0.4.0
MXNet	0.12.0	0.12.0	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.17.0
Presto	0.187	0.187	0.184	0.184
Spark	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.3	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.10.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.10.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.7.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.10.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.10.1 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.10.0

5.10.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMXNet、、Mahout、Oozie、、Ph および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.10.0	emr-5.9.1	emr-5.9.0	emr-5.8.3
AWS SDK for Java	1.11.221	1.11.183	1.11.183	1.11.160
Python	2.7、3.4	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.2	1.3.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.1	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.1	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	4.0.1	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-5.10.0	emr-5.9.1	emr-5.9.0	emr-5.8.3
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	0.4.0	-
MXNet	0.12.0	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.17.0	0.16.0
Presto	0.187	0.184	0.184	0.170
Spark	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.3	0.7.2	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.10.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.10.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.9.0 リリースからの変更が含まれています。

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.221
- Hive 2.3.1
- Presto 0.187

新機能

- Kerberos 認証のサポートが追加されました。詳しくは、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Kerberos 認証を使用する」を参照してください。
- EMRFS の IAM ロールのサポートが追加されました。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールを設定する」を参照してください。
- GPU ベースの P2 および P3 のインスタンスタイプのサポートが追加されました。詳細については、「Amazon EC2 P2 インスタンス」および「Amazon EC2 P3 インスタンス」を参照してください。これらのインスタンスタイプには、デフォルトで NVIDIA ドライバー 384.81 および CUDA ドライバー 9.0.176 がインストールされています。
- Apache MXNet のサポートが追加されました。

変更、機能強化、解決した問題

- Presto
  - デフォルトの Hive メタストアとして AWS Glue データカタログを使用するためのサポートが追加されました。詳細については、「 Glue データカタログでの Presto AWS の使用」を参照してください。
  - 「地理空間機能」のサポートが追加されました。
  - 結合で「ディスクに書き出す」ことができるようになりました。
  - 「Redshift コネクター」のサポートが追加されました。
- Spark
  - 「SPARK-20640」をバックポートしました。これにより、`spark.shuffle.registration.timeout` プロパティおよび `spark.shuffle.registration.maxAttempts` プロパティを使用して、rpc タイムアウトや、シャッフル登録値の再試行回数が設定可能になりました。
  - 「SPARK-21549」をバックポートしました。これにより、カスタムの OutputFormat を HDFS 以外の場所に書き出す際に発生するエラーが修正されます。

- 「Hadoop-13270」をバックポートしました。
- Numpy、Scipy、Matplotlib の各ライブラリは、Amazon EMR の基本 AMI から削除されています。アプリケーションでこれらのライブラリが必要な場合、アプリケーションリポジトリで使用できるため、ブートストラップアクションで `yum install` を使用してすべてのノードにインストールすることができます。
- Amazon EMR の基本 AMI にアプリケーションの RPM パッケージが含まれなくなったため、その RPM パッケージはクラスターノードに存在しなくなりました。カスタム AMI と Amazon EMR の基本 AMI で、Amazon S3 の RPM パッケージリポジトリを参照できるようになりました。
- Amazon EC2 で 1 秒単位の請求が導入されたため、デフォルトの [スケールダウン動作] は [インスタンス時間で削除する] ではなく [タスク完了で削除する] になっています。詳細については、「クラスターのスケールダウンを設定する」を参照してください。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- Hive 2.3.1 では `hive.compute.query.using.stats=true` がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、`hive.compute.query.using.stats=true` が設定されたテーブルの `LOCATION` に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して `SELECT COUNT(*)` クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、`ANALYZE TABLE` コマンドを使用して新しい統計を収集するか、`hive.compute.query.using.stats=false` を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。

5.10.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.7.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.20.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計

コンポーネント	バージョン	説明
		する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-5	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-5	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-5	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-5	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-5	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-5	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-5	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-5	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-5	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-5	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mxnet	0.12.0	フレキシブルかつスケーラブルで、ディープラーニングにおいて効率的なライブラリです。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
nvidia-cuda	9.0.176	Nvidia ドライバーと Cuda ツールキット
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.187	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.187	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.3	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.10.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.10.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.9.1

5.9.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、LivyMahout、、Oozie、、PhoenixPig、
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.9.1	emr-5.9.0	emr-5.8.3	emr-5.8.2
AWS SDK for Java	1.11.183	1.11.183	1.11.160	1.11.160
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.2	1.3.1	1.3.1

	emr-5.9.1	emr-5.9.0	emr-5.8.3	emr-5.8.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	4.0.1	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	0.4.0	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.17.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.184	0.184	0.170	0.170
Spark	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.9.1	emr-5.9.0	emr-5.8.3	emr-5.8.2
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.9.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.9.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.7.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.19.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.7.3-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.0-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.184	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.184	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.9.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.9.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.9.0

5.9.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、HiveHue、、LivyMahout、、Oozie、、PhoenixPig、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.9.0	emr-5.8.3	emr-5.8.2	emr-5.8.1
AWS SDK for Java	1.11.183	1.11.160	1.11.160	1.11.160
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.2	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0

	emr-5.9.0	emr-5.8.3	emr-5.8.2	emr-5.8.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	4.0.1	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	0.4.0	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.17.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.184	0.170	0.170	0.170
Spark	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.9.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.9.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.8.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 10 月 5 日

最新機能更新日: 2017 年 10 月 12 日

アップグレード

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.183
- Flink 1.3.2
- Hue 4.0.1
- Pig 0.17.0
- Presto 0.184

新機能

- Livy サポート (バージョン 0.4.0-incubating) を追加しました。詳細については、「Apache Livy」を参照してください。
- Spark の Hue ノートブックのサポートを追加しました。
- i3-シリーズ Amazon EC2 インスタンスのサポートを追加しました (2017 年 10 月 12 日)。

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - 手動のサイズ変更または自動のスケーリングポリシーのリクエストによるノードの終了処理を、Spark がより適切に行う、新しい機能のセットを追加しました。詳細については、「ノード停止の動作設定」を参照してください。
  - ブロック転送サービスの転送時の暗号化には 3DES に代わり SSL を使用します。これにより AES-NI で Amazon EC2 インスタンスタイプを使用する場合にパフォーマンスが向上します。
  - SPARK-21494 を移植しました。
- Zeppelin
  - ZEPPELIN-2377 を移植しました。
- HBase

  - パッチ HBASE-18533 を追加しました。これにより、hbase-site 設定分類を使用して、HBase BucketCache 設定の値を追加できます。
- Hue
  - Hue AWS で Hive クエリエディタの Glue データカタログサポートを追加しました。
  - デフォルトでは、Hue のスーパーユーザーは、Amazon EMR の IAM ロールがアクセスを許可されているすべてのファイルにアクセスできます。新しく作成されたユーザーには、Amazon S3 ファイルブラウザへのアクセス許可は自動的には付与されません。グループに対して filebrowser.s3_access アクセス許可を有効にする必要があります。
- Glue Data Catalog AWS を使用して作成された基盤となる JSON データにアクセスできなくなる問題を解決しました。

既知の問題

- すべてのアプリケーションがインストールされ、デフォルトの Amazon EBS ルートボリュームサイズが変更されていない場合、クラスターの起動は失敗します。回避策として、 の aws emr create-cluster コマンドを使用し AWS CLI 、より大きな--ebs-root-volume-sizeパラメータを指定します。
- Hive 2.3.0 では hive.compute.query.using.stats=true がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、hive.compute.query.using.stats=true が設定されたテーブルの LOCATION に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して SELECT COUNT(*) クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、ANALYZE TABLE コマンドを使用して新しい統計を収集するか、hive.compute.query.using.stats=false を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。

5.9.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.7.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.19.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.2	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.0-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	4.0.1	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
livy-server	0.4.0-incubating	Apache Spark を操作するための REST インターフェイス
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.184	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.184	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.17.0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.9.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.9.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します

分類	説明
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
livy-conf	Livy の livy.conf ファイルの値を変更します。
livy-env	Livy 環境の値を変更します。
livy-log4j	Livy の log4j.properties の設定を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.8.3

5.8.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.8.3	emr-5.8.2	emr-5.8.1	emr-5.8.0
AWS SDK for Java	1.11.160	1.11.160	1.11.160	1.11.160
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.3.0

	emr-5.8.3	emr-5.8.2	emr-5.8.1	emr-5.8.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.2.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.8.3 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.8.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.6.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.0-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-1	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.8.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.8.3 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.8.2

5.8.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.8.2	emr-5.8.1	emr-5.8.0	emr-5.7.1
AWS SDK for Java	1.11.160	1.11.160	1.11.160	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.0

	emr-5.8.2	emr-5.8.1	emr-5.8.0	emr-5.7.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.0	2.3.0	2.3.0	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.2.0	2.2.0	2.2.0	2.1.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.8.2	emr-5.8.1	emr-5.8.0	emr-5.7.1
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.8.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.8.2 に関する情報が含まれています。5.8.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

5.8.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.6.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.3.0-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-1	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.8.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.8.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.8.1

5.8.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、Mahout、Oozie、Phoenix、、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.8.1	emr-5.8.0	emr-5.7.1	emr-5.7.0
AWS SDK for Java	1.11.160	1.11.160	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.1	1.3.1	1.3.0	1.3.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
HCatalog	2.3.0	2.3.0	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.0	2.3.0	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-5.8.1	emr-5.8.0	emr-5.7.1	emr-5.7.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.11.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.2.0	2.2.0	2.1.1	2.1.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.2	0.7.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.8.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.8.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.8.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しまし

た。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

5.8.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.6.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.3.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.3.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.3.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.0-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-1	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.8.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.8.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。

分類	説明
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。

分類	説明
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.8.0

5.8.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.8.0	emr-5.7.1	emr-5.7.0	emr-5.6.1
AWS SDK for Java	1.11.160	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.1	1.3.0	1.3.0	1.2.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.0
HCatalog	2.3.0	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.3.0	2.1.1	2.1.1	2.1.1

	emr-5.8.0	emr-5.7.1	emr-5.7.0	emr-5.6.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.11.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.2.0	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.2	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.8.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.8.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.7.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2017 年 8 月 10 日

最新機能更新日: 2017 年 9 月 25 日

アップグレード

- AWS SDK 1.11.160
- Flink 1.3.1
- Hive 2.3.0。詳細については、Apache Hive サイトの「リリースノート」を参照してください。
- Spark 2.2.0。詳細については、Apache Spark サイトの「リリースノート」を参照してください。

新機能

- アプリケーション履歴の表示のサポートを追加しました (2017 年 9 月 25 日)。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「アプリケーションの履歴を表示する」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- AWS Glue データカタログとの統合
  - Hive と Spark SQL が Glue データカタログを Hive AWS メタデータストアとして使用する機能を追加しました。詳細については、「Hive AWS のメタストアとしての Glue データカタログの使用」および「Amazon EMR AWS で Spark で Glue データカタログカタログを使用する」を参照してください。
- クラスター詳細の [Application history] を追加しました。これにより、YARN アプリケーションの履歴データや、Spark アプリケーションの追加の詳細を表示できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「アプリケーションの履歴を表示する」を参照してください。
- Oozie
  - OOZIE-2748 をバックポートしました。
- Hue
  - HUE-5859 をバックポートしました。
- HBase

- getMasterInitializedTime を使用して Java Management Extensions (JMX) 経由で HBase マスターサーバーの開始時間を公開するパッチを追加しました。
- クラスターの開始時間を改善するパッチを追加しました。

既知の問題

- すべてのアプリケーションがインストールされ、デフォルトの Amazon EBS ルートボリュームサイズが変更されていない場合、クラスターの起動は失敗します。回避策として、 の aws emr create-cluster コマンドを使用し AWS CLI 、より大きな--ebs-root-volume-sizeパラメータを指定します。
- Hive 2.3.0 では hive.compute.query.using.stats=true がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、hive.compute.query.using.stats=true が設定されたテーブルの LOCATION に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して SELECT COUNT(*) クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、ANALYZE TABLE コマンドを使用して新しい統計を収集するか、hive.compute.query.using.stats=false を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。
- Spark - Spark を使用する場合、apppusher デーモンには、長時間実行されている Spark ジョブで数時間または数日後に発生する可能性があるファイルハンドラのリークの問題があります。この問題を修正するには、プライマリノードに接続し、「sudo /etc/init.d/apppusher stop」と入力します。これにより、その apppusher デーモンが停止し、Amazon EMR がこのデーモンを自動的に再起動します。
- アプリケーションの履歴
  - Spark のデッドエグゼキューターの履歴データは利用できません。
  - アプリケーション履歴は、セキュリティ設定を使用してインフライト暗号化を有効にするクラスターでは利用できません。

5.8.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通

常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.4.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.6.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.3.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.3.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.3.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.3.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.3.0-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.3.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.3.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-1	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.2.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.2.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.2.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.2.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.8.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.8.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.7.1

5.7.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、Hue、Mahout、Oozie、Phoenix、、Pig、Pr および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.7.1	emr-5.7.0	emr-5.6.1	emr-5.6.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.0	1.3.0	1.2.1	1.2.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.1	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-5.7.1	emr-5.7.0	emr-5.6.1	emr-5.6.0
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.13.0
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.11.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.2	0.7.1	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.7.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.7.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.3.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.1	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.1.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.7.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.7.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.7.0

5.7.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.7.0	emr-5.6.1	emr-5.6.0	emr-5.5.4
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.3.0	1.2.1	1.2.1	1.2.0

	emr-5.7.0	emr-5.6.1	emr-5.6.0	emr-5.5.4
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.1	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.13.0	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.11.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.7.0	emr-5.6.1	emr-5.6.0	emr-5.5.4
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.2	0.7.1	0.7.1	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.7.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.7.0 に関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.6.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 7 月 13 日

アップグレード

- Flink 1.3.0
- Phoenix 4.11.0
- Zeppelin 0.7.2

新機能

- クラスターの作成時に、カスタム Amazon Linux AMI を指定する機能を追加しました。詳細については、「カスタム AMI の使用」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- HBase
  - HBase のリードレプリカクラスターを設定する機能を追加しました。詳細については、「リードレプリカクラスターの使用」を参照してください。
  - 複数のバグ修正と機能強化
- Presto – `node.properties` を設定する機能を追加しました。
- YARN – `container-log4j.properties` を設定する機能を追加しました。

- Sqoop – SQOOP-2880 をバックポートしました。Sqoop 一時ディレクトリを設定できる引数が導入されています。

5.7.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.18.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
flink-client	1.3.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.11.0-HBase-1.3	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.11.0-HBase-1.3	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.7.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.7.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。

分類	説明
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。

分類	説明
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.6.1

5.6.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.6.1	emr-5.6.0	emr-5.5.4	emr-5.5.3
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.1	1.2.1	1.2.0	1.2.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1

	emr-5.6.1	emr-5.6.0	emr-5.5.4	emr-5.5.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.13.0	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.1.1	2.1.1	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.6.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.6.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.1	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.1.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.6.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.6.1 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.6.0

5.6.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.6.0	emr-5.5.4	emr-5.5.3	emr-5.5.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.1	1.2.0	1.2.0	1.2.0

	emr-5.6.0	emr-5.5.4	emr-5.5.3	emr-5.5.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.13.0	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.1.1	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.6.0	emr-5.5.4	emr-5.5.3	emr-5.5.2
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.6.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.6.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.5.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 6 月 5 日

アップグレード

- Flink 1.2.1
- HBase 1.3.1
- Mahout 0.13.0。Amazon EMR バージョン 5.0 以降の Spark 2.x をサポートする最初のバージョンの Mahout です。
- Spark 2.1.1

変更、機能強化、解決した問題

- Presto
  - セキュリティ設定を使って転送時の暗号化を有効にして、Presto ノード間で SSL/TLS を使った安全な通信を有効にする機能が追加されました。詳細については、「伝送時のデータ暗号化」を参照してください。
  - Presto 7661 をバックポートしました。これにより `VERBOSE` オプションを `EXPLAIN ANALYZE` ステートメントに追加し、クエリプランについてのより詳細なレポートと低レベルの統計を作成できます。

5.6.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.1	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.13.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.6.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.6.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-env	Presto の presto-env.sh ファイルの値を変更します。
presto-node	Presto の node.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.5.4

5.5.4 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.5.4	emr-5.5.3	emr-5.5.2	emr-5.5.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-

	emr-5.5.4	emr-5.5.3	emr-5.5.2	emr-5.5.1
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.5.4 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.5.4 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.5.4 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.5.4 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.5.3

5.5.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.5.3	emr-5.5.2	emr-5.5.1	emr-5.5.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1

	emr-5.5.3	emr-5.5.2	emr-5.5.1	emr-5.5.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.12.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.170
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.1
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.10

5.5.3 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.5.3 に関する情報が含まれています。5.5.2 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

5.5.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.5.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.5.3 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.5.2

5.5.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.5.2	emr-5.5.1	emr-5.5.0	emr-5.4.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0

	emr-5.5.2	emr-5.5.1	emr-5.5.0	emr-5.4.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.12.0	3.11.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.170	0.166
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.5.2	emr-5.5.1	emr-5.5.0	emr-5.4.1
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.1	0.7.1	0.7.0
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.10	3.4.9

5.5.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.5.2 に関する情報が含まれています。5.5.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

5.5.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.5.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.5.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.5.1

5.5.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.5.1	emr-5.5.0	emr-5.4.1	emr-5.4.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75

	emr-5.5.1	emr-5.5.0	emr-5.4.1	emr-5.4.0
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.2.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.3.0
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.12.0	3.11.0	3.11.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0

	emr-5.5.1	emr-5.5.0	emr-5.4.1	emr-5.4.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.9.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.170	0.166	0.166
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.1	0.7.0	0.7.0
ZooKeeper	3.4.10	3.4.10	3.4.9	3.4.9

5.5.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.5.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.5.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

5.5.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.5.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.5.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.5.0

5.5.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.5.0	emr-5.4.1	emr-5.4.0	emr-5.3.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.2.0	1.2.0	1.1.4
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.3.0	1.2.3
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.12.0	3.11.0	3.11.0	3.11.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-

	emr-5.5.0	emr-5.4.1	emr-5.4.0	emr-5.3.2
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.9.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.170	0.166	0.166	0.157.1
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.1	0.7.0	0.7.0	0.6.2
ZooKeeper	3.4.10	3.4.9	3.4.9	3.4.9

5.5.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.5.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.4.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 4 月 26 日

アップグレード

- Hue 3.12

- Presto 0.170
- Zeppelin 0.7.1
- ZooKeeper 3.4.10

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - Spark のパッチ「(SPARK-20115) 外部シャッフルサービスが利用できない場合に、すべての失われたシャッフルブロックを再計算するように DAGScheduler を修正」を Spark バージョン 2.1.0 にしました。これはこのリリースに含まれています。
- Flink
  - Flink は Scala 2.11 で作成されるようになりました。プロジェクトで Scala API とライブラリを使用する場合は、Scala 2.11 を使用することをお勧めします。
  - `HADOOP_CONF_DIR` と `YARN_CONF_DIR` のデフォルトが適切に設定されないため `start-scala-shell.sh` が機能しない問題に対応しました。さらに `env.hadoop.conf.dir` または `env.yarn.conf.dir` 設定分類の `/etc/flink/conf/flink-conf.yaml` と `flink-conf` を使って、これらの値を設定する機能を追加しました。
  - EMR 固有の新しいコマンドで、`flink-scala-shell` のラッパーとなる `start-scala-shell.sh` を追加しました。`start-scala-shell` に代えて、このコマンドを使用することをお勧めします。新しいコマンドにより実行が簡素化されます。たとえば、`flink-scala-shell -n 2` は、タスクの並行度 2 で、Flink Scala シェルを開始します。
  - EMR 固有の新しいコマンドで、`flink-yarn-session` のラッパーとなる `yarn-session.sh` を追加しました。`yarn-session` に代えて、このコマンドを使用することをお勧めします。新しいコマンドにより実行が簡素化されます。たとえば、`flink-yarn-session -d -n 2` は長時間稼働の Flink セッションを、デタッチ状態で、2 つのタスクマネージャを使って開始します。
  - 「(FLINK-6125) Commons httpclient が Flink 1.2 でシェードされない」の問題に対応しました。
- Presto
  - LDAP 認証のサポートが追加されました。Amazon EMR の Presto で LDAP を 使用する場合は、Presto コーディネーターの HTTPS アクセスを有効にする必要があります (`config.properties` の `http-server.https.enabled=true`)。設定の詳細については、Presto ドキュメントの「LDAP Authentication」を参照してください。
  - `SHOW GRANTS` のサポートが追加されました。
- Amazon EMR の基本 Linux AMI

- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2017.03 に基づいています。詳細については、「Amazon Linux AMI 2017.03 リリースノート」を参照してください。
- Python 2.6 は Amazon EMR の基本 Linux イメージから削除されました。Python 2.7 と 3.4 がデフォルトでインストールされます。必要な場合には Python 2.6 を手動でインストールできます。

5.5.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.5.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.16.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.170	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.170	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.10	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.10	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.5.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.5.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.4.1

5.4.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.4.1	emr-5.4.0	emr-5.3.2	emr-5.3.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.2.0	1.1.4	1.1.4
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.3.0	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1

	emr-5.4.1	emr-5.4.0	emr-5.3.2	emr-5.3.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.11.0	3.11.0	3.11.0	3.11.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.9.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.166	0.166	0.157.1	0.157.1
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.0	0.7.0	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

5.4.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.4.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.15.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.166	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.166	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.4.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.4.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.4.0

5.4.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.4.0	emr-5.3.2	emr-5.3.1	emr-5.3.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.2.0	1.1.4	1.1.4	1.1.4

	emr-5.4.0	emr-5.3.2	emr-5.3.1	emr-5.3.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.3.0	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.11.0	3.11.0	3.11.0	3.11.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.3.0
Phoenix	4.9.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.166	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.4.0	emr-5.3.2	emr-5.3.1	emr-5.3.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.7.0	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

5.4.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.4.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.3.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 3 月 8 日

アップグレード

- Flink 1.2.0 にアップグレードしました
- HBase 1.3.0　にアップグレードしました
- Phoenix 4.9.0　にアップグレード済み

> **Note**
>
> 古いバージョンの Amazon EMR から Amazon EMR バージョン 5.4.0 以降にアップグレードして、セカンダリインデックスを使用する場合、Apache Phoenix のドキュメントで説明されるようにローカルインデックスをアップグレードしてください。Amazon EMR は必要な設定を `hbase-site` 分類から削除しますが、インデックスはデータを再入力する必要があります。インデックスはオンラインとオフラインでアップグレードできます。オンラインのアップグレードがデフォルトです。これはバージョン4.8.0以降のPhoenixクライアントで初期する間にインデックスの値が再設定されることを意味します。オフラインアップグレードを指定するには、`phoenix.client.localIndexUpgrade` 設定を `phoenix-site` 分類で False に設定してから、SSH をプライマリノードに設定して `psql [zookeeper] -1` を実行します。

- Presto 0.166 にアップグレードしました

- Zeppelin 0.7.0 にアップグレードしました

変更と機能強化

- r4 インスタンスへのサポートを追加済み。「Amazon EC2 インスタンスタイプ」を参照してください。

5.4.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.3.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.15.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.2.0	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.3.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.3.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.3.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.3.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.3.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-hbase	2.1.1-amzn-0	Hive-hbase クライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server2	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.9.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.9.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.166	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.166	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.7.0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.4.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.4.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.3.2

5.3.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.3.2	emr-5.3.1	emr-5.3.0	emr-5.2.3
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.4	1.1.4	1.1.4	1.1.3
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.1	2.1.0

	emr-5.3.2	emr-5.3.1	emr-5.3.0	emr-5.2.3
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.11.0	3.11.0	3.11.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.3.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.0.2
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

5.3.2 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.3.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.4	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.3.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.3.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.3.1

5.3.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr およびのアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.3.1	emr-5.3.0	emr-5.2.3	emr-5.2.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.4	1.1.4	1.1.3	1.1.3

	emr-5.3.1	emr-5.3.0	emr-5.2.3	emr-5.2.2
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.1	2.1.1	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.1	2.1.0	2.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.11.0	3.11.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.3.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	2.1.0	2.1.0	2.0.2	2.0.2
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.3.1	emr-5.3.0	emr-5.2.3	emr-5.2.2
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

5.3.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.3.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.3.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 2 月 7 日

Zeppelin パッチをバックポートして Amazon EMR のデフォルトの AMI を更新するための小さな変更。

5.3.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.4	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.3.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.3.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.3.0

5.3.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.3.0	emr-5.2.3	emr-5.2.2	emr-5.2.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません

	emr-5.3.0	emr-5.2.3	emr-5.2.2	emr-5.2.1
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.4	1.1.3	1.1.3	1.1.3
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.1	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.1	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.11.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.3.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0

	emr-5.3.0	emr-5.2.3	emr-5.2.2	emr-5.2.1
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	2.1.0	2.0.2	2.0.2	2.0.2
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

5.3.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.3.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.2.1 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 1 月 26 日

アップグレード

- Hive 2.1.1 にアップグレードしました
- Hue 3.11.0 にアップグレードしました
- Spark 2.1.0 にアップグレードしました
- Oozie 4.3.0 にアップグレードしました
- Flink 1.1.4 にアップグレードしました

変更と機能強化

- `interpreters_shown_on_wheel` ファイルでの順序にかかわらず、ノートブックの選択ホイールで最初に表示するインタープリタを指定する `hue.ini` 設定を使用できるようにするパッチを Hue に追加しました。
- Hive の `parquet-logging.properties` ファイルで値を設定するために使用できる、`hive-parquet-logging` 設定分類を追加しました。

5.3.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.4	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resour cemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.1-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.1-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.1-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.1-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.1-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.1-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.3.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.3.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.1.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.1.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.1.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	2.1.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.3.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.3.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-parquet-logging	Hive の parquet-logging.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.2.3

5.2.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.2.3	emr-5.2.2	emr-5.2.1	emr-5.2.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.3	1.1.3	1.1.3	1.1.3
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-5.2.3	emr-5.2.2	emr-5.2.1	emr-5.2.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.152.3
Spark	2.0.2	2.0.2	2.0.2	2.0.2
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.8

5.2.3 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.2.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.13.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.0.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.2.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.2.3 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.2.2

5.2.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.2.2	emr-5.2.1	emr-5.2.0	emr-5.1.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.3	1.1.3	1.1.3	1.1.3
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-5.2.2	emr-5.2.1	emr-5.2.0	emr-5.1.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.157.1	0.157.1	0.152.3	0.152.3
Spark	2.0.2	2.0.2	2.0.2	2.0.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.9	3.4.8	3.4.8

5.2.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.2.2 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.2.1 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 5 月 2 日

以前のリリースから解決された既知の問題

- SPARK-194459 をしました。char/varchar の列を持つ ORC テーブルからの読み取りが失敗する問題に対応しました。

5.2.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.13.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.0.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.2.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.2.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.2.1

5.2.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.2.1	emr-5.2.0	emr-5.1.1	emr-5.1.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.3	1.1.3	1.1.3	1.1.3
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.3
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-5.2.1	emr-5.2.0	emr-5.1.1	emr-5.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.157.1	0.152.3	0.152.3	0.152.3
Spark	2.0.2	2.0.2	2.0.1	2.0.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.2
ZooKeeper	3.4.9	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.2.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.2.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.2.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 12 月 29 日

アップグレード

- Presto を 0.157.1 にアップグレードしました。詳細については、Presto ドキュメントの「Presto リリースノート」を参照してください。
- ZooKeeper を 3.4.9 にアップグレードしました。詳細については、Apache ZooKeeper ドキュメントの「ZooKeeper リリースノート」を参照してください。

変更と機能強化

- 5.0.0、5.0.3、5.2.0 を除く Amazon EMR バージョン 4.8.3 以降の Amazon EC2 の m4.16xlarge インスタンスタイプのサポートが追加されました。
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。
- これで、Flink および YARN 設定パスの場所はデフォルトで `/etc/default/flink` に設定されるため、Flink のジョブを起動するために `flink` または `yarn-session.sh` ドライバースクリプトを実行するときに、環境変数 `FLINK_CONF_DIR` および `HADOOP_CONF_DIR` を設定する必要はありません。
- FlinkKinesisConsumer クラスのサポートを追加しました。

以前のリリースから解決された既知の問題

- ReplicationMonitor のスレッドが大きなクラスターで同じファイルのレプリケーションと削除間の競合のために長時間スタックが生じる Hadoop の問題を修正しました。
- ジョブのステータスが正常に更新されていないときに ControlledJob#toString が null ポインタ例外 (NPE) で失敗していた問題を修正しました。

5.2.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は

Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.13.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.0.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.2.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.2.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。

分類	説明
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.2.0

5.2.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.2.0	emr-5.1.1	emr-5.1.0	emr-5.0.3
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.3	1.1.3	1.1.3	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.3	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-5.2.0	emr-5.1.1	emr-5.1.0	emr-5.0.3
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.152.3	0.152.3	0.152.3
Spark	2.0.2	2.0.1	2.0.1	2.0.1
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.2	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.2.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.2.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.1.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 11 月 21 日

変更と機能強化

- HBase の Amazon S3 ストレージモードを追加しました。
- HBase ルートディレクトリの Amazon S3 ロケーションを指定できます。Amazon S3 の HBase の詳細については、「Amazon S3 の HBase」を参照してください。

アップグレード

- Spark 2.0.2 にアップグレードしました

以前のリリースから解決された既知の問題

- EBS のみのインスタンスタイプで 2 TB に制約されていた /mnt に関する問題を修正。
- 通常の log4j-configured .log ファイルではなく、対応する .out ファイルに出力され、1 時間ごとにローテーションされていた、インスタンスコントローラーおよび logpusher ログに関する問題を修正。.out ファイルはローテーションしないため、最終的には /emr パーティションがいっぱいになります。この問題は、ハードウェア仮想マシン (HVM) のインスタンスタイプにのみ影響します。

5.2.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion*` の形式のバージョンラベルがあります。`*EmrVersion*` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.12.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.152.3	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.152.3	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.2	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	2.0.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.0.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.2.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.2.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase	Apache HBase 用の Amazon EMR-curated 設定。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.1.1

5.1.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、PigPres
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.1.1	emr-5.1.0	emr-5.0.3	emr-5.0.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.3	1.1.3	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.3	1.2.2	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.2
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-5.1.1	emr-5.1.0	emr-5.0.3	emr-5.0.2
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.152.3	0.152.3	0.150
Spark	2.0.1	2.0.1	2.0.1	2.0.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.2	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.1.1 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

5.1.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.152.3	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.152.3	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.1.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.1.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.1.0

5.1.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Flink、、Ganglia、HBase、HCatalog、Hadoop、、Hive、HueMahout、Oozie、、、Phoenix、Pig、Pr
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.1.0	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	1.1.3	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.3	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.2	2.7.2
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-5.1.0	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.152.3	0.150	0.150
Spark	2.0.1	2.0.1	2.0.0	2.0.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.2	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.1.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.1.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.0.3 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 11 月 3 日

変更と機能強化

- Flink 1.1.3 のサポートを追加。
- Presto が、Hue のノートブックセクションでオプションとして追加。

アップグレード

- HBase 1.2.3 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.6.2 にアップグレードしました

以前のリリースから解決された既知の問題

- 以前の Amazon EMR 4.x バージョンと同じく、ORC ファイルがある Amazon S3 の Tez クエリが実行されない問題を修正しました。

5.1.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.11.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
flink-client	1.1.3	Apache Flink のコマンドラインクライアント スクリプトとアプリケーション。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.3	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.3	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.3	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.3	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.3	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.152.3	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.152.3	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.2	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.1.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.1.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
flink-conf	flink-conf.yaml の設定を変更します。
flink-log4j	Flink log4j.properties の設定を変更します。
flink-log4j-yarn-session	Flink log4j-yarn-session.properties の設定を変更します。
flink-log4j-cli	Flink log4j-cli.properties の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.0.3

5.0.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie、、Phoenix、、PigPresto、Sp および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.150	0.150	0.150
Spark	2.0.1	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.0.3 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.0.3 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.0.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 10 月 24 日

アップグレード

- Hadoop 2.7.3 にアップグレードしました
- Presto 0.152.3 にアップグレードします。このアップグレードには Presto ウェブインターフェイスのサポートが含まれています。Presto コーディネーターの Presto ウェブインターフェイスには、ポート 8889 を使用してアクセスできます。Presto ウェブインターフェイスの詳細については、Presto ドキュメントの「ウェブインターフェイス」を参照してください。
- Spark 2.0.1 にアップグレードしました
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。

5.0.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.152.3	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.152.3	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.0.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.0.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.0.3 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.0.2

5.0.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie、、Phoenix、、PigPresto、Sp
および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.150	0.150	0.150
Spark	2.0.1	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.0.2 リリースノート

5.0.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれ

コンポーネント	バージョン	説明
		た、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.150	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.150	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.0.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1-SNAPSHOT	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.0.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.0.2 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.0.1

5.0.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie、、Phoenix、、PigPresto、Sp
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.150	0.150	0.150
Spark	2.0.1	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.0.1 リリースノート

5.0.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.150	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.150	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	2.0.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1-SNAPSHOT	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.0.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-5.0.1 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します

分類	説明
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 5.0.0

5.0.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie、、Phoenix、、PigPresto、Sp
および アプリケーションが含まれていますZooKeeper。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	2.11.8	2.11.8	2.11.8	2.11.8
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hadoop	2.7.3	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	2.1.0	2.1.0	2.1.0	2.1.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.10.0	3.10.0	3.10.0	3.10.0
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-5.0.3	emr-5.0.2	emr-5.0.1	emr-5.0.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.16.0	0.16.0	0.16.0	0.16.0
Presto	0.152.3	0.150	0.150	0.150
Spark	2.0.1	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Sqoop	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

5.0.0 リリースノート

リリース日: 2016 年 7 月 27 日

アップグレード

- Hive 2.1 にアップグレードしました
- Presto 0.150 にアップグレードしました
- Spark 2.0 にアップグレードしました
- Hue 3.10.0 にアップグレードしました
- Pig 0.16.0 にアップグレードしました

- Tez 0.8.4 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.6.1 にアップグレードしました

変更と機能強化

- Amazon EMR は Hive (バージョン 2.1)、Pig (バージョン 0.16.0) の最新のオープンソースバージョンをサポートします。以前に Amazon EMR で Hive または Pig を使用している場合、このことはいくつかのユースケースに影響を与える可能性があります。詳細については、「Hive」および「Pig」を参照してください。
- 現在の Hive および Pig のデフォルト実行エンジンは Tez です。これを変更するには、`hive-site` および `pig-properties` のそれぞれの設定分類の適切な値を編集します。
- サービスが原因を識別できる場合にステップ障害の根本原因を表示できるようにするステップ、デバッグ機能が追加されました。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「デバッグの詳細ステップ」を参照してください。
- アプリケーションは以前「-Sandbox」で終了しましたが、そのサフィックスはもうありません。たとえば、これらのアプリケーションを使ってクラスターを起動するスクリプトを使用している場合、これによってオートメーションが中断する可能性があります。次の表は、Amazon EMR 4.7.2 と Amazon EMR 5.0.0 のアプリケーション名を示しています。

  アプリケーション名変更

Amazon EMR 4.7.2	Amazon EMR 5.0.0
Oozie-Sandbox	Oozie
Presto-Sandbox	Presto
Sqoop-Sandbox	Sqoop
Zeppelin-Sandbox	Zeppelin
ZooKeeper-Sandbox	ZooKeeper

- Spark は現在 Scala 2.11 向けにコンパイルされています。
- 現在のデフォルト JVM は Java 8 です。すべてのアプリケーションは Java 8 ランタイムを使用して動作します。アプリケーションのバイトコードターゲットには変更はありません。ほとんどのアプリケーションは、引き続き Java 7 を対象としています。

- Zeppelin には、認証機能が組み込まれています。詳細については、「Zeppelin」を参照してください。
- セキュリティ設定のサポートを追加しました。これにより、暗号化オプションをより簡単に作成、適用できます。詳細については、「Data Encryption」を参照してください。

5.0.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	2.1.0-amzn-0	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	2.1.0-amzn-0	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	2.1.0-amzn-0	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	2.1.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	2.1.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	2.1.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.10.0-amzn-0	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.150	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.150	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.16.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	2.0.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	2.0.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	2.0.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	2.0.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1-SNAPSHOT	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

5.0.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-5.0.0 の分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。

分類	説明
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j2	HCatalog WebHCat の log4j2.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-beeline-log4j2	Hive の beeline-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j2	Hive の hive-exec-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-llap-daemon-log4j2	Hive の llap-daemon-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j2	Hive の hive-log4j2.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-hive-site	Spark の hive-site.xml ファイルの値を変更します
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

分類	説明
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR 4.x リリースバージョン

このセクションでは、各 Amazon EMR 4.x リリースバージョンのアプリケーションバージョン、リリースノート、コンポーネントバージョン、および設定分類を示しています。

クラスターを起動するときに、複数の Amazon EMR リリースから選択できます。これにより、互換性の要件に適合するアプリケーションバージョンをテストして使用できます。リリース番号はリリースラベルで指定します。リリースラベルの形式は `emr-x.x.x` です。例えば、`emr-7.9.0`。

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

すべての Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョンの包括的な表については、「Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン」を参照してください。

トピック

- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースバージョンの違い
- Amazon EMR リリース 4.9.6
- Amazon EMR リリース 4.9.5
- Amazon EMR リリース 4.9.4
- Amazon EMR リリース 4.9.3
- Amazon EMR リリース 4.9.2
- Amazon EMR リリース 4.9.1
- Amazon EMR リリース 4.8.5
- Amazon EMR リリース 4.8.4
- Amazon EMR リリース 4.8.3

- Amazon EMR リリース 4.8.2
- Amazon EMR リリース 4.8.1
- Amazon EMR リリース 4.8.0
- Amazon EMR リリース 4.7.4
- Amazon EMR リリース 4.7.3
- Amazon EMR リリース 4.7.2
- Amazon EMR リリース 4.7.1
- Amazon EMR リリース 4.7.0
- Amazon EMR リリース 4.6.1
- Amazon EMR リリース 4.6.0
- Amazon EMR リリース 4.5.0
- Amazon EMR リリース 4.4.0
- Amazon EMR リリース 4.3.0
- Amazon EMR リリース 4.2.0
- Amazon EMR リリース 4.1.0
- Amazon EMR リリース 4.0.0

Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

各 Amazon EMR 4.x リリースで利用可能なアプリケーションバージョンを示した包括的な表については、ブラウザで「Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン」を開いて確認してください。

Amazon EMR 4.x リリースバージョンの違い

「Amazon EMR 管理ガイド」の Amazon EMR 機能のドキュメントでは、特定の機能が使用可能になった Amazon EMR リリースバージョンを示すとともに、Amazon EMR の機能の違いを 4.0.0 にまでさかのぼって示しています。

Amazon EMR リリース 5.0.0 バージョン以降、一部のアプリケーションでは大幅なバージョンアップグレードが行われ、インストールまたは操作の詳細が変更されました。また、サンドボックスアプリケーションからネイティブアプリケーションに昇格されたものもあります。このセクションの各トピックでは、Amazon EMR 4.x リリースバージョンを使用する際のアプリケーション特有の大きな違いを説明しています。

トピック

- サンドボックスアプリケーション
- Amazon EMR 4.x での Hive の使用に関する考慮事項
- Amazon EMR 4.x での Pig の使用に関する考慮事項

サンドボックスアプリケーション

Amazon EMR 4.x リリースバージョンを使用する場合、一部のアプリケーションはサンドボックスアプリケーションとみなされます。サンドボックスアプリケーションは、アプリケーションの初期バージョンで、需要があったために最初の Amazon EMR リリースの時点で使用可能になりました。コンソール、または API を使用して AWS CLI、Amazon EMR でサンドボックスアプリケーションをネイティブアプリケーションと同じ方法でインストールできますが、サンドボックスアプリケーションのサポートとドキュメントは限られています。サンドボックスアプリケーションは、Amazon EMR リリースバージョン 5.0.0 以降にネイティブの完全にサポートされたアプリケーションとなりました。以下は、Amazon EMR 4.x リリースバージョンのサンドボックスアプリケーションです。

- Oozie
- Presto
- Sqoop
- Zeppelin
- ZooKeeper

サンドボックスアプリケーションをインストールするときは、アプリケーション名にサフィックス `-sandbox` を付けます。たとえば、サンドボックスバージョンの *`Presto`* をインストールするには、`Presto-sandbox` を使用します。インストールは、完全にサポートされているアプリケーションの場合よりも時間がかかります。このセクションで、各アプリケーションのバージョン番号のリストは、コミュニティバージョンのアプリケーションに対応しています。

Oozie (サンドボックスバージョン)

Oozie は、Amazon EMR リリースバージョン 4.1.0 からサンドボックスアプリケーションとして利用可能になりました。

Oozie のサンプルは、サンドボックスを使用したデフォルトではインストールされません。サンプルをインストールするため、マスターノードに SSH 接続し、`install-oozie-examples` を実行します。

Oozie-Sandbox のバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.5	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.4	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resour

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
		cemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.3	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.2	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.5	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.3	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.7.4	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.7.2	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.7.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.6.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.5.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.4.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Oozie-Sandbox のバージョン	Oozie-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.3.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.2.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server
emr-4.1.0	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, oozie-client, oozie-server

Presto (サンドボックスバージョン)

Presto は、Amazon EMR リリースバージョン 4.1.0 からサンドボックスアプリケーションとして利用可能になりました。

Presto-Sandbox のバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.9.5	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.9.4	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client,

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
		hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.9.3	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.9.2	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.8.5	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.8.4	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.3	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-4.8.2	0.152.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-4.8.1	0.151	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	0.151	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.7.4	0.148	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.7.3	0.148	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.2	0.148	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-4.7.1	0.147	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-4.7.0	0.147	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.1	0.143	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.6.0	0.143	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.5.0	0.140	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.4.0	0.136	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.3.0	0.130	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-4.2.0	0.125	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto-Sandbox のバージョン	Presto-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.1.0	0.119	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Sqoop (サンドボックスバージョン)

Sqoop は、Amazon EMR リリースバージョン 4.4.0 からサンドボックスアプリケーションとして利用可能になりました。

Sqoop-Sandbox のバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.9.5	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
		hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.9.4	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.9.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.9.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.8.5	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.8.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.8.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.8.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.7.4	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.7.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.7.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.6.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-4.6.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop-Sandbox のバージョン	Sqoop-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.5.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, sqoop-client
emr-4.4.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, sqoop-client

Zeppelin (サンドボックスバージョン)

Zeppelin は、Amazon EMR リリースバージョン 4.1.0 からサンドボックスアプリケーションとして利用可能になりました。

Zeppelin-Sandbox のバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
		server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.9.5	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.9.4	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.3	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.9.2	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.8.5	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.8.3	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.8.1	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.7.4	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.7.2	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.7.0	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.6.1	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.0	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.5.0	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.4.0	0.5.6	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin-Sandbox のバージョン	Zeppelin-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.3.0	0.5.5	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.2.0	0.5.5	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-4.1.0	0.6.0-SNAPSHOT	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Zookeeper (サンドボックスバージョン)

Zookeeper は、Amazon EMR リリースバージョン 4.6.0 からサンドボックスアプリケーションとして利用可能になりました。

ZooKeeper-Sandbox のバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.5	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.4	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resour

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
		cemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.3	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.2	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.1	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.5	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.4	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.3	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.1	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.0	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.4	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.3	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.2	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.0	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.6.1	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper-Sandbox のバージョン	ZooKeeper-Sandbox でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.0	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR 4.x での Hive の使用に関する考慮事項

このセクションでは、Amazon EMR 4.x リリースバージョンで Hive バージョン 1.0.0 を使用する場合と Amazon EMR 5.x リリースバージョンで Hive 2.x を使用する場合に考慮すべき違いについて説明します。

ACID トランザクションはサポート外

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Hive は、4.x リリースバージョンの使用時に Amazon S3 に保存された Hive データとの ACID トランザクションをサポートしていません。Amazon S3 でトランザクションテーブルを作成しようとすると、例外が発生します。

Amazon S3 でのテーブルへの読み取りと書き込み

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Hive は、一時ファイルを使用せずに直接 Amazon S3 に書き込むことができます。これにより、パフォーマンスは向上しますが、結果として Amazon S3 の同じテーブルに同じ Hive ステートメントで読み取りと書き込みを行うことができません。回避策は、HDFS に一時テーブルを作成して使用することです。

次の例は、複数の Hive ステートメントを使用して Amazon S3 内のテーブルを更新する方法を示しています。ステートメントは、Amazon S3 にある `my_s3_table` という名前のテーブルに基づいて、HDFS に `tmp` という名前の一時テーブルを作成します。これにより、Amazon S3 のテーブルは一時テーブルの内容で更新されます。

```
CREATE TEMPORARY TABLE tmp LIKE my_s3_table;
```

```
INSERT OVERWRITE TABLE tmp SELECT ....;
INSERT OVERWRITE TABLE my_s3_table SELECT * FROM tmp;
```

Log4j vs. Log4j 2

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Hive は Log4j を使用します。バージョン 5.0.0 以降では、Log4j 2 がデフォルトです。これらのバージョンでは、異なるログ設定が必要になる場合があります。詳細については、Apache Log4j 2 を参照してください。

MapReduce がデフォルトの実行エンジン

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Hive では、デフォルトの実行エンジンとして MapReduce を使用します。Amazon EMR バージョン 5.0.0 以降では、Tez がデフォルトです。これにより、ほとんどのワークフローでパフォーマンスが向上します。

Hive 認可

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Hive では、HDFS の Hive 認可をサポートしますが、EMRFS および Amazon S3 はサポートしません。Amazon EMR クラスターは、デフォルトで認可が無効な状態で実行されます。

Amazon S3 での Hive ファイルマージ動作

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Hive は、`hive.merge.mapfiles` が `true` の場合、マップのみのジョブの最後で小さいファイルをマージします。マージは、ジョブの平均出力サイズが `hive.merge.smallfiles.avgsize` の設定未満の場合にのみトリガーされます。最終出力パスが HDFS 内にある場合は、Amazon EMR Hive でも動作はまったく同じです。ただし、出力パスが Amazon S3 にある場合、`hive.merge.smallfiles.avgsize` パラメータは無視されます。その場合、`hive.merge.mapfiles` が `true` に設定されているとマージタスクが常にトリガされます。

Amazon EMR 4.x での Pig の使用に関する考慮事項

Pig バージョン 0.14.0 は、Amazon EMR 4.x リリースバージョンを使用して作成されたクラスターにインストールされます。Pig は、Amazon EMR 5.0.0 でバージョン 0.16.0 にアップグレードされました。大きな違いは以下で説明します。

デフォルト実行エンジンの相違

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Pig バージョン 0.14.0 では、デフォルトの実行エンジンとして MapReduce を使用します。Pig 0.16.0 以降では、Apache Tez を使用しま

す。exectype=mapreduce 設定分類で明示的に pig-properties と設定すると、MapReduce を使用できます。

削除された Pig ユーザー定義関数 (UDF)

Amazon EMR 4.x リリースバージョンでの Pig で使用可能だったカスタム UDF は、Pig 0.16.0 以降は削除されました。ほとんどの UDF には代わりに使用できる同等の関数があります。削除された UDF と同等の関数のリストを次に示します。詳細については、Apache Pig サイトの「組み込み関数」を参照してください。

削除された UDF	同等の関数
FORMAT_DT(dtformat, date)	GetHour(date), GetMinute(date), GetMonth(date), GetSecond(date), GetWeek(date), GetYear(date), GetDay(date)
EXTRACT(string, pattern)	REGEX_EXTRACT_ALL(string, pattern)
REPLACE(string, pattern, replacement)	REPLACE(string, pattern, replacement)
DATE_TIME()	ToDate()
DURATION(dt, dt2)	WeeksBetween(dt, dt2), YearsBetween(dt, dt2), SecondsBetween(dt, dt2), MonthsBetween(dt, dt2), MinutesBetween(dt, dt2), HoursBetween(dt, dt2)
EXTRACT_DT(format, date)	GetHour(date), GetMinute(date), GetMonth(date), GetSecond(date), GetWeek(date), GetYear(date), GetDay(date)
OFFSET_DT(date, duration)	AddDuration(date, duration), SubtractDuration(date, duration)
PERIOD(dt, dt2)	WeeksBetween(dt, dt2), YearsBetween(dt, dt2), SecondsBetween(dt, dt2), MonthsBetween(dt, dt2), MinutesBetween(dt, dt2), HoursBetween(dt, dt2)
CAPITALIZE(string)	UCFIRST(string)

削除された UDF	同等の関数
CONCAT_WITH()	CONCAT()
INDEX_OF()	INDEXOF()
LAST_INDEX_OF()	LAST_INDEXOF()
SPLIT_ON_REGEX()	STRSPLT()
UNCAPITALIZE()	LCFIRST()

次の UDF は削除され、同等物はありません。FORMAT()、LOCAL_DATE()、LOCAL_TIME()、CENTER()、LEFT_PAD()、REPEAT()、REPLACE_O

使用停止になった Grunt コマンド

Pig 0.16.0 以降ではいくつかの Grunt コマンドが使用停止されました。次の表に、Pig 0.14.0 の Grunt コマンドおよび最新バージョンで適用可能な同等のコマンドを示します。

Pig 0.14.0 と、同等の現在の Grunt コマンド

Pig 0.14.0 Grunt コマンド	0.16.0 以降の Pig Grunt コマンド
cat <non-hdfs-path>)	fs -cat <non-hdfs-path>;
cd <non-hdfs-path>;	同等物なし
ls <non-hdfs-path>;	fs -ls <non-hdfs-path>;
move <non-hdfs-path> <non-hdfs-path>;	fs -mv <non-hdfs-path> <non-hdfs-path>;
copy <non-hdfs-path> <non-hdfs-path>;	fs -cp <non-hdfs-path> <non-hdfs-path>;
copyToLocal <non-hdfs-path> <local-path>;	fs -copyToLocal <non-hdfs-path> <local-path>;
copyFromLocal <local-path> <non-hdfs-path>;	fs -copyFromLocal <local-path> <non-hdfs-path>;
mkdir <non-hdfs-path>;	fs -mkdir <non-hdfs-path>;

Pig 0.14.0 Grunt コマンド	0.16.0 以降の Pig Grunt コマンド
rm <non-hdfs-path>;	fs -rm -r -skipTrash <non-hdfs-path>;
rmf <non-hdfs-path>;	fs -rm -r -skipTrash <non-hdfs-path>;

Non-HDFS ホームディレクトリについて削除された機能

Amazon EMR 4.x リリースバージョンの Pig 0.14.0 には、hadoop ユーザー以外のホームディレクトリを持たないユーザーが Pig スクリプトを実行できるようにする 2 つのメカニズムがあります。第 1 のメカニズムは、自動フォールバックで、ホームディレクトリが存在しない場合、ルートディレクトリに最初の作業ディレクトリを設定します。2 つめは、最初の作業ディレクトリを変更する `pig.initial.fs.name` プロパティです。

Amazon EMR 5.0.0 以降のバージョンでは、これらのメカニズムを使用できないので、ユーザーは HDFS 上のホームディレクトリが必要です。これは、hadoop ユーザーには当てはまりません。起動時にホームディレクトリがプロビジョニングされるからです。`command-runner.jar` を使用して別のユーザーが明示的に指定されていない限り、スクリプトは、Hadoop ユーザーにデフォルトの Hadoop jar ステップを使用して動作します。

Amazon EMR リリース 4.9.6

4.9.6 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.9.6	emr-4.9.5	emr-4.9.4	emr-4.9.3
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-4.9.6	emr-4.9.5	emr-4.9.4	emr-4.9.3
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.3
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

4.9.6 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

4.9.6 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドライン クライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.9.6 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.9.6 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.9.5

4.9.5 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-Sandbox、TezZeppelin-Sandbox、、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.9.5	emr-4.9.4	emr-4.9.3	emr-4.9.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません

	emr-4.9.5	emr-4.9.4	emr-4.9.3	emr-4.9.2
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0

	emr-4.9.5	emr-4.9.4	emr-4.9.3	emr-4.9.2
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.3
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

4.9.5 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 4.9.5 に関する情報が含まれています。4.9.4 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- HBase

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

4.9.5 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*`CommunityVersion`*`-amzn-`*`EmrVersion`* の形式のバージョンラベルがあります。*`EmrVersion`* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	1.0.0-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.9.5 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.9.5 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.9.4

4.9.4 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-Sandbox、TezZeppelin-Sandbox、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.9.4	emr-4.9.3	emr-4.9.2	emr-4.9.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3

	emr-4.9.4	emr-4.9.3	emr-4.9.2	emr-4.9.1
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.3
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4

	emr-4.9.4	emr-4.9.3	emr-4.9.2	emr-4.9.1
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

4.9.4 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 4.9.4 に関する情報が含まれています。4.9.3 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

4.9.4 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオー

プンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.9.4 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.9.4 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.9.3

4.9.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-Sandbox、TezZeppelin-Sandbox、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.9.3	emr-4.9.2	emr-4.9.1	emr-4.8.5
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-

	emr-4.9.3	emr-4.9.2	emr-4.9.1	emr-4.8.5
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.3
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1

	emr-4.9.3	emr-4.9.2	emr-4.9.1	emr-4.8.5
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

4.9.3 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.9.3 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.9.2 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

4.9.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.9.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.9.3 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.9.2

4.9.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.9.2	emr-4.9.1	emr-4.8.5	emr-4.8.4
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-

	emr-4.9.2	emr-4.9.1	emr-4.8.5	emr-4.8.4
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.3
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1

	emr-4.9.2	emr-4.9.1	emr-4.8.5	emr-4.8.4
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

4.9.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.9.2 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.9.1 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 7 月 13 日

このリリースでは小さな変更、バグ修正、および機能強化が行われました。

4.9.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.17.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション

コンポーネント	バージョン	説明
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.9.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.9.2 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.9.1

4.9.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-Sandbox、TezZeppelin-Sandbox、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.9.1	emr-4.8.5	emr-4.8.4	emr-4.8.3
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75

	emr-4.9.1	emr-4.8.5	emr-4.8.4	emr-4.8.3
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2

	emr-4.9.1	emr-4.8.5	emr-4.8.4	emr-4.8.3
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.157.1
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.3
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.9

4.9.1 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.9.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.4 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 4 月 10 日

以前のリリースから解決された既知の問題

- HIVE-9976 および HIVE-10106 を移植しました。
- 多数のノード (2,000 以上) やコンテナ (5,000 以上) によって、"Exception in thread main java.lang.OutOfMemoryError" などのメモリ不足エラーが発生することがある、YARN の問題を修正しました。

変更と機能強化

- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2017.03 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2017.03-release-notes/」を参照してください。
- Python 2.6 は Amazon EMR の基本 Linux イメージから削除されました。必要な場合には Python 2.6 を手動でインストールできます。

4.9.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.15.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-9	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-9	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-9	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-9	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-9	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-9	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.9.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.9.1 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.8.5

4.8.5 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-Sandbox、TezZeppelin-Sandbox、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.8.5	emr-4.8.4	emr-4.8.3	emr-4.8.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75

	emr-4.8.5	emr-4.8.4	emr-4.8.3	emr-4.8.2
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.3
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2

	emr-4.8.5	emr-4.8.4	emr-4.8.3	emr-4.8.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.157.1	0.152.3
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.3	1.6.2
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.9	3.4.8

4.8.5 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

4.8.5 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	1.0.0-amzn-8	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-8	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-8	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-8	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-8	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-8	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.8.5 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.8.5 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。

分類	説明
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。

分類	説明
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.8.4

4.8.4 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.8.4	emr-4.8.3	emr-4.8.2	emr-4.8.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-

	emr-4.8.4	emr-4.8.3	emr-4.8.2	emr-4.8.1
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.3	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.157.1	0.152.3	0.151
Spark	1.6.3	1.6.3	1.6.2	1.6.2

	emr-4.8.4	emr-4.8.3	emr-4.8.2	emr-4.8.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.9	3.4.8	3.4.8

4.8.4 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.4 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.3 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 2 月 7 日

このリリースでは小さな変更、バグ修正、および機能強化が行われました。

4.8.4 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.14.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-8	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-8	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-8	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-8	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-8	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-8	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.54+	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.25+	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.8.4 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.8.4 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.8.3

4.8.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-Sandbox、TezZeppelin-Sandbox、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.8.3	emr-4.8.2	emr-4.8.1	emr-4.8.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.2
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.3	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-

	emr-4.8.3	emr-4.8.2	emr-4.8.1	emr-4.8.0
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.157.1	0.152.3	0.151	0.151
Spark	1.6.3	1.6.2	1.6.2	1.6.2
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.4
Trino (PrestoSQ L)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.6.1

	emr-4.8.3	emr-4.8.2	emr-4.8.1	emr-4.8.0
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.9	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.8.3 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.3 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.2 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 12 月 29 日

アップグレード

- Presto を 0.157.1 にアップグレードしました。詳細については、Presto ドキュメントの「Presto リリースノート」を参照してください。
- Spark を 1.6.3 にアップグレードしました。詳細については、Apache Spark ドキュメントの「Spark リリースノート」を参照してください。
- ZooKeeper を 3.4.9 にアップグレードしました。詳細については、Apache ZooKeeper ドキュメントの「ZooKeeper リリースノート」を参照してください。

変更と機能強化

- 5.0.0、5.0.3、5.2.0 を除く Amazon EMR バージョン 4.8.3 以降の Amazon EC2 の m4.16xlarge インスタンスタイプのサポートが追加されました。
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- ReplicationMonitor のスレッドが大きなクラスターで同じファイルのレプリケーションと削除間の競合のために長時間スタックが生じる Hadoop の問題を修正しました。
- ジョブのステータスが正常に更新されていないときに ControlledJob#toString が null ポインタ例外 (NPE) で失敗していた問題を修正しました。

4.8.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.2.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.13.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-1	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-8	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-8	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-8	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-8	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-8	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-8	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.157.1	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.157.1	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.3	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.3	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.3	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.3	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.9	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.9	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.8.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-4.8.3 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.8.2

4.8.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.8.2	emr-4.8.1	emr-4.8.0	emr-4.7.4
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.2	1.2.1
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.3	2.7.2	2.7.2	2.7.2

	emr-4.8.2	emr-4.8.1	emr-4.8.0	emr-4.7.4
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.152.3	0.151	0.151	0.148
Spark	1.6.2	1.6.2	1.6.2	1.6.2
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.4	0.8.3

	emr-4.8.2	emr-4.8.1	emr-4.8.0	emr-4.7.4
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.6.1	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.8.2 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.2 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 10 月 24 日

アップグレード

- Hadoop 2.7.3 にアップグレードしました
- Presto 0.152.3 にアップグレードします。このアップグレードには Presto ウェブインターフェイスのサポートが含まれています。Presto コーディネーターの Presto ウェブインターフェイスには、ポート 8889 を使用してアクセスできます。Presto ウェブインターフェイスの詳細については、Presto ドキュメントの「ウェブインターフェイス」を参照してください。
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。

4.8.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	4.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.10.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.3-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.3-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.3-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.3-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.3-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.3-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.3-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.3-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.3-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.3-amzn-0	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-7	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-7	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-7	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-7	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-7	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-7	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.52	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.152.3	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.152.3	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.8.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.8.2 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.8.1

4.8.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン]
- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.8.1	emr-4.8.0	emr-4.7.4	emr-4.7.3
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.2	1.2.1	1.2.1
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-

	emr-4.8.1	emr-4.8.0	emr-4.7.4	emr-4.7.3
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.151	0.151	0.148	0.148
Spark	1.6.2	1.6.2	1.6.2	1.6.2
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.4	0.8.3	0.8.3
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.6.1	0.5.6	0.5.6

	emr-4.8.1	emr-4.8.0	emr-4.7.4	emr-4.7.3
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.8.1 リリースノート

4.8.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-7	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-7	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-7	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-7	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-7	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-7	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5.51	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.151	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.151	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.2	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	1.6.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.8.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.8.1 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.8.0

4.8.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.8.0	emr-4.7.4	emr-4.7.3	emr-4.7.2
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません

	emr-4.8.0	emr-4.7.4	emr-4.7.3	emr-4.7.2
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.2	1.2.1	1.2.1	1.2.1
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.2
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0

	emr-4.8.0	emr-4.7.4	emr-4.7.3	emr-4.7.2
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.151	0.148	0.148	0.148
Spark	1.6.2	1.6.2	1.6.2	1.6.2
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.4	0.8.3	0.8.3	0.8.3
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.6.1	0.5.6	0.5.6	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.8.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.7.2 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 9 月 7 日

アップグレード

- HBase 1.2.2 にアップグレードしました

- Presto-Sandbox 0.151 にアップグレードしました
- Tez 0.8.4 にアップグレードしました
- Zeppelin-Sandbox 0.6.1 にアップグレードしました

変更と機能強化

- インスタンスが削除されたため、存在していないコンテナを ApplicationMaster がクリーンアップしようとする YARN の問題を修正しました。
- Oozie の例の Hive2 アクションの hive-server2 URL を修正しました。
- さらに多くの Presto カタログのサポートを追加しました。
- 次のパッチを移植しました: HIVE-8948、HIVE-12679、HIVE-13405、PHOENIX-3116、HADOOP-12689
- セキュリティ設定のサポートを追加しました。これにより、暗号化オプションをより簡単に作成、適用できます。詳細については、「Data Encryption」を参照してください。

4.8.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.9.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-4	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-4	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-4	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-4	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-4	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-4	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-4	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-4	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-4	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-4	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.2	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.2	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-client	1.2.2	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.2	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.2	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-7	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-7	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-7	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-7	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-7	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-7	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.51	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.151	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.151	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.2	Spark コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-history-server	1.6.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.4	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.6.1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.8.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.8.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hiveserver2-site	Hive Server2 の hiveserver2-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-blackhole	Presto の blackhole.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-cassandra	Presto の cassandra.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-jmx	Presto の jmx.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-kafka	Presto の kafka.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-localfile	Presto の localfile.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mongodb	Presto の mongodb.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-mysql	Presto の musql.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-postgresql	Presto の postgresql.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-connector-raptor	Presto の raptor.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-redis	Presto の redis.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-tpch	Presto の tpcj.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.7.4

4.7.4 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.7.4	emr-4.7.3	emr-4.7.2	emr-4.7.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75

	emr-4.7.4	emr-4.7.3	emr-4.7.2	emr-4.7.1
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.1	1.2.1	1.2.1	1.2.1
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.2	0.12.0

	emr-4.7.4	emr-4.7.3	emr-4.7.2	emr-4.7.1
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.148	0.148	0.148	0.147
Spark	1.6.2	1.6.2	1.6.2	1.6.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.3	0.8.3	0.8.3	0.8.3
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.7.4 リリースノート

これは、Amazon S3 へのリクエストの署名 AWS バージョン 4 認証を追加するためのパッチリリースです。アプリケーションとコンポーネントはすべて、以前の Amazon EMR リリースと同じです。

> **Important**
>
> このリリースバージョンでは、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。詳細については、「新機能」を参照してください。

4.7.4 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-client	1.0.0-amzn-6	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-6	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-6	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-6	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-6	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-6	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.148	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.148	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.3	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.7.4 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.7.4 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。

分類	説明
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。

分類	説明
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.7.3

4.7.3 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および アプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.7.3	emr-4.7.2	emr-4.7.1	emr-4.7.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.75
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-

	emr-4.7.3	emr-4.7.2	emr-4.7.1	emr-4.7.0
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.1	1.2.1	1.2.1	1.2.1
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.2	0.12.0	0.12.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	4.7.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.148	0.148	0.147	0.147
Spark	1.6.2	1.6.2	1.6.1	1.6.1

	emr-4.7.3	emr-4.7.2	emr-4.7.1	emr-4.7.0
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.3	0.8.3	0.8.3	0.8.3
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.7.3 リリースノート

4.7.3 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.7.2-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-hmaster	1.2.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-6	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-6	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-6	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-6	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-6	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-6	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.148	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.148	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.3	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.7.3 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-4.7.3 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.7.2

4.7.2 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、Phoenix、、、PigPresto-Sandbox、Spark、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.7.2	emr-4.7.1	emr-4.7.0	emr-4.6.1
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.75	1.10.27
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.1	1.2.1	1.2.1	1.2.0
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-

	emr-4.7.2	emr-4.7.1	emr-4.7.0	emr-4.6.1
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.2	0.12.0	0.12.0	0.11.1
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	4.7.0	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.148	0.147	0.147	0.143
Spark	1.6.2	1.6.1	1.6.1	1.6.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.3	0.8.3	0.8.3	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.6

	emr-4.7.2	emr-4.7.1	emr-4.7.0	emr-4.6.1
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.7.2 リリースノート

以下のリリースノートには、Amazon EMR 4.7.2 に関する情報が含まれています。

リリース日: 2016 年 7 月 15 日

機能

- Mahout 0.12.2 にアップグレードしました
- Presto 0.148 にアップグレードしました
- Spark 1.6.2 にアップグレードしました
- パラメータとして URI を使用して EMRFS で使用する AWSCredentialsProvider を作成できるようになりました。詳細については、「EMRFS 用に AWSCredentialsProvider を作成する」を参照してください。
- EMRFS では、ユーザーが `emrfs-site.xml` で `fs.s3.consistent.dynamodb.endpoint` プロパティを使用して、整合性のあるビューのメタデータのカスタム DynamoDB エンドポイントを設定できるようになりました。
- `/usr/bin` に `spark-example` というスクリプトを追加しました。これにより `/usr/lib/spark/spark/bin/run-example` をラップし、例を直接実行できます。たとえば、Spark ディストリビューションに付属する SparkPi の例を実行するには、API のステップとしてコマンドラインから `spark-example SparkPi 100` を実行するか、`command-runner.jar` を使用できます。

以前のリリースから解決された既知の問題

- Oozie で、Spark もインストールされたときに `spark-assembly.jar` が正しい場所にないために、Oozie で Spark アプリケーションを起動できなくなる問題を解決しました。
- YARN コンテナで Spark Log4j ベースのログインに関する問題を修正しました。

4.7.2 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.1.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.8.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステム

コンポーネント	バージョン	説明
		アプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-3	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-3	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-3	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-3	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-3	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-3	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-3	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-3	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-3	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-3	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-6	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-6	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-6	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-6	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-6	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-6	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.2	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.148	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.148	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.3	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.23	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.7.2 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.7.2 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-ssl-server	Hadoop ssl のサーバー設定を変更します。

分類	説明
hadoop-ssl-client	Hadoop ssl のクライアント設定を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。

分類	説明
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.7.1

4.7.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.7.1	emr-4.7.0	emr-4.6.1	emr-4.6.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.75	1.10.27	1.10.27
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.1	1.2.1	1.2.0	1.2.0
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2

	emr-4.7.1	emr-4.7.0	emr-4.6.1	emr-4.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEn terpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.0	0.12.0	0.11.1	0.11.1
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	4.7.0	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.147	0.147	0.143	0.143
Spark	1.6.1	1.6.1	1.6.1	1.6.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.3	0.8.3	-	-

	emr-4.7.1	emr-4.7.0	emr-4.6.1	emr-4.6.0
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	3.4.8

4.7.1 リリースノート

以下のリリースノートには、Amazon EMR 4.7.1 に関する情報が含まれています。

リリース日: 2016 年 6 月 10 日

以前のリリースから解決された既知の問題

- プライベートサブネットを持つ VPC で起動されたクラスターの起動時間が長くなる問題を修正しました。このバグの影響があったのは、Amazon EMR 4.7.0 リリースで起動されたクラスターのみです。
- Amazon EMR 4.7.0 リリースで起動されたクラスターに対する Amazon EMR でのファイルのリスト処理が不適切であった問題を修正しました。

4.7.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.7.1	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリ

コンポーネント	バージョン	説明
		クスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-5	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-5	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-5	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-5	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-5	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-5	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.147	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.147	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.3	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.18	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.7.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、hive-site.xml などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.7.1 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.7.0

4.7.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、MahoutOozie-Sandbox、、Phoenix、、PigPresto-Sandbox、Spark、、Sqoop-SandboxTezZeppelin-Sandbox、、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.7.0	emr-4.6.1	emr-4.6.0	emr-4.5.0
AWS SDK for Java	1.10.75	1.10.27	1.10.27	1.10.27
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.1	1.2.0	1.2.0	-
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.2
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-

	emr-4.7.0	emr-4.6.1	emr-4.6.0	emr-4.5.0
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.12.0	0.11.1	0.11.1	0.11.1
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	4.7.0	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.147	0.143	0.143	0.140
Spark	1.6.1	1.6.1	1.6.1	1.6.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	0.8.3	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-

	emr-4.7.0	emr-4.6.1	emr-4.6.0	emr-4.5.0
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	3.4.8	-

4.7.0 リリースノート

> **Important**
>
> Amazon EMR 4.7.0 は廃止されています。代わりに Amazon EMR 4.7.1 以降を使用してください。

リリース日: 2016 年 6 月 2 日

機能

- Apache Phoenix 4.7.0 を追加しました
- Apache Tez 0.8.3 を追加しました
- HBase 1.2.1 にアップグレードしました
- Mahout 0.12.0 にアップグレードしました
- Presto 0.147 にアップグレードしました
- AWS SDK for Java を 1.10.75 にアップグレードしました
- ユーザーがローカルモードで Pig を実行できるようにするため、最終的なフラグが `mapreduce.cluster.local.dir` の `mapred-site.xml` プロパティから削除されました。
- Amazon Redshift JDBC ドライバーがクラスターで利用可能

  Amazon Redshift JDBC ドライバーが `/usr/share/aws/redshift/jdbc` に含まれました。`/usr/share/aws/redshift/jdbc/RedshiftJDBC41.jar` は JDBC 4.1 互換の Amazon Redshift ドライバー、`/usr/share/aws/redshift/jdbc/RedshiftJDBC4.jar` は JDBC 4.0 互換の Amazon Redshift ドライバーです。詳細については、「Amazon Redshift 管理ガイド」の「JDBC 接続の設定」を参照してください。
- Java 8

  Presto を除き、OpenJDK 1.7 はすべてのアプリケーションに使用されるデフォルトの JDK です。ただし、OpenJDK 1.7 と 1.8 の両方がインストールされています。アプリケーションの

JAVA_HOME を設定する方法については、「Java 8 を使用したアプリケーションの設定」を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- emr-4.6.0 で Amazon EMR 用のスループット最適化 HDD (st1) EBS ボリュームで著しくパフォーマンスに影響を与えていたカーネルの問題を修正しました。
- アプリケーションとして Hadoop を選択せずに HDFS 暗号化ゾーンを指定した場合にクラスターが失敗する問題を修正しました。
- デフォルトの HDFS 書き込みポリシーを RoundRobin から AvailableSpaceVolumeChoosingPolicy に変更しました。一部のボリュームは RoundRobin 設定で正しく利用されず、それによってコアノードが失敗し、HDFS の信頼性が低くなりました。
- 整合性のあるビューを実現するためにデフォルトの DynamoDB メタデータテーブルを作成するときに、例外が発生する原因となっていた EMRFS CLI に関する問題を修正しました。
- マルチパートの名前の変更およびコピーオペレーション中に発生する可能性のあった、EMRFS のデッドロックの問題を修正しました。
- CopyPart のサイズがデフォルトで 5 MB になる EMRFS の問題を修正しました。現在では、デフォルト値は 128 MB で適切に設定されます。
- サービスを停止できなくなる可能性のある、Zeppelin upstart 設定の問題を修正しました。
- s3a:// がそれぞれのクラスパスで適切にロードされていないために、/usr/lib/hadoop/hadoop-aws.jar URI スキームを使用できなくなる Spark および Zeppelin の問題を修正しました。
- HUE-2484 を移植しました。
- HBase ブラウザサンプルでの問題を修正するため、Hue 3.9.0 (JIRA が存在しない) から commit を移植しました。
- HIVE-9073 を移植しました。

4.7.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、emr または aws で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクタ。
emr-s3-dist-cp	2.4.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.7.1	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。

コンポーネント	バージョン	説明
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-timeline-server	2.7.2-amzn-2	YARN アプリケーションの現在の情報と履歴情報を取得するためのサービス。
hbase-hmaster	1.2.1	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.1	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.1	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.1	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.1	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-5	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-5	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-5	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-5	Hive コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-5	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-5	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-7	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.12.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5.46	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
phoenix-library	4.7.0-HBase-1.2	サーバーとクライアントの Phoenix ライブラリ
phoenix-query-server	4.7.0-HBase-1.2	JDBC のアクセス、プロトコルのバッファ、および Avatica API への JSON 形式のアクセスを提供するし軽量サーバー
presto-coordinator	0.147	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-worker	0.147	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
tez-on-yarn	0.8.3	tez YARN アプリケーションおよびライブラリ。
webserver	2.4.18	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.7.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.7.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-hbase.properties ファイルの値を変更します。
phoenix-hbase-site	Phoenix の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
phoenix-log4j	Phoenix の log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
phoenix-metrics	Phoenix の hadoop-metrics2-phoenix.properties ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
tez-site	Tez の tez-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.6.1

4.6.1 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Pig、Presto-SandboxSparkSqoop-SandboxZeppelin-Sandbox、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン

- [Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン]

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.6.1	emr-4.6.0	emr-4.5.0	emr-4.4.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	1.10.27	1.10.27
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.0	1.2.0	-	-
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.2	2.7.1
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-

	emr-4.6.1	emr-4.6.0	emr-4.5.0	emr-4.4.0
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.11.1
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	-	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.143	0.143	0.140	0.136
Spark	1.6.1	1.6.1	1.6.1	1.6.0
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	1.4.6
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.6
ZooKeeper	-	-	-	-

	emr-4.6.1	emr-4.6.0	emr-4.5.0	emr-4.4.0
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	3.4.8	-	-

4.6.1 リリースノート

4.6.1 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.3.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
emrfs	2.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hbase-hmaster	1.2.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。
hbase-thrift-server	1.2.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	1.0.0-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-6	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.1	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.143	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.143	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
webserver	2.4	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.6.1 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.6.1 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。

分類	説明
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。

分類	説明
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.6.0

4.6.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HBase、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、Mahout、Oozie-Sandbox、Pig、Presto-SandboxSparkSqoop-SandboxZeppelin-Sandbox、、および のアプリケーションが含まれていますZooKeeper-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.6.0	emr-4.5.0	emr-4.4.0	emr-4.3.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	1.10.27	1.10.27
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません

	emr-4.6.0	emr-4.5.0	emr-4.4.0	emr-4.3.0
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.7.2
HBase	1.2.0	-	-	-
HCatalog	1.0.0	1.0.0	1.0.0	-
Hadoop	2.7.2	2.7.2	2.7.1	2.7.1
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.1	0.11.1	0.11.1	0.11.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	-	-	-	-

	emr-4.6.0	emr-4.5.0	emr-4.4.0	emr-4.3.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.143	0.140	0.136	0.130
Spark	1.6.1	1.6.1	1.6.0	1.6.0
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	1.4.6	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.6	0.5.5
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	3.4.8	-	-	-

4.6.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.6.0 リリースに関する情報が含まれています。

- HBase 1.2.0 を追加しました
- Zookeeper-Sandbox 3.4.8 を追加しました
- Presto-Sandbox 0.143 にアップグレードしました

- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.03.0 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.03-release-notes/」を参照してください。
- スループット最適化 HDD (st1) EBS ボリュームタイプに影響を及ぼす問題

  Linux カーネルバージョン 4.2 以降の問題は、EMR 用のスループット最適化 HDD (st1) EBS ボリュームのパフォーマンスに大きな影響を及ぼします。このリリース (emr-4.6.0) ではカーネルバージョン 4.4.5 を使用するため、影響を受けます。したがって、st1 EBS ボリュームを使用する場合、emr-4.6.0 を使用しないことをお勧めします。emr-4.5.0 以前の Amazon EMR リリースと st1 であれば、影響を受けずに使用できます。これに加えて、将来のリリースで修正が提供されます。
- Python のデフォルト値

  現在、Python 3.4 がデフォルトでインストールされますが、Python 2.7 はシステムデフォルトのままです。いずれかのブートストラップアクションを使用してシステムデフォルトとして Python 3.4 を設定できます。PySpark で使用される Python のバージョンに影響を与えるため、設定 API を使用して `/usr/bin/python3.4` 分類で PYSPARK_PYTHON のエクスポート先を `spark-env` に設定できます。
- Java 8

  Presto を除き、OpenJDK 1.7 はすべてのアプリケーションに使用されるデフォルトの JDK です。ただし、OpenJDK 1.7 と 1.8 の両方がインストールされています。アプリケーションの `JAVA_HOME` を設定する方法については、「Java 8 を使用したアプリケーションの設定」を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- アプリケーションのプロビジョニングが、生成されたパスワードが原因でランダムに失敗する問題を修正しました。
- 以前は、`mysqld` がすべてのノードにインストールされました。現在では、選択されたアプリケーションにコンポーネントとして `mysql-server` が含まれている場合のみ、マスターインスタンスのみにインストールされます。現在、HCatalog、Hive、Hue、Presto-Sandbox、および Sqoop-Sandbox の各アプリケーションに、`mysql-server` コンポーネントが含まれています。
- `yarn.scheduler.maximum-allocation-vcores` をデフォルトの 32 から 80 に変更しました。これにより、コアインスタンスタイプが、YARN vcores が 32 より高く設定されているいくつかのラージインスタンスタイプのいずれかであるクラスターで、`maximizeResourceAllocation` オプションを使用中に Spark で主に

発生する、emr-4.4.0 での問題が修正されました。この問題の影響を受けていたのは、c4.8xlarge、cc2.8xlarge、hs1.8xlarge、i2.8xlarge、m2.4xlarge、r3.8xlarge、d2.8xlarge、または m4.10xlarge です。

- 現在では s3-dist-cp はすべての Amazon S3 候補に EMRFS を使用し、一時 HDFS ディレクトリにはステージングしません。
- クライアント側の暗号化のマルチパートアップロードの例外処理に関する問題を修正しました。
- ユーザーが Amazon S3 ストレージクラスを変更できるようにするオプションを追加しました。デフォルトでは、この設定は `STANDARD` です。`emrfs-site` 設定の分類設定は `fs.s3.storageClass` で、指定できる値は `STANDARD`、`STANDARD_IA`、`REDUCED_REDUNDANCY` です。ストレージクラスの詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「ストレージクラス」を参照してください。

4.6.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.3.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.6.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.2-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hbase-hmaster	1.2.0	リージョンの調整および管理コマンドの実行を行う HBase クラスター用のサービス。
hbase-region-server	1.2.0	1 つ以上の HBase リージョンに対応するサービス。
hbase-client	1.2.0	HBase コマンドラインクライアント。
hbase-rest-server	1.2.0	HBase の RESTful HTTP エンドポイントを提供するサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hbase-thrift-server	1.2.0	HBase に Thrift エンドポイントを提供するサービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。
hcatalog-server	1.0.0-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-6	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.1	機械学習用のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
presto-coordinator	0.143	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.143	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
webserver	2.4	Apache HTTP サーバー。

コンポーネント	バージョン	説明
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。
zookeeper-server	3.4.8	設定情報を維持し、名前を付け、分散化された同期を提供し、グループサービスを提供する一元化されたサービス。
zookeeper-client	3.4.8	ZooKeeper コマンドラインクライアント。

4.6.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.6.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-env	HBase の環境の値を変更します。

分類	説明
hbase-log4j	HBase の hbase-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hbase-metrics	HBase の hadoop-metrics2-hbaase.properties ファイルの値を変更します。
hbase-policy	HBase の hbase-policy.xml ファイルの値を変更します。
hbase-site	HBase の hbase-site.xml ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。
zookeeper-config	ZooKeeper の zoo.cfg ファイルの値を変更します。
zookeeper-log4j	ZooKeeper の log4j.properties ファイルの値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.5.0

4.5.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、、MahoutOozie-Sandbox、PigPresto-SandboxSparkSqoop-Sandbox、、および のアプリケーションが含まれていますZeppelin-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.5.0	emr-4.4.0	emr-4.3.0	emr-4.2.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	1.10.27	1.10.27
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.7.2	3.6.0
HBase	-	-	-	-
HCatalog	1.0.0	1.0.0	-	-
Hadoop	2.7.2	2.7.1	2.7.1	2.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-4.5.0	emr-4.4.0	emr-4.3.0	emr-4.2.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.1	0.11.1	0.11.0	0.11.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.2.0
Phoenix	-	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.140	0.136	0.130	0.125
Spark	1.6.1	1.6.0	1.6.0	1.5.2
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	1.4.6	-	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.6	0.5.5	0.5.5
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	-	-	-	-

4.5.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.5.0 リリースに関する情報が含まれています。

リリース日: 2016 年 4 月 4 日

機能

- Spark 1.6.1 にアップグレードしました
- Hadoop 2.7.2 にアップグレードしました
- Presto 0.140 にアップグレードしました
- Amazon S3 サーバー側の暗号化 AWS KMS のサポートが追加されました。

以前のリリースから解決された既知の問題

- ノードが再起動された後に MySQL および Apache サーバーが起動しない問題を修正しました。
- Amazon S3 に保存されているパーティション分割されていないテーブルで IMPORT が正しく機能しない問題を修正しました。
- Hive テーブルに書き込むときに、ステージングディレクトリが `/mnt/tmp` ではなく `/tmp` であることが要求される Presto の問題を修正しました。

4.5.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.2.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.5.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.7.2-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.2-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.2-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.2-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.2-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.2-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.2-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.2-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.2-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-4	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	1.0.0-amzn-4	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-4	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-4	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-4	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-4	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-5	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.1	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.140	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.140	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
webserver	2.4	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

4.5.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-4.5.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.4.0

4.4.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、HCatalog、Hadoop、Hive、、Hue、、MahoutOozie-Sandbox、PigPresto-SandboxSparkSqoop-Sandbox、、および のアプリケーションが含まれていますZeppelin-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.4.0	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	1.10.27	追跡されていません
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.7.2	3.6.0	-
HBase	-	-	-	-
HCatalog	1.0.0	-	-	-
Hadoop	2.7.1	2.7.1	2.6.0	2.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	3.7.1
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-4.4.0	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.1	0.11.0	0.11.0	0.11.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.2.0	4.0.1
Phoenix	-	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.136	0.130	0.125	0.119
Spark	1.6.0	1.6.0	1.5.2	1.5.0
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	1.4.6	-	-	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.6	0.5.5	0.5.5	0.6.0-SNAPSHOT
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	-	-	-	-

4.4.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.4.0 リリースに関する情報が含まれています。

リリース日: 2016 年 3 月 14 日

機能

- HCatalog 1.0.0 を追加しました
- Sqoop-Sandbox 1.4.6 を追加しました
- Presto 0.136 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.5.6 にアップグレードしました
- Mahout 0.11.1 にアップグレードしました
- デフォルトで `dynamicResourceAllocation` を有効にしました。
- リリースのすべての設定分類の表を追加しました。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」の設定分類の表を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- `maximizeResourceAllocation` 設定で YARN ApplicationMaster デーモンに十分なメモリが予約されない問題を修正しました。
- カスタム DNS で発生した問題を修正しました。`resolve.conf` のエントリが、提供されたカスタムエントリよりも前に指定されている場合、そのカスタムエントリは解決されません。この動作は、デフォルトの VPC ネームサーバーが `resolve.conf` のトップエントリとして挿入された VPC のクラスターによって影響を受けました。
- デフォルトの Python がバージョン 2.7 に移行した場合に、そのバージョンに対して boto がインストールされなかった問題を修正しました。
- YARN コンテナと Spark アプリケーションが独自の Ganglia ラウンドロビンデータベース (rrd) ファイルを生成し、それによりインスタンスにアタッチされた最初のディスクがいっぱいになる問題を修正しました。この修正によって、YARN コンテナレベルのメトリクスが無効になり、Spark アプリケーションレベルのメトリクスが無効になりました。
- ログプッシャーですべての空のログフォルダーが削除される問題を修正しました。この問題により、ログプッシャーは `user` の空の `/var/log/hive` フォルダを削除したため、Hive CLI はログを記録できませんでした。
- パーティション分割に影響し、インポート中にエラーを発生させた、Hive のインポートに影響を与える問題を修正しました。

- EMRFS と s3-dist-cp が、ピリオドを含むバケット名を適切に処理しなかった問題を修正しました。
- EMRFS の動作を変更し、バージョニングが有効なバケットで、`_$folder$` マーカーファイルが連続して作成されないようにしました。これにより、バージョニングが有効なバケットでパフォーマンスが向上する可能性があります。
- クライアント側の暗号化が有効になっている場合を除き、インストラクションファイルを使用しないよう EMRFS の動作を変更しました。クライアント側の暗号化を使用中にインストラクションファイルを削除する場合は、emrfs-site.xml プロパティの `fs.s3.cse.cryptoStorageMode.deleteInstructionFiles.enabled` を true に設定できます。
- YARN ログの集計を変更し、集計先でログを 2 日間保持するようにしました。デフォルトの送信先はクラスターの HDFS ストレージです。この期間を変更する場合は、クラスターの作成時に `yarn.log-aggregation.retain-seconds` 設定分類を使用して `yarn-site` の値を変更します。これまでどおり、クラスターの作成時は、`log-uri` パラメータを使用して、Amazon S3 にアプリケーションログを保存できます。

適用されたパッチ

- HIVE-9655
- HIVE-9183
- HADOOP-12810

4.4.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.2.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.4.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-client	2.7.1-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.1-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.1-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.7.1-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.1-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.1-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.1-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.1-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.1-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hcatalog-client	1.0.0-amzn-3	hcatalog-server を操作するための 'hcat' コマンドラインクライアント。

コンポーネント	バージョン	説明
hcatalog-server	1.0.0-amzn-3	分散アプリケーション用のテーブルおよびストレージ管理レイヤーである HCatalog を提供するサービス。
hcatalog-webhcat-server	1.0.0-amzn-3	HCatalog に REST インターフェイスを提供する HTTP エンドポイント。
hive-client	1.0.0-amzn-3	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-3	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-3	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-5	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.1	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
presto-coordinator	0.136	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.136	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.0	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.6.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
sqoop-client	1.4.6	Apache Sqoop コマンドラインクライアント。
webserver	2.4	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.6-incubating	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

4.4.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-4.4.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hcatalog-env	HCatalog 環境の値を変更します。
hcatalog-server-jndi	HCatalog の jndi.properties の値を変更します。
hcatalog-server-proto-hive-site	HCatalog の proto-hive-site.xml の値を変更します。
hcatalog-webhcat-env	HCatalog WebHCat 環境の値を変更します。
hcatalog-webhcat-log4j	HCatalog WebHCat の log4j.properties の値を変更します。

分類	説明
hcatalog-webhcat-site	HCatalog WebHCat の webhcat-site.xml ファイルの値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
sqoop-env	Sqoop の環境の値を変更します。

分類	説明
sqoop-oraoop-site	Sqoop OraOop の oraoop-site.xml ファイルの値を変更します。
sqoop-site	Sqoop の sqoop-site.xml ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.3.0

4.3.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、Hadoop、、Hive、HueMahout、、Oozie-Sandbox、PigPresto-SandboxSpark、および のアプリケーションが含まれていますZeppelin-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	追跡されていません	追跡されていません
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.6.0	-	-
HBase	-	-	-	-
HCatalog	-	-	-	-
Hadoop	2.7.1	2.6.0	2.6.0	2.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	-
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.0	0.11.0	0.11.0	0.10.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.0.1	-
Phoenix	-	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.130	0.125	0.119	-
Spark	1.6.0	1.5.2	1.5.0	1.4.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	-	-	-	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.5	0.5.5	0.6.0-SNAPSHOT	-
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	-	-	-	-

4.3.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.3.0 リリースに関する情報が含まれています。

リリース日: 2016 年 1 月 19 日

機能

- Hadoop 2.7.1 にアップグレードしました
- Spark 1.6.0 にアップグレードしました
- Ganglia を 3.7.2 にアップグレードしました
- Presto を 0.130 にアップグレードしました
- Amazon EMR を true に設定すると、`spark.dynamicAllocation.enabled` にいくつかの変更が加えられていました。デフォルトでは false です。true に設定すると、`maximizeResourceAllocation` 設定で定義されているデフォルト設定に影響を与えます。
  - `spark.dynamicAllocation.enabled` を true に設定した場合、`spark.executor.instances` は `maximizeResourceAllocation` によって設定されません。
  - `spark.driver.memory` 設定は、`spark.executors.memory` 設定と同様に、クラスター内のインスタンスタイプに基づいて定義されます。ただし、Spark ドライバーアプリケーションは、マスターインスタンスまたはいずれかのコアインスタンスで（たとえば、YARN クライアントモードとクラスターモードのそれぞれで）実行されるため、`spark.driver.memory` 設定は、これらの 2 つのインスタンスグループ間で、小さい方のインスタンスのインスタンスタイプに基づいて定義されます。
  - `spark.default.parallelism` 設定は、YARN コンテナに使用可能な CPU コアの数の 2 倍に定義されます。以前のリリースでは、半分の値に定義されていました。
  - Spark YARN プロセス用に予約されるメモリオーバーヘッドの計算精度が上がったため、Spark に使用可能なメモリの合計量 (`spark.executor.memory`) がわずかに増えました。

以前のリリースから解決された既知の問題

- 現在、YARN ログの集計はデフォルトで有効になります。
- YARN ログの集計が有効な場合に、クラスターの Amazon S3 ログバケットにログがプッシュされない問題を修正しました。
- YARN コンテナサイズは、すべてのノードタイプで新たに最低 32 になりました。

- 大規模なクラスターのプライマリノードで過剰なディスク I/O を発生させる Ganglia の問題を修正しました。
- クラスターのシャットダウン時に Amazon S3 にアプリケーションログがプッシュされない問題を修正しました。
- 特定のコマンドを失敗させる EMRFS CLI の問題を修正しました。
- 基盤となる SparkContext に依存関係がロードされなくなる Zeppelin の問題を修正しました。
- インスタンスの追加を試みるサイズ変更の発行によって発生する問題を修正しました。
- CREATE TABLE AS SELECT が Amazon S3 への過剰なリスト呼び出しを行う Hive の問題を修正しました。
- Hue、Oozie、および Ganglia がインストールされていると、大規模なクラスターが適切にプロビジョニングされない問題を修正しました。
- エラーで失敗した場合でもゼロ終了コードを返す s3-dist-cp の問題を修正しました。

4.3.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.1.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.3.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.7.2	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.7.1	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.7.1-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.7.1-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.7.1-amzn-0	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.7.1-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.7.1-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.7.1-amzn-0	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.7.1-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.7.1-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.7.1-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hive-client	1.0.0-amzn-2	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-2	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-2	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.7.1-amzn-5	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
presto-coordinator	0.130	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.130	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.6.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.6.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.6.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	1.6.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
webserver	2.4	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.5-incubating-amzn-1	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

4.3.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-4.3.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.2.0

4.2.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、Ganglia、、Hadoop、、Hive、HueMahout、、Oozie-Sandbox、PigPresto-SandboxSpark、および のアプリケーションが含まれていますZeppelin-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	追跡されていません	追跡されていません
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
Ganglia	3.7.2	3.6.0	-	-
HBase	-	-	-	-
HCatalog	-	-	-	-
Hadoop	2.7.1	2.6.0	2.6.0	2.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	-
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.0	0.11.0	0.11.0	0.10.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.0.1	-
Phoenix	-	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.130	0.125	0.119	-
Spark	1.6.0	1.5.2	1.5.0	1.4.1

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	-	-	-	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.5	0.5.5	0.6.0-SNAPSHOT	-
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	-	-	-	-

4.2.0 リリースノート

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.2.0 リリースに関する情報が含まれています。

リリース日: 2015 年 11 月 18 日

機能

- Ganglia のサポートを追加しました
- Spark 1.5.2 にアップグレードしました
- Presto 0.125 にアップグレードしました
- Oozie を 4.2.0 にアップグレードしました
- Zeppelin を 0.5.5 にアップグレードしました
- AWS SDK for Java を 1.10.27 にアップグレードしました

以前のリリースから解決された既知の問題

- デフォルトのメタデータテーブル名を使用しない EMRFS CLI の問題を修正しました。
- Amazon S3 で ORC-backed テーブルを使用するときに発生した問題を修正しました。
- Spark 設定で Python バージョンが一致しない問題を修正しました。
- VPC のクラスターでの DNS の問題により、YARN ノードのステータスが報告されない問題を修正しました。
- YARN がノードを廃棄することが原因でアプリケーションがハングしたり、新しいアプリケーションを予定できなくなったりする問題を修正しました。
- クラスターが TIMED_OUT_STARTING というステータスで終了するときに発生する問題を修正しました。
- EMRFS Scala 依存関係を他のビルドに含める場合に発生する問題を修正しました。Scala 依存関係が削除されました。

4.2.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、`CommunityVersion-amzn-EmrVersion` の形式のバージョンラベルがあります。`EmrVersion` は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.0.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.2.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
ganglia-monitor	3.6.0	Ganglia モニタリングエージェントとともに埋め込まれた、Hadoop エコシステムアプリケーション用 Ganglia エージェント。
ganglia-metadata-collector	3.6.0	Ganglia モニタリングエージェントからメトリクスを集計する Ganglia メタデータコレクター。
ganglia-web	3.5.10	Ganglia メタデータコレクターによって収集されたメトリクスを表示するウェブアプリケーション。
hadoop-client	2.6.0-amzn-2	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.6.0-amzn-2	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-library	2.6.0-amzn-2	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ
hadoop-hdfs-namenode	2.6.0-amzn-2	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.6.0-amzn-2	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.6.0-amzn-2	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.6.0-amzn-2	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.6.0-amzn-2	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.6.0-amzn-2	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hive-client	1.0.0-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hive-server	1.0.0-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
hue-server	3.7.1-amzn-5	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.2.0	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.2.0	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
presto-coordinator	0.125	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.125	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.5.2	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.5.2	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	1.5.2	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.5.2	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
webserver	2.4	Apache HTTP サーバー。
zeppelin-server	0.5.5-incubating-amzn-0	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

4.2.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.2.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。

分類	説明
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。

分類	説明
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
presto-connector-hive	Presto の hive.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark-metrics	Spark の metrics.properties ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。

分類	説明
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.1.0

4.1.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、、Hadoop、、HiveHue、、Mahout、Oozie-Sandbox、PigPresto-SandboxSparkおよび のアプリケーションが含まれていますZeppelin-Sandbox。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	追跡されていません	追跡されていません
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-
Ganglia	3.7.2	3.6.0	-	-
HBase	-	-	-	-
HCatalog	-	-	-	-
Hadoop	2.7.1	2.6.0	2.6.0	2.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	-
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.0	0.11.0	0.11.0	0.10.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.0.1	-
Phoenix	-	-	-	-

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.130	0.125	0.119	-
Spark	1.6.0	1.5.2	1.5.0	1.4.1
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	-	-	-	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.5	0.5.5	0.6.0-SNAPSHOT	-
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	-	-	-	-

4.1.0 リリースノート

4.1.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリ

ケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の myapp-component というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは 2.2-amzn-2 として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.0.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.1.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
hadoop-client	2.6.0-amzn-1	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.6.0-amzn-1	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-library	2.6.0-amzn-1	HDFS コマンドラインクライアントとライブラリ

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-hdfs-namenode	2.6.0-amzn-1	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.6.0-amzn-1	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-kms-server	2.6.0-amzn-1	Hadoop の KeyProvider API に基づく暗号キー管理サーバー。
hadoop-mapred	2.6.0-amzn-1	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。
hadoop-yarn-nodemanager	2.6.0-amzn-1	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.6.0-amzn-1	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hive-client	1.0.0-amzn-1	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-1	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-1	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。

コンポーネント	バージョン	説明
hue-server	3.7.1-amzn-4	Hadoop エコシステムアプリケーションを使用してデータを分析するウェブアプリケーション
mahout-client	0.11.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
oozie-client	4.0.1	Oozie コマンドラインクライアント。
oozie-server	4.0.1	Oozie ワークフローリクエストを受け入れるサービス。
presto-coordinator	0.119	presto-worker 間でクエリを受け入れ、クエリの実行を管理するサービス。
presto-worker	0.119	いくつかのクエリを実行するサービス。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.5.0	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.5.0	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。
spark-on-yarn	1.5.0	YARN のメモリ内実行エンジン。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-yarn-slave	1.5.0	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。
zeppelin-server	0.6.0-incubating-SNAPSHOT	インタラクティブなデータ分析を可能にするウェブベースのノートブック。

4.1.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

emr-4.1.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hdfs-encryption-zones	HDFS 暗号化ゾーンを設定します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。

分類	説明
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
hue-ini	Hue の ini ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-acls	Hadoop の kms-acls.xml ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-env	Hadoop KMS 環境の値を変更します。
hadoop-kms-log4j	Hadoop の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hadoop-kms-site	Hadoop の kms-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
oozie-env	Oozie の環境の値を変更します。
oozie-log4j	Oozie の oozie-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
oozie-site	Oozie の oozie-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
presto-log	Presto の log.properties ファイルの値を変更します。
presto-config	Presto の config.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。
zeppelin-env	Zeppelin 環境の値を変更します。

Amazon EMR リリース 4.0.0

4.0.0 アプリケーションバージョン

このリリースには、、Hadoop、Hive、MahoutPig、および のアプリケーションが含まれています Spark。

以下の表は、Amazon EMR のこのリリースで利用可能なアプリケーションバージョンと、前の 3 つの Amazon EMR リリース (該当する場合) で利用可能なアプリケーションバージョンを示しています。

Amazon EMR の各リリースのアプリケーションバージョンの包括的な履歴については、以下のトピックを参照してください。

- Amazon EMR 7.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 6.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 5.x リリースのアプリケーションバージョン
- Amazon EMR 4.x リリースのアプリケーションバージョン

アプリケーションバージョン情報

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
AWS SDK for Java	1.10.27	1.10.27	追跡されていません	追跡されていません
Python	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
Scala	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません	追跡されていません
AmazonCloudWatchAgent	-	-	-	-
Delta	-	-	-	-
Flink	-	-	-	-

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
Ganglia	3.7.2	3.6.0	-	-
HBase	-	-	-	-
HCatalog	-	-	-	-
Hadoop	2.7.1	2.6.0	2.6.0	2.6.0
Hive	1.0.0	1.0.0	1.0.0	1.0.0
Hudi	-	-	-	-
Hue	3.7.1	3.7.1	3.7.1	-
Iceberg	-	-	-	-
JupyterEnterpriseGateway	-	-	-	-
JupyterHub	-	-	-	-
Livy	-	-	-	-
MXNet	-	-	-	-
Mahout	0.11.0	0.11.0	0.11.0	0.10.0
Oozie	-	-	-	-
Oozie-Sandbox	4.2.0	4.2.0	4.0.1	-
Phoenix	-	-	-	-
Pig	0.14.0	0.14.0	0.14.0	0.14.0
Presto	-	-	-	-
Presto-Sandbox	0.130	0.125	0.119	-
Spark	1.6.0	1.5.2	1.5.0	1.4.1

	emr-4.3.0	emr-4.2.0	emr-4.1.0	emr-4.0.0
Sqoop	-	-	-	-
Sqoop-Sandbox	-	-	-	-
TensorFlow	-	-	-	-
Tez	-	-	-	-
Trino (PrestoSQL)	-	-	-	-
Zeppelin	-	-	-	-
Zeppelin-Sandbox	0.5.5	0.5.5	0.6.0-SNAPSHOT	-
ZooKeeper	-	-	-	-
ZooKeeper-Sandbox	-	-	-	-

4.0.0 リリースノート

4.0.0 コンポーネントバージョン

このリリースで Amazon EMR がインストールするコンポーネントを以下に示します。そのうちいくつかは、ビッグデータアプリケーションパッケージの一部としてインストールされます。その他は Amazon EMR に固有であり、システムプロセスと機能に対してインストールされます。これらは通常、`emr` または `aws` で開始されます。通常、最新の Amazon EMR リリースのビッグデータアプリケーションパッケージは、コミュニティにある最新バージョンです。コミュニティリリースは、できるだけ早く Amazon EMR で入手可能になるようにしています。

Amazon EMR の一部のコンポーネントは、コミュニティバージョンとは異なります。これらのコンポーネントには、*CommunityVersion*-amzn-*EmrVersion* の形式のバージョンラベルがあります。*EmrVersion* は 0 から始まります。例えば、バージョン 2.2 の `myapp-component` というオープンソースコミュニティコンポーネントが、異なる Amazon EMR リリースに組み込むために 3 回変更された場合、そのリリースバージョンは `2.2-amzn-2` として表示されます。

コンポーネント	バージョン	説明
emr-ddb	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon DynamoDB コネクター。
emr-goodies	2.0.0	Hadoop エコシステムに役立つ追加のライブラリ。
emr-kinesis	3.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon Kinesis コネクター。
emr-s3-dist-cp	2.0.0	Amazon S3 に最適化された分散コピーアプリケーション。
emrfs	2.0.0	Hadoop エコシステムアプリケーション用の Amazon S3 コネクタ。
hadoop-client	2.6.0-amzn-0	'hdfs'、'hadoop'、'yarn' などの Hadoop コマンドラインクライアント。
hadoop-hdfs-datanode	2.6.0-amzn-0	ブロックを保存する HDFS ノードレベルのサービス。
hadoop-hdfs-namenode	2.6.0-amzn-0	ファイル名を追跡し、場所をブロックする HDFS サービス。
hadoop-httpfs-server	2.6.0-amzn-0	HDFS オペレーションの HTTP エンドポイント。
hadoop-mapred	2.6.0-amzn-0	MapReduce アプリケーションを実行する MapReduce 実行エンジンライブラリ。

コンポーネント	バージョン	説明
hadoop-yarn-nodemanager	2.6.0-amzn-0	個別のノードでコンテナを管理する YARN サービス。
hadoop-yarn-resourcemanager	2.6.0-amzn-0	クラスターリソースおよび分散アプリケーションを割り当て、管理する YARN サービス。
hive-client	1.0.0-amzn-0	Hive コマンドラインクライアント。
hive-metastore-server	1.0.0-amzn-0	Hadoop オペレーションの SQL 用のメタデータを保存するセマンティックレポジトリである Hive メタストアにアクセスするためのサービス。
hive-server	1.0.0-amzn-0	Hive クエリをウェブリクエストとして受け入れるサービス。
mahout-client	0.10.0	機械学習用のライブラリ。
mysql-server	5.5	MySQL データベースサーバー。
pig-client	0.14.0-amzn-0	Pig コマンドラインクライアント。
spark-client	1.4.1	Spark コマンドラインクライアント。
spark-history-server	1.4.1	完了した Spark アプリケーションの有効期間にログに記録されたイベントを表示するウェブ UI。

コンポーネント	バージョン	説明
spark-on-yarn	1.4.1	YARN のメモリ内実行エンジン。
spark-yarn-slave	1.4.1	YARN スレーブで必要な Apache Spark ライブラリ。

4.0.0 設定分類

設定分類を使用すると、アプリケーションをカスタマイズできます。これらは多くの場合、`hive-site.xml` などのアプリケーションの構成 XML ファイルに対応します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

emr-4.0.0 分類

分類	説明
capacity-scheduler	Hadoop の capacity-scheduler.xml ファイルの値を変更します。
core-site	Hadoop の core-site.xml ファイルの値を変更します。
emrfs-site	EMRFS の設定を変更します。
hadoop-env	Hadoop のすべてのコンポーネントに対する Hadoop 環境の値を変更します。
hadoop-log4j	Hadoop の log4j.properties ファイルの値を変更します。
hdfs-site	HDFS の hdfs-site.xml の値を変更します。
hive-env	Hive 環境の値を変更します。
hive-exec-log4j	Hive の hive-exec-log4j.properties ファイルの値を変更します。

分類	説明
hive-log4j	Hive の hive-log4j.properties ファイルの値を変更します。
hive-site	Hive の hive-site.xml ファイルの値を変更します
httpfs-env	HTTPFS 環境の値を変更します。
httpfs-site	Hadoop の httpfs-site.xml ファイルの値を変更します。
mapred-env	MapReduce アプリケーションの環境の値を変更します。
mapred-site	MapReduce アプリケーションの mapred-site.xml ファイルの値を変更します。
pig-properties	Pig の pig.properties ファイルの値を変更します。
pig-log4j	Pig の log4j.properties ファイルの値を変更します。
spark	Apache Spark 用の Amazon EMR-curated 設定。
spark-defaults	Spark の spark-defaults.conf ファイルの値を変更します。
spark-env	Spark 環境の値を変更します。
spark-log4j	Spark の log4j.properties ファイルの値を変更します。
yarn-env	YARN 環境の値を変更します。
yarn-site	YARN の yarn-site.xml ファイルの値を変更します。

Amazon EMR 2.x および 3.x AMI バージョン

> **Note**
>
> AWS は、すべての AWS API エンドポイントの TLS 設定を TLS 1.2 の最小バージョンに更新しています。Amazon EMR リリース 3.10 以前では、TLS 1.0/1.1 接続のみがサポートされています。2023 年 12 月 4 日以降は、Amazon EMR 3.10 以前のバージョンでクラスターを作成できなくなります。
>
> Amazon EMR 3.10 以前を使用している場合は、すぐにワークロードをテストし、最新の Amazon EMR リリースに移行することをお勧めします。詳細については、「AWS Security Blog」を参照してください。

Amazon EMR 2.x および 3.x リリースは、AMI バージョンと呼ばれ、互換性の理由からそれらを必要とする既存のソリューションで利用できます。これらのリリースバージョンで、新しいクラスターまたは新しいソリューションを作成することはお勧めしません。これらには、新しいリリースの機能がなく、古いアプリケーションパッケージが含まれています。

最新の Amazon EMR リリースバージョンを使用してソリューションを構築することをお勧めします。

2.x および 3.x シリーズのリリースバージョンと最新の Amazon EMR リリースバージョンの違いの範囲は重要です。これらの相違点は、クラスターの作成方法や設定方法から、クラスターのアプリケーションのポートとディレクトリの構造まで、多岐にわたります。

このセクションでは、Amazon EMR の最も重要な相違点と、特定のアプリケーションの設定と管理の違いについて説明します。包括的ではありません。2.x または 3.x シリーズでクラスターを作成して使用すると、このセクションで説明されていない相違点が発生することがあります。

トピック

- Amazon EMR の以前の AMI バージョンでクラスターを作成する
- Amazon EMR の以前の AMI のバージョンを使用したアプリケーションのインストール
- Amazon EMR の以前の AMI バージョンによるクラスターおよびアプリケーション設定のカスタマイズ
- Amazon EMR の以前の AMI バージョンの Hive アプリケーションの仕様。
- Amazon EMR の以前の AMI バージョンの HBase アプリケーションの仕様
- Amazon EMR の以前の AMI バージョンの Pig アプリケーションの仕様。

- [Amazon EMR の以前の AMI バージョンの Spark アプリケーションの仕様。]
- [Amazon EMR の以前の AMI バージョンと S3DistCp ユーティリティの相違点]

Amazon EMR の以前の AMI バージョンでクラスターを作成する

Amazon EMR 2.x および 3.x リリースは AMI バージョンによって参照されます。Amazon EMR リリース 4.0.0 以降では、リリースは `emr-5.11.0` などのリリースラベルを使用してリリースバージョンによって参照されます。この変更は、 AWS CLI またはプログラムでクラスターを作成するときに最も顕著です。

を使用して AMI リリースバージョンを使用してクラスター AWS CLI を作成する場合は、 などの `--ami-version`オプションを使用します`--ami-version 3.11.0`。Amazon EMR 4.0.0 以降で導入された多くのオプション、機能、およびアプリケーションは、`--ami-version` を指定すると利用できません。詳細については、「AWS CLI コマンドリファレンス」の「[create-cluster]」を参照してください。

次の AWS CLI コマンド例では、AMI バージョンを使用してクラスターを起動します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.11.0 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-groups InstanceGroupType=MASTER,InstanceCount=1,\
InstanceType=m3.xlarge InstanceGroupType=CORE,InstanceCount=2,\
InstanceType=m3.xlarge --bootstrap-actions Path=s3://elasticmapreduce/bootstrap-
actions/configure-hadoop,\
Name="Configuring infinite JVM reuse",Args=["-m","mapred.job.reuse.jvm.num.tasks=-1"]
```

プログラムでは、すべての Amazon EMR リリースバージョンが EMR API でクラスターを作成する `RunJobFlowRequest` アクションを使用します。次の Java コード例では、AMI リリースバージョン 3.11.0 を使用してクラスターを作成します。

```
RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
```

```
    .withName("AmiVersion Cluster")
    .withAmiVersion("3.11.0")
    .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
     .withEc2KeyName("myKeyPair")
     .withInstanceCount(1)
     .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(true)
     .withMasterInstanceType("m3.xlarge")
     .withSlaveInstanceType("m3.xlarge");
```

次の RunJobFlowRequest 呼び出しには、代わりにリリースラベルを使用します。

```
RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
    .withName("ReleaseLabel Cluster")
    .withReleaseLabel("emr-7.9.0")
    .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
     .withEc2KeyName("myKeyPair")
     .withInstanceCount(1)
     .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(true)
     .withMasterInstanceType("m3.xlarge")
     .withSlaveInstanceType("m3.xlarge");
```

クラスターサイズの設定

クラスターの実行時、Hadoop は、データを処理するときに必要だったマッパータスクとリデューサータスクの数を確認します。クラスターが大きければ、リソースを効率的に使用し、処理時間を短縮するために、タスクの数は多くなるはずです。通常、EMR クラスターのサイズは、そのクラスターを通して変わりません。タスクの数はクラスターの作成時に設定します。実行中のクラスターのサイズを変更すると、クラスター実行中に処理を変更できます。つまり、タスクの数は固定されておらず、クラスターが存続している間は変更できます。最適な数のタスクを設定するのに役立つ設定オプションは 2 つあります:

- `mapred.map.tasksperslot`
- `mapred.reduce.tasksperslot`

これらのオプションは両方とも `mapred-conf.xml` ファイルで設定できます。ジョブをクラスターに送信するとき、クラスター全体で使用できるマップおよびリデューススロットの現在の合計数がジョブクライアントによって確認されます。その後、ジョブクライアントは次の方程式を使用して、タスクの数を設定します。

- `mapred.map.tasks` = `mapred.map.tasksperslot` ×クラスターのマップスロット数

- `mapred.reduce.tasks` =`mapred.reduce.tasksperslot` ×クラスターのリデューススロット数

ジョブクライアントは、タスク数が設定されていない場合にのみ `tasksperslot` パラメータを読み込みます。タスク数はいつでも無効にできます。この無効にする処理は、ブートストラップアクションを使用してすべてのクラスターに対してまとめて実行することも、設定を変更するステップを追加してジョブごとに個別に実行することも可能です。

Amazon EMR は、タスクノードエラーに対する耐性があり、タスクノードが使用できなくなってもクラスターの実行を継続できます。Amazon EMR は、追加のタスクノードを自動的にプロビジョニングし、エラーが発生したタスクノードの代わりに配置します。

クラスターステップごとに異なる数のタスクノードを設定できます。また、実行中のクラスターにステップを追加して、タスクノードの数を変更することもできます。デフォルトで、すべてのステップが確実に順次実行されるので、どのステップに対しても、実行中のタスクノードの数を指定できます。

Amazon EMR の以前の AMI のバージョンを使用したアプリケーションのインストール

AMI バージョンを使用する場合、アプリケーションのインストールには、`NewSupportedProductsRunJobFlow` アクションの パラメータの使用、ブートストラップアクションの使用、Step アクションの使用など、さまざまな方法があります。

Amazon EMR の以前の AMI バージョンによるクラスターおよびアプリケーション設定のカスタマイズ

Amazon EMR リリースバージョン 4.0.0 では、設定分類を使用してアプリケーションを設定する簡単な方法が導入されました。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。AMI バージョンを使用する場合は、渡した引数とともにブートストラップアクションを使用してアプリケーションを設定します。たとえば、ブートストラップアクション `configure-hadoop` および `configure-daemons` は、Hadoop や YARN に固有の `--namenode-heap-size` などの 環境プロパティを設定します。より新しいバージョンでは、これらは `hadoop-env` と `yarn-env` 設定分類を使用して設定されます。実行するブートストラップアクションの一般的な設定の詳細については、Github の emr-bootstrap-actions リポジトリを参照してください。

次の表は、より最近の Amazon EMR リリースバージョンでブートストラップアクションを構成分類にマップしています。

Hadoop

影響を受けるアプリケーションファイル名	AMI バージョンのブートストラップアクション	設定分類
core-site.xml	configure-hadoop -c	core-site
log4j.properties	configure-hadoop -l	hadoop-log4j
hdfs-site.xml	configure-hadoop -s	hdfs-site
該当なし	該当なし	hdfs-encryption-zones
mapred-site.xml	configure-hadoop -m	mapred-site
yarn-site.xml	configure-hadoop -y	yarn-site
httpfs-site.xml	configure-hadoop -t	httpfs-site
capacity-scheduler.xml	configure-hadoop -z	capacity-scheduler
yarn-env.sh	configure-daemons --resourcemanager-opts	yarn-env

[Hive]

影響を受けるアプリケーションファイル名	AMI バージョンのブートストラップアクション	設定分類
hive-env.sh	該当なし	hive-env
hive-site.xml	hive-script --install-hive-site ${MY_HIVE_SITE_FILE}	hive-site
hive-exec-log4j.properties	該当なし	hive-exec-log4j

影響を受けるアプリケーションファイル名	AMI バージョンのブートストラップアクション	設定分類
hive-log4j.properties	該当なし	hive-log4j

EMRFS

影響を受けるアプリケーションファイル名	AMI バージョンのブートストラップアクション	設定分類
emrfs-site.xml	configure-hadoop -e	emrfs-site
該当なし	s3get -s s3://custom-provider.jar -d /usr/share/aws/emr/auxlib/	emrfs-site (新しい設定 fs.s3.cse.encryptionMaterialsProvider.uri と併用)

全分類の一覧については、アプリケーションの設定 を参照してください。

アプリケーションの環境変数

AMI バージョンを使用する場合、hadoop-user-env.sh スクリプトが、configure-daemons ブートストラップアクションと組み合わせて使用され、Hadoop 環境を設定します。スクリプトには、以下のアクションが含まれます。

```
#!/bin/bash
export HADOOP_USER_CLASSPATH_FIRST=true;
echo "HADOOP_CLASSPATH=/path/to/my.jar" >> /home/hadoop/conf/hadoop-user-env.sh
```

Amazon EMR リリース 4.x では、次の例に示すように hadoop-env 設定分類を使用して同じ手順を実行します。

```
[
      {
         "Classification":"hadoop-env",
         "Properties":{
```

```
        },
        "Configurations":[
           {
              "Classification":"export",
              "Properties":{
                 "HADOOP_USER_CLASSPATH_FIRST":"true",
                 "HADOOP_CLASSPATH":"/path/to/my.jar"
              }
           }
        ]
     }
  ]
```

別の例として、configure-daemons の使用、--namenode-heap-size=2048 を渡すこと、--namenode-opts=-XX:GCTimeRatio=19 は以下の設定分類と同じです。

```
[
     {
        "Classification":"hadoop-env",
        "Properties":{

        },
        "Configurations":[
           {
              "Classification":"export",
              "Properties":{
                 "HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE":  "2048",
           "HADOOP_NAMENODE_OPTS":  "-XX:GCTimeRatio=19"
              }
           }
        ]
     }
  ]
```

他のアプリケーションの環境変数は、/home/hadoop/.bashrc では定義されなくなりました。代わりに、コンポーネントやアプリケーションごとに、主に /etc/default のような /etc/default/hadoop ファイルで設定されます。アプリケーション RPM によってインストールされる /usr/bin/ にあるラッパースクリプトでも、バイナリスクリプトを実際に含める前に、追加の環境変数を設定できます。

サービスポート

AMI バージョンを使用する場合は、一部のサービスでカスタムポートを使用します。

ポート設定の変更箇所

設定	AMI バージョン 3.x	オープンソースのデフォルト
fs.default.name	hdfs://emrDeterminedIP:9000	デフォルト (hdfs://*emrDeterminedIP* :8020)
dfs.datanode.address	0.0.0.0:9200	デフォルト (0.0.0.0:50010)
dfs.datanode.http.address	0.0.0.0:9102	デフォルト (0.0.0.0:50075)
dfs.datanode.https.address	0.0.0.0:9402	デフォルト (0.0.0.0:50475)
dfs.datanode.ipc.address	0.0.0.0:9201	デフォルト (0.0.0.0:50020)
dfs.http.address	0.0.0.0:9101	デフォルト (0.0.0.0:50070)
dfs.https.address	0.0.0.0:9202	デフォルト (0.0.0.0:50470)
dfs.secondary.http.address	0.0.0.0:9104	デフォルト (0.0.0.0:50090)
yarn.nodemanager.address	0.0.0.0:9103	デフォルト (${yarn.nodemanager.hostname}:0)
yarn.nodemanager.localizer.address	0.0.0.0:9033	デフォルト (${yarn.nodemanager.hostname}:8040)
yarn.nodemanager.webapp.address	0.0.0.0:9035	デフォルト (${yarn.nodemanager.hostname}:8042)
yarn.resourcemanager.address	*emrDeterminedIP* :9022	デフォルト (${yarn.resourcemanager.hostname}:8032)

設定	AMI バージョン 3.x	オープンソースのデフォルト
yarn.resourcemanager.admin.address	*emrDeterminedIP* :9025	デフォルト (${yarn.resourcemanager.hostname}:8033)
yarn.resourcemanager.resource-tracker.address	*emrDeterminedIP* :9023	デフォルト (${yarn.resourcemanager.hostname}:8031)
yarn.resourcemanager.scheduler.address	*emrDeterminedIP* :9024	デフォルト (${yarn.resourcemanager.hostname}:8030)
yarn.resourcemanager.webapp.address	0.0.0.0:9026	デフォルト (${yarn.resourcemanager.hostname}:8088)
yarn.web-proxy.address	*emrDeterminedIP* :9046	デフォルト (値なし)
yarn.resourcemanager.hostname	0.0.0.0 (デフォルト)	*emrDeterminedIP*

> **Note**
>
> *emrDeterminedIP* は、Amazon EMR で生成される IP アドレスです。

[ユーザー]

AMI バージョンを使用する場合、ユーザー hadoop がすべてのプロセスを実行し、すべてのファイルを保有します。Amazon EMR リリースバージョン 4.0.0 以降では、ユーザーはアプリケーションレベルやコンポーネントレベルで存在します。

インストールシーケンス、インストールされているアーティファクト、およびログファイルの場所

AMI バージョンを使用する場合、アプリケーションのアーティファクトおよびその設定ディレクトリは、`/home/hadoop/application` ディレクトリにインストールされます。たとえば、Hive をインストールした場合は、ディレクトリは `/home/hadoop/hive` でした。Amazon EMR リリース 4.0.0 以降では、アプリケーションのアーティファクトは `/usr/lib/application` ディレクトリにインストールされます。AMI バージョンを使用する場合、ログファイルはさまざまな場所にあります。次の表に、場所を示します。

Amazon S3 のログの場所の変更

デーモンまたはアプリケーション	ディレクトリの場所
instance-state	node/*instance-id* /instance-state/
hadoop-hdfs-namenode	daemons/*instance-id* /hadoop-hadoop-namenode.log
hadoop-hdfs-datanode	daemons/*instance-id* /hadoop-hadoop-datanode.log
hadoop-yarn (ResourceManager)	daemons/*instance-id* /yarn-hadoop-resourcemanager
hadoop-yarn (プロキシサーバー)	daemons/*instance-id* /yarn-hadoop-proxyserver
mapred-historyserver	daemons/*instance-id* /
httpfs	daemons/*instance-id* /httpfs.log
hive-server	node/*instance-id* /hive-server/hive-server.log
hive-metastore	node/*instance-id* /apps/hive.log
Hive CLI	node/*instance-id* /apps/hive.log

デーモンまたはアプリケーション	ディレクトリの場所
YARN アプリケーションのユーザーログおよびコンテナログ	task-attempts/
Mahout	該当なし
Pig	該当なし
spark-historyserver	該当なし
MapReduce ジョブ履歴ファイル	jobs/

Command runner

AMI バージョンを使用する場合、`/home/hadoop/contrib/streaming/hadoop-streaming.jar` のような多くのスクリプトまたはプログラムが、シェルのログインパス環境に置かれていないため、command-runner.jar または script-runner.jar などの jar ファイルを使用する際に完全パスを指定する必要があります。`command-runner.jar` が AMI に置かれるため、`script-runner.jar` を使用する場合のように完全 URI を指定する必要がなくなりました。

レプリケーション係数

レプリケーション係数を使用すると、Hadoop JVM をいつ起動するかを設定できます。Hadoop JVM は、タスクごとに新しく起動できます。これにより、タスクの独立性を高めることも、タスク間で JVM を共有してフレームワークのオーバーヘッドを低下させることもできます。多くの小さいファイルを処理する場合は、JVM を何回も再利用して起動のコストを分散させることに意味があります。ただし、各タスクが長時間かかる場合や大量のデータを処理する場合は、後続のタスクのためにすべてのメモリが確実に解放されるように、JVM を再利用しない選択もできます。AMI のバージョンを使用する場合は、`configure-hadoop` ブートストラップアクションを使用してレプリケーション係数をカスタマイズすることができ、`mapred.job.reuse.jvm.num.tasks` プロパティを設定します。

次の例は、無限の JVM 再利用の JVM 再利用係数の設定を示しています。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.11.0 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-groups InstanceGroupType=MASTER,InstanceCount=1,InstanceType=m3.xlarge \
InstanceGroupType=CORE,InstanceCount=2,InstanceType=m3.xlarge \
--bootstrap-actions Path=s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-hadoop,\
Name="Configuring infinite JVM reuse",Args=["-m","mapred.job.reuse.jvm.num.tasks=-1"]
```

Amazon EMR の以前の AMI バージョンの Hive アプリケーションの仕様。

ログファイル

Amazon EMR AMI バージョン 2.x および 3.x を使用する場合、Hive ログは `/mnt/var/log/apps/` に保存されます。Hive の複数のバージョンを同時にサポートするために、ログファイル名は次の表に示すように、実行する Hive のバージョンによって異なります。

Hive のバージョン	ログファイル名
0.13.1	`hive.log` **Note** このバージョンからは、Amazon EMR で、バージョニング無効のファイル名 `hive.log` が使用されます。マイナーバージョンは、メジャーバージョンと同じログの場所を共有します。
0.11.0	`hive_0110.log`

Hive のバージョン	ログファイル名
	Note 0.11.0.1 のような Hive 0.11.0 のマイナーバージョンでは、ログファイルの場所は Hive 0.11.0 と同じです。
0.8.1	`hive_081.log` **Note** Hive 0.8.1.1 のような Hive 0.8.1 のマイナーバージョンでは、ログファイルの場所は Hive 0.8.1 と同じです。
0.7.1	`hive_07_1.log` **Note** Hive 0.7.1.3 や Hive 0.7.1.4 といった Hive 0.7.1 のマイナーバージョンでは、ログファイルの場所は Hive 0.7.1 と同じです。
0.7	`hive_07.log`
0.5	`hive_05.log`
0.4	`hive.log`

分割入力機能

0.13.1 より前の Hive バージョン (Amazon EMR AMI バージョン 3.11.0 より前) を使用して分割入力機能を実装するには、次のようにします。

```
hive> set hive.input.format=org.apache.hadoop.hive.ql.io.HiveCombineSplitsInputFormat;
hive> set mapred.min.split.size=100000000;
```

この機能は Hive 0.13.1 で廃止されました。Amazon EMR AMI バージョン 3.11.0 で同じ分割入力形式の機能を得るには、以下を使用します。

```
set hive.hadoop.supports.splittable.combineinputformat=true;
```

Thrift サービスポート

Thrift は RPC のフレームワークで、これによって定義されるコンパクトなバイナリシリアライズ形式を使用して、後から分析に使用するためのデータ構造を維持します。通常、Hive は次のポートで稼働するようにサーバーを設定します。

Hive のバージョン	ポート番号
Hive 0.13.1	10000
Hive 0.11.0	10004
Hive 0.8.1	10003
Hive 0.7.1	10002
Hive 0.7	10001
Hive 0.5	10000

thrift サービスの詳細については、http://wiki.apache.org/thrift/ を参照してください。

Hive を使用してパーティションを復元する

Amazon EMR の Hive クエリ言語には、Amazon S3 内にあるテーブルデータからテーブルのパーティションを復元するステートメントが含まれています。次の例でこれを示します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE (json string) raw_impression
PARTITIONED BY (dt string)
LOCATION 's3://elastic-mapreduce/samples/hive-ads/tables/impressions';
ALTER TABLE logs RECOVER PARTITIONS;
```

パーティションのディレクトリおよびデータは、テーブル定義で指定された場所に格納し、名前は Hive の表記規則に従って、dt=2009-01-01 のように記述する必要があります。

> **Note**
>
> Hive 0.13.1 以降では、この機能は msck repair *table* を使用してネイティブにサポートされるため、recover partitions はサポートされません。詳細については、「https://cwiki.apache.org/confluence/display/Hive/LanguageManual+DDL」を参照してください。

Hive 変数をスクリプトに渡す

を使用して Hive ステップに変数を渡すには AWS CLI、次のコマンドを入力します。*myKey* を EC2 キーペアの名前に置き換え、*amzn-s3-demo-bucket* をバケット名に置き換えます。この例で、SAMPLE は、先頭に -d スイッチが付いた変数の値です。この変数は Hive スクリプトで ${SAMPLE} のように定義されます。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.9 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m3.xlarge --instance-count 3 \
--steps Type=Hive,Name="Hive Program",ActionOnFailure=CONTINUE,\
Args=[-f,s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/libs/response-time-stats.q,-d,\
INPUT=s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/tables,-d,OUTPUT=s3://amzn-s3-demo-bucket/
hive-ads/output/,\
-d,SAMPLE=s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/]
```

外部メタストアの場所を指定する

次の手順では、Hive メタストアの場所として設定したデフォルト値を上書きし、新しく設定したメタストアの場所を使用してクラスターを起動する方法を示します。

EMR クラスターの外にメタストアを作成するには

1. Amazon RDS を使用して MySQL または Aurora データベースを作成します。

   Amazon RDS データベースの作成方法については、「Amazon RDS の開始方法」を参照してください。

2. データベースと ElasticMapReduce-Master セキュリティグループの間の JDBC 接続が許可されるようにセキュリティグループを変更します。

   アクセス用のセキュリティグループの変更方法については、「Amazon RDS ユーザーガイド」の「Amazon RDS セキュリティグループ」を参照してください。

3. JDBC 設定値は、`hive-site.xml` に格納されています。

   a. 以下を含む `hive-site.xml` 設定ファイルを作成します。

   ```
   <configuration>
     <property>
       <name>javax.jdo.option.ConnectionURL</name>
       <value>jdbc:mariadb://hostname:3306/hive?createDatabaseIfNotExist=true</
   value>
       <description>JDBC connect string for a JDBC metastore</description>
     </property>
     <property>
       <name>javax.jdo.option.ConnectionUserName</name>
       <value>hive</value>
       <description>Username to use against metastore database</description>
     </property>
     <property>
       <name>javax.jdo.option.ConnectionPassword</name>
       <value>password</value>
       <description>Password to use against metastore database</description>
     </property>
   </configuration>
   ```

   `hostname` は、データベースを実行する Amazon RDS インスタンスの DNS アドレスです。*`username`* と *`password`* は、データベースの認証情報です。MySQL データベースインスタンスおよび Aurora データベースインスタンスへの接続の詳細については、「Amazon RDS ユーザーガイド」の「MySQL データベースエンジンを実行している DB インスタンスへの接続」および「Athena DB クラスターへの接続」を参照してください。

   JDBC ドライバーは Amazon EMR によってインストールされます。

> **Note**
>
> 値のプロパティには、スペースや改行を含めることはできません。すべてを 1 行にする必要があります。

b. Amazon S3 上の `hive-site.xml` などの場所に `s3://amzn-s3-demo-bucket/hive-site.xml` ファイルを保存します。

4. クラスターを作成し、カスタマイズされた `hive-site.xml` ファイルの Amazon S3 の場所を指定します。

   次のコマンド例は、これを行う AWS CLI コマンドを示しています。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.10 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m3.xlarge --instance-count 3 \
--bootstrap-actions Name="Install Hive Site Configuration",\
Path="s3://region.elasticmapreduce/libs/hive/hive-script",\
Args=["--base-path","s3://elasticmapreduce/libs/hive","--install-hive-site",\
"--hive-site=s3://amzn-s3-demo-bucket/hive-site.xml","--hive-versions","latest"]
```

JDBC を使用して Hive に接続する

JDBC を介して Hive に接続するには、JDBC ドライバをダウンロードして、SQL クライアントをインストールする必要があります。以下の例は、SQL Workbench/J を使用して、JDBC を使用している Hive に接続する方法を示しています。

JDBC ドライバをダウンロードするには

1. アクセスする Hive のバージョンに対応しているドライバをダウンロードし、展開します。Hive バージョンは、Amazon EMR クラスターを作成するときに選択した AMI に応じて異なります。

   - Hive 0.13.1 JDBC ドライバー: https://amazon-odbc-jdbc-drivers.s3.amazonaws.com/public/AmazonHiveJDBC_1.0.4.1004.zip
   - Hive 0.11.0 JDBC ドライバー: https://mvnrepository.com/artifact/org.apache.hive/hive-jdbc/0.11.0
   - Hive 0.8.1 JDBC ドライバー: https://mvnrepository.com/artifact/org.apache.hive/hive-jdbc/0.8.1

2. SQL Workbench/J をインストールします。詳細については、SQL Workbench/J ユーザーズマニュアルの「Installing and starting SQL Workbench/J」を参照してください。

3. クラスターマスターノードへの SSH トンネルを作成します。Hive のバージョンによって、接続するポートが異なります。Linux ssh ユーザーの場合は以下の表、Windows ユーザーの場合は PuTTY コマンドのコマンドの例が提供されています。

   Linux SSH コマンド

Hive のバージョン	コマンド
0.13.1	`ssh -o ServerAliveInterval=10 -i` *path-to-key-file* `-N -L 10000:localhost:10000 hadoop@` *master-public-dns-name*
0.11.0	`ssh -o ServerAliveInterval=10 -i` *path-to-key-file* `-N -L 10004:localhost:10004 hadoop@` *master-public-dns-name*
0.8.1	`ssh -o ServerAliveInterval=10 -i` *path-to-key-file* `-N -L 10003:localhost:10003 hadoop@` *master-public-dns-name*
0.7.1	`ssh -o ServerAliveInterval=10 -i` *path-to-key-file* `-N -L 10002:localhost:10002 hadoop@` *master-public-dns-name*
0.7	`ssh -o ServerAliveInterval=10 -i` *path-to-key-file* `-N -L 10001:localhost:10001 hadoop@` *master-public-dns-name*

Hive の バージョン	コマンド
0.5	`ssh -o ServerAliveInterval=10 -i path-to-key-file -N -L 10000:localhost:10000 hadoop@ master-public-dns-name`

Windows PuTTY のトンネルの設定

Hive の バージョン	トンネルの設定
0.13.1	ソースポート: 10000 送信先: *master-public-dns-name* :10000
0.11.0	ソースポート: 10004 送信先: *master-public-dns-name* :10004
0.8.1	ソースポート: 10003 送信先: *master-public-dns-name* :10003

4. SQL Workbench に JDBC ドライバを追加します。

   a. [Select Connection Profile] (接続プロファイルの選択) ダイアログボックスで [Manage Drivers] (ドライバーの管理) を選択します。

   b. [Create a new entry] (新しいエントリーの作成) (空白のページ) アイコンを選択します。

   c. 名前フィールドに、**Hive JDBC** と入力します。

   d. [Library] で [Select the JAR file(s)] アイコンをクリックします。

   e. 次の表に示すように JAR ファイルを選択します。

Hive ドライババージョン	追加する JAR ファイル
0.13.1	hive_metastore.jar hive_service.jar HiveJDBC3.jar libfb303-0.9.0.jar libthrift-0.9.0.jar

Hive ドライババージョン	追加する JAR ファイル
	log4j-1.2.14.jar ql.jar slf4j-api-1.5.8.jar slf4j-log4j12-1.5.8.jar TCLIServiceClient.jar
0.11.0	hadoop-core-1.0.3.jar hive-exec-0.11.0.jar hive-jdbc-0.11.0.jar hive-metastore-0.11.0.jar hive-service-0.11.0.jar libfb303-0.9.0.jar commons-logging-1.0.4.jar slf4j-api-1.6.1.jar
0.8.1	hadoop-core-0.20.205.jar hive-exec-0.8.1.jar hive-jdbc-0.8.1.jar hive-metastore-0.8.1.jar hive-service-0.8.1.jar libfb303-0.7.0.jar libthrift-0.7.0.jar log4j-1.2.15.jar slf4j-api-1.6.1.jar slf4j-log4j12-1.6.1.jar
0.7.1	hadoop-0.20-core.jar hive-exec-0.7.1.jar hive-jdbc-0.7.1.jar hive-metastore-0.7.1.jar hive-service-0.7.1.jar libfb303.jar commons-logging-1.0.4.jar slf4j-api-1.6.1.jar slf4j-log4j12-1.6.1.jar

Hive ドライババージョン	追加する JAR ファイル

0.7	`hadoop-0.20-core.jar`
	`hive-exec-0.7.0.jar`
	`hive-jdbc-0.7.0.jar`
	`hive-metastore-0.7.0.jar`
	`hive-service-0.7.0.jar`
	`libfb303.jar`
	`commons-logging-1.0.4.jar`
	`slf4j-api-1.5.6.jar`
	`slf4j-log4j12-1.5.6.jar`

0.5	`hadoop-0.20-core.jar`
	`hive-exec-0.5.0.jar`
	`hive-jdbc-0.5.0.jar`
	`hive-metastore-0.5.0.jar`
	`hive-service-0.5.0.jar`
	`libfb303.jar`
	`log4j-1.2.15.jar`
	`commons-logging-1.0.4.jar`

f. [Please select one driver] (ドライバーを 1 つ選択してください) ダイアログボックスで次の表に従ってドライバを選択し、[OK] をクリックします。

Hive のバージョン	ドライバのクラス名
0.13.1	`com.amazon.hive.jdbc3.HS2Driver`
0.11.0	`org.apache.hadoop.hive.jdbc.HiveDriver.jar`
0.8.1	`org.apache.hadoop.hive.jdbc.HiveDriver.jar`

Hive のバージョン	ドライバのクラス名
0.7.1	`org.apache.hadoop.hive.jdbc.HiveDriver.jar`
0.7	`org.apache.hadoop.hive.jdbc.HiveDriver.jar`
0.5	`org.apache.hadoop.hive.jdbc.HiveDriver.jar`

5. [Select Connection Profile] (接続プロファイルの選択) ダイアログボックスに戻ったら、[ドライバー] フィールドが [Hive JDBC] に設定されていることを確認し、次の表に従って [URL] フィールドに JDBC 接続文字列を入力します。

Hive のバージョン	JDBC 接続文字列
0.13.1	`jdbc:hive2://localhost:10000/default`
0.11.0	`jdbc:hive://localhost:10004/default`
0.8.1	`jdbc:hive://localhost:10003/default`

クラスターが AMI バージョン 3.3.1 以降を使用している場合は、[Select Connection Profile] (接続プロファイルの選択) ダイアログボックスの [ユーザー名] フィールドに **hadoop** と入力します。

Amazon EMR の以前の AMI バージョンの HBase アプリケーションの仕様

サポートされる HBase バージョン

HBase バージョン	AMI のバージョン	AWS CLI 設定パラメータ	HBase バージョンの詳細

0.94.18	3.1.0 以降	`--ami-version 3.1`
		`--ami-version 3.2`
		`--ami-version 3.3`
		`--applications Name=HBase`
			• バグの修正と機能強化。

0.94.7	3.0-3.0.4	`--ami-version 3.0` `--applications Name=HBase`	
0.92	2.2 以降	`--ami-version 2.2 or later` `--applications Name=HBase`	

HBase クラスターの前提条件

Amazon EMR AMI バージョン 2.x および 3.x を使用して作成されたクラスターは、HBase の次の要件を満たす必要があります。

- （ AWS CLI オプション) — コマンドラインを使用して HBase を操作するには、最新バージョンの をダウンロードしてインストールします AWS CLI。詳細については、AWS Command Line InterfaceユーザーガイドのAWS Command Line Interface のインストールを参照してください。

- 2 つ以上のインスタンス (オプション) – クラスターのマスターノードでは HBase マスターサーバーと Zookeeper、タスクノードでは HBase リージョンサーバーが実行されます。最大のパフォーマンスを確保するには、HBase クラスターが 2 つ以上の EC2 インスタンスを実行する必要がありますが、評価目的の場合は HBase を単一ノードで実行できます。
- 長時間稼働クラスター - HBase は長時間稼働クラスター上でのみ実行されます。デフォルトでは、CLI および Amazon EMR コンソールは長時間稼働クラスターを作成します。
- Amazon EC2 キーペア (推奨) - マスターノードと接続して HBase シェルコマンドを実行するために Secure Shell (SSH) ネットワークプロトコルを使用するには、クラスターを作成するときに Amazon EC2 キーペアを使用する必要があります。
- 正しい AMI バージョンおよび Hadoop バージョン - HBase クラスターは、現在 Hadoop 20.205 以降でのみサポートされています。
- Ganglia (オプション) - HBase パフォーマンスメトリクスをモニタリングするには、クラスターの作成時に Ganglia をインストールします。
- ログ用 Amazon S3 バケット (オプション) - HBase 用ログはマスターノードで使用できます。これらのログを Amazon S3 にコピーするには、クラスターの作成時にログファイルを受け取るための S3 バケットを指定します。

HBase を使用するクラスターの作成

次の表に、コンソールを使用し、Amazon EMR AMI リリースバージョンを使用して HBase を使用するクラスターを作成する際に利用できるオプションを示します。

フィールド	アクション
Restore from backup	HBase クラスターに、Amazon S3 に保存されているデータを事前にロードするかどうかを指定します。
Backup location	Amazon S3 で復元するバックアップがある場所の URI を指定します。
Backup version	[Backup Location] で指定した場所にある、使用するバックアップのバージョン名を指定します (オプション)。このフィールドに何も指定しない場合は、[バックアップの場所] で指定した場所にある最新のバックアップが、Amazon EMR によって新しい HBase クラスターに設定されます。

フィールド	アクション
Schedule Regular Backups	自動増分バックアップをスケジュールするかどうかを指定します。最初は完全バックアップによって、以降の差分バックアップのベースラインとなるバックアップが作成されます。
Consistent backup	バックアップの整合性を確保するかどうかを指定します。バックアップの整合性とは、バックアップ処理の初期段階であるノード同期中に、書き込みオペレーションを一時停止することです。つまり、一時停止された書き込みオペレーションはすべてキューに置かれ、同期が完了したら再開されます。
Backup frequency	スケジュールされたバックアップの頻度 (日/時間/分単位)。
Backup location	バックアップが保存される Amazon S3 の URI。差分バックアップの正確性を確保するために、バックアップは、HBase クラスターごとにそれぞれ異なる場所に格納する必要があります。
Backup start time	最初のバックアップの時間を指定します。これを now に設定した場合、クラスターが実行されると直ちに最初のバックアップが行われます。または、日付と時刻を ISO 形式で入力します。たとえば、2012-06-15T20:00Z を入力すると、2012 年 6 月 15 日午後 8 時 (UTC) に設定されます。

次の AWS CLI コマンド例では、HBase およびその他のアプリケーションでクラスターを起動します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.3 \
               --applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig Name=HBase \
               --use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
               --instance-type c1.xlarge --instance-count 3 --termination-protected
```

Hive クラスターと HBase クラスターの間の接続が確立されたら (前述の手順を参照)、Hive に外部テーブルを作成することで、HBase クラスターに格納されているデータにアクセスできます。

次の例では、Hive プロンプトからの実行時に、`inputTable` という HBase テーブルに格納されているデータを参照する外部テーブルを作成しています。その後、Hive ステートメントで `inputTable` を参照し、HBase クラスターに格納されているデータに対してクエリを実行したり、そのデータを変更したりできます。

> **Note**
>
> 以下の例では、AMI 2.3.3 で protobuf-java-2.4.0a.jar を使用しますが、サンプルをご自分のバージョンに合わせてお使いください。お持ちの Protocol Buffers の JAR のバージョンをチェックするには、Hive コマンドプロンプトでコマンドを実行します: `! ls /home/hadoop/lib;`。

```
add jar lib/emr-metrics-1.0.jar ;
               add jar lib/protobuf-java-2.4.0a.jar ;

               set hbase.zookeeper.quorum=ec2-107-21-163-157.compute-1.amazonaws.com ;

               create external table inputTable (key string, value string)
                    stored by 'org.apache.hadoop.hive.hbase.HBaseStorageHandler'
                     with serdeproperties ("hbase.columns.mapping" = ":key,f1:col1")
                     tblproperties ("hbase.table.name" = "t1");

               select count(*) from inputTable ;
```

HBase 設定のカスタマイズ

デフォルトの設定はほとんどのアプリケーションで動作しますが、HBase 設定を変更する柔軟性も確保されています。これを行うには、次の 2 つのブートストラップアクションスクリプトのいずれかを実行します。

- configure-hbase-daemons - master、regionserver、および zookeeper の各デーモンのプロパティを設定します。これらのプロパティには、HBase デーモンの開始時に Java Virtual Machine (JVM) に渡すヒープサイズおよびオプションが含まれます。これらのプロパティは、ブートストラップアクションの引数として設定します。このブートストラップアクションでは、HBase クラスターの /home/hadoop/conf/hbase-user-env.sh 設定ファイルが変更されます。

- configure-hbase - HBase マスターのバインド先ポート、CLI クライアントがアクションを再試行する最大回数など、HBase サイト固有の設定を指定します。これらはブートストラップアクションの引数として 1 つずつ設定するか、Amazon S3 で XML 設定ファイルの場所を指定します。このブートストラップアクションでは、HBase クラスターの /home/hadoop/conf/hbase-site.xml 設定ファイルが変更されます。

> **Note**
>
> これらのスクリプトを実行できるのは、他のブートストラップアクションの場合と同様、クラスターの作成時のみです。このスクリプトを使用して、現在実行中の HBase クラスターの設定を変更することはできません。

configure-hbase または configure-hbase-daemons ブートストラップアクションを実行すると、指定した値によってデフォルトの値が上書きされます。明示的に設定しなかった値には、デフォルト値が設定されます。

これらのブートストラップアクションでの HBase の設定操作は、Amazon EMR でブートストラップアクションを使用して Hadoop 設定と Hadoop デーモンのプロパティを設定するのと似ています。異なるのは、HBase にはプロセスごとのメモリオプションがないという点です。メモリオプションは、`--daemon-opts` 引数を使用して設定されます。*daemon* は、設定するデーモンの名前に置き換えてください。

HBase デーモンを設定する

Amazon EMR には、HBase デーモンの設定変更に使用できるブートストラップアクション `s3://region.elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-hbase-daemons` が用意されています。*region* は、HBase クラスターを起動するリージョンです。

を使用して HBase デーモンを設定するには AWS CLI、クラスターを起動するときに`configure-hbase-daemons`ブートストラップアクションを追加して、1 つ以上の HBase デーモンを設定します。以下のプロパティを設定できます。

プロパティ	説明
`hbase-master-opts`	JVM によるマスターデーモンの実行方法をコントロールするオプション。設定されている場合は、これらによっ

プロパティ	説明
	てデフォルトの HBASE_MASTER_OPTS 変数が上書きされます。
`regionserver-opts`	JVM によるリージョンサーバーデーモンの実行方法をコントロールするオプション。設定されている場合は、これらによってデフォルトの HBASE_REGIONSERVER_OPTS 変数が上書きされます。
`zookeeper-opts`	JVM による zookeeper デーモンの実行方法をコントロールするオプション。設定されている場合は、これらによってデフォルトの HBASE_ZOOKEEPER_OPTS 変数が上書きされます。

これらのオプションの詳細については、HBase ドキュメントの「hbase-env.sh」を参照してください。

`zookeeper-opts` および `hbase-master-opts` の値を設定するためのブートストラップアクションを次の例に示します。

> **Note**
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.3 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig Name=HBase \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type c1.xlarge --instance-count 3 --termination-protected \
--bootstrap-actions Path=s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-hbase-daemons,\
Args=["--hbase-zookeeper-opts=-Xmx1024m -XX:GCTimeRatio=19","--hbase-master-opts=-Xmx2048m","--hbase-regionserver-opts=-Xmx4096m"]
```

HBase サイト設定を指定する

Amazon EMR には、HBase の設定変更に使用できるブートストラップアクション `s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-hbase` が用意されています。設定値はブートストラップアクションで引数として 1 つずつ設定するか、Amazon S3 で XML 設定ファイルの場所を指定します。少しの設定を行えばいいだけの場合は、設定値を 1 つずつ設定する方が便利です。追加する変更が多数ある場合、または再利用できるよう設定を保存したい場合は、XML ファイルを使用して設定することをお勧めします。

> **Note**
>
> Amazon S3 バケット名には、`s3://region.elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-hbase` のようにリージョンプレフィックスを付けることができます。*region* は、HBase クラスターを起動するリージョンです。

このブートストラップアクションでは、HBase クラスターの `/home/hadoop/conf/hbase-site.xml` 設定ファイルが変更されます。ブートストラップアクションは、HBase クラスターの起動時にのみ実行できます。

設定可能な HBase サイト設定の詳細については、HBase のドキュメントの「[Default configuration]」を参照してください。

HBase クラスターの起動時に `configure-hbase` ブートストラップアクションを設定し、`hbase-site.xml` で変更する値を指定します。

を使用して個々の HBase サイト設定を指定するには AWS CLI

- `hbase.hregion.max.filesize` 設定を変更するには、次のコマンドを入力し、*myKey* を Amazon EC2 キーペアの名前に置き換えます。

  > **Note**
  >
  > 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

  ```
  aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.3 \
  ```

```
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig Name=HBase \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type c1.xlarge --instance-count 3 --termination-protected \
--bootstrap-actions Path=s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-
hbase,Args=["-s","hbase.hregion.max.filesize=52428800"]
```

を使用して XML ファイルで HBase サイト設定を指定するには AWS CLI

1. カスタムバージョンの `hbase-site.xml` を作成します。カスタムファイルは有効な XML である必要があります。エラーが発生する可能性を少なくするには、`/home/hadoop/conf/hbase-site.xml` の Amazon EMR HBase マスターノードにある `hbase-site.xml` のデフォルトのコピーから開始し、そのファイルのコピーを編集します。ファイルをゼロから作成する必要はありません。新しいファイルに新しい名前を付けるか、`hbase-site.xml` をそのまま使用します。
2. カスタム `hbase-site.xml` ファイルを Amazon S3 バケットにアップロードします。クラスターを起動する AWS アカウントが ファイルにアクセスできるように、アクセス許可を設定する必要があります。クラスターを起動する AWS アカウントが Amazon S3 バケットも所有している場合は、 にアクセスできます。
3. HBase クラスターの起動時に configure-hbase ブートストラップアクションを設定し、カスタム `hbase-site.xml` ファイルの場所を含めます。次の例では、HBase サイト設定の値を、`s3://amzn-s3-demo-bucket/my-hbase-site.xml` で指定した値に設定しています。次のコマンドを入力し、*`myKey`* を EC2 キーペアの名前に置き換え、*`amzn-s3-demo-bucket`* を Amazon S3 バケットの名前に置き換えます。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.3 \
        --applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig Name=HBase \
        --use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
        --instance-type c1.xlarge --instance-count 3 --termination-protected \
        --bootstrap-actions Path=s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-
hbase,Args=["--site-config-file","s3://amzn-s3-demo-bucket/config.xml"]
```

複数のオプションを指定して HBase オペレーションをカスタマイズする場合は、次の例に示すように、各キーと値のペアの前に -s オプションスイッチを追加する必要があります。

```
        --bootstrap-actions s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-
hbase,Args=["-s","zookeeper.session.timeout=60000"]
```

プロキシセットと SSH 接続が開いている場合、HBase UI を表示するには、ブラウザウィンドウで http://*master-public-dns-name*:60010/master-status を開きます。*master-public-dns-name* は、HBase クラスターのマスターノードのパブリック DNS アドレスです。

現在の HBase ログを表示するには、SSH を使用してマスターノードに接続し、`mnt/var/log/hbase` ディレクトリに移動します。これらのログは、クラスターの起動時に Amazon S3 へのログを有効にしない限り、クラスター終了後に使用できなくなります。

HBase をバックアップおよび復元する

Amazon EMR には、手動または自動化されたスケジュールに従って、HBase データを Amazon S3 にバックアップする機能が用意されています。完全バックアップと増分バックアップの両方を実行できます。HBase データのバックアップバージョンを作成した後、そのバージョンを HBase クラスターに復元できます。復元は現在実行中の HBase クラスターに対して行うことができます。また、バックアップされたデータが設定されたクラスターを新しく作成することもできます。

バックアップ処理中も、HBase は書き込みコマンドを実行し続けます。これにより、バックアップ中もクラスターを使用し続けることができますが、バックアップ中のデータと、並行して実行されている書き込みオペレーションとの間に不整合が発生するリスクがあります。発生する可能性がある不整合について理解するには、HBase では、書き込みオペレーションがクラスター内のノード全体に分散されるという点を考慮する必要があります。特定のノードがポーリングされた後、書き込みオペレーションが発生すると、そのデータはバックアップアーカイブに保存されません。HBase クラスターへの以前の書き込み（既にポーリングされたノードに送信された書き込み）がバックアップアーカイブに含まれない可能性がある一方で、それより後の書き込み（ポーリングされる前のノードに送信された書き込み）がアーカイブに保存されることもあります。

整合性のあるバックアップが必要な場合は、バックアップ処理の初期段階であるノード同期中に、HBase への書き込みを一時停止する必要があります。これを行うには、バックアップをリクエストするときに `--consistent` パラメータを指定します。このパラメータが指定されている場合は、この期間中の書き込みがキューに入れられ、同期が完了するとすぐに実行されます。定期バック

アップをスケジュールすることもできます。これにより徐々に発生する不整合が解決されます。あるバックアップパスで逃したデータが、次のパスでバックアップされるからです。

HBase データをバックアップするときに、クラスターごとにさまざまなバックアップディレクトリを指定する必要があります。これを簡単に行うには、クラスター識別子を、バックアップディレクトリに指定されたパスの一部として使用します。例えば、`s3://amzn-s3-demo-bucket/backups/j-3AEXXXXXX16F2`。これにより、以降のすべての差分バックアップが適切な HBase クラスターを参照するようになります。

不要になった古いバックアップファイルを削除する準備ができたら、まず HBase データの完全バックアップを行うことをお勧めします。これによりすべてのデータが保存されます。このデータは、その後の差分バックアップのベースとして使用できます。完全バックアップが完了した後、バックアップの場所に移動し、古いバックアップファイルを手動で削除できます。

HBase バックアップ処理では、一時ファイルの格納スペースに特定の制限がある S3DistCp をコピー操作に使用します。

コンソールを使用して HBase をバックアップおよび復元する

コンソールを使用すると、新しいクラスターを起動して、以前の HBase バックアップのデータを入力することができます。また、HBase データの定期差分バックアップをスケジュールすることもできます。追加のバックアップおよび復元機能、たとえば、既に実行中のクラスターにデータを復元したり、手動バックアップを行ったり、自動完全バックアップをスケジュールしたりする機能は、CLI で使用できます。

コンソールを使用して、アーカイブされた HBase データを新しいクラスターに指定するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [クラスターを作成] を選択してください。
3. [Software Configuration] セクションの [Additional Applications] で、[HBase] と [Configure and add] を選択します。
4. [Add Application] ダイアログボックスで、[Restore From Backup] チェックボックスをオンにします。
5. [Backup Location] (バックアップの場所) で、新しい HBase クラスターにロードするバックアップの場所を指定します。ここには、Amazon S3 URL を `s3://amzn-s3-demo-bucket/backups/` という形式で指定する必要があります。

6. [Backup Version] では、値を設定して、ロードするバックアップバージョンの名前を指定するオプションがあります。[バックアップバージョン] に値を設定しない場合は、指定した場所にある最新のバックアップが Amazon EMR によってロードされます。
7. [Add] を選択して、必要に応じたオプションによるクラスターの作成に進みます。

コンソールを使用して HBase データの自動バックアップをスケジュールするには

1. [Software Configuration] セクションの [Additional Applications] で、[HBase] と [Configure and add] を選択します。
2. [Schedule Regular Backups] を選択します。
3. バックアップの整合性を確保するかどうかを指定します。バックアップの整合性とは、バックアップ処理の初期段階であるノード同期中に、書き込みオペレーションを一時停止することです。つまり、一時停止された書き込みオペレーションはすべてキューに置かれ、同期が完了したら再開されます。
4. バックアップの頻度を設定します。それには、[Backup Frequency] に数値を入力し、[Days]、[Hours]、または [Minutes] を選択します。最初に実行される自動バックアップは完全バックアップです。その後、指定したスケジュールに基づき、差分バックアップが Amazon EMR によって保存されます。
5. バックアップを保存する Amazon S3 内の場所を指定します。差分バックアップが適切に判断されるように、HBase クラスターをそれぞれ Amazon S3 内の別々の場所にバックアップする必要があります。
6. [Backup Start Time] で、バックアップを最初に行うタイミングの値を指定します。これを now に設定した場合、クラスターが実行されると直ちに最初のバックアップが行われます。または、日付と時刻を ISO 形式で入力します。たとえば、「2013-09-26T20:00Z」と入力すると、開始時間が 2013 年 9 月 26 日午後 8 時 (UTC) に設定されます。
7. [Add] (追加) を選択します。
8. 必要に応じて他のオプションを指定し、クラスターの作成を進めます。

CloudWatch を使用して HBase をモニタリングする

Amazon EMR は、HBase バックアップのモニタリングに使用できる 3 つのメトリクスを CloudWatch に報告します。これらのメトリクスは CloudWatch に 5 分間隔でプッシュされ、料金はかかりません。

メトリクス	説明
HBaseBackupFailed	前回のバックアップに失敗したかどうか。デフォルトでは 0 に設定されており、前回のバックアップが失敗した場合は 1 に更新されます。このメトリクスは、HBase クラスターについてのみ報告されます。 ユースケース: HBase バックアップを監視する 単位: Count
HBaseMostRecentBackupDuration	前回のバックアップが完了するのにかかった時間。このメトリクスは、前回完了したバックアップが成功したか失敗したかに関係なく設定され、このメトリクスは、バックアップの進行中に、バックアップが開始してからの分数を返します。このメトリクスは、HBase クラスターについてのみ報告されます。 ユースケース: HBase バックアップを監視する 単位: Minutes
HBaseTimeSinceLastSuccessfulBackup	クラスターで前回成功した HBase バックアップが開始してから経過した分数。このメトリクスは、HBase クラスターについてのみ報告されます。 ユースケース: HBase バックアップを監視する 単位: Minutes

HBase の Ganglia の設定

configure-hbase-for-ganglia ブートストラップアクションを使用して、HBase に対して Ganglia を設定できます。このブートストラップアクションは、Ganglia にメトリクスを発行するように HBase を設定します。

クラスターを起動するときは、HBase と Ganglia を設定する必要があります。Ganglia のレポートを、実行中のクラスターに追加することはできません。

Ganglia では、`/mnt/var/log/ganglia/rrds` のサーバーにもログファイルを格納します。ログファイルが Amazon S3 バケットに保存されるようにクラスターを設定した場合は、Ganglia ログファイルも同様に同じ場所に保存されます。

HBase の Ganglia でクラスターを起動するには、次の例に示すように、[configure-hbase-for-ganglia] ブートストラップアクションを使用します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --ami-version 3.3 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig Name=HBase Name=Ganglia \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type c1.xlarge --instance-count 3 --termination-protected \
--bootstrap-actions Path=s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/configure-hbase-for-
ganglia
```

Ganglia を設定してクラスターを起動した後は、マスターノードで実行中のグラフィカルインターフェイスを使用して、Ganglia のグラフやレポートにアクセスできます。

Amazon EMR の以前の AMI バージョンの Pig アプリケーションの仕様。

サポートされている Pig のバージョン

クラスターに追加できる Pig のバージョンは、使用している Amazon EMR AMI のバージョンと Hadoop のバージョンによって決まります。次の表に、各バージョンの Pig と互換性のある AMI のバージョンおよび Hadoop のバージョンを示します。パフォーマンスの向上と新機能のメリットを受けられるように、最新バージョンの Pig を使用することをお勧めします。

API を使用して Pig をインストールする場合、RunJobFlow のコール中に Pig をクラスターにロードするステップに `--pig-versions` を引数として指定しない限り、デフォルトバージョンが使用されます。

Pig のバージョン	AMI のバージョン	設定パラメータ	Pig のバージョンの詳細

0.12.0
[リリースノート]
[ドキュメント]
	3.1.0 以降	`--ami-version 3.1`
		`--ami-version 3.2`
		`--ami-version 3.3`
			以下のサポートが追加されています。
			• JVM 実装を使用しない UDF のストリーミング
			• ASSERT 演算子と IN 演算子
			• CASE 式
			• Pig 組み込み関数としての AvroStorage
			• 組み込み関数としての ParquetLoader と ParquetStorer
			• BigInteger 型と BigDecimal 型

0.11.1.1 [リリースノート] [ドキュメント]	2.2 以降	`--pig-versions 0.11.1.1` `--ami-version 2.2`	Amazon S3 に入力が存在する場合、PigStorage で LOAD コマンドのパフォーマンスを向上させます。
0.11.1 [リリースノート] [ドキュメント]	2.2 以降	`--pig-versions 0.11.1` `--ami-version 2.2`	JDK 7、Hadoop 2、Groovy ユーザー定義関数、SchemaTuple 最適化、新しい演算子などのサポートを追加します。詳細については、「[Pig 0.11.1]

Pig のバージョン	AMI のバージョン	設定パラメータ	Pig のバージョンの詳細
			change log」を参照してください。
0.9.2.2 リリースノート ドキュメント	2.2 以降	`--pig-versions 0.9.2.2` `--ami-version 2.2`	Hadoop 1.0.3 のサポートを追加。
0.9.2.1 リリースノート ドキュメント	2.2 以降	`--pig-versions 0.9.2.1` `--ami-version 2.2`	MapR のサポートを追加。
0.9.2 リリースノート ドキュメント	2.2 以降	`--pig-versions 0.9.2` `--ami-version 2.2`	いくつかのパフォーマンス向上とバグ修正が行われています。Pig 0.9.2 での変更に関する情報については、「Pig 0.9.2 change log」を参照してください。
0.9.1 リリースノート ドキュメント	2.0	`--pig-versions 0.9.1` `--ami-version 2.0`	
0.6 リリースノート	1.0	`--pig-versions 0.6` `--ami-version 1.0`	

Pig のバージョン	AMI のバージョン	設定パラメータ	Pig のバージョンの詳細
0.3 [リリースノート](#)	1.0	`--pig-versions 0.3` `--ami-version 1.0`	

Pig のバージョンの詳細

Amazon EMR では、追加の Amazon EMR パッチが適用される場合がある特定の Pig リリースをサポートします。Amazon EMR クラスターで実行する Pig のバージョンを設定することができます。これを行う方法については、「Apache Pig」を参照してください。以下のセクションでは、Pig の各バージョン、および Amazon EMR にロードされたバージョンに適用されるパッチについて説明します。

Pig 向けパッチ

このセクションでは、Amazon EMR で使用可能な Pig バージョンに適用されるカスタムパッチについて説明します。

Pig 0.11.1.1 向けパッチ

Amazon EMR バージョンの Pig 0.11.1.1 はメンテナンスリリースであり、Amazon S3 に入力が存在する場合、PigStorage で LOAD コマンドのパフォーマンスを向上させます。

Pig 0.11.1 向けパッチ

Amazon EMR バージョンの Pig 0.11.1 には、Apache Software Foundation が提供するすべての更新と Pig バージョン 0.9.2.2 からの累積 Amazon EMR パッチが含まれます。ただし、Pig 0.11.1 には Amazon EMR 固有の新しいパッチはありません。

Pig 0.9.2 向けパッチ

Apache Pig 0.9.2 は、Pig のメンテナンスリリースです。Amazon EMR チームは今までに、Amazon EMR バージョンの Pig 0.9.2 に以下のパッチを適用しています。

パッチ	説明
PIG-1429	Pig に Boolean データタイプを第 1 クラスデータタイプとして追加。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-1429 を参照してください。 ステータス: コミット済み Fixed in Apache Pig Version: 0.10
PIG-1824	Jython UDF でインポートモジュールをサポート。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-1824 を参照してください。 ステータス: コミット済み Fixed in Apache Pig Version: 0.10
PIG-2010	登録済みの JAR を分散キャッシュにバンドル。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-2010 を参照してください。 ステータス: コミット済み Fixed in Apache Pig Version: 0.11
PIG-2456	ユーザーがデフォルトの Pig ステートメントを指定できる ~/.pigbootup ファイルを追加。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-2456 を参照してください。 ステータス: コミット済み Fixed in Apache Pig Version: 0.11
PIG-2623	Amazon S3 パスを使用した UDF の登録をサポート。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-2623 を参照してください。 ステータス: コミット済み

パッチ	説明
	修正対象の Apache Pig のバージョン: 0.10、0.11

Pig 0.9.1 向けパッチ

Amazon EMR チームは今までに、Amazon EMR バージョンの Pig 0.9.1 に以下のパッチを適用しています。

パッチ	説明
dfs での JAR ファイルと Pig スクリプトのサポート	HDFS、Amazon S3 などの分散ファイルシステムに格納されているスクリプトの実行および JAR ファイルの登録をサポートする機能追加。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-1505 を参照してください。 ステータス: コミット済み Fixed in Apache Pig Version: 0.8.0
Pig における複数のファイルシステムのサポート	あるファイルシステムから読み取ったデータを別のファイルシステムに書き込む Pig スクリプトに対するサポートを追加。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-1564 を参照してください。 ステータス: 未コミット 修正対象の Apache Pig バージョン: n/a
Piggybank の datetime および string UDF の追加	カスタムの Pig スクリプトをサポートするために datetime および string UDF を追加。詳細については、https://issues.apache.org/jira/browse/PIG-1565 を参照してください。 ステータス: 未コミット 修正対象の Apache Pig バージョン: n/a

インタラクティブおよびバッチ Pig クラスター

Amazon EMR では、Pig のスクリプトを次の 2 つのモードで実行できます。

- インタラクティブ
- バッチ

コンソールまたは を使用して長時間実行されるクラスターを起動する場合 AWS CLI、 sshを Hadoop ユーザーとしてマスターノードに接続し、Grunt シェルを使用して Pig スクリプトをインタラクティブに開発および実行できます。Pig をインタラクティブに使用すると、バッチモードよりも簡単に Pig スクリプトを変更できます。インタラクティブモードで Pig スクリプトの変更が完了したら、そのスクリプトを Amazon S3 にアップロードし、バッチモードを使用してスクリプトを本稼働環境で実行できます。また、実行中のクラスターで Pig コマンドをインタラクティブに送信し、必要に応じてデータの分析や変換を行うことができます。

バッチモードでは、Pig スクリプトを Amazon S3 にアップロードし、クラスターにステップとして作業を送信します。Pig ステップは、長時間稼働クラスターまたは一時的なクラスターに送信できます。

Amazon EMR の以前の AMI バージョンの Spark アプリケーションの仕様。

Spark のインタラクティブな使用またはバッチモードでの使用

Amazon EMR では、Spark アプリケーションを次の 2 つのモードで実行できます。

- インタラクティブ
- バッチ

コンソールまたは を使用して長時間実行されるクラスターを起動する場合 AWS CLI、SSH を使用して Hadoop ユーザーとしてマスターノードに接続し、Spark シェルを使用して Spark アプリケーションをインタラクティブに開発および実行できます。Spark をインタラクティブに使用すると、Spark アプリケーションのプロトタイプ作成やテストをバッチ環境より簡単に行うことができます。Spark アプリケーションをインタラクティブモードで正常に変更したら、そのアプリケーションの JAR または Python プログラムを、Amazon S3 上のクラスターのマスターノードに対してローカルにあるファイルシステムに配置できます。その後、アプリケーションをバッチワークフローとして送信できます。

バッチモードで、Spark スクリプトを Amazon S3 またはローカルマスターノードファイルシステムにアップロードした後、作業をクラスターにステップとして送信します。Spark ステップは、長時間稼働クラスターまたは一時的なクラスターに送信できます。

Spark がインストールされたクラスターの作成

コンソールを使用し、Spark がインストールされた状態でクラスターを起動するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [クラスターを作成] を選択してください。
3. [Software Configuration] (ソフトウェア設定) で、必要な AMI リリースバージョンを選択します。
4. [Applications to be installed] で、リストから [Spark] を選択してから、[Configure and add] を選択します。
5. 必要に応じて引数を追加して Spark 設定を変更します。詳細については、「Spark の設定」を参照してください。[Add] (追加) を選択します。
6. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

次の例は、Java を使用した Spark のあるクラスターを作成する方法を示します。

```
AmazonElasticMapReduceClient emr = new AmazonElasticMapReduceClient(credentials);
SupportedProductConfig sparkConfig = new SupportedProductConfig()
   .withName("Spark");

RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
   .withName("Spark Cluster")
   .withAmiVersion("3.11.0")
   .withNewSupportedProducts(sparkConfig)
   .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
    .withEc2KeyName("myKeyName")
    .withInstanceCount(1)
    .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(true)
    .withMasterInstanceType("m3.xlarge")
    .withSlaveInstanceType("m3.xlarge")
   );
RunJobFlowResult result = emr.runJobFlow(request);
```

Spark の設定

Github の awslabs/emr-bootstrap-actions/spark リポジトリにあるブートストラップアクションを実行してクラスターを作成するときに、Spark を設定します。ブートストラップアクションが受け入れる引数については、そのリポジトリの README を参照してください。ブートストラップアクションは `$SPARK_CONF_DIR/spark-defaults.conf` ファイルのプロパティを設定します。設定の詳細については、Spark ドキュメントで、Spark 設定トピックを参照してください。次の URL の「latest」を、インストールする Spark のバージョン番号 (たとえば、`2.2.0` http://spark.apache.org/docs/latest/configuration.html) に置き換えることができます。

各アプリケーションの送信時に、Spark を動的に設定することもできます。`spark` 設定ファイルを使用して、エグゼキュータのリソース割り当てを自動的に最大化する設定が使用できます。詳細については、「Spark のデフォルト設定の上書き」を参照してください。

Spark のデフォルト設定の変更

次の例は、 AWS CLIで `spark.executor.memory` を 2G に設定してクラスターを作成する方法を示します。

> Note
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Spark cluster" --ami-version 3.11.0 \
--applications Name=Spark, Args=[-d,spark.executor.memory=2G] --ec2-attributes
 KeyName=myKey \
--instance-type m3.xlarge --instance-count 3 --use-default-roles
```

Spark への作業の送信

作業をクラスターに送信するには、ステップを使用して EMR クラスターで `spark-submit` スクリプトを実行します。`addJobFlowSteps`AmazonElasticMapReduceClient で メソッドを使用してステップを追加します。

```
AWSCredentials credentials = new BasicAWSCredentials(accessKey, secretKey);
```

```
AmazonElasticMapReduceClient emr = new AmazonElasticMapReduceClient(credentials);
StepFactory stepFactory = new StepFactory();
AddJobFlowStepsRequest req = new AddJobFlowStepsRequest();
req.withJobFlowId("j-1K48XXXXXXHCB");

List<StepConfig> stepConfigs = new ArrayList<StepConfig>();

StepConfig sparkStep = new StepConfig()
 .withName("Spark Step")
 .withActionOnFailure("CONTINUE")
 .withHadoopJarStep(stepFactory.newScriptRunnerStep("/home/hadoop/spark/bin/spark-
submit","--class","org.apache.spark.examples.SparkPi","/home/hadoop/spark/lib/spark-
examples-1.3.1-hadoop2.4.0.jar","10"));

stepConfigs.add(sparkStep);
req.withSteps(stepConfigs);
AddJobFlowStepsResult result = emr.addJobFlowSteps(req);
```

Spark のデフォルト設定の上書き

Spark のデフォルト設定値をアプリケーションごとに上書きすることができます。これは、ステップを使用してアプリケーションを送信するとき (原則としてオプションが `spark-submit` に渡されます) に行うことができます。たとえば、`spark.executor.memory` を変更することで、実行プログラムのプロセスに割り当てられたメモリを変更することができます。次のような引数を含む `--executor-memory` スイッチを指定できます。

```
/home/hadoop/spark/bin/spark-submit --executor-memory 1g --class
 org.apache.spark.examples.SparkPi /home/hadoop/spark/lib/spark-examples*.jar 10
```

同様に、`--executor-cores` と `--driver-memory` を調整できます。ステップでは、次の引数をステップに指定できます。

```
--executor-memory 1g --class org.apache.spark.examples.SparkPi /home/hadoop/spark/lib/
spark-examples*.jar 10
```

さらに、`--conf` オプションを使用して、組み込みスイッチがない設定を調整することもできます。調整可能な他の設定の詳細については、Apache Spark ドキュメントの「[Spark プロパティの動的なロード]」を参照してください。

Amazon EMR の以前の AMI バージョンと S3DistCp ユーティリティの相違点

Amazon EMR でサポートされる S3DistCp バージョン

次の S3DistCp バージョンは、Amazon EMR AMI リリースでサポートされています。S3DistCp 1.0.7 以降のバージョンは、直接クラスターで見つかります。最新の機能を使用するには、`/home/hadoop/lib` の JAR を使用します。

バージョン	説明	リリース日
1.0.8	`--appendToLastFile` 、`--requirePreviousManifest` 、および `--storageClass` オプションを追加します。	2014 年 1 月 3 日
1.0.7	`--s3ServerSideEncryption` オプションの追加。	2013 年 5 月 2 日
1.0.6	`--s3Endpoint` オプションの追加。	2012 年 8 月 6 日
1.0.5	実行する S3DistCp バージョンを指定する機能の強化。	2012 年 6 月 27 日
1.0.4	`--deleteOnSuccess` オプションの強化。	2012 年 6 月 19 日
1.0.3	`--numberFiles` および `--startingIndex` オプションの追加。	2012 年 6 月 12 日
1.0.2	グループ使用時のファイル名前付け機能の強化。	2012 年 6 月 6 日
1.0.1	S3DistCp の初回リリース。	2012 年 1 月 19 日

S3DistCp コピーステップをクラスターに追加する

実行中のクラスターに S3DistCp コピーステップを追加するには、次のコマンドを入力し、*j-3GYXXXXXX9IOK* をクラスター ID に置き換えて、*amzn-s3-demo-bucket* を Amazon S3 バケット名に置き換えます。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-3GYXXXXXX9IOK \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="S3DistCp step",Jar=/home/hadoop/lib/emr-s3distcp-1.0.jar,
\
Args=["--s3Endpoint,s3-eu-west-1.amazonaws.com",\
"--src,s3://amzn-s3-demo-bucket/logs/j-3GYXXXXXX9IOJ/node/",\
"--dest,hdfs:///output",\
"--srcPattern,.*[a-zA-Z,]+"]
```

Example Amazon CloudFront ログを HDFS にロードする

この例では、実行中のクラスターにステップを追加して、Amazon CloudFront ログを HDFS にロードします。このプロセスでは、圧縮フォーマットを Gzip (CloudFront のデフォルト) から LZO に変更します。LZO を使用して圧縮されたデータは解凍時に複数のマップに分割できるので便利です。Gzip のように、圧縮が完了するのを待つ必要はありません。これにより、Amazon EMR を使用してデータを分析するときのパフォーマンスが改善します。また、この例では、`--groupBy` オプションで指定されている正規表現を使用して、指定された時間のすべてのログを 1 つのファイルにまとめることによっても、パフォーマンスが向上しています。Amazon EMR クラスターは、小さな Gzip 圧縮ファイルを多数処理するよりも、大きな数個の LZO 圧縮ファイルを処理する方が効率的に動作します。LZO ファイルを分割するには、それらのインデックスを作成して、hadoop-lzo サードパーティー製のライブラリを使用する必要があります。

Amazon CloudFront ログを HDFS にロードするには、次のコマンドを入力し、*j-3GYXXXXXX9IOK* をクラスター ID に置き換え、*amzn-s3-demo-bucket* を Amazon S3 バケット名に置き換えます。

Note

読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-3GYXXXXXX9IOK \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="S3DistCp step",Jar=/home/hadoop/lib/emr-s3distcp-1.0.jar,
\
Args=["--src,s3://amzn-s3-demo-bucket/cf","--dest,hdfs:///local",\
"--groupBy,.*XABCD12345678.([0-9]+-[0-9]+-[0-9]+-[0-9]+).*",\
"--targetSize,128",
"--outputCodec,lzo","--deleteOnSuccess"]
```

前述の例が、次の CloudFront ログファイルで実行された場合を考えてみてください。

```
s3://amzn-s3-demo-bucket/cf/XABCD12345678.2012-02-23-01.HLUS3JKx.gz
s3://amzn-s3-demo-bucket/cf/XABCD12345678.2012-02-23-01.I9CNAZrg.gz
s3://amzn-s3-demo-bucket/cf/XABCD12345678.2012-02-23-02.YRRwERSA.gz
s3://amzn-s3-demo-bucket/cf/XABCD12345678.2012-02-23-02.dshVLXFE.gz
s3://amzn-s3-demo-bucket/cf/XABCD12345678.2012-02-23-02.LpLfuShd.gz
```

S3DistCp は、ファイルを、次の 2 つのファイルにコピー、統合、および圧縮します。ファイル名は、正規表現で一致した内容によって決まります。

```
hdfs:///local/2012-02-23-01.lzo
hdfs:///local/2012-02-23-02.lzo
```

最新情報

このページでは、Amazon EMR 7.x、6.x、5.x の最新リリースで提供する変更点と機能について説明します。

これらのリリースノートは、各リリースのアプリケーションバージョン、コンポーネントバージョン、使用可能な設定分類とともに、Amazon EMR 7.9.0、Amazon EMR 6.15.0、および Amazon EMR 5.36.2 ページでも利用できます。

- これ以前のリリースのリリースノートについては、「Amazon EMR リリースノートのアーカイブ」を参照してください。
- 新しい Amazon EMR リリースが利用可能になったときに更新を取得するには、Amazon EMR リリースノートの RSS フィードにサブスクライブします。

> **Note**
>
> Amazon EMR のそれ以降のリリースでは、 AWS 署名バージョン 4 (SigV4) を使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。SigV4 をサポートする Amazon EMR リリースを使用することをお勧めします。これにより、新しい S3 バケットにアクセスでき、ワークロードの中断を回避できます。SigV4 をサポートする Amazon EMR リリースの詳細とリストについては、「Amazon EMR と AWS 署名バージョン 4」を参照してください。

Amazon EMR 7.9.0 (7.x シリーズの最新リリース)

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 7.9.0 に関する情報が含まれています。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 7.9.0 application upgrades include AWS SDK for Java 2.31.16/1.12.782, Delta 3.3.0-amzn-1, Hadoop 3.4.1, Hudi 0.15.0-amzn-6, Iceberg 1.7.1-amzn-2, Spark 3.5.5, and Zookeeper 3.9.3。

- 永続アプリケーション UI の CM-CMK サポート – この機能は、カスタマーマネージドカスタムマスターキー (CM-CMK) を尊重するために、EMR サービスバケットで管理されるログに適用される SSE 暗号化を拡張します。この機能を使用すると、お客様はクラスターの終了後にログのアクセシビリティを管理できます。

既知の問題

- EC2 上の EMR のログ記録オプションが無効になっている場合、クラスターの終了後にログは使用できず、永続アプリケーション UIsにはログが含まれません。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- Oozie の非推奨 – OSS Oozie がアティックモードになったため、Apache Oozie を含む最後のリリースは Amazon EMR リリース 7.9 です。Apache Oozie は Amazon EMR リリース 7.10 以降のリリースから削除されます。Oozie の代わりに MWAA を使用することをお勧めします。お客様は GitHub のユーティリティ oozie-to-airflow-emr を参照して、既存の Oozie ワークフローを MWAA に移行できます。
- YARN コンテナビンパッキング – Amazon EMR バージョン 7.9.0 以降、YARN のマルチノード配置ポリシー上に構築された YARN キャパシティスケジューラでコンテナビンパッキングポリシーが利用可能になりました。
- hudi-cli.sh – hudi-cli.sh スクリプトは EMR リリース 7.9.0 以降で廃止されました。Amazon EMR リリース 7.9.0 以降では、hudi-cli-bundle.jar を使用しています。
- FIPS 対応 AL2023 AMI 上の EMR クラスター – EMR 7.9 以降、お客様は FIPS 対応 AL2023 AMI で EMR クラスターを起動できます。この変更により、EMR のデジタル署名とハッシュアルゴリ

ズムが更新され、すべての EMR パッケージが FIPS 140-3 の推奨暗号化ポリシーに準拠していることが保証されます。注: EMR または AL2023 の FIPS 認定ステータスは対象外です。FIPS 140-3 検証ステータスに関する最新情報については、AL2023 FIPS に関するよくある質問を参照してください。

- ステッププレイテンシー – このリリースでは、インストールする Hadoop アプリケーションを明示的に選択せずに、転送中の暗号化を使用する場合にステッププレイテンシーが増加する問題を解決します。
- EBS で暗号化されたボリュームを使用したクラスターの起動 – このリリースでは、EBS で暗号化されたボリュームに対する KMS 呼び出しにより EMR クラスターの起動が失敗する問題を修正しました。
-

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0609.0	6.1.140-154.222.amzn2023	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 欧州 (ロンドン）、、 アジアパシフィック (メルボルン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 527.1	6.1.134-152.225.amzn2023	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 7 月 2025 日 0331.0	6.1.131-143.221.amzn2023	2025 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)、 アジアパシフィック (東京)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 303.0	6.1.129-138.220.amzn2023	2025 年 3 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 218.2	6.1.128-136.201.amzn2023	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2023 年 6 月 2025 日 0211.0	6.1.127-135.201.amzn2023	2025 年 2 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏) アジアパシ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (ハイデラバード)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 メキシコ (中部)

Amazon EMR 6.15.0 (6.x シリーズの最新リリース)

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.15.0 に関する情報が含まれています。6.14.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.15.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- アプリケーションのアップグレード - Amazon EMR 6.15.0 application upgrades include Apache Hadoop 3.3.6, Apache Hudi 0.14.0-amzn-0, Iceberg 1.4.0-amzn-0, and Trino 426.

- EC2 で実行される EMR クラスターの起動時間の短縮 - EC2 クラスターでの Amazon EMR の起動が最大 35% 速くなりました。この改善により、お客様の大多数はクラスターを 5 分以内に起動できます。
- EMR Studio 用 CodeWhisperer - Amazon EMR Studio で Amazon CodeWhisperer を使用すると、JupyterLab でコードを作成する際にリアルタイムで推奨事項を取得できるようになりました。CodeWhisperer により、コメントを完成させたり、1 行のコードを完成させたり、1 行ずつ推奨を行ったり、完全な形式の関数を生成したりできます。
- Flink によるジョブの再起動時間の短縮 - Amazon EMR 6.15.0 以降では、Apache Flink にいくつかの新しいメカニズムが用意され、タスクの回復またはスケーリング操作中のジョブの再起動時間を短縮できます。これにより、実行グラフの回復と再開の速度を最適化してジョブの安定性を高めることができます。
- オープンテーブル形式のテーブルレベルおよびきめ細かなアクセスコントロール – Amazon EMR 6.15.0 以降では、 AWS Glue Data Catalog のデータにアクセスする EC2 クラスターで Amazon EMR で Spark ジョブを実行すると、 AWS Lake Formation を使用して Hudi、Iceberg、または Delta Lake ベースのテーブルにテーブル、行、列、およびセルレベルのアクセス許可を適用できます。
- Hadoop のアップグレード - Amazon EMR 6.15.0 には、Apache Hadoop のバージョン 3.3.6 へのアップグレードが含まれています。Hadoop 3.3.6 は、2023 年 6 月にアパッチによってリリースされた Amazon EMR 6.15 のデプロイ時の最新バージョンでした。Amazon EMR の以前のリリース (6.9.0 から 6.14.x) では Hadoop 3.3.3 が使用されていました。

  このアップグレードには数百の改善と修正が含まれており、再構成可能なデータノードパラメータ、すべてのライブデータノードで一括再構成操作を開始する `DFSAdmin` オプション、シーク負荷の高いリーダーが複数の読み取り範囲を指定できるベクトル API などの機能が含まれています。Hadoop 3.3.6 では、HBase が他のストレージシステム実装でも実行できるように、HDFS API と先行書き込みログ (WAL) のセマンティクスのサポートも追加されています。詳細については、「Apache Hadoop ドキュメント」のバージョン 3.3.4、3.3.5、3.3.6 の変更ログを参照してください。
- AWS SDK for Java バージョン 2 のサポート - アプリケーションが v2 をサポートしている場合は、Amazon EMR 6.15.0 アプリケーションは AWS SDK for Java バージョン 1.12.569 または 2.20.160 を使用できます。 AWS SDK for Java 2.x は、バージョン 1.x コードベースの大幅な書き換えです。今回のバージョンは Java 8 以降をベースに構築されており、これまで要望の声が高かった機能が複数追加されています。このバージョンでは、ノンブロッキング I/O がサポートされており、ランタイム時にさまざまな HTTP 実装をプラグインすることができます。SDK for Java v1 から v2 への移行ガイドを含めた詳細については、AWS SDK for Java バージョン 2 ガイドを参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- 高可用性 EMR クラスターを改善するため、このリリースでは、IPv6 エンドポイントを使用するローカルホスト上の Amazon EMR デーモンへの接続が可能になりました。
- このリリースでは、TLS 1.2 が高可用性クラスターのすべてのプライマリノードにプロビジョニングされた ZooKeeper と通信できるようになります。
- このリリースでは、プライマリノードで管理される ZooKeeper トランザクションログファイルの管理が改善され、ログファイルが範囲外になり、クラスターの操作が中断されるシナリオを最小限に抑えることができます。
- このリリースにより、高可用性 EMR クラスターのノード内通信の回復力が高まりました。この改善により、ブートストラップアクションが失敗したり、クラスターの起動に失敗したりする可能性が低くなります。
- Amazon EMR 6.15.0 の Tez では、入力スプリットを Tez グループ分割で非同期的に開くように指定できる設定が導入されています。これにより、1 つの Tez グループ分割で多数の入力分割がある場合に、読み取りクエリのパフォーマンスが向上します。詳細については、「Tez 非同期スプリットオープン」を参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ) メキシコ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) 中東 (アラ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (マレーシア）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 101.0	4.14.327	2023 年 11 月 13 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)、

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

Amazon EMR 5.36.2 (5.x シリーズの最新リリース)

新しい Amazon EMR リリースは、特定のリージョンで最初に利用可能になり、その後数日で、他のリージョンでも利用できるようになります。この期間中、お客様のリージョンで最新のリリースバージョンが利用できない場合があります。

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.36.2 に関する情報が含まれています。5.36.1 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、Amazon EMR がクラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回ってコアノードをスケールダウンしなくなりました。この改善によりデータの冗長性要件が満たされ、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に実行するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- Amazon EMR がコアノードを正常に廃止し、完全に廃止される前に異常になる間に、クラスターのスケールダウン操作が停止する問題を修正しました。

- Amazon EMR が 1 つのノードを再起動すると、複数のプライマリノードを持つ高可用性クラスター内のノードの安定性が向上します。
- Amazon EC2 で実行されている Amazon EMR でのログ管理が最適化されています。その結果、クラスターログのストレージコストがわずかに削減される可能性があります。
- プライマリノードで管理される ZooKeeper トランザクションログファイルの管理が改善され、ログファイルが範囲外になり、クラスターの操作が中断されるシナリオを最小限に抑えることができます。
- Yarn ResourceManager と通信できないために、複数のプライマリノードを持つ高可用性クラスターが失敗する可能性のあるまれなバグを修正しました。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			バード）、 米国東部 (バージニア北部）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパ

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			シフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京) 中国 (寧夏) 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、イスラエル (テルアビブ）カナダ西部 (カルガリー）欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 503.0	4.14.343	2024 年 xxxxxx	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

Amazon EMR と AWS 署名バージョン 4

Amazon EMR リリースでは、 AWS 署名バージョン 4 (SigV4) を使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。2020 年 6 月 24 日以降に Amazon S3 で作成されたバケットは、Signature Version 2 (SigV2) によって署名されたリクエストをサポートしていません。2020 年 6 月 24 日以前に作成されたバケットは、引き続き SigV2 をサポートします。SigV4 をサポートする Amazon EMR リリースに移行することをお勧めします。これにより、新しい S3 バケットにアクセスでき、ワークロードの中断を回避できます。

Apache Spark、Apache Hive、Presto など、Amazon EMR に含まれるアプリケーションを使用している場合、SigV4 を使用するようにアプリケーションコードを変更する必要はありません。Amazon EMR に含まれていないカスタムアプリケーションを使用している場合は、SigV4 を使用するようにコードを更新する必要があるかもしれません。詳細については、「Amazon S3 ユーザーガイド」の「Signature バージョン 2 から Signature バージョン 4 への移行」を参照してください。

以下の Amazon EMR リリースは、SigV4 をサポートしています (emr-4.7.4, emr-4.8.5, emr-4.9.6, emr-4.10.1, emr-5.1.1, emr-5.2.3, emr-5.3.2, emr-5.4.1, emr-5.5.4, emr-5.6.1, emr-5.7.1, emr-5.8.3, emr-5.9.1, emr-5.10.1, emr-5.11.4, emr-5.12.3, emr-5.13.1, emr-5.14.2, emr-5.15.1, emr-5.16.1, emr-5.17.2, emr-5.18.1, emr-5.19.1, emr-5.20.1, emr-5.21.2, and emr-5.22.0 and higher)。6.x と 7.x のすべてのリリースが SigV4 をサポートしています。

CVE-2021-44228 を軽減するためのアプローチ

> **Note**
>
> Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Amazon EMR によってインストールされ、Log4j ライブラリを使用するすべてのコンポーネントは Log4j バージョン 2.17.1 以降を使用します。

EC2 で実行されている Amazon EMR

CVE-2021-44228 で説明されている問題は、信頼できないソースからの入力を処理する場合の Apache Log4j コアバージョン 2.0.0 から 2.14.1 までに関係するものです。5.34.0 までの Amazon EMR 5.x リリースと Amazon EMR 6.5.0 までの EMR 6.x リリースで起動された Amazon EMR クラスターには、これらのバージョンの Apache Log4j を使用する、Apache Hive、Flink、HUDI、Presto、Trino などのオープンソースフレームワークが含まれています。ただし、多くのお客様は、Amazon EMR クラスターにインストールされているオープンソースフレームワークを使用して、信頼できないソースからの入力を処理し、ログ記録しています。

以下のセクションで説明するように、「Log4j CVE-2021-44228 用 Amazon EMR ブートストラップアクションソリューション」を適用することをお勧めします。このソリューションは CVE-2021-45046 にも対応しています。

> **Note**
>
> Amazon EMR のブートストラップアクションスクリプトは 2022 年 9 月 7 日に更新され、Oozie の段階的なバグ修正と改善が含まれています。Oozie を使用する場合は、以下のセクションで説明する更新された Amazon EMR ブートストラップアクションソリューションを適用する必要があります。

Amazon EMR on EKS

Amazon EMR on EKS をデフォルト設定で使用する場合、CVE-2021-44228 で説明されている問題の影響を受けず、「Log4j CVE-2021-44228 および CVE-2021-45046 用 Amazon EMR ブートストラップアクションソリューション」セクションで説明されているソリューションを適用する必要もありません。Amazon EMR on EKS の場合、Spark の Amazon EMR ランタイムは Apache Log4j バージョン 1.2.17 を使用します。Amazon EMR on EKS を使用するときは、`log4j.appender` コンポーネントのデフォルト設定を `log` に変更しないでください。

Log4j CVE-2021-44228 および CVE-2021-45046 用 Amazon EMR ブートストラップアクションソリューション

このソリューションでは、Amazon EMR クラスターに適用する必要がある Amazon EMR ブートストラップアクションを提供します。以下に、Amazon EMR のリリースごとに、ブートストラップアクションスクリプトへのリンクが示してあります。このブートストラップアクションを適用するには、次の手順を完了する必要があります。

1. Amazon EMR リリースに対応するスクリプトを、 AWS アカウントのローカル S3 バケットにコピーします。お使いの Amazon EMR リリース固有のブートストラップスクリプトを使用していることを確認してください。
2. EMR ドキュメントに記載されている手順に従って、EMR クラスターのブートストラップアクションを設定し、S3 バケットにコピーされたスクリプトを実行します。EMR クラスターに他のブートストラップアクションが設定されている場合は、このスクリプトが、最初に実行するブートストラップアクションスクリプトとして設定されていることを確認してください。
3. 既存の EMR クラスターを終了し、ブートストラップアクションスクリプトを使用して新しいクラスターを起動します。 AWS は、テスト環境でブートストラップスクリプトをテストし、本

番環境に適用する前にアプリケーションを検証することをお勧めします。EMR マイナーリリースの最新リビジョン (6.3.0 など) を使用していない場合は、最新リビジョン (6.3.1 など) を使用し、前述のソリューションを適用する必要があります。

CVE-2021-44228 および CVE-2021-45046 - Amazon EMR リリース用ブートストラップスクリプト

Amazon EMR リリース番号	スクリプトの場所	スクリプトリリース日
6.5.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-6.5.0-v2.sh`	2022 年 3 月 24 日
6.4.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-6.4.0-v2.sh`	2022 年 3 月 24 日
6.3.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-6.3.1-v2.sh`	2022 年 3 月 24 日
6.2.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-6.2.1-v2.sh`	2022 年 3 月 24 日
6.1.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-6.1.1-v2.sh`	2021 年 12 月 14 日
6.0.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-6.0.1-v2.sh`	2021 年 12 月 14 日

Amazon EMR リリース番号	スクリプトの場所	スクリプトリリース日
5.34.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.34.0-v2.sh`	2021 年 12 月 12 日
5.33.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.33.1-v2.sh`	2021 年 12 月 12 日
5.32.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.32.1-v2.sh`	2021 年 12 月 13 日
5.31.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.31.1-v2.sh`	2021 年 12 月 13 日
5.30.2	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.30.2-v2.sh`	2021 年 12 月 14 日
5.29.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.29.0-v2.sh`	2021 年 12 月 14 日
5.28.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.28.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日

Amazon EMR リリース番号	スクリプトの場所	スクリプトリリース日
5.27.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.27.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.26.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.26.0-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.25.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.25.0-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.24.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.24.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.23.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.23.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.22.0	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.22.0-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.21.2	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.21.2-v2.sh`	2021 年 12 月 15日

Amazon EMR リリース番号	スクリプトの場所	スクリプトリリース日
5.20.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.20.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.19.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.19.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.18.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.18.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.17.2	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.17.2-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.16.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.16.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.15.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.15.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.14.2	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.14.2-v2.sh`	2021 年 12 月 15日

Amazon EMR リリース番号	スクリプトの場所	スクリプトリリース日
5.13.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.13.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.12.3	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.12.3-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.11.4	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.11.4-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.10.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.10.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.9.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.9.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.8.3	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.8.3-v2.sh`	2021 年 12 月 15日
5.7.1	`s3://elasticmapreduce/bootstrap-actions/log4j/patch-log4j-emr-5.7.1-v2.sh`	2021 年 12 月 15日

EMR リリースバージョン	2021 年 12 月現在の最新リビジョン
6.3.0	6.3.1
6.2.0	6.2.1
6.1.0	6.1.1
6.0.0	6.0.1
5.33.0	5.33.1
5.32.0	5.32.1
5.31.0	5.31.1
5.30.0 または 5.30.1	5.30.2
5.28.0	5.28.1
5.27.0	5.27.1
5.24.0	5.24.1
5.23.0	5.23.1
5.21.0 または 5.21.1	5.21.2
5.20.0	5.20.1
5.19.0	5.19.1
5.18.0	5.18.1
5.17.0 または 5.17.1	5.17.2
5.16.0	5.16.1
5.15.0	5.15.1
5.14.0 または 5.14.1	5.14.2

EMR リリースバージョン	2021 年 12 月現在の最新リビジョン
5.13.0	5.13.1
5.12.0、5.12.1、5.12.2	5.12.3
5.11.0, 5.11.1, 5.11.2, 5.11.3	5.11.4
5.9.0	5.9.1
5.8.0、5.8.1、5.8.2	5.8.3
5.7.0	5.7.1

よくある質問

- EMR 5 より古い EMR リリースは CVE-2021-44228 の影響を受けますか？

  いいえ。EMR リリース 5 より前の EMR リリースでは、2.0 より古い Log4j バージョンが使用されています。
- このソリューションは CVE-2021-45046 に対応していますか?

  はい。このソリューションは CVE-2021-45046 にも対応しています。
- このソリューションは、私が自分の EMR クラスターにインストールしたカスタムアプリケーションを処理しますか?

  ブートストラップスクリプトは、EMR によってインストールされた JAR ファイルのみを更新します。ブートストラップアクション、クラスターに送信されたステップ、カスタム Amazon Linux AMI の使用、またはその他のメカニズムを通じて、カスタムアプリケーションと JAR ファイルを EMR クラスターにインストールして実行する場合は、アプリケーションベンダーと協力して、カスタムアプリケーションが CVE-2021-44228 の影響を受けるかどうかを判断し、適切な解決策を決定してください。
- EMR on EKS を使用して、カスタマイズされた docker イメージをどのように処理すればよいですか?

  カスタマイズされた docker イメージを使用して Amazon EMR on EKS にカスタムアプリケーションを追加するか、カスタムアプリケーションファイルを使用して Amazon EMR on EKS に

ジョブを送信する場合は、アプリケーションベンダーと協力して、カスタムアプリケーションが CVE-2021-44228 の影響を受けるかどうかを判断し、適切な解決策を決定してください。

- ブートストラップスクリプトは、CVE-2021-44228 および CVE-2021-45046 で説明されている問題を軽減するためにどのように機能しますか?

  ブートストラップスクリプトは、新しい命令セットを追加して EMR 起動命令を更新します。これらの新しい命令は、EMR によってインストールされたすべてのオープンソースフレームワークで Log4j によって使用されている JndiLookup クラスファイルを削除します。これは、Log4j の問題に対処するための Apache の勧告に従うものです。

- Log4j バージョン 2.17.1 以降を使用する EMR の更新はありますか?

  リリース 5.34 までの EMR 5 リリースとリリース 6.5 までの EMR 6 リリースでは、Log4j の最新バージョンと互換性のない古いバージョンのオープンソースフレームワークが使用されています。これらのリリースを引き続き使用する場合は、CVE で説明されている問題を軽減するためにブートストラップアクションを適用することをお勧めします。EMR 5 リリース 5.34 と EMR 6 リリース 6.5 以降、Log4j 1.x と Log4j 2.x を使用するアプリケーションは、それぞれ Log4j 1.2.17 (またはそれ以上) と Log4j 2.17.1 (またはそれ以上) を使用するようにアップグレードされます。CVE の問題を軽減するために、前述のブートストラップアクションを使用する必要はなくなります。

- EMR リリースは CVE-2021-45105 の影響を受けますか?

  EMR のデフォルト設定で Amazon EMR によってインストールされたアプリケーションは、CVE-2021-45105 の影響を受けません。Amazon EMR によってインストールされたアプリケーションのうち、コンテキスト検索で Apache Log4j を使用するのは Apache Hive のみであり、不適切な入力データを処理するようなデフォルト以外のパターンレイアウトは使用していません。

- Amazon EMR は、以下の CVE 開示のいずれかによって影響を受けますか?

  次の表には、Log4j に関連する CVE のリストと、各 CVE が Amazon EMR に影響するかどうかが記載されています。この表の情報は、Amazon EMR がデフォルト設定を使用してアプリケーションをインストールする場合にのみ適用されます。

CVE	EMR への影響	メモ
CVE-2022-23302	いいえ	Amazon EMR は Log4j JMSSink をセットアップしません

CVE	EMR への影響	メモ
CVE-2022-23305	いいえ	Amazon EMR は Log4j JDBCAppender をセットアップしません
CVE-2022-23307	いいえ	Amazon EMR は Log4j Chainsaw をセットアップしません
CVE-2020-9493	いいえ	Amazon EMR は Log4j Chainsaw をセットアップしません
CVE-2021-44832	いいえ	Amazon EMR は JNDI 接続文字列を使用して Log4j JDBCAppender をセットアップしません
CVE-2021-4104	いいえ	Amazon EMR は Log4j JMSAppender を使用しません
CVE-2020-9488	いいえ	Amazon EMR によってインストールされるアプリケーションは Log4j SMTPAppender を使用しません
CVE-2019-17571	いいえ	Amazon EMR はクラスターへのパブリックアクセスをブロックし、SocketServer を起動しません

CVE	EMR への影響	メモ
CVE-2019-17531	いいえ	最新の Amazon EMR リリースバージョンにアップグレードすることをお勧めします。Amazon EMR 5.33.0 以降は jackson-databind 2.6.7.4 以降を使用し、EMR 6.1.0 以降は jackson-databind 2.10.0 以降を使用します。これらのバージョンの jackson-databind は CVE の影響を受けません。

Amazon EMR リリースノートのアーカイブ

すべての Amazon EMR リリースのリリースノートは以下から入手できます。各リリースの包括的なリリース情報については、「Amazon EMR 6.x リリースバージョン」、「Amazon EMR 5.x リリースバージョン」、および「Amazon EMR 4.x リリースバージョン」を参照してください。

新しい Amazon EMR リリースが利用可能になったときに更新を取得するには、Amazon EMR リリースノートの RSS フィードにサブスクライブします。

リリース 6.14.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.14.0 に関する情報が含まれています。6.13.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.14.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.14.0 supports Apache Spark 3.4.1, Apache Spark RAPIDS 23.06.0-amzn-2, Flink 1.17.1, Iceberg 1.3.1, and Trino 422.
- Amazon EMR 6.14.0 以降で作成したクラスターについて、`ap-southeast-3` アジアパシフィック (ジャカルタ) リージョンで Amazon EMR Managed Scaling を利用できるようになりました。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- 6.14.0 リリースでは、Amazon EC2 で実行されている Amazon EMR でのログ管理が最適化されています。その結果、クラスターログのストレージコストがわずかに削減される可能性があります。
- 6.14.0 リリースでは、Amazon EBS ボリュームのサイズに大きなばらつきがあるさまざまなコアインスタンスを考慮して、スケーリングワークフローが改善されています。この改善はコアノードにのみ適用され、タスクノードのスケールダウン操作には影響しません。
- 6.14.0 リリースでは、Amazon EMR が Apache Hadoop YARN ResourceManager and HDFS NameNode などのオープンソースアプリケーションとやり取りする方法が改善されています。この改善により、クラスタースケーリングによる運用遅延のリスクが軽減され、オープンソースアプリケーションとの接続の問題が原因で発生する起動障害が軽減されます。
- 6.14.0 リリースでは、クラスター起動時のアプリケーションのインストールが最適化されます。これにより、Amazon EMR アプリケーションの特定の組み合わせのクラスター起動時間が短縮されます。
- 6.14.0 リリースでは、カスタムドメインの VPC で実行されているクラスターがコアノードまたはタスクノードの再起動に遭遇したときに、クラスターのスケールダウン操作が停止することがある問題が修正されています。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (マレーシア)、アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (マレーシア）、 アジアパシ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			フィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (マレーシア）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 17 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 9 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

リリース 6.13.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.13.0 に関する情報が含まれています。6.12.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.13.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.13.0 supports Apache Spark 3.4.1, Apache Spark RAPIDS 23.06.0-amzn-1, CUDA Toolkit 11.8.0, and JupyterHub 1.5.0.

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。廃止されるエグゼキューターは Yarn がタスクを割り当てるために使用できないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- 6.13.0 リリースでは、Amazon EMR ログ管理デーモンが改善され、クラスター終了コマンドが発行されたときに、すべてのログが定期的に Amazon S3 にアップロードされるようになりました。これにより、クラスターの終了が速くなります。
- 6.13.0 リリースでは Amazon EMR のログ管理機能が強化され、すべてのログファイルを Amazon S3 に一貫してタイムリーにアップロードできるようになりました。これは特に、長時間稼働する EMR クラスターにメリットをもたらします。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			アジアパシフィック (大阪）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 アジアパシフィック (東京）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 米国西部 (オレゴン）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、米国東部 (バージニア北部)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、欧州 (ロンドン)、アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、米国西部 (北カリフォルニア)、アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

リリース 6.12.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.12.0 に関する情報が含まれています。6.11.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.12.0 変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.12.0 supports Apache Spark 3.4.0, Apache Spark RAPIDS 23.06.0-amzn-0, CUDA 11.8.0, Apache Hudi 0.13.1-amzn-0, Apache Iceberg 1.3.0-amzn-0, Trino 414, and PrestoDB 0.281.
- Amazon EMR リリース 6.12.0 以降は、Apache Livy、HiveServer2 (HS2) 経由の Apache Hive、Trino、Presto、Hue との LDAP 統合をサポートしています。6.12.0 以降を使用する EMR クラスターに Apache Spark と Apache Hadoop をインストールし、LDAP を使用するように設定することもできます。詳細については、「Amazon EMR での認証に Active Directory または LDAP サーバーを使用する」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキュターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用して

いる場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを TRUE (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

- Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Java 11 ランタイム環境で Flink を実行できます。詳細については、「Flink が Java 11 で実行されるよう設定する」を参照してください。
- 6.12.0 リリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- 6.12.0 リリースでは、正常に廃止されているコアノードが完全に廃止される前に何らかの理由で異常が発生すると、クラスターのスケールダウン操作が停止することがある問題が修正されています。
- 6.12.0 リリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- 6.12.0 リリースでは、インスタンスの状態変化を記録する速度が向上し、Amazon EMR のヘルスモニタリングサービスのパフォーマンスと効率が向上します。この改善により、複数のカスタムクライアントツールやサードパーティーアプリケーションを実行しているクラスターノードのパフォーマンスが低下する可能性が低くなります。
- 6.12.0 リリースでは、Amazon EMR のクラスター上のログ管理デーモンのパフォーマンスが向上しています。その結果、同時実行性の高いステップを実行する EMR クラスターでは、パフォーマンスが低下する可能性が低くなります。
- Amazon EMR リリース 6.12.0 では、ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関連するプロセスが識別されるようになりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。
- 6.12.0 リリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。

- 6.12.0 リリースでは、YARN タイムラインサーバーのログのログローテーションが可能になります。これにより、特に長時間稼働するクラスターのディスク過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- Amazon EMR 6.10.0 以降では、デフォルトのルートボリュームサイズが 15 GB に増えました。以前のリリースでは、デフォルトのルートボリュームサイズは 10 GB でした。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部) 、 欧州 (スペイン) 、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (パリ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (東京) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaLabel (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (東京) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

リリース 6.11.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.11.1 に関する情報が含まれています。6.11.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「6.11.1 変更ログ」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキュターは `ExecutorStateDECOMMISSIONING` 状態と呼ばれる新しい に設定されます。廃止されるエグゼキューターは Yarn がタスクを割り当てるために使用できないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- ノードが廃止試行と同時に追加または削除されると、ロック競合が原因でデッドロックに陥る可能性があります。その結果、Hadoop Resource Manager (YARN) が応答しなくなり、着信コンテナと現在実行中のコンテナのすべてに影響が及びます。
- このリリースには、高可用性クラスターが再起動後に障害状態から回復できるようにする変更が含まれています。
- このリリースには Hue と HBase のセキュリティ修正が含まれています。
- このリリースでは、Amazon EMR で Spark でワークロードを実行しているクラスターが `contains`、`startsWith`、`endsWith`、および `like` でメッセージが表示されずに間違った結果を受け取る可能性があるという問題が修正されています。この問題は、Amazon EMR Hive3 メタストアサーバー (HMS) のメタデータを含むパーティション化されたフィールドで式を使用する場合に発生します。
- このリリースでは、ユーザー定義関数 (UDF) がない場合の Glue 側のスロットリングの問題が修正されています。
- このリリースでは、YARN が廃止された場合に、ログプッシャーが S3 にコンテナログをプッシュする前に、ノードログ集約サービスによってコンテナログが削除される問題が修正されています。

- このリリースでは、Hadoop でノードラベルが有効になっている場合の FairShare スケジューラメトリクスの問題が修正されています。
- このリリースでは、`spark-defaults.conf` の `spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定にデフォルトの `true` 値を設定したときに Spark のパフォーマンスに影響する問題が修正されています。
- このリリースでは、低減タスクがシャッフルデータの読み取りに失敗する問題が修正されています。この問題により、メモリ破損エラーで Hive のクエリが失敗していました。
- このリリースでは、Presto または Trino を実行する EMR クラスターのクラスタースケーリングワークフローに新しい再試行メカニズムが追加されています。この改善により、サイズ変更操作が 1 回失敗したためにクラスターのサイズ変更が無期限に停止するリスクが軽減されます。また、クラスターのスケールアップとスケールダウンが速くなるため、クラスターの使用率も向上します。
- このリリースでは、クラスターのスケールダウンロジックが改善され、クラスターの HDFS レプリケーション係数設定を下回るコアノードのスケールダウンが試みられることがなくなりました。これはデータの冗長性要件に合致し、スケーリング操作が停止する可能性が低くなります。
- ログ管理デーモンがアップグレードされ、ローカルインスタンスストレージ上のオープンファイルハンドルでアクティブに使用されているすべてのログと、関連するプロセスが識別されるようになりました。このアップグレードにより、ログが Amazon S3 にアーカイブされた後に Amazon EMR がファイルを適切に削除し、ストレージスペースを再利用できるようになります。
- このリリースには、ローカルクラスターファイルシステム内の空で未使用のステップディレクトリを削除するログ管理デーモンの機能強化が含まれています。空のディレクトリが多すぎると、Amazon EMR デーモンのパフォーマンスが低下し、ディスクが過剰に使用される可能性があります。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 欧州 (ロンドン)、、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 米国西部 (オレゴン）、 メキシコ (中部）、米国西部 (北カリフォルニア）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） アジアパシフィック (台北）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (マレーシア)、 アジアパ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			シフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ） メキシコ (中部）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (マレーシア）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部) 、 米国東部 (オハイオ) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 米国西部 (オレゴン) 、 欧州 (ストックホルム) 、 欧州 (ミラノ) 、 欧州 (スペイン) 、 欧州 (フランクフルト) 、 欧州 (チューリッヒ) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ) 、 アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 アジアパシフィック (メルボルン) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 南米 (サンパウロ) 、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏) カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） カナダ西部 (カルガリー）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 カナダ (中部) 、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部) 、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部）、米国東部 (オハイオ）、米国西部 (北カリフォルニア）、米国西部 (オレゴン）、欧州 (ストックホルム）、欧州 (ミラノ）、欧州 (スペイン）、欧州 (フランクフルト）、欧州 (チューリッヒ）、欧州 (アイルランド）、欧州 (ロンドン）、欧州 (パリ）、アジアパシフィック (香港）アジアパシフィック (ムンバイ）、アジアパシフィック (ハイデラバード）、アジアパシフィック (東京）アジアパシフィック (ソウル）、アジアパシフィック (大阪）、アジアパシフィック (シンガポール）、アジアパシフィック (シドニー）、アジアパシフィック (ジャカルタ）、アジアパシフィック (メルボルン）、アフリカ (ケープタウン）、南米 (サンパウロ）、中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (チューリッヒ）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 イスラエル (テルアビブ） AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (チューリッヒ)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 イスラエル (テルアビブ) AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京) 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

リリース 6.11.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.11.0 に関する情報が含まれています。6.10.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.11.0 は、Apache Spark 3.3.2-amzn-0、Apache Spark RAPIDS 23.02.0-amzn-0、CUDA 11.8.0、Apache Hudi 0.13.0-amzn-0、Apache Iceberg 1.2.0-amzn-0、Trino 410-amzn-0、PrestoDB 0.279-amzn-0 をサポートしています。

変更点、機能強化、解決した問題

- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。廃止されるエグゼキューターは Yarn がタスクを割り当てるために使用できないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。
- Amazon EMR 6.11.0 では、DynamoDB コネクタがバージョン 5.0.0 にアップグレードされています。バージョン 5.0.0 では を使用します AWS SDK for Java 2.x。以前のリリースでは AWS SDK for Java 1.x が使用されていました。このアップグレードの結果として、Amazon EMR 6.11 で DynamoDB コネクタを使用する前にコードをテストすることを強くお勧めします。
- Amazon EMR 6.11.0 の DynamoDB コネクタは、DynamoDB サービスを呼び出すとき、`dynamodb.endpoint` プロパティに指定されたリージョンの値を使用します。`dynamodb.endpoint` を使用するときに `dynamodb.region` も設定し、両方のプロパティで同じ AWS リージョンをターゲットにすることをお勧めします。を使用し`dynamodb.endpoint`、 を設定しない場合`dynamodb.region`、Amazon EMR 6.11.0 の DynamoDB コネクタは無効なリージョン例外を返し、Amazon EC2 インスタンスメタデータサービス (IMDS) からの AWS リージョン 情報の照合を試みます。コネクタが

IMDS からリージョンを取得できない場合は、デフォルトで米国東部 (バージニア北部) (us-east-1) になります。次のエラーは、 dynamodb.regionプロパティを適切に設定しない場合に発生する可能性のある無効なリージョン例外の例です。2.x AWS SDK for Java へのアップグレードの影響を受けるクラスの詳細については、Amazon EMR - error software.amazon.awssdk.services.dynamodb.model.DynamoDbException: Credential should be scoped to a valid region. DynamoDB コネクタの GitHub リポジトリの「1.x AWS SDK for Java から 2.x (#175) へのアップグレードコミット」を参照してください。

- このリリースでは、列の名前変更操作後に Delta Lake を使用して Amazon S3 に Delta テーブルデータを保存すると列データが NULL になる問題が修正されています。Delta Lake のこの実験的機能の詳細については、「Delta Lake User Guide」の「Column rename operation」を参照してください。
- 6.11.0 リリースでは、複数のプライマリノードがあるクラスターからプライマリノードの 1 つを複製してエッジノードを作成する際に発生する可能性のある問題が修正されています。複製されたエッジノードは、スケールダウン操作で遅延を引き起こしたり、プライマリノードのメモリ使用率が高くなったりする可能性があります。EMR クラスターと通信するエッジノードを作成する方法の詳細については、GitHub の aws-samples リポジトリにある「Edge Node Creator」を参照してください。
- 6.11.0 リリースでは、Amazon EMR が再起動後に Amazon EBS ボリュームをインスタンスに再マウントするために使用する自動化プロセスが改善されました。
- 6.11.0 リリースでは、Amazon EMR が Amazon CloudWatch に公開する Hadoop メトリクスに断続的なギャップが生じる問題が修正されています。
- 6.11.0 リリースでは、クラスターのノードの除外リストを含む YARN 構成ファイルの更新が、ディスクの過剰使用により中断される EMR クラスターの問題が修正されています。更新が不完全だと、今後のクラスターのスケールダウン操作が妨げられます。このリリースでは、クラスターが正常に動作し、スケーリング操作が期待どおりに機能することが保証されます。
- Amazon EMR 6.10.0 以降では、デフォルトのルートボリュームサイズが 15 GB に増えました。以前のリリースでは、デフォルトのルートボリュームサイズは 10 GB でした。
- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために `yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値が `false` に設定されています。

この修正は YARN-9608 によって発生した問題を解決するものですが、マネージドスケーリングが有効になっているクラスターでのシャッフルデータ損失が原因で Hive ジョブが失敗する可能性があります。このリリースでは、Hive ワークロードにも `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-shuffle-data` を設定することで、このリスクを軽減しました。この設定は、Amazon EMR リリース 6.11.0 以降でのみ使用できます。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

リリース 6.10.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.10.0 に関する情報が含まれています。6.9.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 6.10.0 は、Apache Spark 3.3.1、Apache Spark RAPIDS 22.12.0、CUDA 11.8.0、Apache Hudi 0.12.2-amzn-0、Apache Iceberg 1.1.0-amzn-0、Trino 403、PrestoDB 0.278.1 をサポートしています。
- Amazon EMR 6.10.0 には、Hudi テーブル内のデータへの読み取りアクセスを提供するネイティブ Trino-Hudi コネクタが含まれています。コネクタは `trino-cli --catalog hudi` で有効化でき、`trino-connector-hudi` との要件に合わせてコネクタを設定できます。Amazon EMR とのネイティブ統合により、Hudi テーブルのクエリに `trino-connector-hive` を使用する必要がなくなりました。新しいコネクタでサポートされる設定のリストについては、Trino のドキュメントの「Hudi connector」ページを参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.10.0 以降では、Apache Zeppelin と Apache Flink の統合がサポートされています。詳細については「Amazon EMR の Zeppelin から Flink ジョブを操作する」を参照してください。

既知の問題

- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。このアプローチでは、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR 6.10.0 でこの問題を回避するには、`yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために設定がデフォルトで `false` にセットされています。
- Spark 3.3.1 (EMR バージョン 6.10 以降でサポート) 以降、廃止ホスト内のすべてのエグゼキューターは `ExecutorState`DECOMMISSIONING 状態と呼ばれる新しい に設定されます。Yarn は廃止されるエグゼキューターを使用してタスクを割り当てることができないため、必要に応じて、実行されるタスクの新しいエグゼキューターをリクエストします。したがって、EMR Managed

Scaling、EMR Auto Scaling、または EMR-EC2 クラスターでカスタムスケーリングメカニズムを使用しているときに Spark DRA を無効にすると、Yarn はジョブごとに最大許容エグゼキューターをリクエストすることがあります。この問題を回避するには、上記の機能の組み合わせを使用している場合は、 `spark.dynamicAllocation.enabled`プロパティを `TRUE` (デフォルト) に設定したままにします。さらに、Spark ジョブの `spark.dynamicAllocation.maxExecutors`および `spark.dynamicAllocation.minExecutors`プロパティの値を設定して、ジョブの実行中に割り当てられるエグゼキューターの数を制限することで、エグゼキューターの最小制約と最大制約を設定することもできます。

変更点、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR 6.10.0 では、Apache Spark 用の Amazon Redshift の統合のために `minimal-json.jar` の依存関係が削除され、必要な Spark-Redshift 関連の jar が Spark のエグゼキューターのクラスパス `spark-redshift.jar`、`spark-avro.jar`、および `RedshiftJDBC.jar` に自動的に追加されます。
- 6.10.0 リリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが改善され、EMR クラスター内の追加のログフォルダを監視できるようになりました。この改善により、ディスクの過剰使用シナリオが最小限に抑えられます。
- 6.10.0 リリースでは、クラスター上のログ管理デーモンが停止すると、自動的に再起動されます。この改善により、ディスクの過剰使用が原因でノードが異常に見えるリスクが軽減されます。
- Amazon EMR 6.10.0 は EMRFS ユーザーマッピング用のリージョンのエンドポイントをサポートしています。
- Amazon EMR 6.10.0 以降では、デフォルトのルートボリュームサイズが 15 GB に増えました。以前のリリースでは、デフォルトのルートボリュームサイズは 10 GB でした。
- 6.10.0 リリースでは、残りのすべての Spark エグゼキューターが YARN リソースマネージャーを備えた廃止予定のホスト上にあるとき Spark ジョブが停止する問題が修正されています。
- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。

- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) 欧州 (スペイン)、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 カナダ (中部)、 カナダ西部 (カルガリー) AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 中国 (北京)、 中国 (寧夏) イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaLabel (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)
2.0.20230404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (UAE)

リリース 6.9.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.9.0 に関する情報が含まれています。Amazon EMR リリース 6.8.0 からの変更が含まれています。リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR リリース 6.9.0 は、Apache Spark RAPIDS 22.08.0、Apache Hudi 0.12.1、Apache Iceberg 0.14.1、Trino 398、Tez 0.10.2 をサポートしています。
- Amazon EMR リリース 6.9.0 には、新しいオープンソースアプリケーションである Delta Lake 2.1.0 が含まれています。
- Apache Spark 用の Amazon Redshift の統合は、Amazon EMR リリース 6.9.0 以降に含まれています。以前はオープンソースツールであったこのネイティブインテグレーションは Spark コネクタと呼ばれるもので、これを使用して Apache Spark アプリケーションを構築することで、Amazon Redshift と Amazon Redshift Serverless 内のデータを読み書きできます。詳細については、「Amazon EMR での Apache Spark 用の Amazon Redshift インテグレーションの使用 」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、クラスターのスケールダウン中に Amazon S3 にログをアーカイブするためのサポートが追加されています。以前は、Amazon S3 にログファイルをアーカイブできるのはクラスター終了時のみでした。この新機能により、クラスターで生成されたログファイルは、ノードが終了した後も Amazon S3 に残ります。詳細については、「クラスターのログ記録とデバッグを設定する」を参照してください。
- 長時間実行されるクエリをサポートするため、Trino には耐障害性実行メカニズムが組み込まれました。耐障害性実行では、失敗したクエリやそのコンポーネントタスクを再試行することで、クエリの失敗を軽減します。
- Amazon EMR で Apache Flink を使用して、Apache Hive テーブル、または Iceberg、Kinesis、Kafka などの任意の Flink テーブルソースのメタデータの `BATCH` 処理と `STREAM` 処理を統合することができます。、、または Amazon EMR API を使用して AWS Management Console AWS CLI、 AWS Glue データカタログを Flink のメタストアとして指定できます。詳細については、「Amazon EMR で Flink を設定する」を参照してください。
- Amazon SageMaker AI Studio を使用してEC2 クラスター上の Amazon EMR の Apache Spark、Apache Hive、Presto クエリに AWS Identity and Access Management (IAM) ランタイムロールと AWS Lake Formationベースのアクセスコントロールを指定できるようになりました。詳細については、「Configure runtime roles for Amazon EMR steps」を参照してください。

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、Apache Ranger が有効になっているクラスターでは Trino は動作しません。Ranger で Trino を使用する必要がある場合は、[サポート](#) にお問い合わせください。
- Amazon Redshift integration for Apache Spark を使用している場合に、time、timetz、timestamp、timestamptz のいずれかにマイクロ秒の精度を Parquet 形式で設定していると、コネクタがその時間値を最も近いミリ秒値に四捨五入します。回避策として、テキストアンロード形式 `unload_s3_format` パラメータを使用してください。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。
- Amazon SageMaker AI Studio から Amazon EMR クラスターへの接続は、403 Forbidden レスポンスコードで断続的に失敗することがあります。このエラーは、クラスターでの IAM ロールの設定に 60 秒以上かかる場合に発生します。回避策として、Amazon EMR パッチをインストールして再試行を有効にし、タイムアウトを最低 300 秒に増やすことができます。以下の手順を使用して、クラスターの起動時にブートストラップアクションを適用します。

  1. 次の Amazon S3 URI から、ブートストラップスクリプトと RPM ファイルをダウンロードします。

  ```
  s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/gcsc/replace-rpms.sh
  ```

```
s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/gcsc/emr-
secret-agent-1.18.0-SNAPSHOT20221121212949.noarch.rpm
```

2. 前のステップのファイルを、所有する Amazon S3 バケットにアップロードします。バケットは、クラスターを起動する予定の AWS リージョン と同じ にある必要があります。
3. EMR クラスターを起動するときに、次のブートストラップアクションを含めます。*bootstrap_URI* と *RPM_URI* を Amazon S3 の対応する URI に置き換えます。

```
--bootstrap-actions "Path=bootstrap_URI,Args=[RPM_URI]"
```

- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

  Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

- Apache Flink にはネイティブ S3 FileSystem コネクタと Hadoop FileSystem コネクタが用意されており、アプリケーションが FileSink を作成して Amazon S3 にデータを書き込むことができます。この FileSink は、次の 2 つの例外のいずれかにより失敗します。

```
java.lang.UnsupportedOperationException: Recoverable writers on Hadoop are only
 supported for HDFS
```

```
Caused by: java.lang.NoSuchMethodError:
 org.apache.hadoop.io.retry.RetryPolicies.retryOtherThanRemoteAndSaslException(Lorg/
```

```
apache/hadoop/io/retry/RetryPolicy;Ljava/util/Map;)Lorg/apache/hadoop/io/retry/
RetryPolicy;
                                        at
 org.apache.hadoop.yarn.client.RMProxy.createRetryPolicy(RMProxy.java:302) ~[hadoop-
yarn-common-3.3.3-amzn-0.jar:?]
```

回避策として、Flink の上記の問題を修正する Amazon EMR パッチをインストールできます。クラスターを起動するときにブートストラップアクションを適用するには、以下の手順を実行します。

1. flink-rpm を Amazon S3 バケットにダウンロードします。RPM パスは `s3://DOC-EXAMPLE-BUCKET/rpms/flink/` です。
2. 次の URI を使用して Amazon S3 からブートストラップスクリプトと RPM ファイルをダウンロードします。を、クラスターを起動する AWS リージョン 予定の *regionName*に置き換えます。

   ```
   s3://emr-data-access-control-regionName/customer-bootstrap-actions/gcsc/replace-
   rpms.sh
   ```

3. Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。Amazon EMR 6.8.0 および 6.9.0 の場合、この方法では、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

   Amazon EMR 6.10.0 では、`yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値を `false` に設定することでこの問題を回避できます。Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために設定がデフォルトで `false` にセットされています。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Amazon EMR によってインストールされ、Log4j ライブラリを使用するすべてのコンポーネントは Log4j バージョン 2.17.1 以降を使用します。
- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを

参照している場合でも変わりません。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。

- Amazon EMR 6.9.0 では、Spark SQL を使用してデータを読み取る際の Apache Hudi による Lake Formation ベースのアクセスコントロールに対する限定的なサポートが追加されています。Spark SQL を使用する SELECT クエリがサポートされます。サポートは、列レベルのアクセス制御に限定されます。詳細については、「Hudi と Lake Formation」を参照してください。
- Amazon EMR 6.9.0 を使用して、ノードラベルを有効にした Hadoop クラスターを作成すると、YARN メトリクス API はデフォルトのパーティションではなく、すべてのパーティションの集計情報を返します。詳細については、「YARN-11414」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、Trino を、Java 17 を使用するバージョン 398 にアップデートしました。Amazon EMR 6.8.0 で以前サポートされていた Trino のバージョンは Java 11 で動作する Trino 388 でした。この変更の詳細については、Trino のブログの「Trino updates to Java 17」を参照してください。
- このリリースでは、EC2 クラスターの起動シーケンスでの Apache BigTop と Amazon EMR 間のタイミングシーケンスの不一致の問題が修正されています。このタイミングシーケンスの不一致は、システムが 2 つ以上の操作を適切なシーケンスで実行するのではなく、同時に実行しようとした場合に発生します。その結果、特定のクラスター構成でインスタンスの起動がタイムアウトし、クラスターの起動時間が遅くなりました。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネル バージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (スペイン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (チューリッヒ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 カナダ西部 (カルガリー） AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京）、 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (ストックホルム)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (東京) アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部) AWS GovCloud (米国東部)、 中国 (北京)、 中国 (寧夏) 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 イスラエル (テルアビブ） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)、カナダ西部 (カルガリー)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦)、カナダ (中部)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.20230404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 1 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

リリース 6.8.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.8.0 に関する情報が含まれています。6.7.0 からの変更が含まれています。

新機能

- Amazon EMR ステップ機能が Apache Livy エンドポイントと JDBC/ODBC クライアントをサポートするようになりました。詳細については、「Configure runtime roles for Amazon EMR steps」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 6.8.0 には Apache HBase リリース 2.4.12 が付属しています。この HBase リリースでは、HBase テーブルのアーカイブと削除の両方を行うことができます。Amazon S3 アーカイブプロセスでは、すべてのテーブルファイルの名前がアーカイブディレクトリに変更されます。このプロセスにはコストがかかり、時間を要する場合があります。これで、アーカイブプロセスをスキップして、大きなテーブルをすばやく削除することができます。詳細については、「HBase シェルを使用する」を参照してください。

既知の問題

- Hadoop 3.3.3 では YARN (YARN-9608) に変更が加えられ、アプリケーションが完了するまでコンテナが実行されていたノードは廃止状態のままになります。この変更により、シャッフルデータなどのローカルデータが失われることはなく、ジョブを再実行する必要もなくなります。Amazon EMR 6.8.0 および 6.9.0 の場合、この方法では、マネージドスケーリングが有効になっているかどうかにかかわらず、クラスターのリソースが十分に活用されない可能性もあります。

  Amazon EMR 6.10.0 では、`yarn-site.xml` の `yarn.resourcemanager.decommissioning-nodes-watcher.wait-for-applications` の値を `false` に設定することでこの問題を回避できます。Amazon EMR リリース 6.11.0 以降および 6.8.1、6.9.1、6.10.1 では、この問題を解決するために設定がデフォルトで `false` にセットされています。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR は `NoSuchMethodError` を生成しました。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。

- Amazon EMR リリース 6.8.0 には Apache Hudi 0.11.1 が付属していますが、Amazon EMR 6.8.0 クラスターは Hudi 0.12.0 のオープンソース `hudi-spark3.3-bundle_2.12` とも互換性があります。
- Amazon EMR リリース 6.8.0 には、Apache Spark 3.3.0 が付属しています。この Spark リリースでは、Apache Log4j 2 と `log4j2.properties` ファイルを使用して Spark プロセス内の Log4j を設定します。クラスターで Spark を使用するか、カスタム設定パラメータを使用して EMR クラスターを作成し、Amazon EMR リリース 6.8.0 にアップグレードする場合は、Apache Log4j 2 の新しい `spark-log4j2` 設定分類とキー形式に移行する必要があります。詳細については、「Apache Log4j 1.x から Log4j 2.x への移行」を参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

> **Note**
>
> このリリースは、さらに 1 つのパッチリリースが続いているため、AMI の自動更新は行われなくなりました。パッチリリースは 2 番目の小数点の後の数字 (`6.8.1`) で示されます。最新のパッチリリースを使用しているかどうかを確認するには、「リリースガイド」で利用可能なリリースを確認するか、コンソールでクラスターを作成するとき、または `ListReleaseLabels` API あるいは `list-release-labels` CLI アクションを使用するときに Amazon EMR リリースドロップダウンを確認してください。新しいリリースに関する最新情報を入手するには、「最新情報」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、中国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部)、 欧州 (スペイ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ン）、中国 (寧夏）欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 アジアパシフィック (メルボルン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (ミラノ)、欧州 (パリ)、欧州 (ストックホルム)、アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、AWS GovCloud (米国東部)、AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (メルボルン）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国連邦）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京） アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京） 中国 (寧夏） 中東 (アラブ首

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			長国連邦）、 アジアパシフィック (メルボルン）、イスラエル (テルアビブ）欧州 (チューリッヒ）

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)、アジアパシフィック (メルボルン)、イスラエル (テルアビブ)
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (メルボルン)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレー

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.2023 404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220912.1	4.14.291	2022 年 9 月 6 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

既知の問題

- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを参照している場合でも変わりません。これは、Spark 3.2.0 が `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` をデフォルトで `true` に設定しているためです。回避策として、明示的に `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。
- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

リリースタイムラインの詳細については、「変更ログ」を参照してください。

リリース 6.7.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.7.0 に関する情報が含まれています。6.6.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 7 月 15 日

新機能

- Amazon EMR は Apache Spark 3.2.1、Apache Hive 3.1.3、HUDI 0.11、PrestoDB 0.272、Trino 0.378 をサポートするようになりました。
- EC2 クラスター上の Amazon EMR 用の EMR ステップ (Spark、Hive) による IAM ロールおよび Lake Formation ベースのアクセスコントロールをサポートします。
- Apache Ranger 対応クラスターでの Apache Spark データ定義ステートメントをサポートします。これには、Apache Ranger 対応クラスターで Apache Hive メタデータを読み書きする Trino アプリケーションのサポートが含まれるようになりました。詳細については、「Enable federated governance using Trino and Apache Ranger on Amazon EMR」を参照してください。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム)、 中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポー

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ル）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム)、中東 (バーレーン)、 中国 (北京) アジアパシフィック (ムンバイ)、 欧州 (パリ)、 アジアパシフィック (ジャカルタ)、 米国東部 (オハイオ)、 アフリカ (ケープタウン)、 欧州 (アイルランド)、 中東 (アラブ首長国連邦)、 欧州 (フランクフルト)、 南米 (サンパウロ)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード)、 米国東部 (バージニア北部)、 アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、 欧州 (ロンドン)、欧州 (ミラノ)、 アジアパシフィック (東京)、AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィッ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ク (シドニー) 、 イスラエル (テルアビブ) カナダ (中部) 、 欧州 (スペイン) 、 中国 (寧夏) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京) アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (スペイン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (チューリッヒ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ハイデラバード）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 中東 (アラブ首長国

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			連邦）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米国西部） 中国 (北京） 中国 (寧夏） イスラエル (テルアビブ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (ストックホルム）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (パリ）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (東京）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国西部） AWS GovCloud (米国東部）、 中国 (北京）、 中国 (寧夏） 中東 (アラ

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			ブ首長国連邦)、 イスラエル (テルアビブ) 欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)、アジアパシフィック

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			(ハイデラバード)、中東 (UAE)、欧州 (スペイン)、欧州 (チューリッヒ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.2023 404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2022 912.1	4.14.291	2022 年 10 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220719.0	4.14.287	2022 年 8 月 10 日	`us-west-1` , `eu-west-3` , `eu-north-1` , `ap-south-1` , `me-south-1`

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220606.1	4.14.281	2022 年 7 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR が誤った `Hbase.compat.version` を使用しているため、`NoSuchMethodError` が発生します。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを参照している場合でも変わりません。これは、Spark 3.2.0 が `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` をデフォルトで `true` に設定しているためです。回避策として、明示的に `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](https://www.utf8-chartable.de/)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。
- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-
actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

- `GetClusterSessionCredentials` API は、Amazon EMR 6.7 以前で実行されるクラスターではサポートされていません。

リリース 6.6.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.6.0 に関する情報が含まれています。6.5.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 5 月 9 日

ドキュメント更新日: 2022 年 6 月 15 日

新機能

- Amazon EMR 6.6 は、Apache Spark 3.2、Apache Spark RAPIDS 22.02、CUDA 11、Apache Hudi 0.10.1、Apache Iceberg 0.13、Trino 0.367、PrestoDB 0.267 をサポートするようになりました。
- Amazon EMR 5.36 以降、6.6 以降、7.0 以降の最新のパッチリリースを使用してクラスターを起動すると、Amazon EMR はデフォルトの Amazon EMR AMI に最新の Amazon Linux 2023 または Amazon Linux 2 リリースを使用します。詳細については、「Amazon EMR にデフォルトの Amazon Linux AMI を使用する」を参照してください。

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 610.0	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 7 月 14 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 中東 (アラブ首長国連邦) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ハイデラバード) 、 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジア

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			パシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 イスラエル (テルアビブ） カナダ (中部）、 欧州 (スペイン）、 中国 (寧夏） 欧州 (チューリッヒ）

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250527.1	4.14.355-277.647.amzn2	2025 年 6 月 19 日	欧州 (ストックホルム) 、 中東 (バーレーン) 、 中国 (北京) 、 アジアパシフィック (ムンバイ) 、 欧州 (パリ) 、 アジアパシフィック (ジャカルタ) 、 米国東部 (オハイオ) 、 アフリカ (ケープタウン) 、 欧州 (アイルランド) 、 欧州 (フランクフルト) 、 南米 (サンパウロ) 、 アジアパシフィック (香港) 米国東部 (バージニア北部) 、 アジアパシフィック (ソウル) 、 アジアパシフィック (大阪) 、 欧州 (ロンドン) 、 欧州 (ミラノ) 、 アジアパシフィック (東京) 、 AWS GovCloud (米国東部) 、 AWS GovCloud (米国西部) 米国西部 (オレゴン) 、 米国西部 (北カリフォルニア) 、 アジアパシフィック (シンガポール) 、 アジアパシフィック (シドニー) 、 カナダ (中部) 、 中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250512.0	4.14.355-277.643.amzn2	2025 年 6 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、 米国東部 (オハイオ)、 米国西部 (北カリフォルニア)、 米国西部 (オレゴン)、 欧州 (フランクフルト)、 欧州 (アイルランド)、 欧州 (ロンドン)、 欧州 (ミラノ)、 欧州 (パリ)、 欧州 (ストックホルム)、 アジアパシフィック (香港) アジアパシフィック (ジャカルタ)、 アジアパシフィック (ムンバイ)、 アジアパシフィック (大阪)、 アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (シンガポール)、 アジアパシフィック (シドニー)、 アジアパシフィック (東京)、 アフリカ (ケープタウン)、 南米 (サンパウロ)、 中東 (バーレーン)、 カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国東部)、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250428.0	4.14.355-276.639.amzn2	2025 年 5 月 23 日	米国東部 (バージニア北部）、 米国東部 (オハイオ）、 米国西部 (北カリフォルニア）、 米国西部 (オレゴン）、 欧州 (フランクフルト）、 欧州 (アイルランド）、 欧州 (ロンドン）、 欧州 (ミラノ）、 欧州 (パリ）、 欧州 (ストックホルム）、 アジアパシフィック (香港） アジアパシフィック (ジャカルタ）、 アジアパシフィック (ムンバイ）、 アジアパシフィック (大阪）、 アジアパシフィック (ソウル）、 アジアパシフィック (シンガポール）、 アジアパシフィック (シドニー）、 アジアパシフィック (東京） アフリカ (ケープタウン）、 南米 (サンパウロ）、 中東 (バーレーン）、 カナダ (中部）、 AWS GovCloud (米国東部）、 AWS GovCloud (米

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
			国西部） 中国 (北京）、中国 (寧夏）

OsReleaLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025414.0	4.14.355-276.618.amzn2	2025 年 5 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250321.0	4.14.355	2025 年 4 月 9 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250305.0	4.14.355	2025 年 3 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 220.0	4.14.355	2025 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250201.0	4.14.355	2025 年 2 月 28 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2025 123.4	4.14.355	2025 年 1 月 27 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20250116.0	4.14.355	2025年1月23日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20241217.0	4.14.355	2025 年 1 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024001.0	4.14.352	2024 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240816.0	4.14.350	2024 年 8 月 21 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240809.0	4.14.349	2024 年 8 月 20 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2024 719.0	4.14.348	2024 年 7 月 25 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240709.1	4.14.348	2024 年 7 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240223.0	4.14.336	2024 年 3 月 8 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240131.0	4.14.336	2024 年 2 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240124.0	4.14.336	2024 年 2 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20240109.0	4.14.334	2024 年 1 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231218.0	4.14.330	2024 年 1 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 206.0	4.14.330	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231116.0	4.14.328	2023 年 12 月 11 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 101.0	4.14.327	2023 年 11 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231020.1	4.14.326	2023 年 11 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20231012.1	4.14.326	2023 年 10 月 26 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230926.0	4.14.322	2023 年 10 月 19 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)、 AWS GovCloud (米国西部)、AWS GovCloud (米国東部)、中国 (北京)、中国 (寧夏)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230906.0	4.14.322	2023 年 10 月 4 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230822.0	4.14.322	2023 年 8 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsRelea Label (Amazor Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 808.0	4.14.320	2023 年 8 月 24 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230727.0	4.14.320	2023 年 8 月 14 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、カナダ (中部)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230719.0	4.14.320	2023 年 8 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (ミラノ)、欧州 (スペイン)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (チューリッヒ)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ハイデラバード)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)、中東 (アラブ首長国連邦)、カナダ (中部)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230628.0	4.14.318	2023 年 7 月 12 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230612.0	4.14.314	2023 年 6 月 23 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelea Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.2023 504.1	4.14.313	2023 年 5 月 16 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsRelease Label (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230418.0	4.14.311	2023 年 5 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230404.1	4.14.311	2023 年 4 月 18 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.20230404.0	4.14.311	2023 年 4 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、欧州 (パリ)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230320.0	4.14.309	2023 年 3 月 30 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230307.0	4.14.305	2023 年 3 月 15 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230207.0	4.14.304	2023 年 2 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20230119.1	4.14.301	2023 年 2 月 3 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221210.1	4.14.301	2023 年 12 月 22 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221103.3	4.14.296	2022 年 12 月 5 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20221004.0	4.14.294	2022 年 11 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220912.1	4.14.291	2022 年 10 月 7 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)
2.0.20220805.0	4.14.287	2022 年 8 月 30 日	`us-west-1`

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220719.0	4.14.287	2022 年 8 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220426.0	4.14.281	2022 年 6 月 10 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

OsReleaseLabel (Amazon Linux バージョン)	Amazon Linux カーネルバージョン	利用可能日	サポート対象の リージョン
2.0.20220406.1	4.14.275	2022 年 5 月 2 日	米国東部 (バージニア北部)、米国東部 (オハイオ)、米国西部 (北カリフォルニア)、米国西部 (オレゴン)、カナダ (中部)、欧州 (ストックホルム)、欧州 (アイルランド)、欧州 (ロンドン)、欧州 (パリ)、欧州 (フランクフルト)、欧州 (ミラノ)、アジアパシフィック (香港)、アジアパシフィック (ムンバイ)、アジアパシフィック (ジャカルタ)、アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (シドニー)、アフリカ (ケープタウン)、南米 (サンパウロ)、中東 (バーレーン)

- Amazon EMR 6.6 以降では、Log4j 1.x と Log4j 2.x を使用するアプリケーションは、それぞれ Log4j 1.2.17 (またはそれ以上) と Log4j 2.17.1 (またはそれ以上) を使用するようにアップグレードされます。CVE の問題を軽減するために提供されているブートストラップアクションを使用する必要はなくなります。

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配するデータ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。
- Amazon EMR 5.32.0 および 6.5.0 以降、Apache Spark の動的エグゼキューターサイズ設定はデフォルトで有効になっています。この機能をオンまたはオフにするには、`spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定パラメータを使用できます。

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR は、EMR のデフォルト AMI オプションを使用し、Apache Hadoop、Apache Spark、Apache Hive などの一般的なアプリケーションのみをインストールするクラスターの場合、クラスターの起動時間を平均で最大 80 秒短縮します。

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR が誤った `Hbase.compat.version` を使用しているため、`NoSuchMethodError` が発生します。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- Spark on Amazon EMR バージョン 6.6.0、6.7.0、6.8.0 で DynamoDB コネクタを使用すると、テーブルから何を読み込んでも空の結果が返されます。この状況は、入力分割が空でないデータを参照している場合でも変わりません。これは、Spark 3.2.0 が `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` をデフォルトで `true` に設定しているためです。回避策として、明示的に `spark.hadoopRDD.ignoreEmptySplits` を `false` に設定します。Amazon EMR リリース 6.9.0 では、この問題が修正されています。
- Trino の長時間稼働クラスターでは、Amazon EMR 6.6.0 は Trino jvm.config のガベージコレクションログ記録パラメータを有効にして、ガベージコレクションログからより深い知見を得ることができます。この変更により、launcher.log (/var/log/trino/launcher.log) ファイルに多くのガベージコレクションログが追加されます。Amazon EMR 6.6.0 で Trino クラスターを実行している場合、追加されたログが原因で、クラスターを数日間実行した後にノードのディスク容量が不足することがあります。

この問題の回避策は、Amazon EMR 6.6.0 のクラスターを作成またはクローン作成する際に、以下のスクリプトをブートストラップアクションとして実行し、jvm.config のガベージコレクションログ記録パラメータを無効にすることです。

```
#!/bin/bash
  set -ex
  PRESTO_PUPPET_DIR='/var/aws/emr/bigtop-deploy/puppet/modules/trino'
  sudo bash -c "sed -i '/-Xlog/d' ${PRESTO_PUPPET_DIR}/templates/jvm.config"
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](https://www.utf8-chartable.de/)」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

- Amazon EMR リリース 5.36.0、および 6.6.0 から 6.9.0 では、Log4j2 プロパティのファイル名パターン設定が正しくないため、`SecretAgent` および `RecordServer` サービスコンポーネントでログデータが失われる可能性があります。設定が正しくないと、コンポーネントは 1 日に 1 つのログファイルしか生成しません。ローテーション戦略が実行されると、期待どおりに新しいログファイルが生成されず、既存のファイルが上書きされます。回避策として、ブートストラップアクションを使用して 1 時間ごとにログファイルを生成し、ファイル名に自動増分整数を追加してローテーションを処理します。

  Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.0 のリリースでは、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-6x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

Amazon EMR 5.36.0 では、クラスターを起動するときに次のブートストラップアクションを使用します。

```
--bootstrap-actions "Path=s3://emr-data-access-control-us-east-1/customer-bootstrap-actions/log-rotation-emr-5x/replace-puppet.sh,Args=[]"
```

リリース 5.35.0

これは Amazon EMR リリース 5.35.0 のリリースノートです。

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.35.0 に関する情報が含まれています。5.34.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 3 月 30 日

新機能

- Log4j 1.x と Log4j 2.x を使用する Amazon EMR リリース 5.35 アプリケーションは、それぞれ Log4j 1.2.17 (またはそれ以上) と Log4j 2.17.1 (またはそれ以上) を使用するようにアップグレードされます。以前のリリースの CVE の問題を軽減するためにブートストラップアクションを使用する必要はなくなります。「CVE-2021-44228 を軽減するためのアプローチ」を参照してください。

変更、拡張、解決した問題

Flink の変更

変更の種類	説明
アップグレード	• Flink のバージョンを 1.14.2 にアップデートします。 • log4j は 2.17.1 にアップグレードされました。

Hadoop の変更

変更の種類	説明
EMR 5.34.0 以降の Hadoop オープンソースバックポート	• YARN-10438: ClientRMService#getContainerReport() で null containerId を処理 • YARN-7266: タイムラインサーバーのイベントハンドラースレッドがロックされている • YARN-10438: RollingLevelDb ファイルが破損しているか、見つからない場合、ATS 1.5 が起動に失敗する • HADOOP-13500: 設定プロパティオブジェクトのイテレーションの同期 • YARN-10651: AbstractYarnScheduler.updateNodeResource() の NPE で CapacityScheduler がクラッシュする • HDFS-12221: XmlEditsVisitor 内の xerces を置き換える • HDFS-16410: OfflineEditsXmlLoader での XML 解析のセキュリティが保護されていない
Hadoop の変更と修正	• KMS と HttpFS で使用されている Tomcat が 8.5.75 にアップグレードされました。 • FileSystemOptimizedCommitterV2 で、コミッターの作成時に定義された commitJob 出力パスに成功マーカーが書き込まれました。commitJob とタスクレベルの出力パスは異なる場合があるため、マニフェストファイルで定義されているものを使用するようにパスが修正されました。これにより、Hive ジョブで、動的パーティションや UNION ALL などの操作を実行すると、成功マーカーが正しく書き込まれるようになりました。

Hive の変更点

変更の種類	説明
Hive がオープンソースリリース 2.3.9 にアップグレードされました (これらの JIRA の修正を含む)	• HIVE-17155: HiveConf.java の findConfFile() の設定パスにいくつか問題がある • HIVE-24797: Avro スキーマを解析するときのデフォルト値の検証を無効にする • HIVE-21563: registerAllFunctionsOnce を無効にすることで Table#getEmptyTable のパフォーマンスを向上させる • HIVE-18147: java.net.BindException が発生してテストが失敗することがある: アドレスが既に使用されている • HIVE-24608: Hive 2.3.x の HMS クライアントで get_table に切り替える • HIVE-21200: ベクトル化 - Parquet の java.lang.UnsupportedOperationException をスローする日付列 • HIVE-19228: commons-httpclient 3.x の使用を削除する
EMR 5.34.0 以降の Hive オープンソースバックポート	• HIVE-19990: 結合条件に間隔のリテラルを含むクエリが失敗する • HIVE-25824: branch-2.3 を log4j 2.17.0 にアップグレードする • TEZ-4062: 投機的試行のスケジューリングはタスクが完了したら中止する必要がある • TEZ-4108: 投機的実行の競合状態中の NullPointerException • TEZ-3918: tez.task.log.level を設定しても機能しない
Hive のアップグレードと修正	• Log4j バージョンの 2.17.1 へのアップグレード

変更の種類	説明
	• ORC バージョンの 1.4.3 へのアップグレード • ShuffleScheduler のペナルティスレッドによる FixED のデッドロック
新機能	• Hive クエリを AM ログに出力する機能が追加されました。これはデフォルトでは無効になっています。フラグ/設定: `tez.am.emr.print.hive.query.in.log` 。ステータス (デフォルト): FALSE。

Oozie の変更

変更の種類	説明
EMR 5.34.0 以降の Oozie オープンソースバックポート	• OOZIE-3652: Oozie ランチャーは NoSuchFileException が発生した場合にディレクトリのリスト化を再試行する必要がある

Pig の変更

変更の種類	説明
アップグレード	• log4j は 1.2.17 にアップグレードされました。

既知の問題

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。

- 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 5.34.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.34.0 に関する情報が含まれています。5.33.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 1 月 20 日

更新リリース日: 2022 年 3 月 21 日

新機能

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配するデータ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。
- [Hudi] Hudi の設定を簡素化するための改良点。オプティミスティック同時実行制御をデフォルトで無効にしました。

変更、拡張、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- 以前は、マルチマスタークラスターでリソースマネージャーを手動で再起動すると、Zookeeper などの Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、Zookeeper znode ファイル内の以前に廃止された、または失われたすべてのノードを再ロードしていました。これにより、特定の状況でデフォルトの制限を超えることがありました。Amazon EMR では、1 時間以上経過した、廃止された、または失われたノードレコードが Zookeeper ファイルから削除されるようになり、内部制限も引き上げられました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Zeppelin をバージョン 0.10.0 にアップグレードしました。
- Livy Fix - 0.7.1 にアップグレード
- Spark のパフォーマンスの向上 - EMR 5.34.0 で特定の Spark 設定値がオーバーライドされると、異種エグゼキューターが無効になります。
- WebHDFS と HttpFS サーバーはデフォルトで無効になっています。Hadoop 設定 `dfs.webhdfs.enabled` を使用して WebHDF を再度有効にすることができます。HttpFS サーバーを起動するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用します。

既知の問題

- Livy ユーザー偽装で使用される Amazon EMR Notebooks 機能は、HttpFS がデフォルトで無効になっているため機能しません。この場合、EMR notebooks は Livy 偽装が有効になっているクラスターに接続できません。回避策は、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して EMR notebooks をクラスターに接続する前に、HttpFS サーバーを起動することです。
- Apache Hadoop HttpFS サーバーはデフォルトで無効になるため、Hue クエリは Amazon EMR 6.4.0 では機能しません。Amazon EMR 6.4.0 で Hue を使用するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して Amazon EMR プライマリノードで HttpFS サーバーを手動で起動するか、または Amazon EMR のステップを使用します。
- Livy ユーザー偽装で使用される Amazon EMR Notebooks 機能は、HttpFS がデフォルトで無効になっているため機能しません。この場合、EMR notebooks は Livy 偽装が有効になっているクラスターに接続できません。回避策は、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して EMR notebooks をクラスターに接続する前に、HttpFS サーバーを起動することです。
- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 6.5.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.5.0 に関する情報が含まれています。6.4.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2022 年 1 月 20 日

更新リリース日: 2022 年 3 月 21 日

新機能

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配するデータ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。
- Amazon EMR 5.32.0 および 6.5.0 以降、Apache Spark の動的エグゼキューターサイズ設定はデフォルトで有効になっています。この機能をオンまたはオフにするには、`spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定パラメータを使用できます。
- 巨大な分析データセット用の Apache Iceberg オープンテーブル形式のサポート。
- ranger-trino-plugin 2.0.1-amzn-1 のサポート
- toree 0.5.0 のサポート

変更、拡張、解決した問題

- Amazon EMR 6.5 リリースバージョンは Apache Iceberg 0.12.0 をサポートするようになり、Apache Spark 用 Amazon EMR ランタイム、Presto 用 Amazon EMR ランタイム、Apache Hive 用 Amazon EMR ランタイムによりランタイムが改善されています。
- Apache Iceberg は、Amazon S3 の大規模データセット用のオープンテーブル形式であり、大きなテーブルに対する高速のクエリパフォーマンス、アトミックコミット、同時書き込み、および SQL 互換テーブルの進化を提供します。EMR 6.5 では、Apache Spark 3.1.2 を Iceberg テーブル形式で使用できます。
- Apache Hudi 0.9 では Spark SQL DDL と DML のサポートが追加されています。これにより、SQL ステートメントだけを使用して Hudi テーブルを作成し、アップサートできるようになりました。Apache Hudi 0.9 では、クエリ側とライター側のパフォーマンスも向上しています。
- Apache Hive 用 Amazon EMR ランタイムは、ステージング操作中の名前変更操作を削除することで Amazon S3 での Apache Hive のパフォーマンスを向上させ、テーブルの修復に使用されるメタストアチェック (MSCK) コマンドのパフォーマンスを向上させます。

既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.5.0、6.6.0、または 6.7.0 が Apache Spark シェルを介して Apache Phoenix テーブルを読み取ると、Amazon EMR が誤った `Hbase.compat.version` を使用しているため、`NoSuchMethodError` が発生します。Amazon EMR リリース 6.8.0 では、この問題が修正されています。
- 高可用性 (HA) の Hbase バンドルクラスターは、デフォルトのボリュームサイズとインスタンスタイプではプロビジョニングに失敗します。この問題の回避策は、ルートボリュームのサイズを増やすことです。
- Apache Oozie で Spark アクションを使用するには、以下の設定を Oozie `workflow.xml` ファイルに追加する必要があります。そうしないと、Hadoop や EMRFS などのいくつかの重要なライブラリが、Oozie が起動する Spark エグゼキューターのクラスパスから失われてしまいます。

```
<spark-opts>--conf spark.yarn.populateHadoopClasspath=true</spark-opts>
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 6.4.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.4.0 に関する情報が含まれています。6.3.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2021 年 9 月 20 日

更新リリース日: 2022 年 3 月 21 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.12.31
- CloudWatch Sink バージョン 2.2.0
- DynamoDB Connector バージョン 4.16.0
- EMRFS バージョン 2.47.0
- Amazon EMR Goodies バージョン 3.2.0
- Amazon EMR Kinesis Connector バージョン 3.5.0
- Amazon EMR Record Server バージョン 2.1.0
- Amazon EMR Scripts バージョン 2.5.0
- Flink バージョン 1.13.1
- Ganglia バージョン 3.7.2
- AWS Glue Hive メタストアクライアントバージョン 3.3.0
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-4
- HBase バージョン 2.4.4-amzn-0
- HBase-operator-tools 1.1.0
- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-5
- Hive バージョン 3.1.2-amzn-5
- Hudi バージョン 0.8.0-amzn-0
- Hue バージョン 4.9.0
- Java JDK バージョン Corretto-8.302.08.1 (ビルド 1.8.0_302-b08)
- JupyterHub バージョン 1.4.1
- Livy バージョン 0.7.1-incubating

- MXNet バージョン 1.8.0
- Oozie バージョン 5.2.1
- Phoenix バージョン 5.1.2
- Pig バージョン 0.17.0
- Presto バージョン 0.254.1-amzn-0
- Trino バージョン 359
- Apache Ranger KMS (マルチマスター透過的暗号化) バージョン 2.0.0
- ranger-plugins 2.0.1-amzn-0
- ranger-s3-plugin 1.2.0
- SageMaker Spark SDK バージョン 1.4.1
- Scala バージョン 2.12.10 (OpenJDK 64 ビットサーバー VM、Java 1.8.0_282)
- Spark バージョン 3.1.2-amzn-0
- spark-rapids 0.4.1
- Sqoop バージョン 1.4.7
- TensorFlow バージョン 2.4.1
- tez バージョン 0.9.2
- Zeppelin バージョン 0.9.0
- Zookeeper バージョン 3.5.7
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.16.0

新機能

- [マネージドスケーリング] Spark シャッフルデータマネージドスケーリング最適化 - Amazon EMR バージョン 5.34.0 以降、および EMR バージョン 6.4.0 以降では、マネージドスケーリングは Spark シャッフルデータ (Spark が特定の操作を実行するためにパーティション間で再分配するデータ) 対応になりました。シャッフル操作の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」および「Spark のプログラミングガイド」の「Amazon EMR での EMR マネージドスケーリングの使用」を参照してください。
- Apache Ranger 対応の Amazon EMR クラスターでは、Apache Spark SQL を使用して、`INSERT INTO`、`INSERT OVERWRITE`、および `ALTER TABLE` で Apache Hive メタストアテーブルでデータの挿入または更新を実行できます。Spark SQL で ALTER TABLE を使用する場合、パーティションの場所はテーブルの場所の子ディレクトリである必要があります。Amazon EMR は現在、

パーティションの場所がテーブルの場所と異なるパーティションへのデータの挿入をサポートしていません。

- PrestoSQL は Trino に名称変更されています。
- Hive: LIMIT 句を使用した簡単な SELECT クエリの実行は、LIMIT 句に記述されているレコード数がフェッチされたらすぐにクエリの実行を停止すると、高速化されます。簡単な SELECT クエリは、GROUP BY/ORDER BY 句のないクエリ、またはリデューサーステージのないクエリです。例えば、`SELECT * from <TABLE> WHERE <Condition> LIMIT <Number>`。

Hudi の同時実行制御

- Hudi はオプティミスティック同時実行制御 (OCC) をサポートするようになりました。この OCC を UPSERT や INSERT などの書き込みオペレーションで利用して、複数のライターから同じ Hudi テーブルへの変更を許可できます。これはファイルレベルの OCC であるため、2 つのコミット (またはライター) は、その変更が競合しなければ、同じテーブルに書き込むことができます。詳細については、「Hudi Concurrency Control」を参照してください。
- Amazon EMR クラスターには Zookeeper がインストールされており、OCC のロックプロバイダーとして利用できます。この機能を使いやすくするために、Amazon EMR クラスターには次のプロパティが事前設定されています。

```
hoodie.write.lock.provider=org.apache.hudi.client.transaction.lock.ZookeeperBasedLockProvider
hoodie.write.lock.zookeeper.url=<EMR Zookeeper URL>
hoodie.write.lock.zookeeper.port=<EMR Zookeeper Port>
hoodie.write.lock.zookeeper.base_path=/hudi
```

OCC を有効にするには、Hudi ジョブオプションを使用して、または Amazon EMR 設定 API を使用してクラスターレベルで、次のプロパティを設定する必要があります。

```
hoodie.write.concurrency.mode=optimistic_concurrency_control
hoodie.cleaner.policy.failed.writes=LAZY (Performs cleaning of failed writes lazily
 instead of inline with every write)
hoodie.write.lock.zookeeper.lock_key=<Key to uniquely identify the Hudi table> (Table
 Name is a good option)
```

Hudi モニタリング: Hudi メトリクスをレポートするための Amazon CloudWatch の統合

- Amazon EMR は、Amazon CloudWatch への Hudi メトリクスの公開をサポートしています。これを有効にするには、次の必要な設定を行います。

```
hoodie.metrics.on=true
hoodie.metrics.reporter.type=CLOUDWATCH
```

• 変更できるオプションの Hudi 設定を以下に示します。

設定	説明	値
hoodie.metrics.cloudwatch.report.period.seconds	Amazon CloudWatch にメトリクスをレポートする頻度 (秒単位)	デフォルト値は 60 秒で、Amazon CloudWatch が提供するデフォルトの 1 分の解像度では問題ありません
hoodie.metrics.cloudwatch.metric.prefix	各メトリクス名に追加するプレフィックス	デフォルト値は空です (プレフィックスなし)
hoodie.metrics.cloudwatch.namespace	メトリクスが公開される Amazon CloudWatch 名前空間	デフォルト値は Hudi です
hoodie.metrics.cloudwatch.maxDatumsPerRequest	Amazon CloudWatch への 1 つのリクエストに含めるデータムの最大数	デフォルト値は 20 で、Amazon CloudWatch のデフォルトと同じです

Amazon EMR Hudi の設定のサポートと改善

• EMR 設定 API と再設定機能を利用して、クラスターレベルで Hudi 設定を構成できるようになりました。Spark、Hive などの他のアプリケーションに似た /etc/hudi/conf/hudi-defaults.conf を使用して、新しいファイルベースの設定のサポートが導入されました。EMR では、ユーザーエクスペリエンスを向上させるためにデフォルト設定はほとんどありません。

  — `hoodie.datasource.hive_sync.jdbcurl` はクラスター Hive サーバ URL に設定されるため、指定する必要がなくなりました。これは、Spark クラスターモードでジョブを実行する場合に特に便利です。この場合、以前は Amazon EMR マスター IP を指定する必要がありました。

  — HBase 固有の設定。Hbase のインデックスを Hudi で使用する場合に役立ちます。

  — 同時実行制御で説明されているように、Zookeeper はプロバイダー固有の設定をロックします。これにより、オプティミスティック同時実行制御 (OCC) の使用が容易になります。

- 渡す必要がある設定の数を減らし、可能な場合は自動的に推測するために、追加の変更が導入されました。

  — `partitionBy` キーワードは、パーティション列を指定するために使用できます。

  — Hive Sync を有効にすると、`HIVE_TABLE_OPT_KEY, HIVE_PARTITION_FIELDS_OPT_KEY, HIVE_PARTITION_EXTRACTOR_CLASS_OPT_KEY` を渡すのは必須ではなくなります。これらの値は、Hudi テーブル名とパーティションフィールドから推測できます。

  — `KEYGENERATOR_CLASS_OPT_KEY` を渡すのは必須ではなく、より単純な `SimpleKeyGenerator` および `ComplexKeyGenerator` のケースから推測できます。

Hudi Caveats

- Hudi では、読み取り時マージ (MoR) テーブルおよびブートストラップテーブルの Hive でのベクトル化された実行をサポートしていません。例えば、`hive.vectorized.execution.enabled` が true に設定されている場合、Hudi リアルタイムテーブルで `count(*)` は失敗します。回避策として、`hive.vectorized.execution.enabled` を `false` に設定して、ベクトル化された読み取りを無効にすることができます。
- マルチライターサポートは、Hudi ブートストラップ機能とは互換性がありません。
- Flink Streamer と Flink SQL は、このリリースでは実験的な機能です。これらの機能は、実稼働環境での使用はお勧めしません。

変更点、機能強化、解決した問題

これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- 以前は、マルチマスタークラスターでリソースマネージャーを手動で再起動すると、Zookeeper などの Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、Zookeeper znode ファイル内の以前に廃止された、または失われたすべてのノードを再ロードしていました。これにより、特定の状況でデフォルトの制限を超えることがありました。Amazon EMR では、1 時間以上経過した、廃止された、または失われたノードレコードが Zookeeper ファイルから削除されるようになり、内部制限も引き上げられました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケー

リングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。

- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Apache YARN タイムラインサーバーのバージョン 1 および 1.5 のパフォーマンスの問題を修正するためのクラスターの設定

  Apache YARN タイムラインサーバーのバージョン 1 および 1.5 では、特に Amazon EMR のデフォルト設定である `yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled=true` を使用する場合に、非常にアクティブで大規模な EMR クラスターでパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。オープンソースの YARN タイムラインサーバー v2 では、YARN タイムラインサーバーのスケーラビリティに関連するパフォーマンスの問題が解決されています。

  この問題の他の回避策には、次のものがあります。

  - yarn-site.xml で yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled=false を設定します。
  - クラスターの作成時にこの問題の修正を有効にします (以下を参照)。

  次の Amazon EMR リリースには、この YARN タイムラインサーバーのパフォーマンス問題の修正が含まれています。

  EMR 5.30.2、5.31.1、5.32.1、5.33.1、5.34.x、6.0.1、6.1.1、6.2.1、6.3.1、6.4.x

  上記に示されている Amazon EMR リリースで修正を有効にするには、`aws emr create-cluster` コマンドのパラメータ `--configurations file://./configurations.json` で

渡される設定の JSON ファイルで、以下のプロパティを true に設定します。または、[再構成コンソール UI] を使用して修正を有効にします。

configurations.json ファイルの内容の例

```
[
{
"Classification": "yarn-site",
"Properties": {
"yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.timeline-server-v1.enable-batch":
 "true",
"yarn.resourcemanager.system-metrics-publisher.enabled": "true"
},
"Configurations": []
}
]
```

- WebHDFS と HttpFS サーバーはデフォルトで無効になっています。Hadoop 設定 dfs.webhdfs.enabled を使用して WebHDF を再度有効にすることができます。HttpFS サーバーを起動するには、sudo systemctl start hadoop-httpfs を使用します。
- Amazon Linux リポジトリでは、現在、HTTPS がデフォルトで有効になります。Amazon S3 VPCE ポリシーを使用して特定のバケットへのアクセスを制限する場合は、新しい Amazon Linux バケット ARN arn:aws:s3:::amazonlinux-2-repos-$region/* をポリシーに追加する ($region を、エンドポイントがあるリージョンに置き換える) 必要があります。詳細については、 AWS ディスカッションフォーラムのこのトピックを参照してください。Announcement: Amazon Linux 2 now supports the ability to use HTTPS while connecting to package repositories
- Hive: 最後のジョブに HDFS でスクラッチディレクトリを使用できるようにすると、書き込みクエリのパフォーマンスが向上します。最後のジョブの一時データは Amazon S3 ではなく HDFS に書き込まれ、データは Amazon S3 デバイス間ではなく HDFS から最後のテーブルの場所 (Amazon S3) に移動されるため、パフォーマンスが向上します。
- Hive: Glue メタストアパーティションプルーニングにより、クエリのコンパイル時間が最大 2.5 倍に改善されています。
- デフォルトでは、組み込みの UDF が Hive から Hive メタストアサーバーに渡されると、Glue は限定された式演算子しかサポートしていないため、組み込みの UDF のサブセットのみが Glue メタストアに渡されます。hive.glue.partition.pruning.client=true を設定した場合、パーティションのプルーニングはすべてクライアント側で行われます。hive.glue.partition.pruning.server=true を設定した場合、パーティションのプルーニングはすべてサーバー側で行われます。

既知の問題

- Apache Hadoop HttpFS サーバーはデフォルトで無効になるため、Hue クエリは Amazon EMR 6.4.0 では機能しません。Amazon EMR 6.4.0 で Hue を使用するには、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して Amazon EMR プライマリノードで HttpFS サーバーを手動で起動するか、または Amazon EMR のステップを使用します。
- Livy ユーザー偽装で使用される Amazon EMR Notebooks 機能は、HttpFS がデフォルトで無効になっているため機能しません。この場合、EMR notebooks は Livy 偽装が有効になっているクラスターに接続できません。回避策は、`sudo systemctl start hadoop-httpfs` を使用して EMR notebooks をクラスターに接続する前に、HttpFS サーバーを起動することです。
- Amazon EMR バージョン 6.4.0 では、Phoenix は Phoenix コネクタコンポーネントをサポートしていません。
- Apache Oozie で Spark アクションを使用するには、以下の設定を Oozie `workflow.xml` ファイルに追加する必要があります。そうしないと、Hadoop や EMRFS などのいくつかの重要なライブラリが、Oozie が起動する Spark エグゼキューターのクラスパスから失われてしまいます。

```
<spark-opts>--conf spark.yarn.populateHadoopClasspath=true</spark-opts>
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 5.32.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.32.0 に関する情報が含まれています。5.31.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2021 年 1 月 8 日

アップグレード

- Amazon Glue コネクタをバージョン 1.14.0 にアップグレードしました
- Amazon SageMaker Spark SDK をバージョン 1.4.1 にアップグレードしました
- バージョン 1.11.890 AWS SDK for Java にアップグレード
- EMR DynamoDB Connector バージョン 4.16.0 にアップグレードしました
- EMRFS をバージョン 2.45.0 にアップグレードしました
- EMR Log Analytics Metrics をバージョン 1.18.0 にアップグレードしました
- EMR MetricsAndEventsApiGateway Client をバージョン 1.5.0 にアップグレードしました
- EMR Record Server をバージョン 1.8.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Dist CP をバージョン 2.17.0 にアップグレードしました
- EMR Secret Agent をバージョン 1.7.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.11.2 にアップグレードしました
- Hadoop をバージョン 2.10.1-amzn-0 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.7-amzn-3 にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.8.0 にアップグレードしました
- MXNet をバージョン 1.7.0 にアップグレードしました
- OpenCV をバージョン 4.4.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.240.1-amzn-0 にアップグレードしました
- Spark をバージョン 2.4.7-amzn-0 にアップグレードしました
- TensorFlow をバージョン 2.3.1 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- コンポーネントのバージョンをアップグレードしました。
- コンポーネントのバージョンのリストについては、このガイドの「Amazon EMR リリースについて」を参照してください。

新機能

- Amazon EMR 5.32.0 および 6.5.0 以降、Apache Spark の動的エグゼキューターサイズ設定はデフォルトで有効になっています。この機能をオンまたはオフにするには、`spark.yarn.heterogeneousExecutors.enabled` 設定パラメータを使用できます。
- インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 5.23.1、5.27.1、および 5.32 以降のコンポーネントは、すべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セ

キュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。その他の 5.x EMR リリースでは、IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。

- Amazon EMR 5.32.0 以降では、Apache Ranger とネイティブに統合されるクラスターを起動できます。Apache Ranger は、Hadoop プラットフォーム全体で包括的なデータセキュリティを有効化、監視、管理するためのオープンソースフレームワークです。詳細については、「Apache Ranger」を参照してください。ネイティブ統合により、独自の Apache Ranger を導入して、Amazon EMR できめ細かなデータアクセス制御を実施できます。「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR と Apache Ranger を統合する」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 5.32.0 は Amazon EMR on EKS をサポートしています。EMR on EKS の開始方法の詳細については、「Amazon EMR on EKS とは」を参照してください。
- Amazon EMR リリース 5.32.0 は Amazon EMR Studio (プレビュー) をサポートしています。EMR Studio の開始方法の詳細については、「Amazon EMR Studio (Preview)」を参照してください。
- スコープ管理ポリシー: AWS ベストプラクティスに合わせて、Amazon EMR は v2 EMR スコープのデフォルト管理ポリシーを廃止されるポリシーの置き換えとして導入しました。「Amazon EMR 管理ポリシー」を参照してください。

既知の問題

- Amazon EMR 6.3.0 および 6.2.0 のプライベートサブネットクラスターで、Ganglia ウェブ UI にアクセスできません。「アクセス拒否 (403)」というエラーが表示されます。Spark、Hue、JupyterHub、Zeppelin、Livy、Tez などの他のウェブ UI は正常に動作します。パブリックサブネットクラスターでの Ganglia ウェブ UI アクセスも正常に動作します。この問題を解決するには、`sudo systemctl restart httpd` を使用してプライマリノードで httpd サービスを再起動します。この問題は、Amazon EMR 6.4.0 で修正されています。
- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark

ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
```

```
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- > **Important**
  >
  > Amazon Linux または Amazon Linux 2 Amazon マシンイメージ (AMI) を実行する EMR クラスターは、デフォルトの Amazon Linux 動作を使用します。再起動が必要な重要かつクリティカルなカーネル更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。これは、デフォルトの Amazon Linux AMI を実行している他の Amazon EC2 インスタンスと同じ動作です。Amazon EMR リリースが利用可能になった後に、再起動が必要な新しい Amazon Linux ソフトウェアアップデート (カーネル、NVIDIA、CUDA のアップデートなど) が使用可能になった場合、デフォルトの AMI を実行する EMR クラスターインスタンスで、それらの更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。カーネルの更新を取得するには、[Amazon EMR AMI をカスタマイズ]して、[最新の Amazon Linux AMI を使用]できるようにします。
- Ranger AWS 統合オプションを指定するセキュリティ設定を作成するためのコンソールサポートは、現在 GovCloud リージョンではサポートされていません。セキュリティ設定は CLI を使用して実行できます。「Amazon EMR 管理ガイド」の「[EMR セキュリティ設定を作成する]」を参照してください。
- Amazon EMR 5.31.0 または 5.32.0 を使用するクラスターで AtRestEncryption または HDFS 暗号化が有効になっている場合、Hive クエリで次のランタイム例外が発生します。

```
TaskAttempt 3 failed, info=[Error: Error while running task ( failure ) :
 attempt_1604112648850_0001_1_01_000000_3:java.lang.RuntimeException:
 java.lang.RuntimeException: Hive Runtime Error while closing
 operators: java.io.IOException: java.util.ServiceConfigurationError:
 org.apache.hadoop.security.token.TokenIdentifier: Provider
 org.apache.hadoop.hbase.security.token.AuthenticationTokenIdentifier not found
```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。

- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 6.2.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.2.0 に関する情報が含まれています。6.1.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 12 月 9 日

最終更新日: 2021 年 10 月 4 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.828
- emr-record-server バージョン 1.7.0
- Flink バージョン 1.11.2
- Ganglia バージョン 3.7.2
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-1
- HBase バージョン 2.2.6-amzn-0
- HBase-operator-tools 1.0.0
- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-0
- Hive バージョン 3.1.2-amzn-3
- Hudi バージョン 0.6.0-amzn-1
- Hue バージョン 4.8.0
- JupyterHub バージョン 1.1.0
- Livy バージョン 0.7.0

- MXNet バージョン 1.7.0
- Oozie バージョン 5.2.0
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Pig バージョン 0.17.0
- Presto バージョン 0.238.3-amzn-1
- PrestoSQL バージョン 343
- Spark バージョン 3.0.1-amzn-0
- spark-rapids 0.2.0
- TensorFlow バージョン 2.3.1
- Zeppelin バージョン 0.9.0-preview1
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.16.0

新機能

- HBase: コミットフェーズでの名前変更を削除し、永続的 HFile トラッキングを追加しました。「Amazon EMR リリース ガイド」の「永続的 HFile トラッキング」を参照してください。
- HBase:「Create a config that forces to cache blocks on compaction」をバックポートしました。
- PrestoDB: ダイナミックパーティションプルーニングの改善。ルールベースの結合順序は、パーティション分割されていないデータに対して機能します。
- スコープ管理ポリシー: AWS ベストプラクティスに合わせて、Amazon EMR は v2 EMR スコープのデフォルト管理ポリシーを廃止されるポリシーの置き換えとして導入しました。「Amazon EMR 管理ポリシー」を参照してください。
- インスタンスメタデータサービス (IMDS) V2 サポートステータス: Amazon EMR 6.2 以降では、Amazon EMR コンポーネントはすべての IMDS 呼び出しに IMDSv2 を使用します。アプリケーションコードでの IMDS 呼び出しでは、IMDSv1 と IMDSv2 の両方を使用するか、または、セキュリティを強化するために IMDSv2 のみを使用するように IMDS を設定できます。以前の Amazon EMR 6.x リリースで IMDSv1 を無効にすると、クラスターの起動が失敗します。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Spark: Spark ランタイムのパフォーマンスが向上しました。

既知の問題

- Amazon EMR 6.2 で、EMR 6.2.0 の /etc/cron.d/libinstance-controller-java ファイルに対して正しくないアクセス許可が設定されています。ファイルに対するアクセス許可は、644 (-rw-r—r—) であるべきときに 645 (-rw-r--r-x) になります。その結果、Amazon EMR バージョン 6.2 ではインスタンス状態ログが記録されず、/emr/instance-logs ディレクトリは空になります。この問題は、Amazon EMR 6.3.0 以降で修正されています。

  この問題を回避するには、クラスター起動時に以下のスクリプトをブートストラップアクションとして実行します。

  ```
  #!/bin/bash
  ```

```
sudo chmod 644 /etc/cron.d/libinstance-controller-java
```

- Amazon EMR 6.2.0 および 6.3.0 のプライベートサブネットクラスターで、Ganglia ウェブ UI にアクセスできません。「アクセス拒否 (403)」というエラーが表示されます。Spark、Hue、JupyterHub、Zeppelin、Livy、Tez などの他のウェブ UI は正常に動作します。パブリックサブネットクラスターでの Ganglia ウェブ UI アクセスも正常に動作します。この問題を解決するには、`sudo systemctl restart httpd` を使用してプライマリノードで httpd サービスを再起動します。この問題は、Amazon EMR 6.4.0 で修正されています。
- Amazon EMR 6.2.0 で、httpd が連続して失敗し、Ganglia が利用できないという問題があります。「サーバーに接続できません」というエラーが表示されます。この問題が発生している、既に実行されているクラスターを修正するには、クラスターのプライマリノードに SSH 接続して、`/etc/httpd/conf/httpd.conf` にあるファイル `httpd.conf` に行 `Listen 80` を追加します。この問題は、Amazon EMR 6.3.0 で修正されています。
- セキュリティ設定を使用している場合、EMR 6.2.0 クラスターで HTTPD が失敗します。これにより、Ganglia ウェブアプリケーションのユーザーインターフェイスが使用できなくなります。Ganglia ウェブアプリケーションのユーザーインターフェイスにアクセスするには、クラスターのプライマリノード上の `/etc/httpd/conf/httpd.conf` ファイルに `Listen 80` を追加します。クラスターへの接続の詳細については、「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。

  EMR Notebooks では、セキュリティ構成を使用する場合、EMR 6.2.0 クラスターとの接続の確立にも失敗します。ノートブックは、カーネルのリストと Spark ジョブの送信に失敗します。代わりに、別のバージョンの Amazon EMR で EMR Notebooks を使用することをお勧めします。
- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- > **Important**
  >
  > Amazon EMR 6.1.0 および 6.2.0 には、Hudi の挿入、アップサート、および削除操作すべてに大きな影響を及ぼす可能性があるパフォーマンスの問題が含まれています。Amazon EMR 6.1.0 または 6.2.0 で Hudi を使用する予定がある場合は、 AWS サポートに連絡してパッチが適用された Hudi RPM を取得する必要があります。

- > **Important**
  >
  > Amazon Linux または Amazon Linux 2 Amazon マシンイメージ (AMI) を実行する EMR クラスターは、デフォルトの Amazon Linux 動作を使用します。再起動が必要な重要かつクリティカルなカーネル更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。これは、デフォルトの Amazon Linux AMI を実行している他の Amazon EC2 インスタンスと同じ動作です。Amazon EMR リリースが利用可能になった後に、再起動が必要な新しい Amazon Linux ソフトウェアアップデート (カーネル、NVIDIA、CUDA のアップデートなど) が使用可能になった場合、デフォルトの AMI を実行する EMR クラスターインスタンスで、それらの更新が自動的にダウンロードされてインストールされることはありません。カーネルの更新を取得するには、Amazon EMR AMI をカスタマイズして、最新の Amazon Linux AMI を使用できるようにします。

- Amazon EMR 6.2.0 の Maven アーティファクトは公開されません。これらは Amazon EMR の将来のリリースで公開される予定です。
- HBase ストアファイルシステムテーブルを使用した永続的な HFile トラッキングは、HBase リージョンのレプリケーション機能をサポートしていません。HBase リージョンレプリケーションの詳細については、「Timeline-consistent High Available Reads」を参照してください。
- Amazon EMR 6.x と EMR 5.x の Hive バケット化バージョンの違い

  EMR 5.x では OOS Apache Hive 2 を使用していますが、EMR 6.x では OOS Apache Hive 3を使用しています。オープンソースの Hive2 ではバケット化バージョン 1 を使用していますが、オープンソースの Hive3 ではバケット化バージョン 2 を使用しています。Hive 2 (EMR 5.x) と Hive 3 (EMR 6.x) のこのバケット化バージョンの違いは、Hive のバケット化ハッシュ関数が異なることを意味します。以下の例を参照してください。

  次の表は、それぞれ EMR 6.x および EMR 5.x で作成した例です。

  ```
  -- Using following LOCATION in EMR 6.x
  CREATE TABLE test_bucketing (id INT, desc STRING)
  ```

```
PARTITIONED BY (day STRING)
CLUSTERED BY(id) INTO 128 BUCKETS
LOCATION 's3://your-own-s3-bucket/emr-6-bucketing/';

-- Using following LOCATION in EMR 5.x
LOCATION 's3://your-own-s3-bucket/emr-5-bucketing/';
```

EMR 6.x と EMR 5.x の両方に同じデータを挿入しています。

```
INSERT INTO test_bucketing PARTITION (day='01') VALUES(66, 'some_data');
INSERT INTO test_bucketing PARTITION (day='01') VALUES(200, 'some_data');
```

S3 の場所を確認すると、バケット化ファイル名が異なることが示されています。これは、ハッシュ関数が EMR 6.x (Hive 3) と EMR 5.x (Hive 2) で異なるためです。

```
[hadoop@ip-10-0-0-122 ~]$ aws s3 ls s3://your-own-s3-bucket/emr-6-bucketing/day=01/
2020-10-21 20:35:16         13 000025_0
2020-10-21 20:35:22         14 000121_0
[hadoop@ip-10-0-0-122 ~]$ aws s3 ls s3://your-own-s3-bucket/emr-5-bucketing/day=01/
2020-10-21 20:32:07         13 000066_0
2020-10-21 20:32:51         14 000072_0
```

EMR 6.x で、Hive CLI で次のコマンドを実行し、バージョンの違いを確認することもできます。バケット化バージョン 2 が返されることに注意してください。

```
hive> DESCRIBE FORMATTED test_bucketing;
...
Table Parameters:
    bucketing_version       2
...
```

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、s3://bucket/table/p=a は s3://bucket/table/p=a b のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、s3://bucket/table/p=a b の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: !"#$%&‘()*+,-。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters](#)」を参照してください。

  この問題の回避策として、spark-defaults 分類の spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled 設定を false にセットします。

リリース 5.31.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.31.0 に関する情報が含まれています。5.30.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 10 月 9 日

最終更新日: 2020 年 10 月 15 日

アップグレード

- Amazon Glue コネクタをバージョン 1.13.0 にアップグレードしました
- Amazon SageMaker Spark SDK をバージョン 1.4.0 にアップグレードしました
- Amazon Kinesis コネクタをバージョン 3.5.9 にアップグレードしました
- バージョン 1.11.852 AWS SDK for Java にアップグレードしました
- Bigtop-tomcat をバージョン 8.5.56 にアップグレードしました
- EMRFS をバージョン 2.43.0 にアップグレードしました
- EMR MetricsAndEventsApiGateway Client をバージョン 1.4.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Dist CP をバージョン 2.15.0 にアップグレードしました
- EMR S3 Select をバージョン 1.6.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.11.0 にアップグレードしました
- Hadoop をバージョン 2.10.0 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.7 にアップグレードしました
- Hudi をバージョン 0.6.0 にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.7.1 にアップグレードしました
- JupyterHub をバージョン 1.1.0 にアップグレードしました
- MXNet をバージョン 1.6.0 にアップグレードしました
- OpenCV をバージョン 4.3.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.238.3 にアップグレードしました
- TensorFlow をバージョン 2.1.0 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Hive の列統計は、Amazon EMR バージョン 5.31.0 以降でサポートされています。
- コンポーネントのバージョンをアップグレードしました。
- Amazon EMR 5.31.0 での EMRFS S3EC V2 のサポート。S3 Java SDK リリース 1.11.837 以降では、暗号化クライアントバージョン 2 (S3EC V2) がさまざまなセキュリティ機能強化とともに導入されました。詳細については次を参照してください:
    - S3 ブログ投稿: Updates to the Amazon S3 encryption client。
    - AWS SDK for Java デベロッパーガイド: 暗号化クライアントと復号クライアントを V2 に移行します。
    - EMR 管理ガイド: Amazon S3 クライアント側暗号化。

  下位互換性を保つため、暗号化クライアント V1 は SDK で引き続き使用できます。

新機能

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

  コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

  1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

     `LimitNOFILE=65536`

     `LimitNPROC=65536`
  2. InstanceController を再起動します。

     `$ sudo systemctl daemon-reload`

     `$ sudo systemctl restart instance-controller`

  ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

  ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

  ```
  #!/bin/bash
  ```

```
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- Amazon EMR 5.31.0 を使用すると、Lake Formation と統合されるクラスターを起動できます。この統合により、 AWS Glue データカタログのデータベースとテーブルにきめ細かな列レベルのデータフィルタリングが提供されます。また、これにより、企業の ID システムから EMR Notebooks または Apache Zeppelin へのフェデレーションシングルサインオンが可能になります。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR と AWS Lake Formationの統合」を参照してください。

  Amazon EMR with Lake Formation は現在、米国東部 (オハイオ州とバージニア北部）、米国西部 (北カリフォルニアとオレゴン）、アジアパシフィック (ムンバイ、ソウル、シンガポール、シドニー、東京）、カナダ (中部）、欧州 (フランクフルト、アイルランド、ロンドン、パリ、ストックホルム）、南米 (サンパウロ) の 16 AWS リージョンで利用できます。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

  ```
  kinit -kt <keytab_file> <principal>
  ```

  通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Amazon EMR 5.31.0 または 5.32.0 を使用するクラスターで AtRestEncryption または HDFS 暗号化が有効になっている場合、Hive クエリで次のランタイム例外が発生します。

  ```
  TaskAttempt 3 failed, info=[Error: Error while running task ( failure ) :
   attempt_1604112648850_0001_1_01_000000_3:java.lang.RuntimeException:
   java.lang.RuntimeException: Hive Runtime Error while closing
   operators: java.io.IOException: java.util.ServiceConfigurationError:
   org.apache.hadoop.security.token.TokenIdentifier: Provider
   org.apache.hadoop.hbase.security.token.AuthenticationTokenIdentifier not found
  ```

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、s3://bucket/table/p=a は s3://bucket/table/p=a b のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、s3://bucket/table/p=a b の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに

注意してください: !"#$%&'()*+,-。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 6.1.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.1.0 に関する情報が含まれています。6.0.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 9 月 4 日

最終更新日: 2020 年 10 月 15 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.828
- Flink バージョン 1.11.0
- Ganglia バージョン 3.7.2
- Hadoop バージョン 3.2.1-amzn-1
- HBase バージョン 2.2.5
- HBase-operator-tools 1.0.0
- HCatalog バージョン 3.1.2-amzn-0
- Hive バージョン 3.1.2-amzn-1
- Hudi バージョン 0.5.2-incubating
- Hue バージョン 4.7.1
- JupyterHub バージョン 1.1.0
- Livy バージョン 0.7.0
- MXNet バージョン 1.6.0
- Oozie バージョン 5.2.0
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Presto バージョン 0.232

- PrestoSQL バージョン 338
- Spark バージョン 3.0.0-amzn-0
- TensorFlow バージョン 2.1.0
- Zeppelin バージョン 0.9.0-preview1
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.14.0

新機能

- ARM インスタンスタイプは、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降および Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降でサポートされています。
- M6g 汎用インスタンスタイプは、Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降および Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降でサポートされています。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「サポートされるインスタンスタイプ」を参照してください。
- EC2 プレイスメントグループ機能は、複数のプライマリノードクラスターのオプションとして Amazon EMR バージョン 5.23.0 以降でサポートされています。現在、プレイスメントグループ機能ではプライマリノードタイプのみがサポートされており、`SPREAD` ストラテジーは、これらのプライマリノードに適用されます。`SPREAD` 戦略では、ハードウェア障害の発生時に複数のプライマリノードが失われるのを防ぐため、少数のインスタンスを別個の基盤となるハードウェア全体に配置します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EC2 プレイスメントグループと EMR の統合」を参照してください。
- マネージドスケーリング - Amazon EMR バージョン 6.1.0 では、Amazon EMR Managed Scaling を有効にすることで、ワークロードに応じてクラスター内のインスタンスやユニットの数を自動的に増減できます。Amazon EMR は引き続きクラスターのメトリクスを評価し、クラスターのコストと速度を最適化するためのスケーリングを決定します。マネージドスケーリングは、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降 (6.0.0 を除く) でも使用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターリソースのスケーリング」を参照してください。
- PrestoSQL バージョン 338 は EMR 6.1.0 でサポートされています。詳細については、「Presto」を参照してください。
  - PrestoSQL は EMR 6.1.0 以降のバージョンでのみサポートされています。EMR 6.0.0 および EMR 5.x ではサポートされていません。
  - アプリケーション名 `Presto` は、クラスターに PrestoDB をインストールするために引き続き使用されます。クラスターに PrestoDB をインストールするには、アプリケーション名 `PrestoSQL` を使用します。

  - PrestoDB または PrestoSQL のいずれかをインストールできますが、両方を 1 つのクラスターにインストールすることはできません。クラスターの作成時に PrestoDB と PrestoSQL の両方を指定すると、検証エラーが発生し、クラスター作成リクエストは失敗します。
  - PrestoSQL は、シングルマスタークラスターとマルチマスタークラスターの両方でサポートされています。マルチマスタークラスターでは、PrestoSQL または PrestoDB を実行するには、外部 Hive メタストアが必要です。「複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターでサポートされるアプリケーション」を参照してください。
- Docker を使用した Apache Hadoop および Apache Spark での ECR 自動認証サポート: Spark ユーザーは、Docker Hub および Amazon Elastic Container Registry (Amazon ECR) の Docker イメージを使用して、環境とライブラリの依存関係を定義できます。

  Docker を設定し、Amazon EMR 6.x を使用して Docker で Spark アプリケーションを実行します。
- EMR は Apache Hive ACID トランザクションをサポートしています。Amazon EMR 6.1.0 では、データベースの ACID プロパティに準拠するように Hive ACID トランザクションのサポートが追加されています。この機能を使用すると、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) のデータを使用して Hive マネージドテーブルで `INSERT`, `UPDATE`, `DELETE`, および `MERGE` の各オペレーションを実行できます。これは、ストリーミングの取り込み、データの再記述、MERGE を使用した一括更新、徐々に変化するディメンションなどのユースケースにとって重要な機能です。設定例とユースケースを含め、詳細については、「Amazon EMR supports Apache Hive ACID transactions」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- SPARK-29683。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。

- YARN-9011。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Apache Flink は EMR 6.0.0 ではサポートされていませんが、Flink 1.11.0 と EMR 6.1.0 ではサポートされています。これは、Hadoop 3 を公式にサポートする Flink の最初のバージョンです。「Apache Flink 1.11.0 Release Announcement」を参照してください。
- Ganglia はデフォルトの EMR 6.1.0 パッケージバンドルから削除されました。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- > **Important**
  >
  > Amazon EMR 6.1.0 および 6.2.0 には、Hudi の挿入、アップサート、および削除操作すべてに大きな影響を及ぼす可能性があるパフォーマンスの問題が含まれています。Amazon EMR 6.1.0 または 6.2.0 で Hudi を使用する予定がある場合は、 AWS サポートに連絡してパッチが適用された Hudi RPM を取得する必要があります。

- `spark.driver.extraJavaOptions` と `spark.executor.extraJavaOptions` を使用してカスタムのガベージコレクション設定を指定すると、ガベージコレクション設定の競合のために、EMR 6.1 でドライバー/エグゼキューターの起動に失敗します。EMR リリース 6.1.0 では、代わりにプロパティ `spark.driver.defaultJavaOptions` と `spark.executor.defaultJavaOptions` を使用して、ドライバーとエグゼキューターのカスタムの Spark ガベージコレクション設定を指定する必要があります。詳細については、「Apache Spark のランタイム環境」および「Amazon EMR 6.1.0 での Spark ガベージコレクションの設定」を参照してください。
- Oozie で Pig を (Hue 内で。Hue では、Oozie アクションを使用して Pig スクリプトを実行するため) 使用すると、native-lzo ライブラリをロードできないというエラーが生成されます。このエラーメッセージは情報であるため、Pig の実行はブロックされません。
- Hudi 同時実行のサポート: 現在、Hudi は単一の Hudi テーブルへの同時書き込みをサポートしていません。さらに、Hudi は新しいライターの起動を許可する前に、進行中のライターによって行われた変更をロールバックします。同時書き込みは、このメカニズムを妨げて、競合状態を引き起こし、データの破損につながる可能性があります。データ処理ワークフローの一部として、いつでも 1 つの Hudi テーブルに対して動作する Hudi ライターが 1 つだけであることを確認してください。Hudi は、同じ Hudi テーブルに対して動作する複数の同時リーダーをサポートしています。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。

- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Amazon EMR 6.1.0 には、Presto を実行しているクラスターに影響する問題があります。長時間 (日単位) 後に、クラスターが「su: failed to execute /bin/bash: Resource temporarily unavailable」(su: /bin/bash の実行に失敗しました:リソースを一時的に利用できません) または「shell request failed on channel 0」(チャネル 0 でシェルリクエストが失敗しました) などのエラーをスローする可能性があります。この問題は、多すぎるライトウェイトプロセス (LWP) を生成する内部 Amazon EMR プロセス (InstanceController) が原因で発生し、最終的に Hadoop ユーザーが nproc の制限を超えることになります。これにより、ユーザーは追加のプロセスを開くことができなくなります。この問題の解決策は、EMR 6.2.0 にアップグレードすることです。

リリース 6.0.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 6.0.0 に関する情報が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 3 月 10 日

サポートされているアプリケーション

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.711
- Ganglia バージョン 3.7.2
- Hadoop バージョン 3.2.1
- HBase バージョン 2.2.3
- HCatalog バージョン 3.1.2
- Hive バージョン 3.1.2

- Hudi バージョン 0.5.0-incubating
- Hue バージョン 4.4.0
- JupyterHub バージョン 1.0.0
- Livy バージョン 0.6.0
- MXNet バージョン 1.5.1
- Oozie バージョン 5.1.0
- Phoenix バージョン 5.0.0
- Presto バージョン 0.230
- Spark バージョン 2.4.4
- TensorFlow バージョン 1.14.0
- Zeppelin バージョン 0.9.0-SNAPSHOT
- Zookeeper バージョン 3.4.14
- コネクタおよびドライバー: DynamoDB Connector 4.14.0

> **Note**
>
> Flink、Sqoop、Pig、および Mahout は、Amazon EMR バージョン 6.0.0 では使用できません。

新機能

- YARN Docker ランタイムのサポート - Spark ジョブなどの YARN アプリケーションは、Docker コンテナのコンテキストで実行できるようになりました。これにより、Amazon EMR クラスターにカスタムライブラリをインストールすることなく、Docker イメージの依存関係を簡単に定義できます。詳細については、「Docker 統合の設定」および「Amazon EMR 6.0.0 を使用して Docker で Spark アプリケーションを実行する」を参照してください。
- Hive LLAP のサポート - クエリのパフォーマンス向上のため、Hive が LLAP 実行モードをサポートしました。詳細については、「Hive LLAP の使用」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- これは、Amazon EMR Scaling がクラスターを正常にスケールアップ/スケールダウンできない場合や、アプリケーション障害を引き起こした場合の問題点を修正するためのリリースです。

- Amazon EMR のクラスター上のデーモンが YARN ノード状態や HDFS ノード状態の収集などのヘルスチェックアクティビティを実行しているときに、大規模で使用率の高いクラスターのスケーリングリクエストが失敗する問題を修正しました。これは、クラスター上のデーモンがノードのヘルスステータスデータを内部の Amazon EMR コンポーネントに伝達できなかったために発生していました。
- EMR のクラスター上のデーモンが改善され、IP アドレスが再利用されるときにノードの状態を正しく追跡できるようになり、スケーリング操作中の信頼性が向上しました。
- [SPARK-29683](https://issues.apache.org/jira/browse/SPARK-29683)。Spark が使用可能なすべてのノードが拒否リストに登録されていると想定していたため、クラスターのスケールダウン中にジョブエラーが発生する問題を修正しました。
- [YARN-9011](https://issues.apache.org/jira/browse/YARN-9011)。クラスターがスケールアップまたはスケールダウンを試みたときに YARN 廃止の競合状態が原因でジョブ障害が発生する問題を修正しました。
- Amazon EMR のクラスター上のデーモンと YARN/HDFS の間でノードの状態が常に一致するようにすることで、クラスターのスケーリング中のステップまたはジョブの障害に関する問題を修正しました。
- Kerberos 認証で有効になっている Amazon EMR クラスターで、スケールダウンやステップ送信などのクラスター操作が失敗する問題を修正しました。これは、Amazon EMR のクラスター上のデーモンが、プライマリノードで実行されている HDFS/YARN と安全に通信するために必要な Kerberos チケットを更新しなかったためです。
- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。
- Amazon Linux
  - Amazon Linux 2 は EMR 6.x リリースシリーズのオペレーティングシステムです。
  - `systemd` は、Amazon Linux 1 で使用される `upstart` ではなく、サービス管理に使用されます。
- Java Development Kit (JDK)
  - Corretto JDK 8 は、EMR 6.x リリースシリーズのデフォルトの JDK です。
- Scala
  - Scala 2.12 は、Apache Spark および Apache Livy で使用されます。
- Python 3
  - Python 3 が EMR の Python のデフォルトバージョンになりました。
- YARN ノードラベル

- Amazon EMR 6.x リリースシリーズ以降では、YARN ノードラベル機能はデフォルトで無効になっています。アプリケーションマスタープロセスは、デフォルトでコアノードとタスクノードの両方で実行できます。次のプロパティを設定することで、YARN ノードラベル機能を有効にできます: `yarn.node-labels.enabled` および `yarn.node-labels.am.default-node-label-expression`。詳細については、「Understanding Primary, Core, and Task Nodes」を参照してください。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

  コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

  1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

     ```
     LimitNOFILE=65536
     ```

     ```
     LimitNPROC=65536
     ```

  2. InstanceController を再起動します。

     ```
     $ sudo systemctl daemon-reload
     ```

```
$ sudo systemctl restart instance-controller
```

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- PySpark、SparkR、spark-shell を含む Spark インタラクティブシェルは、追加のライブラリでの Docker の使用をサポートしていません。
- Amazon EMR バージョン 6.0.0 で Python 3 を使用するには、`PATH` を `yarn.nodemanager.env-whitelist` に追加する必要があります。
- AWS Glue データカタログを Hive のメタストアとして使用する場合、Live Long and Process (LLAP) 機能はサポートされていません。
- Spark と Docker の統合で Amazon EMR 6.0.0 を使用する場合、Docker ランタイムで Spark ジョブを送信する際の失敗を回避するために、同じインスタンスタイプおよび同量の EBS ボリュームでクラスター内のインスタンスを設定する必要があります。
- Amazon EMR 6.0.0 では、HBase on Amazon S3 ストレージモードは HBASE-24286 の問題の影響を受けます。既存の S3 データを使用してクラスターを作成する場合、HBase マスターは初期化できません。

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.30.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.30.1 に関する情報が含まれています。5.30.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 6 月 30 日

最終更新日: 2020 年 8 月 24 日

変更点、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR の新しいリリースでは、Amazon EMR の古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い問題が修正されています。Amazon EMR リリース

5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれるようになりました。

- インスタンスコントローラープロセスが無限数のプロセスをスポーンする問題を修正しました。
- Hue が Hive クエリを実行できず、「データベースがロックされています」というメッセージが表示され、クエリの実行が妨げられる問題を修正しました。
- EMR クラスターでより多くのタスクを同時に実行できるようにするための Spark の問題を修正しました。
- Jupyter サーバーで「too many files open error」(開いているファイルの数が多すぎるエラー) が発生する、Jupyter Notebook の問題を修正しました。
- クラスターの開始時間の問題を修正しました。

新機能

- Tez UI および YARN タイムラインサーバーの永続アプリケーションインターフェイスは、Amazon EMR バージョン 6.x および EMR バージョン 5.30.1 以降で利用可能です。永続アプリケーション履歴へのワンクリックリンクアクセスにより、SSH 接続でウェブプロキシを設定せずに、ジョブ履歴にすばやくアクセスできます。アクティブなクラスターと終了したクラスターのログは、アプリケーションの終了後 30 日間利用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「永続アプリケーションユーザーインターフェイスの表示」を参照してください。
- EMR Notebooks 実行 API を使用して、スクリプトまたはコマンドラインで EMR Notebooks を実行できます。 AWS コンソールなしで EMR ノートブックの実行を開始、停止、一覧表示、記述する機能により、EMR ノートブックをプログラムで制御できます。パラメータ化されたノートブックセルを使用すると、新しいパラメータ値セットごとにノートブックのコピーを作成しなくても、複数の異なるパラメータ値をノートブックに渡すことができます。「EMR API のアクション」を参照してください。サンプルコードについては、「EMR Notebooks をプログラムで実行するサンプルコマンド」を参照してください。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープ

ンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`
2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
```

```
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- EMR Notebooks

  クラスターのプライマリノードにカーネルと追加の Python ライブラリをインストールする機能は、EMR バージョン 5.30.1 ではデフォルトで無効になっています。この機能の詳細については、「クラスターのプライマリノードへのカーネルと Python ライブラリのインストール」を参照してください。

  この機能を有効にするには、以下の操作を行います。

  1. EMR Notebooks のサービスロールにアタッチされているアクセス許可ポリシーで、次のアクションが許可されていることを確認します。

     ```
     elasticmapreduce:ListSteps
     ```

     詳細については、「EMR Notebooks のサービスロール」を参照してください。
  2. を使用して、次の例に示すように EMR Notebooks をセットアップするクラスターでステップ AWS CLI を実行します。*us-east-1* を、クラスターが存在するリージョンに置き換えます。詳細については、「AWS CLIを使用したクラスターへのステップの追加」を参照してください。

     ```
     aws emr add-steps  --cluster-id MyClusterID --steps
      Type=CUSTOM_JAR,Name=EMRNotebooksSetup,ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=s3://us-
     east-1.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-runner.jar,Args=["s3://
     awssupportdatasvcs.com/bootstrap-actions/EMRNotebooksSetup/emr-notebooks-setup.sh"]
     ```

- マネージドスケーリング

  Presto がインストールされていない 5.30.0 クラスターおよび 5.30.1 クラスターでマネージドスケーリング操作を実行すると、特にスケールダウン操作の後にすぐ、スケールアップ操作が実行されたときに、アプリケーション障害が発生するか、ユニフォームインスタンスグループまたはインスタンスフリートが ARRESTED 状態のままになる場合があります。

回避策として、ジョブに Presto が必要ない場合でも、Amazon EMR リリース 5.30.0 および 5.30.1 を使用してクラスターを作成するときに、インストールするアプリケーションとして Presto を選択します。

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。

  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。

- 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&'()*+,-`。詳細については、「[UTF-8 encoding table and Unicode characters]」を参照してください。

この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 5.30.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.30.0 に関する情報が含まれています。5.29.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 5 月 13 日

最終更新日: 2020 年 6 月 25 日

アップグレード

- バージョン 1.11.759 AWS SDK for Java にアップグレード
- Amazon SageMaker Spark SDK をバージョン 1.3.0 にアップグレードしました
- EMR Record Server をバージョン 1.6.0 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.10.0 にアップグレードしました
- Ganglia をバージョン 3.7.2 にアップグレードしました
- HBase をバージョン 1.4.13 にアップグレードしました
- Hudi をバージョン 0.5.2 (incubating) にアップグレードしました
- Hue をバージョン 4.6.0 にアップグレードしました
- JupyterHub をバージョン 1.1.0 にアップグレードしました
- Livy をバージョン 0.7.0 (incubating) にアップグレードしました
- Oozie をバージョン 5.2.0 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.232 にアップグレードしました
- Spark をバージョン 2.4.5 にアップグレードしました

- コネクタとドライバーをアップグレードしました: Amazon Glue Connector 1.12.0、Amazon Kinesis Connector 3.5.0、EMR DynamoDB Connector 4.14.0

新機能

- EMR Notebooks - 5.30.0 を使用して作成された EMR クラスターで使用する場合、EMR ノートブックカーネルはクラスター上で実行されます。これにより、ノートブックのパフォーマンスが向上し、カーネルをインストールおよびカスタマイズすることができます。また、クラスターのプライマリノードに Python ライブラリをインストールすることもできます。詳細については、「EMR 管理ガイド」の「カーネルとライブラリのインストールと使用」を参照してください。
- マネージドスケーリング - Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降では、EMR マネージドスケーリングを有効にすることで、ワークロードに応じてクラスター内のインスタンスやユニットの数を自動的に増減できます。Amazon EMR は引き続きクラスターのメトリクスを評価し、クラスターのコストと速度を最適化するためのスケーリングを決定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターリソースのスケーリング」を参照してください。
- Amazon S3 に保存されているログファイルの暗号化 – Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降では、Amazon S3 に保存されているログファイルを AWS KMS カスタマーマネージドキーで暗号化できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon S3 に保存されているログファイルの暗号化」を参照してください。
- Amazon Linux 2 のサポート - EMR バージョン 5.30.0 以降では、EMR は Amazon Linux 2 OS を使用します。新しいカスタム AMI (Amazon マシンイメージ) は、Amazon Linux 2 AMI に基づいている必要があります。詳細については、「カスタム AMI の使用」を参照してください。
- Presto Graceful Auto Scale - 5.30.0 を使用する EMR クラスターでは、オートスケーリングのタイムアウト期間を設定することで、Presto タスクの実行が終了するまで待ってからノードの使用を停止できます。詳細については、「グレースフルな廃止による Presto Auto Scaling の使用」を参照してください。
- 新しい割り当て戦略オプションを使用したフリートインスタンスの作成 — EMR バージョン 5.12.1 以降では、新しい割り当て戦略オプションを使用できます。これにより、クラスターのプロビジョニングにかかる時間が短縮され、スポット割り当てがより正確になり、スポットインスタンスの中断が低減します。デフォルト以外の EMR サービスロールを更新する必要があります。「インスタンスフリートを構成する」を参照してください。
- sudo systemctl stop コマンドと sudo systemctl start コマンド — Amazon Linux 2 OS を使用する EMR バージョン 5.30.0 以降では、EMR は `sudo systemctl stop` コマンドおよび `sudo systemctl start` コマンドを使用してサービスを再起動します。詳細については、「Amazon EMR でサービスを再起動するにはどうすればよいですか?」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- EMR バージョン 5.30.0 では、デフォルトで Ganglia がインストールされません。クラスターの作成時に、Ganglia を明示的に選択してインストールできます。
- Spark パフォーマンスの最適化。
- Presto パフォーマンスの最適化。
- Python 3 は、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降ではデフォルトです。
- プライベートサブネット内のサービスアクセス用のデフォルトのマネージドセキュリティグループが更新され、複数の新しいルールが追加されました。サービスアクセスにカスタムセキュリティグループを使用している場合は、同じルールをデフォルトのマネージドセキュリティグループとして含める必要があります。詳細については、「[サービスアクセスの Amazon EMR マネージドセキュリティグループ (プライベートサブネット)](https://docs.aws.amazon.com/emr/latest/ManagementGuide/emr-man-sec-groups.html#emr-sg-elasticmapreduce-sa-private)」を参照してください。Amazon EMR でカスタムサービスロールを使用する場合は、`ec2:describeSecurityGroups` にアクセス許可を付与して、セキュリティグループが正常に作成されたかどうかを EMR で検証できるようにする必要があります。`EMR_DefaultRole` を使用する場合、このアクセス許可はデフォルトのマネージドポリシーに既に含まれています。

既知の問題

- 古い AL2 で「最大オープンファイル」の上限が低い [新しいリリースで修正済み]。Amazon EMR リリース emr-5.30.x、emr-5.31.0、emr-5.32.0、emr-6.0.0、emr-6.1.0、および emr-6.2.0 は、古いバージョンの Amazon Linux 2 (AL2) に基づいており、デフォルトの AMI を使用して Amazon EMR クラスターを作成する場合に「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低くなります。Amazon EMR リリース 5.30.1、5.30.2、5.31.1、5.32.1、6.0.1、6.1.1、6.2.1、5.33.0、6.3.0 以降には、「最大オープンファイル」設定が高くなった永続的な修正が含まれています。オープンファイルの上限が低いリリースでは、Spark ジョブを送信するときに「Too many open files」というエラーが発生します。影響を受けるリリースでは、Amazon EMR のデフォルト AMI の「最大オープンファイル」はデフォルトの ulimit 設定 4096 になっており、最新の Amazon Linux 2 AMI の上限 65536 ファイルよりも低くなっています。「最大オープンファイル」の ulimit 設定が低い場合、Spark ドライバーとエグゼキュータが 4096 を超えるファイルを開こうとすると、Spark ジョブが失敗します。この問題を解決するために、Amazon EMR には、クラスターの作成時に ulimit 設定を調整するブートストラップアクション (BA) スクリプトが用意されています。

  この問題の永続的な修正がない古い Amazon EMR バージョンを使用している場合は、以下の回避策を使用すると、instance-controller ulimit を最大の 65536 ファイルに明示的に設定できます。

コマンドラインから ulimit を明示的に設定する

1. `/etc/systemd/system/instance-controller.service` を編集して、Service セクションに次のパラメータを追加します。

   `LimitNOFILE=65536`

   `LimitNPROC=65536`

2. InstanceController を再起動します。

   `$ sudo systemctl daemon-reload`

   `$ sudo systemctl restart instance-controller`

ブートストラップアクション (BA) を使用して ulimit を設定する

ブートストラップアクション (BA) スクリプトを使用して、クラスター作成時にインスタンスコントローラーの ulimit を 65536 ファイルに設定することもできます。

```
#!/bin/bash
for user in hadoop spark hive; do
sudo tee /etc/security/limits.d/$user.conf << EOF
$user - nofile 65536
$user - nproc 65536
EOF
done
for proc in instancecontroller logpusher; do
sudo mkdir -p /etc/systemd/system/$proc.service.d/
sudo tee /etc/systemd/system/$proc.service.d/override.conf << EOF
[Service]
LimitNOFILE=65536
LimitNPROC=65536
EOF
pid=$(pgrep -f aws157.$proc.Main)
sudo prlimit --pid $pid --nofile=65535:65535 --nproc=65535:65535
done
sudo systemctl daemon-reload
```

- マネージドスケーリング

Presto がインストールされていない 5.30.0 クラスターおよび 5.30.1 クラスターでマネージドスケーリング操作を実行すると、特にスケールダウン操作の後にすぐ、スケールアップ操作が実行されたときに、アプリケーション障害が発生するか、ユニフォームインスタンスグループまたはインスタンスフリートが `ARRESTED` 状態のままになる場合があります。

回避策として、ジョブに Presto が必要ない場合でも、Amazon EMR リリース 5.30.0 および 5.30.1 を使用してクラスターを作成するときに、インストールするアプリケーションとして Presto を選択します。

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

- Hue 4.6.0 のデフォルトのデータベースエンジンは SQLite であり、外部データベースで Hue を使用しようとすると、SQLite が原因で問題が発生します。これを修正するには、`hue-ini` 設定分類の `engine` を `mysql` に設定します。この問題は、Amazon EMR バージョン 5.30.1 で修正されています。

- Hive パーティション場所の形式設定で Spark を使用して Amazon S3 のデータを読み取り、Amazon EMR リリース 5.30.0 から 5.36.0、および 6.2.0 から 6.9.0 で Spark を実行すると、クラスターがデータを正しく読み取れなくなる問題が発生する可能性があります。これは、パーティションに以下の特徴がすべて当てはまる場合に発生する可能性があります。
  - 同じテーブルから 2 つ以上のパーティションがスキャンされます。
  - 少なくとも 1 つのパーティションディレクトリパスが、少なくとも 1 つの他のパーティションディレクトリパスのプレフィックスです。例えば、`s3://bucket/table/p=a` は `s3://bucket/table/p=a b` のプレフィックスです。
  - 他のパーティションディレクトリのプレフィックスに続く最初の文字が、/ 文字 (U+002F) より小さい UTF-8 値を持ちます。例えば、`s3://bucket/table/p=a b` の a と b の間にあるスペース文字 (U+0020) はこのカテゴリに該当します。非制御文字は他にも 14 個あることに注意してください: `!"#$%&‘()*+,-`。詳細については、「UTF-8 encoding table and Unicode characters」を参照してください。

  この問題の回避策として、`spark-defaults` 分類の `spark.sql.sources.fastS3PartitionDiscovery.enabled` 設定を `false` にセットします。

リリース 5.29.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.29.0 に関する情報が含まれています。5.28.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 1 月 17 日

アップグレード

- バージョン 1.11.682 AWS SDK for Java にアップグレード
- Hive をバージョン 2.3.6 にアップグレードしました
- Flink をバージョン 1.9.1 にアップグレードしました
- EMRFS をバージョン 2.38.0 にアップグレードしました
- EMR DynamoDB Connector をバージョン 4.13.0 にアップグレードしました

変更、機能強化、解決した問題

- Spark

  - Spark パフォーマンスの最適化。
- EMRFS
  - 管理ガイドでは、整合性のあるビューを実現するために emrfs-site.xml デフォルト設定が更新されています。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.28.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.28.1 に関する情報が含まれています。5.28.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2020 年 1 月 10 日

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - Spark の互換性の問題が修正されました。
- CloudWatch メトリクス
  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターでの Amazon CloudWatch メトリクスの発行が修正されました。
- 無効化されたログメッセージ
  - 「...using old version (<4.5.8) of Apache http client」(Apache http クライアントの古いバージョン (<4.5.8) を使用) という誤ったログメッセージを無効にしました。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.28.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.28.0 に関する情報が含まれています。変更は 5.27.0 に関連するものです。

初回リリース日: 2019 年 11 月 12 日

アップグレード

- Flink をバージョン 1.9.0 にアップグレードしました
- Hive をバージョン 2.3.6 にアップグレードしました
- MXNet をバージョン 1.5.1 にアップグレードしました
- Phoenix をバージョン 4.14.3 にアップグレードしました
- Presto をバージョン 0.227 にアップグレードしました
- Zeppelin をバージョン 0.8.2 にアップグレードしました

新機能

- クラスターを作成するときに、Amazon EMR で Apache Hudi をインストールできるようになりました。詳細については、「Hudi」を参照してください。
- (2019 年 11 月 25 日) 複数のステップを並行して選択して、クラスター使用率を改善し、コストを削減できるようになりました。また、保留中および実行中のステップの両方をキャンセルできるようになりました。詳細については、「 AWS CLI および コンソールを使用したステップの操作」を参照してください。
- (2019 年 12 月 3 日) EMR クラスターを on. AWS Outposts enables で作成して実行できるようになりました AWS Outposts。オンプレミス施設でネイティブ AWS サービス、インフラストラクチャ、運用モデルを有効にします。 AWS Outposts 環境では、 AWS クラウドで使用するのと同じ AWS APIs、ツール、インフラストラクチャを使用できます。詳細については、「EMR クラスター AWS Outposts」を参照してください。

- (2020 年 3 月 11 日) Amazon EMR バージョン 5.28.0 以降では、 AWS Local Zones をサポートする AWS リージョンの論理拡張として、Local Zones サブネットで Amazon EMR クラスターを作成して実行できます。Local Zone を使用すると、Amazon EMR 機能とコンピューティングやストレージ AWS サービスなどのサービスのサブセットをユーザーの近くに配置することができ、ローカルで実行されているアプリケーションへのレイテンシーが非常に低くなります。使用可能な Local Zones のリストについては、「AWS Local Zones」を参照してください。使用可能な AWS ローカルゾーンへのアクセスについては、「 リージョン、アベイラビリティーゾーン、およびローカルゾーン」を参照してください。

  Local Zones は、現在 Amazon EMR Notebooks をサポートしておらず、インターフェイス VPC エンドポイント (AWS PrivateLink) を使用した Amazon EMR への直接接続をサポートしていません。

変更、機能強化、解決した問題

- 高可用性クラスターに対するアプリケーションのサポートを拡大しました。
  - 詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターでサポートされるアプリケーション」を参照してください。
- Spark
  - パフォーマンスの最適化
- [Hive]
  - パフォーマンスの最適化
- Presto
  - パフォーマンスの最適化

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.27.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.27.0 に関する情報が含まれています。5.26.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 9 月 23 日

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.615
- Flink 1.8.1
- JupyterHub 1.0.0
- Spark 2.4.4
- Tensorflow 1.14.0
- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.12.0

新機能

- (2019 年 10 月 24 日) EMR ノートブックの次の新機能は、すべての Amazon EMR リリースで利用できます。
  - Git リポジトリを EMR ノートブックに関連付けて、バージョン管理された環境でノートブックを保存できます。リモートの Git リポジトリを使用して、コードをピアと共有し、既存の Jupyter Notebook を再利用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Git リポジトリを Amazon EMR Notebooks に関連付ける」を参照してください。
  - ノートブックの比較とマージを簡素化するために、nbdime ユーティリティが EMR ノートブックで利用できるようになりました。
  - EMR ノートブックが JupyterLab をサポートするようになりました。JupyterLab は、Jupyter Notebook と完全に互換性があるウェブベースのインタラクティブな開発環境です。JupyterLab または Jupyter Notebook エディタでノートブックを開くことができるようになりました。
- (2019 年 10 月 30 日) Amazon EMR バージョン 5.25.0 以降では、コンソールでクラスターの [概要] ページまたは [アプリケーションの履歴] タブから Spark 履歴サーバー UI に接続できます。SSH 接続でウェブプロキシを設定する代わりに、Spark 履歴サーバー UI にすばやくアクセスしてアプリケーションのメトリクスを確認し、アクティブなクラスターと終了したクラスターに関連するログファイルにアクセスできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「永続アプリケーションユーザーインターフェイスへのクラスター外アクセス」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスター
  - 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターに Flink をインストールして実行できます。詳細については、「サポートされるアプリケーションと機能」を参照してください。
  - 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターに HDFS 透過的暗号化を設定することができます。詳細については、「HDFS Transparent Encryption on EMR clusters with Multiple Primary Nodes」を参照してください。
  - 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターで実行されているアプリケーションの設定を変更できるようになりました。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。
- Amazon EMR-DynamoDB Connector
  - Amazon EMR-DynamoDB Connector は、boolean、list、map、item、null の DynamoDB データ型をサポートするようになりました。詳細については、「Hive コマンドを実行するように Hive テーブルをセットアップする」を参照してください。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.26.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.26.0 に関する情報が含まれています。5.25.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 8 月 8 日

最終更新日: 2019 年 8 月 19 日

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.595
- HBase 1.4.10
- Phoenix 4.14.2
- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.11.0
  - MariaDB Connector 2.4.2
  - Amazon Redshift JDBC ドライバー 1.2.32.1056

新機能

- (ベータ) Amazon EMR 5.26.0 を使用すると、Lake Formation と統合されるクラスターを起動できます。この統合により、 AWS Glue データカタログのデータベースとテーブルへのきめ細かな列レベルのアクセスが可能になります。また、これにより、企業の ID システムから EMR Notebooks または Apache Zeppelin へのフェデレーションシングルサインオンが可能になります。詳細については、「Amazon EMR と AWS Lake Formation （ベータ) の統合」を参照してください。
- (2019 年 8 月 19 日) Amazon EMR のパブリックアクセスブロックが、セキュリティグループをサポートしているすべての Amazon EMR リリースで利用できるようになりました。ブロックパブリックアクセスは、各 AWS リージョンに適用されるアカウント全体の設定です。パブリックアクセスブロックにより、クラスターに関連付けられているセキュリティグループに、ポートで IPv4 0.0.0.0/0 または IPv6 ::/0 (パブリックアクセス) からのインバウンドトラフィックを許可するルールがある場合に、クラスターの起動が禁止されます (ポートが例外として指定されている場合を除く)。ポート 22 は、デフォルトで例外になります。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR のパブリックアクセスブロックの使用」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- EMR Notebooks
  - EMR 5.26.0 以降では、EMR Notebooks はデフォルトの Python ライブラリに加えて、ノートブックスコープの Python ライブラリもサポートしています。ノートブックスコープのライブラリは、クラスターを再作成したりノートブックをクラスターに再アタッチしたりすることなく、ノートブックエディター内からインストールできます。ノートブックスコープのライブラリは Python 仮想環境に作成されるため、現在のノートブックセッションにのみ適用されます。これ

により、ノートブックの依存関係を分離できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ノートブックスコープのライブラリの使用」を参照してください。

- EMRFS
  - `fs.s3.consistent.metadata.etag.verification.enabled` を `true` に設定すると、ETag 検証機能 (ベータ) を有効にできます。この機能を有効にすると、EMRFS は Amazon S3 ETags を使用して、読み取られているオブジェクトが利用可能な最新バージョンであることを確認します。この機能は、Amazon S3 上のファイルが同じ名前を維持しながら上書きされる、更新後の読み取りのユースケースに役立ちます。この ETag 検証機能は、現在 S3 Select では使用できません。詳細については、「整合性のあるビューを設定する」を参照してください。
- Spark
  - 現在、次の最適化がデフォルトで有効になります: ダイナミックパーティションプルーニング、DISTINCT before INTERSECT、DISTINCT クエリが後に続く JOIN の SQL 計画統計推論の改善、スカラーサブクエリのフラット化、結合順序の最適化、ブルームフィルター結合。詳細については、「Spark のパフォーマンスの最適化」を参照してください。
  - ソートマージ結合の全体的なステージコード生成が改善されました。
  - クエリフラグメントとサブクエリの再利用が改善されました。
  - Spark の起動時にエグゼキューターを事前割り当てする機能が改善されました。
  - 結合の小さい側にブロードキャストヒントが含まれている場合、ブルームフィルター結合は適用されなくなりました。
- Tez
  - Tez に関する問題を解決しました。Tez UI は、複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターで動作するようになりました。

既知の問題

- ソートマージ結合の全体的なステージコード生成機能が改善されたことにより、有効にした場合、メモリプレッシャーが増加する可能性があります。この最適化によってパフォーマンスは向上しますが、十分なメモリを提供するように `spark.yarn.executor.memoryOverheadFactor` が調整されていない場合、ジョブの再試行または失敗が生じる可能性があります。この機能を無効にするには、`spark.sql.sortMergeJoinExec.extendedCodegen.enabled` を false に設定します。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信など

のクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.25.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.25.0 に関する情報が含まれています。5.24.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 17 日

最終更新日: 2019 年 10 月 30 日

Amazon EMR 5.25.0

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.566
- Hive 2.3.5
- Presto 0.220

- Spark 2.4.3
- TensorFlow 1.13.1
- Tez 0.9.2
- Zookeeper 3.4.14

新機能

- (2019 年 10 月 30 日) Amazon EMR バージョン 5.25.0 以降では、コンソールでクラスターの [概要] ページまたは [アプリケーションの履歴] タブから Spark 履歴サーバー UI に接続できます。SSH 接続でウェブプロキシを設定する代わりに、Spark 履歴サーバー UI にすばやくアクセスしてアプリケーションのメトリクスを確認し、アクティブなクラスターと終了したクラスターに関連するログファイルにアクセスできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「永続アプリケーションユーザーインターフェイスへのクラスター外アクセス」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - ブルームフィルターを使用して入力を事前フィルターすることで、一部の結合のパフォーマンスが改善されました。最適化はデフォルトでは無効になっており、Spark 設定パラメータ `spark.sql.bloomFilterJoin.enabled` を `true` に設定すると、有効にできます。
  - 文字列型の列によるグループ化のパフォーマンスが改善されました。
  - HBase がインストールされていないクラスターの R4 インスタンスタイプのデフォルトの Spark エグゼキューターメモリとコアの設定が改善されました。
  - プルーニングするテーブルが結合の左側にある必要がある、ダイナミックパーティションプルーニング機能に関する以前の問題が解決されました。
  - エイリアスを含む追加のケースに適用できるように、DISTINCT before INTERSECT 最適化が改善されました。
  - DISTINCT クエリが後に続く JOIN の SQL 計画統計推論が改善されました。この改善はデフォルトでは無効になっており、Spark 設定パラメータ `spark.sql.statsImprovements.enabled` を `true` に設定すると、有効にできます。この最適化は Distinct before Intersect 機能で必要であり、`spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled` を `true` に設定すると、自動的に有効になります。

  - テーブルのサイズとフィルターに基づいて結合順序が最適化されました。
この最適化はデフォルトでは無効になっており、Spark 設定パラメータ `spark.sql.optimizer.sizeBasedJoinReorder.enabled` を `true` に設定すると、有効にできます。

  詳細については、「Spark のパフォーマンスの最適化」を参照してください。
- EMRFS
  - EMRFS の設定 `fs.s3.buckets.create.enabled` は、現在、デフォルトでは無効になります。テストでは、この設定を無効にすると、パフォーマンスが向上し、S3 バケットが意図せずに作成されることがなくなることがわかりました。アプリケーションがこの機能に依存する場合は、`emrfs-site` 設定分類でプロパティ `fs.s3.buckets.create.enabled` を `true` に設定すると、この機能を有効にできます。詳細については、「クラスターの作成時に設定を指定する」を参照してください。
- セキュリティ設定のローカルディスク暗号化と S3 暗号化の改善 (2019 年 8 月 5 日)
  - セキュリティ設定のセットアップで、Amazon S3 暗号化設定をローカルディスク暗号化設定から分離しました。
  - リリース 5.24.0 以降で、EBS 暗号化を有効にするオプションが追加されました。このオプションを選択すると、ストレージボリュームに加えてルートデバイスボリュームが暗号化されます。以前のバージョンでは、ルートデバイスボリュームを暗号化するにはカスタム AMI を使用する必要がありました。
  - 詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「暗号化オプション」を参照してください。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:
  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。

- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.24.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.24.1 に関する情報が含まれています。5.24.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 6 月 26 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.24.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.24.0 に関する情報が含まれています。5.23.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 6 月 11 日

最終更新日: 2019 年 8 月 5 日

アップグレード

- Flink 1.8.0
- Hue 4.4.0
- JupyterHub 0.9.6
- Livy 0.6.0
- MxNet 1.4.0
- Presto 0.219
- Spark 2.4.2
- AWS SDK for Java 1.11.546
- コネクタおよびドライバー:

- DynamoDB Connector 4.9.0
- MariaDB Connector 2.4.1
- Amazon Redshift JDBC ドライバー 1.2.27.1051

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - パーティションを動的にプルーニングするための最適化を追加しました。この最適化はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、Spark 設定パラメータ `spark.sql.dynamicPartitionPruning.enabled` を `true` に設定します。
  - `INTERSECT` のクエリのパフォーマンスが改善されました。この最適化はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、Spark 設定パラメータ `spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled` を `true` に設定します。
  - 同じリレーションを使用する集計でスカラーサブクエリをフラット化するための最適化が追加されました。この最適化はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、Spark 設定パラメータ `spark.sql.optimizer.flattenScalarSubqueriesWithAggregates.enabled` を `true` に設定します。
  - 全体的なステージコード生成が改善されました。

  詳細については、「Spark のパフォーマンスの最適化」を参照してください。
- セキュリティ設定のローカルディスク暗号化と S3 暗号化の改善 (2019 年 8 月 5 日)
  - セキュリティ設定のセットアップで、Amazon S3 暗号化設定をローカルディスク暗号化設定から分離しました。
  - EBS 暗号化を有効にするオプションが追加されました。このオプションを選択すると、ストレージボリュームに加えてルートデバイスボリュームが暗号化されます。以前のバージョンでは、ルートデバイスボリュームを暗号化するにはカスタム AMI を使用する必要がありました。
  - 詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「暗号化オプション」を参照してください。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信など

のクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> **Note**
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.23.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.23.0 に関する情報が含まれています。5.22.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 4 月 1 日

最終更新日: 2019 年 4 月 30 日

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.519

新機能

- (2019 年 4 月 30 日) Amazon EMR 5.23.0 以降では、YARN リソースマネージャー、HDFS NameNode、Spark、Hive、Ganglia といったアプリケーションの高可用性をサポートできるよう

に、3 つのプライマリノードを持つクラスターを起動できます。プライマリノードは、現在この機能による潜在的な単一障害点ではありません。プライマリノードのいずれかに障害が発生した場合、Amazon EMR は自動的にスタンバイプライマリノードにフェイルオーバーし、障害が発生したプライマリノードを同じ設定とブートストラップアクションを持つ新しいプライマリノードに置き換えます。詳細については、「プライマリノードの計画と設定」を参照してください。

既知の問題

- Tez UI (Amazon EMR リリース 5.26.0 で修正)

  Tez UI は、複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターでは動作しません。
- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

    Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。
    1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
    2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

       ```
       sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
       ```
    3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

       ```
       appblacklist = search
       ```
    4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

       ```
       sudo stop hue; sudo start hue
       ```
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

  通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

> Note
>
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.22.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.22.0 に関する情報が含まれています。5.21.0 からの変更が含まれています。

> Important
>
> Amazon EMR リリース 5.22.0 以降、Amazon EMR は AWS 署名バージョン 4 のみを使用して Amazon S3 へのリクエストを認証します。以前の Amazon EMR リリースでは、リリースノートで AWS 署名バージョン 4 のみが使用されていることが明記されていない限り、場合によっては署名バージョン 2 が使用されます。詳細については、Amazon Simple Storage

Service デベロッパーガイドの「リクエストの認証 (AWS 署名バージョン 4)」および「リクエストの認証 (AWS 署名バージョン 2)」を参照してください。

初回リリース日: 2019 年 3 月 20 日

アップグレード

- Flink 1.7.1
- HBase 1.4.9
- Oozie 5.1.0
- Phoenix 4.14.1
- Zeppelin 0.8.1
- コネクタおよびドライバー:
  - DynamoDB Connector 4.8.0
  - MariaDB Connector 2.2.6
  - Amazon Redshift JDBC ドライバー 1.2.20.1043

新機能

- EBS 専用ストレージを使用する EC2 インスタンスタイプのデフォルトの EBS 設定を変更しました。Amazon EMR リリース 5.22.0 以降を使用してクラスターを作成する場合、デフォルトの EBS ストレージ容量はインスタンスのサイズに基づいて増加します。さらに、増加したストレージを複数のボリュームに分割することで、IOPS のパフォーマンスが向上しました。別の EBS インスタンスストレージ設定を使用する場合は、EMR クラスターを作成する際、または既存のクラスターをノードに追加する際に指定することができます。インスタンスタイプごとにデフォルトで割り当てられるストレージ容量とボリューム数の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「インスタンスのデフォルト EBS ストレージ」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - YARN の Spark 用に新しい設定プロパティ `spark.yarn.executor.memoryOverheadFactor` が導入されました。このプロパティの値は、メモリオーバーヘッドの値をエグゼキューターメモリのパーセントに設定するスケール係数

であり、最小は 384 MB です。`spark.yarn.executor.memoryOverhead` を使用してメモリオーバーヘッドが明示的に設定されている場合、このプロパティは影響しません。デフォルト値は `0.1875` で、18.75% を表します。Amazon EMR のこのデフォルトは、Spark で内部的に設定されたデフォルトの 10% よりも、エグゼキュターのメモリオーバーヘッド用に YARN コンテナに余分なスペースを残します。Amazon EMR のデフォルトの 18.75% では、TPC-DS ベンチマークでメモリ関連の障害が減ることが実証されています。

  - パフォーマンスを向上させるために [SPARK-26316](https://issues.apache.org/jira/browse/SPARK-26316) をバックポートしました。

- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。

既知の問題

- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

    Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

    1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
    2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

       ```
       sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
       ```

    3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

       ```
       appblacklist = search
       ```

    4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

```
sudo stop hue; sudo start hue
```

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.21.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.21.1 に関する情報が含まれています。5.21.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 18 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

既知の問題

- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.21.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.21.0 に関する情報が含まれています。5.20.0 からの変更が含まれています。

リリース日: 2019 年 2 月 18 日

最終更新日: 2019 年 4 月 3 日

アップグレード

- Flink 1.7.0
- Presto 0.215
- AWS SDK for Java 1.11.479

新機能

- (2019 年 4 月 3 日) Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Zeppelin
  - ZEPPELIN-3878 をバックポートしました。

既知の問題

- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

    Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

```
sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
```

3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

```
appblacklist = search
```

4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

```
sudo stop hue; sudo start hue
```

- Tez
  - この問題は、Amazon EMR 5.22.0 で修正されています。

    クラスタープライマリノードへの SSH 接続を使用して http://*MasterDNS*:8080/tez-ui で Tez UI に接続すると、「Adapter operation failed - Timeline server (ATS) is out of reach。Either it is down, or CORS is not enabled」(アダプタの操作に失敗しました - タイムラインサーバー (ATS) に到達できません。停止しているか、または CORS が有効になっていません) というエラーが表示されるか、タスクで予期せずに N/A と表示されます。

    これは、Tez UI がプライマリノードのホスト名ではなく `localhost` を使用して YARN タイムラインサーバーにリクエストを行ったことが原因で発生します。回避策として、ブートストラップアクションまたはステップとしてスクリプトを実行できます。このスクリプトで、Tez `configs.env` ファイル内のホスト名を更新します。スクリプトの詳細と場所については、「Bootstrap Instructions」を参照してください。
- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエスト

と送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

回避方法:

- 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
- 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

```
kinit -kt <keytab_file> <principal>
```

通常、キータブファイルは /etc/hadoop.keytab にあります。プリンシパルの形式は hadoop/<hostname>@<REALM> です。

> **Note**
> この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.20.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.20.0 に関する情報が含まれています。5.19.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 12 月 18 日

最終更新: 2019 年 1 月 22 日

アップグレード

- Flink 1.6.2
- HBase 1.4.8
- Hive 2.3.4
- Hue 4.3.0
- MXNet 1.3.1
- Presto 0.214

- Spark 2.4.0
- TensorFlow 1.12.0
- Tez 0.9.1
- AWS SDK for Java 1.11.461

新機能

- (2019 年 1 月 22 日) Amazon EMR の Kerberos は、外部 KDC からのプリンシパルの認証をサポートするように改善されました。これにより、複数のクラスターが単一の外部 KDC を共有できるため、プリンシパル管理が集中化されます。さらに、外部 KDC は Active Directory ドメインとのクロス領域信頼を得られます。これにより、すべてのクラスターが Active Directory からプリンシパルを認証できます。詳しくは、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Kerberos 認証を使用する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI
  - Python3 パッケージが python 3.4 から 3.6 にアップグレードされました。
- EMRFS S3 向けに最適化されたコミッター
  - 現在、EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターがデフォルトで有効になるため、書き込みパフォーマンスが向上します。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する」を参照してください。
- [Hive]
  - HIVE-16686 をバックポートしました。
- Spark と Hive での Glue
  - EMR 5.20.0 以降では、 Glue Data Catalog をメタストアとして使用すると、Spark および Hive AWS に対して並列パーティションプルーニングが自動的に有効になります。この変更により、複数のリクエストを並列に実行してパーティションを取得できるため、クエリ計画時間が大幅に短縮されます。同時に実行できるセグメントの総数は、1 ~ 10 の範囲です。デフォルト値は 5 であり、これが推奨される設定です。`hive-site` 設定分類の `aws.glue.partition.num.segments` プロパティを指定すると、これを変更できます。スロットリングが発生した場合は、値を 1 に変更して機能をオフにすることができます。詳細については、「AWS Glue セグメント構造」を参照してください。

既知の問題

- Hue (Amazon EMR リリース 5.24.0 で修正)
  - Amazon EMR で実行される Hue では、Solr はサポートされません。Amazon EMR リリース 5.20.0 以降、誤設定の問題により Solr が有効になり、次のような無害なエラーメッセージが表示されます。

    ```
    Solr server could not be contacted properly:
    HTTPConnectionPool('host=ip-xx-xx-xx-xx.ec2.internal',
    port=1978): Max retries exceeded with url: /solr/admin/info/
    system?user.name=hue&doAs=administrator&wt=json (Caused by
    NewConnectionError(': Failed to establish a new connection: [Errno 111]
    Connection refused',))
    ```

    Solr のエラーメッセージが表示されないようにするには、以下の操作を行います。

    1. SSH を使用してプライマリノードのコマンドラインに接続します。
    2. テキストエディタを使用して、`hue.ini` ファイルを開きます。例:

       ```
       sudo vim /etc/hue/conf/hue.ini
       ```

    3. 語句 `appblacklist` を検索して、行を次のように変更します。

       ```
       appblacklist = search
       ```

    4. 変更を保存して、次の例に示すように Hue を再起動します。

       ```
       sudo stop hue; sudo start hue
       ```

- Tez
  - この問題は、Amazon EMR 5.22.0 で修正されています。

    クラスタープライマリノードへの SSH 接続を使用して http://*MasterDNS*:8080/tez-ui で Tez UI に接続すると、「Adapter operation failed - Timeline server (ATS) is out of reach。Either it is down, or CORS is not enabled」(アダプタの操作に失敗しました - タイムラインサーバー (ATS) に到達できません。停止しているか、または CORS が有効になっていません) というエラーが表示されるか、タスクで予期せずに N/A と表示されます。

    これは、Tez UI がプライマリノードのホスト名ではなく `localhost` を使用して YARN タイムラインサーバーにリクエストを行ったことが原因で発生します。回避策として、ブートスト

ラップアクションまたはステップとしてスクリプトを実行できます。このスクリプトで、Tez `configs.env` ファイル内のホスト名を更新します。スクリプトの詳細と場所については、「Bootstrap Instructions」を参照してください。

- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。
- 複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用するクラスターの既知の問題

  Amazon EMR リリース 5.20.0 以降で複数のプライマリノードと Kerberos 認証を使用してクラスターを実行すると、クラスターをしばらく実行した後で、スケールダウンやステップの送信などのクラスターオペレーションに問題が発生する可能性があります。期間は、定義した Kerberos チケットの有効期間によって異なります。スケールダウンの問題は、自動スケールダウンリクエストと送信した明示的なスケールダウンリクエストの両方に影響します。その他のクラスターオペレーションも影響を受ける可能性があります。

  回避方法:

  - 複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターのリードプライマリノードに hadoop ユーザーとして SSH 接続します。
  - 次のコマンドを実行して hadoop ユーザーの Kerberos チケットを更新します。

    ```
    kinit -kt <keytab_file> <principal>
    ```

    通常、キータブファイルは `/etc/hadoop.keytab` にあります。プリンシパルの形式は `hadoop/<hostname>@<REALM>` です。

  > **Note**
  >
  > この回避策は、Kerberos チケットが有効になっている期間、効果があります。この期間はデフォルトで 10 時間ですが、Kerberos の設定で構成できます。Kerberos チケットの有効期限が切れたら、上記のコマンドを再実行する必要があります。

リリース 5.19.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.19.0 に関する情報が含まれています。5.18.0 からの変更が含まれています。

リリース日: 2018 年 11 月 7 日

最終更新日: 2018 年 11 月 19 日

アップグレード

- Hadoop 2.8.5
- Flink 1.6.1
- JupyterHub 0.9.4
- MXNet 1.3.0
- Presto 0.212
- TensorFlow 1.11.0
- Zookeeper 3.4.13
- AWS SDK for Java 1.11.433

新機能

- (2018 年 11 月 19 日) EMR Notebooks は、Jupyter Notebook に基づいたマネージド環境です。PySpark、Spark SQL、Spark R、および Scala の Sparkmagic カーネルをサポートしています。EMR Notebooks は、Amazon EMR リリース 5.18.0 以降を使用して作成されたクラスターで使用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR Notebooks の使用」を参照してください。
- EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、Spark と EMRFS を使用して Parquet ファイルを書き込むときに利用できます。このコミッターにより、書き込みパフォーマンスが向上します。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- YARN
  - アプリケーションマスタープロセスをコアノードで実行するように制限するロジックを修正しました。現在、この機能では、`yarn-site` 設定分類および `capacity-scheduler` 設定分類の YARN ノードラベル機能とプロパティを使用しています。詳細については、「https://

docs.aws.amazon.com/emr/latest/ManagementGuide/emr-plan-instances-guidelines.html#emr-plan-spot-YARN.」を参照してください。

- Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI
  - `ruby18`、`php56`、および `gcc48` は、デフォルトではインストールされなくなりました。必要に応じて、`yum` を使用してインストールできます。
  - aws-sdk ruby gem は、デフォルトではインストールされなくなりました。必要に応じて、`gem install aws-sdk` を使用してインストールできます。特定のコンポーネントをインストールすることもできます。例えば、`gem install aws-sdk-s3`。

既知の問題

- EMR Notebooks — 状況によっては、複数のノートブックエディタが開いているときに、ノートブックエディタがクラスターに接続できないように見えることがあります。このような場合は、ブラウザの Cookie をクリアしてから、ノートブックエディタを再度開きます。
- CloudWatch ContainerPending メトリクスと自動スケーリング — (5.20.0 で修正) Amazon EMR は `ContainerPending` に負の値を出力する可能性があります。`ContainerPending` が自動スケーリングルールで使用されている場合、自動スケーリングは期待どおりに動作しません。`ContainerPending` を自動スケーリングで使用しないでください。
- Amazon EMR バージョン 5.19.0、5.20.0、および 5.21.0 では、YARN ノードラベルは HDFS ディレクトリに保存されます。状況によっては、このために、コアノードの起動が遅延し、クラスターのタイムアウトや起動エラーが発生します。Amazon EMR 5.22.0 以降、この問題は解決されています。YARN ノードラベルは各クラスターノードのローカルディスクに保存され、HDFS への依存が回避されています。

リリース 5.18.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.18.0 に関する情報が含まれています。5.17.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 10 月 24 日

アップグレード

- Flink 1.6.0
- HBase 1.4.7
- Presto 0.210

- Spark 2.3.2
- Zeppelin 0.8.0

新機能

- Amazon EMR 5.18.0 以降では、Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用し、特定の Amazon EMR リリースで利用可能なライブラリおよび依存関係の正確なバージョンに対してジョブコードをビルドできます。詳細については、「Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用して依存関係を確認する」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- [Hive]
  - S3 Select のサポートが追加されました。詳細については、「S3 Select と Hive を使用してパフォーマンスを向上させる」を参照してください。
- Presto
  - S3 Select Pushdown のサポートが追加されました。詳細については、「S3 Select Pushdown と Presto を使用してパフォーマンスを向上させる」を参照してください。
- Spark
  - Spark のデフォルトの log4j 設定が、Spark ストリーミングジョブのコンテナログを毎時ロールするように変更されました。これにより、長時間実行されている Spark ストリーミングジョブのログが削除されるのを防ぐことができます。

リリース 5.17.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.17.1 に関する情報が含まれています。5.17.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 18 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

リリース 5.17.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.17.0 に関する情報が含まれています。5.16.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 30 日

アップグレード

- Flink 1.5.2
- HBase 1.4.6
- Presto 0.206

新機能

- TensorFlow のサポートが追加されました。詳細については、「TensorFlow」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- JupyterHub
  - Amazon S3 でのノートブックの永続性のサポートが追加されました。詳細については、「Amazon S3 でノートブックの永続性を設定するには」を参照してください。
- Spark
  - S3 Select のサポートが追加されました。詳細については、「S3 Select と Spark を使用してクエリパフォーマンスを向上させる」を参照してください。
- Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 での Cloudwatch メトリクスと自動スケーリング機能に関する問題が解決されました。

既知の問題

- Livy がインストールされた Kerberized クラスターを作成すると、Livy が失敗して、簡易認証が有効になっていないというエラーが表示されます。Livy サーバーを再起動すると、問題が解決されます。回避策として、クラスターの作成時に、プライマリノードで `sudo restart livy-server` を実行するステップを追加します。

- 作成日が 2018-08-11 の Amazon Linux AMI に基づくカスタム Amazon Linux AMI を使用すると、Oozie サーバーの起動に失敗します。Oozie を使用する場合は、作成日が異なる Amazon Linux AMI ID に基づいてカスタム AMI を作成します。次の AWS CLI コマンドを使用して、2018.03 バージョンのすべての HVM Amazon Linux AMIs のイメージ IDs とリリース日のリストを返すことができます。これにより、ベースとして適切な Amazon Linux AMI を選択できます。MyRegion はリージョン ID (us-west-2 など) に置き換えます。

```
aws ec2 --region MyRegion describe-images --owner amazon --query 'Images[?
Name!=`null`]|[?starts_with(Name, `amzn-ami-hvm-2018.03`) == `true`].
[CreationDate,ImageId,Name]' --output text | sort -rk1
```

リリース 5.16.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.16.0 に関する情報が含まれています。5.15.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 7 月 19 日

アップグレード

- Hadoop 2.8.4
- Flink 1.5.0
- Livy 0.5.0
- MXNet 1.2.0
- Phoenix 4.14.0
- Presto 0.203
- Spark 2.3.1
- AWS SDK for Java 1.11.336
- CUDA 9.2
- Redshift JDBC ドライバー 1.2.15.1025

変更、機能強化、解決した問題

- HBase
  - HBASE-20723 をバックポートしました。

- Presto
  - LDAP 認証をサポートするための設定変更。詳細については、「Amazon EMR の Presto に LDAP 認証を使用する」を参照してください。
- Spark
  - Apache Spark バージョン 2.3.1 は Amazon EMR リリース 5.16.0 以降で利用でき、CVE-2018-8024 および CVE-2018-1334 に対処します。Spark の以前のバージョンを Spark バージョン 2.3.1 以降に移行することをお勧めします。

既知の問題

- このリリースバージョンでは、c1.medium インスタンスタイプまたは m1.small インスタンスタイプはサポートされていません。これらのインスタンスタイプのいずれかを使用するクラスターは起動しません。回避策として、別のインスタンスタイプを指定するか、別のリリースバージョンを使用します。
- Livy がインストールされた Kerberized クラスターを作成すると、Livy が失敗して、簡易認証が有効になっていないというエラーが表示されます。Livy サーバーを再起動すると、問題が解決されます。回避策として、クラスターの作成時に、プライマリノードで `sudo restart livy-server` を実行するステップを追加します。
- プライマリノードの再起動後またはインスタンスコントローラーの再起動後に、Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 で、CloudWatch メトリクスが収集されず、自動スケーリング機能が使用できなくなります。この問題は、Amazon EMR 5.17.0 で修正されています。

リリース 5.15.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.15.0 に関する情報が含まれています。5.14.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 6 月 21 日

アップグレード

- HBase を 1.4.4 にアップグレードしました
- Hive を 2.3.3 にアップグレードしました
- Hue を 4.2.0 にアップグレードしました
- Oozie を 5.0.0 にアップグレードしました

- ZooKeeper を 3.4.12 にアップグレードしました
- AWS SDK を 1.11.333 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- [Hive]
  - HIVE-18069 をバックポートしました。
- Hue
  - Kerberos が有効になっている場合に Livy で正しく認証されるように Hue を更新しました。Amazon EMR で Kerberos を使用する場合、Livy がサポートされるようになりました。
- JupyterHub
  - Amazon EMR がデフォルトで LDAP クライアントライブラリをインストールするように JupyterHub を更新しました。
  - 自己署名証明書を生成するスクリプトのエラーを修正しました。

既知の問題

- このリリースバージョンでは、c1.medium インスタンスタイプまたは m1.small インスタンスタイプはサポートされていません。これらのインスタンスタイプのいずれかを使用するクラスターは起動しません。回避策として、別のインスタンスタイプを指定するか、別のリリースバージョンを使用します。
- プライマリノードの再起動後またはインスタンスコントローラーの再起動後に、Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 で、CloudWatch メトリクスが収集されず、自動スケーリング機能が使用できなくなります。この問題は、Amazon EMR 5.17.0 で修正されています。

リリース 5.14.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.14.1 に関する情報が含まれています。5.14.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 10 月 17 日

潜在的なセキュリティ脆弱性に対処するために Amazon EMR のデフォルトの AMI を更新しました。

リリース 5.14.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.14.0 に関する情報が含まれています。5.13.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 6 月 4 日

アップグレード

- Apache Flink を 1.4.2 にアップグレードしました
- Apache MXNet を 1.1.0 にアップグレードしました
- Apache Sqoop を 1.4.7 にアップグレードしました

新機能

- JupyterHub のサポートを追加しました 詳細については、「JupyterHub」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- EMRFS
  - Amazon S3 へのリクエスト内の UserAgent 文字列が、呼び出し元のプリンシパルのユーザーおよびグループの情報を含めるように更新されました。これは、より包括的なリクエスト追跡のための AWS CloudTrail ログで使用できます。
- HBase
  - HBASE-20447 が含まれました。これにより、特に分割されたリージョンで、キャッシュの問題を引き起こす可能性のある問題に対処します。
- MXNet
  - OpenCV ライブラリを追加しました。
- Spark
  - Spark が EMRFS を使用して Amazon S3 の場所に Parquet ファイルを書き込む場合、FileOutputCommitter アルゴリズムがバージョン 1 ではなくバージョン 2 を使用するように更新されました。これにより、名前変更の数が減り、アプリケーションのパフォーマンスが向上します。この変更は、以下には影響しません。
    - Spark 以外のアプリケーション。
    - HDFS などの他のファイルシステムに書き込むアプリケーション (FileOutputCommitter のバージョン 1 を引き続き使用している)。

  - テキストや csv など、EMRFS 直接書き込みを既に使用している、他の出力形式を使用するアプリケーション。

既知の問題

- JupyterHub
  - クラスターの作成時に、構成分類を使用して JupyterHub および個々の Jupyter Notebook をセットアップすることは、サポートされていません。各ユーザーの jupyterhub_config.py ファイルと jupyter_notebook_config.py ファイルを手動で編集します。詳細については、「JupyterHub の設定」を参照してください。
  - JupyterHub がプライベートサブネット内のクラスターで起動できず、失敗してメッセージ `Error: ENOENT: no such file or directory, open '/etc/jupyter/conf/server.crt'` が表示されます。これは、自己署名証明書を生成するスクリプトのエラーが原因で発生します。次の回避策を使用して自己署名証明書を生成します。すべてのコマンドは、プライマリノードに接続している間に実行されます。

    1. 証明書生成スクリプトをコンテナからプライマリノードにコピーします。

    ```
    sudo docker cp jupyterhub:/tmp/gen_self_signed_cert.sh ./
    ```

    2. テキストエディタを使用して 23 行目を変更し、以下に示すようにパブリックホスト名をローカルホスト名に変更します。

    ```
    local hostname=$(curl -s $EC2_METADATA_SERVICE_URI/local-hostname)
    ```

    3. スクリプトを実行して、自己署名証明書を生成します。

    ```
    sudo bash ./gen_self_signed_cert.sh
    ```

    4. スクリプトによって生成される証明書ファイルを `/etc/jupyter/conf/` ディレクトリに移動します。:

    ```
    sudo mv /tmp/server.crt /tmp/server.key /etc/jupyter/conf/
    ```

    `jupyter.log` ファイルに `tail` を実行して、JupyterHub が再起動しており、200 レスポンスコードを返していることを確認できます。例:

    ```
    tail -f /var/log/jupyter/jupyter.log
    ```

これで、次のようなレスポンスが返されます。

```
# [I 2018-06-14 18:56:51.356 JupyterHub app:1581] JupyterHub is now running at
 https://:9443/
# 19:01:51.359 - info: [ConfigProxy] 200 GET /api/routes
```

- プライマリノードの再起動後またはインスタンスコントローラーの再起動後に、Amazon EMR バージョン 5.14.0、5.15.0、または 5.16.0 で、CloudWatch メトリクスが収集されず、自動スケーリング機能が使用できなくなります。この問題は、Amazon EMR 5.17.0 で修正されています。

リリース 5.13.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.13.0 に関する情報が含まれています。5.12.0 からの変更が含まれています。

アップグレード

- Spark を 2.3.0 にアップグレードしました
- HBase を 1.4.2 にアップグレードしました
- Presto を 0.194 にアップグレードしました
- AWS SDK for Java を 1.11.297 にアップグレードしました

変更点、機能強化、解決した問題

- [Hive]
  - HIVE-15436 をバックポートしました。ビューのみを返すように Hive API が拡張されました。

既知の問題

- MXNet には現在 OpenCV ライブラリがありません。

リリース 5.12.2

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.12.2 に関する情報が含まれています。5.12.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

リリース 5.12.1

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.12.1 に関する情報が含まれています。5.12.0 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

リリース 5.12.0

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.12.0 に関する情報が含まれています。5.11.1 からの変更が含まれています。

アップグレード

- AWS SDK for Java 1.11.238 ⇒ 1.11.267。詳細については、GitHub の「AWS SDK for Java Change Log」を参照してください。
- Hadoop 2.7.3 ⇒ 2.8.3。詳細については、「Apache Hadoop リリース」を参照してください。
- Flink 1.3.2 ⇒ 1.4.0。詳細については、「Apache Flink 1.4.0 リリースに関するお知らせ」を参照してください。
- HBase 1.3.1 ⇒ 1.4.0。詳細については、「HBase リリースに関するお知らせ」を参照してください。
- Hue 4.0.1 ⇒ 4.1.0。詳細については、「リリースノート」を参照してください。
- MxNet 0.12.0 ⇒ 1.0.0。詳細については、GitHub の「MXNet Change Log」を参照してください。
- Presto 0.187 ⇒ 0.188。詳細については、「リリースノート」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- Hadoop

  - `yarn.resourcemanager.decommissioning.timeout` プロパティは `yarn.resourcemanager.nodemanager-graceful-decommission-timeout-secs` に変更されました。このプロパティを使用して、クラスターのスケールダウンをカスタマイズできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターのスケールダウン」を参照してください。
  - Hadoop CLI で、直接コピーを指定する `-d` オプションが `cp` (copy) コマンドに追加されました。これを使用すると、中間の `.COPYING` ファイルを作成しないようにできるため、Amazon S3 間でのデータのコピーが高速になります。詳細については、HADOOP-12384 を参照してください。
- Pig
  - Pig 環境プロパティの設定を簡素化する `pig-env` 構成分類が追加されました。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。
- Presto
  - Presto の `presto-connector-redshift` 設定ファイルで値を指定するために使用できる、`redshift.properties` 設定分類が追加されました。詳細については、Presto のドキュメントの「Redshift Connector」、および「アプリケーションの設定」を参照してください。
  - EMRFS の Presto サポートが追加されました。これがデフォルト設定です。以前の Amazon EMR リリースでは PrestoS3FileSystem が使用されており、これが唯一のオプションでした。詳細については、「EMRFS と PrestoS3FileSystem の設定」を参照してください。

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.12.0 を使用して Amazon S3 で基盤となるデータをクエリするときに、Presto エラーが発生することがあります。これは、Presto が `emrfs-site.xml` から設定分類値を取得できないためです。回避策として、`usr/lib/presto/plugin/hive-hadoop2/` の下に `emrfs` サブディレクトリを作成し、既存の `/usr/share/aws/emr/emrfs/conf/emrfs-site.xml` ファイルへのシンボリックリンクを `usr/lib/presto/plugin/hive-hadoop2/emrfs` に作成します。次に presto-server プロセスを再起動します (`sudo presto-server stop` に続いて `sudo presto-server start`)。

- Spark
  - 「SPARK-22036: BigDecimal multiplication sometimes returns null」をバックポートしました。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- デフォルトでは R はクラスターノードにインストールされないため、カスタム AMI を使用して作成されたクラスターで SparkR を使用することはできません。

リリース 5.11.3

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.11.3 に関する情報が含まれています。5.11.2 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2019 年 7 月 18 日

変更点、機能強化、解決した問題

- TCP SACK サービス拒否の問題 (AWS-2019-005) など、重要な Linux カーネルセキュリティ更新を含めるように、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI を更新しました。

リリース 5.11.2

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.11.2 に関する情報が含まれています。5.11.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

リリース 5.11.1

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.11.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.11.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しまし

た。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- Hive 2.3.2 では `hive.compute.query.using.stats=true` がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、`hive.compute.query.using.stats=true` が設定されたテーブルの `LOCATION` に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して `SELECT COUNT(*)` クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、`ANALYZE TABLE` コマンドを使用して新しい統計を収集するか、`hive.compute.query.using.stats=false` を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。

リリース 5.11.0

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.11.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.10.0 リリースからの変更が含まれています。

アップグレード

このリリースでは、以下のアプリケーションおよびコンポーネントがアップグレードされ、以下のバージョンが含められています。

- Hive 2.3.2
- Spark 2.2.1
- SDK for Java 1.11.238

新機能

- Spark
  - `spark.decommissioning.timeout.threshold` 設定が追加されました。スポットインスタンス使用時の Spark 廃棄の動作が向上します。詳細については、「ノード停止の動作設定」を参照してください。

- aws-sagemaker-spark-sdk コンポーネントが Spark に追加されました。Amazon SageMaker Spark および Spark の Amazon SageMaker との統合用の関連依存関係をインストールします。Amazon SageMaker Spark を使用して、Amazon SageMaker のステージを使用した Spark 機械学習 (ML) パイプラインを作成できます。詳細については、GitHub の「SageMaker Spark Readme」および「Amazon SageMaker デベロッパーガイド」の「Amazon SageMaker で Apache Spark を使用する」を参照してください。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- Hive 2.3.2 では hive.compute.query.using.stats=true がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、hive.compute.query.using.stats=true が設定されたテーブルの LOCATION に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して SELECT COUNT(*) クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、ANALYZE TABLE コマンドを使用して新しい統計を収集するか、hive.compute.query.using.stats=false を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。

リリース 5.10.0

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.10.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.9.0 リリースからの変更が含まれています。

アップグレード

このリリースでは、以下のアプリケーションおよびコンポーネントがアップグレードされ、以下のバージョンが含められています。

- AWS SDK for Java 1.11.221
- Hive 2.3.1
- Presto 0.187

新機能

- Kerberos 認証のサポートが追加されました。詳しくは、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Kerberos 認証を使用する」を参照してください。
- Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールのサポートを追加しました。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールを設定する」を参照してください。
- GPU ベースの P2 および P3 のインスタンスタイプのサポートが追加されました。詳細については、「Amazon EC2 P2 インスタンス」および「Amazon EC2 P3 インスタンス」を参照してください。これらのインスタンスタイプには、デフォルトで NVIDIA ドライバー 384.81 および CUDA ドライバー 9.0.176 がインストールされています。
- Apache MXNet のサポートが追加されました。

変更、機能強化、解決した問題

- Presto
  - デフォルトの Hive メタストアとして AWS Glue データカタログを使用するためのサポートが追加されました。詳細については、「 Glue データカタログでの Presto AWS の使用」を参照してください。
  - 「地理空間機能」のサポートが追加されました。
  - 結合で「ディスクに書き出す」ことができるようになりました。
  - 「Redshift コネクター」のサポートが追加されました。
- Spark
  - 「SPARK-20640」をバックポートしました。これにより、`spark.shuffle.registration.timeout` プロパティおよび `spark.shuffle.registration.maxAttempts` プロパティを使用して、rpc タイムアウトや、シャッフル登録値の再試行回数が設定可能になりました。
  - 「SPARK-21549」をバックポートしました。これにより、カスタムの OutputFormat を HDFS 以外の場所に書き出す際に発生するエラーが修正されます。
- 「Hadoop-13270」をバックポートしました。
- Numpy、Scipy、Matplotlib の各ライブラリは、Amazon EMR の基本 AMI から削除されています。アプリケーションでこれらのライブラリが必要な場合、アプリケーションリポジトリで使用できるため、ブートストラップアクションで `yum install` を使用してすべてのノードにインストールすることができます。

- Amazon EMR の基本 AMI にアプリケーションの RPM パッケージが含まれなくなったため、その RPM パッケージはクラスターノードに存在しなくなりました。カスタム AMI と Amazon EMR の基本 AMI で、Amazon S3 の RPM パッケージリポジトリを参照できるようになりました。
- Amazon EC2 で 1 秒単位の請求が導入されたため、デフォルトの [スケールダウン動作] は [インスタンス時間で削除する] ではなく [タスク完了で削除する] になっています。詳細については、「クラスターのスケールダウンを設定する」を参照してください。

既知の問題

- MXNet には OpenCV ライブラリは含まれていません。
- Hive 2.3.1 では `hive.compute.query.using.stats=true` がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、`hive.compute.query.using.stats=true` が設定されたテーブルの `LOCATION` に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して `SELECT COUNT(*)` クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、`ANALYZE TABLE` コマンドを使用して新しい統計を収集するか、`hive.compute.query.using.stats=false` を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。

リリース 5.9.0

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.9.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.8.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 10 月 5 日

最新機能更新日: 2017 年 10 月 12 日

アップグレード

このリリースでは、以下のアプリケーションおよびコンポーネントがアップグレードされ、以下のバージョンが含められています。

- AWS SDK for Java バージョン 1.11.183
- Flink 1.3.2

- Hue 4.0.1
- Pig 0.17.0
- Presto 0.184

新機能

- Livy サポート (バージョン 0.4.0-incubating) を追加しました。詳細については、「Apache Livy」を参照してください。
- Spark の Hue ノートブックのサポートを追加しました。
- i3-シリーズ Amazon EC2 インスタンスのサポートを追加しました (2017 年 10 月 12 日)。

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - 手動のサイズ変更または自動のスケーリングポリシーのリクエストによるノードの終了処理を、Spark がより適切に行う、新しい機能のセットを追加しました。詳細については、「ノード停止の動作設定」を参照してください。
  - ブロック転送サービスの転送時の暗号化には 3DES に代わり SSL を使用します。これにより AES-NI で Amazon EC2 インスタンスタイプを使用する場合にパフォーマンスが向上します。
  - SPARK-21494 を移植しました。
- Zeppelin
  - ZEPPELIN-2377 を移植しました。
- HBase
  - パッチ HBASE-18533 を追加しました。これにより、`hbase-site` 設定分類を使用して、HBase BucketCache 設定の値を追加できます。
- Hue
  - Hue AWS で Hive クエリエディタの Glue データカタログサポートを追加しました。
  - デフォルトでは、Hue のスーパーユーザーは、Amazon EMR の IAM ロールがアクセスを許可されているすべてのファイルにアクセスできます。新しく作成されたユーザーには、Amazon S3 ファイルブラウザへのアクセス許可は自動的には付与されません。グループに対して `filebrowser.s3_access` アクセス許可を有効にする必要があります。
- AWS Glue Data Catalog を使って作成された、基盤となる JSON データがアクセスできなくなる問題を解決しました。

既知の問題

- すべてのアプリケーションがインストールされ、デフォルトの Amazon EBS ルートボリュームサイズが変更されていない場合、クラスターの起動は失敗します。回避策として、 から `aws emr create-cluster` コマンドを使用し AWS CLI 、より大きな`--ebs-root-volume-size`パラメータを指定します。
- Hive 2.3.0 では `hive.compute.query.using.stats=true` がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、`hive.compute.query.using.stats=true` が設定されたテーブルの `LOCATION` に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して `SELECT COUNT(*)` クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、`ANALYZE TABLE` コマンドを使用して新しい統計を収集するか、`hive.compute.query.using.stats=false` を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「[Statistics in Hive](https://cwiki.apache.org/confluence/display/Hive/StatsDev)」を参照してください。

リリース 5.8.2

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.8.2 に関する情報が含まれています。5.8.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

リリース 5.8.1

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.8.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.8.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

リリース 5.8.0

次のリリースノートには、Amazon EMR バージョン 5.8.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.7.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2017 年 8 月 10 日

最新機能更新日: 2017 年 9 月 25 日

アップグレード

このリリースでは、以下のアプリケーションおよびコンポーネントがアップグレードされ、以下のバージョンが含められています。

- AWS SDK 1.11.160
- Flink 1.3.1
- Hive 2.3.0。詳細については、Apache Hive サイトの「リリースノート」を参照してください。
- Spark 2.2.0。詳細については、Apache Spark サイトの「リリースノート」を参照してください。

新機能

- アプリケーション履歴の表示のサポートを追加しました (2017 年 9 月 25 日)。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「アプリケーションの履歴を表示する」を参照してください。

変更点、機能強化、解決した問題

- AWS Glue データカタログとの統合
  - Hive と Spark SQL が Glue データカタログを Hive AWS メタデータストアとして使用する機能を追加しました。詳細については、「Hive AWS のメタストアとしての Glue データカタログの

使用」および「Amazon EMR AWS で Spark で Glue データカタログカタログを使用する」を参照してください。

- クラスター詳細の [Application history] を追加しました。これにより、YARN アプリケーションの履歴データや、Spark アプリケーションの追加の詳細を表示できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「アプリケーションの履歴を表示する」を参照してください。
- Oozie
  - OOZIE-2748 をバックポートしました。
- Hue
  - HUE-5859 をバックポートしました。
- HBase
  - `getMasterInitializedTime` を使用して Java Management Extensions (JMX) 経由で HBase マスターサーバーの開始時間を公開するパッチを追加しました。
  - クラスターの開始時間を改善するパッチを追加しました。

既知の問題

- すべてのアプリケーションがインストールされ、デフォルトの Amazon EBS ルートボリュームサイズが変更されていない場合、クラスターの起動は失敗します。回避策として、 から `aws emr create-cluster` コマンドを使用し AWS CLI 、より大きな`--ebs-root-volume-size`パラメータを指定します。
- Hive 2.3.0 では `hive.compute.query.using.stats=true` がデフォルト設定になっています。これにより、クエリではデータが直接ではなく既存の統計から取得されるため、混乱が生じる場合があります。たとえば、`hive.compute.query.using.stats=true` が設定されたテーブルの `LOCATION` に新しいファイルをアップロードした場合、テーブルに対して `SELECT COUNT(*)` クエリを実行すると、追加された行がカウントされずに、統計からカウントが返されます。

  回避策として、`ANALYZE TABLE` コマンドを使用して新しい統計を収集するか、`hive.compute.query.using.stats=false` を設定します。詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Statistics in Hive」を参照してください。
- Spark - Spark を使用する場合、apppusher デーモンには、長時間実行されている Spark ジョブで数時間または数日後に発生する可能性があるファイルハンドラのリークの問題があります。この問題を修正するには、マスターノードに接続し、「`sudo /etc/init.d/apppusher stop`」と入力します。これにより、その apppusher デーモンが停止し、Amazon EMR がこのデーモンを自動的に再起動します。

- アプリケーションの履歴
  - Spark のデッドエグゼキューターの履歴データは利用できません。
  - アプリケーション履歴は、セキュリティ設定を使用してインフライト暗号化を有効にするクラスターでは利用できません。

リリース 5.7.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.7.0 に関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.6.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 7 月 13 日

アップグレード

- Flink 1.3.0
- Phoenix 4.11.0
- Zeppelin 0.7.2

新機能

- クラスターの作成時に、カスタム Amazon Linux AMI を指定する機能を追加しました。詳細については、「カスタム AMI の使用」を参照してください。

変更、機能強化、解決した問題

- HBase
  - HBase のリードレプリカクラスターを設定する機能を追加しました。詳細については、「リードレプリカクラスターの使用」を参照してください。
  - 複数のバグ修正と機能強化
- Presto – `node.properties` を設定する機能を追加しました。
- YARN – `container-log4j.properties` を設定する機能を追加しました。
- Sqoop – SQOOP-2880 をバックポートしました。Sqoop 一時ディレクトリを設定できる引数が導入されています。

リリース 5.6.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.6.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.5.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 6 月 5 日

アップグレード

- Flink 1.2.1
- HBase 1.3.1
- Mahout 0.13.0。Amazon EMR バージョン 5.0 以降の Spark 2.x をサポートする最初のバージョンの Mahout です。
- Spark 2.1.1

変更、機能強化、解決した問題

- Presto
  - セキュリティ設定を使って転送時の暗号化を有効にして、Presto ノード間で SSL/TLS を使った安全な通信を有効にする機能が追加されました。詳細については、「転送時のデータ暗号化」を参照してください。
  - Presto 7661 を移植しました。これにより `VERBOSE` オプションを `EXPLAIN ANALYZE` ステートメントに追加し、クエリプランについての、より詳細なレポートと低レベルの統計を作成できます。

リリース 5.5.3

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.5.3 に関する情報が含まれています。5.5.2 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

リリース 5.5.2

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 5.5.2 に関する情報が含まれています。5.5.1 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

リリース 5.5.1

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.5.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.5.0 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

リリース 5.5.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.5.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.4.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 4 月 26 日

アップグレード

- Hue 3.12
- Presto 0.170
- Zeppelin 0.7.1

- ZooKeeper 3.4.10

変更、機能強化、解決した問題

- Spark
  - Spark のパッチ「(SPARK-20115) 外部シャッフルサービスが利用できない場合に、すべての失われたシャッフルブロックを再計算するように DAGScheduler を修正」を Spark バージョン 2.1.0 にバックポートしました。これはこのリリースに含まれています。
- Flink
  - Flink は Scala 2.11 で作成されるようになりました。プロジェクトで Scala API とライブラリを使用する場合は、Scala 2.11 を使用することをお勧めします。
  - `HADOOP_CONF_DIR` と `YARN_CONF_DIR` のデフォルトが適切に設定されないため `start-scala-shell.sh` が機能しない問題に対応しました。さらに `env.hadoop.conf.dir` または `env.yarn.conf.dir` 設定分類の `/etc/flink/conf/flink-conf.yaml` と `flink-conf` を使って、これらの値を設定する機能を追加しました。
  - EMR 固有の新しいコマンドで、`flink-scala-shell` のラッパーとなる `start-scala-shell.sh` を追加しました。`start-scala-shell` に代えて、このコマンドを使用することをお勧めします。新しいコマンドにより実行が簡素化されます。たとえば、`flink-scala-shell -n 2` は、タスクの並行度 2 で、Flink Scala シェルを開始します。
  - EMR 固有の新しいコマンドで、`flink-yarn-session` のラッパーとなる `yarn-session.sh` を追加しました。`yarn-session` に代えて、このコマンドを使用することをお勧めします。新しいコマンドにより実行が簡素化されます。たとえば、`flink-yarn-session -d -n 2` は長時間稼働の Flink セッションを、デタッチ状態で、2 つのタスクマネージャを使って開始します。
  - 「(FLINK-6125) Commons httpclient が Flink 1.2 でシェードされない」の問題に対応しました。
- Presto
  - LDAP 認証のサポートが追加されました。Amazon EMR の Presto で LDAP を 使用する場合は、Presto コーディネーターの HTTPS アクセスを有効にする必要があります (`config.properties` の `http-server.https.enabled=true`)。設定の詳細については、Presto のドキュメントの「LDAP Authentication」を参照してください。
  - `SHOW GRANTS` のサポートが追加されました。
- Amazon EMR の基本 Linux AMI
  - 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2017.03 に基づいています。詳細については、「Amazon Linux AMI 2017.03 リリースノート」を参照してください。

- Python 2.6 は Amazon EMR の基本 Linux イメージから削除されました。Python 2.7 と 3.4 がデフォルトでインストールされます。必要な場合には Python 2.6 を手動でインストールできます。

リリース 5.4.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.4.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.3.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 3 月 8 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Flink 1.2.0 にアップグレードしました
- Hbase 1.3.0　にアップグレード済み
- Phoenix 4.9.0　にアップグレード済み

> **Note**
>
> 古いバージョンの Amazon EMR から Amazon EMR バージョン 5.4.0 以降にアップグレードして、セカンダリインデックスを使用する場合、[Apache Phoenix のドキュメント](#)で説明されるようにローカルインデックスをアップグレードしてください。Amazon EMR は必要な設定を `hbase-site` 分類から削除しますが、インデックスはデータを再入力する必要があります。インデックスはオンラインとオフラインでアップグレードできます。オンラインのアップグレードがデフォルトです。これはバージョン4.8.0以降のPhoenixクライアントで初期する間にインデックスの値が再設定されることを意味します。オフラインアップグレードを指定するには、 `phoenix.client.localIndexUpgrade` 構成を `phoenix-site` 分類で　False　に設定してから、SSH　をマスターノードに設定して `psql [zookeeper] -1`を実行します。

- Presto 0.166 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.7.0 にアップグレードしました

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-5.4.0 の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- r4 インスタンスへのサポートを追加済み。「Amazon EC2 インスタンスタイプ」を参照してください。

リリース 5.3.1

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.3.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.3.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 2 月 7 日

Zeppelin パッチをバックポートして Amazon EMR のデフォルトの AMI を更新するための小さな変更。

リリース 5.3.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.3.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.2.1 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 1 月 26 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Hive 2.1.1 にアップグレードしました
- Hue 3.11.0 にアップグレードしました
- Spark 2.1.0 にアップグレードしました
- Oozie 4.3.0 にアップグレードしました
- Flink 1.1.4 にアップグレードしました

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-5.3.0 の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- `interpreters_shown_on_wheel` ファイルでの順序にかかわらず、ノートブックの選択ホイールで最初に表示するインタープリタを指定する `hue.ini` 設定を使用できるようにするパッチを Hue に追加しました。
- Hive の `hive-parquet-logging` ファイルで値を設定するために使用できる、`parquet-logging.properties` 設定分類を追加しました。

リリース 5.2.2

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.2.2 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.2.1 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 5 月 2 日

以前のリリースから解決された既知の問題

- SPARK-194459 をしました。char/varchar の列を持つ ORC テーブルからの読み取りが失敗する問題に対応しました。

リリース 5.2.1

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.2.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.2.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 12 月 29 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Presto を 0.157.1 にアップグレードしました。詳細については、Presto のドキュメントの「Presto リリースノート」を参照してください。
- ZooKeeper を 3.4.9 にアップグレードしました。詳細については、Apache ZooKeeper のドキュメントの「ZooKeeper リリースノート」を参照してください。

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-5.2.1 の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- 5.0.0、5.0.3、5.2.0 を除く Amazon EMR バージョン 4.8.3 以降の Amazon EC2 の m4.16xlarge インスタンスタイプのサポートが追加されました。
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。
- これで、Flink および YARN 設定パスの場所はデフォルトで `/etc/default/flink` に設定されましたので、Flink のジョブを起動するために `FLINK_CONF_DIR` または `HADOOP_CONF_DIR` ドライバースクリプトを実行するときに、環境変数 `flink` および `yarn-session.sh` を設定する必要はありません。
- FlinkKinesisConsumer クラスのサポートを追加しました。

以前のリリースから解決された既知の問題

- ReplicationMonitor のスレッドが大きなクラスターで同じファイルのレプリケーションと削除間の競合のために長時間スタックが生じる Hadoop の問題を修正しました。
- ジョブのステータスが正常に更新されていないときに ControlledJob#toString が null ポインタ例外 (NPE) で失敗していた問題を修正しました。

リリース 5.2.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.2.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.1.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 11 月 21 日

変更と機能強化

このリリースでは、次の変更と機能強化を使用できます。

- HBase の Amazon S3 ストレージモードを追加しました。
- HBase ルートディレクトリの Amazon S3 ロケーションを指定できます。Amazon S3 の HBase の詳細については、「Amazon S3 の HBase」を参照してください。

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Spark 2.0.2 にアップグレードしました

以前のリリースから解決された既知の問題

- EBS のみのインスタンスタイプで 2 TB に制約されていた /mnt に関する問題を修正。
- 通常の log4j-configured .log ファイルではなく、対応する .out ファイルに出力され、1 時間ごとにローテーションされていた、インスタンスコントローラーおよび logpusher ログに関する問題を修正。.out ファイルはローテーションしないため、最終的には /emr パーティションがいっぱいになります。この問題は、ハードウェア仮想マシン (HVM) のインスタンスタイプにのみ影響します。

リリース 5.1.0

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.1.0 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.0.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 11 月 3 日

変更と機能強化

このリリースでは、次の変更と機能強化を使用できます。

- Flink 1.1.3 のサポートを追加。
- Presto が、Hue のノートブックセクションでオプションとして追加。

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- HBase 1.2.3 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.6.2 にアップグレードしました

以前のリリースから解決された既知の問題

- 以前の Amazon EMR 4.x バージョンと同じく、ORC ファイルがある Amazon S3 の Tez クエリが実行されない問題を修正しました。

リリース 5.0.3

次のリリースノートには、Amazon EMR 5.0.3 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 5.0.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 10 月 24 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Hadoop 2.7.3 にアップグレードしました
- Presto 0.152.3 にアップグレードします。このアップグレードには Presto ウェブインターフェイスのサポートが含まれています。Presto コーディネーターの Presto ウェブインターフェイスには、ポート 8889 を使用してアクセスできます。Presto ウェブインターフェイスの詳細については、Presto のドキュメントの「ウェブインターフェイス」を参照してください。
- Spark 2.0.1 にアップグレードしました
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。

リリース 5.0.0

リリース日: 2016 年 7 月 27 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Hive 2.1 にアップグレードしました
- Presto 0.150 にアップグレードしました
- Spark 2.0 にアップグレードしました
- Hue 3.10.0 にアップグレードしました
- Pig 0.16.0 にアップグレードしました
- Tez 0.8.4 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.6.1 にアップグレードしました

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-5.0.0 以降の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- Amazon EMR は Hive (バージョン 2.1)、Pig (バージョン 0.16.0) の最新のオープンソースバージョンをサポートします。以前に Amazon EMR で Hive または Pig を使用している場合、このことはいくつかのユースケースに影響を与える可能性があります。詳細については、「Hive」および「Pig」を参照してください。
- 現在の Hive および Pig のデフォルト実行エンジンは Tez です。これを変更するには、`hive-site` および `pig-properties` のそれぞれの設定分類の適切な値を編集します。
- サービスが原因を識別できる場合にステップ障害の根本原因を表示できるようにするステップ、デバッグ機能が追加されました。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「デバッグの詳細ステップ」を参照してください。
- アプリケーションは以前「-Sandbox」で終了しましたが、そのサフィックスはもうありません。たとえば、これらのアプリケーションを使ってクラスターを起動するスクリプトを使用している場合、これによってオートメーションが中断する可能性があります。次の表は、Amazon EMR 4.7.2 と Amazon EMR 5.0.0 のアプリケーション名を示しています。

  アプリケーション名変更

Amazon EMR 4.7.2	Amazon EMR 5.0.0
Oozie-Sandbox	Oozie
Presto-Sandbox	Presto
Sqoop-Sandbox	Sqoop
Zeppelin-Sandbox	Zeppelin
ZooKeeper-Sandbox	ZooKeeper

- Spark は現在 Scala 2.11 向けにコンパイルされています。
- 現在のデフォルト JVM は Java 8 です。すべてのアプリケーションは Java 8 ランタイムを使用して動作します。アプリケーションのバイトコードターゲットには変更はありません。ほとんどのアプリケーションは、引き続き Java 7 を対象としています。
- Zeppelin には、認証機能が組み込まれています。詳細については、「Zeppelin」を参照してください。

- セキュリティ設定のサポートを追加しました。これにより、暗号化オプションをより簡単に作成、適用できます。詳細については、「データの暗号化」を参照してください。

リリース 4.9.5

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 4.9.5 に関する情報が含まれています。4.9.4 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 8 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- HBase
  - このリリースでは、潜在的なセキュリティ脆弱性に対処しています。

リリース 4.9.4

次のリリースノートには、Amazon EMR リリース 4.9.4 に関する情報が含まれています。4.9.3 からの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 3 月 29 日

変更、機能強化、解決した問題

- 潜在的な脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しました。

リリース 4.9.3

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.9.3 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.9.2 リリースからの変更が含まれています。

初回リリース日: 2018 年 1 月 22 日

変更、機能強化、解決した問題

- 投機的実行 (CVE-2017-5715、CVE-2017-5753、CVE-2017-5754) に関連する脆弱性に対処するために、Amazon EMR のデフォルトの Amazon Linux AMI の Amazon Linux カーネルを更新しまし

た。詳細については、「https://aws.amazon.com/security/security-bulletins/AWS-2018-013/」を参照してください。

リリース 4.9.2

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.9.2 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.9.1 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 7 月 13 日

このリリースでは小さな変更、バグ修正、および機能強化が行われました。

リリース 4.9.1

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.9.1 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.4 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 4 月 10 日

以前のリリースから解決された既知の問題

- HIVE-9976 および HIVE-10106 を移植しました。
- 多数のノード (2,000 以上) やコンテナ (5,000 以上) によって、`"Exception in thread 'main' java.lang.OutOfMemoryError"` などのメモリエラーが発生することがある、YARN の問題を修正しました。

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-4.9.1 の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2017.03 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2017.03-release-notes/」を参照してください。
- Python 2.6 は Amazon EMR の基本 Linux イメージから削除されました。必要な場合には Python 2.6 を手動でインストールできます。

リリース 4.8.4

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.4 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.3 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2017 年 2 月 7 日

このリリースでは小さな変更、バグ修正、および機能強化が行われました。

リリース 4.8.3

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.3 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.2 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 12 月 29 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Presto を 0.157.1 にアップグレードしました。詳細については、Presto のドキュメントの「Presto リリースノート」を参照してください。
- Spark を 1.6.3 にアップグレードしました。詳細については、Apache Spark のドキュメントの「Spark リリースノート」を参照してください。
- ZooKeeper を 3.4.9 にアップグレードしました。詳細については、Apache ZooKeeper のドキュメントの「ZooKeeper リリースノート」を参照してください。

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-4.8.3 の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- 5.0.0、5.0.3、5.2.0 を除く Amazon EMR バージョン 4.8.3 以降の Amazon EC2 の m4.16xlarge インスタンスタイプのサポートが追加されました。
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- ReplicationMonitor のスレッドが大きなクラスターで同じファイルのレプリケーションと削除間の競合のために長時間スタックが生じる Hadoop の問題を修正しました。
- ジョブのステータスが正常に更新されていないときに ControlledJob#toString が null ポインタ例外 (NPE) で失敗していた問題を修正しました。

リリース 4.8.2

次のリリースノートには、Amazon EMR 4.8.2 リリースに関する情報が含まれています。Amazon EMR 4.8.0 リリースからの変更が含まれています。

リリース日: 2016 年 10 月 24 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- Hadoop 2.7.3 にアップグレードしました
- Presto 0.152.3 にアップグレードします。このアップグレードには Presto ウェブインターフェイスのサポートが含まれています。Presto コーディネーターの Presto ウェブインターフェイスには、ポート 8889 を使用してアクセスできます。Presto ウェブインターフェイスの詳細については、Presto のドキュメントの「ウェブインターフェイス」を参照してください。
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.09 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.09-release-notes/」を参照してください。

リリース 4.8.0

リリース日: 2016 年 9 月 7 日

アップグレード

このリリースでは、次のアップグレードを使用できます。

- HBase 1.2.2 にアップグレードしました
- Presto-Sandbox 0.151 にアップグレードしました
- Tez 0.8.4 にアップグレードしました
- Zeppelin-Sandbox 0.6.1 にアップグレードしました

変更と機能強化

以下は、リリースラベル emr-4.8.0 の Amazon EMR リリースでの変更点です。

- インスタンスが削除されたため、存在していないコンテナを ApplicationMaster がクリーンアップしようとする YARN の問題を修正しました。

- Oozie の例の Hive2 アクションの hive-server2 URL を修正しました。
- さらに多くの Presto カタログのサポートを追加しました。
- 次のパッチを移植しました: HIVE-8948、HIVE-12679、HIVE-13405、PHOENIX-3116、HADOOP-12689
- セキュリティ設定のサポートを追加しました。これにより、暗号化オプションをより簡単に作成、適用できます。詳細については、「データの暗号化」を参照してください。

リリース 4.7.2

以下のリリースノートには、Amazon EMR 4.7.2 に関する情報が含まれています。

リリース日: 2016 年 7 月 15 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- Mahout 0.12.2 にアップグレードしました
- Presto 0.148 にアップグレードしました
- Spark 1.6.2 にアップグレードしました
- パラメータとして URI を使用して EMRFS で使用する AWSCredentialsProvider を作成できるようになりました。詳細については、「EMRFS 用に AWSCredentialsProvider を作成する」を参照してください。
- EMRFS では、ユーザーが `emrfs-site.xml` で `fs.s3.consistent.dynamodb.endpoint` プロパティを使用して、整合性のあるビューのメタデータのカスタム DynamoDB エンドポイントを設定できるようになりました。
- `/usr/bin` に `spark-example` というスクリプトを追加しました。これにより `/usr/lib/spark/spark/bin/run-example` をラップし、例を直接実行できます。たとえば、Spark ディストリビューションに付属する SparkPi の例を実行するには、API のステップとしてコマンドラインから `spark-example SparkPi 100` を実行するか、`command-runner.jar` を使用できます。

以前のリリースから解決された既知の問題

- Oozie で、Spark もインストールされたときに `spark-assembly.jar` が正しい場所にないために、Oozie で Spark アプリケーションを起動できなくなる問題を解決しました。

- YARN コンテナで Spark Log4j ベースのロギングに関する問題を修正しました。

リリース 4.7.1

リリース日: 2016 年 6 月 10 日

以前のリリースから解決された既知の問題

- プライベートサブネットを持つ VPC で起動されたクラスターの起動時間が長くなる問題を修正しました。このバグの影響があったのは、Amazon EMR 4.7.0 リリースで起動されたクラスターのみです。
- Amazon EMR 4.7.0 リリースで起動されたクラスターに対する Amazon EMR でのファイルのリスト処理が不適切であった問題を修正しました。

リリース 4.7.0

> **Important**
>
> Amazon EMR 4.7.0 は廃止されています。代わりに Amazon EMR 4.7.1 以降を使用してください。

リリース日: 2016 年 6 月 2 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- Apache Phoenix 4.7.0 を追加しました
- Apache Tez 0.8.3 を追加しました
- HBase 1.2.1 にアップグレードしました
- Mahout 0.12.0 にアップグレードしました
- Presto 0.147 にアップグレードしました
- AWS SDK for Java を 1.10.75 にアップグレードしました
- ユーザーがローカルモードで Pig を実行できるようにするため、最終的なフラグが `mapreduce.cluster.local.dir` の `mapred-site.xml` プロパティから削除されました。

Amazon Redshift JDBC ドライバーがクラスターで利用可能

Amazon Redshift JDBC ドライバーが `/usr/share/aws/redshift/jdbc` に含まれました。`/usr/share/aws/redshift/jdbc/RedshiftJDBC41.jar` は JDBC 4.1 互換の Amazon Redshift ドライバー、`/usr/share/aws/redshift/jdbc/RedshiftJDBC4.jar` は JDBC 4.0 互換の Amazon Redshift ドライバーです。詳細については、「Amazon Redshift 管理ガイド」の「JDBC 接続の設定」を参照してください。

Java 8

Presto を除き、OpenJDK 1.7 はすべてのアプリケーションに使用されるデフォルトの JDK です。ただし、OpenJDK 1.7 と 1.8 の両方がインストールされています。アプリケーションの `JAVA_HOME` を設定する方法については、「Java 8 を使用したアプリケーションの設定」を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- emr-4.6.0 で Amazon EMR 用のスループット最適化 HDD (st1) EBS ボリュームで著しくパフォーマンスに影響を与えていたカーネルの問題を修正しました。
- アプリケーションとして Hadoop を選択せずに HDFS 暗号化ゾーンを指定した場合にクラスターが失敗する問題を修正しました。
- デフォルトの HDFS 書き込みポリシーを `RoundRobin` から `AvailableSpaceVolumeChoosingPolicy` に変更しました。一部のボリュームは RoundRobin 設定で正しく利用されず、それによってコアノードが失敗し、HDFS の信頼性が低くなりました。
- 整合性のあるビューを実現するためにデフォルトの DynamoDB メタデータテーブルを作成するときに、例外が発生する原因となっていた EMRFS CLI に関する問題を修正しました。
- マルチパートの名前の変更およびコピーオペレーション中に発生する可能性のあった、EMRFS のデッドロックの問題を修正しました。
- CopyPart のサイズがデフォルトで 5 MB になる EMRFS の問題を修正しました。現在では、デフォルト値は 128 MB で適切に設定されます。
- サービスを停止できなくなる可能性のある、Zeppelin upstart 設定の問題を修正しました。
- `s3a://` がそれぞれのクラスパスで適切にロードされていないために、`/usr/lib/hadoop/hadoop-aws.jar` URI スキームを使用できなくなる Spark および Zeppelin の問題を修正しました。
- HUE-2484 を移植しました。
- HBase ブラウザサンプルでの問題を修正するため、Hue 3.9.0 (JIRA が存在しない) から commit を移植しました。

- HIVE-9073 を移植しました。

リリース 4.6.0

リリース日: 2016 年 4 月 21 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- HBase 1.2.0 を追加しました
- Zookeeper-Sandbox 3.4.8 を追加しました
- Presto-Sandbox 0.143 にアップグレードしました
- 現在、Amazon EMR リリースは Amazon Linux 2016.03.0 に基づいています。詳細については、「https://aws.amazon.com/amazon-linux-ami/2016.03-release-notes/」を参照してください。

スループット最適化 HDD (st1) EBS ボリュームタイプに影響を及ぼす問題

Linux カーネルバージョン 4.2 以降の問題は、EMR 用のスループット最適化 HDD (st1) EBS ボリュームのパフォーマンスに大きな影響を及ぼします。このリリース (emr-4.6.0) ではカーネルバージョン 4.4.5 を使用するため、影響を受けます。したがって、st1 EBS ボリュームを使用する場合、emr-4.6.0 を使用しないことをお勧めします。emr-4.5.0 以前の Amazon EMR リリースと st1 であれば、影響を受けずに使用できます。これに加えて、将来のリリースで修正が提供されます。

Python のデフォルト値

現在、Python 3.4 がデフォルトでインストールされますが、Python 2.7 はシステムデフォルトのままです。いずれかのブートストラップアクションを使用してシステムデフォルトとして Python 3.4 を設定できます。PySpark で使用される Python のバージョンに影響を与えるため、設定 API を使用して `/usr/bin/python3.4` 分類で PYSPARK_PYTHON のエクスポート先を `spark-env` に設定できます。

Java 8

Presto を除き、OpenJDK 1.7 はすべてのアプリケーションに使用されるデフォルトの JDK です。ただし、OpenJDK 1.7 と 1.8 の両方がインストールされています。アプリケーションの `JAVA_HOME` を設定する方法については、「Java 8 を使用したアプリケーションの設定」を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- アプリケーションのプロビジョニングが、生成されたパスワードが原因でランダムに失敗する問題を修正しました。
- 以前は、`mysqld` がすべてのノードにインストールされました。現在では、選択されたアプリケーションにコンポーネントとして `mysql-server` が含まれている場合のみ、マスターインスタンスのみにインストールされます。現在、HCatalog、Hive、Hue、Presto-Sandbox、および Sqoop-Sandbox の各アプリケーションに、`mysql-server` コンポーネントが含まれています。
- `yarn.scheduler.maximum-allocation-vcores` をデフォルトの 32 から 80 に変更しました。これにより、コアインスタンスタイプが、YARN vcores が 32 より高く設定されているいくつかのラージインスタンスタイプのいずれかであるクラスターで、`maximizeResourceAllocation` オプションを使用中に Spark で主に発生する、emr-4.4.0 での問題が修正されました。この問題の影響を受けていたのは、c4.8xlarge、cc2.8xlarge、hs1.8xlarge、i2.8xlarge、m2.4xlarge、r3.8xlarge、d2.8xlarge、または m4.10xlarge です。
- 現在では s3-dist-cp はすべての Amazon S3 候補に EMRFS を使用し、一時 HDFS ディレクトリにはステージングしません。
- クライアント側の暗号化のマルチパートアップロードの例外処理に関する問題を修正しました。
- ユーザーが Amazon S3 ストレージクラスを変更できるようにするオプションを追加しました。デフォルトでは、この設定は `STANDARD` です。`emrfs-site` 設定の分類設定は `fs.s3.storageClass` で、指定できる値は `STANDARD`、`STANDARD_IA`、`REDUCED_REDUNDANCY` です。ストレージクラスの詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「ストレージクラス」を参照してください。

リリース 4.5.0

リリース日: 2016 年 4 月 4 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- Spark 1.6.1 にアップグレードしました
- Hadoop 2.7.2 にアップグレードしました
- Presto 0.140 にアップグレードしました

- Amazon S3 サーバー側の暗号化 AWS KMS のサポートが追加されました。

以前のリリースから解決された既知の問題

- ノードが再起動された後に MySQL および Apache サーバーが起動しない問題を修正しました。
- Amazon S3 に保存されているパーティション分割されていないテーブルで IMPORT が正しく機能しない問題を修正しました。
- Hive テーブルに書き込むときに、ステージングディレクトリが `/mnt/tmp` ではなく `/tmp` であることが要求される Presto の問題を修正しました。

リリース 4.4.0

リリース日: 2016 年 3 月 14 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- HCatalog 1.0.0 を追加しました
- Sqoop-Sandbox 1.4.6 を追加しました
- Presto 0.136 にアップグレードしました
- Zeppelin 0.5.6 にアップグレードしました
- Mahout 0.11.1 にアップグレードしました
- デフォルトで `dynamicResourceAllocation` を有効にしました。
- リリースのすべての設定分類の表を追加しました。詳細については、「アプリケーションの設定」の設定分類の表を参照してください。

以前のリリースから解決された既知の問題

- `maximizeResourceAllocation` 設定で YARN ApplicationMaster デーモンに十分なメモリが予約されない問題を修正しました。
- カスタム DNS で発生した問題を修正しました。`resolve.conf` のエントリが、提供されたカスタムエントリよりも前に指定されている場合、そのカスタムエントリは解決されません。この動作は、デフォルトの VPC ネームサーバーが `resolve.conf` のトップエントリとして挿入された VPC のクラスターによって影響を受けました。

- デフォルトの Python がバージョン 2.7 に移行した場合に、そのバージョンに対して boto がインストールされなかった問題を修正しました。
- YARN コンテナと Spark アプリケーションが独自の Ganglia ラウンドロビンデータベース (rrd) ファイルを生成し、それによりインスタンスにアタッチされた最初のディスクがいっぱいになる問題を修正しました。この修正によって、YARN コンテナレベルのメトリクスが無効になり、Spark アプリケーションレベルのメトリクスが無効になりました。
- ログプッシャーですべての空のログフォルダーが削除される問題を修正しました。この問題により、ログプッシャーは `user` の空の `/var/log/hive` フォルダを削除したため、Hive CLI はログを記録できませんでした。
- パーティション分割に影響し、インポート中にエラーを発生させた、Hive のインポートに影響を与える問題を修正しました。
- EMRFS と s3-dist-cp が、ピリオドを含むバケット名を適切に処理しなかった問題を修正しました。
- EMRFS の動作を変更し、バージョニングが有効なバケットで、`_$folder$` マーカーファイルが連続して作成されないようにしました。これにより、バージョニングが有効なバケットでパフォーマンスが向上する可能性があります。
- クライアント側の暗号化が有効になっている場合を除き、インストラクションファイルを使用しないよう EMRFS の動作を変更しました。クライアント側の暗号化を使用中にインストラクションファイルを削除する場合は、emrfs-site.xml プロパティの `fs.s3.cse.cryptoStorageMode.deleteInstructionFiles.enabled` を true に設定できます。
- YARN ログの集計を変更し、集計先でログを 2 日間保持するようにしました。デフォルトの送信先はクラスターの HDFS ストレージです。この期間を変更する場合は、クラスターの作成時に `yarn.log-aggregation.retain-seconds` 設定分類を使用して `yarn-site` の値を変更します。これまでどおり、クラスターの作成時は、`log-uri` パラメータを使用して、Amazon S3 にアプリケーションログを保存できます。

適用されたパッチ

オープンソースのプロジェクトから、次のパッチがこのリリースで追加されました。

- HIVE-9655
- HIVE-9183
- HADOOP-12810

リリース 4.3.0

リリース日: 2016 年 1 月 19 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- Hadoop 2.7.1 にアップグレードしました
- Spark 1.6.0 にアップグレードしました
- Ganglia を 3.7.2 にアップグレードしました
- Presto を 0.130 にアップグレードしました

Amazon EMR を true に設定すると、`spark.dynamicAllocation.enabled` にいくつかの変更が加えられていました。デフォルトでは false です。true に設定すると、`maximizeResourceAllocation` 設定で定義されているデフォルト設定に影響を与えます。

- `spark.dynamicAllocation.enabled` を true に設定した場合、`spark.executor.instances` は `maximizeResourceAllocation` によって設定されません。
- `spark.driver.memory` 設定は、`spark.executors.memory` 設定と同様に、クラスター内のインスタンスタイプに基づいて定義されます。ただし、Spark ドライバーアプリケーションは、マスターインスタンスまたはいずれかのコアインスタンスで（たとえば、YARN クライアントモードとクラスターモードのそれぞれで）実行されるため、`spark.driver.memory` 設定は、これらの 2 つのインスタンスグループ間で、小さい方のインスタンスのインスタンスタイプに基づいて定義されます。
- `spark.default.parallelism` 設定は、YARN コンテナに使用可能な CPU コアの数の 2 倍に定義されます。以前のリリースでは、半分の値に定義されていました。
- Spark YARN プロセス用に予約されるメモリオーバーヘッドの計算精度が上がったため、Spark に使用可能なメモリの合計量（`spark.executor.memory`）がわずかに増えました。

以前のリリースから解決された既知の問題

- 現在、YARN ログの集計はデフォルトで有効になります。
- YARN ログの集計が有効な場合に、クラスターの Amazon S3 ログバケットにログがプッシュされない問題を修正しました。

- YARN コンテナサイズは、すべてのノードタイプで新たに最低 32 になりました。
- 大規模なクラスターのマスターノードで過剰なディスク I/O を発生させる Ganglia の問題を修正しました。
- クラスターのシャットダウン時に Amazon S3 にアプリケーションログがプッシュされない問題を修正しました。
- 特定のコマンドを失敗させる EMRFS CLI の問題を修正しました。
- 基盤となる SparkContext に依存関係がロードされなくなる Zeppelin の問題を修正しました。
- インスタンスの追加を試みるサイズ変更の発行によって発生する問題を修正しました。
- CREATE TABLE AS SELECT が Amazon S3 への過剰なリスト呼び出しを行う Hive の問題を修正しました。
- Hue、Oozie、および Ganglia がインストールされていると、大規模なクラスターが適切にプロビジョニングされない問題を修正しました。
- エラーで失敗した場合でもゼロ終了コードを返す s3-dist-cp の問題を修正しました。

適用されたパッチ

オープンソースのプロジェクトから、次のパッチがこのリリースで追加されました。

- OOZIE-2402
- HIVE-12502
- HIVE-10631
- HIVE-12213
- HIVE-10559
- HIVE-12715
- HIVE-10685

リリース 4.2.0

リリース日: 2015 年 11 月 18 日

機能

このリリースでは、次の機能を使用できます。

- Ganglia のサポートを追加しました

- Spark 1.5.2 にアップグレードしました
- Presto 0.125 にアップグレードしました
- Oozie を 4.2.0 にアップグレードしました
- Zeppelin を 0.5.5 にアップグレードしました
- AWS SDK for Java を 1.10.27 にアップグレードしました

以前のリリースから解決された既知の問題

- デフォルトのメタデータテーブル名を使用しない EMRFS CLI の問題を修正しました。
- Amazon S3 で ORC-backed テーブルを使用するときに発生した問題を修正しました。
- Spark 設定で Python バージョンが一致しない問題を修正しました。
- VPC のクラスターでの DNS の問題により、YARN ノードのステータスが報告されない問題を修正しました。
- YARN がノードを廃棄することが原因でアプリケーションがハングしたり、新しいアプリケーションを予定できなくなったりする問題を修正しました。
- クラスターが TIMED_OUT_STARTING というステータスで終了するときに発生する問題を修正しました。
- EMRFS Scala 依存関係を他のビルドに含める場合に発生する問題を修正しました。Scala 依存関係が削除されました。

アプリケーションの設定

アプリケーションのデフォルトの設定を上書きするために、設定オブジェクトを指定できます。短縮構文を使用して設定を指定するか、JSON ファイルの設定オブジェクトを参照することができます。設定オブジェクトは、分類、プロパティ、オプションの入れ子になっている設定で構成されます。プロパティは、変更するアプリケーション設定に対応します。単一の JSON オブジェクトで、複数のアプリケーションに複数の分類を指定できます。

> **Warning**
>
> Amazon EMR の Describe API オペレーションと List API オペレーションにより、Amazon EMR ジョブフローの一部として使用するカスタム設定と構成可能な設定がプレーンテキストで出力されます。こうした設定でパスワードなどの機密情報を指定する方法については、「 AWS Secrets Manager」の「機密の設定データを保存する」を参照してください。

Amazon EMR リリースバージョンによって使用可能な設定分類は異なります。特定のリリースバージョンでサポートされている設定分類のリストについては、「Amazon EMR リリースについて」にあるそのリリースバージョンのページを参照してください。

設定の一覧の JSON ファイル例を次に示します。

```
[
  {
    "Classification": "core-site",
    "Properties": {
      "hadoop.security.groups.cache.secs": "250"
    }
  },
  {
    "Classification": "mapred-site",
    "Properties": {
      "mapred.tasktracker.map.tasks.maximum": "2",
      "mapreduce.map.sort.spill.percent": "0.90",
      "mapreduce.tasktracker.reduce.tasks.maximum": "5"
    }
  }
]
```

設定分類は、多くの場合アプリケーション固有の設定ファイルにマップします。たとえば、hive-site 分類は Hive の hive-site.xml 設定ファイルの設定にマッピングされます。この例外には、--namenode-heap-size のような環境パラメータの設定に使用される、サポートされなくなったブートストラップアクション configure-daemons があります。このようなオプションはそれ自身の下位エクスポート分類とともに、hadoop-env および yarn-env 分類の中に入れ子になっています。env で終わる分類には、下位エクスポート分類を使用してください。

もう 1 つの例外として s3get があり、これはクライアント側の暗号化で使用するために、クラスター内の各ノードに顧客の EncryptionMaterialsProvider オブジェクトを配置するのに使用されます。この用途には、emrfs-site 分類にオプションが追加されています。

hadoop-env 分類の例を次に示します。

```
[
  {
    "Classification": "hadoop-env",
    "Properties": {

    },
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "export",
        "Properties": {
          "HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE": "2048",
          "HADOOP_NAMENODE_OPTS": "-XX:GCTimeRatio=19"
        },
        "Configurations": [

        ]
      }
    ]
  }
]
```

yarn-env 分類の例を次に示します。

```
[
  {
    "Classification": "yarn-env",
    "Properties": {

```

```
    },
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "export",
        "Properties": {
          "YARN_RESOURCEMANAGER_OPTS": "-Xdebug -Xrunjdwp:transport=dt_socket"
        },
        "Configurations": [

        ]
      }
    ]
  }
]
```

次の設定は設定ファイルに属しませんが、ユーザーに代わって複数の設定を構成できるようにするために Amazon EMR が使用します。

Amazon EMR-によって選別された設定

アプリケーション	リリースラベルの分類	有効なプロパティ	どのようなときに使うか
Spark	`spark`	`maximizeResourceAllocation`	各ノードの最大リソースを利用するようにエグゼキューターを設定します。

トピック

- クラスターの作成時のアプリケーションの設定
- 実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定
- 機密設定データを AWS Secrets Managerに保存する
- 特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定

クラスターの作成時のアプリケーションの設定

クラスターを作成するときは、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用して、アプリケーションのデフォルト設定を上書きできます。

アプリケーションのデフォルト設定をオーバーライドするには、設定分類でカスタム値を指定します。設定分類は、アプリケーションを設定する XML ファイル (hive-site.xml など) に対応しています。

設定分類は、Amazon EMR のリリースバージョンによって異なります。特定のリリースバージョンで利用可能な設定分類のリストについては、「Amazon EMR リリース 6.4.0」などのリリース詳細ページを参照してください。

クラスター作成時にコンソールで設定を指定する

設定を指定するには、[クラスターの作成] ページに移動して [ソフトウェア設定] を展開します。コンソールで JSON またはシャドウテキストに倣った短縮構文を使用して、設定を直接入力できます。それ以外の方法として、JSON の Configurations オブジェクトとしてファイルの Amazon S3 URI を指定することもできます。

インスタンスグループの設定を指定するには、クラスターのリストでクラスターを選択し、[設定] タブを選択します。[インスタンスグループの設定] テーブルで、編集するインスタンスグループを選択し、[再設定] を選択します。

クラスターの作成 AWS CLI 時に を使用して設定を指定する

ローカルまたは Amazon S3 に保存された JSON ファイルのパスを指定することで、create-cluster に対して設定を指定できます。次の例は、Amazon EMR にデフォルトのロールを使用していて、そのロールが作成されていることを前提としています。ロールを作成する必要がある場合は、最初に aws emr create-default-roles を実行します。

設定がローカルディレクトリにある場合は、次のコマンド例を使用できます。

```
aws emr create-cluster --use-default-roles --release-label emr-7.9.0 --applications
 Name=Hive \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --configurations file://./
configurations.json
```

設定が Amazon S3 パスに含まれている場合は、次の次善策を設定した後に、Amazon S3 create-cluster パスをコマンドに渡す必要があります。

```
#!/bin/sh
# Assume the ConfigurationS3Path is not public, and its present in the same AWS account
 as the EMR cluster
ConfigurationS3Path="s3://amzn-s3-demo-bucket/config.json"
```

```
# Get a presigned HTTP URL for the s3Path
ConfigurationURL=`aws s3 presign $ConfigurationS3Path --expires-in 300`
# Fetch the presigned URL, and minify the JSON so that it spans only a single line
Configurations=`curl $ConfigurationURL | jq -c .`
aws emr create-cluster --use-default-roles --release-label emr-5.34.0 --instance-type
 m5.xlarge --instance-count 2 --applications Name=Hadoop Name=Spark --configurations
 $Configurations
```

クラスター作成時に Java SDK を使用して設定を指定する

AWS SDK for Javaを使用して設定を指定する方法を次のプログラム抜粋に示します。

```
Application hive = new Application().withName("Hive");

Map<String,String> hiveProperties = new HashMap<String,String>();
 hiveProperties.put("hive.join.emit.interval","1000");
 hiveProperties.put("hive.merge.mapfiles","true");

Configuration myHiveConfig = new Configuration()
 .withClassification("hive-site")
 .withProperties(hiveProperties);

RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
 .withName("Create cluster with ReleaseLabel")
 .withReleaseLabel("emr-5.20.0")
 .withApplications(hive)
 .withConfigurations(myHiveConfig)
 .withServiceRole("EMR_DefaultRole")
 .withJobFlowRole("EMR_EC2_DefaultRole")
 .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
  .withEc2KeyName("myEc2Key")
  .withInstanceCount(3)
  .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(true)
  .withMasterInstanceType("m4.large")
  .withSlaveInstanceType("m4.large")
 );
```

実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定

Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスターアプリケーションを再設定して追加の設定分類を指定できます。これを行うに

は、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または SDK AWS を使用できます。

新しい Amazon EMR コンソールでインスタンスグループのアプリケーション設定を更新すると、新規設定と既存の設定がマージされ、有効な新規設定が作成されます。Amazon EMR が設定をマージできないという稀なケースでは、コンソールに警告が表示されます。

インスタンスグループの再設定リクエストを送信すると、Amazon EMR が新しい設定仕様にバージョン番号を割り当てます。CloudWatch イベントを表示することで、設定のバージョン番号やインスタンスグループの状態を追跡できます。詳細については、「CloudWatch イベントのモニタリング」を参照してください。

> **Note**
>
> クラスターの作成時に指定したクラスター設定に対して実行できるのは上書きのみであり、削除はできません。既存の設定と指定したファイルに差異がある場合、Amazon EMR は SSH を使用してクラスターに接続中に変更した設定などの手動で変更された設定を、指定したインスタンスグループのクラスターのデフォルト値にリセットします。

インスタンスグループの再設定時の考慮事項

再設定アクション

Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用して再設定リクエストを送信すると、Amazon EMR は既存のクラスター上の設定ファイルをチェックします。既存の設定と指定したファイルに差異がある場合、Amazon EMR は再設定アクションを開始し、いくつかのアプリケーションを再起動し、SSH を使用してクラスターに接続中に変更した設定などの手動で変更された設定を、指定したインスタンスグループのクラスターのデフォルト値にリセットします。

> **Note**
>
> Amazon EMR は、インスタンスグループの再設定ごとに、デフォルトのアクションをいくつか実行します。これらのデフォルトのアクションが、ユーザーが行ったクラスターのカスタマイズと競合して、再設定に失敗することがあります。再設定失敗のトラブルシューティング方法については、インスタンスグループの再設定のトラブルシューティングを参照してください。

Amazon EMR は、リクエストで指定した設定分類に対する再設定アクションも開始します。これらのアクションの詳細なリストについては、使用している Amazon EMR のバージョンの「設定分類」セクションを参照してください。例えば、6.2.0 の設定分類です。

> **Note**
>
> Amazon EMR リリースガイドには、Amazon EMR バージョン 5.32.0 および 6.2.0 以降の再設定アクションのみが記載されています。

サービスの中断

Amazon EMR では、ローリングプロセスに従って、タスクインスタンスグループとコアインスタンスグループのインスタンスの再設定を行います。インスタンスグループ内のインスタンスのうち、一度に変更および再起動されるのはわずか 10% です。このプロセスは完了するまでに時間がかかりますが、実行中のクラスターでアプリケーションが失敗する可能性は低くなります。

YARN の再起動中に YARN ジョブを実行するには、複数のマスターノードを持つ Amazon EMR クラスターを作成するか、`yarn-site` 設定分類で `yarn.resourcemanager.recovery.enabled` を `true` に設定します。複数のマスターノードの使用方法については、高可用性 YARN ResourceManager を参照してください。

アプリケーションの検証

Amazon EMR は、再設定の再起動プロセスの後に、クラスター上の各アプリケーションが実行中であることを確認します。使用できないアプリケーションがある場合、再設定操作全体が失敗します。再設定操作に失敗した場合、Amazon EMR は、設定パラメータを前に機能していたバージョンに戻します。

> **Note**
>
> 再設定の失敗を回避するため、クラスターに使用する予定のアプリケーションのみをインストールすることをお勧めします。再設定リクエストを送信する前に、すべてのクラスターアプリケーションが正常に稼働していることを確認することもお勧めします。

再設定のタイプ

インスタンスグループは、2 つの方法のいずれかで再設定できます。

- 上書き: デフォルトの再設定方法です。5.35.0 および 6.6.0 より前の Amazon EMR リリースでは、この方法のみ使用できます。この方法で再設定すると、クラスター上のすべてのファイルが、新しく送信した設定セットで強制的に上書きされます。この方法では、再設定 API 以外で行った設定ファイル変更がすべて消去されます。
- マージ: Amazon EMR リリース 5.35.0 および 6.6.0 以降でサポートされる再設定の方法です。ただし、バージョンに関係なく、Amazon EMR コンソールでは、この再設定は行えません。この方法で再設定すると、新しく送信した設定が、クラスターに既に存在する設定と統合されます。このオプションでは、送信した新しい設定のみが追加または変更されます。既存の設定は保持されます。

> **Note**
>
> Amazon EMR では、適切なサービス稼働に必要な Hadoop 設定の一部が継続的に上書きされます。

制約事項

実行中のクラスターのインスタンスグループを再設定するときは、次の制限を考慮してください。

- 非 Yarn アプリケーションでは、アプリケーションが適切に設定されていない場合は特に、再起動中の失敗やクラスターの問題が発生する可能性があります。メモリや CPU 使用率が最大に近づいているクラスターは、再起動プロセス後に問題が発生する可能性があります。これは、マスターインスタンスグループに対して特にあてはまります。
- インスタンスグループのサイズ変更中は、再設定リクエストを送信できません。インスタンスグループのサイズ変更中に再設定を開始した場合、インスタンスグループのサイズ変更が完了するまで再設定を開始することはできません。再設定中にサイズ変更を行う場合も同様です。
- インスタンスグループを再設定後、Amazon EMR は、新しい設定を反映するためにアプリケーションを再起動します。再設定中にアプリケーションが使用されていると、ジョブが失敗したり、アプリケーションで予期しない動作が発生したりする可能性があります。
- インスタンスグループの再設定に失敗した場合、Amazon EMR は、設定パラメータを前に機能していたバージョンに戻します。バージョンを戻せなかった場合は、新しい `ModifyInstanceGroup` リクエストを送信して、インスタンスグループを `SUSPENDED` 状態から復旧させる必要があります。
- Phoenix 設定分類の再設定リクエストは、Amazon EMR バージョン 5.23.0 以降でのみサポートされていて、Amazon EMR バージョン 5.21.0 や 5.22.0 ではサポートされていません。

- HBase 設定分類の再設定リクエストは、Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降でのみサポートされていて、Amazon EMR バージョン 5.23.0 から 5.29.0 ではサポートされていません。
- Amazon EMR バージョン 5.27.0 以降でのみ、複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターでのアプリケーション再設定リクエストがサポートされています。
- `hdfs-encryption-zones` 分類または Hadoop KMS 設定分類の再設定は、複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターではサポートされていません。
- Amazon EMR では現在、YARN ResourceManager の再起動を必要とする Capacity Scheduler の特定の再設定リクエストをサポートしていません。例えば、キューを完全に削除することはできません。

コンソールでのインスタンスグループの再設定

> **Note**
>
> Amazon EMR コンソールでは、マージタイプの再設定がサポートされていません。

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [名前] の下のクラスター一覧で、再設定するアクティブなクラスターを選択します。
3. クラスターのクラスター詳細ページを開き、[設定] タブに移動します。
4. [フィルタ] ドロップダウンリストで、再設定するインスタンスグループを選択します。
5. [再設定] ドロップダウンメニューで、[テーブルで編集する] と [JSON ファイルで編集する] のいずれかを選択します。
   - テーブルで編集する -- 設定分類テーブルで、既存の設定のプロパティと値を編集するか、[設定の追加] を選択して追加の設定分類を指定します。
   - JSON ファイルで編集する -- JSON に直接設定を入力するか、短縮構文 (シャドウテキストで示されている) を使用します。それ以外の方法として、JSON の `Configurations` オブジェクトとしてファイルの Amazon S3 URI を指定します。

   > **Note**
   >
   > 設定分類テーブルの [ソース] 列は、クラスター作成時と、このインスタンスグループ用の追加設定の指定時のどちらで設定を指定するかを示しています。インスタンスグルー

プの設定は、両方のソースから編集することができます。最初のクラスター設定を削除することはできませんが、インスタンスグループの設定は上書きすることができます。また、ネストされた設定分類は、テーブルで直接追加または編集することもできます。たとえば、export の追加の hadoop-env サブ分類を指定するには、テーブルで hadoop.export 設定分類を追加します。次に、この分類の特定のプロパティおよび値を指定します。

6. (オプション) [Apply this configuration to all active instance groups (この設定をすべてのアクティブインスタンスグループに適用する)] を選択します。
7. 変更を保存します。

CLI を使用したインスタンスグループの再設定

modify-instance-groups コマンドを使用して、実行中のクラスター内のインスタンスグループに新しい設定を指定します。

> **Note**
>
> 次の例では、*<j-2AL4XXXXXX5T9>* をクラスター ID に、*<ig-1xxxxxxx9>* をインスタンスグループ ID に置き換えてください。

Example - インスタンスグループの設定を置き換える

次の例では、instanceGroups.json という名前の設定 JSON ファイルを参照して、インスタンスグループの YARN NodeManager ディスクヘルスチェッカーのプロパティを編集します。

1. 設定分類を準備し、コマンドを実行するのと同じディレクトリに instanceGroups.json として保存します。

```
[
   {
      "InstanceGroupId":"<ig-1xxxxxxx9>",
      "Configurations":[
         {
            "Classification":"yarn-site",
            "Properties":{
               "yarn.nodemanager.disk-health-checker.enable":"true",
```

```
                "yarn.nodemanager.disk-health-checker.max-disk-utilization-per-disk-
percentage":"100.0"
            },
            "Configurations":[]
         }
      ]
   }
]
```

2. 以下のコマンドを実行してください。

```
aws emr modify-instance-groups --cluster-id <j-2AL4XXXXXX5T9> \
--instance-groups file://instanceGroups.json
```

Example - インスタンスグループに設定を追加する

インスタンスグループに設定を追加する場合は、そのインスタンスグループに対して前に指定した設定すべてを新しい ModifyInstanceGroup リクエストに含める必要があります。含めない場合、前に指定した設定が削除されます。

次の例では、YARN NodeManager 仮想メモリチェッカーのプロパティを追加します。設定には、値が上書きされないように YARN NodeManager ディスクヘルスチェッカーに対して前に指定した値も含められています。

1. instanceGroups.json に次の内容を準備し、コマンドを実行するのと同じディレクトリに保存します。

```
[
   {
      "InstanceGroupId":"<ig-1xxxxxxx9>",
      "Configurations":[
         {
            "Classification":"yarn-site",
            "Properties":{
               "yarn.nodemanager.disk-health-checker.enable":"true",
               "yarn.nodemanager.disk-health-checker.max-disk-utilization-per-disk-
percentage":"100.0",
               "yarn.nodemanager.vmem-check-enabled":"true",
               "yarn.nodemanager.vmem-pmem-ratio":"3.0"
```

```
            },
            "Configurations":[]
         }
      ]
   }
]
```

2. 以下のコマンドを実行してください。

```
aws emr modify-instance-groups --cluster-id <j-2AL4XXXXXX5T9> \
--instance-groups file://instanceGroups.json
```

Example — マージタイプの再設定を使用してインスタンスグループに設定を追加する

デフォルトの上書き再設定によってインスタンスグループに設定を追加する場合は、そのインスタンスグループに以前指定したすべての設定を、新しい `ModifyInstanceGroup` リクエストに含める必要があります。そうしない場合、上書きによって、以前指定した設定が削除されます。マージの再設定では、この操作は不要です。ただし、リクエストでは、新しい設定のみ指定する必要があります。

次の例では、YARN NodeManager 仮想メモリチェッカーのプロパティを追加します。これは、マージタイプの再設定であるため、YARN NodeManager ディスクヘルスチェッカーに以前指定した値は上書きされません。

1. `instanceGroups.json` に次の内容を準備し、コマンドを実行するのと同じディレクトリに保存します。

```
[
   {"InstanceGroupId":"<ig-1xxxxxxx9>",
    "ReconfigurationType" :"MERGE",
      "Configurations":[
         {"Classification":"yarn-site",
            "Properties":{
               "yarn.nodemanager.vmem-check-enabled":"true",
               "yarn.nodemanager.vmem-pmem-ratio":"3.0"
            },
            "Configurations":[]
         }
      ]
   }
```

```
]
```

2. 以下のコマンドを実行してください。

```
aws emr modify-instance-groups --cluster-id <j-2AL4XXXXXX5T9> \
--instance-groups file://instanceGroups.json
```

Example - インスタンスグループの設定を削除する

インスタンスグループの設定を削除するには、前の設定を除外する新しい再設定リクエストを送信します。

> **Note**
>
> 最初のクラスター設定に対して実行できるのは上書きのみです。この設定を削除することはできません。

例えば、前の例から YARN NodeManager ディスクヘルスチェッカーの設定を削除するには、次の内容の新しい `instanceGroups.json` を送信します。

```
[
   {
      "InstanceGroupId":"<ig-1xxxxxxx9>",
      "Configurations":[
         {
            "Classification":"yarn-site",
            "Properties":{
               "yarn.nodemanager.vmem-check-enabled":"true",
               "yarn.nodemanager.vmem-pmem-ratio":"3.0"
            },
            "Configurations":[]
         }
      ]
   }
]
```

> **Note**
>
> 最後の再設定リクエストに含まれる設定をすべて削除するには、空の設定の配列を指定して再設定リクエストを送信します。例:
>
> ```
> [
>    {
>       "InstanceGroupId":"<ig-1xxxxxxx9>",
>       "Configurations":[]
>    }
> ]
> ```

Example — 1 つのリクエストでインスタンスグループの再設定とサイズ変更を実行する

同じリクエストでインスタンスグループの再設定とサイズ変更を行う方法を次の JSON 例に示します。

```
[
   {
      "InstanceGroupId":"<ig-1xxxxxxx9>",
      "InstanceCount":5,
      "EC2InstanceIdsToTerminate":["i-123"],
      "ForceShutdown":true,
      "ShrinkPolicy":{
         "DecommissionTimeout":10,
         "InstanceResizePolicy":{
            "InstancesToTerminate":["i-123"],
            "InstancesToProtect":["i-345"],
            "InstanceTerminationTimeout":20
         }
      },
      "Configurations":[
         {
            "Classification":"yarn-site",
            "Configurations":[],
            "Properties":{
               "yarn.nodemanager.disk-health-checker.enable":"true",
               "yarn.nodemanager.disk-health-checker.max-disk-utilization-per-disk-
percentage":"100.0"
            }
```

```
        }
      ]
    }
]
```

Java SDK を使用したインスタンスグループの再設定

> **Note**
>
> 次の例では、*<j-2AL4XXXXXX5T9>* をクラスター ID に、*<ig-1xxxxxxx9>* をインスタンスグループ ID に置き換えてください。

次のコードスニペットでは、 AWS SDK for Javaを使用して、インスタンスグループに対する新しい設定を指定します。

```
AWSCredentials credentials = new BasicAWSCredentials("access-key", "secret-key");
AmazonElasticMapReduce emr = new AmazonElasticMapReduceClient(credentials);

Map<String,String> hiveProperties = new HashMap<String,String>();
hiveProperties.put("hive.join.emit.interval","1000");
hiveProperties.put("hive.merge.mapfiles","true");

Configuration configuration = new Configuration()
    .withClassification("hive-site")
    .withProperties(hiveProperties);

InstanceGroupModifyConfig igConfig = new InstanceGroupModifyConfig()
    .withInstanceGroupId("<ig-1xxxxxxx9>")
    .withReconfigurationType("MERGE");
    .withConfigurations(configuration);

ModifyInstanceGroupsRequest migRequest = new ModifyInstanceGroupsRequest()
    .withClusterId("<j-2AL4XXXXXX5T9>")
    .withInstanceGroups(igConfig);

emr.modifyInstanceGroups(migRequest);
```

次のコードスニペットでは、空の設定の配列を指定して、インスタンスグループに対して前に指定した設定を削除します。

```
List<Configuration> configurations = new ArrayList<Configuration>();

InstanceGroupModifyConfig igConfig = new InstanceGroupModifyConfig()
    .withInstanceGroupId("<ig-1xxxxxxx9>")
    .withConfigurations(configurations);

ModifyInstanceGroupsRequest migRequest = new ModifyInstanceGroupsRequest()
    .withClusterId("<j-2AL4XXXXXX5T9>")
    .withInstanceGroups(igConfig);

emr.modifyInstanceGroups(migRequest);
```

インスタンスグループの再設定のトラブルシューティング

インスタンスグループの再設定プロセスが失敗した場合、Amazon EMR は再設定を元に戻し、Amazon CloudWatch イベントを使用して失敗メッセージをログに記録します。イベントには、再設定失敗の簡単な概要が記載されます。ここに、再構成が失敗したインスタンスと、対応する失敗メッセージがリストされます。失敗メッセージの例を次に示します。

```
The reconfiguration operation for instance group ig-1xxxxxxx9 in Amazon EMR
 cluster j-2AL4XXXXXX5T9 (ExampleClusterName)
failed at 2021-01-01 00:00 UTC and took 2 minutes to fail. Failed configuration version
 is example12345.
Failure message: Instance i-xxxxxxx1, i-xxxxxxx2, i-xxxxxxx3 failed with message "This
 is an example failure message".
```

再設定失敗に関する詳細データを収集するには、ノードのプロビジョニングログを確認します。これは、次のようなメッセージを受信したときに特に有用です。

```
i-xxxxxxx1 failed with message “Unable to complete transaction and some changes were
 applied.”
```

On the node

ノードに接続してノードのプロビジョニングログにアクセスする

1. SSH を使用して、再設定が失敗したノードに接続します。手順については、Amazon EC2 Linux インスタンス用ユーザーガイドの Linux インスタンスへの接続を参照してください。
2. ノードのプロビジョニングログファイルが含まれる次のディレクトリに移動します。

```
/mnt/var/log/provision-node/
```

3. `reports` サブディレクトリを開き、再設定のノードのプロビジョニングレポートを検索します。`reports` ディレクトリでは、再設定のバージョン番号、Universally Unique Identifier (UUID)、Amazon EC2 インスタンスの IP アドレス、およびタイムスタンプによってログが整理されます。各レポートは、再設定プロセスに関する詳細情報が含まれる圧縮された YAML ファイルです。

   レポートファイルの名前とパスの例を次に示します。

```
/reports/2/ca598xxx-cxxx-4xxx-bxxx-6dbxxxxxxxxx/ip-10-73-xxx-
xxx.ec2.internal/202104061715.yaml.gz
```

4. レポートは、次の例に示すように、`zless` などのファイルビューワーを使用して確認できます。

```
zless 202104061715.yaml.gz
```

Amazon S3

Amazon S3 を使用してノードのプロビジョニングログにアクセスするには

1. にサインイン AWS Management Console し、https://console.aws.amazon.com/s3/ で Amazon S3 コンソールを開きます。
2. ログファイルをアーカイブするようにクラスターを設定したときに指定した Amazon S3 バケットを開きます。
3. ノードのプロビジョニングログファイルが含まれる次のフォルダに移動します。

```
amzn-s3-demo-bucket/elasticmapreduce/<cluster id>/node/<instance id>/provision-
node/
```

4. `reports` フォルダを開き、再設定のノードのプロビジョニングレポートを検索します。`reports` フォルダでは、再設定のバージョン番号、Universally Unique Identifier (UUID)、Amazon EC2 インスタンスの IP アドレス、およびタイムスタンプによってログが整理されます。各レポートは、再設定プロセスに関する詳細情報が含まれる圧縮された YAML ファイルです。

   レポートファイルの名前とパスの例を次に示します。

   ```
   /reports/2/ca598xxx-cxxx-4xxx-bxxx-6dbxxxxxxxxx/ip-10-73-xxx-
   xxx.ec2.internal/202104061715.yaml.gz
   ```

5. ログファイルを表示するには、Amazon S3 からローカルマシンにログファイルをテキストファイルとしてダウンロードします。手順については、「オブジェクトのダウンロード」を参照してください。

各ログファイルには、関連する再設定に関する詳細なプロビジョニングレポートが含まれています。エラーメッセージ情報を検索するには、レポートの `err` ログレベルを検索します。レポートの形式は、クラスターの Amazon EMR のバージョンによって異なります。

5.32.0 および 6.2.0 より前の Amazon EMR リリースバージョンのエラー情報を次の例に示します。

```
- !ruby/object:Puppet::Util::Log
      level: !ruby/sym err
      tags:
        - err
      message: "Example detailed error message."
      source: Puppet
      time: 2021-01-01 00:00:00.000000 +00:00
```

Amazon EMR リリースバージョン 5.32.0 および 6.2.0 以降では、代わりに次の形式が使用されます。

```
- level: err
  message: 'Example detailed error message.'
  source: Puppet
  tags:
  - err
  time: '2021-01-01 00:00:00.000000 +00:00'
  file:
  line:
```

機密設定データを AWS Secrets Managerに保存する

Amazon EMR では、カスタム設定データ (`DescribeCluster` や `ListInstanceGroups` など) を発行する API オペレーションをプレーンテキストで記述して一覧表示できます。Amazon EMR はと統合 AWS Secrets Manager されているため、データを Secrets Manager に保存し、設定でシークレット ARN を使用できます。この方法を取ると、機密性の高い設定データをプレーンテキストで Amazon EMR に渡して外部 API に公開しなくても済みます。キーと値のペアに Secrets Manager に保存されているシークレットの ARN が含まれていることを示すと、Amazon EMR は設定データをクラスターに送信するときにこのシークレットを取得し、そのシークレット ARN が取得されます。Amazon EMR は、外部 API を使用して設定を表示する場合、そのアノテーションを送信されません。

シークレットを作成する

シークレットを作成するには、「AWS Secrets Manager ユーザーガイド」の「AWS Secrets Manager シークレットを作成する」の手順に従います。ステップ 3 では、[プレーンテキスト] フィールドを選択して機密値を入力する必要があります。

Secrets Manager では、最大 65536 バイトをシークレットで指定できますが、Amazon EMR では、プロパティキー (アノテーションを除く) と取得するシークレット値を合わせた長さが 1024 文字に制限されていることに注意してください。

Amazon EMR にアクセス権を付与してシークレットを取得する

Amazon EMR では、IAM サービスロールを使用してクラスターをプロビジョニングおよび管理します。Amazon EMR に許可するアクションは Amazon EMR のサービスロールによって定義します。これにより、リソースをプロビジョニングすると共に、クラスター内で稼働している Amazon EC2 インスタンスのコンテキスト上、実行されないサービスレベルのタスクを実行できます。サービスロールの詳細については、「Amazon EMR のサービスロール (EMR ロール)」と「IAM ロールのカスタマイズ」を参照してください。

Amazon EMR が Secrets Manager からシークレット値を取得できるようにするには、クラスターを起動するときに Amazon EMR ロールに次のポリシーステートメントを追加します。

```
{
   "Sid":"AllowSecretsRetrieval",
   "Effect":"Allow",
   "Action":"secretsmanager:GetSecretValue",
   "Resource":[
```

```
      "arn:aws:secretsmanager:<region>:<aws-account-id>:secret:<secret-name>"
   ]
}
```

カスタマーマネージドでシークレットを作成する場合は AWS KMS key、使用するキーの Amazon EMR ロールにも`kms:Decrypt`アクセス許可を追加する必要があります。詳細については、AWS Secrets Manager ユーザーガイドの「[AWS Secrets Managerに対する認証とアクセスコントロール](#)」を参照してください。

シークレットを設定分類で使用する

`EMR.secret@` アノテーションを任意の設定プロパティに追加して、そのキーと値のペアに、Secrets Manager に保存しているシークレットの ARN が含まれていることを示すことができます。

次の例は、設定分類でシークレット ARN を指定する方法を示しています。

```
{
   "Classification":"core-site",
   "Properties":{
      "presto.s3.access-key":"<sensitive-access-key>",
      "EMR.secret@presto.s3.secret-key":"arn:aws:secretsmanager:<region>:<aws-account-id>:secret:<secret-name>"
   }
}
```

クラスターの作成時にアノテーション付きの設定を送信すると、Amazon EMR によって設定プロパティが検証されます。設定が有効な場合、Amazon EMR は、設定からアノテーションを削除し、Secrets Manager からシークレットを取得します。これによって、実際の設定を作成し、クラスターに適用します。

```
{
   "Classification":"core-site",
   "Properties":{
      "presto.s3.access-key":"<sensitive-access-key>",
      "presto.s3.secret-key":"<my-secret-key-retrieved-from-Secrets-Manager>"
   }
}
```

`DescribeCluster` などのアクションを呼び出すと、Amazon EMR から、クラスターで現在稼働しているアプリケーションの設定が返ります。アプリケーション設定プロパティにシークレット ARN

が含まれるとマークしている場合、`DescribeCluster` 呼び出しによって返るアプリケーション設定には、シークレット値ではなく ARN が含まれています。これにより、クラスター上でのみシークレット値を目視できるようになります。

```
{
   "Classification":"core-site",
   "Properties":{
      "presto.s3.access-key":"<sensitive-access-key>",
      "presto.s3.secret-key":"arn:aws:secretsmanager:<region>:<aws-account-
id>:secret:<secret-name>"
   }
}
```

シークレット値を更新する

Amazon EMR は、アタッチされたインスタンスグループが起動、再設定、またはサイズ変更されるたびに、アノテーション付きの設定からシークレット値を取得します。稼働中のクラスターの設定で使用するシークレット値は、Secrets Manager を使用すると変更できます。その場合、更新済みの値を受け取りたい各インスタンスグループに、再設定リクエストを送信できます。インスタンスグループを再設定する方法と、その際に考慮すべき点の詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

特定の Java 仮想マシンを使用するようにアプリケーションを設定

Amazon EMR は、リリースごとに、デフォルトの Java 仮想マシン (JVM) のバージョンが異なります。このページでは、さまざまなリリースやアプリケーションに対する JVM サポートについて説明します。

考慮事項

アプリケーションでサポートされている Java バージョンについては、Amazon EMR リリースガイドのアプリケーションのページを参照してください。

- Amazon EMR のクラスター内で実行可能なランタイムバージョンは 1 つのみであり、同じクラスターで、異なるランタイムバージョンを実行し、異なるノードまたはアプリケーションを稼働させることはできません。
- Amazon EMR 7.x の場合、Apache Livy を除く、Java 17 をサポートするアプリケーションのデフォルトの Java 仮想マシン (JVM) は Java 17 です。アプリケーションでサポートされている

JDK バージョンの詳細については、Amazon EMR リリースガイドの対応するリリースページを参照してください。

- Amazon EMR 7.1.0 以降、Flink は Java 17 をサポートし、デフォルトで Java 17 に設定されています。別のバージョンの Java ランタイムを使用するには、`flink-conf` の設定を上書きします。Java 8 または Java 11 を使用するように Flink を設定する方法の詳細については、「[Configure Flink to run with Java 11](#)」を参照してください。
- Amazon EMR 5.x および 6.x の場合、デフォルトの Java 仮想マシン (JVM) は Java 8 です。
  - Amazon EMR リリース 6.12.0 以降の場合、一部のアプリケーションも Java 11 と 17 をサポートしています。
  - Amazon EMR リリース 6.9.0 以降の場合、Trino はデフォルトで Java 17 をサポートしています。Java 17 と Trino の詳細については、Trino のブログ、「[Trino updates to Java 17](#)」を参照してください。

ランタイムバージョンを選択する際には、次に示すアプリケーション固有の考慮事項に留意してください。

Java 設定に関する、アプリケーション固有の注意点

アプリケーション	Java の設定に関する注意点
Spark	Spark をデフォルト以外の Java バージョンで稼働させるには、Spark と Hadoop の両方を設定する必要があります。例については「JVM をオーバーライドする」を参照してください。 • プライマリインスタンスプロセスの Java ランタイムを更新するには、`spark-env` の `JAVA_HOME` を設定します。例えば、spark-submit、spark-shell、Spark History Server などです。 • Hadoop の設定を変更して Spark エグゼキューターと YARN `ApplicationMaster` の Java ランタイムを更新してください。

アプリケーション	Java の設定に関する注意点
Spark RAPIDS	Spark 用に設定されている Java バージョンで RAPIDS を実行できます。
Iceberg	Iceberg は、それを使用するアプリケーションの設定済み Java バージョンで稼働させることができます。
Delta	Delta は、それを使用するアプリケーションの設定済み Java バージョンで稼働させることができます。
Hudi	Hudi は、それを使用するアプリケーションの設定済み Java バージョンで稼働させることができます。
Hadoop	Hadoop の JVM を更新するには、hadoop-env を変更します。例については「JVM をオーバーライドする」を参照してください。
[Hive]	Hive の Java バージョンを 11 または 17 に設定するには、Hadoop の JVM 設定で、使用する Java バージョンを指定します。
HBase	HBase の JVM を更新するには、hbase-env を変更します。デフォルトの場合、Amazon EMR では、Hadoop の JVM 設定に基づいて HBase の JVM が設定されます。ただし、hbase-env の設定をオーバーライドした場合を除きます。例については「JVM をオーバーライドする」を参照してください。

アプリケーション	Java の設定に関する注意点
Flink	Flink の JVM を更新するには、flink-conf を変更します。デフォルトの場合、Amazon EMR では、Hadoop の JVM 設定に基づいて Flink の JVM が設定されます。ただし、flink-conf の設定をオーバーライドした場合を除きます。詳細については、「Flink が Java 11 で実行されるよう設定する」を参照してください。
Oozie	Oozie が Java 11 または 17 で稼働するように構成するには、Oozie サーバーと Oozie LauncherAM ランチャー AM の設定を行い、クライアント側の実行ファイルとジョブ設定を変更します。EmbeddedOozieServer を設定して、Java 17 で稼働させることもできます。詳細については、「Oozie 用の Java バージョンの設定」を参照してください。
Pig	Pig は Java 8 のみをサポートしています。Hadoop で Java 11 または 17 を使用し、それと同じクラスターで Pig を稼働させることはできません。

JVM をオーバーライドする

Amazon EMR リリースの JVM 設定をオーバーライドするには (例えば、Amazon EMR リリース 6.12.0 を使用するクラスターで Java 17 を使用するなど)、`JAVA_HOME` をその環境分類に設定します。この場合の環境分類は *`application`*-env であり、Flink を除くすべてのアプリケーションに適用されます。Flink の環境分類は `flink-conf` です。Flink の Java ランタイムを設定する手順については、「Flink が Java 11 で実行されるよう設定する」を参照してください。

トピック

- JVM 設定をオーバーライドし Apache Spark を使用する
- JVM 設定をオーバーライドし Apache HBase を使用する

- JVM 設定をオーバーライドし Apache Hadoop と Hive を使用する

JVM 設定をオーバーライドし Apache Spark を使用する

Amazon EMR リリース 6.12 以降で Spark を使用する場合、エグゼキューターが Java 11 または 17 を使用するように環境を設定できます。Amazon EMR リリース 5.x より前のリリースで Spark を使用し、クラスターモードで送信するドライバーを作成すると、ドライバーは Java 7 を使用しますが、エグゼキューターが Java 8 を使用するよう環境を設定できます。

JVM for Spark を上書きするには、Hadoop 分類と Spark 分類の両方を設定する必要があります。

```
{
"Classification": "hadoop-env",
        "Configurations": [
            {
"Classification": "export",
                "Configurations": [],
                "Properties": {
"JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/java-1.8.0"
                }
            }
        ],
        "Properties": {}
    },
    {
"Classification": "spark-env",
        "Configurations": [
            {
"Classification": "export",
                "Configurations": [],
                "Properties": {
"JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/java-1.8.0"
                }
            }
        ],
        "Properties": {}
    }
```

次の例は、EMR 7.0.0+ に必要な設定パラメータを追加して、すべてのコンポーネントで一貫した Java バージョンの使用を確保する方法を示しています。

```
[
```

```
  {
    "Classification": "spark-defaults",
    "Properties": {
      "spark.executorEnv.JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/java-1.8.0",
      "spark.yarn.appMasterEnv.JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/java-1.8.0"
    }
  },
  {
    "Classification": "hadoop-env",
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "export",
        "Configurations": [],
        "Properties": {
          "JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/java-1.8.0"
        }
      }
    ],
    "Properties": {}
  },
  {
    "Classification": "spark-env",
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "export",
        "Configurations": [],
        "Properties": {
          "JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/java-1.8.0"
        }
      }
    ],
    "Properties": {}
  }
]
```

JVM 設定をオーバーライドし Apache HBase を使用する

HBase で Java 11 が使用されるように設定するには、クラスターの起動時に次の設定を行います。

```
[
  {
    "Classification": "hbase-env",
```

```
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "export",
        "Configurations": [],
        "Properties": {
          "JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/jre-11"
        }
      }
    ],
    "Properties": {}
  }
]
```

JVM 設定をオーバーライドし Apache Hadoop と Hive を使用する

次の例は、JVM をバージョン 17 に設定し、Hadoop と Hive を利用可能にする方法を示しています。

```
[
    {
        "Classification": "hadoop-env",
            "Configurations": [
                {
                    "Classification": "export",
                    "Configurations": [],
                    "Properties": {
                        "JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/jre-17"
                    }
                }
        ],
        "Properties": {}
    }
]
```

サービスポート

以下は YARN および HDFS サービスポートです。これらの設定には、Hadoop のデフォルトが反映されます。特に文言化されていない限り、他のアプリケーションサービスはデフォルトのポートでホストされます。詳細については、アプリケーションのプロジェクトドキュメントを参照してください。

YARN と HDFS のポート設定

設定	ホスト名 / ポート
`fs.default.name`	デフォルト (`hdfs://`*`emrDetermminedIP`* `:8020`)
`dfs.datanode.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50010`)
`dfs.datanode.http.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50075`)
`dfs.datanode.https.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50475`)
`dfs.datanode.ipc.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50020`)
`dfs.http.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50070`)
`dfs.https.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50470`)
`dfs.secondary.http.address`	デフォルト (`0.0.0.0:50090`)
`yarn.nodemanager.address`	デフォルト (`${yarn.nodemanager.hostname}:0`)
`yarn.nodemanager.localizer.address`	デフォルト (`${yarn.nodemanager.hostname}:8040`)
`yarn.nodemanager.webapp.address`	デフォルト (`${yarn.nodemanager.hostname}:8042`)
`yarn.resourcemanager.address`	デフォルト (`${yarn.resourcemanager.hostname}:8032`)
`yarn.resourcemanager.admin.address`	デフォルト (`${yarn.resourcemanager.hostname}:8033`)
`yarn.resourcemanager.resource-tracker.address`	デフォルト (`${yarn.resourcemanager.hostname}:8031`)
`yarn.resourcemanager.scheduler.address`	デフォルト (`${yarn.resourcemanager.hostname}:8030`)

設定	ホスト名 / ポート
yarn.resourcemanager.webapp.address	デフォルト (${yarn.resourcemanager.hostname}:8088)
yarn.web-proxy.address	デフォルト (no-value)
yarn.resourcemanager.hostname	*emrDeterminedIP*

Note

emrDeterminedIP とは、Amazon EMR コントロールプレーンで生成された IP アドレスのことです。新しいバージョンでは、この規則は削除されています (yarn.resourcemanager.hostname および fs.default.name 設定は除く)。

アプリケーションユーザー

アプリケーションでは、プロセスを独自のユーザーとして実行します。たとえば、Hive JVM はユーザー hive として、MapReduce JVM は mapred として実行されます。これを、次のプロセスステータスの例に示します。

```
USER       PID %CPU %MEM    VSZ   RSS TTY      STAT START   TIME COMMAND
hive      6452  0.2  0.7 853684 218520 ?       Sl   16:32   0:13 /usr/lib/jvm/
java-openjdk/bin/java -Xmx256m -Dhive.log.dir=/var/log/hive -Dhive.log.file=hive-
metastore.log -Dhive.log.threshold=INFO -Dhadoop.log.dir=/usr/lib/hadoop
hive      6557  0.2  0.6 849508 202396 ?       Sl   16:32   0:09 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Xmx256m -Dhive.log.dir=/var/log/hive -Dhive.log.file=hive-server2.log
 -Dhive.log.threshold=INFO -Dhadoop.log.dir=/usr/lib/hadoop/l
hbase     6716  0.1  1.0 1755516 336600 ?      Sl   Jun21   2:20 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Dproc_master -XX:OnOutOfMemoryError=kill -9 %p -Xmx1024m -ea -XX:
+UseConcMarkSweepGC -XX:+CMSIncrementalMode -Dhbase.log.dir=/var/
hbase     6871  0.0  0.7 1672196 237648 ?      Sl   Jun21   0:46 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Dproc_thrift -XX:OnOutOfMemoryError=kill -9 %p -Xmx1024m -ea -XX:
+UseConcMarkSweepGC -XX:+CMSIncrementalMode -Dhbase.log.dir=/var/
hdfs      7491  0.4  1.0 1719476 309820 ?      Sl   16:32   0:22 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Dproc_namenode -Xmx1000m -Dhadoop.log.dir=/var/log/hadoop-hdfs -
Dhadoop.log.file=hadoop-hdfs-namenode-ip-10-71-203-213.log -Dhadoo
```

```
yarn      8524  0.1  0.6 1626164 211300 ?      Sl   16:33   0:05 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Dproc_proxyserver -Xmx1000m -Dhadoop.log.dir=/var/log/hadoop-yarn -
Dyarn.log.dir=/var/log/hadoop-yarn -Dhadoop.log.file=yarn-yarn-
yarn      8646  1.0  1.2 1876916 385308 ?      Sl   16:33   0:46 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Dproc_resourcemanager -Xmx1000m -Dhadoop.log.dir=/var/log/hadoop-yarn
 -Dyarn.log.dir=/var/log/hadoop-yarn -Dhadoop.log.file=yarn-y
mapred    9265  0.2  0.8 1666628 260484 ?      Sl   16:33   0:12 /usr/lib/jvm/java-
openjdk/bin/java -Dproc_historyserver -Xmx1000m -Dhadoop.log.dir=/usr/lib/hadoop/logs -
Dhadoop.log.file=hadoop.log -Dhadoop.home.dir=/usr/lib/hadoop
```

Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用して依存関係を確認する

Amazon EMR リリースバージョン 5.18.0 以降では、Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用し、特定の Amazon EMR リリースバージョンで利用可能なライブラリおよび依存関係の正確なバージョンに対して Apache Hive および Apache Hadoop のジョブコードをビルドできます。リポジトリの Amazon EMR アーティファクトに対してビルドすると、ジョブがビルドされるライブラリのバージョンがクラスターでの実行時に提供されるバージョンと正確に同じになるため、ランタイムクラスパスの問題を回避できます。現在、Amazon EMR アーティファクトは Maven ビルドでのみ使用可能です。

アーティファクトリポジトリにアクセスするには、リポジトリ URL を Maven 設定ファイルまたは特定のプロジェクトの `pom.xml` 設定ファイルに追加します。その後、プロジェクト設定に依存関係を指定できます。依存関係のバージョンについては、Amazon EMR 5.x リリースバージョン にある目的のリリースのコンポーネントバージョンの下にリストされているバージョンを使用します。例えば、最新の Amazon EMR リリースのコンポーネントバージョンは the section called “5.36.2 コンポーネントバージョン” にあります。プロジェクトのアーティファクトがコンポーネントバージョンにリストされていない場合は、そのリリースの Hive と Hadoop にリストされているバージョンを指定します。例えば、Amazon EMR リリースバージョン 5.18.0 の Hadoop コンポーネントの場合、バージョンは `2.8.4-amzn-1` です。

アーティファクトリポジトリ URL の構文は次のとおりです。

```
https://s3-endpoint/region-ID-emr-artifacts/emr-release-label/repos/maven/
```

- *`s3-endpoint`* はリポジトリのリージョンの Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) エンドポイントで、*`region-ID`* は対応するリージョンです。例えば、`s3.us-west-1.amazonaws.com` と `us-west-1` です。詳細については、「Amazon Web Services 全般のリファレンス」の Amazon S3 エンドポイントを参照してください。リージョン間でアーティファクトに違いはないため、開発環境に対して最も便利なリージョンを指定することができます。
- *`emr-release-label`* は、コードを実行する Amazon EMR クラスター用のリリースラベルです。リリースラベルは `emr-`*`x.x.x`* 形式 (`emr-5.36.2` など) です。EMR リリースシリーズには、複数のリリースが含まれる場合があります。たとえば、EMR リリースバージョン 5.24.1 を使用している場合、アーティファクトリポジトリ URL では、5.24 シリーズの初回 EMR リリースラベル `emr-5.24.0` を使用します。

```
https://s3-endpoint/region-ID-emr-artifacts/emr-5.24.0/repos/maven/
```

Example Maven pom.xml の設定

次の pom.xml の例では、us-west-1 のアーティファクトリポジトリを使用して、emr-5.18.0 Apache Hadoop および Apache Hive アーティファクトに対してビルドするように Maven プロジェクトを設定します。スナップショットのバージョンはアーティファクトリポジトリでは使用できないため、スナップショットは pom.xml で無効になります。次の例の省略記号 (`...`) は、他の設定パラメータの省略を示します。Maven プロジェクトにこれらをコピーしないでください。

```
<project>
 ...
 <repositories>
  ...
  <repository>
   <id>emr-5.18.0-artifacts</id>
   <name>EMR 5.18.0 Releases Repository</name>
   <releases>
    <enabled>true</enabled>
   </releases>
   <snapshots>
    <enabled>false</enabled>
   </snapshots>
   <url>https://s3.us-west-1.amazonaws.com/us-west-1-emr-artifacts/emr-5.18.0/repos/
maven/</url>
  </repository>
  ...
 </repositories>
 ...
 <dependencies>
  ...
  <dependency>
   <groupId>org.apache.hive</groupId>
   <artifactId>hive-exec</artifactId>
   <version>2.3.3-amzn-2</version>
  </dependency>
  <dependency>
   <groupId>org.apache.hadoop</groupId>
   <artifactId>hadoop-common</artifactId>
   <version>2.8.4-amzn-1</version>
  </dependency>
```

```
  ...
 </dependencies>

</project>
```

EMR ファイルシステム (EMRFS)

EMR ファイルシステム (EMRFS) は、すべての Amazon EMR クラスターが Amazon EMR と Amazon S3 の間で通常のファイルを直接読み書きするために使用する HDFS の実装です。EMRFS には Hadoop で使用するために Amazon S3 に永続的なデータを保存するという利便性がある一方で、データの暗号化などの機能も用意されています。

データの暗号化により、EMRFS が Amazon S3 に書き込むオブジェクトが暗号化され、Amazon S3 の暗号化されたオブジェクトを EMRFS で操作できるようになります。Amazon EMR リリース 4.8.0 以降のバージョンを使用している場合は、セキュリティ設定を使用して、Amazon S3 の EMRFS オブジェクトの暗号化を、他の暗号化設定と合わせてセットアップできます。詳細については「暗号化オプション」を参照してください。これまでのリリースバージョンの Amazon EMR を使用している場合は、手動で暗号化を設定できます。詳細については、「EMRFS プロパティを使用して Amazon S3 の暗号化を指定する」を参照してください。

Amazon S3 には、すべての AWS リージョンでの GET、PUT、および LIST の全操作について、書き込み後読み取りの強力な整合性維持機能があります。つまり、EMRFS を使用して書き込んだ内容が Amazon S3 から読み取る内容であり、パフォーマンスにも影響はありません。詳細については、「Amazon S3 のデータ整合性モデル」を参照してください。

Amazon EMR リリース 5.10.0 以降のバージョンを使用するときは、Amazon S3 のクラスターユーザー、グループ、または EMRFS データの場所に基づいて、Amazon S3 への EMRFS リクエストに異なる IAM ロールを使用できます。詳細については、「Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールを設定する」を参照してください。

> **Warning**
>
> Apache Spark ジョブを実行する Amazon EMR クラスターの投機的実行を有効にする前に、次の情報を確認してください。
> EMRFS には、EMRFS S3 最適化コミッターである OutputCommitter 実装が含まれています。これは、EMRFS を使用するときの Amazon S3 へのファイルの書き込みに対して最適化されています。Amazon S3 にデータを書き込み、EMRFS S3 最適化コミッターを使用しないアプリケーションで Apache Spark 投機的実行機能をオンにすると、「SPARK-10063」で説明されているデータの正確性の問題が発生する可能性があります。これは、Amazon EMR リリース 5.19 より前の Amazon EMR バージョンを使用しているか、ORC や CSV などのファイル形式で Amazon S3 に書き込んでいる場合に発生する可能性があります。EMRFS S3 最適化コミッターは、これらの形式をサポートしていません。EMRFS S3 最適化コミッ

ターを使用するための要件の詳細なリストについては、「EMRFS S3 最適化コミッターの要件」を参照してください。
EMRFS 直接書き込みは、通常、次を書き込むときなどの、EMRFS S3 最適化コミッターがサポートされていないときに使用されます。

- ORC やテキストなどの、Parquet 以外の出力形式。
- Spark RDD API を使用する Hadoop ファイル。
- Hive SerDe を使用する Parquet。「Hive metastore Parquet table conversion」を参照してください。

EMRFS 直接書き込みは、次のシナリオでは使用されません。

- EMRFS S3 最適化コミッターが有効なとき。「EMRFS S3 最適化コミッターの要件」を参照してください。
- partitionOverwriteMode を dynamic に設定して動的パーティションを書き込むとき。
- Hive のデフォルトのパーティションの場所規則に準拠しない場所などの、カスタムのパーティションの場所に書き込むとき。
- HDFS への書き込みや S3A ファイルシステムの使用など、EMRFS 以外のファイルシステムを使用するとき。

アプリケーションが Amazon EMR 5.14.0 以降で直接書き込みを使用しているかどうかを判別するには、Spark INFO ログ記録を有効にします。「Direct Write: ENABLED」というテキストを含むログ行が Spark ドライバーログまたは Spark エグゼキューターコンテナログのいずれかに存在する場合、Spark アプリケーションが直接書き込みを使用して書き込んだことがわかります。
Amazon EMR クラスターでは、投機的実行はデフォルトで OFF になっています。次の条件が両方ともあてはまる場合は、投機的実行をオンにしないことを強くお勧めします。

- データを Amazon S3 に書き込む場合。
- データを Apache Parquet 以外の形式で、または Apache Parquet 形式だが EMRFS S3 最適化コミッターを使用せずに書き込む場合。

Spark 投機的実行をオンにし、EMRFS 直接書き込みを使用して Amazon S3 にデータを書き込むと、断続的なデータ損失が発生する可能性があります。HDFS にデータを書き

込むか、EMRFS S3 最適化コミッターを使用して Parquet 形式でデータを書き込むときは、Amazon EMR が直接書き込みを使用しないため、この問題は発生しません。

EMRFS 直接書き込みを使用する形式で Spark から Amazon S3 にデータを書き込み、かつ投機的実行を使用する必要がある場合は、HDFS に書き込み、S3DistCp を使用して出力ファイルを Amazon S3 に転送することをお勧めします。

トピック

- [整合性のあるビュー]()
- [Amazon S3 内の EMRFS データへのアクセスを許可する]()
- [デフォルト AWS Security Token Service エンドポイントの管理]()
- [EMRFS プロパティを使用して Amazon S3 の暗号化を指定する]()

整合性のあるビュー

> **Warning**
>
> 2023 年 6 月 1 日以降、その後リリースされる Amazon EMR では、EMRFS の整合性のあるビューに標準サポートは提供されません。既存のリリースの場合、EMRFS の整合性のあるビューは、継続して利用できます。

2020 年 12 月 1 日に Amazon S3 でリリースされた、リードアフターライトの強力な整合性確保機能により、Amazon EMR クラスターで EMRFS の整合性のビュー (EMRFS CV) を使用する必要がなくなりました。EMRFS CV は、オプションの機能であり、これによって、Amazon EMR クラスターで Amazon S3 オブジェクトに実行するリストおよびリードアフターライトの整合性を確認できます。クラスターを作成して EMRFS CV を有効にすると、Amazon EMR に Amazon DynamoDB データベースが作成され、そこに保存されたオブジェクトメタデータによって、S3 オブジェクトに実行するリストおよびリードアフターライトの整合性が追跡されます。今回のリリースにより、EMRFS CV をオフにして、この機能が使用する DynamoDB データベースを削除できるようになりました。これで、追加のコストも発生しません。次の手順に従うと、CV 機能の確認と無効化に加え、その機能が使用する DynamoDB データベースの削除を行えます。

EMRFS CV 機能の使用状況を確認するには

1. [設定] タブに移動します。クラスターを以下のように設定している場合、EMRFS CV が使用されます。

```
Classification=emrfs-site,Property=fs.s3.consistent,Value=true
```

2. または、 AWS CLI を使用して `describe-cluster` API でクラスターを記述します。出力に `fs.s3.consistent: true` が指定されていると、クラスターは EMRFS CV を使用します。

Amazon EMR クラスターの EMRFS CV を無効にするには

EMRFS CV の機能を無効にするには、次に示す 3 つのオプションのいずれかを使用します。これらのオプションは、テスト環境でテストした後に、実稼働環境に適用する必要があります。

1. 既存のクラスターを停止し、EMRFS CV オプションを使用せずに新規クラスターを開始するには。
   a. クラスターの停止前に、データを確実にバックアップし、ユーザーに停止を通知してください。
   b. クラスターを停止するには、「クラスターを終了する」の手順に従います。
   c. Amazon EMR コンソールからクラスターを新規作成する場合は、[詳細オプション] に移動します。[ソフトウェア設定の編集] セクションで、EMRFS CV を有効にするオプションの選択を解除します。[EMRFS の整合性のビュー] のチェックボックスが使用可能な場合は、チェックを外したままにします。
   d. AWS CLI を使用して `create-cluster` API で新しいクラスターを作成する場合は、EMRFS CV をオンにする `--emrfs`オプションを使用しないでください。
   e. SDK または を使用して新しいクラスター AWS CloudFormation を作成する場合は、「整合性のあるビューを設定する」に記載されている設定を使用しないでください。
2. クラスターを複製して EMRFS CV を削除するには
   a. Amazon EMR コンソールで、EMRFS CV を使用するクラスターを選択します。
   b. [クラスターの詳細] ページの上部で、[クローン] を選択します。
   c. [前へ] を選択して、[ステップ 1: ソフトウェアとステップ] に移動します。
   d. [ソフトウェア設定の編集] で EMRFS CV を削除します。[設定を編集する] で、`emrfs-site` 分類内にある次の設定を削除します。S3 バケットから JSON を読み込む場合は、S3 オブジェクトを変更する必要があります。

```
[
 {"classification":
  "emrfs-site",
  "properties": {
   "fs.s3.consistent.retryPeriodSeconds":"10",
   "fs.s3.consistent":"true",
   "fs.s3.consistent.retryCount":"5",
   "fs.s3.consistent.metadata.tableName":"EmrFSMetadata"
  }
 }
]
```

3. インスタンスグループを使用するクラスターから EMRFS CV を削除するには

   a. 1 つの EMR クラスターが EMRFS CV に関連付けられた DynamoDB テーブルを使用しているかどうか、または複数のクラスターがテーブルを共有しているかどうかを確認するには、次のコマンドを使用します。「整合性のあるビューを設定する」の説明どおり、テーブル名は `fs.s3.consistent.metadata.tableName` で指定します。EMRFS CV で使用するデフォルトのテーブル名は `EmrFSMetadata` です。

   ```
   aws emr describe-cluster --cluster-id j-XXXXX | grep
    fs.s3.consistent.metadata.tableName
   ```

   b. DynamoDB データベースが別のクラスターと共有されていない場合は、次のコマンドを使用してクラスターを再設定し、EMRFS CV を非アクティブ化します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの再設定」を参照してください。

   ```
   aws emr modify-instance-groups --cli-input-json file://disable-emrfs-1.json
   ```

   このコマンドにより、変更対象のファイルが開きます。次の設定を使用してファイルを変更します。

   ```
   {
    "ClusterId": "j-xxxx",
    "InstanceGroups": [
     {
      "InstanceGroupId": "ig-xxxx",
      "Configurations": [
       {
        "Classification": "emrfs-site",
   ```

```
      "Properties": {
       "fs.s3.consistent": "false"
      },
      "Configurations": []
     }
    ]
   }
  ]
 }
```

c. DynamoDB テーブルが別のクラスターと共有されている場合は、すべてのクラスターの EMRFS CV を一度に無効化します。この操作は、クラスターが S3 の共有ロケーションにあるオブジェクトを変更しないタイミングで行ってください。

EMRFS CV に関連付けた Amazon DynamoDB リソースを削除するには

Amazon EMR クラスターから EMRFS CV を削除した後、EMRFS CV に関連付けた DynamoDB リソースを削除します。この操作を行わないと、EMRFS CV に関連する DynamoDB 料金が引き続き発生します。

1. DynamoDB テーブルの CloudWatch メトリクスを確認し、テーブルがどのクラスターからも使用されていないことを確認します。
2. DynamoDB テーブルを削除します。

```
aws dynamodb delete-table --table-name <your-table-name>
```

EMRFS CV に関連付けた Amazon SQS リソースを削除するには

1. 不整合の通知が Amazon SQS にプッシュされるようにクラスターを設定すると、SQS キューをすべて削除できます。
2. 「整合性のあるビューを設定する」の説明どおり `fs.s3.consistent.notification.SQS.queueName` で指定された Amazon SQS キュー名を検索します。デフォルトの場合、キュー名の形式は、`EMRFS-Inconsistency-`*<j-cluster ID>* です。

```
aws sqs list-queues | grep ‘EMRFS-Inconsistency’
aws sqs delete-queue -queue-url <your-queue-url>
```

EMRFS CLI の使用を停止するには

- EMRFS CV によって生成されるメタデータは、EMRFS CLI で管理します。今後リリースされる Amazon EMR では EMRFS CV の標準サポートが終了するため、EMRFS CLI のサポートも終了します。

トピック

整合性のあるビューを有効にする

、、または設定分類を使用して AWS Management Console、EMRFS の Amazon S3 サーバー側の暗号化または整合性のあるビューを有効にできます。 AWS CLI `emrfs-site`

コンソールを使用して整合性のあるビューを設定するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [Step 1: Software and Steps] および [Step 2: Hardware] の設定を選択します。
4. [Step 3: General Cluster Settings] の [Additional Options] で、[EMRFS consistent view] を選択します。
5. [EMRFS Metadata store] に、メタデータストアの名前を入力します。デフォルト値は **`EmrFSMetadata`** です。EmrFSMetadata テーブルが存在しない場合、自動的に DynamoDB に作成されます。

> **Note**
>
> Amazon EMR は、クラスターの終了時に DynamoDB から EMRFS メタデータを自動的には削除しません。

6. [Number of retries] に整数値を入力します。不整合が検出された場合、EMRFS はこの回数にわたり、Amazon S3 の呼び出しを試みます。デフォルト値は **5** です。
7. [Retry period (in seconds)] に、整数値を入力します。これは、再試行までに EMRFS が待機する時間です。デフォルト値は **10** です。

> **Note**
>
> それ以降の再試行では、エクスポネンシャルバックオフが使用されます。

を使用して整合性のあるビューが有効になっているクラスターを起動するには AWS CLI

の最新バージョンをインストールすることをお勧めします AWS CLI。最新リリースをダウンロードするには、https://aws.amazon.com/cli/ を参照してください。

- > **Note**
  >
  > 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --emrfs
 Consistent=true \
--release-label emr-7.9.0 --ec2-attributes KeyName=myKey
```

を使用して整合性のあるビューが有効になっているかどうかを確認するには AWS Management Console

- コンソールで整合性のあるビューが有効かどうかを確認するには、[Cluster List] に移動し、クラスター名を選択して [Cluster Details] を表示します。[EMRFS consistent view] フィールドの値は、`Enabled` または `Disabled` です。

整合性のあるビューが有効になっているかどうかを確認するには、**`emrfs-site.xml`** ファイルを調べます。

- 整合性が有効になっているかどうかは、クラスターのマスターノードの `emrfs-site.xml` 設定ファイルを調べることで確認できます。`fs.s3.consistent` のブール値が `true` に設定されている場合、Amazon S3 が関与するファイルシステム操作に対して整合性のあるビューが有効になっています。

EMRFS の整合性のあるビューが Amazon S3 内のオブジェクトを追跡する方法を理解する

EMRFS は、オブジェクトに関する情報を EMRFS メタデータに追加することで、Amazon S3 内にそれらのオブジェクトの整合性のあるビューを作成します。EMRFS は、次の場合にこれらの一覧をそのメタデータに追加します。

- Amazon EMR ジョブの実行中に、EMRFS によってオブジェクトが書き込まれた。
- EMRFS CLI を使用してオブジェクトが EMRFS のメタデータと同期化されたか、EMRFS にインポートされた。

EMRFS によって読み取られたオブジェクトはメタデータに自動的に追加されません。EMRFS がオブジェクトを削除されると、リストが EMRFS CLI を使用して消去されるまで、削除された状態でメタデータに残ります。CLI の詳細については、「EMRFS CLI コマンドリファレンス」を参照してください。EMRFS のメタデータでの一覧消去の詳細については、「EMRFS の整合性のあるビューのメタデータ」を参照してください。

EMRFS は、すべての Amazon S3 操作について、整合性のあるビューのオブジェクトのセットに関する情報のメタデータを確認します。EMRFS は、これらのいずれかの操作中に Amazon S3 が不整合であることを検出すると、`emrfs-site` 設定プロパティで定義されているパラメータに従って操作を再試行します。EMRFS が再試行した後、`ConsistencyException` を返すか、例外を記録し

てワークフローを継続します。再試行ロジックの詳細については、「再試行ロジック」を参照してください。たとえば、ログには `ConsistencyExceptions` が見つかります。

- listStatus: No Amazon S3 object for metadata item `/S3_bucket/dir/object`
- getFileStatus: Key `dir/file` is present in metadata but not Amazon S3

EMRFS の整合性のあるビューで追跡されているオブジェクトを Amazon S3 から直接削除すると、EMRFS はそのオブジェクトを不整合として扱います。これは、そのオブジェクトが Amazon S3 に存在するものとしてメタデータにまだリストされているためです。Amazon S3 で EMRFS が追跡するオブジェクトとメタデータが同期されなくなった場合は、EMRFS CLI の sync サブコマンドを使用して、Amazon S3 の状態を反映するようにメタデータをリセットできます。メタデータと Amazon S3 との間の不整合を検出するには、diff を使用します。最後に、EMRFS の整合性のあるビューには、メタデータで参照されているオブジェクトのみがあります。同じ Amazon S3 のパスには、追跡されていない他のオブジェクトが存在する可能性があります。EMRFS は、Amazon S3 パスのオブジェクトを一覧表示するときに、メタデータで追跡されているオブジェクトと、その Amazon S3 パス内のオブジェクトのスーパーセットを返します。

再試行ロジック

EMRFS は、特定の数の再試行について、メタデータで追跡されるオブジェクトのリストの整合性を検証しようとします。デフォルトは 5 です。再試行の数を超過する場合、`fs.s3.consistent.throwExceptionOnInconsistency` が `false` に設定されていない限り（この場合、整合性がないとして追跡されるオブジェクトのみが記録されます）、失敗を返します。EMRFS は、デフォルトでエクスポネンシャルバックオフ再試行ポリシーを使用しますが、固定ポリシーに設定することもできます。ユーザーは、例外をスローすることなく、残りのジョブに進む前に特定の時間、再試行したい場合があります。その場合は、`fs.s3.consistent.throwExceptionOnInconsistency` を `false` に、`fs.s3.consistent.retryPolicyType` を `fixed` に、`fs.s3.consistent.retryPeriodSeconds` を目的の値に設定することで、これを達成できます。次の例では、整合性を有効にしてクラスターを作成します。これにより、不整合が記録され、10 秒の固定再試行間隔が設定されます。

Example 再試行期間の一定量への設定

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 1 \
```

```
--emrfs Consistent=true,Args=[fs.s3.consistent.throwExceptionOnInconsistency=false,
 fs.s3.consistent.retryPolicyType=fixed,fs.s3.consistent.retryPeriodSeconds=10] --ec2-
attributes KeyName=myKey
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

詳細については、「整合性のあるビュー」を参照してください。

IMDS のリージョンの取得呼び出しに対する EMRFS 設定

EMRFS は、IMDS (インスタンスメタデータサービス) を使用して、インスタンスリージョンと Amazon S3、DynamoDB、または AWS KMS エンドポイントを取得します。ただし、IMDS には処理できるリクエストの数に制限があり、その制限を超えるリクエストは失敗します。この IMDS 制限により、EMRFS の初期化が失敗し、クエリまたはコマンドが失敗する可能性があります。emrfs-site.xml で、次のランダム化されたエクスポネンシャルバックオフ再試行メカニズムとフォールバックリージョン設定プロパティを使用して、すべての再試行が失敗するシナリオに対応できます。

```
<property>
    <name>fs.s3.region.retryCount</name>
    <value>3</value>
    <description>
    Maximum retries that would be attempted to get AWS region.
    </description>
</property>
<property>
    <name>fs.s3.region.retryPeriodSeconds</name>
    <value>3</value>
    <description>
    Base sleep time in second for each get-region retry.
    </description>
</property>
<property>
    <name>fs.s3.region.fallback</name>
    <value>us-east-1</value>
    <description>
```

```
    Fallback to this region after maximum retries for getting AWS region have been
 reached.
    </description>
</property>
```

EMRFS の整合性のあるビューのメタデータ

EMRFS の整合性のあるビューは、DynamoDB テーブルを使用して、EMRFS と同期されたか、EMRFS によって作成された Amazon S3 内のオブジェクトの整合性を追跡します。このメタデータはすべての操作 (読み取り、書き込み、更新、およびコピー) の追跡に使用され、実際のコンテンツはメタデータには保存されません。このメタデータは、Amazon S3 から受信したオブジェクトやメタデータが、予期しているものと一致するかどうかを検証するために使用されます。この検証により EMRFS は、EMRFS が Amazon S3 に書き込む新しいオブジェクトや EMRFS と同期されるオブジェクトの一覧の整合性と、書き込み後読み取りの整合性を確認できます。複数のクラスターで同じメタデータを共有できます。

メタデータにエントリを追加する方法

メタデータへのエントリの追加には、`sync` サブコマンドまたは `import` サブコマンドを使用できます。`sync` は、パス内の Amazon S3 オブジェクトの状態を反映し、`import` は厳密に新しいエントリをメタデータに追加するために使用されます。詳細については、「EMRFS CLI コマンドリファレンス」を参照してください。

メタデータと Amazon S3 内のオブジェクトとの差異を確認する方法

メタデータと Amazon S3 との差異を確認するには、EMRFS CLI の `diff` サブコマンドを使用します。詳細については、「EMRFS CLI コマンドリファレンス」を参照してください。

メタデータ操作が調整されているかどうかを確認する方法

EMRFS は、その読み取り操作と書き込み操作のメタデータのデフォルトのスループットキャパシティー制限として、それぞれ 500 ユニットと 100 ユニットを設定します。多数のオブジェクトやバケットがあると、操作でこのキャパシティーを超える可能性があります。その時点で DynamoDB は操作を抑制します。たとえば、これらのキャパシティーの上限を超える操作を実行する場合、アプリケーションで EMRFS が `ProvisionedThroughputExceededException` をスローする場合があります。抑制されると、EMRFS CLI ツールは、操作が終了するか、Amazon EMR から Amazon S3 へのオブジェクト書き込みの最大再試行値に到達するまで、エクスポネンシャルバックオフを使用して DynamoDB テーブルへの書き込みを再試行します。

独自のスループットキャパシティー制限を設定できます。ただし、DynamoDB の読み込み操作と書き込み操作には、3000 読み込みキャパシティーユニット (RCU) と 1000 書き込みキャパシティーユ

ニット (WCU) の厳密なパーティション制限があります。抑制による sync 障害を回避するには、読み取り操作のスループットを 3000 RCU 未満に、書き込み操作のスループットを 1000 WCU 未満に制限することをお勧めします。カスタムのスループットキャパシティー制限を設定する手順については、「[整合性のあるビューを設定する](#)」を参照してください。

DynamoDB コンソールで EMRFS のメタデータの Amazon CloudWatch メトリクスを表示することもできます。ここでは、抑制された読み取りリクエストと書き込みリクエストの数を確認できます。調整されたリクエストの数がゼロ以外の場合、アプリケーションは、読み取りまたは書き込み操作に割り当てられるスループット容量を増やすことで、メリットが得られる可能性があります。長時間にわたって読み取りと書き込みに割り当てられた最大のスループット容量に操作が近付いていることが表示された場合も、パフォーマンスのメリットが得られる可能性があります。

重要な EMRFS 操作のスループット特性

読み取りおよび書き込み操作のデフォルト値は、それぞれ 400 スループット容量ユニット、100 スループット容量ユニットです。以下のパフォーマンス特性は、特定の操作に必要なスループットのヒントを示しています。これらのテストは、単一ノードの `m3.large` クラスターを使用して実行されました。すべての操作はシングルスレッドです。パフォーマンスは特定のアプリケーション特性によって大きく異なり、ファイルシステム操作を最適化するには、検証が必要になる場合があります。

Operation	平均の 1 秒あたりの読み取り	平均の 1 秒あたりの書き込み
create（オブジェクト）	26.79	6.70
delete（オブジェクト）	10.79	10.79
delete（1000 個のオブジェクトを含むディレクトリ）	21.79	338.40
getFileStatus（オブジェクト）	34.70	0
getFileStatus（ディレクトリ）	19.96	0
listStatus（1 個のオブジェクトを含むディレクトリ）	43.31	0
listStatus（10 個のオブジェクトを含むディレクトリ）	44.34	0

Operation	平均の 1 秒あたりの読み取り	平均の 1 秒あたりの書き込み
listStatus (100 個のオブジェクトを含むディレクトリ)	84.44	0
listStatus (1,000 個のオブジェクトを含むディレクトリ)	308.81	0
listStatus (10,000 個のオブジェクトを含むディレクトリ)	416.05	0
listStatus (100,000 個のオブジェクトを含むディレクトリ)	823.56	0
listStatus (1,000,000 個のオブジェクトを含むディレクトリ)	882.36	0
mkdir (120 秒間継続)	24.18	4.03
mkdir	12.59	0
rename (オブジェクト)	19.53	4.88
rename (1000 個のオブジェクトを含むディレクトリ)	23.22	339.34

メタデータストアから古いデータを消去するステップを送信するには

DynamoDB ベースのメタデータの特定エントリを削除することが必要な場合があります。この操作は、テーブルに関連するストレージコストを節約するうえで役立ちます。ユーザーは、EMRFS CLI の `delete` サブコマンドを使用して、特定のエントリを手動またはプログラムで消去することができます。ただし、メタデータからエントリを削除すると、EMRFS は整合性のチェックを行わなくなります。

ジョブ完了後のプログラムによる消去は、EMRFS CLI でコマンドを実行する最終的なステップをクラスターに送信することにより行います。たとえば、クラスターにステップを送信し、2 日前より古いすべてのエントリを削除するには、次のコマンドを入力します。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AL4XXXXXX5T9 --steps Name="emrfsCLI",Jar="command-runner.jar",Args=["emrfs","delete","--time","2","--time-unit","days"]
{
    "StepIds": [
        "s-B12345678902"
    ]
}
```

操作結果のログを確認するには、返された StepId 値を使用します。

CloudWatch と Amazon SQS の整合性通知を設定する

Amazon S3 の結果整合性の問題に対して、EMRFS で CloudWatch メトリクスと Amazon SQS メッセージを有効にできます。

CloudWatch

CloudWatch メトリクスを有効にすると、Amazon S3 の結果整合性のために `FileSystem` API 呼び出しが失敗するたびに、Inconsistency という名前のメトリクスがプッシュされます。

Amazon S3 の結果整合性の問題の CloudWatch メトリクスを表示するには

CloudWatch コンソールで Inconsistency メトリクスを表示するには、EMRFS のメトリクスを選択し、[ジョブフロー ID] と [メトリクス名] のペアを選択します。たとえば、`j-162XXXXXXM2CU ListStatus` `j-162XXXXXXM2CU GetFileStatus` などです。

1. CloudWatch コンソールの https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/ を開いてください。
2. [Dashboard] の [Metrics] セクションで、[EMRFS] を選択します。
3. [Job Flow Metrics] ペインで、1 つ以上の [JobFlowId] と [Metric Name] のペアを選択します。メトリクスのグラフィカル表示が、次のウィンドウに表示されます。

Amazon SQS

Amazon SQS 通知を有効にすると、EMRFS の初期化時に `EMRFS-Inconsistency-<jobFlowId>` という名前の Amazon SQS キューが作成されます。Amazon S3 の結果整合性のために `FileSystem` API 呼び出しが失敗すると、Amazon SQS メッセージがキューにプッシュされます。このメッセージには、JobFlowId、API、整合性のないパスの一覧、スタックトレースなどの情報が含まれます。メッセージは、Amazon SQS コンソールを使用するか、EMRFS の `read-sqs` コマンドを使用して読み取ることができます。

Amazon S3 の結果整合性の問題に対する Amazon SQS メッセージを管理するには

Amazon S3 の結果整合性の問題に関する Amazon SQS メッセージは、EMRFS CLI を使用して読み取ることができます。Amazon SQS EMRFS キューからメッセージを読み取るには、`read-sqs` コマンドを入力し、マスターノードのローカルファイルシステム上の結果の出力ファイルの出力場所を指定します。

`delete-sqs` コマンドを使用して EMRFS の Amazon SQS キューを削除することもできます。

1. Amazon SQS キューからメッセージを読み取るには、次のコマンドを入力します。*queuename* を設定した Amazon SQS キューの名前に、*/path/filename* を出力ファイルのパスに置き換えてください。

   ```
   emrfs read-sqs --queue-name queuename --output-file /path/filename
   ```

   たとえば、デフォルトのキューから Amazon SQS メッセージを読み取って出力するには、次のように入力します。

   ```
   emrfs read-sqs --queue-name EMRFS-Inconsistency-j-162XXXXXXM2CU --output-file /
   path/filename
   ```

   > **Note**
   >
   > また、-q および -o の代わりに、それぞれ `--queue-name` および `--output-file` ショートカットを使用することもできます。

2. Amazon SQS キューを削除するには、次のコマンドを入力します。

   ```
   emrfs delete-sqs --queue-name queuename
   ```

   たとえば、デフォルトキューを削除するには、次のように入力します。

   ```
   emrfs delete-sqs --queue-name EMRFS-Inconsistency-j-162XXXXXXM2CU
   ```

   > **Note**
   >
   > `--queue-name` の代わりに -q ショートカットを使用することもできます。

整合性のあるビューを設定する

`emrfs-site` プロパティの設定プロパティを使用して、整合性のあるビューに追加の設定を構成できます。たとえば、emrfs-site 設定分類 (Amazon EMR リリースバージョン 4.x 以降のみ)、またはマスターノードに emrfs-site.xml ファイルを設定するブートストラップアクションを使用して、CLI の `--emrfs` オプションに次の引数を指定することで、デフォルトの DynamoDB スループットとして異なる値を選択できます。

Example クラスター起動時のデフォルトのメタデータの読み取りおよび書き込み値の変更

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge \
--emrfs Consistent=true,Args=[fs.s3.consistent.metadata.read.capacity=600,\
fs.s3.consistent.metadata.write.capacity=300] --ec2-attributes KeyName=myKey
```

別の方法として、次の設定ファイルを使用し、ローカルまたは Amazon S3 に保存します。

```
[
    {
      "Classification": "emrfs-site",
      "Properties": {
        "fs.s3.consistent.metadata.read.capacity": "600",
        "fs.s3.consistent.metadata.write.capacity": "300"
      }
    }
 ]
```

次の構文で作成した設定を使用します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Hive \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 2 --configurations file://./myConfig.json
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

以下のオプションは、設定または AWS CLI `--emrfs`引数を使用して設定できます。それらの引数については、「AWS CLI コマンドリファレンス」を参照してください。

整合性のあるビューの **emrfs-site.xml** プロパティ

プロパティ	デフォルト値	説明
fs.s3.consistent	**false**	**true** に設定すると、このプロパティは DynamoDB を使用して整合性を確保するように EMRFS を設定します。
fs.s3.consistent.retryPolicyType	**exponential**	このプロパティは、整合性に関する問題について再試行するときに使用するポリシーを識別します。オプションは、exponential、fixed、または none です。
fs.s3.consistent.retryPeriodSeconds	**1**	このプロパティは、整合性の再試行間の待機時間を設定します。
fs.s3.consistent.retryCount	**10**	このプロパティは、不整合が検出されたときの最大の再試行回数を設定します。
fs.s3.consistent.throwExceptionOnInconsistency	**true**	このプロパティは、整合性の例外をスローまたは記録するかどうかを決定します。**true** に設定すると、ConsistencyException がスローされます。
fs.s3.consistent.metadata.autoCreate	**true**	**true** に設定すると、このプロパティはメタデータテーブルの自動作成を有効にします。
fs.s3.consistent.metadata.etag.verification.enabled	**true**	Amazon EMR 5.29.0 では、このプロパティはデフォルトで有

プロパティ	デフォルト値	説明
		効になっています。有効にすると、EMRFS は S3 ETags を使用して、読み取られているオブジェクトが利用可能な最新バージョンであることを確認します。この機能は、S3 上のファイルが同じ名前を維持しながら上書きされる、更新後の読み取りのユースケースに役立ちます。この ETag 検証機能は、現在 S3 Select では使用できません。
`fs.s3.consistent.metadata.tableName`	**`EmrFSMetadata`**	このプロパティは、DynamoDB 内のメタデータテーブルの名前を指定します。
`fs.s3.consistent.metadata.read.capacity`	**`500`**	このプロパティは、メタデータテーブルの作成時に DynamoDB の読み込みキャパシティーをプロビジョニングすることを指定します。
`fs.s3.consistent.metadata.write.capacity`	**`100`**	このプロパティは、メタデータテーブルの作成時に DynamoDB の書き込みキャパシティーをプロビジョニングすることを指定します。
`fs.s3.consistent.fastList`	**`true`**	**`true`** に設定すると、このプロパティは複数のスレッドを使用してディレクトリを一覧表示します (必要な場合)。このプロパティを使用するには、整合性を有効にする必要があります。

プロパティ	デフォルト値	説明
fs.s3.consistent.fastList.prefetchMetadata	**false**	**true** に設定すると、このプロパティは 20,000 以上の項目を含むディレクトリに対してメタデータのプリフェッチを有効にします。
fs.s3.consistent.notification.CloudWatch	**false**	**true** に設定すると、Amazon S3 の結果整合性の問題が原因で失敗する FileSystem API 呼び出しに対して CloudWatch メトリクスが有効になります。
fs.s3.consistent.notification.SQS	**false**	**true** に設定すると、結果整合性の通知が Amazon SQS キューにプッシュされます。
fs.s3.consistent.notification.SQS.queueName	**EMRFS-Inconsistency-<jobFlowId>**	このプロパティを変更すると、Amazon S3 の結果整合性の問題に関するメッセージに対して、独自の SQS キュー名を指定できます。
fs.s3.consistent.notification.SQS.customMsg	**none**	このプロパティでは、Amazon S3 の結果整合性の問題に関する SQS メッセージに含まれるカスタム情報を指定できます。このプロパティに対して値が指定されていない場合、メッセージの対応するフィールドは空になります。
fs.s3.consistent.dynamodb.endpoint	**none**	このプロパティを使用して、整合性のあるビューのメタデータにカスタム DynamoDB エンドポイントを指定できます。

プロパティ	デフォルト値	説明
`fs.s3.useRequesterPaysHeader`	**`false`**	**`true`** に設定すると、このプロパティは、リクエスト支払いオプションが有効になっているバケットへの Amazon S3 リクエストを許可します。

EMRFS CLI コマンドリファレンス

EMRFS CLI は、Amazon EMR リリースバージョン 3.2.1 以降を使用して作成されたすべてのクラスターマスターノードにデフォルトでインストールされます。EMRFS CLI を使用して、整合性のあるビューのメタデータを管理できます。

> **Note**
>
> emrfs コマンドは、VT100 ターミナルエミュレーションでのみサポートされます。ただし、他のターミナルエミュレータモードでも動作する場合があります。

emrfs 最上位コマンド

emrfs 最上位コマンドは、次の構造をサポートしています。

```
emrfs [describe-metadata | set-metadata-capacity | delete-metadata | create-metadata |
 \
list-metadata-stores | diff | delete | sync | import ] [options] [arguments]
```

次の表に示すように、[引数] の有無にかかわらず、[options] を指定します。サブコマンド (`describe-metadata`、`set-metadata-capacity` など) に固有の [options] については、以下の各サブコマンドを参照してください。

emrfs の [Options]

オプション	説明	必須

オプション	説明	必須
-a *AWS_ACCESS_KEY_ID* | --access-key *AWS_ACCESS_KEY_ID*	Amazon S3 にオブジェクトを書き込み、DynamoDB でメタデータストアを作成またはアクセスするために使用する AWS アクセスキー。デフォルトでは、*AWS_ACCESS_KEY_ID* は、クラスターの作成に使用されたアクセスキーに設定されます。	いいえ
-s *AWS_SECRET_ACCESS_KEY* | --secret-key *AWS_SECRET_ACCESS_KEY*	Amazon S3 にオブジェクトを書き込み、DynamoDB でメタデータストアを作成またはアクセスするために使用するアクセスキーに関連付けられた AWS シークレットキー。デフォルトでは、*AWS_SECRET_ACCESS_KEY* は、クラスターの作成に使用されたアクセスキーに関連付けられたシークレットキーに設定されます。	いいえ
-v | --verbose	詳細な出力を作成します。	いいえ
-h | --help	emrfs コマンドのヘルプメッセージと使用方法の説明を表示します。	いいえ

emrfs describe-metadata サブコマンド

emrfs describe-metadata の [Options]

オプション	説明	必須
-m *METADATA_NAME* | --metadata-name *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は EmrFSMetadata です。	いいえ

Example emrfs describe-metadata の例

次の例では、デフォルトのメタデータテーブルを記述します。

```
$ emrfs describe-metadata
EmrFSMetadata
  read-capacity: 400
  write-capacity: 100
  status: ACTIVE
  approximate-item-count (6 hour delay): 12
```

emrfs set-metadata-capacity サブコマンド

emrfs set-metadata-capacity の [Options]

オプション	説明	必須
`-m` *METADATA_NAME* | `--metadata-name` *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `EmrFSMetadata` です。	いいえ
`-r` *READ_CAPACITY* | `--read-capacity` *READ_CAPACITY*	メタデータテーブルのリクエストされた読み込みスループット容量。*READ_CAPACITY* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `400` です。	いいえ
`-w` *WRITE_CAPACITY* | `--write-capacity` *WRITE_CAPACITY*	メタデータテーブルのリクエストされた書き込みスループット容量。*WRITE_CAPACITY* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `100` です。	いいえ

Example emrfs set-metadata-capacity の例

次の例では、`600` という名前のメタデータテーブルの読み込みスループット容量を `150`、書き込みスループット容量を `EmrMetadataAlt` に設定します。

```
$ emrfs set-metadata-capacity --metadata-name EmrMetadataAlt  --read-capacity 600 --
write-capacity 150
```

```
  read-capacity: 400
  write-capacity: 100
  status: UPDATING
  approximate-item-count (6 hour delay): 0
```

emrfs delete-metadata サブコマンド

emrfs delete-metadata の [Options]

オプション	説明	必須
`-m` *METADATA_NAME* | `--metadata-name` *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `EmrFSMetadata` です。	いいえ

Example emrfs delete-metadata の例

次の例では、デフォルトのメタデータテーブルを削除します。

```
$ emrfs delete-metadata
```

emrfs create-metadata サブコマンド

emrfs create-metadata の [Options]

オプション	説明	必須
`-m` *METADATA_NAME* | `--metadata-name` *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `EmrFSMetadata` です。	いいえ
`-r` *READ_CAPACITY* | `--read-capacity` *READ_CAPACITY*	メタデータテーブルのリクエストされた読み込みスループット容量。*READ_CAPACITY* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `400` です。	いいえ

オプション	説明	必須
`-w` *WRITE_CAPACITY* | `--write-capacity` *WRITE_CAPACITY*	メタデータテーブルのリクエストされた書き込みスループット容量。*WRITE_CAPACITY* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `100` です。	いいえ

Example emrfs create-metadata の例

次の例では、`EmrFSMetadataAlt` という名前のメタデータテーブルを作成します。

```
$ emrfs create-metadata -m EmrFSMetadataAlt
Creating metadata: EmrFSMetadataAlt
EmrFSMetadataAlt
  read-capacity: 400
  write-capacity: 100
  status: ACTIVE
  approximate-item-count (6 hour delay): 0
```

emrfs list-metadata-stores サブコマンド

emrfs list-metadata-stores サブコマンドには、[options] がありません。

Example list-metadata-stores の例

次の例では、メタデータテーブルを表示します。

```
$ emrfs list-metadata-stores
  EmrFSMetadata
```

emrfs diff サブコマンド

emrfs diff の [Options]

オプション	説明	必須
`-m` *METADATA_NAME* | `--metadata-name` *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `EmrFSMetadata` です。	いいえ

オプション	説明	必須
s3://s3Path	メタデータテーブルと比較する Amazon S3 バケットへのパス。バケットは再帰的に同期されます。	はい

Example emrfs diff の例

次の例では、デフォルトのメタデータテーブルを Amazon S3 バケットと比較します。

```
$ emrfs diff s3://elasticmapreduce/samples/cloudfront
BOTH | MANIFEST ONLY | S3 ONLY
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/code/
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/logprocessor.jar
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-14.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-15.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-16.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-17.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-18.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-19.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/input/XABCD12345678.2009-05-05-20.WxYz1234
DIR elasticmapreduce/samples/cloudfront/code/cloudfront-loganalyzer.tgz
```

emrfs delete サブコマンド

emrfs delete の [Options]

オプション	説明	必須
-m *METADATA_NAME* | --metadata-name *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は `EmrFSMetadata` です。	いいえ
s3://s3Path	整合性のあるビューのために追跡する Amazon S3 バケットへのパス。バケットは再帰的に同期されます。	はい

オプション	説明	必須
-t *TIME* | --time *TIME*	有効期限 (時間単位引数を使用して解釈されます) 。指定されたバケットの *TIME* 引数より古いすべてのメタデータエントリが削除されます。	
-u *UNIT* | --time-unit *UNIT*	時間の引数 (ナノ秒、マイクロ秒、ミリ秒、秒、分、時間、日数) を解釈するために使用される基準。引数が指定されていない場合、デフォルト値は days です。	
--read-consumption *READ_CONSUMPTION*	delete オペレーションに使用される、リクエストされた利用可能な読み取りスループットの量。*READ_CONSUMPTION* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は 400 です。	いいえ
--write-consumption *WRITE_CONSUMPTION*	delete オペレーションに使用される、リクエストされた利用可能な書き込みスループットの量。*WRITE_CONSUMPTION* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は 100 です。	いいえ

Example emrfs delete の例

次の例では、整合性のあるビューの追跡メタデータから Amazon S3 バケットのすべてのオブジェクトを削除します。

```
$ emrfs delete s3://elasticmapreduce/samples/cloudfront
entries deleted: 11
```

emrfs import サブコマンド

emrfs import の [Options]

オプション	説明	必須

オプション	説明	必須
-m *METADATA_NAME* | --metadata-name *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は EmrFSMetadata です。	いいえ
s3://s3Path	整合性のあるビューのために追跡する Amazon S3 バケットへのパス。バケットは再帰的に同期されます。	はい
--read-consumption *READ_CONSUMPTION*	delete オペレーションに使用される、リクエストされた利用可能な読み取りスループットの量。*READ_CONSUMPTION* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は 400 です。	いいえ
--write-consumption *WRITE_CONSUMPTION*	delete オペレーションに使用される、リクエストされた利用可能な書き込みスループットの量。*WRITE_CONSUMPTION* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は 100 です。	いいえ

Example emrfs import の例

次の例では、Amazon S3 バケット内のすべてのオブジェクトを、整合性のあるビューの追跡メタデータとともにインポートします。不明なキーはすべて無視されます。

```
$ emrfs import s3://elasticmapreduce/samples/cloudfront
```

emrfs sync サブコマンド

emrfs sync の [Options]

オプション	説明	必須

オプション	説明	必須
-m *METADATA_NAME* | --metadata-name *METADATA_NAME*	*METADATA_NAME* は DynamoDB メタデータテーブルの名前です。*METADATA_NAME* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は EmrFSMetadata です。	いいえ
s3://s3Path	整合性のあるビューのために追跡する Amazon S3 バケットへのパス。バケットは再帰的に同期されます。	はい
--read-consumption *READ_CONSUMPTION*	delete オペレーションに使用される、リクエストされた利用可能な読み取りスループットの量。*READ_CONSUMPTION* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は 400 です。	いいえ
--write-consumption *WRITE_CONSUMPTION*	delete オペレーションに使用される、リクエストされた利用可能な書き込みスループットの量。*WRITE_CONSUMPTION* 引数が指定されていない場合、デフォルト値は 100 です。	いいえ

Example emrfs sync command の例

次の例では、Amazon S3 バケット内のすべてのオブジェクトを、整合性のあるビューの追跡メタデータとともにインポートします。不明なキーがすべて削除されます。

```
$ emrfs sync s3://elasticmapreduce/samples/cloudfront
Synching samples/cloudfront                                       0 added | 0 updated |
 0 removed | 0 unchanged
Synching samples/cloudfront/code/                                 1 added | 0 updated |
 0 removed | 0 unchanged
Synching samples/cloudfront/                                      2 added | 0 updated |
 0 removed | 0 unchanged
Synching samples/cloudfront/input/                                9 added | 0 updated |
 0 removed | 0 unchanged
Done synching s3://elasticmapreduce/samples/cloudfront            9 added | 0 updated |
 1 removed | 0 unchanged
```

```
creating 3 folder key(s)
folders written: 3
```

emrfs read-sqs サブコマンド

emrfs read-sqs の [Options]

オプション	説明	必須
-q *QUEUE_NAME* | --queue-name *QUEUE_NAME*	*QUEUE_NAME* は、emrfs-site.xml で設定した Amazon SQS キューの名前です。デフォルト値は **EMRFS-Inconsistency-<jobFlowId>** です。	はい
-o *OUTPUT_FILE* | --output-file *OUTPUT_FILE*	*OUTPUT_FILE* は、マスターノードのローカルファイルシステムにある出力ファイルへのパスです。キューから読み取ったメッセージはこのファイルに書き込まれます。	はい

emrfs delete-sqs サブコマンド

emrfs delete-sqs の [Options]

オプション	説明	必須
-q *QUEUE_NAME* | --queue-name *QUEUE_NAME*	*QUEUE_NAME* は、emrfs-site.xml で設定した Amazon SQS キューの名前です。デフォルト値は **EMRFS-Inconsistency-<jobFlowId>** です。	はい

ステップとして EMRFS CLI コマンドを送信する

次の例は、 AWS CLI または API と を活用して emrfs コマンドcommand-runner.jarをステップとして実行することで、マスターノードで emrfsユーティリティを使用する方法を示しています。この例では、 を使用してクラスターにステップ AWS SDK for Python (Boto3) を追加し、Amazon S3 バケット内のオブジェクトをデフォルトの EMRFS メタデータテーブルに追加します。

```
import boto3
from botocore.exceptions import ClientError


def add_emrfs_step(command, bucket_url, cluster_id, emr_client):
    """
    Add an EMRFS command as a job flow step to an existing cluster.

    :param command: The EMRFS command to run.
    :param bucket_url: The URL of a bucket that contains tracking metadata.
    :param cluster_id: The ID of the cluster to update.
    :param emr_client: The Boto3 Amazon EMR client object.
    :return: The ID of the added job flow step. Status can be tracked by calling
             the emr_client.describe_step() function.
    """
    job_flow_step = {
        "Name": "Example EMRFS Command Step",
        "ActionOnFailure": "CONTINUE",
        "HadoopJarStep": {
            "Jar": "command-runner.jar",
            "Args": ["/usr/bin/emrfs", command, bucket_url],
        },
    }

    try:
        response = emr_client.add_job_flow_steps(
            JobFlowId=cluster_id, Steps=[job_flow_step]
        )
        step_id = response["StepIds"][0]
        print(f"Added step {step_id} to cluster {cluster_id}.")
    except ClientError:
        print(f"Couldn't add a step to cluster {cluster_id}.")
        raise
    else:
        return step_id


def usage_demo():
    emr_client = boto3.client("emr")
    # Assumes the first waiting cluster has EMRFS enabled and has created metadata
    # with the default name of 'EmrFSMetadata'.
    cluster = emr_client.list_clusters(ClusterStates=["WAITING"])["Clusters"][0]
    add_emrfs_step(
```

```
        "sync", "s3://elasticmapreduce/samples/cloudfront", cluster["Id"], emr_client
    )


if __name__ == "__main__":
    usage_demo()
```

返された step_id 値を使用して、ログで操作の結果を確認できます。

Amazon S3 内の EMRFS データへのアクセスを許可する

デフォルトでは、EC2 の EMR ロールが、Amazon S3 内の EMRFS データにアクセスする権限を決定します。EMRFS 経由でリクエストを行うユーザーまたはグループに関係なく、このロールにアタッチされている IAM ポリシーが適用されます。デフォルトは EMR_EC2_DefaultRole です。詳細については、「クラスター EC2 インスタンスのサービスロール (EC2 インスタンスプロファイル)」を参照してください。

Amazon EMR リリースバージョン 5.10.0 からは、セキュリティ設定を使用して、EMRFS の IAM ロールを指定できます。これにより、複数のユーザーを持つクラスターについて、Amazon S3 への EMRFS リクエストの権限をカスタマイズできます。Amazon S3 内のプレフィックスに基づいて、異なるユーザーとグループ、および異なる Amazon S3 バケットの場所に対して、異なる IAM ロールを指定できます。EMRFS が Amazon S3 に対して、指定したユーザー、グループ、または場所と一致するリクエストを行うと、クラスターは EC2 の EMR ロールの代わりに、ユーザーが指定した対応するロールを使用します。詳細については、「Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールを設定する」を参照してください。

また、Amazon EMR ソリューションの要求が EMRFS の IAM ロールで提供される権限を超える場合、カスタムの認証情報プロバイダークラスを定義して Amazon S3 内の EMRFS データへのアクセス権限をカスタマイズできます。

Amazon S3 内の EMRFS データに対してカスタムの認証情報プロバイダーを作成する

カスタム認証情報プロバイダーを作成するには、AWSCredentialsProvider クラスと Hadoop Configurable クラスを実装します。

このアプローチの詳細については、ビッグデータブログの「EMRFS を使用して別の AWS アカウントのデータを安全に分析する AWS 」を参照してください。このブログ投稿には、IAM ロールの作成からクラスターの起動まで、エンドツーエンドのプロセスを順を追って説明するチュートリアルが含

まれています。また、カスタム認証情報プロバイダークラスを実装する Java コードの例も提供しています。

基本的なステップは次のとおりです。

カスタム認証情報プロバイダーを指定するには

1. JAR ファイルとしてコンパイルされる、カスタム認証情報プロバイダークラスを作成します。
2. ブートストラップアクションとしてスクリプトを実行し、カスタム認証情報プロバイダーの JAR ファイルを、クラスターのマスターノードの `/usr/share/aws/emr/emrfs/auxlib` の場所にコピーします。ブートストラップアクションの詳細については、「(オプション) 追加のソフトウェアをインストールするためのブートストラップアクションの作成」を参照してください。
3. `emrfs-site` 分類をカスタマイズして、JAR ファイルで実装するクラスを指定します。アプリケーションをカスタマイズするための設定オブジェクトの指定に関する詳細は、「Amazon EMR リリース ガイド」の「アプリケーションの設定」を参照してください。

   次の例では、共通設定パラメータを使って Hive クラスターを起動する `create-cluster` コマンドを示しています。さらに次のものが含まれています。

   - Amazon S3 の *amzn-s3-demo-bucket* に保存されるスクリプト *copy_jar_file.sh* を実行するブートストラップアクション。
   - JAR ファイルで `emrfs-site` として定義されたカスタム認証情報プロバイダーを指定する *MyCustomCredentialsProvider* 分類

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --applications Name=Hive \
--bootstrap-actions '[{"Path":"s3://amzn-s3-demo-bucket/
copy_jar_file.sh","Name":"Custom action"}]' \
--ec2-attributes '{"KeyName":"MyKeyPair","InstanceProfile":"EMR_EC2_DefaultRole",\
"SubnetId":"subnet-xxxxxxxx","EmrManagedSlaveSecurityGroup":"sg-xxxxxxxx",\
```

```
"EmrManagedMasterSecurityGroup":"sg-xxxxxxxx"}' \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 --enable-debugging --release-label emr-7.9.0 \
--log-uri 's3n://amzn-s3-demo-bucket/' --name 'test-awscredentialsprovider-emrfs' \
--instance-type=m5.xlarge --instance-count 3  \
--configurations '[{"Classification":"emrfs-site",\
"Properties":
{"fs.s3.customAWSCredentialsProvider":"MyAWSCredentialsProviderWithUri"},\
"Configurations":[]}]'
```

デフォルト AWS Security Token Service エンドポイントの管理

EMRFS は、 AWS Security Token Service (STS) を使用して一時的なセキュリティ認証情報を取得し、 AWS リソースにアクセスします。以前の Amazon EMR リリースバージョンでは、すべての AWS STS リクエストが の単一のグローバルエンドポイントに送信されます`https://sts.amazonaws.com`。Amazon EMR リリースバージョン 5.31.0 および 6.1.0 以降は、代わりにリージョン AWS STS エンドポイントにリクエストを行います。これにより、待ち時間が短縮され、セッショントークンの有効性が向上します。エンドポイントの詳細については AWS STS 、「 AWS Identity and Access Management ユーザーガイド」の「 AWS リージョン AWS STS での の管理」を参照してください。

Amazon EMR リリースバージョン 5.31.0 と 6.1.0 以降を使用すると、デフォルトの AWS STS エンドポイントを上書きできます。そのためには、`emrfs-site` 設定 内の `fs.s3.sts.endpoint` プロパティを変更する必要があります。

次の の AWS CLI 例では、EMRFS で使用されるデフォルトの AWS STS エンドポイントを グローバルエンドポイントに設定します。

```
aws emr create-cluster --release-label <emr-5.33.0> --instance-type m5.xlarge \
--emrfs Args=[fs.s3.sts.endpoint=https://sts.amazonaws.com]
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

別の方法として、次の例を使用して JSON 設定ファイルを作成し、`emr create-cluster` の `--configurations` 引数を使用してそのファイルを指定します。`--configurations`, の使用に関する詳細は、「AWS CLI コマンドリファレンス」を参照してください。

```
[
  {
    "classification": "emrfs-site",
    "properties": {
      "fs.s3.sts.endpoint": "https://sts.amazonaws.com"
    }
  }
]
```

EMRFS プロパティを使用して Amazon S3 の暗号化を指定する

> **Important**
>
> Amazon EMR リリースバージョン 4.8.0 から、セキュリティ設定を使用して、より簡単により豊富なオプションで暗号化設定を適用できるようになりました。セキュリティ設定を使用することをお勧めします。詳細については、「データ暗号化の設定」を参照してください。このセクションで説明するコンソールの手順は、リリース 4.8.0 より前のリリースバージョンで使用できます。を使用してクラスター設定と後続のバージョンのセキュリティ設定の両方で Amazon S3 暗号化 AWS CLI を設定する場合、セキュリティ設定はクラスター設定を上書きします。

クラスターを作成するときは、コンソールを使用するか、 または EMR SDK を介して`emrfs-site`分類プロパティを使用して、Amazon S3 の EMRFS データのサーバー側の暗号化 (SSE) AWS CLI またはクライアント側の暗号化 (CSE) を指定できます。Amazon S3 の SSE と CSE は相互排他的であるため、いずれかを選択できますが、両方は選択できません。

AWS CLI 手順については、以下の暗号化タイプに適したセクションを参照してください。

を使用して EMRFS 暗号化オプションを指定するには AWS Management Console

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。

2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. 4.7.2 以前の [Release] を選択します。
4. アプリケーションに合わせて [Software and Steps] の他のオプションを選択し、[Next] を選択します。
5. アプリケーションに合わせて、[Hardware] ペインおよび [General Cluster Settings] ペインで設定を選択します。
6. [Security] ペインの [Authentication and encryption] で、使用する [S3 Encryption (with EMRFS)] オプションを選択します。

> **Note**
>
> Amazon EMR リリースバージョン 4.4 以前を使用しているときは、[KMS Key Management を使用した S3 サーバー側の暗号化] (SSE-KMS) を使用できません。

   - AWS Key Management を使用するオプションを選択する場合は、[AWS KMS キー ID] を選択します。詳細については、「EMRFS 暗号化 AWS KMS keys に を使用する」を参照してください。
   - [S3 client-side encryption with custom materials provider] を選択した場合、[Class name] と [JAR location] に入力してください。詳細については、「Amazon S3 クライアント側の暗号化」を参照してください。
7. 必要に応じて、アプリケーションの他のオプションを選択し、[Create Cluster] を選択します。

EMRFS 暗号化 AWS KMS keys に を使用する

AWS KMS 暗号化キーは、Amazon EMR クラスターインスタンスおよび EMRFS で使用される Amazon S3 バケットと同じリージョンで作成する必要があります。指定するキーが、クラスターの設定に使用するアカウントとは異なるアカウントにある場合は、その ARN を使用してキーを指定する必要があります。

Amazon EC2 インスタンスプロファイルのロールには、指定した KMS キーを使用するためのアクセス許可が必要です。Amazon EMR 内のインスタンスプロファイルのデフォルトのロールは `EMR_EC2_DefaultRole` です。インスタンスプロファイルに別のロールを使用する場合、または Amazon S3 への EMRFS リクエストに IAM ロールを使用する場合は、必要に応じて各ロールがキーユーザーとして追加されていることを確認してください。これにより、KMS キーを使用するアクセ

ス許可がロールに付与されます。詳細については、「AWS Key Management Service デベロッパーガイド」の「キーポリシーの使用」と、「Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールの設定」を参照してください。

を使用して AWS Management Console 、指定した KMS キーのキーユーザーのリストにインスタンスプロファイルまたは EC2 インスタンスプロファイルを追加するか、 AWS CLI または AWS SDK を使用して適切なキーポリシーをアタッチできます。

Amazon EMR は、対称 KMS キーのみをサポートします。非対称 KMS キーを使用して、Amazon EMR クラスター内の保管中のデータを暗号化することはできません。KMS キーが対称か非対称かを判別するには、「対称および非対称 KMS キーを識別する」を参照してください。

以下の手順では、 AWS Management Consoleを使用して、デフォルトの Amazon EMR インスタンスプロファイル `EMR_EC2_DefaultRole` をキーユーザーとして追加する方法について説明します。既に KMS キーが作成されていることを前提としています。新しい KMS キーを作成するには、「AWS Key Management Service デベロッパーガイド」の「キーの作成」を参照してください。

暗号化キーユーザーのリストに Amazon EMR の EC2 インスタンスプロファイルを追加するには

1. にサインイン AWS Management Console し、https://console.aws.amazon.com/kms で AWS Key Management Service （AWS KMS) コンソールを開きます。
2. を変更するには AWS リージョン、ページの右上隅にあるリージョンセレクターを使用します。
3. 変更する KMS キーのエイリアスを選択します。
4. [Key Users] のキーの詳細ページで、[Add] を選択します。
5. [Add key users] ダイアログボックスで、適切なロールを選択します。デフォルトロールの名前は `EMR_EC2_DefaultRole` です。
6. [Add] (追加) を選択します。

Amazon S3 のサーバー側の暗号化

Amazon S3 のサーバー側の暗号化をセットアップすると、Amazon S3 はデータをディスクに書き込むときにオブジェクトレベルで暗号化し、アクセスするときに復号します。SSE に関する詳細は、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「サーバー側の暗号化を使用したデータの保護」を参照してください。

Amazon EMR で SSE を指定するときに、次の 2 つの異なるキー管理システムから選択できます。

- SSE-S3 — Amazon S3 がキーを管理します。

- SSE-KMS – を使用して AWS KMS key 、Amazon EMR に適したポリシーをセットアップします。Amazon EMR の主要な要件の詳細については、「暗号化に を使用する AWS KMS keys」を参照してください。

SSE とお客様が用意したキーとの組み合わせ (SSE-C) は、Amazon EMR では使用できません。

を使用して SSE-S3 を有効にしたクラスターを作成するには AWS CLI

- 次のコマンドを入力します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-4.7.2 or earlier \
--instance-count 3 --instance-type m5.xlarge --emrfs Encryption=ServerSide
```

`emrfs-site` プロパティで fs.s3.enableServerSideEncryption プロパティを true に設定して、SSE-S3 を有効にすることもできます。以下の SSE-KMS の例を参照して、キー ID のプロパティを省略します。

を使用して SSE-KMS を有効にしてクラスターを作成するには AWS CLI

> **Note**
>
> SSE-KMS は、Amazon EMR リリースバージョン 4.5.0 以降でのみ使用できます。

- 次の AWS CLI コマンドを入力して、SSE-KMS でクラスターを作成します。*keyID* は AWS KMS keyです。たとえば、*a4567b8-9900-12ab-1234-123a45678901* です。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-4.7.2 or earlier --instance-count 3 \
--instance-type m5.xlarge --use-default-roles \
--emrfs Encryption=ServerSide,Args=[fs.s3.serverSideEncryption.kms.keyId=keyId]
```

  --または--

  `emrfs-site` 分類を使用して次の AWS CLI コマンドを入力し、次の`myConfig.json`例のようにコンテンツを含む設定 JSON ファイルを指定します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-4.7.2 or earlier --instance-count 3
 --instance-type m5.xlarge --applications Name=Hadoop --configurations file://
myConfig.json --use-default-roles
```

myConfig.json のサンプルコンテンツ:

```
[
  {
    "Classification":"emrfs-site",
    "Properties": {
       "fs.s3.enableServerSideEncryption": "true",
       "fs.s3.serverSideEncryption.kms.keyId":"a4567b8-9900-12ab-1234-123a45678901"
    }
  }
]
```

SSE-S3 と SSE-KMS の設定プロパティ

これらのプロパティは `emrfs-site` 設定分類を使用して設定できます。SSE-KMS は、Amazon EMR リリースバージョン 4.5.0 以降でのみ使用できます。

プロパティ	デフォルト値	説明
`fs.s3.enableServerSideEncryption`	**`false`**	**`true`** に設定すると、Amazon S3 に保存されたオブジェクトはサーバー側の暗号化を使用して暗号化されます。キーが指定されていない場合、SSE-S3 が使用されます。
`fs.s3.serverSideEncryption.kms.keyId`	**`n/a`**	AWS KMS キー ID または ARN を指定します。キーを指定した場合、SSE-KMS が使用されます。

Amazon S3 クライアント側の暗号化

Amazon S3 のクライアント側の暗号化を使用すると、Amazon S3 の暗号化と復号はクラスターの EMRFS クライアントで行われます。オブジェクトは Amazon S3 にアップロードされる前に暗号化され、ダウンロード後に復号化されます。指定するプロバイダーが、クライアントが使用する暗号化キーを提供します。クライアントは、 AWS KMS によって提供されるキー (CSE-KMS) か、クライアント側のルートキーを提供するカスタム Java クラス (CSE-C) を使用できます。CSE-KMS と CSE-C では、指定するプロバイダーと、復号化または暗号化されるオブジェクトのメタデータに応じて、暗号化の仕様が少し異なります。これらの差異に関する詳細は、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「[クライアント側の暗号化を使用したデータの保護](https://docs.aws.amazon.com/AmazonS3/latest/userguide/UsingClientSideEncryption.html)」を参照してください。

> **Note**
>
> Amazon S3 CSE では、Amazon S3 と交換される EMRFS データのみが暗号化されます。クラスターインスタンスボリュームのすべてのデータが暗号化されるわけではありません。さらに、Hue は EMRFS を使用しないため、Hue S3 ファイルブラウザが Amazon S3 に書き込むオブジェクトは暗号化されません。

を使用して Amazon S3 の EMRFS データの CSE-KMS を指定するには AWS CLI

- 次のコマンドを入力して、*MyKMSKeyID* を、使用する KMS キーのキー ID または ARN に置き換えます。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-4.7.2 or earlier
--emrfs Encryption=ClientSide,ProviderType=KMS,KMSKeyId=MyKMSKeyId
```

カスタムキープロバイダーの作成

カスタムキープロバイダーの作成時に使用する暗号化のタイプに応じて、アプリケーションは異なる EncryptionMaterialsProvider インターフェイスを実装する必要があります。どちらのインターフェイスも AWS SDK for Java バージョン 1.11.0 以降で使用できます。

- Amazon S3 暗号化を実装するには、[com.amazonaws.services.s3.model.EncryptionMaterialsProvider インターフェイス](https://docs.aws.amazon.com/AWSJavaSDK/latest/javadoc/com/amazonaws/services/s3/model/EncryptionMaterialsProvider.html)を使用します。

- ローカルディスク暗号化を実装するには、com.amazonaws.services.elasticmapreduce.spi.security.EncryptionMaterialsProvider インターフェイスを使用します。

任意の戦略を使用して実装に暗号化マテリアルを提供できます。例えば、静的暗号化マテリアルを提供することも、より複雑な鍵管理システムと統合することも選択できます。

Amazon S3 暗号化を使用している場合は、カスタム暗号化マテリアルに暗号化アルゴリズム AES/GCM/NoPadding を使用する必要があります。

ローカルディスク暗号化を使用している場合、カスタム暗号化マテリアルに使用する暗号化アルゴリズムは EMR リリースによって異なります。Amazon EMR 7.0.0 以前では、AES/GCM/NoPadding を使用する必要があります。Amazon EMR 7.1.0 以降では、AES を使用する必要があります。

EncryptionMaterialsProvider クラスは、暗号化コンテキストによって暗号化マテリアルを取得します。Amazon EMR は、呼び出し元が返す正しい暗号化マテリアルを判別しやすいように、実行時に暗号化コンテキスト情報を設定します。

Example 例: EMRFS での Amazon S3 の暗号化にカスタムキープロバイダを使用する

Amazon EMR が EncryptionMaterialsProvider クラスから暗号化マテリアルをフェッチして暗号化を実行するとき、EMRFS はオプションで materialsDescription 引数に 2 つのフィールド (オブジェクトの Amazon S3 URI とクラスターの JobFlowId) を設定します。これらを EncryptionMaterialsProvider クラスで使用して、暗号化マテリアルを選択的に返すことができます。

たとえば、プロバイダは Amazon S3 URI プレフィックスごとに異なるキーを返すことができます。最終的に Amazon S3 オブジェクトに保存されるのは、EMRFS によって生成され、プロバイダに渡される materialsDescription 値ではなく、返された暗号化マテリアルの記述です。Amazon S3 オブジェクトの復号化中に、暗号化マテリアルの記述が EncryptionMaterialsProvider クラスに渡されるため、オブジェクトを複合するために一致するキーを再度選択的に返すことができます。

参照のための EncryptionMaterialsProvider 実装を次に示します。別のカスタムプロバイダ EMRFSRSAEncryptionMaterialsProvider は GitHub から入手できます。

```
import com.amazonaws.services.s3.model.EncryptionMaterials;
import com.amazonaws.services.s3.model.EncryptionMaterialsProvider;
import com.amazonaws.services.s3.model.KMSEncryptionMaterials;
import org.apache.hadoop.conf.Configurable;
import org.apache.hadoop.conf.Configuration;

import java.util.Map;
```

```
/**
 * Provides KMSEncryptionMaterials according to Configuration
 */
public class MyEncryptionMaterialsProviders implements EncryptionMaterialsProvider,
 Configurable{
  private Configuration conf;
  private String kmsKeyId;
  private EncryptionMaterials encryptionMaterials;

  private void init() {
    this.kmsKeyId = conf.get("my.kms.key.id");
    this.encryptionMaterials = new KMSEncryptionMaterials(kmsKeyId);
  }

  @Override
  public void setConf(Configuration conf) {
    this.conf = conf;
    init();
  }

  @Override
  public Configuration getConf() {
    return this.conf;
  }

  @Override
  public void refresh() {

  }

  @Override
  public EncryptionMaterials getEncryptionMaterials(Map<String, String>
 materialsDescription) {
    return this.encryptionMaterials;
  }

  @Override
  public EncryptionMaterials getEncryptionMaterials() {
    return this.encryptionMaterials;
  }
}
```

を使用したカスタムマテリアルプロバイダーの指定 AWS CLI

AWS CLIを使用するには、`Encryption`、`ProviderType`、`CustomProviderClass`、および `CustomProviderLocation` の各引数を `emrfs` オプションに渡します。

```
aws emr create-cluster --instance-type m5.xlarge --release-label emr-4.7.2 or earlier
 --emrfs Encryption=ClientSide,ProviderType=Custom,CustomProviderLocation=s3://amzn-s3-
demo-bucket/myfolder/provider.jar,CustomProviderClass=classname
```

`Encryption` を `ClientSide` に設定すると、クライアント側の暗号化が有効になります。`CustomProviderClass` は `EncryptionMaterialsProvider` オブジェクトの名前を表します。また、`CustomProviderLocation` は、ローカルまたは Amazon S3 のロケーションを示しています。この場所から Amazon EMR が `CustomProviderClass` をクラスター内の各ノードにコピーし、クラスパスに配置します。

SDK を使用してカスタムマテリアルプロバイダーを指定する

SDK を使用するには、プロパティ `fs.s3.cse.encryptionMaterialsProvider.uri` を設定し、Amazon S3 に保存するカスタム `EncryptionMaterialsProvider` クラスをクラスター内の各ノードにダウンロードします。これは、`emrfs-site.xml` ファイルで設定します。このとき、CSE を有効にして、カスタムプロバイダーの適切な場所も指定します。

例えば、RunJobFlowRequest AWS SDK for Java を使用する では、コードは次のようになります。

```
<snip>
  Map<String,String> emrfsProperties = new HashMap<String,String>();
      emrfsProperties.put("fs.s3.cse.encryptionMaterialsProvider.uri","s3://amzn-s3-
demo-bucket/MyCustomEncryptionMaterialsProvider.jar");
      emrfsProperties.put("fs.s3.cse.enabled","true");
      emrfsProperties.put("fs.s3.consistent","true");

 emrfsProperties.put("fs.s3.cse.encryptionMaterialsProvider","full.class.name.of.EncryptionMate

  Configuration myEmrfsConfig = new Configuration()
      .withClassification("emrfs-site")
      .withProperties(emrfsProperties);

  RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
   .withName("Custom EncryptionMaterialsProvider")
   .withReleaseLabel("emr-7.9.0")
   .withApplications(myApp)
   .withConfigurations(myEmrfsConfig)
```

```
    .withServiceRole("EMR_DefaultRole_V2")
    .withJobFlowRole("EMR_EC2_DefaultRole")
    .withLogUri("s3://myLogUri/")
    .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
     .withEc2KeyName("myEc2Key")
     .withInstanceCount(2)
     .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(true)
     .withMasterInstanceType("m5.xlarge")
     .withSlaveInstanceType("m5.xlarge")
    );

  RunJobFlowResult result = emr.runJobFlow(request);
</snip>
```

引数を使用するカスタム EncryptionMaterialsProvider

プロバイダーに直接引数を渡す必要がある場合があります。これを行うには、プロパティとして定義されたカスタム引数を持つ `emrfs-site` 設定分類を使用できます。設定例を次に示します。これは、ファイル `myConfig.json` として保存されます。

```
[
    {
      "Classification": "emrfs-site",
      "Properties": {
        "myProvider.arg1":"value1",
     "myProvider.arg2":"value2"
      }
    }
 ]
```

から `create-cluster` コマンドを使用すると AWS CLI、次に示すように `--configurations`オプションを使用して ファイルを指定できます。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge
 --instance-count 2 --configurations file://myConfig.json --emrfs
 Encryption=ClientSide,CustomProviderLocation=s3://amzn-s3-demo-bucket/myfolder/
myprovider.jar,CustomProviderClass=classname
```

EMRFS S3EC V2 サポートを設定する

S3 Java SDK リリース (1.11.837 以降) では、さまざまなセキュリティ機能拡張がある暗号化クライアントバージョン 2 (S3EC V2) がサポートされます。詳細については、S3 のブログ投稿「Updates to the Amazon S3 encryption client」を参照してください。また、「 AWS SDK for Java デベロッパーガイド」のAmazon S3 暗号化クライアントの移行」を参照してください。

下位互換性を保つため、暗号化クライアント V1 は SDK で引き続き使用できます。デフォルトでは、CSE が有効になっている場合、EMRFS は S3EC V1 を使用して S3 オブジェクトを暗号化および復号します。

S3EC V2 で暗号化された S3 オブジェクトは、リリースバージョンが emr-5.31.0 より前 (emr-5.30.1 以前、emr-6.1.0 以前) の EMR クラスターでは、EMRFS によって復号化できません。

Example S3EC V2 を使用するように EMRFS を設定する

S3EC V2 を使用するように EMRFS を設定するには、次の設定を追加します。

```
{
  "Classification": "emrfs-site",
  "Properties": {
    "fs.s3.cse.encryptionV2.enabled": "true"
  }
}
```

Amazon S3 クライアント側暗号化の **emrfs-site.xml** プロパティ

プロパティ	デフォルト値	説明
fs.s3.cse.enabled	**false**	**true** に設定すると、Amazon S3 に保存された EMRFS オブジェクトはクライアント側の暗号化を使用して暗号化されます。
fs.s3.cse.encryptionV2.enabled	**false**	true に設定すると、EMRFS は S3 暗号化クライアントバージョン 2 を使用して S3 上のオブジェクトの暗号化と復号化を行います。EMR バージョン 5.31.0 以降で使用できます。

プロパティ	デフォルト値	説明
`fs.s3.cse.encryptionMaterialsProvider.uri`	**N/A**	カスタム暗号化マテリアルを使用するときに適用されます。`EncryptionMaterialsProvider` を指定する JAR が保存されている Amazon S3 URI を意味します。この URI を指定すると、Amazon EMR により JAR がクラスター内のすべてのノードに自動的にダウンロードされます。
`fs.s3.cse.encryptionMaterialsProvider`	**N/A**	クライアント側の暗号化で使用される `EncryptionMaterialsProvider` のクラスパス。CSE-KMS を使用する場合は、`com.amazon.ws.emr.hadoop.fs.cse.KMSEncryptionMaterialsProvider` を指定します。
`fs.s3.cse.materialsDescription.enabled`	**false**	`true` に設定すると、オブジェクトの Amazon S3 URI と JobFlowId を使用して、暗号化されたオブジェクトの materials Description が設定されます。カスタム暗号化マテリアルを使用するときは `true` に設定します。

プロパティ	デフォルト値	説明
`fs.s3.cse.kms.keyId`	**`N/A`**	CSE-KMS を使用するときに適用されます。暗号化に使用する KMS キーの KeyId、ARN、またはエイリアスの値を示しています。
`fs.s3.cse.cryptoStorageMode`	**`ObjectMetadata`**	Amazon S3 ストレージモード。デフォルトでは、暗号化情報の説明はオブジェクトメタデータに保存されます。インストラクションファイルに説明を保存することもできます。有効な値は、ObjectMetadata と InstructionFile です。詳細については、[「 によるクライアント側のデータ暗号化 AWS SDK for Java 」およびAmazon S3](#)」を参照してください。

S3A ファイルシステム

このセクションでは、S3A ファイルシステムを使用するときに Amazon Elastic Map Reduce (EMR) で実行される Spark のプロトコルについて説明します。

S3A MagicV2 コミッター

EMR-6.15.0 リリースでは、Amazon EMR は MagicV2 コミッターと呼ばれる新しい S3A コミッタータイプを導入しました。この機能に関する包括的な情報については、関連するドキュメントセクションを参照してください。

MagicV2 Committer は、オープンソースの MagicCommitter の拡張実装を表し、特に S3A ファイルシステムを介した Amazon S3 へのファイル書き込みを最適化するように設計されています。以前のバージョンと同様に、Amazon S3 のマルチパートアップロード機能を活用して、ジョブとタスクのコミットフェーズに通常関連する従来のリストおよび名前変更オペレーションを排除します。

元の MagicCommitter と比較して、MagicV2 コミッターは、ジョブコミットフェーズではなく、タスクコミットフェーズ中にジョブの出力場所にファイルを書き込むことで、優れたパフォーマンスを示します。このアプローチにより、分散ファイル書き込みが可能になり、Amazon S3 での一時的なコミットメタデータストレージが不要になり、コスト効率が向上します。さらに、MagicV2 コミッターは、コミットプロセス中に複数のスレッド間でファイルパスを上書きできるため、柔軟性が向上します。

MagicV2 コミッターを有効にする

MagicV2 コミッターを有効にするには、ジョブ設定で次の設定を渡すか、コアサイト設定を使用して プロパティを設定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

```
mapreduce.outputcommitter.factory.scheme.s3a=org.apache.hadoop.fs.s3a.commit.S3ACommitterFactor
fs.s3a.committer.magic.enabled=true
fs.s3a.committer.name=magicv2
fs.s3a.committer.magic.track.commits.in.memory.enabled=true
```

新しいファイルをコミットまたは書き込む前に既存のディレクトリを上書きする必要があるワークロードの場合、前述の設定に加えて、次の追加設定が必要です。

```
fs.s3a.committer.magic.overwrite.and.commit=true
```

```
fs.s3a.committer.magic.delete.directory.threads=thread size
```

threads 設定のデフォルト値は です20。ただし、パフォーマンスを向上させるために上書きするディレクトリが多数ある場合は、このパラメータを調整する必要があります。これは EMR-7.2.0 以降でのみ使用できます。

考慮事項

- タスクの実行中および Amazon S3 へのデータの書き込み中に Java 仮想マシン (JVM) がクラッシュまたは強制終了した場合、不完全なマルチパートアップロードは残される可能性が高くなります。このため、MagicV2 コミッターを使用する場合は、失敗したマルチパートアップロードを管理するためのベストプラクティスに従ってください。詳細については、Amazon S3バケットの使用に関するベストプラクティス」セクションを参照してください。
- ジョブが失敗しても、成功したタスクによってコミットされたファイルは送信先パスに表示されます。このような場合、ユーザーは同じ送信先パスでジョブを再実行する前に、コミットされたファイルを手動でクリーンアップする必要があります。
- MagicV2 コミッターは、タスクがコミットまたは中止されるまで、タスクの試行によって書き込まれたファイルごとに少量のメモリを消費します。ほとんどのジョブでは、消費されるメモリの量はほとんどありません。ただし、単一のエグゼキュータープロセスが多数のタスクを同時に処理する場合、大量のメモリ負荷がかかり、コンテナまたはエグゼキューターのメモリ不足 (OOM) が発生する可能性があります。コンテナまたはエグゼキューターのメモリを増やすと、この問題を解決できます。

Amazon S3 S3A クライアント側の暗号化

Amazon Elastic Map Reduce (EMR) リリースバージョン 7.6.0 以降、S3A ファイルシステムコネクタは Amazon S3 クライアント側の暗号化をサポートするようになりました。つまり、Amazon S3 データの暗号化と復号は、コンピューティングクラスターの S3A クライアント内で直接行われます。この機能を使用すると、ファイルは Amazon S3 にアップロードされる前に自動的に暗号化され、ダウンロード時に復号されます。暗号化方法とその実装に関する包括的な詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「クライアント側の暗号化を使用したデータの保護」を参照してください。

Amazon EMR で S3A でクライアント側の暗号化 (CSE) を有効にする場合、2 つのキー管理システムオプションがあります。

- CSE-KMS – このアプローチでは、Amazon EMR 用に特別に設計されたポリシーで設定された AWS Key Management Service (KMS) キーを使用します。キー要件の詳細については、暗号化ドキュメントのAWS KMS 「キーの使用」を参照してください。
- CSE-CUSTOM – この方法では、データの暗号化と復号を担当するクライアント側のルートキーを提供するカスタム Java クラスを統合できます。

> **Note**
>
> EMR の S3A クライアント側の暗号化は、本質的に EMRFS クライアント側の暗号化と互換性があります。つまり、EMRFS CSE を使用して暗号化されたオブジェクトは S3A CSE を介して読み取ることができます。

トピック

- CSE-KMS のセットアップ
- CSE-CUSTOM のセットアップ
- S3A による Amazon S3 クライアント側の暗号化のプロパティ

CSE-KMS のセットアップ

（ AWS KMS CSE-KMS) を使用して、2 つのプライマリスコープでクライアント側の暗号化を有効にできます。

- 1 つ目はクラスター全体の設定です。

```
[
  {
    "Classification":"core-site",
    "Properties": {
       "fs.s3a.encryption.algorithm": "CSE-KMS",
       "fs.s3a.encryption.key":"${KMS_KEY_ID}",
    }
  }
]
```

> **Note**
>
> AWS KMS キーリージョンが S3 バケット/EMR リージョンと異なる場合は、次の追加設定を設定する必要があります: `fs.s3a.encryption.cse.kms.region=${KMS_REGION}`。

- 2 つ目は、ジョブまたはアプリケーション固有の設定です。CSE-KMS は、次のように特定の Spark アプリケーション用に設定できます。

```
spark-submit --conf spark.hadoop.fs.s3a.encryption.algorithm=CSE-KMS --conf
 spark.hadoop.fs.s3a.encryption.key=${KMS_KEY_ID}
```

CSE-CUSTOM のセットアップ

CSE-CUSTOM を使用するには、キー[リングインターフェイスを実装してカスタムキー](#)プロバイダーを作成する必要があります。実装例を次に示します。

```
public class CustomKeyring implements Keyring {
  public CustomKeyring()  {
    // custom code
  }

  @Override
  public EncryptionMaterials onEncrypt(EncryptionMaterials encryptionMaterials) {
    // custom code
  }
```

```
  @Override
  public DecryptionMaterials onDecrypt(DecryptionMaterials decryptionMaterials,
      ListEncryptedDataKey list) {
    // custom code
  }
```

クライアント側の暗号化カスタムキー (CSE-CUSTOM) は、次の 2 つのプライマリスコープで有効にできます。

- 最初のスコープはクラスター全体の設定です。

```
[
  {
    "Classification":"core-site",
    "Properties": {
       "fs.s3a.encryption.algorithm": "CSE-CUSTOM",
       "fs.s3a.cse.customKeyringProvider.uri":"S3 path of custom jar",
       "fs.s3a.encryption.cse.custom.keyring.class.name":"fully qualified class name"
    }
  }
]
```

- 2 つ目は、ジョブまたはアプリケーション固有の設定です。CSE-CUSTOM は、次のように特定の Spark アプリケーション用に設定できます。

```
spark-submit --conf spark.hadoop.fs.s3a.encryption.algorithm=CSE-CUSTOM --conf
 spark.hadoop.fs.s3a.encryption.cse.custom.keyring.class.name=fully qualified class
 name
```

> **Note**
>
> 暗号化/復号キーを生成するために必要なカスタム jar がクラスパスに存在することを確認します。

S3A による Amazon S3 クライアント側の暗号化のプロパティ

S3A でクライアント側の暗号化を設定するには、core-site.xml 設定で設定する必要がある設定プロパティがいくつかあります。カスタム設定の詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

プロパティ	デフォルト値	説明
fs.s3a.encryption.algorithm	N/A	CSE-KMS または に設定するとCSE-CUSTOM 、Amazon S3 に保存されているオブジェクトはクライアント側の暗号化を使用して暗号化されます。
fs.s3a.encryption.key	N/A	を使用する場合に適用されますCSE-KMS。暗号化に使用する KMS キーの KeyId、ARN、またはエイリアスの値を示しています。
fs.s3a.encryption.cse.kms.region	N/A	を使用する場合に適用されますCSE-KMS。 AWS KMS キーが生成されるリージョン。デフォルトでは、KMS リージョンは S3 バケット/EMR クラスターリージョンと同じ値に設定されます。
fs.s3a.encryption.cse.custom.keyring.class.name	N/A	を使用する場合に適用されますCSE-KMS。カスタムキープロバイダーの完全修飾クラス名。
fs.s3a.cse.customKeyringProvider.uri	N/A	を使用する場合に適用されますCSE-CUSTOM 。Keyring のカスタム実装を持つ JAR がある Amazon S3 URI。この URI を指定すると、Amazon EMR により JAR がクラスター内のすべてのノードに自動的にダウンロードされます。

プロパティ	デフォルト値	説明
fs.s3a.encryption.cse.v1.compatibility.enabled	`'true'`	これにより、EMRFS で使用されるような古い SDK クライアントとの下位互換性が得られます。パフォーマンスを向上させるために、このような依存関係がない場合は、これをオフにします。

Amazon CloudWatch エージェント

Amazon EMR の Amazon CloudWatch エージェントは、EMR クラスター内の Amazon EC2 インスタンスをモニタリングできるツールです。CloudWatch エージェントで収集したメトリクスは、CloudWatch 内に保存して閲覧できます。CloudWatch エージェントの詳細については、「Amazon CloudWatch ユーザーガイド」を参照してください。

> **Note**
>
> 他の を使用して Amazon CloudWatch エージェントメトリクス AWS のサービス を発行、クエリ、または表示する場合、追加料金が発生します。料金の情報については、次のページを参照してください。
>
> - Amazon CloudWatch 料金表
> - Amazon Managed Service for Prometheus の料金
> - Amazon Managed Grafana の料金
>
> これらのメトリクスは、Amazon EMR が CloudWatch の `AWS/ElasticMapReduce` 名前空間で提供する無料のメトリクスとは別です。CloudWatch エージェントが公開しないメトリクスの詳細については、「Monitoring Amazon EMR metrics with CloudWatch」を参照してください。

Amazon EMR 7.0 以降では、クラスターにカスタムバージョンの Amazon CloudWatch エージェントをインストールして、EMR クラスターからメトリクスを収集できます。CloudWatchAgent は、EMR 7.6 以降のランタイムロールクラスターでサポートされています。エージェントはクラスターのすべてのノードからメトリクスを収集し、プライマリノードに集約し、そのノードからクラウドにメトリクスを公開します。

エージェントは、コンソールで新しいクラスターを作成するとき、または `create-cluster` API を使用するときにインストールできます。詳細については、「Amazon CloudWatch エージェントを使用する EMR クラスターを作成する」を参照してください。デフォルトでは、リリース 7.x シリーズを実行する Amazon EMR クラスターは 60 秒間隔で 34 のシステムレベルのメトリクスを CloudWatch に発行しますが、エージェントを設定して異なるメトリクスを発行できます。もう 1 つのオプションは、Amazon Managed Service for Prometheus にメトリクスを発行することであり、どのメトリクスを発行するかを選択することもできます。さまざまなユースケースや設定に応じて、

エージェントを設定し、CloudWatch コンソール、Amazon Managed Grafana、または CloudWatch 用あるいは Amazon Managed Service for Prometheus 用 API を介してメトリクスを表示およびクエリすることができます。これらの AWS のサービス をメトリクスの保存とクエリに使用すると、料金が発生します。

Amazon EMR の CloudWatch エージェントは、Amazon EMR クラスターで次のサービスのシステムメトリクスと JMX メトリクスを発行できます。

- Hadoop DataNode
- Hadoop NameNode
- Yarn NodeManager
- Yarn ResourceManager
- HBase Master – Amazon EMR 7.1+ のみ
- HBase RegionServer – Amazon EMR 7.1+ のみ
- HBase ThriftServer – Amazon EMR 7.1+ のみ

使用可能なメトリクスと Amazon EMR で CloudWatch エージェントを設定する方法の詳細については、「Configuring CloudWatch agent for Amazon EMR」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている AmazonCloudWatchAgent のバージョンと、Amazon EMR で AmazonCloudWatchAgent と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで AmazonCloudWatchAgent と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の AmazonCloudWatchAgent バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	AmazonCloudWatchAgent 1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hd fs-datanode, hadoop-hdfs-

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
		library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

トピック

- Amazon CloudWatch エージェントを使用する EMR クラスターを作成する
- Amazon EMR での CloudWatch エージェントのデフォルトメトリクス
- Amazon EMR の CloudWatch エージェントを設定する
- 考慮事項と制限事項
- CloudWatch エージェントリリース履歴

Amazon CloudWatch エージェントを使用する EMR クラスターを作成する

このセクションの手順では、 AWS Management Console および から Amazon CloudWatch エージェントを使用して Amazon EMR でクラスターを作成する手順について説明します AWS CLI。

トピック

- CloudWatch エージェントに必要な IAM アクセス許可
- 必要な CloudWatch エージェントのエンドポイント
- EMR クラスターの作成

CloudWatch エージェントに必要な IAM アクセス許可

CloudWatch エージェントには、Amazon EMR の Amazon EC2 インスタンスプロファイルに AWS Identity and Access Management (IAM) アクセス`cloudwatch:PutMetricData`許可が必要で

す。Amazon EMR のデフォルトロールにはすでにこのアクセス許可があります。デフォルトのロールは、 AWS CLI を使用して から作成できます`aws emr create-default-roles`。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[クラスター EC2 インスタンスのサービスロール (EC2 インスタンスプロファイル)](#)」を参照してください。

以下の IAM ポリシー例には `cloudwatch:PutMetricData` アクセス許可が含まれています。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": "cloudwatch:PutMetricData",
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

必要な CloudWatch エージェントのエンドポイント

プライベートサブネット内の EMR クラスターの CloudWatch にメトリクスを公開するには、CloudWatch エージェントエンドポイントを作成し、プライベートサブネットが属する VPC に関連付けます。

それぞれの CloudWatch エンドポイントの詳細については AWS リージョン、 AWS 全般のリファレンスガイドの[Amazon CloudWatch エンドポイントとクォータ](#)」を参照してください。

EMR クラスターの作成

CloudWatch エージェントで使用するために必要なアクセス許可とエンドポイントを設定したら、AWS Management Console または AWS CLI を使用して、エージェントがインストールされた新しいクラスターを作成します。

Console

コンソールを操作して Amazon CloudWatch エージェントでクラスターを作成するには

1. Amazon EMR コンソールに移動します。

2. [クラスターを作成] を選択します。
3. [名前とアプリケーション] で、Amazon EMR リリース 7.0.0 以降を選択します。
4. [アプリケーションバンドル] で、クラスターにインストールするバンドルまたはアプリを選択し、選択内容に [CloudWatch エージェント]を含めます。
5. ユースケースのニーズを満たすクラスターの作成に進みます。

AWS CLI

では AWS CLI、 の `--applications`パラメータを使用して Amazon CloudWatch エージェントをクラスターに追加できます`create-cluster`。

から Amazon CloudWatch エージェントを使用してクラスターを作成するには AWS CLI

- クラスターを作成するときは、次のようなコマンドを使用して Amazon CloudWatch エージェントを含めるようにします。*mykey* をお使いの EC2 キーペアの名前に置き換えます。

```
aws emr create-cluster --name "Spark cluster with CloudWatch agent" \
--release-label emr-7.0.0 \
--applications Name=Spark Name=AmazonCloudWatchAgent \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m7g.2xlarge \
--instance-count 3 --use-default-roles
```

で Amazon EMR を使用する方法の詳細については AWS CLI、AWS CLI 「 コマンドリファレンス」を参照してください。

Amazon EMR での CloudWatch エージェントのデフォルトメトリクス

Amazon CloudWatch エージェントを Amazon EMR にインストールすると、エージェントに別の設定を行わない限り、デフォルト設定ではクラスター内のすべてのインスタンスについて以下のシステムメトリクスを公開します。詳細については、「Amazon CloudWatch ユーザーガイド」の「CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス」を参照してください。

CPU

CPU メトリクス

- `cpu_usage_active`
- `cpu_usage_guest`
- `cpu_usage_guest_nice`
- `cpu_usage_idle`
- `cpu_usage_iowait`
- `cpu_usage_irq`
- `cpu_usage_nice`
- `cpu_usage_softirq`
- `cpu_usage_steal`
- `cpu_usage_system`
- `cpu_usage_user`

Disk

ディスクメトリクス

- `disk_free`
- `disk_total`
- `disk_used`
- `disk_used_percent`

Memory

メモリメトリクス

- `mem_active`
- `mem_available`
- `mem_available_percent`
- `mem_free`

- mem_inactive
- mem_total
- mem_used
- mem_used_percent
- mem_buffered
- mem_cached

Network IO

ネットワーク I/O メトリクス

- net_bytes_recv
- net_bytes_sent
- net_packets_recv
- net_packets_sent

Process

プロセスメトリクス

- processes_running
- processes_total

Swap

スワップのメトリクス

- swap_free
- swap_used
- swap_used_percent

デフォルトでは、エージェントはカスタム名前空間 `CWAgent` とスキーマ `cluster.id`、`instance.id`、`node.type`、`service.name` の下ですべてのメトリクスを CloudWatch に公開します。次のステップを使用して、CloudWatch エージェントが Amazon EMR 用に公開するこれらのデフォルトメトリクスを確認できます。

1. Amazon CloudWatch コンソールに移動します。
2. [メトリクス] タブを選択し、次に [すべてのメトリクス] を選択します。
3. [カスタム名前空間] で、**CWAgent** を選択します。次に、スキーマ **cluster.id**、**instance.id**、**node.type**、**service.name** を選択します。
4. ユースケースの要件に応じて、引き続き CloudWatch インターフェイスからメトリクスをクエリします。

Amazon EMR は、各メトリクスに次のラベル ["cluster.id", "instance.id', "node.type", "service.name"] をアタッチします。これらのラベルについては、次の点を考慮してください。

- cluster.id ラベルの値は、メトリクスを生成した EMR クラスターの ID です。例では、cluster.id ラベルの値は j-123456789ABC です。
- instance.id ラベルの値は、メトリクスを生成した EMR クラスター内のインスタンスの ID です。例では、instance.id ラベルの値は i-01bcf5f140f3355777 です。
- node.type ラベルの値は、メトリクスを生成したクラスター内のインスタンスのノードタイプを表します。この値は master、core、または task となります。
- service.name ラベルの値は、メトリクスを生成したサービスの名前です。デフォルトシステムメトリックの service.name のデフォルト値は system です。

> **Note**
>
> Amazon EMR リリース 7.0.0 では、メトリクスラベルスキーマが若干異なります。cluster.id は jobflow.id で、node.type は利用できません。instance.id と service.name は利用可能です。

Amazon EMR の CloudWatch エージェントを設定する

Amazon EMR 7.0.0 以降には Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。次のセクションは、Amazon CloudWatch エージェントを使用する EMR クラスターを作成する で説明されている EMR クラスターのエージェントの設定方法について説明します。

トピック

- Amazon EMR 7.1.0 用 CloudWatch エージェントの設定

- Amazon EMR 7.0.0 用 CloudWatch エージェントの設定

Amazon EMR 7.1.0 用 CloudWatch エージェントの設定

Amazon EMR 7.1.0 以降、Amazon EMR 設定 API を使用して、追加のシステムメトリクスを使用するように Amazon CloudWatch エージェントを設定し、アプリケーションメトリクスを追加し、メトリクスの送信先を変更することができます。EMR 設定 API を使用してクラスターのアプリケーションを設定する方法の詳細については、「Configure applications」を参照してください。

> Note
>
> 7.1.0 は、再設定タイプ `OVERWRITE` のみをサポートします。再構成タイプの詳細については、「インスタンスグループの再設定時の考慮事項」を参照してください。

トピック

設定のスキーマ

`emr-metrics` には次の分類があります。

- `emr-system-metrics` — CPU、ディスク、メモリなどのシステムメトリクスを設定。
- `emr-hadoop-hdfs-datanode-metrics` — Hadoop DataNode JMX メトリクスを設定
- `emr-hadoop-hdfs-namenode-metrics` — Hadoop NameNode JMX メトリクスを設定
- `emr-hadoop-yarn-nodemanager-metrics` — Yarn NodeManager JMX メトリクスを設定
- `emr-hadoop-yarn-resourcemanager-metrics` — Yarn ResourceManager JMX メトリクスを設定
- `emr-hbase-master-metrics` — HBase Master JMX メトリクスを設定
- `emr-hbase-region-server-metrics` — HBase Region Server JMX メトリクスを設定
- `emr-hbase-rest-server-metrics` — HBase REST Server JMX メトリクスを設定
- `emr-hbase-thrift-server-metrics` — HBase Thrift Server JMX メトリクスを設定

以下の表は、すべての分類で使用できるプロパティと設定について説明しています。

emr-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics_destination`	オプションです。	クラスターメトリクスを Amazon CloudWatch または Amazon Managed Service for Prometheus に発行するかどうかを決定します。	"CLOUDWATCH"	"CLOUDWATCH"、"PROMETHEUS"	このプロパティでは、大文字と小文字は区別されません。例えば、「Cloudwatch」は「CLOUDWATCH」と同じです。
`prometheus_endpoint`	オプションです。	`metrics_destination` が「PROMETHEUS」に設定されている場合、このプロパティは CloudWatch エージェントを設定して、提供された Amazon Managed Service for Prometheus リモート書き込みエンドポ	該当なし	あらゆる有効な Amazon Managed Service for Prometheus リモート書き込み URL。リモート書き込み URL 形式は `https://aps-workspaces.<regior s.com/workspaces/<workspace_id>/`	`metrics_destination` が「PROMETHEUS」に設定されている場合、このフィールドは必須です。キーを指定しない場合、または値が空の文字列の場合、プロビジョニングは失敗します。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
		イントにメトリクスを送信します。		`api/v1/remote_write`	

emr-system-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics_collection_interval`	オプションです。	CloudWatch エージェントからメトリクスが収集され、公開される頻度。	"60"	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	このプロパティは、個々のメトリクスグループの `metrics_collection_interval` プロパティで上書きできます。

emr-system-metrics 設定

cpu

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics`	オプションです。	エージェントが収集する CPU メトリクスのリスト。	「[Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR](#)」を参照してください	`usage_active` や `cpu_time_idle` など、`cpu_` プレフィックスの有無にかかわら	空の文字列を指定すると、CPU メトリクスは発行されません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
				ず、有効な CPU メトリクス名のカンマ区切りリスト。有効なメトリクスについては、「[CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス]」を参照してください。	
metrics_collection_interval	オプションです。	エージェントが CPU メトリクスを収集して公開する秒数。	グローバル metrics_collection_interval の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、CPU メトリクスのグローバル metrics_collection_interval プロパティのみを上書きします。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`drop_original_metrics`	オプションです。	集計されていないメトリクスを発行しない CPU メトリクスのリスト。	集計されていない CPU メトリクスは公開されていません。	メトリクスプロパティでも指定されている CPU メトリクスのカンマ区切りリスト。空の文字列は、すべての CPU メトリクスを発行することを意味します。	CloudWatch エージェントは、クラスター ID、インスタンス ID、ノードタイプ、サービス名別にすべてのメトリクスを集計します。デフォルトでは、CloudWatch エージェントは複数のリソースを持つメトリクスのリソースごとのメトリクスを発行しません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`resources`	オプションです。	エージェントがコアごとのメトリクスを発行するかどうかを決定します。	"*"	「*」はコアごとのメトリクスを有効にします。「」はコアごとのメトリクスを無効にします。	CloudWatch エージェントは、`drop_original_metrics` で削除されない CPU メトリクスのコアごとのメトリクスのみを公開します。

disk

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics`	オプションです。	エージェントが収集するディスクメトリクスのリスト。	「[Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR](#)」を参照してください	`disk_total` や `used_percent` など、`disk_` プレフィックスの有無にかかわらず、有効なディスクメトリクス名のカンマ区切りリスト。	空の文字列を指定すると、ディスクメトリクスは発行されません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
				有効なメトリクスについては、「[CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス](https://docs.aws.amazon.com/AmazonCloudWatch/latest/monitoring/metrics-collected-by-CloudWatch-agent.html)」を参照してください。	
metrics_collection_interval	オプションです。	エージェントがディスクメトリクスを収集して発行する秒数。	グローバル metrics_collection_interval の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、ディスクメトリクスのグローバル metrics_collection_interval プロパティのみを上書きします。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`drop_original_metrics`	オプションです。	集計されていないメトリクスを発行しないディスクメトリクスのリスト。	集計されていないディスクメトリクスは公開されていません。	メトリクスプロパティでも指定されているディスクメトリクスのカンマ区切りリスト。空の文字列は、すべてのディスクメトリクスを発行することを意味します。	CloudWatch エージェントは、クラスター ID、インスタンス ID、ノードタイプ、サービス名別にすべてのメトリクスを集計します。デフォルトでは、CloudWatch エージェントは複数のリソースを持つメトリクスのリソースごとのメトリクスを発行しません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`resources`	オプションです。	エージェントがマウントポイントごとのメトリクスを発行するかどうかを決定します。	"*"	「*」はすべてのマウントポイントを意味し、「」はマウントポイントなし、またはカンマ区切りのマウントポイントのリストを意味します。例えば、`"/,/emr"`。	CloudWatch エージェントは、`drop_original_metrics` で削除されていないディスクメトリクスのマウントポイントごとのメトリクスのみを公開します。

diskio

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics`	オプションです。	エージェントが収集するディスク IO メトリクスのリスト。	「[Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR]」を参照してください	`diskio_reads` や `writes` など、`diskio_` プレフィックスの有無にかかわらず、有効な IO メトリクス名のカンマ区切りリスト。	空の文字列を指定すると、ディスク IO メトリクスは発行されません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
				有効なメトリクスについては、「CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス」を参照してください。	
`metrics_collection_interval`	オプションです。	エージェントがディスク IO メトリクスを収集して発行する秒数。	グローバル `metrics_collection_interval` の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、IO メトリクスのグローバル `metrics_collection_interval` プロパティのみを上書きします。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
drop_original_metrics	オプションです。	集計されていないメトリクスを発行しないディスク IO メトリクスのリスト。	集計されていないディスク IO メトリクスは発行されません。	メトリクスプロパティでも指定されているディスク IO メトリクスのカンマ区切りリスト。空の文字列は、すべてのディスク IO メトリクスを発行することを意味します。	CloudWatch エージェントは、クラスター ID、インスタンス ID、ノードタイプ、サービス名別にすべてのメトリクスを集計します。デフォルトでは、CloudWatch エージェントは複数のリソースを持つメトリクスのリソースごとのメトリクスを発行しません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`resources`	オプションです。	エージェントがデバイスごとのメトリクスを発行するかどうかを決定します。	"*"	「*」はすべてのストレージデバイスを意味し、「」は 0 のストレージデバイス、またはデバイス名のカンマ区切りリストを意味します。例えば、"nvme0n1 nvme1n1" 。	CloudWatch エージェントは、drop_original_metrics で削除されていないディスク IO メトリクスのデバイスごとのメトリクスのみを公開します。

mem

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics`	オプションです。	エージェントが収集するメモリメトリクスのリスト。	「[Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR]」を参照してください	mem_available や available_percent など、mem_ プレフィックスの有無にかかわらず、有効なメモリメトリクス名のカンマ区切	空の文字列を指定すると、メモリメトリクスは発行されません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
				りリスト。有効なメトリクスについては、「CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス」を参照してください。	
metrics_collection_interval	オプションです。	エージェントがメモリメトリクスを収集して発行する秒数。	グローバル metrics_collection_interval の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、メモリメトリクスに対してのみグローバル metrics_collection_interval プロパティを上書きします。

net

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
metrics	オプションです。	エージェントが収集するネットワークメト	「Default metrics for CloudWatch agent with Amazon	net_packets_sent や packets_r	空の文字列を指定すると、ネットワークメトリクスは発

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
		リクスのリスト。	EMR」を参照してください	ecv など、net_ プレフィックスの有無にかかわらず、有効なネットワークメトリクス名のカンマ区切りリスト。有効なメトリクスについては、「CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス」を参照してください。	行されません。
metrics_collection_interval	オプションです。	エージェントがネットワークメトリクスを収集して公開する秒数。	グローバル metrics_collection_interval の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、ネットワークメトリクスに対してのみグローバル metrics_collection_interval プロパティを上書きします。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
drop_original_metrics	オプションです。	集計されていないメトリクスを発行しないネットワークメトリクスのリスト。	集計されていないネットワークメトリクスは公開されていません。	メトリクスプロパティでも指定されているネットワークメトリクスのカンマ区切りリスト。空の文字列は、すべてのネットワークメトリクスを発行することを意味します。	CloudWatch エージェントは、クラスター ID、インスタンス ID、ノードタイプ、サービス名別にすべてのメトリクスを集計します。デフォルトでは、CloudWatch エージェントは複数のリソースを持つメトリクスのリソースごとのメトリクスを発行しません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
resources	オプションです。	エージェントがインターフェイスごとのメトリクスを発行するかどうかを決定します。	"*"	「*」とは、すべてのネットワークインターフェイスを意味し、「」は 0 のネットワークインターフェイス、またはインターフェイス名のカンマ区切りリストを意味します。例えば、"eth0,et1" 。	CloudWatch エージェントは、drop_original_metrics で削除されていないネットワークメトリクスのインターフェイスごとのメトリクスのみを公開します。

netstat

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
metrics	オプションです。	エージェントが収集するネットワーク統計メトリクスのリスト。	「Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR」を参照してください	tcp_listen や netstat_udp_socket など、netstat_ プレフィックスの有無	空の文字列を指定すると、ネットワーク統計メトリクスは発行されません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
				にかかわらず、有効なメモリメトリクス名のカンマ区切りリスト。有効なメトリクスについては、「[CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス]()」を参照してください。	
`metrics_collection_interval`	オプションです。	エージェントがネットワーク統計メトリクスを収集して公開する秒数。	グローバル `metrics_collection_interval` の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、ネットワーク統計メトリクスに対してのみグローバル `metrics_collection_interval` プロパティを上書きします。

processes

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
`metrics`	オプションです。	エージェントが収集するプロセスメトリクスのリスト。	「[Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR](#)」を参照してください	`processes_running` や `total` など、`processes_` プレフィックスの有無にかかわらず、有効なメモリメトリクス名のカンマ区切りリスト。有効なメトリクスについては、「[CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス](#)」を参照してください。	空の文字列を指定すると、プロセスメトリクスは発行されません。
`metrics_collection_interval`	オプションです。	エージェントがシステムプロセスメトリクスを収集して公開する秒数。	グローバル `metrics_collection_interval` の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、システムプロセスメトリクスに対してのみグローバル `metrics_collection`

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
					_interval プロパティを上書きします。

swap

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
metrics	オプションです。	エージェントが収集するスワップメトリクスのリスト。	「Default metrics for CloudWatch agent with Amazon EMR」を参照してください	swap_free や used_percent など、swap_ プレフィックスの有無にかかわらず、有効なメモリメトリクス名のカンマ区切りリスト。有効なメトリクスについては、「CloudWatch エージェントにより収集されるメトリクス」を参照してください。	空の文字列を指定すると、スワップメトリクスは発行されません。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	メモ
metrics_collection_interval	オプションです。	エージェントがスワップメトリクスを収集して発行する秒数。	グローバル metrics_collection_interval の値。	秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。	この値は、スワップメトリクスに対してのみグローバル metrics_collection_interval プロパティをオーバーライドします。

emr-hadoop-hdfs-datanode-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値	
<custom_bean_name>	オプションです。	該当なし	Hadoop:service=DataNode,name=DataNodeActivity など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の [JMX YAML ファイルの](#)	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、BlocksCached,BlocksRead 。	

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			サンプルには、MBean 名とその対応するメトリクスのサンプルがあります。	
`otel.metric.export.interval`	オプションです。	Hadoop DataNode メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hadoop-hdfs-namenode-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
`<custom_bean_name>`	オプションです。	該当なし	`Hadoop:service=NameNode,name=FSNamesystem` など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の JMX YAML ファイルのサンプルには、MBean 名とその対応	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、`BlockCapacity,CapacityUsedGB` 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			するメトリクスのサンプルがあります。	
`otel.metric.export.interval`	オプションです。	Hadoop NameNode メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hadoop-yarn-nodemanager-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
`<custom_bean_name>`	オプションです。	該当なし	`Hadoop:service=NodeManager,name=NodeManagerMetrics` など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の JMX YAML ファイルのサンプルには、MBean 名とその対応	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、`MaxCapacity,AllocatedGB` 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			するメトリクスのサンプルがあります。	
`otel.metric.export.interval`	オプションです。	Hadoop YARN NodeManager メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hadoop-yarn-resourcemanager-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
<custom_bean_name>	オプションです。	該当なし	`Hadoop:service=ResourceManager,name=PartitionQueueMetrics` など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の JMX YAML ファイルのサンプルに	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、`MaxCapacity,MaxCapacityVCores` 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			は、MBean 名とその対応するメトリクスのサンプルがあります。	
otel.metric.export.interval	オプションです。	Hadoop YARN ResourceManager メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hbase-master-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
<custom_bean_name>	オプションです。	該当なし	`Hadoop:service=HBase,name=Master,sub=AssignmentManager` など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の [JMX YAML](#)	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、`AssignFailedCount,AssignSubmittedCount` 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			ファイルのサンプルには、MBean 名とその対応するメトリクスのサンプルがあります。	
otel.metric.export.interval	オプションです。	HBase Master メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hbase-region-server-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
<custom_bean_name>	オプションです。	該当なし	Hadoop:service=HBase,name=RegionServer,sub=IPC など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の JMX YAML ファイルの	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、numActiveHandler,numActivePriorityHandler 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			サンプルには、MBean 名とその対応するメトリクスのサンプルがあります。	
`otel.metric.export.interval`	オプションです。	HBase Region Server メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hbase-rest-server-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
<custom_bean_name>	オプションです。	該当なし	`Hadoop:service=HBase,name=REST` など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の JMX YAML ファイルのサンプルには、MBean 名とその対応	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、`successfulPut,successfulScanCount` 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			するメトリクスのサンプルがあります。	
otel.metric.export.interval	オプションです。	HBase Rest Server メトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

emr-hbase-thrift-server-metrics プロパティ

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
<custom_bean_name>	オプションです。	該当なし	Hadoop:service=HBase,name=Thrift,sub=ThriftOne など、CloudWatch エージェントがメトリクスを収集する MBean。Amazon EMR リリース 7.0 の [JMX YAML ファイルのサンプル]には、MBean 名とその対応するメトリク	MBean に関連付けられているメトリクスのカンマ区切りリストを含む文字列。例えば、BatchGet_max,BatchGet_mean 。

プロパティ	必要	説明	デフォルト値	使用できる値
			スのサンプルがあります。	
otel.metric.export.interval	オプションです。	HBase Thrift サーバーメトリクスを収集するミリ秒単位の頻度。	"60000"	ミリ秒数を指定する文字列。整数のみを受け入れます。

システムメトリクス設定の例

次の例は、すべてのシステムメトリクスのエクスポートを停止するように CloudWatch エージェントを設定する方法を示しています。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-system-metrics",
        "Properties": {},
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

次の例では、デフォルトのシステムメトリクスをエクスポートするように CloudWatch エージェントを設定します。これを行うと、システムメトリクスを少なくとも 1 回再設定した場合、エージェントをデフォルトのシステムメトリクスのエクスポートのみにリセットできます。このリセットにより、以前に再設定されたアプリケーションメトリクスも削除されます。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": []
```

```
  }
]
```

次の例では、cpu、mem、disk メトリクスをエクスポートするようにクラスターを設定します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-system-metrics",
        "Properties": {
          "metrics_collection_interval": "20"
        },
        "Configurations": [
          {
            "Classification": "cpu",
            "Properties": {
              "metrics": "cpu_usage_guest,cpu_usage_idle",
              "metrics_collection_interval": "30",
              "drop_original_metrics": "cpu_usage_guest"
            }
          },
          {
            "Classification": "mem",
            "Properties": {
              "metrics": "mem_active"
            }
          },
           {
            "Classification": "disk",
            "Properties": {
              "metrics": "disk_used_percent",
              "resources": "/,/mnt",
              "drop_original_metrics": ""
            }
          }
        ]
      }
    ]
  }
]
```

前の例の設定は以下のようなプロパティを持ちます。

- 30 秒ごとに、エージェントはすべての CPU の `cpu_guest` メトリクスを収集します。集計メトリクスは CloudWatch 名前空間 `CWAgent > cluster.id, instance.id, node.type, service.name` にあります。
- 30 秒ごとに、エージェントはすべての CPU の `cpu_idle` メトリクスを収集します。集計メトリクスは CloudWatch 名前空間 `CWAgent > cluster.id, instance.id, node.type, service.name` にあります。エージェントは、CPU ごとのメトリクスも収集します。同じ名前空間で見つけることができます。`drop_original_metrics` プロパティに `cpu_idle` が含まれていないため、エージェントはメトリクスを無視しないため、このメトリクスを収集します。
- 20 秒ごとに、エージェントは `mem_active` メトリクスを収集します。集計メトリクスは CloudWatch 名前空間 `CWAgent > cluster.id, instance.id, node.type, service.name` にあります。
- 20 秒ごとに、エージェントは `/` と `/mnt` ディスクマウントの `disk_used_percent` メトリクスを収集します。集計されたメトリクスは CloudWatch 名前空間 `CWAgent > cluster.id, instance.id, node.type, service.name` にあります。エージェントは、マウントごとのメトリクスも収集します。同じ名前空間で見つけることができます。`drop_original_metrics` プロパティに `disk_used_percent` が含まれていないため、エージェントはメトリクスを無視しないため、このメトリクスを収集します。

アプリケーションメトリクス設定の例

次の例では、Hadoop Namenode サービスのメトリクスのエクスポートを停止するように CloudWatch エージェントを設定します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-hadoop-hdfs-namenode-metrics",
        "Properties": {},
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

次の例では、Hadoop アプリケーションメトリクスをエクスポートするようにクラスターを設定します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-hadoop-hdfs-namenode-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=NameNode,name=FSNamesystem": "BlockCapacity,CapacityUsedGB",
          "otel.metric.export.interval": "20000"
        },
        "Configurations": []
      },
       {
        "Classification": "emr-hadoop-hdfs-datanode-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=DataNode,name=JvmMetrics": "MemNonHeapUsedM",
          "otel.metric.export.interval": "30000"
        },
        "Configurations": []
      },
       {
        "Classification": "emr-hadoop-yarn-resourcemanager-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=ResourceManager,name=CapacitySchedulerMetrics": 
 "AllocateNumOps,NodeUpdateNumOps"
        },
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

前の例には、次のプロパティがあります。

- 20 秒ごとに、エージェントは Hadoop Namenode サービスを実行しているインスタンスから `BlockCapacity` および `CapacityUsedGB` メトリクスを収集します。
- 30 秒ごとに、エージェントは Hadoop Datanode サービスを実行しているインスタンスから `MemNonHeapUsedM` メトリクスを収集します。

- 30 秒ごとに、エージェントは Hadoop YARN ResourceManaager を実行するインスタンスから `AllocateNumOps` および `NodeUpdateNumOps` メトリクスを収集します。

Amazon Managed Service for Prometheus の例

次の例は、メトリクスを Amazon Managed Service for Prometheus にエクスポートするように CloudWatch エージェントを設定する方法を示しています。

現在、メトリクスを Amazon Managed Service for Prometheus にエクスポートしていて、クラスターのメトリクスを再設定し、メトリクスを Amazon Managed Service for Prometheus にエクスポートし続ける場合は、プロパティ `metrics_destination` と `prometheus_endpoint` を含める必要があります。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {
      "metrics_destination": "prometheus",
      "prometheus_endpoint": "http://amp-workspace/api/v1/remote_write"
    },
    "Configurations": []
  }
]
```

CloudWatch エージェントを使用してメトリクスを CloudWatch にエクスポートするには、次の例を使用します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {
      "metrics_destination": "cloudwatch"
    },
    "Configurations": []
  }
]
```

> **Note**
>
> CloudWatch エージェントには、特定の属性の名前を変更する Prometheus エクスポーターがあります。デフォルトのメトリクスラベルでは、Amazon Managed Service for Prometheus は Amazon CloudWatch が使用するピリオドの代わりにアンダースコア文字を使用します。Amazon Managed Grafana を使用して Amazon Managed Service for Prometheus のデフォルトメトリクスを視覚化すると、ラベルは `cluster_id`、`instance_id`、`node_type`、`service_name` のように表示されます。

Amazon EMR 7.0.0 用 CloudWatch エージェントの設定

Amazon CloudWatch エージェントは、[デフォルトの CloudWatch エージェント設定]で提供されるもの以外の追加のシステムメトリクスを使用するように設定できます。7.0.0 の設定では、ブートストラップアクションを使用する必要があります。ブートストラップアクションについては、以下のセクションで例を挙げています。今後のリリースでは、Amazon EMR は Amazon EMR API を通じた追加の設定オプションを提供する予定です。

トピック

- [Amazon EMR 7.0.0 を使用して追加のシステムメトリクスを設定する]
- [Amazon EMR 7.0.0 を使用してアプリケーションメトリクスを設定する]
- [Amazon EMR 7.0.0 でのメトリクスのクラウドストレージとして Amazon Managed Service for Prometheus を設定する]

Amazon EMR 7.0.0 を使用して追加のシステムメトリクスを設定する

次のステップを使用して、Amazon EMR 7.0.0 の異なるシステムメトリクスセットを使用するようにエージェントを設定します。

1. CloudWatch エージェントメトリクスを指定する設定ファイルを保存する Amazon S3 アカウントのバケットを作成または選択します。
2. 希望するメトリクスを指定して `emr-amazon-cloudwatch-agent.json` 設定ファイルを作成します。これを行うには、「[CloudWatch エージェント設定ファイルの作成]」で説明されている方法のいずれかを使用します。CloudWatch エージェント設定ファイルの構成の詳細については、「Amazon CloudWatch ユーザーガイド」の「[手動で CloudWatch エージェント設定ファイルを作成または編集する]」を参照してください。

3. 次に、GitHub の aws-emr-utilities リポジトリに移動し、以下のシステムメトリクススクリプトをダウンロードします。

   - **`install_system_metrics_launcher.sh`** - ノードがブートストラップを完了できるように、`install_system_metrics.sh` をダウンロードしてバックグラウンドで実行するスクリプト。
   - **`install_system_metrics.sh`** - 実行中のインスタンスがブートストラップを完了するのを待ってから、JSON ファイル内の設定をダウンロードして適用するスクリプト。
4. 各 SH ファイルを開き、*`amzn-s3-demo-bucket`* をステップ 1 のバケットの名前に置き換えます。
5. 1 つの JSON ファイルと 2 つの SH ファイルを S3 バケットにアップロードします。
6. これで、Amazon EMR コンソールに移動し、CloudWatch エージェントで新しいクラスターを作成できます。左側のナビゲーションペインの [EMR on EC2] で [クラスター] を選択し、[クラスターを作成] を選択します。
7. [名前とアプリケーション] セクションで、Amazon EMR リリース 7.0.0 以降を選択します。
8. [アプリケーションバンドル] で、クラスターにインストールするバンドルまたはアプリケーションを選択し、選択内容に [Amazon CloudWatch エージェント] を含めます。
9. [ブートストラップアクション] セクションで [追加] を選択します。

   - [名前] には、**`install_system_metrics_launcher.sh`** と入力します。
   - [スクリプトの場所] には、**`s3://`*`amzn-s3-demo-bucket`*`/install_system_metrics_launcher.sh`** を挿入します。*`amzn-s3-demo-bucket`* をお使いの S3 バケットへのパス名に置き換えます。
   - [引数] ブロックは空のままにしておきます。
10. [ブートストラップアクションを追加] を選択します。
11. 引き続き、ワークロードのニーズに合わせてクラスターを作成してください。

クラスターが起動すると、CloudWatch エージェントは設定ファイルで指定されたシステムメトリクスを CloudWatch に公開します。

Amazon EMR 7.0.0 を使用してアプリケーションメトリクスを設定する

Amazon CloudWatch エージェントは、システムメトリクスに加えて HDFS と YARN のアプリケーションメトリクスを公開するように設定できます。アプリケーションメトリクスを公開するようにエージェントを設定するには、次の手順を実行します。

1. CloudWatch エージェントメトリクスを指定する設定ファイルを保存する Amazon S3 アカウントのバケットを作成または選択します。
2. 次に、GitHub の aws-emr-utilities リポジトリに移動し、以下のスクリプトをダウンロードします。
    - **`install_app_metrics_launcher.sh`** - ノードがブートストラップを完了できるように、`install_app_metrics.sh` をダウンロードしてバックグラウンドで実行するスクリプト。
    - **`install_app_metrics.sh`** - 実行中のインスタンスがブートストラップを完了するのを待ってから、次のステップでダウンロードする YAML ファイル内の設定をダウンロードして適用するスクリプト。
3. 各ファイルを開き、*`amzn-s3-demo-bucket`* をステップ 1 のバケットの名前に置き換えます。
4. 次に、以下の YAML マッピングファイルをダウンロードします。これらの YAML ファイルの構造については、OpenTelemetry Instrumentation for Java GitHub リポジトリ内の `javaagent` を参照してください。
    - **`datanode-metrics.yaml`** - Hadoop DataNode メトリクスの設定。
    - **`namenode-metrics.yaml`** - Hadoop NameNode メトリクスの設定。
    - **`nodemanager-metrics.yaml`** - Yarn NodeManager メトリクスの設定。
    - **`resourcemanager-metrics.yaml`** - Yarn ResourceManager メトリクスの設定。
5. 2 つの SH ファイルと 4 つの YAML ファイルを S3 バケットにアップロードします。
6. これで、Amazon EMR コンソールに移動し、CloudWatch エージェントで新しいクラスターを作成できます。左側のナビゲーションペインの [EMR on EC2] で [クラスター] を選択し、[クラスターを作成] を選択します。
7. [名前とアプリケーション] セクションで、Amazon EMR リリース 7.0.0 以降を選択します。
8. [アプリケーションバンドル] で、クラスターにインストールするアプリのバンドルまたはカスタムグループを選択し、選択内容に [CloudWatch エージェント] を含めます。
9. [ブートストラップアクション] セクションで [追加] を選択します。
    - [名前] には、**`install_app_metrics_launcher.sh`** と入力します。
    - [スクリプトの場所] には、**`s3://`*`amzn-s3-demo-bucket`*`/install_app_metrics_launcher.sh`** を挿入します。*`amzn-s3-demo-bucket`* をお使いの S3 バケットへのパス名に置き換えます。
    - [引数] ブロックは空のままにしておきます。

10. [ブートストラップアクションを追加] を選択します。
11. 引き続き、ワークロードのニーズに合わせてクラスターを作成してください。

クラスターが起動すると、CloudWatch エージェントは、指定されたアプリケーションメトリクスとシステムメトリクスを CloudWatch に公開します。

Amazon EMR 7.0.0 でのメトリクスのクラウドストレージとして Amazon Managed Service for Prometheus を設定する

Amazon CloudWatch エージェントは、CloudWatch ではなく Amazon Managed Service for Prometheus にメトリクスを発行するように設定できます。

> **Note**
>
> Amazon CloudWatch エージェントから Amazon Managed Service for Prometheus または Amazon CloudWatch のいずれかにメトリクスを公開できますが、同じクラスターの両方のサービスにメトリクスを公開することはできません。

Amazon Managed Service for Prometheus にメトリクスを発行するようにエージェントを設定するには、Amazon EMR の Amazon EC2 インスタンスプロファイルに `aps:RemoteWrite` AWS Identity and Access Management (IAM) アクセス許可を追加する必要があります。次のポリシー例は、必要なアクセス許可を含んでいます。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": "aps:RemoteWrite",
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

EMR クラスターの CloudWatch エージェントを使用して Amazon Managed Service for Prometheus にメトリクスを公開する

サービスポリシーに正しいアクセス許可が付与されたら、次のステップを使用して CloudWatch エージェントを使用して Amazon Managed Service for Prometheus にメトリクスを発行するクラスターを起動します。

1. AWS Management Console または を使用して AWS CLI 、Amazon Managed Service for Prometheus ワークスペースを作成します。詳細については、「Amazon Managed Service for Prometheus ユーザーガイド」の「[ワークスペースの作成](#)」を参照してください。
2. Amazon S3 アカウントで、Amazon Managed Service for Prometheus をクラウドストレージとして指定する起動ファイルを保存するバケットを作成または選択します。
3. 次に、GitHub の aws-emr-utilities リポジトリに移動し、以下のスクリプトをダウンロードします。
   - **`add_prometheus_endpoint_launcher.sh`** - ノードがブートストラップを完了できるように、`add_prometheus_endpoint.sh` をダウンロードしてバックグラウンドで実行するスクリプト。
   - **`add_prometheus_endpoint.sh`** - 実行中のインスタンスがブートストラップを完了するのを待ってから、クラスターを起動するときに引数として指定した Amazon Managed Service for Prometheus エンドポイントに公開するように CloudWatch エージェントを設定するスクリプト。
4. 各ファイルを開き、*`amzn-s3-demo-bucket`* をステップ 2 のバケットの名前に置き換えます。
5. を使用して AWS CLI 、`add_prometheus_endpoint_launcher.sh`ブートストラップアクションで EMR クラスターを作成します。次のコマンドで、*`amzn-s3-demo-bucket`* をブートストラップアクションを保持するバケットに置き換え、*`managedpro-remote-write-workspace-url`* を Amazon Managed Service for Prometheus ワークスペースのリモート書き込みエンドポイントに置き換えます。必ず `emr-7.0.0` またはそれ以降の Amazon EMR リリースラベルを指定してください。

```
aws emr create-cluster --name managedpro-cluster \
    --release-label emr-7.0.0 \
    --applications Name=Hadoop Name=AmazonCloudWatchAgent \
    --ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m7g.2xlarge \
    --instance-count 3 --use-default-roles
```

```
    --bootstrap-actions Name='Add Prometheus Endpoint',Path=s3://amzn-s3-demo-
bucket/add_prometheus_endpoint_launcher.sh,Args='managedpro-remote-write-workspace-
url'
```

クラスターが起動すると、CloudWatch エージェントは収集したメトリクスを Amazon Managed Service for Prometheus に公開します。

Amazon Managed Service for Prometheus を Amazon Managed Grafana 用データソースとして使用する

Amazon EMR が Amazon Managed Service for Prometheus にクラスターメトリクスを公開したら、次のステップを使用して Amazon Managed Grafana でメトリックスを視覚化できます。

1. を使用して AWS Management Console 、適切なアクセス許可を持つ Amazon Managed Grafana ワークスペースとユーザーを作成します。詳細については、「Amazon Managed Grafana ユーザーガイド」の「ワークスペースの作成」を参照してください。
2. Amazon Managed Service for Prometheus ワークスペースをデータソースとして Amazon Managed Grafana に追加します。詳細については、「Amazon Managed Grafana ユーザーガイド」の「AWS データソース設定を使用して Amazon Managed Service for Prometheus をデータソースとして追加する」を参照してください。

> **Note**
>
> CloudWatch エージェントには、特定の属性の名前を変更する Prometheus エクスポーターがあります。デフォルトのメトリクスラベルでは、Amazon Managed Service for Prometheus は Amazon CloudWatch が使用するピリオドの代わりにアンダースコア文字を使用します。そのため、Amazon Managed Grafana を使用して Amazon Managed Service for Prometheus のデフォルトメトリクスを視覚化すると、ラベルは `jobflow_id`、`instance_id`、`service_name` のように表示されます。
> また、CloudWatch エージェントが Amazon Managed Service for Prometheus に公開するアプリケーションメトリクスは、`service_name` ではなく `job` のラベル を使用します。ただし、システムメトリクスは引き続き `service_name` のラベルを使用します。

考慮事項と制限事項

- ネイティブ Amazon CloudWatch エージェントは、Amazon EMR リリース 7.0.0 以降で作成したクラスターで使用できます。
- Amazon EMR 7.0.0 の CloudWatch エージェントの設定では、ブートストラップアクションを使用する必要があります。今後のリリースでは、Amazon EMR は Amazon EMR API を通じた追加の設定オプションを提供する予定です。
- クラスターを作成するリージョンで、 AWS Systems Manager エージェント (SSM エージェント) などの別の方法で CloudWatch エージェントを既にデプロイしている場合は、Amazon EMR CloudWatch エージェントをインストールできません。デプロイすると、クラスターはエラーで終了します。
- CloudWatch GetMetricData API は、リクエストごとに最大 500 個のメトリクスをサポートします。Amazon EMR クラスターにインスタンスグループまたはフリートに 250 個を超えるノードが含まれている場合、EMR の CloudWatch 埋め込みダッシュボードの対応するグラフは空白になり、クラスター概要ダッシュボードのメトリクスごとに 2 つのデータポイントが必要なため、メトリクスが多すぎます。ただし、コアまたはタスクインスタンスグループ (またはフリート) ダッシュボードをフィルタリングすることで、インスタンスグループまたはフリートごとに最大 500 ノードのグラフを表示できます。これは、メトリクスごとに 2 つのデータポイントを必要としないためです。インスタンスグループまたはフリートあたり 500 ノードを超えると、これらのダッシュボードのメトリクスでもメトリクスが多すぎます。

CloudWatch エージェントリリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースバージョンに含まれている AmazonCloudWatchAgent のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示します。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

AmazonCloudWatchAgent バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hd fs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-nameno de, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.8.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hd fs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-nameno de, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.7.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp,

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
		hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.6.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hd fs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-nameno de, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.4.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hd fs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-nameno de, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.2.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	AmazonCloudWatchAgent バージョン	AmazonCloudWatchAgent でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	1.300032.2	adot-java-agent, emrfs, emr-amazon-cloudwatch-agent , emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.0.0	1.300031.1	adot-java-agent, emr-amazon-cloudwatch-agent

Delta Lake

Delta Lake は、レイクハウスアーキテクチャのストレージレイヤーフレームワークであり、一般的に、Amazon S3 上に構築されます。Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Delta Lake テーブルを使用する Amazon EMR クラスターで Apache Spark 3.x を使用できます。Delta Lake を使用するレイクハウスの詳細については、https://delta.io/ を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Delta のバージョンと、Amazon EMR で Delta と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Delta と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 のデルタバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Delta のバージョン	Delta と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Delta 3.3.0-amzn-1	Not available.

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Delta のバージョンと、Amazon EMR で Delta と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Delta と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Delta バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Delta のバージョン	Delta と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Delta 2.4.0	Not available.

Delta Lake の紹介

Delta Lake は、最新のデータレイクアーキテクチャを実装可能なオープンソースプロジェクトであり、一般的に、Amazon S3 上に構築されます。Delta Lake により、次の機能を得られます。

- Spark のトランザクション実行時に、原子性、一貫性、独立性、耐久性 (ACID) を確保できます。また、Spark ジョブの実行中に、一貫性のあるテーブル表示を行えます。
- Spark により、メタデータをスケーラブルに分散処理できます。
- ストリーミングとバッチのユースケースに、同じ Delta デルタテーブルで対応可能です。
- スキーマの自動適用によって、データインジェストの際に不良レコードを回避できます。
- データのバージョニングにより、特定の時点のデータを確認できます。
- 複雑なユースケースのマージ、更新、削除の操作 (例: 変更データキャプチャ (CDC)、ストリーミングの更新と挿入) に対応しています。

Delta Lake がインストールされたクラスターを使用する

トピック

Flink で Delta Lake クラスターを使用する

Amazon EMR リリース 6.11 以降では、Flink クラスターで Delta Lake を使用できます。次の例では AWS CLI 、 を使用して Amazon EMR Flink クラスターで Delta Lake を操作します。

> **Note**
>
> Amazon EMR では、Flink クラスターで Delta Lake を使用するときに Flink DataStream API がサポートされます。

Delta Lake クラスターを作成する

1. 次のコンテンツを含む `delta_configurations.json` ファイルを作成します。

```
[{"Classification":"delta-defaults",
    "Properties":{"delta.enabled":"true"}}]
```

2. 次の設定を使用して、クラスターを作成します。example Amazon S3 bucket path と subnet ID は、実際の値に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster
--release-label emr-6.11.0
--applications Name=Flink
--configurations file://delta_configurations.json
--region us-east-1  --name My_Spark_Delta_Cluster
--log-uri  s3://amzn-s3-demo-bucket/
--instance-type m5.xlarge
--instance-count 3
--service-role EMR_DefaultRole_V2
--ec2-attributes
 InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef0
```

Flink YARN セッションを初期化します。

Flink YARN セッションを初期化するには、次のコマンドを実行します。

```
flink-yarn-session -d
```

Delta Lake を使用する Flink ジョブを作成する

次の例は、sbt または Maven を使用して Flink ジョブを作成し、Delta Lake を操作する方法を示しています。

sbt

[sbt](https://www.scala-sbt.org/) は Scala 用のビルドツールで、小規模なプロジェクトの場合、ほとんど、あるいは、まったく設定せずに使用できます。

```
libraryDependencies ++= Seq(
  "io.delta" %% "delta-flink" % deltaConnectorsVersion % "provided",
  "io.delta" %% "delta-standalone" % deltaConnectorsVersion % "provided",
  "org.apache.flink" %% "flink-clients" % flinkVersion % "provided",
  "org.apache.flink" %% "flink-parquet" % flinkVersion % "provided",
  "org.apache.hadoop" % "hadoop-client" % hadoopVersion % "provided",
  "org.apache.flink" % "flink-table-common" % flinkVersion % "provided",
  "org.apache.flink" %% "flink-table-runtime" % flinkVersion % "provided")
```

Maven

Maven は、オープンソースのビルド自動化ツールで、Apache Software Foundation が提供しています。Maven では、Amazon EMR の Delta Lake を使用して、Flink ジョブを作成、公開、展開できます。

```
<project>
<properties>
    <scala.main.version>2.12</scala.main.version>
    <delta-connectors-version>0.6.0</delta-connectors-version>
    <flink-version>1.16.1</flink-version>
    <hadoop-version>3.1.0</hadoop-version>
</properties>

<dependencies>
    <dependency>
        <groupId>io.delta</groupId>
        <artifactId>delta-flink</artifactId>
        <version>$delta-connectors-version</version>
        <scope>provided</scope>
    </dependency>
    <dependency>
        <groupId>io.delta</groupId>
        <artifactId>delta-standalone_$scala-main-version</artifactId>
        <version>$delta-connectors-version</version>
        <scope>provided</scope>
    </dependency>
    <dependency>
        <groupId>org.apache.flink</groupId>
        <artifactId>flink-clients</artifactId>
        <version>$flink-version</version>
        <scope>provided</scope>
    </dependency>
    <dependency>
        <groupId>org.apache.flink</groupId>
        <artifactId>flink-parquet</artifactId>
        <version>$flink-version</version>
        <scope>provided</scope>
    </dependency>
    <dependency>
        <groupId>org.apache.hadoop</groupId>
        <artifactId>hadoop-client</artifactId>
        <version>$hadoop-version</version>
```

```
            <scope>provided</scope>
        </dependency>
        <dependency>
            <groupId>org.apache.flink</groupId>
            <artifactId>flink-table-common</artifactId>
            <version>$flink-version</version>
            <scope>provided</scope>
        </dependency>
        <dependency>
            <groupId>org.apache.flink</groupId>
            <artifactId>flink-table-runtime</artifactId>
            <version>$flink-version</version>
            <scope>provided</scope>
        </dependency>
    </dependencies>
```

Flink Datastream API を使用して、Delta テーブルに書き込む

DeltaSink を作成し、`deltaTablePath:` を設定してテーブルに書き込むには、次の例を使用します。

```
public static DataStream<RowData> createDeltaSink(
        DataStream<RowData> stream,
        String deltaTablePath,
        RowType rowType) {
    Configuration configuration = new Configuration();
    DeltaSink<RowData> deltaSink = DeltaSink
            .forRowData(
                    new org.apache.flink.core.fs.Path(deltaTablePath),
                    configuration,
                    rowType)
            .build();
    stream.sinkTo(deltaSink);
    return stream;
}
```

Flink Datastream API を使用して、Delta テーブルから読み取る

範囲指定のある DeltaSource を作成し、`deltaTablePath:` を設定してテーブルから読み取るには、次の例を使用します。

```
public static DataStream<RowData> createBoundedDeltaSourceAllColumns(
        StreamExecutionEnvironment env,
        String deltaTablePath) {
    Configuration configuration = new Configuration();
    DeltaSource<RowData> deltaSource = DeltaSource
            .forBoundedRowData(
                    new org.apache.flink.core.fs.Path(deltaTablePath),
                    configuration)
            .build();

    return env.fromSource(deltaSource, WatermarkStrategy.noWatermarks(), "delta-
source");
}
```

マルチクラスターサポートを使用してシンクを作成し、スタンドアロンの Delta Lake を操作する

DeltaSink を作成し、`deltaTablePath` と[マルチクラスターサポート](#)を設定してテーブルに書き込むには、次の例を使用します。

```
public DataStream<RowData> createDeltaSink(
        DataStream<RowData> stream,
        String deltaTablePath) {
    Configuration configuration = new Configuration();
    configuration.set("spark.delta.logStore.s3.impl",
 "io.delta.storage.S3DynamoDBLogStore");
    configuration.set("spark.io.delta.storage.S3DynamoDBLogStore.ddb.tableName",
 "delta_log");
    configuration.set("spark.io.delta.storage.S3DynamoDBLogStore.ddb.region", "us-
east-1");

    DeltaSink<RowData> deltaSink = DeltaSink
        .forRowData(
            new Path(deltaTablePath),
            configuration,
            rowType)
        .build();
    stream.sinkTo(deltaSink);
    return stream;
}
```

Flink ジョブを実行する

ジョブを実行するには、次のコマンドを実行します。

```
flink run FlinkJob.jar
```

Trino で Delta Lake クラスターを使用する

Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Trino クラスターで Delta Lake を使用できます。

このチュートリアルでは、 を使用して Amazon EMR Trino クラスターの Delta Lake AWS CLI を操作します。

Delta Lake クラスターを作成する

1. `delta_configurations.json` ファイルを作成し、選択したカタログの値を設定します。例えば、Hive メタストアをカタログとして使用する場合、ファイルに次のコードを記述する必要があります。

   ```
   [{"Classification":"delta-defaults",
       "Properties":{"delta.enabled":"true"}},
       {"Classification":"trino-connector-delta",
       "Properties":{"hive.metastore.uri":"thrift://localhost:9083"}}]
   ```

   Glue Catalog AWS をストアとして使用する場合は、ファイルに次の内容が含まれている必要があります。

   ```
   [{"Classification":"delta-defaults",
       "Properties":{"delta.enabled":"true"}},
       {"Classification":"trino-connector-delta",
       "Properties":{"hive.metastore":"glue"}}]
   ```

2. 次のように設定してクラスターを作成し、**`example Amazon S3 bucket path`** と **`subnet ID`** を実際の値に置き換えます。

   ```
   aws emr create-cluster
       --release-label emr-6.9.0
       --applications Name=Trino
       --configurations file://delta_configurations.json
   ```

```
    --region us-east-1  --name My_Spark_Delta_Cluster
    --log-uri  s3://amzn-s3-demo-bucket/
    --instance-type m5.xlarge
    --instance-count 2
    --service-role EMR_DefaultRole_V2
    --ec2-attributes
 InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef0
```

Delta Lake の Trino セッションを初期化します。

Trino セッションを初期化するには、次のコマンドを実行します。

```
trino-cli --catalog delta
```

Delta Lake テーブルに書き込む

次の SQL コマンドを使用すると、テーブルを作成し、書き込みを行えます。

```
SHOW SCHEMAS;

CREATE TABLE default.delta_table (id  int, data varchar, category varchar) WITH
( location =  's3://amzn-s3-demo-bucket/<prefix>');

INSERT INTO default.delta_table VALUES  (1,'a','c1'), (2,'b','c2'), (3,'c','c3');
```

Delta Lake テーブルから読み取る

次の SQL コマンドを使用すると、テーブルから読み取りを行えます。

```
SELECT * from default.delta_table;
```

Spark で Delta Lake クラスターを使用する

Amazon EMR バージョン 6.9.0 以降では、ブートストラップアクションを追加しなくても、Spark クラスターで Delta Lake を使用できます。Amazon EMR リリース 6.8.0 以前の場合、ブートストラップアクションを使用することで、依存関係上必要なファイルを事前にインストールできます。

次の例では AWS CLI 、 を使用して Amazon EMR Spark クラスターで Delta Lake を操作します。

で Amazon EMR で Delta Lake を使用するには AWS Command Line Interface、まずクラスターを作成します。で Delta Lake 分類を指定する方法については AWS Command Line Interface、「クラスターの作成 AWS Command Line Interface 時に を使用して設定を指定する」または「クラスターの作成時に Java SDK を使用して設定を指定する」を参照してください。

1. 次のコンテンツを含む `configurations.json` ファイルを作成します。

```
[{"Classification":"delta-defaults",  "Properties":{"delta.enabled":"true"} }]
```

2. 次のように設定してクラスターを作成し、サンプルの Amazon S3 **bucket path** と **subnet ID** を実際の値に置き換えます。

```
aws emr create-cluster
     --release-label  emr-6.9.0
     --applications Name=Spark
     --configurations file://delta_configurations.json
     --region us-east-1
     --name My_Spark_Delta_Cluster
     --log-uri  s3://amzn-s3-demo-bucket/
     --instance-type m5.xlarge
     --instance-count 2
     --service-role EMR_DefaultRole_V2
     --ec2-attributes
 InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef0
```

次のファイルを、Spark ジョブに依存関係上必要な jar として使用することで、Amazon EMR クラスターと Spark アプリケーションを構築できます。

```
/usr/share/aws/delta/lib/delta-core.jar,
/usr/share/aws/delta/lib/delta-storage.jar,
/usr/share/aws/delta/lib/delta-storage-s3-dynamodb.jar
```

> **Note**
>
> Amazon EMR リリース 7.0.0 以降を使用する場合は、 `/usr/share/aws/delta/lib/delta-spark.jar`の代わりに を使用します`/usr/share/aws/delta/lib/delta-core.jar`。

詳細については、「Submitting Applications」を参照してください。

Spark ジョブに依存関係上必要な jar を指定するには、次の設定プロパティを Spark アプリケーションに追加します。

```
--conf “spark.jars=/usr/share/aws/delta/lib/delta-core.jar,
     /usr/share/aws/delta/lib/delta-storage.jar,
     /usr/share/aws/delta/lib/delta-storage-s3-dynamodb.jar"
```

Spark ジョブの依存関係については、「Dependency Management」を参照してください。

Amazon EMR リリース 7.0.0 以降を使用する場合は、代わりに `/usr/share/aws/delta/lib/delta-spark.jar`設定を追加します。

```
--conf “spark.jars=/usr/share/aws/delta/lib/delta-spark.jar,
     /usr/share/aws/delta/lib/delta-storage.jar,
     /usr/share/aws/delta/lib/delta-storage-s3-dynamodb.jar"
```

Delta Lake の Spark セッションを初期化する

次の例は、インタラクティブな Spark シェルを起動する方法、Spark 送信を使用する方法、Amazon EMR Notebooks を使用して Amazon EMR の Delta Lake を操作する方法をそれぞれ示しています。

spark-shell

1. SSH を使用してプライマリノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。
2. 以下のコマンドを入力して、Spark シェルを起動します。PySpark シェルを使用するには、`spark-shell` を `pyspark` に置き換えます。

   ```
   spark-shell \
      --conf "spark.sql.extensions=io.delta.sql.DeltaSparkSessionExtension" \
      --conf
    "spark.sql.catalog.spark_catalog=org.apache.spark.sql.delta.catalog.DeltaCatalog"
   ```

   Amazon EMR リリース 6.15.0 以降を実行する場合は、次の設定を使用して、Delta Lake での Lake Formation に基づくきめ細かなアクセスコントロールを使用する必要があります。

```
spark-shell \
  --conf
 spark.sql.extensions=io.delta.sql.DeltaSparkSessionExtension,com.amazonaws.emr.recordserv
 \
  --conf
 spark.sql.catalog.spark_catalog=org.apache.spark.sql.delta.catalog.DeltaCatalog \

  --conf spark.sql.catalog.spark_catalog.lf.managed=true
```

spark-submit

1. SSH を使用してプライマリノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。
2. Delta Lake の Spark セッションを起動するには、次のコマンドを入力します。

```
spark-submit
—conf "spark.sql.extensions=io.delta.sql.DeltaSparkSessionExtension"
—conf
 "spark.sql.catalog.spark_catalog=org.apache.spark.sql.delta.catalog.DeltaCatalog"
```

Amazon EMR リリース 6.15.0 以降を実行する場合は、次の設定を使用して、Delta Lake での Lake Formation に基づくきめ細かなアクセスコントロールを使用する必要があります。

```
spark-submit \  `
--conf
 spark.sql.extensions=io.delta.sql.DeltaSparkSessionExtension,com.amazonaws.emr.recordserv
--conf
 spark.sql.catalog.spark_catalog=org.apache.spark.sql.delta.catalog.DeltaCatalog \

--conf spark.sql.catalog.spark_catalog.lf.managed=true
```

EMR Studio notebooks

Amazon EMR Studio ノートブックを使用して Spark セッションを初期化するには、次の例のように、Amazon EMR Notebooks で %%configure マジックコマンドを使用して Spark セッションを設定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR Notebooks マジックを使用する」を参照してください。

```
%%configure -f
{
  "conf": {
    "spark.sql.extensions":  "io.delta.sql.DeltaSparkSessionExtension",
     "spark.sql.catalog.spark_catalog":
 "org.apache.spark.sql.delta.catalog.DeltaCatalog"
  }
}
```

Amazon EMR リリース 6.15.0 以降を実行する場合は、次の設定を使用して、Delta Lake での Lake Formation に基づくきめ細かなアクセスコントロールを使用する必要があります。

```
%%configure -f
{
  "conf": {
    "spark.sql.extensions":
 "io.delta.sql.DeltaSparkSessionExtension,com.amazonaws.emr.recordserver.connector.spark.sql
    "spark.sql.catalog.spark_catalog":
 "org.apache.spark.sql.delta.catalog.DeltaCatalog",
    "spark.sql.catalog.spark_catalog.lf.managed": "true"
  }
}
```

Delta Lake テーブルに書き込む

次の例は、DataFrame を作成し、それを Delta Lake データセットとして書き込む方法を示しています。また、デフォルトの Hadoop ユーザーとして、プライマリノードに SSH 接続し、Spark シェルでデータセットを操作する方法を示しています。

> **Note**
>
> コードサンプルを Spark シェルに貼り付けるには、プロンプトで「:paste」と入力し、例を貼り付けて、[CTRL + D] を押します。

PySpark

Spark には、Python ベースのシェルである `pyspark` も用意されており、Python で記述した Spark プログラムのプロトタイプ作成に使用できます。`spark-shell` の場合と同様に、プライマリノードで `pyspark` を呼び出します。

```
## Create a DataFrame
data =  spark.createDataFrame([("100", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
("101",  "2015-01-01", "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
("102", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
("103",  "2015-01-01",  "2015-01-01T13:51:40.519832Z")],
["id", "creation_date",  "last_update_time"])

## Write a DataFrame as a Delta Lake dataset to the S3  location
spark.sql("""CREATE  TABLE IF NOT EXISTS delta_table (id string, creation_date
 string,
last_update_time string)
USING delta location
's3://amzn-s3-demo-bucket/example-prefix/db/delta_table'""");

data.writeTo("delta_table").append()
```

Scala

```
import org.apache.spark.sql.SaveMode
import org.apache.spark.sql.functions._

// Create a DataFrame
val data = Seq(("100",  "2015-01-01",  "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
("101",  "2015-01-01",  "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
("102",  "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
("103",  "2015-01-01",  "2015-01-01T13:51:40.519832Z")).toDF("id", "creation_date",
 "last_update_time")

// Write a DataFrame as a Delta Lake dataset to the S3  location
spark.sql("""CREATE  TABLE IF NOT EXISTS delta_table (id string,
creation_date string,
last_update_time string)
USING delta location
's3://amzn-s3-demo-bucket/example-prefix/db/delta_table'""");

data.write.format("delta").mode("append").saveAsTable("delta_table")
```

SQL

```
-- Create a Delta  Lake table with the S3 location
CREATE TABLE delta_table(id string,
creation_date string,
last_update_time string)
```

```
USING delta LOCATION
's3://amzn-s3-demo-bucket/example-prefix/db/delta_table';

-- insert data into the table
INSERT INTO delta_table VALUES  ("100", "2015-01-01",
 "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
("101",  "2015-01-01",  "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
("102",  "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
("103",  "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.519832Z");
```

Delta Lake テーブルから読み取る

PySpark

```
ddf = spark.table("delta_table")
ddf.show()
```

Scala

```
val ddf =  spark.table("delta_table")
ddf.show()
```

SQL

```
SELECT * FROM delta_table;
```

Spark および AWS Glue と共に Delta Lake クラスターを使用する

Glue Catalog AWS を Delta Lake テーブルのメタストアとして使用するには、次の手順でクラスターを作成します。を使用して Delta Lake 分類を指定する方法については AWS Command Line Interface、「クラスターの作成 AWS Command Line Interface 時に を使用して設定を指定する」または「クラスターの作成時に Java SDK を使用して設定を指定する」を参照してください。

Delta Lake クラスターを作成する

1. 次のコンテンツを含む configurations.json ファイルを作成します。

```
[{"Classification":"delta-defaults",
"Properties":{"delta.enabled":"true"}},
{"Classification":"spark-hive-site",
"Properties":
{"hive.metastore.client.factory.class":"com.amazonaws.glue.catalog.metastore.AWSGlueDataCat
```

2. 次のように設定してクラスターを作成し、**example Amazon S3 bucket path** と **subnet ID** を実際の値に置き換えます。

```
aws emr create-cluster
    --release-label  emr-6.9.0
    --applications Name=Spark
    --configurations file://delta_configurations.json
    --region us-east-1
    --name My_Spark_Delta_Cluster
    --log-uri  s3://amzn-s3-demo-bucket/
    --instance-type m5.xlarge
    --instance-count 2
    --service-role EMR_DefaultRole_V2
    --ec2-attributes
 InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef0
```

考慮事項と制限事項

- Amazon EMR リリース 6.9.0 以降の場合、Delta Lake の使用がサポートされています。Amazon EMR クラスターでは、Apache Spark 3.x と Delta テーブルを使用できます。
- パフォーマンス、セキュリティ、信頼性を最適化するには、S3 ロケーションパスに s3a ではなく s3 URI スキームを使用すると良いでしょう。詳細については、「ストレージシステムとファイルシステムで作業する」を参照してください。
- Amazon EMR 7.0 では、Delta Universal Format (UniForm) および convert-to-Iceberg ステートメントはサポートされていません。
- Amazon EMR 6.9 6.10 の場合、Amazon S3 に保存している Delta Lake のテーブルデータで列の名前を変更すると、列のデータが NULL になります。Amazon EMR 6.11 以降、この問題は解決されています。列名変更の実験的な操作の詳細については、「Delta Lake User Guide」にある「Rename columns」の操作を参照してください。
- Apache Spark の外部で AWS Glue データカタログにデータベースを作成すると、データベースに空の`LOCATION`フィールドがある可能性があります。Spark では空のロケーションプロパティを

使用してデータベースを作成することはできません。そのため、Amazon EMR の Spark で Glue データベースに Delta テーブルが作成された後に、データベースに空の LOCATION プロパティが存在すると、次のエラーが発生します。

```
IllegalArgumentException: Can not create a Path from an empty string
```

この問題を解決するには、LOCATION フィールドに空ではない有効なパスを指定して、Data Catalog にデータベースを作成します。このソリューションを実装する手順については、「Amazon Athena ユーザーガイド」の「テーブル作成時の不正な引数の例外」を参照してください。

Delta リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースバージョンに含まれている Delta のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Delta バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Delta のバージョン	Delta と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	3.3.0-amzn-1	Not available.
emr-7.8.0	3.3.0-amzn-0	Not available.
emr-7.7.0	3.2.1-amzn-2	Not available.
emr-7.6.0	3.2.1-amzn-1	Not available.
emr-7.5.0	3.2.1-amzn-0	Not available.
emr-7.4.0	3.2.0-amzn-1	Not available.
emr-7.3.0	3.2.0-amzn-0	Not available.
emr-7.2.0	3.1.0	Not available.

Amazon EMR リリースラベル	Delta のバージョン	Delta と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	3.0.0	Not available.
emr-7.0.0	3.0.0	Not available.
emr-6.15.0	2.4.0	Not available.
emr-6.14.0	2.4.0	Not available.
emr-6.13.0	2.4.0	Not available.
emr-6.12.0	2.4.0	Not available.
emr-6.11.1	2.2.0	Not available.
emr-6.11.0	2.2.0	Not available.
emr-6.10.1	2.2.0	Not available.
emr-6.10.0	2.2.0	Not available.
emr-6.9.1	2.1.0	Not available.
emr-6.9.0	2.1.0	Not available.

Apache Flink

Apache Flink はストリーミングデータフローエンジンで、これを使用して、高スループットのデータソースでリアルタイムのストリーム処理ができます。Flink は、アウトオブオーダーイベントのイベントタイムセマンティクス、正確に 1 度しか処理しないセマンティクス、バックプレッシャーコントロール、ストリーミングとバッチアプリケーション両方への書き込みに最適化した API をサポートします。

さらに Flink には、次のようなサードパーティーのデータソースへのコネクタがあります。

- Amazon Kinesis Data Streams
- Apache Kafka
- Flink Elasticsearch コネクタ
- Twitter ストリーミング API
- Cassandra

Amazon EMR では、クラスター内の他のアプリケーションと一緒にリソースを管理できるよう、YARN アプリケーションとして Flink をサポートしています。Flink を搭載した YARN では、一時的な Flink のジョブを送信できます。あるいは、全体的な YARN 予約に従って複数のジョブを受け入れ、リソースを割り当てる長期実行クラスターを作成することもできます。

Flink は、Amazon EMR リリースバージョン 5.1.0 以降に含まれています。

> **Note**
>
> Amazon EMR リリースバージョン 5.2.1 では `FlinkKinesisConsumer` クラスのサポートが追加されました。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Flink のバージョンと、Amazon EMR で Flink と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Flink と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Flink バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Flink 1.20.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Flink のバージョンと、Amazon EMR で Flink と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Flink と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Flink バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Flink 1.17.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client,

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
		flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Flink のバージョンと、Amazon EMR で Flink と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Flink と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Flink バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Flink 1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

トピック

- Flink を使用してクラスターを作成する
- Amazon EMR で Flink を設定する
- Amazon EMR 内で Flink ジョブを操作する
- Scala シェルを使用する
- Flink ウェブインターフェイスを検索する
- Flink オートスケーラー

- タスク回復とスケーリング操作のためのジョブ再起動時間の最適化
- Amazon EMR の Zeppelin から Flink ジョブを操作する
- Flink リリース履歴

Flink を使用してクラスターを作成する

クラスターは AWS Management Console、、 AWS CLI、または AWS SDK を使用して起動できます。

Flink がインストールされたクラスターをコンソールから起動するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [Software Configuration (ソフトウェア設定)] で、EMR Release emr-5.1.0 以降を選択します。
4. インストールする他のアプリケーションとともに、アプリケーションに [Flink] を選択します。
5. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

から Flink を使用してクラスターを起動するには AWS CLI

- 次のコマンドを使用してクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Flink \
--configurations file://./configurations.json \
--region us-east-1 \
--log-uri s3://myLogUri \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 \
--ec2-attributes KeyName=MyKeyName,InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Jar=command-runner.jar,Name=Flink_Long_Running_Session,\
Args=flink-yarn-session,-d
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

Amazon EMR で Flink を設定する

Hive Metastore と Glue Catalog を使用して Flink を設定する

Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Hive への Apache Flink コネクタを備えた Hive メタストアと AWS Glue Catalog の両方がサポートされています。このセクションでは、AWS Glue Catalog と Hive Metastore を Flink で使用するために必要な手順について概説します。

トピック

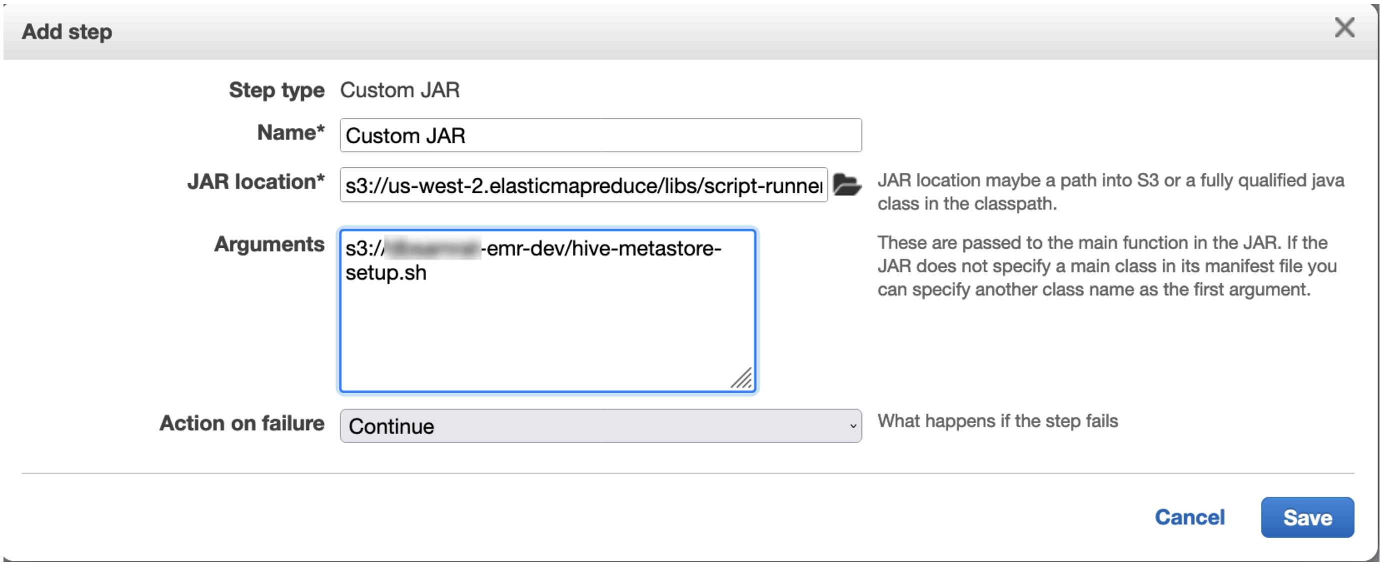
- Hive Metastore を使用する
- AWS Glue データカタログを使用する

Hive Metastore を使用する

1. リリース 6.9.0 以降の EMR でクラスターを作成し、少なくとも 2 つのアプリケーション (Hive と Flink) を使用します。
2. スクリプトランナーを使用して、次のスクリプトをステップ関数として実行します。

   `hive-metastore-setup.sh`

   ```
   sudo cp /usr/lib/hive/lib/antlr-runtime-3.5.2.jar /usr/lib/flink/lib
   sudo cp /usr/lib/hive/lib/hive-exec-3.1.3*.jar /lib/flink/lib
   sudo cp /usr/lib/hive/lib/libfb303-0.9.3.jar /lib/flink/lib
   sudo cp /usr/lib/flink/opt/flink-connector-hive_2.12-1.15.2.jar /lib/flink/lib
   sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/antlr-runtime-3.5.2.jar
   sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/hive-exec-3.1.3*.jar
   sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/libfb303-0.9.3.jar
   sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/flink-connector-hive_2.12-1.15.2.jar
   ```

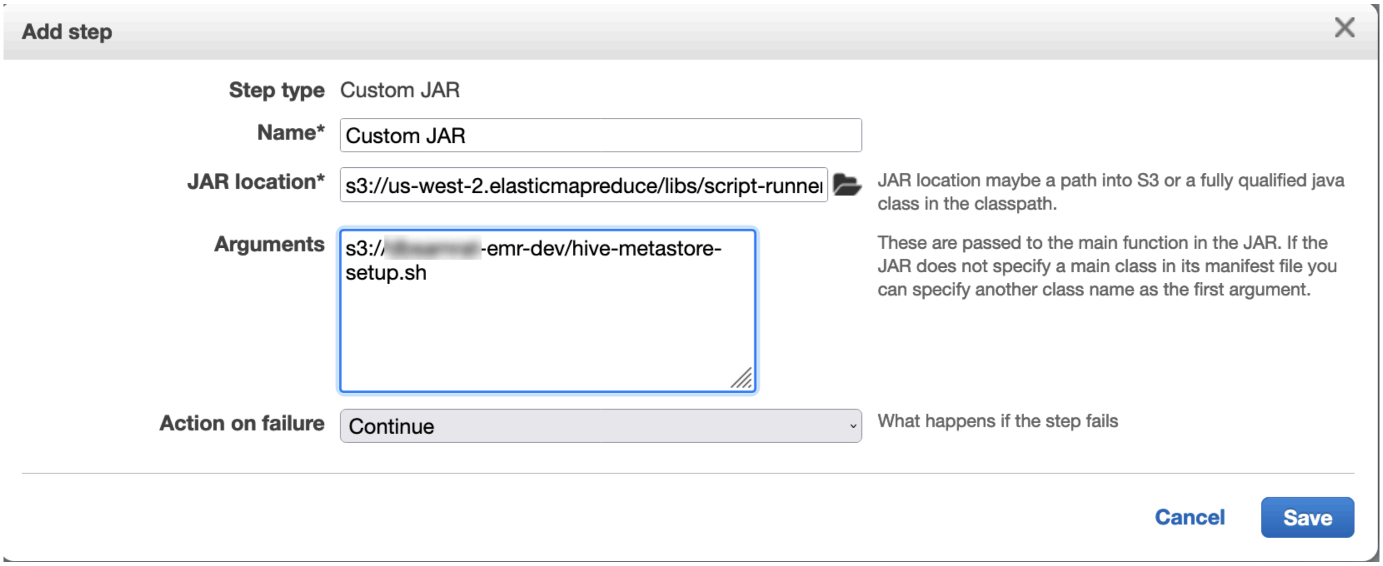


AWS Glue データカタログを使用する

1. リリース 6.9.0 以降の EMR でクラスターを作成し、少なくとも 2 つのアプリケーション (Hive と Flink) を使用します。
2. AWS Glue Data Catalog の設定にある [Hive テーブルメタデータに使用] を選択して、クラスターでデータカタログを有効にします。
3. スクリプトランナーを使用して、次のスクリプトをステップ関数として実行します (「Amazon EMR クラスターでのコマンドとスクリプトの実行」を参照).

glue-catalog-setup.sh

```
sudo cp /usr/lib/hive/auxlib/aws-glue-datacatalog-hive3-client.jar /usr/lib/flink/
lib
sudo cp /usr/lib/hive/lib/antlr-runtime-3.5.2.jar /usr/lib/flink/lib
sudo cp /usr/lib/hive/lib/hive-exec-3.1.3*.jar /lib/flink/lib
sudo cp /usr/lib/hive/lib/libfb303-0.9.3.jar /lib/flink/lib
sudo cp /usr/lib/flink/opt/flink-connector-hive_2.12-1.15.2.jar /lib/flink/lib
sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/aws-glue-datacatalog-hive3-client.jar
sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/antlr-runtime-3.5.2.jar
sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/hive-exec-3.1.3*.jar
sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/libfb303-0.9.3.jar
sudo chmod 755 /usr/lib/flink/lib/flink-connector-hive_2.12-1.15.2.jar
```



設定ファイルを使用して Flink を構成する

Amazon EMR 設定 API と設定ファイルを使用して、Flink を構成できます。API 内で設定可能なファイルは次のとおりです。

- `flink-conf.yaml`
- `log4j.properties`
- `flink-log4j-session`
- `log4j-cli.properties`

`flink-conf.yaml` は、Flink の主要な設定ファイルです。

Flink に使用するタスクスロットの数を AWS CLIから設定するには

1. 次のコンテンツを含む `configurations.json` ファイルを作成します。

```
[
    {
      "Classification": "flink-conf",
      "Properties": {
        "taskmanager.numberOfTaskSlots":"2"
      }
    }
```

```
]
```

2. 次に、次の設定でクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Flink \
--configurations file://./configurations.json \
--region us-east-1 \
--log-uri s3://myLogUri \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 \
--ec2-attributes KeyName=YourKeyName,InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole
```

> **Note**
>
> Flink API でも、一部の設定を変更できます。詳細については、Flink のドキュメントで「Concepts (概念)」を確認してください。
>
> Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

Parallelism オプション

アプリケーションの所有者であれば、Flink 内のタスクにどのリソースを割り当てるべきかを熟知しているでしょう。このドキュメントの例では、アプリケーションに使用するスレーブインスタンスと同じ数のタスクを使用します。初期レベルの並列処理では、多くの場合、そうすることをお勧めしますが、タスクスロットを使用して並列処理の粒度を高めることも可能です。ただし、一般的には、並列処理がインスタンスあたりの仮想コア数 (性能) を超えないようにする必要があります。Flink アーキテクチャの詳細については、Flink ドキュメントの「Concepts」を参照してください。

複数のプライマリノードを持つ EMR クラスターで Flink を設定する

Flink の JobManager は、複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターでプライマリノードがフェイルオーバーしている間も引き続き使用できます。また、Amazon EMR 5.28.0 以降では、JobManager の高可用性が自動的に有効になるため、手動設定は必要ありません。

Amazon EMR バージョン 5.27.0 以前では、JobManager は単一障害点です。JobManager に障害が発生すると、すべてのジョブ状態が失われ、実行中のジョブは再開されません。以下の例に示すように、アプリケーションの試行回数およびチェックポイントを設定し、ZooKeeper を Flink のステートストレージとして有効にすることで、JobManager の高可用性を有効にできます。

```
[
  {
    "Classification": "yarn-site",
    "Properties": {
      "yarn.resourcemanager.am.max-attempts": "10"
    }
  },
  {
    "Classification": "flink-conf",
    "Properties": {
        "yarn.application-attempts": "10",
        "high-availability": "zookeeper",
        "high-availability.zookeeper.quorum": "%{hiera('hadoop::zk')}",
        "high-availability.storageDir": "hdfs:///user/flink/recovery",
        "high-availability.zookeeper.path.root": "/flink"
    }
  }
]
```

YARN の最大アプリケーションマスター試行回数と Flink のアプリケーション試行回数の両方を設定する必要があります。詳細については、「YARN クラスターの高可用性の設定」を参照してください。再起動した JobManager が以前に完了したチェックポイントから実行中のジョブを回復するように、Flink のチェックポイントを設定することもできます。詳細については、「Flink のチェックポイント」を参照してください。

メモリプロセスサイズの設定

Flink 1.11.x を使用する Amazon EMR の各バージョンでは、JobManager (`jobmanager.memory.process.size`) と TaskManager (`taskmanager.memory.process.size`) の両方について、`flink-conf.yaml` で合計メモリプロセスサイズを設定する必要があります。これらの値を設定するには、設定 API を使用してクラスターを設定するか、SSH を介してこれらのフィールドのコメントを手動で解除します。Flink には、次のデフォルト値が設定されています。

- `jobmanager.memory.process.size`: 1600m

- `taskmanager.memory.process.size`: 1728m

JVM メタスペースとオーバーヘッドを除外する場合は、`taskmanager.memory.process.size` の代わりに Flink の合計メモリサイズ (`taskmanager.memory.flink.size`) を使用します。`taskmanager.memory.process.size` のデフォルト値は 1280m です。`taskmanager.memory.process.size` と `taskmanager.memory.process.size` の両方を設定することはお勧めしません。

Flink 1.12.0 以降を使用するいずれの Amazon EMR バージョンにも、Flink のオープンソースにリストされているデフォルト値が Amazon EMR のデフォルト値として設定されているため、自分で設定する必要はありません。

ログ出力ファイルサイズの設定

Flink アプリケーションコンテナは、`.out` ファイル、`.log` ファイル、`.err` ファイルの 3 種類のログファイルを作成して書き込みます。`.err` ファイルのみが圧縮されてファイルシステムから削除され、`.log` および `.out` ログファイルはファイルシステムに残ります。これらの出力ファイルを管理しやすく、クラスターを安定させるために、`log4j.properties` のログローテーションを設定して、ファイルの最大数を設定し、それらのサイズを制限できます。

Amazon EMR バージョン 5.30.0 以降

Amazon EMR 5.30.0 以降の場合、Flink では、設定分類名 `flink-log4j.` を持つ log4j2 ロギングフレームワークが使用されます。次の設定例は、log4j2 形式を示しています。

```
[
  {
    "Classification": "flink-log4j",
    "Properties": {
      "appender.main.name": "MainAppender",
      "appender.main.type": "RollingFile",
      "appender.main.append" : "false",
      "appender.main.fileName" : "${sys:log.file}",
      "appender.main.filePattern" : "${sys:log.file}.%i",
      "appender.main.layout.type" : "PatternLayout",
      "appender.main.layout.pattern" : "%d{yyyy-MM-dd HH:mm:ss,SSS} %-5p %-60c %x - %m
%n",
      "appender.main.policies.type" : "Policies",
      "appender.main.policies.size.type" : "SizeBasedTriggeringPolicy",
      "appender.main.policies.size.size" : "100MB",
      "appender.main.strategy.type" : "DefaultRolloverStrategy",
```

```
      "appender.main.strategy.max" : "10"
    },
  }
]
```

Amazon EMR バージョン 5.29.0 以降

Amazon EMR バージョン 5.29.0 以前の場合、Flink では log4j ロギングフレームワークが使用されます。次の設定例は、log4j 形式を示しています。

```
[
  {
    "Classification": "flink-log4j",
    "Properties": {
      "log4j.appender.file": "org.apache.log4j.RollingFileAppender",
      "log4j.appender.file.append":"true",
      # keep up to 4 files and each file size is limited to 100MB
      "log4j.appender.file.MaxFileSize":"100MB",
      "log4j.appender.file.MaxBackupIndex":4,
      "log4j.appender.file.layout":"org.apache.log4j.PatternLayout",
      "log4j.appender.file.layout.ConversionPattern":"%d{yyyy-MM-dd HH:mm:ss,SSS} %-5p
 %-60c %x - %m%n"
    },
  }
]
```

Flink が Java 11 で実行されるよう設定する

Amazon EMR リリース 6.12.0 以降では、Java 11 ランタイム環境で Flink を実行できます。このセクションでは、Java 11 ランタイム環境で Flink を実行するための設定について説明します。

トピック

Java 11 で実行する Flink をクラスター作成時に設定する

Flink を Java 11 ランタイムで実行する EMR クラスターを作成するには、次の手順に従います。Java 11 ランタイム環境を使用できるようにする設定ファイルは `flink-conf.yaml` です。

Console

Flink を Java 11 ランタイム環境で実行するクラスターをコンソールで作成するには

1. にサインインし AWS Management Console、https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [EMR on EC2] で [クラスター] を選択し、[クラスターの作成] を選択します。
3. Amazon EMR リリース 6.12.0 以降を選択し、Flink アプリケーションのインストールを選択します。クラスターにインストールする他のアプリケーションを選択します。
4. クラスターの設定をそのまま進めます。オプションの [ソフトウェア設定] セクションで、デフォルトの [設定の入力] オプションを使用して、次の設定を入力します。

```
[
    {
      "Classification": "flink-conf",
      "Properties": {
        "containerized.taskmanager.env.JAVA_HOME":"/usr/lib/jvm/jre-11",
        "containerized.master.env.JAVA_HOME":"/usr/lib/jvm/jre-11",
        "env.java.home":"/usr/lib/jvm/jre-11"
      }
    }
]
```

5. 続けてクラスターの設定と起動を行います。

AWS CLI

Flink を Java 11 ランタイム環境で実行するクラスターを CLI から作成するには

1. Flink を Java 11 で実行する設定ファイル `configurations.json` を作成する

```
[
    {
      "Classification": "flink-conf",
      "Properties": {
        "containerized.taskmanager.env.JAVA_HOME":"/usr/lib/jvm/jre-11",
        "containerized.master.env.JAVA_HOME":"/usr/lib/jvm/jre-11",
        "env.java.home":"/usr/lib/jvm/jre-11"
      }
```

```
    }
]
```

2. から AWS CLI、Amazon EMR リリース 6.12.0 以降で新しい EMR クラスターを作成し、次の例に示すように Flink アプリケーションをインストールします。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-6.12.0 \
--applications Name=Flink \
--configurations file://./configurations.json \
--region us-east-1 \
--log-uri s3://myLogUri \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 \
--ec2-attributes KeyName=YourKeyName,InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole
```

稼働しているクラスターの Java 11 で実行されている Flink を設定する

Flink を Java 11 ランタイムで実行している稼働中の EMR クラスターを更新するには、次の手順に従います。Java 11 ランタイム環境を使用できるようにする設定ファイルは `flink-conf.yaml` です。

Console

Flink を Java 11 ランタイムで実行している稼働中のクラスターをコンソールで更新するには

1. にサインインし AWS Management Console、https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [EMR on EC2] で [クラスター] を選択し、更新するクラスターを選択します。

> **Note**
>
> クラスターで Java 11 をサポートするには、Amazon EMR リリース 6.12.0 以降を使用する必要があります。

3. [設定] タブを選択します。
4. [インスタンスグループ設定] セクションで、更新する [実行中] のインスタンスグループを選択し、リストアクションメニューから [再設定] を選択します。

5. [属性の編集] オプションを使用してインスタンスグループを次のように再設定します。各設定の後に、[新しい設定の追加] を選択します。

分類	プロパティ	値
flink-conf	containerized.taskmanager.env.JAVA_HOME	/usr/lib/jvm/jre-11
flink-conf	containerized.master.env.JAVA_HOME	/usr/lib/jvm/jre-11
flink-conf	env.java.home	/usr/lib/jvm/jre-11

6. [変更の保存] を選択して設定を追加します。

AWS CLI

Flink を Java 11 ランタイムで実行している稼働中のクラスターを CLI から更新するには

modify-instance-groups コマンドを使用して、実行中のクラスター内のインスタンスグループに新しい設定を指定します。

1. 最初に、設定ファイル configurations.json を作成し、Java 11 を使用できるようにします。次の例にある *ig-1xxxxxxx9* を、再設定するインスタンスグループの ID に置き換えます。そのファイルを、modify-instance-groups コマンドを実行するディレクトリに保存します。

```
[
   {
      "InstanceGroupId":"ig-1xxxxxxx9",
      "Configurations":[
         {
            "Classification":"flink-conf",
            "Properties":{
              "containerized.taskmanager.env.JAVA_HOME":"/usr/lib/jvm/jre-11",
              "containerized.master.env.JAVA_HOME":"/usr/lib/jvm/jre-11",
              "env.java.home":"/usr/lib/jvm/jre-11"
            },
```

```
                "Configurations":[]
            }
        ]
    }
]
```

2. から AWS CLI、次のコマンドを実行します。再設定するインスタンスグループの ID を置き換えます。

```
aws emr modify-instance-groups --cluster-id j-2AL4XXXXXX5T9 \
--instance-groups file://configurations.json
```

稼働中のクラスターで Flink の Java ランタイムを確認します。

稼働中のクラスターの Java ランタイムを確認するには、「SSH を使用してプライマリノードに接続する」の説明どおり、プライマリノードに SSH でログインします。次に、以下のコマンドを実行します。

```
ps -ef | grep flink
```

ps コマンドで -ef オプションを指定すると、システム上で実行中のプロセスをすべて一覧表示できます。その出力を grep でフィルタリングすると、flink の文字列が含まれる行を検索できます。Java ランタイム環境 (JRE) の値 jre-XX を出力で確認します。次の出力の jre-11 は、Flink のランタイム環境として Java 11 が選択されることを示しています。

```
flink    19130      1  0 09:17 ?        00:00:15 /usr/lib/jvm/jre-11/bin/
java -Djava.io.tmpdir=/mnt/tmp -Dlog.file=/usr/lib/flink/log/flink-flink-
historyserver-0-ip-172-31-32-127.log -Dlog4j.configuration=file:/usr/lib/flink/conf/
log4j.properties -Dlog4j.configurationFile=file:/usr/lib/flink/conf/log4j.properties
 -Dlogback.configurationFile=file:/usr/lib/flink/conf/logback.xml -classpath /usr/lib/
flink/lib/flink-cep-1.17.0.jar:/usr/lib/flink/lib/flink-connector-files-1.17.0.jar:/
usr/lib/flink/lib/flink-csv-1.17.0.jar:/usr/lib/flink/lib/flink-json-1.17.0.jar:/usr/
lib/flink/lib/flink-scala_2.12-1.17.0.jar:/usr/lib/flink/lib/flink-table-api-java-
uber-1.17.0.jar:/usr/lib/flink/lib/flink-table-api-scala-bridge_2.12-1.17.0.
```

または、プライマリノードに SSH でログインし、コマンド flink-yarn-session -d を使用して Flink YARN セッションを開始します。次の例の出力には、Flink の Java Virtual Machine (JVM) として java-11-amazon-corretto が表示されています。

```
2023-05-29 10:38:14,129 INFO  org.apache.flink.configuration.GlobalConfiguration
     [] - Loading configuration property: containerized.master.env.JAVA_HOME, /usr/lib/
jvm/java-11-amazon-corretto.x86_64
```

Amazon EMR 内で Flink ジョブを操作する

Amazon EMR 上でコンソールを通じて Flink とやりとりするにはいくつかの方法があります。ResourceManager の UI 追跡にある Flink インターフェイスと、コマンドライン上です。このいずれの場合にも、JAR ファイルを Flink アプリケーションに送信できます。送信した JAR ファイルは Flink JobManager によって管理されるジョブになります。JobManager は、Flink セッションのアプリケーションマスターデーモンをホストする YARN ノードで動作しています。

長期実行のクラスターまたは一時的なクラスターで、YARN ジョブとして Flink アプリケーションを実行できます。長期実行のジョブでは、複数の Flink ジョブを Amazon EMR で実行する 1 つの Flink クラスターに送信できます。一時的なクラスターで Flink ジョブを稼働する場合、Amazon EMR クラスターは Flink アプリケーションを実行するために必要な時間のためだけに存在します。そのため、使用したリソースと費やした時間に対してのみ課金されます。Flink ジョブは、Amazon EMR `AddSteps` API オペレーション、 オペレーションへのステップ引数、 `RunJobFlow` または `create-cluster` コマンドを使用して AWS CLI `add-steps`送信できます。

長期実行のクラスターのステップとして、Flink YARN アプリケーションを起動します

複数のクライアントが YARN API オペレーションを介して作業を送信できる Flink アプリケーションを起動するには、クラスターを作成するか、既存のクラスターに Flink アプリケーションを追加する必要があります。新しいクラスターを作成する手順については、「Flink を使用してクラスターを作成する」を参照してください。既存のクラスターで YARN セッションを開始するには、コンソール、 AWS CLI、Java SDK から次のステップに従います。

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.5.0 では、実行を簡素化するための `yarn-session.sh` スクリプトのラッパーとして、`flink-yarn-session` コマンドが追加されました。以前のバージョンの Amazon EMR を使用している場合は、コンソールの引数、または AWS CLI コマンドの `Args` を `bash -c "/usr/lib/flink/bin/yarn-session.sh -d"` で置き換えます。

コンソールを使用して Flink ジョブを既存のクラスターに送信するには

`flink-yarn-session` コマンドを使用して、Flink セッションを既存のクラスターに送信します。

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. クラスターリストで、以前に起動したクラスターを選択します。
3. クラスターの詳細ページで、[Steps (ステップ)]、[Add Step (ステップの追加)] の順に選択します。
4. 次のガイドラインに従ってパラメータを入力し、[追加] を選択します。

パラメータ	説明
ステップタイプ	カスタム JAR
名前	ステップを識別するのに役立つ名前。例えば、*<example-flink-step-name>* などです。
Jar location	command-runner.jar
引数	`flink-yarn-session` コマンドとアプリケーションに適切な引数。たとえば、*flink-yarn-session -d* は、デタッチ状態 (-d) で、 YARN クラスターで Flink セッションを開始します。引数の詳細については、最新の Flink ドキュメントの「YARN Setup (YARN の設定)」を参照してください。

を使用して既存のクラスターで Flink ジョブを送信するには AWS CLI

- Flink ジョブを長期実行クラスターに追加するには、`add-steps` コマンドを使用します。次のコマンド例では、YARN クラスター内において Flink セッションが切り離された状態 (-d) で開始されるよう、`Args="flink-yarn-session", "-d"` を指定しています。引数の詳細については、最新の Flink ドキュメントの「YARN Setup (YARN の設定)」を参照してください。

```
aws emr add-steps --cluster-id <j-XXXXXXXX> --steps Type=CUSTOM_JAR,Name=<example-flink-step-name>,Jar=command-runner.jar,Args="flink-yarn-session","-d"
```

長期実行クラスター上の既存の Flink アプリケーションに作業を送信する

長期実行クラスターに既存の Flink アプリケーションがある場合は、作業を送信するために、クラスターの Flink アプリケーション ID を指定できます。アプリケーション ID を取得するには、 `yarn application -list`で、 AWS CLI または [YarnClient](https://hadoop.apache.org/docs/current/api/org/apache/hadoop/yarn/client/api/YarnClient.html) API オペレーションを使用して を実行します。

```
$ yarn application -list
16/09/07 19:32:13 INFO client.RMProxy: Connecting to ResourceManager at
 ip-10-181-83-19.ec2.internal/10.181.83.19:8032
Total number of applications (application-types: [] and states: [SUBMITTED, ACCEPTED,
 RUNNING]):1
Application-Id     Application-Name     Application-Type     User     Queue     State
 Final-State     Progress     Tracking-URL
application_1473169569237_0002     Flink session with 14 TaskManagers (detached)
   Apache Flink      hadoop     default            RUNNING          UNDEFINED
 100% http://ip-10-136-154-194.ec2.internal:33089
```

この Flink セッションのアプリケーション ID は です。これを使用して`application_1473169569237_0002`、 AWS CLI または SDK からアプリケーションに作業を送信できます。

Example SDK for Java

```
List<StepConfig> stepConfigs = new ArrayList<StepConfig>();

HadoopJarStepConfig flinkWordCountConf = new HadoopJarStepConfig()
    .withJar("command-runner.jar")
    .withArgs("flink", "run", "-m", "yarn-cluster", "-yid",
 "application_1473169569237_0002", "-yn", "2", "/usr/lib/flink/examples/streaming/
WordCount.jar",
      "--input", "s3://amzn-s3-demo-bucket/pg11.txt", "--output", "s3://amzn-s3-demo-
bucket/alice2/");

StepConfig flinkRunWordCount = new StepConfig()
  .withName("Flink add a wordcount step")
  .withActionOnFailure("CONTINUE")
```

```
  .withHadoopJarStep(flinkWordCountConf);

stepConfigs.add(flinkRunWordCount);

AddJobFlowStepsResult res = emr.addJobFlowSteps(new AddJobFlowStepsRequest()
   .withJobFlowId("myClusterId")
   .withSteps(stepConfigs));
```

Example AWS CLI

```
aws emr add-steps --cluster-id <j-XXXXXXXX> \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name=Flink_Submit_To_Long_Running,Jar=command-runner.jar,\
Args="flink","run","-m","yarn-cluster","-yid","application_1473169569237_0002",\
"/usr/lib/flink/examples/streaming/WordCount.jar",\
"--input","s3://amzn-s3-demo-bucket/pg11.txt","--output","s3://amzn-s3-demo-bucket/
alice2/" \
--region <region-code>
```

一時的な Flink ジョブを送信する

次の例では Flink ジョブを実行する一時的なクラスターを起動し、完了時に終了します。

Example SDK for Java

```
import java.util.ArrayList;
import java.util.List;
import com.amazonaws.AmazonClientException;
import com.amazonaws.auth.AWSCredentials;
import com.amazonaws.auth.AWSStaticCredentialsProvider;
import com.amazonaws.auth.profile.ProfileCredentialsProvider;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.AmazonElasticMapReduce;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.AmazonElasticMapReduceClientBuilder;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.model.*;

public class Main_test {

 public static void main(String[] args) {
  AWSCredentials credentials_profile = null;
  try {
   credentials_profile = new ProfileCredentialsProvider("default").getCredentials();
  } catch (Exception e) {
   throw new AmazonClientException(
     "Cannot load credentials from .aws/credentials file. " +
```

```
      "Make sure that the credentials file exists and the profile name is specified
 within it.",
      e);
  }

  AmazonElasticMapReduce emr = AmazonElasticMapReduceClientBuilder.standard()
    .withCredentials(new AWSStaticCredentialsProvider(credentials_profile))
    .withRegion(Regions.US_WEST_1)
    .build();

  List<StepConfig> stepConfigs = new ArrayList<StepConfig>();
  HadoopJarStepConfig flinkWordCountConf = new HadoopJarStepConfig()
    .withJar("command-runner.jar")
    .withArgs("bash", "-c", "flink", "run", "-m", "yarn-cluster", "-yn", "2",
      "/usr/lib/flink/examples/streaming/WordCount.jar", "--input", "s3://path/to/
input-file.txt", "--output",
      "s3://path/to/output/");

  StepConfig flinkRunWordCountStep = new StepConfig()
    .withName("Flink add a wordcount step and terminate")
    .withActionOnFailure("CONTINUE")
    .withHadoopJarStep(flinkWordCountConf);

  stepConfigs.add(flinkRunWordCountStep);

  Application flink = new Application().withName("Flink");

  RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
    .withName("flink-transient")
    .withReleaseLabel("emr-5.20.0")
    .withApplications(flink)
    .withServiceRole("EMR_DefaultRole")
    .withJobFlowRole("EMR_EC2_DefaultRole")
    .withLogUri("s3://path/to/my/logfiles")
    .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
      .withEc2KeyName("myEc2Key")
      .withEc2SubnetId("subnet-12ab3c45")
      .withInstanceCount(3)
      .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(false)
      .withMasterInstanceType("m4.large")
      .withSlaveInstanceType("m4.large"))
    .withSteps(stepConfigs);

  RunJobFlowResult result = emr.runJobFlow(request);
```

```
  System.out.println("The cluster ID is " + result.toString());

 }

}
```

Example AWS CLI

Flink ジョブの完了時に終了する一時的なクラスターを作成するには、`create-cluster` サブコマンドを使用します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-5.2.1 \
--name "Flink_Transient" \
--applications Name=Flink \
--configurations file://./configurations.json \
--region us-east-1 \
--log-uri s3://myLogUri \
--auto-terminate
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 \
--ec2-attributes KeyName=<YourKeyName>,InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Jar=command-runner.jar,Name=Flink_Long_Running_Session,\
Args="bash","-c","\"flink run -m yarn-cluster /usr/lib/flink/examples/streaming/
WordCount.jar
--input s3://amzn-s3-demo-bucket/pg11.txt --output s3://amzn-s3-demo-bucket/alice/""
```

Scala シェルを使用する

EMR クラスターの Flink Scala シェルは、YARN の新規セッションを開始する目的でのみ設定できます。次の手順に従って Scala シェルを使用できます。

プライマリノードで Flink Scala シェルを使用する

1. 「SSH を使用してプライマリノードに接続する」の説明どおり、プライマリノードに SSH でログインします。
2. 次のように入力してシェルを開始します。

   Amazon EMR バージョン 5.5.0 以降では、次のコマンドを使用して、1 つの TaskManager で Scala シェルの Yarn クラスターを起動できます。

```
% flink-scala-shell yarn 1
```

以前のバージョンの Amazon EMR では、以下を使用します。

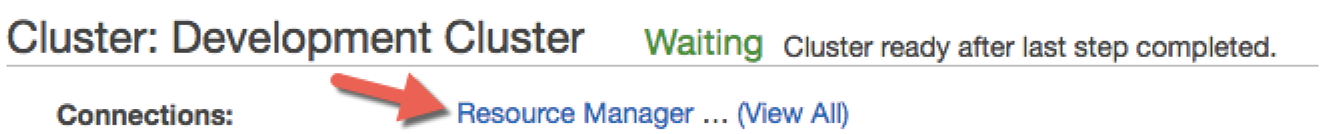
```
% /usr/lib/flink/bin/start-scala-shell.sh yarn 1
```

これで Flink Scala を起動して、インタラクティブに Flink を使用できます。他のインターフェイスやオプションと同様に、シェルから起動するタスクの数に応じて、例に使用されている -n オプションの値を増やせます。

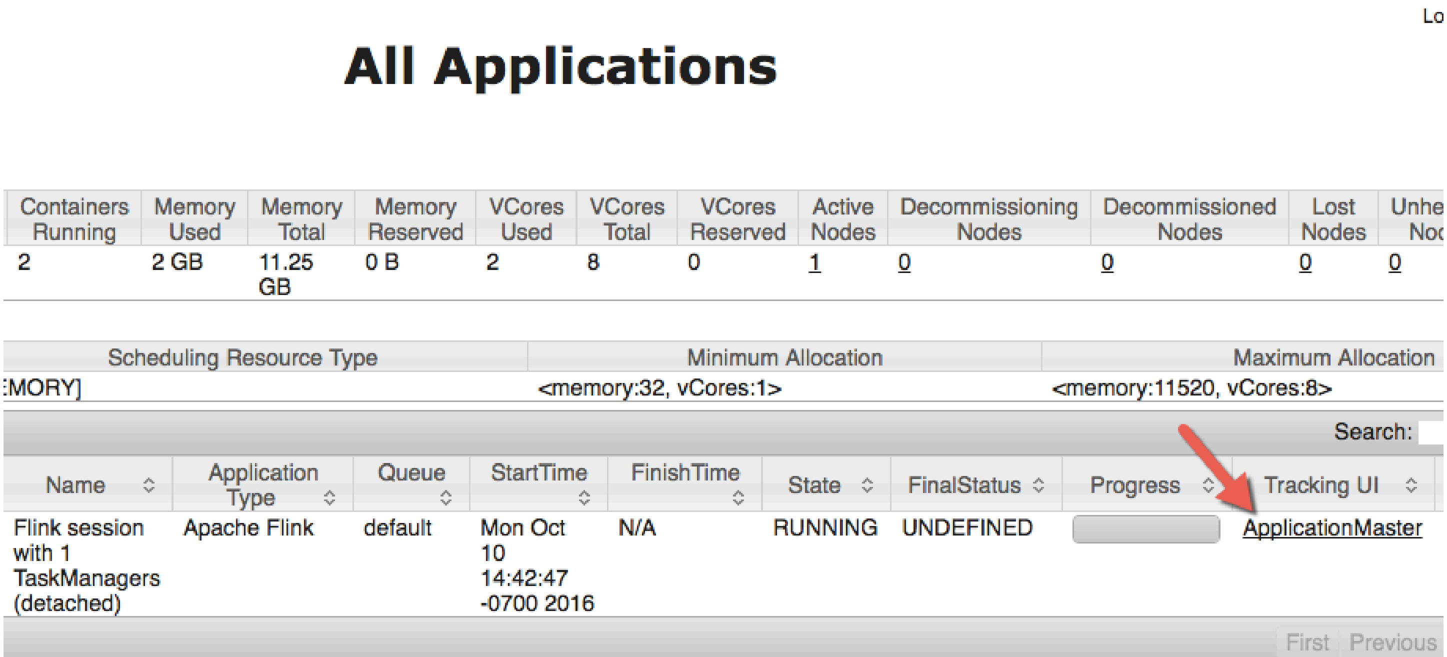
詳細については、Apache Flink の公式ドキュメントの「Scala REPL」を参照してください。

Flink ウェブインターフェイスを検索する

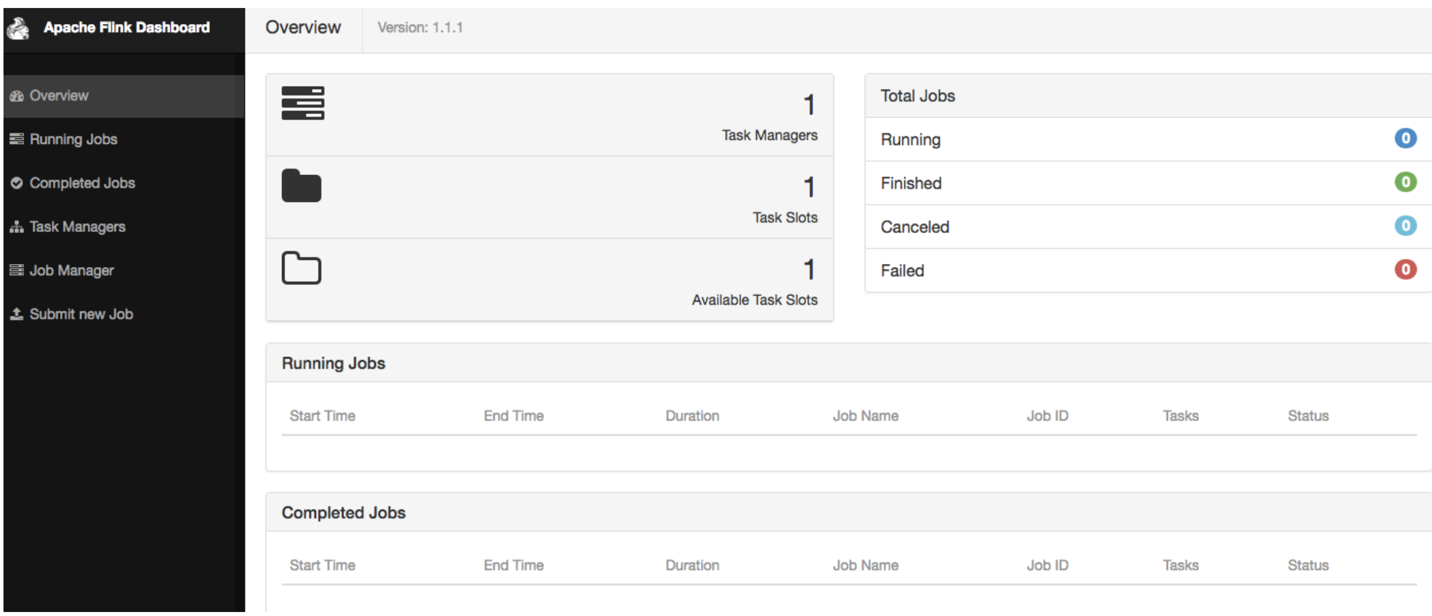
Flink ウェブインターフェイスは、Flink アプリケーションホストに属するアプリケーションマスターによってホストされています。このインターフェイスによっても、ジョブとしての JAR を送信したり、他のジョブについて現在のステータスを表示したりできます。Flink ウェブインターフェイスは、実行中の Flink セッションがあるかぎりはアクティブです。長期実行 YARN ジョブが既にアクティブになっている場合は、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」トピックの手順に従って、YARN ResourceManager に接続できます。たとえば、SSH トンネルを設定していて、ブラウザでプロキシを有効にしている場合、EMR クラスターの詳細ページで、[Connections] (接続) に ResourceManager 接続を選択します。



ResourceManager を見つけたら、Flink セッションをホストしている YARN アプリケーションを選択します。[Tracking UI (UI 追跡)] 列でリンクを選択します。



Flink ウェブインターフェイスでは、設定を表示して、独自のカスタム JAR をジョブとして送信したり、実行中のジョブをモニタリングしたりできます。



Flink オートスケーラー

概要

Amazon EMR リリース 6.15.0 以降では、Flink オートスケーラーがサポートされています。ジョブオートスケーラー機能は、実行中の Flink ストリーミングジョブからメトリクスを収集し、個々の

ジョブ頂点を自動的にスケーリングします。これにより、バックプレッシャーが軽減され、設定した使用率目標を達成できます。

詳細については、「Apache Flink Kubernetes Operator ドキュメント」の「オートスケーラー」セクションを参照してください。

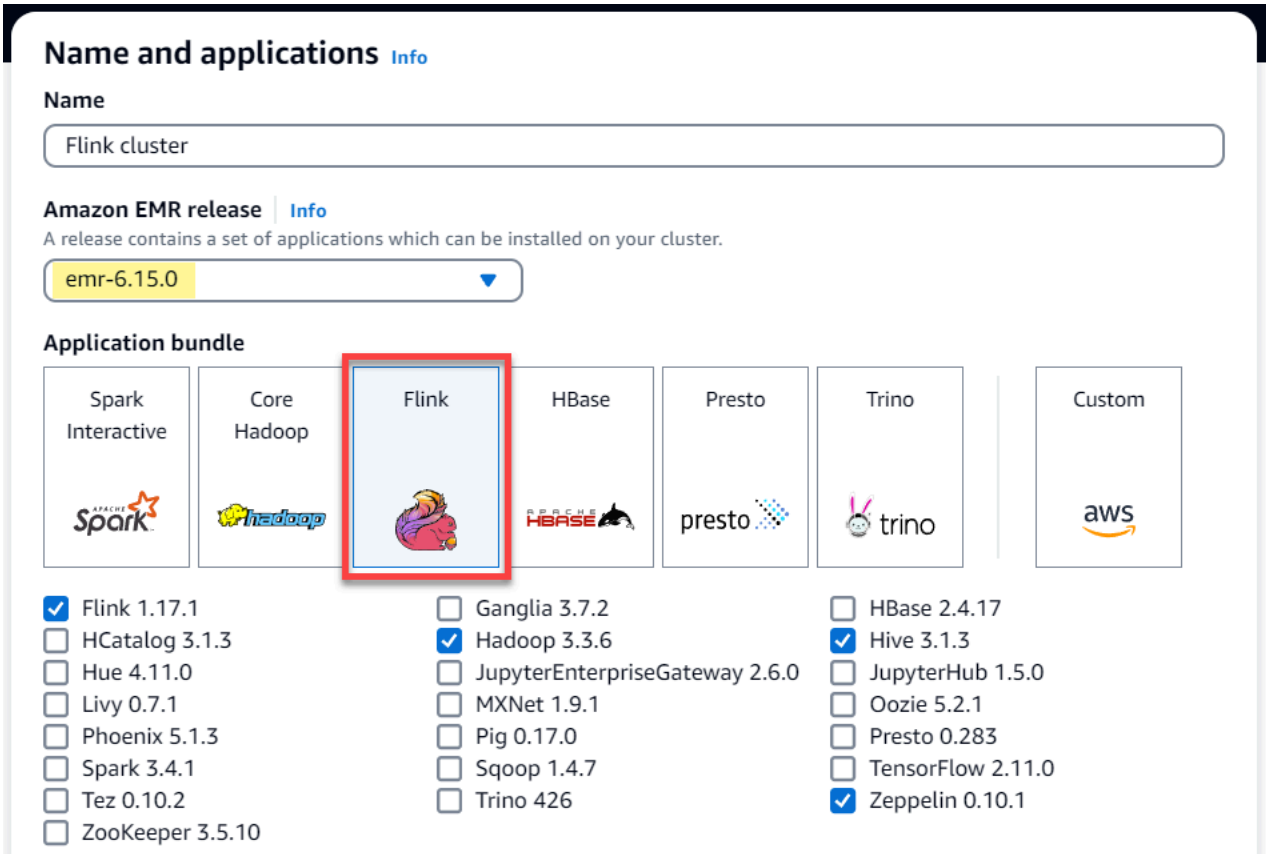
考慮事項

- Flink オートスケーラーは、Amazon EMR 6.15.0 以降でサポートされています。
- Flink Autoscaler は、ストリーミングジョブでのみサポートされています。
- アダプティブスケジューラーのみがサポートされます。デフォルトのスケジューラーはサポートされていません。
- 動的なリソースプロビジョニングを可能にするために、クラスタースケーリングを有効化することを推奨します。メトリクスの評価は 5～10 秒ごとに行われるため、Amazon EMR Managed Scaling が推奨されます。この間隔では、クラスターは必要なクラスターリソースの変化により簡単に適応できます。

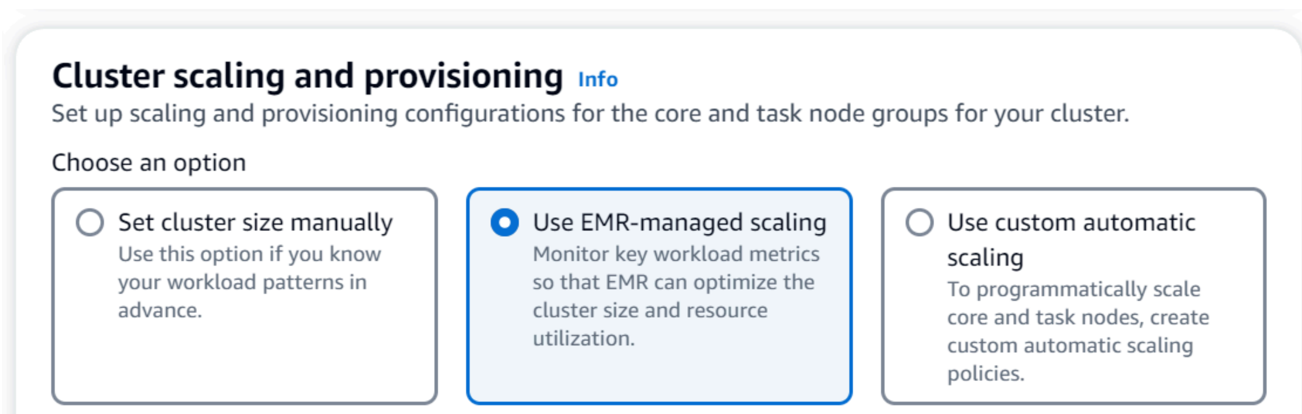
オートスケーラーを有効にする

EC2 クラスターで Amazon EMR を作成するときに、次のステップを使用して Flink オートスケーラーを有効にします。

1. Amazon EMR コンソールで、EMR クラスターを新規作成します。
   a. Amazon EMR リリース `emr-6.15.0` 以降を選択します。[Flink] アプリケーションバンドルを選択し、クラスターに含めるその他のアプリケーションを選択します。



b. [クラスターのスケーリングとプロビジョニング] で [EMR マネージドスケーリングを使用] を選択します。



2. [ソフトウェア設定] セクションで、次の設定を入力して Flink オートスケーラーを有効にします。テストシナリオでは、検証を容易にするために、決定間隔、メトリクスウィンドウ間隔、および安定化間隔を低い値に設定し、ジョブがすぐにスケーリングを決定できるようにします。

```
[
  {
    "Classification": "flink-conf",
```

```
    "Properties": {
      "job.autoscaler.enabled": "true",
      "jobmanager.scheduler": "adaptive",
      "job.autoscaler.stabilization.interval": "60s",
      "job.autoscaler.metrics.window": "60s",
      "job.autoscaler.decision.interval": "10s",
      "job.autoscaler.debug.logs.interval": "60s"
    }
  }
]
```

3. 必要に応じて他の設定を選択または構成し、Flink オートスケーラー対応クラスターを作成します。

オートスケーラーの設定

このセクションでは、特定のニーズに基づいて変更できる構成のうちほとんどについて説明します。

> **Note**
>
> `time`、`interval`、`window` 設定のような時間ベースの構成では、単位が指定されていない場合のデフォルト単位はミリ秒です。そのため、サフィックスなしの `30` の値は 30 ミリ秒になります。他の時間単位には、秒には `s`、分には `m`、時間には `h` という適切なサフィックスを含めてください。

トピック

- オートスケーラーのループ設定
- メトリクスの集計と履歴の設定
- ジョブ頂点レベルの設定
- バックログ処理設定
- スケール操作設定

オートスケーラーのループ設定

オートスケーラーは、設定可能な数回の時間間隔ごとにジョブ頂点レベルのメトリクスを取得してスケールアクションに変換し、新しいジョブ頂点の並列処理を推定して、ジョブスケジューラーに推奨

します。メトリクスは、ジョブの再起動時間とクラスターの安定化間隔が過ぎた後にのみ収集されます。

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
job.autoscaler.enabled	false	Flink クラスターでオートスケーリングを有効にします。	true, false
job.autoscaler.decision.interval	60s	オートスケーラーの決定間隔。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h
job.autoscaler.restart.time	3m	オペレーターが履歴から確実に再起動を判断できるようになるまでの予想される再起動時間。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h
job.autoscaler.stabilization.interval	300s	新しいスケーリングが実行されない安定化期間。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h
job.autoscaler.debug.logs.interval	300s	オートスケーラーのデバッグログの間隔。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h

メトリクスの集計と履歴の設定

オートスケーラーはメトリクスを取得し、時間ベースのスライディングウィンドウに沿って集計し、評価してスケーリングを決定します。各ジョブ頂点のスケーリング決定履歴は、新しい並列処理の見積もりに利用されます。これらには、時間ベースの有効期限と履歴サイズ (少なくとも 1) の両方があります。

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
job.autoscaler.metrics.window	600s	Scaling metrics aggregation window size.	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
job.autoscaler.history.max.count	3	頂点ごとに保持できる過去のスケーリング決定の最大数。	1 ～Integer.MAX_VALUE
job.autoscaler.history.max.age	24h	頂点ごとに保持する過去のスケーリング決定の最小数。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h

ジョブ頂点レベルの設定

各ジョブの頂点の並列処理は、ターゲットの使用率に基づいて変更され、最小/最大並列処理の制限が適用されます。目標使用率を 100% に近い値 (つまり 1) に設定することは推奨されず、使用率境界は中間の負荷変動を処理するバッファーの役割を果たします。

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
job.autoscaler.target.utilization	0.7	目標とする頂点使用率。	0 - 1
job.autoscaler.target.utilization.boundary	0.4	目標とする頂点利用率境界。現在の処理速度が [target_rate / (target_utilization - boundary) および (target_rate / (target_utilization + boundary)] 以内の場合、スケーリングは実行されません。	0 - 1
job.autoscaler.vertex.min-parallelism	1	オートスケーラーが使用できる最低限の並列処理。	0 - 200
job.autoscaler.vertex.max-parallelism	200	オートスケーラーが使用できる最大並列処理。この制限	0 - 200

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
		は、Flink 構成または各オペレーターで直接構成された最大並列処理よりも高い場合、無視されることに注意してください。	

バックログ処理設定

ジョブ頂点には、スケール操作期間中に蓄積される保留中のイベント、つまりバックログを処理するための追加リソースが必要です。これは catch-up 期間とも呼ばれます。バックログの処理時間が設定された lag -threshold 値を超えると、ジョブ頂点ターゲットの使用率は最大レベルまで増加します。これにより、バックログの処理中に不要なスケーリング操作が行われるのを防ぐことができます。

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
job.autoscaler.backlog-processing.lag-threshold	5m	ラグのしきい値。ラグの原因となる保留中のメッセージを削除しながら、不要なスケーリングを防止します。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h
job.autoscaler.catch-up.duration	15m	スケーリング操作後にバックログを完全に処理するまでの目標時間。0 に設定すると、バックログベースのスケーリングが無効になります。	30 (デフォルト単位はミリ秒)、5m、1h

スケール操作設定

オートスケーラーは、猶予期間内のスケールアップ操作の直後には、スケールダウン操作を実行しません。これにより、一時的な負荷変動によって発生する、スケールアップ、スケールダウンが繰り返し発生する不要なサイクルを防ぐことができます。

スケールダウン操作比率を利用して並列処理を徐々に減らし、一時的な負荷の急上昇に対応するためにリソースを解放することができます。また、大規模なスケールダウンの後に不要かつマイナーなスケールアップ操作が行われるのを防ぐのにも役立ちます。

過去のジョブ頂点スケーリング決定履歴に基づいて無効なスケールアップ操作を検出し、さらなる並列処理の変更を防ぐことができます。

設定キー	デフォルト値	説明	値の例
`job.autoscaler.scale-up.grace-period`	`1h`	頂点をスケールアップした後に、その頂点をスケールダウンできない期間。	`30` (デフォルト単位はミリ秒)、`5m`、`1h`
`job.autoscaler.scale-down.max-factor`	`0.6`	最大スケールダウン係数。`1` の値は、スケールダウンに制限がなく、`0.6` はジョブを元の並列処理の 60% でのみスケールダウンできることを意味します。	`0` - `1`
`job.autoscaler.scale-up.max-factor`	`100000.`	最大スケールアップ率。`2.0` の値は、現在の並列処理の 200% でのみジョブをスケールアップできることを意味します。	`0` - `Integer.MAX_VALUE`
`job.autoscaler.scaling.effectiveness.detection.enabled`	`false`	効果のないスケーリング操作の検出を有効にし、オートスケーラーが今後のスケールアップをブロックできるようにするかどうか。	`true`, `false`

タスク回復とスケーリング操作のためのジョブ再起動時間の最適化

タスクが失敗したり、スケーリング操作が発生したりすると、Flink は最後に完了したチェックポイントからタスクを再実行しようとします。チェックポイントの状態のサイズと並列タスクの数によっては、再起動プロセスの実行に 1 分以上かかる場合があります。再起動中は、ジョブのバックログ

タスクが蓄積されることがあります。ただし、Flink が実行グラフの回復と再開の速度を最適化してジョブの安定性を高める方法はいくつかあります。

このページでは、Amazon EMR Flink がタスクリカバリまたはスケーリング操作中のジョブの再起動時間を改善できるいくつかの方法について説明します。

トピック

タスクローカルリカバリ

> Note
>
> タスクローカルリカバリは、Amazon EMR 6.0.0 以降でサポートされています。

Flink チェックポイントでは、各タスクが Flink が Amazon S3 などの分散ストレージに書き込む状態のスナップショットを作成します。復旧時には、タスクは分散ストレージから状態を復元します。分散ストレージはすべてのノードからアクセスできるため、耐障害性があり、再スケーリング中に状態を再分散できます。

ただし、リモート分散ストアには欠点もあります。すべてのタスクはネットワーク経由でリモートロケーションから状態を読み取る必要があります。そのため、タスクの回復やスケーリング操作中に大きな状態の回復時間が長くなる可能性があります。

リカバリ時間が長いというこの問題は、タスクローカルリカバリによって解決できます。タスクはチェックポイントの状態を、ローカルディスクなど、タスクのローカルにあるセカンダリストレージに書き込みます。また、プライマリストレージ（この場合は Amazon S3）に状態が保存されます。復元中、スケジューラーは、タスクが以前に実行されていたのと同じタスクマネージャー上でタスクをスケジュールし、リモート状態ストアから読み取るのではなく、ローカル状態ストアから復元できるようにします。詳細については、「Apache Flink ドキュメント」の「タスクローカルリカバリ」を参照してください。

サンプルジョブを使ったベンチマークテストでは、タスクローカルリカバリを有効にすると、リカバリ時間が数分から数秒に短縮されたことがわかりました。

タスクローカルリカバリを有効にするには、flink-conf.yaml ファイルで次の設定を行います。チェックポイント間隔の値をミリ秒単位で指定します。

```
state.backend.local-recovery: true
state.backend: hasmap or rocksdb
state.checkpoints.dir: s3://storage-location-bucket-path/checkpoint
execution.checkpointing.interval: 15000
```

汎用ログベースのインクリメンタルチェックポイント

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.10.0 以降では、汎用ログベースのインクリメンタルチェックポイントがサポートされています。

チェックポイントの速度を向上させるため、汎用ログベースのインクリメンタルチェックポイントが Flink 1.16 に追加されました。チェックポイント間隔を短くすると、回復後に再処理する必要のあるイベントが少なくなるため、多くの場合回復作業が削減されます。詳細については、「Apache Flink ブログ」の「[汎用ログベースのインクリメンタルチェックポイントによるチェックポイントの速度と安定性の向上]()」を参照してください。

サンプルジョブを使用したベンチマークテストでは、汎用ログベースのインクリメンタルチェックポイントを使用すると、チェックポイントにかかる時間が数分から数秒に短縮されたことがわかりました。

汎用ログベースのインクリメンタルチェックポイントを有効にするには、flink-conf.yaml ファイルで次の設定を行います。チェックポイント間隔の値をミリ秒単位で指定します。

```
state.backend.changelog.enabled: true
state.backend.changelog.storage: filesystem
dstl.dfs.base-path: s3://bucket-path/changelog
state.backend.local-recovery: true
state.backend: rocksdb
state.checkpoints.dir: s3://bucket-path/checkpoint
execution.checkpointing.interval: 15000
```

きめ細かなリカバリ

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.0.0 以降では、デフォルトスケジューラーのきめ細かな復元がサポートされています。Amazon EMR 6.15.0 以降では、アダプティブスケジューラーでのきめ細かなリカバリのサポートを利用できます。

実行中にタスクが失敗した場合、Flink は実行グラフ全体をリセットし、最後に完了したチェックポイントから完全な再実行をトリガーします。これは、失敗したタスクを単に再実行するよりもコストがかかります。きめ細かい復元では、失敗したタスクのパイプラインに接続されたコンポーネントのみを再起動します。次の例では、ジョブグラフには 5 つの頂点 (A から E) があります。頂点間のすべての接続はポイントごとの分散でパイプライン化され、ジョブの `parallelism.default` は 2 に設定されます。

```
A # B # C # D # E
```

この例では、合計 10 個のタスクが実行されています。最初のパイプライン (a1 から e1) は TaskManager (TM1) で実行され、2 番目のパイプライン (a2 から e2) は別の TaskManager (TM2) 上で実行されます。

```
a1 # b1 # c1 # d1 # e1
a2 # b2 # c2 # d2 # e2
```

パイプライン接続されたコンポーネントには、`a1 # e1` と `a2 # e2` の 2 つがあります。TM1 または TM2 のどちらか一方で障害が発生しても、影響を受けるのは、その TaskManager が実行されていたパイプライン内の 5 つのタスクのみです。再起動戦略では、影響を受けるパイプラインコンポーネントのみを起動します。

きめ細かいリカバリは、完全に並列した Flink ジョブでのみ機能します。`keyBy()` または `redistribute()` オペレーションではサポートされていません。詳細については、「Flink 改善提案」Jira プロジェクトの「[FLIP-1: タスク障害からのきめ細かな回復](FLIP-1)」を参照してください。

きめ細かい復元を有効にするには、`flink-conf.yaml` ファイルで次の設定を行います。

```
jobmanager.execution.failover-strategy: region
restart-strategy: exponential-delay or fixed-delay
```

アダプティブスケジューラーに組み込まれた再起動メカニズム

> **Note**
>
> アダプティブスケジューラーの複合再起動メカニズムは、Amazon EMR 6.15.0 以降でサポートされています。

アダプティブスケジューラーは、使用可能なスロットに基づいてジョブの並列処理を調整できます。設定したジョブの並列処理を満たすだけの十分なスロットがない場合は、自動的に並列処理を減らします 新しいスロットが使用可能になると、ジョブは設定されたジョブの並列処理に合わせて再びスケールアップされます。適応型スケジューラーは、利用可能なリソースが十分になくなってもジョブのダウンタイムを回避します。これは Flink Autoscaler でサポートされているスケジューラーです。これらの理由から、Amazon EMR Flink を使用するアダプティブスケジューラーをお勧めします。ただし、アダプティブスケジューラーは、新しいリソースが追加されるたびに 1 回再起動するなど、短期間に複数の再起動を行う場合があります。これにより、ジョブのパフォーマンスが低下する可能性があります。

Amazon EMR 6.15.0 以降では、Flink のアダプティブスケジューラーに再起動メカニズムが組み合わされています。このメカニズムは、最初のリソースが追加されると再起動ウィンドウを開き、設定したウィンドウ間隔 (デフォルトの 1 分) まで待機します。並列処理を設定してジョブを実行するのに十分なリソースがあるとき、または間隔がタイムアウトになったときに、1 回再起動します。

サンプルジョブを使用したベンチマークテストでは、アダプティブスケジューラーと Flink オートスケーラーを使用すると、この機能はデフォルトの動作よりも 10% 多くのレコードを処理することがわかりました。

複合再起動メカニズムを有効にするには、`flink-conf.yaml` ファイルで以下の設定を行います。

```
jobmanager.adaptive-scheduler.combined-restart.enabled: true
jobmanager.adaptive-scheduler.combined-restart.window-interval: 1m
```

Amazon EMR の Zeppelin から Flink ジョブを操作する

序章

Amazon EMR リリース 6.10.0 以降では、[Apache Zeppelin](https://zeppelin.apache.org/) と Apache Flink の連携がサポートされており、Flink ジョブを Zeppelin ノートブックからインタラクティブに送信できます。Flink イ

ンタープリタを使用すると、Flink クエリの実行、Flink ストリーミングおよびバッチのジョブ定義、Zeppelin ノートブック内での出力の視覚化を行えます。Flink インタープリタは、Flink REST API をベースに構築されています。これにより、Zeppelin 環境内から Flink ジョブにアクセスして操作し、データの処理と分析をリアルタイムに実行できます。

Flink インタープリタには 4 つのサブインタープリターがあります。これらは、異なる目的を持ちますが、すべて JVM 内に存在し、事前設定された、Flink への同じエントリポイント (`ExecutionEnviroment`、`StreamExecutionEnvironment`、`BatchTableEnvironment`、`StreamTab` を共有しています。具体的なインタープリタは、次のとおりです。

- `%flink` — `ExecutionEnvironment`、`StreamExecutionEnvironment`、`BatchTableEnvironment`、`Stream` を作成し、Scala 環境を提供する
- `%flink.pyflink` — Python 環境を提供する
- `%flink.ssql` — ストリーミング SQL 環境を提供する
- `%flink.bsql` — バッチ SQL 環境を提供する

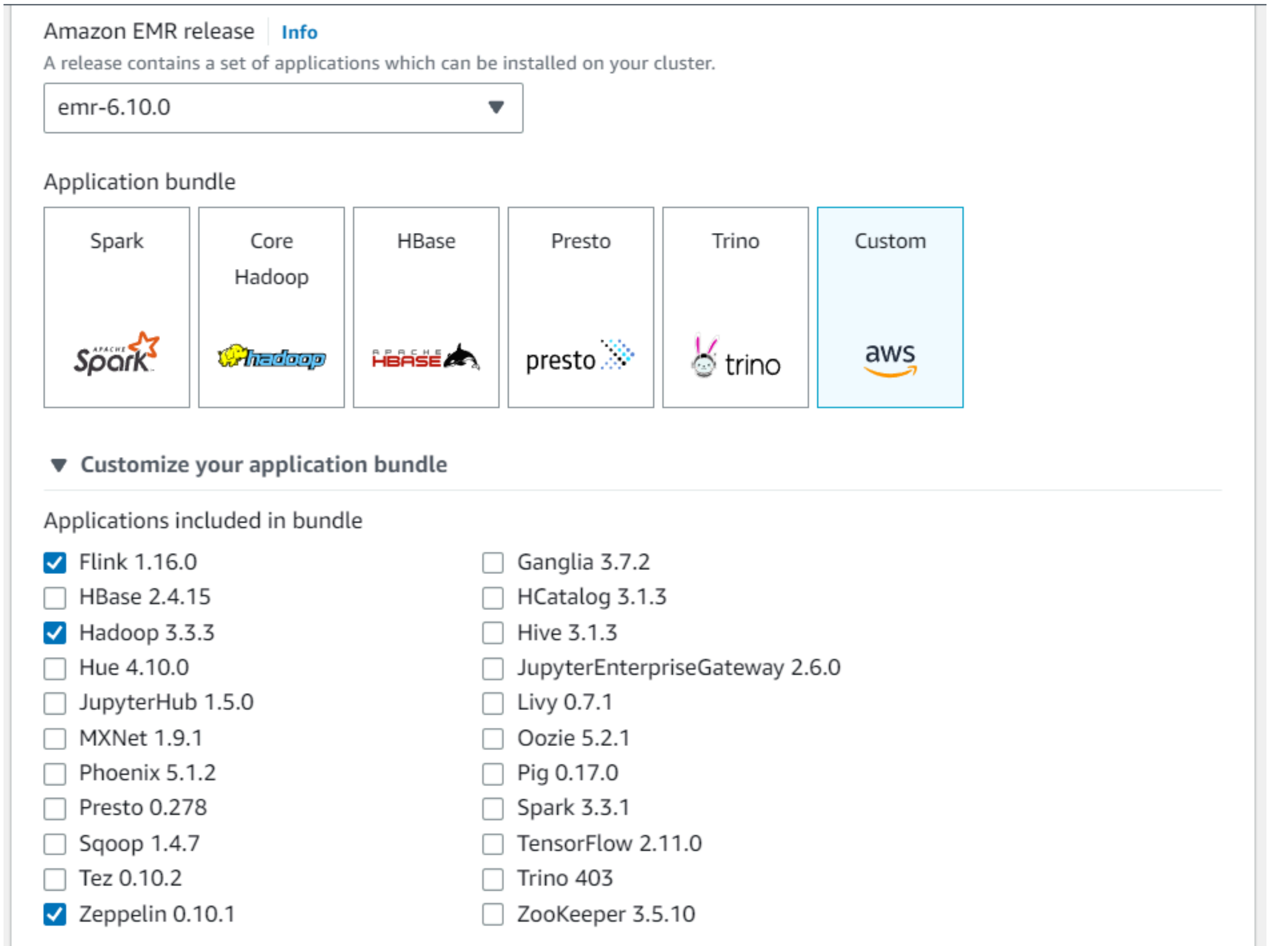
前提条件

- Zeppelin と Flink の連携は、Amazon EMR 6.10.0 以降で作成されたクラスターでサポートされています。
- これらの手順に応じて EMR クラスターでホストされているウェブインターフェイスを表示するには、SSH トンネルを設定してインバウンドアクセスを許可する必要があります。詳細については、「プライマリノードでホストされるウェブサイトを表示するようにプロキシを設定する」を参照してください。

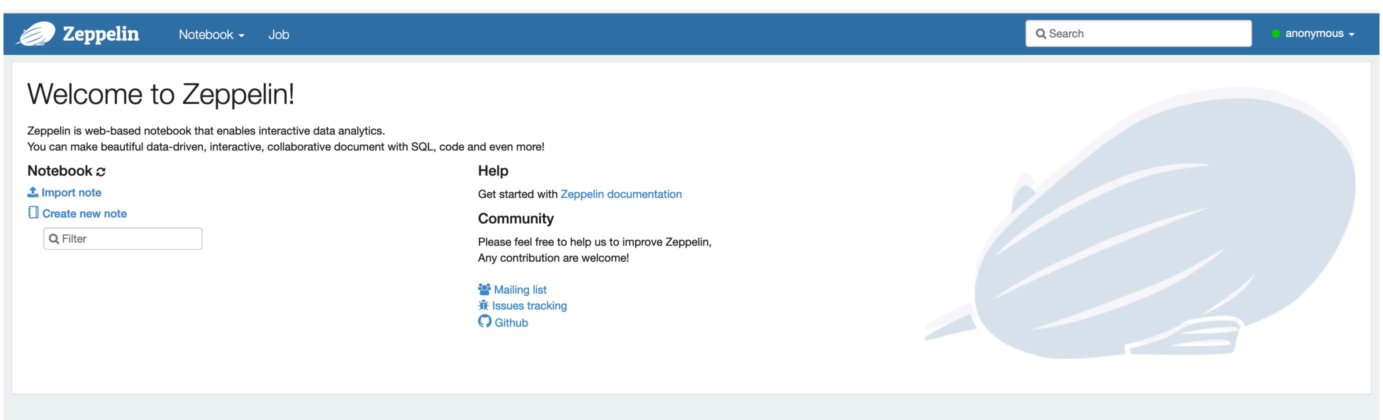
EMR クラスターで Zeppelin と Flink の連携を設定する

Apache Zeppelin で動作する Apache Flink が EMR クラスター上で稼働できるよう設定するには、次の手順に従います。

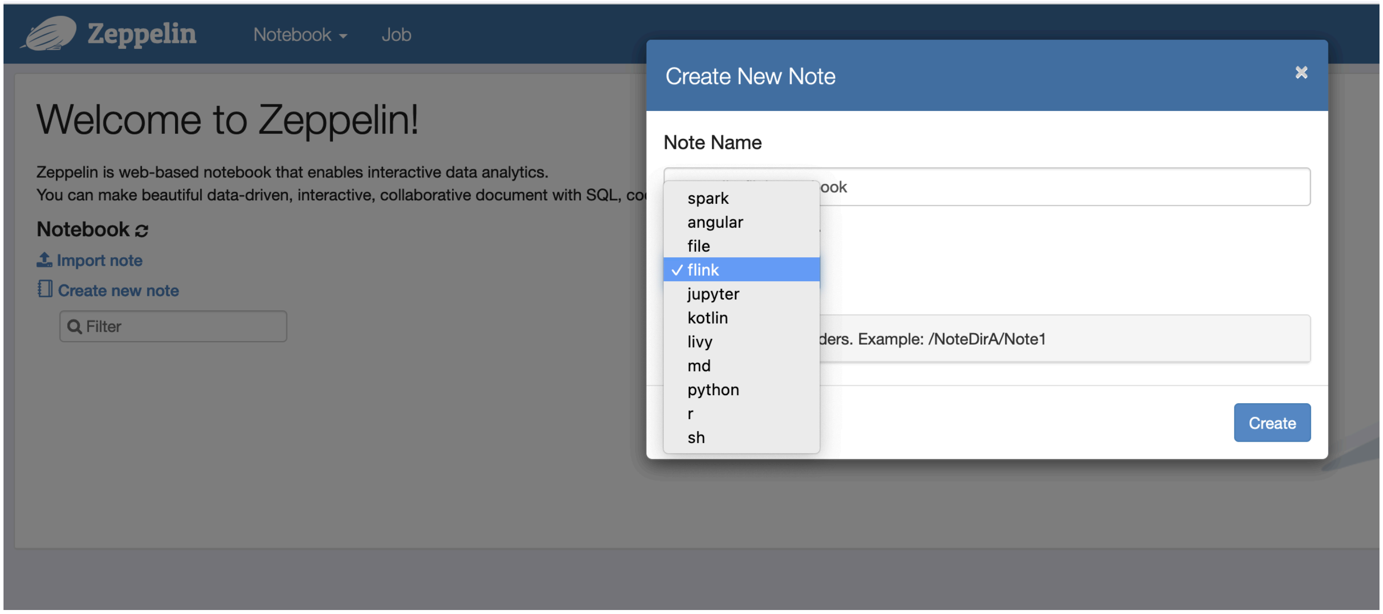
1. Amazon EMR コンソールからクラスターを新規作成します。emr-6.10.0 以降の Amazon EMR リリースを選択します。次に、[カスタム] オプションを使用して、アプリケーションバンドルのカスタマイズを選択します。バンドルには、少なくとも Flink、Hadoop、Zeppelin を含めてください。



2. 残りのクラスターは、任意の設定で作成します。
3. クラスターを稼働させたら、そのクラスターをコンソールから選択して詳細を表示し、[アプリケーション] タブを開きます。[アプリケーションユーザーインターフェイス] セクションから [Zeppelin] を選択して、Zeppelin ウェブインターフェイスを開きます。前提条件 の説明どおり、プライマリノードへの SSH トンネルとプロキシ接続を介して、Zeppelin ウェブインターフェイスにアクセスできるよう設定されていることを確認します。



4. これで、Flink をデフォルトのインタープリタとして使用して、Zeppelin ノートブックにノートを新規作成できるようになりました。



5. Zeppelin ノートブックから Flink ジョブを実行する方法については、次のコード例を参照してください。

Zeppelin と Flink が連携する EMR クラスターで Flink ジョブを実行する

- 例 1: Flink Scala

a) バッチの WordCount の例 (SCALA)

```
%flink

val data = benv.fromElements("hello world", "hello flink", "hello hadoop")
data.flatMap(line => line.split("\\s"))
             .map(w => (w, 1))
             .groupBy(0)
             .sum(1)
             .print()
```

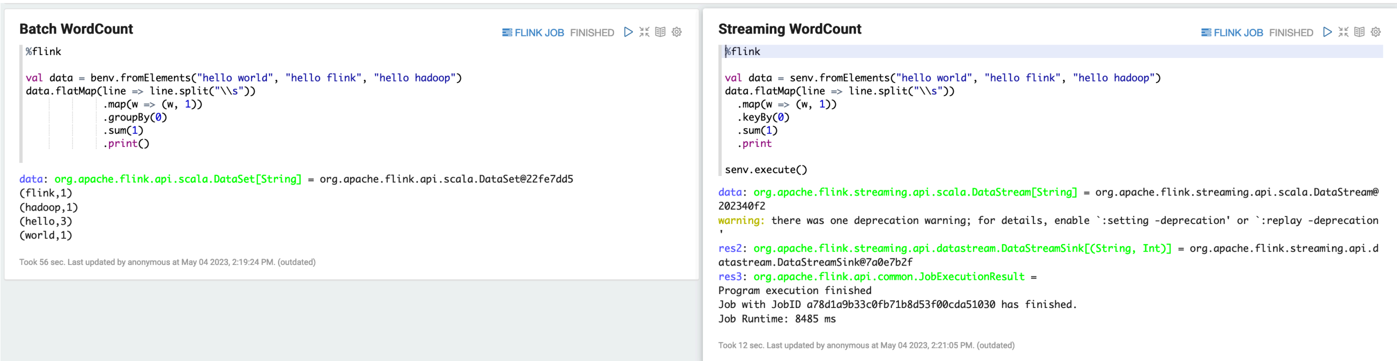
b) ストリーミングの WordCount の例 (SCALA)

```
%flink

val data = senv.fromElements("hello world", "hello flink", "hello hadoop")
```

```
data.flatMap(line => line.split("\\s"))
  .map(w => (w, 1))
  .keyBy(0)
  .sum(1)
  .print

senv.execute()
```



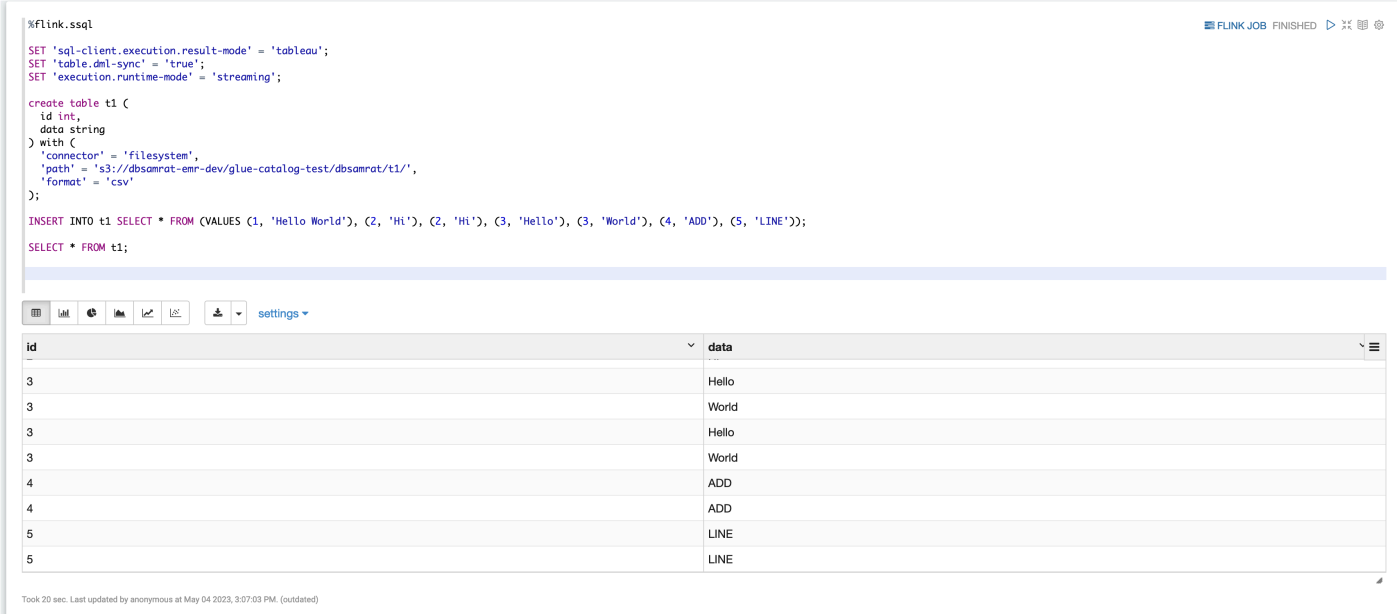
- 例 2: Flink ストリーミング SQL

```
%flink.ssql
SET 'sql-client.execution.result-mode' = 'tableau';
SET 'table.dml-sync' = 'true';
SET 'execution.runtime-mode' = 'streaming';

create table dummy_table (
  id int,
  data string
) with (
  'connector' = 'filesystem',
  'path' = 's3://s3-bucket/dummy_table',
  'format' = 'csv'
);

INSERT INTO dummy_table SELECT * FROM (VALUES (1, 'Hello World'), (2, 'Hi'), (2,
 'Hi'), (3, 'Hello'), (3, 'World'), (4, 'ADD'), (5, 'LINE'));

SELECT * FROM dummy_table;
```



- 例 3: Pyflink `word.txt` という名前のサンプルテキストファイルを S3 バケットにアップロードする必要があることに注意してください。

```
%flink.pyflink

import argparse
import logging
import sys

from pyflink.common import Row
from pyflink.table import (EnvironmentSettings, TableEnvironment, TableDescriptor,
 Schema,
                           DataTypes, FormatDescriptor)
from pyflink.table.expressions import lit, col
from pyflink.table.udf import udtf

def word_count(input_path, output_path):
    t_env = TableEnvironment.create(EnvironmentSettings.in_streaming_mode())
    # write all the data to one file
    t_env.get_config().set("parallelism.default", "1")

    # define the source
    if input_path is not None:
        t_env.create_temporary_table(
            'source',
            TableDescriptor.for_connector('filesystem')
```

```
                             .schema(Schema.new_builder()
                                     .column('word', DataTypes.STRING())
                                     .build())
                             .option('path', input_path)
                             .format('csv')
                             .build())
        tab = t_env.from_path('source')
    else:
        print("Executing word_count example with default input data set.")
        print("Use --input to specify file input.")
        tab = t_env.from_elements(map(lambda i: (i,), word_count_data),
                                  DataTypes.ROW([DataTypes.FIELD('line',
DataTypes.STRING())]))

    # define the sink
    if output_path is not None:
        t_env.create_temporary_table(
            'sink',
            TableDescriptor.for_connector('filesystem')
                           .schema(Schema.new_builder()
                                   .column('word', DataTypes.STRING())
                                   .column('count', DataTypes.BIGINT())
                                   .build())
                           .option('path', output_path)
                           .format(FormatDescriptor.for_format('canal-json')
                                   .build())
                           .build())
    else:
        print("Printing result to stdout. Use --output to specify output path.")
        t_env.create_temporary_table(
            'sink',
            TableDescriptor.for_connector('print')
                           .schema(Schema.new_builder()
                                   .column('word', DataTypes.STRING())
                                   .column('count', DataTypes.BIGINT())
                                   .build())
                           .build())

    @udtf(result_types=[DataTypes.STRING()])
    def split(line: Row):
        for s in line[0].split():
            yield Row(s)

    # compute word count
```

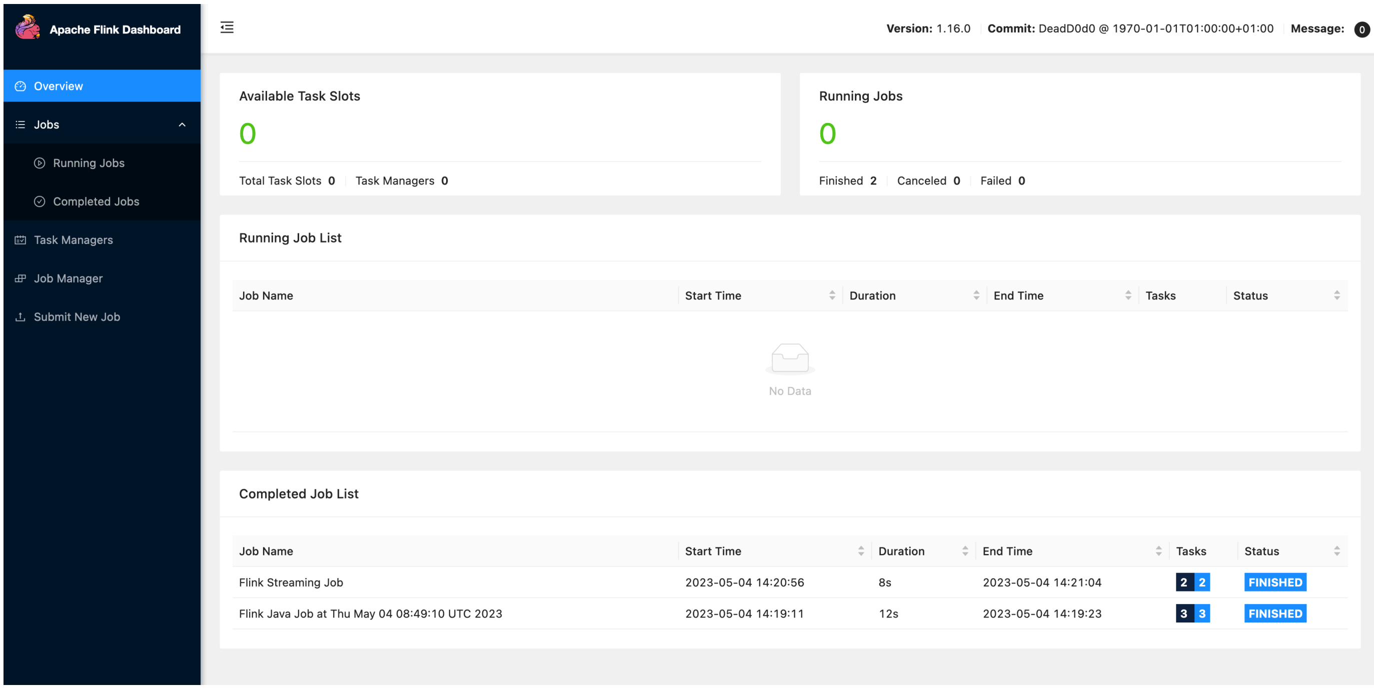
```
    tab.flat_map(split).alias('word') \
        .group_by(col('word')) \
        .select(col('word'), lit(1).count) \
        .execute_insert('sink') \
        .wait()


logging.basicConfig(stream=sys.stdout, level=logging.INFO, format="%(message)s")


word_count("s3://s3_bucket/word.txt", "s3://s3_bucket/demo_output.txt")
```

1. Zeppelin UI で [FLINK JOB] を選択すると、Flink ウェブの UI にアクセスし、表示を行えます。

2. [FLINK JOB] を選択すると、Flink ウェブコンソールにルーティングされ、そのページがブラウザの別のタブで開きます。



Flink リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Flink のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Flink バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	1.20.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client,

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
		flink-jobmanager-config, hudi, delta
emr-7.8.0	1.20.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta
emr-7.7.0	1.20.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-7.6.0	1.20.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta
emr-7.5.0	1.19.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	1.19.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta
emr-7.3.0	1.18.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	1.18.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta
emr-5.36.2	1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-7.1.0	1.18.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	1.18.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors
emr-6.15.0	1.17.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	1.17.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors
emr-6.13.0	1.17.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	1.17.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors
emr-6.11.1	1.16.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	1.16.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi, delta-standalone-connectors
emr-6.10.1	1.16.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-6.10.0	1.16.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	1.15.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-6.9.0	1.15.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-6.8.1	1.15.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	1.15.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-6.7.0	1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-5.36.1	1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-6.6.0	1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-5.35.0	1.14.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	1.14.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-6.4.0	1.13.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config, hudi
emr-6.3.1	1.12.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	1.12.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-6.2.1	1.11.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-6.2.0	1.11.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	1.11.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-6.1.0	1.11.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.34.0	1.13.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	1.12.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-5.33.0	1.12.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-5.32.1	1.11.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	1.11.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-5.31.1	1.11.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config
emr-5.31.0	1.11.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client, flink-jobmanager-config

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	1.10.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.30.1	1.10.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.30.0	1.10.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	1.9.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.28.1	1.9.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.28.0	1.9.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	1.8.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.27.0	1.8.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.26.0	1.8.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	1.8.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.24.1	1.8.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.24.0	1.8.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	1.7.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.23.0	1.7.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.22.0	1.7.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	1.7.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.21.1	1.7.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.21.0	1.7.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	1.6.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.20.0	1.6.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.19.1	1.6.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	1.6.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.18.1	1.6.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.18.0	1.6.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	1.5.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.17.1	1.5.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.17.0	1.5.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	1.5.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.16.0	1.5.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.15.1	1.4.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	1.4.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.14.2	1.4.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.14.1	1.4.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	1.4.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.13.1	1.4.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.13.0	1.4.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	1.4.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.12.2	1.4.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.12.1	1.4.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	1.4.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.11.4	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.11.3	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.11.1	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.11.0	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.10.0	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.9.1	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	1.3.2	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.8.3	1.3.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.8.2	1.3.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	1.3.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.8.0	1.3.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.7.1	1.3.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.0	1.3.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.6.1	1.2.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client
emr-5.6.0	1.2.1	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.4	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.5.3	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.5.2	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.5.0	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.4.1	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.0	1.2.0	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.3.2	1.1.4	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.3.1	1.1.4	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	1.1.4	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.2.3	1.1.3	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.2.2	1.1.3	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.1	1.1.3	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.2.0	1.1.3	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client
emr-5.1.1	1.1.3	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client

Amazon EMR リリースラベル	Flink バージョン	Flink でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	1.1.3	emrfs, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, flink-client

Flink リリースノート (バージョン別)

完全なリリースノートについては、以下のセクションを参照してください。

Amazon EMR 7.9.0 - Flink リリースノート

Amazon EMR 7.9.0 - Flink の変更

タイプ	説明
新機能	Amazon EMR 7.9.0 以降、Apache Flink は Avro、Parquet、ORC ファイル形式をout-of-the-boxサポートします。これらの形式は、追加の設定を必要とせずに、任意の Flink API (DataStream、Table、または SQL) で直接使用できます。
新機能	Amazon EMR バージョン 7.9.0 以降では、設定を使用して Hive メタストアまたは AWS Glue データカタログをより簡単に有効にできます。クラスターの作成時に`flink-conf` 分類`glue.enabled: true` に `hive.enabled: true` または を追加して、それぞれのデータカタログを自動的に設定します。この合

タイプ	説明
	理化されたアプローチにより、以前に必要だった手動設定手順がなくなります。

Amazon EMR 7.8.0 - Flink リリースノート

設定 – EMR Flink は、すべての AWS リージョン/パーティションで S3A ですぐに機能します。

Amazon EMR 7.7.0 - Flink リリースノート

- Flink SQL シェルは、シンボリックリンク`flink-sql-client`されている コマンドを使用して簡単に呼び出すことができます。 `/usr/lib/flink/bin/sql-client.sh`

Amazon EMR 7.6.0 - Flink リリースノート

Amazon EMR 7.6.0 - Flink の機能

- リリースに変更はありません。

Amazon EMR 7.5.0 - Flink リリースノート

タイプ	説明
機能	リモート jar で Flink ジョブを実行するためのサポートが追加されました。
改善点	頂点の除外スレッドと包含スレッドを安全にします。

Amazon EMR 7.5.0 - Flink の機能

- Amazon EMR 7.5.0 以降では、 `run`および `run-application` Apache Flink CLI コマンドを使用するときに、JAR パスとして Amazon S3 の場所を指定できます。S3 パスを指定すると、EMR は Amazon S3 からクラスターの EBS ストレージに JAR ファイルを自動的にダウンロードします。同じ JAR ファイルを指定するたびに、EMR はクラスター上の既存の JAR ファイルを再利用するのではなく、Amazon S3 から最新バージョンをダウンロードします。

- Amazon EMR 7.5.0 以降では、 `run`および Flink CLI コマンドを使用して、リモートパス (S3 の場所) `run-application` を JAR パスとして渡すことができます。その後、JAR は S3 ストアからクラスターの EBS ストレージに自動的にプルされます。同じ JAR が再度提供されると、S3 から最新の JAR がダウンロードされ、クラスター上の既存の JAR は再利用されません。

Amazon EMR 7.4.0 - Flink リリースノート

タイプ	説明
アップグレード	Flink バージョンが 1.19.1 にアップグレードされました。

Amazon EMR 7.3.0 - Flink リリースノート

- デフォルトでは、セキュリティ設定で転送中の暗号化が有効になっているクラスターは、Flink プロセス、Job Manager REST エンドポイント、Flink Job History Server 間の内部通信に TLS 1.3 を使用します。

Amazon EMR 7.2.0 - Flink リリースノート

タイプ	説明
改良点	設定 `kubernetes.service.labels` を介した Flink ジョブごとの Kubernetes サービスへのカスタムラベルの追加をサポートします。

Ganglia

> **Note**
>
> Ganglia を含む Amazon EMR の最後のリリースは Amazon EMR 6.15.0 でした。クラスターを監視するために、6.15.0 以降のリリースには Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。

Ganglia オープンソースプロジェクトは拡張可能な分散システムで、パフォーマンスへの影響を最小限に抑えながら、クラスターやグリッドをモニタリングできるように設計されています。クラスターで Ganglia を有効にすると、レポートを生成し、クラスター全体のパフォーマンスを表示するだけでなく、個別のノードインスタンスのパフォーマンスを調べることができます。また、Ganglia は、Hadoop および Spark メトリクスを取り込み、視覚化するように設定されています。Ganglia オープンソースプロジェクトの詳細については、http://ganglia.info/ を参照してください。

ブラウザで Ganglia ウェブ UI を表示すると、クラスターのパフォーマンスの概要が表示されます。これらのレポートには、クラスターのロード、メモリの使用状況、CPU 使用率、ネットワークトラフィックなどがグラフで詳しく示されています。クラスターの統計情報の下には、クラスター内の個別のサーバーごとにグラフがあります。

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Ganglia のバージョンと、Amazon EMR で Ganglia と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Ganglia と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Ganglia バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Ganglia 3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
		server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Ganglia のバージョンと、Amazon EMR で Ganglia と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Ganglia と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Ganglia バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Ganglia 3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

トピック

- Ganglia を使用したクラスターの作成
- Ganglia メトリクスを表示する
- Ganglia での Hadoop と Spark のメトリクス
- Ganglia リリース履歴

Ganglia を使用したクラスターの作成

> **Note**
>
> Ganglia を含む Amazon EMR の最後のリリースは Amazon EMR 6.15.0 でした。クラスターを監視するために、6.15.0 以降のリリースには Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。

コンソールを使用し、Ganglia でクラスターを作成するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [クラスターを作成] を選択します。
3. [Software configuration (ソフトウエア設定)] で、[All Applications (すべてのアプリケーション)]、[Core Hadoop]、または [Spark] を選択します。
4. 適切な設定でクラスターの作成を進めます。

を使用してクラスターに Ganglia を追加するには AWS CLI

では AWS CLI、 `--applications`パラメータ`create-cluster`で を使用して Ganglia をクラスターに追加できます。`--applications` パラメータを使用して Ganglia のみを指定する場合、Ganglia が、インストールされる唯一のアプリケーションです。

- クラスターを作成するときに、次のコマンドを入力して Ganglia を追加し、*myKey* を EC2 キーペアの名前に置き換えます。

  > **Note**
  >
  > 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

  ```
  aws emr create-cluster --name "Spark cluster with Ganglia" --release-label
   emr-6.15.0; \
  ```

```
--applications Name=Spark Name=Ganglia \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge \
--instance-count 3 --use-default-roles
```

`--instance-groups` パラメータを使用せずにインスタンス数を指定すると、1 つのマスターノードが起動され、残りのインスタンスはコアノードとして起動されます。すべてのノードで、コマンドで指定したインスタンスタイプが使用されます。

> **Note**
>
> 以前にデフォルトの EMR サービスロールと EC2 インスタンスプロファイルを作成していない場合は、「`aws emr create-default-roles`」と入力してそれらを作成してから、`create-cluster` サブコマンドを入力します。

での Amazon EMR コマンドの使用の詳細については AWS CLI、「」を参照してくださいhttps://docs.aws.amazon.com/cli/latest/reference/emr。

Ganglia メトリクスを表示する

> **Note**
>
> Ganglia を含む Amazon EMR の最後のリリースは Amazon EMR 6.15.0 でした。クラスターを監視するために、6.15.0 以降のリリースには Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。

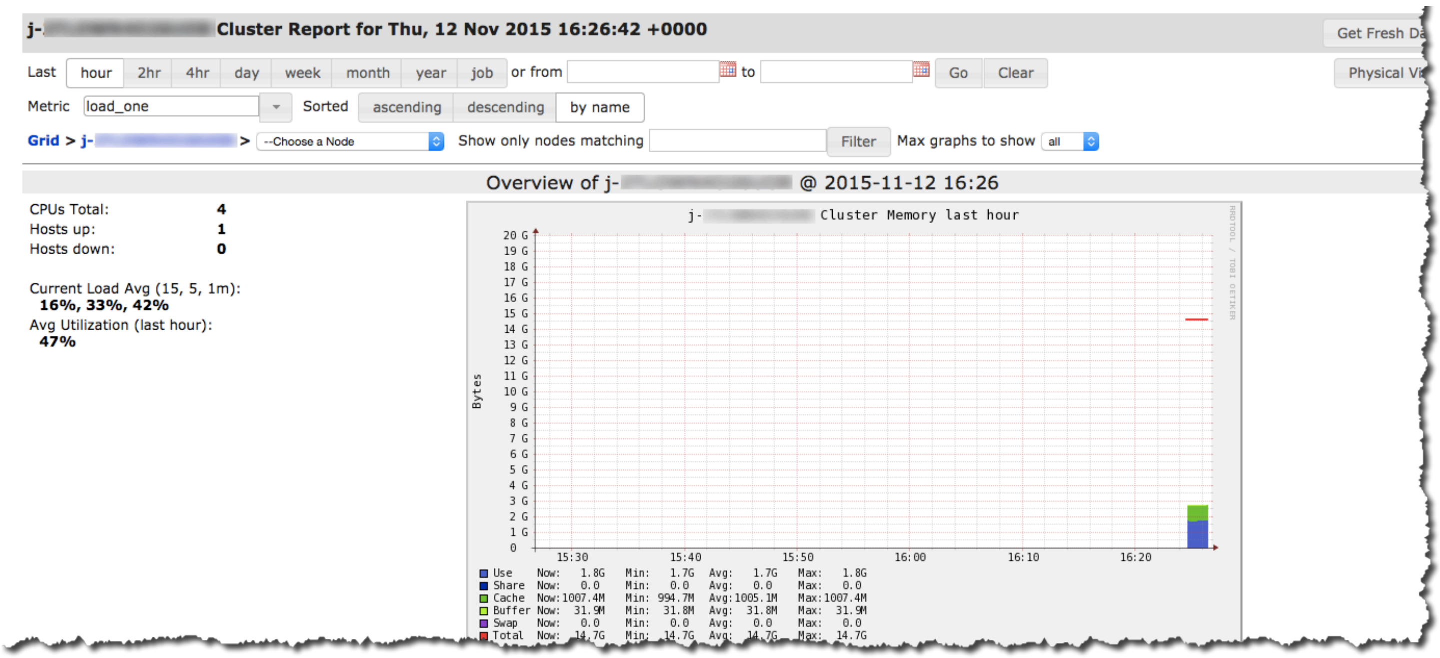
Ganglia には、ウェブベースのユーザーインターフェイスが用意されており、Ganglia が収集するメトリクスは、このインターフェイスを使用して表示できます。Amazon EMR で Ganglia を実行するとき、ウェブインターフェイスはマスターノードで実行され、ポート転送を使用して表示できます。これは、SSH トンネルの作成とも呼ばれます。Amazon EMR のウェブインターフェイスの表示の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR クラスターでホストされているウェブインターフェイスの表示」を参照してください。

Ganglia のウェブインターフェイスを表示するには

1. SSH を使用してマスターノードにトンネル接続し、安全な接続を確立します。マスターノードへの SSH トンネルの作成方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「オプショ

ン 2、パート 1: 動的ポートフォワーディングを使用してマスターノードへの SSH トンネルをセットアップする」を参照してください。

2. プロキシツールを備えたウェブブラウザ (FoxyProxy プラグインがある Firefox など) をインストールし、タイプ *ec2*.amazonaws.com*. のドメインの SOCKS プロキシを作成します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「オプション 2、パート 2: マスターノードでホストされるウェブサイトを表示するようにプロキシを設定する」を参照してください。
3. プロキシセットと SSH 接続が開いている場合、Ganglia UI を表示するには、ブラウザウィンドウで http://*master-public-dns-name*/ganglia/ を開きます。*master-public-dns-name* は、EMR クラスター内にあるマスターサーバーのパブリック DNS アドレスです。



Ganglia での Hadoop と Spark のメトリクス

> **Note**
>
> Ganglia を含む Amazon EMR の最後のリリースは Amazon EMR 6.15.0 でした。クラスターを監視するために、6.15.0 以降のリリースには Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。

Ganglia は、各インスタンスに対して Hadoop メトリクスをレポートします。さまざまなタイプのメトリクスの先頭には、カテゴリごとにプレフィックスが付いています。たとえば、分散ファイルシ

ステムの場合は dfs.*、Java 仮想マシンの場合は jvm.*、MapReduce の場合は mapred.*、そしてリモートプロシージャコールの場合は rpc.* です。

Spark や Hadoop などの YARN ベースの Ganglia メトリクスは、EMR リリースバージョン 4.4.0 および 4.5.0 では使用できません。これらのメトリクスを使用するには、それ以降のバージョンを使用してください。

通常、Spark の Ganglia メトリクスには YARN アプリケーション ID および Spark DAGScheduler 用のプレフィックスがあります。したがって、プレフィックスは次の形式になります。

- DAGScheduler.*
- application_xxxxxxxxxx_xxxx.driver.*
- application_xxxxxxxxxx_xxxx.executor.*

Ganglia リリース履歴

> **Note**
>
> Ganglia を含む Amazon EMR の最後のリリースは Amazon EMR 6.15.0 でした。クラスターを監視するために、6.15.0 以降のリリースには Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Ganglia のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Ganglia バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode,

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
		hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.15.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.14.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.12.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.11.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.10.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.10.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.9.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.8.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.7.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.36.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.6.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.35.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.4.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.3.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.2.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.2.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.1.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-6.0.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.34.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.33.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.32.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.32.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.31.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.30.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.30.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.29.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.28.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.27.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.26.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.25.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.24.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.23.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.22.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.21.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.21.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.20.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.19.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.19.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.18.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.17.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.17.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.16.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.15.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.15.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.14.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.14.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.13.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.12.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.12.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.12.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.11.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.11.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.11.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.10.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-c ollector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.9.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-c ollector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.9.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-c ollector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.8.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.8.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.7.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.7.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.6.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, webserver
emr-5.5.4	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.5.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.5.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.4.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.4.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.3.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.3.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.2.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.2.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.1.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.1.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.0.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-5.0.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.9.6	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.9.5	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.4	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.9.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.9.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.8.5	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.8.4	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.8.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.8.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.7.4	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.7.3	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.2	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.7.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.7.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.1	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.6.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.5.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Amazon EMR リリースラベル	Ganglia バージョン	Ganglia でインストールされるコンポーネント
emr-4.4.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.3.0	3.7.2	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver
emr-4.2.0	3.6.0	emrfs, emr-goodies, ganglia-monitor, ganglia-metadata-collector, ganglia-web, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, webserver

Apache Hadoop

Apache Hadoop はオープンソースの Java ソフトウェアフレームワークで、インスタンスクラスター全体で大量のデータ処理をサポートします。インスタンス 1 つから数千個まで規模を問わずに動作します。Hadoop は MapReduce や Tez などの多くの処理モデルを使用して処理を複数のインスタンスに分散し、HDFS と呼ばれる分散ファイルシステムを使用して複数のインスタンスにデータを保存します。Hadoop はクラスター内の各インスタンスの稼働状況を監視し、1 つまたは複数のノードが障害を起こしても自動的に復帰させます。このように、Hadoop は処理能力やストレージ性能を向上させるだけでなく、高い可用性も提供するものです。詳細については、Hadoop ドキュメントを参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Hadoop のバージョンと、Amazon EMR で Hadoop と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hadoop と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Hadoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Hadoop 3.4.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Hadoop のバージョンと、Amazon EMR で Hadoop と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hadoop と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Hadoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Hadoop 3.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Hadoop のバージョンと、Amazon EMR で Hadoop と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hadoop と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Hadoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Hadoop 2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodema

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
		nager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR 5.18.0 以降では、Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用し、特定の Amazon EMR リリースで利用可能なライブラリおよび依存関係の正確なバージョンに対してジョブコードをビルドできます。詳細については、「Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用して依存関係を確認する」を参照してください。

トピック

- Hadoop の設定
- Amazon EMR における HDFS での透過的暗号化
- Hadoop アプリケーションの作成または実行
- 復元されたオブジェクトの読み取り
- YARN コンテナの不均一なメモリアクセス対応を有効にする
- YARN コンテナビンのパッキング
- Hadoop のバージョン履歴

Hadoop の設定

以下のセクションでは、Hadoop デーモン、タスク、および HDFS 用のデフォルトの設定を行います。

トピック

- タスクの設定
- Hadoop デーモン構成設定
- HDFS 構成

タスクの設定

構成変数を設定して、MapReduce ジョブのパフォーマンスを調整できます。このセクションでは、重要な設定のデフォルト値を提供します。デフォルト値は、クラスターで使用されるノードの EC2 インスタンスタイプにより異なります。HBase は Amazon EMR リリースバージョン 4.6.0 以降を使用するときに使用できます。HBase がインストールされているときは、別のデフォルトが使用されます。これらの値は、初期のデフォルトと共に示します。

Hadoop 2 は 2 つのパラメータ、`mapreduce.map.java.opts` および `mapreduce.reduce.java.opts` を使用して、マップとリデュース JVM のメモリをそれぞれ設定します。これらのパラメータは、Hadoop バージョンの 1 つの設定オプション (`mapreduce.map.java.opts`) に置き換わります。

同様に、Hadoop 2.7.2 以降では `mapred.job.jvm.num.tasks` が `mapred.job.reuse.jvm.num.tasks` に置き換わります。Amazon EMR では、EC2 インスタンスタイプにかかわらず、この値を 20 に設定します。`mapred-site` 設定分類を使用して、この設定を上書きできます。-1 の値を設定すると、JVM を単一のジョブ内の無限のタスクで再利用でき、1 の値は、新しい JVM が各タスクにスポーンされることを示します。

たとえば、`mapred.job.jvm.num.tasks` の値を -1 に設定すると、次の内容でファイルを作成することができます。

```
[
 {
  "Classification": "mapred-site",
  "Properties": {
   "mapred.job.jvm.num.tasks": "-1"
  }
 }
]
```

から `create-cluster` コマンドまたは `modify-instance-groups` コマンドを使用すると AWS CLI、JSON 設定ファイルを参照できます。次の例では、設定ファイルは `myConfig.json` として保存され、Amazon S3 に格納されます。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge \
--instance-count 3 --applications Name=Hadoop --configurations https://
s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json \
--use-default-roles
```

同様に、`mapred-site` 設定分類を使用して、以下のデフォルト値を変更することができ、単一の JSON ファイルを使用して、複数の値と複数の設定分類を設定できます。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

タスクの構成設定のデフォルト値

> **Note**
>
> 各インスタンスに指定された値は、最新の EMR リリースに準拠しています。以前のリリースでは、デフォルト設定が異なる場合があります。

インスタンスタイプ

- c1 インスタンス
- c3 インスタンス
- c4 インスタンス
- c5 インスタンス
- c5a インスタンス
- c5ad インスタンス

- c5d インスタンス
- c5n インスタンス
- c6a インスタンス
- c6g インスタンス
- c6gd インスタンス
- c6gn インスタンス
- c6i インスタンス
- c6id インスタンス
- c6in インスタンス
- c7a インスタンス
- c7g インスタンス
- c7gd インスタンス
- c7gn インスタンス
- c7i インスタンス
- c7i-flex インスタンス
- c8g インスタンス
- c8gd インスタンス
- d2 インスタンス
- d3 インスタンス
- d3en インスタンス
- f2 インスタンス
- g3 インスタンス
- g3s インスタンス
- g4dn インスタンス
- g5 インスタンス
- g6 インスタンス
- g6e インスタンス
- gr6 インスタンス
- h1 インスタンス

- i2 インスタンス
- i3 インスタンス
- i3en インスタンス
- i4g インスタンス
- i4i インスタンス
- i7i インスタンス
- i7ie インスタンス
- i8g インスタンス
- im4gn インスタンス
- is4gen インスタンス
- m1 インスタンス
- m2 インスタンス
- m3 インスタンス
- m4 インスタンス
- m5 インスタンス
- m5a インスタンス
- m5ad インスタンス
- m5d インスタンス
- m5dn インスタンス
- m5n インスタンス
- m5zn インスタンス
- m6a インスタンス
- m6g インスタンス
- m6gd インスタンス
- m6i インスタンス
- m6id インスタンス
- m6idn インスタンス
- m6in インスタンス
- m7a インスタンス

- m7g インスタンス
- m7gd インスタンス
- m7i インスタンス
- m7i-flex インスタンス
- m8g インスタンス
- m8gd インスタンス
- p2 インスタンス
- p3 インスタンス
- p4d インスタンス
- p5 インスタンス
- r3 インスタンス
- r4 インスタンス
- r5 インスタンス
- r5a インスタンス
- r5ad インスタンス
- r5b インスタンス
- r5d インスタンス
- r5dn インスタンス
- r5n インスタンス
- r6a インスタンス
- r6g インスタンス
- r6gd インスタンス
- r6i インスタンス
- r6id インスタンス
- r6idn インスタンス
- r6in インスタンス
- r7a インスタンス
- r7g インスタンス
- r7gd インスタンス
- r7i インスタンス

c1 インスタンス

c1.medium

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx288m	-Xmx288m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx288m	-Xmx288m
`mapreduce.map.memory.mb`	512	512
`mapreduce.reduce.memory.mb`	512	512
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	512	512
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	512	512
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1024	512

c1.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx864m	-Xmx864m
mapreduce.java.opts	-Xmx1536m	-Xmx1536m
mapreduce.map.memory.mb	1024	1024
mapreduce.reduce.memory.mb	2048	2048
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2048	2048
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	2048	2560
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5120	2560

c3 インスタンス

c3.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c3.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1152m	-Xmx1152m
mapreduce.java.opts	-Xmx2304m	-Xmx2304m
mapreduce.map.memory.mb	1440	1440
mapreduce.reduce.memory.mb	2880	2880
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2880	2880
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11520	5760
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11520	5760

c3.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1152m	-Xmx1152m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2304m	-Xmx2304m
`mapreduce.map.memory.mb`	1440	1440
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2880	2880
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2880	2880
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23040	11520
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23040	11520

c3.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1331m	-Xmx1331m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2662m	-Xmx2662m
`mapreduce.map.memory.mb`	1664	1664
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3328	3328
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3328	3328

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	53248	26624
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	53248	26624

c4 インスタンス

c4.large

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx717m	-Xmx717m
mapreduce.java.opts	-Xmx1434m	-Xmx1434m
mapreduce.map.memory.mb	896	896
mapreduce.reduce.memory.mb	1792	1792
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	1792	1792
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1792	896
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1792	896

c4.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c4.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1152m	-Xmx1152m
mapreduce.java.opts	-Xmx2304m	-Xmx2304m
mapreduce.map.memory.mb	1440	1440
mapreduce.reduce.memory.mb	2880	2880
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2880	2880

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11520	5760
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11520	5760

c4.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1152m	-Xmx1152m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2304m	-Xmx2304m
`mapreduce.map.memory.mb`	1440	1440
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2880	2880
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2880	2880
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23040	11520
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23040	11520

c4.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1183m	-Xmx1183m
mapreduce.java.opts	-Xmx2366m	-Xmx2366m
mapreduce.map.memory.mb	1479	1479
mapreduce.reduce.memory.mb	2958	2958
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2958	2958
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	53248	26624
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	53248	26624

c5 インスタンス

c5.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1229m	-Xmx1229m
mapreduce.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.map.memory.mb	1536	1536
mapreduce.reduce.memory.mb	3072	3072

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3072	3072
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	6144	3072
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	6144	3072

c5.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1229m	-Xmx1229m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.map.memory.mb`	1536	1536
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3072	3072
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3072	3072
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	12288	6144
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	12288	6144

c5.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1229m	-Xmx1229m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.map.memory.mb`	1536	1536
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3072	3072
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3072	3072
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	24576	12288
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	24576	12288

c5.9xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1456m	-Xmx1456m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2912m	-Xmx2912m
`mapreduce.map.memory.mb`	1820	1820
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3640	3640
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3640	3640

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	65536	32768
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	65536	32768

c5.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1502m	-Xmx1502m
mapreduce.java.opts	-Xmx3004m	-Xmx3004m
mapreduce.map.memory.mb	1877	1877
mapreduce.reduce.memory.mb	3754	3754
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3754	3754
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	90112	30048
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	90112	30048

c5.18xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1547m	-Xmx1547m
mapreduce.java.opts	-Xmx3094m	-Xmx3094m
mapreduce.map.memory.mb	1934	1934
mapreduce.reduce.memory.mb	3868	3868
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3868	3868
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	139264	30960
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	139264	30960

c5.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1570m	-Xmx1570m
mapreduce.java.opts	-Xmx3140m	-Xmx3140m
mapreduce.map.memory.mb	1963	1963
mapreduce.reduce.memory.mb	3926	3926
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3926	3926

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31376
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31376

c5a インスタンス

c5a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c5a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c5a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c5a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c5a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1502m	-Xmx1502m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx3004m	-Xmx3004m
`mapreduce.map.memory.mb`	1877	1877
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3754	3754
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3754	3754
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	90112	30048
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	90112	30048

c5a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1459m	-Xmx1459m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.map.memory.mb`	1824	1824
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3648	3648
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3648	3648

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c5a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1494m	-Xmx1494m
mapreduce.java.opts	-Xmx2988m	-Xmx2988m
mapreduce.map.memory.mb	1867	1867
mapreduce.reduce.memory.mb	3734	3734
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3734	3734
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c5ad インスタンス

c5ad.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1126m	-Xmx1126m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2252m	-Xmx2252m
`mapreduce.map.memory.mb`	1408	1408
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2816	2816
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2816	2816
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	5632	2816
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	5632	2816

c5ad.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

c5ad.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c5ad.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c5ad.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1425m	-Xmx1425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.map.memory.mb`	1781	1781
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3562	3562
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3562	3562

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c5ad.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c5ad.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1494m	-Xmx1494m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2988m	-Xmx2988m
`mapreduce.map.memory.mb`	1867	1867
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3734	3734
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3734	3734
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29840
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29840

c5d インスタンス

c5d.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1229m	-Xmx1229m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.map.memory.mb`	1536	1536
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3072	3072

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3072	3072
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	6144	3072
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	6144	3072

c5d.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1229m	-Xmx1229m
mapreduce.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.map.memory.mb	1536	1536
mapreduce.reduce.memory.mb	3072	3072
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3072	3072
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	12288	6144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	12288	6144

c5d.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1229m	-Xmx1229m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.map.memory.mb`	1536	1536
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3072	3072
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3072	3072
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	24576	12288
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	24576	12288

c5d.9xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1456m	-Xmx1456m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2912m	-Xmx2912m
`mapreduce.map.memory.mb`	1820	1820
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3640	3640
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3640	3640

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	65536	32768
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	65536	32768

c5d.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1502m	-Xmx1502m
mapreduce.java.opts	-Xmx3004m	-Xmx3004m
mapreduce.map.memory.mb	1877	1877
mapreduce.reduce.memory.mb	3754	3754
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3754	3754
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	90112	30048
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	90112	30048

c5d.18xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1547m	-Xmx1547m
mapreduce.java.opts	-Xmx3094m	-Xmx3094m
mapreduce.map.memory.mb	1934	1934
mapreduce.reduce.memory.mb	3868	3868
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3868	3868
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	139264	30960
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	139264	30960

c5d.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1570m	-Xmx1570m
mapreduce.java.opts	-Xmx3140m	-Xmx3140m
mapreduce.map.memory.mb	1963	1963
mapreduce.reduce.memory.mb	3926	3926
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3926	3926

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31376
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31376

c5n インスタンス

c5n.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1613m	-Xmx1613m
mapreduce.java.opts	-Xmx3226m	-Xmx3226m
mapreduce.map.memory.mb	2016	2016
mapreduce.reduce.memory.mb	4032	4032
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	4032	4032
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	8064	4032
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	8064	4032

c5n.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1613m	-Xmx1613m
mapreduce.java.opts	-Xmx3226m	-Xmx3226m
mapreduce.map.memory.mb	2016	2016
mapreduce.reduce.memory.mb	4032	4032
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	4032	4032
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	16128	8064
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	16128	8064

c5n.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1741m	-Xmx1741m
mapreduce.java.opts	-Xmx3482m	-Xmx3482m
mapreduce.map.memory.mb	2176	2176
mapreduce.reduce.memory.mb	4352	4352
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	4352	4352

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	34816	17408
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	34816	17408

c5n.9xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2002m	-Xmx2002m
mapreduce.java.opts	-Xmx4004m	-Xmx4004m
mapreduce.map.memory.mb	2503	2503
mapreduce.reduce.memory.mb	5006	5006
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5006	5006
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	90112	30040
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	90112	30040

c5n.18xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2094m	-Xmx2094m
mapreduce.java.opts	-Xmx4188m	-Xmx4188m
mapreduce.map.memory.mb	2617	2617
mapreduce.reduce.memory.mb	5234	5234
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5234	5234
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31396
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31396

c6a インスタンス

c6a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c6a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c6a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c6a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c6a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c6a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c6a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1494m	-Xmx1494m
mapreduce.java.opts	-Xmx2988m	-Xmx2988m
mapreduce.map.memory.mb	1867	1867
mapreduce.reduce.memory.mb	3734	3734
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3734	3734

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c6a.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1510m	-Xmx1510m
mapreduce.java.opts	-Xmx3020m	-Xmx3020m
mapreduce.map.memory.mb	1888	1888
mapreduce.reduce.memory.mb	3776	3776
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3776	3776
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

c6a.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1527m	-Xmx1527m
mapreduce.java.opts	-Xmx3054m	-Xmx3054m
mapreduce.map.memory.mb	1909	1909
mapreduce.reduce.memory.mb	3818	3818
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3818	3818
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30608
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30608

c6g インスタンス

c6g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c6g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c6g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c6g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1357m	-Xmx1357m
mapreduce.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.map.memory.mb	1696	1696
mapreduce.reduce.memory.mb	3392	3392
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c6g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c6g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c6gd インスタンス

c6gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c6gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c6gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c6gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c6gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c6gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1459m	-Xmx1459m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.map.memory.mb`	1824	1824
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3648	3648
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3648	3648
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

c6gn インスタンス

c6gn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1126m	-Xmx1126m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2252m	-Xmx2252m
`mapreduce.map.memory.mb`	1408	1408
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c6gn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c6gn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c6gn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c6gn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1425m	-Xmx1425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.map.memory.mb`	1781	1781
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3562	3562
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3562	3562
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	85504	32074
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	85504	32074

c6gn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c6i インスタンス

c6i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c6i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c6i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c6i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1357m	-Xmx1357m
mapreduce.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.map.memory.mb	1696	1696
mapreduce.reduce.memory.mb	3392	3392
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c6i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c6i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c6i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1494m	-Xmx1494m
mapreduce.java.opts	-Xmx2988m	-Xmx2988m
mapreduce.map.memory.mb	1867	1867
mapreduce.reduce.memory.mb	3734	3734
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3734	3734

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c6i.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1510m	-Xmx1510m
mapreduce.java.opts	-Xmx3020m	-Xmx3020m
mapreduce.map.memory.mb	1888	1888
mapreduce.reduce.memory.mb	3776	3776
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3776	3776
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

c6id インスタンス

c6id.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1126m	-Xmx1126m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2252m	-Xmx2252m
`mapreduce.map.memory.mb`	1408	1408
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2816	2816
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2816	2816
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	5632	2816
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	5632	2816

c6id.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c6id.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c6id.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c6id.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1425m	-Xmx1425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.map.memory.mb`	1781	1781
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3562	3562
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3562	3562

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c6id.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c6id.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1494m	-Xmx1494m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2988m	-Xmx2988m
`mapreduce.map.memory.mb`	1867	1867
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3734	3734
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3734	3734
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29840
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29840

c6id.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1510m	-Xmx1510m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx3020m	-Xmx3020m
`mapreduce.map.memory.mb`	1888	1888
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3776	3776
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3776	3776

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

c6in インスタンス

c6in.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c6in.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

c6in.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c6in.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c6in.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1425m	-Xmx1425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.map.memory.mb`	1781	1781
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3562	3562
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3562	3562
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	85504	32074
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	85504	32074

c6in.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1459m	-Xmx1459m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.map.memory.mb`	1824	1824
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3648	3648
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3648	3648

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c6in.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1494m	-Xmx1494m
mapreduce.java.opts	-Xmx2988m	-Xmx2988m
mapreduce.map.memory.mb	1867	1867
mapreduce.reduce.memory.mb	3734	3734
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3734	3734
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c6in.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1510m	-Xmx1510m
mapreduce.java.opts	-Xmx3020m	-Xmx3020m
mapreduce.map.memory.mb	1888	1888
mapreduce.reduce.memory.mb	3776	3776
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3776	3776
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

c7a インスタンス

c7a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c7a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c7a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c7a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1357m	-Xmx1357m
mapreduce.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.map.memory.mb	1696	1696
mapreduce.reduce.memory.mb	3392	3392
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c7a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c7a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1459m	-Xmx1459m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.map.memory.mb`	1824	1824
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3648	3648
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3648	3648
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

c7a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1494m	-Xmx1494m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2988m	-Xmx2988m
`mapreduce.map.memory.mb`	1867	1867
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3734	3734
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3734	3734

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c7a.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1510m	-Xmx1510m
mapreduce.java.opts	-Xmx3020m	-Xmx3020m
mapreduce.map.memory.mb	1888	1888
mapreduce.reduce.memory.mb	3776	3776
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3776	3776
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

c7a.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1527m	-Xmx1527m
mapreduce.java.opts	-Xmx3054m	-Xmx3054m
mapreduce.map.memory.mb	1909	1909
mapreduce.reduce.memory.mb	3818	3818
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3818	3818
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30608
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30608

c7g インスタンス

c7g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c7g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c7g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c7g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1357m	-Xmx1357m
mapreduce.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.map.memory.mb	1696	1696
mapreduce.reduce.memory.mb	3392	3392
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c7g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c7g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c7gd インスタンス

c7gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c7gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c7gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c7gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1357m	-Xmx1357m
mapreduce.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.map.memory.mb	1696	1696
mapreduce.reduce.memory.mb	3392	3392
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c7gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c7gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c7gn インスタンス

c7gn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c7gn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c7gn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c7gn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c7gn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c7gn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1459m	-Xmx1459m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.map.memory.mb`	1824	1824
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3648	3648
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3648	3648
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

c7i インスタンス

c7i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1126m	-Xmx1126m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2252m	-Xmx2252m
`mapreduce.map.memory.mb`	1408	1408
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2816	2816

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c7i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c7i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2928	2928
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

c7i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c7i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c7i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1459m	-Xmx1459m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.map.memory.mb`	1824	1824
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3648	3648
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3648	3648
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

c7i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1494m	-Xmx1494m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2988m	-Xmx2988m
`mapreduce.map.memory.mb`	1867	1867
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3734	3734
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3734	3734

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c7i.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1527m	-Xmx1527m
mapreduce.java.opts	-Xmx3054m	-Xmx3054m
mapreduce.map.memory.mb	1909	1909
mapreduce.reduce.memory.mb	3818	3818
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3818	3818
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30608
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30608

c7i-flex インスタンス

c7i-flex.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1126m	-Xmx1126m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2252m	-Xmx2252m
`mapreduce.map.memory.mb`	1408	1408
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2816	2816
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2816	2816
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	5632	2816
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	5632	2816

c7i-flex.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1171m	-Xmx1171m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.map.memory.mb`	1464	1464
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c7i-flex.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c7i-flex.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c7i-flex.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1425m	-Xmx1425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.map.memory.mb`	1781	1781
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3562	3562
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3562	3562

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c7i-flex.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c8g インスタンス

c8g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c8g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c8g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c8g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1357m	-Xmx1357m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.map.memory.mb`	1696	1696
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3392	3392
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3392	3392
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

c8g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1425m	-Xmx1425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.map.memory.mb`	1781	1781
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3562	3562
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3562	3562

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c8g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c8g.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1494m	-Xmx1494m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2988m	-Xmx2988m
`mapreduce.map.memory.mb`	1867	1867
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3734	3734
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3734	3734
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29840
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29840

c8g.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1527m	-Xmx1527m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx3054m	-Xmx3054m
`mapreduce.map.memory.mb`	1909	1909
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3818	3818
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3818	3818

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30608
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30608

c8gd インスタンス

c8gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1126m	-Xmx1126m
mapreduce.java.opts	-Xmx2252m	-Xmx2252m
mapreduce.map.memory.mb	1408	1408
mapreduce.reduce.memory.mb	2816	2816
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2816	2816
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	5632	2816
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	5632	2816

c8gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

c8gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1171m	-Xmx1171m
mapreduce.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.map.memory.mb	1464	1464
mapreduce.reduce.memory.mb	2928	2928
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2928	2928

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

c8gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1357m	-Xmx1357m
mapreduce.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.map.memory.mb	1696	1696
mapreduce.reduce.memory.mb	3392	3392
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3392	3392
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

c8gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1425m	-Xmx1425m
mapreduce.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.map.memory.mb	1781	1781
mapreduce.reduce.memory.mb	3562	3562
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3562	3562
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	32074
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	32074

c8gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1459m	-Xmx1459m
mapreduce.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.map.memory.mb	1824	1824
mapreduce.reduce.memory.mb	3648	3648
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3648	3648

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

c8gd.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1494m	-Xmx1494m
mapreduce.java.opts	-Xmx2988m	-Xmx2988m
mapreduce.map.memory.mb	1867	1867
mapreduce.reduce.memory.mb	3734	3734
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3734	3734
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29840
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29840

c8gd.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1527m	-Xmx1527m
mapreduce.java.opts	-Xmx3054m	-Xmx3054m
mapreduce.map.memory.mb	1909	1909
mapreduce.reduce.memory.mb	3818	3818
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3818	3818
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30608
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30608

d2 インスタンス

d2.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

d2.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

d2.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

d2.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2417m	-Xmx2417m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4834m	-Xmx4834m
`mapreduce.map.memory.mb`	3021	3021
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6042	6042
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6042	6042

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30194
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30194

d3 インスタンス

d3.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

d3.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

d3.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

d3.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

d3en インスタンス

d3en.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

d3en.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

d3en.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

d3en.6xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2850m	-Xmx2850m
mapreduce.java.opts	-Xmx5700m	-Xmx5700m
mapreduce.map.memory.mb	3563	3563
mapreduce.reduce.memory.mb	7126	7126
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7126	7126
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	28496
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	28496

d3en.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

d3en.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

f2 インスタンス

f2.6xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx8055m	-Xmx8055m
mapreduce.java.opts	-Xmx16110m	-Xmx16110m
mapreduce.map.memory.mb	10069	10069
mapreduce.reduce.memory.mb	20138	20138
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	20138	20138
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	20146
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	20146

f2.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx8192m	-Xmx8192m
mapreduce.java.opts	-Xmx16384m	-Xmx16384m
mapreduce.map.memory.mb	10240	10240
mapreduce.reduce.memory.mb	20480	20480

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	20480	20480
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	20480
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	20480

f2.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx8294m	-Xmx8294m
mapreduce.java.opts	-Xmx16588m	-Xmx16588m
mapreduce.map.memory.mb	10368	10368
mapreduce.reduce.memory.mb	20736	20736
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	20736	20736
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1990656	20736
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1990656	20736

g3 インスタンス

g3.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

g3.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

g3.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

g3s インスタンス

g3s.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	11712	11712
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

g4dn インスタンス

g4dn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4916m	-Xmx4916m
`mapreduce.map.memory.mb`	3072	3072
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6144	6144

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6144	6144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	12288	6144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	12288	6144

g4dn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.java.opts	-Xmx4916m	-Xmx4916m
mapreduce.map.memory.mb	3072	3072
mapreduce.reduce.memory.mb	6144	6144
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6144	6144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

g4dn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2867m	-Xmx2867m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5734m	-Xmx5734m
`mapreduce.map.memory.mb`	3584	3584
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7168	7168
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7168	7168
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	57344	28672
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	57344	28672

g4dn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	122880	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	122880	30720

g4dn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3140m	-Xmx3140m
mapreduce.java.opts	-Xmx6280m	-Xmx6280m
mapreduce.map.memory.mb	3925	3925
mapreduce.reduce.memory.mb	7850	7850
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7850	7850
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31416
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31416

g4dn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3174m	-Xmx3174m
mapreduce.java.opts	-Xmx6348m	-Xmx6348m
mapreduce.map.memory.mb	3968	3968
mapreduce.reduce.memory.mb	7936	7936
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7936	7936
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	253952	31744
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	253952	31744

g5 インスタンス

g5.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

g5.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

g5.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

g5.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

g5.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2986m	-Xmx2986m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5972m	-Xmx5972m
`mapreduce.map.memory.mb`	3733	3733
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7466	7466
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7466	7466
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29880
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29880

g5.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

g5.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3055m	-Xmx3055m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.map.memory.mb`	3819	3819
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7638	7638
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7638	7638

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

g5.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3089m	-Xmx3089m
mapreduce.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.map.memory.mb	3861	3861
mapreduce.reduce.memory.mb	7722	7722
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7722	7722
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30952
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30952

g6 インスタンス

g6.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2304m	-Xmx2304m
mapreduce.java.opts	-Xmx4608m	-Xmx4608m
mapreduce.map.memory.mb	2880	2880
mapreduce.reduce.memory.mb	5760	5760
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5760	5760
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11520	5760
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11520	5760

g6.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2304m	-Xmx2304m
mapreduce.java.opts	-Xmx4608m	-Xmx4608m
mapreduce.map.memory.mb	2880	2880
mapreduce.reduce.memory.mb	5760	5760

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5760	5760
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23040	11520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23040	11520

g6.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2662m	-Xmx2662m
mapreduce.java.opts	-Xmx5324m	-Xmx5324m
mapreduce.map.memory.mb	3328	3328
mapreduce.reduce.memory.mb	6656	6656
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6656	6656
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	53248	26624
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	53248	26624

g6.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2893m	-Xmx2893m
mapreduce.java.opts	-Xmx5786m	-Xmx5786m
mapreduce.map.memory.mb	3616	3616
mapreduce.reduce.memory.mb	7232	7232
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7232	7232
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	115712	28928
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	115712	28928

g6.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2953m	-Xmx2953m
mapreduce.java.opts	-Xmx5906m	-Xmx5906m
mapreduce.map.memory.mb	3691	3691
mapreduce.reduce.memory.mb	7382	7382
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7382	7382

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	177152	29512
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	177152	29512

g6.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2995m	-Xmx2995m
mapreduce.java.opts	-Xmx5990m	-Xmx5990m
mapreduce.map.memory.mb	3744	3744
mapreduce.reduce.memory.mb	7488	7488
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7488	7488
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	239616	29952
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	239616	29952

g6.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3038m	-Xmx3038m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6076m	-Xmx6076m
`mapreduce.map.memory.mb`	3797	3797
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7594	7594
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7594	7594
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	364544	30408
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	364544	30408

g6.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	737280	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	737280	30720

g6e インスタンス

g6e.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

g6e.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

g6e.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

g6e.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

g6e.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

g6e.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

g6e.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

g6e.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6212m	-Xmx6212m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12424m	-Xmx12424m
`mapreduce.map.memory.mb`	7765	7765
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15530	15530
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15530	15530
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1490944	31124
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1490944	31124

gr6 インスタンス

gr6.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5786m	-Xmx5786m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11572m	-Xmx11572m
`mapreduce.map.memory.mb`	7232	7232
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14464	14464

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14464	14464
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	115712	28928
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	115712	28928

gr6.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5990m	-Xmx5990m
mapreduce.java.opts	-Xmx11980m	-Xmx11980m
mapreduce.map.memory.mb	7488	7488
mapreduce.reduce.memory.mb	14976	14976
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14976	14976
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	239616	29952
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	239616	29952

h1 インスタンス

h1.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.java.opts	-Xmx4916m	-Xmx4916m
mapreduce.map.memory.mb	3072	3072
mapreduce.reduce.memory.mb	6144	6144
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6144	6144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

h1.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2867m	-Xmx2867m
mapreduce.java.opts	-Xmx5734m	-Xmx5734m
mapreduce.map.memory.mb	3584	3584
mapreduce.reduce.memory.mb	7168	7168

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7168	7168
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

h1.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3072m	-Xmx3072m
mapreduce.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.map.memory.mb	3840	3840
mapreduce.reduce.memory.mb	7680	7680
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7680	7680
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	122880	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	122880	30720

h1.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3174m	-Xmx3174m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6348m	-Xmx6348m
`mapreduce.map.memory.mb`	3968	3968
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7936	7936
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7936	7936
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	253952	31744
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	253952	31744

i2 インスタンス

i2.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i2.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

i2.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

i2.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

i3 インスタンス

i3.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i3.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

i3.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

i3.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

i3.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

i3en インスタンス

i3en.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4915m	-Xmx4915m
mapreduce.java.opts	-Xmx9830m	-Xmx9830m
mapreduce.map.memory.mb	6144	6144
mapreduce.reduce.memory.mb	12288	12288

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	12288	12288
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

i3en.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5734m	-Xmx5734m
mapreduce.java.opts	-Xmx11468m	-Xmx11468m
mapreduce.map.memory.mb	7168	7168
mapreduce.reduce.memory.mb	14336	14336
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14336	14336
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

i3en.3xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6007m	-Xmx6007m
mapreduce.java.opts	-Xmx12014m	-Xmx12014m
mapreduce.map.memory.mb	7509	7509
mapreduce.reduce.memory.mb	15018	15018
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15018	15018
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	90112	30040
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	90112	30040

i3en.6xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6281m	-Xmx6281m
mapreduce.java.opts	-Xmx12562m	-Xmx12562m
mapreduce.map.memory.mb	7851	7851
mapreduce.reduce.memory.mb	15702	15702
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15702	15702

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31396
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31396

i3en.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6417m	-Xmx6417m
mapreduce.java.opts	-Xmx12834m	-Xmx12834m
mapreduce.map.memory.mb	8021	8021
mapreduce.reduce.memory.mb	16042	16042
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	16042	16042
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	385024	32100
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	385024	32100

i3en.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6486m	-Xmx6486m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12972m	-Xmx12972m
`mapreduce.map.memory.mb`	8107	8107
`mapreduce.reduce.memory.mb`	16214	16214
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	16214	16214
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	778240	32396
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	778240	32396

i4g インスタンス

i4g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i4g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

i4g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

i4g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

i4g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

i4i インスタンス

i4i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i4i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

i4i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

i4i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

i4i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

i4i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

i4i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

i4i.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6195m	-Xmx6195m
mapreduce.java.opts	-Xmx12390m	-Xmx12390m
mapreduce.map.memory.mb	7744	7744
mapreduce.reduce.memory.mb	15488	15488
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15488	15488

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	991232	30976
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	991232	30976

i7i インスタンス

i7i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i7i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

i7i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

i7i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

i7i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30564
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30564

i7i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

i7i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

i7i.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6212m	-Xmx6212m
mapreduce.java.opts	-Xmx12424m	-Xmx12424m
mapreduce.map.memory.mb	7765	7765
mapreduce.reduce.memory.mb	15530	15530
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15530	15530
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31124
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31124

i7ie インスタンス

i7ie.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i7ie.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

i7ie.3xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5700m	-Xmx5700m
mapreduce.java.opts	-Xmx11400m	-Xmx11400m
mapreduce.map.memory.mb	7125	7125
mapreduce.reduce.memory.mb	14250	14250
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14250	14250
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	28504
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	28504

i7ie.6xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5974m	-Xmx5974m
mapreduce.java.opts	-Xmx11948m	-Xmx11948m
mapreduce.map.memory.mb	7467	7467
mapreduce.reduce.memory.mb	14934	14934
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14934	14934

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29860

i7ie.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

i7ie.18xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6155m	-Xmx6155m
mapreduce.java.opts	-Xmx12310m	-Xmx12310m
mapreduce.map.memory.mb	7694	7694
mapreduce.reduce.memory.mb	15388	15388
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15388	15388
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	553984	30792
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	553984	30792

i7ie.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

i7ie.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6212m	-Xmx6212m
mapreduce.java.opts	-Xmx12424m	-Xmx12424m
mapreduce.map.memory.mb	7765	7765
mapreduce.reduce.memory.mb	15530	15530
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15530	15530
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31124
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31124

i8g インスタンス

i8g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

i8g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

i8g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

i8g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

i8g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

i8g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

i8g.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

i8g.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6212m	-Xmx6212m
mapreduce.java.opts	-Xmx12424m	-Xmx12424m
mapreduce.map.memory.mb	7765	7765
mapreduce.reduce.memory.mb	15530	15530
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15530	15530

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31124
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31124

im4gn インスタンス

im4gn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

im4gn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

im4gn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

im4gn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

im4gn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

is4gen インスタンス

is4gen.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3514m	-Xmx3514m
mapreduce.java.opts	-Xmx7028m	-Xmx7028m
mapreduce.map.memory.mb	4393	4393
mapreduce.reduce.memory.mb	8786	8786

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	8786	8786
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	17572.12	8786.06
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	17572.12	8786.06

is4gen.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3866m	-Xmx3866m
mapreduce.java.opts	-Xmx7732m	-Xmx7732m
mapreduce.map.memory.mb	4832	4832
mapreduce.reduce.memory.mb	9664	9664
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	9664	9664
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	38656	19328
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	38656	19328

is4gen.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4275m	-Xmx4275m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx8550m	-Xmx8550m
`mapreduce.map.memory.mb`	5344	5344
`mapreduce.reduce.memory.mb`	10688	10688
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	10688	10688
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	85504	32064
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	85504	32064

is4gen.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4480m	-Xmx4480m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx8960m	-Xmx8960m
`mapreduce.map.memory.mb`	5600	5600
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11200	11200
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	11200	11200

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	22400
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	22400

m1 インスタンス

m1.small

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx288m	-Xmx288m
mapreduce.java.opts	-Xmx288m	-Xmx288m
mapreduce.map.memory.mb	512	512
mapreduce.reduce.memory.mb	512	512
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	512	512
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	512	512
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1024	512

m1.medium

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx512m	-Xmx512m
mapreduce.java.opts	-Xmx768m	-Xmx768m
mapreduce.map.memory.mb	768	768
mapreduce.reduce.memory.mb	1024	1024
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	1024	1024
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	2048	1024
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	2048	1024

m1.large

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx512m	-Xmx512m
mapreduce.java.opts	-Xmx1024m	-Xmx1024m
mapreduce.map.memory.mb	768	768
mapreduce.reduce.memory.mb	1536	1536
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	1536	1536

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	3072	2560
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	5120	2560

m1.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx512m	-Xmx512m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx1536m	-Xmx1536m
`mapreduce.map.memory.mb`	768	768
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2048	2048
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2048	2048
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	8192	6144
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	12288	6144

m2 インスタンス

m2.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx864m	-Xmx864m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx1536m	-Xmx1536m
`mapreduce.map.memory.mb`	1024	1024
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2048	2048
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2048	2048
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	7168	7168
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	14336	7168

m2.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1280m	-Xmx1280m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2304m	-Xmx2304m
`mapreduce.map.memory.mb`	1536	1536
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2560	2560

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2560	2560
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	8192	15360
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	30720	15360

m2.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1280m	-Xmx1280m
mapreduce.java.opts	-Xmx2304m	-Xmx2304m
mapreduce.map.memory.mb	1536	1536
mapreduce.reduce.memory.mb	2560	2560
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2560	2560
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	8192	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	61440	30720

m3 インスタンス

m3.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1152m	-Xmx1152m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2304m	-Xmx2304m
`mapreduce.map.memory.mb`	1440	1440
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2880	2880
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	2880	2880
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11520	5760
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11520	5760

m3.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1152m	-Xmx1152m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2304m	-Xmx2304m
`mapreduce.map.memory.mb`	1440	1440
`mapreduce.reduce.memory.mb`	2880	2880

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	2880	2880
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23040	11520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23040	11520

m4 インスタンス

m4.large

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1229m	-Xmx1229m
mapreduce.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.map.memory.mb	1536	1536
mapreduce.reduce.memory.mb	3072	3072
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3072	3072
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	6144	3072

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	6144	3072

m4.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1229m	-Xmx1229m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.map.memory.mb`	1536	1536
`mapreduce.reduce.memory.mb`	3072	3072
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	3072	3072
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	12288	6144
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	12288	6144

m4.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx1229m	-Xmx1229m

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.map.memory.mb	1536	1536
mapreduce.reduce.memory.mb	3072	3072
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3072	3072
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

m4.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1434m	-Xmx1434m
mapreduce.java.opts	-Xmx2868m	-Xmx2868m
mapreduce.map.memory.mb	1792	1792
mapreduce.reduce.memory.mb	3584	3584
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3584	3584
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

m4.10xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1557m	-Xmx1557m
mapreduce.java.opts	-Xmx3114m	-Xmx3114m
mapreduce.map.memory.mb	1946	1946
mapreduce.reduce.memory.mb	3892	3892
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3892	3892
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	155648	31104
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	155648	31104

m4.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx1587m	-Xmx1587m
mapreduce.java.opts	-Xmx3174m	-Xmx3174m
mapreduce.map.memory.mb	1984	1984
mapreduce.reduce.memory.mb	3968	3968
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	3968	3968
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	253952	31744
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	253952	31744

m5 インスタンス

m5.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.java.opts	-Xmx4916m	-Xmx4916m
mapreduce.map.memory.mb	3072	3072
mapreduce.reduce.memory.mb	6144	6144

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6144	6144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	12288	6144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	12288	6144

m5.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.java.opts	-Xmx4916m	-Xmx4916m
mapreduce.map.memory.mb	3072	3072
mapreduce.reduce.memory.mb	6144	6144
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6144	6144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

m5.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2867m	-Xmx2867m
mapreduce.java.opts	-Xmx5734m	-Xmx5734m
mapreduce.map.memory.mb	3584	3584
mapreduce.reduce.memory.mb	7168	7168
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7168	7168
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

m5.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3072m	-Xmx3072m
mapreduce.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.map.memory.mb	3840	3840
mapreduce.reduce.memory.mb	7680	7680
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	122880	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	122880	30720

m5.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3140m	-Xmx3140m
mapreduce.java.opts	-Xmx6280m	-Xmx6280m
mapreduce.map.memory.mb	3925	3925
mapreduce.reduce.memory.mb	7850	7850
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7850	7850
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31416
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31416

m5.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3174m	-Xmx3174m
mapreduce.java.opts	-Xmx6348m	-Xmx6348m
mapreduce.map.memory.mb	3968	3968
mapreduce.reduce.memory.mb	7936	7936
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7936	7936
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	253952	31744
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	253952	31744

m5.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3209m	-Xmx3209m
mapreduce.java.opts	-Xmx6418m	-Xmx6418m
mapreduce.map.memory.mb	4011	4011
mapreduce.reduce.memory.mb	8022	8022
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	8022	8022

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	385024	32056
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	385024	32056

m5a インスタンス

m5a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.java.opts	-Xmx4916m	-Xmx4916m
mapreduce.map.memory.mb	3072	3072
mapreduce.reduce.memory.mb	6144	6144
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6144	6144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	12288	6144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	12288	6144

m5a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4916m	-Xmx4916m
`mapreduce.map.memory.mb`	3072	3072
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6144	6144
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6144	6144
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	24576	12288
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	24576	12288

m5a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2867m	-Xmx2867m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5734m	-Xmx5734m
`mapreduce.map.memory.mb`	3584	3584
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7168	7168
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7168	7168

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

m5a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3072m	-Xmx3072m
mapreduce.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.map.memory.mb	3840	3840
mapreduce.reduce.memory.mb	7680	7680
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7680	7680
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	122880	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	122880	30720

m5a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3140m	-Xmx3140m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6280m	-Xmx6280m
`mapreduce.map.memory.mb`	3925	3925
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7850	7850
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7850	7850
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	188416	31416
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	188416	31416

m5a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3174m	-Xmx3174m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6348m	-Xmx6348m
`mapreduce.map.memory.mb`	3968	3968
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7936	7936
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7936	7936

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	253952	31744
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	253952	31744

m5a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3209m	-Xmx3209m
mapreduce.java.opts	-Xmx6418m	-Xmx6418m
mapreduce.map.memory.mb	4011	4011
mapreduce.reduce.memory.mb	8022	8022
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	8022	8022
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	385024	32056
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	385024	32056

m5ad インスタンス

m5ad.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m5ad.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m5ad.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m5ad.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m5ad.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m5ad.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m5ad.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m5d インスタンス

m5d.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2458m	-Xmx2458m
mapreduce.java.opts	-Xmx4916m	-Xmx4916m
mapreduce.map.memory.mb	3072	3072
mapreduce.reduce.memory.mb	6144	6144

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6144	6144
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	12288	6144
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	12288	6144

m5d.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2458m	-Xmx2458m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4916m	-Xmx4916m
`mapreduce.map.memory.mb`	3072	3072
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6144	6144
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6144	6144
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	24576	12288
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	24576	12288

m5d.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2867m	-Xmx2867m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5734m	-Xmx5734m
`mapreduce.map.memory.mb`	3584	3584
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7168	7168
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7168	7168
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	57344	28672
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	57344	28672

m5d.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	122880	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	122880	30720

m5d.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3140m	-Xmx3140m
mapreduce.java.opts	-Xmx6280m	-Xmx6280m
mapreduce.map.memory.mb	3925	3925
mapreduce.reduce.memory.mb	7850	7850
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7850	7850
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31416
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31416

m5d.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3174m	-Xmx3174m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6348m	-Xmx6348m
`mapreduce.map.memory.mb`	3968	3968
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7936	7936
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7936	7936
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	253952	31744
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	253952	31744

m5d.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3209m	-Xmx3209m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6418m	-Xmx6418m
`mapreduce.map.memory.mb`	4011	4011
`mapreduce.reduce.memory.mb`	8022	8022
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	8022	8022

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	385024	32056
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	385024	32056

m5dn インスタンス

m5dn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m5dn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

m5dn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

m5dn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m5dn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2986m	-Xmx2986m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5972m	-Xmx5972m
`mapreduce.map.memory.mb`	3733	3733
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7466	7466
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7466	7466
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29880
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29880

m5dn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m5dn.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m5n インスタンス

m5n.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m5n.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m5n.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m5n.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m5n.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m5n.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m5n.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m5zn インスタンス

m5zn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2304m	-Xmx2304m
mapreduce.java.opts	-Xmx4608m	-Xmx4608m
mapreduce.map.memory.mb	2880	2880
mapreduce.reduce.memory.mb	5760	5760

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5760	5760
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11520	5760
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11520	5760

m5zn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m5zn.3xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2577m	-Xmx2577m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5154m	-Xmx5154m
`mapreduce.map.memory.mb`	3221	3221
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6442	6442
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6442	6442
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	38656	19328
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	38656	19328

m5zn.6xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2850m	-Xmx2850m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5700m	-Xmx5700m
`mapreduce.map.memory.mb`	3563	3563
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7126	7126
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7126	7126

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	85504	28496
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	85504	28496

m5zn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m6a インスタンス

m6a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m6a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m6a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m6a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m6a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m6a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3055m	-Xmx3055m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.map.memory.mb`	3819	3819
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7638	7638
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7638	7638
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30520
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30520

m6a.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

m6a.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3089m	-Xmx3089m
mapreduce.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.map.memory.mb	3861	3861
mapreduce.reduce.memory.mb	7722	7722
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7722	7722
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30952
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30952

m6g インスタンス

m6g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

m6g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m6g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m6g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	181248	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	181248	30208

m6g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m6gd インスタンス

m6gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m6gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m6gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m6gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	181248	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	181248	30208

m6gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m6i インスタンス

m6i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

m6i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m6i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m6i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	181248	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	181248	30208

m6i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m6i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3055m	-Xmx3055m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.map.memory.mb`	3819	3819
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7638	7638
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7638	7638
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30520
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30520

m6i.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

m6id インスタンス

m6id.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m6id.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6id.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

m6id.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m6id.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m6id.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m6id.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m6id.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

m6idn インスタンス

m6idn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m6idn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6idn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

m6idn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m6idn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m6idn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

m6idn.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3055m	-Xmx3055m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.map.memory.mb`	3819	3819
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7638	7638
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7638	7638

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m6idn.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3072m	-Xmx3072m
mapreduce.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.map.memory.mb	3840	3840
mapreduce.reduce.memory.mb	7680	7680
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7680	7680
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

m6in インスタンス

m6in.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

m6in.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m6in.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m6in.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m6in.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	181248	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	181248	30208

m6in.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

m6in.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m6in.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3072m	-Xmx3072m
mapreduce.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.map.memory.mb	3840	3840
mapreduce.reduce.memory.mb	7680	7680
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7680	7680

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

m7a インスタンス

m7a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m7a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

m7a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m7a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m7a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2986m	-Xmx2986m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5972m	-Xmx5972m
`mapreduce.map.memory.mb`	3733	3733
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7466	7466
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7466	7466
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29880
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29880

m7a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m7a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m7a.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3072m	-Xmx3072m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.map.memory.mb`	3840	3840
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7680	7680
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7680	7680
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

m7a.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3089m	-Xmx3089m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.map.memory.mb`	3861	3861
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7722	7722
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7722	7722

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30952
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30952

m7g インスタンス

m7g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	11712	5856
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	11712	5856

m7g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m7g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m7g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m7g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2986m	-Xmx2986m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5972m	-Xmx5972m
`mapreduce.map.memory.mb`	3733	3733
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7466	7466
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7466	7466
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29880
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29880

m7g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m7gd インスタンス

m7gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m7gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

m7gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m7gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m7gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2986m	-Xmx2986m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5972m	-Xmx5972m
`mapreduce.map.memory.mb`	3733	3733
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7466	7466
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7466	7466
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	179200	29880
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	179200	29880

m7gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m7i インスタンス

m7i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m7i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	5856	5856
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

m7i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m7i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m7i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	181248	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	181248	30208

m7i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

m7i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3055m	-Xmx3055m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.map.memory.mb`	3819	3819
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7638	7638
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7638	7638
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30520
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30520

m7i.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3089m	-Xmx3089m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.map.memory.mb`	3861	3861
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7722	7722
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7722	7722
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30952
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30952

m7i-flex インスタンス

m7i-flex.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m7i-flex.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m7i-flex.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

m7i-flex.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

m7i-flex.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2986m	-Xmx2986m
mapreduce.java.opts	-Xmx5972m	-Xmx5972m
mapreduce.map.memory.mb	3733	3733
mapreduce.reduce.memory.mb	7466	7466
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7466	7466
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m7i-flex.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

m8g インスタンス

m8g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2342m	-Xmx2342m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx4684m	-Xmx4684m
`mapreduce.map.memory.mb`	2928	2928
`mapreduce.reduce.memory.mb`	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m8g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m8g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2714m	-Xmx2714m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5428m	-Xmx5428m
`mapreduce.map.memory.mb`	3392	3392
`mapreduce.reduce.memory.mb`	6784	6784
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	6784	6784
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

m8g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m8g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	181248	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	181248	30208

m8g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3021m	-Xmx3021m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.map.memory.mb`	3776	3776
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7552	7552
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7552	7552
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

m8g.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3055m	-Xmx3055m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.map.memory.mb`	3819	3819
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7638	7638
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7638	7638

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30520
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30520

m8g.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx3089m	-Xmx3089m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.map.memory.mb`	3861	3861
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7722	7722
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7722	7722
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30952
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30952

m8gd インスタンス

m8gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	11712	5856
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	11712	5856

m8gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

m8gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

m8gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2918m	-Xmx2918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5836m	-Xmx5836m
`mapreduce.map.memory.mb`	3648	3648
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7296	7296
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7296	7296
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

m8gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx2986m	-Xmx2986m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx5972m	-Xmx5972m
`mapreduce.map.memory.mb`	3733	3733
`mapreduce.reduce.memory.mb`	7466	7466
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	7466	7466

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	179200	29880
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	179200	29880

m8gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

m8gd.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3055m	-Xmx3055m
mapreduce.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.map.memory.mb	3819	3819
mapreduce.reduce.memory.mb	7638	7638
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7638	7638
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30520
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30520

m8gd.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3089m	-Xmx3089m
mapreduce.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.map.memory.mb	3861	3861
mapreduce.reduce.memory.mb	7722	7722
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7722	7722

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30952
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30952

p2 インスタンス

p2.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.java.opts	-Xmx21708m	-Xmx21708m
mapreduce.map.memory.mb	13568	13568
mapreduce.reduce.memory.mb	27136	27136
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	27136	27136
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

p2.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24576m	-Xmx24576m
`mapreduce.map.memory.mb`	15360	15360
`mapreduce.reduce.memory.mb`	30720	30720
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	30720	30720
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

p2.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx9267m	-Xmx9267m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx18534m	-Xmx18534m
`mapreduce.map.memory.mb`	11584	11584
`mapreduce.reduce.memory.mb`	23168	23168
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	23168	23168

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	23168
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	23168

p3 インスタンス

p3.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

p3.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

p3.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

p4d インスタンス

p4d.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx9302m	-Xmx9302m
mapreduce.java.opts	-Xmx18604m	-Xmx18604m
mapreduce.map.memory.mb	11627	11627
mapreduce.reduce.memory.mb	23254	23254
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	23254	23254
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1116160	23222
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1116160	23222

p5 インスタンス

p5.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx8294m	-Xmx8294m
mapreduce.java.opts	-Xmx16588m	-Xmx16588m
mapreduce.map.memory.mb	10368	10368
mapreduce.reduce.memory.mb	20736	20736
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	20736	20736
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1990656	20736
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1990656	20736

r3 インスタンス

r3.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2342m	-Xmx2342m
mapreduce.java.opts	-Xmx4684m	-Xmx4684m
mapreduce.map.memory.mb	2928	2928
mapreduce.reduce.memory.mb	5856	5856

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	5856	5856
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r3.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2714m	-Xmx2714m
mapreduce.java.opts	-Xmx5428m	-Xmx5428m
mapreduce.map.memory.mb	3392	3392
mapreduce.reduce.memory.mb	6784	6784
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	6784	6784
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r3.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx2918m	-Xmx2918m
mapreduce.java.opts	-Xmx5836m	-Xmx5836m
mapreduce.map.memory.mb	3648	3648
mapreduce.reduce.memory.mb	7296	7296
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7296	7296
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r3.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx3021m	-Xmx3021m
mapreduce.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.map.memory.mb	3776	3776
mapreduce.reduce.memory.mb	7552	7552
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	7552	7552

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r4 インスタンス

r4.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r4.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

r4.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r4.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r4.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

r5 インスタンス

r5.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4915m	-Xmx4915m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9830m	-Xmx9830m
`mapreduce.map.memory.mb`	6144	6144
`mapreduce.reduce.memory.mb`	12288	12288

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	12288	12288
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

r5.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5734m	-Xmx5734m
mapreduce.java.opts	-Xmx11468m	-Xmx11468m
mapreduce.map.memory.mb	7168	7168
mapreduce.reduce.memory.mb	14336	14336
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14336	14336
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

r5.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	122880	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	122880	30720

r5.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6349m	-Xmx6349m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12698m	-Xmx12698m
`mapreduce.map.memory.mb`	7936	7936
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15872	15872
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15872	15872

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	253952	31744
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	253952	31744

r5.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6417m	-Xmx6417m
mapreduce.java.opts	-Xmx12834m	-Xmx12834m
mapreduce.map.memory.mb	8021	8021
mapreduce.reduce.memory.mb	16042	16042
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	16042	16042
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	385024	32100
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	385024	32100

r5.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6451m	-Xmx6451m
mapreduce.java.opts	-Xmx12902m	-Xmx12902m
mapreduce.map.memory.mb	8064	8064
mapreduce.reduce.memory.mb	16128	16128
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	16128	16128
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	516096	32256
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	516096	32256

r5.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6486m	-Xmx6486m
mapreduce.java.opts	-Xmx12972m	-Xmx12972m
mapreduce.map.memory.mb	8107	8107
mapreduce.reduce.memory.mb	16214	16214
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	16214	16214

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	778240	32396
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	778240	32396

r5a インスタンス

r5a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4915m	-Xmx4915m
mapreduce.java.opts	-Xmx9830m	-Xmx9830m
mapreduce.map.memory.mb	6144	6144
mapreduce.reduce.memory.mb	12288	12288
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	12288	12288
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

r5a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5734m	-Xmx5734m
mapreduce.java.opts	-Xmx11468m	-Xmx11468m
mapreduce.map.memory.mb	7168	7168
mapreduce.reduce.memory.mb	14336	14336
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14336	14336
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

r5a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	122880	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	122880	30720

r5a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6349m	-Xmx6349m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12698m	-Xmx12698m
`mapreduce.map.memory.mb`	7936	7936
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15872	15872
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15872	15872
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	253952	31744
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	253952	31744

r5a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6417m	-Xmx6417m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12834m	-Xmx12834m
`mapreduce.map.memory.mb`	8021	8021
`mapreduce.reduce.memory.mb`	16042	16042
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	16042	16042
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	385024	32100
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	385024	32100

r5a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6451m	-Xmx6451m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12902m	-Xmx12902m
`mapreduce.map.memory.mb`	8064	8064
`mapreduce.reduce.memory.mb`	16128	16128
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	16128	16128

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	516096	32256
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	516096	32256

r5a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6486m	-Xmx6486m
mapreduce.java.opts	-Xmx12972m	-Xmx12972m
mapreduce.map.memory.mb	8107	8107
mapreduce.reduce.memory.mb	16214	16214
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	16214	16214
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	778240	32396
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	778240	32396

r5ad インスタンス

r5ad.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	11712	11712
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

r5ad.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r5ad.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r5ad.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

r5ad.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30564
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30564

r5ad.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6246m	-Xmx6246m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12492m	-Xmx12492m
`mapreduce.map.memory.mb`	7808	7808
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15616	15616
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15616	15616
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	499712	31232
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	499712	31232

r5ad.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r5b インスタンス

r5b.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r5b.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r5b.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r5b.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r5b.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r5b.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r5b.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r5d インスタンス

r5d.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4915m	-Xmx4915m
mapreduce.java.opts	-Xmx9830m	-Xmx9830m
mapreduce.map.memory.mb	6144	6144
mapreduce.reduce.memory.mb	12288	12288
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	12288	12288
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

r5d.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5734m	-Xmx5734m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11468m	-Xmx11468m
`mapreduce.map.memory.mb`	7168	7168
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14336	14336
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14336	14336
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	57344	28672
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	57344	28672

r5d.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	122880	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	122880	30720

r5d.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6349m	-Xmx6349m
mapreduce.java.opts	-Xmx12698m	-Xmx12698m
mapreduce.map.memory.mb	7936	7936
mapreduce.reduce.memory.mb	15872	15872
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15872	15872
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	253952	31744
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	253952	31744

r5d.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6417m	-Xmx6417m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12834m	-Xmx12834m
`mapreduce.map.memory.mb`	8021	8021
`mapreduce.reduce.memory.mb`	16042	16042
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	16042	16042
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	385024	32100
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	385024	32100

r5d.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6451m	-Xmx6451m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12902m	-Xmx12902m
`mapreduce.map.memory.mb`	8064	8064
`mapreduce.reduce.memory.mb`	16128	16128
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	16128	16128

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	516096	32256
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	516096	32256

r5d.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6486m	-Xmx6486m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12972m	-Xmx12972m
`mapreduce.map.memory.mb`	8107	8107
`mapreduce.reduce.memory.mb`	16214	16214
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	16214	16214
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	778240	32396
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	778240	32396

r5dn インスタンス

r5dn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r5dn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r5dn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r5dn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

r5dn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r5dn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r5dn.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12356m	-Xmx12356m
`mapreduce.map.memory.mb`	7723	7723
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15446	15446
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15446	15446
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30860
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30860

r5n インスタンス

r5n.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r5n.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r5n.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

r5n.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r5n.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r5n.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r5n.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r6a インスタンス

r6a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r6a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r6a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r6a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30564
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30564

r6a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r6a.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6195m	-Xmx6195m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12390m	-Xmx12390m
`mapreduce.map.memory.mb`	7744	7744
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15488	15488
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15488	15488
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	991232	30976
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	991232	30976

r6a.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6212m	-Xmx6212m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12424m	-Xmx12424m
`mapreduce.map.memory.mb`	7765	7765
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15530	15530
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15530	15530

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31124
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31124

r6g インスタンス

r6g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

r6g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r6g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r6g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30564
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30564

r6g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6gd インスタンス

r6gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

r6gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r6gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r6gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30564
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30564

r6gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6i インスタンス

r6i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

r6i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r6i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r6i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r6i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r6i.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6029m	-Xmx6029m
mapreduce.java.opts	-Xmx12058m	-Xmx12058m
mapreduce.map.memory.mb	7536	7536
mapreduce.reduce.memory.mb	15072	15072
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15072	15072
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	964608	30144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	964608	30144

r6id インスタンス

r6id.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6id.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r6id.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

r6id.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r6id.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r6id.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6id.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r6id.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6195m	-Xmx6195m
mapreduce.java.opts	-Xmx12390m	-Xmx12390m
mapreduce.map.memory.mb	7744	7744
mapreduce.reduce.memory.mb	15488	15488
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15488	15488
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	991232	30976
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	991232	30976

r6idn インスタンス

r6idn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6idn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r6idn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r6idn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

r6idn.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r6idn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6idn.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12356m	-Xmx12356m
`mapreduce.map.memory.mb`	7723	7723
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15446	15446
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15446	15446
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30860
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30860

r6idn.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6195m	-Xmx6195m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12390m	-Xmx12390m
`mapreduce.map.memory.mb`	7744	7744
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15488	15488
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15488	15488

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	991232	30976
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	991232	30976

r6in インスタンス

r6in.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r6in.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

r6in.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r6in.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r6in.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	366592	30564
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	366592	30564

r6in.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r6in.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6178m	-Xmx6178m
mapreduce.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.map.memory.mb	7723	7723
mapreduce.reduce.memory.mb	15446	15446
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15446	15446
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r6in.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6195m	-Xmx6195m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12390m	-Xmx12390m
`mapreduce.map.memory.mb`	7744	7744
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15488	15488
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15488	15488
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	991232	30976
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	991232	30976

r7a インスタンス

r7a.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r7a.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r7a.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

r7a.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r7a.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r7a.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

r7a.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12356m	-Xmx12356m
`mapreduce.map.memory.mb`	7723	7723
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15446	15446
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r7a.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6195m	-Xmx6195m
mapreduce.java.opts	-Xmx12390m	-Xmx12390m
mapreduce.map.memory.mb	7744	7744
mapreduce.reduce.memory.mb	15488	15488
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15488	15488
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	991232	30976
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	991232	30976

r7a.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6212m	-Xmx6212m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12424m	-Xmx12424m
`mapreduce.map.memory.mb`	7765	7765
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15530	15530
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15530	15530
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1490944	31124
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1490944	31124

r7g インスタンス

r7g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r7g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r7g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

r7g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r7g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r7g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

r7gd インスタンス

r7gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r7gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r7gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r7gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6042m	-Xmx6042m
mapreduce.java.opts	-Xmx12084m	-Xmx12084m
mapreduce.map.memory.mb	7552	7552
mapreduce.reduce.memory.mb	15104	15104
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r7gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r7gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

r7i インスタンス

r7i.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	11712	11712
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

r7i.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	13568	13568
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	54272	27136
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	54272	27136

r7i.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

r7i.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r7i.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r7i.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

r7i.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12356m	-Xmx12356m
`mapreduce.map.memory.mb`	7723	7723
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15446	15446
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30860
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30860

r7i.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6212m	-Xmx6212m
mapreduce.java.opts	-Xmx12424m	-Xmx12424m
mapreduce.map.memory.mb	7765	7765
mapreduce.reduce.memory.mb	15530	15530
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15530	15530
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31124
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31124

r7iz インスタンス

r7iz.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4685m	-Xmx4685m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9370m	-Xmx9370m
`mapreduce.map.memory.mb`	5856	5856
`mapreduce.reduce.memory.mb`	11712	11712
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	11712	11712
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	23424	11712
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	23424	11712

r7iz.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5427m	-Xmx5427m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx10854m	-Xmx10854m
`mapreduce.map.memory.mb`	6784	6784
`mapreduce.reduce.memory.mb`	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r7iz.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r7iz.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

r7iz.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r7iz.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r7iz.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6029m	-Xmx6029m
mapreduce.java.opts	-Xmx12058m	-Xmx12058m
mapreduce.map.memory.mb	7536	7536
mapreduce.reduce.memory.mb	15072	15072
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15072	15072
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	964608	30144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	964608	30144

r8g インスタンス

r8g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r8g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r8g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx5837m	-Xmx5837m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx11674m	-Xmx11674m
`mapreduce.map.memory.mb`	7296	7296
`mapreduce.reduce.memory.mb`	14592	14592
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	14592	14592
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	116736	29184
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	116736	29184

r8g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

r8g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6110m	-Xmx6110m
mapreduce.java.opts	-Xmx12220m	-Xmx12220m
mapreduce.map.memory.mb	7637	7637
mapreduce.reduce.memory.mb	15274	15274
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15274	15274
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r8g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6144m	-Xmx6144m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.map.memory.mb`	7680	7680
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15360	15360
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15360	15360
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	30720
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	30720

r8g.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12356m	-Xmx12356m
`mapreduce.map.memory.mb`	7723	7723
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15446	15446
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15446	15446

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30860
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30860

r8g.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6212m	-Xmx6212m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12424m	-Xmx12424m
`mapreduce.map.memory.mb`	7765	7765
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15530	15530
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15530	15530
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1490944	31124
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1490944	31124

r8gd インスタンス

r8gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx4685m	-Xmx4685m
mapreduce.java.opts	-Xmx9370m	-Xmx9370m
mapreduce.map.memory.mb	5856	5856
mapreduce.reduce.memory.mb	11712	11712
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	11712	11712
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	23424	11712
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	23424	11712

r8gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5427m	-Xmx5427m
mapreduce.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.map.memory.mb	6784	6784
mapreduce.reduce.memory.mb	13568	13568

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	13568	13568
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

r8gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5837m	-Xmx5837m
mapreduce.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.map.memory.mb	7296	7296
mapreduce.reduce.memory.mb	14592	14592
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14592	14592
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

r8gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6042m	-Xmx6042m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12084m	-Xmx12084m
`mapreduce.map.memory.mb`	7552	7552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15104	15104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15104	15104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

r8gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6110m	-Xmx6110m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12220m	-Xmx12220m
`mapreduce.map.memory.mb`	7637	7637
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15274	15274
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15274	15274

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	366592	30564
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	366592	30564

r8gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6144m	-Xmx6144m
mapreduce.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.map.memory.mb	7680	7680
mapreduce.reduce.memory.mb	15360	15360
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	15360	15360
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

r8gd.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6178m	-Xmx6178m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12356m	-Xmx12356m
`mapreduce.map.memory.mb`	7723	7723
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15446	15446
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15446	15446
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	741376	30860
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	741376	30860

r8gd.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6212m	-Xmx6212m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12424m	-Xmx12424m
`mapreduce.map.memory.mb`	7765	7765
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15530	15530
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15530	15530

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31124
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31124

x1 インスタンス

x1.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12058m	-Xmx12058m
mapreduce.java.opts	-Xmx24116m	-Xmx24116m
mapreduce.map.memory.mb	15072	15072
mapreduce.reduce.memory.mb	30144	30144
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30144	30144
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	964608	30144
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	964608	30144

x1.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12109m	-Xmx12109m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24218m	-Xmx24218m
`mapreduce.map.memory.mb`	15136	15136
`mapreduce.reduce.memory.mb`	30272	30272
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	30272	30272
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1937408	30272
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1937408	30272

x1e インスタンス

x1e.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx22682m	-Xmx22682m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx45364m	-Xmx45364m
`mapreduce.map.memory.mb`	28352	28352
`mapreduce.reduce.memory.mb`	56704	56704

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	56704	56704
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	113408	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	113408	0

x1e.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx23501m	-Xmx23501m
mapreduce.java.opts	-Xmx47002m	-Xmx47002m
mapreduce.map.memory.mb	29376	29376
mapreduce.reduce.memory.mb	58752	58752
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	58752	58752
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	235008	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	235008	0

x1e.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx23910m	-Xmx23910m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx47820m	-Xmx47820m
`mapreduce.map.memory.mb`	29888	29888
`mapreduce.reduce.memory.mb`	59776	59776
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	59776	59776
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	478208	0
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	478208	0

x1e.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx24115m	-Xmx24115m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx48230m	-Xmx48230m
`mapreduce.map.memory.mb`	30144	30144
`mapreduce.reduce.memory.mb`	60288	60288
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	60288	60288

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	964608	0
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	964608	0

x1e.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx24218m	-Xmx24218m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx48436m	-Xmx48436m
`mapreduce.map.memory.mb`	30272	30272
`mapreduce.reduce.memory.mb`	60544	60544
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	60544	60544
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1937408	0
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1937408	0

x1e.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx24269m	-Xmx24269m
mapreduce.java.opts	-Xmx48538m	-Xmx48538m
mapreduce.map.memory.mb	30336	30336
mapreduce.reduce.memory.mb	60672	60672
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	60672	60672
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	3883008	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	3883008	0

x2gd インスタンス

x2gd.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.java.opts	-Xmx21708m	-Xmx21708m
mapreduce.map.memory.mb	13568	13568
mapreduce.reduce.memory.mb	27136	27136

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	27136	27136
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

x2gd.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.java.opts	-Xmx23348m	-Xmx23348m
mapreduce.map.memory.mb	14592	14592
mapreduce.reduce.memory.mb	29184	29184
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	29184	29184
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

x2gd.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12083m	-Xmx12083m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24166m	-Xmx24166m
`mapreduce.map.memory.mb`	15104	15104
`mapreduce.reduce.memory.mb`	30208	30208
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	30208	30208
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	241664	30208
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	241664	30208

x2gd.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12288m	-Xmx12288m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24576m	-Xmx24576m
`mapreduce.map.memory.mb`	15360	15360
`mapreduce.reduce.memory.mb`	30720	30720
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	30720	30720

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

x2gd.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.java.opts	-Xmx24712m	-Xmx24712m
mapreduce.map.memory.mb	15445	15445
mapreduce.reduce.memory.mb	30890	30890
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30890	30890
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30906
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30906

x2gd.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12390m	-Xmx12390m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24780m	-Xmx24780m
`mapreduce.map.memory.mb`	15488	15488
`mapreduce.reduce.memory.mb`	30976	30976
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	30976	30976
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	991232	30976
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	991232	30976

x2idn インスタンス

x2idn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12390m	-Xmx12390m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24780m	-Xmx24780m
`mapreduce.map.memory.mb`	15488	15488
`mapreduce.reduce.memory.mb`	30976	30976

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30976	30976
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	991232	30976
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	991232	30976

x2idn.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12425m	-Xmx12425m
mapreduce.java.opts	-Xmx24850m	-Xmx24850m
mapreduce.map.memory.mb	15531	15531
mapreduce.reduce.memory.mb	31062	31062
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	31062	31062
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1490944	31030
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1490944	31030

x2idn.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12442m	-Xmx12442m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24884m	-Xmx24884m
`mapreduce.map.memory.mb`	15552	15552
`mapreduce.reduce.memory.mb`	31104	31104
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	31104	31104
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1990656	31104
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1990656	31104

x2iedn インスタンス

x2iedn.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx23347m	-Xmx23347m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx46694m	-Xmx46694m
`mapreduce.map.memory.mb`	29184	29184
`mapreduce.reduce.memory.mb`	58368	58368

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	58368	58368
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	0

x2iedn.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx24166m	-Xmx24166m
mapreduce.java.opts	-Xmx48332m	-Xmx48332m
mapreduce.map.memory.mb	30208	30208
mapreduce.reduce.memory.mb	60416	60416
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	60416	60416
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	0

x2iedn.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx24576m	-Xmx24576m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx49152m	-Xmx49152m
`mapreduce.map.memory.mb`	30720	30720
`mapreduce.reduce.memory.mb`	61440	61440
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	61440	61440
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	491520	0
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	491520	0

x2iedn.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx24781m	-Xmx24781m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx49562m	-Xmx49562m
`mapreduce.map.memory.mb`	30976	30976
`mapreduce.reduce.memory.mb`	61952	61952
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	61952	61952

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	991232	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	991232	0

x2iedn.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx24883m	-Xmx24883m
mapreduce.java.opts	-Xmx49766m	-Xmx49766m
mapreduce.map.memory.mb	31104	31104
mapreduce.reduce.memory.mb	62208	62208
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	62208	62208
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	1990656	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	1990656	0

x2iedn.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx24918m	-Xmx24918m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx49836m	-Xmx49836m
`mapreduce.map.memory.mb`	31147	31147
`mapreduce.reduce.memory.mb`	62294	62294
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	62294	62294
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	2990080	-32
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	2990080	-32

x2iedn.32xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx24934m	-Xmx24934m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx49868m	-Xmx49868m
`mapreduce.map.memory.mb`	31168	31168
`mapreduce.reduce.memory.mb`	62336	62336
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	62336	62336

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	3989504	0
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	3989504	0

x8g インスタンス

x8g.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx10854m	-Xmx10854m
mapreduce.java.opts	-Xmx21708m	-Xmx21708m
mapreduce.map.memory.mb	13568	13568
mapreduce.reduce.memory.mb	27136	27136
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	27136	27136
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	54272	27136
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	54272	27136

x8g.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx11674m	-Xmx11674m
mapreduce.java.opts	-Xmx23348m	-Xmx23348m
mapreduce.map.memory.mb	14592	14592
mapreduce.reduce.memory.mb	29184	29184
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	29184	29184
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	116736	29184
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	116736	29184

x8g.4xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12083m	-Xmx12083m
mapreduce.java.opts	-Xmx24166m	-Xmx24166m
mapreduce.map.memory.mb	15104	15104
mapreduce.reduce.memory.mb	30208	30208
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30208	30208

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	241664	30208
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	241664	30208

x8g.8xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12288m	-Xmx12288m
mapreduce.java.opts	-Xmx24576m	-Xmx24576m
mapreduce.map.memory.mb	15360	15360
mapreduce.reduce.memory.mb	30720	30720
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30720	30720
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	491520	30720
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	491520	30720

x8g.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12356m	-Xmx12356m
mapreduce.java.opts	-Xmx24712m	-Xmx24712m
mapreduce.map.memory.mb	15445	15445
mapreduce.reduce.memory.mb	30890	30890
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30890	30890
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	741376	30906
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	741376	30906

x8g.16xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx12390m	-Xmx12390m
mapreduce.java.opts	-Xmx24780m	-Xmx24780m
mapreduce.map.memory.mb	15488	15488
mapreduce.reduce.memory.mb	30976	30976
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	30976	30976

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	991232	30976
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	991232	30976

x8g.24xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12425m	-Xmx12425m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24850m	-Xmx24850m
`mapreduce.map.memory.mb`	15531	15531
`mapreduce.reduce.memory.mb`	31062	31062
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	31062	31062
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	1490944	31030
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	1490944	31030

x8g.48xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx12458m	-Xmx12458m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx24916m	-Xmx24916m
`mapreduce.map.memory.mb`	15573	15573
`mapreduce.reduce.memory.mb`	31146	31146
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	31146	31146
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	2990080	31210
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	2990080	31210

z1d インスタンス

z1d.xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx4915m	-Xmx4915m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx9830m	-Xmx9830m
`mapreduce.map.memory.mb`	6144	6144
`mapreduce.reduce.memory.mb`	12288	12288

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	12288	12288
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	24576	12288
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	24576	12288

z1d.2xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx5734m	-Xmx5734m
mapreduce.java.opts	-Xmx11468m	-Xmx11468m
mapreduce.map.memory.mb	7168	7168
mapreduce.reduce.memory.mb	14336	14336
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	14336	14336
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	57344	28672
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	57344	28672

z1d.3xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6007m	-Xmx6007m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12014m	-Xmx12014m
`mapreduce.map.memory.mb`	7509	7509
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15018	15018
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15018	15018
`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`	1	1
`yarn.scheduler.maximum-allocation-mb`	90112	30040
`yarn.nodemanager.resource.memory-mb`	90112	30040

z1d.6xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
`mapreduce.map.java.opts`	-Xmx6281m	-Xmx6281m
`mapreduce.java.opts`	-Xmx12562m	-Xmx12562m
`mapreduce.map.memory.mb`	7851	7851
`mapreduce.reduce.memory.mb`	15702	15702
`yarn.app.mapreduce.am.resource.mb`	15702	15702

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	188416	31396
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	188416	31396

z1d.12xlarge

設定オプション	デフォルト値	HBase がインストールされている場合
mapreduce.map.java.opts	-Xmx6417m	-Xmx6417m
mapreduce.java.opts	-Xmx12834m	-Xmx12834m
mapreduce.map.memory.mb	8021	8021
mapreduce.reduce.memory.mb	16042	16042
yarn.app.mapreduce.am.resource.mb	16042	16042
yarn.scheduler.minimum-allocation-mb	1	1
yarn.scheduler.maximum-allocation-mb	385024	32100
yarn.nodemanager.resource.memory-mb	385024	32100

Hadoop デーモン構成設定

Hadoop デーモン設定は、クラスターノードが使用する EC2 インスタンスタイプよって異なります。以下の表に、EC2 の各インスタンスタイプのデフォルトの設定を示します。

これらの設定をカスタマイズするには、hadoop-env 設定分類を使用します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

インスタンスタイプ

- c1 インスタンス
- c3 インスタンス
- c4 インスタンス
- c5 インスタンス
- c5a インスタンス
- c5ad インスタンス
- c5d インスタンス
- c5n インスタンス
- c6a インスタンス
- c6g インスタンス
- c6gd インスタンス
- c6gn インスタンス
- c6i インスタンス
- c6id インスタンス
- c6in インスタンス
- c7a インスタンス
- c7g インスタンス
- c7gd インスタンス
- c7gn インスタンス
- c7i インスタンス
- c7i-flex インスタンス
- c8g インスタンス
- c8gd インスタンス
- d2 インスタンス

- d3 インスタンス
- d3en インスタンス
- f2 インスタンス
- g3 インスタンス
- g3s インスタンス
- g4dn インスタンス
- g5 インスタンス
- g6 インスタンス
- g6e インスタンス
- gr6 インスタンス
- h1 インスタンス
- i2 インスタンス
- i3 インスタンス
- i3en インスタンス
- i4g インスタンス
- i4i インスタンス
- i7i インスタンス
- i7ie インスタンス
- i8g インスタンス
- im4gn インスタンス
- is4gen インスタンス
- m1 インスタンス
- m2 インスタンス
- m3 インスタンス
- m4 インスタンス
- m5 インスタンス
- m5a インスタンス
- m5ad インスタンス
- m5d インスタンス
- m5dn インスタンス

- m5n インスタンス
- m5zn インスタンス
- m6a インスタンス
- m6g インスタンス
- m6gd インスタンス
- m6i インスタンス
- m6id インスタンス
- m6idn インスタンス
- m6in インスタンス
- m7a インスタンス
- m7g インスタンス
- m7gd インスタンス
- m7i インスタンス
- m7i-flex インスタンス
- m8g インスタンス
- m8gd インスタンス
- p2 インスタンス
- p3 インスタンス
- p4d インスタンス
- p5 インスタンス
- r3 インスタンス
- r4 インスタンス
- r5 インスタンス
- r5a インスタンス
- r5ad インスタンス
- r5b インスタンス
- r5d インスタンス
- r5dn インスタンス
- r5n インスタンス
- r6a インスタンス

c1 インスタンス

c1.medium

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAGER_HEAPSIZE	192
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	96
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	128

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	128
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	192
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	96

c1.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	768
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	384
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	512
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	512
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	768
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

c3 インスタンス

c3.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c3.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2396
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2396
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2396
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1740
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	757

c3.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2703
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2703
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2703
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3276
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1064

c3.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3317
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3317
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3317
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6348
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1679

c4 インスタンス

c4.large

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	1152
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	1152
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	1152

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	1152
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	576
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

c4.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c4.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2396
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2396
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2396
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1740
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	757

c4.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2703
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2703
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2703
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3276
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1064

c4.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3317
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3317
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3317
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6348
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1679

c5 インスタンス

c5.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2252
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2252
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2252
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1024
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	614

c5.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

c5.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

c5.9xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3563
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3563
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3563
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	7577
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1925

c5.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4055
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4055
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4055
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	10035
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2416

c5.18xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5038
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5038
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5038
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	14950
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3399

c5.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c5a インスタンス

c5a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c5a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c5a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c5a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c5a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4055
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4055
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4055
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	10035
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2416

c5a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c5a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c5ad インスタンス

c5ad.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c5ad.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c5ad.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c5ad.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c5ad.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c5ad.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c5ad.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c5d インスタンス

c5d.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2252
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2252
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2252
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1024
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	614

c5d.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

c5d.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

c5d.9xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3563
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3563
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3563
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	7577
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1925

c5d.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4055
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4055
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4055
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	10035
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2416

c5d.18xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5038
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5038
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5038
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	14950
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3399

c5d.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c5n インスタンス

c5n.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2304
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2304
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2304
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1280
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	665

c5n.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2519
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2519
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2519
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	2355
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	880

c5n.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2949
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2949
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2949
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	4505
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1310

c5n.9xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4055
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4055
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4055
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	10035
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2416

c5n.18xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6a インスタンス

c6a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6a.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6a.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6g インスタンス

c6g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6gd インスタンス

c6gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6gn インスタンス

c6gn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6gn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6gn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6gn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6gn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6gn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6i インスタンス

c6i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6i.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6id インスタンス

c6id.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6id.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6id.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6id.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6id.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6id.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6id.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6id.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6in インスタンス

c6in.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c6in.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c6in.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c6in.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c6in.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c6in.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c6in.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c6in.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c7a インスタンス

c7a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c7a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c7a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c7a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c7a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c7a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c7a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c7a.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c7a.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c7g インスタンス

c7g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c7g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c7g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c7g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c7g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c7g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c7gd インスタンス

c7gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c7gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c7gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c7gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c7gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c7gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c7gn インスタンス

c7gn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c7gn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c7gn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c7gn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c7gn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c7gn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c7i インスタンス

c7i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c7i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c7i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c7i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c7i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c7i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c7i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c7i.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c7i-flex インスタンス

c7i-flex.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c7i-flex.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c7i-flex.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c7i-flex.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c7i-flex.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c7i-flex.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c8g インスタンス

c8g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c8g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c8g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c8g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c8g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c8g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c8g.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c8g.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c8gd インスタンス

c8gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2124
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2124
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2124
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	972
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	588

c8gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

c8gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

c8gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

c8gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

c8gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

c8gd.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

c8gd.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

d2 インスタンス

d2.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

d2.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

d2.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

d2.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

d3 インスタンス

d3.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

d3.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

d3.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

d3.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

d3en インスタンス

d3en.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

d3en.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

d3en.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

d3en.6xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

d3en.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

d3en.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

f2 インスタンス

f2.6xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

f2.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

f2.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	42065
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	42065
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	42065
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	200089
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g3 インスタンス

g3.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

g3.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g3.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g3s インスタンス

g3s.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

g4dn インスタンス

g4dn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

g4dn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

g4dn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

g4dn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

g4dn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g4dn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g5 インスタンス

g5.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

g5.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

g5.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

g5.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

g5.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g5.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g5.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g5.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6 インスタンス

g6.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2396
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2396
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2396
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1740
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	757

g6.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2703
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2703
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2703
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3276
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1064

g6.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3317
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3317
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3317
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6348
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1679

g6.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4567
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4567
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4567
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12595
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2928

g6.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5795
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5795
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5795
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18739
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7045
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7045
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7045
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	24985
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9543
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9543
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9543
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37478
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	16998
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	16998
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	16998
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	74752
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6e インスタンス

g6e.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

g6e.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

g6e.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

g6e.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6e.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6e.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6e.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

g6e.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

gr6 インスタンス

gr6.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4567
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4567
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4567
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12595
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2928

gr6.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7045
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7045
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7045
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	24985
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

h1 インスタンス

h1.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

h1.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

h1.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

h1.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i2 インスタンス

i2.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i2.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i2.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

i2.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i3 インスタンス

i3.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i3.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i3.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

i3.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i3.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i3en インスタンス

i3en.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

i3en.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

i3en.3xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4055
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4055
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4055
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	10035
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2416

i3en.6xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i3en.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i3en.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17817
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17817
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17817
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	78848
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4g インスタンス

i4g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i4g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i4g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

i4g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4i インスタンス

i4i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i4i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i4i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

i4i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i4i.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7i インスタンス

i7i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i7i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i7i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

i7i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7i.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7ie インスタンス

i7ie.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i7ie.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i7ie.3xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

i7ie.6xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7ie.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7ie.18xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	13332
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	13332
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	13332
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	56422
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7ie.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i7ie.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i8g インスタンス

i8g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

i8g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

i8g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

i8g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i8g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i8g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i8g.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

i8g.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

im4gn インスタンス

im4gn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

im4gn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

im4gn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

im4gn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

im4gn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

is4gen インスタンス

is4gen.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2557
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2557
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2557
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	2547
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	919

is4gen.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3025
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3025
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3025
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	4889
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1387

is4gen.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

is4gen.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m1 インスタンス

m1.small

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	256
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	96
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	192

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	128
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	192
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	96

m1.medium

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	384
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	192
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	256
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	256
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	384
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	192

m1.large

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	768
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	384
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	512

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	512
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	768
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

m1.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	1024
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	512
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	768
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	1024
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	2304
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

m2 インスタンス

m2.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	1536
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	1024
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	1024

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	1024
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3072
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

m2.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	1536
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	1024
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	1024
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	1536
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6144
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

m2.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2048
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	1024
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	1536

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	1536
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12288
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	384

m3 インスタンス

m3.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2396
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2396
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2396
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1740
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	757

m3.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2703
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2703
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2703
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3276
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1064

m4 インスタンス

m4.large

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2252
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2252
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2252
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1024
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	614

m4.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

m4.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

m4.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

m4.10xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5365
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5365
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5365
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	16588
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3727

m4.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5 インスタンス

m5.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

m5.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

m5.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

m5.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

m5.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5a インスタンス

m5a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

m5a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

m5a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

m5a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

m5a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5ad インスタンス

m5ad.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m5ad.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m5ad.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m5ad.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m5ad.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5ad.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5ad.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5d インスタンス

m5d.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2416
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2416
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2416
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1843
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	778

m5d.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

m5d.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

m5d.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

m5d.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5d.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5d.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5dn インスタンス

m5dn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m5dn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m5dn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m5dn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m5dn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5dn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5dn.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5n インスタンス

m5n.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m5n.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m5n.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m5n.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m5n.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5n.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5n.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m5zn インスタンス

m5zn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2396
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2396
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2396
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1740
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	757

m5zn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m5zn.3xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3025
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3025
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3025
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	4889
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1387

m5zn.6xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3962
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3962
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3962
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	9574
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2324

m5zn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6a インスタンス

m6a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6a.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6a.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORYSERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6g インスタンス

m6g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAGER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORYSERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAGER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5877
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5877
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5877
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19148
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6gd インスタンス

m6gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5877
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5877
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5877
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19148
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6i インスタンス

m6i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5877
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5877
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5877
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19148
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6i.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6id インスタンス

m6id.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6id.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6id.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6id.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6id.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6id.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6id.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6id.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6idn インスタンス

m6idn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6idn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6idn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6idn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6idn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6idn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6idn.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6idn.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6in インスタンス

m6in.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m6in.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m6in.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m6in.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m6in.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5877
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5877
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5877
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19148
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6in.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6in.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m6in.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7a インスタンス

m7a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m7a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m7a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m7a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m7a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7a.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7a.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7g インスタンス

m7g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m7g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m7g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m7g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m7g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7gd インスタンス

m7gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m7gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m7gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m7gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m7gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7i インスタンス

m7i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m7i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m7i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m7i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m7i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5877
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5877
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5877
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19148
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7i.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7i-flex インスタンス

m7i-flex.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m7i-flex.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m7i-flex.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m7i-flex.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m7i-flex.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m7i-flex.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8g インスタンス

m8g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m8g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m8g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m8g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m8g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5877
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5877
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5877
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19148
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8g.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8g.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8gd インスタンス

m8gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2401
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2401
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2401
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	1766
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	762

m8gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

m8gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

m8gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

m8gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	5836
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	5836
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	5836
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	18944
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8gd.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

m8gd.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

p2 インスタンス

p2.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

p2.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

p2.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

p3 インスタンス

p3.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

p3.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

p3.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

p4d インスタンス

p4d.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	24576
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	24576
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	24576
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	112640
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

p5 インスタンス

p5.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	42065
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	42065
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	42065
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	200089
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r3 インスタンス

r3.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713

パラメータ	値
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r3.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r3.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r3.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r4 インスタンス

r4.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r4.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r4.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r4.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r4.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5 インスタンス

r5.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

r5.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

r5.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

r5.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12574
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12574
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12574
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	52633
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17817
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17817
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17817
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	78848
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5a インスタンス

r5a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

r5a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

r5a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

r5a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12574
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12574
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12574
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	52633
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17817
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17817
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17817
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	78848
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5ad インスタンス

r5ad.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r5ad.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r5ad.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r5ad.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5ad.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5ad.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12247
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12247
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12247
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50995
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5ad.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5b インスタンス

r5b.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r5b.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r5b.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r5b.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5b.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5b.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5b.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5d インスタンス

r5d.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

r5d.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

r5d.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4710
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4710
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4710
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	13312
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	3072

r5d.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7331
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7331
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7331
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	26419
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5d.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5d.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12574
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12574
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12574
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	52633
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5d.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17817
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17817
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17817
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	78848
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5dn インスタンス

r5dn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r5dn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r5dn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r5dn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5dn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5dn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5dn.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5n インスタンス

r5n.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r5n.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r5n.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r5n.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5n.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5n.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r5n.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6a インスタンス

r6a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6a.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6a.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6g インスタンス

r6g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6gd インスタンス

r6gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6i インスタンス

r6i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6i.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	21544
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	21544
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	21544
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	97484
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6id インスタンス

r6id.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6id.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6id.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6id.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6id.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6id.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6id.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6id.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6idn インスタンス

r6idn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6idn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6idn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6idn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6idn.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6idn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6idn.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6idn.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6in インスタンス

r6in.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r6in.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r6in.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r6in.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6in.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6in.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6in.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r6in.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7a インスタンス

r7a.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r7a.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r7a.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r7a.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7a.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7a.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7a.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7a.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7a.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7g インスタンス

r7g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r7g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r7g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r7g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7gd インスタンス

r7gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r7gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r7gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r7gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7i インスタンス

r7i.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r7i.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r7i.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r7i.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7i.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7i.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7i.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7i.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7iz インスタンス

r7iz.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r7iz.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r7iz.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r7iz.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7iz.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7iz.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r7iz.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	21544
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	21544
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	21544
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	97484
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8g インスタンス

r8g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r8g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r8g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r8g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8g.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8g.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8gd インスタンス

r8gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2713
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2713
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2713
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3328
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1075

r8gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

r8gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

r8gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9584
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9584
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9584
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	37683
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8gd.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

r8gd.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1 インスタンス

x1.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	21544
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	21544
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	21544
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	97484
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	41000
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	41000
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	41000
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	194764
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1e インスタンス

x1e.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4520
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4520
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4520
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12364
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2882

x1e.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6952
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6952
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6952
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	24524
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1e.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	11816
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	11816
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	11816
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	48844
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1e.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	21544
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	21544
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	21544
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	97484
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1e.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	41000
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	41000
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	41000
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	194764
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x1e.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	79912
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	79912
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	79912
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	389324
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2gd インスタンス

x2gd.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

x2gd.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

x2gd.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2gd.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2gd.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2gd.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2idn インスタンス

x2idn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2idn.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2idn.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	42065
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	42065
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	42065
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	200089
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2iedn インスタンス

x2iedn.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

x2iedn.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2iedn.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2iedn.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2iedn.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	42065
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	42065
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	42065
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	200089
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2iedn.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	62054
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	62054
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	62054
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	300032
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x2iedn.32xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	82042
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	82042
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	82042
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	399974
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x8g インスタンス

x8g.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3338
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3338
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3338
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6451
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1699

x8g.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4587
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4587
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4587
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	12697
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2949

x8g.4xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	7086
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	7086
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	7086
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	25190
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x8g.8xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	12083
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	12083
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	12083
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	50176
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x8g.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	17080
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	17080
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	17080
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	75161
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x8g.16xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	22077
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	22077
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	22077
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	100147
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x8g.24xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	32071
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	32071
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	32071
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	150118
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

x8g.48xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	62054
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	62054
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	62054
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	300032
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

z1d インスタンス

z1d.xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	2744
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	2744
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	2744
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	3481
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1105

z1d.2xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	3399
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	3399
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	3399
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	6758
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	1761

z1d.3xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	4055
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	4055
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	4055
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	10035
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	2416

z1d.6xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	6021
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	6021
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048

パラメータ	値
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	6021
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	19865
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

z1d.12xlarge

パラメータ	値
YARN_RESOURCEMANAG ER_HEAPSIZE	9953
YARN_PROXYSERVER_HEAPSIZE	9953
YARN_NODEMANAGER_HEAPSIZE	2048
HADOOP_JOB_HISTORY SERVER_HEAPSIZE	9953
HADOOP_NAMENODE_HEAPSIZE	39526
HADOOP_DATANODE_HEAPSIZE	4096

HDFS 構成

次の表に、Hadoop Distributed File System（HDFS）のデフォルトのパラメータとその設定を示します。`hdfs-site` 設定分類を使用して、これらの値を変更できます。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

> **Warning**
>
> 1. ノードが 4 つ未満のクラスターで `dfs.replication` を 1 に設定すると、単一ノードがダウンした場合に HDFS データが失われる可能性があります。クラスターに HDFS スト

レージがある場合は、データ損失を避けるため、本番稼働ワークロード用に少なくとも 4 つのコアノードでクラスターを構成することをお勧めします。

2. Amazon EMR では、クラスターはコアノードを `dfs.replication` 未満にスケールすることはできません。例えば、`dfs.replication = 2` の場合、コアノードの最小数は 2 です。
3. マネージドスケーリングや自動スケーリングを使用する場合や、クラスターのサイズを手動で変更する場合は、`dfs.replication` を 2 以上に設定することをお勧めします。

パラメータ	定義	デフォルト値
`dfs.block.size`	HDFS ブロックのサイズ。HDFS に格納されているデータを操作するとき、分割サイズは原則として HDFS ブロックのサイズです。値を大きくするとタスクの粒度は小さくなりますが、クラスターへの負荷も低下します。NameNode	134217728 (128 MB)
`dfs.replication`	耐久性のために保存する各ブロックのコピー数。Amazon EMR は、クラスターがプロビジョニングされるコアノードの数に基づいてこの値を設定します。必要に応じて値を調整してください。デフォルト値を上書きするには、`hdfs-site` 分類を使用します。	1 (コアノードが 4 個未満でプロビジョニングされているクラスターの場合) 2 (コアノードが 10 個未満でプロビジョニングされているクラスターの場合) 3 (それ以外のすべてのクラスターの場合)

Amazon EMR における HDFS での透過的暗号化

透過性暗号化は、お客様が定義する HDFS パスである HDFS 暗号化ゾーンを通じて実装されます。各暗号化ゾーンには独自のキーがあり、`hdfs-site` 設定分類を使用して指定されたキーサーバーに保存されます。

Amazon EMR リリースバージョン 4.8.0 から、Amazon EMR セキュリティ設定を使用して、クラスターのデータ暗号化設定をより簡単に行うことができます。セキュリティ設定は、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) ストレージボリュームおよび Amazon S3 の EMRFS データで伝送時のデータと保管時のデータに対するセキュリティを有効にするオプションを提供します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「データを伝送中と保管時に暗号化」を参照してください。

Amazon EMR はデフォルトで Hadoop KMS を使用しますが、KeyProvider API オペレーションを実装する他の KMS を使用できます。HDFS 暗号化ゾーンの各ファイルには、独自のデータ暗号化キーがあり、これは暗号化ゾーンキーで暗号化されます。HDFS データは、データが暗号化ゾーンに書き込まれるときにエンドツーエンド (保管時および転送時) で暗号化されます。これは暗号化および復号アクティビティがクライアントのみで発生するためです。

暗号化ゾーン間でファイルを移動したり、暗号化ゾーンから暗号化されていないパスにファイルを移動することはできません。

NameNode および HDFS クライアントは、KeyProvider API オペレーションを通じて Hadoop KMS (または設定した別の KMS) とやり取りします。KMS はバッキングキーストアで暗号化キーを保存します。また、Amazon EMR には JCE 無制限強度のポリシーが含まれているため、必要な長さでキーを作成できます。

詳細については、Hadoop のドキュメントの「Transparent encryption in HDFS (HDFS での透過的暗号化)」を参照してください。

> **Note**
>
> Amazon EMR では、Hadoop KMS における HTTPS 経由の KMS はデフォルトで有効になりません。HTTPS 経由の KMS を有効にする方法については、Hadoop KMS のドキュメントを参照してください

HDFS 透過的暗号化を設定する

キーを作成し、暗号化ゾーンを追加することで、Amazon EMR で透過的暗号化を設定できます。これはいくつかの方法で行うことができます。

- クラスターの作成時に Amazon EMR 設定 API オペレーションを使用する
- command-runner.jar で Hadoop JAR のステップを使用する
- Hadoop クラスターのマスターノードにログインして、`hadoop key` と `hdfs crypto` コマンドラインクライアントを使用する
- Hadoop KMS と HDFS で REST API を使用する

REST API の詳細については、Hadoop KMS と HDFS の各ドキュメントを参照してください。

CLI を使用してクラスター作成時に暗号化ゾーンとそのキーを作成するには

設定 API オペレーションの `hdfs-encryption-zones` 分類により、クラスターの作成時にキー名と暗号化ゾーンを指定できます。Amazon EMR はクラスターの Hadoop KMS でこのキーを作成し、暗号化ゾーンを設定します。

- 次のコマンドを使用してクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge --
instance-count 2 \
--applications Name=App1 Name=App2 --configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-
s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

> **Note**
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`myConfig.json`:

```
[
 {
  "Classification": "hdfs-encryption-zones",
```

```
  "Properties": {
   "/myHDFSPath1": "path1_key",
   "/myHDFSPath2": "path2_key"
  }
 }
]
```

マスターノードで手動で暗号化ゾーンおよびそのキーを作成するには

1. Amazon EMR リリース 4.1.0 以降を使用してクラスターを起動します。
2. SSH を使用してクラスターのマスターノードに接続します。
3. Hadoop KMS 内でキーを作成します。

```
$ hadoop key create path2_key
path2_key has been successfully created with options Options{cipher='AES/CTR/
NoPadding', bitLength=256, description='null', attributes=null}.
KMSClientProvider[http://ip-x-x-x-x.ec2.internal:16000/kms/v1/] has been updated.
```

> **Important**
>
> Hadoop KMS では、キー名が小文字である必要があります。大文字が含まれているキーを使用すると、起動中にクラスターが失敗します。

4. HDFS で暗号化ゾーンのパスを作成します。

```
$ hadoop fs -mkdir /myHDFSPath2
```

5. 作成したキーを使用して HDFS パスを暗号化ゾーンにします。

```
$ hdfs crypto -createZone -keyName path2_key -path /myHDFSPath2
Added encryption zone /myHDFSPath2
```

を使用して暗号化ゾーンとそのキーを手動で作成するには AWS CLI

- 次のコマンドで KMS キーおよび暗号化ゾーンを作成するステップを追加します。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF --steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Create
 First Hadoop KMS Key",Jar="command-runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[/
bin/bash,-c,"\"hadoop key create path1_key\""] \
Type=CUSTOM_JAR,Name="Create First Hadoop HDFS Path",Jar="command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[/bin/bash,-c,"\"hadoop fs -mkdir /
myHDFSPath1\""] \
Type=CUSTOM_JAR,Name="Create First Encryption Zone",Jar="command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[/bin/bash,-c,"\"hdfs crypto -createZone
 -keyName path1_key -path /myHDFSPath1\""] \
Type=CUSTOM_JAR,Name="Create Second Hadoop KMS Key",Jar="command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[/bin/bash,-c,"\"hadoop key create
 path2_key\""] \
Type=CUSTOM_JAR,Name="Create Second Hadoop HDFS Path",Jar="command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[/bin/bash,-c,"\"hadoop fs -mkdir /
myHDFSPath2\""] \
Type=CUSTOM_JAR,Name="Create Second Encryption Zone",Jar="command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[/bin/bash,-c,"\"hdfs crypto -createZone
 -keyName path2_key -path /myHDFSPath2\""]
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

HDFS 透過的暗号化の考慮事項

ベストプラクティスとして、アプリケーションがファイルを書き込む可能性がある各アプリケーション用に暗号化ゾーンを作成します。また、設定 API で hdfs-encryption-zones 分類を使用して HDFS をすべて暗号化し、暗号化ゾーンとしてルートパス (/) を指定できます。

Hadoop キー管理サーバー

Hadoop KMS は、Hadoop クラスター用の暗号化サービスを実装する機能を提供するキー管理サーバーであり、Amazon EMR における HDFS での透過的暗号化 のキーベンダーとして機能することができます。Amazon EMR の Hadoop KMS は、EMR クラスターの起動時に Hadoop アプリケーションを選択するときにデフォルトでインストールされ、有効になります。Hadoop KMS は、一時キャッシュの場合を除き、キー自体を保存しません。Hadoop KMS は、キープロバイダーとクラ

イアントトラスティの間のバッキングキーストアへのプロキシとして機能します。これはキーストアではありません。Hadoop KMS 用に作成されるデフォルトのキーストアは、Java Cryptography Extension KeyStore (JCEKS) です。JCE の無制限強度のポリシーも含まれるため、必要な長さのキーを作成できます。Hadoop KMS は、HDFS など他のクライアントアプリケーションとは関係なく、キーとキーオペレーションへのアクセスを制御する一連の ACL もサポートします。Amazon EMR のデフォルトのキー長は 256 ビットです。

Hadoop KMS を設定するには、hadoop-kms-site 分類を使って設定を変更します。ACL を設定するには、分類の kms-acls を使用します。

詳細については、Hadoop KMS のドキュメントを参照してください。Hadoop KMS は、Hadoop HDFS 透過的暗号化で使用されます。HDFS 透過的暗号化の詳細については、Apache Hadoop のドキュメントの「HDFS 透過的暗号化」トピックを参照してください。

> **Note**
>
> Amazon EMR では、Hadoop KMS における HTTPS 経由の KMS はデフォルトで有効になりません。HTTPS 経由で KMS を有効にする方法については、Hadoop KMS のドキュメントを参照してください。

> **Important**
>
> Hadoop KMS では、キー名が小文字である必要があります。大文字が含まれているキーを使用すると、起動中にクラスターが失敗します。

Amazon EMR での Hadoop KMS の設定

Amazon EMR リリースバージョン 4.6.0 以降を使用すると、`kms-http-port` は 9700、`kms-admin-port` は 9701 になります。

Amazon EMR リリースの設定 API を使用して、クラスター作成時に Hadoop KMS を設定できます。次の設定オブジェクト分類が Hadoop KMS で使用できます。

Hadoop KMS 設定分類

分類	ファイル名
hadoop-kms-site	`kms-site.xml`

分類	ファイル名
hadoop-kms-acls	kms-acls.xml
hadoop-kms-env	kms-env.sh
hadoop-kms-log4j	kms-log4j.properties

CLI を使用して Hadoop KMS の ACL を設定するには

- Hadoop KMS と ACL でクラスターを作成するには、次のコマンドを使用します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge --
instance-count 2 \
--applications Name=App1 Name=App2 --configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-
s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`myConfig.json`:

```
[
 {
  "Classification": "hadoop-kms-acls",
  "Properties": {
   "hadoop.kms.blacklist.CREATE": "hdfs,foo,myBannedUser",
   "hadoop.kms.acl.ROLLOVER": "myAllowedUser"
  }
 }
]
```

CLI を使用して Hadoop KMS のキャッシュを無効にするには

- 次のコマンドを使用し、Hadoop KMS hadoop.kms.cache.enable を false に設定してクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge --
instance-count 2 \
--applications Name=App1 Name=App2 --configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-
s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

myConfig.json:

```
[
 {
  "Classification": "hadoop-kms-site",
  "Properties": {
   "hadoop.kms.cache.enable": "false"
  }
 }
]
```

CLI を使用して **kms-env.sh** スクリプトで環境変数を設定するには

- kms-env.sh 設定を通じて hadoop-kms-env で設定を変更できます。次のコマンドを使用し、Hadoop KMS でクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge --
instance-count 2 \
--applications Name=App1 Name=App2 --configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-
s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`myConfig.json`:

```
[
 {
  "Classification": "hadoop-kms-env",
  "Properties": {},
  "Configurations": [
   {
    "Classification": "export",
    "Properties": {
     "JAVA_LIBRARY_PATH": "/path/to/files",
     "KMS_SSL_KEYSTORE_FILE": "/non/Default/Path/.keystore",
     "KMS_SSL_KEYSTORE_PASS": "myPass"
    },
    "Configurations": []
   }
  ]
 }
]
```

Hadoop KMS の設定については、Hadoop KMS のドキュメントを参照してください。

複数のマスターノードを持つ EMR クラスターでの HDFS 透過的暗号化

Apache Ranger KMS は、HDFS での透過的暗号化のために複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターで使用されます。

Apache Ranger KMS は、ルートキーと暗号化ゾーン (EZ) キーを複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターの Amazon RDS に保存します。複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターで HDFS の透過的暗号化を有効にするには、次の設定を指定する必要があります。

- Ranger KMS のルートキーおよび EZ キーを保存するための Amazon RDS または独自の MySQL サーバー接続 URL
- MySQL のユーザー名とパスワード
- Ranger KMS ルートキーのパスワード
- MySQL サーバーへの SSL 接続用の認証機関 (CA)PEM ファイル。の証明書バンドルは、[Amazon RDS の証明書バンドルのダウンロード](https://docs.aws.amazon.com/AmazonRDS/latest/UserGuide/UsingWithRDS.SSL.html) AWS リージョン からダウンロードできます。

次の例に示すように、`ranger-kms-dbks-site` 分類と `ranger-kms-db-ca` 分類を使用して、これらの設定を提供できます。

```
[
 {
  "Classification": "ranger-kms-dbks-site",
  "Properties": {
   "ranger.ks.jpa.jdbc.url": "jdbc:log4jdbc:mysql://mysql-host-url.xx-
xxx-1.xxx.amazonaws.com:3306/rangerkms",
   "ranger.ks.jpa.jdbc.user": "mysql-user-name",
   "ranger.ks.jpa.jdbc.password": "mysql-password",
   "ranger.db.encrypt.key.password": "password-for-encrypting-a-master-key"
  }
 },
 {
  "Classification": "ranger-kms-db-ca",
  "Properties": {
   "ranger.kms.trust.ca.file.s3.url": "<S3-path-of-downloaded-pem-file>"
  }
 }
]
```

以下は、Apache Ranger KMS の設定オブジェクト分類です。

Hadoop KMS 設定分類

分類	説明
ranger-kms-dbks-site	Ranger KMS の dbks-site.xml ファイルの値を変更します。
ranger-kms-site	Ranger KMS の ranger-kms-site.xml ファイルの値を変更します。

分類	説明
ranger-kms-env	Ranger KMS 環境の値を変更します。
ranger-kms-log4j	Ranger KMS の kms-log4j.properties ファイルの値を変更します。
ranger-kms-db-ca	Ranger KMS を使用した MySQL SSL 接続用の S3 の CA ファイルの値を変更します。

考慮事項

- セキュリティ向上のため、Amazon RDS インスタンスを暗号化することを強くお勧めします。詳細については、「Amazon RDS リソースの暗号化の概要」を参照してください。
- セキュリティのハードルを上げるため、複数のプライマリノードを持つ各 Amazon EMR クラスターに別々の MySQL データベースを使用することを強くお勧めします。
- 複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターの HDFS において透過的な暗号化を設定するには、クラスターの作成時に `hdfs-encryption-zones` 分類を指定する必要があります。指定しない場合、Ranger KMS は設定も起動もしません。複数のプライマリノードを持つ Amazon EMR クラスターでは、`hdfs-encryption-zones` 分類の再設定、または実行中のクラスターでの Hadoop KMS 設定分類はサポートされていません。
- 「Amazon RDS の証明書バンドルをダウンロードする」からダウンロードした PEM 証明書バンドルは、複数の証明書を 1 つのファイルにグループ化します。Amazon EMR 7.3.0 以降では、設定 `ranger.kms.trust.ca.file.s3.url` を使用して PEM ファイルから複数の証明書をインポートできます。

Hadoop アプリケーションの作成または実行

トピック

- Amazon EMR を使用してバイナリを構築する
- ストリーミングでのデータ処理
- カスタム JAR でのデータの処理

Amazon EMR を使用してバイナリを構築する

クラスターで使用するプログラムをコンパイルするためのビルド環境として Amazon EMR を使用できます。Amazon EMR で使用するプログラムのコンパイルは、Amazon EMR が使用しているバージョンと同じ Linux が実行されているシステムで行わなければなりません。32 ビットバージョンについては、32 ビットマシンまたは 32 ビットクロスコンパイルオプションをオンにして、コンパイルしておく必要があります。64 ビットバージョンについては、64 ビットマシンまたは 64 ビットクロスコンパイルオプションをオンにして、コンパイルしておく必要があります。EC2 インスタンスのバージョンの詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EC2 インスタンスを計画し構成する」を参照してください。C++、Python、C# などのプログラミング言語がサポートされいます。

次の表は、Amazon EMR を使用してアプリケーションを構築し、テストするステップを簡単に示しています。

モジュール構築のプロセス

1	クラスターのマスターノードに接続します。
2	ソースファイルをマスターノードにコピーします。
3	バイナリを構築し、必要に応じて最適化します。
4	バイナリをマスターノードから Amazon S3 にコピーします。

各ステップの詳細については、以降のセクションで説明します。

クラスターのマスターノードに接続するには

- 「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」にある手順を実行してください。

ソースファイルをマスターノードにコピーするには

1. Amazon S3 バケットにソース ファイルを置きます。バケットを作成する方法とデータを Amazon S3 に移動する方法については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」を参照してください。
2. 以下のようなコマンドを入力して、ソースファイルを入れるフォルダーを Hadoop クラスター上に作成します:

```
mkdir SourceFiles
```

3. 次のようなコマンドを入力して、ソースファイルを Amazon S3 からマスターノードにコピーします。

```
hadoop fs -get s3://amzn-s3-demo-bucket/SourceFiles SourceFiles
```

バイナリを構築し、必要に応じて最適化する

バイナリを構築する方法はさまざまな要因によって決まります。ご利用の構築ツールの手順に従って、環境をセットアップして設定してください。Hadoop システム仕様コマンドを使用すると、構築環境をインストールする方法を判断する際に必要なクラスター情報を入手できます。

システム仕様を確認するには

- バイナリを構築する際に使用するアーキテクチャを確認するには、以下のコマンドを使用します。

  a. Debian のバージョンを確認するには、以下のコマンドを入力します:

  ```
  master$ cat /etc/issue
  ```

  出力は次の例のようになります。

  ```
  Debian GNU/Linux 5.0
  ```

  b. パブリック DNS 名とプロセッサーのサイズを確認するには、以下のコマンドを入力します。

  ```
  master$ uname -a
  ```

  出力は次の例のようになります。

  ```
  Linux domU-12-31-39-17-29-39.compute-1.internal 2.6.21.7-2.fc8xen #1 SMP Fri
   Feb 15 12:34:28 EST 2008 x86_64 GNU/Linux
  ```

  c. プロセッサー速度を確認するには、以下のコマンドを入力します:

```
master$ cat /proc/cpuinfo
```

出力は次の例のようになります。

```
processor : 0
vendor_id : GenuineIntel
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5430 @ 2.66GHz
flags : fpu tsc msr pae mce cx8 apic mca cmov pat pse36 clflush dts acpi mmx
 fxsr sse sse2 ss ht tm syscall nx lm constant_tsc pni monitor ds_cpl vmx est
 tm2 ssse3 cx16 xtpr cda lahf_lm
...
```

バイナリを構築したら、ファイルを Amazon S3 にコピーできます。

バイナリをマスターノードから Amazon S3 にコピーするには

- 次のコマンドを入力して、バイナリを Amazon S3 バケットにコピーします。

```
hadoop fs -put BinaryFiles s3://amzn-s3-demo-bucket/BinaryDestination
```

ストリーミングでのデータ処理

Hadoop ストリーミングは、Hadoop に付属しているユーティリティの 1 つです。Java 以外の言語で MapReduce 実行可能ファイルを作成できるようになります。JAR ファイルの形式でストリーミングが実装されるため、Amazon EMR API から、またはコマンドラインから標準のJAR ファイルの用に実行できます。

このセクションでは、Amazon EMR でストリーミングを使用する方法について説明します。

> **Note**
>
> Apache Hadoop Streaming は独立したツールです。そのため、ここでは、その関数とパラメータすべてを説明するわけではありません。Hadoop Streaming の詳細については、http://hadoop.apache.org/docs/stable/hadoop-streaming/HadoopStreaming.html を参照してください。

Hadoop ストリーミングユーティリティの使用

このセクションでは、Hadoop のストリーミングユーティリティの使用方法について説明します。

Hadoop プロセス

1	自由にプログラム言語を選択して、実行可能なマッパーとリデューサーを作成します。 Hadoop のドキュメントの指示に従ってストリーミング実行ファイルを書いてください。プログラムは、標準出力による標準入出力データからの入力を読み取れるようにする必要があります。デフォルトでは、入出力の各行は 1 つのレコードに対応し、各行の最初のタブはキーと値を区切ります。
2	ローカルで実行ファイルをテストしてから、Amazon S3 へアップロードします。
3	Amazon EMR コマンドラインインターフェイスまたは Amazon EMR コンソールを使用してアプリケーションを実行します。

各マッパースクリプトは、 クラスター内の独立したプロセスとして実行されます。各リデューサー実行ファイルは、マッパー実行ファイルの出力をジョブフローによるデータ出力にします。

`input`、`output`、`mapper`、および `reducer` パラメータは、ほとんどのストリーミングアプリケーションで必要とされます。以下の表は、これらのパラメータと他のオプションパラメータついて説明します。

パラメータ	説明	必須
-input	Amazon S3 上の入力データの場所。 タイプ: 文字列 デフォルト: なし 制約: URI。プロトコルの指定がなければ、クラスターのデフォルトファイルシステムが使用されます。	はい
-output	Amazon EMR が処理されたデータをアップロードする Amazon S3 上の場所。	はい

パラメータ	説明	必須
	タイプ: 文字列 デフォルト: なし 制約: URI デフォルト: 場所の指定がなければ、Amazon EMR は `input` で指定された場所にデータをアップロードします。	
-mapper	マッパー実行ファイルの名前。 タイプ: 文字列 デフォルト: なし	はい
-reducer	リデューサー実行ファイルの名前。 タイプ: 文字列 デフォルト: なし	はい
-cacheFile	（主としてパフォーマンス向上のために）Hadoop がローカル作業ディレクトリにコピーするファイルが格納されている Amazon S3 の場所。 タイプ: 文字列 デフォルト: なし 制約: [URI]#[作業ディレクトリに作成するシンボリックリンク名]	いいえ

パラメータ	説明	必須
-cacheArchive	作業ディレクトリに抽出する JAR ファイル タイプ: 文字列 デフォルト: なし 制約: [URI]#[作業ディレクトリに作成するシンボリックリンクディレクトリ名	いいえ
-combiner	結果の結合 タイプ: 文字列 デフォルト: なし 制約: Java クラス名	いいえ

次のコード例は、Python で作成されたマッパーの実行可能ファイルです。このスクリプトは WordCount サンプルアプリケーションの一部です。

```
#!/usr/bin/python
import sys

def main(argv):
  line = sys.stdin.readline()
  try:
    while line:
      line = line.rstrip()
      words = line.split()
      for word in words:
        print "LongValueSum:" + word + "\t" + "1"
      line = sys.stdin.readline()
  except "end of file":
    return None
if __name__ == "__main__":
  main(sys.argv)
```

ストリーミングステップの送信

このセクションでは、クラスターにストリーミングステップを送信するための基本について説明します。ストリーミングアプリケーションは、標準入力から入力を読み取って、スクリプトまたは実行可能ファイル (マッパーと呼ばれます) を各入力に対して実行します。各入力の結果は、ローカル (通常は Hadoop Distributed File System (HDFS) パーティション) に保存されます。すべての入力がマッパーによって処理されたら、そのマッパーの結果は、2 つ目のスクリプトまたは実行可能ファイル (リデューサーと呼ばれます) によって処理されます。リデューサーの結果は標準出力に送信されます。一連のストリーミングステップをつなげて、あるステップの出力を別のステップの入力にすることができます。

マッパーとリデューサーはそれぞれファイルとして参照できます。また、Java クラスを指定することもできます。マッパーおよびリデューサーは、Ruby、Perl、Python、PHP、Bash など、サポートされている任意の言語で実装できます。

コンソールを使用したストリーミングステップの送信

この例では、Amazon EMR コンソールを使用し、実行中のクラスターにストリーミングステップを送信する方法について説明します。

ストリーミングステップを送信するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Cluster List (クラスターリスト)] で、クラスターの名前を選択します。
3. [Steps (ステップ)] セクションまでスクロールして展開し、[Add step (ステップの追加)] を選択します。
4. [Add Step] ダイアログボックスで、次のようにします。
   - [Step type] は [Streaming program] を選択します。
   - [Name] では、デフォルト名 (Streaming program) を使用するか、または新しい名前を入力します。
   - [Mapper (マッパー)] では、Hadoop のマッパークラスの場所、または Python プログラムなどのマッパー実行ファイルが存在する S3 バケットを入力するか参照します。パスの値は *BucketName*/*path*/*MapperExecutable* という書式で指定する必要があります。
   - [Reducer (リデューサー)] では、Hadoop のリデューサークラスの場所、または Python プログラムなどのリデューサー実行ファイルが存在する S3 バケットを入力するか参照します。パスの値は *BucketName*/*path*/*MapperExecutable* という書式で指定する必要がありま

す。Amazon EMR は、特別な aggregate キーワードをサポートしています。詳細については、Hadoop が提供する Aggregate ライブラリを参照してください。

- [Input S3 location] では、入力データの場所を入力または参照します。
- [Output S3 location] (S3 の場所の出力) で、Amazon S3 出力バケットの名前を入力するか、参照します。
- [Arguments (引数)] は、フィールドを空のままにします。
- [Action on failure (失敗時の操作)] では、デフォルトのオプション ([Continue (続行)]) を使用します。

5. [Add] (追加) を選択します。ステップは、[Pending] というステータスでコンソールに表示されます。
6. ステップが実行されると、ステータスは [Pending (保留中)] から [Running (実行中)]、[Running (実行中)] から [完了済み] に変更されます。ステータスを更新するには、[Actions] 列の上にある [Refresh] アイコンを選択します。

AWS CLI

これらの例は、 AWS CLI を使用してクラスターを作成し、ストリーミングステップを送信する方法を示しています。

を使用してクラスターを作成し、ストリーミングステップを送信するには AWS CLI

- を使用してクラスターを作成し、ストリーミングステップを送信するには AWS CLI、次のコマンドを入力し、*myKey* を EC2 キーペアの名前に置き換えます。`--files` の引数はスクリプトの場所の Amazon S3 パスで、`-mapper` および `-reducer` の引数はそれぞれのスクリプトファイルの名前にする必要があります。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --release-label emr-7.9.0 --
applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig --use-default-roles \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
--steps Type=STREAMING,Name="Streaming Program",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[--
files,pathtoscripts,-mapper,mapperscript,-reducer,reducerscript,aggregate,-
input,pathtoinputdata,-output,pathtooutputbucket]
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`--instance-groups` パラメータを使用せずにインスタンス数を指定すると、1 つのマスターノードが起動され、残りのインスタンスはコアノードとして起動されます。すべてのノードで、コマンドで指定したインスタンスタイプが使用されます。

> **Note**
>
> 以前にデフォルトの Amazon EMR サービスロールと EC2 インスタンスプロファイルを作成していない場合は、「aws `emr create-default-roles`」と入力してそれらを作成してから、`create-cluster` サブコマンドを入力します。

での Amazon EMR コマンドの使用の詳細については AWS CLI、「」を参照してくださいhttps://docs.aws.amazon.com/cli/latest/reference/emr。

カスタム JAR でのデータの処理

カスタム JAR では、Amazon S3 にアップロードできるコンパイル済みの Java プログラムを実行します。起動する Hadoop のバージョンに合わせてプログラムをコンパイルし、Amazon EMR クラスターに `CUSTOM_JAR` ステップを送信する必要があります。JAR ファイルのコンパイル方法の詳細については、「Amazon EMR を使用してバイナリを構築する」を参照してください。

Hadoop MapReduce アプリケーションの作成の詳細については、Apache Hadoop ドキュメントの「MapReduce Tutorial」を参照してください。

トピック

- カスタム JAR ステップの送信

カスタム JAR ステップの送信

カスタム JAR では、Amazon S3 にアップロードできるコンパイル済みの Java プログラムを実行します。起動する Hadoop のバージョンに合わせてプログラムをコンパイルし、Amazon EMR クラスターに `CUSTOM_JAR` ステップを送信する必要があります。JAR ファイルのコンパイル方法の詳細については、「Amazon EMR を使用してバイナリを構築する」を参照してください。

Hadoop MapReduce アプリケーションの作成の詳細については、Apache Hadoop ドキュメントの「MapReduce Tutorial」を参照してください。

このセクションでは、Amazon EMR でのカスタム JAR ステップの送信の基本情報について説明します。カスタム JAR ステップを送信する場合は、データを処理するスクリプトを Java プログラミング言語で記述できます。

コンソールを使用したカスタム JAR ステップの送信

この例では、Amazon EMR コンソールを使用して、実行中のクラスターにカスタム JAR ステップを送信する方法について説明します。

コンソールを使用してカスタム JAR ステップを送信するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Cluster List (クラスターリスト)] で、クラスターの名前を選択します。
3. [Steps (ステップ)] セクションまでスクロールして展開し、[Add step (ステップの追加)] を選択します。
4. [Add Step (ステップの追加)] ダイアログで:
   - [Step type] で、[Custom JAR] を選択します。
   - [Name] では、デフォルト名 (Custom JAR) を使用するか、または新しい名前を入力します。
   - [JAR S3 location] では、JAR ファイルの場所を入力または参照します。JAR の場所は、S3 へのパスまたはクラスパス内の完全修飾 Java クラスです。
   - [Arguments (引数)] では、必要な引数をスペース区切りの文字列として入力するか、フィールドを空のままにします。
   - [Action on failure (失敗時の操作)] では、デフォルトのオプション ([Continue (続行)]) を使用します。
5. [Add] (追加) を選択します。ステップは、[Pending] というステータスでコンソールに表示されます。

6. ステップが実行されると、ステータスは [Pending (保留中)] から [Running (実行中)]、[Running (実行中)] から [完了済み] に変更されます。ステータスを更新するには、[Actions] 列の上にある [Refresh] アイコンを選択します。

を使用してクラスターを起動し、カスタム JAR ステップを送信する AWS CLI

を使用してクラスターを起動し、カスタム JAR ステップを送信するには AWS CLI

クラスターを起動し、 を使用してカスタム JAR ステップを送信するには AWS CLI、 `--steps`パラメータを使用して `create-cluster`サブコマンドを入力します。

- クラスターを起動し、カスタム JAR ステップを送信するには、次のコマンドを入力して *myKey* を EC2 キーペア名に置き換え、*amzn-s3-demo-bucket* をバケット名に置き換えます。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig --use-default-roles \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Custom JAR
 Step",ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=pathtojarfile,Args=["pathtoinputdata","pathtooutputbuck
```

> Note
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`--instance-groups` パラメータを使用せずにインスタンス数を指定すると、1 つのプライマリノードが起動され、残りのインスタンスはコアノードとして起動されます。すべてのノードで、コマンドで指定したインスタンスタイプが使用されます。

> Note
>
> 以前にデフォルトの Amazon EMR サービスロールと EC2 インスタンスプロファイルを作成していない場合は、「`aws emr create-default-roles`」と入力してそれらを作成してから、`create-cluster` サブコマンドを入力します。

での Amazon EMR コマンドの使用の詳細については AWS CLI、「」を参照してください https://docs.aws.amazon.com/cli/latest/reference/emr。

サードパーティーへの依存関係

プログラムで使用するための JAR を MapReduce クラスパスに含める必要が生じる場合があります。これを行うための 2 つのオプションがあります。

- 「--libjars s3://*URI_to_JAR*」の手順で、ステップオプションに を使用してクラスターを起動し、カスタム JAR ステップを送信する AWS CLI を含めます。
- mapred-site.xml で mapreduce.application.classpath 設定を変更して、クラスターを起動します。mapred-site 設定分類を使用します。を使用して ステップでクラスターを作成するには AWS CLI、次のようになります。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Hue Name=Hive Name=Pig --use-default-roles \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 2  --ec2-attributes KeyName=myKey \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Custom JAR
 Step",ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=pathtojarfile,Args=["pathtoinputdata","pathtooutputbucket
 \
--configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

myConfig.json:

```
[
    {
      "Classification": "mapred-site",
      "Properties": {
        "mapreduce.application.classpath": "path1,path2"
      }
    }
  ]
```

パスのカンマ区切りリストを、各タスクの JVM クラスパスに付加する必要があります。

復元されたオブジェクトの読み取り

Amazon EMR リリース 7.2.0 以降では、復元された Glacier オブジェクトを `S3A` プロトコルを使用してテーブルの S3 の場所から読み取ることができます。以前のリリースのエンジンでは Glacier と Glacier Deep Archive ファイルを区別しません。つまり、`S3A` を使用して進行中の Glacier ファイルにアクセスしようとすると、`AmazonS3Exception` を取得します。この読み取りオペレーションでは、アーカイブされた Glacier ファイルが復元中である場合は無視されます。この動作を有効にするには、設定 `fs.s3a.glacier.read.restored.objects` を使用します。この設定は 3 つの値にすることができます。

- READ_ALL – この値は、Amazon EMR が Amazon S3 から取得したストレージクラスを考慮すべきでないことを示します。これがデフォルトの動作です。
- SKIP_ALL_GLACIER – この値は、Amazon EMR が Glacier ストレージクラスでタグ付けされた S3 オブジェクトを無視し、他のすべてのオブジェクトを取得する必要があることを示します。これは、Glacier オブジェクトに関する Amazon Athena のデフォルトの動作です。
- READ_RESTORED_GLACIER_OBJECTS – この値は、Amazon EMR が Glacier オブジェクトの復元されたステータスをチェックする必要があることを示します。Amazon EMR がオブジェクトを復元できる場合は、通常の S3 オブジェクトのように読み取ることができます。それ以外の場合、Amazon EMR は S3 Glacier からのオブジェクトを無視します

例

Spark

Spark を使用する際に復元されたオブジェクトを読み取るには、次の設定を使用します。

```
--conf spark.hadoop.fs.s3a.glacier.read.restored.objects=<value>
```

spark-sql を使用する場合は、代わりに次の設定を使用します。

```
spark-sql --conf spark.hadoop.fs.s3a.glacier.read.restored.objects=<value>
```

Flink

Flink を使用している場合は、`flink-conf.yaml` ファイルで設定を行うことができます。

```
fs.s3a.glacier.read.restored.objects: <value>
```

flink-conf 分類を設定することもできます。

```
[
 {
  "Classification": "flink-conf",
  "Properties": {
  "fs.s3a.glacier.read.restored.objects":"<value>"
   }
 }
]
```

[Hive]

Hive を使用する場合は、hive-site.xml ファイルで設定を設定します。

```
<property>
 <name>fs.s3a.glacier.read.restored.objects</name>
 <value><value></value>
</property>
```

Hive CLI を使用してプロパティ --hiveconf を設定することもできます。

```
hive --hiveconf fs.s3a.glacier.read.restored.objects=<value>
```

考慮事項

S3 Glacier から復元されたオブジェクトを読み取るときは、次の考慮事項に注意してください。

- 復元されたオブジェクトは、S3A スキームまたは S3AFileSystem を使用してデータにアクセスする場合にのみ読み取ることができます。
- 復元された Glacier オブジェクトを読み取ると、Amazon EMR はオブジェクト自体を復元しません。そのためには、 AWS CLI または AWS SDK を使用する必要があります。

YARN コンテナの不均一なメモリアクセス対応を有効にする

Amazon EMR バージョン 6.x 以降では、不均一なメモリアクセス (NUMA) を使用してクラスター上のデータをマルチプロセッシングできます。NUMA はプロセッサが別のプロセッサ上のメモリやプロセッサ間で共有されているメモリよりも高速に自身のローカルメモリにアクセスできるコンピュータメモリの設計パターンです。YARN コンテナは、後続のすべてのメモリ割り当てを処理する特定

の NUMA ノードにバインドできるため、NUMA でパフォーマンスが向上します。これにより、クラスターがリモートメモリーにアクセスする回数が減ります。

ワーカーノードマシンがマルチ NUMA ノードの場合は YARN コンテナの NUMA サポートを有効にできます。ワーカーノードがシングル NUMA ノードかマルチ NUMA ノードかを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
lscpu | grep -i numa
NUMA node(s): 2
```

一般に、12x を超えるインスタンスには 2 つの NUMA ノードがあります。これは、メタルインスタンスには適用されません。

YARN コンテナの NUMA 対応を有効にするには

1. Amazon EMR 6.x クラスターで次の `yarn-site` 設定を使用します。

```
[
{
 "classification":"yarn-site",
  "properties":{
   "yarn.nodemanager.linux-container-executor.nonsecure-mode.local-user":"yarn",
   "yarn.nodemanager.linux-container-executor.group":"yarn",
   "yarn.nodemanager.container-
executor.class":"org.apache.hadoop.yarn.server.nodemanager.LinuxContainerExecutor",
   "yarn.nodemanager.numa-awareness.enabled":"true",
   "yarn.nodemanager.numa-awareness.numactl.cmd":"/usr/bin/numactl",
   "yarn.nodemanager.numa-awareness.read-topology":"true"
  },
 "configurations":[]
}
]
```

2. クラスターに次のブートストラップアクションを指定します。

```
#!/bin/bash

sudo yum -y install numactl
echo 1 | sudo tee /proc/sys/kernel/numa_balancing

echo "banned.users=mapred,bin,hdfs" >> /etc/hadoop/conf/container-executor.cfg
rm -rf /var/log/hadoop-yarn/
```

```
sudo chown -R yarn:hadoop /var/log/hadoop-yarn/
sudo chmod 755 -R /var/log/hadoop-yarn/

sudo chmod 6050 /etc/hadoop/conf/container-executor.cfg

mkdir /mnt/yarn && sudo chmod 755 -R /mnt/yarn && sudo chown -R yarn:hadoop /mnt/
yarn
mkdir /mnt1/yarn && sudo chmod 755 -R /mnt1/yarn && sudo chown -R yarn:hadoop /
mnt1/yarn
mkdir /mnt2/yarn && sudo chmod 755 -R /mnt2/yarn && sudo chown -R yarn:hadoop /
mnt2/yarn
```

3. すべてのコンテナが NUMA に対応している必要があります。各コンテナ内の Java 仮想マシン (JVM) に NUMA フラグで通知できます。例えば、JVM に MapReduce ジョブで NUMA を使用するように通知するには、`mapred-site.xml` に次のプロパティを追加します。

```
<property>
 <name>mapreduce.reduce.java.opts</name>
 <value>-XX:+UseNUMA</value>
</property>
<property>
 <name>mapreduce.map.java.opts</name>
 <value>-XX:+UseNUMA</value>
</property>
```

4. NUMA が有効になっていることを確認するには、次のコマンドで NodeManager ログファイルを検索します。

```
grep "NUMA resources allocation is enabled," *
```

NodeManager が NUMA ノードリソースをコンテナに割り当てていることを確認するには、次のコマンドを使用し、*<container_id>* を自分のコンテナ ID に置き換えて、NodeManager ログを検索します。

```
grep "NUMA node" | grep <container_id>
```

YARN コンテナビンのパッキング

Amazon EMR バージョン 7.9.0 以降、YARN のマルチノード配置ポリシー上に構築された YARN キャパシティスケジューラでコンテナビンパッキングポリシーが利用可能になりました。こ

の機能はデフォルトで無効になっていますが、有効にすると、YARN は、設定 で定義された定義済みのパッキングしきい値を尊重しながら、1 つのノードにコンテナを埋めてから他のクラスターノードに拡張することを優先します`yarn.scheduler.capacity.multi-node-placement.container.bin-packing.percentage`。

コンテナのビンパッキングポリシーには、デフォルトのユニフォームコンテナ割り当て戦略と比較して、いくつかの利点があります。

- これにより、クラスターリソースの断片化が軽減されます。
- これらのノードに使用可能なリソースがある場合、限られた数のノードでコンテナを起動することで、クラスターのスケールダウンオペレーションを高速化できる可能性があるため、他のノードをアイドル状態にしておくとスケールダウンできるため、クラスターを動的にスケーリングするためのコスト削減が向上します。

機能を有効にする

Amazon EMR でコンテナのビンパッキング機能を有効にするには、次の YARN サイト分類を追加できます。

```
[
 {
  "Classification": "yarn-site",
  "Properties": {
  "yarn.scheduler.capacity.multi-node-placement.container.bin-packing.percentage":
 "integer value from 1-100"
  }
 }
]
```

考慮事項

- この機能は YARN キャパシティスケジューラでのみ使用できます。
- この機能を有効にすると、YARN マルチノード配置スケジューリング戦略が自動的にアクティブ化されます。
- 限られた数のノードでリソース使用率が集中しているため、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- この機能を使用すると、カスタム自動スケーリングポリシーは、マネージドスケーリングポリシーと比較して、より良いスケールダウンオペレーションを示します。

Hadoop のバージョン履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Hadoop のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Hadoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	3.4.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.8.0	3.4.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.7.0	3.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.6.0	3.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	3.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.4.0	3.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	3.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.2.0	3.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-7.1.0	3.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	3.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.15.0	3.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.13.0	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.11.1	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.10.1	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.9.1	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	3.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.8.1	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.7.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.36.0	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.35.0	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.4.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.3.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.2.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.1.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-6.0.0	3.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.33.1	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.32.1	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	2.10.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.31.1	2.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	2.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.30.2	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.30.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.28.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.27.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.26.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.24.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.23.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.22.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.21.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.20.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.19.1	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	2.8.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.18.1	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.17.2	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.17.0	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.16.0	2.8.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.15.0	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.14.1	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.13.1	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.12.3	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.12.1	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	2.8.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.11.4	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.11.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.11.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.10.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.9.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.8.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.8.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.7.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.6.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server
emr-5.5.4	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.5.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.5.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.4.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.4.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.3.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.3.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.2.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.2.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.1.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.1.0	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.0.2	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-5.0.1	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.9.6	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.9.5	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.4	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.9.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.9.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.8.5	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.8.4	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.3	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.8.2	2.7.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.8.1	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.7.4	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.7.3	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.2	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.7.1	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.7.0	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.1	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.6.0	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.5.0	2.7.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.4.0	2.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.3.0	2.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.2.0	2.6.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Amazon EMR リリースラベル	Hadoop のバージョン	Hadoop でインストールされるコンポーネント
emr-4.1.0	2.6.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager
emr-4.0.0	2.6.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager

Hadoop リリースノート (バージョン別)

トピック

- Amazon EMR 6.6.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.9.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.9.0 - Hadoop の変更

タイプ	説明
新機能	自動設定マッピング: EMRFS ファイルシステム設定は、対応する S3A ファイルシステム設定に自動的に適用され、EMRFS から S3A へのシームレスな移行が可能になります。
新機能	YARN Conatainer bin-packing: アグレッシブダウンスケーリングのスケジュールポリシー
バックポート	YARN-11752 : Global Scheduler: コンテナ割り当て時間の改善
バグ修正	S3A: IAMCredentialsProvider が期限切れの認証情報を返す問題を修正
バグ修正	転送時の暗号化が有効になっているクラスター`yarn.log.server.url` の設定値を修正

Amazon EMR 7.8.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.8.0 - Hadoop の変更

タイプ	説明
アップグレード	Hadoop がバージョン 3.4.1 にアップグレードされました。

タイプ	説明

Amazon EMR 7.7.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.7.0 - Hadoop の変更

タイプ	説明
新機能	S3 プレフィックスリストを使用して S3A GlobStatus 呼び出しを最適化する S3
バックポート	YARN-7327: キャパシティスケジューラの非同期スケジューリングをデフォルトで有効にする
バックポート	YARN-10058: スケジューラがハングしないように、非同期スケジューリングスレッドのアタッチされていない例外を処理する
バックポート	YARN-11732: CapacitySchedulerジューラの SchedulerNode#reservedContainer を呼び出すときの潜在的な NPE を修正
バックポート	YARN-11560: スケジュールが非同期でマルチノードが有効になっている場合の NPE バグを修正
バックポート	YARN-11191: GlobalScheduler refreshQueues の強力なデッドロックを修正
バックポート	YARN-11041: queuePath のすべての発生を新しい QueuePath クラスに置き換える

タイプ	説明
バックポート	YARN-11660: SingleConstraintAppPlacementAllocator のパフォーマンス低下を修正
バックポート	HADOOP-19116: CVE-2024-23944 のため、zookeeper クライアント 3.8.4 を更新しました。
バックポート	HADOOP-19115: CVE-2023-52428 のため、nimbus-jose-jwt 9.37.2 にアップグレードします。 CVE-2023-52428
バックポート	HADOOP-19024: bouncycastle jdk18 1.77 を使用する
バックポート	HADOOP-19123: CVE による commons-configuration2 2.10.1 の更新
バックポート	HADOOP-19114: CVEs による commons-compress 1.26.1 へのアップグレード
バックポート	HADOOP-19237: CVEs による dnsjava 3.6.1 へのアップグレード
新機能	S3 リクエスト監査を S3A に追加する
バックポート	HADOOP-17609: OpenSSL ネイティブコードの SM4 サポートをオプションにする
バックポート	HADOOP-18583: hadoop checknative fails to load openssl 3.x

タイプ	説明
新機能	S3A ロールマッピングのサポートを追加する

Amazon EMR 7.7.0 - Hadoop の機能

- 非同期コンテナスケジューリングは、コンテナ割り当て速度を最適化するように設計されたキャパシティスケジューラのデフォルトのスケジューリング戦略になります。
- S3A ファイルシステムは、S3 プレフィックスリストを使用して glob ステータス呼び出しを最適化し、リストオペレーションを高速化します。デフォルトでは、この機能は無効になっており、core-site.xml ファイル`fs.s3a.prefix.listing.in.glob.status.enabled=true`で を設定することで有効にできます。最適化を有効にすると、 のような globstatus 呼び出しのサーバー側のフィルタリングが可能になり`fs.globstatus("s3://bucket/a*")`、 で始まるオブジェクトのみを一覧表示することで、リストのパフォーマンスが向上します`"a"`。
- S3 リクエスト監査を S3A に追加します。有効にすると、fileSystemOwner オブジェクトからの情報を使用してuserAgent 文字列に S3 リクエストを行うユーザーフィールドとユーザーグループフィールドが入力されます。
- S3A は、ユーザー、グループ、または S3 プレフィックスに基づいて使用する IAM ロールを決定するのに役立つロールマッピングのサポートを追加します。

Amazon EMR 7.6.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.6.0 - Hadoop の変更

タイプ	説明
新機能	S3A 認証情報供給のフレームワーク
新機能	Hive の S3A Magic Committer サポート
バックポート	HADOOP-19309: ソースファイルにファイルスキームが含まれていない場合、S3A: CopyFromLocalFile オペレーションが失敗する

タイプ	説明
バックポート	HADOOP-19050 S3A:S3 アクセス許可のサポート
バックポート	HADOOP-18708 S3A: S3 クライアント側の暗号化 (CSE) をサポート

Amazon EMR 7.6.0 - Hadoop の機能

- `yarn.scheduler.increment-allocation-mb` および のデフォルト設定`yarn.scheduler.minimum-allocation-mb`が 32 から 1 に変更され、YARN でのコンテナリソースの正規化を効果的に無効にしました。
- Hadoop の S3A ファイルシステムは、リクエストレベルの認証情報供給をサポートするように拡張されました。この機能を使用すると、行われたすべての Amazon S3 リクエストは を使用します`AwsCredentialsProvider`。これにより、リクエストごとに認証情報を動的に提供することで、柔軟性とセキュリティが向上します。
- Hadoop の S3A ファイルシステムは、S3 クライアント側の暗号化をサポートしています。

Amazon EMR 7.5.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.5.0 - Hadoop の変更

タイプ	説明
バグ修正	fs.file.impl を空の値にコメントアウトしました。
バックポート	HADOOP-19286: S3 リージョン/エンドポイントが設定されている場合に S3A クロスリージョンアクセスをサポート S3
改善点	EMR-EC2 の S3A コネクタの自動 S3 リージョン設定

タイプ	説明
改善点	S3A での HeadObject 呼び出しの数を減らす

Amazon EMR 7.5 のリリースで、Spark の S3A コネクタは、3TB TPC-DS パーケットデータセットを使用したベンチマークによって証明されているように、EMRFS と同等の読み取りパフォーマンスを示します。

Amazon EMR 7.5.0 - Hadoop の機能

- S3 リージョン設定`fs.s3a.endpoint.region`は、EMR-EC2 デプロイ用の S3A コネクタを使用して EMR クラスターを起動するリージョンに自動的に設定されます。 EMR-EC2
- Amazon S3 クロスバケットリージョンアクセスは、S3A コネクタに対してデフォルトで有効になっています。これは、 を設定することで変更できます`fs.s3a.cross.region.access.enabled=`*`true or false`*。

Amazon EMR 7.4.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.4.0 - Hadoop の変更

タイプ	説明
アップグレード	Hadoop バージョンが 3.4.0 にアップグレードされました。OSS リリースノートを参照してください。
バグ修正	FairScheduler の負の保留中および割り当て済み Yarn メトリクスを修正
バグ修正	YARN-11702 : コンテナの割り当てに対する Yarn の修正
バグ修正	ノードをダウンスケーリングする際のレース条件処理を改善

タイプ	説明
改善点	HADOOP-18679 : ファイルの一括削除/ページ削除用の API を追加する
改善点	HADOOP-19203: WrappedIO BulkDelete API を使用して IOEs UncheckedIOExceptions として生成する
改善点	HADOOP-19205: S3A: v1 SDK よりも初期化/クローズが遅い
改善点	HADOOP-19161: S3A: パフォーマンスフラグのリストを取得するためのオプション fs.s3a.performance.flags
改善点	HADOOP-19072: S3A: mkdir の fs.s3a.performance.flags を使用してストアで最適化を拡張する

Amazon EMR 7.4.0 - Hadoop の機能

Amazon EMR 7.4.0 の Hadoop の新機能については、次のリストを参照してください。

- デフォルトの設定値は、最適なパフォーマンスのために微調整されています。
  - mapreduce.input.fileinputformat.list-status.num-threads=10 – これは 1 から増加しています。
  - fs.s3a.block.size=64M – これは 32M から増加しています。
  - fs.s3a.multipart.size=128M – これは 64M から増加しています。
- S3A ファイルシステムで MapReduce ジョブを加速するためのOut-of-the-boxパフォーマンス向上の最適化。

Amazon EMR 7.3.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.3.0 - Hadoop の変更点

タイプ	説明
新機能	HADOOP-19197: S3A AWS KMS サポート暗号化コンテキスト
新機能	HADOOP-18980: S3A 認証情報プロバイダーの再マッピング: 拡張可能に
改善点	HADOOP-18808: LogExactlyOnce に debug() メソッドを追加

Amazon EMR 7.3.0 - Hadoop 機能

Amazon EMR 7.3.0 の新しい Hadoop 機能については、次のリストを参照してください。

- デフォルトでは、セキュリティ設定で転送中の暗号化が有効になっているクラスターは、Hadoop YARN (Resource Manager、Node Manager、Timeline Server、WebApplicationProxy)、HDFS (NameNode、DataNode、Journal Node、DFSZKFailoverController)、Map Reduce (JobHistory Server と MapReduce Shuffle ポート) に対して TLS 1.3 を実行します。

Amazon EMR 7.2.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 7.2.0 - Hadoop の変更点

タイプ	説明
新機能	HADOOP-18850: S3A: AWS KMS キーによる二層式サーバー側の暗号化を有効にする
新機能	S3 Glacier 読み取り復元オブジェクトのサポート

タイプ	説明
改善点	Spark Jobs の実行時にコアに基づいて S3A の最大接続を動的にスケーリング
改善点	HADOOP-18797: S3A マジックコミッターによる同時書き込みのサポート
改善点	HADOOP-19047: S3A マジックコミッターの InMemory 追跡をサポート
改善点	MagicV2 Committer に「Export」、「Publish」、「AbortPublish」メソッドを追加
改善点	S3A での ReadFullyIntoBuffers FileSystem API の実装
バグ修正	HADOOP-18793: S3A StagingCommitter はステージングアップロードディレクトリをクリーンアップしない
アップグレード	HADOOP-19008: S3A: aws-sdk バージョンを 2.21.41 に更新
アップグレード	HADOOP-18613: ZooKeeper をバージョン 3.8.3 にアップグレード

Amazon EMR 7.2.0 - Hadoop 機能

Amazon EMR 7.2.0 の新しい Hadoop 機能については、次のリストを参照してください。

- S3 Glacier 読み取り復元オブジェクトのサポート – Amazon EMR リリース 7.2.0 以降では、復元された Glacier オブジェクトを S3A プロトコルを使用してテーブルの S3 の場所から読み取ること

ができます。この読み取りオペレーションでは、アーカイブされた Glacier ファイルが復元中である場合は無視されます。

- S3A マジックコミッターによる同時書き込みのサポート – Amazon EMR 7.2.0 では、S3A マジックコミッターによる同時書き込みのサポートが導入されています。この機能は、HADOOP-18797 の一部として OSS Hadoop コミュニティに追加されました。

Amazon EMR 6.6.0 - Hadoop リリースノート

Amazon EMR 6.6.0 - Hadoop の変更点

タイプ	説明
バグ	BZip2 テキストファイルを読み込む際の重複レコードを修正しました。
バックポート	HADOOP-18136: 見つからない .tar ファイルの `FileUtils.unTar()` 処理の検証
バックポート	HADOOP-17627: branch-3.2 HADOOP-17371、HADOOP-17621、HADOOP-17625 にバックポートして Jetty を 9.4.39 に更新
バックポート	HADOOP-17655: Jetty を 9.4.40 にアップグレード
バックポート	HADOOP-17796: Jetty バージョンを 9.4.43 にアップグレード
バックポート	HADOOP-17661: mvn versions:set が pom.xml の解析に失敗する
バックポート	HADOOP-17236: CVE-2017-18640 を軽減するために SnakeYAML を 1.26 にアップグレード
バックポート	HADOOP-16717: GenericsUtil isLog4jLogger の Log4jLoggerAdapter に対する依存関係を削除

タイプ	説明
バックポート	HADOOP-17633: CVE が原因で json-smart を 2.4.2 に、nimbus-jose-jwt を 9.8 に変更
バックポート	HADOOP-17844: JSON smart を 2.4.7 にアップグレード
バックポート	HADOOP-17972: branch-3.2 に HADOOP-17683 (commons-io を 2.8.0 に更新) をバックポート
バックポート	HADOOP-16555: commons-compress を 1.19 に更新
バックポート	HADOOP-17370: commons-compress を 1.21 にアップグレード
バックポート	HADOOP-17096: ZStandardCompressor の入力バッファオフセットを修正
バックポート	HADOOP-17112: コミッター経由で s3a にファイルを保存する際、パスに空白が使用できない
バックポート	HADOOP-13500: 設定プロパティオブジェクトのイテレーションの同期
バックポート	HDFS-14099: ZStandardDecompressor で複数のフレームを解凍するとフレーム記述子が不明になる
バックポート	HDFS-16410: OfflineEditsXmlLoader での XML 解析のセキュリティが保護されていない
バックポート	HDFS-14498: LeaseManager は作成に失敗したファイルを永久にループさせることがある
バックポート	HDFS-15290: NameNode 起動時の HttpServer の NPE

タイプ	説明
バックポート	HDFS-15293: チェックポイントを受信したときの fsimage の受け入れ条件を緩和
バックポート	HDFS-12979: StandbyNode はチェックポイント後に FsImage を ObserverNode にアップロードする必要がある
バックポート	YARN-10538: AM に返却される更新済みノードのリストに再稼働ノードを追加
バックポート	YARN-10472: YARN-10314 (YarnClient は、シェーディングされたクライアント jar のみで WebSocketException に対して NoClassDefFoundError をスローする) を branch-3.2 にバックポート
バックポート	YARN-9968: `NullPointerException` が原因で Public Localizer が `NodeManager` で終了する
バックポート	YARN-10651: `AbstractYarnScheduler.updateNodeResource()` の NPE で `CapacityScheduler` がクラッシュする
バックポート	YARN-9339: アプリケーションを新しいキューに移動すると、保留中のアプリケーションのメトリクスが正しく表示されない
バックポート	YARN-10438: `ClientRMService#getContainerReport()` で null `containerId` を処理
バックポート	YARN-7266: `RollingLevelDb` ファイルが破損しているか、見つからないと ATS 1.5 が起動しない

タイプ	説明
バックポート	YARN-9063: `RollingLevelDb` ファイルが破損しているか、見つからないと ATS 1.5 が起動しない
バックポート	YARN-9848: YARN-4946 を元に戻す (RM はログ集約が終了状態ではない場合、アプリケーションを `COMPLETED` と見なさないようにする)。

Apache HBase

HBase は、Apache Software Foundation の Hadoop プロジェクトの一部として開発されたオープンソースの、非リレーショナルな、分散型データベースです。HBase は、Hadoop Distributed File System (HDFS) 上で実行され、Hadoop エコシステムの非リレーショナルデータベース機能を提供します。HBase は、Amazon EMR リリースバージョン 4.6.0 以降に含まれています。

HBase は、Hadoop のファイルシステムを共有して、MapReduce フレームワークおよび実行エンジンに対する直接入力および出力として機能することで、Hadoop とシームレスに連携します。また、HBase テーブルに対する SQL のようなクエリ、Hive ベースのテーブルとの結合、および Java Database Connectivity (JDBC) を有効にすることで、Apache Hive とも統合されます。HBase の詳細については、Apache ウェブサイトで Apache HBase および HBase ドキュメントを参照してください。Hive で HBase を使用する方法の例については、 AWS Big Data Blog の記事「Buin NoSQL and massively parallel analytics using Apache HBase and Apache Hive on Amazon EMR」を参照してください。

Amazon EMR の HBase では、HBase データを Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) に直接バックアップできます。また、HBase クラスターの起動時に以前作成したバックアップから復元できます。Amazon EMR には、データ保持と災害対策の目的で Amazon S3 と統合する追加オプションがあります。

- Amazon S3 の HBase - Amazon EMR バージョン 5.2.0 以降では、Amazon S3 で HBase を使用して、クラスターの HBase ルートディレクトリとメタデータを直接 Amazon S3 に保存できます。その後に起動した新しいクラスターでは、Amazon S3 のルートディレクトリの場所を参照できます。一度に 1 つのクラスターのみが Amazon S3 の HBase の場所を使用できます (リードレプリカクラスターを除く)。詳細については、「Amazon S3 の HBase (Amazon S3 ストレージモード)」を参照してください。
- HBase リードレプリカ – Amazon S3 の HBase で使用する Amazon EMR バージョン 5.7.0 以降では、リードレプリカクラスターがサポートされます。リードレプリカクラスターは、プライマリクラスターのストアファイルおよびメタデータの読み取り専用オペレーションに対して読み取り専用アクセスを提供します。詳細については、「リードレプリカクラスターの使用」を参照してください。
- HBase スナップショット – Amazon S3 の HBase の代わりに、EMR バージョン 4.0 以降では HBase データのスナップショットを直接 Amazon S3 に作成し、このスナップショットを使用してデータを復元できます。詳細については、「HBase のスナップショットを使用する」を参照してください。

> **Important**
>
> Amazon EMR HBase クラスタースケーリングでは、マネージドスケーリングや HBase クラスターでのカスタムポリシーによるスケーリングの使用はお勧めしません。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている HBase のバージョンと、Amazon EMR で HBase と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで HBase と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の HBase バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	HBase 2.6.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている HBase のバージョンと、Amazon EMR で HBase と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで HBase と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の HBase バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	HBase 2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Note

Apache HBase HBCK2 は、HBase のリージョンとシステムテーブルを修復するための別個の運用ツールです。Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降では、hbase-hbck2.jar はプライマリノードの `/usr/lib/hbase-operator-tools/` で提供されています。このツールのビルドと使用の詳しい方法については、「HBase HBCK2」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている HBase のバージョンと、Amazon EMR で HBase と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで HBase と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の HBase バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	HBase 1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

トピック

- HBase を使用するクラスターの作成
- Amazon S3 の HBase (Amazon S3 ストレージモード)
- Amazon EMR の先行書き込みログ (WAL)
- HBase シェルを使用する
- Hive で HBase テーブルにアクセスする
- HBase のスナップショットを使用する
- HBase を設定する
- HBase ユーザーインターフェイスを表示する
- HBase ログファイルを表示する
- Ganglia で HBase を監視する

- Amazon CloudWatch による EMR HBase のモニタリング
- HBase の以前のバージョンからの移行
- HBase リリース履歴

HBase を使用するクラスターの作成

このセクションの手順では、 AWS Management Console と を使用してクラスターを起動する基本について説明します AWS CLI。Amazon EMR クラスターの計画、構成、起動方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Plan and configure clusters」を参照してください。

コンソールを使用して HBase を含むクラスターを作成する

コンソールを使用してクラスターを起動する簡単な手順については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR の使用開始」を参照してください。

コンソールを使用し、HBase がインストールされた状態でクラスターを作成するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [Software Configuration (ソフトウェア設定)] で、Amazon リリースバージョン 4.6.0 以降を選択します (最新バージョンをお勧めします)。必要に応じて、HBase などのアプリケーションを選択します。
4. Amazon EMR バージョン 5.2.0 以降の [HBase Storage Settings] (HBase ストレージ設定) で、[HDFS] または [S3] を選択します。詳細については、「Amazon S3 の HBase (Amazon S3 ストレージモード)」を参照してください。
5. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

を使用して HBase でクラスターを作成する AWS CLI

HBase がインストールされた状態でクラスターを作成するには、次のコマンドを使用します。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=HBase --use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

Amazon S3 で HBase を使用する場合は、JSON 設定オブジェクトを参照する `--configurations` オプションを指定します。設定オブジェクトには、`hbase.rootdir` プロパティを使用して HBase データが格納された Amazon S3 内の場所を指定する `hbase-site` 分類が含まれている必要があります。また、`hbase` プロパティを使用して `s3` を指定する `hbase.emr.storageMode` 分類が含まれている必要があります。以下の例では、これらの設定を使用した JSON スニペットについて説明します。

```
[
    {
        "Classification": "hbase-site",
        "Properties": {
            "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/MyHBaseStore"
        }
    },
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.emr.storageMode": "s3"
        }
    }
]
```

Amazon S3 の HBase の詳細については、「Amazon S3 の HBase (Amazon S3 ストレージモード)」を参照してください。分類の詳細については、アプリケーションの設定 を参照してください。

Amazon S3 の HBase (Amazon S3 ストレージモード)

Amazon EMR バージョン 5.2.0 以降で HBase を実行する場合は、Amazon S3 で HBase を有効にすることで、以下の利点を得られます。

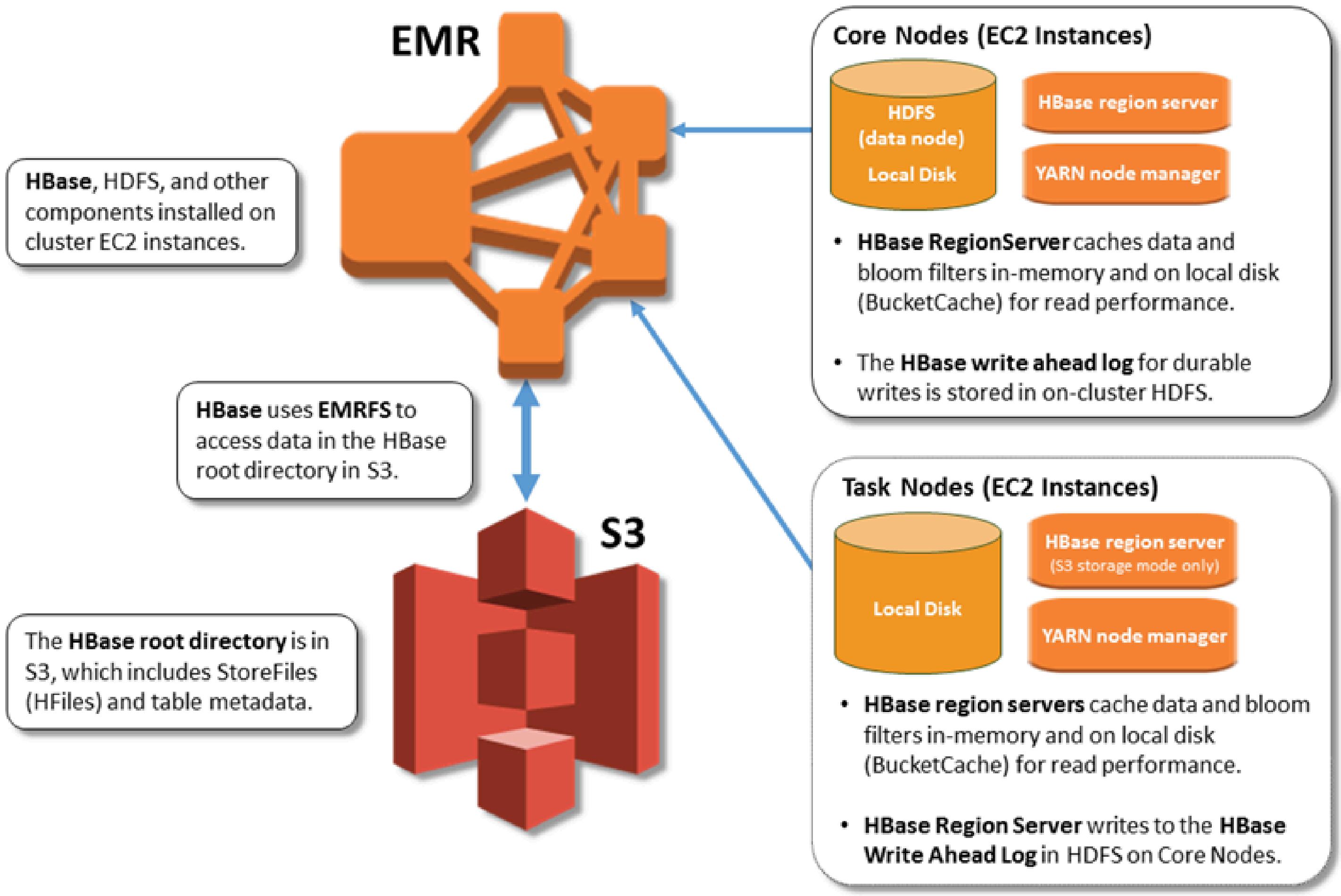
- HBase ルートディレクトリが、HBase ストアファイルおよびテーブルメタデータも含めて、Amazon S3 に保存されます。このデータはクラスター外で永続的で、Amazon EC2 アベイラ

ビリティーゾーン間で使用することができ、スナップショットやそのほかの方法を使用して復元する必要はありません。

- Amazon S3 に格納したファイルを使用して、HDFS の 3 倍のレプリケーションで、データ要件ではなくコンピューティング要件に合わせて Amazon EMR クラスターのサイズを決定できます。
- Amazon EMR バージョン 5.7.0 以降では、リードレプリカクラスターを設定して、データの読み取り専用コピーを Amazon S3 に保持できます。複数の読み取りオペレーションを同時に実行する場合や、プライマリクラスターが使用不能になった場合に、リードレプリカクラスターのデータを利用できます。
- Amazon EMR バージョン 6.2.0 から 7.3.0 では、永続的な HFile 追跡は、 という HBase システムテーブルを使用して、読み取りオペレーションに使用される HFile パス`hbase:storefile`を直接追跡します。この機能はデフォルトで有効になっており、手動マイグレーションを実行する必要はありません。7.3.0 以降のバージョンでは、HFile パスはファイルトラッカーを使用して追跡され、HFile パスはストアディレクトリ内のメタファイルに直接保存されます。

> **Note**
>
> 7.4.0 より前のバージョンの Amazon EMR を使用していて、EMR-7.4.0 以降に移行するユーザーは、「以前の HBase バージョンからの移行」を参照し、利用可能なアップグレードドキュメントに従ってスムーズに移行してください。

次の図は Amazon S3 の HBase に関連する HBase コンポーネントを示しています。



Amazon S3 での HBase の有効化

Amazon EMR コンソール、、または Amazon EMR API を使用して AWS CLI、Amazon S3 で HBase を有効にできます。この設定は、クラスター作成時のオプションです。コンソールを使用する場合は、[Advanced options (詳細オプション)] を使用して設定を選択します。 AWS CLIを使用する場合は、`--configurations` オプションを使用して JSON 設定オブジェクトを提供します。設定オブジェクトのプロパティは Amazon S3 内のストレージモードとルートディレクトリの場所を指定します。Amazon S3 の場所として Amazon EMR クラスターと同じリージョン内の場所を指定する必要があります。一度に 1 つのアクティブなクラスターのみが Amazon S3 の同じ HBase ルートディレクトリを使用できます。を使用したコンソールの手順と詳細な create-cluster の例については AWS CLI、「」を参照してくださいHBase を使用するクラスターの作成。設定オブジェクトの例は、次の JSON スニペットに示します。

```
{
  "Classification": "hbase-site",
```

```
  "Properties": {
    "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/my-hbase-rootdir"}
},
{
  "Classification": "hbase",
  "Properties": {
  "hbase.emr.storageMode":"s3"
  }
}
```

> **Note**
>
> Amazon S3 バケットを HBase 用の `rootdir` として使用する場合、Amazon S3 URI の末尾にスラッシュを追加する必要があります。例えば、問題を回避するために、`"hbase.rootdir: s3://amzn-s3-demo-bucket"` ではなく、`"hbase.rootdir: s3://amzn-s3-demo-bucket/"` を使用する必要があります。

リードレプリカクラスターの使用

Amazon S3 の HBase を使用してプライマリクラスターを設定すると、プライマリクラスターと同じデータへの読み取り専用アクセスを提供するリードレプリカクラスターを作成して設定できます。これは、クエリデータに同時にアクセスする場合や、プライマリクラスターの使用不能時にアクセスを絶やさない場合に便利です。リードレプリカ機能は Amazon EMR バージョン 5.7.0 以降で使用できます。

プライマリクラスターとリードレプリカクラスターは 1 つの重要な点を除いて設定方法が同じです。どちらも同じ `hbase.rootdir` の場所を参照します。ただし、リードレプリカクラスターの `hbase` 分類には `"hbase.emr.readreplica.enabled":"true"` プロパティが含まれます。

リードレプリカクラスターは読み取り専用オペレーション用に設計されており、手動圧縮や書き込みアクションは実行しないでください。7.4.0 より前の Amazon EMR バージョンでは、リードレプリカ機能を有効にするときに、リードレプリカクラスターの圧縮を無効にすることをお勧めします。この注意が必要なのは、プライマリクラスターで永続的な HFile 追跡機能が有効になっている場合、リードレプリカクラスターがシステムテーブルを圧縮し、プライマリクラスターで FileNotFoundException が発生する可能性があるためです。リードレプリカクラスターで圧縮を無効にすると、プライマリクラスターとリードレプリカクラスター間のデータの不整合を防ぐことができます。

例えば、 トピックで前述したようにプライマリクラスターの JSON 分類がある場合、7.4.0 より前の EMR バージョンのリードレプリカクラスターの設定は次のとおりです。

```
{
  "Classification": "hbase-site",
  "Properties": {
    "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/my-hbase-rootdir",
    "hbase.regionserver.compaction.enabled": "false"
  }
},
{
  "Classification": "hbase",
  "Properties": {
  "hbase.emr.storageMode":"s3",
  "hbase.emr.readreplica.enabled":"true"
  }
}
```

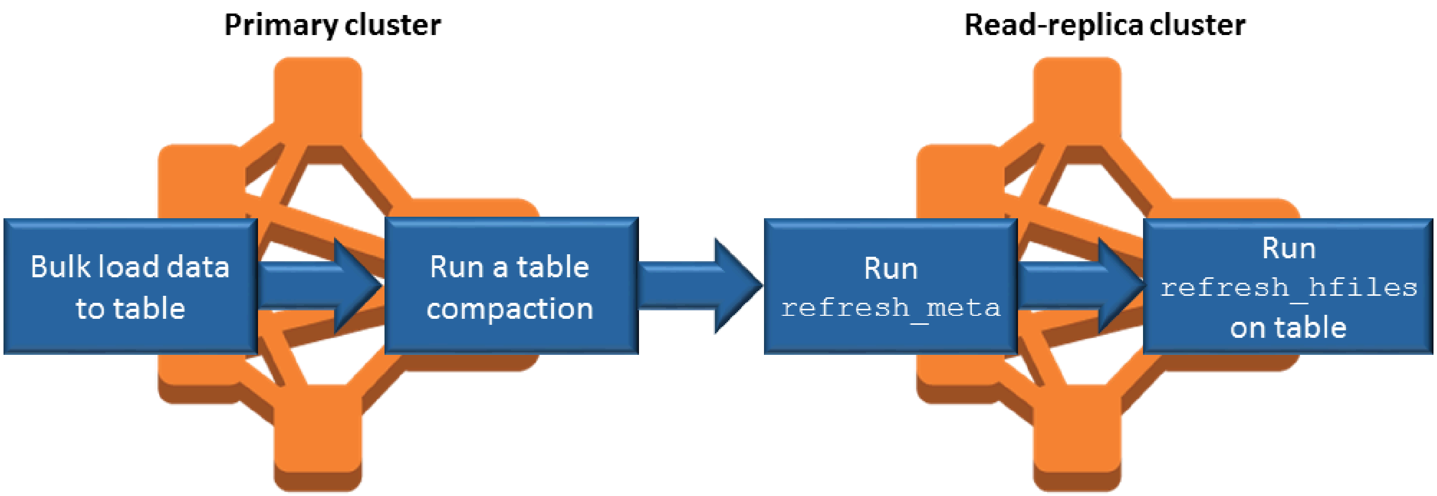
7.3.0 以降の Amazon EMR バージョンでは、ファイルの追跡を保存するこの機能を使用するため、圧縮を無効にする必要はありません。

データの追加に伴うリードレプリカの同期化

リードレプリカは、プライマリクラスターが Amazon S3 に書き込む HBase StoreFile とメタデータを使用するため、Amazon S3 データストアと同期し、それより最新にはなりません。データを書き込むまでにプライマリクラスターとリードレプリカの間に生じる時間差を最小化するには、以下のガイダンスを参考にしてください。

- 可能な限り、プライマリクラスターのデータを一括ロードします。詳細については、Apache HBase ドキュメントの「一括ロード」を参照してください。
- ストアファイルを Amazon S3 に書き込むフラッシュは、データの追加後、できるだけ早急に発生する必要があります。時間差が最小になるように手動でフラッシュするか、フラッシュ設定を調整します。
- 圧縮が自動実行される場合、圧縮がトリガーされるときの不整合を避けるために手動圧縮を実行します。
- リードレプリカクラスターで、メタデータの変更 (HBase リージョンの分割、圧縮の発生、テーブルの追加や削除など) があった場合、`refresh_meta` コマンドを実行します。

• リードレプリカクラスターで、レコードがテーブルに追加されるかテーブル内で変更された場合、refresh_hfiles コマンドを実行します。



永続的 HFile トラッキング

永続的 HFile トラッキングでは、hbase:storefile と呼ばれる HBase システムテーブルを使用し、読み取りオペレーションに使用される HFile パスを直接追跡します。HBase に追加のデータが追加されると、新しい HFile パスがテーブルに追加されます。これにより、重要な書き込みパス HBase オペレーションのコミットメカニズムとして名前変更オペレーションが削除され、ファイルシステムディレクトリの一覧ではなく、hbase:storefile システムテーブルから読み取ることで HBase リージョンを開くときに復旧時間が改善されます。この機能は Amazon EMR バージョン 6.2.0 から 7.3.0 でデフォルトで有効になっており、手動による移行手順は必要ありません。

> **Note**
>
> HBase ストアファイルシステムテーブルを使用した永続的な HFile トラッキングは、HBase リージョンのレプリケーション機能をサポートしていません。HBase リージョンレプリケーションの詳細については、「[Timeline-consistent high available reads](https://hbase.apache.org/book.html#arch.timelineconsistent.reads)」を参照してください。

永続的 HFile トラッキングの無効化

永続的 HFile トラッキングは、Amazon EMR リリース 6.2.0 以降でデフォルトで有効になっています。永続的 HFile トラッキングを無効にするには、クラスターの起動時に次の設定オーバーライドを指定します。

```
{
  "Classification": "hbase-site",
  "Properties": {
    "hbase.storefile.tracking.persist.enabled":"false",

 "hbase.hstore.engine.class":"org.apache.hadoop.hbase.regionserver.DefaultStoreEngine"
  }
}
```

> **Note**
>
> Amazon EMR クラスターを再設定するときは、すべてのインスタンスグループを更新する必要があります。

ストアファイルテーブルの手動同期

storefile テーブルは、新しい HFile インスタンスが作成されると最新の状態に保たれます。ただし、何らかの理由で storefile テーブルがデータファイルと同期しなくなった場合、次のコマンドを使用してデータを手動で同期できます。

オンラインリージョンでストアファイルテーブルを同期する:

```
hbase org.apache.hadoop.hbase.client.example.RefreshHFilesClient <table>
```

オフラインリージョンでストアファイルテーブルを同期する:

- ストアファイルテーブル znode を削除します。

```
echo "ls /hbase/storefile/loaded" | sudo -u hbase hbase zkcli
[<tableName>, hbase:namespace]
# The TableName exists in the list
echo "delete /hbase/storefile/loaded/<tableName>" | sudo -u hbase hbase zkcli
# Delete the Table ZNode
echo "ls /hbase/storefile/loaded" | sudo -u hbase hbase zkcli
[hbase:namespace]
```

- リージョンを割り当てます ('hbase shell' で実行します)。

```
hbase cli> assign '<region name>'
```

- 割り当てが失敗した場合。

```
hbase cli> disable '<table name>'
hbase cli> enable '<table name>'
```

ストアファイルテーブルのスケーリング

ストアファイルテーブルは、デフォルトでは 4 つのリージョンに分割されます。ストアファイルテーブルの書き込み負荷が大きい場合は、テーブルを手動で分割できます。

特定のホットリージョンを分割するには、次のコマンドを使用します ('hbase shell' で実行します)。

```
hbase cli> split '<region name>'
```

テーブルを分割するには、次のコマンドを使用します ('hbase shell' で実行します)。

```
hbase cli> split 'hbase:storefile'
```

ファイルの追跡を保存する

デフォルトでは、FileBasedStoreFileTracker 実装を使用します。この実装により、ストアディレクトリに直接新しいファイルが作成され、名前変更オペレーションが不要になります。コミットされた hfile インスタンスのリストをメモリに保持し、各ストアディレクトリのメタファイルにバックアップされます。新しい hfile がコミットされるたびに、特定のストアで追跡されたファイルのリストが更新され、リストの内容を含む新しいメタファイルが書き込まれ、古いリストを含む以前のメタファイルが破棄されます。Store File Tracking の詳細については、Apache HBase リファレンスガイドの [Store File Tracking](#) を参照してください。

FileBasedStoreFile トラッカーの実装は、Amazon EMR リリース 7.4.0 以降、デフォルトで有効になっています。

```
{
  "Classification": "hbase-site",
  "Properties": {
    hbase.store.file-tracker.impl:
 "org.apache.hadoop.hbase.regionserver.storefiletracker.FileBasedStoreFileTracker"
}
```

FileBasedStoreFileTracker の実装を無効にするには、クラスターの起動時に次の設定オーバーライドを指定します。

```
{
  "Classification": "hbase-site",
  "Properties": {
    hbase.store.file-tracker.impl:
 "org.apache.hadoop.hbase.regionserver.storefiletracker.DefaultStoreFileTracker"
}
```

> **Note**
>
> Amazon EMR クラスターを再設定するときは、すべてのインスタンスグループを更新する必要があります。

運用上の考慮事項

HBase リージョンサーバーは、BlockCache を使用してデータの読み取りをメモリに保存し、BucketCache を使用してデータの読み取りをローカルディスクに保存します。また、リージョンサーバーは、MemStore を使用してデータの書き込みをメモリ内に保存し、Amazon S3 の HBase StoreFile にデータが書き込まれる前に、先書きログを使用してデータの書き込みを HDFS に保存します。クラスターの読み込みパフォーマンスは、レコードがどのくらいの頻度でインメモリキャッシュまたはオンディスクキャッシュから取得できるかに関連しています。キャッシュミスが発生すると、レコードは Amazon S3, の StoreFile から読み取られるため、HDFS からの読み取りと比べてレイテンシーと標準偏差が大幅に高くなります。さらに、Amazon S3 の最大要求率は、ローカルキャッシュから受理できるものよりも低くなるため、データのキャッシュは読み取り過多のワークロードにとって重要である場合があります。Amazon S3 のパフォーマンスの詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「パフォーマンスの最適化」を参照してください。

パフォーマンスを向上させるには、EC2 インスタンスストレージに可能な限りデータセットをキャッシュすることをお勧めします。BucketCache は、リージョンサーバーの EC2 インスタンスストレージを使用するため、必要なキャッシュのサイズに対応するために充分なインスタンスストアを備えた EC2 インスタンスタイプを選択し、Amazon EBS ストレージを追加できます。`hbase.bucketcache.size` プロパティを使用して、アタッチされたインスタンスストアおよび EBS ボリュームの BucketCache のサイズを増やすことができます。デフォルトの設定は 8,192 MB です。

書き込みでは、マイナーおよびメジャーな圧縮時の MemStore のフラッシュ頻度および StoreFile 数が、リージョンサーバーの応答時間に大きく影響する場合があります。パフォーマンスを最適化する

には、MemStore フラッシュと HRegion ブロックを乗じたサイズを増やすことを検討します。これにより、メジャーな圧縮間の経過時間が長くなります。ただし、リードレプリカを使用する場合は、整合性の遅延が増大します。場合によっては、ファイルブロックサイズを増やして (ただし 5 GB 未満)、EMRFS で Amazon S3 マルチパートアップロード機能をトリガーすることで、パフォーマンスを向上できる場合があります。Amazon EMR のブロックサイズのデフォルトは 128 MB です。詳細については、「HDFS 構成」を参照してください。フラッシュと圧縮に関するパフォーマンスのベンチマークで 1 GB のブロックサイズを超えているお客様はほとんどいません。また、圧縮する StoreFile の数が少ないほど、HBase 圧縮およびリージョンサーバーのパフォーマンスが最適化されます。

大きなディレクトリの名前を変更する必要があるため、Amazon S3 でのテーブルの削除に長い時間がかかる場合があります。テーブルを削除する代わりに無効化することを検討してください。

古い WAL ファイルとストアファイルをクリーンアップする HBase クリーナープロセスがあります。Amazon EMR リリースバージョン 5.17.0 以降では、クリーナーがグローバルに有効になっており、次の設定プロパティをクリーナーの動作の制御に使用できます。

設定プロパティ	デフォルト値	説明
`hbase.regionserver.hfilecleaner.large.thread.count`	1	期限が切れた大規模な HFiles をクリーンアップするために割り当てられたスレッドの数。
`hbase.regionserver.hfilecleaner.small.thread.count`	1	期限が切れた小規模な HFiles をクリーンアップするために割り当てられたスレッドの数。
`hbase.cleaner.scan.dir.concurrent.size`	すべての使用可能なコアの 4 分の 1 に設定します。	oldWALs ディレクトリをスキャンするスレッドの数。
`hbase.oldwals.cleaner.thread.size`	2	

設定プロパティ	デフォルト値	説明
		oldWALs ディレクトリの WALs をクリーンアップするスレッドの数。

Amazon EMR 5.17.0 以前では、高負荷のワークロードを実行しているときにクリーナーオペレーションがクエリパフォーマンスに影響する可能性があるため、ピークを過ぎた時間帯だけクリーナーを有効にすることをお勧めします。クリーナーには、次の HBase シェルコマンドがあります。

- `cleaner_chore_enabled` クリーナーが有効かどうかのクエリ。
- `cleaner_chore_run` 手動でクリーナーを実行してファイルを削除します。
- `cleaner_chore_switch` クリーナーを有効、または無効にし、クリーナーの以前の状態に返します。たとえば、`cleaner_chore_switch true` はクリーナーを有効にします。

Amazon S3 の HBase のパフォーマンスをチューニングするプロパティ

Amazon S3 の HBase を使用するときに、以下のパラメータを調整してワークロードのパフォーマンスをチューニングできます。

設定プロパティ	デフォルト値	説明
`hbase.bucketcache.size`	8,192	ディスク容量 (MB)、リージョンサーバー Amazon EC2 インスタンスストアおよび BucketCache ストレージの EBS ボリュームにリザーブ。設定は、すべてのリージョンサーバーインスタンスに適用されます。BucketCache の大きなサイズは一般的にパフォーマンスの向上に対応します

設定プロパティ	デフォルト値	説明
`hbase.hregion.memstore.flush.size`	134217728	Amazon S3 への Memstore フラッシュがトリガーされるデータ上限 (バイト単位)。
`hbase.hregion.memstore.block.multiplier`	4	更新がブロックされる MemStore の上限を決定する乗数。MemStore がこの値で乗算されて `hbase.hregion.memstore.flush.size` を超えると、更新はブロックされます。MemStore のフラッシュと圧縮が発生して、更新をブロックしない場合もあります。
`hbase.hstore.blockingStoreFiles`	10	更新がブロックされるまでストアに存在できる StoreFile の最大数。
`hbase.hregion.max.filesize`	10737418240	リージョンが分割されるまでのリージョンの最大サイズ。

データ損失のないクラスターのシャットダウンと復元

Amazon S3 に書き込まれていないデータを損失することなく Amazon EMR クラスターをシャットダウンするには、MemStore キャッシュを Amazon S3 にフラッシュして新しい格納ファイルを書き込む必要があります。まず、すべてのテーブルを無効にする必要があります。次の設定ステップはクラスターにステップを追加する際に使用することができます。詳細については「Amazon EMR 管理ガイド」の「AWS CLI およびコンソールを使用した手順の作業」を参照してください。

```
Name="Disable all tables",Jar="command-runner.jar",Args=["/bin/bash","/usr/lib/hbase/
bin/disable_all_tables.sh"]
```

または、次の Bash コマンドを直接実行できます。

```
bash /usr/lib/hbase/bin/disable_all_tables.sh
```

すべてのテーブルを無効にした後に、HBase シェルと次のコマンドを使用して `hbase:meta` テーブルをフラッシュします。

```
flush 'hbase:meta'
```

次に、Amazon EMR クラスターで提供されているシェルスクリプトを実行して、MemStore キャッシュをフラッシュすることができます。これをステップとして追加するか、またはクラスター上の AWS CLIを使用して直接実行できます。このスクリプトは、各リージョンサーバーの MemStore が Amazon S3 にフラッシュする原因となるすべての HBase テーブルを無効にします。スクリプトが正常に完了すると、データは Amazon S3 に維持され、クラスターを終了できます。

同じ HBase データを持つクラスターを再起動するには、 AWS Management Console または `hbase.rootdir`設定プロパティを使用して、前のクラスターと同じ Amazon S3 の場所を指定します。

Amazon EMR の先行書き込みログ (WAL)

Amazon EMR 6.15 以降では、Amazon EMR WAL に Apache HBase 先行書き込みログ (WAL) を書き込むことができます。Amazon EMR の以前のリリースでは、[HBase on Amazon S3] オプションを使用してクラスターを作成すると、WAL はクラスターのローカルディスクに保存される唯一の Apache HBase コンポーネントであり、ルートディレクトリ、ストアファイル (HFiles)、テーブルメタデータ、Amazon S3 上のデータなどの他のコンポーネントを保存できます。

Amazon EMR WAL を使用して、Amazon S3 にフラッシュされなかったデータを復元できます。HBase クラスターを完全にバックアップするには、Amazon EMR WAL サービスの使用をオプトインします。バックグラウンドで、`RegionServer` は HBase 先行書き込みログ (WAL) を Amazon EMR の WAL に書き込みます。

クラスターまたは AZ が異常または使用できなくなった場合は、新しいクラスターを作成し、同じ S3 ルートディレクトリと Amazon EMR WAL ワークスペースにポイントし、数分以内に WAL でデータを自動的に復元できます。詳細については、「Amazon EMR WAL からの復元」を参照してください。

Amazon EMR リリース 7.3.0 以降では、Amazon EMR はサーバーごとに複数の EMR WAL を作成し、複数の HBase リージョンを 1 つの Amazon EMR WAL にグループ化します。こ

れにより、Apache HBase WAL が強化され、ログ使用率が向上し、コストが最適化されます。HBase `RegionServer` あたりの Amazon EMR WAL インスタンスの数を設定するには、`hbase.wal.regiongrouping.numgroups` パラメータを使用します。デフォルトでは、このパラメータは 2 に設定されます。WAL グループに含まれていないシステムテーブルは、meta と masterstore の 2 つです。これらのテーブルは常に独自の WALsを使用します。

Amazon EMR 7.3.0 より前のリリースを実行する場合は、古い HBase クラスターのテーブルを手動で無効にして、Amazon EMR WAL 内のすべてのデータが Amazon S3 にフラッシュされることを確認することをお勧めします。次に、古い Amazon EMR WAL を削除し、古いクラスターを終了して、最新のリリースを実行する新しいクラスターを設定します。問題が発生し、古いクラスターのテーブルを無効にできない場合は、古いクラスターを直接終了し、新しいクラスターで `emr.wal.multiplex.migrate` を `true` に設定できます。true に設定すると、HBase は HBase リージョン初期化中に古い Amazon EMR WAL インスタンスからデータを再生しようとし、再生後に古い WAL を削除します。この再生プロセスでは、読み取りに追加のコストが発生します。移行後は、クラスターを設定し、`emr.wal.multiplex.migrate` を `false` に設定することをお勧めします。または、パラメータを削除して HBase リージョンの初期化を高速化することもできます。

> **Note**
>
> Amazon EMR WAL は、HBase がフラッシュした後にデータを削除します。HBase がデータをフラッシュしない場合、Amazon EMR WAL はデータを最大 30 日間保持します。30 日後、Amazon EMR WAL は自動的にデータを削除します。Amazon EMR は、EMR クラスターを終了してから最大 30 日間 WAL インスタンスを保持します。ただし、30 日以内に同じ S3 ルートディレクトリから新しい WAL 対応クラスターを起動した場合、Amazon EMR は以前のクラスターからどの WAL インスタンスも削除しません。詳細については、「Amazon EMR WAL からの復元」を参照してください。

以下のセクションでは、HBase 対応 EMR クラスターで Amazon EMR WAL をセットアップして使用する方法について説明します。

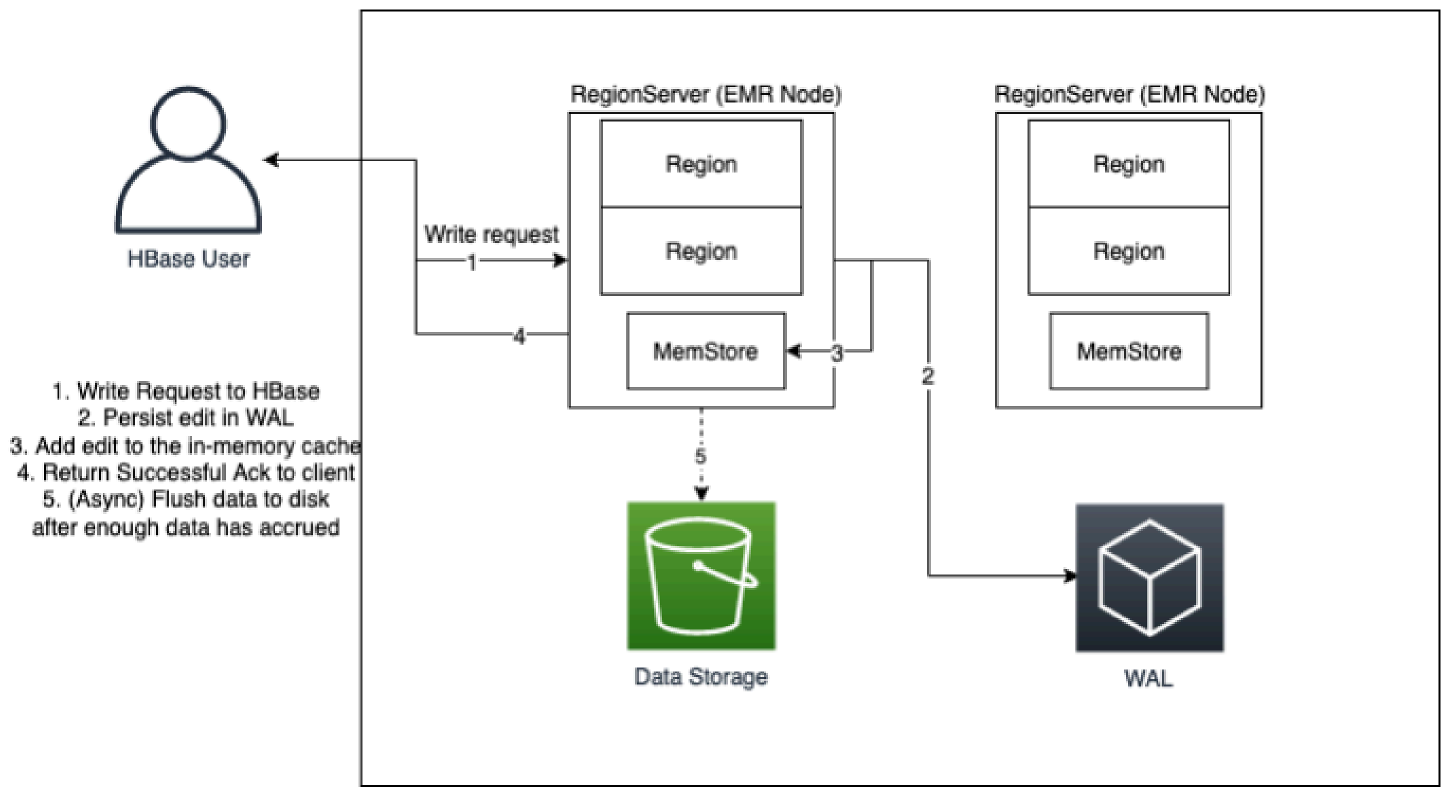
トピック

- AWS PrivateLinkから Amazon EMR WAL にアクセスする
- Amazon EMR WAL の料金とメトリクスについて
- WAL ワークスペースのタグ付け
- EMR WAL クラスター間レプリケーション
- Amazon EMR WAL の考慮事項とリージョン
- Amazon EMR WAL (EMRWAL) CLI リファレンス

Amazon EMR WAL ワークスペース

Amazon EMR WAL は WAL ワークスペースの概念を追加します。WAL ワークスペースは、WAL の論理コンテナです。Amazon EMR WAL の各先行書き込みログは、WAL ワークスペースによってカプセル化されます。EMR クラスターは、クラスターの起動時に設定した 1 つの WAL ワークスペースに WAL を書き込むか、ワークスペースを指定しない場合は `defaultWALworkspace` に書き込みます。WAL ワークスペースは、名前空間などの既存の HBase 用語には関連していません。

WAL ワークスペースを使用して Amazon EMR WAL IAM アクセス許可の範囲を縮小し、クラスターがアクセスする必要があるワークスペースのみを含めることができます。また、WAL ワークスペースにタグを付け、タグベースのアクセス制御を行うこともできます。タグ付けの詳細については、「WAL ワークスペースのタグ付け」を参照してください。



Amazon EMR WAL に必要なアクセス許可

クラスターを Amazon EMR WAL に接続するには、クラスターのインスタンスプロファイルに特定の IAM アクセス許可が必要です。

- Amazon EMR WAL は、サービスにリンクされたロール AWSServiceRoleForEMRWAL を使用してクラスターステータスを取得します。Amazon EMR は、WAL ワークスペースを作成するときにこのサービスにリンクされたロールを自動的に作成します。または、Amazon EMR WAL のワークスペースを設定したときにサービスにリンクされたロールがまだ存在しない場合は、HBase がサービスにリンクされたロールを作成します。

  クラスターで Amazon EMR WAL を有効にする前に、サービスにリンクされたロール AWSServiceRoleForEMRWAL の自動作成を許可するアクセス許可を設定する必要があります。この機能を追加する詳細とステートメントの例については、「Using service-linked roles for write-ahead logging」を参照してください。
- Amazon EMR WAL は HBase Write Ahead Log (WAL) を使用するため、クラスターは HBase WAL を使用する必要があります。以下は、HBase を実行するために必要な最小限の IAM アクセス許可です。これらをインスタンスプロファイルのアクセス許可ポリシーに追加します。

```
emrwal:DeleteWal
emrwal:CreateWal
emrwal:CreateWorkspace
emrwal:AppendEdit
emrwal:ReplayEdits
emrwal:GetCurrentWalTime
emrwal:CompleteWalFlush
emrwal:ListWALs
emrwal:DescribeWAL
emrwal:TrimWAL
emrwal:ArchiveWAL
emrwal:ArchiveWALCheckPoint
```

> **Note**
>
> Amazon EMR WAL のアクセス許可を最小セットのみに範囲指定する場合、一部の EMRWAL CLI コマンドには実行に必要なアクセス許可がありません。

Amazon EMR WAL の有効化

AWS Command Line Interfaceを使用してクラスターを作成するときに Amazon EMR WAL への書き込みを有効にするには、次の手順を実行します。

> **Note**
>
> 既に実行中のクラスターに対して Amazon EMR WAL を有効にしたり、同じ S3 ルートディレクトリで 2 つのクラスターを起動したりすることはできません。詳細については、「Amazon EMR WAL の考慮事項とリージョン」を参照してください。

1. Amazon EMR WAL 対応クラスターを作成する前に、クラスターで使用する予定のインスタンスプロファイルに必要なアクセス許可を追加する必要があります。詳細については、「Amazon EMR WAL に必要なアクセス許可」を参照してください。
2. AWS CLIからクラスターを作成します。以下の例に示すように、`--configurations` オプションを使用して、`hbase.emr.wal.enabled` プロパティを指定する JSON 設定オブジェクトを指定します。
   - Amazon S3 内のストレージモードとルートディレクトリの場所を指定します。指定する Amazon S3 の場所は EMR クラスターと同じリージョンにある必要がありますが、S3 で同時に同じ HBase ルートディレクトリを使用できるアクティブなクラスターは 1 つだけです。
   - インスタンスグループ設定でクラスターを作成します。Amazon EMR WAL をインスタンスフリート設定で使用することはできません。インスタンスグループでクラスターを作成する詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Configure uniform instance groups」を参照してください。
   - クラスターを作成するコンソールの手順と、 を使用する詳細な`create-cluster`例については、HBase を使用したクラスターの作成 AWS CLI」を参照してください。
3. 新しいクラスターの WAL を有効にするには、`hbase.emr.wal.enabled` プロパティを `true` に設定します。次のコマンドには、設定オブジェクトの例を含む JSON スニペットが含まれています。

```
aws emr create-cluster --name "hbasewal" --release-label emr-6.x.y \
--applications Name=HBase --use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m6i.xlarge --instance-count 1 --configurations hbase.json
$cat hbase.json
[
    {
```

```
        "Classification": "hbase-site",
        "Properties": {
            "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/MyHBaseStore"
        }
    },
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.emr.storageMode": "s3",
            "hbase.emr.wal.enabled": "true"
        }
    }
]
```

HBase が新しく作成されたクラスターでオンラインの場合、HBase は WAL データを Amazon EMR WAL に自動的に書き込み、Amazon EMR WAL を復旧目的で使用します。

Example 1: Amazon EMR WAL を使用する EMR クラスターの作成

```
[
    {
        "Classification": "hbase-site",
        "Properties": {
            "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/MyHBaseStore"
        }
    },
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.emr.storageMode": "s3",
            "hbase.emr.wal.enabled": "true"
        }
    }
]
```

Example 2: カスタム WAL ワークスペースを使用した EMR クラスターの作成

```
[
    {
        "Classification": "hbase-site",
        "Properties": {
            "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/MyHBaseStore",
```

```
            "emr.wal.workspace": "customWorkspaceName"
        }
    },
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.emr.storageMode": "s3",
            "hbase.emr.wal.enabled": "true"
        }
    }
]
```

Amazon EMR WAL からの復元

元のクラスターの Amazon EMR WAL は 30 日間保持されるため、WAL を復元して 30 日以内に新しく作成されたクラスターに再利用できます。同じ S3 ルートディレクトリから新しいクラスターを起動すると、Amazon EMR は古いクラスターから WAL インスタンスを保持します。この新しいクラスターを終了すると、終了時から 30 日間のクロックが再起動します。

新しいクラスターで既存の WAL を復元するには、次の手順に従います。このプロセスでは、Amazon EMR WAL を有効にして元のクラスターを作成したことを前提としています。

1. WAL 対応クラスターを作成してから 30 日以内に、元のクラスター AWS リージョン と同じ に新しいクラスターを作成します。新しいクラスターは、元のクラスターが作成されたリージョンと同じリージョン内の同じ AZ 内または別の AZ 内に配置できます。

   Amazon S3 内のストレージモードとルートディレクトリの場所を指定するオブジェクトプロパティを設定します。指定する Amazon S3 の場所は EMR クラスターと同じリージョンにある必要がありますが、S3 で同時に同じ HBase ルートディレクトリを使用できるアクティブなクラスターは 1 つだけです。

   クラスターを作成するコンソールの手順と、 を使用する詳細な`create-cluster`例については、HBase を使用したクラスターの作成 AWS CLI」を参照してください。
2. 新しいクラスターに既存の Amazon EMR WAL を使用するには、`hbase.emr.wal.enabled` プロパティを `true` に設定します。次の JSON スニペットに設定オブジェクトの例を示します。

```
[
    {
```

```
        "Classification": "hbase-site",
        "Properties": {
            "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/MyHBaseStore"
        }
    },
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.emr.storageMode": "s3",
            "hbase.emr.wal.enabled": "true"
        }
    }
]
```

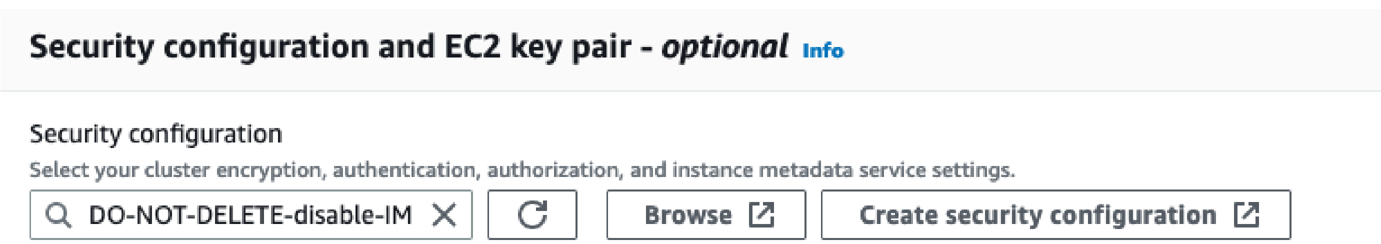
Amazon EMR WAL でのセキュリティ設定の使用

Amazon EMR は、クラスターと Amazon EMR WAL サービス間で転送中のデータと、Amazon EMR WAL に保管中のデータの両方を自動的に暗号化します。詳細については、「Encryption at rest for Amazon EMR WAL」を参照してください。セキュリティ設定を使用して、 AWS Key Management Service (KMS) サービスから独自のキーを取得し、Amazon EMR WAL に保存するデータを暗号化することもできます。

クラスターを作成するときに、次のいずれかの方法を使用してセキュリティ設定を選択します。

Console

から AWS Management Console、セキュリティ設定と EC2 キーペアで設定を指定します。



CLI

から AWS CLI、create-cluster コマンドを使用するときに `--security-configuration`パラメータを設定します。

詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Encryption at rest for Amazon EMR WAL」および「Use security configurations to set up cluster security」を参照してください。

WAL に関するセキュリティ関連の詳細については、「Using service-linked roles for write-ahead logging」を参照してください。

AWS PrivateLinkから Amazon EMR WAL にアクセスする

AWS ネットワーク内で接続を維持する場合、Amazon EMR WAL は AWS PrivateLink サポートを提供します。セットアップするには AWS PrivateLink、 AWS Management Console または AWS Command Line Interface（AWS CLI) を使用して、Amazon EMR WAL に接続するインターフェイス VPC エンドポイントを作成します。詳細については、「 AWS PrivateLink ガイド」の「インターフェイス VPC エンドポイントを使用して AWS サービスにアクセスする」を参照してください。

基本的なステップは次のとおりです。

1. Amazon VPC コンソールを使用して VPC エンドポイントを作成します。[エンドポイント] を選択し、[エンドポイントの作成] を選択します。
2. サービスカテゴリを [AWS サービス] のままにします。
3. [サービス] パネルの検索バーで、**emrwal** と入力し、`com.amazonaws.`*`region`*`.emrwal.prod` というラベルが付いたサービスを選択します。
4. VPC を選択し、エンドポイントを保存します。EMR クラスターにアタッチするのと同じセキュリティグループを VPC エンドポイントにアタッチしてください。
5. 必要に応じて、新しいエンドポイントのプライベート DNS ホスト名を有効にできるようになりました。VPC の [DNS ホスト名の有効化] と [DNS サポートの有効化] を `true` に設定します。次に、エンドポイント ID を選択し、[アクション] メニューから [VPC 設定の編集] を選択し、プライベート DNS 名を有効にします。

   - エンドポイントのプライベート DNS ホスト名は、`prod.emrwal.`*`region`*`.amazonaws.com` の形式に従います。
   - プライベート DNS ホスト名を有効にしない場合、Amazon VPC は *`endpointID`*`.prod.emrwal.`*`region`*`.vpce.amazonaws.com` 形式で DNS エンドポイント名を提供します。
6. AWS PrivateLink エンドポイントを使用するには、次の例に示すように、Amazon EMR WAL 対応クラスターを作成するときに`emr.wal.client.endpoint`設定を変更します。

```
[
    {
        "Classification": "hbase-site",
        "Properties": {
```

```
            "hbase.rootdir": "s3://amzn-s3-demo-bucket/MyHBaseStore",
            "emr.wal.workspace": "customWorkspaceName",
            "emr.wal.client.endpoint": "https://prod.emrwal.region.amazonaws.com"
        }
    },
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.emr.storageMode": "s3",
            "hbase.emr.wal.enabled": "true"
        }
    }
]
```

VPCE ポリシーを使用して、Amazon EMR WAL API へのアクセスを許可または制限することもできます。詳細については、『AWS PrivateLink ガイド』の「Control access to VPC endpoints using endpoint policies (エンドポイントポリシーを使用して VPC エンドポイントへのアクセスをコントロールする)」を参照してください。

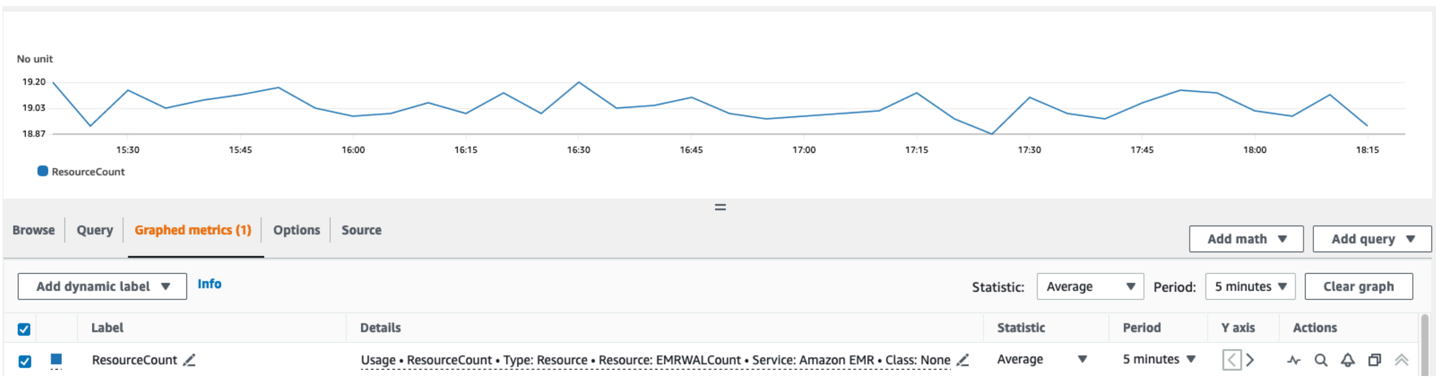
Amazon EMR WAL の料金とメトリクスについて

コア機能請求単位	詳細
EMR-WAL-Read-GiB	API calls to read data from your table are billed as ReadRequestGiB. This includes `Get and Scan` operations. Reads are charged based on the sizes of the read items. Amazon EMR bills at a minimum of 1 byte. For example, if you read a 1234.12 bytes item, you're charged for 1235 bytes. Reads are aggregated every hour for billing and shown as GiBs.
EMR-WAL-Write-GiB	API calls to write data from your table are billed as Write-GiB. This includes `Put` operations. Writes are charged based on the sizes of the written items. Amazon EMR bills at a minimum of 1 byte. For example, if you write a 1234.12 bytes item, you're charged for 1235 bytes. Writes are aggregated every hour for billing and shown as GiBs.

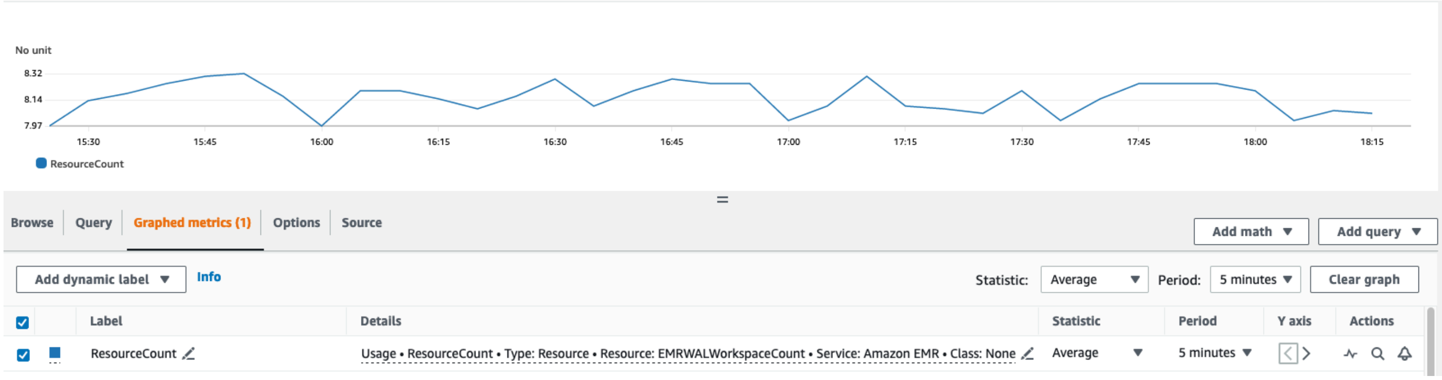
<table>
<tr><th>コア機能請求単位</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>EMR-WAL-WALHours</td><td>サービスに保存している WAL の数は <code>EMR-WAL-WALHours</code> として請求されます。Amazon EMR は、HBase リージョンごとに 1 つの WAL を作成します。例えば、システムテーブルを含む 20 個の HBase テーブルを作成し、各テーブルに 2 つの HBase リージョンがある場合、次の計算のように 28,800 WAL 時間を使用することになります。<pre>
  20 tables
x 2 Regions per table
x 1 WAL per Region
x 30 days
x 24 hours

28,800 EMR-WAL-WALHours
</pre></td></tr>
</table>

`EMRWALCount` の例:



`EMRWALWorkspaceCount` の例:



WAL ワークスペースのタグ付け

新しいワークスペースを作成するときにワークスペースにタグを追加し、実行中のクラスターのアクティブなワークスペースからタグを追加、削除、または一覧表示できます。ワークスペース内の個々のリソースにタグを付けることはできず、既存のタグを更新することもできません。代わりに、ワークスペースから不要なタグを削除して置き換えます。

ワークスペースには EMRWAL CLI からタグ付けできます。ワークスペースにタグ付けするための EMRWAL CLI コマンドのリストについては、「Amazon EMR WAL (EMRWAL) CLI リファレンス」を参照してください。

次の IAM ポリシーの例は、適切なタグ付けキー `resource_tag_allow_test_key` と値 `resource_tag_allow_test_value` を使用してワークスペース CRUDL の操作のみを許可するシナリオを示しています。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
      {
          "Action": [
              "EMRWAL:*"
          ],
          "Effect": "Allow",
          "Resource": [
              "*",
              "*"
          ],
          "Condition": {
              "StringEquals": {
```

```
                    "aws:ResourceTag/resource_tag_allow_test_key": [
                        "resource_tag_allow_test_value"
                    ]
                }
            }
        }
    ]
}
```

ワークスペースの操作にタグが必要になったことを確認するには、Amazon EMR WAL (EMRWAL) CLI リファレンス を使用して、目的のリソースタグを持つワークスペースの `tagAllowResourceTag` で `listTagsForResource` コマンドを呼び出します。条件を正しく設定すると、コマンドは成功します。

```
emrwal listTagsForResource -r us-east-1 -arn arn:aws:emrwal:us-east-1:arn:workspace/
tagAllowResourceTag
Tag(Key=resource_tag_allow_test_key, Value=resource_tag_allow_test_value)
```

EMR WAL クラスター間レプリケーション

EMR 7.5 以降、EMR WAL は先行書き込みログの HBase クラスター間レプリケーションをサポートしています。このトピックでは、機能を有効にして機能していることを確認する方法について説明します。クラスターレプリケーションの詳細については、Apache HBase ドキュメントの「クラスターレプリケーション」を参照してください。

> **Note**
>
> レプリケーションプロセスがローカル EMR WAL からデータを読み取るため、先行書き込みログには追加の読み取りコストがかかります。コストの詳細については、「Amazon EMR リリースについて」を参照してください。

クラスター間のレプリケーション設定

同じユーザーエクスペリエンスを実現するために、EMR WAL でレプリケーション機能を有効にすることは、ネイティブの HBase 先行書き込みログと同じです。次の手順は、簡単な例を示しています。詳細については、「クラスターレプリケーション」のHBase ドキュメント」を参照してください。

1. EMR WAL を有効にして、レプリケーションソースであるプライマリクラスターを起動します。先行書き込みログを有効にするには、「」を参照してくださいAmazon EMR WAL の有効化。さらに、ピアクラスターを起動します。このピアクラスターでは、EMR WAL を有効にするかどうかを選択できます。
2. 両方のクラスターで、テーブルを作成します。

```
HBASE_CMD="sudo -u hbase hbase"
echo "create 'test_replication_table',{NAME => 'CF'}" | $HBASE_CMD shell
```

3. プライマリクラスターにピア設定を追加し、テーブルレプリケーションを有効にします。ピアの追加中、ピアクラスターマスターノードのホスト名 PEER_DNS が必要です。

```
HBASE_CMD="sudo -u hbase hbase"
PEER_DNS="ip-10-1-1-0.ec2.com"
PEER_NAME="aws"
TABLE_NAME="test_replication_table"

## Create peering with the destination cluster
echo "add_peer '$PEER_NAME', CLUSTER_KEY => '$PEER_DNS:2181:/hbase'" | $HBASE_CMD
 shell

## List peers in the primary cluster to confirm peer setup
echo "list_peers" | $HBASE_CMD shell

## Enable table replication
echo "enable_table_replication '$TABLE_NAME'" | $HBASE_CMD shell
```

クロスクラスターレプリケーションの確認

セットアップステップを実行すると、プライマリクラスターとピアクラスターの間でレプリケーションが有効になります。レプリケーションが機能していることを確認するためのテストが続きます。

1. プライマリクラスターにデータを追加し、ピアクラスターにレプリケートされたデータを確認します。

```
## Write on primary cluster with HBase CLI

put 'test_replication_table', 'aaa', 'CF:a', 'aaa_a1'
put 'test_replication_table', 'bbb', 'CF:b', 'bbb_b1'
```

```
put 'test_replication_table', 'ccc', 'CF:c', 'ccc_c1'
```

2. ピアクラスターで正常にレプリケーションされたことを確認します。この場合、プライマリからピアクラスターに書き込まれたレプリケートされたデータが表示されます。

```
### Scan on peer cluster with HBase CLI

scan 'test_replication_table'
```

Amazon EMR WAL の考慮事項とリージョン

Amazon EMR WAL に関する考慮事項

次のリストでは、Amazon EMR WAL の重要な考慮事項と制限について説明します。

- Amazon EMR WAL は、Amazon EMR リリース 6.15.0 以降で使用できます。
- Amazon EMR WAL はオプトインの有料サービスです。読み取り、書き込み、データストレージなど、使用するものに対して料金が発生します。詳細については、「Amazon EMR WAL の料金とメトリクスについて」と「Amazon EMR の料金」ページを参照してください。
- Amazon EMR WAL は HBase Write Ahead Log (WAL) を使用します。Amazon EMR WAL を使用するには、クラスターで HBase WAL を使用する必要があります。
- クラスターの作成時に Amazon EMR WAL を有効にするには、必要なロールアクセス許可が必要です。詳細については、「Using service-linked roles for write-ahead logging」を参照してください。
- Amazon EMR WAL は、 AWS Management Console、、 AWS CLIまたは API を使用してクラスターを作成するときに有効にする必要があり、インスタンスグループ設定を使用する必要があります。Amazon EMR WAL でクラスターを作成していない場合、実行中のクラスターで Amazon EMR WAL を有効にすることはできません。また、`hbase-site` 設定を編集して実行中のクラスターで Amazon EMR WAL を有効にすることはできません。
- Amazon EMR WAL は、ルートディレクトリに Amazon S3 を使用するクラスターでのみ有効にできます。
- Amazon EMR バージョン 7.5.0 以前は、Amazon EMR WAL のレコードは 4MB 以下である必要がありますでした。ただし、Amazon EMR バージョン 7.5.0 以降では、 プロパティを使用して EMR WAL の最大レコードサイズを設定できます`emr.wal.max.payload.size`。デフォルト値は 1GB です。次の例では、最大レコードサイズを 2GB に設定します。

```
[
  {
    "Classification":"hbase-site",
    "Properties": {
       "emr.wal.max.payload.size": "2147483648"
    }
  }
]
```

- Amazon S3 の同じ HBase ルートディレクトリに複数のアクティブなクラスターを持つことはできません。
- リードレプリカクラスターで Amazon EMR WAL を有効にすることはできません。
- WAL は、マネージドサービス内のアベイラビリティーゾーン間でレプリケートされます。
- WAL はクラスターを存続させ、次のクラスターで引き続き使用できるようにします。
- Amazon EMR WAL は、起動中またはクラスターが動作中 (実行中の状態) に無効にすることはできません。
- WAL とワークスペースの制限については、「Amazon EMR endpoints and quotas」を参照してください。

Amazon EMR WAL のリージョン可用性

Amazon EMR WAL サービスは、以下でご利用いただけます AWS リージョン。

- `ap-northeast-1` – アジアパシフィック (東京)
- `ap-northeast-2` – アジアパシフィック (ソウル)
- `ap-southeast-1` – アジアパシフィック (シンガポール)
- `ap-south-1` – アジアパシフィック (ムンバイ)
- `ap-southeast-2` – アジアパシフィック (シドニー)
- `eu-central-1` – 欧州 (フランクフルト)
- `eu-north-1` – 欧州 (ストックホルム)
- `eu-west-1` – 欧州 (アイルランド)
- `sa-east-1` – 南米 (サンパウロ)
- `us-east-1` — 米国東部 (バージニア北部)

- us-east-2 — 米国東部 (オハイオ)
- us-west-2 — 米国西部 (オレゴン)

以下のリージョンは、Amazon EMR バージョン 7.3.0 以降でのみ使用できます。

- ap-east-1 – アジアパシフィック (香港)
- af-south-1 – アフリカ (ケープタウン)
- ca-central-1 — カナダ (中部)
- eu-west-2 – 欧州 (ロンドン)

Amazon EMR WAL (EMRWAL) CLI リファレンス

EMRWAL コマンドラインインターフェイス (EMRWAL CLI) は、Amazon EMR の先行書き込みログ (WAL) を管理するための統合ツールです。クラスターの作成時に WAL を有効にすると、EMRWAL CLI には EMR クラスターが付属します。WAL の有効化の詳細については「Amazon EMR の先行書き込みログ (WAL)」をご覧ください。

EMRWAL CLI には、次のコマンドが含まれます。

トピック

`createWorkspace`

`createWorkspace` コマンドは、新しい Amazon EMR WAL ワークスペースを作成します。

使用:

```
emrwal createWorkspace [-tags <tags>] [-e {endpoint}] [-r {Region}] -w {workspacename}
 [-h]
```

例:

```
emrwal createWorkspace -w examplews
```

deleteWal

deleteWals コマンドは、指定した Amazon EMR WAL を削除します。

使用:

```
emrwal deleteWal [-e {endpoint}] [-r {Region}] [-w {workspacename}] [-p <tablePrefix>]
 [-n <walName>] [-N <fullName>] [-R] [-m] [-h]
```

例:

```
emrwal deleteWal -w examplews -p hbasetable -n examplewal
```

deleteWorkspace

deleteWorkspace コマンドは、指定した Amazon EMR WAL ワークスペースを削除します。

使用:

```
emrwal deleteWorkspace [-e {endpoint}] [-r {Region}] -w {workspacename} [-h]
```

例:

```
emrwal deleteWorkspace -w examplews
```

listTagsForResource

listTagsForResource コマンドは、指定した Amazon EMR WAL ワークスペースのすべてのキーと値のペアタグを一覧表示します。

使用:

```
emrwal listTagsForResource -arn {resource-arn} [-e {endpoint}] [-r {Region}] [-h]
```

例:

```
emrwal listTagsForResource -arn arn:aws:emrwal::1234567891234:workspace/examplews
```

listWals

listWals コマンドは、指定したワークスペース内のすべての Amazon EMR WAL を一覧表示します。

使用:

```
emrwal listWals [-nextToken {token-string}] [-pageSize {integer}] [-e {endpoint}] [-r {Region}] [-w {workspacename}] [-p <tablePrefix>] [-M {integer}] [-h]
```

例:

```
emrwal listWals -w examplews
```

listWorkspaces

listWorkspaces コマンドは、使用可能なすべての Amazon EMR WAL ワークスペースを一覧表示します。

使用:

```
emrwal listWorkspaces [-nextToken {token-string}] [-pageSize {integer}] [-e {endpoint}]
 [-r {Region}] [-M {integer}] [-h]
```

例:

```
emrwal listWorkspaces
```

tagResource

tagResource コマンドは、指定した Amazon EMR WAL ワークスペースに 1 つ以上のキーと値のペアタグを割り当てます。

使用:

```
emrwal tagResource -arn {resource-arn} -tags <tags> [-e {endpoint}] [-r {Region}] [-h]
```

例:

```
emrwal tagResource -arn arn:aws:emrwal::1234567891234:workspace/examplews -
tags tag_key=tag_value
```

untagResource

untagResource コマンドは、指定した Amazon EMR WAL ワークスペースに 1 つ以上のキーと値のペアタグの割り当てを解除します。

使用:

```
emrwal untagResource -arn {resource-arn} -tagKeys <tagKeys> [-e {endpoint}] [-
r {Region}] [-h]
```

例:

```
emrwal untagResource -arn arn:aws:emrwal::1234567891234:workspace/examplews -
tagKeys tag_key
```

HBase シェルを使用する

HBase クラスターを作成したら、次のステップとして HBase に接続してデータの読み書きを開始できます (データの書き込みはリードレプリカクラスターではサポートされません)。HBase シェルを使用すると、コマンドをテストできます。

HBase シェルを開くには

1. SSH を使用して、HBase クラスターのメインサーバーに接続します。SSH を使用して Amazon EMR プライマリノードに接続する方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Connect to the primary node using SSH」を参照してください。
2. hbase shell を実行します。HBase シェルが開き、次のようなプロンプトが表示されます。

```
hbase(main):001:0>
```

Base シェルコマンドを発行するには、プロンプトを使用します。シェルコマンドの説明や、シェルコマンドを呼び出す方法については、HBase プロンプトで「help」と入力し、Enter キーを押します。

テーブルの作成

次のコマンドを実行すると、「f1」という名前の 1 つの列ファミリーが含まれる、「t1」という名前のテーブルが作成されます。

```
hbase(main):001:0>create 't1', 'f1'
```

値を入力する

次のコマンドを実行すると、テーブル「t1」の行「r1」、および列「f1」に対して値「v1」が入力されます。

```
hbase(main):001:0>put 't1', 'r1', 'f1:col1', 'v1'
```

値を取得する

次のコマンドを実行すると、テーブル「t1」の行「r1」の値を取得します。

```
hbase(main):001:0>get 't1', 'r1'
```

テーブルの削除

次のコマンドはテーブル「t1」を削除します。

```
hbase(main):001:0>drop 'ns1:t1',false
```

boolean 値はテーブルをアーカイブするかどうかに対応しているので、保存する場合は `true` に設定できます。また、boolean を指定せずに `drop 'ns1:t1'` を実行してテーブルをアーカイブすることもできます。

Hive で HBase テーブルにアクセスする

HBase と Apache Hive は、緊密に統合されているため、HBase に格納されたデータに対して並列処理の大量ワークロードを直接実行できます。HBase と共に Hive を使用するには、通常は同じクラスターでこれらを起動します。ただし Hive と HBase を別々のクラスターで起動することもできます。HBase と Hive を別々のクラスターに切り離して実行すると、各アプリケーションがクラスターのリソースをより効率的に使用できるため、パフォーマンスが向上する可能性があります。

次の手順は、Hive を使用してクラスターの HBase に接続する方法を説明します。

> **Note**
>
> Hive クラスターは 1 つの HBase クラスターにのみ接続できます。

Hive を HBase に接続するには

1. Hive と HBase がインストールされた別々のクラスターを作成するか、HBase と Hive の両方インストールされている 1 つのクラスターを作成します。
2. 別々のクラスターを使用する場合は、2 つのプライマリノード間で HBase と Hive のポートが開くように、セキュリティグループを変更します。
3. SSH を使用して、Hive がインストールされているクラスターのプライマリノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[SSH を使用してプライマリノードに接続する](#)」を参照してください。
4. 次のコマンドで Hive シェルを起動します。

```
hive
```

5. (オプション) HBase と Hive が同一のクラスターにある場合、これを行う必要はありません。Hive クラスターの HBase クライアントを、データが含まれる HBase クラスターに接続します。次の例の *public-DNS-name* は、HBase クラスターのプライマリノードのパブリック DNS 名に置き換えます (例: `ec2-50-19-76-67.compute-1.amazonaws.com`)。

```
set hbase.zookeeper.quorum=public-DNS-name;
```

6. 必要に応じて、HBase データに対して Hive クエリを実行するか、次の手順に進みます。

Hive から HBase データにアクセスするには

- Hive クラスターと HBase クラスターの間の接続が確立されたら (前述の手順を参照)、Hive に外部テーブルを作成することで、HBase クラスターに格納されているデータにアクセスできます。

  次の例では、プライマリノードでの Hive プロンプトからの実行時に、`inputTable` という HBase テーブルに格納されているデータを参照する外部テーブルを作成しています。その

後、Hive ステートメントで inputTable を参照し、HBase クラスターに格納されているデータに対してクエリを実行したり、そのデータを変更したりできます。

```
set hbase.zookeeper.quorum=ec2-107-21-163-157.compute-1.amazonaws.com;

create external table inputTable (key string, value string)
     stored by 'org.apache.hadoop.hive.hbase.HBaseStorageHandler'
      with serdeproperties ("hbase.columns.mapping" = ":key,f1:col1")
      tblproperties ("hbase.table.name" = "t1");

select count(key) from inputTable ;
```

HBase と Hive を組み合わせたより高度なユースケースと例については、 AWS Big Data Blog の投稿「Buin NoSQL and massively parallel analytics using Apache HBase and Apache Hive on Amazon EMR」を参照してください。

HBase のスナップショットを使用する

HBase では、組み込みのスナップショット機能を使用して、テーブルの軽量バックアップが作成されます。EMR クラスターでは、EMRFS を使用してこれらのバックアップを Amazon S3 にエクスポートすることもできます。HBase シェルを使用すると、プライマリノードのスナップショットも作成できます。このトピックでは、シェルでこれらのコマンドをインタラクティブに実行する方法、または AWS CLI または command-runner.jarで を使用してステップを実行する方法について説明します AWS SDK for Java。HBase バックアップの他の種類については、HBase のドキュメントで「HBase Backup」の項を参照してください。

テーブルを使用してスナップショットを作成する

```
hbase snapshot create -n snapshotName -t tableName
```

から command-runner.jar を使用します AWS CLI。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Name="HBase Shell Step",Jar="command-runner.jar",\
Args=[ "hbase", "snapshot", "create","-n","snapshotName","-t","tableName"]
```

AWS SDK for Java

```
HadoopJarStepConfig hbaseSnapshotConf = new HadoopJarStepConfig()
  .withJar("command-runner.jar")
  .withArgs("hbase","snapshot","create","-n","snapshotName","-t","tableName");
```

> **Note**
>
> スナップショット名が一意でない場合、作成処理はリターンコード -1 または 255 で失敗になりますが、問題点を記述したエラーメッセージが表示されない可能性があります。同じスナップショット名を使用するには、いったん削除してから再作成してください。

スナップショットを削除する

```
hbase shell
>> delete_snapshot 'snapshotName'
```

スナップショット情報を表示する

```
hbase snapshot info -snapshot snapshotName
```

Amazon S3 にスナップショットをエクスポートする

> **Important**
>
> スナップショットをエクスポートするときに `-mappers` 値を指定しないと、HBase は任意の計算を使用してマッパーの数を判断します。この値は、テーブルサイズによっては非常に大きくなる場合があり、エクスポート時のジョブの実行に悪影響を及ぼします。したがって、`-mappers` パラメータ、`-bandwidth` パラメータ (帯域幅の消費をメガバイト/秒で指定)、または両方を指定してエクスポートオペレーションで使用されるクラスターリソースを制限することをお勧めします。または、使用量が低下する期間にスナップショットのエクスポートオペレーションを実行できます。

```
hbase snapshot export -snapshot snapshotName \
-copy-to s3://amzn-s3-demo-bucket/folder -mappers 2
```

`command-runner.jar` から を使用する AWS CLI :

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Name="HBase Shell Step",Jar="command-runner.jar",\
Args=[ "hbase", "snapshot", "export","-snapshot","snapshotName","-copy-to","s3://amzn-
s3-demo-bucket/folder","-mappers","2","-bandwidth","50"]
```

AWS SDK for Java:

```
HadoopJarStepConfig hbaseImportSnapshotConf = new HadoopJarStepConfig()
  .withJar("command-runner.jar")
  .withArgs("hbase","snapshot","export",
      "-snapshot","snapshotName","-copy-to",
      "s3://bucketName/folder",
      "-mappers","2","-bandwidth","50");
```

Amazon S3 からスナップショットをインポートする

操作はインポートですが、ここで使用する HBase は `export` です。

```
sudo -u hbase hbase snapshot export \
-D hbase.rootdir=s3://amzn-s3-demo-bucket/folder \
-snapshot snapshotName \
-copy-to hdfs://masterPublicDNSName:8020/user/hbase \
-mappers 2
```

`command-runner.jar` から を使用する AWS CLI：

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Name="HBase Shell Step",Jar="command-runner.jar", \
Args=["sudo","-u","hbase","hbase snapshot export","-snapshot","snapshotName", \
"-D","hbase.rootdir=s3://amzn-s3-demo-bucket/folder", \
"-copy-to","hdfs://masterPublicDNSName:8020/user/hbase","-mappers","2","-chmod","700"]
```

AWS SDK for Java:

```
HadoopJarStepConfig hbaseImportSnapshotConf = new HadoopJarStepConfig()
  .withJar("command-runner.jar")
  .withArgs("sudo","-u","hbase","hbase","snapshot","export", "-D","hbase.rootdir=s3://
path/to/snapshot",
      "-snapshot","snapshotName","-copy-to",
      "hdfs://masterPublicDNSName:8020/user/hbase",
      "-mappers","2","-chuser","hbase");
```

HBase シェル内のスナップショットからテーブルを復元する

```
hbase shell
>> disable tableName
>> restore_snapshot snapshotName
>> enable tableName
```

HBase では現在、HBase シェルで見つかるスナップショットコマンドがすべてサポートされていません。たとえば、スナップショットを復元する HBase コマンドラインオプションはないため、シェルで復元する必要があります。つまり、`command-runner.jar` で Bash コマンドを実行する必要があります。

> **Note**
>
> ここで使用されているコマンドは echo であるため、Amazon EMR で実行されたコマンドが終了コード `0` を返しても、シェルコマンドは失敗する可能性があります。ステップとしてシェルコマンドを実行する場合は、ステップログを確認してください。

```
echo 'disable tableName; \
restore_snapshot snapshotName; \
enable tableName' | hbase shell
```

AWS CLIを使用するステップを次に示します。まず、以下の内容 `snapshot.json` ファイルを作成します。

```
[
  {
    "Name": "restore",
    "Args": ["bash", "-c", "echo $'disable \"tableName\"; restore_snapshot
 \"snapshotName\"; enable \"tableName\"' | hbase shell"],
    "Jar": "command-runner.jar",
    "ActionOnFailure": "CONTINUE",
    "Type": "CUSTOM_JAR"
  }
]
```

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps file://./snapshot.json
```

AWS SDK for Java:

```
HadoopJarStepConfig hbaseRestoreSnapshotConf = new HadoopJarStepConfig()
  .withJar("command-runner.jar")
  .withArgs("bash","-c","echo $'disable \"tableName\"; restore_snapshot \"snapshotName
\"; enable \"snapshotName\"' | hbase shell");
```

HBase を設定する

デフォルトの HBase 設定はほとんどのアプリケーションで動作しますが、HBase 設定を変更することもできます。そのためには、HBase 設定分類のプロパティを使用します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

次の例では、Amazon S3 に格納されている設定ファイル myConfig.json に基づいて、代替の HBase ルートディレクトリを持つクラスターを作成します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=HBase \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --configurations https://s3.amazonaws.com/
amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

myConfig.json ファイルは、次の例に示すように、hbase.rootdir 設定分類の hbase-site プロパティを指定します。*ip-XXX-XX-XX-XXX.ec2.internal* を、クラスターのプライマリノードの内部 DNS ホスト名に置き換えます。

```
[
  {
    "Classification":"hbase-site",
    "Properties": {
       "hbase.rootdir": "hdfs://ip-XXX-XX-XX-XXX.ec2.internal:8020/user/
myCustomHBaseDir"
    }
  }
```

```
]
```

Note

Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface (AWS CLI) 、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

YARN でメモリ割り当てを変更する

HBase は YARN アプリケーションとして実行されていないため、YARN および YARN アプリケーションに割り当てられたメモリを再計算する必要があります。その結果、HBase がインストールされている場合は YARN で全体的に使用可能なメモリ量が少なくなります。YARN アプリケーションと HBase を同じクラスターに配置することを計画する場合は、この点を考慮する必要があります。メモリが 64 GB 未満のインスタンスタイプでは、メモリの半分が NodeManager 用に確保され、さらに HBase RegionServer に割り当てられます。メモリが 64 GB を超えるインスタンスタイプでは、HBase RegionServer のメモリの上限が 32 GB になります。一般的に、YARN 設定のメモリは MapReduce リデューサータスクのメモリの倍数になります。

「タスクの構成設定のデフォルト値」のテーブルには、HBase に必要なメモリに基づいた YARN 設定の変更が示されています。

HBase のポート番号

HBase 用に選択されている一部のポート番号は、デフォルト値と異なります。Amazon EMR の HBase 用インスタンスおよびポートを次に示します。

HBase のポート

インターフェイス	ポート	プロトコル
HMaster	16000	TCP
HMaster UI	16010	HTTP
RegionServer	16020	TCP

インターフェイス	ポート	プロトコル
RegionServer 情報	16030	HTTP
REST サーバー	8070	HTTP
REST UI	8085	HTTP
Thrift サーバー	9090	TCP
Thrift サーバー UI	9095	HTTP

> **Important**
>
> Amazon EMR リリースバージョン 4.6.0 以降では、`kms-http-port` は 9700、`kms-admin-port` は 9701 です。

最適化のための HBase サイト設定

HBase サイト設定の一部またはすべてを設定することで、アプリケーションのワークロード用に HBase クラスターを最適化できます。調査の出発点として次の設定を使用することをお勧めします。

zookeeper.session.timeout

デフォルトのタイムアウトは 40 秒 (40000 ミリ秒) です。リージョンサーバーがクラッシュしたとき、そのリージョンサーバーが存在しないことをマスターサーバーが認識し、回復処理を開始するのに要する時間です。マスターサーバーの回復処理を高速化するには、この値を小さくして時間を短くします。次の例では、30 秒、つまり 30000 ミリ秒を使用しています。

```
[
  {
    "Classification":"hbase-site",
    "Properties": {
       "zookeeper.session.timeout": "30000"
    }
  }
]
```

hbase.regionserver.handler.count

リクエストをテーブルに提供するためにリージョンサーバーが開いたままにするスレッド数を定義します。同時実行クライアント数が多い大きな書き込みバッファを使用するときに、ユーザーによるリージョンサーバーの強制終了を防ぐため、デフォルトでは 10 という低い値が設定されています。大まかな方法として、リクエストあたりのペイロードが MB 範囲に近いときは（big puts、ラージキャッシュを使用した scans）小さな値を、ペイロードが小さいときは（gets、small puts、ICV、deletes）、大きな値を指定します。次の例では、開いているスレッドの数を 30 まで増やしています。

```
[
  {
    "Classification":"hbase-site",
    "Properties": {
       "hbase.regionserver.handler.count": "30"
    }
  }
]
```

hbase.hregion.max.filesize

このパラメータは、個別のリージョンのサイズ（バイト単位）を管理します。デフォルトでは、`1073741824` に設定されます。大量のデータを HBase クラスターに書き込んでおり、頻繁に分割が発生する場合は、このサイズを増やすことで個別のリージョンを大きくします。分割は少なくなりますが、サーバー間におけるリージョンの負荷分散にかかる時間が長くさなります。

```
[
  {
    "Classification":"hbase-site",
    "Properties": {
       "hbase.hregion.max.filesize": "1073741824"
    }
  }
]
```

hbase.hregion.memstore.flush.size

このパラメータは、ディスクにフラッシュする前の memstore の最大サイズ（バイト単位）を管理します。デフォルトでは、`134217728` です。ワークロードが書き込みオペレーションの短期バースト

で構成されている場合は、この制限を増やして、バースト中もすべての書き込みがメモリに収まるようにし、後でディスクにフラッシュされるようにします。これにより、バースト中のパフォーマンスが向上することがあります。

```
[
  {
    "Classification":"hbase-site",
    "Properties": {
       "hbase.hregion.memstore.flush.size": "134217728"
    }
  }
]
```

パフォーマンスに関する考慮事項

HBase の Z Garbage Collector (ZGC) の有効化

Amazon EMR バージョン 7.10.0 以降では、ユーザーは HBase クラスターのガベージコレクション (GC) 設定をシームレスに設定できます。Z Garbage Collector (ZGC) を有効にして、低レイテンシーとミリ秒未満の GC 一時停止時間を実現することをお勧めします。

HBase RegionServer (複数可) の ZGC を有効にする設定は次のとおりです。

```
[
    {
        "Classification": "hbase-env",
        "Properties": {},
        "Configurations": [
            {
                "Classification": "export",
                "Properties": {
                    "JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/jre-21",
                    "HBASE_REGIONSERVER_GC_OPTS": "\"-XX:+UseZGC -XX:+ZGenerational\""
                }
            }
        ]
    }
]
```

> **Note**
>
> JDK 21 で導入されたため、世代 ZGC を使用する場合は JAVA_HOME 環境変数を設定する必要があります (推奨)。ZGC の非世代モード (なし`-XX:+ZGenerational`) を使用する場合は、JAVA_HOME を設定する必要はありません。JDK 24 では、ZGC の非世代モードが削除されました。

ZGC チューニング

1. JVM 固定ヒープを有効にする

   Z Garbage Collector (ZGC) は、固定ヒープメモリで設定するとより効率的に動作し、オペレーティングシステムにメモリを返すオーバーヘッドを排除します。HBase クラスターの固定ヒープメモリを設定するには、次の設定を使用します。

```
[
    {
        "Classification": "hbase",
        "Properties": {
            "hbase.regionserver.fixed.heap.enabled": "true"
        }
    }
]
```

2. プレタッチを有効にする

   プレタッチを有効にすると、初期レイテンシーが短縮され、より予測可能なパフォーマンスが提供されるため、ガベージコレクション (GC) のパフォーマンスが向上します。HBase クラスターのプレタッチを有効にするには、次の設定を使用します。

```
[
    {
        "Classification": "hbase-env",
        "Properties": {},
        "Configurations": [
            {
                "Classification": "export",
                "Properties": {
                    "JAVA_HOME": "/usr/lib/jvm/jre-21",
```

```
                    "HBASE_REGIONSERVER_GC_OPTS": "\"-XX:+UseZGC -XX:+ZGenerational -
XX:+AlwaysPreTouch\""
                }
            }
        ]
    }
]
```

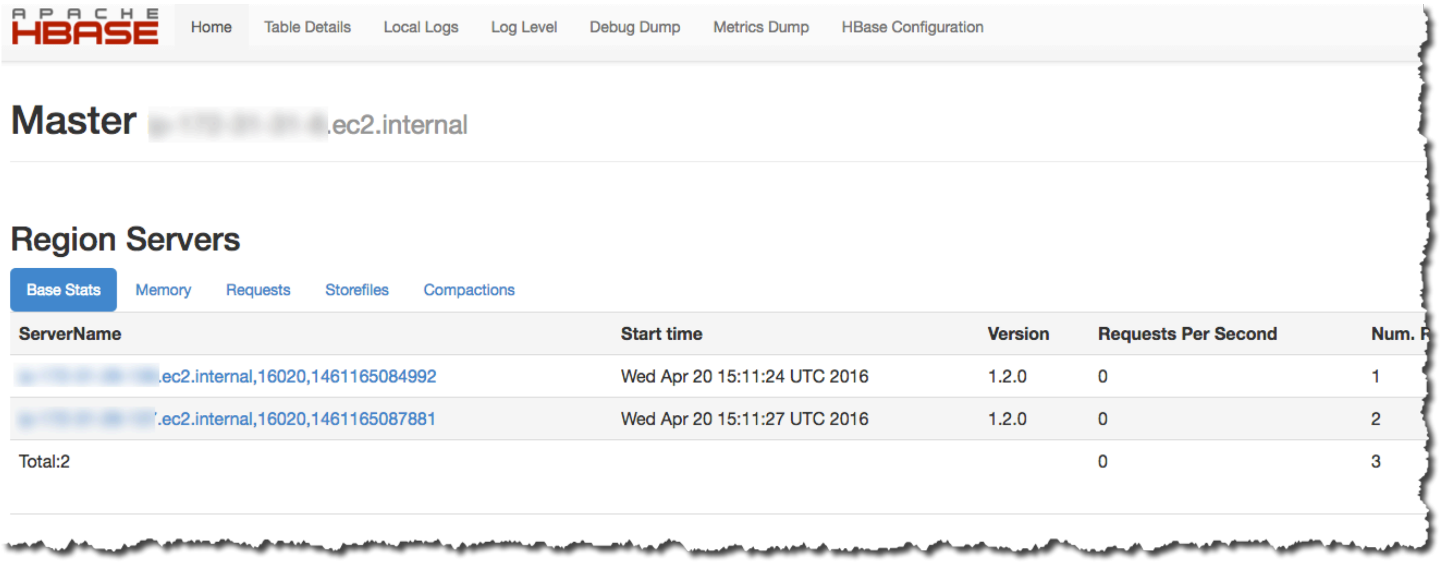
HBase ユーザーインターフェイスを表示する

> **Note**
>
> HBase ユーザーインターフェイスは、デフォルトで安全ではない HTTP 接続を使用します。セキュア HTTP (HTTPS) を有効にするには、HBase 構成で `hbase-site` 分類の `hbase.ssl.enabled` プロパティを `true` に設定します。HBase ウェブ UI でセキュア HTTP (HTTPS) を使用する方法の詳細については、「Apache HBase リファレンスガイド」を参照してください。

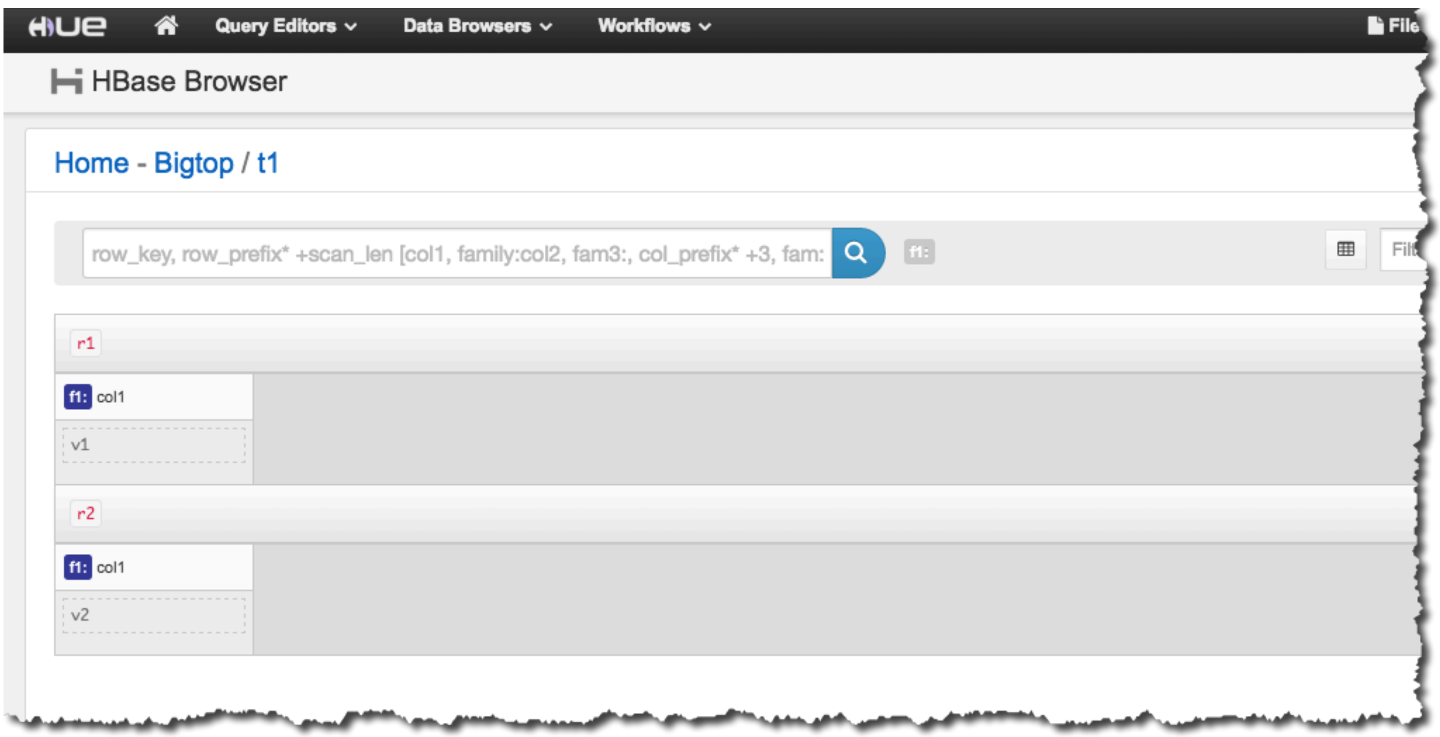
HBase にはウェブベースのユーザーインターフェイスが用意されており、これを使用して HBase クラスターをモニタリングできます。Amazon EMR で HBase を実行するとき、ウェブインターフェイスはプライマリノードで実行され、ポート転送を使用して表示できます。これは、SSH トンネルの作成とも呼ばれます。

HBase ユーザーインターフェイスを表示するには

1. SSH を使用してプライマリノードにトンネル接続し、安全な接続を確立します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Option 2, part 1: Set up an SSH tunnel to the primary node using dynamic port forwarding」を参照してください。
2. Firefox 用 FoxyProxy プラグインなどのプロキシツールを使用してウェブブラウザをインストールし、 AWS ドメインの SOCKS プロキシを作成します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Option 2, part 2: Configure proxy settings to view websites hosted on the primary node」を参照してください。
3. プロキシセットと SSH 接続を開いた状態で、http://***`master-public-dns-name`***:16010/master-status のブラウザウィンドウを開き、HBase UI を表示できます。*`master-public-dns-name`* はクラスターのプライマリノードのパブリック DNS アドレスです。



HBase は Hue で表示することもできます。たとえば、次の図では、「t1」で作成したテーブル HBase シェルを使用する が示されています。



Hue の詳細については、「Hue」を参照してください。

HBase ログファイルを表示する

HBase では、そのオペレーションの一環として、設定、デーモン、アクション、および例外に関する詳しい情報をログファイルに書き込みます。これらのログファイルは、HBase で問題をデバッグするだけでなく、パフォーマンスを追跡するときにも役に立ちます。

ログファイルを Amazon S3 に保持するようクラスターを設定した場合、ログが Amazon S3 に書き込まれるのは 5 分ごとであり、最新のログファイルが利用できるようになるまでに若干の遅れが生じる可能性があるという点に注意する必要があります。

プライマリノードで HBase ログを表示するには

- 現在の HBase ログを表示するには、SSH を使用してプライマリノードに接続し、`/var/log/hbase` ディレクトリに移動します。これらのログは、クラスターの起動時に Amazon S3 へのログを有効にしない限り、クラスター終了後に使用できなくなります。

Amazon S3 で HBase ログを表示するには

- Amazon S3 で HBase ログおよび他のクラスターログにアクセスするには、また、クラスターの終了後もこうしたログを利用できるようにするには、クラスターの作成時にこれらのログを受け取るよう Amazon S3 バケットを指定する必要があります。これは、`--log-uri` オプションを使用して行います。クラスターのログ記録を有効にする方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ログ記録およびデバッグの設定 (オプション)」を参照してください。

Ganglia で HBase を監視する

> **Note**
>
> Ganglia を含む Amazon EMR の最後のリリースは Amazon EMR 6.15.0 でした。クラスターを監視するために、6.15.0 以降のリリースには Amazon CloudWatch エージェントが含まれています。

Ganglia オープンソースプロジェクトは拡張可能な分散システムで、パフォーマンスへの影響を最小限に抑えながら、クラスターやグリッドをモニタリングできるように設計されています。クラスターで Ganglia を有効にすると、レポートを生成し、クラスター全体のパフォーマンスを表示するだけでなく、個別のノードインスタンスのパフォーマンスを調べることができます。Ganglia オープン

ソースプロジェクトの詳細については、http://ganglia.info/ を参照してください。Amazon EMR クラスターでの Ganglia の使用の詳細については、「Ganglia」を参照してください。

Ganglia を設定してクラスターを起動した後は、プライマリノードで実行中のグラフィカルインターフェイスを使用して、Ganglia のグラフやレポートにアクセスできます。

Ganglia は /mnt/var/lib/ganglia/rrds/ ディレクトリのプライマリノードにログファイルを保存します。Amazon EMR の以前のリリースバージョンは /var/log/ganglia/rrds/ ディレクトリにログファイルを保存する場合があります。

を使用して Ganglia と HBase のクラスターを設定するには AWS CLI

- 以下のような create-cluster コマンドを使用します。

```
aws emr create-cluster --name "Test cluster" --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=HBase Name=Ganglia --use-default-roles \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge \
--instance-count 3
```

> **Note**
> デフォルトの Amazon EMR サービスロールと Amazon EC2 インスタンスプロファイルが存在しない場合、エラーが発生します。aws emr create-default-roles コマンドを使用して作成してから、もう一度お試しください。

詳細については、「AWS CLIの Amazon EMR コマンド」を参照してください。

Ganglia のウェブインターフェイスで HBase メトリクスを表示するには

1. SSH を使用してプライマリノードにトンネル接続し、安全な接続を確立します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Option 2, part 1: Set up an SSH tunnel to the primary node using dynamic port forwarding」を参照してください。
2. Firefox 用 FoxyProxy プラグインなどのプロキシツールを使用してウェブブラウザをインストールし、 AWS ドメインの SOCKS プロキシを作成します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Option 2, part 2: Configure proxy settings to view websites hosted on the primary node」を参照してください。

3. プロキシセットと SSH 接続が開いている場合、Ganglia メトリクスを表示するには、ブラウザウィンドウで http://*master-public-dns-name*/ganglia/ を開きます。*master-public-dns-name* は、HBase クラスターのマスターサーバーのパブリック DNS アドレスです。

プライマリノードで Ganglia ログファイルを表示するには

- クラスターが実行中の場合、ログファイルにアクセスするには、SSH を使用してプライマリノードに接続し、`/mnt/var/lib/ganglia/rrds/` ディレクトリに移動します。EMR 3.x の場合、`/var/log/ganglia/rrds` ディレクトリに移動します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。

Amazon S3 で Ganglia ログファイルを表示するには

- クラスターのログを有効にしても、Ganglia ログファイルは自動的に Amazon S3 に書き込まれません。Amazon S3 で Ganglia ログファイルを表示するには、`/mnt/var/lib/ganglia/rrds/` から S3 バケットにログを手動でプッシュする必要があります。

Amazon CloudWatch による EMR HBase のモニタリング

EMR 7.0 以降、Amazon EMR は Amazon CloudWatch エージェントを提供して CloudWatch または Prometheus にメトリクスを送信し、Ganglia モニタリングシステムを置き換えます。詳細については、Amazon CloudWatch エージェント設定ガイドを参照してください。

EMR 7.0 Amazon CloudWatch エージェントは、基本的な統合を提供し、コンポーネントのダウンロードやブートストラップアクションの使用など、必要な手動作業を設定しました。ただし、EMR 7.1 以降では、プロセスは簡素化されています。EMR 7.1 で Amazon CloudWatch エージェントを使用すると、HBase のメトリクスを含め、システムレベルとアプリケーション固有のメトリクスの両方を簡単にモニタリングできます。EMR 設定 API を使用すると、メトリクス収集プロセスをすばやく設定およびカスタマイズし、Amazon CloudWatch または Prometheus にデータを送信する場所を選択できます。この柔軟性により、HBase クラスターを注意深く監視し、円滑かつ効率的に実行できます。

EMR 設定 API を使用してセットアップ全体を処理することで、プロセスが大幅にスムーズになります。EMR 7.1 の CloudWatch エージェントは、主に 3 種類のメトリクスをサポートしています。

- システムメトリクス – これには、CPU 使用率、ディスク使用率、メモリ使用率、ネットワーク I/O、プロセス、スワップ使用率などのシステムパフォーマンスの主要な指標が含まれます。

- Hadoop デーモンメトリクス – これらのメトリクスは、DataNode メトリクス、NameNode メトリクス、YARN NodeManager メトリクス、YARN ResourceManager メトリクスなど、Hadoop のさまざまなコンポーネントに関連しています。
- HBase メトリクス – これらのメトリクスはHBaseのパフォーマンスに関するインサイトを提供します。HBase マスターメトリクス、HBase リージョンサーバーメトリクス、HBase REST サーバーメトリクス、HBase Thrift Server メトリクスです。

Using the AWS CLI

Hadoop と HBase のすべてのメトリクスは JMX ベースです。つまり、Java Management Extensions を使用して詳細なインサイトを提供します。HBase をモニタリングするように Amazon CloudWatch エージェントをセットアップする方法は次のとおりです。

- Amazon CloudWatch Agent でクラスターを作成する前に、「前提条件」を参照してください。このリストの後に表示されるサンプルのような`create-cluster`コマンドを使用します。
- HBase クラスターでサポートされている設定を参照してください。
- HBase モニタリングを設定する設定例については、次のサンプルを参照してください。`--configuration` 入力の設定例を参照してください。

```
aws emr create-cluster --name "HBase cluster with CloudWatch agent" \
--release-label emr-7.1.0 \
--applications Name=HBase Name=AmazonCloudWatchAgent \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m7g.2xlarge \
--configurations file://./configurations.json \
--instance-count 3 --use-default-roles
```

メトリクスの JSON サンプル設定の詳細については、「メトリクスの設定」を参照してください。

Using the console

コンソールから Amazon CloudWatch エージェントを使用してクラスターを作成するには、次の手順を実行します。

コンソールから CloudWatch エージェントを使用してクラスターを作成する

1. にサインインし AWS Management Console、https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。

2. [クラスターを作成] を選択します。
3. [名前とアプリケーション] で、Amazon EMR リリース 7.0.0 以降を選択します。
4. アプリケーションバンドルで、クラスターにインストールする HBase および追加のアプリケーションを選択し、選択に CloudWatch エージェントを含めます。
5. ソフトウェア設定を展開します。コンソールで JSON またはシャドウテキストに倣った短縮構文を使用して、設定を直接入力できます。それ以外の方法として、JSON の `Configurations` オブジェクトとしてファイルの Amazon S3 URI を指定することもできます。メトリクスの JSON サンプル設定の詳細については、「メトリクスの設定」を参照してください。
6. ユースケースのニーズを満たすクラスターの作成に進みます。

メトリクスの設定

HBase Master をモニタリングするには、Amazon CloudWatch エージェントを設定して特定のメトリクスを収集します。

1. HBase マスターメトリクスのセットアップ – HBase マスターをモニタリングするには、Amazon CloudWatch エージェントを設定して特定のメトリクスを収集できます。マスター割り当てマネージャーのアクティビティを追跡するための設定例を次に示します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-hbase-master-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=HBase,name=Master,sub=AssignmentManager":
 "AssignFailedCount,AssignSubmittedCount",
          "otel.metric.export.interval": "30000"
        },
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

この設定では、次の操作を行います。

- MBean (`Hadoop:service=HBase,name=Master,sub=AssignmentManager`) を指定して、 `AssignFailedCount`や などのメトリクスを収集します`AssignSubmittedCount`。
- これらのメトリクスを 30 秒 (30,000 ミリ秒) ごとに収集するように間隔を設定します。

2. HBase リージョンサーバーメトリクスの設定 – HBase リージョンサーバーをモニタリングするには、CloudWatch エージェントを次のように設定します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-hbase-region-server-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=HBase,name=RegionServer,sub=IPC":
 "numActiveHandler,numActivePriorityHandler",
          "otel.metric.export.interval": "30000"
        },
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

この設定：

- リージョンサーバー (`numActiveHandler`、) のアクティブなハンドラーをモニタリングします`numActivePriorityHandler`。
- メトリクス収集に 30 秒間隔を使用します。

3. HBase REST Server メトリクスのセットアップ – HBase REST インターフェイスをモニタリングするには、次の設定を使用できます。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
```

```
      {
        "Classification": "emr-hbase-rest-server-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=HBase,name=REST": "successfulPut,successfulScanCount",
          "otel.metric.export.interval": "30000"
        },
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

この例では、CloudWatch エージェントは 30 秒ごとに正常な PUT オペレーションとスキャン数に関するメトリクスを収集します。

4. HBase Thrift サーバーメトリクスのセットアップ – HBase Thrift サーバーをモニタリングするには、次のような設定でメトリクスを設定できます。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {},
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "emr-hbase-thrift-server-metrics",
        "Properties": {
          "Hadoop:service=HBase,name=Thrift,sub=ThriftOne":
 "BatchGet_max,BatchGet_mean",
          "otel.metric.export.interval": "30000"
        },
        "Configurations": []
      }
    ]
  }
]
```

この設定では、Thrift サーバーでのバッチ GET オペレーションの最大時間と平均時間を追跡します。

メトリクスの送信先の使用

EMR 7.1 では、メトリクスデータを Amazon CloudWatch または Amazon Managed Service for Prometheus に送信するオプションがあります。この選択により、ニーズに応じてさまざまなモニタリングツールとシームレスに統合できます。

Amazon CloudWatch へのメトリクスの送信

CloudWatch にメトリクスを送信するには、この設定を使用します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {
      "metrics_destination": "cloudwatch"
    },
    "Configurations": []
  }
]
```

Amazon Managed Service for Prometheus へのメトリクスの送信

Prometheus を使用する場合は、送信先を設定し、エンドポイント URL を指定します。

```
[
  {
    "Classification": "emr-metrics",
    "Properties": {
      "metrics_destination": "prometheus",
      "prometheus_endpoint": "https://aps-workspaces.region.amazonaws.com/
workspaces/workspace_id/api/v1/remote_write"
    },
    "Configurations": []
  }
]
```

を AWS リージョン`region`に、 を Prometheus ワークスペース ID `workspace_id`に置き換えます。この設定は、指定されたエンドポイントを使用して HBase メトリクスを Prometheus に送信します。

上記の設定では、モニタリングタブに以下のメトリクスが表示されます。

HBase の以前のバージョンからの移行

HBase の以前のバージョンからデータを移行するには、Apache HBase リファレンスガイドの「Upgrading」および「HBase version number and compatibility」を参照してください。HBase の 1.0 より前のバージョンからアップグレードするには、特に注意が必要な場合があります。

Amazon EMR バージョン 7.4.0 以降への移行

> **Note**
>
> 7.4.0 より前の EMR リリースから 7.3.0 より大きいリリースに移行する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

Amazon のストアファイル追跡機能が有効になっている EMR バージョンを現在実行していて、バージョン 6.2.0 から 7.3.0 までに含まれている場合、7.3.0 以降の EMR バージョンで利用可能な OSS ストアファイル追跡を使用するバージョンにアップグレードするには、次の手順に従います。

1. 既存のクラスターの場合：
    1. `hbase:storefile` テーブルを無効にします。
    2. `hbase:storefile` テーブルをドロップします。
    3. をフラッシュします`hbase:meta`。
    4. メタデータが更新されるまで待ちます。
2. 新しいクラスターで：
    1. ルートディレクトリと同じ Amazon S3 ディレクトリを設定します。
    2. `DefaultStoreFileTracker` 実装を使用してクラスターを起動します。

    ```
    {
      "Classification": "hbase-site",
      "Properties": {
        hbase.store.file-tracker.impl:
     "org.apache.hadoop.hbase.regionserver.storefiletracker.DefaultStoreFileTracker"
    }
    ```

    3. テーブルまたは列ファミリーレベルで、次のコマンドを使用してストアファイルトラッカーを変更します。

a. テーブルの またはテーブル列ファミリーのストアファイルトラッカーを変更します。

```
hbase> change_sft 't1','FILE'
hbase> change_sft 't2','cf1','FILE'
```

b. 指定された正規表現 (正規表現) と一致するテーブルのすべてのストアファイルトラッカーを変更します。

```
hbase> change_sft_all 't.*','FILE'
hbase> change_sft_all 'ns:.*','FILE'
hbase> change_sft_all 'ns:t.*','FILE'
```

HBase リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている HBase のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

HBase バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	2.6.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-reg

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
		ion-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.8.0	2.6.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.7.0	2.6.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.6.0	2.6.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	2.5.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	2.5.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.36.2	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	2.4.17	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	2.4.15	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	2.4.15	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	2.4.15	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	2.4.15	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-wal-cli, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	2.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.9.0	2.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	2.4.12	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.8.0	2.4.12	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	2.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.36.1	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.6.0	2.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, hbase-operator-tools, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.5.0	2.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	2.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.3.1	2.2.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	2.2.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.2.1	2.2.6-amzn-0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	2.2.6-amzn-0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.1.1	2.2.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	2.2.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.0.1	2.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	2.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.34.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.33.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.32.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.31.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.30.1	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	1.4.13	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.29.0	1.4.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	1.4.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.28.0	1.4.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	1.4.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.27.0	1.4.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	1.4.10	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.25.0	1.4.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	1.4.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.24.0	1.4.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	1.4.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.23.0	1.4.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	1.4.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.21.2	1.4.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	1.4.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.21.0	1.4.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	1.4.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.20.0	1.4.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.19.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.18.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.17.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.16.1	1.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	1.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.15.1	1.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	1.4.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.14.2	1.4.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	1.4.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.14.0	1.4.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	1.4.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.13.0	1.4.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	1.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.2	1.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	1.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.0	1.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.3	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.1	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.10.1	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.9.1	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.8.3	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.2	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.8.1	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.7.1	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.0	1.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.6.1	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.0	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.4	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.2	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.0	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.1	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.4.0	1.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.3.1	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.2.3	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.2	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.2.1	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.1.1	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	1.2.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.0.3	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.2	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.0.1	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.6	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.5	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.4	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.3	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.2	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.5	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.3	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.1	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	1.2.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.4	1.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	1.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.2	1.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	1.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.0	1.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	HBase バージョン	HBase でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.1	1.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.6.0	1.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-rest-server, hbase-thrift-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Apache HCatalog

HCatalog は、Pig、Spark SQL、または MapReduce カスタムアプリケーション内から Hive のメタストアテーブルにアクセスするためのツールです。HCatalog には、テーブルの作成やその他のオペレーションに使用できる REST インターフェイスおよびコマンドラインクライアントがあります。その後、HCatalog ライブラリを使用してテーブルにアクセスするアプリケーションを記述します。詳細については、「Using HCatalog」を参照してください。HCatalog は、Amazon EMR リリースバージョン 4.4.0 以降に含まれています。

Amazon EMR リリースバージョン 5.8.0 以降の HCatalog では、Hive のメタストアとして AWS Glue Data Catalog の使用がサポートされています。詳細については、「Hive のメタストアとして AWS Glue データカタログを使用する」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている HCatalog のバージョンと、Amazon EMR で HCatalog と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで HCatalog と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の HCatalog バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	HCatalog 3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている HCatalog のバージョンと、Amazon EMR で HCatalog と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで HCatalog と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の HCatalog バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	HCatalog 2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

トピック

- HCatalog を使用したクラスターの作成
- HCatalog の使用
- 例: HCatalog テーブルを作成して Pig を使用して書き込む
- HCalog リリース履歴

HCatalog を使用したクラスターの作成

HCatalog は Hive プロジェクトに含まれていますが、お客様のアプリケーションとしてインストールする必要があります。

コンソールを使用し、HCatalog がインストールされた状態でクラスターを起動するには

次の手順では、HCatalog がインストールされたクラスターを作成します。詳細オプションなど、コンソールを使用したクラスター作成の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターの計画と構成」を参照してください。

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Create cluster (クラスターの作成)] を選択して [Quick Create (クイック作成)] を使用します。
3. [Software Configuration (ソフトウェア設定)] フィールドで、Amazon Release Version emr-4.4.0 以降を選択します。
4. [Select Applications (アプリケーションの選択)] フィールドで、[All Applications (すべてのアプリケーション)] または [HCatalog] を選択します。
5. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

を使用して HCatalog でクラスターを起動するには AWS CLI

- 次のコマンドを使用してクラスターを作成します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Cluster with Hcat" --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=HCatalog --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --use-default-roles
```

HCatalog の使用

Hive メタストアを使用するさまざまなアプリケーション内で HCatalog を使用できます。このセクションの例は、テーブルを作成し、それをPigおよびSpark SQLのコンテキストで使用する方法を示しています。

HCatalog HStorer の使用時に直接書き込みを無効にする

アプリケーションが HCatStorer を使用して Amazon S3 に保存されている HCatalog テーブルに書き込むたびに、Amazon EMR の直接書き込み機能を無効にしてください。例えば、Pig の STORE コマンドを使用するときや、HCatalog テーブルを Amazon S3 に書き込む Sqoop ジョブを実行するときに、直接書き込みを無効にします。直接書き込み機能を無効にするには、mapred.output.direct.NativeS3FileSystem および mapred.output.direct.EmrFileSystem を false に設定します。次の例は、Javaを使用してこれらの構成を設定する方法を示しています。

```
Configuration conf = new Configuration();
conf.set("mapred.output.direct.NativeS3FileSystem", "false");
conf.set("mapred.output.direct.EmrFileSystem", "false");
```

HCat CLI を使用してテーブルを作成しそのデータを Pig で使用する

クラスターで次のスクリプト (impressions.q) を作成します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE impressions (
    requestBeginTime string, adId string, impressionId string, referrer string,
    userAgent string, userCookie string, ip string
  )
  PARTITIONED BY (dt string)
  ROW FORMAT
    serde 'org.apache.hive.hcatalog.data.JsonSerDe'
    with serdeproperties ( 'paths'='requestBeginTime, adId, impressionId, referrer,
 userAgent, userCookie, ip' )
  LOCATION 's3://[your region].elasticmapreduce/samples/hive-ads/tables/impressions/';
ALTER TABLE impressions ADD PARTITION (dt='2009-04-13-08-05');
```

HCat CLI を使用してスクリプトを実行します。

```
% hcat -f impressions.q
Logging initialized using configuration in file:/etc/hive/conf.dist/hive-
log4j.properties
OK
Time taken: 4.001 seconds
OK
Time taken: 0.519 seconds
```

Grunt シェルを開き、impressions にあるデータにアクセスします。

```
% pig -useHCatalog -e "A = LOAD 'impressions' USING
 org.apache.hive.hcatalog.pig.HCatLoader();
B = LIMIT A 5;
dump B;"
<snip>
(1239610346000,m9nwdo67Nx6q2kI25qt5On7peICfUM,omkxkaRpNhGPDucAiBErSh1cs0MThC,cartoonnetwork.com
 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 6.0; FunWebProducts; GTB6; SLCC1; .NET CLR
 2.0.50727; Media Center PC
 5.0; .NET,wcVWWTascoPbGt6bdqDbuWTPPHgOPs,69.191.224.234,2009-04-13-08-05)
(1239611000000,NjriQjdODgWBKnkGJUP6GNTbDeK4An,AWtXPkfaWGOaNeL9OOsFU8Hcj6eLHt,cartoonnetwork.com
 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 5.1; GTB6; .NET CLR
 1.1.4322),OaMU1F2gE4CtADVHAbKjjRRks5kIgg,57.34.133.110,2009-04-13-08-05)
(1239610462000,Irpv3oiu0I5QNQiwSSTIshrLdo9cM1,i1LDq44LRSJF0hbmhB8Gk7k9gMWtBq,cartoonnetwork.com
 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.2; SV1; .NET CLR 1.1.4322;
 InfoPath.1),QSb3wkLR4JAIut4Uq6FNFQIR1rCVwU,42.174.193.253,2009-04-13-08-05)
(1239611007000,q2Awfnpe0JAvhInaIp0VGx9KTs0oPO,s3HvTflPB8JIE0IuM6hOEebWWpOtJV,cartoonnetwork.com
 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.2; SV1; .NET CLR 1.1.4322;
 InfoPath.1),QSb3wkLR4JAIut4Uq6FNFQIR1rCVwU,42.174.193.253,2009-04-13-08-05)
(1239610398000,c362vpAB0soPKGHRS43cj6TRwNeOGn,jeas5nXbQInGAgFB8jlkhnprN6cMw7,cartoonnetwork.com
 (compatible; MSIE 8.0; Windows NT 5.1; Trident/4.0; GTB6; .NET CLR
 1.1.4322),k96n5PnUmwHKfiUI0TFP0TNMfADgh9,51.131.29.87,2009-04-13-08-05)
7120 [main] INFO  org.apache.pig.Main  - Pig script completed in 7 seconds and 199
 milliseconds (7199 ms)
16/03/08 23:17:10 INFO pig.Main: Pig script completed in 7 seconds and 199 milliseconds
 (7199 ms)
```

Spark SQL を使用してテーブルにアクセスする

この例では、最初の例で作成したテーブルから Spark DataFrame を作成し、最初の 20 行を表示します。

```
% spark-shell --jars /usr/lib/hive-hcatalog/share/hcatalog/hive-hcatalog-core-1.0.0-
amzn-3.jar
<snip>
scala> val hiveContext = new org.apache.spark.sql.hive.HiveContext(sc);
scala> val df = hiveContext.sql("SELECT * FROM impressions")
scala> df.show()
<snip>
16/03/09 17:18:46 INFO DAGScheduler: ResultStage 0 (show at <console>:32) finished in
 10.702 s
16/03/09 17:18:46 INFO DAGScheduler: Job 0 finished: show at <console>:32, took
 10.839905 s
```

```
+----------------+--------------------+--------------------+------------------
+-------------------+-------------------+--------------+---------------+
|requestbegintime|                adid|        impressionid|          referrer|
   useragent|          usercookie|            ip|               dt|
+----------------+--------------------+--------------------+------------------
+-------------------+-------------------+--------------+---------------+
|   1239610346000|m9nwdo67Nx6q2kI25...|omkxkaRpNhGPDucAi...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|wcVWWTascoPbGt6bd...|69.191.224.234|2009-04-13-08-05|
|   1239611000000|NjriQjdODgWBKnkGJ...|AWtXPkfaWGOaNeL9O...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|OaMU1F2gE4CtADVHA...| 57.34.133.110|2009-04-13-08-05|
|   1239610462000|Irpv3oiu0I5QNQiwS...|i1LDq44LRSJF0hbmh...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|QSb3wkLR4JAIut4Uq...|42.174.193.253|2009-04-13-08-05|
|   1239611007000|q2Awfnpe0JAvhInaI...|s3HvTflPB8JIE0IuM...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|QSb3wkLR4JAIut4Uq...|42.174.193.253|2009-04-13-08-05|
|   1239610398000|c362vpAB0soPKGHRS...|jeas5nXbQInGAgFB8...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|k96n5PnUmwHKfiUI0...|  51.131.29.87|2009-04-13-08-05|
|   1239610600000|cjBTpruoaiEtqLuMX...|XwlohBSs8Ipxs1bRa...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|k96n5PnUmwHKfiUI0...|  51.131.29.87|2009-04-13-08-05|
|   1239610804000|Ms3eJHNAEItpxvimd...|4SIj4pGmgVLl625BD...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|k96n5PnUmwHKfiUI0...|  51.131.29.87|2009-04-13-08-05|
|   1239610872000|h5bccHX6wJReDi1jL...|EFAWIiBdVfnxwAMWP...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/4.0 (comp...|k96n5PnUmwHKfiUI0...|  51.131.29.87|2009-04-13-08-05|
|   1239610365000|874NBpGmxNFfxEPKM...|xSvE4XtGbdtXPF2Lb...|cartoonnetwork.com|
Mozilla/5.0 (Maci...|eWDEVVUphlnRa273j...| 22.91.173.232|2009-04-13-08-05|
|   1239610348000|X8gISpUTSqh1A5reS...|TrFblGT99AgE75vuj...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|tX1sMpnhJUhmAF7AS...|   55.35.44.79|2009-04-13-08-05|
|   1239610743000|kbKreLWB6QVueFrDm...|kVnxx9Ie2i3OLTxFj...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|tX1sMpnhJUhmAF7AS...|   55.35.44.79|2009-04-13-08-05|
|   1239610812000|9lxOSRpEi3bmEeTCu...|1B2sff99AEIwSuLVV...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|tX1sMpnhJUhmAF7AS...|   55.35.44.79|2009-04-13-08-05|
|   1239610876000|lijjmCf2kuxfBTnjL...|AjvufgUtakUFcsIM9...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|tX1sMpnhJUhmAF7AS...|   55.35.44.79|2009-04-13-08-05|
|   1239610941000|t8t8trgjNRPIlmxuD...|agu2u2TCdqWP08rAA...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|tX1sMpnhJUhmAF7AS...|   55.35.44.79|2009-04-13-08-05|
|   1239610490000|OGRLPVNGxiGgrCmWL...|mJg2raBUpPrC8OlUm...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|r2k96t1CNjSU9fJKN...|   71.124.66.3|2009-04-13-08-05|
|   1239610556000|OnJID12x0RXKPUgrD...|P7Pm2mPdW6wO8KA3R...|       corriere.it|
Mozilla/4.0 (comp...|r2k96t1CNjSU9fJKN...|   71.124.66.3|2009-04-13-08-05|
|   1239610373000|WflsvKIgOqfIE5KwR...|TJHd1VBspNcua0XPn...|       corriere.it|
Mozilla/5.0 (Maci...|fj2L1ILTFGMfhdrt3...| 75.117.56.155|2009-04-13-08-05|
|   1239610768000|4MJR0XxiVCU1ueXKV...|1OhGWmbvKf8ajoU8a...|       corriere.it|
Mozilla/5.0 (Maci...|fj2L1ILTFGMfhdrt3...| 75.117.56.155|2009-04-13-08-05|
|   1239610832000|gWIrpDiN57i3sHatv...|RNL4C7xPi3tdar2Uc...|       corriere.it|
Mozilla/5.0 (Maci...|fj2L1ILTFGMfhdrt3...| 75.117.56.155|2009-04-13-08-05|
```

```
|   1239610789000|pTne9k62kJ14QViXI...|RVxJVIQousjxUVI3r...|        pixnet.net|
Mozilla/5.0 (Maci...|1bGOKiBD2xmui9OkF...| 33.176.101.80|2009-04-13-08-05|
+----------------+--------------------+--------------------+------------------
+--------------------+--------------------+--------------+----------------+
only showing top 20 rows


scala>
```

例: HCatalog テーブルを作成して Pig を使用して書き込む

HCatalog テーブルを作成し、Amazon S3 のデータソースを使う HCatStorer の方法で、Apache Pigを使用してテーブルに書き込むことができます。HCatalogでは、直接書き込みを無効にする必要があります。無効にしないと操作が警告なしに失敗します。および `mapred.output.direct.NativeS3FileSystem` 構成の両方を、`mapred.output.direct.EmrFileSystem` 分類を使用することで、 `false` またはGruntシェル内から `mapred-site` 手動で設定します。次の例では、HCat CLI を使用して作成されたテーブルと、Amazon S3 内のサンプルデータファイルからテーブルに値を設定するために Grunt シェルで実行されるコマンドを示しています。

この例を実行するには、[SSH を使用してマスターノードに接続します](#)。

次のコンテンツで HCatalog スクリプトファイル `wikicount.q` を作成します。これにより、`wikicount` という名前の HCatalog テーブルが作成されます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE IF NOT EXISTS wikicount(
col1 string,
col2 bigint
)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY '\001'
STORED AS ORC
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/hcat/wikicount';
```

HCat CLIコマンドを使用してファイルからスクリプトを実行します。

```
hcat -f wikicount.q
```

次に、 `-useHCatalog` オプションでGruntシェルを起動し、直接書き込みを無効にするように構成を設定し、S3の場所からデータを読み込み、その結果をwikicountテーブルに書き込みます。

```
pig -useHCatalog
SET mapred.output.direct.NativeS3FileSystem false;
SET mapred.output.direct.EmrFileSystem false;
A = LOAD 's3://support.elasticmapreduce/training/datasets/wikistats_tiny/' USING
 PigStorage(' ') AS (Site:chararray, page:chararray, views:int, total_bytes:long);
B = GROUP A BY Site;
C = FOREACH B GENERATE group as col1, COUNT(A) as col2;
STORE C INTO 'wikicount' USING org.apache.hive.hcatalog.pig.HCatStorer();
```

HCalog リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている HCatalog のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

HCatalog のバージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-7.8.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
		datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-7.7.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-7.6.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-7.5.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-7.3.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.36.2	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-7.0.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-librar y, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-s erver, hive-client, mariadb-s erver
emr-6.14.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-librar y, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-s erver, hive-client, mariadb-s erver

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.12.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.11.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.10.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.9.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.8.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.36.1	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.6.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.5.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.3.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.2.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.1.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-6.0.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.34.0	2.3.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.33.0	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.32.0	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.31.0	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.30.1	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mariadb-server
emr-5.29.0	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.28.0	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.27.0	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.25.0	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.24.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.23.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.21.2	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.21.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.20.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.19.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.18.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.17.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.16.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.15.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.14.2	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.14.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.13.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.12.2	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.12.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.11.3	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.11.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.10.1	2.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	2.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.9.1	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.8.3	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.2	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.8.1	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.7.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.6.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.5.4	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.5.2	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.5.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.4.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.3.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.2.3	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.2	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.2.1	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.1.1	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.0.3	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.2	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-5.0.1	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.9.6	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.5	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.9.4	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.3	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.9.2	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.8.5	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.8.3	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.8.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.7.4	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.7.2	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server
emr-4.7.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server
emr-4.6.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	HCatalog バージョン	HCatalog でインストールされるコンポーネント
emr-4.5.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server
emr-4.4.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hcatalog-client, hcatalog-server, hcatalog-webhcat-server, hive-client, hive-metastore-server, mysql-server

Apache Hive

Hive はオープンソースのデータウェアハウス兼分析パッケージで、Hadoop クラスター上で動作します。Hive スクリプトは、Hive QL (クエリ言語) という SQL に似た言語を使用しています。この言語はプログラミングモデルを抽象化しており、データウェアハウスとの一般的なやりとりをサポートします。Hive では、Directed Acyclic Graphs (DAG) や MapReduce プログラムに基づいて Java などの下位レベルのコンピューター言語で Tez ジョブを記述する複雑さを回避できます。

Hive は、シリアライズ形式を取り込むことで、SQL の枠組みを拡張しています。また、データ自体は操作せずにデータと一致するテーブルスキーマを作成することで、クエリ処理をカスタマイズすることもできます。SQL は日付、数値、文字列などのプリミティブなデータ型のみサポートしていますが、Hive テーブルの値は JSON オブジェクト、ユーザー定義のデータ型、Java で記述した関数などの構造化された要素です。

Hive の詳細については、http://hive.apache.org/ を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Hive のバージョンと、Amazon EMR で Hive と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hive と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Hive バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Hive 3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client,

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
		hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Hive のバージョンと、Amazon EMR で Hive と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hive と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Hive バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Hive 3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Hive のバージョンと、Amazon EMR で Hive と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hive と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Hive バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Hive 2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR 5.18.0 以降では、Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用し、特定の Amazon EMR リリースで利用可能なライブラリおよび依存関係の正確なバージョンに対してジョブコードをビルドできます。詳細については、「Amazon EMR アーティファクトリポジトリを使用して依存関係を確認する」を参照してください。

トピック

- Amazon EMR 上の Hive の相違点と考慮事項
- Hive の外部メタストアの設定
- Hive JDBC ドライバーの使用
- Hive のパフォーマンスの向上
- Hive Live Long and Process (LLAP) の使用

- [Hive での暗号化]
- [Hive リリース履歴]

Amazon EMR 上の Hive の相違点と考慮事項

Amazon EMR 上の Apache Hive と Apache Hive の相違点

このセクションでは、Amazon EMR 上の Hive と http://svn.apache.org/viewvc/hive/branches/ で入手できるデフォルトバージョンの Hive の相違点について説明します。

Hive 認可

Amazon EMR は、EMRFS と Amazon S3 ではなく HDFS の Hive 認可をサポートします。Amazon EMR クラスターは、デフォルトで認可が無効な状態で実行されます。

Amazon S3 での Hive ファイルマージ動作

Apache Hive は `hive.merge.mapfiles` が true の場合はマップのみジョブの最後に小さいファイルをマージし、マージはジョブの平均出力サイズが `hive.merge.smallfiles.avgsize` 設定未満の場合にのみトリガされます。最終出力パスが HDFS 内にある場合は、Amazon EMR Hive でも動作はまったく同じです。出力パスが Amazon S3 内の場合、`hive.merge.smallfiles.avgsize` パラメータは無視されます。その場合、`hive.merge.mapfiles` が `true` に設定されているとマージタスクが常にトリガされます。

ACID トランザクションおよび Amazon S3

Amazon EMR 6.1.0 以降では、Hive ACID (不可分性、整合性、分離性、耐久性) トランザクションをサポートしているため、データベースの ACID プロパティに準拠しています。この機能を使用すると、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) のデータを使用して Hive マネージドテーブルで INSERT、UPDATE、DELETE および MERGE の各オペレーションを実行できます。

Hive Live Long and Process (LLAP)

デフォルトの Apach Hive のバージョン 2.0 で追加された LLAP 機能は、Amazon EMR リリース 5.0 の Hive 2.1.0 ではサポートされません。

Amazon EMR バージョン 6.0.0 以降では、Hive の Live Long and Process (LLAP) 機能をサポートしています。詳細については、「Hive LLAP の使用」を参照してください。

Amazon EMR リリースバージョン 4.x と 5.x の Hive の相違点

このセクションでは、Amazon EMR リリース 4.x 上の Hive バージョン 1.0.0 から Amazon EMR リリース 5.x 上の Hive 2.x に Hive の実装を移行する前に考慮すべき相違点について説明します。

運用面での相違点と考慮事項

- ACID (不可分性、整合性、分離性、耐久性) トランザクションのサポートの追加: Amazon EMR 4.x 上の Hive 1.0.0 とデフォルトの Apache Hive のこの相違点は排除されています。
- Amazon S3 への直接書き込みの排除: Amazon EMR 上の Hive 1.0.0 とデフォルトの Apache Hive のこの相違点は排除されています。Amazon EMR リリース 5.x 上の Hive 2.1.0 は、現在、Amazon S3 に保存される一時ファイルの作成、読み取り、書き込みを行います。結果として、同じ表の読み取りと書き込みのために、対処法としてクラスターのローカル HDFS ファイルシステムに一時テーブルを作成する必要はなくなります。バージョニング対応バケットを使用する場合、これらの一時ファイルを必ず以下のように管理してください。
- Amazon S3 バージョニング対応バケットを使用する場合の一時ファイルの管理: 生成されたデータの出力先が Amazon S3 である Hive クエリを実行すると、多くの一時ファイルとディレクトリが作成されます。これは、前述の新しい動作です。バージョニング対応 S3 バケットを使用する場合、これらの一時ファイルのために Amazon S3 が煩雑になり、削除されないならコストが発生します。`/_tmp` プレフィックスが付けられたデータが 5 日などの短期間で削除されるように、ライフサイクルルールを調整します。詳細については、「ライフサイクル設定の指定」を参照してください。
- Log4j は Log4j 2 に更新: Log4j を使用する場合、このアップグレードのためにログ設定を変更しなければならない場合があります。詳細については、Apache log4j 2 を参照してください。

パフォーマンスの相違点と考慮事項

- Tez によるパフォーマンスの相違点: Amazon EMR リリース 5.x では、MapReduce ではなく Tez が Hive のデフォルトの実行エンジンです。Tez は、ほとんどのワークフローでパフォーマンスを向上させます。
- 多くのパーティションを持つテーブル: 多数の動的パーティションを生成するクエリは失敗することがあり、多くのパーティションを持つテーブルから選択するクエリは予想されるより時間がかかる場合があります。たとえば、100,000 個のパーティションからの選択には 10 分以上かかる場合があります。

Amazon EMR での Hive の追加機能

Amazon EMR は、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) や DynamoDB との間で読み書きする機能など、他の AWS サービスとの Hive 統合をサポートする新機能で Hive を拡張します。

Hive の変数

Hive の引数スクリプト内で変数を使用するには、ドル記号と中括弧を使用します。

```
add jar ${LIB}/jsonserde.jar
```

これらの変数の値を Hive に渡すには、次の例で示すようにコマンドラインで -d パラメータを使用します。

```
-d LIB=s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/lib
```

また、Hive スクリプトを実行するステップに値を渡すこともできます。

コンソールを使用して Hive のステップに変数値を渡すには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [クラスターを作成] を選択してください。
3. [Steps] セクションの [Add Step] で、リストから [Hive Program] を選択し、[Configure and add] を選択します。
4. [Add Step] ダイアログで、次の表を参考にしながらパラメータを指定し、[Add] を選択します。

フィールド	アクション
スクリプト S3 場所*	Amazon S3 でスクリプトがある場所の URI を指定します。パスの値は *BucketName* /*path*/*ScriptName* という書式で指定する必要があります。例: `s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/libs/response-time-stats.q` 。
S3 の場所の入力	Amazon S3 で入力ファイルがある場所の URI を指定します (オプション)。値は *BucketName* /*path* という書式で指定する必要があります。指

フィールド	アクション
	定すると、この値は INPUT という名前のパラメータとして Hive スクリプトに渡されます。例: `s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/tables/` 。
S3 の場所の出力	Amazon S3 で出力を保存する場所の URI を指定します (オプション)。値は *BucketName* /*path* という書式で指定する必要があります。指定すると、この値は OUTPUT という名前のパラメータとして Hive スクリプトに渡されます。例: `s3://amzn-s3-demo-bucket/hive-ads/output/` 。
引数	引数のリスト (スペース区切りの文字列) を入力し、Hive に渡します (オプション) 。${SAMPLE} という名前の Hive スクリプトでパス変数を定義した場合の例:) `CREATE EXTERNAL TABLE logs (requestBeginTime STRING, requestEndTime STRING, hostname STRING) PARTITIONED BY (dt STRING) \ ROW FORMAT serde 'com.amazon.elasticmapreduce.JsonSerde' WITH SERDEPROPERTIES ( 'paths'='requestBeginTime, requestEndTime, hostname' ) LOCATION '${SAMPLE}/tables/impressions';` 変数の値を渡すには、[Arguments] ウィンドウに次のように入力します。 `-d SAMPLE=s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/` .
Action on Failure	エラーに反応しているクラスターを判断します。この設定に使用できる値は次のとおりです。 • Terminate cluster: ステップが失敗した場合、クラスターを停止します。クラスターの停止保護が有効で、キープアライブが有効な場合は、クラスターは停止されません。 • Cancel and wait: ステップが失敗した場合、残りのステップをキャンセルします。クラスターのキープアライブが有効な場合、クラスターは停止されません。 • Continue: ステップが失敗した場合、次のステップに進みます。

5. 必要に応じて値を選択し、[Create cluster] を選択します。

を使用して Hive ステップに変数値を渡すには AWS CLI

を使用して Hive ステップに変数値を渡すには AWS CLI、 `--steps`パラメータを使用して引数リストを含めます。

- **Note**

  読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

  ```
  aws emr create-cluster --name "Test cluster" --release-label emr-7.9.0 \
  --applications Name=Hive Name=Pig --use-default-roles --ec2-attributes
   KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
  --steps Type=Hive,Name="Hive Program",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[-f,s3://
  elasticmapreduce/samples/hive-ads/libs/response-time-stats.q,-d,INPUT=s3://
  elasticmapreduce/samples/hive-ads/tables,-d,OUTPUT=s3://amzn-s3-demo-bucket/hive-
  ads/output/,-d,SAMPLE=s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/]
  ```

  での Amazon EMR コマンドの使用の詳細については AWS CLI、「」を参照してくださいhttps://docs.aws.amazon.com/cli/latest/reference/emr。

Java SDK を使用して Hive のステップに変数値を渡すには

- 次の例は、SDK を使用してステップに変数を渡す方法を示しています。詳細については、「AWS SDK for Java API リファレンス」の「Class StepFactory」を参照してください。

  ```
  StepFactory stepFactory = new StepFactory();

     StepConfig runHive = new StepConfig()
       .withName("Run Hive Script")
       .withActionOnFailure("TERMINATE_JOB_FLOW")
       .withHadoopJarStep(stepFactory.newRunHiveScriptStep("s3://amzn-s3-demo-bucket/
  script.q",
        Lists.newArrayList("-d","LIB= s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/lib"));
  ```

部分 DynamoDB スキーマに対応するための Amazon EMR Hive クエリ

Amazon EMR Hive は、DynamoDB テーブルをクエリすると、すべての列をクエリに含める必要はなく、データをフィルターできる列のサブセットを指定できるので、柔軟性が最大になります。この部分スキーマクエリの手法は、スパースデータベーススキーマを使用し、タイムスタンプでのフィルタのように少数の列に基づいてレコードをフィルタする場合に効果的です。

以下の例では、Hive クエリの使用方法を示します。

- DynamoDB テーブルを作成する。
- DynamoDB で項目 (行) のサブセットを選択し、データを特定の列までさらに絞り込む。
- 結果のデータを Amazon S3 にコピーする。

```
DROP TABLE dynamodb;
DROP TABLE s3;

CREATE EXTERNAL TABLE dynamodb(hashKey STRING, recordTimeStamp BIGINT, fullColumn
 map<String, String>)
    STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
    TBLPROPERTIES (
     "dynamodb.table.name" = "myTable",
     "dynamodb.throughput.read.percent" = ".1000",
     "dynamodb.column.mapping" = "hashKey:HashKey,recordTimeStamp:RangeKey");

CREATE EXTERNAL TABLE s3(map<String, String>)
     ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY ','
     LOCATION 's3://bucketname/path/subpath/';

INSERT OVERWRITE TABLE s3 SELECT item fullColumn FROM dynamodb WHERE recordTimeStamp <
 "2012-01-01";
```

次の表では、DynamoDB から項目の任意の組み合わせを選択するためのクエリ構文を示します。

クエリの例	結果の説明
SELECT * FROM *table_name* ;	特定のテーブルからすべての項目（行）を選択し、それらの項目で使用できるすべての列のデータを含めます。

クエリの例	結果の説明
SELECT * FROM *table_name* WHERE *field_name* =*value*;	特定のテーブルから一部の項目 (行) を選択し、それらの項目で使用できるすべての列のデータを含めます。
SELECT *column1_name* , *column2_name* , *column3_name* FROM *table_name* ;	特定のテーブルからすべての項目 (行) を選択し、それらの項目で使用できる一部の列のデータを含めます。
SELECT *column1_name* , *column2_name* , *column3_name* FROM *table_name* WHERE *field_name* =*value*;	特定のテーブルから一部の項目 (行) を選択し、それらの項目で使用できる一部の列のデータを含めます。

異なる AWS リージョン内の DynamoDB テーブル間でデータをコピーする

Amazon EMR Hive には、DynamoDB テーブルごとに設定できる `dynamodb.region` プロパティがあります。2 つのテーブルで `dynamodb.region` の設定が異なると、指定されたリージョンの間でテーブル間のデータのコピーが自動的に行われます。

次の例では、`dynamodb.region` プロパティが設定された Hive スクリプトを含む DynamoDB テーブルの作成方法を示します。

> **Note**
> テーブルリージョンごとのプロパティは、グローバル Hive プロパティをオーバーライドします。

```
CREATE EXTERNAL TABLE dynamodb(hashKey STRING, recordTimeStamp BIGINT, map<String,
 String> fullColumn)
    STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
    TBLPROPERTIES (
     "dynamodb.table.name" = "myTable",
     "dynamodb.region" = "eu-west-1",
     "dynamodb.throughput.read.percent" = ".1000",
     "dynamodb.column.mapping" = "hashKey:HashKey,recordTimeStamp:RangeKey");
```

テーブルごとに DynamoDB スループット値を設定する

Amazon EMR Hive では、テーブル定義で DynamoDB の readThroughputPercent および writeThroughputPercent をテーブルごとに設定できます。以下の Amazon EMR Hive スクリプトでは、スループット値の設定方法を示します。DynamoDB スループット値の詳細については、「Specifying Read and Write Requirements for Tables」を参照してください。

```
CREATE EXTERNAL TABLE dynamodb(hashKey STRING, recordTimeStamp BIGINT, map<String,
 String> fullColumn)
    STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
    TBLPROPERTIES (
     "dynamodb.table.name" = "myTable",
     "dynamodb.throughput.read.percent" = ".4",
     "dynamodb.throughput.write.percent" = "1.0",
     "dynamodb.column.mapping" = "hashKey:HashKey,recordTimeStamp:RangeKey");
```

Hive の外部メタストアの設定

Hive のメタストア情報の記録先は、デフォルトでは、プライマリノードのファイルシステムにある MySQL データベースです。メタストアには、テーブルとテーブル構築の基となるデータ (パーティション名やデータタイプなど) が含まれています。クラスターが終了すると、プライマリノードも含めて、すべてのクラスターノードがシャットダウンされます。この場合、ノードファイルシステムではエフェメラルストレージが使用されているため、ローカルデータが失われます。メタストアを永続的に保存する場合は、クラスター外に外部メタストアを作成する必要があります。

外部メタストアとして 2 つのオプションがあります。

- AWS Glue データカタログ (Amazon EMR リリース 5.8.0 以降のみ）。

  詳細については、「Hive AWS のメタストアとしての Glue データカタログの使用」を参照してください。

- Amazon RDS または Amazon Aurora。

  詳細については、「外部の MySQL データベースまたは Amazon Aurora の使用」を参照してください。

> **Note**
>
> Hive 3 を使用していて、Hive メタストアへの接続が多すぎる場合は、パラメータ `datanucleus.connectionPool.maxPoolSize` の値を小さくするか、データベースサーバーが処理できる接続数を増やします。接続数が増えるのは、Hive が JDBC 接続の最大数を計算する方法によるものです。パフォーマンスの最適な値を計算するには、「Hive Configuration Properties」を参照してください。

Hive AWS のメタストアとしての Glue データカタログの使用

Amazon EMR リリース 5.8.0 AWS 以降を使用すると、 Glue データカタログをメタストアとして使用するように Hive を設定できます。永続的なメタストア、またはさまざまなクラスター、サービス、アプリケーション、あるいは AWS アカウントで共有されるメタストアが必要である場合は、この設定をお勧めします。

AWS Glue はフルマネージド型の抽出、変換、ロード (ETL) サービスで、データを簡単かつ費用対効果の高い方法で分類し、クリーンアップ、強化し、さまざまなデータストア間で確実に移動できます。 AWS Glue Data Catalog は、Amazon EMR、Amazon RDS、Amazon Redshift、Redshift Spectrum、Athena、および Apache Hive メタストアと互換性のある任意のアプリケーションと統合して、さまざまなデータソースとデータ形式にわたって統合されたメタデータリポジトリを提供します。 AWS Glue クローラは、Amazon S3 のソースデータからスキーマを自動的に推測し、関連するメタデータをデータカタログに保存できます。データカタログの詳細については、「 Glue デベロッパーガイド AWS 」の「 Glue データカタログの入力」を参照してください。 AWS

Glue AWS には個別の料金が適用されます。Data Catalog にメタデータを保存してアクセスするための月額料金、Glue ETL AWS ジョブとクローラランタイムに対して 1 分あたりの時間料金、プロビジョニングされた開発エンドポイントごとに 1 分あたりの時間料金が請求されます。Data Catalog では、最大 100 万個までのオブジェクトを無料で保存できます。100 万を超えるオブジェクトを保存した場合は、100,000 オブジェクトごとに 1 USD が課金されます。Data Catalog 内のオブジェクトは、テーブル、パーティション、またはデータベースです。詳細については、「Glue 料金表」を参照してください。

> **Important**
>
> 2017 年 8 月 14 日より前に Amazon Athena または Amazon Redshift Spectrum を使用してテーブルを作成した場合、データベースとテーブルは AWS Glue データカタログとは別の Athena 管理カタログに保存されます。Amazon EMR をこれらのテーブルと統合する

には、 AWS Glue データカタログにアップグレードする必要があります。詳細については、「Amazon Athena ユーザーガイド」の「 AWS Glue データカタログへのアップグレード」を参照してください。 Amazon Athena

AWS Glue データカタログをメタストアとして指定する

、、または Amazon EMR API を使用して AWS Management Console AWS CLI、 AWS Glue データカタログをメタストアとして指定できます。CLI または API を使用する場合は、Hive の設定分類を使用して Data Catalog を指定します。さらに、Amazon EMR 5.16.0 以降では、設定分類を使用して別の でデータカタログを指定できます AWS アカウント。コンソールを使用する場合は、[Advanced Options] (詳細オプション) または [Quick Options] (クイックオプション) を使用して、Data Catalog を指定できます。

Console

コンソールで AWS Glue データカタログを Hive メタストアとして指定するには

1. にサインインし AWS Management Console、https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションペインの [EMR on EC2] で、[クラスター] を選択し、[クラスターの作成] を選択します
3. [アプリケーションバンドル] で [Core Hadoop]、[HBase]、または [カスタム] を選択します。クラスターをカスタマイズする場合は、必ず Hive または HCatalog をアプリケーションの 1 つとして選択しします。
4. [AWS Glue Data Catalog 設定] で [Hive テーブルメタデータに使用] チェックボックスをオンにします。
5. クラスターに適用するその他のオプションを選択します。
6. クラスターを起動するには、[クラスターの作成] を選択します。

CLI

で AWS Glue データカタログを Hive メタストアとして指定するには AWS CLI

AWS CLI と EMR API を使用して設定分類を指定する方法の詳細については、「」を参照してくださいアプリケーションの設定。

- 次の例に示すように、hive-site 設定分類を使用して hive.metastore.client.factory.class の値を指定します。

```
[
  {
    "Classification": "hive-site",
    "Properties": {
      "hive.metastore.client.factory.class":
 "com.amazonaws.glue.catalog.metastore.AWSGlueDataCatalogHiveClientFactory"
    }
  }
]
```

EMR リリースバージョン 5.28.0、5.28.1、5.29.0、または 6.x で、 AWS Glue データカタログをメタストアとして使用してクラスターを作成する場合は、hive.metastore.schema.verificationを に設定しますfalse。これにより、Hive と HCatalog が MySQL に対してメタストアスキーマを検証できなくなります。この設定がない場合、プライマリインスタンスグループは Hive または HCatalog の再設定後に中断されます。

```
[
  {
    "Classification": "hive-site",
    "Properties": {
      "hive.metastore.client.factory.class":
 "com.amazonaws.glue.catalog.metastore.AWSGlueDataCatalogHiveClientFactory",
      "hive.metastore.schema.verification": "false"
    }
  }
]
```

EMR リリースバージョン 5.28.0、5.28.1、または 5.29.0 にクラスターが既に存在する場合は、次の情報を使用してプライマリインスタンスグループ hive.metastore.schema.verification を false に設定できます。

```
    Classification = hive-site
    Property       = hive.metastore.schema.verification
```

```
    Value           = false
```

別の AWS アカウントでデータカタログを指定するには、次の例に示すように hive.metastore.glue.catalogidプロパティを追加します。*acct-id* は、データカタログの AWS アカウントに置き換えます。

```
[
  {
    "Classification": "hive-site",
    "Properties": {
      "hive.metastore.client.factory.class":
 "com.amazonaws.glue.catalog.metastore.AWSGlueDataCatalogHiveClientFactory",
      "hive.metastore.schema.verification": "false",
      "hive.metastore.glue.catalogid": "acct-id"
    }
  }
]
```

IAM 許可

クラスターの EC2 インスタンスプロファイルには、 Glue アクションの AWS IAM アクセス許可が必要です。さらに、 Glue Data Catalog オブジェクト AWS の暗号化を有効にする場合は、暗号化 AWS KMS key に使用される の暗号化、復号、生成もロールに許可する必要があります。

Glue AWS アクションのアクセス許可

Amazon EMR の デフォルトの EC2 インスタンスプロファイルを使用する場合、アクションは必要ありません。にアタッチされている AmazonElasticMapReduceforEC2Roleマネージドポリシーは、必要なすべての Glue AWS アクションEMR_EC2_DefaultRoleを許可します。ただし、カスタム EC2 インスタンスプロファイルとアクセス許可を指定する場合は、適切な AWS Glue アクションを設定する必要があります。開始点として AmazonElasticMapReduceforEC2Role 管理ポリシーを使用します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスター EC2 インスタンスのサービスロール (EC2 インスタンスプロファイル)」を参照してください。

Glue データカタログ AWS を暗号化および復号するためのアクセス許可

インスタンスプロファイルには、キーを使用してデータを暗号化および復号するためのアクセス許可が必要です。以下のステートメントが両方とも適用される場合、これらのアクセス許可を設定する必要はありません。

- Glue AWS のマネージドキーを使用して、 AWS Glue Data Catalog オブジェクトの暗号化を有効にします。
- AWS Glue データカタログ AWS アカウント と同じ にあるクラスターを使用します。

それ以外の場合は、EC2 インスタンスプロファイルにアタッチされたアクセス許可ポリシーに次のステートメントを追加する必要があります。

```
[
    {
        "Version": "2012-10-17",
        "Statement": [
            {
                "Effect": "Allow",
                "Action": [
                    "kms:Decrypt",
                    "kms:Encrypt",
                    "kms:GenerateDataKey"
                ],
                "Resource": "arn:aws:kms:region:acct-
id:key/12345678-1234-1234-1234-123456789012"
            }
        ]
    }
]
```

AWS Glue データカタログの暗号化の詳細については、AWS 「 Glue デベロッパーガイド」の「データカタログの暗号化」を参照してください。

リソースベースのアクセス許可

Amazon EMR で AWS Glue を Hive、Spark、または Presto と組み合わせて使用する場合、 AWS Glue は Data Catalog リソースへのアクセスを制御するためのリソースベースのポリシーをサポートします。これらのリソースには、データベース、テーブル、接続、ユーザー定義関数が含まれます。詳細については、「AWS Glue デベロッパーガイド」の「AWS Glue リソースポリシー」を参照してください。

リソースベースのポリシーを使用して Amazon EMR 内から AWS Glue へのアクセスを制限する場合、アクセス許可ポリシーで指定するプリンシパルは、クラスターの作成時に指定する EC2 インスタンスプロファイルに関連付けられたロール ARN である必要があります。例えば、カタログにアタッチされたリソースベースのポリシーの場合、以下の例に示されている形式を使用して、クラスター EC2 インスタンスのデフォルトサービスロールのロール ARN である *EMR_EC2_DefaultRole* を Principal として指定できます。

```
arn:aws:iam::acct-id:role/EMR_EC2_DefaultRole
```

acct-id は Glue アカウント ID AWS とは異なる場合があります。これにより、さまざまなアカウントで EMR クラスターからアクセスできます。異なるアカウントから、複数のプリンシパルを指定できます。

AWS Glue Data Catalog を使用する場合の考慮事項

Glue データカタログを Hive AWS のメタストアとして使用する場合は、次の項目を考慮してください。

- Hive シェルを使用した補助 JAR の追加はサポートされません。この問題を回避するには、hive-site 設定分類を使用して hive.aux.jars.path プロパティを設定します。これにより、Hive のクラスパスに補助 JAR が追加されます。
- Hive のトランザクションはサポートされていません。
- Glue AWS 内からのテーブルの名前変更はサポートされていません。
- LOCATION を指定せずに Hive テーブルを作成すると、テーブルデータは、hive.metastore.warehouse.dir プロパティによって指定された場所に保管されます。デフォルトでは、これは HDFS 内の場所です。別のクラスターがテーブルにアクセスする必要がある場合、テーブルを作成したクラスターに対する適切なアクセス許可がない限り、処理に失敗します。さらに、HDFS ストレージは一時的であるため、クラスターが終了すると、テーブルデータは失われ、テーブルを再作成する必要があります。Glue を使用して Hive テーブルを作成するときは、Amazon S3 AWS LOCATIONで を指定することをお勧めします。または、hive-site 設定分類を使用して、hive.metastore.warehouse.dir の Amazon S3 で場所を指定できます。これは、すべての Hive テーブルに適用されます。テーブルが HDFS ロケーションで作成され、テーブルを作成したクラスターがまだ実行されている場合は、 Glue 内からテーブルロケーションを Amazon S3 AWS に更新できます。詳細については、「 AWS Glue デベロッパーガイド」の「 Glue コンソールでのテーブルの操作」を参照してください。 AWS
- 引用符とアポストロフィを含むパーティション値はサポートされていません(例: PARTITION (owner="Doe's").)。

- 列統計は、emr-5.31.0 以降でサポートされています。
- Hive 認可の使用はサポートされていません。代替策として、AWS Glue リソースベースのポリシーを使用することを検討してください。詳細については、「Use Resource-Based Policies for Amazon EMR Access to AWS Glue Data Catalog」を参照してください。
- Hive 制約はサポートされていません。
- Hive でのコストベースの最適化はサポートされていません。
- `hive.metastore.partition.inherit.table.properties` の使用はサポートされていません。
- 次のメタストア定数の使用はサポートされていません。`BUCKET_COUNT, BUCKET_FIELD_NAME, DDL_TIME, FIELD_TO_DIMENSION, FILE_INPUT_FORMAT, FILE_OUTPUT_FORMAT, HIVE_FILTER_FIELD_LAST_ACCESS, HIVE_FILTER_FIELD_OWNER, HIVE_FILTER_FIELD_PARAMS, IS_ARCHIVED, META_TABLE_COLUMNS, META_TABLE_COLUMN_TYPES, META_TABLE_DB, META_TABLE_LOCATION, META_TABLE_NAME, META_TABLE_PARTITION_COLUMNS, META_TABLE_SERDE, META_TABLE_STORAGE, ORIGINAL_LOCATION`。
- 述語式を使用する場合、明示的な値が比較演算子の右側にある必要があります。そうしなければ、クエリが失敗する可能性があります。
  - 正: `SELECT * FROM mytable WHERE time > 11`
  - 誤: `SELECT * FROM mytable WHERE 11 > time`
- Amazon EMR バージョン 5.32.0 および 6.3.0 以降では、述語式でのユーザー定義関数 (UDF) の使用がサポートされています。以前のバージョンを使用している場合、Hive がクエリの実行を最適化しようとするため、クエリが失敗する可能性があります。
- 一時テーブルはサポートされていません。
- Glue を使用して直接作成するのではなく、Amazon EMR AWS を使用してアプリケーションを使用してテーブルを作成することをお勧めします。Glue AWS を使用してテーブルを作成すると、必須フィールドが欠落し、クエリ例外が発生する可能性があります。
- EMR 5.20.0 以降では、 Glue Data Catalog をメタストアとして使用すると、Spark と Hive AWS に対して並列パーティションプルーニングが自動的に有効になります。この変更により、複数のリクエストを並列に実行してパーティションを取得できるため、クエリ計画時間が大幅に短縮されます。同時に実行できるセグメントの総数は、1～10 の範囲です。デフォルト値は 5 であり、これが推奨される設定です。`hive-site` 設定分類の `aws.glue.partition.num.segments` プロパティを指定すると、これを変更できます。スロットリングが発生した場合は、値を 1 に変更して機能をオフにすることができます。詳細については、「AWS Glue セグメント構造」を参照してください。

外部の MySQL データベースまたは Amazon Aurora の使用

Hive メタストアとして外部の MySQL データベースまたは Amazon Aurora を使用するには、Hive のメタストアのデフォルト設定値を上書きし、外部のデータベースの場所 (Amazon RDS MySQL インスタンスまたは Amazon Aurora PostgreSQL インスタンス) を指定します。

> **Note**
>
> Hive では、メタストアテーブルに対する同時書き込みアクセスのサポートも防止も行いません。2 つのクラスター間でメタストア情報を共有する場合は、同じメタストアテーブルに同時に書き込まないようにします (同じメタストアテーブルの異なるパーティションに書き込む場合は除きます)。

次の手順では、Hive メタストアの場所として設定したデフォルト値を上書きし、新しく設定したメタストアの場所を使用してクラスターを起動する方法を示します。

EMR クラスターの外にメタストアを作成するには

1. MySQL または Aurora PostgreSQL データベースを作成します。PostgreSQL を使用する場合は、クラスターをプロビジョニングした後に設定する必要があります。クラスターの作成では MySQL のみがサポートされます。Aurora MySQL と Aurora PostgreSQL の違いについては、「Amazon Aurora MySQL の概要」および「Amazon Aurora PostgreSQL の操作」を参照してください。Amazon RDS データベースの作成方法については、https://aws.amazon.com/rds/ を参照してください。
2. データベースと ElasticMapReduce-Master セキュリティグループの間の JDBC 接続が許可されるようにセキュリティグループを変更します。アクセス用のセキュリティグループの変更方法については、「Amazon EMR マネージドセキュリティグループの使用」を参照してください。
3. JDBC 設定値を、`hive-site.xml` に設定します:

> **Important**
>
> パスワードなどの機密情報を Amazon EMR 設定 API に渡す場合、その情報は、十分なアクセス許可を持つアカウントに表示されます。その情報が他のユーザーに表示される可能性のあることを懸念する場合は、管理者アカウントでクラスターを作成し、`elasticmapreduce:DescribeCluster` API キーに対するアクセス権限を明示的

に拒否するロールを作成することで、他のユーザー (IAM ユーザーまたは認証情報を委譲されたユーザー) に対してそのクラスター上のサービスへのアクセスを制限します。

a. 次の例のように、hiveConfiguration.json の編集を含む hive-site.xml という設定ファイルを作成します。

   hostname を、データベースを実行する Amazon RDS インスタンスの DNS アドレスに置き換え、*username* と *password* を、データベースの認証情報に置き換えます。MySQL データベースインスタンスおよび Aurora データベースインスタンスへの接続の詳細については、「Amazon RDS ユーザーガイド」の「MySQL データベースエンジンを実行している DB インスタンスへの接続」および「Athena DB クラスターへの接続」を参照してください。javax.jdo.option.ConnectionURL は、JDBC メタストアの JDBC 接続文字列です。javax.jdo.option.ConnectionDriverName は、JDBC メタストアのドライバークラス名です。

   MySQL JDBC ドライバーは Amazon EMR によってインストールされます。

   値のプロパティには、スペースや改行を含めることはできません。すべてを 1 行にする必要があります。

```
[
    {
      "Classification": "hive-site",
      "Properties": {
        "javax.jdo.option.ConnectionURL": "jdbc:mysql://hostname:3306/hive?
createDatabaseIfNotExist=true",
        "javax.jdo.option.ConnectionDriverName": "org.mariadb.jdbc.Driver",
        "javax.jdo.option.ConnectionUserName": "username",
        "javax.jdo.option.ConnectionPassword": "password"
      }
    }
  ]
```

b. 次の AWS CLI コマンドに示すように、クラスターの作成時に hiveConfiguration.json ファイルを参照します。このコマンドでは、ファイルはローカルに保存されます。ファイルを Amazon S3 にアップロードし、そこで参照することもできます (例: s3://*DOC-EXAMPLE-BUCKET*/hiveConfiguration.json)。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --instance-type m5.xlarge --
instance-count 2 \
--applications Name=Hive --configurations file://hiveConfiguration.json --use-
default-roles
```

4. クラスターのプライマリノードに接続します。

   プライマリノードに接続する方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。

5. 次のようなコマンドを入力することにより、Amazon S3 上の場所を指定して Hive テーブルを作成します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE IF NOT EXISTS table_name
(
key int,
value int
)
LOCATION s3://DOC-EXAMPLE-BUCKET/hdfs/
```

6. 実行中のクラスターに Hive スクリプトを追加します。

Hive クラスターは、Amazon RDS に配置されたメタストアを使って実行されます。このメタストアを共有する他の Hive クラスターはすべて、メタストアの場所を指定して起動します。

Hive JDBC ドライバーの使用

Microsoft Excel、MicroStrategy、QlikView、Tableau などの人気のビジネスインテリジェンスツールを Amazon EMR で使用して、データを調査しビジュアル化することができます。この種のツールの多くは Java Database Connectivity (JDBC) ドライバーまたは Open Database Connectivity (ODBC) ドライバーを必要とします。Amazon EMR は JDBC 接続と ODBC 接続の両方をサポートします。

以下の例では、SQL Workbench/J を SQL クライアントとして使用して、Amazon EMR の Hive クラスターに接続します。その他のドライバーについては、「Amazon EMR でのビジネスインテリジェンスツールの使用」を参照してください。

SQL Workbench/J をインストールして使用する前に、ドライバーパッケージをダウンロードしてドライバーをインストールします。パッケージに含まれているドライバーは、Amazon EMR リリースバージョン 4.0 以降で利用できる Hive バージョンをサポートしています。詳細なリリースノートおよびドキュメントについては、パッケージに含まれている PDF ドキュメントを参照してください。

- 最新の Hive JDBC ドライバーパッケージのダウンロード

  http://awssupportdatasvcs.com/bootstrap-actions/Simba/latest/
- 古いバージョンの Hive JDBC ドライバー

  http://awssupportdatasvcs.com/bootstrap-actions/Simba/

SQL Workbench をインストールして設定するには

1. オペレーティングシステム用の SQL Workbench/J クライアントを http://www.sql-workbench.net/downloads.html からダウンロードします。
2. SQL Workbench/J をインストールします。詳細については、SQL Workbench/J ユーザーズマニュアルの「Installing and starting SQL Workbench/J」を参照してください。
3. Linux, Unix, Mac OS X ユーザー: ターミナルセッションで、以下のコマンドを使用して、クラスターのマスターノードへの SSH トンネルを作成します。*master-public-dns-name* をマスターノードのパブリック DNS 名に置き換え、*path-to-key-file* を Amazon EC2 プライベートキー (`.pem`) ファイルの場所とファイル名に置き換えます。

   ```
   ssh -o ServerAliveInterval=10 -i path-to-key-file -N -L 10000:localhost:10000
    hadoop@master-public-dns-name
   ```

   Windows ユーザー: PuTTY セッションで、ソースポートを `10000`、送信先を *master-public-dns-name*`:10000` としてクラスターのマスターノードへの SSH トンネルを作成します (ローカルポートフォワーディングを使用)。*master-public-dns-name* をマスターノードのパブリック DNS 名に置き換えます。
4. SQL Workbench に JDBC ドライバを追加します。

   a. [Select Connection Profile (接続プロファイルの選択)] ダイアログボックスで [Manage Drivers (ドライバーの管理)] をクリックします。

b. [Create a new entry (新しいエントリの作成)] (空白ページ) アイコンをクリックします。

c. 名前フィールドに、**Hive JDBC** と入力します。

d. [Library] で [Select the JAR file(s)] アイコンをクリックします。

e. 抽出したドライバーがある場所に移動します。ダウンロードした JDBC ドライバーパッケージバージョンに含まれているドライバーを選択し、[開く] をクリックします。

例えば、JDBC ドライバーパッケージには以下の JAR が含まれている場合があります。

```
hive_metastore.jar
hive_service.jar
HiveJDBC41.jar
libfb303-0.9.0.jar
libthrift-0.9.0.jar
log4j-1.2.14.jar
ql.jar
slf4j-api-1.5.11.jar
slf4j-log4j12-1.5.11.jar
TCLIServiceClient.jar
zookeeper-3.4.6.jar
```

f. [Please select one driver] (ドライバーを 1 つ選択してください) ダイアログボックスで、`com.amazon.hive.jdbc41.HS2Driver` を選択して、[OK] を選択します。

5. [Manage Drivers] (ドライバーの管理) ダイアログボックスに戻ったら、[Classname] (クラス名) フィールドに値が設定されていることを確認し、[OK] を選択します。

6. [Select Connection Profile] (接続プロファイルの選択) ダイアログボックスに戻ったら、[Driver] (ドライバー) フィールドが [Hive JDBC] に設定されていることを確認し、[URL] フィールドに JDBC 接続文字列 `jdbc:hive2://localhost:10000/default` を入力します。

7. [OK] を選択すると接続します。接続が完了すると、接続の詳細が SQL Workbench/J のウィンドウの上部に表示されます。

Hive と JDBC インターフェイスの使用方法の詳細については、Apache Hive のドキュメントの「HiveClient」および「HiveJDBCInterface」を参照してください。

Hive のパフォーマンスの向上

Amazon EMR には、Hive を使用して Amazon S3 に保存されたデータのクエリ、読み取り、および書き込みを行うときのパフォーマンスを最適化するのに役立つ機能が用意されています。

S3 Select では、Amazon S3 に処理を「プッシュダウン」することで一部のアプリケーションの CSV および JSON ファイルのクエリパフォーマンスを向上させることができます。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは OutputCommitter クラスに代わるものであり、これによりリスト操作と名前変更操作が不要になり、EMRFS を使用して Amazon S3 にファイルを書き込むときのパフォーマンスが向上します。

トピック

Hive EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを有効にする

Hive EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、EMRFS を使用するときに EMR Hive が挿入クエリ用のファイルを書き込む代替方法です。コミッターは Amazon S3 で行うリスト操作と名前変更操作を不要にし、アプリケーションのパフォーマンスを向上させます。この機能は EMR 5.34 および EMR 6.5 以降で利用可能です。

コミッターを有効にする

EMR Hive が `HiveEMRFSOptimizedCommitter` を使用してすべての Hive 管理テーブルと外部テーブルのデフォルトとしてデータをコミットできるようにするには、EMR 6.5.0 または EMR 5.34.0 クラスターで次の `hive-site` 設定を使用してください。

```
[
   {
      "classification": "hive-site",
      "properties": {
         "hive.blobstore.use.output-committer": "true"
      }
   }
]
```

> **Note**
>
> `hive.exec.parallel` が `true` に設定されているときは、この機能をオンにしないでください。

制限

タグには以下のベーシックな制限があります。

- Hive で小さなファイルを自動的にマージできるようにすることはサポートされていません。最適化されたコミッターが有効になっている場合でも、デフォルトの Hive コミットロジックが使用されます。
- Hive ACID テーブルはサポートされていません。最適化されたコミッターが有効になっている場合でも、デフォルトの Hive コミットロジックが使用されます。
- 書き込まれるファイルのファイル命名法が Hive の <task_id>_<attempt_id>_<copy_n> から <task_id>_<attempt_id>_<copy_n>_<query_id> に変更されました。例えば、次の名前のファイルがあるとします。

  `s3://warehouse/table/partition=1/000000_0` は `s3://warehouse/table/partition=1/000000_0-hadoop_20210714130459_ba7c23ec-5695-4947-9d98-8a40ef759222-1` に変更されます。`query_id` はここでは、ユーザー名、タイムスタンプ、UUID を組み合わせたものです。
- カスタムパーティションが異なるファイルシステム (HDFS、S3) にある場合、この機能は自動的に無効になります。有効にすると、デフォルトの Hive コミットロジックが使用されます。

S3 Select と Hive を使用してパフォーマンスを向上させる

> **Important**
>
> 新規のお客様への Amazon S3 Select の提供は終了しました。Amazon S3 Select をご利用の既存のお客様は、今後も通常どおり使用できます。[詳細はこちら](#)

Amazon EMR リリースバージョン 5.18.0 以降では、Amazon EMR での Hive を使用した [S3 Select](#) を使用できます。S3 Select では、アプリケーションはオブジェクトに含まれるデータのサブセットのみを取得できます。Amazon EMR では、大量のデータセットをフィルタリングして処理する計算作業をクラスターから Amazon S3 に「プッシュダウン」することにより、一部のアプリケーションのパフォーマンスを高めることができます。また、Amazon EMR と Amazon S3 の間で転送されるデータの量も削減されます。

S3 Select では、Hive セッション中に `s3select.filter` 設定変数を `true` に設定することで、CSV ファイルと JSON ファイルに基づいて Hive テーブルがサポートされています。詳細な説明と例についてはコードで S3 Select を指定するを参照してください。

S3 Select が使用するアプリケーションに適しているかどうかを確認する

S3 Select が使用するアプリケーションに適しているかどうかを確認するために、S3 Select を使用した場合と使用しない場合のアプリケーションのベンチマークを行うことをお勧めします。

アプリケーションが S3 Select を使用する候補となるかどうかを判断するには、次のガイドラインを使用します。

- クエリは元のデータセットの半分以上を除外する。
- クエリのフィルター述語では、Amazon S3 Select がサポートするデータ型を持つ列が使用される。詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「データ型」を参照してください。
- Amazon S3 と Amazon EMR クラスター間のネットワーク接続は、転送速度と使用可能な帯域幅が良好です。Amazon S3 は、HTTP 応答を圧縮しないため、応答サイズは圧縮された入力ファイルと比較して増加する可能性があります。

考慮事項と制限事項

- お客様が用意した暗号化キーを使用した Amazon S3 サーバー側の暗号化 (SSE-C) とクライアント側の暗号化はサポートされていません。
- `AllowQuotedRecordDelimiters` プロパティはサポートされていません。このプロパティを指定した場合、クエリは失敗します。
- UTF-8 形式の CSV ファイルと JSON ファイルのみがサポートされています。複数行の CSV と JSON はサポートされません。
- 圧縮されていないファイルか gzip ファイルまたは bzip2 ファイルのみがサポートされます。
- 最後の行のコメント文字はサポートされていません。
- ファイルの末尾にある空の行は処理されません。
- Amazon EMR の Hive では、S3 Select がサポートするプリミティブデータ型がサポートされています。詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「データ型」を参照してください。

コードで S3 Select を指定する

Hive テーブルで S3 Select を使用するには、`INPUTFORMAT` クラス名として `com.amazonaws.emr.s3select.hive.S3SelectableTextInputFormat` を指定してテーブルを作成し、`TBLPROPERTIES` 句を使用して `s3select.format` プロパティの値を指定します。

デフォルトでは、S3 Select はクエリの実行時に無効になっています。次に示すように Hive セッションで `s3select.filter` を `true` に設定して S3 Select を有効にします。以下の例では、基盤となる CSV ファイルと JSON ファイルからテーブルを作成するときに S3 Select を指定して、シンプルな SELECT ステートメントを使用してテーブルをクエリする方法を説明しています。

Example CSV ベースのテーブルの CREATE TABLE ステートメント

```
CREATE TABLE mys3selecttable (
col1 string,
col2 int,
col3 boolean
)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY ','
STORED AS
INPUTFORMAT
  'com.amazonaws.emr.s3select.hive.S3SelectableTextInputFormat'
OUTPUTFORMAT
  'org.apache.hadoop.hive.ql.io.HiveIgnoreKeyTextOutputFormat'
LOCATION 's3://path/to/mycsvfile/'
TBLPROPERTIES (
  "s3select.format" = "csv",
  "s3select.headerInfo" = "ignore"
);
```

Example JSON ベースのテーブルの CREATE TABLE ステートメント

```
CREATE TABLE mys3selecttable (
col1 string,
col2 int,
col3 boolean
)
ROW FORMAT SERDE 'org.apache.hive.hcatalog.data.JsonSerDe'
STORED AS
INPUTFORMAT
  'com.amazonaws.emr.s3select.hive.S3SelectableTextInputFormat'
OUTPUTFORMAT
```

```
  'org.apache.hadoop.hive.ql.io.HiveIgnoreKeyTextOutputFormat'
LOCATION 's3://path/to/json/'
TBLPROPERTIES (
  "s3select.format" = "json"
);
```

Example SELECT TABLE ステートメント

```
SET s3select.filter=true;
SELECT * FROM mys3selecttable WHERE col2 > 10;
```

MSCK の最適化

Hive は各テーブルのパーティションのリストをメタストアに保存します。ただし、パーティションがファイルシステムに直接追加されたり、ファイルシステムに削除されたりしても、Hive メタストアはこれらの変更を認識しません。MSCK コマンドは、ファイルシステムに直接追加または削除されたパーティションの Hive メタストア内のパーティションメタデータを更新します。コマンドの構文は次のとおりです。

```
MSCK [REPAIR] TABLE table_name [ADD/DROP/SYNC PARTITIONS];
```

Hive はこのコマンドを以下のように実装しています。

1. Hive はテーブルのすべてのパーティションをメタストアから取得します。次に、ファイルシステムに存在しないパーティションパスのリストから、メタストアから削除するパーティションのリストを作成します。
2. Hive はファイルシステムに存在するパーティションパスを収集し、メタストアにあるパーティションのリストと比較し、メタストアに追加する必要のあるパーティションのリストを生成します。
3. Hive は、ADD、DROP、または SYNC モードを使用してメタストアを更新します。

> **Note**
>
> メタストアに多数のパーティションがある場合、ファイルシステムの exists API 呼び出しはパーティションごとに行う必要があるため、ファイルシステムにパーティションが存在しないかどうかを確認するステップの実行には時間がかかります。

Amazon EMR 6.5.0 では、Hive に `hive.emr.optimize.msck.fs.check` というフラグが導入されました。このフラグを有効にすると、Hive はファイルシステム API 呼び出しを行う代わりに、上記のステップ 2 で生成されたファイルシステムのパーティションパスのリストからパーティションの有無を確認します。Amazon EMR 6.8.0 では、Hive はこの最適化をデフォルトで有効にしたため、フラグ `hive.emr.optimize.msck.fs.check` を設定する必要がなくなりました。

Hive Live Long and Process (LLAP) の使用

Amazon EMR 6.0.0 は、Hive の Live Long and Process (LLAP) 機能をサポートします。LLAP では、永続的なデーモンによるインテリジェントなメモリ内キャッシングを使用し、以前のデフォルトの Tez コンテナ実行モードと比較してクエリのパフォーマンスを向上させます。

Hive LLAP デーモンは、YARN サービスとして管理および実行されます。YARN サービスは長時間実行している YARN アプリケーションと見なすことができるため、一部のクラスターリソースは Hive LLAP 専用となり、他のワークロードには使用できません。詳細については、LLAP および YARN サービス API を参照してください。

Amazon EMR で Hive LLAP を有効にする

Amazon EMR で Hive LLAP を有効にするには、クラスターを起動するときに次の設定を指定します。

```
[
  {
    "Classification": "hive",
    "Properties": {
      "hive.llap.enabled": "true"
    }
  }
]
```

詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

デフォルトでは、Amazon EMR はクラスター YARN リソースの約 60% を Hive LLAP デーモンに割り当てます。Hive LLAP に割り当てるクラスター YARN リソースの割合 (%) と、Hive LLAP 割り当ての対象と見なすタスクノードやコアノードの数は設定できます。

たとえば、次の設定では、3 つのタスクノードまたはコアノードで 3 つのデーモンを使用して Hive LLAP を起動し、3 つのコアノードまたはタスクノードの YARN リソースの 40% を Hive LLAP デーモンに割り当てます。

```
[
  {
    "Classification": "hive",
    "Properties": {
      "hive.llap.enabled": "true",
      "hive.llap.percent-allocation": "0.4",
      "hive.llap.num-instances": "3"
    }
  }
]
```

次の `hive-site` 設定を分類 API で使用し、デフォルトの LLAP リソース設定を上書きできます。

プロパティ	説明
hive.llap.daemon.yarn.container.mb	LLAP デーモンコンテナの合計サイズ (MB 単位)
hive.llap.daemon.memory.per.instance.mb	LLAP デーモンコンテナ内の実行プログラムで使用する合計メモリ (MB 単位)
hive.llap.io.memory.size	LLAP 入力/出力のキャッシュサイズ
hive.llap.daemon.num.executors	LLAP デーモンあたりの実行プログラム数

クラスターで Hive LLAP を手動で起動する

LLAP で使用するすべての依存関係と設定は、クラスターの起動の一環として、LLAP tar アーカイブにパッケージ化されます。`"hive.llap.enabled": "true"` を使用して LLAP を有効にする場合は、Amazon EMR 再設定を使用して LLAP の設定を変更することをお勧めします。

それ以外の場合、`hive-site.xml` を手動で変更するには、`hive --service llap` コマンドを使用して LLAP tar アーカイブを再構築する必要があります。次に例を示します。

```
# Define how many resources you want to allocate to Hive LLAP

LLAP_INSTANCES=<how many llap daemons to run on cluster>
LLAP_SIZE=<total container size per llap daemon>
```

```
LLAP_EXECUTORS=<number of executors per daemon>
LLAP_XMX=<Memory used by executors>
LLAP_CACHE=<Max cache size for IO allocator>

yarn app -enableFastLaunch

hive --service llap \
--instances $LLAP_INSTANCES \
--size ${LLAP_SIZE}m \
--executors $LLAP_EXECUTORS \
--xmx ${LLAP_XMX}m \
--cache ${LLAP_CACHE}m \
--name llap0 \
--auxhbase=false \
--startImmediately
```

Hive LLAP のステータスを確認する

Hive を使用して Hive LLAP のステータスを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
hive --service llapstatus
```

YARN を使用して Hive LLAP のステータスを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
yarn app -status (name-of-llap-service)

# example:
yarn app -status llap0 | jq
```

Hive LLAP を起動または停止する

Hive LLAP は永続的な YARN サービスとして実行されるため、Hive LLAP を停止または再起動するには、YARN サービスを停止または再起動します。次のコマンドはこれを示しています。

```
yarn app -stop llap0
yarn app -start llap0
```

Hive LLAP デーモンの数を変更する

LLAP インスタンスの数を減らすには、次のコマンドを使用します。

```
yarn app -flex llap0 -component llap -1
```

詳細については、「Flex a component of a service」を参照してください。

Hive での暗号化

このセクションでは、Amazon EMR がサポートする暗号化タイプについて説明します。

Hive の Parquet モジュラー暗号化

Parquet モジュラー暗号化では、列レベルのアクセス制御と暗号化が可能になり、Parquet ファイル形式で保存されたデータのプライバシーとデータ整合性が強化されます。この機能は、リリース 6.6.0 以降の Amazon EMR Hive で使用できます。

ファイルの暗号化やストレージレイヤーの暗号化など、これまでサポートされていたセキュリティと整合性のソリューションについては、「Amazon EMR Management Guide」の「Encryption Options」で説明されています。これらのソリューションは Parquet ファイルにも使用できますが、統合された Parquet 暗号化メカニズムの新機能を活用することで、列レベルへのきめ細かなアクセスが可能になり、パフォーマンスとセキュリティも向上します。この機能について詳しくは、Apache GitHub のページ「Parquet Modular Encryption」を参照してください。

ユーザーは Hadoop 設定を使用して Parquet のリーダーとライターに設定を渡します。ユーザーがリーダーとライターを設定して暗号化を有効にしたり、高度な機能を切り替えたりするための詳細な設定については、「PARQUET-1854: Properties-driven Interface to Parquet Encryption Management」に記載されています。

使用例

次の例では、暗号化キーの管理に AWS KMS を使用する Hive テーブルの作成と書き込みについて説明しています。

1. ドキュメントPARQUET-1373: 暗号化キー管理ツール」の説明に従って、 AWS KMS サービスの KmsClient を実装します。次の例は、実装スニペットを示しています。

```
package org.apache.parquet.crypto.keytools;

import com.amazonaws.AmazonClientException;
import com.amazonaws.AmazonServiceException;
import com.amazonaws.regions.Regions;
import com.amazonaws.services.kms.AWSKMS;
```

```
import com.amazonaws.services.kms.AWSKMSClientBuilder;
import com.amazonaws.services.kms.model.DecryptRequest;
import com.amazonaws.services.kms.model.EncryptRequest;
import com.amazonaws.util.Base64;
import org.apache.hadoop.conf.Configuration;
import org.apache.parquet.crypto.KeyAccessDeniedException;
import org.apache.parquet.crypto.ParquetCryptoRuntimeException;
import org.apache.parquet.crypto.keytools.KmsClient;
import org.slf4j.Logger;
import org.slf4j.LoggerFactory;

import java.nio.ByteBuffer;
import java.nio.charset.Charset;
import java.nio.charset.StandardCharsets;

public class AwsKmsClient implements KmsClient {

    private static final AWSKMS AWSKMS_CLIENT = AWSKMSClientBuilder
            .standard()
            .withRegion(Regions.US_WEST_2)
            .build();
    public static final Logger LOG = LoggerFactory.getLogger(AwsKmsClient.class);

    private String kmsToken;
    private Configuration hadoopConfiguration;

    @Override
    public void initialize(Configuration configuration, String kmsInstanceID, String
 kmsInstanceURL, String accessToken) throws KeyAccessDeniedException {
        hadoopConfiguration = configuration;
        kmsToken = accessToken;

    }

    @Override
    public String wrapKey(byte[] keyBytes, String masterKeyIdentifier) throws
 KeyAccessDeniedException {
        String value = null;
        try {
            ByteBuffer plaintext = ByteBuffer.wrap(keyBytes);

            EncryptRequest req = new
 EncryptRequest().withKeyId(masterKeyIdentifier).withPlaintext(plaintext);
            ByteBuffer ciphertext = AWSKMS_CLIENT.encrypt(req).getCiphertextBlob();
```

```
            byte[] base64EncodedValue = Base64.encode(ciphertext.array());
            value = new String(base64EncodedValue, Charset.forName("UTF-8"));
        } catch (AmazonClientException ae) {
            throw new KeyAccessDeniedException(ae.getMessage());
        }
        return value;
    }

    @Override
    public byte[] unwrapKey(String wrappedKey, String masterKeyIdentifier) throws
 KeyAccessDeniedException {
        byte[] arr = null;
        try {
            ByteBuffer ciphertext  =
 ByteBuffer.wrap(Base64.decode(wrappedKey.getBytes(StandardCharsets.UTF_8)));
            DecryptRequest request = new
 DecryptRequest().withKeyId(masterKeyIdentifier).withCiphertextBlob(ciphertext);
            ByteBuffer decipheredtext =
 AWSKMS_CLIENT.decrypt(request).getPlaintext();
            arr = new byte[decipheredtext.remaining()];
            decipheredtext.get(arr);
        } catch (AmazonClientException ae) {
            throw new KeyAccessDeniedException(ae.getMessage());
        }
        return arr;
    }
}
```

2. 「 AWS Key Management Service デベロッパーガイド」の「キーの作成」で説明されているように、フッターの AWS KMS 暗号化キーと、IAM ロールがアクセスできる列を作成します。デフォルトの IAM ロールは EMR_ECS_default です。

3. Amazon EMR クラスター上の Hive アプリケーションで、Apache Hive Resources ドキュメントで説明されているように、`ADD JAR` ステートメントを使用して上記のクライアントを追加します。ステートメントの例を以下に示します。

```
ADD JAR 's3://location-to-custom-jar';
```

別の方法として、ブートストラップアクションを使用して JAR を Hive の `auxlib` に追加する方法があります。ブートストラップアクションに追加する行の例を以下に示します。

```
aws s3 cp 's3://location-to-custom-jar' /usr/lib/hive/auxlib
```

4. 以下の設定を行います。

```
set
 parquet.crypto.factory.class=org.apache.parquet.crypto.keytools.PropertiesDrivenCryptoFacto
set
 parquet.encryption.kms.client.class=org.apache.parquet.crypto.keytools.AwsKmsClient;
```

5. Parquet 形式で Hive テーブルを作成し、SERDEPROPERTIES で AWS KMS キーを指定して、データを挿入します。

```
CREATE TABLE my_table(name STRING, credit_card STRING)
ROW FORMAT SERDE 'org.apache.hadoop.hive.ql.io.parquet.serde.ParquetHiveSerDe’
WITH SERDEPROPERTIES (
  'parquet.encryption.column.key’=<aws-kms-key-id-for-column-1>: credit_card’,
  'parquet.encryption.footer.key’='<aws-kms-key-id-for-footer>’)
STORED AS parquet
LOCATION “s3://<bucket/<warehouse-location>/my_table”;

INSERT INTO my_table SELECT
java_method ('org.apache.commons.lang.RandomStringUtils','randomAlphabetic',5) as
 name,
java_method ('org.apache.commons.lang.RandomStringUtils','randomAlphabetic',10) as
 credit_card
from (select 1) x lateral view posexplode(split(space(100),' ')) pe as i,x;

select * from my_table;
```

6. AWS KMS キーにアクセスできない (IAM ロールのアクセスが拒否されたなど) 同じ場所に外部テーブルを作成するときに、データを読み取れないことを確認します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE ext_table (name STRING, credit_card STRING)
ROW FORMAT SERDE 'org.apache.hadoop.hive.ql.io.parquet.serde.ParquetHiveSerDe’
STORED AS parquet
LOCATION “s3://<bucket>/<warehouse-location>/my_table”;

SELECT * FROM ext_table;
```

7. 最後のステートメントでは次の例外が発生するはずです。

```
Failed with exception
 java.io.IOException:org.apache.parquet.crypto.KeyAccessDeniedException: Footer key:
 access denied
```

HiveServer2 での送信中の暗号化

Amazon EMR リリース 6.9.0 以降、HiveServer2 (HS2) は HiveServer2 での送信中の暗号化 セキュリティ設定の一部として TLS/SSL が有効になっています。これは、送信中の暗号化が有効になっている Amazon EMR クラスターで実行されている HS2 への接続方法に影響します。HS2 に接続するには、JDBC URL の TRUSTSTORE_PATH および TRUSTSTORE_PASSWORD パラメータ値を変更する必要があります。次の URL は、必須パラメータを含む HS2 の JDBC 接続の例です。

```
jdbc:hive2://HOST_NAME:10000/
default;ssl=true;sslTrustStore=TRUSTSTORE_PATH;trustStorePassword=TRUSTSTORE_PASSWORD
```

クラスター上またはクラスター外の HiveServer2 暗号化には、以下の適切な手順を使用してください。

On-cluster HS2 access

プライマリノードに SSH 接続した後に Beeline クライアントを使用して HiveServer2 にアクセスしている場合は、`/etc/hadoop/conf/ssl-server.xml` を参照して、設定 `ssl.server.truststore.location` と `ssl.server.truststore.password` を使用して `TRUSTSTORE_PATH` および `TRUSTSTORE_PASSWORD` のパラメータ値を見つけます。

以下のコマンド例は、これらの設定を取得するのに役立ちます。

```
TRUSTSTORE_PATH=$(sed -n '/ssl.server.truststore.location/,+2p' /etc/hadoop/conf/
ssl-server.xml | awk -F "[><]" '/value/{print $3}')
TRUSTSTORE_PASSWORD=$(sed -n '/ssl.server.truststore.password/,+2p' /etc/hadoop/
conf/ssl-server.xml | awk -F "[><]" '/value/{print $3}')
```

Off-cluster HS2 access

Amazon EMR クラスター外のクライアントから HiveServer2 にアクセスしている場合、次のいずれかの方法を使用して `TRUSTSTORE_PATH` と `TRUSTSTORE_PASSWORD` を取得できます。

- セキュリティ設定時に作成された PEM ファイルを JKS ファイルに変換し、同じファイルを JDBC 接続 URL で使用します。例えば、openssl と keytool の場合は、次のコマンドを使用します。

```
openssl pkcs12 -export -in trustedCertificates.pem -inkey privateKey.pem -out
 trustedCertificates.p12 -name "certificate"
keytool -importkeystore -srckeystore trustedCertificates.p12 -srcstoretype pkcs12
 -destkeystore trustedCertificates.jks
```

- または、`/etc/hadoop/conf/ssl-server.xml` を参照して、設定 `ssl.server.truststore.location` と `ssl.server.truststore.password` を使用して `TRUSTSTORE_PATH` および `TRUSTSTORE_PASSWORD` のパラメータ値を見つけます。トラストストアファイルをクライアントマシンにダウンロードし、クライアントマシン上のパスを `TRUSTSTORE_PATH` として使用します。

  Amazon EMR クラスター外のクライアントからアプリケーションにアクセスする方法の詳細については、「Use the Hive JDBC driver」を参照してください。

Hive リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Hive のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Hive バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
		nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.8.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-7.7.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.6.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.4.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.2.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-7.1.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.15.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.13.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.11.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.10.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, tez-on-worker, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.9.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.8.1	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.7.0	3.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-5.36.0	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.35.0	2.3.9	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.4.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.3.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.2.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.1.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.0.0	3.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	2.3.8	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-5.33.1	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-5.32.1	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-5.31.1	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	2.3.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-5.30.2	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn
emr-5.30.0	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mariadb-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.28.1	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	2.3.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, hudi, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.27.1	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.26.0	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	2.3.5	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.24.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.23.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.22.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.21.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.20.1	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	2.3.4	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.19.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.18.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.17.2	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.17.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.16.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.15.0	2.3.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.14.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.13.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.12.3	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.12.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.11.4	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.11.2	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.11.0	2.3.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	2.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.10.0	2.3.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.9.0	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.8.2	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.8.0	2.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.7.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.6.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.4	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.5.3	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.2	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.5.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.4.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hive-hbase, hcatalog-server, hive-server2, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.3.2	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.1	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.3.0	2.1.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.2.2	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.1	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.2.0	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.1	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.1.0	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.0.2	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.1	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn
emr-5.0.0	2.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.9.5	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.4	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.9.3	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.2	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.9.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.5	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.8.4	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.3	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.8.2	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.8.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.4	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.7.3	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.2	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.7.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, hive-server, mysql-server
emr-4.6.1	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server
emr-4.5.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.4.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server
emr-4.3.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server

Amazon EMR リリースラベル	Hive のバージョン	Hive でインストールされるコンポーネント
emr-4.2.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server
emr-4.1.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server
emr-4.0.0	1.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hive-metastore-server, hive-server, mysql-server

Hive リリースノート (バージョン別)

トピック

Amazon EMR 7.8.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.8.0 - Hive の変更

タイプ	説明
バグ修正	CVE-2024-23953: Apache Hive: LLAP の署名に対するタイミング攻撃を修正しました。

既知の問題

- Amazon S3 Express One Zone を出力場所とする Hive Insert Over-write クエリの場合は、コアサイト設定 `fs.s3a.directory.operations.purge.uploads`を に設定します`false`。

Amazon EMR 7.7.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.7.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
バグ修正	CVE-2024-29869: Apache Hive: 制限のないアクセス許可で作成された認証情報ファイルを修正しました。
バグ修正	Apache Ran で行レベルのフィルタリングポリシーが有効になっている場合の SemanticException を修正しました。
バグ修正	LLAP または ACID が有効になっている場合は、Tez 非同期初期化 RR を無効にします。

既知の問題

- Amazon S3 Express One Zone を出力場所とする Hive Insert Over-write クエリの場合は、コアサイト設定 `fs.s3a.directory.operations.purge.uploads`を に設定します`false`。

Amazon EMR 7.6.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.6.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	ORC 非 ACID パーティションテーブルの高速 S3 プレフィックスリスト機能を追加

タイプ	説明
機能	S3AFileSystem での Hive 書き込みクエリのマジックコミッタのサポートを追加

既知の問題

- Amazon S3 Express One Zone を出力場所とする Hive Insert Over-write クエリの場合は、コアサイト設定 `fs.s3a.directory.operations.purge.uploads`を に設定します`false`。

Amazon EMR 7.6.0 - 新しい設定

分類	名前	デフォルト	説明
hive-site	`hive.exec.fast.s3.partition.discovery.enabled`	真	分割計算に高速 S3 パーティション検出を使用するかどうか。これにより、サポートされているファイル形式 ORC のプレフィックスベースのリストが有効になります。この機能は、S3 Express One Zone ストレージクラスがサポートしていない S3 API パラメータを使用することに注意してください。これらを使用する場合は、この機能を無効にします。
hive-site	`hive.exec.fast.s3.partition`	128	高速 S3 パーティション検出の最大並列度。

分類	名前	デフォルト	説明
	.discovery.max.thread.threshold		
hive-site	hive.exec.fast.s3.partition.discovery.parallelism	10	高速 S3 パーティション検出の 1 回の実行の並列度。この設定は、 hive.exec.fast.s3.partition.discovery.enabled が に設定されている場合にのみ有効です。 true

分類	名前	デフォルト	説明
hive-site	`hive.blobstore.output-committer.magic.track.commits.in.memory.enabled`	真	Hive で Magic コミッターがメモリ内の保留中のすべてのコミットを追跡する必要があるを切り替えるフラグ。Magic コミッターには、コミットデータをメモリ内に保存するオプションがあり、S3 呼び出しを減らすことで TaskCommit オペレーションを高速化できます。この設定は Hadoop 設定を上書きします `fs.s3a.committer.magic.track.commits.in.memory.enabled`

分類	名前	デフォルト	説明
hive-site	`hive.blobstore.output-committer.dp.skip.task.staging.dir.creation`	真	Magic コミッターが blobstore に dp ステージングパスを作成するかどうかを切り替えるフラグ。このフラグは、Hive が を介して Magic Committer を使用する場合にメモリ内のコミットを追跡する場合にのみ適用されます`hive.blobstore.output-committer.magic.track.commits.in.memory.enabled` 。デフォルトでは true に設定されていますが、 `hive.blobstore.output-committer.magic.track.commits.in.memory.enabled` が有効になっている場合にのみ有効になり、タスク作成試行パスの追加 S3 呼び出しが blobstore に保存されます。

分類	名前	デフォルト	説明
hive-site	`hive.blobstore.output-committer.magic.disable.fs.cache.for.llap`	真	Magic Committer を使用するときに LLAP の書き込みフローで blobstore FS キャッシュを無効にするかどうかを切り替えるフラグ。このフラグは、LLAP が有効になっている場合に明らかになり、デフォルトで true に設定されます。

Amazon EMR 7.5.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.5.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	HiveCLI で既存のセッションを使用しようとしたときに Tez セッションが開かれるまでの最大待機時間を 10 秒に延長
改善点	LIMIT を使用したシンプルな選択クエリでパフォーマンスを向上させるように設定を調整する

Amazon EMR 7.4.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.4.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
アップグレード	HIVE-28191: Hadoop バージョンを 3.4.0 にアップグレードする

タイプ	説明
アップグレード	hadoop シェード protobuf を 3.21 にアップグレードする
アップグレード	commons-cli を 1.5.0 にアップグレードする
アップグレード	commons-compress を 1.24.0 にアップグレードする
アップグレード	commons-io を 2.14.0 にアップグレードする
アップグレード	commons-lang3 を 3.21.0 にアップグレードする
改善点	HiveCLI で既存のセッションを使用しようとしているときに Tez セッションが開くのを待つ時間を 10 秒に変更する
改善点	LIMIT を使用した簡易選択クエリで Tez DAG のショートサーキットメカニズムを有効にする
改善点	HIVE-21100: TEZ エンジンと UNION 句の使用時に発生したテーブルサブディレクトリのフラット化を許可する
バグ修正	HIVE-25095: Beeline/hive -e コマンドは末尾の引用符でクエリを処理できない
バグ修正	HIVE-13781: パーティションディレクトリが存在しない場合、Tez ジョブが FileNotFoundException で失敗する
バグ修正	HIVE-28480: 以前の RS の結合ブランチ間でパーティションハッシュジェネレーターの SMB の不一致を無効にする

Amazon EMR 7.4.0 - 新しい設定

分類	名前	デフォルト	説明
hive-site	hive.ignore.failure.partition.dir.not.found	false	テーブルパーティションは存在するが、実際のオブジェクトストレージパスが存在しない場合、失敗を無視します。
hive-site	hive.tez.union.flatten.subdirectories	false	データをテーブルに書き込み、UNION ALL がクエリの最後のステップである場合、Hive on Tez は UNION ALL の各ブランチにサブディレクトリを作成します。このプロパティを有効にすると、サブディレクトリが削除され、ファイルの名前が変更され、親ディレクトリに移動されます。hive.blobstore.use.output-committer が有効になっている場合、これは効果がないことに注意してください。

Amazon EMR 7.3.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.3.0 - Hive の変更

タイプ	説明
機能	HIVE-18728 — webHCat を SSL で保護する。
改善点	LLAP デーモンウェブ UI の SSL キーストア認証情報の設定をサポートします。
改善点	Hive メタストアサーバーの SSL ホスト名の検証を制御するオプションを指定します。
バグ修正	HIVE-26541 – WebHCat サービス開始時の NPE。
バグ修正	HIVE-23011 – 共有作業オプティマイザは、結合を比較するときに残余述語をチェックする必要があります。
バグ修正	javax.security.sasl.SaslException を修正: 転送時の暗号化が有効になっている場合、HMS と Namenode 間のクライアントとサーバーの間に共通の保護レイヤーはありません。
バグ修正	orc 分割の終了がブロックロケーションの開始と重複する IOException を修正しました。
バグ修正	列名にカンマ文字が含まれ、CSVSerde を使用する場合は、常にカンマで区切るのではなく、列名区切り文字を使用します。

Amazon EMR 7.3.0 - 新しい設定

分類	名前	デフォルト	説明
hcatalog-webhcat-site	templeton.use.ssl	false	WebHCat サーバーで SSL 暗号化を使用

分類	名前	デフォルト	説明
			する場合は、これを true に設定します。
hcatalog-webhcat-site	templeton.keystore.path		WebHCat サーバーの SSL 証明書キーストアの場所。
hcatalog-webhcat-site	templeton.keystore.password		WebHCat サーバーの SSL 証明書キーストアパスワード。
hcatalog-webhcat-site	templeton.ssl.protocol.blacklist	SSLv2, SSLv3	WebHCat サーバーで無効にする SSL バージョン。
hcatalog-webhcat-site	templeton.host	0.0.0.0	WebHCat サーバーがリッスンするホストアドレス。
hive-site	hive.metastore.ssl.enable.hostname.verification	false	SSL/TLS ハンドシェイク中にホスト名の検証を制御します。
hive-site	hive.llap.daemon.web.ssl.keystore.path		LLAP デーモンウェブ UI の SSL 証明書キーストアの場所。
hive-site	hive.llap.daemon.web.ssl.keystore.password		LLAP デーモンウェブ UI の SSL 証明書キーストアパスワード。
hive-site	hive.metastore.hadoop.rpc.protection.override.to.authentication	false	有効にすると、HMS は常に一連の設定で認証のために hadoop.rpc.protection の値を上書きします。

Amazon EMR 7.2.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.2.0 - Hive の変更

タイプ	説明
アップグレード	Parquet 1.13.1 – Parquet は 113.1 にアップグレードされました。
改善点	HIVE-12930 – LLAP の SSL シャッフルをサポートします。
改善点	HIVE-23062 – Hive はカスタム Tez キューの TLS および Yarn HA モードの Yarn RM URL をチェックします。
バグ修正	HIVE-27952 – KeyStore に複数の証明書がある場合、Hive は SslContextFactory の作成に失敗する。
バグ修正	HIVE-28085 – YarnQueueHelper が HTTPS 対応 YARN WebService にアクセスできない。
バグ修正	HIVE-26436 – MR NullPointerException での Hive initializeOp が呼び出されておらず、Close が呼び出されていない場合。演算子が初期化されていない場合は、クローズをスキップします。

Amazon EMR 7.2.0 - 新しい設定

分類	名前	デフォルト	説明
hive-site	hive.llap.shuffle.ssl.enabled	false	tez.runtime.shuffle.ssl.enable とともに true に設定すると、LLAP の SSL

分類	名前	デフォルト	説明
			シャッフルが有効になります。

Amazon EMR 7.1.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.1.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-24381 – スキップヘッダー/フッターが含まれている場合、圧縮テキスト入力は 0 行を返します。
バグ修正	HIVE-24190 – LLAP: ShuffleHandler は TEZ-4233 に従って DISK_ERROR_EXCEPTION を返す場合があります。
バグ修正	HIVE-23073 – Netty をシェーディングします。
バグ修正	HIVE-23073 – Netty をシェーディングし、netty 4.1.48.Final にアップグレードします。
バグ修正	HIVE-23148 – netty シェーディングにより、ラップ外部クライアントフローが壊れています。
バグ修正	HIVE-25180 – Netty をアップグレードします。
バグ修正	HIVE-24524 – LLAP ShuffleHandler: Netty4 にアップグレードし、可能な場合は hive から Netty3 依存関係を削除します。
バグ修正	HIVE-28000 – Hive QL: 型強制を実行できない場合、「not in」句は間違った結果を提供します。

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-27993 – Netty4 ShuffleHandler は 1 つのボススレッドを使用する必要があります。
アップグレード	Netty を 4.1.100.Final にアップグレード
アップグレード	Jetty を 9.4.53.v20231009 にアップグレード
アップグレード	Zookeeper を 3.9.1 にアップグレード

Amazon EMR 7.1.0 - Hive の変更点

- Amazon EMR 7.1 は、Hive を Netty 4.1.100.Final にアップグレードして Netty3 のセキュリティの脆弱性を解決します。hive-druid-handler は netty3 に依存しているため、Hive には Amazon EMR 7.1 の Hive のクラスパスに `hive-druid-handler` JAR がありません。Druid ハンドラーが 4.1.100.Final 以降のバージョンの Netty をサポートすると、今後の Amazon EMR リリースで Hive のクラスパスにそれが含まれます。Amazon EMR リリース 7.1 以降で `hive-druid-handler` JAR が必要な場合は、 AWS サポートにお問い合わせください。

Amazon EMR 7.0.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 7.0.0 - Hive の変更

タイプ	説明
アップグレード	Hive Runtime はデフォルトで Java 17 を使用するようになりました。詳細については、EMR 7.0.0 リリースガイドを参照してください。
バックポート	HIVE-17709: sun.misc.Cleaner リファレンスを削除する
バグ修正	LLAP または ACID が有効になっている場合に Tez 非同期初期化 RR を無効にする

Amazon EMR 6.15.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.15.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
機能	TEZ-4397 のサポート - Tez 非同期スプリットオープンの場合、Hive は Tez 非同期分割オープニング で説明されている Tez 設定をサポートするようになりました。
バグ修正	HIVE-25400 - `BytesColumnVector` のオフセット更新を `setValPreallocated` に移動します。
バグ修正	HIVE-25190 - `BytesColumnVector` での多数の小さな割り当てを修正しました。
バグ修正	ワーカーノードで LLapDaemon を起動するときに NoClassDefFound 例外を回避するために、llap サーバーで netty モジュールをパッケージ化します。 LLapDaemon
アップグレード	Apache Hadoop を 3.3.6 に更新します。
アップグレード	HIVE-26684 – `maven-shade-plugin` を 3.4.1 へアップグレードします。
改善点	Amazon EMR クラスターの起動時間を短縮するには、HCatalog スタートアップスクリプトから 15 秒のスリープ時間を削除します。

Amazon EMR 6.14.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.14.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	HIVE-26762: `HiveFilterSetOpTransposeRule` のオペランドのプルーニングを削除
バグ修正	HIVE-27582: FetchOperator で HBase テーブル入力フォーマットをキャッシュしない
バグ修正	HIVE-26452: JOIN を MAPJOIN に変換し、JOIN 列が複数回参照される場合の NPE
バグ修正	HIVE-26416: `AcidUtils.isRawFormatFile()` が non-ORC ファイルに対して `InvalidProtocolBufferException` をスローする
バグ修正	HIVE-26105: [コメント] 列に特定の漢字が含まれている場合、[列の表示] で追加の値が表示される
バグ修正	HIVE-25864: Hive クエリの最適化により、ウィンドウ関数による述語プッシュダウンの間違ったプランが生成される
バグ修正	HIVE-25224: 異なる `bucketing_versions` があるテーブルを含む複数の INSERT ステートメントがエラーになる
バグ修正	HIVE-24151: 文字列に non-ASCII 文字が含まれていると `MultiDelimitSerDe` がデータをシフトする

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-23606: (LLAP) `EncodedReaderImpl` の `DirectByteBuffer` クリーンアップの遅延
バグ修正	HIVE-22165: HIVE-14296 によって `SessionManager.closeSession` に導入された同期により、ビジー状態の Hive サーバーで高いレイテンシーが発生する
バグ修正	HIVE-21304: バケット化バージョンの使用をより堅牢にする

Amazon EMR 6.13.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.13.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	Python スクリプトを Python3 をサポートするようにアップグレード
改良点	HIVE-27097: MetaStore クライアントとサーバーの再試行戦略を改善
バグ修正	HIVE-21778: CBO:「構造体が null ではない」が Null を許容として評価され、クエリで常にフィルターミスが生じる
バグ修正	HIVE-21009: ユーザーがバインドユーザーを設定する機能の追加
バグ修正	HIVE-22661: データが path に読み込まれたバケット化されていないテーブルで圧縮が失敗する

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-19718: パーティションを一括追加すると、各パーティションのテーブルも取得される
バグ修正	HIVE-22173: 複数の側面ビューを含むクエリがコンパイル中にハングする
バグ修正	HIVE-27088: ポストジョインフィルター付きの内部ジョインと外部ジョインをマージすると結果が不正確になる
バグ修正	HIVE-21935: Hive のベクトル化: UDF のベクトル化によるパフォーマンスの低下
バグ修正	HIVE-25299: UTC 以外のタイムゾーンで、タイムスタンプを数値データ型にキャストすると正しくない
バグ修正	HIVE-24626: LLAP: すべての IO エレベータースレッドがビジー状態で、キューがいっぱいの別のリーダーへのキュー登録を行うと、リーダースレッドが枯渇する可能性がある
バグ修正	HIVE-27029: Hive クエリがファイルシステムのクローズエラーで失敗し、HIVE-26352 の再作業が行われた
バグ修正	HIVE-26352: 圧縮時に GSS 例外が発生して Tez キューのアクセスチェックが失敗する
バグ修正	HIVE-24590: 操作ログからまだ log4j アペンダーがリークする
バグ修正	HIVE-24552: HMS 接続がリークしたり、loadDynamicPartitions に蓄積されたりする可能性がある

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-27069: バケットマップ結合の結果が正しくない
バグ修正	HIVE-27344: RecordReaderImpl#close にヌルチェックを追加
バグ修正	HIVE-27439: 10 進数でのスペースのサポート
バグ修正	HIVE-27267: サブクエリを使用して 10 進数のバケット列でバケットマップ結合を実行すると、結果が不正になる
バグ修正	HIVE-21986: HiveServer Web UI: デフォルト応答ヘッダーでの Strict-Transport-Security の設定
バグ修正	HIVE-22148: S3A 委任トークンがコンパクターのジョブ設定に追加されない。
バグ修正	HIVE-22622: Hive では、重複する属性名を持つ構造体を作成できる
バグ修正	HIVE-22008: LIKE 演算子は複数行の入力と一致する必要がある
バグ修正	HIVE-23144: LLAP: serviceStop で QueryTracker をクリーンアップさせる
バグ修正	HIVE-22391: Hive のクエリ結果キャッシュをチェック中の NPE
バグ修正	HIVE-23305: 競合状態による LlapTaskSchedulerService addNode の NullPointerException

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-22178: Parquet FilterPredicate が SchemaEvolution 後に CastException をスローする
バグ修正	HIVE-21517: AggregateStatsCache を修正
バグ修正	HIVE-21825: アクティブ/パッシブ HA が有効になっている場合のクライアントエラーメッセージを改善
バグ修正	HIVE-23389: FilterMergeRule が AssertionError につながることがある
バグ修正	HIVE-22767: Beeline がコメント内のセミコロンを正しく解析しない
バグ修正	HIVE-22996: BasicStats の解析では、ヌルまたは空の文字列がないかを事前にチェックする必要がある
バグ修正	HIVE-22808: HiveRelFieldTrimmer が HiveTableFunctionScan を処理しない
バグ修正	HIVE-22437: メタデータのロックに関する LLAP メタデータキャッシュ NPE。
バグ修正	HIVE-22606: AvroSerde は avro.schema.literal を INFO レベルでログ記録する
バグ修正	HIVE-22713: Join-Fil(*)-RS 構造体では継続的な伝播を行うべきではない
バグ修正	HIVE-21624: LLAP: スレッドレベルの CPU メトリクスが壊れている
バグ修正	HIVE-22815: MROutput での不要なファイルシステムオブジェクトの作成を減少

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-23060: 次のエラーでクエリが失敗する。「Grouping sets expression is not in GROUP BY key. Error encountered near token」
バグ修正	HIVE-22236: NOT IN サブクエリを含むビューを選択するビューを作成できない
バグ修正	HIVE-19886: —hiveconf hive.log.file を使用すると、ログが 2 つのファイルに送信されることがある
バグ修正	HIVE-20620: 動的パーティショニングを使用してバケット化されたソート済み MM テーブルに挿入すると、マニフェストの衝突が発生する
バグ修正	HIVE-14557: SkewJoin と Mapjoin の両方が有効になっている場合の Nullpointer
バグ修正	HIVE-20471: デフォルトのデータベースパスを取得する際に問題が発生する
バグ修正	HIVE-20598: HiveAlgorithmsUtil 計算のタイプミスを修正
バグ修正	HIVE-14737: Kerberized Hive サーバー 2 ウェブ UI の /logs へのアクセスに関する問題
バグ修正	HIVE-20733: GenericUDFOPEqualNS はプランの説明で = を使用しない場合がある
バグ修正	HIVE-20848: UpdateInputAccessTimeHook の設定後、クエリが「Table Not Found」という理由で失敗する。
バグ修正	HIVE-18929: HiveStringUtils.java の humanReadableInt メソッドに競合状態がある。

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-20841: LLAP: 動的ポートを設定可能にする
バグ修正	HIVE-20930: FILTER モードの VectorCoalesce が有効にならない
バグ修正	HIVE-21007: セミ結合 + ユニオンは間違ったプランにつながる可能性がある
バグ修正	HIVE-21074: IS NOT NULL 条件では Hive バケットテーブルのクエリプルーニングが機能しない
バグ修正	HIVE-21223: CachedStore は、パーティションが存在しない場合、null パーティションを返す
バグ修正	HIVE-19625: NPE が発生する可能性があり、Hive#copyFiles に実際の例外が隠れている
バグ修正	HIVE-17020: 重度 RS 重複排除により OP ツリーのブランチが誤って削除されることがある
バグ修正	HIVE-20168: ReduceSinkOperator ロギングは非表示
バグ修正	HIVE-20879: プロジェクション式で null を使用すると CastException が発生する
バグ修正	HIVE-20888: TxnHandler: 不変リストで sort() が呼び出される
バグ修正	HIVE-19948: 文字列内に引用符があると、HiveCLI がコマンドをセミコロンで正しく分割しない

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-20621: resultset.next で GetOperationStatus が呼び出されることで速度が徐々に低下する
バグ修正	HIVE-20854: 妥当なデフォルト: Hive の Zookeeper ハートビート間隔は 20 分だが、2 に変更する
バグ修正	HIVE-20330: HCatLoader は、複数の入力があるジョブの複数の InputJobInfo オブジェクトを処理できない
バグ修正	HIVE-20787: MapJoinBytesTableContainer dummyRow ケースは再利用を処理しない
バグ修正	HIVE-20331: すべてユニオン、側面ビュー、および結合を使用したクエリが「cannot find parent in the child operator」で失敗する
バグ修正	HIVE-19968: UDF 例外がスローされない
バグ修正	HIVE-20410: トランザクションテーブルでの Insert Overwrite が中止されると、「Not enough history available for…」というエラーが発生する
バグ修正	HIVE-20059: Hive ストリーミングでは、例外発生時に無条件にシェードプレフィックスを試す必要がある
バグ修正	HIVE-19424: MetaDataFormatters の NPE
バグ修正	HIVE-20355: HiveConnection.setSchema のクリーンアップパラメータ
バグ修正	HIVE-20858: Utilities.createEmptyBuckets の設定でシリアライザーが正しく初期化されない。

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-20424: schematool は beeline 履歴を汚染してはならない
バグ修正	HIVE-20338: LLAP: POSIX ミューテーションセマンティクスを使用した HDFS プロトコル impls があるファイルシステムに対して合成ファイル ID を強制する
バグ修正	HIVE-11708: 論理演算子が NULL で ClassCast Exceptions を発生させる
バグ修正	HIVE-21082: HPL/SQL では、宣言ステートメントは文字型の変数をサポートしていない
バグ修正	HIVE-16690: LLAP クラスターサイズに基づいて Tez 直積集合エッジを設定する
バグ修正	HIVE-14516: OrcInputFormat.SplitGenerator.callInternal
バグ修正	HIVE-20981: ストリーミング/AbstractRecordWriter が HeapMemoryMonitor をリークする
バグ修正	HIVE-20043: HiveServer2: SessionState に AtomicBoolean の周りの静的同期ブロックがある
バグ修正	HIVE-20191: パッチが空の場合、PreCommit パッチの適用が失敗しない
バグ修正	HIVE-20400: FS があいまいになる可能性を避けるため、テーブル作成では常に完全修飾パスを使用する必要がある
バグ修正	スキューされた列にアクセスする前に skewedInfo の NULL チェックを追加

Amazon EMR 6.12.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.12.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	JDK 11 と JDK 17 ランタイムのサポートが追加されました
改良点	S3 Select を使用する際に、大文字と小文字が区別されるキーワード列名と予約キーワード列名をクエリするサポートが追加されました。これを使用するには、"s3select.column.mapping" = "*column1*:*fieldName1* , *column2*:*fieldName2* ,..." という形式でテーブルプロパティを定義してください。
改良点	HIVE-23133: 数値演算はハードウェアアーキテクチャによって結果が異なる場合がある
改良点	HIVE-27145: HIVE-23133 のフォローアップとして、残りの数学関数には StrictMath を使用する
バグ修正	EMR Hive 6.4.0 で HIVE-22900 を移植したために発生した get_partitions_by_filter と get_num_partitions_by_filter HMS API のワイルドカードの非互換性を修正
バグ修正	HIVE-26736: WITH 句を含むネストされたビューの認可が失敗する
バグ修正	HIVE-22416: parallel 実行が有効になっていると、MR 関連の操作ログが見つからない
バグ修正	HIVE-19653: グループ化セットを使用した groupby の述語プッシュダウンが正しくない

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-22094: ClassCastException でクエリが失敗する: hive.ql.exec.vector.DecimalColumnVector を hive.ql.exec.vector.Decimal64ColumnVector にキャストできない
バグ修正	HIVE-26340: クエリに大文字のウィンドウ関数が含まれていると、ベクトル化された PTF 演算子が失敗する
バグ修正	HIVE-26184: 一部のキーが大きく歪んでいると、GROUP BY を使用した COLLECT_SET が非常に遅くなる
バグ修正	HIVE-26373: Avro データを含む HBase テーブルからタイムスタンプを読み取る際の ClassCastException
バグ修正	HIVE-26388: CTAS クエリのソーステーブルに文字列型以外の列がある場合の ClassCastException HIVE-26172: Hive - CVE-2021-36373 と CVE-2021-36374 による Ant の 1.10.11 へのアップグレード
バグ修正	HIVE-26114: プレフィックススペースを指定した dfs コマンドを使用すると例外が発生する jdbc 接続 hiveserver2 を修正
バグ修正	HIVE-26396: trunc 関数の精度インターセプトに問題があり、結果に 0 が多数返される
バグ修正	HIVE-26446: HiveProtoLoggingHook は、パーティション化されたテーブルの TablesWritten フィールドへのデータ入力に失敗する。
バグ修正	HIVE-26639: ConstantVectorExpression と ExplainTask はデフォルトの文字セットに頼るべきではない

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-22670: Parquet ファイルの読み取りにベクトル化されたリーダーを使用する場合の ArrayIndexOutOfBoundsException
バグ修正	HIVE-23607: 権限の問題: 別のビューでのビューの作成は成功するが、ビューの変更は失敗する
バグ修正	HIVE-25498: 個数が 31 個を超える個別関数を含むクエリが間違った結果を返す
バグ修正	HIVE-25780: DistinctExpansion が 64 個以上のグループ化セット II を作成する
バグ修正	HIVE-23868: ウィンドウ関数の仕様: 先行/後続 0 件をサポート
バグ修正	HIVE-24539: OrcInputFormat スキーマ生成は列区切り文字を尊重する必要がある
バグ修正	HIVE-23476: LLAP: mmap の場合にもアリーナを事前に割り当てておく
バグ修正	HIVE-25806: LlapCacheAwareFs でリークが発生する可能性がある - Parquet、LLAP IO
バグ修正	HIVE-23498: ThriftHttpCliService の HTTP トレースメソッドを無効にする
バグ修正	HIVE-25729: ThriftUnionObjectInspector は、完全に起動されたら通知を受ける必要がある
バグ修正	HIVE-23846: ビットベクトルの不必要なシリアル化と逆シリアル化を回避
バグ修正	HIVE-24233: cbo を無効にした状態でサブクエリが NULL ポインターを投げる場合を除く

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-24276: HiveServer2 loggerconf jsp クロスサイトスクリプティング (XSS) の脆弱性
バグ修正	HIVE-25721: 外部結合の結果が間違っている
バグ修正	HIVE-25223: 制限付き選択では非ネイティブテーブルの行が返されない
バグ修正	HIVE-25794: CombineHiveRecordReader: ループ内のログステートメントがメモリプレッシャーにつながる
バグ修正	HIVE-23602: オペレーションハンドルセットに Java コンカレントパッケージを使用する
バグ修正	HIVE-24045: デフォルトデータベースの作成時期に関するログがない
バグ修正	HIVE-24305: 値が引用符で囲まれていると、avro 10 進スキーマがスケール/精度を正しく入力しない
バグ修正	HIVE-25040: データベースカスケードをドロップすると永続関数を削除できない
バグ修正	HIVE-23501: 複合型がプリミティブ型に変換されたときの VectorDeserializeRow の AOOB
バグ修正	HIVE-23704: Thrift HTTP サーバーが認証ハンドルを正しく処理しない
バグ修正	HIVE-23529: row_deserialize を実行すると、uniontype の CTAS が壊れる
バグ修正	HIVE-24144: HiveDatabaseMetaData の getIdentifierQuoteString が不正な値を返す

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-23850: サブジェクトがグループ化セットが存在する列でない場合に PPD を許可する
バグ修正	HIVE-25919: HBaseStorageHandler でブール値の列述語をプッシュすると ClassCast Exception が発生する
バグ修正	HIVE-25261: RetryingHMSHandler はターゲットの短い説明を含む MetaException をラップする必要がある
バグ修正	HIVE-24792: オペレーション中にスレッドリークが発生する可能性がある
バグ修正	HIVE-23409: タイムラインサービスがダウンしたために TezSession アプリケーションの再オープンに失敗すると、SessionPool のデフォルトの TezSession が再試行後に閉じられる
バグ修正	HIVE-23615: Beeline コマンドクラスの null ポインターを参照しないでください
バグ修正	HIVE-24849: ロケーションに大量のファイルがある場合に外部テーブルソケットのタイムアウトを作成する (3.1.2 に影響)
バグ修正	HIVE-25209: SUM 関数を使用した SELECT クエリで予期しない結果が生じる
バグ修正	HIVE-23666: groupby 演算子にグループ化セットがない場合、checkHashModeEfficiency がスキップされる
バグ修正	HIVE-23873: CBO がオフの場合、Hive JDBCStorageHandler テーブルのクエリが NPE で失敗する

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-24149: HiveStreamingConnection が HMS 接続を閉じない
バグ修正	HIVE-25561: 強制終了されたタスクはファイルをコミットしてはならない (2.x および 3.x バージョンに影響)。
バグ修正	HIVE-25683: AcidUtils.isRawFormatFile でリーダーを閉じる
バグ修正	HIVE-24294: TezSessionPool セッションが AssertionError を投げることがある
バグ修正	HIVE-24182: 永続的な UDF に関する Ranger の認可の問題
バグ修正	HIVE-22805: 条件付き配列またはマップによるベクトル化が実装されておらず、エラーが発生する
バグ修正	HIVE-22828: Decimal64: NVL ステートメントと CASE ステートメントは暗黙的に decimal64 を 128 に変換する
バグ修正	HIVE-21398: 推定統計情報を含む列は一意のキーと見なすべきではない
バグ修正	HIVE-22490: パスに特殊文字を含む jar を追加するとエラーが発生する
バグ修正	HIVE-22700: 不正な圧縮を行うとメモリリークが発生することがある
バグ修正	HIVE-22053: 関数作成時に関数名が正規化されない

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-22595: 外部スキーマのある Avro テーブルテーブルで動的パーティションの挿入が失敗する
バグ修正	HIVE-21795: 分割テーブルで mapjoin を行うと、ロールアップサマリー行が欠落することがある
バグ修正	HIVE-22987: DataTypePhysicalVariation が NULL の場合の VectorCoalesce における ClassCastException
バグ修正	HIVE-22219: ノードマネージャーをダウンさせると LLAP サービスの再起動がブロックされる
バグ修正	HIVE-21793: hive.stats.fetch.column.stats が false に設定されていても CBO が列の統計情報を取得する
バグ修正	HIVE-22163: CBO: CBO を有効にすると、推定が無効になっていても統計推定が有効になる
バグ修正	HIVE-18735: トランザクション属性が失われるようなテーブルを作成する
バグ修正	HIVE-22433: Hive JDBC ストレージハンドラー: JDBC データソースからの BOOLEAN と TIMESTAMP DataType から取得された結果が不正
バグ修正	HIVE-19430: 多数の保留中のイベントで ObjectStore.cleanNotificationEvents OutOfMemory が発生する
バグ修正	HIVE-20785: JDBC DatabaseMetaData.getPrimaryKeys メソッドのキー名が間違っている

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-16116: beeline.properties で beeline.hiveconfvariables={} の場合、Beeline が NPE をスローする
バグ修正	HIVE-20066: hive.load.data.owner がフルプリンシパルと比較される
バグ修正	HIVE-20489: クエリがハングするプランを説明する
バグ修正	HIVE-21033: 操作を閉じるのを忘れると、それ以上の HiveServer2 の出力が途切れる
バグ修正	HIVE-19888: SessionState から「METASTORE_FILTER_HOOK will be ignored」という誤解を招く警告が出る
バグ修正	HIVE-20303: INSERT OVERWRITE TABLE db.table PARTITION (...) IF NOT EXISTS が InvalidTableException をスローする
バグ修正	HIVE-16144: CompactionInfo には等号/ハッシュコードはないが、セットでは使われている
バグ修正	HIVE-20818: WHERE サブクエリで作成されたビューは、サブクエリで参照されるビューを直接入力と見なす
バグ修正	HIVE-21005: LLAP: スプリットごとに読み取るストライプの数が増えると ZlibCodecs がリークされる
バグ修正	HIVE-20771: LazyBinarySerDe は空の構造体では失敗する。
バグ修正	HIVE-18852: 変更テーブルの検証で誤解を招くエラーメッセージ

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-21124: HPL/SQL は CREATE TABLE LIKE ステートメントをサポートしない
バグ修正	HIVE-20935: llap パッケージ tarball のアップロードが EC2 で失敗し、LLAP サービスの起動に失敗する
バグ修正	HIVE-20409: Hive ACID: 更新/削除/マージを行っても hdfs ステージングディレクトリがクリーンアップされない
バグ修正	HIVE-20570: hive.optimize.union.remove=true ですべてをユニオンすると、プランが正しくない
バグ修正	HIVE-20421: hive-default.xml.template 内の文字エンティティ '\b' が不正
バグ修正	HIVE-19133: HS2 WebUI のフェーズ単位のパフォーマンスメトリックが正しく表示されない
バグ修正	HIVE-18977: JDO とダイレクト SQL では、パーティションを一覧表示すると異なる結果が返される
バグ修正	HIVE-20034: MetaStore 例外処理の変更をロールバックして下位互換性を確保
バグ修正	HIVE-20672: LlapTaskSchedulerService のロギングスレッドは、一定間隔ごとに報告する必要がある
バグ修正	HIVE-12812: 集約関数によるユニオンをサポートするため、mapred.input.dir.recursive をデフォルトで有効にする

タイプ	説明
バグ修正	HIVE-20147: Hive ストリーミング取り込みは同期ログに基づいて行われる
バグ修正	HIVE-19203: HiveMetaStore におけるスレッドの安全性の問題
バグ修正	HIVE-20091: Tez: FileSinkOperator 出力にセキュリティ認証情報を追加
バグ修正	HIVE-16906: Hive ATSHook は ATS に接続する前に yarn.timeline-service.enabled をチェックする必要がある
バグ修正	HIVE-20714: 1 つのプロパティの SHOW tblproperties を行うと、名前列の値が返される
バグ修正	HIVE-24730: Shims クラスは hive-site.xml と tez-site.xml の値をサイレントにオーバーライドする
バグ修正	HIVE-22055: テキストファイルからデータをロードした後、選択カウントが不適切な結果になる

Amazon EMR 6.11.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.11.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	パーティションの削除のパフォーマンスを向上させるため、マルチスレッドによるパーティションの削除のサポートを追加
改良点	エンコードされた Hive クエリファイルの読み取りをサポート

タイプ	説明
改良点	Hive on Tez ジョブの Tez シャッフルハンドラーをデフォルトで有効化
バグ	hive.groupby.skewindata が有効になっているときの誤った結果を修正するために、リデューサーへのキーの確定的配布を有効にするオプションを追加 (HIVE-20220 で報告)
バグ	デフォルトのパーティション名が設定されている場合の統計情報の計算が失敗する問題を修正
バグ	転送中の暗号化が有効になっているクラスターで HiveServer2 に SSL が初期設定されている場合に渡されるカスタム SSL 分類パラメータはすべて優先する
バックポート	HIVE-23617: ストレージ API FindBug に関する問題を修正
バックポート	HIVE-26408: ベクトル化: スクラッチ列の割り当て解除を修正し、子 ConstantVectorExpression を出力として再利用しない
バックポート	HIVE-23614: removeTempOrDuplicateFiles に HiveConfig を常に渡す
バックポート	HIVE-23354: compareTempOrDuplicateFiles からファイルサイズのサニティチェックを削除
バックポート	HIVE-20344: SBA の PrivilegeSynchronizer が AccessControlException をスローする問題を修正。また、特権シンクロナイザーを無効にするプロパティ hive.privilege.synchronizer も導入
バックポート	HIVE-15826: すべての SerDes の「serialization.encoding」の設定をサポート

タイプ	説明
バックポート	HIVE-18284: dynpart ソート最適化で「distribute by」句を使用してデータを挿入するときの NPE を修正
バックポート	HIVE-24930: 子演算からの Operator.setDone() ショートサーキットはベクトル化されたコードパスでは使用されない (childSize == 1 の場合)
バックポート	HIVE-24523: LazySimpleSerde のベクトル化された読み取りパスはタイムスタンプの SERDEPROPERTIES を無視する
バックポート	HIVE-23265: 制限とオフセットが設定された重複行セットが返される
バックポート	HIVE-21492: VectorizedParquetRecordReader が、thrift/カスタムツールを使用して生成された parquet ファイルを読み取れない
バックポート	HIVE-22540: ベクトル化:VectorizedBatchUtil.makeLikeColumnVector() では Decimal64 列が機能しない
バックポート	HIVE-22588: ベクトルグループ化モードを切り替えたときに、残りのグループ化セットの残りの行をフラッシュする
バックポート	HIVE-22551: BytesColumnVector initBuffer はベクトルと長さを一貫してクリーンアップする必要がある
バックポート	HIVE-22448: CBO: group-by キーを使用して複数のカウントを個別に展開する
バックポート	HIVE-22248: 統計情報が持続する問題を修正

タイプ	説明
バックポート	HIVE-22210: ベクトル化により、フィルタリングに関係する計算出力列が再利用される可能性がある
バックポート	HIVE-21531: ベクトル化: すべての NULL ハッシュコードが Murmur3 を使用して計算されない
バックポート	HIVE-20419: ベクトル化: VectorPartitionDesc がハッシュマップキーで使用された後に変更されるのを防ぐ
バックポート	HIVE-19388: VectorMapJoinCommonOperator の初期化中の ClassCastException
バックポート	HIVE-21584: Java 11 の準備: システムクラスローダーは URLClassLoader ではない
バックポート	HIVE-25107: クラスパスのロギングは DEBUG レベルにすべき (#2271)
バックポート	HIVE-22097: Java 11 の java.util.ArrayList は互換性がない
バックポート	HIVE-23938: LLAP: JDK11 - 一部の GC ログファイルのローテーションに関連する jvm 引数が使用できなくなった
バックポート	HIVE-26226: upgrade-acid で hive メタストアから jdk.tools dep を除外する
バックポート	HIVE-17879: Datanucleus Maven プラグインのアップグレード
バックポート	HIVE-27004: DateTimeFormatterBuilder#appendZoneText は 8 を超える Java バージョンでは「UTC+」を解析できない

タイプ	説明
バックポート	HIVE-16812: VectorizedOrcAcidRowBatchReader が削除イベントをフィルタリングしない
バックポート	HIVE-17917: VectorizedOrcAcidRowBatchReader.computeOffsetAndBucket の最適化
バックポート	HIVE-19985: ACID: 読み取り専用クエリの ROW__ID セクションのデコードをスキップする
バックポート	HIVE-20635: VectorizedOrcAcidRowBatchReader は元のファイルの削除イベントをフィルタリングしない
アップグレード	Javadoc を 3.3.1 にアップグレード
アップグレード	Javassist を 3.24.1-GA にアップグレード
アップグレード	Apache ディレクトリサーバーを 2.0.0-M14 に更新

新しい設定

名前	分類	説明
hive.metastore.fs.drop.partition.threads	hive-site	ドロップパーティションスレッドプール内のコアスレッドの数。
hive.metastore.fs.drop.partition.keepalive.time	hive-site	(スレッドプールからの) アイドル状態のドロップパーティション非同期スレッドが新しいタスクが到着するのを待ってから終了する時間 (秒単位)。

名前	分類	説明
hive.metastore.fs.drop.partition.threadpool.max.queue.size	hive-site	ファイルシステムからパーティションを削除する際にスレッドプール内で使用される最大キューサイズ。
hive.groupby.enable.deterministic.distribution	hive-site	リデューサーへのキーの確定的配布を有効にします。ランダムパーティショニングに使用される rand 関数を呼び出す際に、定数のシード値を渡します。
hive.privilege.synchronizer	hive-site	HiveServer2 で外部オーソライザーからの権限を定期的に同期するかどうか。
hive.cli.query.file.encoding	hive-site	cli 引数で提供されるすべてのタイプのクエリファイル (クエリファイル、init クエリファイル、rc ファイルなど) のファイルエンコーディング。
hive.emr.tez.shuffle.enabled	hive-site	Hive on Tez ジョブは、デフォルトで mapreduce_shuffle の代わりに tez_shuffle をデフォルトのシャッフルハンドラーとして使用するようになりました。

非推奨の構成

以下の設定プロパティは HIVE-23354 の結果として廃止され、Amazon EMR リリース 6.11.0 以降ではサポートされなくなりました。

名前	デフォルト値
hive.mapred.reduce.tasks.speculative.execution	false
tez.am.speculation.enabled	false

Amazon EMR 6.10.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.10.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
機能	IAM パススルー (HiveCLI/Steps API) を介して Apache Hive クエリ (書き込み) の AWS Lake Formation ベースアクセスコントロールを有効にします。 HiveCLI
改善点	ログサイズを減らすため、デフォルトではコンフィグ hive.log.explain.output を無効にします
バックポート	HIVE-26408: ベクトル化: スクラッチ列の割り当て解除を修正し、子 ConstantVectorExpression を出力として再利用しない
バックポート	HIVE-22269: HIVE-20703 による統計情報の欠落による動的パーティションの挿入クエリのリデューサーカウントの誤りを修正。
バックポート	HIVE-22891: 非 LLAP 実行モードの CombineHiveRecord で PartitionDesc Extraction をスキップ
バックポート	HIVE-23804: Hive メタストアスキーマに列統計固有のテーブル用のデフォルトデータベースを追加して下位互換性を確保

タイプ	説明
バックポート	HIVE-25277: 高価なリストファイルがあるクラウドオブジェクトストアの Hive パーティション削除が遅い
バックポート	HIVE-19202: HiveAggregate.isBucketedInput() の NullPointerException が原因で CBO が失敗した
バックポート	HIVE-19048: beeline Initscript エラーが無視される問題を修正
バックポート	HIVE-21085: マテリアライズドビューレジストリが外部以外の tez セッションを開始する
バックポート	HIVE-21675: CREATE VIEW IF NOT EXISTS でビューが既に存在する場合「OK」ではなくエラーが返される。これは Hive 2 からのリグレッションです。
バックポート	HIVE-21646: Tez: TezTasks がスレッドロギングコンテキストをエスケープするのを防ぐ
バックポート	HIVE-22054: ディレクトリが空かどうかをチェックする再帰的な一覧表示を避ける
バックポート	HIVE-16587: ヌル値がネストされた複合型を挿入したときの NPE
バックポート	HIVE-22647: デフォルトでセッションプールを有効にする
バックポート	HIVE-13288: DagUtils.localizeResource に紛らわしい例外メッセージが表示される
バックポート	HIVE-23870: WritableHiveCharObjectInspector.getPrimitiveJavaObject / HiveCharWritable での複数のテキスト変換を最適化

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21498: Thrift を 0.13.0 にアップグレード
バックポート	HIVE-24378: 先頭と末尾のスペースが小数点変換の前に削除されない
バックポート	HIVE-21341: 妥当なデフォルト: hive.server2.idle.operation.timeout と hive.server2.idle.session.timeout が高すぎる
バックポート	HIVE-22465: TezConfigurationFactory に SSL 設定を追加
バックポート	HIVE-24710: count(*) の PTF イテレーションを最適化して CPU と IO のコストを削減
バックポート	HIVE-15406: 新しい「trunc」関数のベクトル化を検討する
バックポート	HIVE-21541: HIVE-15406 から asf ヘッダーが見つからなかった問題を修正
バックポート	HIVE-24808: 解析された日付をキャッシュする
バックポート	HIVE-24746: PTF: TimestampValueBoundaryScanner はレンジ計算中に最適化できる
バックポート	HIVE-25059: レプリケーション中に変更イベントが名前変更に変換される
バックポート	HIVE-25142: マップ結合高速ハッシュテーブルでの再ハッシュにより、大きなキーが破損する
バックポート	HIVE-23756: package.jdo ファイルにさらに制約を追加しました
バックポート	HIVE-25150: HIVE-24378 の一部として修正されたスペース文字と同様に、10 進数変換の前のタブ文字が削除されない

タイプ	説明
バックポート	HIVE-25093: date_format() UDF は UTC タイムゾーンのみで出力を返している
バックポート	HIVE-25268: ローカルタイムゾーンが UTC 以外の場合、date_format udf は 1900 年より前の日付に対して間違った結果を返す
バックポート	HIVE-25338: 入力が空の場合の変換 UDF 内の AIOBE
バックポート	HIVE-22400: 時刻を含む UDF 分が NULL を返す
バックポート	HIVE-25058: PTF: TimestampValueBoundaryScanner はレンジ計算 pt2 - isDistanceGreater 中に最適化できる
バックポート	HIVE-25449: datediff() を UTC 以外の一部のタイムゾーンで tez タスクで実行すると、間違った出力が返される
バックポート	HIVE-23688: ベクトル化: IndexArrayOutOfBoundsException (NULL 値を含むマップタイプ列の場合)
バックポート	HIVE-22247: HiveHFileOutputFormat で、パーティションのタスク出力が空の場合、FileNotFoundException が発生する
バックポート	HIVE-25570: Hive は、コマンド挿入の上書き場所の承認用に完全な URL パスを送信する必要がある
バックポート	HIVE-22903: パーティション節に定数式がある場合、ベクトル化された row_number() は 1 バッチ後に行番号をリセットする

タイプ	説明
バックポート	HIVE-25549: PARTITION BY 句または ORDER BY 句に式があるウィンドウ関数の結果が正しくない
バックポート	HIVE-25579: LOAD 上書きは上書きではなく追記される
バックポート	HIVE-25659: IN/(NOT IN) を含むメタストアダイレクト SQL クエリは、SQL DB で許可されている最大パラメータに基づいて分割する必要がある
バックポート	HIVE-20502: カラム統計が使用されている場合に skewjoin_mapjoin10.q を実行しているときの NPE を修正。
バックポート	HIVE-25765: ファイルサイズが大きいと、skip.header.line.count プロパティが FetchOperator の各ブロックの行をスキップする
バグ	`hive.stats.column.autogather` と `hive.groupby.skewindata` が両方とも有効になっている特定のシナリオでの挿入時の NPE を修正
バグ	`mapred.tasktracker.expiry.interval` 値が設定されていない場合の NPE を修正

Amazon EMR 6.9.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.9.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
アップグレード	Jetty を 9.4.48.v20220622 にアップグレード

タイプ	説明
アップグレード	Hadoop 3.3.3 をサポート
機能	Amazon EMR Hive を Lake Formation と統合して、GCSC API を使用するインタラクティブワークロードを実現します。
機能	Amazon EMR Hive と Iceberg の統合。
改良点	Amazon EMR セキュリティ設定を使用して転送中の暗号化が有効になっている場合は、HiveServer2 で SSL を有効にします。
改良点	Hive EMRFS Amazon S3 最適化コミッターをデフォルトで有効にします。詳細については、「Hive EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを有効にする」を参照してください。
改良点	SPARK-34210 を修正するため、InputFormat のマップされたバージョンのみを継承する `HiveHBaseTableInputFormatV2` を追加しました。これを使うには `hive.hbase.inputformat.v2` を `true` に設定してください。
改良点	TezAM を終了してすぐに新しいバージョンを起動するのではなく、hive.cli.tez.session.async を使用してバックグラウンドで起動するのを待ちます。このタイムアウトを秒単位で設定するには `hive.emr.cli.tez.session.open.timeout` を使用します。
改良点	hive.conf.restricted.list.append オプションを追加すると、カンマで区切られた設定を既存の制限付き設定リスト `hive.conf.restricted.list` に追加できます。

タイプ	説明
改良点	データベースのロケーションが定義されていないために Hive クエリが失敗したときのエラーメッセージがわかりやすくなりました。
バックポート	HIVE-24484: Hadoop を 3.3.1 に、Tez を 0.10.2 にアップグレード
バックポート	HIVE-22398: ShimLoader による YARN キュー管理を削除。
バックポート	HIVE-23190: LLAP: ファイルシステムオブジェクトを TezSpillRecord に渡すように IndexCache を修正。
バックポート	HIVE-22185: HADOOP-15832 が原因で、Mini Yarn クラスターを使用するテストで問題が発生する。
バックポート	HIVE-21670: `mockito-all` を `mockito-core` 依存関係に置き換え。
バックポート	HIVE-24542: アップグレード用に Guava を準備。
バックポート	HIVE-23751: QTest: HADOOP-16582 の後に `ProxyFileSystem` で `#mkdirs()` メソッドをオーバーライドして位置合わせする。
バックポート	HIVE-21603: Java 11 の準備: powermock のバージョンを更新。
バックポート	HIVE-24083: Hadoop 3.3.0 の `hcatalog` エラー: 認証タイプが必要。
バックポート	HIVE-24282: 明示的に指定されない限り、列の表示で出力列をソートしないでください。

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20656: 妥当なデフォルト: マップ集約メモリの設定が重度すぎる。
バックポート	HIVE-25443: Arrow SerDe は、1024 個を超える値がある場合に複雑なデータ型をシリアル化/逆シリアル化できない
バックポート	HIVE-19792: orc を 1.5.2 にアップグレードして、decimal_64 スキーマ進化テストを有効化する。
バックポート	HIVE-20437: 浮動小数点数、倍精度および 10 進数からのスキーマの進化を処理する。
バックポート	HIVE-21987: Hive は、10 進数のアノテーションが付けられた Parquet int32 を読み取ることができない。
バックポート	HIVE-20038: バケット化されていないテーブルやパーティション化されたテーブルの更新クエリで NPE がスローされる。

Amazon EMR 6.9.0 - Hive の既知の問題

- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。

Amazon EMR 6.8.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.8.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
改良点	msck コマンドのファイルシステム呼び出しを減らします。パフォーマンスの向上 (10,000 以上のパーティションで最大 15～20 倍)
バックポート	HIVE-20678: HiveHBaseTableOutputFormat は互換性を確保するために HiveOutputFormat を実装する必要がある
バックポート	HIVE-21040: msck はディレクトリツリーの最後のレベルで不要なファイルを一覧表示する
バックポート	HIVE-21460: データをロードした後に select * クエリを実行すると、誤った結果になる
バックポート	HIVE-21660: union all の後で view with explode を使用すると間違った結果になる
バックポート	HIVE-22505: 誤ったベクトル化された演算子の選択が原因で発生する ClassCastException
バックポート	HIVE-22513: フィルター操作でのキャスト列の定数伝播により、誤った結果が生じる可能性がある
バックポート	HIVE-23435: 完全外部結合の結果で行が欠落している
バックポート	HIVE-24209: ベクトル化が有効な場合の NOT BETWEEN 操作の検索引数の変換が正しくない
バックポート	HIVE-24934: GenericUDFSQCountCheck では VectorizedExpressions のアノテーションは不要

タイプ	説明
バックポート	HIVE-25278: HiveProjectJoinTransposeRule がウィンドウ式で無効な変換を行うことがある
バックポート	HIVE-25505: 最初の行が空白の場合、ヘッダーの skip.header.line.count で不正な結果になる
バックポート	HIVE-26080: accumulo-core を 1.10.1 にアップグレード
バックポート	HIVE-26235: バイナリ列の OR 条件が空の結果を返す
バグ	起動時の stderr の複数の SLF4J バインディング警告ログを修正
バグ	パーティションとテーブルが異なるファイルシステムにある場合に、SHOW TABLE EXTENDED クエリが Wrong FS エラーで失敗する問題を修正。

Amazon EMR 6.8.0 - Hive の既知の問題

- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。

Amazon EMR 6.7.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.7.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
機能	Amazon EMR の Hive と LakeFormation の統合。
機能	Hive EMRFS Amazon S3 最適化コミッター用の監査ログが追加されました。Hive 設定: `hive.blobstore.output-committer.logging` 、デフォルト: `false`
機能	挿入時に削除されたターゲットディレクトリは、空の選択結果でパーティション化されていないテーブル/静的パーティションに上書きされ、Hive 2.x と同様に動作するようになりました。Hive 設定: `hive.emr.iow.clean.target.dir` 、デフォルト: `false`
バグ	Hive EMRFS Amazon S3 最適化コミッターをパーティションバケットソートで使用すると断続的に発生するクエリエラーを修正しました。
アップグレード	Hive をバージョン 3.1.3 にアップグレードしました 詳細については、「Apache Hive 3.1.3 リリースノート」を参照してください。
アップグレード	Parquet を 1.12.2 にアップグレードしました。
バックポート	HIVE-20065: メタストアを jackson 1.x に依存することはできない
バックポート	HIVE-20071: jackson 2.x に移行して使用を防止する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20607: TxnHandler は直接 SQL クエリを実行するために PreparedStatement を使用する必要がある
バックポート	HIVE-20740: ObjectStore.setConf メソッドのグローバルロックを削除
バックポート	HIVE-20961: NVL の実装を廃止
バックポート	HIVE-22059: hive-exec jar には (fasterxml) jackson ライブラリが含まれていない
バックポート	HIVE-22351: TestObjectStore のスレッド化された ObjectStore の使用が正しくない問題を修正
バックポート	HIVE-23534: メッセージなしで MetaException をキャッチしたときの RetryingMetaStoreClient#invoke の NPE
バックポート	HIVE-24048: Jackson のコンポーネントをバージョン 2.10 の最新版 (Hive) に一致させる
バックポート	HIVE-24768: バージョン交換にはどこでも jackson-bom を使用する
バックポート	HIVE-24816: CVE-2020-25649 により、jackson を 2.10.5.1 または 2.11.0+ にアップグレードする
バックポート	HIVE-25971: キャッシュされたスレッドプールが閉じられていないため、Tez タスクのシャットダウンが遅れる
バックポート	HIVE-26036: ObjectStore の getMTable() が原因の NPE

Amazon EMR 6.7.0 - Hive の既知の問題

- join と同じ列にウィンドウ関数があるクエリは、HIVE-25278 で報告されているように無効な変換を引き起こし、誤った結果やクエリ失敗の原因となることがあります。回避策は、このようなクエリのクエリレベルで CBO を無効にすることです。この修正は、6.7.0 以降の Amazon EMR リリースで利用できるようになります。詳細については、 AWS サポートにお問い合わせください。
- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。

Amazon EMR 6.6.0 - Hive リリースノート

Amazon EMR 6.6.0 - Hive の変更点

タイプ	説明
アップグレード	Parquet を 1.12.1 にアップグレード。
アップグレード	jetty jars バージョンを 9.4.43.v20210629 にアップグレード
バグ	Hive クラスターで LLAP が有効になっていると、すべてのタスク/コアノードに Hive がインストールされる問題を修正しました。
バックポート	HIVE-25942: CVE-2021-29425 により、commons-io を 2.8.0 にアップグレード
バックポート	HIVE-25726: CVE-2020-13936 により、velocity を 2.3 にアップグレード

タイプ	説明
バックポート	HIVE-25680: #get_table_meta HiveMetastore サーバー API に HiveMetastore 認可モデルのいずれかを使用できるよう認可する。
バックポート	HIVE-25554: arrow バージョンを 0.15 にアップグレード
バックポート	HIVE-25242: vectorized.adaptor = を選択すると、クエリの実行が非常に遅くなる
バックポート	HIVE-25085: MetaStore クライアントはセッション間で共有されなくなりました。
バックポート	HIVE-24827: Hive 集約クエリは、テキスト以外のファイルに対して誤った結果を返します。
バックポート	HIVE-24683: Hadoop23Shims getFileId は、存在しないパスに対して NPE が発生しやすい
バックポート	HIVE-24656: マップ型および配列型で is null を使用したクエリの CBO が失敗する
バックポート	HIVE-24556: 孫がないケースの DefaultGraphWalker を最適化
バックポート	HIVE-24408: Parquet を 1.11.1 にアップグレード
バックポート	HIVE-24391: branch-3.1 での FIX TestOrcFile の障害を修正
バックポート	HIVE-24362: ノード数が多いツリーでは AST ツリー処理が最適ではない
バックポート	HIVE-24316: branch-3.1 で ORC を 1.5.6 から 1.5.8 にアップグレード

タイプ	説明
バックポート	HIVE-24307: property-file と-e パラメータで Beeline が失敗する
バックポート	HIVE-24245: カウントと個別のオーバーパーティションを含むベクトル化された PTF が誤った結果を生成する。
バックポート	HIVE-24224: 圧縮ファイルで Hive on Tez のヘッダー/フッターがスキップされる問題を修正
バックポート	HIVE-24157: CAST タイムスタンプ ↔ 数値でストリクトモードが失敗する
バックポート	HIVE-24113: GenericUDFToUnixTimeStamp の NPE
バックポート	HIVE-23987: arrow をバージョン 0.11.0 にアップグレード
バックポート	HIVE-23972: 外部クライアント ID を LLAP 外部クライアントに追加
バックポート	HIVE-23806: スキーマが拡張された場合に備えて、すべてのパーティションの列統計状態の消去を回避する。これにより、alter table add columns ステートメントの実行時間が改善される。
バックポート	HIVE-23779: BasicStatsTask Info が beeline コンソールに出力されない
バックポート	HIVE-23306: System.getProperty によって設定されている構成がある場合、RESET コマンドが機能しない

タイプ	説明
バックポート	HIVE-23164: デーモンスレッド以外のスレッドが原因でサーバーが正しく終了しない
バックポート	HIVE-22967: Hive on Tez の hive.reloadable.aux.jars.path のサポート
バックポート	HIVE-22934: エラーストリームへの Hive サーバーのインタラクティブログカウンター
バックポート	HIVE-22901: 変数置換により循環参照で OOM が発生する可能性がある
バックポート	HIVE-22769: 圧縮テキストファイルの分割生成中にクエリ結果が不正確になり、クエリが失敗する
バックポート	HIVE-22716: ParquetFooterInputFromCache で ByteBuffer への読み取りが壊れている
バックポート	HIVE-22648: Parquet を 1.11.0 にアップグレード
バックポート	HIVE-22640: Decimal64ColumnVector: パーティション列タイプが 10 進数の場合の ClassCastException
バックポート	HIVE-22621: 不安定なテストケース: TestLlapSignerImpl.testSigning
バックポート	HIVE-22533: LLAP デーモンのウェブ UI の潜在的な脆弱性を修正
バックポート	HIVE-22532: PTFPPD が Rank/DenseRank 関数によってリミットを誤ってプッシュすることがある

タイプ	説明
バックポート	HIVE-22514: HiveProtoLoggingHook が大量のメモリを消費する可能性がある
バックポート	HIVE-22476: hive.fetch.task.convertion が none に設定されていると、Hive の datediff 関数が一貫性のない結果を返した
バックポート	HIVE-22429: hive 3 で bucketing_version 1 を使用して移行されたクラスター化されたテーブルは、挿入に bucketing_version 2 を使用する
バックポート	HIVE-22412: explain のときに StatsUtils が NPE をスローする
バックポート	HIVE-22360: ロードされたファイルの列がテーブルスキーマの列数よりも多い場合、MultiDelimitSerDe は最後の列で間違った結果を返す
バックポート	HIVE-22332: ORC-540 以降、Hive は有効なスキーマ展開設定を確認する必要がある
バックポート	HIVE-22331: 引数なしの unix_timestamp は、タイムスタンプを秒単位ではなくミリ秒単位で返す
バックポート	HIVE-22275: OperationManager.queryIdOperation が複数のクエリ ID を適切にクリーンアップしない
バックポート	HIVE-22273: 一時ディレクトリを削除するとアクセスチェックが失敗する
バックポート	HIVE-22270: commons-io を 2.6 にアップグレード

タイプ	説明
バックポート	HIVE-22241: UDF を実装して、内部表現とグレゴリオ暦とユリウス暦のハイブリッド暦を使用して日付/タイムスタンプを解釈する
バックポート	HIVE-22241: UDF を実装して、内部表現とグレゴリオ暦とユリウス暦のハイブリッドを使用して日付/タイムスタンプを解釈する
バックポート	HIVE-22232: hive.order.columnalignment が false に設定されている場合の NPE
バックポート	HIVE-22231: knox 経由の大きなサイズの Hive クエリが、パイプが壊れて書き込みの失敗で失敗する
バックポート	HIVE-22221: LLAP 外部クライアント - LlapBaseInputFormat#getSplits を減らす必要がある
バックポート	HIVE-22208: マスク列のあるテーブルの結合を含むクエリを書き換えると、予約キーワードの付いた列名がエスケープ解除される
バックポート	HIVE-22197: Common Merge join でクラスキャスト例外が発生する。
バックポート	HIVE-22170: from_unixtime と unix_timestamp はユーザーセッションのタイムゾーンを使用する必要がある
バックポート	HIVE-22169: Tez: SplitGenerator が Tez には存在しないであろうプランファイルを探そうとする
バックポート	HIVE-22168: LLAP キャッシュのホットパスから非常にコストのかかるロギングを削除

タイプ	説明
バックポート	HIVE-22161: UDF: FunctionRegistry が org.apache.hadoop.hive.ql.udf.UDFType クラスで同期する
バックポート	HIVE-22120: 特定の境界条件での左外側マップ結合での誤った結果/ArrayOutOfBound 例外を修正
バックポート	HIVE-22115: プロパティが false に設定されている場合、クエリルーティングアペンダーが作成されないようにする
バックポート	HIVE-22113: AMReporter 関連の RuntimeException での LLAP シャットダウンを防ぐ
バックポート	HIVE-22106: パーティション評価用のクロスクエリ同期を削除
バックポート	HIVE-22099: HIVE-20007 以降、いくつかの日付関連の UDF がユリウス暦を適切に処理できない
バックポート	HIVE-22037: OOM が原因でシャットダウンするときに HS2 がログを記録する必要がある
バックポート	HIVE-21976: Calcite HiveSortLimit では、オフセットはゼロではなくヌルでなければならない
バックポート	HIVE-21924: ヘッダー/フッターが存在していてもテキストファイルを分割する
バックポート	HIVE-21913: GenericUDTFGetSplits は LLAP と同じ方法でユーザー名を処理する必要がある
バックポート	HIVE-21905: FetchOperator クラスに関するジェネリックの改善

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21902: HiveServer2 UI: jetty レスポンスヘッダーには X フレームオプションが必要
バックポート	HIVE-21888: hive.parquet.timestamp.skip.convertion のデフォルトを true に設定
バックポート	HIVE-21868: CAST...FORMAT をベクトル化
バックポート	HIVE-21864: LlapBaseInputFormat#closeAll
バックポート	HIVE-21863: WHEN 式の Vectorizer 型キャストを改善
バックポート	HIVE-21862: ORC ppd がタイムスタンプ付きの間違った結果を生成する
バックポート	HIVE-21846: LlapDaemon のメトリクスを定期的に取得するスレッドを TezAM に作成する
バックポート	HIVE-21837: 選択した列の値が完全に NULL の場合、MapJoin は例外を投げる
バックポート	HIVE-21834: 不要な呼び出しを避けてフィルター条件を簡素化
バックポート	HIVE-21832: キュー/サービング/レスポンスの平均時間を取得する新しいメトリクス
バックポート	HIVE-21827: SemanticAnalyzer での複数の呼び出しが getTableObjectByName メソッドを経由しない
バックポート	HIVE-21822: 新しい API メソッドを通じて LlapDaemon メトリクスを公開する
バックポート	HIVE-21818: CBO: TableRelOptHiveTable のコピー中にメタストアトラフィックが発生する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21815: ORC ファイル内の統計が 2 回解析される
バックポート	HIVE-21805: HiveServer2: 高速 ShutdownHookManager API を使用する
バックポート	HIVE-21799: 結合キーが集約列にある場合の DynamicPartitionPruningOptimization での NullPointerException
バックポート	HIVE-21794: sqlStdAuthSafeVarNameRegexes にマテリアライズドビューパラメータを追加
バックポート	HIVE-21768: JDBC: 囲まれていない UNION クエリのデフォルトのユニオンプレフィックスを削除
バックポート	HIVE-21746: CBO が無効になっている動的パーティションハッシュ結合中の ArrayIndexOutOfBoundsException
バックポート	HIVE-21717: 移動タスクでディレクトリの名前変更に失敗する。
バックポート	HIVE-21685: 複数の IN 句を含むクエリの簡略化が間違っている
バックポート	HIVE-21681: 書式設定された説明で複数のプライマリキーについて、誤った情報が表示される
バックポート	HIVE-21651: protobuf serde を hive-exec に移動。
バックポート	HIVE-21619: SQL explain 拡張でタイムスタンプ型を精度なしで出力する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21592: 式に CONCAT が含まれていると OptimizedSql が表示されない
バックポート	HIVE-21576: CAST...FORMAT と SQL:2016 日時フォーマットの限定リストを導入
バックポート	HIVE-21573: 認証が delegationToken に設定されている場合、バイナリトランスポートはプリンシパルを無視する
バックポート	HIVE-21550: TestObjectStore のテストが不安定 - 要求された時間内にロックを取得できなかった
バックポート	HIVE-21544: 定数伝播により折りたたみ中に coalesce/case/when 式が破損する
バックポート	HIVE-21539: 同じ列の GroupBy + where 句が原因でクエリの書き換えが正しく行われない
バックポート	HIVE-21538: Beeline: コンソールリーダー経由でパスワードソースが接続パラメータに渡されなかった
バックポート	HIVE-21509: LLAP が破損した列ベクトルをキャッシュし、間違ったクエリ結果を返すことがある
バックポート	HIVE-21499: 作成コマンドが AlreadyExistsException で失敗した場合、レジストリから関数を削除してはならない
バックポート	HIVE-21496: 順序付けられていないバッファの自動サイズ設定はオーバーフローする可能性がある

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21468: JDBC ストレージハンドラーの識別子名の大文字と小文字の区別
バックポート	HIVE-21467: 廃止予定の junit.framework.Assert インポートを削除
バックポート	HIVE-21435: LlapBaseInputFormat は SubmitWorkRequestProto をビルド中に TASK_ATTEMPT_ID conf (存在する場合) からタスク番号を取得する必要がある
バックポート	HIVE-21389: HIVE-21247 以降、Hive のディストリビューションに javax.ws.rs-api.jar が見つからない
バックポート	HIVE-21385: 分割不可能な計算の JDBC ソースへのプッシュダウンを無効にできるようにする
バックポート	HIVE-21383: JDBC ストレージハンドラー: 指定されている場合、カタログとスキーマを使用してテーブルを取得する
バックポート	HIVE-21382: Group by キー削減の最適化 - query23 でキーが削減されない
バックポート	HIVE-21362: protobuf ファイルから読み込むための入力フォーマットと serde を追加。
バックポート	HIVE-21340: CBO: SemiJoin にフィードされるキー以外の列をプルーニングする
バックポート	HIVE-21332: ロックされたバッファの代わりにロックされていないバッファを消去する
バックポート	HIVE-21329: オペレータパイプラインに依存するカスタム Tez ランタイムの順序付けされていない出力バッファサイズ

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21295: StorageHandler は Hive の規則を使用して日付を文字列に変換する
バックポート	HIVE-21294: ベクトル化: 1-reducer Shuffle はオブジェクトハッシュ関数をスキップできる
バックポート	HIVE-21255: JdbcStorageHandler の QueryConditionBuilder を削除
バックポート	HIVE-21253: JDBC StorageHandler で DB2 をサポート
バックポート	HIVE-21232: LLAP: キャッシュミスに対応したスプリットアフィニティプロバイダーの追加
バックポート	HIVE-21214: MoveTask: ファイルの重複排除 compareTempOrDuplicateFiles にはファイルサイズの代わりに attemptId を使う
バックポート	HIVE-21184: 説明を追加し、コスト情報を含むフォーマット済み CBO プランを説明する
バックポート	HIVE-21182: 計画中に hive スクラッチディレクトリのセットアップをスキップする
バックポート	HIVE-21171: RPC がオンの場合、tez のスクラッチディレクトリの作成をスキップする
バックポート	HIVE-21126: LlapBaseInputFormat#getSplit でセッションレベルのクエリを許可する
バックポート	HIVE-21107: 動的にパーティション化されたハッシュ結合中に「Cannot find field」というエラーが発生する
バックポート	HIVE-21061: CTAS クエリが、ソースが空の場合 IllegalStateException で失敗する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-21041: NPE、論理プランからスキーマを取得する際の ParseException
バックポート	HIVE-21013: JdbcStorageHandler が Oracle でパーティション列を見つけられない
バックポート	HIVE-21006: 再利用の機会があれば SharedWorkOptimizer を拡張して semijoins を削除する
バックポート	HIVE-20992: hive.metastore.dbaccess.ssl .properties の設定をより意味のある設定に分割する
バックポート	HIVE-20989: JDBC - GetOperationStatus + ログがスリープによってクエリの進行を妨げることがある
バックポート	HIVE-20988: プライマリキーが複数の列にある group by クエリの結果が正しくない
バックポート	HIVE-20985: select 演算子の入力が一時的な列の場合、ベクトル化によってその一部が出力として再利用されることがある
バックポート	HIVE-20978: 「hive.jdbc.*」は sqlStdAut hSafeVarNameRegexes に追加される必要がある
バックポート	HIVE-20953: 作成時にメタストアに追加できない関数を関数レジストリから削除する。
バックポート	HIVE-20952: VectorizationContext.java のクリーニング
バックポート	HIVE-20951: LLAP: Xms を常に 50% に設定する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20949: 物理プランニングにおける PKFK 基数の推定の改善
バックポート	HIVE-20944: クエリのコンパイル中に統計を検証しない
バックポート	HIVE-20940: Calcite のタイプ解像度が Hive よりも厳しいブリッジケース。
バックポート	HIVE-20937: Postgres の JDBC クエリが「LIMIT must not be negative」で失敗する
バックポート	HIVE-20926: ブルームフィルターのエントリが多い場合や統計がない場合、セミ結合削減ヒントが失敗する
バックポート	HIVE-20920: SQL 制約を使用して結合順序変更アルゴリズムを改善
バックポート	HIVE-20918: Calcite から JDBC 接続への計算のプッシュダウンを有効/無効にするフラグ
バックポート	HIVE-20915: 動的ソートパーティションの最適化を HoS と MR で利用できるようにする
バックポート	HIVE-20910: 動的パーティションソートの最適化により、バケットテーブルへの挿入が失敗する
バックポート	HIVE-20899: LLAP YARN サービスの Keytab URI は HDFS のみをサポートするように制限されている
バックポート	HIVE-20898: 時間関連の関数では、引数を NULL 値を許容しない型にキャストできない場合がある

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20881: 定数伝播は投影を単純化しすぎる
バックポート	HIVE-20880: hive.stats.filter.in.min.ratio のデフォルト値を更新
バックポート	HIVE-20873: ハッシュ衝突を減らすために、VectorHashKeyWrapperTwoLong に Murmur hash を使用する
バックポート	HIVE-20868: TezDummyOperator に MapRecordProcessor の getFinalOp の子オペレーションがあると、SMB Join が断続的に失敗する
バックポート	HIVE-20853: llap デーモン API の ShuffleHandler.registerDag を公開する
バックポート	HIVE-20850: 可能であれば条件付きでケースをプロジェクションからディメンションテーブルにプッシュする
バックポート	HIVE-20842: HIVE-20660 で導入されたロジックを group by の統計を推定するように修正
バックポート	HIVE-20839: 動的にパーティション化されたハッシュ結合中に「Cannot find field」というエラーが発生する
バックポート	HIVE-20835: 制約と MV の書き換えが相互作用して、Calcite プランナーでループが発生することがある
バックポート	HIVE-20834: キャッシュされたクエリから SemanticAnalyzer への参照を保持する Hive QueryResultCache エントリ

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20830: JdbcStorageHandler の範囲クエリアサーションが失敗する場合がある
バックポート	HIVE-20829: JdbcStorageHandler の範囲分割により NPE が発生する
バックポート	HIVE-20827: 空の配列の結果に一貫性がない
バックポート	HIVE-20826: HiveSemiJoin ルールを強化して、左側の join + group by を Left Semi Join に変換する
バックポート	HIVE-20821: SUM0 を SUM + COALESCE の組み合わせに書き換える
バックポート	HIVE-20815: JdbcRecordReader.next は例外を受け入れない
バックポート	HIVE-20813: udf to_epoch_milli はタイムゾーンなしのタイムスタンプもサポートする必要がある。
バックポート	HIVE-20804: 制約付き group by 最適化のさらなる改善
バックポート	HIVE-20792: ゾーン付きのタイムスタンプを挿入するとデータが切り捨てられる
バックポート	HIVE-20788: 拡張された SJ の削減では、フィルターを作成すると列が誤ってバックトラックされることがある
バックポート	HIVE-20778: プラン内のすべての結合が非相関ロジックで作成されている場合、結合の順序変更がトリガーされないことがある

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20772: タスクごとの CPU カウンターを LLAP に記録する
バックポート	HIVE-20768: タンブリングウィンドウ UDF の追加
バックポート	HIVE-20767: 結合演算子間の複数のプロジェクトが、制約を使用した結合の順序変更に影響することがある
バックポート	HIVE-20762: NOTIFICATION_LOG のクリーンアップ間隔が 60 秒でハードコードされており、短すぎる
バックポート	HIVE-20761: notification_sequence テーブルの更新対象として選択すると再試行間隔があり、再試行回数が少なすぎる
バックポート	HIVE-20751: arrow をバージョン 0.10.0 にアップグレード
バックポート	HIVE-20746: HiveProtoHookLogger が 1 日の終わりにファイルを閉じない。
バックポート	HIVE-20744: SQL 制約を使用して結合順序変更アルゴリズムを改善
バックポート	HIVE-20740: ObjectStore.setConf メソッドのグローバルロックを削除。このチェリーピックは、Hive 3.2 および 4.x 用の HIVE-20740 を 3.1.x にバックポートします。
バックポート	HIVE-20734: Beeline: beeline-site.xml で hive CLI が beeline にリダイレクトする場合、プロンプトの代わりにシステムユーザー名/ダミーパスワードを使用する必要がある

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20731: JdbcStorageHandler 内のキーストアファイルは承認される必要がある
バックポート	HIVE-20720: JDBC ハンドラーにパーティション列オプションを追加
バックポート	HIVE-20719: hive.optimize.sort.dynamic.partition の最適化とベクトル化をオンにすると、UPDATE の後の SELECT ステートメントが失敗する
バックポート	HIVE-20718: 制約付きの perf CLI ドライバーを追加
バックポート	HIVE-20716: hive.cbo.stats.correlated.multi.key.joins のデフォルト値を true に設定
バックポート	HIVE-20712: HivePointLookupOptimizer はディープケースを抽出する必要がある
バックポート	HIVE-20710: 定数を折りたたみでは、型のない NULL 定数が作成できない場合がある
バックポート	HIVE-20706: external_jdbc_table2.q が断続的に失敗する
バックポート	HIVE-20704: HivePreFilteringRule を拡張して他の関数をサポートする
バックポート	HIVE-20703: 動的ソートパーティションの最適化をコストベースの決定下に置く
バックポート	HIVE-20702: マップ結合選択時のデータ構造を考慮した推定によるオーバーヘッドを考慮する
バックポート	HIVE-20692: NOT x IS (NOT) [TRUE|FALSE] 式の折りたたみを有効にする

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20691: org.apache.hadoop.hive.cli. TestMiniLlapCliDriver.testCliDriver[cttl] を修正
バックポート	HIVE-20682: 共有 sessionHive がマスタースレッドによって閉じられると、非同期クエリの実行が失敗する可能性がある
バックポート	HIVE-20676: HiveServer2: PrivilegeSynchronizer がデーモンステータスに設定されていない
バックポート	HIVE-20660: 行の総数をソーステーブルに限定することで、Group by 統計の推定が改善される可能性がある
バックポート	HIVE-20652: JdbcStorageHandler が 2 つの異なるデータソースの結合を JDBC ドライバーにプッシュする
バックポート	HIVE-20651: JdbcStorageHandler のパスワードは暗号化する必要がある
バックポート	HIVE-20649: Orc 書き込み用の LLAP 対応メモリマネージャー
バックポート	HIVE-20648: LLAP: Vector group by 演算子はエグゼキューターごとにメモリを使用する必要がある
バックポート	HIVE-20646: パーティションフィルター条件に IS NOT NULL が設定されている場合、メタストアクエリにプッシュダウンされない
バックポート	HIVE-20644: Hive ランタイム例外による機密情報の公開を回避する
バックポート	HIVE-20636: outer join 後のヌル値数の推定を改善

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20632: クエリされたテーブルにマテリアライズドビューが作成されると、get_splits UDF によるクエリが失敗する
バックポート	HIVE-20627: 同時実行の非同期クエリが LockException で断続的に失敗し、メモリリークが発生する
バックポート	HIVE-20623: 共有作業: LLAP のマップ結合キャッシュエントリの共有を拡張
バックポート	HIVE-20619: HiveServer2 に MultiDelimitSerDe をデフォルトで含める
バックポート	HIVE-20618: 結合選択中に、バケット化されていないテーブルに BucketMapJoin が選択されることがある
バックポート	HIVE-20617: IN 式の定数の型が正しい型になるように修正
バックポート	HIVE-20612: CBO 用の新しいジョインマルチキー相関フラグを作成
バックポート	HIVE-20603: テーブルロケーションファイルシステムを変更した後にパーティションに挿入すると「Wrong FS」エラーが発生する
バックポート	HIVE-20601: DbNotificationListener の ALTER_PARTITION イベントの EnvironmentContext が NULL
バックポート	HIVE-20583: HiveConnection の kerberos 認証には正規のホスト名のみを使用する
バックポート	HIVE-20582: hive プロトロギングの hflush を設定可能にする

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20563: ベクトル化: THEN/ELSE 型と結果の型が異なる場合に CASE WHEN 式が失敗する
バックポート	HIVE-20558: hive.hashtable.key.count.adjustment のデフォルトを 0.99 に変更
バックポート	HIVE-20552: LogicalPlan からスキーマをより速く取得
バックポート	HIVE-20550: beeline を使用して Hive クエリを送信するように WebHCat を切り替える
バックポート	HIVE-20537: CBO と Hive で異なる非相関列を使用した複数列結合推定
バックポート	HIVE-20524: Hive バージョン 2 からバージョン 3 への移行時に、ALTER TABLE VARCHAR から DECIMAL へのスキーマ進化チェックが壊れる
バックポート	HIVE-20522: HiveFilterSetOpTransposeRule は、フィールドの null 値許容性が原因でアサーションエラーを投げることがある
バックポート	HIVE-20521: HS2 doAs=true は hadoop.tmp.dir、MR と S3A ファイルシステムで権限の問題がある
バックポート	HIVE-20515: 結果キャッシュとクエリー時ディレクトリ、結果キャッシュディレクトリを異なるファイルシステムで使用するとクエリ結果が空になる
バックポート	HIVE-20508: Hive は「user@realm」タイプのユーザー名をサポートしない

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20507: Beeline: beeline-site.xml からすべての URI を取得するユーティリティコマンドを追加
バックポート	HIVE-20505: org.openjdk.jmh:jmh-core を 1.21 にアップグレード
バックポート	HIVE-20503: マップ結合選択時にデータ構造を考慮した推定を使用する
バックポート	HIVE-20498: 列統計自動収集の日付型をサポート
バックポート	HIVE-20496: ベクトル化: ベクトル化 PTF IllegalStateException
バックポート	HIVE-20494: HIVE-19440 以降、GenericUDFRestrictInformationSchema が壊れている
バックポート	HIVE-20477: 式に IN が含まれていると OptimizedSql が表示されない
バックポート	HIVE-20467: リソースプランの作成/削除で IF NOT EXISTS/IF EXISTS を許可する
バックポート	HIVE-20462: ビューが既に存在する場合、「CREATE VIEW IF NOT EXISTS」が失敗する
バックポート	HIVE-20455: security.authorization.PrivilegeSynchonizer.run からのログの大量出力
バックポート	HIVE-20439: llap の結合選択時に拡張されたメモリ制限を使用する
バックポート	HIVE-20433: 暗黙の文字列からタイムスタンプへの変換が遅い

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20432: 統計情報推定のために整数型の BETWEEN を IN に書き換える
バックポート	HIVE-20423: NULLS LAST をデフォルトのヌル順序として設定
バックポート	HIVE-20418: LLAP IO が、列が選択されていないクエリの行インデックスが無効になっている ORC ファイルを正しく処理しない場合がある
バックポート	HIVE-20412: HiveMetaHook の NPE
バックポート	HIVE-20406: 入れ子になった Coalesce で間違った結果が出る
バックポート	HIVE-20399: 完全修飾されていないカスタムテーブルの場所を含む CTAS は MM テーブルで失敗する
バックポート	HIVE-20393: Semijoin 削減: markSemiJoinForDPP の動作が一貫しない
バックポート	HIVE-20391: 集約関数を分解すると、HiveAggregateReduceFunctionsRule が間違った戻り値の型を推測することがある
バックポート	HIVE-20383: hive プロトイベントフックの無効なキュー名と同期の問題。
バックポート	HIVE-20367: ベクトル化: PTF AVG、MAX、MIN、SUM のストリーミングのサポート
バックポート	HIVE-20366: TPC-DS query78 の is null フィルターの統計推定値がずれている
バックポート	HIVE-20364: hive.map.aggr.hash.min.reduction デフォルトをアップデート

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20352: ベクトル化: グループ化関数をサポート
バックポート	HIVE-20347: hive.optimize.sort.dynamic.partition はパーティション化された CTAS と MV で動作する必要がある
バックポート	HIVE-20345: 別の呼び出しからテーブルが削除されると、Drop database がハングアップすることがある
バックポート	HIVE-20343: Hive 3: CTAS は transactional_properties を考慮しない
バックポート	HIVE-20340: タイムスタンプ関数の出力を Strin として使用する場合、Druid はタイムスタンプから文字列への明示的な CAST を必要とする
バックポート	HIVE-20339: ベクトル化: RANK を持つ一部の PTF がベクトル化されない原因となっている不要な制限を解除する
バックポート	HIVE-20337: CachedStore: getPartitionsByExpr がパーティションリストに正しく入力されていない
バックポート	HIVE-20336: マテリアライズドビューのマスキングポリシーとフィルタリングポリシー
バックポート	HIVE-20326: NO RELY の代わりに RELY をデフォルトとして制約を作成
バックポート	HIVE-20321: ベクトル化: VectorHashKeyWrapper の 1 列のメモリサイズを 1 CacheLine 未満に削減

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20320: hive.optimize.remove.sq_count_check フラグをオンにする
バックポート	HIVE-20315: ベクトル化: NULL/誤った結果に関する問題をさらに修正し、不要なキャスト/変換を回避
バックポート	HIVE-20314: マテリアライズドビューの書き換えにパーティションプルーニングを含める
バックポート	HIVE-20312: arrow クライアントが LlapOutputFormatService で独自の BufferAllocator を使用できるようにする
バックポート	HIVE-20302: LLAP: IO でのベクトル化されていない実行では、ROW_ID を含む仮想列が無視される
バックポート	HIVE-20300: VectorFileSinkArrowOperator
バックポート	HIVE-20299: LLAP 署名者ユニットテストにおける競合の可能性
バックポート	HIVE-20296: HivePointLookupOptimizerRule を改善して、より高度なコンテキストから抽出を可能にした
バックポート	HIVE-20294: ベクトル化: COALESCE/ELT における NULL/間違った結果の問題を修正
バックポート	HIVE-20292: 主制約が定義されている tpcds query93 の結合順序が正しくない
バックポート	HIVE-20290: ArrowColumnarBatchSerDe を遅延初期化して、GetSplits 中にバッファを割り当てないようにする

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20281: SharedWorkOptimizer が「operator cache contents and actual plan differ」エラーで失敗する
バックポート	HIVE-20277: ベクトル化: BOOLEAN を返すケース式は FILTER ではサポートされていない
バックポート	HIVE-20267: WebUI を拡張してログレベルを動的に設定するフォームを含める
バックポート	HIVE-20263: HiveReduceExpressionsWithStatsRule 変数のタイプミス
バックポート	HIVE-20260: 別の列のフィルターによって行数が変更された場合、列の NDV をスケールしてはならない
バックポート	HIVE-20252: Semijoin 削減: 小さいテーブル側の上流にマップ結合があると、セミ結合ブランチによるサイクルが検出されないままになることがある。
バックポート	HIVE-20245: ベクトル化: BETWEEN/IN の NULL/間違った結果の問題を修正
バックポート	HIVE-20241: CTAS ステートメントのパーティショニング仕様をサポート
バックポート	HIVE-20240: Semijoin 削減: ローカル変数を使用して外部テーブル条件をチェック
バックポート	HIVE-20226: リクエストの maxEvents がテーブルの max_rows を超えると、HMS getNextNotification が例外をスローする
バックポート	HIVE-20225: SerDe が Teradata バイナリ形式をサポート

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20213: Calcite を 1.17.0 にアップグレード
バックポート	HIVE-20212: http モードの Hiveserver2 がメトリック default.General.open_connections を誤って出力する
バックポート	HIVE-20210: 非パーティション列のフィルターと変換が最小限の場合、シンプルなフェッチオプティマイザーが MapReduce につながる
バックポート	HIVE-20209: repl ダンプでの最初の試行でメタストア接続が失敗する
バックポート	HIVE-20207: ベクトル化: フィルター/比較での NULL/間違った結果の問題を修正
バックポート	HIVE-20204: IN 時の型変換
バックポート	HIVE-20203: Arrow SerDe が DirectByteBuffer をリークする
バックポート	HIVE-20197: ベクトル化: DECIMAL_64 テストの追加、日付/間隔/タイムスタンプ算術の追加、および GROUP BY 集計機能の追加
バックポート	HIVE-20193: 説明プランの JSON に cboInfo がない
バックポート	HIVE-20192: メタストアが埋め込まれた HS2 から JDOPersistenceManager オブジェクトがリークする
バックポート	HIVE-20183: ソーステーブルに空のバケットが含まれている場合、バケット化されたテーブルから挿入するとデータが失われる可能性がある

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20177: ベクトル化: GroupBy ストリーミングモードでの KeyWrapper 割り当ての削減
バックポート	HIVE-20174: ベクトル化: GROUP BY 集計関数における NULL/誤った結果の問題を修正
バックポート	HIVE-20172: StatsUpdater がリモートメタストアに接続しようとしたときに GSS 例外が発生して失敗した
バックポート	HIVE-20153: Hive 2 以上で UDF をカウントして合計するとメモリ消費量が増える
バックポート	HIVE-20152: repl ダンプが失敗したときにデータベースの状態をリセットし、テーブルの名前を変更できるようにする
バックポート	HIVE-20149: TestHiveCli の失敗/タイムアウト
バックポート	HIVE-20130: 情報スキーマシンクロナイザーのロギングの改善
バックポート	HIVE-20129: orc テーブルについてポジションベースのスキーマ進化に戻す
バックポート	HIVE-20118: SessionStateUserAuthenticator.getGroupNames
バックポート	HIVE-20116: TezTask はペアレントロガーを使用している
バックポート	HIVE-20115: Acid テーブルは分析にフッタースキャンを使うべきではない
バックポート	HIVE-20103: WM: 少なくとも 1 つを使用している場合のみ DAG カウンターを集約する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20101: BloomKFilter: ローカルの byte[] 配列を使用することは完全に避ける
バックポート	HIVE-20100: OpTraits: 不一致が検出された場合は Optraits の選択を停止する必要がある
バックポート	HIVE-20098: 統計: 日付列のパーティション統計を取得する場合の NPE
バックポート	HIVE-20095: jdbc 外部テーブルに計算をプッシュする機能を修正
バックポート	HIVE-20093: LlapOutputFomatService: アカウンティングには Netty で ArrowBuf を使用する
バックポート	HIVE-20090: semijoin 削減フィルターの作成を拡張して新しいオポチュニティを発見できるようにする
バックポート	HIVE-20088: Beeline コンフィグのロケーションパスが正しくアセンブルされていない
バックポート	HIVE-20082: HiveDecimal を文字列に変換しても、10 進数が正しくフォーマットされない
バックポート	HIVE-20069: DPP と Semijoin の最適化の場合の再最適化を修正
バックポート	HIVE-20051: 一時テーブルの認可をスキップする
バックポート	HIVE-20044: Arrow Serde は文字値を埋め、空の文字列を正しく処理する必要がある
バックポート	HIVE-20028: メタストアクライアントのキャッシュ設定が正しく使用されていない

タイプ	説明
バックポート	HIVE-20025: HiveProtoLoggingHook によって作成されたイベントファイルのクリーンアップ
バックポート	HIVE-20020: Hive contrib jar はライブラリにあってはいけない
バックポート	HIVE-20013: to_date 関数の日付型への暗黙的なキャストを追加
バックポート	HIVE-20011: プロトロギングフックの追加モードから離れる
バックポート	HIVE-20005: acid_table_stats、acid_no_buckets など - ブランチでのクエリ結果の変更
バックポート	HIVE-20004: ConvertDecimal64ToDecimal で間違ったスケールを使用すると、結果が不正確になる
バックポート	HIVE-19995: acid テーブルの行トラフィックを集計する
バックポート	HIVE-19993: 列名としても表示されるテーブルエイリアスは使用できない
バックポート	HIVE-19992: ベクトル化: HIVE-19951 に続いて--> SchemaEvolution.isOnlyImplicitConversion への呼び出しを追加して、データ型変換が暗黙的ではない場合にのみ ORC のエンコードされた LLAP I/O を無効にする
バックポート	HIVE-19989: メタストアが HADOOP2 メトリクスに間違ったアプリケーション名を使用する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-19981: HiveStrictManagedMigration ユーティリティによって外部テーブルに変換された管理テーブルは、テーブルがドロップされたときにデータを削除するように設定する必要がある
バックポート	HIVE-19967: SMB Join: PTFOperator ala GBY Op に Optraits が必要
バックポート	HIVE-19935: Hive WM セッションが強制終了された: LLAP タスクカウントを更新できなかった
バックポート	HIVE-19924: Repl Load によって実行される distcp ジョブにタグを付ける
バックポート	HIVE-19891: カスタムパーティションディレクトリを含む外部テーブルに挿入すると、データが失われる可能性がある
バックポート	HIVE-19850: Tez の動的パーティションプルーニングにより、「No work found for tablescan 」というエラーが発生する
バックポート	HIVE-19806: qtests の出力をソートしてテスト結果が不安定にならないようにする
バックポート	HIVE-19770: select に同じ列が複数あるクエリの CBO の Support
バックポート	HIVE-19769: データベースとテーブル名専用のオブジェクトを作成する
バックポート	HIVE-19765: BlobstoreCliDriver に Parquet 固有のテストを追加

タイプ	説明
バックポート	HIVE-19759: フレーキーテスト: TestRpc#testServerPort
バックポート	HIVE-19711: Hive スキーマツールのリファクタリング
バックポート	HIVE-19701: getDelegationTokenFromMetaStore は同期させる必要がない
バックポート	HIVE-19694: マテリアライズドビューの作成ステートメントは、MV の SQL ステートメントを実行する前に MV 名の競合をチェックする必要がある。
バックポート	HIVE-19674: Group by 10 進定数が Druid テーブルにプッシュダウンする
バックポート	HIVE-19668: org.antlr.runtime.CommonToken の重複と文字列の重複により、ヒープの 30% 以上が無駄になる
バックポート	HIVE-19663: LLAP IO レポート生成のリファクタリング
バックポート	HIVE-19661: Hive UDF を Re2J 正規表現エンジンを使用するように切り替える
バックポート	HIVE-19628: LLAP testSigning で NPE が発生する可能性がある
バックポート	HIVE-19568: アクティブ/パッシブ HS2 HA: パッシブ HS2 インスタンスへの直接接続を許可しない
バックポート	HIVE-19564: ベクトル化: 算術での NULL/誤った結果の問題を修正

タイプ	説明
バックポート	HIVE-19552: TestMiniDruidKafkaCliDriver #druidkafkamini_basic.q を有効にする
バックポート	HIVE-19432: hive に含まれるデータベースとテーブルの数が多すぎると、GetTablesOperation が遅すぎる
バックポート	HIVE-19360: CBO: 「optimizedSQL」を QueryPlan オブジェクトに追加
バックポート	HIVE-19326: 統計の自動収集: UNION クエリ中の集計が正しくない
バックポート	HIVE-19313: TestJdbcWithDBTokenStoreNoDoAs テストが失敗する
バックポート	HIVE-19285: MetaDataOperation のサブクラスにログを追加
バックポート	HIVE-19235: Minimr テストのゴールデンファイルを更新
バックポート	HIVE-19104: テスト MetaStore をリトライで起動する場合、インスタンスは独立している必要がある
バックポート	HIVE-18986: テーブルに多数の列が含まれている場合、テーブルの名前を変更すると dataNucleus で java.lang.StackOverflowError が実行される
バックポート	HIVE-18920: CBO: 最初のクエリの前に Janino プロバイダーを初期化する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-18873: HiveInputFormat で MR の述語プッシュダウンをサイレントにスキップすると、ストレージハンドラーが誤った結果を生成することがある
バックポート	HIVE-18871: hive.aux.jars.path を hdfs:// に設定したために hive on tez 実行エラーが発生する
バックポート	HIVE-18725: 列参照が間違っている場合のサブクエリのエラー処理を改善
バックポート	HIVE-18696: 例外が発生した場合、HiveMetaStore.add_partitions_core メソッドでパーティションフォルダが正しくクリーンアップされないことがある
バックポート	HIVE-18453: ACID: ACID ORC と Parquet のサポートを統一するために「CREATE TRANSACTIONAL TABLE」構文を追加
バックポート	HIVE-18201: sq_count_chec の XPROD_EDGE を無効にする
バックポート	HIVE-18140: 基本統計が混在していると、パーティションテーブルの統計が間違ってしまうことがある
バックポート	HIVE-17921: LLAP で構造体を使って集計すると間違った結果になる
バックポート	HIVE-17896: TopNKey: ベクトル化可能なスタンドアロンの TopNKey 演算子を作成する
バックポート	HIVE-17840: transactionalListeners.notifyEvent が失敗した場合 HiveMetaStore は例外を受け取る

タイプ	説明
バックポート	HIVE-17043: 後で参照されない場合、一意でない列を group by キーから削除する
バックポート	HIVE-17040: FK リレーションシップが存在する場合の Join 削除
バックポート	HIVE-16839: 同じパーティションを同時に変更したときの openTransaction/commitTransaction の呼び出しが不均衡になる
バックポート	HIVE-16100: 動的ソートパーティションオプティマイザが兄弟演算子を失う
バックポート	HIVE-15956: 大量のパーティションをドロップした場合の StackOverflowError
バックポート	HIVE-15177: Kerberos 認証タイプが fromSubject に設定されていて、プリンシパルに _HOST が含まれていると、hive による認証が失敗する
バックポート	HIVE-14898: HS2 は空の認証ヘッダーエラーのコールスタックをログに記録すべきでない
バックポート	HIVE-14493: マテリアライズドビューのパーティショニングサポート
バックポート	HIVE-14431: COALESCE を CASE として認識する
バックポート	HIVE-13457: モニタリング情報用の HS2 REST API エンドポイントを作成する
バックポート	HIVE-12342: hive.optimize.index.filter のデフォルト値を true に設定
バックポート	HIVE-10296: hive がメタストアでマルチ結合クエリを実行するとキャスト例外が発生する

タイプ	説明
バックポート	HIVE-6980: ダイレクト SQL を使用してテーブルをドロップする

Amazon EMR 6.6.0 - Hive 設定の変更点

- OSS 変更 HIVE-20703 の一環として、動的パーティションをソートするプロパティ `hive.optimize.sort.dynamic.partition` が `hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` に置き換えられました。

  `hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` 構成には次のような潜在的な値があります。

値	説明
`0` (デフォルト)	ORC ファイルを使用する際に、動的パーティションのソートの最適化をコストベースで決定できるようにします。INSERT クエリで許可されるライターの最大数は、(エグゼキューター/コンテナメモリ) * (orc が使用するメモリの割合) を単一のライターが使用する最大メモリ (ストライプサイズ) で割って計算されます。
`-1`	動的パーティションを完全にソートする最適化を無効にします。
`1`	動的パーティションのグローバルソートを有効にします。これにより、リデューサー内のパーティション値ごとに 1 つのレコードライターのみが開いたままになるため、リデューサーにかかるメモリ負荷が軽減されます。
`2` (またはそれより大きい整数)	指定された整数をライターの最大数のしきい値として使用するよう Hive に指示します。

Amazon EMR 6.6.0 - Hive の既知の問題

- join と同じ列にウィンドウ関数があるクエリは、HIVE-25278 で報告されているように無効な変換を引き起こし、誤った結果やクエリ失敗の原因となることがあります。回避策として、このような

クエリのクエリレベルで CBO を無効にすることができます。詳細については、 AWS サポートにお問い合わせください。

- Amazon EMR 6.6.0 には Hive ソフトウェアバージョン 3.1.2 が含まれています。Hive 3.1.2 では、テキストファイルにヘッダーとフッターが含まれている場合にテキストファイルを分割する機能が導入されています (HIVE-21924)。Apache Tez App Master は各ファイルを読み取り、データ範囲内のオフセットポイントを決定します。クエリで大量の小さなテキストファイルが読み込まれる場合、これらの動作が組み合わさるとパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性があります。回避策として、`CombineHiveInputFormat` を使用し、以下のプロパティを設定して最大分割サイズを調整してください。

```
SET hive.tez.input.format=org.apache.hadoop.hive.ql.io.CombineHiveInputFormat;
SET mapreduce.input.fileinputformat.split.maxsize=16777216;
```

- Amazon EMR 6.6.0 から 6.9.x では、動的パーティションと ORDER BY 句または SORT BY 句を使用した INSERT クエリには常に 2 つのリデューサーがあります。この問題は、OSS が変更された HIVE-20703 が原因です。これにより、動的ソートパーティションの最適化がコストベースの決定下に置かれます。ワークロードで動的パーティションのソートが不要な場合は、`hive.optimize.sort.dynamic.partition.threshold` プロパティを `-1` に設定して新機能を無効にし、リデューサーの数を正しく計算することをお勧めします。この問題は、HIVE-22269 の一部として OSS Hive で修正され、Amazon EMR 6.10.0 で修正されています。

Hudi

Apache Hudi は、増分データの処理とデータパイプラインの開発をシンプルにするオープンソースのデータ管理フレームワークであり、レコードレベルの挿入、更新、アップサート、および削除機能を備えています。アップサートとは、既存のデータセットにレコードがまだ存在しない場合は挿入し、存在する場合は更新する機能を指します。Amazon S3 でのデータのレイアウト方法を効率的に管理することで、Hudi はデータをほぼリアルタイムで取り込んで更新できます。Hudi は、データセットに対して実行されたアクションのメタデータをきめ細かく管理して、アクションをアトミックで整合性のある状態にするのに役立ちます。

Hudi は、Apache Spark、Apache Hive、および Presto と統合されています。Amazon EMR リリースバージョン 6.1.0 以降では、Hudi は Trino (PrestoSQL) とも統合されています。

Amazon EMR リリースバージョン 5.28.0 以降では、EMR は Spark、Hive、Presto、または Flink のインストール時に、デフォルトで Hudi コンポーネントをインストールします。Spark または Hudi DeltaStreamer ユーティリティを使用して、Hudi データセットを作成したり更新したりできます。Hive、Spark、Presto、または Flink を使用して、Hudi データセットをインタラクティブにクエリしたり、増分プルを使用してデータ処理パイプラインを構築したりできます。増分プルとは、2 つのアクション間で変更されたデータのみをプルする機能を指します。

これらの機能により、Hudi は以下のユースケースに適しています。

- 特定のデータの挿入および更新イベントを必要とするセンサーやその他のモノのインターネット (IoT) デバイスからのストリーミングデータを操作する。
- ユーザーがデータの使用方法について忘れたり、同意を変更したりする可能性のあるアプリケーションのデータプライバシー規制を遵守する。
- 経時的に変更をデータセットに適用できる変更データキャプチャ (CDC) システムを実装する。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Hudi のバージョンと、Amazon EMR で Hudi と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hudi と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Hudi バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Hudi 0.15.0-amzn-6	Not available.

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Hudi のバージョンと、Amazon EMR で Hudi と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hudi と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Hudi バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Hudi 0.14.0-amzn-0	Not available.

> **Note**
>
> Amazon EMR リリース 6.8.0 には Apache Hudi 0.11.1 が付属していますが、Amazon EMR 6.8.0 クラスターは Hudi 0.12.0 のオープンソース `hudi-spark3.3-bundle_2.12` とも互換性があります。

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Hudi のバージョンと、Amazon EMR で Hudi と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hudi と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Hudi バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Hudi 0.10.1-amzn-1	Not available.

トピック

Hudi の仕組み

Amazon EMR で Hudi を使用する場合、Spark Data Source API または Hudi DeltaStreamer ユーティリティを使用して、データセットにデータを書き込むことができます。Hudi は、*basepath* の下で、従来の Hive テーブルに似たパーティション分割されたディレクトリ構造にデータセットを編成します。これらのディレクトリ内のファイルとしてのデータのレイアウト方法の詳細は、選択したデータセットタイプによって異なります。書き込み時コピー (CoW) または読み取り時マージ (MoR) を選択できます。

データセットタイプにかかわらず、データセット内の各パーティションは `basepath` に対する `partitionpath` によって一意に識別されます。各パーティション内で、レコードは複数のデータファイルに分散されます。詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「File management」を参照してください。

Hudi の各アクションには、対応するコミットがあり、インスタントと呼ばれる単調に増加するタイムスタンプで識別されます。Hudi は、データセットに対して実行された一連のすべてのアクションをタイムラインとして保持します。Hudi は、タイムラインを使用して、読み取り側と書き込み側のスナップショット分離を提供し、前の時点にロールバックできるようにします。Hudi が記録するアクションとアクションの状態の詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「タイムライン」を参照してください。

データセットストレージタイプについて: 書き込み時にコピーおよび読み取り時にマージ

Hudi データセットを作成するときに、データセットが書き込み時コピーであるか読み取り時マージであるかを指定します。

- 書き込み時コピー (CoW) – データは列形式 (Parquet) で保存され、更新ごとに書き込み中にファイルの新しいバージョンが作成されます。CoW はデフォルトのストレージタイプです。
- 読み取り時マージ (MoR) – データは、列形式 (Parquet) 形式と行形式 (Avro) の組み合わせを使用して保存されます。更新は、行形式の差分ファイルに記録され、必要に応じて圧縮されて、新しいバージョンの列形式のファイルが作成されます。

CoW データセットでは、レコードが更新されるたびに、そのレコードを含むファイルが更新された値で書き換えられます。MoR データセットでは、更新があるたびに、Hudi によって変更されたレコードの行のみが書き込まれます。MoR は、読み取りが少なく書き込みまたは変更が多いワークロードに適しています。CoW は、頻繁に変更されないデータの読み取りが多いワークロードに適しています。

Hudi は、データにアクセスするための 3 つの論理ビューを提供します。

- 読み取り最適化ビュー – CoW テーブルからの最新のコミットされたデータセットと、MoR テーブルからの最新の圧縮されたデータセットを提供します。
- 増分ビュー – CoW データセットからの 2 つのアクション間の変更ストリームを、ダウンストリームジョブと ETL (抽出、変換、ロード) ワークフローのフィード用に提供します。
- リアルタイムビュー – 列形式のファイルと行形式のファイルをインラインでマージすることで、MoR テーブルからの最新のコミットされたデータを提供します。

読み取り最適化ビューをクエリすると、クエリからすべての圧縮されたデータが返されますが、このデータには最新の差分コミットは含まれていません。このデータをクエリすると、読み取りパフォーマンスは向上しますが、最新のデータは省かれています。リアルタイムビューをクエリすると、圧縮されたデータが Hudi によって読み取り時に差分コミットにマージされます。最新のデータがクエリに使用可能になりますが、マージのコンピューティングオーバーヘッドにより、クエリのパフォーマンスが低下します。圧縮されたデータまたはリアルタイムデータのいずれかをクエリする機能では、クエリ時にパフォーマンスと柔軟性のどちらを優先させるかを選択できます。

ストレージタイプ間での優先項目の選択の詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「Storage Types & Views」を参照してください。

Hudi は MoR のために、Hive Metastore に 2 つのテーブルを作成します。ひとつは読み込み最適化ビューで使用するための、ユーザーが指定したテーブルです。もうひとつはリアルタイムビューで使用するための、同名テーブルの末尾に `_rt` が付与されたテーブルです。両方のテーブルをクエリできます。

メタストアへの Hudi データセットの登録

Hudi テーブルを Hive メタストアに登録すると、他のテーブルと同様に、Hive、Spark SQL、または Presto を使用して Hudi テーブルをクエリできます。さらに、 Glue データカタログ AWS をメタストアとして使用するように Hive と Spark を設定することで、Hudi を AWS Glue と統合できます。MoR テーブルの場合、Hudi はデータセットをメタストアの 2 つのテーブルとして登録します。それらは、指定した名前のテーブル (読み取り最適化ビュー) と、同じ名前で `_rt` を付加したテーブル (リアルタイムビュー) です。

Spark を使用して Hudi データセットを作成するときに、Hudi テーブルを Hive メタストアに登録します。そのためには、`HIVE_SYNC_ENABLED_OPT_KEY` オプションを `"true"` に設定し、他の必要なプロパティを指定します。詳細については、「Hudi データセットを操作する」を参照してください。さらに、hive_sync_tool コマンドラインユーティリティを使用して、Hudi データセットを個別にテーブルとしてメタストアに登録できます。

Amazon EMR で Hudi を使用する際の考慮事項と制限事項

- レコードキーフィールドを null または空にすることはできない - レコードキーフィールドとして指定するフィールドには、`null` または空の値を指定できません。
- upsert および insert でスキーマがデフォルトで更新される — Hudi にはインターフェイス `HoodieRecordPayload` が備わっており、これにより、入力 DataFrame と既存の Hudi データセットをマージして、新しい更新されたデータセットを生成する方法が決定されます。Hudi には、このクラスのデフォルト実装 `OverwriteWithLatestAvroPayload` があります。これにより、入力 DataFrame で指定されているように既存のレコードが上書きされ、スキーマが更新されます。マージおよび部分的な更新を実装するためにこのロジックをカスタマイズするには、`DataSourceWriteOptions.PAYLOAD_CLASS_OPT_KEY` パラメータを使用して `HoodieRecordPayload` インターフェイスの実装を提供できます。
- 削除にはスキーマが必要 - 削除するときは、レコードキー、パーティションキー、事前結合キーのフィールドを指定する必要があります。他の列は `null` または空にすることができますが、完全なスキーマが必要です。
- MoR テーブルの制限 — MOR テーブルではセーブポイントはサポートされていません。Spark SQL、Presto、または Hive から、読み取り最適化ビューまたはリアルタイムビュー (*`tableName`*`_rt`) を使用して MoR テーブルをクエリできます。読み取り最適化ビューを使用した場合、ベースファイルデータのみが公開され、ベースデータとログデータのマージされたビューは公開されません。
- [Hive]

  - テーブルを Hive メタストアに登録する場合、Hudi では、Hive Thrift サーバーがデフォルトのポート 10000 で実行されていると想定されます。このポートをカスタムポートで上書きする場合は、以下の例に示すように HIVE_URL_OPT_KEY オプションを渡します。

```
.option(DataSourceWriteOptions.HIVE_URL_OPT_KEY, "jdbc:hive2://localhost:override-port-number
```

  - Spark の timestamp データ型は、Hive の timestamp 型としてではなく、Hive の long データ型として登録されます。

- Presto
  - Presto では、Hudi バージョン 0.6.0 未満の場合、MoR リアルタイムテーブルの読み取りはサポートされていません。
  - Presto は、スナップショットクエリのみをサポートしています。
  - Presto で Hudi データセット列が正しく解釈されるためには、hive.parquet_use_column_names 値を true に設定します。
    - セッションの値を設定するには、Presto シェルで以下のコマンドを実行します。

```
set session hive.parquet_use_column_names=true
```

    - クラスターレベルで値を設定するには、以下の例に示すように、presto-connector-hive 設定分類を使用して hive.parquet.use_column_names を true に設定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

```
[
  {
    "Classification": "presto-connector-hive",
    "Properties": {
      "hive.parquet.use-column-names": "true"
    }
  }
]
```

- HBase インデックス
  - Hudi の構築に使用した HBase のバージョンが、EMR リリースガイドに記載されているバージョンと異なる場合があります。Spark セッションに対して正しい依存関係をプルインするには、次のコマンドを実行します。

```
spark-shell \
```

```
--jars /usr/lib/spark/external/lib/spark-avro.jar,/usr/lib/hudi/cli/lib/*.jar \
--conf "spark.serializer=org.apache.spark.serializer.KryoSerializer" \
--conf "spark.sql.hive.convertMetastoreParquet=false"
```

- 最高のパフォーマンスのための設定 – EMR 7.3+/Hudi 0.15+ では、Kryo シリアル化のオーバーヘッドを減らすために、この設定を設定することをお勧めします。

```
--conf 'spark.kryo.registrator=org.apache.spark.HoodieKryoRegistrar'
```

> **Note**
>
> EMR Serverless できめ細かなアクセスコントロール (FGAC) を使用している場合、ユーザーは KryoSerializer ではなく JavaSerializer を使用する必要があるため、この設定は必要ありません。 KryoSerializer

Hudi がインストールされたクラスターを作成する

Amazon EMR リリースバージョン 5.28.0 以降では、Amazon EMR は Spark、Hive、または Presto のインストール時に、デフォルトで Hudi コンポーネントをインストールします。Amazon EMR で Hudi を使用するには、1 つまたは複数の以下のアプリケーションがインストールされたクラスターを作成します。

- Hadoop
- [Hive]
- Spark
- Presto
- Flink

クラスターは、 AWS Management Console、、 AWS CLIまたは Amazon EMR API を使用して作成できます。

を使用して Hudi でクラスターを作成するには AWS Management Console

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。

2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [Software Configuration] (ソフトウェア設定) の [Release] (リリース) で emr-5.28.0 以降を選択し、[Hadoop]、[Hive]、[Spark]、[Presto]、[Tez] と、クラスターに必要なその他のアプリケーションを選択します。
4. アプリケーションに必要な他のオプションを設定し、[Next (次へ)] を選択します。
5. 必要に応じて、[ハードウェア] と [General cluster settings (全般クラスター設定)] のオプションを設定します。
6. [Security Options (セキュリティオプション)] で、マスターノードのコマンドラインへの SSH による接続に使用できる [EC2 キーペア] を選択することをお勧めします。これにより、このガイドで説明されている Spark シェルコマンド、Hive CLI コマンド、Hudi CLI コマンドを実行できます。
7. 必要に応じて他のセキュリティオプションを選択し、[クラスターの作成] を選択します。

Hudi データセットを操作する

Hudi は、Spark を介した Hudi データセットのデータの挿入、更新、削除をサポートしています。詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「Writing Hudi Tables」を参照してください。

以下の例では、インタラクティブな Spark シェルを起動し、Spark submit を使用するか、Amazon EMR Notebooks を使用して、Amazon EMR で Hudi を操作する方法を示しています。Hudi DeltaStreamer ユーティリティまたは他のツールを使用して、データセットに書き込むこともできます。このセクション全体を通して、例では、デフォルトの hadoop ユーザーとして、SSH を使用してマスターノードに接続しながら、Spark シェルを使用してデータセットを操作する方法を示しています。

Amazon EMR 6.7 以降を使用して Spark シェルを起動する

Amazon EMR 6.7.0 以降を使用して、`spark-shell`、`spark-submit`、または `spark-sql` を実行している場合は、次のコマンドを渡します。

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.7.0 は Apache Hudi 0.11.0-amzn-0 を使用していますが、これは以前の Hudi バージョンよりも大幅に改善されています。詳細については、「Apache Hudi 0.11.0

Migration Guide」を参照してください。このタブの例にはこれらの変更が反映されています。

プライマリノードで Spark シェルを開くには

1. SSH を使用してプライマリノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。
2. 以下のコマンドを入力して、Spark シェルを起動します。PySpark shell を使用するには、*spark-shell* を *pyspark* に置き換えてください。

```
spark-shell --jars /usr/lib/hudi/hudi-spark-bundle.jar \
--conf "spark.serializer=org.apache.spark.serializer.KryoSerializer" \
--conf
 "spark.sql.catalog.spark_catalog=org.apache.spark.sql.hudi.catalog.HoodieCatalog"
 \
--conf "spark.sql.extensions=org.apache.spark.sql.hudi.HoodieSparkSessionExtension"
```

Amazon EMR 6.6 以前を使用して Spark シェルを起動する

Amazon EMR 6.6.x 以前を使用して、`spark-shell`、`spark-submit`、または `spark-sql` を実行している場合は、次のコマンドを渡します。

Note

- Amazon EMR 6.2 および 5.31 以降 (Hudi 0.6.x 以降) では、`spark-avro.jar` を設定から省略できます。
- Amazon EMR 6.5 および 5.35 以降 (Hudi 0.9.x 以降) では、`spark.sql.hive.convertMetastoreParquet=false` を設定から省略できます。
- Amazon EMR 6.6 および 5.36 以降 (Hudi 0.10.x 以降) には、「Version: 0.10.0 Spark Guide」に記載されている `HoodieSparkSessionExtension` 設定が含まれている必要があります。

```
--conf
 "spark.sql.extensions=org.apache.spark.sql.hudi.HoodieSparkSessionExtension"
 \
```

プライマリノードで Spark シェルを開くには

1. SSH を使用してプライマリノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してプライマリノードに接続する」を参照してください。
2. 以下のコマンドを入力して、Spark シェルを起動します。PySpark shell を使用するには、*spark-shell* を *pyspark* に置き換えてください。

```
spark-shell \
--conf "spark.serializer=org.apache.spark.serializer.KryoSerializer" \
--conf "spark.sql.hive.convertMetastoreParquet=false" \
--jars /usr/lib/hudi/hudi-spark-bundle.jar,/usr/lib/spark/external/lib/spark-
avro.jar
```

Amazon EMR 6.7 以降を使用する Amazon EMR Notebooks で Hudi を使用する

Amazon EMR Notebooks で Hudi を使用するには、まずローカルファイルシステムから Hudi jar ファイルをノートブッククラスターのマスターノードの HDFS にコピーする必要があります。次に、ノートブックエディタで、Hudi を使用するように EMR notebook を設定します。

Amazon EMR Notebooks で Hudi を使用するには

1. Amazon EMR Notebooks 用のクラスターを作成して起動します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ノートブックの Amazon EMR クラスターの作成」を参照してください。
2. SSH を使用してクラスターのマスターノードに接続し、以下の例に示すようにローカルファイルシステムから HDFS に jar ファイルをコピーします。この例では、ファイルの管理をわかりやすくするために、HDFS にディレクトリを作成しています。必要に応じて、HDFS で独自のターゲットを選択できます。

```
hdfs dfs -mkdir -p /apps/hudi/lib
```

```
hdfs dfs -copyFromLocal /usr/lib/hudi/hudi-spark-bundle.jar /apps/hudi/lib/hudi-
spark-bundle.jar
```

3. ノートブックエディタを開き、以下の例のコードを入力して実行します。

```
%%configure
{ "conf": {
            "spark.jars":"hdfs:///apps/hudi/lib/hudi-spark-bundle.jar",
            "spark.serializer":"org.apache.spark.serializer.KryoSerializer",
            "spark.sql.catalog.spark_catalog":
 "org.apache.spark.sql.hudi.catalog.HoodieCatalog",

 "spark.sql.extensions":"org.apache.spark.sql.hudi.HoodieSparkSessionExtension"
          }}
```

Amazon EMR 6.6 以前を使用する Amazon EMR Notebooks で Hudi を使用する

Amazon EMR Notebooks で Hudi を使用するには、まずローカルファイルシステムから Hudi jar ファイルをノートブッククラスターのマスターノードの HDFS にコピーする必要があります。次に、ノートブックエディタで、Hudi を使用するように EMR notebook を設定します。

Amazon EMR Notebooks で Hudi を使用するには

1. Amazon EMR Notebooks 用のクラスターを作成して起動します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ノートブックの Amazon EMR クラスターの作成」を参照してください。
2. SSH を使用してクラスターのマスターノードに接続し、以下の例に示すようにローカルファイルシステムから HDFS に jar ファイルをコピーします。この例では、ファイルの管理をわかりやすくするために、HDFS にディレクトリを作成しています。必要に応じて、HDFS で独自のターゲットを選択できます。

```
hdfs dfs -mkdir -p /apps/hudi/lib
```

```
hdfs dfs -copyFromLocal /usr/lib/hudi/hudi-spark-bundle.jar /apps/hudi/lib/hudi-
spark-bundle.jar
```

```
hdfs dfs -copyFromLocal /usr/lib/spark/external/lib/spark-avro.jar /apps/hudi/lib/
spark-avro.jar
```

3. ノートブックエディタを開き、以下の例のコードを入力して実行します。

```
{ "conf": {
            "spark.jars":"hdfs:///apps/hudi/lib/hudi-spark-bundle.jar,hdfs:///apps/
hudi/lib/spark-avro.jar",
            "spark.serializer":"org.apache.spark.serializer.KryoSerializer",
            "spark.sql.hive.convertMetastoreParquet":"false"
          }}
```

Hudi の Spark セッションを初期化する

Scala を使用する場合、Spark セッションで次のクラスをインポートする必要があります。この操作は、Spark セッションごとに 1 回行う必要があります。

```
import org.apache.spark.sql.SaveMode
import org.apache.spark.sql.functions._
import org.apache.hudi.DataSourceWriteOptions
import org.apache.hudi.DataSourceReadOptions
import org.apache.hudi.config.HoodieWriteConfig
import org.apache.hudi.hive.MultiPartKeysValueExtractor
import org.apache.hudi.hive.HiveSyncConfig
import org.apache.hudi.sync.common.HoodieSyncConfig
```

Hudi データセットに書き込む

以下の例では、DataFrame を作成し、それを Hudi データセットとして書き込む方法を示しています。

> **Note**
>
> コードサンプルを Spark シェルに貼り付けるには、プロンプトで「**`:paste`**」と入力し、例を貼り付けて、**`CTRL`** + **`D`** を押します。

DataFrame を Hudi データセットに書き込むたびに、`DataSourceWriteOptions` を指定する必要があります。これらのオプションの多くは、書き込みオペレーション間で共通することがよくありま

す。この例では、*hudiOptions* 変数を使用して、後続の例でも使用する共通のオプションを指定しています。

Amazon EMR 6.7 以降で Scala を使用する場合の書き込み

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.7.0 は Apache Hudi 0.11.0-amzn-0 を使用していますが、これは以前の Hudi バージョンよりも大幅に改善されています。詳細については、「Apache Hudi 0.11.0 Migration Guide」を参照してください。このタブの例にはこれらの変更が反映されています。

```
// Create a DataFrame
val inputDF = Seq(
 ("100", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
 ("101", "2015-01-01", "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
 ("102", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
 ("103", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.519832Z"),
 ("104", "2015-01-02", "2015-01-01T12:15:00.512679Z"),
 ("105", "2015-01-02", "2015-01-01T13:51:42.248818Z")
 ).toDF("id", "creation_date", "last_update_time")

//Specify common DataSourceWriteOptions in the single hudiOptions variable
val hudiOptions = Map[String,String](
  HoodieWriteConfig.TBL_NAME.key -> "tableName",
  DataSourceWriteOptions.TABLE_TYPE.key -> "COPY_ON_WRITE",
  DataSourceWriteOptions.RECORDKEY_FIELD_OPT_KEY -> "id",
  DataSourceWriteOptions.PARTITIONPATH_FIELD_OPT_KEY -> "creation_date",
  DataSourceWriteOptions.PRECOMBINE_FIELD_OPT_KEY -> "last_update_time",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_SYNC_ENABLED_OPT_KEY -> "true",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_TABLE_OPT_KEY -> "tableName",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_PARTITION_FIELDS_OPT_KEY -> "creation_date",
  HoodieSyncConfig.META_SYNC_PARTITION_EXTRACTOR_CLASS.key ->
 "org.apache.hudi.hive.MultiPartKeysValueExtractor",
  HoodieSyncConfig.META_SYNC_ENABLED.key -> "true",
  HiveSyncConfig.HIVE_SYNC_MODE.key -> "hms",
  HoodieSyncConfig.META_SYNC_TABLE_NAME.key -> "tableName",
  HoodieSyncConfig.META_SYNC_PARTITION_FIELDS.key -> "creation_date"
)

// Write the DataFrame as a Hudi dataset
```

```
(inputDF.write
    .format("hudi")
    .options(hudiOptions)
    .option(DataSourceWriteOptions.OPERATION_OPT_KEY,"insert")
    .mode(SaveMode.Overwrite)
    .save("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/"))
```

Amazon EMR 6.6 以前で Scala を使用する場合の書き込み

```
// Create a DataFrame
val inputDF = Seq(
 ("100", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
 ("101", "2015-01-01", "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
 ("102", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
 ("103", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.519832Z"),
 ("104", "2015-01-02", "2015-01-01T12:15:00.512679Z"),
 ("105", "2015-01-02", "2015-01-01T13:51:42.248818Z")
 ).toDF("id", "creation_date", "last_update_time")

//Specify common DataSourceWriteOptions in the single hudiOptions variable
val hudiOptions = Map[String,String](
  HoodieWriteConfig.TABLE_NAME -> "tableName",
  DataSourceWriteOptions.TABLE_TYPE_OPT_KEY -> "COPY_ON_WRITE",
  DataSourceWriteOptions.RECORDKEY_FIELD_OPT_KEY -> "id",
  DataSourceWriteOptions.PARTITIONPATH_FIELD_OPT_KEY -> "creation_date",
  DataSourceWriteOptions.PRECOMBINE_FIELD_OPT_KEY -> "last_update_time",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_SYNC_ENABLED_OPT_KEY -> "true",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_TABLE_OPT_KEY -> "tableName",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_PARTITION_FIELDS_OPT_KEY -> "creation_date",
  DataSourceWriteOptions.HIVE_PARTITION_EXTRACTOR_CLASS_OPT_KEY ->
 classOf[MultiPartKeysValueExtractor].getName
)

// Write the DataFrame as a Hudi dataset
(inputDF.write
    .format("org.apache.hudi")
    .option(DataSourceWriteOptions.OPERATION_OPT_KEY,
 DataSourceWriteOptions.INSERT_OPERATION_OPT_VAL)
    .options(hudiOptions)
    .mode(SaveMode.Overwrite)
    .save("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/"))
```

PySpark を使用する場合の書き込み

```
# Create a DataFrame
inputDF = spark.createDataFrame(
    [
        ("100", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
        ("101", "2015-01-01", "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
        ("102", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
        ("103", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.519832Z"),
        ("104", "2015-01-02", "2015-01-01T12:15:00.512679Z"),
        ("105", "2015-01-02", "2015-01-01T13:51:42.248818Z"),
    ],
    ["id", "creation_date", "last_update_time"]
)

# Specify common DataSourceWriteOptions in the single hudiOptions variable
hudiOptions = {
'hoodie.table.name': 'tableName',
'hoodie.datasource.write.recordkey.field': 'id',
'hoodie.datasource.write.partitionpath.field': 'creation_date',
'hoodie.datasource.write.precombine.field': 'last_update_time',
'hoodie.datasource.hive_sync.enable': 'true',
'hoodie.datasource.hive_sync.table': 'tableName',
'hoodie.datasource.hive_sync.partition_fields': 'creation_date',
'hoodie.datasource.hive_sync.partition_extractor_class':
 'org.apache.hudi.hive.MultiPartKeysValueExtractor'
}

# Write a DataFrame as a Hudi dataset
inputDF.write \
.format('org.apache.hudi') \
.option('hoodie.datasource.write.operation', 'insert') \
.options(**hudiOptions) \
.mode('overwrite') \
.save('s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/')
```

> **Note**
>
> コードの例や通知には、Hudi ではなく「hoodie」と表示されている場合があります。Hudi コードベースは、古い「hoodie」の綴りが広く使用されています。

Hudi の DataSourceWriteOptions リファレンス

オプション	説明
TABLE_NAME	データセットを登録するテーブルの名前。
TABLE_TYPE_OPT_KEY	オプション。データセットが "COPY_ON_WRITE" として作成されるか、"MERGE_ON_READ" として作成されるかを指定します。デフォルトは "COPY_ON_WRITE" です。
RECORDKEY_FIELD_OPT_KEY	値が HoodieKey の recordKey コンポーネントとして使用されるレコードキーフィールド。実際の値は、フィールド値に対して .toString() を呼び出すことで取得されます。ネストされたフィールドは、a.b.c など、ドット表記を使用して指定できます。
PARTITIONPATH_FIELD_OPT_KEY	値が HoodieKey の partitionPath コンポーネントとして使用されるパーティションパスフィールド。実際の値は、フィールド値に対して .toString() を呼び出すことで取得されます。
PRECOMBINE_FIELD_OPT_KEY	実際の書き込みの前に事前結合で使用されるフィールド。2 つのレコードのキー値が同じ場合、Hudi は、Object.compareTo(..) で決定された事前結合フィールドの値が最も大きいレコードを選択します。

以下のオプションは、Hudi データセットテーブルをメタストアに登録するためにのみ必要です。Hudi データセットを Hive メタストアのテーブルとして登録しない場合、これらのオプションは必要ありません。

Hive の DataSourceWriteOptions リファレンス

オプション	説明
HIVE_DATABASE_OPT_KEY	同期先の Hive データベース。デフォルトは "default" です。
HIVE_PARTITION_EXTRACTOR_CLASS_OPT_KEY	パーティションフィールド値を Hive パーティション列に抽出するために使用されるクラス。
HIVE_PARTITION_FIELDS_OPT_KEY	Hive パーティション列を決定するために使用するデータセット内のフィールド。
HIVE_SYNC_ENABLED_OPT_KEY	"true" に設定すると、データセットを Apache Hive メタストアに登録します。デフォルトは "false" です。
HIVE_TABLE_OPT_KEY	必須。同期先の Hive テーブルの名前。例えば、"my_hudi_table_cow" 。
HIVE_USER_OPT_KEY	オプション。同期時に使用する Hive ユーザー名。例えば、"hadoop"。
HIVE_PASS_OPT_KEY	オプション。HIVE_USER_OPT_KEY で指定されたユーザーの Hive パスワード。
HIVE_URL_OPT_KEY	Hive メタストアの URL。

データのアップサート

以下の例では、DataFrame を書き込むことでデータをアップサートする方法を示しています。以前の挿入の例とは異なり、OPERATION_OPT_KEY 値は UPSERT_OPERATION_OPT_VAL に設定されています。また、.mode(SaveMode.Append) は、レコードを付加する必要があることを指示するために指定されています。

Amazon EMR 6.7 以降で Scala を使用する Upsert

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.7.0 は Apache Hudi 0.11.0-amzn-0 を使用していますが、これは以前の Hudi バージョンよりも大幅に改善されています。詳細については、「Apache Hudi 0.11.0 Migration Guide」を参照してください。このタブの例にはこれらの変更が反映されています。

```
// Create a new DataFrame from the first row of inputDF with a different creation_date
 value
val updateDF = inputDF.limit(1).withColumn("creation_date", lit("new_value"))

(updateDF.write
    .format("hudi")
    .options(hudiOptions)
    .option(DataSourceWriteOptions.OPERATION_OPT_KEY, "upsert")
    .mode(SaveMode.Append)
    .save("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/"))
```

Amazon EMR 6.6 以前で Scala を使用する Upsert

```
// Create a new DataFrame from the first row of inputDF with a different creation_date
 value
val updateDF = inputDF.limit(1).withColumn("creation_date", lit("new_value"))

(updateDF.write
    .format("org.apache.hudi")
    .option(DataSourceWriteOptions.OPERATION_OPT_KEY,
 DataSourceWriteOptions.UPSERT_OPERATION_OPT_VAL)
    .options(hudiOptions)
    .mode(SaveMode.Append)
    .save("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/"))
```

PySpark を使用する Upsert

```
from pyspark.sql.functions import lit
```

```
# Create a new DataFrame from the first row of inputDF with a different creation_date
 value
updateDF = inputDF.limit(1).withColumn('creation_date', lit('new_value'))

updateDF.write \
    .format('org.apache.hudi') \
    .option('hoodie.datasource.write.operation', 'upsert') \
    .options(**hudiOptions) \
    .mode('append') \
    .save('s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/')
```

レコードを削除する

レコードをハード削除するには、空のペイロードをアップサートします。この場合、PAYLOAD_CLASS_OPT_KEY オプションで EmptyHoodieRecordPayload クラスを指定しています。この例では、upsert の例で使用したのと同じ DataFrame updateDF を使用して、同じレコードが指定されるようにしています。

Amazon EMR 6.7 以降で Scala を使用する場合の削除

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.7.0 は Apache Hudi 0.11.0-amzn-0 を使用していますが、これは以前の Hudi バージョンよりも大幅に改善されています。詳細については、「Apache Hudi 0.11.0 Migration Guide」を参照してください。このタブの例にはこれらの変更が反映されています。

```
(updateDF.write
    .format("hudi")
    .options(hudiOptions)
    .option(DataSourceWriteOptions.OPERATION_OPT_KEY, "delete")
    .mode(SaveMode.Append)
    .save("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/"))
```

Amazon EMR 6.6 以前で Scala を使用する場合の削除

```
(updateDF.write
    .format("org.apache.hudi")
    .option(DataSourceWriteOptions.OPERATION_OPT_KEY,
 DataSourceWriteOptions.UPSERT_OPERATION_OPT_VAL)
```

```
    .option(DataSourceWriteOptions.PAYLOAD_CLASS_OPT_KEY,
 "org.apache.hudi.common.model.EmptyHoodieRecordPayload")
    .mode(SaveMode.Append)
    .save("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/"))
```

PySpark を使用する場合の削除

```
updateDF.write \
    .format('org.apache.hudi') \
    .option('hoodie.datasource.write.operation', 'upsert') \
    .option('hoodie.datasource.write.payload.class',
 'org.apache.hudi.common.model.EmptyHoodieRecordPayload') \
    .options(**hudiOptions) \
    .mode('append') \
    .save('s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset/')
```

`OPERATION_OPT_KEY` を `DELETE_OPERATION_OPT_VAL` に設定して、送信するデータセット内のすべてのレコードを削除し、データをハード削除することもできます。ソフト削除の実行方法、および Hudi テーブルに保存されたデータの削除の詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「Deletes」(削除) を参照してください。

Hudi データセットから読み込む

現時点でのデータを取得するために、Hudi はデフォルトでスナップショットクエリを実行します。以下に、Hudi データセットに書き込む で S3 に書き込まれたデータセットをクエリする例を示します。*s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset* をテーブルパスに置き換え、パーティションレベルごとにワイルドカードのアスタリスクを追加し、さらにアスタリスクを 1 つ追加します。この例では、パーティションレベルが 1 つあるため、2 つのワイルドカードシンボルを追加しました。

Amazon EMR 6.7 以降で Scala を使用する場合の読み込み

> **Note**
>
> Amazon EMR 6.7.0 は Apache Hudi 0.11.0-amzn-0 を使用していますが、これは以前の Hudi バージョンよりも大幅に改善されています。詳細については、「Apache Hudi 0.11.0 Migration Guide」を参照してください。このタブの例にはこれらの変更が反映されています。

```
val snapshotQueryDF = spark.read
    .format("hudi")
    .load("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset")
    .show()
```

Amazon EMR 6.6 以前で Scala を使用する場合の読み込み

```
(val snapshotQueryDF = spark.read
    .format("org.apache.hudi")
    .load("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset" + "/*/*"))

snapshotQueryDF.show()
```

PySpark を使用する場合の読み込み

```
snapshotQueryDF = spark.read \
    .format('org.apache.hudi') \
    .load('s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset' + '/*/*')

snapshotQueryDF.show()
```

増分クエリ

Hudi で増分クエリを実行して、特定のコミットタイムスタンプ以降に変更されたレコードのストリームを取得することもできます。これを行うには、QUERY_TYPE_OPT_KEY フィールドを QUERY_TYPE_INCREMENTAL_OPT_VAL に設定します。次に、BEGIN_INSTANTTIME_OPT_KEY の値を追加して、指定された時刻以降に書き込まれたすべてのレコードを取得します。増分クエリでは、変更されたレコードのみが処理されるため、通常、バッチクエリよりも 10 倍効率が高くなります。

増分クエリを実行するときは、スナップショットクエリに使用されるワイルドカードのアスタリスクを付けずに、ルート (ベース) テーブルパスを使用します。

> **Note**
>
> Presto は増分クエリをサポートしていません。

Scala を使用した増分クエリ

```
(val incQueryDF = spark.read
    .format("org.apache.hudi")
    .option(DataSourceReadOptions.QUERY_TYPE_OPT_KEY,
 DataSourceReadOptions.QUERY_TYPE_INCREMENTAL_OPT_VAL)
    .option(DataSourceReadOptions.BEGIN_INSTANTTIME_OPT_KEY, <beginInstantTime>)
    .load("s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset" ))

incQueryDF.show()
```

PySpark を使用した増分クエリ

```
readOptions = {
  'hoodie.datasource.query.type': 'incremental',
  'hoodie.datasource.read.begin.instanttime': <beginInstantTime>,
}

incQueryDF = spark.read \
    .format('org.apache.hudi') \
    .options(**readOptions) \
    .load('s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset')

incQueryDF.show()
```

Hudi データセットからの読み取りの詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「Querying Hudi tables」(Hudiテーブルをクエリ) を参照してください。

Hudi CLI を使用する

Hudi CLI を使用して Hudi データセットを管理し、コミット、ファイルシステム、統計などに関する情報を表示できます。CLI を使用して、手動で圧縮を実行したり、圧縮をスケジュールしたり、スケジュールされた圧縮をキャンセルしたりすることもできます。詳細については、Apache Hudi ドキュメントの「Interacting via CLI」を参照してください。

Hudi CLI を起動してデータセットに接続するには

1. SSH を使用してマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。
2. コマンドラインで「`/usr/lib/hudi/cli/bin/hudi-cli.sh`」と入力します。

コマンドプロンプトが `hudi->` に変わります。

3. データセットに接続するには、以下のコマンドを使用します。*s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset* は、処理するデータセットへのパスに置き換えます。使用する値は、前の例で設定した値と同じです。

```
connect --path s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset
```

以下の例に示すように、コマンドプロンプトが変わって、接続されているデータセットが表示されます。

```
hudi:myhudidataset->
```

デフォルトでは、Amazon EMR リリース 7.3.0 から 7.8.0 の`hudi-cli.sh`スクリプトは を使用します`hudi-cli-bundle.jar`。問題が発生した場合は、次のコマンドを使用して、従来の Hudi CLI に切り替えることができます。

```
/usr/lib/hudi/cli/bin/hudi-cli.sh --cliBundle false
```

このコマンドは `hudi-cli.sh` スクリプトを実行し、`--cliBundle` フラグを設定し、バンドルされた JAR の代わりに個々の JAR ファイルを使用するように CLI に指示します。デフォルトでは、`--cliBundle` は true に設定されています。つまり、CLI は代わりにバンドルされた JAR を使用します。

Amazon EMR 7.9.0 以降のリリースの使用

> **Note**
>
> hudi-cli.sh スクリプトは、EMR リリース 7.9.0 以降で廃止されました。Amazon EMR リリース 7.9.0 以降では、hudi-cli-bundle.jar を使用しています。

Hudi CLI を起動してデータセットに接続するには：

1. SSH を使用してマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[SSH を使用してマスターノードに接続する](#)」を参照してください。

2. コマンドラインで、/usr/lib/hudi/cli-bundle/bin/hudi-cli-with-bundle.sh と入力するか、hudi-cli-with-bundle または >hudi-cli と入力します。

   コマンドプロンプトが hudi- > に変わります。
3. データセットに接続するには、以下のコマンドを使用します。s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset は、処理するデータセットへのパスに置き換えます。使用する値は、前の例で設定した値と同じです。

```
connect --path s3://amzn-s3-demo-bucket/myhudidataset
```

4. 以下の例に示すように、コマンドプロンプトが変わって、接続されているデータセットが表示されます。

```
hudi:myhudidataset->
```

Hudi リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Hudi のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Hudi バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	0.15.0-amzn-6	Not available.
emr-7.8.0	0.15.0-amzn-5	Not available.
emr-7.7.0	0.15.0-amzn-4	Not available.
emr-7.6.0	0.15.0-amzn-3	Not available.
emr-7.5.0	0.15.0-amzn-2	Not available.
emr-7.4.0	0.15.0-amzn-1	Not available.

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	0.15.0-amzn-0	Not available.
emr-7.2.0	0.14.1-amzn-1	Not available.
emr-5.36.2	0.10.1-amzn-1	Not available.
emr-7.1.0	0.14.1-amzn-0	Not available.
emr-7.0.0	0.14.0-amzn-1	Not available.
emr-6.15.0	0.14.0-amzn-0	Not available.
emr-6.14.0	0.13.1-amzn-2	Not available.
emr-6.13.0	0.13.1-amzn-1	Not available.
emr-6.12.0	0.13.1-amzn-0	Not available.
emr-6.11.1	0.13.0-amzn-0	Not available.
emr-6.11.0	0.13.0-amzn-0	Not available.
emr-6.10.1	0.12.2-amzn-0	Not available.
emr-6.10.0	0.12.2-amzn-0	Not available.
emr-6.9.1	0.12.1-amzn-0	Not available.
emr-6.9.0	0.12.1-amzn-0	Not available.
emr-6.8.1	0.11.1-amzn-0	Not available.
emr-6.8.0	0.11.1-amzn-0	Not available.
emr-6.7.0	0.11.0-amzn-0	Not available.
emr-5.36.1	0.10.1-amzn-1	Not available.
emr-5.36.0	0.10.1-amzn-1	Not available.

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	0.10.1-amzn-0	Not available.
emr-5.35.0	0.9.0-amzn-2	Not available.
emr-6.5.0	0.9.0-amzn-1	Not available.
emr-6.4.0	0.8.0-amzn-0	Not available.
emr-6.3.1	0.7.0-amzn-0	Not available.
emr-6.3.0	0.7.0-amzn-0	Not available.
emr-6.2.1	0.6.0-amzn-1	Not available.
emr-6.2.0	0.6.0-amzn-1	Not available.
emr-6.1.1	0.5.2-incubating-amzn-2	Not available.
emr-6.1.0	0.5.2-incubating-amzn-2	Not available.
emr-6.0.1	0.5.0-incubating-amzn-1	Not available.
emr-6.0.0	0.5.0-incubating-amzn-1	Not available.
emr-5.34.0	0.9.0-amzn-0	Not available.
emr-5.33.1	0.7.0-amzn-1	Not available.
emr-5.33.0	0.7.0-amzn-1	Not available.
emr-5.32.1	0.6.0-amzn-0	Not available.
emr-5.32.0	0.6.0-amzn-0	Not available.
emr-5.31.1	0.6.0-amzn-0	Not available.
emr-5.31.0	0.6.0-amzn-0	Not available.
emr-5.30.2	0.5.2-incubating	Not available.

Amazon EMR リリースラベル	Hudi バージョン	Hudi でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	0.5.2-incubating	Not available.
emr-5.30.0	0.5.2-incubating	Not available.
emr-5.29.0	0.5.0-incubating	Not available.
emr-5.28.1	0.5.0-incubating	Not available.
emr-5.28.0	0.5.0-incubating	Not available.

Hue

Hue (Hadoop User Experience) は、Amazon EMR と Apache Hadoop で使用するオープンソースでウェブベースのグラフィカルユーザーインターフェイスです。Hue は、複数の異なる Hadoop エコシステムプロジェクトを設定可能なインターフェイスにまとめます。Amazon EMR は、Amazon EMR 上に Hue に固有のカスタマイズを追加しました。Hue はクラスターで実行されるアプリケーションのフロントエンドとして動作し、より使い慣れた、またはユーザーフレンドリなインターフェイスを使用してアプリケーションを操作することができます。Hive Editor、Pig Editor などの Hue のアプリケーションでは、各アプリケーションのそれぞれのシェルでインタラクティブにスクリプトを実行するために、クラスターにログインする必要がありません。クラスターが起動したら、Hue や同様のインターフェイスを使用してアプリケーションを完全に操作できます。Hue の詳細については、http://gethue.com を参照してください。

Hue は、Amazon EMR コンソールを使用してクラスターを起動するときに、デフォルトでインストールされます。Hue をインストールしない選択をするには、クラスターの起動時に Amazon EMR コンソールの [Advanced options] (詳細オプション) を使用する、または、`--applications` から `create-cluster` を使用するときに AWS CLIオプションを明示的に指定して Hueを省略します。

トピック

Hue バージョン情報

7.9.0 の Hue バージョン

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Hue のバージョンと、Amazon EMR で Hue と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hue と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Hue バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Hue 4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

6.15.0 用 Hue バージョン

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Hue のバージョンと、Amazon EMR で Hue と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hue と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Hue バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Hue 4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
		timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

5.36.2 用 Hue バージョン

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Hue のバージョンと、Amazon EMR で Hue と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Hue と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Hue バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Hue 4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR で Hue のサポートされている機能とサポート外の機能

Amazon EMR 7.0.0 以降では、Hue には Python 3.9 以降が必要です。転送中の暗号化を使用する場合は、2048 ビットの暗号キーを使用する必要があります。

- Amazon S3 および Hadoop File System (HDFS) Browser
  - 適切なアクセス権限があれば、エフェメラル HDFS ストレージとアカウントに属する S3 バケット間でデータを参照し、移動することができます。
  - デフォルトでは、Hue のスーパーユーザーは、Amazon EMR の IAM ロールがアクセスを許可されているすべてのファイルにアクセスできます。新しく作成されたユーザーには、Amazon S3 ファイルブラウザへのアクセス許可は自動的には付与されません。グループに対して `filebrowser.s3_access` アクセス許可を有効にする必要があります。
- Hive - データに対してインタラクティブなクエリを実行します。これは、プログラムまたはバッチ処理されたクエリのプロトタイプを作成する場合にも役立ちます。
- Pig - データに対してスクリプトを実行、またはインタラクティブコマンドを発行します。
- Oozie - Oozie のワークフローを作成し監視します。
- Metastore Manager - Hive メタストアのコンテンツの表示と操作 (インポート/作成、削除など) を行います。
- ジョブブラウザ - 送信した Hadoop ジョブのステータスを表示します。
- ユーザー管理 - Hue アカウントを管理し、LDAP ユーザーを Hue と統合します。
- AWS サンプル — Hue のアプリケーションを使用してさまざまな AWS サービスのサンプルデータを処理するready-to-run」例がいくつかあります。Hue にログインすると、Hue Home アプリケーションに移動します。ここには、サンプルがプレインストールされています。
- Livy サーバーは Amazon EMR バージョン 5.9.0 以降のみでサポートされます。
- Spark の Hue ノートブックを使用するには、Livy と Spark で Hue をインストールする必要があります。
- Trino/Presto - Hue は Trino データサーバーと Presto データサーバーへの接続をサポートしています。Amazon EMR 7.0.0 以降では、この接続を促進するために `trino-python-client` と `presto-python-client` コネクタを使用しています。7.0.0 より前のリリースでは、JDBC ゲートウェイ経由で JDBC コネクタを使用します。
- Hue ダッシュボードはサポートされていません。
- PostgreSQL はサポートされていません。

考慮事項

Amazon EMR での Hue を実行するときは、次の制限について考慮してください。

大規模な Hue メタデータテーブルでのパフォーマンス

Hue メタデータデータベースが大きすぎると、パフォーマンスが低下する可能性があります。テーブルのサイズを確認するには、まず SSH を使用して Amazon EC2 での Amazon EMR クラスター上のプライマリノードに接続し、`sudo mysql -u root` コマンドを実行して MySQL CLI を起動します。テーブルのサイズを取得するには、クエリ `SELECT COUNT(*) FROM hue.<table_name>` を実行します。可能な *<table_name>* については、以下を参照してください。

- desktop_document
- desktop_document2
- oozie_job
- beeswax_savedquery
- beeswax_session
- beeswax_queryhistory

そのクエリを実行すると 100,000 を超えるカウントが返される場合は、次のクリーンアップコマンドを実行して古いレコードを削除する必要があります。

```
cd /opt/cloudera/parcels/CDH/lib/hue # Hue home directory ./build/env/bin/hue
 desktop_document_cleanup
```

データベースのクリーンアップの詳細については、Hue ドキュメントのリファレンスページを参照してください。

Hue はテーブルを自動的にクリーンアップしませんが、Amazon EMR リリース 5.12.0 以降では、テーブル内の古いドキュメントを削除する方法が用意されています。次のシェルスクリプトを作成し、メタデータデータベースにドキュメントを保持する最大日数を表す整数パラメータを持つ Amazon EMR クラスターでステップとして実行します。

```
#!/bin/bash
if grep isMaster /mnt/var/lib/info/instance.json | grep false;
then
  echo "This is not the primary node; do nothing, exiting"
  exit 0
fi
while [ ! -f /usr/lib/hue/desktop/core/src/desktop/management/commands/
desktop_document_cleanup.py ]
do
```

```
  sleep 1
done
sudo systemctl stop hue.service
sudo sed -i 's+  LOG.warn+  # LOG.warn+g' /usr/lib/hue/desktop/core/src/desktop/
management/commands/desktop_document_cleanup.py
sudo /usr/lib/hue/build/env/bin/hue desktop_document_cleanup --keep-days $1
sudo systemctl start hue.service
```

Hue バージョン間の非互換性

複数の Hue 対応クラスターで同じ Hue メタデータデータベースを使用している場合は、これらのクラスターで同じバージョンの Hue を実行することをお勧めします。Hue の異なるバージョンでは、Hue メタデータデータベースのスキーマが異なる場合があります。異なるバージョンで同じデータベースを使用すると、Hue のインストールが失敗する可能性があります。例えば、4.10.0 と 4.11.0 がインストールされている 2 つのクラスターに同じデータベースを使用しようとすると、4.10.0 クラスターにログインしようとするユーザーのログインエラーが発生する可能性があります。

Amazon EMR リリースラベルとそれに対応する Hue のインストール済みバージョンのリストについては、「Hue release history」を参照してください。

Hue Web ユーザーインターフェイスへの接続

Hue Web ユーザーインターフェイスへの接続は、クラスターのマスターノードにホストされている任意の HTTP インターフェイスへの接続と同じです。次の手順は、Hue ユーザーインターフェイスにアクセスする方法を示しています。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR クラスターでホストされるウェブインターフェイスの表示」を参照してください。

Hue ウェブユーザーインターフェイスを表示するには

1. 「Amazon EMR 管理ガイド」の「ダイナミックポートフォワーディングを使用してマスターノードへの SSH トンネルをセットアップする」の手順に従います。
2. ブラウザに以下のアドレスを入力して [Hue] ウェブインターフェイスを開きます。`http://`*`master public DNS`*`:8888` ここで、*`######### DNS`* は、クラスターマスターノードのパブリック DNS 名です (例: `ec2-11-22-333-44.compute-1.amazonaws.com`)。
3. Hue のログイン画面で、管理者として初めてログインする場合、ユーザー名とパスワードを入力して Hue のスーパーアカウントを作成し、[アカウントの作成] を選択します。それ以外の場合は、ユーザー名とパスワードを入力し、[Create account (アカウントの作成)] を選択するか、管理者から提供された認証情報を入力します。

Amazon RDS でリモートデータベースと Hue を使用する

デフォルトでは、Hue のユーザー情報とクエリ履歴は、マスターノード上のローカルの MySQL データベースに保存されます。または、Amazon S3 に保存されている設定と、Amazon Relational Database Service(Amazon RDS) の MySQL データベースを使用して、Hue が有効な 1 つ以上のクラスターを作成することができます。こうすることで、Amazon EMR クラスターを実行し続けなくても、Hue によって作成されたユーザー情報とクエリ履歴を永続化できます。設定ファイルは、Amazon S3 サーバーサイド暗号化機能を使って保存することをお勧めします。

最初に、Hue のリモートデータベースを作成します。

外部の MySQL データベースを作成するには

1. Amazon RDS コンソール (https://console.aws.amazon.com/rds/) を開きます。
2. [Launch a DB Instance (DB インスタンスの作成)] をクリックします。
3. MySQL を選択し、[Select (選択)] をクリックします。
4. [Multi-AZ Deployment and Provisioned IOPS Storage (マルチ AZ 配置とプロビジョンド IOPS ストレージ)] はデフォルトのままにして、[Next (次へ)] をクリックします。
5. [Instance Specifications (インスタンスの仕様)] はデフォルトのままにして、[Settings (設定)] を指定し、[Next (次へ)] をクリックします。
6. [Configure Advanced Settings] ページで、適切なセキュリティグループとデータベース名を選択します。使用するセキュリティグループは、少なくともクラスターのマスターノードからのポート 3306 に対するイングレス TCP アクセスを許可する必要があります。この時点でまだクラスターを作成していない場合、ポート 3306 への接続をすべてのホストに許可し、クラスターを起動した後にセキュリティグループを調整することができます。[Launch DB Instance (DB インスタンスの起動)] をクリックします。
7. RDS ダッシュボードで、[Instances (インスタンス)] を選択し、先ほど作成したインスタンスを選択します。データベースが使用できる時、dbname、username、password、および RDS instance hostname をメモします。クラスターの作成および設定時に、この情報を使用します。

を使用してクラスターを起動するときに Hue の外部 MySQL データベースを指定するには AWS CLI

を使用してクラスターを起動するときに Hue の外部 MySQL データベースを指定するには AWS CLI、RDS インスタンスの作成時にメモした情報を使用して設定オブジェクト`hue.ini`で を設定します。

> **Note**
>
> 外部にある同一のデータベースを使用するが、各クラスターはクエリ履歴とユーザー情報を共有する複数のクラスターを作成できます。

- を使用して AWS CLI、Hue がインストールされたクラスターを作成し、作成した外部データベースを使用し、データベースプロパティを指定する Hue の設定分類を持つ設定ファイルを参照します。次の例では、データベース設定を指定する Amazon S3の設定ファイル `myConfig.json` を参照して、Hue がインストールされた状態でクラスターを作成します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Hue Name=Spark
 Name=Hive \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
--configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/
myConfig.json --use-default-roles
```

`myConfig.json` ファイルのコンテンツの例を以下に示します。*dbname*、*username*、*password*、および *RDS instance hostname* は、先ほど RDS ダッシュボードでメモした値に置き換えます。

```
[{
  "Classification": "hue-ini",
  "Properties": {},
  "Configurations": [
    {
      "Classification": "desktop",
      "Properties": {},
      "Configurations": [
        {
          "Classification": "database",
          "Properties": {
```

```
            "name": "dbname",
            "user": "username",
            "password": "password",
            "host": "RDS instance hostname",
            "port": "3306",
            "engine": "mysql"
          },
          "Configurations": []
        }
      ]
    }
  ]
}]
```

トラブルシューティング

Amazon RDS フェイルオーバーの場合

Hue データベースインスタンスが応答しなくなったり、フェイルオーバー処理の途中であるために、クエリの実行中に遅延が発生する可能性があります。この問題に関する情報とガイドラインを以下に示します。

- Amazon RDS コンソールにログインすると、フェイルオーバーイベントを検索できます。たとえば、フェイルオーバーが処理中または発生したことが表示されたら、"Multi-AZ instance failover started" や "Multi-AZ instance failover completed" などのイベントを探します。
- RDS インスタンスがフェイルオーバーを完了するのに、約 30 秒かかります。
- Hue で、クエリの応答に通常より長い時間がかかっている場合は、クエリの再実行を試みます。

Hue の詳細設定

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

トピック

- LDAP ユーザーに関して Hue を設定する

LDAP ユーザーに関して Hue を設定する

LDAP との統合により、ユーザーは LDAP のディレクトリに保存されている既存の認証情報を使用して Hue にログインすることができます。Hue を LDAP と統合する場合、Hue で個別にユーザー情報を管理する必要はありません。以下に示す情報では、Microsoft Active Directory との Hue の統合を示していますが、その設定オプションはどの LDAP のディレクトリでも類似しています。

LDAP 認証では、最初にサーバーをバインドして接続を確立します。次に、確立された接続は、LDAP ユーザー情報を検索するために以降のクエリで使用されます。Active Directory サーバーで匿名接続が許可されていない限り、接続はバインド識別子名とパスワードで確立される必要があります。バインド識別子名（DN）は、`bind_dn` 設定で定義されます。バインドパスワードは `bind_password` 設定で定義されます。Hue には、LDAP リクエストをバインドするために、検索バインドと直接バインドという 2 つの方法があります。Amazon EMR で Hue を使用するための推奨の方法は、検索バインドです。

検索バインドが Active Directory で使用される場合、Hue はベース識別子名（DN）から取得される必要がある属性を見つけるために、ユーザー名属性（`user_name_attr config` で定義されます）を使用します。検索バインドは、完全な DN が Hue のユーザーに対して不明な場合に役立ちます。

たとえば、共通名（CN）を使用するように `user_name_attr config` を設定している場合があります。その場合は、Active Directory サーバーは、ログイン時に提供される Hue ユーザー名を使用して、ベース識別子名から開始して一致する共通名をディレクトリツリーで検索します。Hue ユーザーの共通名が見つかった場合、ユーザーの識別子名がサーバーによって返されます。次に、Hue はバインド操作を実行して、ユーザーの認証に使用される識別子名を構築します。

> **Note**
>
> 検索バインドでは、ベース識別子名で開始してすべてのディレクトリのサブツリーでユーザー名を検索します。Hue の LDAP 設定で指定されたベース識別子名はユーザー名の最も近い親である必要があります。それ以外の場合、LDAP 認証のパフォーマンスが低下する可能性があります。

直接バインドが Active Directory で使用されている場合、認証には正確な `nt_domain` または `ldap_username_pattern`、が使用される必要があります。直接バインドが使用されている場合、nt ドメイン（`nt_domain` 設定で定義されます）属性が定義されていると、`<login username>@nt_domain` 形式を使用してユーザー識別名テンプレートが作成されます。このテンプレートは、ベース識別子名で開始してすべてのディレクトリのサブツリーを検索するために使用されます。nt ドメインが設定されていない場合、Hue はユーザーの正確な識別子名

パターン（ldap_username_pattern 設定で定義されます）を検索します。このインスタンスで、サーバーは、ベース識別子名で開始してすべてのディレクトリサブツリーで、一致する ldap_username_pattern 値を検索します。

AWS CLIを使用して Hue の LDAP プロパティを伴うクラスターを起動するには

- hue-ini の LDAP プロパティを指定するには、Hue がインストールされたクラスターを作成し、LDAP の設定プロパティのある json ファイルを参照します。サンプルコマンドを以下に示します。Amazon S3 に格納されている設定ファイル myConfig.json を参照します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Hue Name=Spark
 Name=Hive \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --configurations https://
s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json.
```

myConfig.json のコンテンツの例を以下に示します。

```
[
    {
        "Classification": "hue-ini",
        "Properties": {},
        "Configurations": [
            {
                "Classification": "desktop",
                "Properties": {},
                "Configurations": [
                    {
                        "Classification": "ldap",
                        "Properties": {},
                        "Configurations": [
                            {
                                "Classification": "ldap_servers",
                                "Properties": {},
                                "Configurations": [
                                    {
                                        "Classification": "yourcompany",
                                        "Properties": {
                                            "base_dn":
 "DC=yourcompany,DC=hue,DC=com",
                                            "ldap_url": "ldap://ldapurl",
                                            "search_bind_authentication": "true",
```

```
                                            "bind_dn":
 "CN=hue,CN=users,DC=yourcompany,DC=hue,DC=com",
                                            "bind_password": "password"
                                        },
                                        "Configurations": []
                                    }
                                ]
                            }
                        ]
                    },
                    {
                        "Classification": "auth",
                        "Properties": {
                         "backend": "desktop.auth.backend.LdapBackend"
                              }
                    }
                ]
            }

        ]
    }
]
```

Note

Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

Hue で LDAP 設定を表示するには

1. Amazon EMR クラスターのマスターノードに対するアクティブな VPN 接続または SSH トンネルがあることを確認します。次に、ブラウザで、「*master-public-dns*:8888」と入力して Hue ウェブインターフェイスを開きます。
2. Hue の管理者認証情報を使用してログインします。[Did you know? (ご存知でしたか?)] ウィンドウが開いた場合は、[Got it, prof! (分かりました!)] をクリックして閉じます。

3. ツールバーの [Hue] アイコンをクリックします。
4. [Hue の概要] ページで、[設定] を選択します。
5. [Configuration Sections and Variables (設定セクションと変数)] セクションで、[Desktop (デスクトップ)] をクリックします。
6. [ldap] セクションにスクロールして、設定を確認します。

Hue リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Hue のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Hue バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-7.8.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
		nager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-7.7.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-7.6.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-7.4.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-7.2.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-7.1.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.15.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.13.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.11.1	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.10.1	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.9.1	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.8.1	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.7.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.36.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.35.0	4.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.4.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.3.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	4.8.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.2.0	4.8.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	4.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.1.0	4.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-6.0.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.33.1	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.32.1	4.8.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	4.8.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.31.1	4.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	4.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.30.2	4.6.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	4.6.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.30.0	4.6.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mariadb-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.28.1	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.27.1	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.26.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.24.1	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	4.4.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.23.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.22.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.21.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.20.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.19.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.18.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.17.2	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.17.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.16.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.15.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.14.1	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.13.1	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.12.3	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.12.1	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	4.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.11.4	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.11.2	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.11.0	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.10.0	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.9.0	4.0.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.8.2	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.8.0	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.7.0	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.6.0	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.5.4	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.5.2	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.5.1	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	3.12.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.4.1	3.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.4.0	3.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	3.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.3.1	3.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.3.0	3.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.2.2	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.2.1	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.1.1	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-5.1.0	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-5.0.2	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-5.0.1	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	3.10.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-4.9.6	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.5	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.4	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.3	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.9.2	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.5	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.4	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.3	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.2	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.8.1	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.7.4	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.7.3	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.2	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-client, oozie-server
emr-4.7.1	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-4.7.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.1	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-4.6.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-4.5.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.4.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-4.3.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server
emr-4.2.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server

Amazon EMR リリースラベル	Hue バージョン	Hue でインストールされるコンポーネント
emr-4.1.0	3.7.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hue-server, mysql-server, oozie-server

Iceberg

Apache Iceberg は、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) の大規模データセット用のオープンテーブル形式です。大きなテーブルに対する高速のクエリパフォーマンス、アトミックコミット、同時書き込み、および SQL 互換テーブルの進化を提供します。Amazon EMR 6.5.0 以降では、Iceberg テーブル形式の Amazon EMR クラスターで Apache Spark 3 を使用できます。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Iceberg のバージョンと、Amazon EMR で Iceberg と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Iceberg と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Iceberg バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Iceberg バージョン	Iceberg でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Iceberg 1.7.1-amzn-2	Not available.

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Iceberg のバージョンと、Amazon EMR で Iceberg と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Iceberg と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Iceberg バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Iceberg バージョン	Iceberg でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Iceberg 1.4.0-amzn-0	Not available.

トピック

- Iceberg の仕組み
- Iceberg でクラスターを使用する

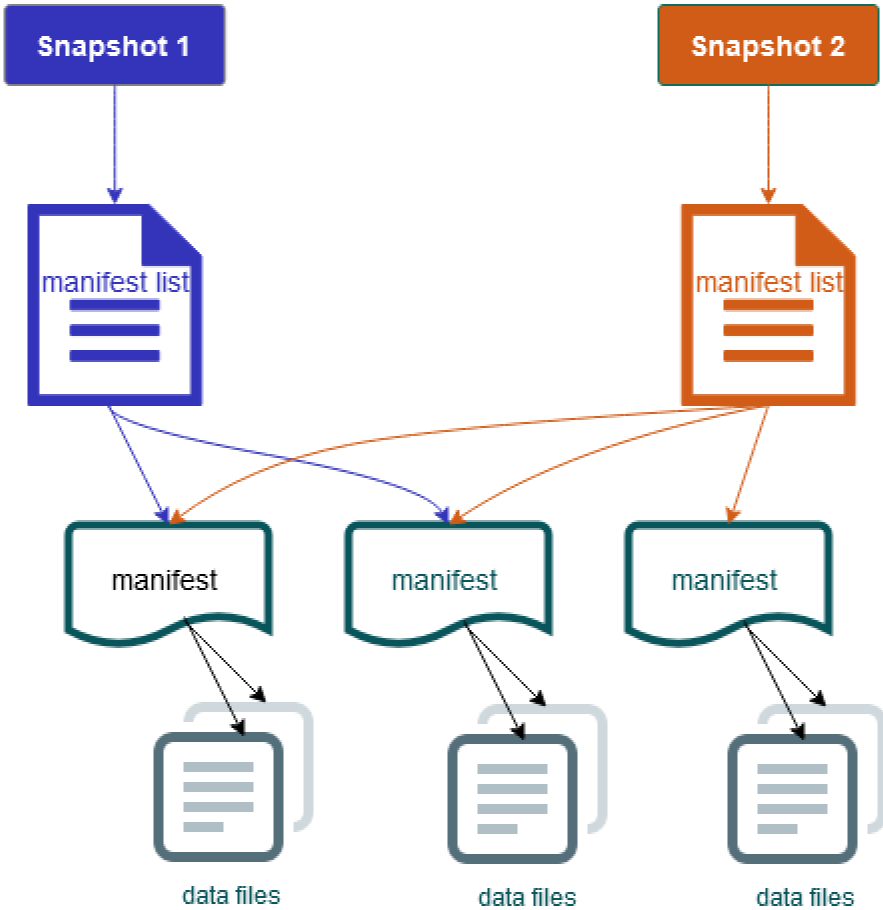
- Iceberg リリース履歴

Iceberg の仕組み

Iceberg は個々のデータファイルをディレクトリではなくテーブルで追跡します。これにより、作成者はデータファイルを作成するだけですみます (ファイルの移動や変更はありません)。また、作成者は明示的なコミットでのみテーブルにファイルを追加できます。テーブルの状態はメタデータファイルで管理されます。テーブル状態を変更すると、古いメタデータをアトミックに置き換える新しいメタデータファイルが作成されます。テーブルメタデータファイルでは、テーブルスキーマ、パーティショニング設定、その他のプロパティが追跡されます。

テーブルコンテンツのスナップショットも含まれています。各スナップショットは、ある時点におけるテーブル内のデータファイルの完全なセットです。スナップショットはメタデータファイルにリスト化されますが、スナップショット内のファイルは別のマニフェストファイルに保存されます。あるテーブルメタデータファイルから次のテーブルメタデータファイルへのアトミックな移行により、スナップショットが分離されます。読み込みでは、テーブルメタデータをロードした時点の最新のスナップショットを使用します。また、更新して新しいメタデータの場所を取得するまで、変更の影響を受けません。スナップショット内のデータファイルは 1 つまたは複数のマニフェストファイルに保存されます。マニフェストファイルには、テーブル内の各データファイル、そのパーティションデータとメトリクスが 1 行ずつ格納されます。スナップショットは、マニフェスト内のすべてのファイルをまとめたものです。また、マニフェストファイルはスナップショット間で共有できるため、変更頻度の低いメタデータを書き換える必要がありません。

Iceberg スナップショットの図



Iceberg には以下の機能があります。

- Amazon S3 データレイクの ACID トランザクションとタイムトラベルをサポートします。
- コミットの再試行には、[オプティミスティック同時実行](#)のパフォーマンス上の利点が活かされます。
- ファイルレベルの競合解決により、高い同時実行性が実現します。
- メタデータの列ごとの最小/最大統計を使用すると、ファイルをスキップできるため、選択的クエリのパフォーマンスが向上します。
- テーブルを柔軟なパーティションレイアウトに整理でき、パーティションの進化によりパーティションスキームを更新できます。これにより、クエリやデータの量を物理ディレクトリに依存せずに変更できます。
- [スキーマ進化](#)と適用をサポートします。
- Iceberg テーブルは冪等性シンクと再生可能なソースとして機能します。これにより、1 回限りのパイプラインによるストリーミングとバッチサポートが可能になります。冪等性シンクは、過去に

成功した書き込み操作を追跡します。そのため、シンクは障害が発生した場合はデータを再度要求し、複数回送信された場合はデータをドロップできます。

- テーブル進化、操作履歴、各コミットの統計など、履歴と系統を表示します。
- データ形式 (Parquet、ORC、Avro) と分析エンジン (Spark、Trino、PrestoDB、Flink、Hive) を選択して、既存のデータセットから移行します。

Iceberg でクラスターを使用する

このセクションでは、Spark、Trino、Flink、および Hive で Iceberg を使用する方法について説明します。

Spark で Iceberg クラスターを使用する

Amazon EMR バージョン 6.5.0 以降では、ブートストラップアクションを追加しなくても Spark クラスターで Iceberg を使用できます。Amazon EMR バージョン 6.4.0 以前の場合、ブートストラップアクションを使用して必要なすべての依存関係を事前インストールできます。

このチュートリアルでは、 AWS CLI を使用して Amazon EMR Spark クラスターで Iceberg を操作します。コンソールを使用して Iceberg がインストールされたクラスターを作成するには、「Build an Apache Iceberg data lake using Amazon Athena, Amazon EMR, and AWS Glue」の手順に従ってください。

Iceberg クラスターの作成

Iceberg がインストールされたクラスターは、、 AWS Management Console、 AWS CLI または Amazon EMR API を使用して作成できます。このチュートリアルでは、 AWS CLI を使用して Amazon EMR クラスターで Iceberg を操作します。コンソールを使用して Iceberg がインストールされたクラスターを作成するには、「Build an Apache Iceberg data lake using Amazon Athena, Amazon EMR, and AWS Glue」の手順に従ってください。

で Amazon EMR で Iceberg を使用するには AWS CLI、まず次のステップでクラスターを作成します。を使用して Iceberg 分類を指定する方法については AWS CLI、クラスターの作成 AWS CLI 時にを使用して設定を指定する「」または「」を参照してくださいクラスター作成時に Java SDK を使用して設定を指定する。

1. 以下のコンテンツを含む `configurations.json` ファイルを作成します。

```
[{
```

```
    "Classification":"iceberg-defaults",
    "Properties":{"iceberg.enabled":"true"}
}]
```

2. 次に、以下の設定でクラスターを作成します。この例の Amazon S3 バケットパスとサブネット ID は、実際の値に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-6.5.0 \
--applications Name=Spark \
--configurations file://configurations.json \
--region us-east-1 \
--name My_Spark_Iceberg_Cluster \
--log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/ \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 \
--ec2-attributes
 InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef0
```

または、Spark アプリケーションを含む Amazon EMR クラスターを作成し、`/usr/share/aws/iceberg/lib/iceberg-spark3-runtime.jar` ファイルを Spark ジョブの JAR 依存関係として追加することもできます。詳細については、「Submitting Applications」を参照してください。

この jar を Spark ジョブの依存関係として含めるには、以下の設定プロパティを Spark アプリケーションに追加します。

```
--conf "spark.jars=/usr/share/aws/iceberg/lib/iceberg-spark3-runtime.jar"
```

Spark ジョブの依存関係の詳細については、Apache Spark ドキュメント「Running Spark on Kubernetes」の「Dependency Management」を参照してください。

Iceberg の Spark セッションを初期化する

以下の例では、インタラクティブな Spark シェルを起動し、Spark submit を使用するか、Amazon EMR Notebooks を使用して、Amazon EMR で Iceberg を操作する方法を示します。

spark-shell

1. SSH を使用してマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。

2. 以下のコマンドを入力して、Spark シェルを起動します。PySpark シェルを使用するには、spark-shell を pyspark に置き換えます。

```
spark-shell \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket/prefix/
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
    --conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
    --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

spark-submit

1. SSH を使用してマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。
2. 以下のコマンドを入力して、Iceberg の Spark セッションを起動します。

```
spark-submit \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
--conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
--conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

EMR Studio notebooks

EMR Studio ノートブックを使用して Spark セッションを初期化するには、次の例のように、Amazon EMR Notebooks で %%configure マジックコマンドを使用して Spark セッションを設定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR Notebooks マジックを使用する」を参照してください。

```
%%configure -f{
"conf":{
    "spark.sql.catalog.my_catalog":"org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog",
    "spark.sql.catalog.my_catalog.type":"glue",
    "spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse":"s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix/",
    "spark.sql.defaultCatalog", "my_catalog",
```

```
 "spark.sql.extensions":"org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions"
    }
}
```

CLI

CLI を使用して Spark クラスターを初期化し、Spark Iceberg セッションのデフォルト設定をすべて設定するには、次のサンプルを実行します。 AWS CLI と Amazon EMR API を使用して設定分類を指定する方法の詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

```
[
  {
    "Classification": "spark-defaults",
    "Properties": {
      "spark.sql.catalog.my_catalog":"org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog",
      "spark.sql.catalog.my_catalog.type":"glue",
      "spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse":"s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix/",
      "spark.sql.defaultCatalog", "my_catalog",

 "spark.sql.extensions":"org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions"
    }
  }
]
```

Iceberg テーブルへの書き込み

以下の例では、DataFrame を作成し、それを Iceberg データセットとして書き込む方法を示します。この例では、デフォルトの Hadoop ユーザーとして SSH を使用してマスターノードに接続しながら、Spark シェルを使用してデータセットを操作する方法を示しています。

> **Note**
>
> コードサンプルを Spark シェルに貼り付けるには、プロンプトで「`:paste`」と入力し、例を貼り付けて、[CTRL+D] を押します。

PySpark

Spark には、Python ベースのシェルである `pyspark` 用意されており、Python で記述された Spark プログラムのプロトタイプを作成するために使用できます。マスターノードで `pyspark` を起動します。

```
## Create a DataFrame.
data = spark.createDataFrame([
 ("100", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
 ("101", "2015-01-01", "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
 ("102", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
 ("103", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.519832Z")
],["id", "creation_date", "last_update_time"])

## Write a DataFrame as a Iceberg dataset to the Amazon S3 location.
spark.sql("""CREATE TABLE IF NOT EXISTS dev.db.iceberg_table (id string,
creation_date string,
last_update_time string)
USING iceberg
location 's3://amzn-s3-demo-bucket/example-prefix/db/iceberg_table'""")

data.writeTo("dev.db.iceberg_table").append()
```

Scala

```
import org.apache.spark.sql.SaveMode
import org.apache.spark.sql.functions._

// Create a DataFrame.
val data = Seq(
("100", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:39.340396Z"),
("101", "2015-01-01", "2015-01-01T12:14:58.597216Z"),
("102", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.417052Z"),
("103", "2015-01-01", "2015-01-01T13:51:40.519832Z")
).toDF("id", "creation_date", "last_update_time")

// Write a DataFrame as a Iceberg dataset to the Amazon S3 location.
spark.sql("""CREATE TABLE IF NOT EXISTS dev.db.iceberg_table (id string,
creation_date string,
last_update_time string)
USING iceberg
location 's3://amzn-s3-demo-bucket/example-prefix/db/iceberg_table'""")
```

```
data.writeTo("dev.db.iceberg_table").append()
```

Iceberg テーブルからの読み込み

PySpark

```
df = spark.read.format("iceberg").load("dev.db.iceberg_table")
df.show()
```

Scala

```
val df = spark.read.format("iceberg").load("dev.db.iceberg_table")
df.show()
```

Spark SQL

```
SELECT * from dev.db.iceberg_table LIMIT 10
```

Spark Iceberg AWS での Glue データカタログの使用

Spark Iceberg から AWS Glue データカタログに接続できます。このセクションでは、接続するためのさまざまなコマンドを示します。

デフォルトリージョンのデフォルト AWS Glue カタログに接続する

このサンプルは、 Glue カタログタイプを使用して接続する方法を示しています。カタログ ID を指定しない場合、デフォルトが使用されます。

```
spark-submit \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
    --conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
    --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

特定のカタログ ID AWS を使用して Glue カタログに接続する

このサンプルは、カタログ ID を使用して接続する方法を示しています。

```
spark-submit \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.glue.id=AWS Glue catalog ID \
    --conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
    --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

このコマンドは、別のアカウントの AWS Glue カタログ、RMS カタログ、またはフェデレーティッドカタログに接続するために使用できます。

Spark Iceberg での Iceberg REST Catalog (IRC) の使用

以下のセクションでは、Iceberg とカタログの統合を設定する方法について詳しく説明します。

Glue Data Catalog IRC AWS エンドポイントに接続する

Iceberg REST を使用するための`spark-submit`コマンドの例を次に示します。

```
spark-submit \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=glue catalog ID \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=rest \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.uri=glue endpoint URI/iceberg \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.rest.sigv4-enabled=true \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.rest.signing-name=glue \
    --conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
    --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

ランタイムロールが有効なクラスターで使用するには、次の追加の spark 設定が必要です。

```
"spark.hadoop.fs.s3.credentialsResolverClass":
 "software.amazon.glue.GlueTableCredentialsResolver",
"spark.hadoop.catalog-impl": "org.apache.iceberg.aws.glue.GlueCatalog",
"spark.hadoop.glue.id": glue catalog ID
"spark.hadoop.glue.endpoint": "glue endpoint"
```

各リージョンの AWS Glue エンドポイント URL リストについては、「 AWS Glue エンドポイントとクォータ」を参照してください。

任意の IRC エンドポイントに接続する

IRC エンドポイントを使用するための`spark-submit`コマンドの例を次に示します。

```
spark-submit \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=warehouse name \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=rest \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.uri=your rest endpoint \
    --conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
    --conf 
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

Iceberg SparkCatalog と SparkSessionCatalog を使用する場合の設定の違い

Iceberg では、Spark Iceberg カタログを作成する 2 つの方法を利用できます。Spark 設定は、`SparkCatalog`または のいずれかに設定できます`SparkSessionCatalog`。

Iceberg SparkCatalog の使用

Spark Iceberg カタログとして SparkCatalog を使用するためのコマンドを次に示します。

```
spark-shell \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
--conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog
```

このアプローチに関する考慮事項：

- Iceberg テーブルにはアクセスできますが、他のテーブルにはアクセスできません。
- カタログ名を spark_catalog にすることはできません。これは Spark の初期カタログの名前です。常に Hive メタストアに接続します。これは、ユーザーが を使用して上書きしない限り、Spark のデフォルトカタログです`spark.sql.defaultCatalog`。
- `spark.sql.defaultCatalog` をカタログ名に設定して、デフォルトのカタログにすることができます。

Iceberg SparkSessionCatalog の使用

以下は、Spark Iceberg カタログとして SparkSessionCatalog を使用するためのコマンドを示しています。

```
spark-shell \
    --conf spark.sql.catalog.spark_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkSessionCatalog
 \
    --conf spark.sql.catalog.spark_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix \
    --conf spark.sql.catalog.spark_catalog.type=glue
```

このアプローチに関する考慮事項：

- テーブルが Iceberg テーブルとして見つからない場合、Spark は Hive メタストア内のテーブルであるかどうかを確認しようとします。詳細については、「Hive AWS のカタログとしての Glue データカタログの使用」を参照してください。
- カタログ名は spark_catalog である必要があります。

Iceberg Spark 拡張機能の使用

Iceberg には、`org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions`ユーザーが Spark 拡張機能設定 を通じて設定できる Spark 拡張機能が用意されています`spark.sql.extensions`。拡張機能を使用すると、行レベルの DELETE、UPDATE、MERGE などの Iceberg の主要な機能、圧縮、スナップショットの有効期限、分岐とタグ付けなどの Iceberg 固有の Spark データ定義言語ステートメントと手順が有効になります。詳細については、以下を参照してください。

- Iceberg Spark 書き込み拡張機能: Spark 書き込み
- Iceberg Spark DDL 拡張機能: ALTER TABLE SQL 拡張機能
- Iceberg Spark プロシージャ拡張機能: Spark プロシージャ

Spark で Iceberg を使用するための考慮事項

- Amazon EMR 6.5.0 は、デフォルトでは Amazon EMR on EKS での Iceberg の実行をサポートしていません。Amazon EMR 6.5.0 カスタムイメージが用意されているため、`--jars local:///usr/share/aws/iceberg/lib/iceberg-spark3-runtime.jar` を `spark-submit` パラメータとして渡して Amazon EMR on EKS に Iceberg テーブルを作成できます。詳細については、「Amazon EMR on EKS 開発ガイド」の「カスタムイメージを使用して Amazon EMR で Spark ワークロードを送信する」を参照してください。 サポート に問い合わせることもできます。Amazon EMR 6.6.0 以降、Iceberg は Amazon EMR on EKS でサポートされます。

- Iceberg のカタログとして AWS Glue を使用する場合は、テーブルを作成するデータベースが Glue AWS に存在することを確認してください。などのサービスを使用して AWS Lake Formation いて、カタログをロードできない場合は、コマンドを実行するためのサービスへの適切なアクセス権があることを確認してください。
- 「」で説明されているように Iceberg SparkSessionCatalog を使用する場合はIceberg SparkCatalog と SparkSessionCatalog を使用する場合の設定の違い、Spark Iceberg AWS Glue データカタログの設定に加えて、「Apache Hive メタストアとして AWS Glue データカタログを設定する」で説明されている設定ステップに従う必要があります。

Trino での Iceberg クラスターの使用

Amazon EMR バージョン 6.6.0 以降では、Iceberg を Trino クラスターで使用できます。

このチュートリアルでは、 AWS CLI を使用して Amazon EMR Trino クラスターで Iceberg を操作します。コンソールを使用して Iceberg がインストールされたクラスターを作成するには、「Build an Apache Iceberg data lake using Amazon Athena, Amazon EMR, and AWS Glue」の手順に従ってください。

Iceberg クラスターの作成

で Amazon EMR で Iceberg を使用するには AWS CLI、まず次のステップでクラスターを作成します。を使用して Iceberg 分類を指定する方法については AWS CLI、クラスターの作成 AWS CLI 時にを使用して設定を指定する「」または「」を参照してくださいクラスター作成時に Java SDK を使用して設定を指定する。

1. `iceberg.properties` ファイルを作成し、選択したカタログの値を設定します。例えば、Hive メタストアをカタログとして使用する場合、ファイルには次の内容が含まれている必要があります。

   ```
   connector.name=iceberg
   hive.metastore.uri=thrift://localhost:9083
   ```

   AWS Glue データカタログをストアとして使用する場合は、ファイルに次のコンテンツが含まれている必要があります。

   ```
   connector.name=iceberg
   iceberg.catalog.type=glue
   ```

2. 次の例のように、Amazon S3 の `iceberg.properties` を `/etc/trino/conf/catalog/iceberg.properties` にコピーするブートストラップアクションを作成します。ブートストラップアクションの詳細については、「追加のソフトウェアをインストールするためのブートストラップアクションの作成」を参照してください。

```
set -ex
sudo aws s3 cp s3://amzn-s3-demo-bucket/iceberg.properties /etc/trino/conf/catalog/
iceberg.properties
```

3. 以下の設定でクラスターを作成し、この例のブートストラップアクションのスクリプトパスとキー名を自分のものに置き換えます。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-6.7.0 \
--applications Name=Trino \
--region us-east-1 \
--name My_Trino_Iceberg_Cluster \
--bootstrap-actions '[{"Path":"s3://amzn-s3-demo-bucket","Name":"Add
 iceberg.properties"}]' \
--instance-groups InstanceGroupType=MASTER,InstanceCount=1,InstanceType=c3.4xlarge
 InstanceGroupType=CORE,InstanceCount=3,InstanceType=c3.4xlarge \
--use-default-roles \
--ec2-attributes KeyName=<key-name>
```

Iceberg の Trino セッションの初期化

Trino セッションを初期化するには、次のコマンドを実行します。

```
trino-cli --catalog iceberg
```

Iceberg テーブルへの書き込み

次の SQL コマンドを使用してテーブルを作成し、書き込みます。

```
trino> SHOW SCHEMAS;
trino> CREATE TABLE default.iceberg_table (
            id int,
            data varchar,
            category varchar)
       WITH (
            format = 'PARQUET',
```

```
            partitioning = ARRAY['category', 'bucket(id, 16)'],
            location = 's3://amzn-s3-demo-bucket/<prefix>')

trino> INSERT INTO default.iceberg_table VALUES (1,'a','c1'), (2,'b','c2'),
 (3,'c','c3');
```

Iceberg のテーブルからの読み込み

Iceberg テーブルから読み込むには、次のコマンドを実行します。

```
trino> SELECT * from default.iceberg_table;
```

Trino で Iceberg を使用するための考慮事項

- Amazon EMR 6.5 では、Iceberg の Trino Iceberg Catalog ネイティブサポートは提供されていません。Trino には Iceberg v0.11 が必要です。そのため Trino 用の Amazon EMR クラスターを Spark クラスターとは別に起動し、そのクラスターに Iceberg v0.11 をインストールすることをお勧めします。
- Iceberg のカタログとして AWS Glue を使用する場合は、テーブルを作成するデータベースが Glue AWS に存在することを確認してください。などのサービスを使用して AWS Lake Formation いて、カタログをロードできない場合は、コマンドを実行するためのサービスへの適切なアクセス権があることを確認してください。
- Iceberg Glue 統合は、Redshift マネージドストレージカタログでは機能しません。

Flink での Iceberg クラスターの使用

Amazon EMR バージョン 6.9.0 以降では、オープンソースの Iceberg Flink 統合を使用する際に必要なセットアップ手順なしに Flink クラスターで Iceberg を使用できます。

Iceberg クラスターの作成

Iceberg がインストールされたクラスターは、 AWS Management Console、 AWS CLI、または Amazon EMR API を使用して作成できます。このチュートリアルでは、 AWS CLI を使用して Amazon EMR クラスターで Iceberg を操作します。コンソールを使用して Iceberg がインストールされたクラスターを作成するには、「Build an Apache Iceberg data lake using Amazon Athena, Amazon EMR, and AWS Glue」の手順に従ってください。

で Amazon EMR で Iceberg を使用するには AWS CLI、まず次のステップでクラスターを作成します。を使用して Iceberg 分類を指定する方法については AWS CLI、クラスターの作成 AWS CLI 時に

を使用して設定を指定する「」または「」を参照してくださいクラスター作成時に Java SDK を使用して設定を指定する。configurations.json というファイルを次の内容で作成します。

```
[{
"Classification":"iceberg-defaults",
    "Properties":{"iceberg.enabled":"true"}
}]
```

次に、以下の設定でクラスターを作成し、この例の Amazon S3 バケットパスとサブネット ID を独自の値に置き換えます。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-6.9.0 \
--applications Name=Flink \
--configurations file://iceberg_configurations.json \
--region us-east-1 \
--name My_flink_Iceberg_Cluster \
--log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/ \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole \
--ec2-attributes InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef
```

または、Flink アプリケーションを含む Amazon EMR 6.9.0 クラスターを作成し、`/usr/share/aws/iceberg/lib/iceberg-flink-runtime.jar` ファイルを Flink ジョブの JAR 依存関係として使用することもできます。

Flink SQL クライアントの使用

SQL クライアントスクリプトは `/usr/lib/flink/bin` にあります。次のコマンドを使用してスクリプトを実行します。

```
flink-yarn-session -d # starting the Flink YARN Session in detached mode
./sql-client.sh
```

これにより Flink SQL シェルが起動します。

Flink の例

Iceberg テーブルの作成

Flink SQL

```
CREATE CATALOG glue_catalog WITH (
   'type'='iceberg',
   'warehouse'='<WAREHOUSE>',
   'catalog-type'='glue'
 );

USE CATALOG  glue_catalog;

CREATE DATABASE IF NOT EXISTS <DB>;

USE <DB>;

CREATE TABLE IF NOT EXISTS `glue_catalog`.`<DB>`.`sample` (id int, data string);
```

Table API

```
EnvironmentSettings settings =
                EnvironmentSettings.newInstance().inBatchMode().build();

TableEnvironment tEnv = TableEnvironment.create(settings);

String warehouse = "<WAREHOUSE>";
String db = "<DB>";

tEnv.executeSql(
                "CREATE CATALOG glue_catalog WITH (\n"
                        + "   'type'='iceberg',\n"
                        + "   'warehouse'='"
                        + warehouse
                        + "',\n"
                        + "   'catalog-impl'='org.apache.iceberg.aws.glue.GlueCatalog',
\n"
                        + "   'io-impl'='org.apache.iceberg.aws.s3.S3FileIO'\n"
                        + " );");

tEnv.executeSql("USE CATALOG  glue_catalog;");
tEnv.executeSql("CREATE DATABASE IF NOT EXISTS " + db + ";");
tEnv.executeSql("USE " + db + ";");
tEnv.executeSql(
        "CREATE TABLE `glue_catalog`.`" + db + "`.`sample` (id bigint, data string);");
```

Iceberg テーブルへの書き込み

Flink SQL

```
INSERT INTO `glue_catalog`.`<DB>`.`sample` values (1, 'a'),(2,'b'),(3,'c');
```

Table API

```
tEnv.executeSql(
        "INSERT INTO `glue_catalog`.`"
                + db
                + "`.`sample` values (1, 'a'),(2,'b'),(3,'c');");
```

Datastream API

```
final StreamExecutionEnvironment env =
 StreamExecutionEnvironment.getExecutionEnvironment();

final StreamTableEnvironment tableEnv = StreamTableEnvironment.create(env);

String db = "<DB Name>";

String warehouse = "<Warehouse Path>";

GenericRowData rowData1 = new GenericRowData(2);
rowData1.setField(0, 1L);
rowData1.setField(1, StringData.fromString("a"));

DataStream<RowData> input = env.fromElements(rowData1);

Map<String, String> props = new HashMap<();
props.put("type", "iceberg");
props.put("warehouse", warehouse);
props.put("io-impl", "org.apache.iceberg.aws.s3.S3FileIO");

CatalogLoader glueCatlogLoader =
        CatalogLoader.custom(
                "glue",
                props,
                new Configuration(),
                "org.apache.iceberg.aws.glue.GlueCatalog");
```

```
TableLoader tableLoader =
        TableLoader.fromCatalog(glueCatlogLoader, TableIdentifier.of(db, "sample"));

DataStreamSink<Void> dataStreamSink =
        FlinkSink.forRowData(input).tableLoader(tableLoader).append();

env.execute("Datastream Write");
```

Iceberg テーブルからの読み込み

Flink SQL

```
SELECT * FROM `glue_catalog`.`<DB>`.`sample`;
```

Table API

```
Table result = tEnv.sqlQuery("select * from `glue_catalog`.`" + db + "`.`sample`;");
```

Datastream API

```
final StreamExecutionEnvironment env =
 StreamExecutionEnvironment.getExecutionEnvironment();

final StreamTableEnvironment tableEnv = StreamTableEnvironment.create(env);

String db = "<DB Name>";

String warehouse = "<Warehouse Path>";

Map<String, String> props = new HashMap<>();
props.put("type", "iceberg");
props.put("warehouse", warehouse);
props.put("io-impl", "org.apache.iceberg.aws.s3.S3FileIO");

CatalogLoader glueCatlogLoader =
        CatalogLoader.custom(
                "glue",
                props,
                new Configuration(),
                "org.apache.iceberg.aws.glue.GlueCatalog");

TableLoader tableLoader =
```

```
        TableLoader.fromCatalog(glueCatlogLoader, TableIdentifier.of(db, "sample"));

DataStream<RowData> batch =

 FlinkSource.forRowData().env(env).tableLoader(tableLoader).streaming(false).build();

batch.print().name("print-sink");
```

Hive カタログの使用

Flink と Hive の依存関係が「Hive Metastore と Glue Catalog を使用して Flink を設定する」の説明に従って解決されていることを確認します。

Flink ジョブの実行

Flink にジョブを送信する方法の 1 つは、ジョブ単位の Flink YARN セッションを使用することです。これを実行するには、次のコマンドを使用します。

```
sudo flink run -m yarn-cluster -p 4 -yjm 1024m -ytm 4096m $JAR_FILE_NAME
```

Flink で Iceberg を使用するための考慮事項

- Iceberg のカタログとして AWS Glue を使用する場合は、テーブルを作成するデータベースが Glue AWS に存在することを確認してください。などのサービスを使用して AWS Lake Formation いて、カタログをロードできない場合は、コマンドを実行するためのサービスへの適切なアクセス権があることを確認してください。
- Iceberg Glue 統合は、Redshift マネージドストレージカタログでは機能しません。

Hive での Iceberg クラスターの使用

Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、オープンソースの Iceberg Hive 統合に必要なセットアップ手順を実行しなくても、Hive クラスターで Iceberg を使用できます。Amazon EMR バージョン 6.8.0 以前の場合は、ブートストラップアクションを使用して `iceberg-hive-runtime` jar をインストールし Hive での Iceberg サポートを設定できます。

Amazon EMR 6.9.0 には、Hive 3.1.3 を Iceberg 0.14.1 と統合するためのすべての機能が含まれています。また、サポートされている実行エンジンを実行時に自動選択するなどの Amazon EMR の追加機能も含まれています (Amazon EMR on EKS 6.9.0)。

Iceberg クラスターの作成

Iceberg がインストールされたクラスターは、、 AWS Management Console、 AWS CLI または Amazon EMR API を使用して作成できます。このチュートリアルでは、 AWS CLI を使用して Amazon EMR クラスターで Iceberg を操作します。コンソールを使用して Iceberg がインストールされたクラスターを作成するには、「Build an Iceberg data lake using Amazon Athena, Amazon EMR, and AWS Glue」の手順を実行します。

で Amazon EMR で Iceberg を使用するには AWS CLI、まず以下のステップを使用してクラスターを作成します。 AWS CLI または Java SDK を使用して Iceberg 分類を指定する方法については、クラスターの作成 AWS CLI 時に を使用して設定を指定する「」または「」を参照してくださいクラスター作成時に Java SDK を使用して設定を指定する。以下の内容で `configurations.json` という名前のファイルを作成します。

```
[{
    "Classification":"iceberg-defaults",
    "Properties":{"iceberg.enabled":"true"}
}]
```

次に、以下の設定でクラスターを作成し、この例の Amazon S3 バケットパスとサブネット ID を自分のものに置き換えます。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-6.9.0 \
--applications Name=Hive \
--configurations file://iceberg_configurations.json \
--region us-east-1 \
--name My_hive_Iceberg_Cluster \
--log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/ \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 \
--service-role EMR_DefaultRole \
--ec2-attributes InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole,SubnetId=subnet-1234567890abcdef
```

Hive Iceberg クラスターは以下のことを行います。

- Iceberg Hive ランタイム jar を Hive に読み込み、Hive エンジンの Iceberg 関連の設定を有効にします。
- Amazon EMR Hive の動的実行エンジン選択を有効にして、ユーザーが Iceberg と互換性のある実行エンジンを設定できないようにします。

> **Note**
>
> Hive Iceberg クラスターは現在 AWS Glue データカタログをサポートしていません。デフォルトの Iceberg カタログは `HiveCatalog` で、これは Hive 環境用に設定されたメタストアに対応しています。カタログ管理の詳細については、Apache Hive ドキュメントの「Using HCatalog」を参照してください。

機能のサポート

Amazon EMR 6.9.0 は Hive 3.1.3 と Iceberg 0.14.1 をサポートしています。機能のサポートについては Hive 3.1.2 と 3.1.3 の Iceberg 互換機能に限定されています。以下の　コマンドがサポートされています。

- Amazon EMR リリース 6.9.0～6.12.x では、`libfb303` jar を Hive の `auxlib` ディレクトリに配置する必要があります。これを行うには、次のコマンドを使用します。

  ```
  sudo /usr/bin/ln -sf /usr/lib/hive/lib/libfb303-*.jar /usr/lib/hive/auxlib/
  libfb303.jar
  ```

  Amazon EMR リリース 6.13 以降では、`libfb303` jar は自動的に Hive の `auxlib` ディレクトリにシンボリックリンクされます。
- テーブルの作成
  - 非パーティションテーブル - Hive の外部テーブルは、次のようにストレージハンドラーを指定することで作成できます。

    ```
    CREATE EXTERNAL TABLE x (i int) STORED BY
     'org.apache.iceberg.mr.hive.HiveIcebergStorageHandler'
    ```
  - パーティションテーブル - Hive の外部パーティションテーブルは次のように作成できます。

    ```
    CREATE EXTERNAL TABLE x (i int) PARTITIONED BY (j int) STORED BY
     'org.apache.iceberg.mr.hive.HiveIcebergStorageHandler'
    ```

> **Note**
>
> ORC/AVRO/PARQUET の `STORED AS` ファイル形式は Hive 3 ではサポートされていません。デフォルトで、唯一のオプションは Parquet です。

- テーブルの削除 - `DROP TABLE` コマンドは、次の例のようにテーブルを削除するために使用されます。

```
DROP TABLE [IF EXISTS] table_name [PURGE];
```

- テーブルの読み込み - 次の例のように、`SELECT` ステートメントを使用して Hive の Iceberg テーブルを読み込むことができます。サポートされている実行エンジンは MR と Tez です。

```
SELECT * FROM table_name
```

  Hive の select 構文の詳細については、「LanguageManual Select」を参照してください。Hive で Iceberg テーブルを使用する select ステートメントの詳細については、「Apache Iceberg Select」を参照してください。

- テーブルへの挿入 - HiveQL の `INSERT INTO` ステートメントは Map Reduce 実行エンジンのみをサポートする Iceberg テーブルで動作します。Amazon EMR Hive は実行時に Iceberg テーブルのエンジンを選択するため、Amazon EMR ユーザーは実行エンジンを明示的に設定する必要はありません。
  - 単一テーブルの insert into - 例:

```
INSERT INTO table_name VALUES ('a', 1);
INSERT INTO table_name SELECT...;
```

  - 複数テーブルの insert into - 非アトミック複数テーブル insert into ステートメントがサポートされています。例:

```
FROM source
 INSERT INTO table_1 SELECT a, b
 INSERT INTO table_2 SELECT c,d;
```

Amazon EMR 7.3.0 以降、Hive with Iceberg は AWS Glue データカタログをメタストアとしてサポートしています。 AWS Glue データカタログをメタストアとして使用するには、次のプロパティを設定します。

```
SET iceberg.catalog.<catalog_name>.catalog-
impl=org.apache.iceberg.aws.glue.GlueCatalog;
```

または、次のプロパティを設定することもできます。

```
SET iceberg.catalog.<catalog_name>.type=glue;
```

次に、以下の例を使用してテーブルを作成できます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE table_name (col1 type1, col2 type2,..)
ROW FORMAT SERDE 'org.apache.iceberg.mr.hive.HiveIcebergSerDe'
STORED BY 'org.apache.iceberg.mr.hive.HiveIcebergStorageHandler'
location '<location>'
TBLPROPERTIES ('table_type'='iceberg', 'iceberg.catalog'='<catalog_name>');
```

Hive で Iceberg を使用するための考慮事項

- Iceberg は以下のクエリタイプをサポートしています。
  - テーブルの作成
  - Drop table
  - Insert into table
  - Read table
- DML (データ操作言語) 操作では MR (MapReduce) 実行エンジンのみがサポートされており、MR は Hive 3.1.3 で廃止されました。
- AWS Glue Data Catalog は現在、Hive を使用した Iceberg ではサポートされていません。
- エラー処理の堅牢性が不十分です。設定に誤りがあっても、insert into クエリが正常に完了する可能性があります。ただし、メタデータの更新に失敗によりデータが失われる可能性があります。
- Iceberg Glue 統合は、Redshift マネージドストレージカタログでは機能しません。

Iceberg リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Iceberg のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Iceberg バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Iceberg バージョン	Iceberg でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	1.7.1-amzn-2	Not available.
emr-7.8.0	1.7.1-amzn-1	Not available.
emr-7.7.0	1.7.1-amzn-0	Not available.
emr-7.6.0	1.6.1-amzn-2	Not available.
emr-7.5.0	1.6.1-amzn-1	Not available.
emr-7.4.0	1.6.1-amzn-0	Not available.
emr-7.3.0	1.5.2-amzn-0	Not available.
emr-7.2.0	1.5.0-amzn-0	Not available.
emr-7.1.0	1.4.3-amzn-0	Not available.
emr-7.0.0	1.4.2-amzn-0	Not available.
emr-6.15.0	1.4.0-amzn-0	Not available.
emr-6.14.0	1.3.1-amzn-0	Not available.
emr-6.13.0	1.3.0-amzn-1	Not available.
emr-6.12.0	1.3.0-amzn-0	Not available.
emr-6.11.1	1.2.0-amzn-0	Not available.

Amazon EMR リリースラベル	Iceberg バージョン	Iceberg でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	1.2.0-amzn-0	Not available.
emr-6.10.1	1.1.0-amzn-0	Not available.
emr-6.10.0	1.1.0-amzn-0	Not available.
emr-6.9.1	0.14.1-amzn-0	Not available.
emr-6.9.0	0.14.1-amzn-0	Not available.
emr-6.8.1	0.14.0-amzn-0	Not available.
emr-6.8.0	0.14.0-amzn-0	Not available.
emr-6.7.0	0.13.1-amzn-0	Not available.
emr-6.6.0	0.13.1	Not available.
emr-6.5.0	0.12.0	Not available.

バージョン別の Iceberg リリースノート

- Amazon EMR 6.9.0 - Iceberg リリースノート

Amazon EMR 6.9.0 - Iceberg リリースノート

Amazon EMR 6.9.0 - Iceberg の変更点

タイプ	説明
機能	Amazon EMR Flink と Iceberg の統合。
機能	Amazon EMR Hive と Iceberg の統合。
機能	Amazon FSx for Lustre で Iceberg メタデータファイルをキャッシュできるようになりまし

タイプ	説明
	た。これにより、クエリプランにかかる時間を短縮できます。
バックポート	PR 5050: Flink 1.15: インライン挿入 SQL コメントの書き込みオプションがサポートされました。
バックポート	PR 5282： AWS: 新しいデータファイルストリームを開いて PUT 再試行の失敗を修正しました。
バックポート	PR 5318: Flink 1.15: FlinkSource と IcebergSource (FLIP-27) の間のギャップを埋め、Flink SQL で FLIP-27 ソースを使用するオプトイン設定を追加しました。
バックポート	PR 5344: Flink 1.14: FlinkSource と IcebergSource (FLIP-27) の間のギャップを埋め、Flink SQL で FLIP-27 ソースを使用するオプトイン設定を追加しました。
バックポート	PR 5393: Flink 1.14、1.15: FLIP-27 ソースリーダーでは Iceberg MetricContext の Flink メトリクスへの変換を行いません。
バックポート	PR 5401: Flink 1.14、1.15: FLIP-27 ソースリーダーメトリクスに関する PR #5393 に IcebergSourceReader グループがありませんでした。
バックポート	PR 5679: Spark 3.2、3.3: MergeRows ノードでの null 値の伝播を修正しました。
バックポート	PR 5860: Spark 3.3: 日付パーティションテーブルで RewriteManifestProcedure を実行するとクエリが失敗する問題を修正しました。

タイプ	説明
バックポート	PR 5880: Spark 3.3: merge-on-read 射影の null 値を修正しました。
バックポート	PR 5917: Spark 3.2: merge-on-read 射影の null 値を修正しました。

Amazon EMR の Jupyter Notebook

Jupyter ノートブックはオープンソースのウェブアプリケーションで、ライブコード、方程式、視覚化、音声テキストを含むドキュメントの作成や共有に使用することができます。Amazon EMR には、Jupyter Notebook を使用する 3 つのオプションがあります。

トピック

- EMR Studio
- Jupyter ノートブックに基づく Amazon EMR Notebooks
- JupyterHub

EMR Studio

Amazon EMR Studio は、Amazon EMR クラスターで実行される、フルマネージド型の Jupyter Notebook 用のウェブベースの統合開発環境 (IDE) です。チームが R、Python、Scala、および PySpark で記述されたアプリケーションの開発、視覚化、およびデバッグを行うために EMR Studio をセットアップできます。

Amazon EMR で Jupyter Notebook を使用する場合は、EMR Studio を使用することをお勧めします。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR Studio」を参照してください。

Jupyter ノートブックに基づく Amazon EMR Notebooks

EMR Notebooks は Amazon EMR コンソールに組み込まれた Jupyter Notebook 環境です。これを使用して、Jupyter Notebooks を素早く作成し、それらを Spark クラスターにアタッチして、コンソールで Jupyter Notebook エディタを開き、クエリやコードをリモートで実行できます。EMR Notebooks はクラスターとは別個に Amazon S3 に保存されるため、耐久性の高いストレージ、迅速なアクセス、柔軟性が確保されます。複数のノートブックを開き、1 つのクラスターに複数のノートブックをアタッチし、異なるクラスターでノートブックを再利用できます。

詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR notebooks」を参照してください。

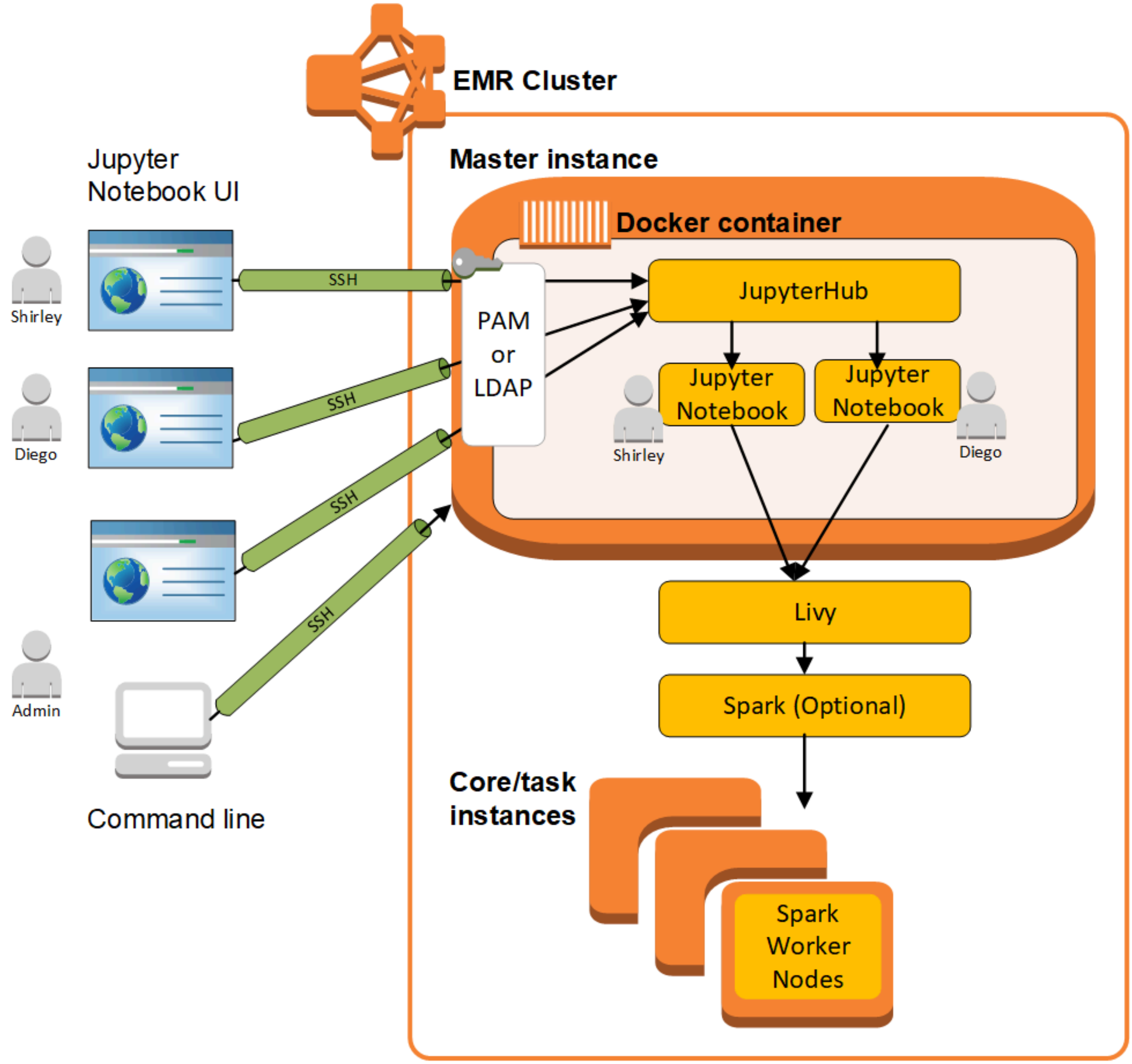
JupyterHub

Jupyter Notebook はオープンソースのウェブアプリケーションで、ライブコード、方程式、視覚化、音声テキストを含むドキュメントの作成や共有に使用することができます。JupyterHub を使

うと、シングルユーザーモードの Jupyter Notebook サーバーの複数のインスタンスをホストできます。JupyterHub を使用してクラスターを作成すると、Amazon EMR がクラスターのマスターノードで Docker コンテナを作成します。Jupyter に必要なすべてのコンポーネントの JupyterHub と Sparkmagic はコンテナ内で実行されます。

Sparkmagic は Jupyter Notebook が Amazon EMR で実行されている Apache Spark (Spark の REST サーバーである Apache Livy を使用) と連携できるようにするカーネルのライブラリです。Spark と Apache Livy は JupyterHub を使用してクラスターを作成する時に自動的にインストールされます。Sparkmagic で使用可能な PySpark 3、PySpark、Spark カーネルと同様に、Jupyter のデフォルトの Python 3 カーネルを利用することができます。こうしたカーネルを使用して臨時の Spark コードや、Python、Scala を使ったインタラクティブな SQL クエリを実行できます。Docker コンテナ内で追加のカーネルを手動で追加することもできます。詳細については、「追加のカーネルとライブラリをインストールする」を参照してください。

次の図は、Amazon EMR の JupyterHub のコンポーネントと対応するノートブックユーザーと管理者の認証方法を示しています。詳細については、「Jupyter Notebook のユーザーと管理者を追加する」を参照してください。



次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている JupyterHub のバージョンと、Amazon EMR で JupyterHub と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで JupyterHub と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、[「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」]を参照してください。

emr-7.9.0 の JupyterHub バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	JupyterHub 1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている JupyterHub のバージョンと、Amazon EMR で JupyterHub と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで JupyterHub と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の JupyterHub バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	JupyterHub 1.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
		, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている JupyterHub のバージョンと、Amazon EMR で JupyterHub と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで JupyterHub と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の JupyterHub バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	JupyterHub 1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR で JupyterHub に含まれている Python 3 カーネルは 3.6.4 です。

`jupyterhub` コンテナ内にインストールされているライブラリは Amazon EMR リリースバージョンと Amazon EC2 AMI バージョンで異なる場合があります。

conda を使用してインストール済みのライブラリをリストにする

- マスターノードのコマンドラインで次のコマンドを実行します。

```
sudo docker exec jupyterhub bash -c "conda list"
```

pip を使用してインストール済みのライブラリをリストにする

- マスターノードのコマンドラインで次のコマンドを実行します。

```
sudo docker exec jupyterhub bash -c "pip freeze"
```

トピック

JupyterHub でクラスターを作成する

JupyterHub を使用して Amazon EMR クラスターを作成するには AWS Management Console、AWS Command Line Interface、、または Amazon EMR API を使用します。ステップ完了後に自動終了するオプションでクラスターを作成していないことを確認します (AWS CLIの `--auto-terminate` オプション)。また、管理者とノートブックユーザーがクラスターの作成時に使用するキーペアにアクセスできることを確認します。詳細は、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH 認証情報にキーペアを使用する」を参照してください。

コンソールを使用して JupyterHub を含むクラスターを作成する

以下の手順に従って、Amazon EMR コンソールで [Advanced Options] (詳細オプション) を使用し、JupyterHub を含むクラスターを作成します。

Amazon EMR コンソールを使用して、JupyterHub をインストールした Amazon EMR クラスターを作成するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [Software Configuration (ソフトウェア設定)] で次を実行します。
    - [リリース] では emr-5.36.2 を選択し、[JupyterHub] を選択します。
    - Spark を使用する場合、 Glue データカタログを AWS Spark SQL のメタストアとして使用するには、「Use for Spark table metadata」を選択します。詳細については、「Amazon EMR AWS で Spark で Glue データカタログカタログを使用する」を参照してください。
    - [Edit software settings (ソフトウェア設定の編集)] には [Enter configuration (設定の入力)] を選択し、値を指定するか [Load JSON from S3 (S3 からの JSON のロード)] を選び JSON 設定ファイルを指定します。詳細については、「JupyterHub の設定」を参照してください。
4. クラスターを作成した時点で [Add steps (optional) (ステップの追加 (オプション))] で実行するステップを設定する場合は、[Auto-terminate cluster after the last step is completed (最後のステップが完了したらクラスターを自動終了する)] を選択せずに、[Next (次へ)] を選びます。
5. [Hardware Configuration (ハードウェア構成)] オプション、[Next (次へ)] の順に選択します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターハードウェアとネットワークを構成する」を参照してください。
6. [General Cluster Settings (クラスターの全般設定)] オプションを選択し [Next (次へ)] を選びます。
7. [Security Options (セキュリティオプション)] でキーペアを指定し、[Create Cluster (クラスターの作成)] を選択します。

を使用して JupyterHub でクラスターを作成する AWS CLI

JupyterHub を含むクラスターを起動するには、`aws emr create-cluster` コマンドを使用し、`--applications` オプションに `Name=JupyterHub` を指定します。次の例は Amazon EMR で 2 つの EC2 インスタンス (マスターインスタンスとコアインスタンス) を使用する JupyterHub クラスターを起動します。デバッグも有効になっています。`--log-uri` が指定する Amazon S3 ロケーションにログが保存されています。指定されたキーペアはクラスター内の Amazon EC2 インスタンスへのアクセスを提供します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name="MyJupyterHubCluster" --release-label emr-5.36.2 \
--applications Name=JupyterHub --log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/MyJupyterClusterLogs
 \
--use-default-roles --instance-type m5.xlarge --instance-count 2 --ec2-attributes
 KeyName=MyKeyPair
```

Amazon EMR で JupyterHub を使用する場合の考慮事項

Amazon EMR で JupyterHub を使用するときは、以下について検討します。

- > **Warning**
  >
  > ユーザーノートブックとファイルはマスターノードのファイルシステムに保存されています。これはクラスター終了で保持されないエフェメラルストレージです。クラスターが終了すると、バックアップされていないデータは失われます。`cron` ジョブまたは別のアプリケーションに適したものを使用して、定期的にバックアップを行うことを推奨します。また、コンテナ内で行った設定変更はコンテナの再起動時に保持されない場合があります。カスタマイズをより再現しやすくするため、スクリプトを使用するかコンテナ設定の自動化を推奨します。
- Amazon EMR セキュリティ設定を使用してセットアップした Kerberos 認証はサポートされていません。

• OAuthenticator はサポートされていません。

JupyterHub の設定

また、クラスターマスターノードに接続し設定ファイルを編集することで、Amazon EMR の JupyterHub や各ユーザーノートブックの設定をカスタマイズすることができます。値を変更したら `jupyterhub` コンテナを再起動します。

次のファイルのプロパティを変更して、JupyterHub と各 Jupyter Notebook を設定します。

• `jupyterhub_config.py` - デフォルトでは、このファイルはマスターノードの `/etc/jupyter/conf/` ディレクトリに保存されています。詳細については、JupyterHub ドキュメントの「Configuration Basics」を参照してください。
• `jupyter_notebook_config.py` - このファイルは、デフォルトで `/etc/jupyter/` ディレクトリに保存され、デフォルトとして `jupyterhub` コンテナにコピーされます。詳細については、Jupyter Notebook のドキュメントで「Config file and command line options」を参照してください。

`jupyter-sparkmagic-conf` 設定分類を使用して Sparkmagic をカスタマイズすることもできます。これにより Sparkmagic の `config.json` ファイルの値が更新されます。使用可能な設定の詳細については GitHub の「example_config.json」を参照してください。Amazon EMR のアプリケーションで設定分類を使用する方法について詳しくは「アプリケーションの設定」を参照してください。

次の例では、Sparkmagic 設定分類設定`MyJupyterConfig.json`の ファイルを参照して AWS CLI、 を使用してクラスターを起動します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --use-default-roles --release-label emr-5.14.0 \
--applications Name=Jupyter --instance-type m4.xlarge --instance-count 3 \
```

```
--ec2-attributes KeyName=MyKey,SubnetId=subnet-1234a5b6 --configurations file://
MyJupyterConfig.json
```

MyJupyterConfig.json のサンプルコンテンツは次のようになります。

```
[
    {
    "Classification":"jupyter-sparkmagic-conf",
    "Properties": {
      "kernel_python_credentials" : "{\"username\":\"diego\",\"base64_password\":
\"mypass\",\"url\":\"http:\/\/localhost:8998\",\"auth\":\"None\"}"
      }
    }
]
```

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface（AWS CLI）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

Amazon S3 でノートブックの永続性を設定するには

Amazon EMR で JupyterHub クラスターを設定して、ユーザーが保存したノートブックが Amazon S3 (クラスター EC2 インスタンスのエフェメラルストレージの外) に残るようにします。

クラスターの作成時に、jupyter-s3-conf 設定分類を使用して Amazon S3 の永続性を指定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

s3.persistence.enabled プロパティを使用して Amazon S3 の永続性を有効にすることに加えて、s3.persistence.bucket プロパティを使用してノートブックが保存される Amazon S3 でバケットを指定します。各ユーザーのノートブックは、指定したバケットの jupyter/*jupyterhub-user-name* フォルダに保存されます。バケットは Amazon S3 に存在している必要があります。また、クラスターの作成時に指定した EC2 インスタンスプロファイルのロールには、バケットへのアクセス権限が必要です (デフォルトでは、ロールは EMR_EC2_DefaultRole です)。詳細については、AWS 「サービスへの Amazon EMR アクセス許可の IAM ロールを設定する」を参照してください。

同じ設定分類プロパティを使用して新しいクラスターを起動するとき、ユーザーは保存した場所からの内容を含むノートブックを開くことができます。

Amazon S3 を有効にした状態でノートブックでモジュールとしてファイルをインポートすると、ファイルは Amazon S3 にアップロードされます。Amazon S3 の永続性を有効にせずにファイルをインポートすると、ファイルは JupyterHub コンテナにアップロードされます。

次の例では、Amazon S3 の永続性を有効にします。ユーザーが保存したノートブックは、各ユーザーの `s3://MyJupyterBackups/jupyter/jupyterhub-user-name` フォルダに保存されます。*jupyterhub-user-name* は diego などのユーザー名です。

```
[
    {
        "Classification": "jupyter-s3-conf",
        "Properties": {
            "s3.persistence.enabled": "true",
            "s3.persistence.bucket": "MyJupyterBackups"
        }
    }
]
```

マスターノードとノートブックサーバーに接続する

JupyterHub の管理者やノートブックユーザーは SSH トンネルを使用してクラスターマスターノードに接続する必要があります。その後、マスターノードの JupyterHub によるウェブインターフェイスに接続します。SSH トンネルの設定やウェブ接続をプロキシするためにトンネルを使用する場合の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターに接続する」を参照してください。

デフォルトでは、Amazon EMR の JupyterHub はマスターノードのポート 9443 で利用できます。JupyterHub の内部プロキシはポート 9443 を使用してノートブックインスタンスも提供します。次のパターンを使用する URL で JupyterHub と Jupyter ウェブインターフェイスにアクセスできます。

https://*MasterNodeDNS*:9443

`c.JupyterHub.port` プロパティ (`jupyterhub_config.py` ファイル) を使用して別のポートを指定することができます。詳細については、JupyterHub ドキュメントの「Networking Basics」を参照してください。

デフォルトでは、Amazon EMR の JupyterHub は HTTPS を使用する SSL 暗号化の自己署名証明書を使います。接続が完了すると、自己署名証明書を信頼することを確認するメッセージが

表示されます。ご自分の信頼済みの証明書とキーを使用できます。デフォルトの証明書ファイル、`server.crt`、キーファイル `server.key` をマスターノードの `/etc/jupyter/conf/` ディレクトリでご自分の証明書とキーファイルに置き換えます。`c.JupyterHub.ssl_key` と `c.JupyterHub.ssl_cert` プロパティ (`jupyterhub_config.py` ファイル) を使用して SSL マテリアルを指定します。詳細については、JupyterHub ドキュメントの「[Security Settings]」を参照してください。`jupyterhub_config.py` を更新したら、コンテナを再起動します。

JupyterHub の設定と管理

JupyterHub と Docker コンテナ内で実行される関連のコンポーネント (`jupyterhub`) は Ubuntu オペレーティングシステムを使用します。コンテナ内で実行するコンポーネントを管理する方法はいくつかあります。

> **Warning**
>
> コンテナ内で行うカスタマイズはコンテナの再起動時に保持されない場合があります。カスタマイズをより再現しやすくするため、スクリプトを使用するかコンテナ設定の自動化を推奨します。

コマンドラインを使用して管理する

SSH を使用してマスターノードに接続する場合は、Docker コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用してコマンドを実行できます。その場合はコンテナを名前または ID で指定します (`jupyterhub`)。たとえば、`sudo docker exec jupyterhub` *`command`* はオペレーティングシステムまたはコンテナ内で実行されるアプリケーションが認識するコマンドを実行します。このメソッドを使用し、オペレーティングシステムにユーザーを追加して Docker コンテナ内に追加アプリケーションやライブラリをインストールすることができます。たとえば、デフォルトのコンテナイメージにはパッケージのインストールの Conda が含まれているので、マスターノードラインで次のコマンドを実行し、コンテナ内でアプリケーション、Keras をインストールすることができます。

```
sudo docker exec jupyterhub conda install keras
```

ステップを送信して管理する

ステップはクラスターに作業を送信する方法です。クラスターを起動するときにステップを送信、または実行中のクラスターにステップを送信することができます。`command-runner.jar` を使用

し、コマンドラインで実行するコマンドをステップとして送信できます。詳細については「Amazon EMR 管理ガイド」の「CLI およびコンソールを使用した手順の作業」と「Amazon EMR クラスターでのコマンドとスクリプトの実行」を参照してください。

たとえば、ローカルコンピュータで次の AWS CLI コマンドを使用して、前の例のマスターノードのコマンドラインから行ったのと同じ方法で Keras をインストールできます。

```
aws emr add-steps --cluster-id MyClusterID --steps Name="Command
 Runner",Jar="command-runner.jar",Args="/usr/bin/sudo","/usr/bin/
docker","exec","jupyterhub","conda","install","keras"
```

一連のステップをスクリプトにし、そのスクリプトを Amazon S3 にアップロードすると、クラスターの作成時またはステップとしてスクリプトを追加する場合に `script-runner.jar` を使用してスクリプトを実行できます。詳細については、「Amazon EMR クラスターでのコマンドとスクリプトの実行」を参照してください。例については、the section called "例: Bash スクリプトで複数のユーザーを追加する"を参照してください。

REST API を使用して管理する

Jupyter、JupyterHub、JupyterHub の HTTP プロキシはリクエスト送信に使用できる REST API を提供します。JupyterHub にリクエストを送信するには、リクエストを含む API トークンを渡す必要があります。マスターノードのコマンドラインから `curl` コマンドを使用して、REST コマンドを実行できます。詳細については、以下のリソースを参照してください。

- JupyterHub のドキュメント「Using JupyterHub's REST API」(API トークンを生成する方法も記載されています)
- GitHub の Jupyter Notebook Server API
- GitHub の configurable-http-proxy

次の例では REST API を使用して JupyterHub がユーザーリストを取得する方法を示しています。コマンドは以前生成された admin トークンを渡し、JupyterHub にデフォルトのポート 9443 を使用して出力を jq にパイピングすることで見やすくします。

```
curl -XGET -s -k https://$HOST:9443/hub/api/users \
-H "Authorization: token $admin_token" | jq .
```

Jupyter Notebook のユーザーと管理者を追加する

ユーザーがノートブックを作成し、オプションで JupyterHub を管理できるように、JupyterHub でユーザーを認証させる方法 2 つのうち 1 つを使用することができます。JupyterHub の Pluggable Authentication Module (PAM) を使用するのがもっとも簡単な方法です。また、Amazon EMR の JupyterHub は Microsoft Active Directory サーバーのような LDAP サーバーからユーザー ID を取得するため、[LDAP authenticator plugin for JupyterHub](https://github.com/jupyterhub/ldapauthenticator) をサポートしています。各認証方法でユーザーを追加する場合の手順や例については、こちらのセクションをご覧ください。

Amazon EMR の JupyterHub には管理者の権限を持つデフォルトユーザーが設定されています。ユーザー名は `jovyan` でパスワードは `jupyter` です。このユーザーを管理者の権限を持つ別のユーザーに置き換えることを強く推奨します。これを行うには、クラスターの作成時にステップを使用するか、クラスターの実行中にマスターノードに接続します。

トピック

- PAM 認証の使用
- LDAP 認証の使用
- ユーザー偽装

PAM 認証の使用

Amazon EMR の JupyterHub で PAM ユーザーを作成するのは 2 段階のプロセスです。最初のステップは、マスターノードで `jupyterhub` コンテナを実行しているオペレーティングシステムにユーザーを追加し、対応するユーザーのホームディレクトリに各ユーザーを追加することです。次のステップは、こうしたオペレーティングシステムのユーザーを JupyterHub ユーザーとして追加することです。このプロセスは JupyterHub でホワイトリストと呼ばれています。JupyterHub ユーザーの追加が完了すると、ユーザーは JupyterHub URL に接続して、アクセスに必要なオペレーティングシステムの認証情報を提供することができます。

ユーザーがログインすると、JupyterHub はそのユーザー用にノートブックサーバーインスタンスを開きます。これはマスターノードのユーザーのホームディレクトリ (`/var/lib/jupyter/home/`*`username`*) に保存されています。ノートブックサーバーインスタンスがない場合は、ユーザーのホームディレクトリで JupyterHub がノートブックインスタンスを生成します。次のセクションは、各ユーザーをオペレーティングシステムと JupyterHub に追加する方法や、複数のユーザーを追加する基本的な bash スクリプトを示しています。

コンテナにオペレーティングシステムユーザーを追加する

次の例は、最初にコンテナ内の useradd コマンドを使用して 1 人のユーザー (diego) を追加してから、そのユーザー用のホームディレクトリを作成します。2 番目のコマンドは chpasswd を使用して、このユーザーに diego のパスワードを確立します。SSH で接続中にマスターノードコマンドラインでコマンドが実行されます。ステップを送信して管理するで説明されているように、ステップを使用してこうしたコマンドを実行することもできます。

```
sudo docker exec jupyterhub useradd -m -s /bin/bash -N diego
sudo docker exec jupyterhub bash -c "echo diego:diego | chpasswd"
```

JupyterHub ユーザーを追加する

JupyterHub の [Admin (管理者)] パネルを使用するか、REST API を使用してユーザーと管理者 (またはユーザーのみ) を追加できます。

JupyterHub の [Admin] パネルを使用してユーザーと管理者を追加する

1. SSH を使用してマスターノードに接続し、管理者の権限を持つ ID で https://*MasterNodeDNS*:9443 にログインします。
2. [Control Panel (コントロールパネル)]、[Admin (管理者)] の順に選択します。
3. [User (ユーザー)] を選択し、[Add Users (ユーザーの追加)] または [Admin (管理者)]、[Add Admins (管理者の追加)] を選択します。

REST API を使用してユーザーを追加する

1. SSH を使用してマスターノードに接続し、次のコマンドをマスターノードで使用するか、コマンドをステップとして実行します。
2. 管理者トークンを取得して API リクエストを行い、次のステップで *AdminToken* をそのトークンと置き換えます。
3. 次のコマンドを使用して *UserName* をコンテナ内で作成したオペレーティングシステムユーザーと置き換えます。

```
curl -XPOST -H "Authorization: token AdminToken" "https://$(hostname):9443/hub/api/
users/UserName
```

> **Note**
>
> JupyterHub ウェブインターフェイスに初めてログインすると、JupyterHub の非管理者ユーザーとして自動的に追加されます。

例: Bash スクリプトで複数のユーザーを追加する

次のサンプル bash スクリプトは、複数の JupyterHub ユーザーを作成するために行ったステップを関連付けます。スクリプトは直接マスターノードで実行したり、Amazon S3 にアップロードしてステップとして実行することができます。

スクリプトは最初にユーザー名の配列を確立し、`jupyterhub token` コマンドを使用してデフォルトの管理者 (jovyan) に API トークンを作成します。そうすると、`jupyterhub` コンテナにオペレーティングシステムユーザーを作成し、ユーザー名に対応する初期パスワードを割り当てます。最後に、REST API オペレーションを呼び出して JupyterHub で各ユーザーを作成します。以前スクリプトで生成したトークンを渡し、REST レスポンスを `jq` にパイプして見やすくします。

```
# Bulk add users to container and JupyterHub with temp password of username
set -x
USERS=(shirley diego ana richard li john mary anaya)
TOKEN=$(sudo docker exec jupyterhub /opt/conda/bin/jupyterhub token jovyan | tail -1)
for i in "${USERS[@]}";
do
   sudo docker exec jupyterhub useradd -m -s /bin/bash -N $i
   sudo docker exec jupyterhub bash -c "echo $i:$i | chpasswd"
   curl -XPOST --silent -k https://$(hostname):9443/hub/api/users/$i \
 -H "Authorization: token $TOKEN" | jq
done
```

`s3://amzn-s3-demo-bucket/createjupyterusers.sh` のような Amazon S3 の場所にスクリプトを保存します。ステップとして実行するために `script-runner.jar` を使えるようになります。

例: クラスターの作成時にスクリプトを実行する (AWS CLI)

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name="MyJupyterHubCluster" --release-label emr-5.36.2 \
--applications Name=JupyterHub --log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/MyJupyterClusterLogs
 \
--use-default-roles --instance-type m5.xlarge --instance-count 2 --ec2-attributes
 KeyName=MyKeyPair \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name=CustomJAR,ActionOnFailure=CONTINUE,\
Jar=s3://region.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-runner.jar,Args=["s3://amzn-
s3-demo-bucket/createjupyterusers.sh"]
```

既存のクラスターでスクリプトを実行する (AWS CLI)

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-XXXXXXXX --steps Type=CUSTOM_JAR,\
Name=CustomJAR,ActionOnFailure=CONTINUE,\
Jar=s3://region.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-runner.jar,Args=["s3://amzn-
s3-demo-bucket/createjupyterusers.sh"]
```

LDAP 認証の使用

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) は、Active Directory または OpenLDAP サーバーのような LDAPとの互換性があるディレクトリサーバープロバイダーで保存されているユーザーやコンピュータなどのリソースに対応するオブジェクトのクエリや変更を行うアプリケーションプロトコルです。Amazon EMR の JupyterHub と JupyterHub の LDAP 認証プラグインを使用して、ユー

ザー認証に LDAP を使うことができます。プラグインは LDAP ユーザーのログインセッションを処理し、Jupyter にユーザー情報を提供します。これにより、ユーザーは LDAP と互換性のあるサーバーに保存している ID の認証情報を使用して JupyterHub とノートブックに接続できるようになります。

このセクションのステップは、JupyterHub の LDAP 認証プラグインを使用して LDAP をセットアップし有効にするための手順を示しています。このステップはマスターノードのコマンドラインに接続している状態で実行します。詳細については、「マスターノードとノートブックサーバーに接続する」を参照してください。

1. ホスト IP アドレス、ポート、バインディング名など、LDAP サーバーに関する情報を使用して LDAP 設定ファイルを作成します。
2. `/etc/jupyter/conf/jupyterhub_config.py` を変更して、JupyterHub の LDAP 認証プラグインを有効にします。
3. `jupyterhub` コンテナ内で LDAP を設定するスクリプトを作成して実行します。
4. ユーザー用に LDAP をクエリしてから、各ユーザーのコンテナ内でホームディレクトリを作成します。ノートブックをホストするため、JupyterHub にはホームディレクトリが必要です。
5. JupyterHub を再開するスクリプトを実行する

> **Important**
>
> LDAPを設定する前に、LDAP サーバーとクラスターマスターノードが必要に応じて通信できることを確認するため、ネットワークインフラストラクチャをテストしてください。TLS は通常、単純な TCP 接続でポート 389 を使用します。LDAP 接続が SSL を使用する場合の一般的な SSL の TCP ポートは 636 です。

LDAP 設定ファイルを作成する

以下の例では、次のプレースホルダー設定の値を使用します。これらの値を実装と一致するパラメータに置き換えます。

- LDAP サーバーはバージョン 3 を実行していて、ポート 389 で使用可能になっています。これは標準的な LDAP の非 SSL ポートです。
- ベース識別子名 (DN) は `dc=example, dc=org` です。

テキストエディタを使用して、次のようなコンテンツを含む ldap.conf ファイルを作成します。LDAP 実装に適切な値を使用します。*host* を IP アドレスまたは LDAP サーバーの解決可能なホスト名に置き換えます。

```
base dc=example,dc=org
uri ldap://host
ldap_version 3
binddn cn=admin,dc=example,dc=org
bindpw admin
```

JupyterHub の LDAP 認証プラグインを有効にする

テキストエディタを使用して `/etc/jupyter/conf/jupyterhub_config.py` ファイルを変更し、次のような ldapauthenticator プロパティを追加します。*host* を IP アドレスまたは LDAP サーバーの解決可能なホスト名に置き換えます。この例では、ユーザーオブジェクトが *people* という組織単位 (ou) にあり、先に `ldap.conf` を使って確立した識別名のコンポーネントを使用しているものとします。

```
c.JupyterHub.authenticator_class = 'ldapauthenticator.LDAPAuthenticator'
c.LDAPAuthenticator.use_ssl = False
c.LDAPAuthenticator.server_address = 'host'
c.LDAPAuthenticator.bind_dn_template = 'cn={username},ou=people,dc=example,dc=org'
```

コンテナ内で LDAP を設定する

テキストエディタを使用して、次のコンテンツを含む bash スクリプトを作成します。

```
#!/bin/bash

# Uncomment the following lines to install LDAP client libraries only if
# using Amazon EMR release version 5.14.0. Later versions install libraries by default.
# sudo docker exec jupyterhub bash -c "sudo apt-get update"
# sudo docker exec jupyterhub bash -c "sudo apt-get -y install libnss-ldap libpam-ldap
 ldap-utils nscd"

# Copy ldap.conf
sudo docker cp ldap.conf jupyterhub:/etc/ldap/
sudo docker exec jupyterhub bash -c "cat /etc/ldap/ldap.conf"

# configure nss switch
sudo docker exec jupyterhub bash -c "sed -i 's/\(^passwd.*\)/\1 ldap/g' /etc/
nsswitch.conf"
```

```
sudo docker exec jupyterhub bash -c "sed -i 's/\(^group.*\)/\1 ldap/g' /etc/
nsswitch.conf"
sudo docker exec jupyterhub bash -c "sed -i 's/\(^shadow.*\)/\1 ldap/g' /etc/
nsswitch.conf"
sudo docker exec jupyterhub bash -c "cat /etc/nsswitch.conf"

# configure PAM to create home directories
sudo docker exec jupyterhub bash -c "echo 'session required        pam_mkhomedir.so
 skel=/etc/skel umask=077' >> /etc/pam.d/common-session"
sudo docker exec jupyterhub bash -c "cat /etc/pam.d/common-session"

# restart nscd service
sudo docker exec jupyterhub bash -c "sudo service nscd restart"

# Test
sudo docker exec jupyterhub bash -c "getent passwd"

# Install ldap plugin
sudo docker exec jupyterhub bash -c "pip install jupyterhub-ldapauthenticator"
```

マスターノードにスクリプトを保存し、マスターノードのコマンドラインから実行します。たとえば、`configure_ldap_client.sh` として保存されているスクリプトでファイルを実行可能にします。

```
chmod +x configure_ldap_client.sh
```

スクリプトを実行します。

```
./configure_ldap_client.sh
```

Active Directory に属性を追加する

ユーザーを見つけ、データベースに適切なエントリを作成するため、JupyterHub docker コンテナでは、Active Directory の該当するユーザーオブジェクトに次の UNIX プロパティが必要です。詳細については、記事「Clarification regarding the status of identity management for Unix (IDMU) and NIS server role in Windows Server 2016 technical preview and beyond」(Windows Server 2016テクニカルプレビュー以降でのUnix（IDMU）およびNISサーバーの役割のID管理のステータスに関する説明）、のセクション「How do I continue to edit the GID/UID RFC 2307 attributes now that the Unix Attributes Plug-in is no longer available for the Active Directory Users and Computers MMC snap-in?」(Unix属性プラグインがActiveDirectoryユーザーとコンピューターMMCスナップインで使用でき

なくなった場合、GID / UID RFC 2307属性を編集し続けるにはどうすればよいですか？) を参照してください。

- `homeDirectory`

  これは、ユーザーのホームディレクトリへの場所 (通常は `/home/username`) です。
- `gidNumber`

  これは、別のユーザーがすでに使用していない 60000 より大きい値です。使用中の GID については、`etc/passwd` ファイルを確認してください。
- `uidNumber`

  これは、別のグループがすでに使用していない 60000 より大きい値です。使用中の UID については、`etc/group` ファイルを確認してください。
- `uid`

  これは *username* と同じです。

ユーザーのホームディレクトリを作成する

LDAP ユーザーを認証しインスタンスデータを保存するため、JupyterHub はコンテナ内のホームディレクトリを必要とします。次の例は LDAP ディレクトリのshirley と diego という 2 人のユーザーを示しています。

まず、次の例のように [ldapsearch](#) を使用して、各ユーザーの ID とグループ ID 情報に LDAP サーバーをクエリします。*host* は LDAP サーバーの IP アドレスまたは解決可能なホスト名に置き換わります。

```
ldapsearch -x -H ldap://host \
 -D "cn=admin,dc=example,dc=org" \
 -w admin \
 -b "ou=people,dc=example,dc=org" \
 -s sub \
 "(objectclass=*)" uidNumber gidNumber
```

`ldapsearch` コマンドが shirley と diego といった 2 人のユーザーに見られるような LDIF 形式のレスポンスを返します。

```
# extended LDIF
```

```
# LDAPv3
# base <ou=people,dc=example,dc=org> with scope subtree
# filter: (objectclass=*)
# requesting: uidNumber gidNumber sn

# people, example.org
dn: ou=people,dc=example,dc=org

# diego, people, example.org
dn: cn=diego,ou=people,dc=example,dc=org
sn: B
uidNumber: 1001
gidNumber: 100

# shirley, people, example.org
dn: cn=shirley,ou=people,dc=example,dc=org
sn: A
uidNumber: 1002
gidNumber: 100

# search result
search: 2
result: 0 Success

# numResponses: 4
# numEntries: 3
```

レスポンスからの情報を使用し、コンテナ内のコマンドを実行して各ユーザーの共通名 (cn) にホームディレクトリを作成します。`uidNumber` と `gidNumber` を使用して、そのユーザーのホームディレクトリの所有権を修正します。その操作を次の例のコマンドがユーザーの *`shirley`* に行います。

```
sudo docker container exec jupyterhub bash -c "mkdir /home/shirley"
sudo docker container exec jupyterhub bash -c "chown -R $uidNumber /home/shirley"
sudo docker container exec jupyterhub bash -c "sudo chgrp -R $gidNumber /home/shirley"
```

> **Note**
>
> JupyterHub の LDAP オーセンティケータでは、ローカルユーザーの作成がサポートされていません。詳細については、「[LDAP authenticator configuration note on local user creation]」を参照してください。
> ローカルユーザーを手動で作成するには、次のコマンドを使用します。

```
sudo docker exec jupyterhub bash -c "echo 'shirley:x:$uidNumber:$gidNumber::/
home/shirley:/bin/bash' >> /etc/passwd"
```

JupyterHub コンテナの再起動

以下のコマンドを実行して、jupyterhub コンテナを再起動します。

```
sudo docker stop jupyterhub
sudo docker start jupyterhub
```

ユーザー偽装

Jupyter Notebook 内で実行されている Spark ジョブは、Amazon EMR での実行中に、複数のアプリケーションを走査します。たとえば、Jupyter 内でユーザーが実行する PySpark3 コードが、HTTP POST リクエストを使用してそのコードを Livy に送信する Sparkmagic によって受信されます。それにより、YARN を使用してクラスターで実行する Spark ジョブが作成されます。

デフォルトでは、このように送信された YARN ジョブは、ジョブを開始したユーザーとは関係なく、ユーザー livy として実行されます。ユーザー偽装を設定することで、ノートブックユーザーのユーザー ID を、YARN ジョブに関連付けられているユーザーとすることができます。各ユーザーによって開始されるジョブは、ユーザー shirley と関連付けられた diego と livy の両方によって開始するのではなく、それぞれ shirley および diego に関連付けられます。これにより、Jupyter の使用を監査し、組織内でアプリケーションを管理できます。

この設定がサポートされるのは、Sparkmagic から Livy への呼び出しが認証されていない場合のみです。Hadoop アプリケーションと Livy (Apache Knox Gateway など) 間で認証またはプロキシレイヤーを提供するアプリケーションはサポートされません。このセクションでユーザー偽装を設定するステップでは、JupyterHub と Livy が同じマスターノードで実行されていることを前提としています。アプリケーションに別々のクラスターがある場合、ステップ 3: ユーザーの HDFS ホームディレクトリを作成する を変更し、HDFS ディレクトリが Livy マスターノードで作成されるようにする必要があります。

ユーザー偽装を設定するステップ

- ステップ 1: Livy を設定する
- ステップ 2: ユーザーを追加する

- ステップ 3: ユーザーの HDFS ホームディレクトリを作成する

ステップ 1: Livy を設定する

次の例に示すように、クラスターを作成して Livy のユーザー偽装を有効にする場合は、`livy-conf` および `core-site` 設定分類を使用します。設定分類を JSON として保存し、クラスターの作成時にその分類を参照するか、インラインで指定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

```
[
  {
    "Classification": "livy-conf",
    "Properties": {
      "livy.impersonation.enabled": "true"
    }
  },
  {
    "Classification": "core-site",
    "Properties": {
      "hadoop.proxyuser.livy.groups": "*",
      "hadoop.proxyuser.livy.hosts": "*"
    }
  }
]
```

ステップ 2: ユーザーを追加する

PAM または LDAP を使用して JupyterHub ユーザーを追加します。詳細については、「PAM 認証の使用」および「LDAP 認証の使用」を参照してください。

ステップ 3: ユーザーの HDFS ホームディレクトリを作成する

ユーザーを作成するため、マスターノードに接続しました。マスターノードに接続中に、次のコンテンツをコピーして、スクリプトファイルに保存します。スクリプトにより、マスターノードの各 JupyterHub ユーザーごとに、HDFS ホームディレクトリが作成されます。このスクリプトでは、デフォルトの管理者ユーザー ID *jovyan* を使用することが前提となっています。

```
#!/bin/bash

CURL="curl --silent -k"
HOST=$(curl -s http://169.254.169.254/latest/meta-data/local-hostname)
```

```
admin_token() {
    local user=jovyan
    local pwd=jupyter
    local token=$($CURL https://$HOST:9443/hub/api/authorizations/token \
        -d "{\"username\":\"$user\", \"password\":\"$pwd\"}" | jq ".token")
    if [[ $token != null ]]; then
        token=$(echo $token | sed 's/"//g')
    else
        echo "Unable to get Jupyter API Token."
        exit 1
    fi
    echo $token
}

# Get Jupyter Admin token
token=$(admin_token)

# Get list of Jupyter users
users=$(curl -XGET -s -k https://$HOST:9443/hub/api/users \
 -H "Authorization: token $token" | jq '.[].name' | sed 's/"//g')

# Create HDFS home dir
for user in ${users[@]};
do
 echo "Create hdfs home dir for $user"
 hadoop fs -mkdir /user/$user
 hadoop fs -chmod 777 /user/$user
done
```

追加のカーネルとライブラリをインストールする

Amazon EMR で JupyterHub を使用してクラスターを作成すると、Jupyter のデフォルト Python 3 カーネルが、PySpark、Spark カーネル (Sparkmagic 用) と共に Docker コンテナにインストールされます。追加のカーネルをインストールできます。追加のライブラリやパッケージをインストールしてから、適切なシェルにインポートすることもできます。

カーネルをインストールする

カーネルは Docker コンテナ内にインストールされます。これを簡単に行うには、インストールコマンドを使用して bash スクリプトを作成し、マスターノードに保存してから `sudo docker exec jupyterhub script_name` コマンドで `jupyterhub` コンテナ内にあるスクリプトを実行します。次の例のスクリプトはカーネルをインストールし、マスターノードでカーネルのライブラリをい

くつかインストールすることで、後から Jupyter を使用してライブラリをインポートできるようにします。

```
#!/bin/bash

# Install Python 2 kernel
conda create -n py27 python=2.7 anaconda
source /opt/conda/envs/py27/bin/activate
apt-get update
apt-get install -y gcc
/opt/conda/envs/py27/bin/python -m pip install --upgrade ipykernel
/opt/conda/envs/py27/bin/python -m ipykernel install

# Install libraries for Python 2
/opt/conda/envs/py27/bin/pip install paramiko nltk scipy numpy scikit-learn pandas
```

コンテナ内でカーネルとライブラリをインストールするにはマスターノードへの接続を開き、スクリプトを `/etc/jupyter/install_kernels.sh` に保存してマスターノードのコマンドラインで次のコマンドを実行します。

```
sudo docker exec jupyterhub bash /etc/jupyter/install_kernels.sh
```

ライブラリの使用と追加ライブラリのインストール

Python 3 の機械学習とデータサイエンスライブラリのコアセットは、Amazon EMR の JupyterHub にあらかじめインストールされています。`sudo docker exec jupyterhub bash -c "conda list"` と `sudo docker exec jupyterhub bash -c "pip freeze"` を使用できます。

Spark ジョブがワーカーノードでライブラリを必要とする場合は、ブートストラップアクションを使用してクラスターの作成時にライブラリをインストールし、スクリプトを実行することを推奨します。ブートストラップアクションは、クラスターの作成時にすべてのクラスターノードで実行され、インストールプロセスが簡素化されます。クラスターを実行してから、コアまたはワーカーノードにライブラリをインストールするとオペレーションが複雑になります。このセクションの Python プログラムの例では、こうしたライブラリのインストール方法を示しています。

このセクションの例のブートストラップアクションと Python プログラムは、Amazon S3 に保存している bash スクリプトを使用してすべてのノードにライブラリをインストールします。

次の例で参照されているスクリプトは、`pip` を使用して paramiko、nltk、scipy、scikit-learn、pandas (Python 3 カーネル用) をインストールします。

```
#!/bin/bash

sudo python3 -m pip install boto3 paramiko nltk scipy scikit-learn pandas
```

スクリプトを作成したら、Amazon S3 の場所にアップロードします (例: `s3://amzn-s3-demo-bucket/install-my-jupyter-libraries.sh`)。ブートストラップアクションまたは Python プログラムで使用できるようにするには、Amazon Simple Storage Service User Guide の[オブジェクトのUploading](#)で詳細を確認してください。

を使用してクラスターを作成するときにすべてのノードにライブラリをインストールするブートストラップアクションを指定するには AWS CLI

1. 前の例のようなスクリプトを作成し、Amazon S3 の場所に保存します。`s3://amzn-s3-demo-bucket/install-my-jupyter-libraries.sh` の例を使用します。
2. JupyterHub でクラスターを作成し、`Path` の引数 (`--bootstrap-actions` オプション) を使用して、次の例で表示されているようにスクリプトの場所を指定します。

   Note

   読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

   ```
   aws emr create-cluster --name="MyJupyterHubCluster" --release-label emr-5.36.2 \
   --applications Name=JupyterHub --log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/
   MyJupyterClusterLogs \
   --use-default-roles --instance-type m5.xlarge --instance-count 2 --ec2-attributes
    KeyName=MyKeyPair \
   --bootstrap-actions Path=s3://amzn-s3-demo-bucket/install-my-jupyter-
   libraries.sh,Name=InstallJupyterLibs
   ```

コンソールを使用してクラスターを作成する場合にすべてのノードでライブラリをインストールするためのブートストラップアクションを指定するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「[Using the old console](#)」を参照してください。

2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. アプリケーションの必要に応じて [Software and Steps (ソフトウェアとステップ)] および [Hardware (ハードウェア)] の設定を指定します。
4. [General Cluster Settings ((クラスターの全般設定))] 画面で、[Bootstrap Actions (ブートストラップアクション)] を選択します。
5. [Add bootstrap action (ブートストラップアクションの追加)] で [Custom action (カスタムアクション)]、[Configure and add (設定と追加)] の順に選択します。
6. [Name] (名前) で、わかりやすい名前を入力します。[スクリプトの場所] にスクリプトの Amazon S3 の場所を入力します (この例では、s3://amzn-s3-demo-bucket/install-my-jupyter-libraries.sh を使用)。[Optional arguments (オプションの引数)] は空白のままにして、[Add (追加)] を選択します。
7. クラスターのその他の設定を指定し、[Next (次へ)] を選択します。
8. セキュリティ設定を指定し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

Example 実行中のクラスターのコアノードにライブラリをインストールする

Jupyter 内からマスターノードでライブラリのインストールを完了すると、実行中のコアノードでライブラリをさまざまな方法でインストールできます。次の例は、ローカルマシンで実行するように書き込まれた Python プログラムを示しています。Python プログラムをローカルで実行すると、の を使用して、このセクションの前半で示したサンプルスクリプト`AWS-RunShellScript` AWS Systems Manager を実行します。これにより、クラスターのコアノードにライブラリがインストールされます。

```
import argparse
import time
import boto3


def install_libraries_on_core_nodes(cluster_id, script_path, emr_client, ssm_client):
    """
    Copies and runs a shell script on the core nodes in the cluster.

    :param cluster_id: The ID of the cluster.
    :param script_path: The path to the script, typically an Amazon S3 object URL.
    :param emr_client: The Boto3 Amazon EMR client.
    :param ssm_client: The Boto3 AWS Systems Manager client.
    """
```

```
    core_nodes = emr_client.list_instances(
        ClusterId=cluster_id, InstanceGroupTypes=["CORE"]
    )["Instances"]
    core_instance_ids = [node["Ec2InstanceId"] for node in core_nodes]
    print(f"Found core instances: {core_instance_ids}.")

    commands = [
        # Copy the shell script from Amazon S3 to each node instance.
        f"aws s3 cp {script_path} /home/hadoop",
        # Run the shell script to install libraries on each node instance.
        "bash /home/hadoop/install_libraries.sh",
    ]
    for command in commands:
        print(f"Sending '{command}' to core instances...")
        command_id = ssm_client.send_command(
            InstanceIds=core_instance_ids,
            DocumentName="AWS-RunShellScript",
            Parameters={"commands": [command]},
            TimeoutSeconds=3600,
        )["Command"]["CommandId"]
        while True:
            # Verify the previous step succeeded before running the next step.
            cmd_result = ssm_client.list_commands(CommandId=command_id)["Commands"][0]
            if cmd_result["StatusDetails"] == "Success":
                print(f"Command succeeded.")
                break
            elif cmd_result["StatusDetails"] in ["Pending", "InProgress"]:
                print(f"Command status is {cmd_result['StatusDetails']}, waiting...")
                time.sleep(10)
            else:
                print(f"Command status is {cmd_result['StatusDetails']}, quitting.")
                raise RuntimeError(
                    f"Command {command} failed to run. "
                    f"Details: {cmd_result['StatusDetails']}"
                )


def main():
    parser = argparse.ArgumentParser()
    parser.add_argument("cluster_id", help="The ID of the cluster.")
    parser.add_argument("script_path", help="The path to the script in Amazon S3.")
    args = parser.parse_args()

    emr_client = boto3.client("emr")
```

```
    ssm_client = boto3.client("ssm")

    install_libraries_on_core_nodes(
        args.cluster_id, args.script_path, emr_client, ssm_client
    )


if __name__ == "__main__":
    main()
```

JupyterHub リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている JupyterHub のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

JupyterHub バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-7.8.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode,

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
		hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-7.7.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-librar y, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-7.6.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-librar y, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-7.4.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-7.2.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-7.1.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.15.0	1.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	1.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.13.0	1.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.11.1	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.10.1	1.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	1.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.9.1	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.8.1	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.7.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.36.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.35.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.4.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	1.2.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.3.0	1.2.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.2.0	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.1.0	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-6.0.0	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	1.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.33.1	1.2.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	1.2.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.32.1	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.31.1	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.30.2	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.30.0	1.1.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.28.1	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.27.1	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	1.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.26.0	0.9.6	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	0.9.6	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.24.1	0.9.6	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	0.9.6	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.23.1	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.22.0	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.21.1	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.20.1	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.19.1	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	0.9.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.18.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.17.2	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.17.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.16.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.15.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub
emr-5.14.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Amazon EMR リリースラベル	JupyterHub バージョン	JupyterHub と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, jupyterhub

Apache Livy

Livy は、Spark を実行する EMR クラスターを、REST インターフェイスによって操作できます。REST インターフェイスまたは RPC クライアントライブラリを使って、Spark ジョブや Spark コードのスニペットを送信したり、同期的または非同期的に結果を取得したり、Spark コンテキストを管理したりすることができます。詳細については、「Apache Livy ウェブサイト」を参照してください。Livy は、Amazon EMR リリースバージョン 5.9.0 以降に含まれています。

Livy ウェブインターフェイスにアクセスするには、マスターノードへの SSH トンネルとプロキシ接続を設定します。詳細については、「EMR クラスターでホストされているウェブサイトの表示」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Livy のバージョンと、Amazon EMR で Livy と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Livy と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Livy バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Livy 0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Livy のバージョンと、Amazon EMR で Livy と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Livy と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Livy バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Livy 0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Livy のバージョンと、Amazon EMR で Livy と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Livy と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Livy バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Livy 0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
		yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

トピック

Apache Livy で HTTPS を有効にする

このトピックは、Amazon EMR 7.3.0 以前のリリースを実行している場合に関連しています。リリース 7.4.0 以降、HTTPS は Apache Livy でデフォルトで有効になっています。

1. 転送時の暗号化を有効にして Amazon EMR クラスターをプロビジョニングします。暗号化の詳細については、「保管中と転送中のデータの暗号化」を参照してください。
2. `livy_ssl.sh` というファイルを次の内容で作成します。

```
#!/bin/bash

KEYSTORE_FILE=`awk '/ssl.server.keystore.location/{getline; print}' /etc/hadoop/
conf/ssl-server.xml | sed -e 's/<[^>]*>//g' | tr -d ' \t\n\r\f'`
KEYSTORE_PASS=`awk '/ssl.server.keystore.password/{getline; print}' /etc/hadoop/
conf/ssl-server.xml | sed -e 's/<[^>]*>//g' | tr -d ' \t\n\r\f'`
KEY_PASS=`awk '/ssl.server.keystore.keypassword/{getline; print}' /etc/hadoop/conf/
ssl-server.xml | sed -e 's/<[^>]*>//g' | tr -d ' \t\n\r\f'`

echo "livy.keystore $KEYSTORE_FILE
livy.keystore.password $KEYSTORE_PASS
livy.key-password $KEY_PASS" | sudo tee -a /etc/livy/conf/livy.conf >/dev/null
```

```
sudo systemctl restart livy-server.service
```

3. 次のスクリプトを Amazon EMR ステップとして実行します。このスクリプトは SSL を有効化するように /etc/livy/conf/livy.conf を変更します。

```
--steps '[{"Args":["s3://amzn-s3-demo-bucket/
livy_ssl.sh"],"Type":"CUSTOM_JAR","ActionOnFailure":"CONTINUE","Jar":"s3://
us-east-1.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-
runner.jar","Properties":"","Name":"Custom JAR"}]'
```

4. Apache Livy サービスを再起動します。これにより変更が有効になります。Apache Livy を再起動する場合は、「プロセスの停止と再起動」を参照してください。

5. クライアントが HTTPS を使用して通信できるようになったことをテストします。例えば、ジョブを送信するには、次のコードを実行します。

```
curl -k -X POST --data '{"file": "local:///usr/lib/spark/examples/jars/spark-
examples.jar",
"className": "org.apache.spark.examples.SparkPi"}' \
-H "Content-Type: application/json" \
https://EMR_Master_Node_Host:8998/batches
```

HTTPS を正常に有効にすると、Livy はコマンドが受け付けられ、バッチジョブが送信されたことを示す応答を送信します。

```
{"id":1,"name":null,"owner":null,"proxyUser":null,"state":"starting","appId":null,"appInfo"
{"driverLogUrl":null,"sparkUiUrl":null},"log":["stdout: ","\nstderr: ","\nYARN
 Diagnostics: "]}
```

Livy リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Livy のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Livy バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-7.8.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-7.7.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager,

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
		hadoop-yarn-timeline-server , hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-7.6.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-7.5.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server , hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-7.3.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.36.2	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	0.8.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-7.0.0	0.7.1	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.14.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.12.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.11.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.10.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.9.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.8.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.36.1	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.6.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.5.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.3.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.2.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.1.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-6.0.1	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.34.0	0.7.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.33.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.32.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.31.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.30.1	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	0.7.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-notebook-env, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.29.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.28.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.27.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.25.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.24.0	0.6.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.23.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.21.2	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.21.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.20.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.19.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx
emr-5.18.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server, nginx

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.17.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.16.1	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	0.5.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.15.1	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.14.2	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.14.0	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.13.0	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.12.2	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.12.0	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.11.3	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.11.1	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	0.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.10.1	0.4.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	0.4.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server
emr-5.9.1	0.4.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Amazon EMR リリースラベル	Livy バージョン	Livy でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	0.4.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, livy-server

Apache MXNet

> Note
>
> MXNet はサポート終了となり、プロジェクトはアーカイブされます。Amazon EMR 7.2.0 は、MXNet を含む最後のリリースです。

Apache MXNet は、ニューラルネットワークやその他のディープラーニングアプリケーションを構築するために設計されたアクセラレーションライブラリです。MXNet は、一般的なワークフローを自動化し、数値計算を最適化します。MXNet により、線形代数オペレーションなどの低レベルの計算を実装することなく、ニューラルネットワークを設計することができます。MXNet は、Amazon EMR リリースバージョン 5.10.0 以降に含まれています。

詳細については、「Apache MXNet ウェブサイト」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている MXNet のバージョンと、Amazon EMR で MXNet と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

MXNet と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 7.2.0 Component Versions」を参照してください。

emr-7.2.0 の MXNet バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	MXNet 1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている MXNet のバージョンと、Amazon EMR で MXNet と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで MXNet と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の MXNet バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	MXNet 1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている MXNet のバージョンと、Amazon EMR で MXNet と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで MXNet と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の MXNet バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	MXNet 1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resour

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
		cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

MXNet リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている MXNet のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

MXNet バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.36.2	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resour

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
		cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-7.1.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-7.0.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.15.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.13.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.12.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.11.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.10.1	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.9.1	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.9.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.8.0	1.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.7.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.36.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.6.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.5.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.4.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.3.0	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.2.1	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.1.1	1.6.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.1.0	1.6.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-6.0.0	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.34.0	1.8.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.33.0	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.32.1	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	1.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.31.1	1.6.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.31.0	1.6.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.30.1	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.30.0	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.28.1	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.28.0	1.5.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	1.4.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.27.0	1.4.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.26.0	1.4.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodema nager, hadoop-yarn-resour cemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	1.4.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.24.1	1.4.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.24.0	1.4.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.23.0	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.22.0	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.21.1	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.21.0	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.20.0	1.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.19.1	1.3.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	1.3.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.18.1	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.18.0	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.17.1	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.17.0	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.16.0	1.2.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.15.1	1.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	1.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.14.2	1.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.14.1	1.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	1.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet, opencv
emr-5.13.1	1.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.13.0	1.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	1.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.12.2	1.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.12.1	1.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	1.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.11.4	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.11.3	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.11.1	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.11.0	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet

Amazon EMR リリースラベル	MXNet バージョン	MXNet でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet
emr-5.10.0	0.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mxnet

Apache Oozie

> **Note**
>
> Oozie の非推奨 – OSS Oozie はアティックモードになったため、今後の EMR リリースの 1 つから削除されます。Oozie の代わりに MWAA を使用することをお勧めします。GitHub のユーティリティ oozie-to-airflow-emr を参照して、既存の Oozie ワークフローを MWAA に移行できます。

Apache Oozie Workflow Scheduler を使用して、Hadoop ジョブを管理し、調整します。詳細については、https://attic.apache.org/projects/oozie.html を参照してください。

Oozie ネイティブウェブインターフェイスは Amazon EMR でサポートされていません。Oozie のフロントエンドインターフェイスを使用するには、Hue Oozie アプリケーションを試します。詳細については、「Hue」を参照してください。Oozie は、Amazon EMR リリースバージョン 5.0.0 以降に含まれています。Oozie は以前のリリースにサンドボックスアプリケーションとして含まれています。詳細については、「Amazon EMR 4.x リリースバージョン」を参照してください。

作成日が 2018-08-11 の Amazon Linux AMI に基づくカスタム Amazon Linux AMI を使用すると、Oozie サーバーの起動に失敗します。Oozie を使用する場合は、作成日が異なる Amazon Linux AMI ID に基づいてカスタム AMI を作成します。次の AWS CLI コマンドを使用して、2018.03 バージョンのすべての HVM Amazon Linux AMIs のイメージ IDs とリリース日のリストを返すことができます。これにより、ベースとして適切な Amazon Linux AMI を選択できます。MyRegion はリージョン ID (us-west-2 など) に置き換えます。

```
aws ec2 --region MyRegion describe-images --owner amazon --query 'Images[?
Name!=`null`]|[?starts_with(Name, `amzn-ami-hvm-2018.03`) == `true`].
[CreationDate,ImageId,Name]' --output text | sort -rk1
```

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Oozie のバージョンと、Amazon EMR で Oozie と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Oozie と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Oozie バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Oozie 5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Oozie のバージョンと、Amazon EMR で Oozie と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Oozie と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Oozie バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Oozie 5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
		nager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Oozie のバージョンと、Amazon EMR で Oozie と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Oozie と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Oozie バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Oozie 5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

トピック

- Amazon RDS でリモートデータベースと Oozie を使用する
- Oozie 用の Java バージョンの設定

- Oozie リリース履歴

Amazon RDS でリモートデータベースと Oozie を使用する

デフォルトでは、Oozie のユーザー情報とクエリ履歴は、マスターノード上のローカルの MySQL データベースに保存されます。または、Amazon S3 に保存されている設定と、Amazon Relational Database Service(Amazon RDS) の MySQL データベースを使用して、Oozie が有効な 1 つ以上のクラスターを作成することができます。このようにすることで、Amazon EMR クラスターを実行し続けなくても、Oozie によって作成されたユーザー情報とクエリ履歴を永続化できます。設定ファイルは、Amazon S3 サーバーサイド暗号化機能を使って保存することをお勧めします。

最初に、Oozie のリモートデータベースを作成します。

外部の MySQL データベースを作成するには

1. Amazon RDS コンソール (https://console.aws.amazon.com/rds/) を開きます。
2. [DB インスタンスの起動] を選択します。
3. [MySQL]、[Select (選択)] の順に選択します。
4. [Multi-AZ Deployment and Provisioned IOPS Storage (マルチ AZ 配置とプロビジョンド IOPS ストレージ)] はデフォルトのままにし、[Next (次へ)] を選択します。
5. [インスタンスの仕様] はデフォルトのままにし、[Settings (設定)] を指定して、[Next (次へ)] を選択します。
6. [Configure Advanced Settings] ([詳細設定] の設定) ページで、適切なセキュリティグループとデータベース名を選択します。使用するセキュリティグループは、少なくともクラスターのマスターノードからのポート 3306 に対するインバウンド TCP アクセスを許可する必要があります。この時点でまだクラスターを作成していない場合、ポート 3306 への接続をすべてのホストに許可し、クラスターを起動した後にセキュリティグループを調整することができます。[DB インスタンスの起動] を選択します。
7. RDS ダッシュボードで、[Instances (インスタンス)] を選択し、先ほど作成したインスタンスを選択します。データベースが使用できる時、dbname、username、password、および RDS instance hostname をメモします。クラスターの作成および設定時に、この情報を使用します。

を使用してクラスターを起動するときに Oozie の外部 MySQL データベースを指定するには AWS CLI

AWS CLIを使用してクラスターを起動するときに Oozie の外部 MySQL データベースを指定するには、RDS インスタンスを作成する際にメモしておいた情報を、設定オブジェクトの `oozie-site` の設定に使用します。

> **Note**
> 外部にある同一のデータベースを使用するが、各クラスターはクエリ履歴とユーザー情報を共有する複数のクラスターを作成できます。

- を使用して AWS CLI、Oozie がインストールされたクラスターを作成し、作成した外部データベースを使用し、データベースプロパティを指定する Oozie の設定分類を持つ設定ファイルを参照します。次の例では、Amazon S3 の設定ファイルとデータベース設定を指定する `myConfig.json` を参照して、Oozie がインストールされた状態でクラスターを作成します。

  > **Note**
  > 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

  ```
  aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Oozie
   Name=Spark Name=Hive \
  --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
  --configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/
  myConfig.json --use-default-roles
  ```

  `myConfig.json` ファイルのコンテンツの例を以下に示します。*`JDBC URL`*、*`username`*、*`password`* は、RDS インスタンスの JDBC URL、ユーザー名、パスワードに置き換えます。

> **Important**
>
> JDBC URL には、データベース名をサフィックスとして含める必要があります。たとえば、jdbc:mysql://oozie-external-db.xxxxxxxxxx.us-east-1.rds.amazonaws.com:3306/dbname となります。

```
[{
  "Classification": "oozie-site",
    "Properties": {
        "oozie.service.JPAService.jdbc.driver": "org.mariadb.jdbc.Driver",
        "oozie.service.JPAService.jdbc.url": "JDBC URL",

        "oozie.service.JPAService.jdbc.username": "username",
        "oozie.service.JPAService.jdbc.password": "password"
    },
    "Configurations": []
}]
```

Oozie 用の Java バージョンの設定

Oozie は複数の Java Virtual Machine (JVM) プロセスを実行します。このページでは、各プロセスの Java バージョンを設定する方法について説明します。

- Oozie サーバー: `oozie-env` 分類の `JAVA_HOME` を設定して、`EmbeddedOozieServer` の Java バージョンを更新します。
- Oozie Launcher AM: Oozie Launcher AM は、Hadoop、Hive などの適切なアプリケーションクライアントライブラリを呼び出す単一マッパー MR ジョブです。特に設定されていない限り、Oozie Launcher AM のランタイムバージョンは EMR クラスター内の Hadoop の Java ランタイムと同じです。Oozie Launcher AM 用の Java ランタイムを設定するには、このジョブの `workflow.xml` に次のプロパティを設定します。

```
<property>
     <name>mapred.child.env</name>
     <value>JAVA_HOME=/path/to/JAVA_HOME</value>
 </property>
```

このプロパティにより、Oozie ジョブの Oozie Launcher AM が Hadoop に設定されている Java バージョンではなく、指定した Java バージョンで実行されるようになります。

- アプリケーションクライアント実行可能ファイル: Oozie Launcher AM はデフォルトでアプリケーションクライアントを起動するため、クライアント実行可能ファイルの Java ランタイムは Oozie Launcher AM と同じです。
- Oozie ジョブによって起動されるアプリケーション: 特に指定がない限り、Oozie ジョブによって起動される実際のアプリケーション JVM のランタイムバージョンは、EMR クラスター内の Hadoop 用 Java ランタイムと同じです。Oozie ジョブ (Spark または Hive アクション) でアプリケーションの起動に使用される Oozie ワークフローアクションのタイプに応じて、Oozie ジョブの `workflow.xml` で実際のアプリケーション JVM のデフォルト Java ランタイムを更新できます。

Oozie リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Oozie のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Oozie バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client,

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
		oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.8.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.7.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-7.6.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.5.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.3.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-5.36.2	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.0.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.14.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.12.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.11.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.10.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.9.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.8.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.36.1	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.6.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.5.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.3.1	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.2.1	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.1.1	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-6.0.1	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.34.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.33.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.32.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.31.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.30.1	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.29.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.28.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.27.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.25.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.24.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.23.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	5.1.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.21.2	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.21.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.20.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.19.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.18.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.17.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.16.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.15.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされる コンポーネント
emr-5.15.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.14.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.14.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.13.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.12.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.12.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.11.3	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.11.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.10.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.9.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.8.3	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.8.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.7.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.6.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.5.4	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.5.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.5.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.4.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.3.1	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	4.3.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.2.3	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.2	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.2.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.1.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.0.3	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.2	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn
emr-5.0.1	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Oozie バージョン	Oozie でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	4.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, oozie-client, oozie-server, tez-on-yarn

Oozie リリースノート (バージョン別)

トピック

Amazon EMR 7.6.0 - Oozie の変更

7.6.0 リリースに変更はありません。

Amazon EMR 7.5.0 - Oozie の変更

タイプ	説明
アップグレード	Sqoop が新しい EMR リリースで使用できないため、Sqoop ジョブのオーケストレーションのサポートを削除する

Amazon EMR 7.4.0 - Oozie の変更

Oozie の変更: 変更なし

Amazon EMR 7.3.0 - Oozie の変更点

タイプ	説明
アップグレード	guice を 4.0 にアップグレードします。
デフォルトの動作の変更	`oozie-site.xml` の 2 つのプロパティを定義します。 • `oozie.service.SparkConfigurationService.spark.configurations=*=/etc/spark/conf/` • `oozie.service.SparkConfigurationService.spark.configurations.blacklist=spark.yarn.dist.files` これらのプロパティにより、Oozie を Spark とともにインストールするときに、Oozie がデフォルトの Amazon EMR Spark 設定を選択できるようになります。

Amazon EMR 7.1.0 - Oozie の変更点

タイプ	説明
アップグレード	Netty を 4.1.100.Final にアップグレードします。
アップグレード	Jetty を 9.4.53.v20231009 にアップグレードします。

Amazon EMR 7.0.0 - Oozie の変更

タイプ	説明
アップグレード	Oozie クライアントとサーバーがデフォルトで Java 17 を使用するようになりました。詳細については、EMR 7.0.0 リリースガイドを参照してください。

Apache Phoenix

Apache Phoenix は、OLTP と業務分析に使用され、Apache HBase バッキングストアと連携して標準 SQL クエリおよびJDBC APIが使用できるようになります。詳細については、「15 分以内で理解できる Phoenix」を参照してください。Phoenix は、Amazon EMR リリースバージョン 4.7.0 以降に含まれています。

古いバージョンの Amazon EMR から Amazon EMR リリースバージョン 5.4.0 以降にアップグレードして、セカンダリインデックスを使用する場合、Apache Phoenix のドキュメントで説明されるようにローカルインデックスをアップグレードしてください。Amazon EMR は必要な設定を `hbase-site` 分類から削除しますが、インデックスはデータを再入力する必要があります。インデックスはオンラインとオフラインでアップグレードできます。オンラインのアップグレードがデフォルトです。これはバージョン4.8.0以降のPhoenixクライアントで初期する間にインデックスの値が再設定されることを意味します。オフラインアップグレードを指定するには、`phoenix.client.localIndexUpgrade` 構成を `phoenix-site` 分類で　False　に設定してから、SSH　をマスターノードに設定して `psql [zookeeper] -1`を実行します。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Phoenix のバージョンと、Amazon EMR で Phoenix と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Phoenix と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Phoenix バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Phoenix 5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
		timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Phoenix のバージョンと、Amazon EMR で Phoenix と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Phoenix と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Phoenix バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Phoenix 5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
		server, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Phoenix のバージョンと、Amazon EMR で Phoenix と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Phoenix と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Phoenix バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Phoenix 4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

トピック

- Phoenix を使用したクラスターの作成
- Phoenix クライアント

- Phoenix リリース履歴

Phoenix を使用したクラスターの作成

コンソールまたは AWS CLIでクラスターを作成するときにアプリケーションを選択することにより、Phoenix をインストールします。次の手順と例では、Phoenix と HBase を備えたクラスターを作成する方法を示します。詳細オプションなど、コンソールを使用したクラスター作成の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターの計画と構成」を参照してください。

コンソールでクラスターを作成するために [Quick Options (クイックオプション)] を使用して、Phoenix がインストールされたクラスターを起動するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Create cluster (クラスターの作成)] を選択して [Quick Create (クイック作成)] を使用します。
3. [Software Configuration (ソフトウェア設定)] で、アプリケーションに適切な最近のリリースを選択します。[Amazon Release Version emr-4.7.0 (Amazon リリースバージョン emr-4.7.0)] 以降を選択した場合にのみ、Phoenix がオプションとして表示されます。
4. [Applications (アプリケーション)] で、2 番目目のオプション [HBase: HBase ***ver*** with Ganglia ***ver***, Hadoop ***ver***, Hive ***ver***, Hue ***ver***, Phoenix ***ver***, and ZooKeeper ***ver***] を選択します。
5. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

次の例では、デフォルトの構成設定を使用して Phoenix がインストールされたクラスターを起動します。

を使用して Phoenix と HBase でクラスターを起動するには AWS CLI

- 次のコマンドを使用してクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --name "Cluster with Phoenix" --release-label emr-7.9.0 \
```

```
--applications Name=Phoenix Name=HBase --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --use-default-roles
```

Phoenix 設定のカスタマイズ

クラスターを作成するとき、 `hbase-site.xml` 構成分類を使用して `hbase-site` 内で値を設定することによって Phoenix を構成します。

詳細については、Phoenix ドキュメントの「Configuration and Tuning」を参照してください。

次の例では、Amazon S3 に保存されている JSON ファイルを使用して、`phoenix.schema.dropMetaData` プロパティに `false` の値を指定しています。1つの分類に対して複数のプロパティを指定できます。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。`create-cluster` コマンドはその後、JSONファイルを `--configurations` パラメータとして参照します。

/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myconfig.json に保存される JSON ファイルのコンテンツは次のとおりです。

```
[
    {
      "Classification": "hbase-site",
      "Properties": {
        "phoenix.schema.dropMetaData": "false"
      }
    }
  ]
```

JSONファイルを参照する `create cluster` コマンドは、次の例に示されています。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Phoenix \
Name=HBase --instance-type m5.xlarge --instance-count 2 \
--configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myconfig.json
```

> **Note**
>
> Phoenix の設定分類の再設定リクエストは、Amazon EMR バージョン 5.23.0 以降でのみサポートされており、Amazon EMR バージョン 5.21.0 または 5.22.0 ではサポートされてい

ません。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

Phoenix クライアント

Phoenix には、完全な依存関係によって構築された JDBC クライアント、または Phoenix クエリサーバーを使用しクラスターのマスターノードでのみ実行される「シンクライアント」を使用して接続します (例: SQL クライアント、ステップ、コマンドライン、SSH ポート転送などを使用)。「ファット」 JDBC クライアントを使用している場合は、HBase サービスに直接接続するため、クラスターのすべてのノードにアクセスできる必要があります。「シン」Phoenix クライアントでは、Phoenix クエリサーバーにデフォルトポート 8765 でアクセスできる必要のみがあります。Phoenix には、これらのクライアントを使用するスクリプトがいくつかあります。

Phoenix を使用したクエリでの Amazon EMR ステップの使用

次の手順は、HBase からスナップショット復元し、そのデータを使用して Phoenix クエリを実行します。必要に応じてこの例を拡張するか、Phoenix クライアントを利用する新しいスクリプトを作成できます。

1. 次のコマンドを使用して、Phoenix がインストールされた状態でクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --name "Cluster with Phoenix" --log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/myLogFolder --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Phoenix Name=HBase --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --use-default-roles
```

2. 次のファイルを作成して、Amazon S3 にアップロードします。

copySnapshot.sh

```
sudo su hbase -s /bin/sh -c 'hbase snapshot export \
 -D hbase.rootdir=s3://us-east-1.elasticmapreduce.samples/hbase-demo-customer-data/snapshot/ \
-snapshot customer_snapshot1 \
-copy-to hdfs://masterDNSName:8020/user/hbase \
-mappers 2 -chuser hbase -chmod 700'
```

runQuery.sh

```
aws s3 cp s3://amzn-s3-demo-bucket/phoenixQuery.sql /home/hadoop/
/usr/lib/phoenix/bin/sqlline-thin.py http://localhost:8765 /home/hadoop/
phoenixQuery.sql
```

phoenixQuery.sql

> **Note**
>
> Amazon EMR versions 5.26.0 以降を使用する場合は、以下の例に `COLUMN_ENCODED_BYTES=0` を含めるだけです。

```
CREATE VIEW "customer" (
pk VARCHAR PRIMARY KEY,
"address"."state" VARCHAR,
"address"."street" VARCHAR,
"address"."city" VARCHAR,
"address"."zip" VARCHAR,
"cc"."number" VARCHAR,
"cc"."expire" VARCHAR,
"cc"."type" VARCHAR,
"contact"."phone" VARCHAR)
COLUMN_ENCODED_BYTES=0;

CREATE INDEX my_index ON "customer" ("customer"."state") INCLUDE("PK",
 "customer"."city", "customer"."expire", "customer"."type");

SELECT "customer"."type" AS credit_card_type, count(*) AS num_customers FROM
 "customer" WHERE "customer"."state" = 'CA' GROUP BY "customer"."type";
```

を使用して、ファイルを S3 バケット AWS CLI に送信します。

```
aws s3 cp copySnapshot.sh s3://amzn-s3-demo-bucket/
aws s3 cp runQuery.sh s3://amzn-s3-demo-bucket/
aws s3 cp phoenixQuery.sql s3://amzn-s3-demo-bucket/
```

3. ステップ 1 で作成したクラスターに送信された以下の手順を使用してテーブルを作成します。

   createTable.json

```
[
  {
    "Name": "Create HBase Table",
    "Args": ["bash", "-c", "echo $'create \"customer\",\"address\",\"cc\",\"contact
\"' | hbase shell"],
    "Jar": "command-runner.jar",
    "ActionOnFailure": "CONTINUE",
    "Type": "CUSTOM_JAR"
  }
]
```

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps file://./createTable.json
```

4. `script-runner.jar` を使用して、先に S3 バケットにアップロードした `copySnapshot.sh` スクリプトを実行します。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="HBase Copy Snapshot",ActionOnFailure=CONTINUE,\
Jar=s3://region.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-
runner.jar,Args=["s3://amzn-s3-demo-bucket/copySnapshot.sh"]
```

これは MapReduce ジョブを実行してスナップショットデータをクラスターの HDFS にコピーします。

5. 次のステップを使用して、クラスターにコピーしたスナップショットを復元します。

restoreSnapshot.json

```
[
  {
    "Name": "restore",
    "Args": ["bash", "-c", "echo $'disable \"customer\"; restore_snapshot
 \"customer_snapshot1\"; enable \"customer\"' | hbase shell"],
    "Jar": "command-runner.jar",
    "ActionOnFailure": "CONTINUE",
    "Type": "CUSTOM_JAR"
  }
]
```

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps file://./restoreSnapshot.json
```

6. `script-runner.jar` を使用して、先に S3 バケットにアップロードした `runQuery.sh` スクリプトを実行します。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Phoenix Run Query",ActionOnFailure=CONTINUE,\
Jar=s3://region.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-
runner.jar,Args=["s3://amzn-s3-demo-bucket/runQuery.sh"]
```

クエリが実行され、ステップの `stdout` に結果が返ります。このステップが完了するには数分間かかる場合があります。

7. ステップ 1 でクラスターを作成したときに使用したログ URI でステップの `stdout` の結果を確認します。結果は次のようになります。

```
+------------------------------------------+-----------------------------------+
|             CREDIT_CARD_TYPE             |           NUM_CUSTOMERS           |
+------------------------------------------+-----------------------------------+
| american_express                         | 5728                              |
| dankort                                  | 5782                              |
| diners_club                              | 5795                              |
| discover                                 | 5715                              |
| forbrugsforeningen                       | 5691                              |
| jcb                                      | 5762                              |
| laser                                    | 5769                              |
| maestro                                  | 5816                              |
| mastercard                               | 5697                              |
| solo                                     | 5586                              |
| switch                                   | 5781                              |
| visa                                     | 5659                              |
+------------------------------------------+-----------------------------------+
```

Phoenix リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Phoenix のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、[Amazon EMR 7.x リリースバージョン](#)、[Amazon EMR 6.x リリースバージョン](#) または

Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Phoenix バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.8.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-reg

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
		ion-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.7.0	5.2.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.6.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	5.2.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	5.1.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.36.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, hbase-operator-tools, phoenix-library, phoenix-connectors, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.5.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	5.1.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.3.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.2.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.1.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.0.1	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	5.0.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.34.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.33.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.32.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.31.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.30.1	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.29.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.28.0	4.14.3	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	4.14.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.27.0	4.14.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	4.14.2	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.25.0	4.14.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	4.14.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.24.0	4.14.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	4.14.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.23.0	4.14.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	4.14.1	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.21.2	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.21.0	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.20.0	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.19.0	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.18.0	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.17.1	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.16.1	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	4.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.15.1	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.14.2	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.14.0	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.13.0	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.2	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.0	4.13.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.3	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.1	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.10.1	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.9.1	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.8.3	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.2	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.8.1	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.7.1	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.0	4.11.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.6.1	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.4	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.2	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.1	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.4.0	4.9.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.3.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.2.3	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.2	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.2.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.1.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.0.3	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.2	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.0.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.6	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.5	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.4	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.3	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.9.2	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.5	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.3	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.8.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.0	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.4	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.2	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	Phoenix バージョン	Phoenix でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-4.7.0	4.7.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-mapred, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hbase-hmaster, hbase-client, hbase-region-server, phoenix-library, phoenix-query-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Apache Pig

Apache Pig はオープンソースの Apache ライブラリで、Hadoop 上で稼動し、大規模なデータセットを複雑なコードを記述することなく Java などの低レベルコンピュータ言語で変換するのに使用できるスクリプト言語を提供します。ライブラリは、Pig Latin と呼ばれる言語で記述された SQL のようなコマンドを受け付け、Directed Acyclic Graphs (DAG) や MapReduce プログラムに基づいてこれらのコマンドを Tez ジョブに変換します。Pig は多様な形式の構造化データと非構造化データで機能します。Pig の詳細については、http://pig.apache.org/ を参照してください。

Pig コマンドは、インタラクティブに実行するか、バッチモードで実行できます。Pig をインタラクティブに使用するには、マスターノードへの SSH 接続を作成し、Grunt シェルを使用してコマンドを送信します。Pig をバッチモードで使用するには、Pig スクリプトを記述し、Amazon S3 にアップロードして、クラスターステップとして送信します。クラスターへの作業の送信の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターへの作業の送信」を参照してください。

Pig を使用して Amazon S3 の HCatalog テーブルに出力を書き込む場合は、`mapred.output.direct.NativeS3FileSystem` プロパティと `mapred.output.direct.EmrFileSystem` プロパティを `false` に設定して、Amazon EMR の直接書き込み機能を無効にしてください。詳細については、「HCatalog の使用」を参照してください。Pig スクリプト内で、`SET mapred.output.direct.NativeS3FileSystem false` および `SET mapred.output.direct.EmrFileSystem false` コマンドを使用できます。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Pig のバージョンと、Amazon EMR で Pig と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Pig と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Pig バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Pig 0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
		hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Pig のバージョンと、Amazon EMR で Pig と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Pig と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Pig バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Pig 0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Pig のバージョンと、Amazon EMR で Pig と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Pig と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Pig バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Pig 0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

トピック

- Pig の作業の送信
- Pig からユーザー定義関数を呼び出す
- Pig リリース履歴

Pig の作業の送信

このセクションでは、Pig の作業を Amazon EMR クラスターに送信する方法を示します。次の例では、Apache ログファイルを評価し、転送された合計バイト数、上位 50 の IP アドレスリスト、上位 50 の外部参照者リスト、Bing や Google を使用した検索語トップ 50 などの情報が含まれるレポートを生成します。Pig スクリプトは、Amazon S3 バケット `s3://elasticmapreduce/samples/pig-apache/do-reports2.pig` に配置されています。入力データは Amazon S3 バケット `s3://elasticmapreduce/samples/pig-apache/input` に配置されています。出力は、Amazon S3 バケットに保存されます。

Amazon EMR コンソールを使用した Pig の作業の送信

この例では、Amazon EMR コンソールを使用し、Pig のステップをクラスターに追加する方法について説明します。

Pig のステップを送信するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Create cluster] (クラスターの作成) を選択し、Pig がインストールされたクラスターを作成します。クラスターの作成手順については、「Amazon EMR クラスターを計画して構成する」を参照してください。
3. ターミナルを開き、「SSH を使用してマスターノードに接続する」で説明されている手順に従ってクラスターのマスターノードに SSH 接続します。完了したら、次の手順を実行してください。

```
sudo mkdir -p /home/hadoop/lib/pig/
sudo aws s3 cp s3://elasticmapreduce/libs/pig/0.3/piggybank-0.3-amzn.jar /home/
hadoop/lib/pig/piggybank.jar
```

4. コンソールで [Cluster List] (クラスターリスト) をクリックし、作成したクラスターの名前を選択します。
5. [Steps (ステップ)] セクションまでスクロールして展開し、[Add step (ステップの追加)] を選択します。
6. [Add Step (ステップの追加)] ダイアログで:
   - [Step type (ステップタイプ)] で、[Pig program (Pig プログラム)] を選択します。
   - [Name (名前)] では、デフォルト名 (Pig program) を使用するか、または新しい名前を入力します。
   - [Script S3 location (スクリプト S3 の場所)] で、Pig スクリプトの場所を入力します。例: **s3://elasticmapreduce/samples/pig-apache/do-reports2.pig**。
   - [Input S3 location (S3 の場所の入力)] で、入力データの場所を入力します。例: **s3://elasticmapreduce/samples/pig-apache/input**。
   - [Output S3 location] (S3 の場所の出力) で、Amazon S3 出力バケットの名前を入力するか、参照します。
   - [Arguments (引数)] は、フィールドを空のままにします。

- [Action on failure (失敗時の操作)] では、デフォルトのオプション ([Continue (続行)]) を使用します。

7. [Add] (追加) を選択します。ステップは、[Pending] というステータスでコンソールに表示されます。
8. ステップが実行されると、ステータスは [Pending (保留中)] から [Running (実行中)]、[Running (実行中)] から [完了済み] に変更されます。スタータスを更新するには、[Actions] (アクション) 列の上にある [Refresh] (更新) アイコンを選択します。ステップが完了したら、Amazon S3 バケットをチェックして Pig ステップの出力ファイルがあることを確認します。

を使用して Pig 作業を送信する AWS CLI

を使用して Pig ステップを送信するには AWS CLI

を使用してクラスターを起動する場合は AWS CLI、 `--applications`パラメータを使用して Pig をインストールします。Pig のステップを送信するには、`--steps` パラメータを使用します。

1. Pig がインストールされたクラスターを起動するには、次のコマンドを入力します。*mykey* と *amzn-s3-demo-bucket/* は、EC2 キーペアと Amazon S3 バケットの名前に置き換えます。

```
aws emr create-cluster \
--name "Test cluster" \
--log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/ \
--release-label emr-5.36.2 \
--applications Name=Pig \
--use-default-roles \
--ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge \
--instance-count 3
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

--instance-groups パラメータを使用せずにインスタンス数を指定すると、1 つのマスターノードが起動され、残りのインスタンスはコアノードとして起動されます。すべてのノードで、コマンドで指定したインスタンスタイプが使用されます。

> **Note**
>
> 以前にデフォルトの EMR サービスロールと EC2 インスタンスプロファイルを作成していない場合は、「aws emr create-default-roles」と入力してそれらを作成してから、create-cluster サブコマンドを入力します。

2. Pig ステップを送信するには、次のコマンドを入力します。*myClusterId* と *amzn-s3-demo-bucket* は、クラスター ID と Amazon S3 バケットの名前に置き換えます。

```
aws emr add-steps \
--cluster-id myClusterId \
--steps Type=PIG,Name="Pig Program",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[-f,s3://
elasticmapreduce/samples/pig-apache/do-reports2.pig,-p,INPUT=s3://elasticmapreduce/
samples/pig-apache/input,-p,OUTPUT=s3://amzn-s3-demo-bucket/pig-apache/output]
```

このコマンドを実行すると、ステップ ID が返されます。これを使用して、ステップの State を確認できます。

3. describe-step コマンドを使用して、ステップのステータスのクエリを実行します。

```
aws emr describe-step --cluster-id myClusterId --step-id s-1XXXXXXXXXXA
```

ステップの State は、ステップの実行に伴って PENDING から RUNNING、さらには COMPLETED へと変わります。ステップが完了したら、Amazon S3 バケットをチェックして Pig ステップの出力ファイルがあることを確認します。

での Amazon EMR コマンドの使用の詳細については AWS CLI、[AWS CLI 「 コマンドリファレンス」]を参照してください。

Pig からユーザー定義関数を呼び出す

Pig では、ユーザー定義関数 (UDF) を Pig スクリプトから呼び出すことができます。これにより、Pig スクリプト内で使用するカスタム処理を実装できます。現在サポートされている言語は、Java、Python/Jython、および JavaScript (ただし、JavaScript のサポートは実験段階です)。

以下のセクションでは、関数を Pig シェルまたは Pig スクリプトから呼び出せるように、Pig に登録する方法を説明します。Pig での UDF の使用の詳細については、ご使用のバージョンの「Pig のドキュメント」を参照してください。

Pig から JAR ファイルを呼び出す

Pig スクリプトに `REGISTER` コマンドを使用して、Pig とともにカスタム JAR ファイルを使用できます。JAR ファイルは、ローカルファイルシステム、または Amazon S3 などのリモートファイルシステムです。Pig スクリプトが実行されると、Amazon EMR は自動的に JAR ファイルをマスターノードにダウンロードし、その JAR ファイルを Hadoop 分散キャッシュにアップロードします。これにより、JAR ファイルは必要に応じてクラスター内のすべてのインスタンスで自動的に使用されます。

Pig で JAR ファイルを使用するには

1. Amazon S3 にカスタム JAR ファイルをアップロードします。
2. Pig スクリプト内で `REGISTER` コマンドを使用して、カスタム JAR ファイルの Amazon S3 バケットを指定します。

```
REGISTER s3://amzn-s3-demo-bucket/path/mycustomjar.jar;
```

Pig から Python/Jython スクリプトを呼び出す

Python スクリプトを Pig に登録し、登録したスクリプト内の関数を Pig シェルまたは Pig スクリプトから呼び出すことができます。これを行うには、`register` キーワードでスクリプトの場所を指定します。

Pig は Java で記述されているため、Python スクリプトの解析には Jython スクリプトエンジンが使用されます。Jython の詳細については、http://www.jython.org/ を参照してください。

Pig から Python/Jython スクリプトを呼び出すには

1. Python スクリプトを作成して、Amazon S3 内の場所にアップロードします。この場所は、Pig クラスターを作成するアカウントと同じアカウントが所有しているか、クラスターを作成したアカウントがアクセスできるように許可が設定されているバケットである必要があります。この例では、スクリプトは s3://amzn-s3-demo-bucket/pig/python にアップロードされます。
2. Pig クラスターを起動します。Grunt シェルから Pig にアクセスする場合は、インタラクティブクラスターを起動します。Pig コマンドをスクリプトから実行している場合は、スクリプトで記述された Pig クラスターを起動します。この例では、インタラクティブクラスターを起動します。Pig クラスターの詳細については、「Pig の作業の送信」を参照してください。
3. インタラクティブクラスターの場合は、SSH を使用してマスターノードに接続し、Grunt シェルを実行します。詳細については、「マスターノードへの SSH 接続」を参照してください。
4. コマンドラインに `pig` と入力することにより、Pig 向けに Grunt を実行します。

```
pig
```

5. 以下のコマンドに示すように Grunt コマンドプロンプトで `register` キーワードを使用し、Amazon S3 内のスクリプトの場所を指定して Jython ライブラリおよび Python スクリプトを Pig に登録します。

```
grunt> register 'lib/jython.jar';
grunt> register 's3://amzn-s3-demo-bucket/pig/python/myscript.py' using jython as
 myfunctions;
```

6. 入力データをロードします。次の例では、入力を Amazon S3 上の場所からロードします。

```
grunt> input = load 's3://amzn-s3-demo-bucket/input/data.txt' using TextLoader as
 (line:chararray);
```

7. これにより、`myfunctions` を使用してスクリプト内の関数を参照して、Pig から呼び出すことができます。

```
grunt> output=foreach input generate myfunctions.myfunction($1);
```

Pig リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Pig のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Pig バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.8.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-7.7.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.6.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.4.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.2.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-7.1.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.15.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.13.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.11.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.10.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.9.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-6.8.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-6.7.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.36.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.35.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-6.4.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-6.3.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-6.2.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-6.1.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.33.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.32.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.31.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.30.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.30.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.28.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.27.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.26.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.24.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.23.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.22.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.21.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.20.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.19.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.18.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.17.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.17.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.16.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.15.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.14.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.13.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.12.3	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.12.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.11.4	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.11.2	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.11.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.10.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.9.0	0.17.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.8.2	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.8.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.7.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.6.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.4	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.5.3	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.2	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.5.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.4.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.3.2	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.3.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.2.2	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.2.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.1.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.0.2	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.1	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn
emr-5.0.0	0.16.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, pig-client, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.9.5	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.9.4	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.3	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.9.2	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.9.1	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.5	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.8.4	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.8.3	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.8.1	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.8.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.4	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.7.3	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.7.2	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.7.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.6.1	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.6.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.5.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.4.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.3.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.2.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client
emr-4.1.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Amazon EMR リリースラベル	Pig のバージョン	Pig でインストールされるコンポーネント
emr-4.0.0	0.14.0	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, emr-kinesis, emr-s3-dist-cp, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, pig-client

Presto

> ⚠ Important
>
> Trino の以前のバージョンである Presto は、Amazon EMR で引き続き使用できます。ただし、今後 Amazon EMR で使用する Trino を強くお勧めします。また、Trino と Presto を同じクラスターで同時に実行することはできません。詳細については、「Trino」を参照してください。

Presto は、複数のソースからの大量のデータセットの対話型分析クエリ用に設計された高速の SQL クエリエンジンです。詳細については、Presto のウェブサイトを参照してください。Presto は、Amazon EMR リリース 5.0.0 以降に含まれています。以前のリリースには、サンドボックスアプリケーションとして Presto が含まれています。詳細については、「Amazon EMR 4.x リリースバージョン」を参照してください。Amazon EMR リリースバージョン 6.1.0 以降では、Presto に加えて Trino がサポートされています。詳細については、「PrestoDB のインストール」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Presto のバージョンと、Amazon EMR で Presto と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Presto と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Presto バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Presto 0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
		client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Presto のバージョンと、Amazon EMR で Presto と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Presto と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Presto バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Presto 0.283	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Presto のバージョンと、Amazon EMR で Presto と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Presto と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Presto バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Presto 0.267	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

トピック

- Glue データカタログでの Presto AWS の使用
- S3 Select Pushdown と Presto を使用してパフォーマンスを向上させる
- データベースコネクタの追加
- Amazon EMR での SSL/TLS の使用と Presto による LDAPS の設定
- Presto 厳格モードを有効にする
- Presto でのスポットインスタンス損失の処理
- グレースフルな廃止による Presto Auto Scaling の使用
- Amazon EMR での Presto に関する考慮事項
- Presto リリース履歴

Glue データカタログでの Presto AWS の使用

Amazon EMR リリースバージョン 5.10.0 以降では、Presto のデフォルトの Hive メタストアとして AWS Glue データカタログを指定できます。永続的なメタストア、またはさまざまなクラスター、

サービス、アプリケーション、あるいは AWS アカウントで共有されるメタストアが必要である場合は、この設定をお勧めします。

AWS Glue はフルマネージド型の抽出、変換、ロード (ETL) サービスで、データを分類し、クリーンアップし、強化し、さまざまなデータストア間で確実に移動するシンプルで費用対効果の高いサービスです。 AWS Glue Data Catalog は、Amazon EMR および Amazon RDS、Amazon Redshift、Redshift Spectrum、Athena、および Apache Hive メタストアと互換性のある任意のアプリケーションと統合して、さまざまなデータソースとデータ形式にわたって統合されたメタデータリポジトリを提供します。 AWS Glue クローラは、Amazon S3 のソースデータからスキーマを自動的に推測し、関連するメタデータをデータカタログに保存できます。データカタログの詳細については、「 Glue デベロッパーガイド AWS 」の「 Glue データカタログの入力」を参照してください。 AWS

Glue AWS には個別の料金が適用されます。データカタログにメタデータを保存してアクセスするための月額料金、Glue ETL AWS ジョブとクローラランタイムに対して 1 分あたりの時間料金、プロビジョニングされた開発エンドポイントごとに 1 分あたりの時間料金が請求されます。Data Catalog では、最大 100 万個までのオブジェクトを無料で保存できます。100 万を超えるオブジェクトを保存した場合は、100,000 オブジェクトごとに 1 USD が課金されます。Data Catalog 内のオブジェクトは、テーブル、パーティション、またはデータベースです。詳細については、「Glue 料金表」を参照してください。

> **Important**
>
> 2017 年 8 月 14 日より前に Amazon Athena または Amazon Redshift Spectrum を使用してテーブルを作成した場合、データベースとテーブルは AWS Glue データカタログとは別の Athena 管理カタログに保存されます。Amazon EMR をこれらのテーブルと統合するには、 AWS Glue データカタログにアップグレードする必要があります。詳細については、「Amazon Athena ユーザーガイド」の「 AWS Glue データカタログへのアップグレード」を参照してください。 Amazon Athena

AWS Glue データカタログをメタストアとして指定する

、、または Amazon EMR API を使用して AWS Management Console AWS CLI、 AWS Glue データカタログをメタストアとして指定できます。CLI または API を使用する場合は、Presto の設定分類を使用してデータカタログを指定します。さらに、Amazon EMR 5.16.0 以降では、設定分類を使用して別の でデータカタログを指定できます AWS アカウント。コンソールを使用する場合

は、[Advanced Options] (詳細オプション) または [Quick Options] (クイックオプション) を使用して、Data Catalog を指定できます。

Console

新しいコンソールで AWS Glue データカタログを Hive メタストアとして指定するには

1. にサインインし AWS Management Console、https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションペインの [EMR on EC2] で、[クラスター] を選択し、[クラスターの作成] を選択します
3. [アプリケーションバンドル] で [Presto] を選択します。
4. [AWS Glue Data Catalog 設定] で [Presto テーブルメタデータに使用] チェックボックスをオンにします。
5. クラスターに適用するその他のオプションを選択します。
6. クラスターを起動するには、[クラスターの作成] を選択します。

CLI

を使用して AWS Glue データカタログをデフォルトの Hive メタストアとして指定するには AWS CLI

クラスターの作成時に以下の設定分類を指定する方法の例については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

Amazon EMR 5.16.0 以降

- 以下の JSON の例に示すように、`hive.metastore` プロパティを `glue` に設定します。

```
[
  {
    "Classification": "presto-connector-hive",
    "Properties": {
      "hive.metastore": "glue"
    }
  }
]
```

別の でデータカタログを指定するには AWS アカウント、次の JSON の例に示すように `hive.metastore.glue.catalogid`プロパティを追加します。*acct-id* は、データカタログの AWS アカウントに置き換えます。Amazon EMR バージョン 5.15.0 以前では、別の AWS アカウント のデータカタログは使用できません。

```
[
  {
    "Classification": "presto-connector-hive",
    "Properties": {
      "hive.metastore": "glue",
      "hive.metastore.glue.catalogid": "acct-id"
    }
  }
]
```

Amazon EMR 5.10.0 ～ 5.15.0

以下の JSON の例に示すように、`hive.metastore.glue.datacatalog.enabled` プロパティを `true` に設定します。

```
[
  {
    "Classification": "presto-connector-hive",
    "Properties": {
      "hive.metastore.glue.datacatalog.enabled": "true"
    }
  }
]
```

Amazon EMR 6.1.0 以降で PrestoSQL (Trino) を使用

EMR バージョン 6.1.0 以降、PrestoSQL は Glue もデフォルトの Hive メタストアとしてサポートしています。以下の JSON の例に示されているように、`prestosql-connector-hive` 設定分類を使用し、`hive.metastore` プロパティを `glue` に設定します。

Amazon EMR バージョン 6.4.0 以降では、PrestoSQL ではなく、新しい名称の Trino を使用します。Trino を使用する場合、以下の設定分類で *`prestosql-connector-hive`* を `trino-connector-hive` に置き換えてください。

```
[
  {
    "Classification": "prestosql-connector-hive",
    "Properties": {
      "hive.metastore": "glue"
    }
  }
]
```

長時間稼働クラスターでメタストアを切り替えるには、マスターノードに接続して /etc/presto/conf/catalog/hive.properties ファイルのプロパティ値を直接編集し、Presto サーバー (sudo restart presto-server) を再起動することにより、リリースバージョンに最適な値を手動で設定できます。この方法を Amazon EMR 5.15.0 以前のバージョンで使用する場合は、hive.table-statistics-enabled が false に設定されていることを確認します。リリースバージョン 5.16.0 以降を使用する場合、この設定は必要ありません。ただし、テーブルとパーティションの統計はサポートされません。

IAM 許可

クラスターの EC2 インスタンスプロファイルには、 Glue アクションの AWS IAM アクセス許可が必要です。さらに、 Glue Data Catalog オブジェクト AWS の暗号化を有効にする場合は、暗号化 AWS KMS key に使用される の暗号化、復号、生成もロールに許可する必要があります。

Glue AWS アクションのアクセス許可

Amazon EMR の デフォルトの EC2 インスタンスプロファイルを使用する場合、アクションは必要ありません。にアタッチされている AmazonElasticMapReduceforEC2Roleマネージドポリシーは、必要なすべての Glue AWS アクションEMR_EC2_DefaultRoleを許可します。ただし、カスタム EC2 インスタンスプロファイルとアクセス許可を指定する場合は、適切な AWS Glue アクションを設定する必要があります。開始点として AmazonElasticMapReduceforEC2Role 管理ポリシーを使用します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[クラスター EC2 インスタンスのサービスロール (EC2 インスタンスプロファイル)](#)」を参照してください。

AWS Glue Data Catalog を暗号化および復号するためのアクセス許可

インスタンスプロファイルには、キーを使用してデータを暗号化および復号するためのアクセス許可が必要です。以下のステートメントが両方とも適用される場合、これらのアクセス許可を設定する必要はありません。

- Glue AWS のマネージドキーを使用して、 AWS Glue Data Catalog オブジェクトの暗号化を有効にします。
- AWS Glue データカタログ AWS アカウント と同じ にあるクラスターを使用します。

それ以外の場合は、EC2 インスタンスプロファイルにアタッチされたアクセス許可ポリシーに次のステートメントを追加する必要があります。

```
[
    {
        "Version": "2012-10-17",
        "Statement": [
            {
                "Effect": "Allow",
                "Action": [
                    "kms:Decrypt",
                    "kms:Encrypt",
                    "kms:GenerateDataKey"
                ],
                "Resource": "arn:aws:kms:region:acct-
id:key/12345678-1234-1234-1234-123456789012"
            }
        ]
    }
]
```

AWS Glue データカタログの暗号化の詳細については、AWS 「 Glue デベロッパーガイド」の「データカタログの暗号化」を参照してください。

リソースベースのアクセス許可

Amazon EMR で AWS Glue を Hive、Spark、または Presto と組み合わせて使用する場合、 AWS Glue は Data Catalog リソースへのアクセスを制御するためのリソースベースのポリシーをサポートします。これらのリソースには、データベース、テーブル、接続、ユーザー定義関数が含まれます。

詳細については、「AWS Glue デベロッパーガイド」の「[AWS Glue リソースポリシー](#)」を参照してください。

リソースベースのポリシーを使用して Amazon EMR 内から AWS Glue へのアクセスを制限する場合、アクセス許可ポリシーで指定するプリンシパルは、クラスターの作成時に指定する EC2 インスタンスプロファイルに関連付けられたロール ARN である必要があります。例えば、カタログにアタッチされたリソースベースのポリシーの場合、以下の例に示されている形式を使用して、クラスター EC2 インスタンスのデフォルトサービスロールのロール ARN である *EMR_EC2_DefaultRole* を `Principal` として指定できます。

```
arn:aws:iam::acct-id:role/EMR_EC2_DefaultRole
```

acct-id は Glue アカウント ID AWS とは異なる場合があります。これにより、さまざまなアカウントで EMR クラスターからアクセスできます。異なるアカウントから、複数のプリンシパルを指定できます。

AWS Glue Data Catalog を使用する場合の考慮事項

Presto でメタストアとして AWS Glue データカタログを使用する場合は、次の項目を考慮してください。

- Glue AWS 内からのテーブルの名前変更はサポートされていません。
- `LOCATION` を指定せずに Hive テーブルを作成すると、テーブルデータは、`hive.metastore.warehouse.dir` プロパティによって指定された場所に保管されます。デフォルトでは、これは HDFS 内の場所です。別のクラスターがテーブルにアクセスする必要がある場合、テーブルを作成したクラスターに対する適切なアクセス許可がない限り、処理に失敗します。さらに、HDFS ストレージは一時的であるため、クラスターが終了すると、テーブルデータは失われ、テーブルを再作成する必要があります。Glue を使用して Hive テーブルを作成するときは、Amazon S3 AWS `LOCATION`で を指定することをお勧めします。または、`hive-site` 設定分類を使用して、`hive.metastore.warehouse.dir` の Amazon S3 で場所を指定できます。これは、すべての Hive テーブルに適用されます。テーブルが HDFS ロケーションで作成され、テーブルを作成したクラスターがまだ実行されている場合は、 Glue 内からテーブルロケーションを Amazon S3 AWS に更新できます。詳細については、「 [AWS Glue デベロッパーガイド」の「 Glue コンソールでのテーブルの操作](#)」を参照してください。 AWS
- 引用符とアポストロフィを含むパーティション値はサポートされていません(例: `PARTITION (owner="Doe's").`)。
- [列統計](#)は、emr-5.31.0 以降でサポートされています。

- Hive 認可の使用はサポートされていません。代替策として、AWS Glue リソースベースのポリシーを使用することを検討してください。詳細については、「Use Resource-Based Policies for Amazon EMR Access to AWS Glue Data Catalog」を参照してください。

S3 Select Pushdown と Presto を使用してパフォーマンスを向上させる

> **Important**
>
> 新規のお客様への Amazon S3 Select の提供は終了しました。Amazon S3 Select をご利用の既存のお客様は、今後も通常どおり使用できます。詳細はこちら

Amazon EMR リリースバージョン 5.18.0 以降では、Amazon EMR での Presto を使用した S3 select プッシュダウンを使用できます。この機能により、Presto から Amazon S3 に (`SELECT` などの) 射影演算と (`WHERE` などの) 述語演算の計算処理を「プッシュダウン」できます。これにより、一部のアプリケーションではクエリで Amazon S3から必要なデータだけを取得してパフォーマンスを向上させ、Amazon EMR と Amazon S3 間で転送されるデータの量を減らすことができます。

S3 Select Pushdown が使用するアプリケーションに適しているかどうかを確認する

S3 Select Pushdown が使用するアプリケーションに適しているかどうかを確認するために、S3 Select Pushdown を使用した場合と使用しない場合のアプリケーションのベンチマークを行うことをお勧めします。

アプリケーションが S3 Select を使用する候補となるかどうかを判断するには、次のガイドラインを使用します。

- クエリは元のデータセットの半分以上を除外する。
- クエリのフィルター述語では、Presto と S3 Select がサポートするデータ型を持つ列が使用されます。S3 Select Pushdown では、タイムスタンプデータ型、実データ型、および倍精度浮動小数点データ型はサポートされません。数値データには小数データ型を使用することをお勧めします。S3 Select でサポートされているデータ型の詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「データ型」を参照してください。

- Amazon S3 と Amazon EMR クラスター間のネットワーク接続は、転送速度と使用可能な帯域幅が良好です。Amazon S3 は、HTTP 応答を圧縮しないため、応答サイズは圧縮された入力ファイルと比較して増加する可能性があります。

考慮事項と制限事項

- CSV 形式で保存されたオブジェクトのみがサポートされます。オブジェクトは解凍するか、必要に応じて gzip または bzip2 で圧縮できます。
- `AllowQuotedRecordDelimiters` プロパティはサポートされていません。このプロパティを指定した場合、クエリは失敗します。
- お客様が用意した暗号化キーを使用した Amazon S3 サーバー側の暗号化 (SSE-C) とクライアント側の暗号化はサポートされていません。
- S3 Select Pushdown は、ORC や Parquet などの列または圧縮ファイル形式には適していません。
- Amazon S3 Select は、Presto および Trino のクロスリージョンクエリをサポートしていません。

PrestoDB または Trino で S3 Select Pushdown を有効にする

Amazon EMR で PrestoDB の S3 Select Pushdown を有効にするには、以下の例に示されているように、`presto-connector-hive` 設定分類を使用して `hive.s3select-pushdown.enabled` を `true` に設定します。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。hive.s3select-pushdown.max-connections 値も設定する必要があります。ほとんどのアプリケーションでは、デフォルト設定の *500* で十分です。詳細については、以下の [hive.s3select-pushdown.max-connections の理解と調整](#) を参照してください。

EMR バージョン 6.1.0 - 6.3.0 での PrestoSQL の場合、以下の例で *presto-connector-hive* を `prestosql-connector-hive` に置き換えます。

Amazon EMR バージョン 6.4.0 以降では、PrestoSQL ではなく、新しい名称の Trino を使用します。Trino を使用する場合、以下の例の *presto-connector-hive* を `trino-connector-hive` に置き換えます

```
[
    {
        "classification": "presto-connector-hive",
        "properties": {
            "hive.s3select-pushdown.enabled": "true",
```

```
                "hive.s3select-pushdown.max-connections": "500"
            }
        }
]
```

hive.s3select-pushdown.max-connections の理解と調整

デフォルトでは、Presto はファイルシステムとして EMRFS を使用します。`emrfs-site` 設定分類の設定 `fs.s3.maxConnections` により、Presto の EMRFS を使用した Amazon S3 へのクライアント接続の最大許容数が指定されます。デフォルトでは 500 です。述語演算のために Amazon S3 にアクセスすると、S3 Select Pushdown は EMRFS をバイパスします。この場合、`hive.s3select-pushdown.max-connections` の値によってワーカーノードからのオペレーションに使用可能なクライアント接続の最大数が決まります。ただし、(GET オペレーションなどの) プッシュダウンされていない Presto から Amazon S3 へのリクエストは、引き続き `fs.s3.maxConnections` の値に従います。

アプリケーションでエラー「Timeout waiting for connection from pool」が発生する場合は、`hive.s3select-pushdown.max-connections` と `fs.s3.maxConnections` 両方の値を増やします。

データベースコネクタの追加

クラスターの作成時に設定分類を使用して JDBC コネクターのプロパティを設定できます。設定分類は `presto-connector` で始まります (例: `presto-connector-postgresql`)。Amazon EMR リリースバージョンによって使用可能な設定分類は異なります。最新のリリースバージョンで使用可能な設定分類については、Amazon EMR 5.36.2 の「[the section called “5.36.2 設定分類”]」を参照してください。Amazon EMR の別のバージョンを使用している場合は、「[Amazon EMR 5.x リリースバージョン]」の設定分類を参照してください。各コネクターで設定できるプロパティの詳細については、[https://prestodb.io/docs/current/connector.html] を参照してください。

Example PostgreSQL JDBC コネクターでのクラスターの設定

PostgreSQL コネクターがインストールおよび設定されたクラスターを起動するには、(`myConfig.json` などの) 設定分類を指定する、以下の内容が含まれた JSON ファイルを作成してからローカルに保存します。

Presto ドキュメントの「[PostgreSQL Connector]」トピックに示されているように、必要に応じてセットアップの接続プロパティを置き換えます。

```
[
  {
    "Classification": "presto-connector-postgresql",
    "Properties": {
      "connection-url": "jdbc:postgresql://example.net:5432/database",
      "connection-user": "MYUSER",
      "connection-password": "MYPASS"
    },
    "Configurations": []
  }
]
```

クラスターを作成するときは、以下の例に示すように `--configurations` オプションを使用して JSON ファイルへのパスを参照します。`myConfig.json` は、コマンドを実行したのと同じディレクトリにあります。

```
aws emr create-cluster --name PrestoConnector --release-label emr-5.36.2 --instance-type m5.xlarge \
--instance-count 2 --applications Name=Hadoop Name=Hive Name=Pig Name=Presto \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=myKey \
--log-uri s3://amzn-s3-demo-bucket/logs --enable-debugging \
--configurations file://myConfig.json
```

Amazon EMR での SSL/TLS の使用と Presto による LDAPS の設定

Amazon EMR リリースバージョン 5.6.0 以降では、Presto ノード間のセキュアな内部通信のために SSL/TLS を有効にできます。これを行うには、転送時の暗号化のセキュリティ設定を指定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「暗号化オプション」および「セキュリティ設定を使用してクラスターセキュリティをセットアップする」を参照してください。

セキュリティ設定を転送時の暗号化に使用すると、Amazon EMR は Presto に対して以下を実行します。

- 転送時の暗号化に指定した暗号化アーティファクトまたは証明書を、Presto クラスター全体に分散します。詳細については、「伝送中のデータの暗号化のための証明書を提供する」を参照してください。
- `presto-config` 設定分類を使用して、次のプロパティを設定します。これは Presto の `config.properties` ファイルに対応します。

- すべてのノードで `http-server.http.enabled` を `false` に設定します。これにより、HTTP を無効にして HTTPS を使用します。これには、伝送中の暗号化のセキュリティ構成を設定するときに、パブリック DNS とプライベート DNS で動作する証明書を提供する必要があります。これを行う方法の 1 つは、複数のドメインをサポートする SAN (サブジェクトの別名) 証明書を使用することです。
- `http-server.https.*` 値を設定します。設定の詳細については、Presto ドキュメントの「LDAP Authentication」を参照してください。

さらに、Amazon EMR リリースバージョン 5.10.0 以降では、HTTPS を使用した Presto コーディネーターへのクライアント接続に LDAP 認証を設定できます。このセットアップでは、安全な LDAP (LDAPS) を使用します。LDAP サーバーで TLS を有効にする必要があります。また、Presto クラスターは転送時のデータの暗号化を有効にして、セキュリティ設定を使用する必要があります。その他の設定も必要です。設定オプションは、使用する Amazon EMR のリリースバージョンに応じて異なります。詳細については、「Amazon EMR の Presto に LDAP 認証を使用する」を参照してください。

Amazon EMR の Presto は、デフォルトでは内部 HTTPS にポート 8446 を使用します。内部通信に使用するポートは、Presto コーディネーターへのクライアント HTTPS アクセスに使用するものと同じポートである必要があります。`http-server.https.port` 設定分類の `presto-config` プロパティでは、ポートが指定されます。

Amazon EMR の Presto に LDAP 認証を使用する

このセクションのステップに従って、LDAP を設定します。例および詳細へのリンクについては、各ステップを参照してください。

LDAP 認証を設定するステップ

- ステップ 1: LDAP サーバーに関する情報を収集し、サーバー証明書を Amazon S3 にコピーする
- ステップ 2: セキュリティ設定をセットアップする
- ステップ 3: LDAP 用の Presto プロパティで設定 JSON を作成する
- ステップ 4: LDAP サーバー証明書をコピーするスクリプトを作成し、Amazon S3 にアップロードする
- ステップ 5: クラスターを作成する

ステップ 1: LDAP サーバーに関する情報を収集し、サーバー証明書を Amazon S3 にコピーする

LDAP 認証を設定するには、LDAP サーバーから次のセクションの情報と項目が必要になります。

LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名

Amazon EMR マスターノードの Presto コーディネーターは、指定された IP アドレスまたはホスト名で LDAP サーバーに到達できる必要があります。デフォルトでは、Presto はポート 636 経由で LDAPS を使用して LDAP サーバーと通信します。LDAP 実装でカスタムポートが必要になる場合は、Amazon EMR 5.16.0 以降で `ldap.url` プロパティを使用するか、以前のバージョンで `authentication.ldap.url` を使用してレポートを指定できます。「636」の `presto-config` の設定分類の例に示すように、[ステップ 3: LDAP 用の Presto プロパティで設定 JSON を作成する](#)のカスタムポートを置き換えます。ファイアウォールやセキュリティグループにより、ポート 636 (またはカスタムポート) およびポート 8446 (またはカスタムポート) でインバウンドおよびアウトバウンドトラフィックが許可されることを確認します。これは内部クラスター通信に使用されます。

LDAP サーバー証明書

証明書ファイルを Amazon S3 の安全な場所にアップロードする必要があります。詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「[S3 バケットにファイルとフォルダをアップロードする方法](#)」を参照してください。クラスターの起動時に、この証明書を Amazon S3 からクラスター内の各ノードにコピーするブートストラップアクションを作成します。「[ステップ 4: LDAP サーバー証明書をコピーするスクリプトを作成し、Amazon S3 にアップロードする](#)」で、証明書の例は *`s3://amzn-s3-demo-bucket/ldap_server.crt`* です。

匿名バインド用の LDAP サーバーの設定

PrestoDB で匿名バインドが無効になっている場合は、LDAP サーバーにバインドし、PrestoDB サーバーが接続を確立できるようにするアクセス権限があるアカウントのユーザー ID (UID) とパスワードが必要です。UID とパスワードは、`internal-communication.authentication.ldap.user` 分類設定の `internal-communication.authentication.ldap.password` および `presto-config` プロパティを使用して指定します。Amazon EMR 5.10.0 はこれらの設定をサポートしないため、このリリースバージョンを使用するときは、匿名バインドが LDAP サーバーでサポートされている必要があります。

Trino では匿名バインディングを設定する必要はありません。

LDAP サーバーで匿名バインドのステータスを取得するには

- 次の例に示すように、Linux クライアントから ldapwhoami コマンドを使用します。

```
ldapwhoami -x -H ldaps://LDAPServerHostNameOrIPAddress
```

匿名バインドが許可されない場合、コマンドの出力は次のようになります。

```
ldap_bind: Inappropriate authentication (48)
additional info: anonymous bind disallowed
```

アカウントに、シンプルな認証を使用する LDAP サーバーへのアクセス権限があることを確認するには

- 次の例に示すように、Linux クライアントから ldapwhoami コマンドを使用します。この例では、架空のユーザー *presto* を使用します。このユーザーは、EC2 インスタンスで実行されている Open LDAP サーバー (架空のホスト名 *ip-xxx-xxx-xxx-xxx.ec2.internal*) に保存されます。このユーザーは組織単位 (OU) *admins* とパスワード *123456* に関連付けられています。

```
ldapwhoami -x -w "123456" -D uid=presto,ou=admins,dc=ec2,dc=internal -H ldaps://ip-xxx-xxx-xxx-xxx.ec2.internal
```

アカウントが有効であり、適切なアクセス権限がある場合、コマンドの出力は次のようになります。

```
dn:uid=presto,ou=admins,dc=ec2,dc=internal
```

ステップ 3: LDAP 用の Presto プロパティで設定 JSON を作成する の設定例には、わかりやすくするためにこのアカウントが含まれています。ただし、5.10.0 の例は例外で、サポートされていません。LDAP サーバーが匿名バインドを使用する場合は、`internal-communication.authentication.ldap.user` と `internal-communication.authentication.ldap.password` の名前と値のペアを削除します。

Presto ユーザーの LDAP 識別名 (DN)

Presto の LDAP 設定を指定するときは、`${USER}` と組織単位 (OU)、および追加のドメインコンポーネント (DC) で構成されるバインドパターンを指定します。Presto は、パスワードの認証中に `${USER}` を各ユーザーの実際のユーザー ID (UID) に置き換え、このバインドパターンが指定する識別名 (DN) に一致させます。対象のユーザーが属している OU とその DC が必要です。たとえば、`admins` ドメインの `corp.example.com` OU のユーザーが Presto に対して認証されるようにするには、ユーザーバインドパターンとして `${USER},ou=admins,dc=corp,dc=example,dc=com` を指定します。

> **Note**
>
> を使用する場合 AWS CloudFormation、 を実際のユーザー ID (UID) `${USER}`に置き換えるには、Fn::Sub 関数を使用する必要があります。詳細については、「AWS CloudFormation ユーザーガイド」の「Fn::Sub」トピックを参照してください。

Amazon EMR 5.10.0 を使用する場合、このようなパターンを 1 つだけ指定できます。Amazon EMR 5.11.0 以降を使用して、複数のパターンをコロン (:) で区切って指定できます。Presto に対して認証を試みるユーザーは最初のパターンと比較されてから、2 番目のパターンに比較され、以降も同様に比較されます。例については、ステップ 3: LDAP 用の Presto プロパティで設定 JSON を作成するを参照してください。

ステップ 2: セキュリティ設定をセットアップする

転送時の暗号化を有効にして、セキュリティ設定を作成します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「セキュリティ設定を作成する」を参照してください。転送時の暗号化を設定する際に指定する暗号化アーティファクトは、Presto のノード間の内部通信を暗号化するために使用されます。詳細については、「伝送中のデータの暗号化のための証明書を提供する」を参照してください。LDAP サーバー証明書は、Presto サーバーへのクライアント接続を認証するために使用されます。

ステップ 3: LDAP 用の Presto プロパティで設定 JSON を作成する

LDAP 用の Presto プロパティを設定するには、`presto-config` 設定分類を使用します。`presto-config` の形式と内容は、Amazon EMR のリリースバージョンと Presto のインストール済み環境 (PrestoDB または Trino) によって若干異なります。設定の違いの例については、このセクションの後半で示します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

以下のステップは、JSON データを *MyPrestoConfig.json* ファイルに保存することを前提としています。コンソールを使用する場合、Amazon S3 の安全な場所にファイルをアップロードし、クラスターを作成するときに参照できるようにします。を使用する場合は AWS CLI、ファイルをローカルで参照できます。

Example Amazon EMR 6.1.0 以降で PrestoSQL (Trino) を使用

次の例では、ステップ 1: LDAP サーバーに関する情報を収集し、サーバー証明書を Amazon S3 にコピーする の LDAP ホスト名を使用して、バインドのために LDAP サーバーに対して認証を行います。2 つのユーザーバインドパターンが指定され、それにより、`admins` OU 内のユーザーと LDAP サーバーの `datascientists` OU は、ユーザーとして Trino サーバーへの認証の対象となります。バインドパターンはコロン (`:`) で区切られます。

Amazon EMR バージョン 6.4.0 以降では、PrestoSQL ではなく、新しい名称の Trino を使用します。Trino を使用する場合、以下の設定分類で *`prestosql-config`* を `trino-config` に置き換え、*`prestosql-password-authenticator`* を `trino-password-authenticator` に置き換えてください。

```
[
   {
      "Classification":"prestosql-config",
      "Properties":{
         "http-server.authentication.type":"PASSWORD"
      }
   },
   {
      "Classification":"prestosql-password-authenticator",
      "Properties":{
         "password-authenticator.name":"ldap",
         "ldap.url":"ldaps://ip-xxx-xxx-xxx-xxx.ec2.internal:636",
         "ldap.user-bind-pattern": "uid=${USER},ou=admins,dc=ec2,dc=internal:uid=
${USER},ou=datascientists,dc=ec2,dc=internal"
      }
   }
]
```

Example Amazon EMR 5.16.0 以降

次の例では、LDAP ユーザー ID とパスワード、および「ステップ 1: LDAP サーバーに関する情報を収集し、サーバー証明書を Amazon S3 にコピーする」の LDAP ホスト名を使用して、バインドのために LDAP サーバーに対して認証を行います。2 つのユーザーバインドパターンが指定され、それ

により、admins OU 内のユーザーと LDAP サーバーの datascientists OU は、ユーザーとして Presto サーバーへの認証の対象となります。バインドパターンはコロン (:) で区切られます。

```
[{
        "Classification": "presto-config",
                "Properties": {
                        "http-server.authentication.type": "PASSWORD"
                }
        },
        {
                "Classification": "presto-password-authenticator",
                "Properties": {
                        "password-authenticator.name": "ldap",
                        "ldap.url": "ldaps://ip-xxx-xxx-xxx-xxx.ec2.internal:636",
                        "ldap.user-bind-pattern": "uid=
${USER},ou=admins,dc=ec2,dc=internal:uid=${USER},ou=datascientists,dc=ec2,dc=internal",
                        "internal-communication.authentication.ldap.user": "presto",
                        "internal-communication.authentication.ldap.password": "123456"
                }
        }]
```

Example Amazon EMR 5.11.0 ～ 5.15.0

presto-config 設定分類の形式は、これらのリリースバージョンごとに少し異なります。次の例では、前の例と同じパラメータを指定します。

```
[{
        "Classification": "presto-config",
                "Properties": {
                        "http-server.authentication.type": "LDAP",
                        "authentication.ldap.url": "ldaps://ip-xxx-xxx-xxx-
xxx.ec2.internal:636",
                        "authentication.ldap.user-bind-pattern": "uid=
${USER},ou=admins,dc=ec2,dc=internal:uid=${USER},ou=datascientists,dc=ec2,dc=internal",
                        "internal-communication.authentication.ldap.user": "presto",
                        "internal-communication.authentication.ldap.password": "123456"
                }
        }]
```

Example Amazon EMR 5.10.0

Amazon EMR 5.10.0 は匿名バインドのみをサポートするため、これらのエントリは省略されます。さらに、指定できるバインドパターンは 1 つのみです。

```
[{
        "Classification": "presto-config",
                "Properties": {
                        "http-server.authentication.type": "LDAP",
                        "authentication.ldap.url": "ldaps://ip-xxx-xxx-xxx-
xxx.ec2.internal:636",
                        "ldap.user-bind-pattern": "uid=
${USER},ou=prestousers,dc=ec2,dc=internal"
                }
        }]
```

ステップ 4: LDAP サーバー証明書をコピーするスクリプトを作成し、Amazon S3 にアップロードする

クラスターの各ノードに証明書ファイルをコピーするスクリプトを作成し、キーストアに追加します。テキストエディタを使用してスクリプトを作成し、保存した後、Amazon S3 にアップロードします。「ステップ 5: クラスターを作成する」では、スクリプトファイルは *s3://amzn-s3-demo-bucket/LoadLDAPCert.sh* として参照されます。

次の例では、スクリプトはデフォルトのキーストアパスワード *changeit* を使用します。クラスターの作成後にマスターノードに接続し、keytool コマンドを使用してキーストアパスワードを変更することをお勧めします。

```
#!/bin/bash
aws s3 cp s3://amzn-s3-demo-bucket/ldap_server.crt .
sudo keytool -import -keystore /usr/lib/jvm/jre-1.8.0-openjdk.x86_64/lib/security/
cacerts -trustcacerts -alias ldap_server -file ./ldap_server.crt -storepass changeit -
noprompt
```

ステップ 5: クラスターを作成する

クラスターを作成するときは、Presto と、Amazon EMR でインストールする他のアプリケーションを選択します。次の例では、JSON 内で設定分類プロパティを参照していますが、インラインで設定分類を指定することもできます。

Amazon EMR コンソールを使用して LDAP 認証により Presto クラスターを作成するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. Presto と、Amazon EMR でインストールする他のアプリケーションを選択し、[ソフトウェア設定] で、使用する Amazon EMR の [リリース] を選択します。LDAP 認証は Amazon EMR 5.10.0 以降でのみサポートされます。
4. [Edit software settings] (ソフトウェア設定の編集) で [Load JSON from S3] (S3 からの JSON のロード) を選択し、「ステップ 3: LDAP 用の Presto プロパティで設定 JSON を作成する」で作成した JSON 設定ファイルの Amazon S3 の場所を入力し、[Next] (次へ) を選択します。
5. クラスターハードウェアおよびネットワークを設定し、[次へ] を選択します。
6. [ブートストラップアクション] を選択します。[ブートストラップアクションを追加する] で [カスタムアクション]、[設定と追加] の順に選択します。
7. ブートストラップアクションの [名前] を入力し、「ステップ 4: LDAP サーバー証明書をコピーするスクリプトを作成し、Amazon S3 にアップロードする」で作成した [スクリプトの場所] を入力 (例: s3://amzn-s3-demo-bucket/LoadLDAPCert.sh) してから、[追加] を選択します。
8. [汎用オプション]、[タグ]、[追加のオプション] で、アプリケーションに最適な設定を選択し、[次へ] を選択します。
9. [認証と暗号化] を選択し、「」で作成した [セキュリティ設定ステップ 2: セキュリティ設定をセットアップする] を選択します。
10. アプリケーションに最適な他のセキュリティオプションを選択し、[クラスターの作成] を選択します。

AWS CLIを使用して LDAP 認証により Presto クラスターを作成するには

- `aws emr create-cluster` コマンドを使用します。少なくとも、Presto アプリケーションと、前のステップで作成した Presto 設定分類、ブートストラップスクリプト、およびセキュリティ設定を指定します。次の例では、コマンドを実行するのと同じディレクトリに JSON ファイルとして保存されている設定ファイルを参照します。一方、ブートストラップスクリプトは、Amazon S3 に保存する必要があります。次の例では `s3://amzn-s3-demo-bucket/LoadLDAPCert.sh` を使用しています。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster  --applications Name=presto --release-label emr-5.16.0 \
--use-default-roles --ec2-attributes KeyName=MyKeyPair,SubnetId=subnet-1234ab5
 \ --instance-count 3 --instance-type m5.xlarge --region us-west-2 --name
 "MyPrestoWithLDAPAuth" \
--bootstrap-actions Name="Distribute LDAP server cert",Path="s3://amzn-s3-demo-
bucket/LoadLDAPCert.sh" \
--security-configuration MyPrestoLDAPSecCfg --configurations file://
MyPrestoConfig.json
```

Presto 厳格モードを有効にする

特定の状況では、クエリを長時間実行するとコストが高くなり、Amazon EMR がより多くのクラスターリソースを使用する可能性があります。これにより、クラスター上の他のワークロードからリソースが奪われます。Amazon EMR バージョン 6.8 以降では、次のような長時間実行されるクエリを拒否または警告する厳格モード機能を使用できます。

- パーティション化された列に述語がないクエリ。これにより大量のデータがテーブルスキャンされます
- 2 つの大きなテーブルを相互結合するクエリ
- 多数の行を無制限にソートするクエリ

Presto がクエリプランを完全に最適化すると、厳格モードが実行されます。厳格モードを使用してクエリのニーズに合わせてカスタマイズするには、以下の方法で Presto を設定できます。

厳格モードのための Presto 設定

設定	説明	デフォルト
`strict-mode-enabled`	厳格モードのオンとオフを切り替えます。`true` の値は厳格	`false`

設定	説明	デフォルト
	モードがオンであることを示します。	
strict-mode-fail-query	厳格モードでは実行時間が長くなりそうなクエリが検出された場合、クエリを拒否します。false の場合、Amazon EMR は警告を発するだけです。	false
strict-mode-restrictions	厳格モードを有効にするときに適用する制限を指定します。厳格モードでは次の制限がサポートされます: MANDATORY_PARTITION_PREDICATE、DISALLOW_CROSS_JOIN、LIMITED_SORT。	MANDATORY_PARTITION_PREDICATE、DISALLOW_CROSS_JOIN、LIMITED_SORT

厳格モードを試してみるには、これらの設定をオーバーライドするか、Presto クライアントを使用するときにセッションプロパティとして設定します。

を使用してクラスターの作成時に設定を行うには AWS Management Console

1. [クラスターの作成] を選択し、Amazon EMR バージョン 6.8.0、および Presto または Trino を選択します。詳細については、「PrestoDB と Trino をインストールする」を参照してください。
2. 厳格モードの設定プロパティを直接指定するか、JSON ファイルを Amazon S3 にアップロードします。必要に応じて、メタストアの AWS Glue データカタログを選択します。VPC、サブネット、ブートストラップアクション、キーペア、セキュリティグループを指定します。クラスターを作成するには、[クラスターの作成] を選択します。
3. クラスターのプライマリノードにログインし、`presto-cli` または `trino-cli` を実行します。

4. クエリを送信します。厳格モードは各クエリを検証し、実行時間が長いかどうかを判断します。strict-mode-fail-query 設定に応じて、Amazon EMR はクエリを拒否するか、警告を発します。
5. クエリが完了したら、クラスターを終了し、リソースを削除します。

を使用して実行中のクラスターで設定を設定するには AWS CLI

1. を使用してクラスターのプライマリノードにログイン AWS CLI し、 presto-cliまたは を実行しますtrino-cli。
2. 以下のコマンドを希望する値で実行します。

```
set session strict_mode_enabled = true;
set session strict_mode_fail_query = false;
set session strict_mode_restrictions = 'DISALLOW_CROSS_JOIN,LIMITED_SORT';
```

考慮事項

厳格モードを使用する場合は、次の点を考慮してください。

- 厳格モードでは、リソースをあまり消費しない短時間のクエリを拒否できる場合があります。例えば、小さなテーブルのクエリでは、動的フィルタリングは適用されず、内部結合をクロス結合に置き換えることもありません。これにより、クエリで必須パーティション述語が使用されたり、クロス結合が禁止されたりする可能性があります。この場合、厳格モードではクエリが拒否されます。
- 厳格モードのチェックは、SELECT、INSERT、CREATE TABLE AS SELECT、および EXPLAIN ANALYZE クエリタイプにのみ適用されます。
- 必須パーティション述語の制限は Hive コネクタでのみ使用できます。

Presto でのスポットインスタンス損失の処理

Amazon EMR のスポットインスタンスを使用すると、予備の Amazon EC2 キャパシティでビッグデータワークロードを低コストで実行できます。Amazon EC2 は、コスト削減と引き換えに、2 分間の通知により、スポットインスタンスを中断できます。ノードを終了すると、Presto がエラーを返すまでに最大 10 分かかることがあります。これにより、エラー報告が不必要に遅れたり、再試行されたりする可能性があります。クイック終了は、終了したノードを Presto が処理する方法を制御できる機能です。

Presto コーディネーターの仕事は、定期的にステータスをポーリングしてすべてのワーカーノードを追跡することです。クイック終了がなければ、コーディネーターは各ノードのステータスを YARN NodeManager に問い合わせません。これにより、クエリが失敗するまでの再試行ループが長くなる可能性があります。クイック終了では、Presto コーディネーターは、ポーリングがホストに到達できないとすぐに NodeManager でノードのステータスを調べます。NodeManager がノードが非アクティブであることを示した場合、Presto はそれ以上の再試行を中止し、クエリに失敗して、`NODE_DECOMMISSIONED` エラーを返します。

以下の設定パラメータセットにより、ノード終了時の Presto の動作を制御およびカスタマイズできます。

ノード障害処理用の Presto 設定

設定	説明	デフォルト
`query.remote-task.max-backoff-duration`	コーディネーターがワーカーノードからリモートタスクのステータスを取得しようとし続ける時間。	10 分
`query.remote-task.quick-terminate-node-failure`	コーディネーターがノードに到達できない場合や、そのノードで実行されているワーカーに接続できない場合に、クイックノード障害を有効にします。`query.remote-task.terminate-on-connect-exception` の値によって、コーディネーターがノードに到達する必要があるのか、ワーカーに接続する必要があるのかが決まります。 ノードはクエリに失敗し、Amazon EMR は利用可能なワーカーのリストからノードを削除します。この場合、ノードを使用して新しいクエ	`true`

設定	説明	デフォルト
	リをスケジュールすることはできません。 この値を `false` に設定すると、Presto コーディネーターが再びノードにアクセスしようとする (`query.remote-task.max-backoff-duration` の場合)、以前の動作に戻ります。その後、ノードが使用不可とマークされ、ノード上で実行中のクエリが失敗します。	
`query.remote-task.terminate-on-connect-exception`	ホストには接続可能だが、コーディネーターがホストのワーカープロセスに接続できない場合に Amazon EMR がノードを処理する必要があるかどうかを指定します。この値を `true` に設定すると、ホストにアクセスできない場合にクイッククエリ障害が有効になります。	`false`

グレースフルな廃止による Presto Auto Scaling の使用

Amazon EMR リリースバージョン 5.30.0 以降には、特定のスケーリングアクションの猶予期間を設定する機能が含まれています。猶予期間を使用することで、スケールインサイズ変更アクションまたは自動スケーリングポリシーリクエストによってノードが終了するまで Presto タスクの実行を続けることができます。スケーリングルールの詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[自動スケーリングルールについて](#)」を参照してください。グレースフルな廃止を使用する Presto Auto Scaling では、廃止処理中のノードでの新しいタスクのスケジューリングを回避するとともに、シャットダウンタイムアウトに達する前に、既に実行中のタスクを完了できます。実行中のクエリ

は、ノードが廃止される前に実行を完了します。Autoscaling は、インスタンスフリートではサポートされていません。

自動スケーリングのシャットダウンリクエストが受け取られた後、Presto タスクが完了するまでの許容時間を制御できます。デフォルトでは、Amazon EMR のシャットダウンタイムアウトは `0` 分です。この場合、スケールインリクエストで必要になると、Amazon EMR によってノードとそのノードで実行されている Presto タスクが直ちに終了します。実行中のクエリをクラスターのスケールダウン前に完了できるように、Amazon EMR で Presto タスクのタイムアウトを長く設定するには、`presto-config` 設定分類を使用して、`graceful-shutdown-timeout` パラメータを 0 より大きい値 (秒単位または分単位) に設定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

例えば、`graceful-shutdown-timeout` 値を `"30m"` に増加すると、30 分間のタイムアウト期間が指定されます。シャットダウンタイムアウト期間が終了すると、廃止対象としてマークされたノードは、クエリタスクの完了を待機していても強制的に終了され、クエリは失敗します。クエリタスクが 5 分後に終了した場合、他の YARN アプリケーションが実行を完了していれば、廃止対象としてマークされたノードは終了します。

Example グレースフルな廃止による Presto 自動スケーリング設定の例

`graceful-shutdown-timeout` 値を、設定に適した分数に置き換えます。決められた最大値はありません。次の例では、タイムアウト値を `1800` 秒 (30 分) に設定します。

```
[
    {
        "classification": "presto-config",
        "properties": {
            "graceful-shutdown-timeout": "1800s"
        }
    }
]
```

制約事項

PrestoDB のグレースフルな廃止は、HTTP 接続が無効になっている EMR クラスターでは動作しません (`http-server.http.enabled` が `false` に設定されている場合など)。Trino では、`http-server.http.enabled` の設定に関係なく、グレースフルな廃止はサポートされていません。

Amazon EMR での Presto に関する考慮事項

Amazon EMR での Presto を実行するときは、次の制限について考慮してください。

Presto コマンドライン実行可能ファイル

Amazon EMR では、以下の例に示されているように、PrestoDB と Trino は両方とも同じコマンドライン実行可能ファイル presto-cli を使用します。

```
presto-cli --catalog hive
```

Presto デプロイプロパティは設定可能ではない

ご使用の Amazon EMR のバージョンによって、使用可能な Presto デプロイ設定が決まります。これらの設定プロパティについては、Presto ドキュメントの「Deploying Presto」を参照してください。次の表に、Presto properties ファイルのさまざまな設定オプションを示します。

ファイル	設定可能
log.properties	PrestoDB: Amazon EMR バージョン 4.0.0 以降で設定可能です。presto-log 設定分類を使用します。
config.properties	PrestoDB: Amazon EMR バージョン 4.0.0 以降で設定可能です。presto-config 設定分類を使用します。
hive.properties	PrestoDB: Amazon EMR バージョン 4.1.0 以降で設定可能です。presto-connector-hive 設定分類を使用します。
node.properties	PrestoDB: Amazon EMR バージョン 5.6.0 以降で設定可能です。presto-node 設定分類を使用します。
jvm.config	設定可能ではありません。

PrestoDB のインストール

アプリケーション名 Presto は、クラスターに PrestoDB をインストールするために引き続き使用されます。

PrestoDB または Trino のいずれかをインストールできますが、両方を単一のクラスターにインストールすることはできません。クラスターを作成しようとしたときに PrestoDB と Trino の両方を指定すると、検証エラーが発生し、クラスター作成リクエストは失敗します。

EMRFS と PrestoS3FileSystem の設定

Amazon EMR バージョン 5.12.0 以降では、PrestoDB は EMRFS を使用できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「EMR ファイルシステム (EMRFS)」を参照してください。Amazon EMR の以前のバージョンでは、PrestoS3FileSystem が唯一の設定オプションです。

セキュリティ設定を使用して、Amazon S3 で EMRFS データの暗号化を設定できます。また、Amazon S3 への EMRFS リクエストに IAM ロールを使用することもできます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「暗号化オプションを理解する」および「Amazon S3 への EMRFS リクエストの IAM ロールを設定する」を参照してください。

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.12.0 を使用して Amazon S3 で基盤となるデータをクエリするときに、Presto エラーが発生することがあります。これは、Presto が `emrfs-site.xml` から設定分類値を取得できないためです。回避策として、`usr/lib/presto/plugin/hive-hadoop2/` の下に `emrfs` サブディレクトリを作成し、既存の `/usr/share/aws/emr/emrfs/conf/emrfs-site.xml` ファイルへのシンボリックリンクを `usr/lib/presto/plugin/hive-hadoop2/emrfs` に作成します。次に presto-server プロセスを再起動します (`sudo presto-server stop` に続いて `sudo presto-server start`)。

EMRFS のデフォルトをオーバーライドして、代わりに PrestoS3FileSystem を使用できます。これを行うには、次の例に示すように `presto-connector-hive` 設定分類を使用して、`hive.s3-file-system-type` を `PRESTO` に設定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

```
[
   {
      "Classification": "presto-connector-hive",
```

```
        "Properties": {
            "hive.s3-file-system-type": "PRESTO"
        }
    }
]
```

PrestoS3FileSystem を使用する場合、presto-connector-hive 設定分類を使用して PrestoS3FileSystem プロパティを設定します。使用可能なプロパティの詳細については、Presto ドキュメントの「Hive Connector」セクションにある「Amazon S3 の設定」を参照してください。これらの設定は EMRFS には適用されません。

エンドユーザー偽装のデフォルト設定

デフォルトでは、Amazon EMR バージョン 5.12.0 以降では、エンドユーザーが HDFS にアクセスするための偽装を行うことができます。詳細については、Presto のドキュメントの「エンドユーザー偽装」を参照してください。この設定を presto-config 設定分類を使用して変更するには、hive.hdfs.impersonation.enabled プロパティを false に設定します。

Presto ウェブインターフェイス用のデフォルトポート

デフォルトでは、Amazon EMR はポート 8889 を使用するように Presto コーディネーターの Presto ウェブインターフェイスを設定します (PrestoDB および Trino の場合)。このポートを変更するには、presto-config 設定分類を使用して http-server.http.port プロパティを設定します。詳細については、Presto ドキュメントの「Deploying Presto」セクションの「Config properties」を参照してください。

一部のリリースでの Hive バケットの実行に関する問題

Presto バージョン 152.3 には、特定の状況で Presto のクエリパフォーマンスを大幅に低下させる Hive バケットの実行に問題があります。Amazon EMR リリース 5.0.3、5.1.0、および 5.2.0 には、このバージョンの Presto が含まれています。この問題を軽減するには、次の例に示すように presto-connector-hive 設定分類を使用して、hive.bucket-execution プロパティを false に設定します。

```
[
    {
        "Classification": "presto-connector-hive",
        "Properties": {
            "hive.bucket-execution": "false"
        }
```

```
    }
]
```

Presto リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Presto のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Presto バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-7.8.0	0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto,

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
		hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-7.7.0	0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-7.6.0	0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-7.4.0	0.287	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	0.285	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-7.2.0	0.285	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	0.267	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-7.1.0	0.284	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	0.283	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.15.0	0.283	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	0.281	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.13.0	0.281	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	0.281	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.11.1	0.279	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	0.279	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.10.1	0.278	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	0.278	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.9.1	0.276	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	0.276	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.8.1	0.273	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	0.273	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.7.0	0.272	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	0.267	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.36.0	0.267	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	0.267	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.35.0	0.266	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	0.261	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.4.0	0.254.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	0.245.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.3.0	0.245.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	0.238.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.2.0	0.238.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	0.232	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.1.0	0.232	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	0.230	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-6.0.0	0.230	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	0.261	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.33.1	0.245.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	0.245.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.32.1	0.240.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	0.240.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.31.1	0.238.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	0.238.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.30.2	0.232	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	0.232	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.30.0	0.232	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mariadb-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	0.227	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.28.1	0.227	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	0.227	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-presto, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.27.1	0.224	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	0.224	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.26.0	0.220	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	0.220	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.24.1	0.219	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	0.219	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.23.1	0.215	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	0.215	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.22.0	0.215	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	0.215	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.21.1	0.215	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	0.215	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.20.1	0.214	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	0.214	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.19.1	0.212	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	0.212	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.18.1	0.210	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	0.210	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.17.2	0.206	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	0.206	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.17.0	0.206	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	0.203	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.16.0	0.203	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.15.0	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.14.1	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.13.1	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	0.194	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.12.3	0.188	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	0.188	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.12.1	0.188	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	0.188	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.11.4	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.11.2	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.11.0	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.10.0	0.187	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	0.184	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.9.0	0.184	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.8.2	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.8.0	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.7.0	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.6.0	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.5.4	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-5.5.2	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-5.5.1	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	0.170	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.4.1	0.166	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.4.0	0.166	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.3.1	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.3.0	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.2.2	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker
emr-5.2.1	0.157.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	0.152.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-5.1.1	0.152.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-5.1.0	0.152.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	0.152.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-5.0.2	0.150	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker
emr-5.0.1	0.150	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-wo rker

Amazon EMR リリースラベル	Presto バージョン	Presto でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	0.150	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hive-client, hcatalog-server, mysql-server, presto-coordinator, presto-worker

Apache Spark

Apache Spark は、Amazon EMR クラスターでの機械学習、ストリーム処理、グラフ分析に役立つ分散処理フレームワークおよびプログラミングモデルです。Apache Spark は、Apache Hadoop と同様に、ビッグデータのワークロードを処理するために一般的に使用されているオープンソースの分散処理システムです。ただし、Spark には Hadoop MapReduce との大きな違いがいくつかあります。Spark は、最適化された Directed Acyclic Graph (DAG) 実行エンジンを備えており、データをインメモリにアクティブにキャッシュするため、特に特定のアルゴリズムやインタラクティブクエリの場合にパフォーマンスが向上します。

Spark アプリケーションは、Scala、Java、および Python をネイティブでサポートしています。また、SQL (Spark)、機械学習 (MLlib)、ストリーム処理 (Spark ストリーミング)、グラフ処理 (GraphX) 用に緊密に統合されたライブラリがいくつか含まれています。これらのツールを使用すると、さまざまなユースケースで Spark フレームワークを活用しやすくなります。

Spark は、他の Hadoop アプリケーションと同時に Amazon EMR クラスターにインストールすることができ、Amazon EMR ファイルシステム (EMRFS) を利用して Amazon S3 のデータに直接アクセスすることができます。Hive は Spark と統合されているため、HiveContext オブジェクトを使用することで、Spark を使用して Hive スクリプトを実行することもできます。Hive コンテキストは、spark-shell に `sqlContext` として含められます。

Spark で EMR クラスターをセットアップし、サンプルデータセットを分析するチュートリアルの例については、 AWS ニュースブログの「チュートリアル: Amazon EMR の開始方法」を参照してください。

> **Important**
>
> Apache Spark バージョン 2.3.1 は Amazon EMR リリース 5.16.0 以降で利用でき、CVE-2018-8024 および CVE-2018-1334 に対処します。Spark の以前のバージョンを Spark バージョン 2.3.1 以降に移行することをお勧めします。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Spark のバージョンと、Amazon EMR で Spark と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Spark と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Spark バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Spark 3.5.5	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Spark のバージョンと、Amazon EMR で Spark と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Spark と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Spark バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Spark 3.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
		kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

> **Note**
>
> Amazon EMR リリース 6.8.0 には、Apache Spark 3.3.0 が付属しています。この Spark リリースでは、Apache Log4j 2 と `log4j2.properties` ファイルを使用して Spark プロセス内の Log4j を設定します。クラスターで Spark を使用するか、カスタム設定パラメータを使用して EMR クラスターを作成し、Amazon EMR リリース 6.8.0 にアップグレードする場合は、Apache Log4j 2 の新しい `spark-log4j2` 設定分類とキー形式に移行する必要があります。詳細については、「Apache Log4j 1.x から Log4j 2.x への移行」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Spark のバージョンと、Amazon EMR で Spark と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Spark と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Spark バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Spark 2.4.8	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
		hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

トピック

- Apache Spark を使用したクラスターの作成
- Amazon EMR 6.x を使用して Docker で Spark アプリケーションを実行する
- Amazon EMR AWS で Spark で Glue データカタログカタログを使用する
- Amazon EMR で Spark を使用して AWS Glue Data Catalog でマルチカタログ階層を操作する
- Spark の設定
- Spark パフォーマンスの最適化
- Spark 結果フラグメントキャッシュ
- Apache Spark 用の Nvidia RAPIDS アクセラレータの使用
- Spark シェルにアクセスする
- 機械学習で Amazon SageMaker Spark を使用する
- Spark アプリケーションを作成する
- Amazon S3 で Spark のパフォーマンスを向上させる
- Spark ステップを追加する
- Spark アプリケーション履歴を表示する
- Spark ウェブ UI にアクセスする
- Spark 構造化ストリーミング Amazon Kinesis Data Streams コネクタの使用
- Amazon EMR での Apache Spark 用の Amazon Redshift インテグレーションの使用

- Spark リリース履歴

Apache Spark を使用したクラスターの作成

次の手順では、Amazon EMR コンソールで [クイックオプション] を使用して、Spark がインストールされたクラスターを作成します。

[Advanced Options] (詳細オプション) を使用してクラスター設定を詳細にカスタマイズしたり、アプリケーションをプログラムでインストールするステップを送信してカスタムアプリケーションを実行したりすることもできます。どちらのクラスター作成オプションでも、Spark SQL メタストアとして AWS Glue を使用するように選択できます。詳細については「Amazon EMR AWS で Spark で Glue データカタログカタログを使用する」を参照してください。

Spark がインストールされたクラスターを起動するには

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Create cluster] (クラスターの作成) を選択して、[Quick Options] (クイックオプション) を使用します。
3. [Cluster name] (クラスター名) を入力します。クラスター名に <、>、$、|、` (バックティック) の文字を含めることはできません。
4. [Software Configuration] (ソフトウェア設定) では、[Release] (リリース) オプションを選択します。
5. [Applications] (アプリケーション) では、Spark アプリケーションバンドルを選択します。
6. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

> **Note**
>
> クラスターを作成する場合に Spark を設定するには、「Spark の設定」を参照してください。

を使用して Spark がインストールされたクラスターを起動するには AWS CLI

- 次のコマンドを使用してクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --name "Spark cluster" --release-label emr-7.9.0 --
applications Name=Spark \
```

```
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --use-
default-roles
```

Note

読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

SDK for Java を使用し、Spark がインストールされたクラスターを起動するには

`SupportedProductConfig` で使用される `RunJobFlowRequest` を使用して Spark をアプリケーションとして指定します。

- 次の例は、Java を使用した Spark のあるクラスターを作成する方法を示します。

```
import com.amazonaws.AmazonClientException;
import com.amazonaws.auth.AWSCredentials;
import com.amazonaws.auth.AWSStaticCredentialsProvider;
import com.amazonaws.auth.profile.ProfileCredentialsProvider;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.AmazonElasticMapReduce;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.AmazonElasticMapReduceClientBuilder;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.model.*;
import com.amazonaws.services.elasticmapreduce.util.StepFactory;

public class Main {

        public static void main(String[] args) {
                AWSCredentials credentials_profile = null;
                try {
                        credentials_profile = new
 ProfileCredentialsProvider("default").getCredentials();
                } catch (Exception e) {
                        throw new AmazonClientException(
                                        "Cannot load credentials from .aws/
credentials file. " +
                                                        "Make sure that the
 credentials file exists and the profile name is specified within it.",
                                        e);
```

```
                }

                AmazonElasticMapReduce emr =
 AmazonElasticMapReduceClientBuilder.standard()
                                .withCredentials(new
 AWSStaticCredentialsProvider(credentials_profile))
                                .withRegion(Regions.US_WEST_1)
                                .build();

                // create a step to enable debugging in the AWS Management Console
                StepFactory stepFactory = new StepFactory();
                StepConfig enabledebugging = new StepConfig()
                                .withName("Enable debugging")
                                .withActionOnFailure("TERMINATE_JOB_FLOW")

 .withHadoopJarStep(stepFactory.newEnableDebuggingStep());

                Application spark = new Application().withName("Spark");

                RunJobFlowRequest request = new RunJobFlowRequest()
                                .withName("Spark Cluster")
                                .withReleaseLabel("emr-5.20.0")
                                .withSteps(enabledebugging)
                                .withApplications(spark)
                                .withLogUri("s3://path/to/my/logs/")
                                .withServiceRole("EMR_DefaultRole")
                                .withJobFlowRole("EMR_EC2_DefaultRole")
                                .withInstances(new JobFlowInstancesConfig()
                                                .withEc2SubnetId("subnet-12ab3c45")
                                                .withEc2KeyName("myEc2Key")
                                                .withInstanceCount(3)

 .withKeepJobFlowAliveWhenNoSteps(true)
                                                .withMasterInstanceType("m4.large")

 .withSlaveInstanceType("m4.large"));
                RunJobFlowResult result = emr.runJobFlow(request);
                System.out.println("The cluster ID is " + result.toString());
        }
}
```

Amazon EMR 6.x を使用して Docker で Spark アプリケーションを実行する

Amazon EMR 6.0.0 では、Spark アプリケーションで Docker コンテナを使用してライブラリの依存関係を定義できます。クラスター内の各 Amazon EC2 インスタンスに依存関係をインストールする必要はありません。Docker で Spark を実行するには、まず Docker レジストリを設定し、Spark アプリケーションの送信時に追加のパラメータを定義する必要があります。詳細については、「Docker 統合の設定」を参照してください。

アプリケーションが送信されると、YARN は Docker を呼び出して指定された Docker イメージをプルし、Docker コンテナ内で Spark アプリケーションを実行します。これにより、依存関係を簡単に定義して分離できます。結果として、ジョブ実行に必要なライブラリを使用して Amazon EMR クラスター内のインスタンスをブートストラップまたは準備する時間が短縮されます。

Docker で Spark を実行する際の考慮事項

Docker で Spark を実行するときは、次の前提条件を満たす必要があります。

- `docker` パッケージと CLI は、コアノードとタスクノードにのみインストールします。
- Amazon EMR 6.1.0 以降では、次のコマンドを使用してプライマリノードに Docker をインストールすることもできます。
  -
    ```
    sudo yum install -y docker
    sudo systemctl start docker
    ```
- `spark-submit` コマンドは、常に Amazon EMR クラスターのプライマリインスタンスから実行します。
- Docker イメージの解決に使用する Docker レジストリは、分類 API を使用して定義する必要があります。クラスターの起動時に `container-executor` 分類キーを使用して追加のパラメータを定義します。
  - `docker.trusted.registries`
  - `docker.privileged-containers.registries`
- Docker コンテナで Spark アプリケーションを実行するには、次の設定オプションが必要です。
  - `YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker`
  - `YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE={DOCKER_IMAGE_NAME}`
- Amazon ECR を使用して Docker イメージを取得する場合は、クラスター自体を認証するようにクラスターを設定する必要があります。そのためには、次の設定オプションを使用します。

  - YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG={DOCKER_CLIENT_CONFIG_PATH_ON
- Amazon EMR 6.1.0 以降では、ECR 自動認証機能が有効になっている場合、リストされているコマンド `YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG={DOCKER_CLIENT_CONFIG_PATH_ON_HDFS}` を使用する必要はありません。
- Spark で Docker イメージを使用する場合、Docker イメージに Java をインストールする必要があります。

前提条件の詳細については、「Docker 統合の設定」を参照してください。

Docker イメージの作成

Docker イメージを作成するには Dockerfile を使用します。このファイルは、イメージに含めるパッケージと設定を定義します。次に示す 2 つの Dockerfile の例では、PySpark と SparkR を使用しています。

PySpark Dockerfile

この Dockerfile から作成した Docker イメージには、Python 3 と NumPy Python パッケージが含まれます。この Dockerfile では、Amazon Linux 2 と Amazon Corretto JDK 8 を使用します。

```
FROM amazoncorretto:8

RUN yum -y update
RUN yum -y install yum-utils
RUN yum -y groupinstall development

RUN yum list python3*
RUN yum -y install python3 python3-dev python3-pip python3-virtualenv

RUN python -V
RUN python3 -V

ENV PYSPARK_DRIVER_PYTHON python3
ENV PYSPARK_PYTHON python3

RUN pip3 install --upgrade pip
RUN pip3 install numpy pandas

RUN python3 -c "import numpy as np"
```

SparkR Dockerfile

この Dockerfile から作成した Docker イメージには、R と randomForest CRAN パッケージが含まれます。この Dockerfile には、Amazon Linux 2 と Amazon Corretto JDK 8 が含まれます。

```
FROM amazoncorretto:8

RUN java -version

RUN yum -y update
RUN amazon-linux-extras install R4

RUN yum -y install curl hostname

#setup R configs
RUN echo "r <- getOption('repos'); r['CRAN'] <- 'http://cran.us.r-project.org';
 options(repos = r);" > ~/.Rprofile

RUN Rscript -e "install.packages('randomForest')"
```

Dockerfile の構文の詳細については、Dockerfile リファレンスのドキュメントを参照してください。

Amazon ECR の Docker イメージを使用する

Amazon Elastic Container Registry (Amazon ECR) は、フルマネージド型の Docker コンテナレジストリであり、Docker コンテナイメージの保存、管理、デプロイを容易に行うことができます。Amazon ECR を使用する場合は、ECR のインスタンスを信頼するようにクラスターを設定する必要があります。また、クラスターが Amazon ECR の Docker イメージを使用するように認証を設定する必要があります。詳細については、「Amazon ECR にアクセスするための YARN の設定」を参照してください。

Amazon ECR に保存されているイメージに Amazon EMR ホストがアクセスできるようにするには、インスタンスプロファイルに関連付けられた `AmazonEC2ContainerRegistryReadOnly` ポリシーからのアクセス許可がクラスターに必要です。詳細については、「`AmazonEC2ContainerRegistryReadOnly` ポリシー」を参照してください。

この例では、Amazon ECR レジストリが信頼されるように、次の追加設定を使用してクラスターを作成する必要があります。*`123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com`* エンドポイントを、実際の Amazon ECR エンドポイントに置き換えます。

```
[
```

```
  {
    "Classification": "container-executor",
    "Configurations": [
      {
        "Classification": "docker",
        "Properties": {
          "docker.privileged-containers.registries":
 "local,centos,123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com",
          "docker.trusted.registries": "local,centos,123456789123.dkr.ecr.us-
east-1.amazonaws.com"
        }
      }
    ],
    "Properties": {}
  }
]
```

Amazon ECR での PySpark の使用

次の例では PySpark Dockerfile を使用します。このファイルは、タグ付けされて Amazon ECR にアップロードされます。Dockerfile をアップロード後、PySpark ジョブを実行し、Amazon ECR の Docker イメージを参照できます。

クラスターを起動したら、SSH を使用してコアノードに接続し、次のコマンドを実行して PySpark Dockerfile の例からローカル Docker イメージを構築します。

まず、ディレクトリと Dockerfile を作成します。

```
mkdir pyspark
vi pyspark/Dockerfile
```

PySpark Dockerfile の内容を貼り付け、次のコマンドを実行して Docker イメージを構築します。

```
sudo docker build -t local/pyspark-example pyspark/
```

例の `emr-docker-examples` ECR リポジトリを作成します。

```
aws ecr create-repository --repository-name emr-docker-examples
```

ローカルに構築したイメージにタグを付けて ECR にアップロードし、*`123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com`* を実際の ECR エンドポイントに置き換えます。

```
sudo docker tag local/pyspark-example 123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-
docker-examples:pyspark-example
sudo docker push 123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-
examples:pyspark-example
```

SSH を使用してプライマリノードに接続し、main.py というファイル名で Python スクリプトを準備します。次の内容を main.py ファイルに貼り付け、保存します。

```
from pyspark.sql import SparkSession
spark = SparkSession.builder.appName("docker-numpy").getOrCreate()
sc = spark.sparkContext

import numpy as np
a = np.arange(15).reshape(3, 5)
print(a)
```

Amazon EMR 6.0.0 でジョブを送信するには、Docker イメージの名前を参照します。追加の設定パラメータを定義して、ジョブの実行で必ず Docker がランタイムとして使用されるようにします。Amazon ECR を使用する場合、YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG は Amazon ECR への認証に使用する認証情報が含まれている config.json ファイルを参照する必要があります。

```
DOCKER_IMAGE_NAME=123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-
examples:pyspark-example
DOCKER_CLIENT_CONFIG=hdfs:///user/hadoop/config.json
spark-submit --master yarn \
--deploy-mode cluster \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG=
$DOCKER_CLIENT_CONFIG \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG=
$DOCKER_CLIENT_CONFIG \
--num-executors 2 \
main.py -v
```

Amazon EMR 6.1.0 以降でジョブを送信するには、Docker イメージの名前を参照します。ECR 自動認証が有効になっている場合は、次のコマンドを実行します。

```
DOCKER_IMAGE_NAME=123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-
examples:pyspark-example
spark-submit --master yarn \
--deploy-mode cluster \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--num-executors 2 \
main.py -v
```

ジョブが完了したら、YARN アプリケーション ID を書き留め、次のコマンドを使用して PySpark ジョブの出力を取得します。

```
yarn logs --applicationId application_id | grep -C2 '\[\['
LogLength:55
LogContents:
[[ 0  1  2  3  4]
 [ 5  6  7  8  9]
 [10 11 12 13 14]]
```

Amazon ECR での SparkR の使用

次の例では、SparkR Dockerfile にタグを付けて ECR にアップロードします。Dockerfile をアップロードすると、SparkR ジョブを実行し、Amazon ECR の Docker イメージを参照できます。

クラスターを起動したら、SSH を使用してコアノードに接続し、次のコマンドを実行して SparkR Dockerfile の例からローカル Docker イメージを構築します。

まず、ディレクトリと Dockerfile を作成します。

```
mkdir sparkr
vi sparkr/Dockerfile
```

SparkR Dockerfile の内容を貼り付け、次のコマンドを実行して Docker イメージを構築します。

```
sudo docker build -t local/sparkr-example sparkr/
```

ローカルに構築したイメージにタグを付けて Amazon ECR にアップロードし、*123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com* を実際の Amazon ECR エンドポイントに置き換えます。

```
sudo docker tag local/sparkr-example 123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-examples:sparkr-example
sudo docker push 123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-examples:sparkr-example
```

SSH を使用してプライマリノードに接続し、sparkR.R というファイル名で R スクリプトを準備します。sparkR.R ファイルに次の内容を貼り付けます。

```
library(SparkR)
sparkR.session(appName = "R with Spark example", sparkConfig =
 list(spark.some.config.option = "some-value"))

sqlContext <- sparkRSQL.init(spark.sparkContext)
library(randomForest)
# check release notes of randomForest
rfNews()

sparkR.session.stop()
```

Amazon EMR 6.0.0 でジョブを送信するには、Docker イメージの名前を参照します。追加の設定パラメータを定義して、ジョブの実行で必ず Docker がランタイムとして使用されるようにします。Amazon ECR を使用する場合、YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG は ECR への認証に使用する認証情報が含まれている config.json ファイルを参照する必要があります。

```
DOCKER_IMAGE_NAME=123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-examples:sparkr-example
DOCKER_CLIENT_CONFIG=hdfs:///user/hadoop/config.json
spark-submit --master yarn \
--deploy-mode cluster \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG=
$DOCKER_CLIENT_CONFIG \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_CLIENT_CONFIG=
$DOCKER_CLIENT_CONFIG \
sparkR.R
```

Amazon EMR 6.1.0 以降でジョブを送信するには、Docker イメージの名前を参照します。ECR 自動認証が有効になっている場合は、次のコマンドを実行します。

```
DOCKER_IMAGE_NAME=123456789123.dkr.ecr.us-east-1.amazonaws.com/emr-docker-
examples:sparkr-example
spark-submit --master yarn \
--deploy-mode cluster \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.executorEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_TYPE=docker \
--conf spark.yarn.appMasterEnv.YARN_CONTAINER_RUNTIME_DOCKER_IMAGE=$DOCKER_IMAGE_NAME \
sparkR.R
```

ジョブが完了したら、YARN アプリケーション ID を書き留め、次のコマンドを使用して SparkR ジョブの出力を取得します。次の例では、randomForest ライブラリ、インストールされているバージョン、およびリリースノートが利用可能であることを確認するためのテストを含めています。

```
yarn logs --applicationId application_id | grep -B4 -A10 "Type rfNews"
randomForest 4.6-14
Type rfNews() to see new features/changes/bug fixes.
Wishlist (formerly TODO):

* Implement the new scheme of handling classwt in classification.

* Use more compact storage of proximity matrix.

* Allow case weights by using the weights in sampling?

========================================================================
Changes in 4.6-14:
```

Amazon EMR AWS で Spark で Glue データカタログカタログを使用する

Amazon EMR リリース 5.8.0 以降を使用して、Apache Hive メタストアとして AWS Glue データカタログを使用するように Spark を設定できます。永続的な Hive メタストア、または異なるクラスター、サービス、アプリケーション、または AWS アカウントによって共有される Hive メタストアが必要な場合は、この設定をお勧めします。

Amazon EMR リリース 6.5.0 以降を使用して、Apache Iceberg で AWS Glue データカタログを使用するように Spark を設定できます。

Amazon EMR リリース 7.5.0 以降を使用すると、 Glue データカタログを Iceberg REST カタログとして使用するように AWS Spark を設定できます。

AWS Glue は、完全マネージド型の抽出、変換、ロード (ETL) サービスです。シンプルで費用対効果の高い方法で、データを分類し、クリーンアップし、強化し、さまざまなデータストア間で確実に移動できます。 AWS Glue Data Catalog は、Amazon EMR および Amazon RDS、Amazon Redshift、Redshift Spectrum、Athena、および Apache Hive メタストアと互換性のある任意のアプリケーションと統合して、さまざまなデータソースとデータ形式にわたって統合されたメタデータリポジトリを提供します。 AWS Glue クローラは、Amazon S3 のソースデータからスキーマを自動的に推測し、関連するメタデータをデータカタログに保存できます。データカタログの詳細については、「 Glue デベロッパーガイド AWS 」の「 Glue データカタログの入力」を参照してください。 AWS

Glue AWS には個別の料金が適用されます。Data Catalog にメタデータを保存してアクセスするための月額料金、Glue ETL AWS ジョブとクローラランタイムに対して 1 分あたりの時間料金、プロビジョニングされた開発エンドポイントごとに 1 分あたりの時間料金が請求されます。Data Catalog では、最大 100 万個までのオブジェクトを無料で保存できます。100 万を超えるオブジェクトを保存した場合は、100,000 オブジェクトごとに 1 USD が課金されます。Data Catalog 内のオブジェクトは、テーブル、パーティション、またはデータベースです。詳細については、「Glue 料金表」を参照してください。

> **Important**
>
> 2017 年 8 月 14 日より前に Amazon Athena または Amazon Redshift Spectrum を使用してテーブルを作成した場合、データベースとテーブルは AWS Glue データカタログとは別の Athena 管理カタログに保存されます。Amazon EMR をこれらのテーブルと統合するには、 AWS Glue データカタログにアップグレードする必要があります。詳細については、「Amazon Athena ユーザーガイド」の「 AWS Glue データカタログへのアップグレード」を参照してください。 Amazon Athena

AWS Glue データカタログを Apache Hive メタストアとして指定する

、、または Amazon EMR API を使用して AWS Management Console AWS CLI、 AWS Glue データカタログをメタストアとして指定できます。CLI または API を使用する場合は、Spark の設定

分類を使用してデータカタログを指定します。さらに、Amazon EMR 5.16.0 以降では、設定分類を使用して別の でデータカタログを指定できます AWS アカウント。コンソールを使用する場合は、[Advanced Options] (詳細オプション) または [Quick Options] (クイックオプション) を使用して、Data Catalog を指定できます。

> **Note**
>
> Zeppelin は Spark AWS コンポーネントと共にインストールされるため、 Glue Data Catalog を使用するオプションは Zeppelin でも使用できます。

Console

新しいコンソールで AWS Glue データカタログを Apache Hive メタストアとして指定するには

1. にサインインし AWS Management Console、https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションペインの [Amazon EMR on EC2] で、[クラスター] を選択し、[クラスターの作成] を選択します
3. [アプリケーションバンドル] で [Spark] または [カスタム] を選択します。クラスターをカスタマイズする場合は、必ず Zeppelin または Spark をアプリケーションの 1 つとして選択します。
4. [AWS Glue Data Catalog 設定] で [Spark テーブルメタデータに使用] チェックボックスをオンにします。
5. クラスターに適用するその他のオプションを選択します。
6. クラスターを起動するには、[クラスターの作成] を選択します。

AWS CLI

を使用して AWS Glue データカタログを Apache Hive メタストアとして指定するには AWS CLI

AWS CLI と Amazon EMR API を使用して設定分類を指定する方法の詳細については、「」を参照してくださいアプリケーションの設定。

- 次の例に示すように、`spark-hive-site` 分類を使用して `hive.metastore.client.factory.class` の値を指定します。

```
[
```

```
  {
    "Classification": "spark-hive-site",
    "Properties": {
      "hive.metastore.client.factory.class":
 "com.amazonaws.glue.catalog.metastore.AWSGlueDataCatalogHiveClientFactory"
    }
  }
]
```

別の AWS アカウントでデータカタログを指定するには、次の例に示すように hive.metastore.glue.catalogidプロパティを追加します。*acct-id* は、データカタログの AWS アカウントに置き換えます。

```
[
  {
    "Classification": "spark-hive-site",
    "Properties": {
      "hive.metastore.client.factory.class":
 "com.amazonaws.glue.catalog.metastore.AWSGlueDataCatalogHiveClientFactory",
      "hive.metastore.glue.catalogid": "acct-id"
    }
  }
]
```

Apache Iceberg カタログとしての AWS Glue データカタログの指定

AWS Glue データカタログは、、、Amazon EMR API、または Spark セッションランタイム設定を使用して、Apache Iceberg カタログ実装 AWS Management Console AWS CLI、または Apache Iceberg REST カタログエンドポイントとして指定できます。CLI または API を使用する場合は、Spark の設定分類を使用してデータカタログを指定します。詳細については、「Apache Iceberg カタログとしての AWS Glue データカタログの指定」を参照してください。

IAM 許可

クラスターの EC2 インスタンスプロファイルには、 Glue アクションの AWS IAM アクセス許可が必要です。さらに、 Glue Data Catalog オブジェクト AWS の暗号化を有効にする場合は、暗号化 AWS KMS key に使用される の暗号化、復号、生成もロールに許可する必要があります。

Glue AWS アクションのアクセス許可

Amazon EMR の デフォルトの EC2 インスタンスプロファイルを使用する場合、アクションは必要ありません。にアタッチされている AmazonElasticMapReduceforEC2Roleマネージドポリシーは、必要なすべての Glue AWS アクションEMR_EC2_DefaultRoleを許可します。ただし、カスタム EC2 インスタンスプロファイルとアクセス許可を指定する場合は、適切な AWS Glue アクションを設定する必要があります。開始点として AmazonElasticMapReduceforEC2Role 管理ポリシーを使用します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[クラスター EC2 インスタンスのサービスロール (EC2 インスタンスプロファイル)](#)」を参照してください。

Glue データカタログ AWS を暗号化および復号するためのアクセス許可

インスタンスプロファイルには、キーを使用してデータを暗号化および復号するためのアクセス許可が必要です。以下のステートメントが両方とも適用される場合、これらのアクセス許可を設定する必要はありません。

- Glue AWS のマネージドキーを使用して、 AWS Glue Data Catalog オブジェクトの暗号化を有効にします。
- AWS Glue データカタログ AWS アカウント と同じ にあるクラスターを使用します。

それ以外の場合は、EC2 インスタンスプロファイルにアタッチされたアクセス許可ポリシーに次のステートメントを追加する必要があります。

```
[
    {
        "Version": "2012-10-17",
        "Statement": [
            {
                "Effect": "Allow",
                "Action": [
                    "kms:Decrypt",
                    "kms:Encrypt",
                    "kms:GenerateDataKey"
                ],
                "Resource": "arn:aws:kms:region:acct-
id:key/12345678-1234-1234-1234-123456789012"
            }
        ]
    }
]
```

Glue データカタログ AWS の暗号化の詳細については、AWS 「 Glue デベロッパーガイド」の「データカタログの暗号化」を参照してください。

リソースベースのアクセス許可

Amazon EMR で AWS Glue を Hive、Spark、または Presto と組み合わせて使用する場合、 AWS Glue は Data Catalog リソースへのアクセスを制御するためのリソースベースのポリシーをサポートします。これらのリソースには、データベース、テーブル、接続、ユーザー定義関数が含まれます。詳細については、「AWS Glue デベロッパーガイド」の「AWS Glue リソースポリシー」を参照してください。

リソースベースのポリシーを使用して Amazon EMR 内から AWS Glue へのアクセスを制限する場合、アクセス許可ポリシーで指定するプリンシパルは、クラスターの作成時に指定する EC2 インスタンスプロファイルに関連付けられたロール ARN である必要があります。例えば、カタログにアタッチされたリソースベースのポリシーの場合、以下の例に示されている形式を使用して、クラスター EC2 インスタンスのデフォルトサービスロールのロール ARN である *EMR_EC2_DefaultRole* を `Principal` として指定できます。

```
arn:aws:iam::acct-id:role/EMR_EC2_DefaultRole
```

acct-id は Glue アカウント ID AWS とは異なる場合があります。これにより、さまざまなアカウントで EMR クラスターからアクセスできます。異なるアカウントから、複数のプリンシパルを指定できます。

AWS Glue Data Catalog を使用する場合の考慮事項

Spark AWS で Glue データカタログを Apache Hive メタストアとして使用する場合は、次の項目を考慮してください。

- 場所の URI が指定されていないデフォルトデータベースを使用すると、テーブルの作成時に障害が発生します。回避策として、`LOCATION` の使用時に `s3://amzn-s3-demo-bucket1` 句を使用して `CREATE TABLE` などのバケットの場所を指定します。または、デフォルトデータベース以外のデータベース内にテーブルを作成します。
- Glue AWS 内からのテーブルの名前変更はサポートされていません。
- `LOCATION` を指定せずに Hive テーブルを作成すると、テーブルデータは、`hive.metastore.warehouse.dir` プロパティによって指定された場所に保管されます。デフォルトでは、これは HDFS 内の場所です。別のクラスターがテーブルにアクセスする必要が

ある場合、テーブルを作成したクラスターに対する適切なアクセス許可がない限り、処理に失敗します。さらに、HDFS ストレージは一時的であるため、クラスターが終了すると、テーブルデータは失われ、テーブルを再作成する必要があります。Glue を使用して Hive テーブルを作成するときは、Amazon S3 AWS `LOCATION`で を指定することをお勧めします。または、`hive-site` 設定分類を使用して、`hive.metastore.warehouse.dir` の Amazon S3 で場所を指定できます。これは、すべての Hive テーブルに適用されます。テーブルが HDFS ロケーションで作成され、テーブルを作成したクラスターがまだ実行されている場合は、 Glue 内からテーブルロケーションを Amazon S3 AWS に更新できます。詳細については、「 AWS Glue デベロッパーガイド」の「 Glue コンソールでのテーブルの操作」を参照してください。 AWS

- 引用符とアポストロフィを含むパーティション値はサポートされていません(例: `PARTITION (owner="Doe's").`)。
- 列統計は、emr-5.31.0 以降でサポートされています。
- Hive 認可の使用はサポートされていません。代替策として、AWS Glue リソースベースのポリシーを使用することを検討してください。詳細については、「Use Resource-Based Policies for Amazon EMR Access to AWS Glue Data Catalog」を参照してください。

Spark AWS で Apache Iceberg REST Catalog として Glue データカタログを使用する場合は、次の点を考慮してください。

- で説明されている Iceberg で Spark セッションカタログを使用する場合はIceberg SparkCatalog と SparkSessionCatalog を使用する場合の設定の違い、Apache Iceberg REST カタログとして AWS Glue データカタログを設定するだけでなく、Apache Hive メタストアとして AWS Glue データカタログを設定する必要があります。
- AWS Glue データカタログ IRC エンドポイントは、Amazon SigV4 認証スキームのみをサポートします。OAuth はサポートされていません。OAuth ユーザーの場合は、IAM Identity Center を使用してアクセスを設定してください。「Connecting Lake Formation with IAM Identity Center」を参照してください。
- AWS Glue Iceberg REST カタログは、オープンソースのすべてのオペレーションをサポートしているわけではありません。

Amazon EMR で Spark を使用して AWS Glue Data Catalog でマルチカタログ階層を操作する

Amazon EMR クラスターを登録して AWS Glue データカタログにアクセスできます。これにより、テーブルやその他のカタログリソースをさまざまなコンシューマーが利用できるようになります。

AWS Glue データカタログは、Amazon S3 データレイク間でデータを統一するマルチカタログ階層をサポートしています。また、データにアクセスするための Hive メタストア API とオープンソースの Apache Iceberg REST API の両方を提供します。これらの機能は、Amazon EMR および Amazon Athena や Amazon Redshift などの他のサービスで使用できます。

カタログリソースの整理方法

AWS Glue データカタログでリソースを作成すると、Apache Iceberg REST API または Hive メタストアをサポートする任意の SQL エンジンからリソースにアクセスできます。 AWS Lake Formation はアクセス許可を管理します。

AWS Glue Data Catalog では、データはカタログ、データベース、テーブルの論理階層に整理されます。

- カタログ – スキーマやテーブルなど、データストアからオブジェクトを保持する論理コンテナ。
- Redshift マネージドストレージ (RMS) テーブルを保存するカタログ – RMS テーブルを保存するカタログを管理する場合、Iceberg を使用してこれらのテーブルにアクセスできます。
- データベース – カタログ内のテーブルやビューなどのデータオブジェクトを整理します。
- テーブルとビュー – わかりやすいスキーマを持つ抽象化レイヤーを提供するデータベース内のデータオブジェクト。基盤となるデータにアクセスするためのレイヤーを提供します。これは、さまざまな形式や場所にある可能性があります。

Amazon EMR で使用するデータカタログの設定

開始するには、Amazon EMR ツールをサポートするようにカタログを設定します。 AWS Glue データカタログは、Hive メタストア互換性と Iceberg REST 互換 APIs。

Hive メタストアを使用した Amazon EMR の設定

これを設定する方法については、「 AWS Glue ユーザーガイド」の「Spark ジョブの Glue データカタログのサポート」を参照してください。 AWS このトピックでは、 Glue データカタログ AWS を Hive メタストアとして設定し、エンドポイントとして利用できるようにする方法について説明します。さらに、Spark AWS の Apache Hive メタストアとして Glue データカタログを使用するで、Spark メタストアとして AWS Glue データカタログを指定する方法を示す Amazon EMR ドキュメントも用意されています。

Glue Data Catalog AWS のリソースにアクセスするためのアクセス許可

このセクションでは、カタログデータで Amazon EMR ツールを使用するための IAM ポリシー要件について説明します。クラスターを AWS Glue データカタログに登録した後、後で作成されたデータカタログの作成と変更を検出するには、次のアクセス許可が必要です。

- glue:GetCatalog
- glue:GetCatalogs
- sts:AssumeRole
- sts:TagSession
- sts:SetContext
- sts:SetSourceIdentity

ほとんどの場合、アクセス許可を割り当てるときは、IAM ロールを作成してアクセス許可を割り当てることをお勧めします。

さらに、カタログデータをクエリするには、 を使用してデータカタログのアクセス許可を設定する必要があります AWS Lake Formation。でデータカタログのアクセス許可を設定する方法の詳細については AWS Lake Formation、「Data Catalog リソースに対するアクセス許可の付与と取り消し」を参照してください。

クラスターを作成および設定し、カタログオブジェクトに対するアクセス許可を設定したら、データをクエリおよび処理するためのジョブを送信できます。

Glue Data Catalog でマルチカタログ階層にアクセスするように Spark AWS を設定する

EMR 7.5 では、 Glue のマルチカタログ階層を使用するように Spark AWS を設定できます。マルチカタログ階層を使用すると、次のことが可能になります。

- テーブル、ビュー、マテリアライズドビューなどの Redshift Managed Storage (RMS) データを既存の Amazon Redshift データウエアハウスから AWS Glue Data Catalog に取り込みます。EC2 および EMR Serverless の EMR を使用して、これらのオブジェクトをクエリできます。
- RMS カタログを作成し、データカタログを AWS グルーして、ZeroETL を使用して RMS にデータを保存し、Iceberg 互換クエリエンジンでデータをクエリします。
- 圧縮、スナップショット、保持を含むフル機能のストレージ管理を使用して、 Glue Data Catalog AWS にマネージド Iceberg テーブルを作成します。

Spark セッションを初期化するときにマルチカタログに接続する

次の例は、インタラクティブな Spark シェル、Spark 送信、または Amazon EMR ノートブックを使用して AWS Glue のマルチカタログ階層を操作する方法を示しています。

spark-shell

1. SSH を使用してマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。
2. 以下のコマンドを入力して、Spark シェルを起動します。PySpark シェルを使用するには、`spark-shell` を `pyspark` に置き換えます。

```
spark-shell \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket/prefix/
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
    --conf spark.sql.catalog.my_catalog.glue.id=Glue RMS catalog ID \
    --conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
    --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

spark-submit

1. SSH を使用してマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。
2. 次のコマンドを入力して、Spark の Spark セッションを起動します。

```
spark-submit \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse=s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.type=glue \
--conf spark.sql.catalog.my_catalog.glue.id=Glue RMS catalog ID \
--conf spark.sql.defaultCatalog=my_catalog \
--conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

EMR Studio notebooks

EMR Studio ノートブックを使用して Spark セッションを初期化するには、次の例のように、Amazon EMR Notebooks で `%%configure` マジックコマンドを使用して Spark セッションを設定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[EMR Notebooks マジックを使用する](#)」を参照してください。

```
%%configure -f{
"conf":{
    "spark.sql.catalog.my_catalog":"org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog",
    "spark.sql.catalog.my_catalog.type":"glue",
    "spark.sql.catalog.my_catalog.glue.id":"Glue RMS catalog ID",
    "spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse":"s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix/",
    "spark.sql.defaultCatalog", "my_catalog",

 "spark.sql.extensions":"org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions"
    }
}
```

CLI

CLI を使用して Spark セッションを初期化するには、次のサンプルを実行します。 AWS CLI と Amazon EMR API を使用して設定分類を指定する方法の詳細については、[「アプリケーションの設定」](#)を参照してください。

```
[
  {
    "Classification": "spark-defaults",
    "Properties": {
      "spark.sql.catalog.my_catalog":"org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog",
      "spark.sql.catalog.my_catalog.type":"glue",
      "spark.sql.catalog.my_catalog.glue.id":"Glue RMS catalog ID",
      "spark.sql.catalog.my_catalog.warehouse":"s3://amzn-s3-demo-bucket1/prefix/",
      "spark.sql.defaultCatalog", "my_catalog",

 "spark.sql.extensions":"org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions"
    }
  }
]
```

Glue データカタログを使用して Redshift マネージドストレージへの Spark AWS セッションを初期化する

次のサンプルコマンドは、 Glue データカタログを使用して Spark AWS セッションを初期化します。

```
spark-sql \
  --conf spark.sql.catalog.rms=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
  --conf spark.sql.catalog.rms.type=glue \
  --conf spark.sql.catalog.rms.glue.id=Glue RMS catalog ID \
  --conf spark.sql.defaultCatalog=rms
  --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

次の例では、Iceberg REST API と Redshift Managed Storage with Glue Data Catalog を使用して Spark セッション AWS を初期化します。

```
spark-sql \
  --conf spark.sql.catalog.rms=org.apache.iceberg.spark.SparkCatalog \
  --conf spark.sql.catalog.rms.type=rest \
  --conf spark.sql.catalog.rms.warehouse=glue RMS catalog ID \
  --conf spark.sql.catalog.rms.uri=Glue endpoint URI/iceberg \
  --conf spark.sql.catalog.rms.rest.sigv4-enabled=true \
  --conf spark.sql.catalog.rms.rest.signing-name=glue \
  --conf spark.sql.defaultCatalog=rms \
  --conf
 spark.sql.extensions=org.apache.iceberg.spark.extensions.IcebergSparkSessionExtensions
```

Spark Iceberg で AWS Glue マルチカタログ階層を使用する方法の詳細については、「Spark で Iceberg クラスターを使用する」を参照してください。

マルチカタログ設定に関する考慮事項と制限事項

- Apache Hive メタストアでのマルチカタログ階層の使用はサポートされていません。
- Apache Iceberg でマルチカタログ階層を使用すると、 を使用する場合、Apache Hive メタストアへのフォールバックをサポートできません`SparkSessionCatalog`。
- ランタイムロールを持つ EC2 クラスターの EMR は、マルチカタログ階層をサポートしていません。
- が有効になっている EC2 クラスターの EMR は、マルチカタログ階層をサポート AWS Lake Formation していません。

Spark の設定

設定分類を使用して、Amazon EMR 上の Spark を設定できます。設定分類の詳細については「アプリケーションの設定」を参照してください。

Amazon EMR の Spark の設定分類には次が含まれます。

- **spark** - `maximizeResourceAllocation` プロパティを true または false に設定します。true の場合、Amazon EMR はクラスターハードウェア設定に基づいて、自動的に `spark-defaults` プロパティを設定します。詳細については、「`maximizeResourceAllocation` を使用する」を参照してください。
- **spark-defaults** - `spark-defaults.conf` ファイルに値を設定します。詳細については、Spark ドキュメントの「Spark Configuration」を参照してください。
- **spark-env** - `spark-env.sh` ファイルに値を設定します。詳細については、Spark ドキュメントの「Environment Variables」を参照してください。
- **spark-hive-site** - Spark の `hive-site.xml` に値を設定します。
- **spark-log4j** — (Amazon EMR リリース 6.7.x 以前) `log4j.properties` ファイルに値を設定します。詳細については Github の log4j.properties.template ファイルをご覧ください。
- **spark-log4j2** — (Amazon EMR リリース 6.8.0 以降) `log4j2.properties` ファイルに値を設定します。詳細については、Github の log4j2.properties.template ファイルをご覧ください。
- **spark-metrics** - `metrics.properties` ファイルに値を設定します。設定と詳細については Github の metrics.properties.template ファイルと Spark ドキュメントの Metrics をご覧ください。

> **Note**
>
> Spark ワークロードを別のプラットフォームから Amazon EMR に移行する場合、カスタム設定を追加する前に、Amazon EMR で設定される Spark のデフォルト でワークロードをテストすることをお勧めします。ほとんどのお客様は、デフォルト設定でパフォーマンスが向上されます。

トピック

- Amazon EMR で設定される Spark のデフォルト
- Amazon EMR 6.1.0 での Spark ガベージコレクションの設定

- maximizeResourceAllocation を使用する
- ノード停止の動作設定
- Spark の ThriftServer 環境変数
- Spark のデフォルト設定の変更
- Apache Log4j 1.x から Log4j 2.x への移行

Amazon EMR で設定される Spark のデフォルト

次の表はアプリケーションに影響する `spark-defaults` で Amazon EMR がどのようにデフォルト値を設定するか示しています。

Amazon EMR で設定される Spark のデフォルト

設定	説明	デフォルト値
`spark.executor.memory`	エグゼキュタープロセスごとに使用するメモリ量。例: 1g、2g。	この設定は、クラスター内のコアインスタンスタイプとタスクインスタンスタイプによって決まります。
`spark.executor.cores`	各エグゼキューターに使用するコアの数。	この設定は、クラスター内のコアインスタンスタイプとタスクインスタンスタイプによって決まります。
`spark.dynamicAllocation.enabled`	true の場合、動的なリソース割り当てを使用して、ワークロードによって、アプリケーションで登録するエグゼキューターの数を調整します。	`true` (Amazon EMR 4.4.0 以降を使用) **Note** Spark Shuffle Service は Amazon EMR によって自動的に設定されます。
`spark.sql.hive.advancedPartitionPred`	true の場合、Hive メタストアへの高度なパーティション述	`true`

設定	説明	デフォルト値
icatePushdown.enabled	語プッシュダウンが有効になります。	
spark.sql.hive.stringLikePartitionPredicatePushdown.enabled	startsWith 、contains、および endsWith フィルターを Hive メタストアにプッシュダウンします。 Note Glue は startsWith 、contains、または endsWith の述語プッシュダウンをサポートしていません。Glue メタストアを使用していて、これらの関数の述語プッシュダウンが原因でエラーが発生した場合は、この設定を false にしてください。	true

Amazon EMR 6.1.0 での Spark ガベージコレクションの設定

spark.driver.extraJavaOptions と spark.executor.extraJavaOptions を使用してカスタムガーベッジコレクション構成を設定すると、Amazon EMR 6.1.0 とガーベッジコレクション設定で競合が生じるため、Amazon EMR 6.1 でのドライバーまたはエグゼキューター起動が失敗します。Amazon EMR 6.1.0 の場合、デフォルトのガベージコレクション設定は spark.driver.defaultJavaOptions および spark.executor.defaultJavaOptions を介して設定されます。この設定は、Amazon EMR 6.1.0 にのみ適用されます。ガーベッジコレクションに関連しない JVM オプション (ロギングの設定用のオプションなど (-verbose:class))

は、extraJavaOptions で設定できます。詳細については、「[Spark application properties](#)」を参照してください。

maximizeResourceAllocation を使用する

クラスター内の各ノードでリソースを最大限に使用できるようにエグゼキューターを設定するには、spark 設定分類で maximizeResourceAllocation を true に設定します。maximizeResourceAllocation は Amazon EMR に固有のものです。maximizeResourceAllocation を有効にすると、Amazon EMR はコアインスタンスグループのインスタンスのエグゼキューターで利用可能な最大のコンピューティングとメモリリソースを計算します。次に、計算された最大値に基づいて対応する spark-defaults 設定を設定します。

Amazon EMR はコアインスタンスフリートのインスタンスタイプに基づくエグゼキューターで利用可能な最大のコンピューティングとメモリリソースを計算します。各インスタンスフリートは、フリート内で異なるインスタンスタイプとサイズを持つことができるので、Amazon EMR が使用するエグゼキューター設定はクラスターにとって最適ではない可能性があるため、最大リソース割り当てを使用するときはデフォルト設定を使用することはお勧めしません。インスタンスフリートクラスターのカスタム設定を設定します。

> **Note**
>
> HBase などの他の分散アプリケーションでは、クラスターで maximizeResourceAllocation オプションを使用しないでください。Amazon EMR は分散アプリケーションにカスタム YARN 設定を使用するため、maximizeResourceAllocation と競合し、Spark アプリケーションが失敗する可能性があります。

以下に、maximizeResourceAllocation が true に設定された Spark 設定分類の例を示します。

```
[
  {
    "Classification": "spark",
    "Properties": {
      "maximizeResourceAllocation": "true"
    }
  }
]
```

設定は **spark-defaults** で設定されます (**maximizeResourceAllocation** が有効になっている場合)

設定	説明	値
spark.default.parallelism	ユーザーによって設定されていない場合に join、reduceByKey、parallelize などの変換によって返される、RDD のデフォルトパーティション数。	YARN コンテナで使用可能な CPU コアの数 (2 の倍数)。
spark.driver.memory	ドライバープロセス (SparkContext が初期化されている場合) に使用するメモリの量 (例: 1g、2g)	設定は、クラスター内のスレーブインスタンスタイプに基づいて定義されます。ただし、Spark ドライバーアプリケーションは、プライマリインスタンスまたはいずれかのコアインスタンスで (例えば、YARN クライアントモードとクラスターモードのそれぞれで) 実行されるため、この設定は、これらの 2 つのインスタンスグループ間で、小さい方のインスタンスタイプに基づいて定義されます。
spark.executor.memory	エグゼキューターのプロセスごとに使用するメモリの量 (例: 1g、2g)	設定は、クラスター内のコアおよびタスクインスタンスタイプに基づいて行われます。
spark.executor.cores	各エグゼキューターに使用するコアの数。	設定は、クラスター内のコアおよびタスクインスタンスタイプに基づいて行われます。
spark.executor.instances	エグゼキューターの数。	設定は、クラスター内のコアおよびタスクインスタンスタイプに基づいて行われ

設定	説明	値
		ます。同時に spark.dynamicAllocation.enabled が明示的に true に設定されていない限り設定されます。

ノード停止の動作設定

Amazon EMR リリース 5.9.0 以降では、Amazon EMR の Spark には、手動によるサイズ変更または自動スケーリングポリシーの要求によるノードの終了を Spark が適切に処理できるようにする機能のセットが含まれています。Amazon EMR では Spark に拒否リストメカニズムを実装しています。これは YARN の停止メカニズムに基づいて構築されています。このメカニズムにより、停止中のノードで新しいタスクがスケジュールされないようにし、同時に、既に実行中のタスクを完了するようにします。さらに、ノードの終了時にシャッフルブロックが失われた場合に、Spark のジョブを迅速に回復するための機能があります。再計算プロセスはすぐに実行され、より少ないステージの再試行でより迅速に再計算を行うように最適化されます。シャッフルブロックが見つからないことにより発生するフェッチのエラーによるジョブの失敗を避けることができます。

> **Important**
>
> Amazon EMR リリース 5.11.0 に `spark.decommissioning.timeout.threshold` 設定が追加され、スポットインスタンスを使用する場合の Spark の耐障害性が向上しました。これまでのリリースでは、ノードがスポットインスタンスを使用していて、インスタンスが入札価格のために終了した場合、Spark は終了を適切に処理できない場合があります。ジョブが失敗する場合があり、シャッフルの再計算に長い時間がかかる場合があります。このため、スポットインスタンスを使用する場合は、リリース 5.11.0 以降を使用することをお勧めします。

Spark のノード停止の設定

設定	説明	デフォルト値
spark.blacklist.decommissioning.enabled	true に設定すると、Spark は、YARN で decommissioning 状態にあるノードの拒否リストを作成します。Spark はそのノードで実行されるエグゼキューターに新しいタスクをスケジュールしません。既に実行中のタスクは完了することができます。	true
spark.blacklist.decommissioning.timeout	decommissioning 状態にあるノードが拒否リストに載せられる時間。デフォルトではこの値は 1 時間に設定されています。これは yarn.resourcemanager.decommissioning.timeout のデフォルトと同じです。ノードが停止期間全体にわたって拒否リストに載せられるようにするには、この値を yarn.resourcemanager.decommissioning.timeout 以上に設定します。停止のタイムアウトの期限が切れた後、ノードは decommissioned 状態に移行し、Amazon EMR はノードの EC2 インスタンスを終了することができます。タイムアウトの期限が切れた後も実行しているタスクがある場合、それらのタスクは失われ	1h

設定	説明	デフォルト値
	るか、または強制終了され、他のノードで実行されているエグゼキューターで再スケジュールされます。	
`spark.decommissioning.timeout.threshold`	Amazon EMR リリース 5.11.0 以降で使用できます。指定は秒単位です。ノードが停止状態に移行する際、ホストがこの値以下の使用停止時間内に停止される場合、Amazon EMR はノードを拒否リストに追加するだけではなく、ノードが停止状態に移行するのを待たずに、ホストの状態を (`spark.resourceManager.cleanupExpiredHost` の指定に従って) クリーンアップします。これにより、スポットインスタンスが `yarn.resourcemager.decommissioning.timeout` の値にかかわらず 20 秒以内にタイムアウトするため、Spark がスポットインスタンスの終了をより良く処理できます。ただし、他のノードがシャッフルファイルを読み取るための時間が足りない場合があります。	`20s`

設定	説明	デフォルト値
spark.resourceManager.cleanupExpiredHost	true に設定すると、Spark は、decommissioned 状態にあるノードのエグゼキューターに保存されているすべてのキャッシュデータとシャッフルブロックの登録を解除します。これにより、復旧プロセスが高速化されます。	true
spark.stage.attempt.ignoreOnDecommissionFetchFailure	true に設定すると、Spark でのステージの失敗と、停止ノードでの多数のフェッチの失敗によるジョブの失敗を回避できます。decommissioned 状態にあるノードのシャッフルブロックのフェッチの失敗は、連続するフェッチのエラーの最大数にカウントされません。	true

Spark の ThriftServer 環境変数

Spark では、Hive Thrift Server Port 環境変数である HIVE_SERVER2_THRIFT_PORT が 10001 に設定されます。

Spark のデフォルト設定の変更

spark-defaults 設定分類を使用して、spark-defaults.conf 内のデフォルトを変更するか、spark 設定分類の maximizeResourceAllocation 設定を使用します。

次の手順では、CLI またはコンソールを使用して設定を変更する方法を示します。

CLI を使用して、spark.executor.memory が 2g に設定されたクラスターを作成する

- Amazon S3 に格納されている `myConfig.json` ファイルを参照する次のコマンドを使用して、Spark がインストールされ、`spark.executor.memory` が 2g に設定されたクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Spark \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 2 --service-role EMR_DefaultRole_V2
 --ec2-attributes InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole --configurations https://
s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`myConfig.json`:

```
[
    {
      "Classification": "spark-defaults",
      "Properties": {
        "spark.executor.memory": "2G"
      }
    }
  ]
```

コンソールを使用して、spark.executor.memory が 2g に設定されたクラスターを作成する

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [Spark] を選択します。

4. [Edit software settings] (ソフトウェア設定の編集) で、[Enter configuration] (設定の入力) を選択したままにしておき、次の設定を入力します。

```
classification=spark-defaults,properties=[spark.executor.memory=2G]
```

5. 他のオプションを選択し、 を選択して、[Create cluster] (クラスターの作成) を選択します。

maximizeResourceAllocation を設定するには

- Spark がインストールされ、Amazon S3 `myConfig.json`に保存されているファイル を参照して AWS CLI、 を使用して true に`maximizeResourceAllocation`設定されたクラスターを作成します。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 --applications Name=Spark \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 2 --service-role EMR_DefaultRole_V2
 --ec2-attributes InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole --configurations https://
s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json
```

> Note
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

`myConfig.json`:

```
[
  {
    "Classification": "spark",
    "Properties": {
      "maximizeResourceAllocation": "true"
    }
  }
]
```

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface （ AWS CLI ）、または AWS SDK を使用します。詳細については、「[実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する](#)」を参照してください。

Apache Log4j 1.x から Log4j 2.x への移行

[Apache Spark](#) リリース 3.2.x 以前のリリースでは、レガシー Apache Log4j 1.x とその `log4j.properties` ファイルを使用して Spark プロセスで Log4j を設定します。Apache Spark リリース 3.3.0 以降のリリースでは、Apache Log4j 2.x とその `log4j2.properties` ファイルを使用して Spark プロセスで Log4j を設定します。

6.8.0 より前の Amazon EMR リリースを使用して Apache Spark Log4j を設定した場合、Amazon EMR 6.8.0 以降にアップグレードする前に、従来の `spark-log4j` 設定分類を削除し、`spark-log4j2` 設定分類とキー形式に移行する必要があります。Amazon EMR リリース 6.8.0 以降では、従来の `spark-log4j` 分類によりクラスターの作成が `ValidationException` エラーで失敗します。Log4j の非互換性に関連する障害については課金されませんが、続行するには無効になっている `spark-log4j` 設定分類を削除する必要があります。

Apache Log4j 1.x から Log4j 2.x への移行に関する詳細は、Github の「[Apache Log4j Migration Guide](#)」と「[Spark Log4j 2 Template](#)」を参照してください。

> **Note**
>
> Amazon EMR では、Apache Spark は「[Apache Log4j Migration Guide](#)」で説明されている.xml ファイルではなく `log4j2.properties` ファイルを使用します。また、Log4j 1.x ブリッジメソッドを使用して Log4j 2.x に変換することはお勧めしません。

Spark パフォーマンスの最適化

Amazon EMR では、Spark 向けに複数のパフォーマンス最適化機能が用意されています。このトピックでは、それぞれの最適化機能について詳しく説明します。

Spark の設定方法に関する詳細については、「Spark の設定」を参照してください。

アダプティブクエリ実行

アダプティブクエリ実行は、ランタイム統計に基づいてクエリプランを再最適化するためのフレームワークです。Amazon EMR 5.30.0 以降、Apache Spark 3 からの次のアダプティブクエリ実行最適化が Spark 2 の Apache Amazon EMR ランタイムで利用できます。

- アダプティブ結合変換
- シャッフルパーティションのアダプティブ結合

アダプティブ結合変換

アダプティブ結合変換は、クエリステージのランタイムサイズに基づいて、sort-merge-join オペレーションを broadcast-hash-joins オペレーションに変換することで、クエリのパフォーマンスを向上させます。Broadcast-hash-joins は、結合の片側がすべてのエグゼキューターに出力を効率的にブロードキャストするのに十分な程度小さい場合、交換をシャッフルして結合の両側をソートする必要がなくなるため、パフォーマンスがより高くなる傾向があります。アダプティブ結合変換では、Spark が broadcast-hash-joins を自動的に実行するときのケースの範囲が広がります。

この機能は、デフォルトでご利用になれます。これは、`spark.sql.adaptive.enabled` を `false` に設定することで無効にできます。これにより、アダプティブクエリ実行フレームワークも無効になります。Spark は、結合側のいずれかのランタイムサイズ統計が `spark.sql.autoBroadcastJoinThreshold` を超えない場合 (デフォルトで 10,485,760 バイト (10 MiB))、sort-merge-join を broadcast-hash-join に変換するように決定します。

シャッフルパーティションのアダプティブ結合

シャッフルパーティションのアダプティブ結合により、小さな連続するシャッフルパーティションが結合され、小さなタスクが多すぎることによるオーバーヘッドを回避することで、クエリのパフォーマンスが向上します。これにより、事前に初期シャッフルパーティションの数をより高く設定することができ、ランタイムでターゲットサイズまで削減されるため、シャッフルパーティションがより均等に分散される可能性が高まります。

この機能は、`spark.sql.shuffle.partitions` が明示的に設定されていない限り、デフォルトで有効になっています。これは、`spark.sql.adaptive.coalescePartitions.enabled` を `true` に設定することで有効にできます。シャッフルパーティションの初期数とターゲットパーティションのサイズは、それぞれ

spark.sql.adaptive.coalescePartitions.minPartitionNum プロパティと spark.sql.adaptive.advisoryPartitionSizeInBytes プロパティを使用して調整できます。この機能に関連する Spark プロパティの詳細については、以下の表を参照してください。

Spark アダプティブ結合パーティションのプロパティ

プロパティ	デフォルト値	説明
spark.sql.adaptive.coalescePartitions.enabled	spark.sql.shuffle.partitions が明示的に設定されている場合を除き、true	true であり、かつ、spark.sql.adaptive.enabled が true の場合、Spark はターゲットサイズ (spark.sql.adaptive.advisoryPartitionSizeInBytes によって指定) に従って、連続するシャッフルパーティションを結合し、小さいタスクが多くなり過ぎないようにします。
spark.sql.adaptive.advisoryPartitionSizeInBytes	64MB	結合時のシャッフルパーティションのアドバイザリサイズ (バイト単位)。この設定は、spark.sql.adaptive.enabled と spark.sql.adaptive.coalescePartitions.enabled が両方とも true の場合にのみ効果があります。
spark.sql.adaptive.coalescePartitions.minPartitionNum	25	結合後のシャッフルパーティションの最小数。この設定は、spark.sql.adaptive.enabled と spark.sql.adaptive.coalescePartitions.enabled が両方とも true の場合にのみ効果があります。

プロパティ	デフォルト値	説明
`spark.sql.adaptive.coalescePartitions.initialPartitionNum`	1,000	結合前のシャッフルパーティションの初期数。この設定は、`spark.sql.adaptive.enabled` と `spark.sql.adaptive.coalescePartitions.enabled` が両方とも `true` の場合にのみ効果があります。

ダイナミックパーティションプルーニング

ダイナミックパーティションプルーニングでは、特定のパーティションを特定のクエリを読み取って処理するテーブル内でより正確に選択し、ジョブパフォーマンスを改善します。読み取って処理するデータ量を減らすと、ジョブの実行において大幅な時間の節約になります。Amazon EMR 5.26.0 では、この機能はデフォルトで有効になっています。Amazon EMR 5.24.0 および 5.25.0 では、Spark 内から Spark プロパティ `spark.sql.dynamicPartitionPruning.enabled` を設定して有効にできます。また、クラスターの作成時に有効にすることもできます。

Spark ダイナミックパーティションプルーニングのパーティションのプロパティ

プロパティ	デフォルト値	説明
`spark.sql.dynamicPartitionPruning.enabled`	`true`	true の場合、ダイナミックパーティションプルーニングが有効になります。
`spark.sql.optimizer.dynamicPartitionPruning.enforceBroadcastReuse`	`true`	`true` の場合、Spark はクエリの実行前に防御チェックを行い、ダイナミックプルーニングフィルターでのブロードキャスト交換の再利用が、ユーザー定義の列指向ルールなどの後続の準備ルールによって破損していないことを確認します。再利用が

プロパティ	デフォルト値	説明
		壊れていて、この config が `true` の場合、Spark は影響を受けるダイナミックプルーニングフィルターを除去し、パフォーマンスと正確性に関する問題から保護します。ダイナミックプルーニングフィルターのブロードキャスト交換によって、対応する結合オペレーションのブロードキャスト交換とは異なる、整合しない結果が生じると、正確性に関する問題が発生します。この構成ではユーザー定義の列指向ルールによって再利用が破損している場合などのシナリオを回避できるため、これを `false` に設定する場合は慎重に行ってください。アダプティブクエリ実行が有効になっている場合、ブロードキャストの再利用は常に適用されます。

この最適化は、予定時間に解決される固定述語のプッシュダウンにのみ対応している Spark 2.4.2 の既存の機能を改良するものです。

Spark 2.4.2 での固定述語のプッシュダウンの例を以下に示します。

```
partition_col = 5

partition_col IN (1,3,5)

partition_col between 1 and 3
```

```
partition_col = 1 + 3
```

ダイナミックパーティションプルーニングにより、Spark エンジンでランタイムに積極的に情報から推計でき、パーティションが読み取り、安全に削除できます。たとえば、以下のクエリには、すべてのストアの販売合計を含み、リージョンごとに分けられた store_sales テーブルと、各国のリージョンのマッピングを含む store_regions テーブルという、2 つのテーブルが含まれます。テーブルには世界中に分散しているストアに関するデータが含まれていますが、北米のデータのみをクエリします。

```
select ss.quarter, ss.region, ss.store, ss.total_sales
from store_sales ss, store_regions sr
where ss.region = sr.region and sr.country = 'North America'
```

ダイナミックパーティションプルーニングを使用しない場合、このクエリはサブクエリ結果に一致する地域のサブセットをフィルタリングする前に、すべての地域のデータを読み取ります。ダイナミックパーティションプルーニングを使用すると、このクエリはサブクエリで返された地域のパーティションのみを読み取り処理します。このため、ストレージのデータの読み取りや履歴の処理が少なくなり、時間とリソースが削減されます。

スカラサブクエリの平坦化

この最適化では、同じテーブルにスカラサブクエリのあるクエリのパフォーマンスを向上させます。Amazon EMR 5.26.0 では、この機能はデフォルトで有効になっています。Amazon EMR 5.24.0 および 5.25.0 では、Spark プロパティ spark.sql.optimizer.flattenScalarSubqueriesWithAggregates.enabled をSpark 内で設定して有効にできます。また、クラスターの作成時に有効にすることもできます。このプロパティを true に設定すると、可能な場合に、クエリオプティマイザが同じ関係式を使用する集約スカラサブクエリを平坦化します。スカラサブクエリは、サブクエリ内に存在する述語を集約関数にプッシュし、リレーションごとにすべての集約関数を使用して 1 つの集約を実行することによって平坦化されます。

以下は、この最適化を行うメリットがあるクエリの例です。

```
select (select avg(age) from students                    /* Subquery 1 */
                 where age between 5 and 10) as group1,
       (select avg(age) from students                    /* Subquery 2 */
                 where age between 10 and 15) as group2,
       (select avg(age) from students                    /* Subquery 3 */
```

```
                  where age between 15 and 20) as group3
```

最適化により、以前のクエリが次のように書き換えられます。

```
select c1 as group1, c2 as group2, c3 as group3
from (select avg (if(age between 5 and 10, age, null)) as c1,
             avg (if(age between 10 and 15, age, null)) as c2,
             avg (if(age between 15 and 20, age, null)) as c3 from students);
```

書き換えられたクエリは一度だけ student テーブルを読み取ります。また、3 つのサブクエリの述語が avg 関数にプッシュされます。

INTERSECT 前に DISTINCT

この最適化では、INTERSECT を使用する場合の結合を最適化します。Amazon EMR 5.26.0 では、この機能はデフォルトで有効になっています。Amazon EMR 5.24.0 および 5.25.0 では、Spark プロパティ spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled をSpark 内で設定して有効にできます。また、クラスターの作成時に有効にすることもできます。INTERSECT を使用したクエリは、左準結合を使用するように自動変換されます。このプロパティを true に設定すると、DISTINCT 演算子が左準結合を SortMergeJoin ではなく BroadcastHashJoin にできることを検出すると、DISTINCT 演算子を INTERSECT の子にプッシュします。

以下は、この最適化を行うメリットがあるクエリの例です。

```
(select item.brand brand from store_sales, item
     where store_sales.item_id = item.item_id)
intersect
(select item.brand cs_brand from catalog_sales, item
     where catalog_sales.item_id = item.item_id)
```

このプロパティが有効になっていないと spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled 、クエリは以下のように書き換えられます。

```
select distinct brand from
  (select item.brand brand from store_sales, item
     where store_sales.item_id = item.item_id)
left semi join
   (select item.brand cs_brand from catalog_sales, item
```

```
     where catalog_sales.item_id = item.item_id)
 on brand <=> cs_brand
```

このプロパティを有効にすると spark.sql.optimizer.distinctBeforeIntersect.enabled 、クエリは以下のように書き換えられます。

```
select brand from
  (select distinct item.brand brand from store_sales, item
     where store_sales.item_id = item.item_id)
left semi join
   (select distinct item.brand cs_brand from catalog_sales, item
     where catalog_sales.item_id = item.item_id)
 on brand <=> cs_brand
```

ブルームフィルター結合

この最適化では、結合の一方の側の値から生成された[Bloom フィルター](#)を使用して、結合のもう一方の側を事前にフィルタリングすることで、一部の結合のパフォーマンスを向上させます。Amazon EMR 5.26.0 では、この機能はデフォルトで有効になっています。Amazon EMR 5.25.0 では、Spark 内で Spark プロパティ spark.sql.bloomFilterJoin.enabled を true に設定してこの機能を有効にできます。また、クラスターを作成するときにもこの機能を有効にできます。

以下は、Bloom フィルターを使用することによってメリットがあるクエリの例です。

```
select count(*)
from sales, item
where sales.item_id = item.id
and item.category in (1, 10, 16)
```

この機能を有効にすると、Bloom フィルターが、クエリの対象となるカテゴリのセットに属するカテゴリを持つすべてのアイテム ID から構築されます。sales テーブルのスキャン中に Bloom フィルターを使用して、Bloom フィルターで定義されたセット内に確実に含まれていないアイテムの売上を洗い出します。こうすることで、特定されたこれらの売上をできるだけ早い段階で除外できます。

結合順序の最適化

この最適化では、フィルターを持つテーブルを含む結合の順序を変更することでクエリのパフォーマンスを向上させることができます。Amazon EMR 5.26.0 では、この機能はデフォルトで有効になっています。Amazon EMR 5.25.0 では、Spark 設定パラメータ

spark.sql.optimizer.sizeBasedJoinReorder.enabled を true に設定することで、この機能を有効にすることができます。Spark のデフォルトでは、クエリにリストされている順に、テーブルと左から右に結合するようになっています。この手法では、フィルターを含む小さい結合を最初に実行し、コストの高い結合を後で行うというチャンスを逃してしまいます。

このクエリの例では、ある国のすべての店舗に返品されたすべての商品が報告されます。結合順序を最適化しなかった場合、Spark は、大きなテーブル 2 つ (store_sales と store_returns) を最初に結合した後、これを store と結合し、最後に item と結合します。

```
select ss.item_value, sr.return_date, s.name, i.desc,
from store_sales ss, store_returns sr, store s, item i
where ss.id = sr.id and ss.store_id = s.id and ss.item_id = i.id
and s.country = 'USA'
```

結合順序を最適化した場合、Spark は、まず store_sales をstore と結合します。store にはフィルターがあり、store_returns および broadcastable よりも小さいためです。次に store_returns、最後に item と結合します。item にフィルターがあり、ブロードキャストが可能な場合は、結合順序の変更の対象となるため、store_sales が store と結合され、続いてitem、最後に store_returns と結合されます。

Spark 結果フラグメントキャッシュ

Amazon EMR 6.6.0 以降には、結果フラグメントを自動的にキャッシュするオプションの Spark 結果フラグメントキャッシュ機能が含まれています。これらの結果フラグメントは、選択した Amazon S3 バケットに保存されているクエリのサブツリーからの結果の一部です。保存されたクエリの結果フラグメントは、その後のクエリ実行で再利用されるため、クエリが高速になります。

結果フラグメントキャッシュは Spark クエリを分析し、指定された S3 ロケーションで対象となる結果フラグメントをキャッシュします。それ以降のクエリ実行では、使用可能なクエリの結果フラグメントが自動的に検出され、S3 から取得されます。結果フラグメントキャッシュは結果セットキャッシュとは異なります。結果セットキャッシュでは、それ以降のクエリがキャッシュから結果を返すには元のクエリと完全に一致する必要があります。結果フラグメントキャッシュは、データの静的なサブセットを繰り返しターゲットとするクエリに使用すると、パフォーマンスが大幅に向上します。

次のクエリを考えてみましょう。このクエリでは、2022 年までの注文がカウントされます。

```
select
    l_returnflag,
    l_linestatus,
```

```
    count(*) as count_order
from
    lineitem
where
    l_shipdate <= current_date
    and year(l_shipdate) == '2022'
group by
    l_returnflag,
    l_linestatus
```

時間の経過に従い、このクエリを毎日実行して、その年の総売上をレポートする必要があります。結果フラグメントキャッシュを使用しないと、1 年のすべての日の結果を毎日再計算する必要があります。クエリは時間が経つにつれて遅くなり、365 日分の結果をすべて再計算する必要がある年末に最も遅くなります。

結果フラグメントキャッシュを有効にすると、キャッシュから 1 年のうちのそれ以前のすべての日の結果を使用します。毎日、この機能が再計算する必要があるのは 1 日分の結果のみです。この機能は結果フラグメントを計算した後で、フラグメントをキャッシュします。その結果、キャッシュを有効にしたクエリ時間は短く、それ以降の各クエリで一定に保たれます。

Spark 結果フラグメントキャッシュを有効にする

Spark 結果フラグメントキャッシュを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. Amazon S3 にキャッシュバケットを作成し、EMRFS の読み取り/書き込みアクセスを許可します。詳細については、「Amazon S3 内の EMRFS データへのアクセスを許可する」を参照してください。
2. Amazon EMR Spark 設定を行い、この機能を有効にします。

```
spark.subResultCache.enabled = true
spark.subResultCache.fs.root.path = s3://&example-s3-bucket;/cache_dir/
```

3. バケットの S3 ライフサイクル管理を有効にして、キャッシュファイルを自動的にクリーンアップします。
4. オプションで reductionRationThreshold プロパティと maxBufferSize プロパティを設定して、この機能をさらに調整できます。

```
spark.sql.subResultCache.reductionRatioThreshold
spark.sql.subResultCache.maxBufferSize
```

結果フラグメントキャッシュを使用するときの考慮事項

再計算するのではなく、Amazon S3 に既にキャッシュされている結果を使用する場合のコスト削減は、同じキャッシュ結果を使用できる回数に応じて大きくなります。大きなテーブルスキャンの後にフィルターやハッシュ集計を行うクエリでは、結果のサイズを 8 倍以上減らすことができれば (つまり、入力サイズ:結果の比率が 8:1 以上)、この機能のメリットは最も大きくなります。入力と結果の削減率が大きいほど、コスト面でのメリットも大きくなります。結果を生成するコストが Amazon S3 から結果を取得するコストよりも大きい限り、削減率は小さくても、テーブルスキャンとフィルターまたは集計の間に高価な計算ステップが含まれるクエリにもメリットがあります。デフォルトでは、結果フラグメントキャッシュは、削減率が少なくとも 8:1 になると検出された場合にのみ有効になります。

キャッシュされた結果をクエリが繰り返し再利用する場合、この機能のメリットが最も大きくなります。ローリングウィンドウクエリや増分ウィンドウクエリが良い例です。例えば、30 日間のローリングウィンドウクエリを既に 29 日間実行した場合、元の入力ソースからターゲットデータの 30 分の 1 を取得するだけで、過去 29 日間のキャッシュされた結果フラグメントが使用されます。増分ウィンドウクエリは、ウィンドウの開始が固定されているため、さらにメリットがあります。クエリを呼び出すたびに、入力ソースからの読み取りが必要になる処理の割合は小さくなります。

結果フラグメントキャッシュを使用する場合のその他の考慮事項は次のとおりです。

- 同じクエリフラグメントで、同じデータを対象としないクエリは、キャッシュヒットレートが低くなるため、この機能のメリットはありません。
- 削減率が低く、コストのかかる計算ステップを含まないクエリでは、結果がキャッシュされ、最初に処理したときとほぼ同じくらいの読み取りコストが発生します。
- 最初のクエリでは、キャッシュへの書き込みコストがかかるため、常に軽微なリグレッションが発生します。
- 結果フラグメントキャッシュ機能は Parquet ファイルでのみ機能します。その他のフェイル形式はサポートされていません。
- 結果フラグメントキャッシュ機能のバッファは、ファイル分割サイズが 128 MB 以上のスキャンのキャッシュのみを試みます。デフォルトの Spark 構成では、スキャンサイズ (スキャン対象のすべてのファイルの合計サイズ) をエグゼキュターコアの数で割った値が 128 MB 未満の場合、結果フラグメントキャッシュは無効になります。以下に示す Spark 構成のいずれかが設定されている場合、ファイル分割サイズは次のようになります。

```
min(maxPartitionBytes, max(openCostInBytes, scan size / minPartitionNum))
```

  - spark.sql.leafNodeDefaultParallelism (デフォルト値は spark.default.parallelism)
  - spark.sql.files.minPartitionNum (デフォルト値は spark.sql.leafNodeDefaultParallelism)
  - spark.sql.files.openCostInBytes
  - spark.sql.files.maxPartitionBytes
- 結果フラグメントキャッシュ機能は RDD パーティションの詳細度でキャッシュします。前述の削減率 (デフォルトは 8:1) は、RDD パーティションごとに評価されます。RDD あたりの削減率が 8:1 より大きいワークロードと 8:1 未満のワークロードの両方が含まれる場合、RDD あたりの削減率が常に 8:1 未満のワークロードよりも、パフォーマンス上のメリットが小さくなることがあります。
- 結果フラグメントキャッシュ機能は、キャッシュされる各 RDD パーティションにデフォルトで 16 MB の書き込みバッファを使用します。RDD パーティションごとに 16 MB を超える容量がキャッシュされる場合、書き込みが不可能であると判断するコストにより、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- デフォルトでは、結果フラグメントキャッシュは 8:1 未満の削減率では RDD パーティションの結果をキャッシュしようとせず、書き込みバッファを 16 MB に制限しますが、これらの値は両方とも以下の設定で調整できます。

```
spark.sql.subResultCache.reductionRatioThreshold (default: 8.0)
spark.sql.subResultCache.maxBufferSize (default: 16MB, max: 64MB)
```

- 同じ Amazon EMR リリースを使用する複数のクラスターは、同じキャッシュ場所を共有できます。結果の正確性を確保するため、結果フラグメントキャッシュでは、異なるリリースの Amazon EMR で書き込まれたキャッシュ結果は使用されません。
- Spark Streaming のユースケース、または RecordServer、Apache Ranger、または AWS Lake Formation が使用されている場合、結果フラグメントキャッシュは自動的に無効になります。
- 結果フラグメントキャッシュの読み取り/書き込みでは、EMRFS / S3A および Amazon S3 バケットが使用されます。CSE (EMRFS のみ)/ SSE S3/ SSE KMS 暗号化がサポートされています。コンテキストとして、S3A はクラスターが Amazon S3 との間でデータを読み書きできるようにする Hadoop 実装を提供します。S3A のサポートは EMR-7.4.0 以降で利用可能であることに注意してください。

Apache Spark 用の Nvidia RAPIDS アクセラレータの使用

Amazon EMR リリース 6.2.0 以降では、Nvidia による Apache Spark プラグイン用 RAPIDS アクセラレーターを使用し、EC2 グラフィックス処理ユニット (GPU) インスタンスタイプを使用して

Spark を加速できます。RAPIDS Accelerator は、コードを変更せずに Apache Spark 3.0 データサイエンスパイプラインの GPU を加速させ、データ処理とモデルのトレーニングをスピードアップしつつ、インフラストラクチャコストを大幅に低減します。

以下のセクションでは、Spark 用 Spark-RAPIDS プラグインを使用するように EMR クラスターを構成する方法について説明します。

インスタンスタイプの選択

Spark 用の Nvidia Spark-RAPIDS プラグインを使用するには、コアインスタンスグループとタスクインスタンスグループが、Spark-RAPIDS の[ハードウェア要件]を満たす EC2 GPU インスタンスタイプを使用する必要があります。Amazon EMR でサポートされる GPU インスタンスタイプの完全なリストについては、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[サポートされるインスタンスタイプ]」を参照してください。プライマリインスタンスグループのインスタンスタイプは GPU タイプまたは非 GPU タイプのいずれかになりますが、ARM インスタンスタイプはサポートされていません。

クラスターのアプリケーション設定のセットアップ

1. Amazon EMR が新しいクラスターにプラグインをインストールできるようにする

プラグインをインストールするには、クラスターの作成時に次の設定を指定します。

```
{
 "Classification":"spark",
 "Properties":{
  "enableSparkRapids":"true"
 }
}
```

2。GPU を使用するように YARN を設定する

YARN での GPU の使用法の詳細については、Apache Hadoop ドキュメントの「[YARN で GPU を使用する]」を参照してください。以下の例は、Amazon EMR 6.x および 7.x リリースの YARN 設定のサンプルを示しています。

Amazon EMR 7.x

Amazon EMR 7.x の YARN 設定の例

```
{
    "Classification":"yarn-site",
    "Properties":{
```

```
        "yarn.nodemanager.resource-plugins":"yarn.io/gpu",
        "yarn.resource-types":"yarn.io/gpu",
        "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.allowed-gpu-devices":"auto",
        "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.path-to-discovery-executables":"/usr/
bin",
        "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount":"true",
        "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount-path":"/spark-
rapids-cgroup",
        "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.hierarchy":"yarn",
        "yarn.nodemanager.container-
executor.class":"org.apache.hadoop.yarn.server.nodemanager.LinuxContainerExecutor"
    }
},{
    "Classification":"container-executor",
    "Properties":{

    },
    "Configurations":[
        {
            "Classification":"gpu",
            "Properties":{
                "module.enabled":"true"
            }
        },
        {
            "Classification":"cgroups",
            "Properties":{
                "root":"/spark-rapids-cgroup",
                "yarn-hierarchy":"yarn"
            }
        }
    ]
}
```

Amazon EMR 6.x

Amazon EMR 6.x の YARN 設定の例

```
{
    "Classification":"yarn-site",
    "Properties":{
        "yarn.nodemanager.resource-plugins":"yarn.io/gpu",
        "yarn.resource-types":"yarn.io/gpu",
        "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.allowed-gpu-devices":"auto",
```

```
        "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.path-to-discovery-executables":"/usr/
bin",
        "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount":"true",
        "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount-path":"/sys/fs/
cgroup",
        "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.hierarchy":"yarn",
        "yarn.nodemanager.container-
executor.class":"org.apache.hadoop.yarn.server.nodemanager.LinuxContainerExecutor"
    }
},{
    "Classification":"container-executor",
    "Properties":{

    },
    "Configurations":[
        {
            "Classification":"gpu",
            "Properties":{
                "module.enabled":"true"
            }
        },
        {
            "Classification":"cgroups",
            "Properties":{
                "root":"/sys/fs/cgroup",
                "yarn-hierarchy":"yarn"
            }
        }
    ]
}
```

3. RAPIDS を使用するように Spark を設定する

Spark が RAPIDS プラグインを使用できるようにするために必要な設定は次のとおりです。

```
{
 "Classification":"spark-defaults",
 "Properties":{
  "spark.plugins":"com.nvidia.spark.SQLPlugin",
  "spark.executor.resource.gpu.discoveryScript":"/usr/lib/spark/scripts/gpu/
getGpusResources.sh",
  "spark.executor.extraLibraryPath":"/usr/local/cuda/targets/x86_64-linux/lib:/usr/
local/cuda/extras/CUPTI/lib64:/usr/local/cuda/compat/lib:/usr/local/cuda/lib:/usr/
```

```
local/cuda/lib64:/usr/lib/hadoop/lib/native:/usr/lib/hadoop-lzo/lib/native:/docker/usr/
lib/hadoop/lib/native:/docker/usr/lib/hadoop-lzo/lib/native"
 }
}
```

XGBoost ドキュメントの XGBoost4J-Spark ライブラリは、クラスターで Spark RAPIDS プラグインが有効になっている場合も使用できます。次の設定を使用して、XGBoost を Spark ジョブと統合できます。

```
{
 "Classification":"spark-defaults",
 "Properties":{
  "spark.submit.pyFiles":"/usr/lib/spark/jars/xgboost4j-spark_3.0-1.4.2-0.3.0.jar"
 }
}
```

GPU が加速された EMR クラスターの調整に使用できるその他の Spark 設定については、Nvidia.github.io ドキュメントの「Rapids Accelerator for Apache Spark tuning guide」を参照してください。

4. YARN キャパシティスケジューラを設定する

`DominantResourceCalculator` は、GPU のスケジューリングと分離が有効になるように設定する必要があります。詳細については、Apache Hadoop ドキュメントの「Using GPU on YARN」を参照してください。

```
{
 "Classification":"capacity-scheduler",
 "Properties":{
  "yarn.scheduler.capacity.resource-
calculator":"org.apache.hadoop.yarn.util.resource.DominantResourceCalculator"
 }
}
```

5。JSON ファイルを作成してすべての設定を含める

Spark クラスターに RAPIDS プラグインを使用するための設定が含まれた JSON ファイルを作成できます。このファイルは、後でクラスターの起動時に指定します。

ファイルはローカルまたは S3 に保存できます。クラスターにアプリケーション設定を指定する方法の詳細については、アプリケーションの設定 を参照してください。

以下のサンプルファイルをテンプレートとして使用して、独自の設定を構築してください。

Amazon EMR 7.x

Amazon EMR 7.x 用のサンプル **my-configurations.json** ファイル

```
[
    {
        "Classification":"spark",
        "Properties":{
            "enableSparkRapids":"true"
        }
    },
    {
        "Classification":"yarn-site",
        "Properties":{
            "yarn.nodemanager.resource-plugins":"yarn.io/gpu",
            "yarn.resource-types":"yarn.io/gpu",
            "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.allowed-gpu-devices":"auto",
            "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.path-to-discovery-executables":"/
usr/bin",
            "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount":"true",
            "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount-path":"/spark-
rapids-cgroup",
            "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.hierarchy":"yarn",
            "yarn.nodemanager.container-
executor.class":"org.apache.hadoop.yarn.server.nodemanager.LinuxContainerExecutor"
        }
    },
    {
        "Classification":"container-executor",
        "Properties":{

        },
        "Configurations":[
            {
                "Classification":"gpu",
                "Properties":{
                    "module.enabled":"true"
                }
            },
            {
                "Classification":"cgroups",
                "Properties":{
```

```
                    "root":"/spark-rapids-cgroup",
                    "yarn-hierarchy":"yarn"
                }
            }
        ]
    },
    {
        "Classification":"spark-defaults",
        "Properties":{
            "spark.plugins":"com.nvidia.spark.SQLPlugin",
            "spark.executor.resource.gpu.discoveryScript":"/usr/lib/spark/scripts/
gpu/getGpusResources.sh",
            "spark.executor.extraLibraryPath":"/usr/local/cuda/targets/x86_64-
linux/lib:/usr/local/cuda/extras/CUPTI/lib64:/usr/local/cuda/compat/lib:/usr/local/
cuda/lib:/usr/local/cuda/lib64:/usr/lib/hadoop/lib/native:/usr/lib/hadoop-lzo/lib/
native:/docker/usr/lib/hadoop/lib/native:/docker/usr/lib/hadoop-lzo/lib/native",
            "spark.submit.pyFiles":"/usr/lib/spark/jars/xgboost4j-
spark_3.0-1.4.2-0.3.0.jar",
            "spark.rapids.sql.concurrentGpuTasks":"1",
            "spark.executor.resource.gpu.amount":"1",
            "spark.executor.cores":"2",
            "spark.task.cpus":"1",
            "spark.task.resource.gpu.amount":"0.5",
            "spark.rapids.memory.pinnedPool.size":"0",
            "spark.executor.memoryOverhead":"2G",
            "spark.locality.wait":"0s",
            "spark.sql.shuffle.partitions":"200",
            "spark.sql.files.maxPartitionBytes":"512m"
        }
    },
    {
        "Classification":"capacity-scheduler",
        "Properties":{
            "yarn.scheduler.capacity.resource-
calculator":"org.apache.hadoop.yarn.util.resource.DominantResourceCalculator"
        }
    }
]
```

Amazon EMR 6.x

Amazon EMR 6.x 用のサンプル **my-configurations.json** ファイル

```
[
```

```
    {
        "Classification":"spark",
        "Properties":{
            "enableSparkRapids":"true"
        }
    },
    {
        "Classification":"yarn-site",
        "Properties":{
            "yarn.nodemanager.resource-plugins":"yarn.io/gpu",
            "yarn.resource-types":"yarn.io/gpu",
            "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.allowed-gpu-devices":"auto",
            "yarn.nodemanager.resource-plugins.gpu.path-to-discovery-executables":"/
usr/bin",
            "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount":"true",
            "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.mount-path":"/sys/fs/
cgroup",
            "yarn.nodemanager.linux-container-executor.cgroups.hierarchy":"yarn",
            "yarn.nodemanager.container-
executor.class":"org.apache.hadoop.yarn.server.nodemanager.LinuxContainerExecutor"
        }
    },
    {
        "Classification":"container-executor",
        "Properties":{

        },
        "Configurations":[
            {
                "Classification":"gpu",
                "Properties":{
                    "module.enabled":"true"
                }
            },
            {
                "Classification":"cgroups",
                "Properties":{
                    "root":"/sys/fs/cgroup",
                    "yarn-hierarchy":"yarn"
                }
            }
        ]
    },
    {
```

```
        "Classification":"spark-defaults",
        "Properties":{
            "spark.plugins":"com.nvidia.spark.SQLPlugin",
            "spark.executor.resource.gpu.discoveryScript":"/usr/lib/spark/scripts/
gpu/getGpusResources.sh",
            "spark.executor.extraLibraryPath":"/usr/local/cuda/targets/x86_64-
linux/lib:/usr/local/cuda/extras/CUPTI/lib64:/usr/local/cuda/compat/lib:/usr/local/
cuda/lib:/usr/local/cuda/lib64:/usr/lib/hadoop/lib/native:/usr/lib/hadoop-lzo/lib/
native:/docker/usr/lib/hadoop/lib/native:/docker/usr/lib/hadoop-lzo/lib/native",
            "spark.submit.pyFiles":"/usr/lib/spark/jars/xgboost4j-
spark_3.0-1.4.2-0.3.0.jar",
            "spark.rapids.sql.concurrentGpuTasks":"1",
            "spark.executor.resource.gpu.amount":"1",
            "spark.executor.cores":"2",
            "spark.task.cpus":"1",
            "spark.task.resource.gpu.amount":"0.5",
            "spark.rapids.memory.pinnedPool.size":"0",
            "spark.executor.memoryOverhead":"2G",
            "spark.locality.wait":"0s",
            "spark.sql.shuffle.partitions":"200",
            "spark.sql.files.maxPartitionBytes":"512m"
        }
    },
    {
        "Classification":"capacity-scheduler",
        "Properties":{
            "yarn.scheduler.capacity.resource-
calculator":"org.apache.hadoop.yarn.util.resource.DominantResourceCalculator"
        }
    }
]
```

クラスターのブートストラップアクションを追加する

クラスターの作成時にブートストラップアクションスクリプトを指定する方法の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「ブートストラップアクションの基本」を参照してください。

以下のサンプルスクリプトは、Amazon EMR 6.x と 7.x のブートストラップアクションファイルを作成する方法を示しています。

Amazon EMR 7.x

Amazon EMR 7.x 用のサンプル **my-bootstrap-action.sh** ファイル

YARN を使用して Amazon EMR 7.x リリースの GPU リソースを管理するには、クラスターに手動で CGroup v1 をマウントする必要があります。この例のように、ブートストラップアクションスクリプトとしてこれを実行できます。

```
#!/bin/bash
set -ex

sudo mkdir -p /spark-rapids-cgroup/devices
sudo mount -t cgroup -o devices cgroupv1-devices /spark-rapids-cgroup/devices
sudo chmod a+rwx -R /spark-rapids-cgroup
```

Amazon EMR 6.x

Amazon EMR 6.x 用のサンプル **my-bootstrap-action.sh** ファイル

Amazon EMR 6.x リリースでは、クラスターで YARN CGroup へのアクセス権限を開く必要があります。これは、この例のようにブートストラップアクションスクリプトを使用して実行できます。

```
#!/bin/bash
set -ex

sudo chmod a+rwx -R /sys/fs/cgroup/cpu,cpuacct
sudo chmod a+rwx -R /sys/fs/cgroup/devices
```

クラスターを起動する

最後のステップは、上記のクラスター設定を使用してクラスターを起動することです。以下は、Amazon EMR CLI からクラスターを起動するコマンドの例です。

```
 aws emr create-cluster \
--release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Hadoop Name=Spark \
--service-role EMR_DefaultRole_V2 \
--ec2-attributes KeyName=my-key-pair,InstanceProfile=EMR_EC2_DefaultRole \
--instance-groups InstanceGroupType=MASTER,InstanceCount=1,InstanceType=m4.4xlarge \
```

```
                    InstanceGroupType=CORE,InstanceCount=1,InstanceType=g4dn.2xlarge \

                    InstanceGroupType=TASK,InstanceCount=1,InstanceType=g4dn.2xlarge \
--configurations file:///my-configurations.json \
--bootstrap-actions Name='My Spark Rapids Bootstrap action',Path=s3://amzn-s3-demo-
bucket/my-bootstrap-action.sh
```

Spark シェルにアクセスする

Spark シェルは Scala REPL (Read-Eval-Print-Loop) をベースにしています。このシェルを使用すると、Spark プログラムをインタラクティブに作成し、作業をフレームワークに送信できます。Spark シェルには、SSH を使用してプライマリノードに接続し、`spark-shell` を呼び出すことでアクセスできます。プライマリノードへの接続の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Connect to the primary node using SSH」を参照してください。次の例では、Amazon S3 に格納された Apache HTTP Server アクセスログを使用します。

> **Note**
>
> これらの例にあるバケットは、米国東部 (バージニア北部) にアクセスできるクライアントが使用できます。

デフォルトでは、Spark シェルによって `sc` と呼ばれる独自の SparkContext オブジェクトが作成されます。REPL 内で必要な場合は、このコンテキストを使用できます。sqlContext はシェルでも使用でき、HiveContext です。

Example Spark を使用して Amazon S3 に格納されたファイルにおける文字列の出現回数をカウントする

この例では、Amazon S3 に保存されているテキスト ファイルを読み取るために `sc` を使用します。

```
scala> sc
res0: org.apache.spark.SparkContext = org.apache.spark.SparkContext@404721db

scala> val textFile = sc.textFile("s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/tables/
impressions/dt=2009-04-13-08-05/ec2-0-51-75-39.amazon.com-2009-04-13-08-05.log")
```

Spark は、textFile と関連付けられたデータ構造を作成します。次に、この例ではログファイル内の文字列 "cartoonnetwork.com" を含む行の数をカウントします。

```
scala> val linesWithCartoonNetwork = textFile.filter(line =>
 line.contains("cartoonnetwork.com")).count()
linesWithCartoonNetwork: org.apache.spark.rdd.RDD[String] = MapPartitionsRDD[2] at
 filter at <console>:23
<snip>
<Spark program runs>
scala> linesWithCartoonNetwork
res2: Long = 9
```

Example Python ベースの Spark シェル使用して Amazon S3 に格納されたファイルにおける文字列の出現回数をカウントする

Spark には、Python ベースのシェルである pyspark も用意されており、Python で記述された Spark プログラムのプロトタイプを作成するために使用できます。spark-shell と同様、プライマリノードで pyspark を呼び出します。これにも、SparkContext オブジェクトがあります。

```
>>> sc
<pyspark.context.SparkContext object at 0x7fe7e659fa50>
>>> textfile = sc.textFile("s3://elasticmapreduce/samples/hive-ads/tables/impressions/
dt=2009-04-13-08-05/ec2-0-51-75-39.amazon.com-2009-04-13-08-05.log")
```

Spark は、textFile と関連付けられたデータ構造を作成します。次に、この例ではログファイル内の文字列 "cartoonnetwork.com" を含む行の数をカウントします。

```
>>> linesWithCartoonNetwork = textfile.filter(lambda line: "cartoonnetwork.com" in
 line).count()
15/06/04 17:12:22 INFO lzo.GPLNativeCodeLoader: Loaded native gpl library from the
 embedded binaries
15/06/04 17:12:22 INFO lzo.LzoCodec: Successfully loaded & initialized native-lzo
 library [hadoop-lzo rev EXAMPLE]
15/06/04 17:12:23 INFO fs.EmrFileSystem: Consistency disabled, using
 com.amazon.ws.emr.hadoop.fs.s3n.S3NativeFileSystem as filesystem implementation
<snip>
<Spark program continues>
>>> linesWithCartoonNetwork
9
```

機械学習で Amazon SageMaker Spark を使用する

Amazon EMR リリース 5.11.0 以降を使用する場合、aws-sagemaker-spark-sdk コンポーネントが Spark と共にインストールされます。このコンポーネントは、Amazon SageMaker Spark および Spark の Amazon SageMaker との統合用の関連依存関係をインストールします。Amazon SageMaker Spark を使用して、Amazon SageMaker のステージを使用した Spark 機械学習 (ML) パイプラインを作成できます。詳細については、GitHub の「Amazon SageMaker Spark README」および「Amazon SageMaker 開発者ガイド」の「Using Apache Spark with Amazon SageMaker」を参照してください。

Spark アプリケーションを作成する

Spark アプリケーションは、Scala、Java、または Python で記述できます。Apache Spark ドキュメントの「Spark の例」には、Spark アプリケーションの例がいくつかあります。ネイティブにサポートされる以下の 3 つのアプリケーションには、Estimating Pi の例が示されています。$SPARK_HOME/examples の詳細な例は、GitHub でも確認できます。Spark 用の JAR を構築する方法の詳細については、Apache Spark ドキュメントの「クイック スタート」を参照してください。

Scala

Scala の互換性の問題を回避するために、Amazon EMR クラスター用の Spark アプリケーションをコンパイルするときに、正しい Scala バージョンの Spark の依存関係を使用することをお勧めします。使用すべき Scala バージョンは、クラスターにインストールされている Spark のバージョンによって異なります。例えば、Amazon EMR リリース 5.30.1 は Scala 2.11 でビルドされた Spark 2.4.5 を使用します。クラスターが Amazon EMR リリース 5.30.1 を使用している場合は、Scala 2.11 の Spark の依存関係を使用します。Spark で使用されている Scala バージョンの詳細については、「Apache Spark ドキュメント」を参照してください。

```
package org.apache.spark.examples
import scala.math.random
import org.apache.spark._

/** Computes an approximation to pi */
object SparkPi {
  def main(args: Array[String]) {
    val conf = new SparkConf().setAppName("Spark Pi")
    val spark = new SparkContext(conf)
    val slices = if (args.length > 0) args(0).toInt else 2
```

```
    val n = math.min(100000L * slices, Int.MaxValue).toInt // avoid overflow
    val count = spark.parallelize(1 until n, slices).map { i =>
      val x = random * 2 - 1
      val y = random * 2 - 1
      if (x*x + y*y < 1) 1 else 0
    }.reduce(_ + _)
    println("Pi is roughly " + 4.0 * count / n)
    spark.stop()
  }
}
```

Java

```
package org.apache.spark.examples;

import org.apache.spark.SparkConf;
import org.apache.spark.api.java.JavaRDD;
import org.apache.spark.api.java.JavaSparkContext;
import org.apache.spark.api.java.function.Function;
import org.apache.spark.api.java.function.Function2;

import java.util.ArrayList;
import java.util.List;

/**
 * Computes an approximation to pi
 * Usage: JavaSparkPi [slices]
 */
public final class JavaSparkPi {

  public static void main(String[] args) throws Exception {
    SparkConf sparkConf = new SparkConf().setAppName("JavaSparkPi");
    JavaSparkContext jsc = new JavaSparkContext(sparkConf);

    int slices = (args.length == 1) ? Integer.parseInt(args[0]) : 2;
    int n = 100000 * slices;
    List<Integer> l = new ArrayList<Integer>(n);
    for (int i = 0; i < n; i++) {
      l.add(i);
    }

    JavaRDD<Integer> dataSet = jsc.parallelize(l, slices);
```

```
    int count = dataSet.map(new Function<Integer, Integer>() {
      @Override
      public Integer call(Integer integer) {
        double x = Math.random() * 2 - 1;
        double y = Math.random() * 2 - 1;
        return (x * x + y * y < 1) ? 1 : 0;
      }
    }).reduce(new Function2<Integer, Integer, Integer>() {
      @Override
      public Integer call(Integer integer, Integer integer2) {
        return integer + integer2;
      }
    });

    System.out.println("Pi is roughly " + 4.0 * count / n);

    jsc.stop();
  }
}
```

Python

```
import argparse
import logging
from operator import add
from random import random

from pyspark.sql import SparkSession

logger = logging.getLogger(__name__)
logging.basicConfig(level=logging.INFO, format="%(levelname)s: %(message)s")


def calculate_pi(partitions, output_uri):
    """
    Calculates pi by testing a large number of random numbers against a unit circle
    inscribed inside a square. The trials are partitioned so they can be run in
    parallel on cluster instances.

    :param partitions: The number of partitions to use for the calculation.
    :param output_uri: The URI where the output is written, typically an Amazon S3
                       bucket, such as 's3://example-bucket/pi-calc'.
```

```
    """

    def calculate_hit(_):
        x = random() * 2 - 1
        y = random() * 2 - 1
        return 1 if x**2 + y**2 < 1 else 0

    tries = 100000 * partitions
    logger.info(
        "Calculating pi with a total of %s tries in %s partitions.", tries, partitions
    )
    with SparkSession.builder.appName("My PyPi").getOrCreate() as spark:
        hits = (
            spark.sparkContext.parallelize(range(tries), partitions)
            .map(calculate_hit)
            .reduce(add)
        )
        pi = 4.0 * hits / tries
        logger.info("%s tries and %s hits gives pi estimate of %s.", tries, hits, pi)
        if output_uri is not None:
            df = spark.createDataFrame([(tries, hits, pi)], ["tries", "hits", "pi"])
            df.write.mode("overwrite").json(output_uri)


if __name__ == "__main__":
    parser = argparse.ArgumentParser()
    parser.add_argument(
        "--partitions",
        default=2,
        type=int,
        help="The number of parallel partitions to use when calculating pi.",
    )
    parser.add_argument(
        "--output_uri", help="The URI where output is saved, typically an S3 bucket."
    )
    args = parser.parse_args()

    calculate_pi(args.partitions, args.output_uri)
```

Amazon S3 で Spark のパフォーマンスを向上させる

Amazon EMR には、Spark を使用して Amazon S3 に保存されたデータのクエリ、読み取り、および書き込みを行うときのパフォーマンスを最適化するのに役立つ機能が用意されています。

S3 Select では、Amazon S3 に処理を「プッシュダウン」することで一部のアプリケーションの CSV および JSON ファイルのクエリパフォーマンスを向上させることができます。

EMRFS S3-optimizedコミッターは OutputCommitter クラスに代わるもので、EMRFS のマルチパートアップロード機能を使用して、Spark、DataFrames、データセットを使用して Parquet ファイルを Amazon S3 に書き込む際のパフォーマンスを向上させます。

トピック

S3 Select と Spark を使用してクエリパフォーマンスを向上させる

> **Important**
>
> 新規のお客様への Amazon S3 Select の提供は終了しました。Amazon S3 Select をご利用の既存のお客様は、今後も通常どおり使用できます。詳細はこちら

Amazon EMR リリース 5.17.0 以降では、Amazon EMR での Spark を使用した S3 Select を使用できます。S3 Select では、アプリケーションはオブジェクトに含まれるデータのサブセットのみを取得できます。Amazon EMR では、大量のデータセットをフィルタリングして処理する計算作業をクラスターから Amazon S3 に「プッシュダウン」することにより、一部のアプリケーションのパフォーマンスを高めることができます。また、Amazon EMR と Amazon S3 の間で転送されるデータの量も削減されます。

S3 Select は、`s3selectCSV` および `s3selectJSON` 値を使用してデータ形式を指定する CSV ファイルと JSON ファイルでサポートされます。詳細な説明と例についてはコードで S3 Select を指定するを参照してください。

S3 Select が使用するアプリケーションに適しているかどうかを確認する

S3 Select が使用するアプリケーションに適しているかどうかを確認するために、S3 Select を使用した場合と使用しない場合のアプリケーションのベンチマークを行うことをお勧めします。

アプリケーションが S3 Select を使用する候補となるかどうかを判断するには、次のガイドラインを使用します。

- クエリは元のデータセットの半分以上を除外する。
- Amazon S3 と Amazon EMR クラスター間のネットワーク接続は、転送速度と使用可能な帯域幅が良好です。Amazon S3 は、HTTP 応答を圧縮しないため、応答サイズは圧縮された入力ファイルと比較して増加する可能性があります。

考慮事項と制限事項

- お客様が用意した暗号化キーを使用した Amazon S3 サーバー側の暗号化 (SSE-C) とクライアント側の暗号化はサポートされていません。
- `AllowQuotedRecordDelimiters` プロパティはサポートされていません。このプロパティを指定した場合、クエリは失敗します。
- UTF-8 形式の CSV ファイルと JSON ファイルのみがサポートされています。複数行の CSV はサポートされません。
- 圧縮されていないファイルか gzip ファイルのみがサポートされます。
- `nanValue`、`positiveInf`、`negativeInf` などの Spark CSV と JSON のオプションや破損した記録に関連するオプション (failfast および dropmalformed モードなど) はサポートされません。
- 小数でのカンマ (,) の使用はサポートされません。たとえば、`10,000` はサポートされませんが、`10000` はサポートされます。
- 最後の行のコメント文字はサポートされていません。
- ファイルの末尾にある空の行は処理されません。
- 次のフィルターは Amazon S3 にプッシュダウンされません。
  - `COUNT()` や `SUM()` などの集計関数。
  - 属性を `CAST()` するフィルター。例えば、`CAST(stringColumn as INT) = 1`。
  - オブジェクトの属性、または複雑な属性を持つフィルター。例えば、`intArray[1] = 1, objectColumn.objectNumber = 1`。
  - 値がリテラル値ではないフィルター。例: `intColumn1 = intColumn2`
  - 確認された制限のある S3 Select がサポートするデータ型のみがサポートされます。

コードで S3 Select を指定する

次の例では、Scala、SQL、R、および PySpark を使用して CSV 用の S3 Select を指定する方法を示します。JSON 用の S3 Select も同じ方法で使用できます。オプション、デフォルト値、および制限の一覧については、「オプション」を参照してください。

PySpark

```
spark
  .read
  .format("s3selectCSV") // "s3selectJson" for Json
  .schema(...) // optional, but recommended
  .options(...) // optional
  .load("s3://path/to/my/datafiles")
```

R

```
read.df("s3://path/to/my/datafiles", "s3selectCSV", schema, header = "true",
 delimiter = "\t")
```

Scala

```
spark
  .read
  .format("s3selectCSV") // "s3selectJson" for Json
  .schema(...) // optional, but recommended
  .options(...) // optional. Examples:
  // .options(Map("quote" -> "\'", "header" -> "true")) or
  // .option("quote", "\'").option("header", "true")
  .load("s3://path/to/my/datafiles")
```

SQL

```
CREATE TEMPORARY VIEW MyView (number INT, name STRING) USING s3selectCSV OPTIONS
 (path "s3://path/to/my/datafiles", header "true", delimiter "\t")
```

オプション

`s3selectCSV` と `s3selectJSON` を使用するときは、以下のオプションを利用できます。指定しない場合はデフォルト値が使用されます。

S3selectCSV のオプション

オプション	デフォルト	使用方法
compression	"none"	圧縮が使用されているかどうかを示します。"none" 以外にサポートされる設定は "gzip" のみです。
delimiter	","	フィールドの区切り記号を指定します。
quote	'\"'	引用文字を指定します。空の文字例は指定できず、文字列を空にすると XML が不正というエラーが表示されます。
escape	'\\'	エスケープ文字を指定します。
header	"false"	"false" はヘッダーがないことを指定します。"true" はヘッダーが最初の行にあることを指定します。最初の行のヘッダーのみがサポートされ、ヘッダーの前の空の行はサポートされません。
コメント	"#"	コメント文字を指定します。コメントインジケーターを無効にすることはできません。つまり、\u0000 という値はサポートされません。
nullValue	""	

S3selectJSON のオプション

オプション	デフォルト	使用方法
`compression`	`"none"`	圧縮が使用されているかどうかを示します。`"none"` 以外にサポートされる設定は `"gzip"` のみです。
`multiline`	"false"	`"false"` は JSON が S3 Select `LINES` 形式であることを指定し、入力データの各行に 1 つの JSON オブジェクトが含まれていることを意味します。`"true"` は JSON が S3 Select `DOCUMENT` 形式であることを指定し、入力データの複数の行に JSON オブジェクトをまたがらせられることを意味します。

EMR Spark MagicCommitProtocol

EMR 6.15.0 以降、S3A ファイルシステムを利用すると、MagicCommitProtocol は Spark のデフォルトの FileCommitProtocol になります。

MagicCommitProtocol

MagicCommitProtocol は FileCommitProtocol の代替実装であり、S3A ファイルシステムを使用するときに EMR Spark を使用して Amazon S3 にファイルを書き込むために最適化されています。このプロトコルは、ジョブとタスクのコミットフェーズ中に Amazon S3 で名前変更オペレーションを使用しないことで、アプリケーションのパフォーマンスを向上させることを目的としています。

MagicCommitProtocol は、S3A ファイルシステムが使用されているときに Amazon Elastic Map Reduce (EMR) で実行されている Spark で使用されるデフォルトの FileCommitProtocol 実装です。MagicCommitProtocol は、内部的に MagicV2Committer を使用して Amazon S3 へのファイル書き込みを実行します。

静的挿入オペレーションの場合、MagicCommitProtocol はタスクコミットフェーズ中にジョブの出力場所にファイルを書き込みます。対照的に、動的挿入上書きオペレーションの場合、タスク試行によって書き込まれたファイルは、ジョブのコミット時にジョブの出力場所にのみ表示されます。これは、タスクコミット呼び出しでコミットメタデータを Spark ドライバーにエクスポートすることで実現されます。

MagicCommitProtocol の有効化

MagicCommitProtocol は、S3A ファイルシステムを使用するときに Amazon Elastic Map Reduce (EMR) で実行される Spark に対してデフォルトで有効になっています。

S3A ファイルシステムを使用するには、次のいずれかを実行します。

1. テーブル、パーティション、またはディレクトリを定義する`s3a://`ときは、 ファイルスキームを として使用します。
2. core-site.xml `fs.s3.impl=org.apache.hadoop.fs.s3a.S3AFileSystem`で設定を行います。

MagicCommitProtocol の無効化

1. を false `spark.sql.execution.datasources.SQLEmrOptimizedCommitProtocol.leverageMagicCom` 設定するには、 でハードコーディングし`SparkConf`、Spark シェルまたは `spark-submit` および `spark-sql` ツール、または で`--conf`パラメータとして渡します`conf/spark-defaults.conf`。詳細については、Apache [Spark ドキュメントの「Spark 設定」](#)を参照してください。

   次の例は、`spark-sql`コマンドの実行中に MagicCommitProtocol を無効にする方法を示しています。

   ```
   spark-sql \
     --conf
    spark.sql.execution.datasources.SQLEmrOptimizedCommitProtocol.leverageMagicCommitProtocol=fa
    \
   -e "INSERT OVERWRITE TABLE target_table SELECT * FROM source_table;"
   ```
2. `spark-defaults` 設定分類を使用して、 `spark.sql.execution.datasources.SQLEmrOptimizedCommitProtocol.leverageMagicCom`

ロパティを false に設定します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

MagicCommitProtocol に関する考慮事項

- 静的パーティション挿入の場合、Spark エグゼキュターでは、タスクがコミットまたは中止されるまで、MagicCommitProtocol はタスクの試行によって書き込まれたファイルごとに少量のメモリを消費します。ほとんどのジョブで消費されるメモリの量は無視できる程度です。Spark ドライバーに追加のメモリ要件はありません。
- 動的パーティション挿入の場合、Spark ドライバーでは、ジョブがコミットまたは中止されるまで、MagicCommitProtocol はコミットされた各ファイルのメタデータ情報を保存するメモリを必要とします。ほとんどのジョブでは、Spark ドライバーのデフォルトのメモリ設定はごくわずかです。

  多数のファイルを書き込む長時間のタスクを含むジョブの場合、コミットプロトコルが消費するメモリが多くなり、Spark、特に Spark エグゼキュターに割り当てられたメモリの調整が必要になることがあります。Spark ドライバーの `spark.driver.memory` プロパティと Spark エグゼキューターの `spark.executor.memory` プロパティを使用してメモリを調整できます。ガイドラインとして、100,000 個のファイルを書き込む 1 つのタスクには、通常、追加の 200MB のメモリが必要です。詳細については、Apache Spark Configuration ドキュメントの「Application Properties」を参照してください。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは代替 OutputCommitter 実装であり、EMRFS を使用するときの Amazon S3 へのファイル書き込みに対して最適化されています。EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、ジョブおよびタスクコミットフェーズ中に Amazon S3 で行われるリストオペレーションと名前変更オペレーションを回避することにより、アプリケーションのパフォーマンスを向上させることができます。コミッターは Amazon EMR リリース 5.19.0 以降で使用でき、Amazon EMR 5.20.0 以降ではデフォルトで有効になっています。コミッターは、Spark、DataFrames、またはデータセットを使用する Spark ジョブに使用されます。Amazon EMR 6.4.0 以降では、Parquet、ORC、テキストベースの形式 (CSV と JSON を含む) など、一般的なあらゆる形式にこのコミッターを使用できます。Amazon EMR 6.4.0 より前のリリースでは、Parquet 形式のみがサポートされています。コミッターが使用されない状況があります。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターの要件」を参照してください。

トピック

- EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターの要件
- EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターとマルチパートアップロード
- ジョブの調整に関する考慮事項
- Amazon EMR 5.19.0 の EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを有効にする

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターの要件

以下の条件が満たされる場合に、EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターが使用されます。

- Spark、DataFrames、またはデータセットを使用して Amazon S3 にファイルを書き込む Spark ジョブを実行します。Amazon EMR 6.4.0 以降では、Parquet、ORC、テキストベースの形式 (CSV と JSON を含む) など、一般的なあらゆる形式にこのコミッターを使用できます。Amazon EMR 6.4.0 より前のリリースでは、Parquet 形式のみがサポートされています。
- Amazon EMR でマルチパートアップロードが有効になっている。これがデフォルトです。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターとマルチパートアップロード」を参照してください。
- Spark の組み込みファイル形式のサポートが使用されます。組み込みファイル形式のサポートは以下の状況で使用されます。
  - Hive メタストアテーブルの場合、Parquet テーブルに対して `spark.sql.hive.convertMetastoreParquet` が `true` に設定される場合、または、Amazon EMR 6.4.0 以降の Orc テーブルに対して `spark.sql.hive.convertMetastoreOrc` が `true` に設定される場合。これらはデフォルトの設定です。
  - ジョブによってファイル形式のデータソースまたはテーブルに書き込まれる場合。例えば、ターゲットテーブルが `USING parquet` 句で作成される場合などです。
  - ジョブでパーティション分割されていない Hive メタストア Parquet テーブルに書き込む場合。Spark の組み込み Parquet サポートはパーティション分割された Hive テーブルをサポートしていません。これは既知の制限です。詳細については、Apache Spark、DataFrames、データセットガイドの「Hive メタストア Parquet テーブル変換」を参照してください。
- デフォルトのパーティションの場所 (`${table_location}/k1=v1/k2=v2/` など) に書き込む Spark ジョブオペレーションでコミッターが使用される。ジョブオペレーションによってカスタムのパーティション場所に書き込まれる場合、例えば、カスタムのパーティション場所が `ALTER TABLE SQL` コマンドを使用して設定されている場合、コミッターは使用されません。
- Spark で以下の値を使用する。

- spark.sql.parquet.fs.optimized.committer.optimization-enabled プロパティを true に設定する必要があります。これは、Amazon EMR 5.20.0 以降でのデフォルト設定です。Amazon EMR 5.19.0 では、デフォルト値は false です。この値の設定については、「Amazon EMR 5.19.0 の EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを有効にする」を参照してください。
- パーティション化されていない Hive メタストアテーブルに書き込む場合は、Parquet と Orc のファイル形式のみがサポートされます。パーティション化されていない Parquet Hive メタストアテーブルに書き込む場合は、spark.sql.hive.convertMetastoreParquet は true に設定する必要があります。パーティション化されていない Orc Hive メタストアテーブルに書き込む場合は、spark.sql.hive.convertMetastoreOrc は true に設定する必要があります。これらはデフォルトの設定です。
- spark.sql.parquet.output.committer.class を com.amazon.emr.committer.EmrOptimizedSparkSqlParquetOutputCommitter に設定する必要があります。これはデフォルトの設定です。
- spark.sql.sources.commitProtocolClass は org.apache.spark.sql.execution.datasources.SQLEmrOptimizedCommitProtocol または org.apache.spark.sql.execution.datasources.SQLHadoopMapReduceCommitProtocol に設定する必要があります。Amazon EMR 5.x シリーズバージョン 5.30.0 以降、および Amazon EMR 6.x シリーズバージョン 6.2.0 以降の場合、org.apache.spark.sql.execution.datasources.SQLEmrOptimizedCommitProtocol がデフォルト設定です。それよりも前の Amazon EMR バージョンの場合、org.apache.spark.sql.execution.datasources.SQLHadoopMapReduceCommitProtoco がデフォルト設定です。
- Spark ジョブでパーティション分割された Parquet データセットを動的パーティション列で上書きする場合は、partitionOverwriteMode 書き込みオプションと spark.sql.sources.partitionOverwriteMode を static に設定する必要があります。これはデフォルトの設定です。

> **Note**
>
> partitionOverwriteMode 書き込みオプションは Spark 2.4.0 で導入されました。Amazon EMR リリース 5.19.0 に含まれている Spark バージョン 2.3.2 では、spark.sql.sources.partitionOverwriteMode プロパティを設定します。

EMRFS S3 用に最適化されたコミッターが使用されていない場合

一般的に、EMRFS S3 用に最適化されたコミッターは次の状況では、使用されません。

状況	コミッターが使われない理由
HDFS に書き込む場合	コミッターは、EMRFS を使用した Amazon S3 への書き込みのみをサポートします。
S3A ファイルシステムを使用する場合	コミッターは EMRFS のみをサポートします。
MapReduce または Spark の RDD API を使用する場合	コミッターは SparkSQL、DataFrame、またはデータセット API の使用のみをサポートします。

以下の Scala の例では、いくつかの追加の状況を示しています。EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを全体に使用しないもの (最初の例) と、部分的に使用しないもの (2 番目の例) です。

Example - 動的パーティション上書きモード

以下の Scala の例では、別のコミットアルゴリズムを使用するように Spark に指示しています。これでは、EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターはまったく使用されません。このコードは、データを書き込むパーティションのみを上書きするように `partitionOverwriteMode` プロパティを `dynamic` に設定します。次に、動的パーティション列が `partitionBy` で指定され、書き込みモードが `overwrite` に設定されます。

```
val dataset = spark.range(0, 10)
  .withColumn("dt", expr("date_sub(current_date(), id)"))

dataset.write.mode("overwrite")
  .option("partitionOverwriteMode", "dynamic")
  .partitionBy("dt")
  .parquet("s3://amzn-s3-demo-bucket1/output")
```

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターが使用されないようにするには、3 つの設定をすべて構成する必要があります。これを行うと、Spark は Spark のコミットプロトコルで指定されている別のコミットアルゴリズムを実行します。5.30.0 より前の Amazon EMR 5.x リリースと 6.2.0 より前の Amazon EMR 6.x リリースの場合、コミットプロトコルは Spark のステージングディレクトリを使用します。これは、`.spark-staging` で始まる出力場所に作成された一時ディレクトリです。こ

のアルゴリズムではパーティションディレクトリの名前が順番に変更されるため、パフォーマンスが低下する可能性があります。Amazon EMR リリース 5.30.0 以降および 6.2.0 以降の詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルを使用する」を参照してください。

Spark 2.4.0 のアルゴリズムは以下の手順に従います。

1. タスク試行により、Spark のステージングディレクトリ (`${outputLocation}/spark-staging-${jobID}/k1=v1/k2=v2/` など) の下のパーティションディレクトリに出力が書き込まれます。
2. 書き込まれたパーティションごとに、タスク試行は相対パーティションパス (`k1=v1/k2=v2` など) を管理します。
3. タスクが正常に完了すると、追跡されたすべての相対パーティションパスがドライバーに渡されます。
4. すべてのタスクが完了した後、ジョブのコミットフェーズでは、成功したタスクの試行によって Spark のステージングディレクトリに書き込まれたすべてのパーティションディレクトリが収集されます。ディレクトリツリーの名前変更オペレーションを使用して、これらの各ディレクトリの名前が最終的な出力場所に順番に変更されます。
5. ステージングディレクトリがジョブのコミットフェーズの完了前に削除されます。

Example - カスタムのパーティション場所

この例では、Scala コードは 2 つのパーティションを挿入します。1 つのパーティションはカスタムのパーティション場所を使用します。もう 1 つのパーティションはデフォルトのパーティション場所を使用します。EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、デフォルトのパーティション場所を使用するパーティションへのタスク出力の書き込みにのみ使用されます。

```
val table = "dataset"
val location = "s3://bucket/table"

spark.sql(s"""
  CREATE TABLE $table (id bigint, dt date)
  USING PARQUET PARTITIONED BY (dt)
  LOCATION '$location'
""")

// Add a partition using a custom location
val customPartitionLocation = "s3://bucket/custom"
```

```
spark.sql(s"""
  ALTER TABLE $table ADD PARTITION (dt='2019-01-28')
  LOCATION '$customPartitionLocation'
""")

// Add another partition using default location
spark.sql(s"ALTER TABLE $table ADD PARTITION (dt='2019-01-29')")

def asDate(text: String) = lit(text).cast("date")

spark.range(0, 10)
  .withColumn("dt",
    when($"id" > 4, asDate("2019-01-28")).otherwise(asDate("2019-01-29")))
  .write.insertInto(table)
```

Scala コードは以下の Amazon S3 オブジェクトを作成します。

```
custom/part-00001-035a2a9c-4a09-4917-8819-e77134342402.c000.snappy.parquet
custom_$folder$
table/_SUCCESS
table/dt=2019-01-29/part-00000-035a2a9c-4a09-4917-8819-e77134342402.c000.snappy.parquet
table/dt=2019-01-29_$folder$
table_$folder$
```

カスタムのパーティション場所に書き込むとき、先ほどの例と同様のコミットアルゴリズムが使用されます。先ほどの例と同様、このアルゴリズムでは名前が順番に変更されるため、パフォーマンスが低下する可能性があります。

1. カスタムのパーティション場所に出力を書き込むとき、タスクでは最終的な出力場所に作成される Spark のステージングディレクトリにファイルを書き込みます。ファイルの名前には、ファイルの競合から保護するためのランダムな UUID が含まれます。タスクの試行によって各ファイルが最終的な出力パスと共に追跡されます。
2. タスクが正常に完了すると、ドライバーにファイルとそれらの最終的な出力パスが渡されます。
3. すべてのタスクが完了した後、ジョブのコミットフェーズでは、カスタムのパーティション場所に書き込まれたすべてのファイルの名前が、最終的な出力パスに順番に変更されます。
4. ステージングディレクトリがジョブのコミットフェーズの完了前に削除されます。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターとマルチパートアップロード

EMRFS S3 に最適化されたコミッターを使用するには、Amazon EMR のマルチパートアップロードを有効にする必要があります。マルチパートアップロードは、デフォルトで有効になっています。また、必要に応じて再度有効にすることができます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon S3 用のマルチパートアップロードを設定する」を参照してください。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、マルチパートアップロードのトランザクションのような特性を利用して、タスクのコミット時にタスクの試行によって書き込まれたファイルのみがジョブの出力場所に表示されるようにします。この方法でマルチパートアップロードを使用することにより、コミッターはデフォルトの FileOutputCommitter アルゴリズムバージョン 2 におけるタスクコミットのパフォーマンスを向上させます。EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用するにあたっては、従来のマルチパートアップロードとのいくつかの重要な違いを考慮する必要があります。

- マルチパートアップロードは常にファイルサイズに関係なく実行されます。これは EMRFS のデフォルトの動作とは異なり、マルチパートアップロードがトリガーされるファイルサイズは `fs.s3n.multipart.uploads.split.size` プロパティで制御されます。
- タスクがコミットされるか中止されるまで、マルチパートアップロードは長期間不完全な状態になります。これは EMRFS のデフォルトの動作とは異なり、タスクで指定されたファイルの書き込みが終了するとマルチパートアップロードが完了します。

このような違いにより、タスクが実行されて Amazon S3 へのデータの書き込みが行われているときに Spark Executor JVM がクラッシュしたり強制終了されたりすると、不完全なマルチパートアップロードが残される可能性が高くなります。そのため、EMRFS S3 に最適化されたコミッターを使用するときは、失敗したマルチパートアップロードの管理に関するベストプラクティスに従ってください。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の Amazon S3 バケットの処理に関するベストプラクティスを参照してください。

ジョブの調整に関する考慮事項

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターは、タスクがコミットされるか中止されるまで、タスクの試行によって書き込まれた各ファイルのために少量のメモリを消費します。ほとんどのジョブで消費されるメモリの量は無視できる程度です。多数のファイルを書き込む長時間のタスクを含むジョブの場合、コミッターが消費するメモリが多くなり、Spark エグゼキューターに割り当てれたメモリの調整が必要になることがあります。エグゼキューターのメモリは、`spark.executor.memory` プロパティを使用して調整できます。ガイドラインとして、100,000 個のファイルを書き込む 1 つのタ

スクでは、一般的に 100 MB のメモリを追加する必要があります。詳細については、Apache Spark Configuration ドキュメントの「Application Properties」を参照してください。

Amazon EMR 5.19.0 の EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを有効にする

Amazon EMR 5.19.0 を使用している場合は、クラスターの作成時、または Spark 内から (Amazon EMR を使用しているとき)、`spark.sql.parquet.fs.optimized.committer.optimization-enabled` プロパティを `true` に手動で設定できます。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターをクラスターの作成時に有効にする

`spark.sql.parquet.fs.optimized.committer.optimization-enabled` プロパティを `true` に設定するには、`spark-defaults` 設定分類を使用します。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを Spark から有効にする

`spark.sql.parquet.fs.optimized.committer.optimization-enabled` は、`SparkConf` でハードコーディングするか、Spark シェルまたは `spark-submit` および `spark-sql` ツールで `--conf` パラメータとして渡すか、`conf/spark-defaults.conf` によって `true` に設定できます。詳細については、Apache Spark ドキュメントの「Spark Configuration」を参照してください。

次の例は、spark-sql コマンドの実行中にコミッターを有効にする方法を示しています。

```
spark-sql \
  --conf spark.sql.parquet.fs.optimized.committer.optimization-enabled=true \
  -e "INSERT OVERWRITE TABLE target_table SELECT * FROM source_table;"
```

EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルを使用する

EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルは代替 FileCommitProtocol 実装であり、EMRFS を使用するときの Amazon S3 への Spark の動的パーティション上書きを使用するファイル書き込みに対して最適化されています。このプロトコルは、Spark の動的パーティション上書きジョブのコミットフェーズ中の Amazon S3 での名前変更操作を回避することで、アプリケーションのパフォーマンスを向上させます。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する はまた、名前変更操作を回避することでパフォーマンスを向上させることにも注意してください。ただし、動的パーティション上書きの場合は

機能しませんが、コミットプロトコルの改善は動的パーティション上書きの場合のみを対象としています。

コミットプロトコルは Amazon EMR リリース 5.30.0 以降で使用でき、6.2.0 以降ではデフォルトで有効になっています。リリース 5.31.0 以降、Amazon EMR では並列処理の改善が追加されました。プロトコルは、Spark、DataFrames、またはデータセットを使用する Spark ジョブに使用されます。コミットプロトコルが使用されない状況があります。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルの要件」を参照してください。

トピック

- EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルの要件
- EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルとマルチパートアップロード
- ジョブの調整に関する考慮事項

EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルの要件

以下の条件が満たされる場合に、EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルが使用されます。

- Spark、DataFrames、またはデータセットを使用してパーティションテーブルを上書きする Spark ジョブを実行します。
- パーティション上書きモードが `dynamic` である Spark ジョブを実行する。
- Amazon EMR でマルチパートアップロードが有効になっている。これがデフォルトです。詳細については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルとマルチパートアップロード」を参照してください。
- EMRFS のファイルシステムキャッシュは有効になっています。これがデフォルトです。`fs.s3.impl.disable.cache` 設定が `false` に設定されていることを確認します。
- Spark のビルトインデータソースサポートが使用されています。組み込みデータソースサポートは以下の状況で使用されます。
  - ジョブでビルトインのデータソースまたはテーブルに書き込む場合。
  - ジョブで Hive メタストア Parquet テーブルに書き込む場合。これは `spark.sql.hive.convertInsertingPartitionedTable` と `spark.sql.hive.convertMetastoreParquet` が両方とも true に設定されている場合に発生します。これらはデフォルトの設定です。
  - ジョブで Hive メタストア ORC テーブルに書き込む場合。これは、`spark.sql.hive.convertInsertingPartitionedTable` と

spark.sql.hive.convertMetastoreOrc が両方 true に設定されている場合に発生します。これらはデフォルトの設定です。

- デフォルトのパーティションの場所 (${table_location}/k1=v1/k2=v2/ など) に書き込む Spark ジョブオペレーションでコミットプロトコルが使用される。ジョブオペレーションによってカスタムのパーティション場所に書き込まれる場合、例えば、カスタムのパーティション場所が ALTER TABLE SQL コマンドを使用して設定されている場合、プロトコルは使用されません。
- Spark で以下の値を使用する。
  - spark.sql.sources.commitProtocolClass を org.apache.spark.sql.execution.datasources.SQLEmrOptimizedCommitProtocol に設定する必要があります。これは、Amazon EMR リリース 5.30.0 以降および 6.2.0 以降のデフォルト設定です。
  - partitionOverwriteMode 書き込みオプションまたは spark.sql.sources.partitionOverwriteMode は dynamic に設定する必要があります。デフォルトの設定はstatic です。

> **Note**
>
> partitionOverwriteMode 書き込みオプションは Spark 2.4.0 で導入されました。Amazon EMR リリース 5.19.0 に含まれている Spark バージョン 2.3.2 では、spark.sql.sources.partitionOverwriteMode プロパティを設定します。

  - Spark ジョブが Hive メタストアの Parquet テーブルに上書きされる場合は、spark.sql.hive.convertMetastoreParquet、spark.sql.hive.convertInsertingPar および spark.sql.hive.convertMetastore.partitionOverwriteMode を true に設定する必要があります。これらはデフォルトの設定です。
  - Spark ジョブが Hive メタストアの ORC テーブルに上書きされる場合は、spark.sql.hive.convertMetastoreOrc、spark.sql.hive.convertInsertingPartiti および spark.sql.hive.convertMetastore.partitionOverwriteMode を true に設定する必要があります。これらはデフォルトの設定です。

Example - 動的パーティション上書きモード

この Scala の例では、最適化がトリガーされます。まず、partitionOverwriteMode プロパティを dynamic に設定します。これにより、データを書き込んでいるパーティションのみが上書きされます。次に、動的パーティション列が partitionBy で指定され、書き込みモードが overwrite に設定されます。

```
val dataset = spark.range(0, 10)
  .withColumn("dt", expr("date_sub(current_date(), id)"))

dataset.write.mode("overwrite")                      // "overwrite" instead of "insert"
  .option("partitionOverwriteMode", "dynamic")  // "dynamic" instead of "static"
  .partitionBy("dt")                             // partitioned data instead of
 unpartitioned data
  .parquet("s3://amzn-s3-demo-bucket1/output")    // "s3://" to use Amazon EMR file
 system, instead of "s3a://" or "hdfs://"
```

EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルが使用されない場合

通常、EMRFS S3-optimizedコミットプロトコルは、オープンソースのデフォルトの Spark コミットプロトコル と同じように機能します`org.apache.spark.sql.execution.datasources.SQLHadoopMapReduceCommitProtocol`。次の状況では、最適化は行われません。

状況	コミットプロトコルが使用されない理由
HDFS に書き込む場合	コミットプロトコルは、EMRFS を使用した Amazon S3 への書き込みのみをサポートします。
S3A ファイルシステムを使用する場合	コミットプロトコルは EMRFS のみをサポートします。
MapReduce または Spark の RDD API を使用する場合	コミットプロトコルは、SparkSQL、DataFrame、またはデータセット API の使用のみをサポートします。
動的パーティションの上書きがトリガーされない場合	コミットプロトコルは、動的なパーティション上書きの場合のみを最適化します。その他の場合については、「EMRFS S3 向けに最適化されたコミッターを使用する」を参照してください。

次の Scala の例は、EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルが `SQLHadoopMapReduceCommitProtocol` に委任するその他の状況を示しています。

Example - カスタムパーティションの場所を使用する動的パーティション上書きモード

この例では、Scala プログラムは動的パーティション上書きモードで 2 つのパーティションを上書きします。1 つのパーティションはカスタムのパーティション場所を使用します。もう 1 つのパーティションはデフォルトのパーティション場所を使用します。EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルは、デフォルトのパーティション場所を使用するパーティションのみを改善します。

```
val table = "dataset"
val inputView = "tempView"
val location = "s3://bucket/table"

spark.sql(s"""
  CREATE TABLE $table (id bigint, dt date)
  USING PARQUET PARTITIONED BY (dt)
  LOCATION '$location'
""")

// Add a partition using a custom location
val customPartitionLocation = "s3://bucket/custom"
spark.sql(s"""
  ALTER TABLE $table ADD PARTITION (dt='2019-01-28')
  LOCATION '$customPartitionLocation'
""")

// Add another partition using default location
spark.sql(s"ALTER TABLE $table ADD PARTITION (dt='2019-01-29')")

def asDate(text: String) = lit(text).cast("date")

spark.range(0, 10)
  .withColumn("dt",
    when($"id" > 4, asDate("2019-01-28")).otherwise(asDate("2019-01-29")))
  .createTempView(inputView)

// Set partition overwrite mode to 'dynamic'
spark.sql(s"SET spark.sql.sources.partitionOverwriteMode=dynamic")

spark.sql(s"INSERT OVERWRITE TABLE $table SELECT * FROM $inputView")
```

Scala コードは以下の Amazon S3 オブジェクトを作成します。

```
custom/part-00001-035a2a9c-4a09-4917-8819-e77134342402.c000.snappy.parquet
custom_$folder$
```

```
table/_SUCCESS
table/dt=2019-01-29/part-00000-035a2a9c-4a09-4917-8819-e77134342402.c000.snappy.parquet
table/dt=2019-01-29_$folder$
table_$folder$
```

> **Note**
>
> 以前の Spark バージョンでは、カスタムパーティションの場所に書き込むと、データが失われる可能性があります。この例では、パーティション `dt='2019-01-28'` が失われます。詳細については「SPARK-35106」を参照してください。Amazon EMR リリース 5.33.0 以降 (6.0.x および 6.1.x は除く) では、この問題は修正されています。

カスタムのパーティション場所に書き込むとき、先ほどの例と同様のコミットアルゴリズムが使用されます。先ほどの例と同様、このアルゴリズムでは名前が順番に変更されるため、パフォーマンスが低下する可能性があります。

Spark 2.4.0 のアルゴリズムは以下の手順に従います。

1. カスタムのパーティション場所に出力を書き込むとき、タスクでは最終的な出力場所に作成される Spark のステージングディレクトリにファイルを書き込みます。ファイルの名前には、ファイルの競合から保護するためのランダムな UUID が含まれます。タスクの試行によって各ファイルが最終的な出力パスと共に追跡されます。
2. タスクが正常に完了すると、ドライバーにファイルとそれらの最終的な出力パスが渡されます。
3. すべてのタスクが完了した後、ジョブのコミットフェーズでは、カスタムのパーティション場所に書き込まれたすべてのファイルの名前が、最終的な出力パスに順番に変更されます。
4. ステージングディレクトリがジョブのコミットフェーズの完了前に削除されます。

EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルとマルチパートアップロード

EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルで動的パーティション上書きの最適化を使用するには、Amazon EMR でマルチパートアップロードを有効にする必要があります。マルチパートアップロードは、デフォルトで有効になっています。また、必要に応じて再度有効にすることができます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon S3 用のマルチパートアップロードを設定する」を参照してください。

動的パーティション上書きの間、EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルは、マルチパートアップロードのトランザクションのような特性を利用して、ジョブのコミット時にタスクの

試行によって書き込まれたファイルのみがジョブの出力場所に表示されるようにします。このようにマルチパートアップロードを使用することにより、コミットプロトコルはジョブコミットのパフォーマンスをデフォルトの `SQLHadoopMapReduceCommitProtocol` よりも向上させます。EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルを使用するにあたっては、従来のマルチパートアップロードとのいくつかの重要な違いを考慮する必要があります。

- マルチパートアップロードは常にファイルサイズに関係なく実行されます。これは EMRFS のデフォルトの動作とは異なり、マルチパートアップロードがトリガーされるファイルサイズは `fs.s3n.multipart.uploads.split.size` プロパティで制御されます。
- タスクがコミットされるか中止されるまで、マルチパートアップロードは長期間不完全な状態になります。これは EMRFS のデフォルトの動作とは異なり、タスクで指定されたファイルの書き込みが終了するとマルチパートアップロードが完了します。

このような違いにより、タスクが実行されて Amazon S3 へのデータの書き込みが行われているときに Spark Executor JVM がクラッシュしたり強制終了されたりする、またはジョブが実行しているときに Spark Driver JVM がクラッシュしたり強制終了されたりすると、不完全なマルチパートアップロードが残される可能性が高くなります。そのため、EMRFS S3 に最適化されたコミットプロトコルを使用するときは、失敗したマルチパートアップロードの管理に関するベストプラクティスに従ってください。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の Amazon S3 バケットの処理に関するベストプラクティスを参照してください。

ジョブの調整に関する考慮事項

Spark エグゼキューターで、EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルは、タスクがコミットされるか中止されるまで、タスクの試行によって書き込まれた各ファイルのために少量のメモリを消費します。ほとんどのジョブで消費されるメモリの量は無視できる程度です。

Spark ドライバーで、EMRFS S3 向けに最適化されたコミットプロトコルには、ジョブがコミットまたは中止されるまで、コミットされた各ファイルのメタデータ情報を保存するためのメモリが必要です。ほとんどのジョブでは、Spark ドライバーのデフォルトのメモリ設定はごくわずかです。

多数のファイルを書き込む長時間のタスクを含むジョブの場合、コミットプロトコルが消費するメモリが多くなり、Spark、特に Spark エグゼキューターに割り当てられたメモリの調整が必要になることがあります。Spark ドライバーの `spark.driver.memory` プロパティと Spark エグゼキューターの `spark.executor.memory` プロパティを使用してメモリを調整できます。ガイドラインとして、100,000 個のファイルを書き込む 1 つのタスクでは、一般的に 100 MB のメモリを追加する必要があります。詳細については、Apache Spark Configuration ドキュメントの「Application Properties」を参照してください。

EMRFS で Amazon S3 リクエストを再試行する

このトピックでは、EMRFS を使用して Amazon S3 にリクエストを行うときに使用できる再試行戦略について説明します。リクエストレートが上昇すると、S3 は新しいレートをサポートするためにスケーリングを試みます。このプロセス中、S3 はリクエストをスロットルし、`503 Slow Down` エラーを返す場合があります。S3 リクエストの成功率を高めるために、`emrfs-site` 設定でプロパティを設定し、再試行戦略を調整できます。

次の方法で再試行戦略を調整できます。

- デフォルトのエクスポネンシャルバックオフ再試行戦略の再試行上限を増やします。
- additive-increase/multiplicative-decrease (AIMD) 再試行戦略を有効にして設定します。AIMD は Amazon EMR リリース 6.4.0 以降でサポートされています。

デフォルトのエクスポネンシャルバックオフ戦略を使用する

デフォルトでは、EMRFS はエクスポネンシャルバックオフ戦略を使用して Amazon S3 リクエストを再試行します。EMRFS のデフォルトの再試行上限は 15 です。S3 `503 Slow Down` エラーを回避するために、新しいクラスターを作成するときに、実行中のクラスターで、またはアプリケーションのランタイムで、再試行上限を増やすことができます。

再試行上限を増やすには、`emrfs-site` で `fs.s3.maxRetries` の値を変更する必要があります。以下の設定例では、`fs.s3.maxRetries` をカスタム値の 30 に設定します。

```
[
    {
      "Classification": "emrfs-site",
      "Properties": {
        "fs.s3.maxRetries": "30"
      }
    }
]
```

設定オブジェクトの処理の詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

AIMD 再試行戦略を使用する

Amazon EMR リリース 6.4.0 以降では、EMRFS は、additive-increase/multiplicative-decrease (AIMD) モデルに基づく代替再試行戦略をサポートします。AIMD 再試行戦略は、大規模な Amazon EMR クラスターで作業する場合に特に便利です。

AIMD は、最近の成功したリクエストに関するデータを使用してカスタムリクエストレートを計算します。この戦略では、スロットリングされるリクエストの数と、リクエストごとに必要な合計試行数が減少します。

AIMD 再試行戦略を有効にするには、以下の例のように、emrfs-site 設定で fs.s3.aimd.enabled プロパティを true に設定する必要があります。

```
[
    {
      "Classification": "emrfs-site",
      "Properties": {
        "fs.s3.aimd.enabled": "true"
      }
    }
]
```

設定オブジェクトの処理の詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

詳細な AIMD 再試行設定

次の表にリストされているプロパティを設定して、AIMD 再試行戦略を使用するときの再試行の動作を詳細に指定できます。大部分のユースケースで、デフォルト値を使用することをお勧めします。

高度な AIMD 再試行戦略のプロパティ

プロパティ	デフォルト値	説明
fs.s3.aimd.increaseIncrement	0.1	連続するリクエストが成功したときにリクエストレートが上昇する速さを制御します。
fs.s3.aimd.reductionFactor	2	Amazon S3 が 503 レスポンスを返すときにリクエストレートが減少する速さを制御します。デフォルト係数の 2 は、リクエストレートを半分に削減します。
fs.s3.aimd.minRate	0.1	リクエストで S3 による持続的なスロットリングが生じる

プロパティ	デフォルト値	説明
		場合のリクエストレートの下限を設定します。
`fs.s3.aimd.initialRate`	5500	初期リクエストレートを設定します。その後、これは、`fs.s3.aimd.increaseIncrement` と `fs.s3.aimd.reductionFactor` に指定する値に従って変わります。 初期レートは GET リクエストにも使用され、PUT リクエストに比例してスケーリングされます (3500/5500)。
`fs.s3.aimd.adjustWindow`	2	リクエストレートを調整する頻度を制御し、応答数で測定します。
`fs.s3.aimd.maxAttempts`	100	リクエストを試行する最大試行回数を設定します。

Spark ステップを追加する

Amazon EMR ステップを使用すると、EMR クラスターにインストールされた Spark フレームワークに作業を送信できます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「[ステップ](#)」を参照してください。コンソールと CLI では、`spark-submit` スクリプトをステップとして自動的に実行する Spark アプリケーションステップを使用してこれを行います。API では、ステップを使用し、`spark-submit` を使用して `command-runner.jar` を呼び出します。

Spark へのアプリケーションの送信の詳細については、Apache Spark ドキュメントの「[アプリケーションの送信](#)」を参照してください。

コンソールを使用して Spark ステップを送信する

1. https://console.aws.amazon.com/emr で Amazon EMR コンソールを開きます。
2. [Cluster List] で、クラスターの名前を選択します。
3. [Steps (ステップ)] セクションまでスクロールして展開し、[Add step (ステップの追加)] を選択します。
4. [Add Step] ダイアログボックスで、次のようにします。
    - [Step type] では、[Spark application] を選択します。
    - [Name] では、デフォルト名（Spark アプリケーション）を使用するか、または新しい名前を入力します。
    - [Deploy mode] で、[Client] または [Cluster] を選択します。クライアントモードでは、クラスターのプライマリインスタンスでドライバープログラムが起動されますが、クラスターモードではクラスター上でドライバープログラムが起動されます。クライアントモードの場合、ドライバーのログ出力はステップログに表示され、クラスターモードの場合、ドライバーのログ出力は最初の YARN コンテナのログに表示されます。詳細については、Apache Spark ドキュメントで「クラスターモードの概要」を参照してください。
    - 目的の Spark-submit オプション を指定します。`spark-submit` オプションの詳細については、「spark-submit を使用したアプリケーションの起動」を参照してください。
    - [Application location] で、アプリケーションのローカルまたは S3 URI パスを指定します。
    - [Arguments (引数)] は、フィールドを空のままにします。
    - [Action on failure (失敗時の操作)] では、デフォルトのオプション ([Continue (続行)]) を使用します。
5. [Add] (追加) を選択します。ステップは、[Pending] というステータスでコンソールに表示されます。
6. ステップが実行されると、ステータスは [Pending (保留中)] から [Running (実行中)]、[Running (実行中)] から [完了済み] に変更されます。スタータスを更新するには、[Actions] (アクション) 列の上にある [Refresh] (更新) アイコンを選択します。
7. ステップの結果は、ロギングを設定している場合、Amazon EMR コンソールの [Cluster Details] (クラスターの詳細) ページの [Log Files] (ログファイル) にあるステップの横に表示されます。オプションで、クラスターを起動したときに設定したログバケットにステップの情報が記載されています。

を使用して Spark に作業を送信するには AWS CLI

クラスターを作成するか、既存のクラスターで `aws emr add-steps` サブコマンドを使用するとき、ステップを送信します。

1. 次の例に示すように、`create-cluster` を使用します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Add Spark Step Cluster" --release-label emr-7.9.0 --
applications Name=Spark \
--ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
--steps Type=Spark,Name="Spark Program",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[--
class,org.apache.spark.examples.SparkPi,/usr/lib/spark/examples/jars/spark-
examples.jar,10] --use-default-roles
```

代わりに、次の例のように `command-runner.jar` を使用できます。

```
aws emr create-cluster --name "Add Spark Step Cluster" --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Spark --ec2-attributes KeyName=myKey --instance-type m5.xlarge
 --instance-count 3 \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Spark Program",Jar="command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[spark-example,SparkPi,10] --use-default-
roles
```

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

2. または、既に実行中のクラスターにステップを追加します。`add-steps` を使用します。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF --steps
 Type=Spark,Name="Spark Program",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[--
class,org.apache.spark.examples.SparkPi,/usr/lib/spark/examples/jars/spark-
examples.jar,10]
```

代わりに、次の例のように `command-runner.jar` を使用できます。

```
aws emr add-steps --cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF --steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Spark
 Program",Jar="command-runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Args=[spark-
example,SparkPi,10]
```

SDK for Java を使用して作業を Spark に送信するには

1. 次の例は、Java を使用した Spark のあるクラスターにステップを追加する方法を示しています。

```
AWSCredentials credentials = new BasicAWSCredentials(accessKey, secretKey);
AmazonElasticMapReduce emr = new AmazonElasticMapReduceClient(credentials);

StepFactory stepFactory = new StepFactory();
AmazonElasticMapReduceClient emr = new AmazonElasticMapReduceClient(credentials);
AddJobFlowStepsRequest req = new AddJobFlowStepsRequest();
req.withJobFlowId("j-1K48XXXXXXHCB");

List<StepConfig> stepConfigs = new ArrayList<StepConfig>();

HadoopJarStepConfig sparkStepConf = new HadoopJarStepConfig()
   .withJar("command-runner.jar")
   .withArgs("spark-submit","--executor-memory","1g","--
class","org.apache.spark.examples.SparkPi","/usr/lib/spark/examples/jars/spark-
examples.jar","10");

StepConfig sparkStep = new StepConfig()
   .withName("Spark Step")
   .withActionOnFailure("CONTINUE")
   .withHadoopJarStep(sparkStepConf);

stepConfigs.add(sparkStep);
req.withSteps(stepConfigs);
AddJobFlowStepsResult result = emr.addJobFlowSteps(req);
```

2. ステップの結果は、ステップのログを調べることで確認します。ログ記録を有効に AWS Management Console している場合は、「」で「ステップ」を選択し、「ステップ」を選択し、「ログファイル」で`stdout`「」または「」を選択します`stderr`。利用可能なログを表示するには、[View Logs] を選択します。

Spark のデフォルト設定を上書きする

Spark のデフォルト設定値をアプリケーションごとに上書きすることができます。これは、ステップを使用してアプリケーションを送信するとき (原則としてオプションが `spark-submit` に渡されます) に行うことができます。たとえば、`spark.executor.memory` を変更することで、実行プログラムのプロセスに割り当てられたメモリを変更することができます。次のような引数を含む `--executor-memory` スイッチを指定します。

```
spark-submit --executor-memory 1g --class org.apache.spark.examples.SparkPi /usr/lib/
spark/examples/jars/spark-examples.jar 10
```

同様に、`--executor-cores` と `--driver-memory` を調整できます。ステップでは、次の引数をステップに指定できます。

```
--executor-memory 1g --class org.apache.spark.examples.SparkPi /usr/lib/spark/examples/
jars/spark-examples.jar 10
```

さらに、`--conf` オプションを使用して、組み込みスイッチがない設定を調整することもできます。調整可能な他の設定の詳細については、Apache Spark ドキュメントの「Spark プロパティの動的なロード」を参照してください。

Spark アプリケーション履歴を表示する

コンソールでクラスターの詳細ページの [Application user interfaces] (アプリケーションユーザーインターフェイス) タブを使用して、Spark、YARN アプリケーション、および Tez UI の詳細を表示できます。Amazon EMR のアプリケーションユーザーインターフェイス (UI) を使用すると、アクティブなジョブとジョブ履歴のトラブルシューティングや分析を簡単に行うことができます。

詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「アプリケーションの履歴を表示する」を参照してください。

Spark ウェブ UI にアクセスする

Spark ウェブ UI は、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターに接続する」セクションにある SSH トンネルの作成手順とプロキシの作成手順に従い、クラスターの YARN ResourceManager に移動することで表示できます。アプリケーションの UI 追跡の下のリンクを選択します。アプリケーションが実行中の場合、ApplicationMaster が表示されます。ドライバーがどこにあるかにかかわらず、ここからアプリケーションマスターのウェブ UI のポート 20888 に移動できます。YARN クライアントモードで実行する場合、ドライバーはクラスターのプライマリノードにあるかもしれません。YARN クラスターモードでアプリケーションを実行している場合、ドライバーは、クラスター上のアプリケーションの ApplicationMaster にあります。アプリケーションが終了すると、履歴が表示され、EMR クラスターのプライマリノードの、Spark HistoryServer の UI ポート番号 18080 に移動できます。これは、すでに完了したアプリケーション用です。http://*master-public-dns-name*:18080/ でも、Spark HistoryServer の UI ディレクトリに移動できます。

Amazon EMR リリース 5.25.0 以降では、SSH 接続を介してウェブプロキシを設定しなくても、コンソールから Spark 履歴サーバー UI にアクセスできます。詳細については、「永続アプリケーションユーザーインターフェイスの表示」を参照してください。

Spark 構造化ストリーミング Amazon Kinesis Data Streams コネクタの使用

Amazon EMR リリース 7.1.0 以降には、リリースイメージに Spark 構造化ストリーミング Amazon Kinesis Data Streams コネクタが含まれています。このコネクタを使用すると、Amazon EMR で Spark を使用して Amazon Kinesis Data Streams に保存されているデータを処理できます。コネクタは、コンシューマータイプ `GetRecords` (共有スループット) と `SubscribeToShard` (拡張ファンアウト) の両方をサポートします。この統合は `spark-sql-kinesis-connector` に基づいています。コネクタの使用を開始する方法の詳細については、README を参照してください。

次の例は、コネクタを使用して Amazon EMR で Spark アプリケーションを起動する方法を示しています。

```
spark-submit my_kinesis_streaming_script.py
```

Amazon EMR での Apache Spark 用の Amazon Redshift インテグレーションの使用

Amazon EMR リリース 6.4.0 以降では、すべてのリリースイメージに、Apache Spark と Amazon Redshift の間のコネクタが含まれています。このコネクタを使用すると、Amazon EMR で Spark を使用して Amazon Redshift に保存されているデータを処理できます。Amazon EMR リリース 6.4.0 から 6.8.0 では、インテグレーションは `spark-redshift` オープンソースコネクタに基づいています。Amazon EMR リリース 6.9.0 以降では、Apache Spark の Amazon Redshift インテグレーションがコミュニティバージョンからネイティブインテグレーションに移行されました。

トピック

Amazon Redshift integration for Apache Spark を使用した Spark アプリケーションの起動

Amazon EMR リリース 6.4 から 6.9 では、`--jars` または `--packages` オプションを使用して、次の JAR ファイルのうちどのファイルを使用するかを指定する必要があります。`--jars` オプションは、ローカル、HDFS、または HTTP/S を使用して保存される依存関係を指定します。`--jars` オプションでサポートされている他のファイルの場所については、Spark ドキュメントの「Advanced Dependency Management」を参照してください。`--packages` オプションでは、パブリック Maven リポジトリに保存されている依存関係を指定します。

- `spark-redshift.jar`
- `spark-avro.jar`
- `RedshiftJDBC.jar`
- `minimal-json.jar`

Amazon EMR リリース 6.10.0 以降は `minimal-json.jar` 依存関係を必要とせず、デフォルトで他の依存関係を各クラスターに自動的にインストールします。以下の例は、Apache Spark 用の

Amazon Redshift インテグレーションを使用して Spark アプリケーションを起動する方法を示しています。

Amazon EMR 6.10.0 +

次の例は、Amazon EMR リリース 6.10 以降で `spark-redshift` コネクタを使用して Spark アプリケーションを起動する方法を示しています。

```
spark-submit my_script.py
```

Amazon EMR 6.4.0 - 6.9.x

Amazon EMR リリース 6.4 から 6.9 で `spark-redshift` コネクタを使用して Spark アプリケーションを起動するには、次の例に示すように、`--jars` または `--packages` オプションを使用する必要があります。なお、`--jars` オプションに指定されているパスは JAR ファイルのデフォルトのパスであることに注意してください。

```
spark-submit \
  --jars /usr/share/aws/redshift/jdbc/RedshiftJDBC.jar,/usr/share/aws/redshift/
spark-redshift/lib/spark-redshift.jar,/usr/share/aws/redshift/spark-redshift/lib/
spark-avro.jar,/usr/share/aws/redshift/spark-redshift/lib/minimal-json.jar \
  my_script.py
```

Apache Spark 用の Amazon Redshift インテグレーションを使用した認証

AWS Secrets Manager を使用して認証情報を取得し、Amazon Redshift に接続する

次のコードサンプルは、 AWS Secrets Manager を使用して、Python の Apache Spark 用の PySpark インターフェイスを使用して Amazon Redshift クラスターに接続するための認証情報を取得する方法を示しています。

```
from pyspark.sql import SQLContext
import boto3

sc = # existing SparkContext
sql_context = SQLContext(sc)

secretsmanager_client = boto3.client('secretsmanager')
secret_manager_response = secretsmanager_client.get_secret_value(
```

```
    SecretId='string',
    VersionId='string',
    VersionStage='string'
)
username = # get username from secret_manager_response
password = # get password from secret_manager_response
url = "jdbc:redshift://redshifthost:5439/database?user=" + username + "&password=" +
 password

# Read data from a table
df = sql_context.read \
    .format("io.github.spark_redshift_community.spark.redshift") \
    .option("url", url) \
    .option("dbtable", "my_table") \
    .option("tempdir", "s3://path/for/temp/data") \
    .load()
```

IAM を使用して認証情報を取得し、Amazon Redshift に接続する

Amazon Redshift が提供する JDBC バージョン 2 ドライバーを使用し、Spark コネクタで Amazon Redshift に接続できます。 AWS Identity and Access Management (IAM) を使用するには、IAM 認証を使用するように JDBC URL を設定します。Amazon EMR から Redshift クラスターに接続するには、IAM ロールに一時的な IAM 認証情報を取得する権限を付与する必要があります。次の権限を IAM ロールに割り当てて、認証情報を取得して Amazon S3 オペレーションを実行できるようにします。

- Redshift:GetClusterCredentials (プロビジョニングされた Amazon Redshift クラスターの場合)
- Redshift:DescribeClusters (プロビジョニングされた Amazon Redshift クラスターの場合)
- Redshift:GetWorkgroup (Amazon Redshift Serverless ワークグループの場合)
- Redshift:GetCredentials (Amazon Redshift Serverless の場合、ワークグループ)
- s3:GetBucket
- s3:GetBucketLocation
- s3:GetObject
- s3:PutObject
- s3:GetBucketLifecycleConfiguration

`GetClusterCredentials` の詳細については、「`GetClusterCredentials` のリソースポリシー」を参照してください。

また、COPY および UNLOAD オペレーション中に Amazon Redshift が IAM ロールを引き継げるようにする必要があります。

JSON

```
{
    "Version": "2012-10-17",
    "Statement": [
        {
            "Effect": "Allow",
            "Principal": {
                "Service": "redshift.amazonaws.com"
            },
            "Action": "sts:AssumeRole"
        }
    ]
}
```

以下の例では、Spark と Amazon Redshift の間で IAM 認証を使用しています。

```
from pyspark.sql import SQLContext
import boto3

sc = # existing SparkContext
sql_context = SQLContext(sc)

url = "jdbc:redshift:iam://redshift-host:redshift-port/db-name"
iam_role_arn = "arn:aws:iam::account-id:role/role-name"

# Read data from a table
df = sql_context.read \
    .format("io.github.spark_redshift_community.spark.redshift") \
    .option("url", url) \
    .option("aws_iam_role", iam_role_arn) \
    .option("dbtable", "my_table") \
    .option("tempdir", "s3a://path/for/temp/data") \
    .mode("error") \
    .load()
```

Amazon Redshift に対する読み書き

以下のコード例では、PySpark を使用して、データソース API と SparkSQL を使用して Amazon Redshift データベースとの間でサンプルデータを読み書きしています。

Data source API

PySpark を使用して、データソース API を使用して Amazon Redshift データベースとの間でサンプルデータを読み書きします。

```
import boto3
from pyspark.sql import SQLContext

sc = # existing SparkContext
sql_context = SQLContext(sc)

url = "jdbc:redshift:iam://redshifthost:5439/database"
aws_iam_role_arn = "arn:aws:iam::accountID:role/roleName"

df = sql_context.read \
    .format("io.github.spark_redshift_community.spark.redshift") \
    .option("url", url) \
    .option("dbtable", "tableName") \
    .option("tempdir", "s3://path/for/temp/data") \
    .option("aws_iam_role", "aws_iam_role_arn") \
    .load()

df.write \
    .format("io.github.spark_redshift_community.spark.redshift") \
    .option("url", url) \
    .option("dbtable", "tableName_copy") \
    .option("tempdir", "s3://path/for/temp/data") \
    .option("aws_iam_role", "aws_iam_role_arn") \
    .mode("error") \
    .save()
```

SparkSQL

PySpark を使用して、SparkSQL を使用して Amazon Redshift データベースとの間でサンプルデータを読み書きします。

```
import boto3
import json
```

```
import sys
import os
from pyspark.sql import SparkSession

spark = SparkSession \
    .builder \
    .enableHiveSupport() \
    .getOrCreate()

url = "jdbc:redshift:iam://redshifthost:5439/database"
aws_iam_role_arn = "arn:aws:iam::accountID:role/roleName"

bucket = "s3://path/for/temp/data"
tableName = "tableName" # Redshift table name

s = f"""CREATE TABLE IF NOT EXISTS {tableName} (country string, data string)
    USING io.github.spark_redshift_community.spark.redshift
    OPTIONS (dbtable '{tableName}', tempdir '{bucket}', url '{url}', aws_iam_role
 '{aws_iam_role_arn}' ); """

spark.sql(s)

columns = ["country" ,"data"]
data = [("test-country","test-data")]
df = spark.sparkContext.parallelize(data).toDF(columns)

# Insert data into table
df.write.insertInto(tableName, overwrite=False)
df = spark.sql(f"SELECT * FROM {tableName}")
df.show()
```

Spark コネクタを使用する際の考慮事項と制限事項

- Amazon EMR 上の Spark から Amazon Redshift への JDBC 接続に対して SSL を有効にすることをお勧めします。
- ベストプラクティスとして、 AWS Secrets Manager で Amazon Redshift クラスターの認証情報を管理することをお勧めします。例については[AWS Secrets Manager 、「 を使用して Amazon Redshift に接続するための認証情報を取得する](#)」を参照してください。
- Amazon Redshift 認証パラメータのパラメータ `aws_iam_role` を使用して IAM ロールを渡すことをお勧めします。

- `tempdir` URI は Amazon S3 の場所を指します。この一時ディレクトリは、自動的にはクリーンアップされないため、追加コストが発生する可能性があります。
- Amazon Redshift については、次の推奨事項を検討してください。
  - Amazon Redshift クラスターにパブリックにアクセスできないようにすることをお勧めします。
  - Amazon Redshift 監査ログ作成を有効にすることをお勧めします。
  - Amazon Redshift 保管時の暗号化を有効にすることをお勧めします。
- Amazon S3 については、次の推奨事項を検討してください。
  - Amazon S3 バケットへのパブリックアクセスをブロックすることをお勧めします。
  - Amazon S3 サーバー側の暗号化を使用して、使用する Amazon S3 バケットを暗号化することをお勧めします。
  - Amazon S3 ライフサイクルポリシーを使用して、Amazon S3 バケットの保持ルールを定義することをお勧めします。
  - Amazon EMR は、常にオープンソースからイメージにインポートされるコードを検証します。セキュリティのため、Spark から Amazon S3 への次の認証方法はサポートされていません。
    - `hadoop-env` 設定分類での AWS アクセスキーの設定
    - URI `tempdir` での AWS アクセスキーのエンコード

コネクタとそのサポートされているパラメータの使用方法の詳細については、次のリソースを参照してください。

- 「Amazon Redshift 管理ガイド」の「Amazon Redshift integration for Apache Spark」
- Github の `spark-redshift` コミュニティリポジトリ

Spark リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Spark のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

> **Important**
>
> Apache Spark バージョン 2.3.1 は Amazon EMR リリース 5.16.0 以降で利用でき、CVE-2018-8024 および CVE-2018-1334 に対処します。Spark の以前のバージョンを Spark バージョン 2.3.1 以降に移行することをお勧めします。

Spark バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	3.5.5	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-7.8.0	3.5.4	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server,

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
		nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-7.7.0	3.5.3	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-7.6.0	3.5.3	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	3.5.2	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-7.4.0	3.5.2	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	3.5.1	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-7.2.0	3.5.1	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	2.4.8	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-7.1.0	3.5.0	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	3.5.0	delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.15.0	3.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	3.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.13.0	3.4.1	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	3.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.11.1	3.3.2	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	3.3.2	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.10.1	3.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	3.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.9.1	3.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	3.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, delta, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.8.1	3.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	3.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.7.0	3.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	2.4.8	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.36.0	2.4.8	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	3.2.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.35.0	2.4.8	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	3.1.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, iceberg, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.4.0	3.1.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	3.1.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.3.0	3.1.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	3.0.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.2.0	3.0.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	3.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.1.0	3.0.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-6.0.0	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	2.4.8	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.33.1	2.4.7	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	2.4.7	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.32.1	2.4.7	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	2.4.7	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.31.1	2.4.6	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	2.4.6	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.30.2	2.4.5	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	2.4.5	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.30.0	2.4.5	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-notebook-env, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.28.1	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.27.1	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	2.4.4	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.26.0	2.4.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	2.4.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.24.1	2.4.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	2.4.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.23.1	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.22.0	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.21.1	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.20.1	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	2.4.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.19.1	2.3.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	2.3.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.18.1	2.3.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	2.3.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, nginx, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.17.2	2.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	2.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.17.0	2.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, emr-s3-select, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	2.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.16.0	2.3.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.15.0	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.14.1	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.13.1	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	2.3.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.12.3	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.12.1	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.11.4	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.11.2	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.11.0	2.2.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.10.0	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.9.0	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.8.2	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.8.0	2.2.0	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	2.1.1	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.7.0	2.1.1	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	2.1.1	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.6.0	2.1.1	emrfs, emr-goodies, emr-ddb, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.4	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.5.3	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.5.2	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.5.0	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.4.1	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.0	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.3.2	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.3.1	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.2.3	2.0.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.2.2	2.0.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.1	2.0.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.2.0	2.0.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.1.1	2.0.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	2.0.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.0.3	2.0.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.0.2	2.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.1	2.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-5.0.0	2.0.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.9.6	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.5	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.9.4	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.9.3	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.2	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.9.1	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.8.5	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.4	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.8.3	1.6.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.8.2	1.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.1	1.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.8.0	1.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.7.4	1.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.3	1.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.7.2	1.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.7.1	1.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.0	1.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.6.1	1.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.6.0	1.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.5.0	1.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.4.0	1.6.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.3.0	1.6.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-4.2.0	1.5.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.1.0	1.5.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave
emr-4.0.0	1.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave

Apache Sqoop

> **Note**
>
> Apache Sqoop を含む最後のリリースは、Amazon EMR リリース 7.4 でした。Apache Sqoop は Amazon EMR リリース 7.5 以降のリリースから削除されます。

Apache Sqoop は、Amazon S3、Hadoop、HDFS、および RDBMS データベース間でデータを転送するためのツールです。詳細については、Apache Sqoop ウェブサイトを参照してください。Sqoop は、Amazon EMR リリース 5.0.0 以降に含まれています。以前のリリースには、サンドボックスアプリケーションとして Sqoop が含まれています。詳細については、「Amazon EMR 4.x リリースバージョン」を参照してください。

トピック

- Sqoop バージョン情報
- Amazon EMR での Sqoop に関する考慮事項
- Sqoop リリース履歴

Sqoop バージョン情報

バージョン 7.4 の Sqoop バージョン。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Sqoop のバージョンと、Amazon EMR で Sqoop と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

emr-7.4.0 の Spark バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	Sqoop 1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-

Amazon EMR リリースラベル	Spark バージョン	Spark でインストールされるコンポーネント
		server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

6.15.0 用 Sqoop バージョン

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Sqoop のバージョンと、Amazon EMR で Sqoop と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Sqoop と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Sqoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Sqoop 1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

5.36.2 用 Sqoop バージョン

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Sqoop のバージョンと、Amazon EMR で Sqoop と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Sqoop と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Sqoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Sqoop 1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR での Sqoop に関する考慮事項

Amazon EMR で Sqoop を実行するときは、以下について検討します。

HCatalog の統合での Sqoop の使用

Amazon EMR の Sqoop は、Sqoop-HCatalog の統合をサポートします。Sqoop を使用して Amazon S3 の HCatalog テーブルに出力を書き込む場合は、`mapred.output.direct.NativeS3FileSystem` プロパティと `mapred.output.direct.EmrFileSystem` プロパティを `false` に設定して、Amazon EMR の直接書き込み機能を無効にしてください。詳細については、「HCatalog の使用」を参照してください。Hadoop の `-D mapred.output.direct.NativeS3FileSystem=false` および `-D mapred.output.direct.EmrFileSystem=false` コマンドを使用できます。直接書き込みを無効にしない場合、エラーは発生しませんが、テーブルが Amazon S3 で作成され、データは書き込まれません。

Sqoop JDBC およびデータベースサポート

デフォルトでは、Sqoop には MariaDB および PostgreSQL ドライバーがインストールされています。Sqoop にインストールされた PostgreSQL ドライバーは PostgreSQL 8.4 に対してのみ機能します。Sqoop に代替となる一連の JDBC コネクターをインストールするには、クラスターのマスターノードに接続して `/usr/lib/sqoop/lib` にインストールします。以下は各種 JDBC コネクターのリンクです。

- MariaDB: About MariaDB Connector/J
- PostgreSQL: PostgreSQL JDBC driver。
- SQLServer: Download Microsoft JDBC driver for SQL Server。
- MySQL: Download Connector/J
- Oracle: Get Oracle JDBC drivers and UCP from the Oracle Maven repository

Sqoop でサポートされるデータベースが、http://sqoop.apache.org/docs/*version*/SqoopUserGuide.html#_supported_databases で一覧になっています。ここで、*version* は使用する Sqoop のバージョン (1.4.6 など) です。JDBC 接続文字列がこのリストの文字列に一致しない場合は、ドライバーを指定する必要があります。

例えば、次のコマンドを使用して Amazon Redshift データベーステーブルにエクスポートできます (JDBC 4.1 の場合)。

```
sqoop export --connect jdbc:redshift://$MYREDSHIFTHOST:5439/mydb --
table mysqoopexport --export-dir s3://amzn-s3-demo-bucket/myinputfiles/ --driver
 com.amazon.redshift.jdbc41.Driver --username master --password Mymasterpass1
```

MariaDB と MySQL 両方の接続文字列を使用できますが、MariaDB 接続文字列を指定する場合は、ドライバーを指定する必要があります。

```
sqoop export --connect jdbc:mariadb://$HOSTNAME:3306/mydb --table mysqoopexport --
export-dir s3://amzn-s3-demo-bucket/myinputfiles/ --driver org.mariadb.jdbc.Driver --
username master --password Mymasterpass1
```

Secure Socket Layer 暗号化を使用してデータベースに接続している場合、次の Sqoop エクスポート例にあるような JDBC URI を使用する必要があります。

```
sqoop export --connect jdbc:mariadb://$HOSTNAME:3306/mydb?
verifyServerCertificate=false&useSSL=true&requireSSL=true --table mysqoopexport --
```

```
export-dir s3://amzn-s3-demo-bucket/myinputfiles/ --driver org.mariadb.jdbc.Driver --
username master --password Mymasterpass1
```

RDS での SSL 暗号化の詳細については、「Amazon RDS ユーザーガイド」の「SSL を使用した DB インスタンスへの接続の暗号化」を参照してください。

詳細については、Apache Sqoop ドキュメントを参照してください。

パスワードの保護

パスワードを安全に渡す方法はいくつかあります。

Java KeyStore

推奨の方法では、Java KeyStore (JKS) を使用してパスワードを暗号化するため、パスワードを読み取り可能な形式で保存する必要がありません。

1. パスワードエイリアスを作成します。プロンプトが表示されたら、データベースへのアクセスに使用するパスワードを入力します。

```
hadoop credential create mydb.password.alias -provider jceks://hdfs/user/root/
mysql.password.jceks
```

2. パスワードエイリアスを使用して Sqoop ジョブを起動します。

```
sqoop export -Dhadoop.security.credential.provider.path=jceks://hdfs/user/
root/mysql.password.jceks --connect jdbc:mariadb://$HOSTNAME:3306/mydb --table
 mysqoopexport --export-dir s3://amzn-s3-demo-bucket/myinputfiles/ --driver
 org.mariadb.jdbc.Driver --username master --password-alias mydb.password.alias
```

--password-file

次の例に示すように、`--password-file` コマンドを使用してパスワードを渡すことができます。

1. パスワードを含む新しいファイルを作成します。

```
echo -n 'Mymasterpass1' > /home/hadoop/mysql-pass.password
```

2. このファイルを使用して Sqoop ジョブを起動します。

```
sqoop export --connect jdbc:mariadb://$HOSTNAME:3306/mydb --table
 mysqoopexport --export-dir s3://amzn-s3-demo-bucket/myinputfiles/ --driver
 org.mariadb.jdbc.Driver --username master --password-file /home/hadoop/mysql-
pass.password
```

-P

次の例に示すように、-P コマンドを使用して、プロンプトからパスワードを入力できます。

```
sqoop export --connect jdbc:mariadb://$HOSTNAME:3306/mydb --table mysqoopexport --
export-dir s3://amzn-s3-demo-bucket/myinputfiles/ --driver org.mariadb.jdbc.Driver
 --username master -P
```

Sqoop リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Sqoop のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Sqoop バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
		timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-7.3.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-7.2.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-7.1.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.15.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.13.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.11.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.10.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.9.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.8.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.7.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.36.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.35.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.4.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.3.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.2.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-6.1.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.33.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.32.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.31.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.30.2	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client
emr-5.30.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mariadb-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.28.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.27.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.26.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.24.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.23.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.22.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.21.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.20.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.19.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.18.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.17.2	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.17.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.16.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.16.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.15.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.14.1	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.0	1.4.7	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.13.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.12.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.12.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.11.4	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.11.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.11.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.10.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.10.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.9.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.8.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.8.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.7.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.6.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, mysql-server, sqoop-client
emr-5.5.4	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.5.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.5.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.4.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.4.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.3.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.3.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.2.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.2.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.1.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.1.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.0.2	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client
emr-5.0.1	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

Amazon EMR リリースラベル	Sqoop バージョン	Sqoop でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	1.4.6	emrfs, emr-ddb, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, mysql-server, sqoop-client

TensorFlow

TensorFlow は、機械知能および深層学習アプリケーション向けのオープンソースの記号数学ライブラリです。詳細については、「TensorFlow ウェブサイト」を参照してください。TensorFlow は、Amazon EMR リリースバージョン 5.17.0 以降で使用できます。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている TensorFlow のバージョンと、Amazon EMR で TensorFlow と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで TensorFlow と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の TensorFlow バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	TensorFlow 2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている TensorFlow のバージョンと、Amazon EMR で TensorFlow と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで TensorFlow と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の TensorFlow バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	TensorFlow 2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている TensorFlow のバージョンと、Amazon EMR で TensorFlow と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで TensorFlow と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の TensorFlow バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	TensorFlow 2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EC2 インスタンスタイプ別の TensorFlow のビルド

Amazon EMR で使用される TensorFlow ライブラリのビルドは、クラスター用に選択したインスタンスタイプによって異なります。Amazon EMR は、EMR-7.5.0 以降の aarch64 (Graviton) インスタンスタイプのクラスターで TensorFlow をサポートしています。次の表にインスタンスタイプ別のビルドを示します。

EC2 インスタンスタイプ	TensorFlow のビルド
M5 および C5	TensorFlow 2.16.1 (Intel MKL で最適化)
P2、P4D、P5、G4DN、G5、G6、GR6	TensorFlow 2.16.1 (CUDA 12.3、cuDNN 8.9.7.29 を使用)
P3、P3DN、G3、G3S	Tensorflow 2.16.1 と CUDA 12.3、cuDNN 8.9.7.29、NCCL 2.20.3-1 NVIDIA NCCL は、P3 インスタンスでのみ使用できます。エンドユーザーライセンス契約 (EULA): Amazon EMR で Nvidia のコンポーネントを使用すると、製品の EULA に概説されている諸条件に同意したことになります。
Graviton インスタンスを除くその他すべてのインスタンス	TensorFlow 2.16.1

セキュリティ

「Using TensorFlow Securely」に記載されているガイダンスに従うことに加え、信頼できるソースへのアクセスを制限できるよう、プライベートサブネットでクラスターを起動することをお勧めします。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon VPC オプション」を参照してください。

TensorBoard の使用

TensorBoard は、TensorFlow プログラム用の一連の可視化ツールです。詳細については、TensorFlow のウェブサイトにある「TensorBoard: Visualized Learning」を参照してください。

Amazon EMR で TensorBoard を使用するには、クラスターのマスターノードで TensorBoard を起動する必要があります。

Amazon EMR で TensorBoard と TensorFlow を使用するには

1. SSH を使用してクラスターのマスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。
2. マスターノードで TensorBoard を起動するには、次のコマンドを入力します。サマリーライターを使用して概略データの生成と格納を行ったマスターノードのディレクトリで *`/my/log/directory`* を置き換えます。

   Amazon EMR 5.19.0 and later

   ```
   python3 -m tensorboard.main --logdir=/home/hadoop/tensor --bind_all
   ```

   Amazon EMR 5.18.1 and earlier

   ```
   python3 -m tensorboard.main --logdir=/my/log/dir
   ```

   デフォルトでは、マスターノードはポート 6006 とマスターパブリック DNS 名を使用して TensorBoard をホストします。TensorBoard を起動すると、次の例に示すように、TensorBoard への接続に使用できる URL がコマンドラインの出力に表示されます。

   ```
   TensorBoard 2.16.1 at http://master-public-dns-name:6006 (Press CTRL+C to quit)
   ```
3. 信頼できるクライアントからマスターノードのウェブインターフェイスへのアクセスを設定します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR クラスターでホストされているウェブインターフェイスの表示」を参照してください。
4. `http://`*`master-public-dns-name`*`:6006` で TensorBoard を開きます。

TensorFlow リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている TensorFlow のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

TensorFlow バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.8.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.7.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.6.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
		hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.5.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.4.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-7.3.0	2.16.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.2.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.36.2	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-7.0.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.15.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.14.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.13.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.12.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.11.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.10.1	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.0	2.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.9.1	2.10.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.9.0	2.10.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	2.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.8.0	2.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.7.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.1	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.36.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.6.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.5.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.4.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.3.1	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.3.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.2.1	2.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	2.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.1.1	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.1.0	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-6.0.1	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-6.0.0	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.34.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.33.0	2.4.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.32.1	2.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.0	2.3.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.31.1	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.31.0	2.1.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.30.1	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.30.0	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.29.0	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.28.1	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.28.0	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.27.0	1.14.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.26.0	1.13.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.25.0	1.13.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.24.1	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.24.0	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.23.0	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.22.0	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.2	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.21.1	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.21.0	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.20.0	1.12.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.19.1	1.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.0	1.11.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.18.1	1.9.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.18.0	1.9.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Amazon EMR リリースラベル	TensorFlow バージョン	TensorFlow でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	1.9.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.17.1	1.9.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow
emr-5.17.0	1.9.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tensorflow

Apache Tez

Apache Tez は、データを処理するためのタスクの複合 Directed Acyclic Graph (DAG) を作成するフレームワークです。一部のユースケースでは、これを Hadoop MapReduce の代わりに使用できます。例えば、Pig および Hive ワークフローは Hadoop MapReduce を使用して実行できます。または、実行エンジンとして Tez を使用できます。詳細については、https://tez.apache.org/ を参照してください。Amazon EMR リリース 4.7.0 以降には Tez が含まれています。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Tez のバージョンと、Amazon EMR で Tez と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Tez と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Tez バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Tez 0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Tez のバージョンと、Amazon EMR で Tez と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Tez と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Tez バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Tez 0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Tez のバージョンと、Amazon EMR で Tez と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Tez と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Tez バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Tez 0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

トピック

Tez を使用したクラスターの作成

Tez をインストールするには、クラスターの作成時にアプリケーションとして Apache Tez を選択します。

コンソールを使用し、Tez がインストールされたクラスターを作成するには

1. 新しい Amazon EMR コンソールに移動し、サイドナビゲーションから [古いコンソールに切り替え] を選択します。古いコンソールに切り替えたときの動作の詳細については、「Using the old console」を参照してください。
2. [Create cluster (クラスターの作成)]、[Go to advanced options (詳細オプションに移動する)] の順に選択します。
3. [ソフトウェア設定] で、[emr-4.7.0] 以降の [リリース] を選択します。
4. [Tez] と Amazon EMR でインストールする他のアプリケーションを選択します。
5. 必要に応じて他のオプションを選択し、[Create cluster (クラスターの作成)] を選択します。

を使用して Tez でクラスターを作成するには AWS CLI

- `create-cluster` コマンドと `-- applications` オプションを使用して [Tez] を指定します。次の例では、Tez がインストールされたクラスターを作成します。

> Note
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --name "Cluster with Tez" --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Tez --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 --use-default-roles
```

Tez の設定

Tez をカスタマイズするには、値を設定して、tez-site 設定分類を使用します。これにより、tez-site.xml 設定ファイルが設定されます。詳細については、Apache Tez ドキュメントの TezConfiguration を参照してください。Hive または Pig を変更して Tez 実行エンジンを使用するには、必要に応じて hive-site と pig-properties 設定分類を使用します。次に例を示します。

設定例

Example 例: Tez のルートログインレベルを変更して Tez を Hive や Pig の実行エンジンとして設定する

次に示す create-cluster コマンドの例では、Tez、Hive、および Pig がインストールされたクラスターを作成します。このコマンドでは、Amazon S3 に格納されているファイル myConfig.json を参照します。そのファイルは tez-site 分類のプロパティを指定して tez.am.log.level を DEBUG に設定し、hive-site と pig-properties 設定分類を使用して Hive や Pig の実行エンジンを Tez に設定します。

> **Note**
>
> 読みやすくするために、Linux 行連続文字 (\) が含まれています。Linux コマンドでは、これらは削除することも、使用することもできます。Windows の場合、削除するか、キャレット (^) に置き換えてください。

```
aws emr create-cluster --release-label emr-7.9.0 \
--applications Name=Tez Name=Hive Name=Pig --ec2-attributes KeyName=myKey \
--instance-type m5.xlarge --instance-count 3 \
--configurations https://s3.amazonaws.com/amzn-s3-demo-bucket/myfolder/myConfig.json --
use-default-roles
```

myConfig.json のコンテンツの例を以下に示します。

```
[
    {
      "Classification": "tez-site",
      "Properties": {
        "tez.am.log.level": "DEBUG"
      }
    },
    {
      "Classification": "hive-site",
      "Properties": {
        "hive.execution.engine": "tez"
      }
    },
    {
      "Classification": "pig-properties",
      "Properties": {
        "exectype": "tez"
      }
    }
  ]
```

> **Note**
>
> Amazon EMR バージョン 5.21.0 以降では、実行中のクラスター内のインスタンスグループごとに、クラスター設定を上書きして追加の設定分類を指定できます。これを行うには、Amazon EMR コンソール、 AWS Command Line Interface (AWS CLI)、または AWS SDK を使用します。詳細については、「実行中のクラスター内のインスタンスグループの設定を指定する」を参照してください。

Tez 非同期分割オープニング

テーブルパスに小さなファイルが多数あり、クエリがそれらをすべて読み込もうとすると、個々の分割に対応する、それぞれの小さなファイルが 1 つの Tez グループ分割にまとめられます。次に、単一のマッパーが単一の Tez グループ化分割を処理します。実行は同期的に行われるため、グループ分割の下にある個々の分割は 1 つずつ処理されます。そのためには、`RecordReader` オブジェクトは分割を同期的に処理する必要があります。

Amazon EMR 6.15.0 では、Tez グループ分割で入力分割を非同期的に開くように指定できる設定が導入されています。この機能は TEZ-4397 で開始されましたが、OSS Hive ではリグレッションが発

生していました。EMR Hive は、Hive ACID テーブルのリグレッションと追加のバグを修正しました。この改善により、1 つの Tez グループ分割に多数の入力分割がある場合、読み取りクエリのパフォーマンスが向上します。

名前	分類	説明
`tez.grouping.split.init.threads`	`tez-site`	Tez が `RecordReaders` およびオープン分割を事前に開始するために使用するデーモンスレッドの数を指定します。ACID テーブルの場合、サポートされる `tez.grouping.split.init.threads` の最大値は 1 です。
`tez.grouping.split.init.recordreaders`	`tez-site`	デーモンスレッドによって事前に初期化されたままにする `RecordReaders` の数を指定します。これは Tez のグループ分割に `InputSplits` が多数含まれている場合に役立ちます。このような入力分割を処理するための `RecordReaders` の初期化は、逐次処理ではなくデーモンスレッドで非同期的に行うことができます。

設定に関する注意事項 :

件名	詳細	
推奨される設定	上記の設定は、 `hive-site` と の両方で必要な値に設定することをお勧めします`tez-site`。	

件名	詳細	
値の一致	構成設定の値は、 hive-site と の両方で同じである必要がありますtez-site。	
LLAP レコメンデーション	LLAP が有効になっている場合、この機能を使用することはお勧めしません。	

Tez 非同期分割オープンのベンチマーク

Tez の非同期分割オープン機能のベンチマークには、以下の環境と構成を使用しました。

- ベンチマーク環境 - m5.16xlarge を使用するプライマリノードが 1 つ、m5.16xlarge を使用するコアノードが 16 個の Amazon EMR クラスター。
- ベンチマーク設定 - 単一の Tez グループ分割に多数の入力分割がある場合のベンチマークシナリオをシミュレートするには、`tez.grouping.split-count` を 1 に設定します。
- ベンチマークに使用されるテーブル - テーブルには 200 個のパーティションがあり、各パーティションには 1 つのファイルが含まれます。ベンチマークは、そのテーブルに CSV ファイルが含まれている場合と、そのテーブルにパーケットファイルが含まれている場合について行われます。ベンチマーク用の Hive クエリ: テーブルから `SELECT COUNT(*)` を 10 回実行し、平均実行時間を取得します。
- Tez 非同期分割オープンを有効にする設定 - 以下のとおりです。
  - `tez.grouping.split.init.threads` = 4
  - `tez.grouping.split.init.recordreaders` = 10

データセット	機能が無効 (ベースライン)	機能が有効	改善点
CSV データセット	90.26 秒	79.20 秒	12.25%
Parquet データセット	54.67 秒	42.23 秒	22.75%

Tez ウェブ UI

Tez には、独自のウェブユーザーインターフェイスがあります。ウェブ UI を表示するには、次の URL を参照してください。

```
http://masterDNS:8080/tez-ui
```

Tez ウェブ UI で [Hive クエリ] タブを有効にするには、次の設定を指定します。

```
[
  {
    "Classification": "hive-site",
    "Properties": {
      "hive.exec.pre.hooks": "org.apache.hadoop.hive.ql.hooks.ATSHook",
      "hive.exec.post.hooks": "org.apache.hadoop.hive.ql.hooks.ATSHook",
      "hive.exec.failure.hooks": "org.apache.hadoop.hive.ql.hooks.ATSHook"
    }
  }
]
```

コンソールでクラスターの詳細ページの [Application user interfaces] (アプリケーションユーザーインターフェイス) タブを使用して、Tez、Spark、YARN アプリケーション UI の詳細を表示することもできます。Amazon EMR アプリケーションユーザーインターフェイス (UI) はクラスター外でホストされ、クラスターが終了した後に使用できます。SSH 接続やウェブプロキシを設定する必要がなく、アクティブなジョブとジョブ履歴のトラブルシューティングおよび分析が容易になります。

詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「アプリケーションの履歴を表示する」を参照してください。

タイムラインサーバー

YARN Timeline Server は、Tez がインストールされている場合に実行されるよう設定されます。Timeline Server を使用して Tez または MapReduce 実行エンジンを通じて送信されたジョブを表示するには、URL `http://master-public-DNS:8188` を使用してウェブ UI を確認します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR クラスターでホストされているウェブインターフェイスの表示」を参照してください。

Tez リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている Tez のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Tez バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.8.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.7.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
		hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.6.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.5.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.3.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.2.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-7.1.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-7.0.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.14.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.13.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.12.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.11.1	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.11.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.10.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn, tez-on-worker
emr-6.9.1	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.9.0	0.10.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.8.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.8.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.36.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.36.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.6.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.35.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.5.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.3.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.3.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.2.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.2.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.1.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.0.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-6.0.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.34.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.33.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.33.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.32.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.31.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.31.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.30.2	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.30.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.29.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.28.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.28.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.27.1	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.27.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.25.0	0.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.24.1	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.24.0	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.23.1	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.23.0	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.21.2	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.21.1	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.21.0	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.20.1	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.20.0	0.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.19.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.18.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.18.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.17.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.17.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.16.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.16.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.15.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.15.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.14.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.14.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.13.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.13.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.12.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.12.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.12.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.11.4	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.11.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.11.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.10.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.10.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.9.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.9.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.8.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.8.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.8.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.8.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.7.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.7.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.6.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.6.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.5.4	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.5.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.5.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.5.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.5.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.4.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.4.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.3.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.3.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.3.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.2.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.2.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.2.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.2.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.1.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.1.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.0.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-5.0.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.0.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-5.0.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.6	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.9.5	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.9.4	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-4.9.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.9.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.9.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.5	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.8.4	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.8.3	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-4.8.2	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.8.1	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.8.0	0.8.4	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.4	0.8.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.7.3	0.8.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.7.2	0.8.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Amazon EMR リリースラベル	Tez バージョン	Tez でインストールされるコンポーネント
emr-4.7.1	0.8.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn
emr-4.7.0	0.8.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-mapred, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, tez-on-yarn

Tez リリースノート (バージョン別)

トピック

- Amazon EMR 6.15.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.14.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.13.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.12.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.11.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.10.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.9.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.8.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.7.0 - Tez リリースノート
- Amazon EMR 6.6.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.8.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.8.0 - Tez の変更

タイプ	説明
改良点	HADOOP に合わせて bouncycastle バージョンを 1.78 にアップグレードしました

Amazon EMR 7.7.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.7.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
改良点	Apache Tez の `tez.task.relaxed.locality` プロパティは、タスクスケジューリングがデータローカリティの制約 (ラックとノードのローカリティ) に厳密に従うかどうかを制御します。(EMR-7.6+ の`true`デフォルト) に設定すると、Tez はローカリティを適用せず、使用可能なコンテナにタスクを割り当てることができます。これにより、リソース使用率

タイプ	説明
	が向上し、ビジー状態のクラスターの待機時間が短縮されます。

Amazon EMR 7.6.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.6.0 - Tez の変更

タイプ	説明
改良点	デフォルト `tez.task.relaxed.locality` を false に変更することで、タスクのコンテナをリクエストしている間、ラックとノードのローカリティの制約は考慮されません。
改善点	ローカル性による遅延を無効にし、ローカル以外のフォールバックを許可するように設定を調整する
改善点	TEZ-4547: JobConf に Tez AM JobID を追加する

Amazon EMR 7.5.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.5.0 - Tez の変更

タイプ	説明
改良点	デフォルトでタスクのプリエンプションが有効になりました
改善点	非同期およびプロアクティブに初期化するレコードリーダーの数を 10 に増やしました

タイプ	説明
改善点	TEZ-4580: 再利用が有効になっている場合、新しいコンテナのプリエンプションが遅い

Amazon EMR 7.4.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.4.0 - Tez の変更

タイプ	説明
改良点	HADOOP-17524 を介して Hadoop 3.4.0 で削除された Tez から EventCounter アペンダーを削除する
アップグレード	commons-cli を 1.5.0 にアップグレードする
アップグレード	bouncy-castle バージョンを 1.70.0 にアップグレードする

Amazon EMR 7.2.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.2.0 - Tez の変更

タイプ	説明
改良点	タスクのコンテナをリクエストするときに、ローカル性の制約を無効にするためのオプションを提供します。
バグ修正	TaskDependencies#addTaskDependency スレッドを安全にする
アップグレード	Tez の TLS バージョンを 1.3 にアップグレードします。

Amazon EMR 7.2.0 - 新しい設定

分類	名前	デフォルト	説明
tez-site	tez.task.relaxed.locality	false	有効にすると、タスクのコンテナをリクエストするときに、ラックとノードのローカル性の制約は考慮されません。

Amazon EMR 7.1.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.1.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
バグ修正	TEZ-4394 – Netty4 ShuffleHandler: 1 つのボススレッド (#256) を使用する必要があります
アップグレード	Netty を 4.1.100.Final にアップグレードします。
アップグレード	Jetty を 9.4.53.v20231009 にアップグレードします。

Amazon EMR 7.0.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 7.0.0 Tez には、Amazon EMR-6.15.0 Tez までに行われたすべての変更と更新が含まれています。

Amazon EMR 7.0.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
アップグレード	Tez Runtime はデフォルトで Java 17 を使用するようになりました。詳細については、EMR 7.0.0 リリースガイドを参照してください。

Amazon EMR 6.15.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.15.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
機能	TEZ-4397: オープン Tez 入力が非同期的に分割される
アップグレード	TEZ-4493: Apache Hadoop を 3.3.6 にアップグレード

Amazon EMR 6.15.0 - Tez 機能

- Tez 非同期分割オープン - Amazon EMR 6.15.0 では、入力分割を Tez グループ分割で非同期的に開くように指定できる構成が導入されています。この機能は TEZ-4397 で開始されましたが、OSS Hive ではリグレッションが発生していました。Amazon EMR Hive では Hive ACID テーブルのリグレッションとその他のバグが修正されました。この改善により、1 つの Tez グループ分割で多数の入力分割がある場合に、読み取りクエリのパフォーマンスが向上します。詳細については、「Tez 非同期分割オープニング」を参照してください。

Amazon EMR 6.14.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.14.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
改良点	Tez の TLS バージョンを 1.2 に更新します

Amazon EMR 6.13.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.13.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
バグ修正	REVERT TEZ-4295: データを解凍できませんでした。バッファ長が小さすぎます。
バグ修正	REVERT TEZ-4302: `GzipCodec` を伴う `CodecUtils` での `NullPointerException` 。
バグ修正	REVERT TEZ-4234: 制限が容量を超えると、コンプレッサーが `Buffer.limit` での `IllegalArgumentException` の原因となることがあります。
バグ修正	REVERT TEZ-4135: インメモリ読み取りの実行時のメモリ割り当てを改善します。

Amazon EMR 6.12.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.12.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
改良点	JDK 11 と JDK 17 ランタイムのサポートが追加されました
バグ修正	TEZ-4492: Bower レジストリ CERT_EXPIRE の問題 (BOWER-2608) を回避するため、bower.herokuapp ミラーを使用するように Bowerrc を更新します
アップグレード	Surefire を 3.0.0-M7 にアップグレードしました

Amazon EMR 6.11.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.11.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
バグ	シャッフルデータの頂点レベルクリーンアップ中の無効な頂点状態遷移が修正されました
バグ	シャッフルデータの DAG または頂点レベルのクリーンアップが機能しない問題が修正されました
改良点	完了した DAG のシャッフルデータをクリアするために tez.am.dag.cleanup.on.completion をデフォルトで有効にします

Amazon EMR 6.10.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.10.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
機能	デフォルトで `tez.runtime.transfer.data-via-events.enabled` を有効にします
バックポート	TEZ-4450: シャッフルデータがデータ移動イベント経由で転送された際のシャッフルデータ取得の失敗を修正します
バックポート	TEZ-4460: Tez シャッフルハンドラーからシャッフルデータを取得する際の読み取りタイムアウトエラーを修正します
バックポート	TEZ-4455: デバッグしやすくするために、ShuffleHandler パイプラインに LoggingHandler を追加します

タイプ	説明
バグ	タスクのプリエンプションが有効になっていると、Tez タスクが断続的に停止してしまう問題を修正します

Amazon EMR 6.9.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.9.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
アップグレード	Tez は 0.10.2 にアップグレードされました。詳細については、「change log for Apache Tez 0.10.2」を参照してください。
アップグレード	Hadoop を 3.3.3 に更新します。
バグ	TEZ-4450 のため、`tez.runtime.transfer.data-via-events.enabled` をデフォルトで無効にします。

Amazon EMR 6.8.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.8.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
バックポート	TEZ-3363: シャッフルハンドラーで頂点レベルの中間データを削除します
バックポート	TEZ-4129: シャッフルハンドラーで失敗した試行の中間試行データを削除します
バックポート	TEZ-4430: tez.task.launch.cmd-opts プロパティが動作しない問題が修正されました

Amazon EMR 6.7.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.7.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
バックポート	TEZ-4403: SLF4J のバージョンを 1.7.36 に更新します
バックポート	TEZ-4405: log4j 1.x を reload4j に置き換えます
バックポート	TEZ-4411: Tez のビルド失敗: FileSaver.js が見つかりません

Amazon EMR 6.6.0 - Tez リリースノート

Amazon EMR 6.6.0 - Tez の変更点

タイプ	説明
バックポート	TEZ-3918: tez.task.log.level プロパティが動作しない問題が修正されました。
バックポート	TEZ-4353: commons-io を 2.8.0 に更新します。
バックポート	TEZ-4114: tez から jetty の直接依存を削除します。
バックポート	TEZ-4323: TEZ-4114 で Jetty jars が dist パッケージから削除されました。

Trino

Trino は、幅広いデータソースでのインタラクティブなクエリ用に設計されたオープンソースのクエリエンジンです。これには、リレーショナルデータベース、ファイルベースのデータ、HDFS データなどが含まれます。Amazon EMR を使用した Trino の最も一般的な目的は、Amazon S3 に保存されている大規模なデータセットに対して複雑な SQL クエリを実行することです。また、ANSI SQL に準拠しているため、SQL に精通しているデータベースエンジニア、データアナリスト、データサイエンティストが使い慣れています。

> **Note**
>
> 2020 年 12 月に、PrestoSQL は Trino に名前変更されました。Amazon EMR バージョン 6.4.0 以降は一般的に Trino を参照し、以前のリリースバージョンは PrestoSQL を参照します。

> **Important**
>
> Trino の以前のバージョンである PrestoSQL は、Amazon EMR で引き続き使用できます。ただし、今後 Amazon EMR で使用する Trino を強くお勧めします。また、Trino と PrestoSQL を同じクラスターで同時に実行することはできません。

次の表に、Amazon EMR 7.x の最新リリースに含まれている Trino のバージョンと、Amazon EMR が Trino と共にインストールするコンポーネントを示します。このリリースで Trino と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Trino バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Trino バージョン	Trino でインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Trino 467	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-kms-

Amazon EMR リリースラベル	Trino バージョン	Trino でインストールされるコンポーネント
		server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hive-client, hudi, hudi-trino, hcatalog-server, mariadb-server, trino-coordinator, trino-worker

トピック

Trino の履歴と設計

Trino は、さまざまなソースからの大規模なデータセットのクエリに特化しています。Trino は、従来のビッグデータユースケースで HDFS にアクセスしてクエリを実行できますが、リレーショナルデータベースや NoSQL データベースなどの追加のソースをクエリすることもできます。Trino は、2019 年に Presto クエリエンジンのフォークとして開始されました。それ以来、Presto コードベースとは独立して開発されています。

Trino クエリエンジンとその使用方法の詳細については、Trino ウェブサイトを参照してください。Trino のソースドキュメントを読むには、「Trino の概要」を参照してください。

アーキテクチャの概念

Trino はクラスター全体でデータを並行して処理するため、迅速かつ効率的なクエリを実行できます。これは、データレイクのクエリを念頭に置いて設計されています。これは、通常、Hadoop と HDFS を含むユースケースにおける、大規模なデータボリュームに対するクエリに特化しているた

めです。ただし、従来のリレーショナルデータベースをクエリすることもできます。詳細については、Trino ドキュメントの「アーキテクチャ」を参照してください。

Trino のコンポーネント

Trino には、クエリの実行を高速化するために連携する主要なアーキテクチャコンポーネントがいくつかあります。パフォーマンスを向上させるためにクラスターを微調整すると、これらに関する実用的な知識が得られます。

- コーディネーターはクエリオーケストレーションを担当します。受信 SQL クエリを解析して最適化し、実行プランを生成し、ワーカーノードにタスクを割り当て、クエリ結果を収集してアセンブルします。さらに、リソースの使用状況を監視し、ワーカーノードのステータスを追跡します。詳細については、Trino ドキュメントの「コーディネーター」を参照してください。
- ワーカーノードはクエリのデータ処理を処理します。コーディネーターがタスクを割り当てると、ワーカーはデータを取得し、結合や集計などの必要な操作を実行し、中間データを他のワーカーと交換します。詳細については、Trino ドキュメントの「ワーカー」を参照してください。
- コネクタは、Trino がさまざまなデータソースに接続してクエリできるようにするプラグインです。各コネクタは、Amazon S3、Apache Hive、リレーショナルデータベースなど、ソースからデータにアクセスして取得する方法を理解しています。これらのコネクタは、ソースデータを Trino のスキーマ構造にマッピングします。
- カタログは、特定のコネクタに関連付けられたスキーマとテーブルの論理コレクションです。コーディネーターで定義されるカタログにより、Trino は異なるデータソースを単一の名前空間として扱うことができます。これにより、ユーザーは同じクエリで統合された方法で Hive や MySQL などの複数のソースを一緒にクエリできます。
- Trino CLI などのクライアントは、JDBC および ODBC ドライバーを使用して Trino コーディネーターに接続し、SQL クエリを送信します。コーディネーターはクエリのライフサイクルを管理し、結果をクライアントに提供して詳細な分析やレポートを行います。

クエリの実行

Trino が SQL ステートメントを受け取り、クエリとして実行する方法については、Trino ドキュメントの「Trino の概念」を参照してください。

Trino の開始方法

このセクションの手順では、Trino を使用してメタストアデータソースをクエリするために Amazon EMR クラスターを設定する方法を示します。 AWS Glue データカタログを含むこれらのメタストア

は、メタデータとデータベースオブジェクトを保存し、アクセス許可を管理します。この手順では、前提条件、推奨構成設定、コネクタの作成、メタストアテーブルでのクエリの実行について説明します。

トピック

で Amazon EMR を使用するための前提条件ステップを完了する Trino

を使用していない場合 AWS、または Amazon EMR クラスターを作成していない場合は、Trino で Amazon EMR クラスターを作成する前に、以下の前提条件ステップを完了してください。

AWS 環境のセットアップ

まだ AWS アカウントを設定していない場合は、以下の手順を実行します。

1. AWS アカウントをまだお持ちでない場合は、サインアップしてください。詳細については、「 AWS アカウント管理リファレンスガイド」の「アカウントの作成」を参照してください。 AWS
2. 管理者ユーザーとしてアカウントにサインインします。
3. グループを作成し、ユーザーに割り当てます。
4. Amazon EC2 キーペアを作成します。これは後で SSH とのリソース間の通信を保護するために使用できます。このステップは、プライマリノードに接続してタスクを実行する場合に必要です。詳細については、「SSH を使用して Amazon EMR クラスターのプライマリノードに接続する」を参照してください。

Trino で Amazon EMR クラスターを起動する

Trino でクラスターを作成する際の正しい設定選択肢を以下に示します。

Hive コネクタを使用してデータをクエリ可能にする

クラスターからメタストアデータをクエリする目的で、Hive メタストアの Trino コネクタを設定できます。メタストアは、ファイルベースのコンテンツまたはデータをテーブルとして利用できる抽象

化レイヤーであるため、クエリが容易です。Hive メタストアテーブルをクラスターで使用できるように、Amazon EMR でコネクタを設定する必要があります。次の手順では、これを行う方法を示します。

1. コンソールで AWS Glue を選択し、Amazon S3 のソースデータに基づいてテーブルを作成します。 AWS Glue データカタログのテーブルは、データのメタデータ定義です。このコンテキストでは、テーブルを手動で作成し、必要に応じてソースデータから列を作成するのが理にかなっています。Amazon S3 の半構造化データから AWS Glue でテーブルを作成する方法の詳細については、AWS 「 Glue ユーザーガイド」の[「コンソールを使用したテーブルの作成](#)」を参照してください。
2. クラスター作成の一環として設定を設定します。[設定] タブを選択します。設定は、クラスターのオプション仕様です。設定を入力するときは、次のサンプルのような JSON を追加します。これにより、 Glue データカタログをテーブルメタデータの外部 Hive メタストアとして使用するように Trino AWS に指示します。

```
{
    "classification": "trino-connector-hive",
    "properties": {
        "hive.metastore": "glue"
    }
}
```

   または、クラスターの作成時にソフトウェア設定セクションで設定を適用することもできます。

   さらに、Apache Iceberg との接続など、他のコネクタタイプを設定することもできます。詳細については、Amazon EMR リリースガイドの「Trino で Iceberg クラスターを使用する」を参照してください。追加の設定はオプションです。

開始手順を続けるには、「」を参照してくださいAmazon EMR クラスターのプライマリノードに接続してクエリを実行する。

Trino を使用してクラスターを作成する

Trino で使用するクラスターを作成する際の正しい設定選択肢を以下に示します。

> **Important**
>
> クラスターを作成する前に、Hive メタストアとして AWS Glue データカタログ設定を完了してください。開始するには、この設定をお勧めします。詳細については、「Hive コネクタを使用してデータをクエリ可能にする」を参照してください。

1. AWS コンソールで、 サービスから Amazon EMR を選択します。Amazon EMR を選択すると、既存のクラスターがある場合、EC2 クラスター上の EMR が一覧表示されます。
2. [クラスターを作成] を選択します。ここから、クラスターを構築するプロセスを開始します。
3. クラスターに名前を付け、Amazon EMR リリースを選択します。チュートリアルの最新のリリースを選択できます。
4. Trino バンドルを選択します。このバンドルには Trino アプリケーションが事前に選択されています。バンドルは、クラスターの目的が事前にわかっている場合に便利です。それ以外の場合は、Trino のチェックボックスをオンにするだけで済みます。
5. クラスター設定で、Uniform インスタンスグループを選択します。追加のインスタンスグループを削除してください。
6. インスタンスタイプを選択します。一般的に、メモリが 16 GiB 以上のインスタンスタイプを選択することをお勧めします。また、クラスターのスケーリングとプロビジョニングでは、クラスターサイズを手動で設定を選択します。
7. この時点で、Hive メタストア設定を AWS Glue を指すように設定します。詳細については、「」セクションを参照してくださいHive コネクタを使用してデータをクエリ可能にする。クラスターを構築する前に、これを完了してください。
8. [クラスターを作成] を選択します。完了までに数分かかる場合があります。

   ここでのステップでは、すべての設定ステップについて詳しく説明しているわけではありません。クラスターの設定の詳細については、「Amazon EMR クラスターの計画、設定、起動」を参照してください。

> **Note**
>
> 同じクラスターで使用する Presto と Trino の両方を選択しないでください。これらを一緒に実行することはサポートされていません。Trino を実行する場合は、Spark など、クラスター上で他のアプリケーションを実行しないことをお勧めします。

Amazon EMR クラスターのプライマリノードに接続してクエリを実行する

テストデータのプロビジョニングとアクセス許可の設定

Glue Data Catalog とその Hive メタストアを使用して、Trino AWS で Amazon EMR をテストできます。これらの前提条件ステップでは、テストデータを設定していない場合の設定方法について説明します。

1. 通信暗号化に使用する SSH キーをまだ作成していない場合は、作成します。
2. 複数のファイルシステムから選択して、データとログファイルを保存できます。開始するには、Amazon S3 バケットを作成します。バケットに一意の名前を付けます。作成時に、作成した暗号化キーを指定します。

   > **Note**
   >
   > 同じリージョンを選択して、ストレージバケットと Amazon EMR クラスターの両方を作成します。

3. 作成したバケットを選択します。フォルダの作成 を選択し、フォルダに記憶に残る名前を付けます。フォルダを作成するときは、セキュリティ設定を選択します。親のセキュリティ設定を選択するか、セキュリティ設定をより専門にすることができます。
4. テストデータを フォルダに追加します。このチュートリアルでは、カンマ区切りレコードの .csv を使用すると、このユースケースを完了するのに適しています。
5. Amazon S3 バケットにデータを追加したら、データをクエリするための抽象化レイヤーを提供するように AWS Glue でテーブルを設定します。

クエリを接続して実行する

以下に、Trino を実行しているクラスターに接続してクエリを実行する方法について説明します。これを行う前に、前の手順で説明した Hive メタストアコネクタを設定し、メタストアテーブルが表示されるようにしてください。

1. EC2 Instance Connect は安全な接続を提供するため、クラスターへの接続には EC2 Instance Connect を使用することをお勧めします。クラスターの概要から SSH を使用してプライマリノードに接続する を選択します。接続では、セキュリティグループに、サブネット内のクライアントへのポート 22 経由の接続を許可するインバウンドルールが必要です。また、接続時にユーザー hadoop を使用する必要があります。

2. を実行して Trino CLI を起動します`trino-cli`。これにより、Trino でコマンドを実行し、データをクエリできます。
3. `show catalogs;` を実行します。Hive カタログが一覧表示されていることを確認します。これにより、データストアまたはシステム設定を含む利用可能なカタログのリストが提供されます。
4. 使用可能なスキーマを表示するには、 を実行します`show schemas in hive;`。ここから、 を実行し`use schema-name;`、スキーマの名前を含めることができます。その後、 を実行してテーブル`show tables;`を一覧表示できます。
5. スキーマ内のテーブルの名前を使用して`SELECT * FROM table-name`、 などのコマンドを実行してテーブルをクエリします。USE ステートメントを実行して特定のスキーマに接続している場合は、*schema.table* などの 2 つの部分からなる表記を使用する必要はありません。

Amazon EMR での Trino の設定

トピック

- Trino 用のコネクタの設定
- モニタリング

Trino 用のコネクタの設定

Hive メタストアとして AWS Glue に接続する

Trino でクエリを実行するときは、Glue Data Catalog AWS を Hive メタストアとして設定できることを理解することが重要です。Hive メタストアでクラスターを設定する手順などの詳細については、「Hive のメタストアとして AWS Glue データカタログを使用する」を参照してください。

EMR on EKS と Glue AWS の統合については、以下のベストプラクティス「EMR Containers integration with AWS Glue」を参照してください。

Amazon EMR で Trino を使用する場合の Iceberg テーブルへの接続

Iceberg は、分析テーブルのオープンテーブル形式です。これは、Spark や Trino などのエンジンが SQL クエリを使用して同じテーブルからビッグデータをクエリするために作成されました。データの読み取りと書き込みの分離などの機能が含まれているため、リーダーは部分的に更新されたデータのクエリを回避できます。また、スナップショットなどの状態機能もサポートしています。メタデータとマニフェストファイルを使用して抽象化レイヤーを提供します。これらはテーブルスキーマを

記述し、データのフォーマットや整理方法の詳細を多く知ることなく、データのクエリを容易にします。接続すると、テーブルからデータを読み取ることも、基になるファイルに新しいデータを書き込むこともできます。

Amazon EMR と Glue で Iceberg AWS テーブルを設定する方法を示すワークショップがあります。詳細については、「 Analytics Workshop - Set Up and Use Apache Iceberg Tables on Your Data Lake」を参照してください。

クライアントとの接続

使用可能な JDBC ドライバーを使用して Trino に接続できます。詳細については、Trino ドキュメントの「JDBC ドライバー」を参照してください。

モニタリング

を使用して Amazon EMR クラスターをモニタリングできます AWS Management Console。詳細については、「作業の実行時に Amazon EMR クラスターを表示およびモニタリングする」を参照してください。Amazon EMR はモニタリングメトリクスも に送信します Amazon CloudWatch。Amazon EMR クラスターのモニタリングの詳細については、Amazon CloudWatch「Amazon EMR のイベントとメトリクス」を参照してください。

Amazon EMR での Trino のベストプラクティス

Trino のアーキテクチャは、コーディネーターワーカーモデルに従って、複数のデータソースにまたがる大規模なデータセットに対して高速で分散された SQL クエリを実行するように設計されています。コーディネーターワーカーモデルでは、各コンポーネントがクエリ実行に特別な役割を担います。Trino を実行する Amazon EMR クラスターを最高のパフォーマンスのために設定するために、重点を置くことができる領域またはカテゴリがいくつかあります。これには以下が含まれます。

- メモリ最適化のためのクラスター構成設定の調整。
- データパーティショニングとデータ分散の設定を最適化します。
- 動的フィルタリングを使用してクエリ結果の数を減らします。

これらの設定の一部は、Amazon EMR で Trino を使用するときに自動的に調整されます。その他は、コンソールまたは CLI コマンドを使用して手動で設定できます。このセクションのトピックは、データとクラスターを最適に設定するのに役立ちます。

トピック

- パフォーマンス向上の主な重点分野
- テーブル統計を収集して使用する
- Trino ワークロードをスケーリングする際の一般的な課題

パフォーマンス向上の主な重点分野

Trino は、クエリの並列処理とメモリの最適化を最大化します。このアーキテクチャは、効率的にスケーリングしながら、複数のさまざまなデータソースをクエリできるようにすることで、柔軟性を提供します。Trino のパフォーマンス向上の主な分野には、以下が含まれます。

メモリの最適化

Trino でのメモリ管理は、特に大規模で複雑なクエリを実行する場合に、高いパフォーマンスと安定性を達成するために不可欠です。Trino は分散メモリモデルを使用します。このモデルでは、タスク、集約、結合、その他のオペレーションを処理するために、ワーカーノード間でメモリが割り当てられます。次のリストでは、これらの設定のコレクションを紹介します。

- query.max-memory – クラスター全体で 1 つのクエリに使用できる最大メモリを設定します。これはハード制限です。クエリがこのメモリを超えると失敗します。
- query.max-memory-per-node – クエリが各ワーカーノードで消費できる最大メモリを定義します。これを設定すると、単一のクエリがワーカーのリソースを独占することはありません。
- JVM ヒープサイズ – JVM レベルで設定され、各ノードの Trino サーバープロセスの最大ヒープサイズを設定します。通常、この値は、システムが JVM レベルでメモリ不足にならないように Trino のメモリ関連の設定 (max-memory-per-nodeと memory.heap-headroom-per-node の合計) よりも大きくする必要があります。
- memory.heap-headroom-per-node – 非クエリオペレーションのために JVM ヒープサイズから残すメモリのバッファ量を指定します。これは、内部オペレーションとガベージコレクションに十分なオーバーヘッドを確保するために不可欠です。

動的フィルタリング

Trino の動的フィルタリングは、特に結合中に処理されるデータ量を減らすことでクエリのパフォーマンスを向上させる最適化手法です。フィルタ条件を動的に適用して、結合の一方の側でスキャンされたデータを、もう一方の側で見られるデータに基づいて制限します。これは、結合の一方の側が非常に選択的である (つまり、データの小さなサブセットを含む) クエリで特に便利です。Amazon EMR ではデフォルトで有効になっています。以下はクエリの例です。

```
SELECT orders.order_id, orders.total_amount
FROM orders
JOIN customers ON orders.customer_id = customers.customer_id
WHERE customers.country = 'France';
```

動的フィルタリングがない場合、Trino は、少数の顧客 (フランスの顧客) のサブセットのみが関連している場合でも、結合で注文テーブル全体をスキャンします。このアプローチは、注文テーブルのすべての行を読み取るため、I/O と処理コストが高くなります。動的フィルタリングでは、Trino は最初に小さな顧客テーブルをスキャンし、フランスから顧客のみの customer_id 値を取得し、このサブセットを注文のフィルターとして適用します。つまり、フィルタリングされたサブセットに一致する customer_id を持つ注文の関連する行のみがスキャンされ、処理されるレコードが大幅に削減されます。

スピルからディスクへ

Trino では、ディスクのスピルにより中間クエリ結果をディスクにオフロードできるため、メモリを大量に消費するクエリは、 `query_max_memory`または によって設定されたメモリ制限を超えた場合でも完了できます`query_max_memory_per_node`。デフォルトでは、Trino はこれらの制限を適用して、公平なメモリ割り当てを確保し、クラスターのデッドロックを防ぎます。ただし、大きなクエリがこれらの制限を超えると、終了のリスクがあります。ディスクのスピリングでは、 を使用してこれに対処します。`revocable memory`これにより、リソースが他の場所で必要になった場合に取り消すことができる追加のメモリをクエリで借用できます。メモリが取り消されると、中間データがディスクに流出するため、クエリはメモリ制限を超えることなく処理を継続できます。ディスクに強制的にスピルされるクエリの実行時間が長くなる可能性があるため、デフォルトでは無効になっていることに注意してください。Amazon EMR でスピルを有効にするには、次の設定を使用します。

- `spill-enabled=true` – メモリ使用量が使用可能なしきい値を超えたときにディスクのスピルを有効にします。
- `spill-paths` – 流出したデータが保存されるディレクトリ を定義します`spill-paths=/mnt/spill`。

テーブル統計を収集して使用する

テーブル統計を収集することで、Trino のコストベースのオプティマイザは、結合順序、フィルタープッシュダウン、パーティションプルーニングについて情報に基づいた意思決定を行うことができ、パフォーマンスが向上します。

`ANALYZE` コマンドを使用して、Hive または Iceberg テーブルの統計を収集できます。

```
ANALYZE sales;
```

ワイドテーブルの統計を収集すると、リソースに課税される可能性があります。結合、フィルター、またはグループ化オペレーションで使用される列のサブセットを指定することをお勧めします。

これはもう 1 つの便利なコマンドです。テーブルの現在の統計が表示され、統計が最新かどうかを確認します。

```
show stats for table_name;
```

Trino ワークロードをスケーリングする際の一般的な課題

Trino で Amazon S3 を使用する主な利点は、S3 が大規模なデータボリュームに合わせてスケールできることと、S3 のコスト効率です。ただし、大量のデータにクエリを実行すると、関連するパフォーマンスの問題のコレクションが発生することがあります。これらは、データの保存方法、良好なパフォーマンスを制限する構成設定、またはその他の理由で発生する可能性があります。これらの問題が発生した場合は、それらを回避または軽減するために実行できる効果的なステップがあります。

このセクションでは、大規模なデータボリュームのクエリパフォーマンスを向上させるために実装できる一般的な最適化のリストから始めます。その後、一般的な問題が詳細に説明され、それぞれに緩和策が提供されています。

このトピックは、次のカンファレンスプレゼンテーションから入手できます。大規模なパフォーマンスを加速する: Amazon S3 を使用した Trino のベストプラクティス。

大規模なデータセットのデータレイアウトの最適化

大規模なデータセットをクエリする場合、パフォーマンスのボトルネックはまれではありません。ただし、Trino を使用して Amazon S3 でデータをクエリするときに、すぐに開始できるように実装できるベストプラクティスがあります。これには以下が含まれます。

- パーティショニング – パーティショニングとは、階層にデータを整理し、関連する属性に基づいて関連するデータを一緒に保存することを意味します。パーティション化により、クエリが無関係なデータをスキャンする必要がなくなり、クエリのパフォーマンスが向上します。ソースデータをプレフィックスで配置する、特に日付範囲のリージョンやその他の属性で配置するなど、さまざまなパーティショニング戦略を使用できます。パフォーマンスを向上させるための Amazon S3 でのデータのパーティション化の詳細については、ブログ記事「Get started managing partitions for Amazon S3 tables backed by the AWS Glue Data Catalog」または記事「Top 10 Performance Tuning Tips for Amazon Athena」を参照してください。

- バケット化 – バケット化とは、関連するデータを共通のファイルにグループ化することです。たとえば、状態などの地理的リージョンに従ってデータをクエリする場合、同じファイルまたはファイルのグループ内の特定の状態のすべてのデータをグループ化することで、クエリのパフォーマンスを向上させることができます。これを最適に機能させるには、バケット化を州や県などのカーディナリティの高いデータ属性に基づいて行います。また、クエリパターンを考慮することもできます。クエリが通常、これらの状態からデータを読み取る場合、この例としては、カリフォルニアとオレゴンのデータをグループ化することが考えられます。
- S3 プレフィックスの管理 – Amazon S3 プレフィックスを使用してパーティショニング戦略を実装できます。例えば、特定の日付などの Amazon S3 バケットに 1 つのプレフィックスのみを使用すると、リクエスト数が多くなり、HTTP 503 エラーが発生する可能性があります。プレフィックスを使用して条件を追加し、ソースデータをより効果的に整理することをお勧めします。詳細については、Amazon S3 ドキュメントの「プレフィックスを使用してオブジェクトを整理する」を参照してください。次の簡単な例は、リクエストスループットを向上させるプレフィックス を示していますs3://bucket/country=US/dt=2024-06-13。このサンプルでは、国と日付の両方がプレフィックスに含まれているため、プレフィックスに日付のみが含まれている場合よりも読み取りが少なくなります。

  HTTP 503 エラーの軽減については、このトピックで後述する HTTP スローダウンセクションで詳しく説明します。
- データサイズの最適化 – OPTIMIZE コマンドを実行して、パフォーマンスが向上するクエリに役立つ設定を設定できます。Hive 外部テーブルに対してこれを実行するには、次の手順に従います。
  - 次のパラメータOPTIMIZEで を使用します: `hive.non-managed-table-writes-enabled=true`。このプロパティの詳細については、「Hive の一般的な設定プロパティ」を参照してください。
  - 次のセッションパラメータを設定します。 `SET SESSION` *`catalog`*`.non_transactional_optimize_enabled=true`
  - `OPTIMIZE` コマンド を実行します`ALTER TABLE` *`catalog`*`.`*`schema`*`.`*`table`* `EXECUTE optimize(file_size_threshold => '128MB')`。この場合、 `file_size_threshold`はデフォルトで 100MB です。このしきい値を上げると、サンプルに示すように、128MB 未満のファイルがマージされます。
- 再試行の設定 – 再試行制限を引き上げることで、HTTP 503 エラーの可能性を軽減できます`s3.max-error-retries`。これは、TrinoFileSystem API および Trino 449 バージョン 以降を

使用する場合に適用されます。一方、Trino で Amazon EMR を使用している場合は、EMRFS を使用して Amazon S3 にアクセスします。EMRFS では、 `fs.s3.maxRetries`パラメータを変更することで廃止回数を増やすことができます。

- Amazon S3 ストレージクラスの選択 – ライフサイクルのさまざまな時点でデータに適したストレージクラスを選択すると、特定のデータ収集の要件に基づいて、パフォーマンスとコストの両方に役立ちます。詳細については、Amazon S3 ドキュメントの「Amazon S3 ストレージクラスの理解と管理」を参照してください。 Amazon S3
- Iceberg への移行 – 特に小さなファイルでのクエリの実行に関するパフォーマンスの問題を軽減するためのもう 1 つの解決策は、Iceberg テーブルへの移行です。Iceberg には、小さなファイルをうまく処理する機能があります。
- 自動データ圧縮を使用する – Iceberg テーブルを使用する場合、 AWS Glue データカタログによる自動データ圧縮はデータサイズを最適化し、クエリパフォーマンスを向上させることができます。

大規模なデータセットをクエリする際の一般的な課題

このセクションでは、Amazon S3 に大規模なデータセットを蓄積し、Trino でクエリを実行するときに発生する可能性がある一般的な問題のコレクションを一覧表示します。各セクションでは、問題を解決する方法、またはクエリへの影響を減らす方法を示します。以下のセクションで説明する各問題は、Hive コネクタを使用して再現およびテストされています。

大規模データスキャン

クエリで大規模なデータセットをスキャンする必要がある場合、クエリのパフォーマンスが低下し、ストレージコストが高くなるなどの問題が発生する可能性があります。大規模なデータボリュームは、適切な期間内にレガシーデータを移動しないデータの増加や計画によって発生する可能性があります。これにより、クエリが遅くなる可能性があります。

大規模なデータセットのスキャンによるパフォーマンスのヒットを軽減するには、パーティショニングとバケット化を使用することをお勧めします。

- パーティション分割は、属性に基づいて関連データをグループ化します。パーティショニングを効果的に使用すると、クエリのパフォーマンスが大幅に向上します。
- バケット化とは、特定の関連データ列に従ってファイルまたはバケットにデータをグループ化することを指します。バケット化は通常、関連するソースデータファイルを物理的にまとめることを意味します。

大規模なデータスキャンで緩和がどのように機能するかを説明するために、カリフォルニアまたはアラスカに割り当てることができる状態属性を持つレコードを持つデータを保存してクエリするとします。この状態属性はクエリ条件の 1 つです。各状態のデータを別の S3 バケットに保存するか、S3 プレフィックスを使用して状態に基づいてデータをパーティション化することで、クエリのパフォーマンスを向上させることができます。このパーティショニングとバケット化は、たとえば日付属性などの追加の列に基づいている場合、パフォーマンスの向上につながる可能性があります。

> **Note**
>
> 列のカーディナリティが高く、それを使用してデータをグループ化する場合は、バケット化を使用することをお勧めします。一方、通常、パーティションキーのカーディナリティは低くする必要があります。

さまざまな S3 ストレージタイプの使用

通常、ワークロードのパフォーマンス、データアクセス、耐障害性、コスト要件に基づいてストレージタイプを選択します。コストとパフォーマンスの間にはトレードオフが生じる可能性があります。データアクセスパターンに一致する適切な Amazon S3 ストレージクラスを選択することが重要です。主なアクセスパターンは 2 つあります。

- 既知または予測可能な方法でアクセスされるデータ。一般的に、アクセス頻度の低いデータがある場合、コスト削減に役立つため、S3 Standard IA が適しています。頻繁にデータにアクセスする場合、S3 Standard は Amazon EMR と Trino によるアクセスに最適です。
- 不明または予測不可能な方法でアクセスされるデータ。これは、他の Amazon S3 ストレージクラスの使用を呼び出すことができます。S3 ストレージクラス間にはトレードオフがあります。これには、レイテンシー、ストレージコスト、可用性が含まれます。ワークロードとアクセスパターンに基づいて、適切な S3 ストレージタイプを選択できます。各クラスの利点の詳細については、[Amazon S3ストレージクラス]」を参照してください。

圧縮の使用

Iceberg テーブルを使用すると、Iceberg 自動圧縮を使用することもできます。これにより、ファイルサイズが最適になり、クエリ効率が向上します。詳細については、「 [AWS Glue Data Catalog が Apache Iceberg テーブルの自動圧縮をサポートするようになりました]」を参照してください。

HTTP スローダウンエラー

これは、リクエストレートが Amazon S3 プレフィックスで事前設定されたしきい値を超えた場合に発生します。この状態に達したときに最も一般的に発生する HTTP エラーは、エラー 503: リクエストレートを下げてください。この問題のソースは、データを読み取るために作成する必要がある分割の数が多いため、多数の小さなファイルが存在する場合に根付くことができます。この問題を軽減するには、いくつかの方法があります。

- Trino で Amazon S3 リクエストの再試行制限を引き上げます。これは、Trino 449 `fs.s3.maxretries`で を使用する EMRFS に設定されます。
- ファイルサイズを最適化し、リクエストレートを下げることもできます。

Trino がクエリするデータセットの分割数を決定する方法の詳細については、Hive コネクタドキュメントの[「パフォーマンスチューニング設定プロパティ」]を参照してください。

小さなファイルのクエリが困難

多くの小さなファイルをクエリすると、GET および LIST リクエストの数が多いため、I/O オーバーヘッドが大きくなり、クエリのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性があります。ファイルサイズを最適化すると、クエリのパフォーマンスが向上します。これを行うには、いくつかの方法があります。

- データをより少ないサイズのファイルに統合します。（通常、ファイルサイズは約 128 MB にすることをお勧めします）。これは、ETL パイプラインなどのデータを取り込むときにツールで行うことも、データを手動で統合することもできます。これらのソリューションが利用できない場合は、残りのオプションが適している可能性があります。
- `OPTIMIZE` コマンドを実行します。
- `SESSION` パラメータを設定します。

Iceberg には、小さなファイルを大きなファイルにマージできる機能があります。これは自動圧縮です。 AWS Glue データカタログで管理されるファイルで動作します。詳細については、「AWS Glue Data Catalog が Apache Iceberg テーブルの自動圧縮をサポートするようになりました」を参照してください。

不要なデータを含むクエリ

データが大きくなるのは一般的です。そのため、データアクセスパターンを追跡し、古くなったり無関係になったりしたときにデータを適切に移動することが不可欠です。これは、データが大きくなる

と、クエリのパフォーマンスが時間の経過とともに低下する可能性があるためです。主に、クエリの実行時にスキャンする大量のデータが原因です。Amazon S3 およびその他の サービスは、データライフサイクル移行のガイダンスを提供します。これは、データがコールドになったときにさまざまなストレージロケーションに移動するための戦略を示しています。これを行うと、ストレージコストにも利点があります。

データ移行に加えて、実行中のクエリに関連しないソースデータの削除など、他の戦略を使用することもできます。ソースとデータのスキーマを変更する可能性があるため、多少の作業が必要になる場合があります。しかし、その肯定的な結果は、データ量を減らし、クエリを高速化することです。詳細については、「オブジェクトのライフサイクルの管理」を参照してください。

Trino に関する考慮事項

Amazon EMR で Trino を実行するときは、次の点を考慮してください。

設定不可能な Trino デプロイプロパティ

次の表は、Trino `properties`ファイルのさまざまな設定オプションを示しています。

ファイル	設定可能
`log.properties`	Trino: Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降で設定できます。`prestosql-log` または `trino-log` 設定分類を使用します。
`config.properties`	Trino: Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降で設定できます。`prestosql-config` または `trino-config` 設定分類を使用します。
`hive.properties`	Trino: Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降で設定できます。`prestosql-connector-hive` または `trino-connector-hive` 設定分類を使用します。
`node.properties`	Trino: Amazon EMR バージョン 6.1.0 以降で設定できます。`prestosql-node` または `trino-node` 設定分類を使用します。
`jvm.config`	設定可能ではありません。

追加の考慮事項

- Trino on EMR バージョン 6.1.0 以降では、Amazon EMR はクラスターノード間の安全な内部通信のために共有シークレットキーを自動的に設定します。このセキュリティ機能を有効にするために追加の設定を行う必要はなく、独自の秘密キーを使用して設定をオーバーライドできます。Trino 内部認証の詳細については、Trino 353 ドキュメントの「Secure internal communication」を参照してください。

Trino リリース履歴

リリースノートセクションでは、Amazon EMR での Trino の特定のバージョンの変更と更新について詳しく説明します。

バージョン別の Trino リリースノート

- Amazon EMR 7.6.0 - Trino リリースノート
- Amazon EMR 7.3.0 - Trino リリースノート
- Amazon EMR 6.9.0 - Trino リリースノート

Amazon EMR 7.6.0 - Trino リリースノート

Amazon EMR 7.6.0 - Trino の新機能

- 長時間実行されるクエリをサポートするため、Trino には耐障害性実行メカニズムが組み込まれました。耐障害性実行では、失敗したクエリやそのコンポーネントタスクを再試行することで、クエリの失敗を軽減します。

Amazon EMR 7.6.0 - Trino の変更

Amazon EMR 7.6.0 - Trino の変更

タイプ	説明
アップグレード	Trino を 457 にアップグレード

Amazon EMR 7.3.0 - Trino リリースノート

Amazon EMR 7.3.0 - Trino の変更

- このリリースでは、Trino をバージョン 436 から 442 にアップグレードします。
- このリリースでは、Hudi クエリを新しい Hudi 修正子にリダイレクトします。古い Hive コネクタは Hudi テーブルを読み取ることができなくなります。メモ
- このリリースでは、Rubix モジュールがオープンソースから非推奨になったため、Amazon EMR から Rubix モジュールを削除します。
- このリリースでは、`hive.security` プロパティの[レガシーモードが削除されます]。現在のデフォルトは `allow-all` になります。

Amazon EMR 6.9.0 - Trino リリースノート

Amazon EMR 6.9.0 - Trino の新機能

- 長時間実行されるクエリをサポートするため、Trino には耐障害性実行メカニズムが組み込まれました。耐障害性実行では、失敗したクエリやそのコンポーネントタスクを再試行することで、クエリの失敗を軽減します。

Amazon EMR 6.9.0 - Trino の変更

Amazon EMR 6.9.0 - Trino の変更

タイプ	説明
アップグレード	Trino の 398 へのアップグレード
アップグレード	Hadoop 3.3.3 をサポート
機能	Tardigrade のサポート: HDFS と Amazon S3 での交換スプーリングのサポートを追加しました。
バグ修正	Trino Iceberg を使用していて、Glue カタログが有効になっている場合は、メタストア URI を `iceberg.properties.` に追加しません

Amazon EMR 6.9.0 - Trino の既知の問題

- Amazon EMR リリース 6.9.0 では、Apache Ranger が有効になっているクラスターでは Trino は動作しません。Ranger で Trino を使用する必要がある場合は、サポート にお問い合わせください。

Apache Zeppelin

インタラクティブなデータ検索用のノートブックとして Apache Zeppelin を使用します。 Zeppelin の詳細については、https://zeppelin.apache.org/ を参照してください。Zeppelin は、Amazon EMR リリース 5.0.0 以降に含まれています。以前のリリースには、サンドボックスアプリケーションとして Zeppelin が含まれています。詳細については、「Amazon EMR 4.x リリースバージョン」を参照してください。

Zeppelin ウェブインターフェイスにアクセスするには、マスターノードへの SSH トンネルとプロキシ接続を設定します。詳細については、「EMR クラスターでホストされているウェブサイトの表示」を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている Zeppelin のバージョンと、Amazon EMR で Zeppelin と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Zeppelin と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の Zeppelin バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	Zeppelin 0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている Zeppelin のバージョンと、Amazon EMR で Zeppelin と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Zeppelin と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の Zeppelin バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	Zeppelin 0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている Zeppelin のバージョンと、Amazon EMR で Zeppelin と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで Zeppelin と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の Zeppelin バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	Zeppelin 0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
		client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

トピック

- Amazon EMR で Zeppelin を使用するときの考慮事項
- Zeppelin リリース履歴

Amazon EMR で Zeppelin を使用するときの考慮事項

- 同じ SSH トンネリングメソッド を使用して Zeppelin に接続し、マスターノードの他のウェブサーバーに接続します。Zeppelin サーバーはポート 8890 です。
- Amazon EMR リリースバージョン 5.0.0 以降の Zeppelin は、Shiro 認証をサポートしています。
- Amazon EMR リリースバージョン 5.8.0 以降の Zeppelin では、Spark SQL のメタストアとして AWS Glue Data Catalog の使用がサポートされています。詳細については、「Spark SQL AWS のメタストアとしての Glue データカタログの使用」を参照してください。
- `spark.dynamicAllocation.enabled` が `true` に設定されている場合、Zeppelin は YARN に対してエグゼキューターを動的に割り当てるように指示をしますが、クラスターの `spark-defaults.conf` 設定ファイルで定義された設定の一部は使用しません。Zeppelin の [Interpreter (インタープリタ)] タブを使用してメモリやコアなどのエグゼキューターの設定を行い、インタープリタを再起動してそれらを使用できるようにする必要があります。

- Amazon EMR リリース 6.10.0 以降では、Apache Zeppelin と Apache Flink の統合がサポートされています。詳細については「Amazon EMR の Zeppelin から Flink ジョブを操作する」を参照してください。
- Amazon EMR 上の Zeppelin は SparkR インタープリタをサポートしていません。

Zeppelin リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースバージョンに含まれている Zeppelin のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

Zeppelin バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-7.8.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
		server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-7.7.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.6.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-7.5.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.4.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-7.3.0	0.11.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	0.10.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.36.2	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.1.0	0.10.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-7.0.0	0.10.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.14.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.12.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.11.1	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.11.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.10.1	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.10.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.9.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.8.1	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.8.0	0.10.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.7.0	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.36.1	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.6.0	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, hudi, hudi-spark, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.35.0	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.5.0	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.4.0	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.3.1	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.2.1	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.2.0	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.1.1	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.1.0	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-6.0.1	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.34.0	0.10.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.33.1	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.33.0	0.9.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.32.1	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.32.0	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.31.0	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.30.2	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.30.1	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.30.0	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.29.0	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.28.0	0.8.2	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.27.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.27.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.26.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.25.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.24.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.23.1	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.23.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.22.0	0.8.1	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, livy-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.21.2	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.21.0	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.20.1	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.20.0	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.19.1	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.19.0	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.18.0	0.8.0	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.17.2	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.17.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.17.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.16.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.15.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.15.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.14.2	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.14.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.14.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.13.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, r, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.12.3	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.12.2	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.12.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.12.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.11.3	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.11.2	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.11.1	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.11.0	0.7.3	aws-sagemaker-spark-sdk, emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.10.1	0.7.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	0.7.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.9.1	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.9.0	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.8.3	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.8.2	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.8.1	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.7.1	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.7.0	0.7.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.6.1	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.6.0	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.5.4	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.5.2	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.5.1	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.5.0	0.7.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.4.1	0.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.4.0	0.7.0	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.3.1	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.3.0	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.2.3	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.2.2	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.2.1	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.1.1	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.1.0	0.6.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.0.3	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.0.2	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server
emr-5.0.1	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Amazon EMR リリースラベル	Zeppelin バージョン	Zeppelin と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	0.6.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, spark-client, spark-history-server, spark-on-yarn, spark-yarn-slave, zeppelin-server

Apache ZooKeeper

Apache ZooKeeper は、設定情報の維持、名前付け、分散化された同期の提供、およびグループサービスを提供する一元化されたサービスです。ZooKeeper の詳細については、http://zookeeper.apache.org/ を参照してください。

次の表は、Amazon EMR 7.x シリーズの最新リリースに含まれている ZooKeeper のバージョンと、Amazon EMR で ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 7.9.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-7.9.0 の ZooKeeper バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	ZooKeeper 3.9.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 6.x シリーズの最新リリースに含まれている ZooKeeper のバージョンと、Amazon EMR で ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「リリース 6.15.0 コンポーネントバージョン」を参照してください。

emr-6.15.0 の ZooKeeper バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.15.0	ZooKeeper 3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

次の表は、Amazon EMR 5.x シリーズの最新リリースに含まれている ZooKeeper のバージョンと、Amazon EMR で ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネントを示しています。

このリリースで ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネントのバージョンについては、「Release 5.36.2 Component Versions」を参照してください。

emr-5.36.2 の ZooKeeper バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.2	ZooKeeper 3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

トピック

- ZooKeeper リリース履歴
- バージョン別の ZooKeeper リリースノート

ZooKeeper リリース履歴

次の表は、Amazon EMR の各リリースに含まれている ZooKeeper のバージョンと、アプリケーションと共にインストールされるコンポーネントを示しています。各リリースのコンポーネントバージョンについては、Amazon EMR 7.x リリースバージョン、Amazon EMR 6.x リリースバージョン または Amazon EMR 5.x リリースバージョン でリリースに応じたコンポーネントバージョンのセクションを参照してください。

ZooKeeper バージョン情報

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.9.0	3.9.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.8.0	3.9.3	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
		timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.7.0	3.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.6.0	3.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.5.0	3.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.4.0	3.9.2	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.3.0	3.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.2.0	3.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.36.2	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-7.1.0	3.9.1	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-7.0.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.15.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.14.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.13.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.12.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.11.1	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.11.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.10.1	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.10.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.9.1	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.9.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.8.1	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.8.0	3.5.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.7.0	3.5.7	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.36.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.36.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.6.0	3.5.7	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.35.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.5.0	3.5.7	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.4.0	3.5.7	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.3.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.3.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.2.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.2.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.1.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.1.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-6.0.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-6.0.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.34.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.33.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.33.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.32.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.32.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.31.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.31.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.30.2	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.30.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.30.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.29.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.28.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.28.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.27.1	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.27.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.26.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.25.0	3.4.14	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.24.1	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.24.0	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.23.1	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.23.0	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.22.0	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.21.2	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.21.1	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.21.0	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.20.1	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.20.0	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.19.1	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.19.0	3.4.13	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.18.1	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.18.0	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.17.2	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.17.1	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.17.0	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.16.1	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.16.0	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.15.1	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.15.0	3.4.12	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.14.2	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.14.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.14.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.13.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.13.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.3	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.12.2	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.12.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.11.4	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.3	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.2	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.11.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.11.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.10.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.10.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.9.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.9.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.8.3	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.8.2	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.8.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.8.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.7.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.7.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.6.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.6.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, hadoop-yarn-timeline-server, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.4	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.5.3	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.2	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.5.1	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.5.0	3.4.10	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.4.1	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.4.0	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.3.2	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.3.1	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.3.0	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.2.3	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.2.2	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.2.1	3.4.9	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.2.0	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.1.1	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.1.0	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.0.3	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.0.2	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server
emr-5.0.1	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

Amazon EMR リリースラベル	ZooKeeper バージョン	ZooKeeper と共にインストールされるコンポーネント
emr-5.0.0	3.4.8	emrfs, emr-goodies, hadoop-client, hadoop-hdfs-datanode, hadoop-hdfs-library, hadoop-hdfs-namenode, hadoop-httpfs-server, hadoop-kms-server, hadoop-yarn-nodemanager, hadoop-yarn-resourcemanager, zookeeper-client, zookeeper-server

バージョン別の ZooKeeper リリースノート

完全なリリースノートについては、以下のセクションを参照してください。

Amazon EMR 7.8.0 - ZooKeeper リリースノート

Amazon EMR 7.8.0 - ZooKeeper の変更

アップグレード — Zookeeper がバージョン 3.9.3 にアップグレードされました。

Amazon EMR 7.5.0 - ZooKeeper リリースノート

Amazon EMR 7.5.0 - ZooKeeper の変更

- EMR-7.5.0 以降、Zookeeper は実行時にデフォルトで Java 17 に設定されます。Java ランタイムに別のバージョンを使用するには、 `zookeeper-server` ファイル内の JVM 設定を上書きし、 を希望のバージョン`JAVA_HOME`に設定します。

Amazon EMR 7.4.0 - ZooKeeper リリースノート

タイプ	説明
アップグレード	Zookeeper バージョンが 3.9.2 にアップグレードされました。

タイプ	説明
改善点	ZOOKEEPER-4778: ジェティ、ネットティ、ログバックにパッチを適用して、重要度の高い脆弱性を削除します。
改善点	ZOOKEEPER-4799: CVE-2024-23944 を修正しました。
バグ修正	ZOOKEEPER-4415: TLSv1.3 のサポートが追加されました。

Amazon EMR 7.4.0 - ZooKeeper の機能

- 転送時の暗号化セキュリティ設定が指定されているクラスターでは、Quorum 通信と Zookeeper Admin Server で TLS がデフォルトで有効になります。さらに、TLS セキュアポートは、Zookeeper とのクライアント通信のために 2281 で公開されます。

コネクターおよびユーティリティ

Amazon EMR には、データソースとして他の AWS サービスにアクセスするためのコネクタとユーティリティが多数用意されています。これらのサービスのデータには、通常プログラム内でアクセスします。たとえば、Hive クエリ、Pig スクリプト、または MapReduce アプリケーションの Kinesis ストリームを指定し、そのデータを操作できます。

トピック

Amazon EMR による DynamoDB 内テーブルのエクスポート、インポート、クエリ、結合

> **Note**
>
> Amazon EMR-DynamoDB コネクターは GitHub のオープンソースです。詳細については、https://github.com/awslabs/emr-dynamodb-connector を参照してください。

DynamoDB は、高速で予測可能なパフォーマンスとシームレスな拡張性を特長とするフルマネージド NoSQL データベースサービスです。開発者がデータベーステーブルを作成し、そのリクエストトラフィックやストレージを無制限に拡張できます。DynamoDB は、高速処理を維持しながら、テーブルのデータとトラフィックを十分な数のサーバーに自動的に分散し、顧客が指定したリクエスト容量と、格納されているデータ量を処理します。Amazon EMR および Hive を使用すると、DynamoDB に格納されているデータなど、大量のデータを迅速かつ効率的に処理できます。DynamoDB の詳細については、「Amazon DynamoDB 開発者ガイド」を参照してください。

Apache Hive は、HiveQL と呼ばれる簡素化された SQL のようなクエリ言語を使用して、マップリデュースクラスターにクエリを実行する際に使用できるソフトウェア層で、Hadoop アーキテクチャーの上で実行されます。Hive および HiveQL の詳細については、「HiveQL 言語マニュアル」を参照してください。Hive および Amazon EMR の詳細については、「Apache Hive」を参照してください。

DynamoDB への接続を含む、カスタマイズされたバージョンの Hive とともに Amazon EMR を使用して、DynamoDB に保存されたデータに対してオペレーションを実行できます。

- DynamoDB データを Hadoop Distributed File System (HDFS) にロードし、そのデータを Amazon EMR クラスターへの入力として使用する。
- SQL のようなステートメント (HiveQL) を使用してライブ DynamoDB データにクエリを実行する
- DynamoDB に格納されたデータを結合し、そのデータをエクスポートするか、結合されたデータに対してクエリを実行する。
- DynamoDB に格納されたデータを Amazon S3 にエクスポートする
- Amazon S3 に格納されたデータを DynamoDB にインポートする

> **Note**
>
> Amazon EMR-DynamoDB コネクターは、Kerberos 認証を使用するように設定されたクラスターをサポートしていません。

次のタスクのいずれかを実行するには、Amazon EMR クラスターを起動し、DynamoDB のデータの場所を指定して、DynamoDB のデータを操作するための Hive コマンドを発行します。

Amazon EMR クラスターを起動するには、Amazon EMR コンソール、コマンドラインインターフェイス (CLI)、または AWS SDK または Amazon EMR API を使用してクラスターをプログラムする方法がいくつかあります。また、Hive クラスターをインタラクティブに実行するか、スクリプトから実行するかを選択することもできます。このセクションでは、インタラクティブな Hive クラスターを Amazon EMR コンソールと CLI から起動する方法について説明します。

Hive をインタラクティブに使用する方法は、クエリパフォーマンスをテストし、アプリケーションを調整するには最適です。定期的に実行する一連の Hive コマンドを確立したら、Amazon EMR が実行できる Hive スクリプトを作成することを検討します。

> **Warning**
>
> DynamoDB テーブルに対する Amazon EMR 読み取りまたは書き込みオペレーションは、確立されたプロビジョニング済みスループットに対して不利に働き、プロビジョニングされたスループットの例外が発生する頻度が高くなる可能性があります。リクエストが多い場合、Amazon EMR はエクスポネンシャルバックオフによってリトライを実装

し、DynamoDB テーブルに対するリクエストロードを管理します。Amazon EMR ジョブを他のトラフィックと同時に実行すると、割り当てられたプロビジョニング済みスループットレベルを超えることがあります。これをモニタリングするには、Amazon CloudWatch で [ThrottleRequests] メトリクスを確認します。リクエストロードが高すぎる場合は、クラスターを再作成して、読み込みパーセントの設定 または 書き込みパーセントの設定 をより低い値に設定し、Amazon EMR オペレーションを調整できます。DynamoDB スループットの設定については、「プロビジョニングされたスループット」を参照してください。

テーブルがオンデマンドモードに設定されている場合は、エクスポートまたはインポート操作を実行する前に、テーブルをプロビジョニングモードに戻す必要があります。DynamoDBTable から使用するリソースを計算するには、パイプラインにスループット比率が必要です。オンデマンドモードでは、プロビジョニングされたスループットが削除されます。スループット容量をプロビジョニングするには、Amazon CloudWatch Events メトリクスを使用して、テーブルが使用した集約スループットを評価できます。

トピック

Hive コマンドを実行するように Hive テーブルをセットアップする

Apache Hive は、SQL のような言語を使用して、Amazon EMR クラスターに含まれるデータに対してクエリを実行する際に使用できるデータウェアハウスアプリケーションです。Hive の詳細については、http://hive.apache.org/ を参照してください。

次の手順は、既にクラスターを作成し、Amazon EC2 キーペアを指定したことを前提にしています。クラスターの作成を開始する方法については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「Amazon EMR の開始方法」を参照してください。

MapReduce を使用するように Hive を設定する

Amazon EMR で Hive を使用して DynamoDB テーブルに対してクエリを実行する場合、デフォルトの実行エンジンである Tez を Hive が使用していると、エラーが発生する可能性があります。このため、このセクションで説明しているように、DynamoDB と統合される Hive でクラスターを作成するときには、MapReduce を使用するように Hive を設定する設定分類を使用することをお勧めします。詳細については、「アプリケーションの設定」を参照してください。

次のスニペットは、Hive の実行エンジンとして MapReduce を設定するために使用する分類設定とプロパティを示しています。

```
[
                {
                    "Classification": "hive-site",
                    "Properties": {
                        "hive.execution.engine": "mr"
                    }
                }
             ]
```

Hive コマンドをインタラクティブに実行するには

1. マスターノードに接続します。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「SSH を使用してマスターノードに接続する」を参照してください。
2. 現在のマスターノードの コマンドプロンプトで、`hive` と入力します。

   `hive>` という Hive プロンプトが表示されます。
3. Hive アプリケーションのテーブルを DynamoDB のデータにマップする Hive コマンドを入力します。このテーブルは、Amazon DynamoDB に格納されているデータの参照として機能します。データは Hive のローカルに保存されておらず、このテーブルを使用するクエリは、DynamoDB 内のライブデータに対して実行されます。また、コマンドを実行するたびに、テーブルの読み取り容量と書き込み容量が消費されます。同じデータセットに対して複数の Hive コマンドを実行する予定がある場合は、まずエクスポートすることをお勧めします。

   次に、Hive テーブルを DynamoDB テーブルにマッピングする構文を示します。

   ```
   CREATE EXTERNAL TABLE hive_tablename
    (hive_column1_name column1_datatype, hive_column2_name column2_datatype...)
   STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
   TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodb_tablename",
   "dynamodb.column.mapping" =
    "hive_column1_name:dynamodb_attribute1_name,hive_column2_name:dynamodb_attribute2_name..."
   ```

   DynamoDB から Hive にテーブルを作成する場合、`EXTERNAL` というキーワードを使用して外部テーブルとして作成する必要があります。外部テーブルと内部テーブルの違いは、内部テーブ

ルの drop が実行されると内部テーブルのデータが削除される点です。Amazon DynamoDB に接続する場合、この動作は望ましくないため、外部テーブルのみがサポートされます。

たとえば、次の Hive コマンドでは、dynamodbtable1 という DynamoDB テーブルを参照する hivetable1 というテーブルが Hive に作成されます。DynamoDB テーブル dynamodbtable1 には、ハッシュおよび範囲プライマリキースキーマがあります。ハッシュキー要素は `name` (文字列型)、範囲キー要素は `year` (数値型) です。各項目には、`holidays` (文字列セット型) の属性値があります。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hivetable1 (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");
```

行 1 では、HiveQL `CREATE EXTERNAL TABLE` ステートメントを使用しています。hivetable1 の場合、DynamoDB テーブルの属性名と値の各ペアについて、列を設定し、データ型を指定する必要があります。これらの値は大文字と小文字が区別されません。列には、(予約語を除き) 任意の名前を付けることができます。

行 2 では、`STORED BY` ステートメントを使用しています。`STORED BY` の値は、Hive と DynamoDB 間の接続を処理するクラス名です。`'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'` のように設定する必要があります。

行 3 では、`TBLPROPERTIES` ステートメントを使用して、"hivetable1" を DynamoDB 内の正しいテーブルとスキーマに関連付けています。`TBLPROPERTIES` に、`dynamodb.table.name` パラメータと `dynamodb.column.mapping` パラメータの値を指定します。これらの値は、大文字と小文字が区別されます。

> **Note**
>
> テーブルのすべての DynamoDB 属性名には、Hive テーブルに対応する列が存在する必要があります。Amazon EMR のバージョンに応じて、1 対 1 のマッピングが存在しない場合は、次のシナリオが発生します。

- Amazon EMR のバージョン 5.27.0 以降では、コネクターは、DynamoDB の属性名と Hive テーブル内の列間で 1 対 1 のマッピングを確実にするための検証を行います。1 対 1 のマッピングが存在しない場合は、エラーが発生します。
- Amazon EMR バージョン 5.26.0 以前では、Hive テーブルには DynamoDB からの名前と値のペアは含まれません。DynamoDB プライマリキー属性をマップしない場合、Hive からエラーが生成されます。プライマリキー以外の属性をマップしない場合、エラーは生成されませんが、Hive テーブルのデータは表示されません。データ型が一致しない場合、値は null です。

次に、hivetable1 で Hive 操作の実行を開始できます。hivetable1 に対して実行されるクエリは、DynamoDB アカウントの DynamoDB テーブル dynamodbtable1 に対して内部的に実行され、実行するたびに読み取り単位または書き込み単位が消費されます。

DynamoDB テーブルに対して Hive クエリを実行する際には、十分な量の読み込み容量単位をプロビジョニングしておく必要があります。

たとえば、DynamoDB テーブルに対して 100 ユニットの読み込みキャパシティーをプロビジョニングしているとします。この場合、1 秒間に 100 の読み込み (409,600 バイト) を実行できます。そのテーブルに 20 GB (21,474,836,480 バイト) のデータが含まれており、Hive クエリがフルテーブルスキャンを実行する場合、クエリの実行にかかる時間は次のように見積もられます。

21,474,836,480 / 409,600 = 52,429 秒 = 14.56 時間

必要な時間を短縮するには、ソース DynamoDB テーブルで読み込みキャパシティーユニットを調整する以外に方法はありません。Amazon EMR ノードを追加しても、役に立ちません。

Hive 出力では、1 つ以上のマッパープロセスが終了すると、完了のパーセンテージが更新されます。プロビジョニングされた読み込みキャパシティーが小さく設定された大きな DynamoDB テーブルでは、完了のパーセンテージ出力が長時間更新されない場合があります。上記のような場合、ジョブは数時間にわたって 0% 完了として表示されます。ジョブの進行状況の詳細なステータスについては、Amazon EMR コンソールに移動してください。ここで、個別のマッパータスクのステータスおよびデータ読み込みの統計を表示できます。また、マスターノードの Hadoop インターフェイスにログオンし、Hadoop 統計を表示することもできます。ここには、個別のマップタスクのステータスおよびいくつかのデータ読み込み統計が表示されます。詳細については、以下の各トピックを参照してください。

- マスターノード上にホストされるウェブインターフェイス

- [Hadoop のウェブインターフェイスを表示する]

DynamoDB からのデータのエクスポートやインポート、テーブルの結合などのタスクを実行するその他の HiveQL ステートメントの例については、「[DynamoDB 内データのエクスポート、インポート、クエリを行う Hive コマンドの使用例]」を参照してください。

Hive リクエストをキャンセルするには

Hive クエリを実行すると、サーバーから返される最初の応答には、リクエストをキャンセルするコマンドが含まれます。プロセスの任意の時点でリクエストをキャンセルするには、サーバーの応答に含まれる Kill Command を使用します。

1. `Ctrl+C` を入力して、コマンドラインクライアントを終了します。
2. シェルプロンプトで、リクエストに対するサーバーからの最初の応答に含まれていた Kill Command を入力します。

   または、マスターノードのコマンドラインから次のコマンドを実行して、Hadoop ジョブをキルします。この *job-id* は、Hadoop ジョブの識別子であり、Hadoop ユーザーインターフェイスから取得できます。

   ```
   hadoop job -kill job-id
   ```

Hive と DynamoDB のデータ型

次の表は、使用可能な Hive データ型、対応するデフォルトの DynamoDB 型、およびそれらもマッピングできる代替 DynamoDB 型を示しています。

Hive の型	デフォルトの DynamoDB 型	代替 DynamoDB 型
文字列	文字列 (S)	
bigint または double	数値 (N)	
バイナリ	バイナリ (B)	

Hive の型	デフォルトの DynamoDB 型	代替 DynamoDB 型
boolean	boolean (BOOL)	
配列	list (L)	数値セット (NS)、文字列セット (SS)、またはバイナリセット (BS)
map<string,string>	item	map (M)
map<string,?>	map (M)	
	null (NULL)	

Hive データを対応する代替 DynamoDB 型として書き込む場合、または DynamoDB データに代替 DynamoDB 型の属性値が含まれる場合、`dynamodb.type.mapping` パラメータを使用して列と DynamoDB 型を指定できます。次の例は、代替型マッピングを指定する構文を示しています。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hive_tablename (hive_column1_name column1_datatype,
 hive_column2_name column2_datatype...)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodb_tablename",
"dynamodb.column.mapping" =
 "hive_column1_name:dynamodb_attribute1_name,hive_column2_name:dynamodb_attribute2_name...",
"dynamodb.type.mapping" = "hive_column1_name:dynamodb_attribute1_datatype");
```

型マッピングパラメータはオプションで、代替型を使用する列に対してのみ指定する必要があります。

たとえば、次の Hive コマンドでは、DynamoDB テーブル `dynamodbtable2` を参照する `hivetable2` というテーブルが作成されます。これは、`col3` 列を文字列セット (SS) 型にマッピングする点を除いて、`hivetable1` に似ています。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hivetable2 (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable2",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays",
"dynamodb.type.mapping" = "col3:SS");
```

Hive では、hivetable1 と hivetable2 は同一です。ただし、これらのテーブルからのデータが対応する DynamoDB テーブルに書き込まれる際、dynamodbtable2 には文字列セットが含まれますが dynamodbtable1 にはリストが含まれます。

Hive null 値を DynamoDB null 型の属性として書き込む場合は、dynamodb.null.serialization パラメータを使用して実行できます。次の例は、null シリアル化を指定する構文を示しています。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hive_tablename (hive_column1_name column1_datatype,
 hive_column2_name column2_datatype...)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodb_tablename",
"dynamodb.column.mapping" =
 "hive_column1_name:dynamodb_attribute1_name,hive_column2_name:dynamodb_attribute2_name...",
"dynamodb.null.serialization" = "true");
```

null シリアル化パラメータはオプションであり、指定しない場合は false に設定されます。パラメータ設定に関係なく、DynamoDB null 属性は Hive で null 値として読み取られることに注意してください。null 値を持つ Hive コレクションは、null シリアル化パラメータが true として指定されている場合にのみ DynamoDB に書き込むことができます。指定されない場合、Hive エラーが発生します。

精度の点で、Hive の bigint 型は Java の long 型と同じであり、Hive の double 型は Java の double 型と同じです。つまり、エクスポート、インポート、または参照する Hive を使用して、Hive のデータ型で使用できる精度よりも高い精度の数値データが DynamoDB に格納される場合、DynamoDB データの精度が低下したり、Hive クエリが失敗したりする可能性があります。

DynamoDB から Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) または HDFS にバイナリ型をエクスポートすると、Base64 のエンコード文字列として格納されます。Amazon S3 または HDFS のデータを DynamoDB のバイナリ型にインポートする場合、Base64 文字列としてエンコードされます。

Hive のオプション

次の Hive オプションを設定して、Amazon DynamoDB のデータの転送を管理できます。これらのオプションは、現在の Hive セッションの間のみ、有効です。Hive コマンドプロンプトを終了した後で、クラスターでこのプロンプトを再び開いた場合、この設定はデフォルト値に戻ります。

Hive のオプション	説明
`dynamodb.throughput.read.percent`	DynamoDB のプロビジョニングされたスループットレートが、表の割り当てられた範囲内に収まるように、読み取りオペレーションのレートを設定します。値は `0.1`～`1.5` 以内にします。 0.5 の値がデフォルトの読み取りレートです。つまり、Hive は、表に記載されている読み取りのプロビジョニングされた全体のリソースの半分を消費しようと試みます。値を 0.5 から増やすと、読み取りリクエストレートも増えます。0.5 未満に減らすと、読み取りリクエストレートも減ります。この読み取りレートは概算です。実際の読み取りレートは、DynamoDB に統一ディストリビューションのキーがあるかどうかなどの要因によって変わります。 Hive 操作によって、プロビジョニングされたスループットを頻繁に超える場合、またはライブの読み取りトラフィックがスロットリングされる回数が多い場合、この値を `0.5` 未満に減らします。十分な容量があり、Hive 操作を高速にする場合は、この値を `0.5` より増やします。また、使用できる未使用の入力/出力操作があると考えられる場合、最大 1.5 に設定してオーバーサブスクライブを実行することもできます。
`dynamodb.throughput.write.percent`	DynamoDB のプロビジョニングされたスループットレートが、表の割り当てられた範囲内に収まるように、書き込みオペレーションのレートを設定します。値は `0.1`～`1.5` 以内にします。 0.5 の値がデフォルトの書き込みレートです。つまり、Hive は、表に記載されている書き込みのプロビジョニングされた全体のリソースの半分を消費しようと試みます。値を 0.5 から増やすと、書き込みリクエストレートも増えます。0.5 未満に減らすと、書き込みリクエストレートも減ります。この書き込みレート

Hive のオプション	説明
	は概算です。実際の書き込みレートは、DynamoDB に統一ディストリビューションのキーがあるかどうかなどの要因によって変わります。 Hive 操作によって、プロビジョニングされたスループットを頻繁に超える場合、またはライブの書き込みトラフィックがスロットリングされる回数が多い場合、この値を `0.5` 未満に減らします。十分な容量があり、Hive 操作を高速にする場合は、この値を `0.5` より増やします。また、使用できる未使用の入力/出力操作があると考えられる場合、または、テーブルに対する最初のデータアップロードであり、ライブトラフィックがまだない場合は、最大 1.5 に設定してオーバーサブスクライブを実行することもできます。
`dynamodb.endpoint`	DynamoDB サービスのエンドポイントを指定します。使用できる DynamoDB エンドポイントの詳細については、「リージョンとエンドポイント」を参照してください。
`dynamodb.max.map.tasks`	DynamoDB からデータを読み取るときは、マップタスクの最大数を指定します。この値は、1 以上にする必要があります。
`dynamodb.retry.duration`	Hive コマンドの再試行のタイムアウト期間として使用する分数を指定します。この値は、0 以上の整数にする必要があります。デフォルトのタイムアウト期間は 2 分です。

これらのオプションは、次の例に示すように、SET コマンドを使用して設定されます。

```
SET dynamodb.throughput.read.percent=1.0;

INSERT OVERWRITE TABLE s3_export SELECT *
FROM hiveTableName;
```

DynamoDB 内データのエクスポート、インポート、クエリを行う Hive コマンドの使用例

以下の例では、Hive コマンドを使用して、データを Amazon S3 や HDFS にエクスポートする、データを DynamoDB にインポートする、テーブルを結合する、テーブルにクエリを行うなどの操作を行います。

Hive テーブルに対する操作では、DynamoDB に格納されているデータを参照します。Hive コマンドは、DynamoDB テーブルに設定されたスループット設定の制約を受けます。また、取得されるデータには、Hive 操作リクエストが DynamoDB で処理された時点で DynamoDB テーブルに書き込まれているデータが含まれます。データ取得プロセスに時間がかかる場合、Hive コマンドによって返されたデータには、Hive コマンドの開始後に DynamoDB で更新されたものが含まれる可能性があります。

Hive コマンドの `DROP TABLE` と `CREATE TABLE` は、Hive のローカルテーブルにのみ作用し、DynamoDB のテーブルの作成または削除は行いません。Hive クエリが DynamoDB のテーブルを参照する場合、そのテーブルは、クエリを実行する前に存在している必要があります。DynamoDB でのテーブルの作成と削除の詳細については、「Amazon DynamoDB デベロッパーガイド」の「DynamoDB のテーブルの操作」を参照してください。

> **Note**
>
> Hive テーブルを Amazon S3 内の場所にマッピングする場合、バケットのルートパス (s3://amzn-s3-demo-bucket) にはマッピングしないでください。これを行うと、Hive がデータを Amazon S3 に書き込むときにエラーが発生することがあります。代わりに、テーブルをバケットのサブパス (s3://amzn-s3-demo-bucket/mypath) にマッピングします。

DynamoDB からデータをエクスポートする

Hive を使用して DynamoDB のデータをエクスポートすることができます。

DynamoDB テーブルを Amazon S3 バケットにエクスポートするには

- DynamoDB に格納されたデータを参照する Hive テーブルを作成します。次に、INSERT OVERWRITE コマンドを呼び出して、データを外部ディレクトリに書き込みます。次の例

では、*s3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/* は Amazon S3. 内の有効なパスです。CREATE コマンドで列とデータ型が DynamoDB 内の値と一致するように調整します。これを使用して DynamoDB データのアーカイブを Amazon S3 に作成できます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");


INSERT OVERWRITE DIRECTORY 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/' SELECT *
FROM hiveTableName;
```

書式設定を使用して DynamoDB テーブルを Amazon S3 バケットにエクスポートするには

- Amazon S3 内の場所を参照する外部テーブルを作成します。これは次の例では s3_export です。CREATE の呼び出しで、テーブルの行の書式を指定します。次に、INSERT OVERWRITE を使用して DynamoDB のデータを s3_export にエクスポートすると、データは指定の書式で書き込まれます。次の例では、データはカンマ区切り値 (CSV) 形式で書き込まれます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");


CREATE EXTERNAL TABLE s3_export(a_col string, b_col bigint, c_col array<string>)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY ','
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

INSERT OVERWRITE TABLE s3_export SELECT *
FROM hiveTableName;
```

列のマッピングを指定せずに DynamoDB テーブルを Amazon S3 バケットにエクスポートするには

- DynamoDB に格納されたデータを参照する Hive テーブルを作成します。これは、カラムマッピングを指定しないこと以外、前の例とほぼ同じです。このテーブルには `map<string, string>` 型の列が 1 つだけ含まれている必要があります。次に、Amazon S3 に `EXTERNAL` テーブルを作成したら、`INSERT OVERWRITE` コマンドを呼び出して DynamoDB のデータを Amazon S3 に書き込みます。これを使用して DynamoDB データのアーカイブを Amazon S3 に作成できます。カラムマッピングがないので、この方法でエクスポートされたテーブルをクエリすることはできません。カラムマッピングを指定しないデータのエクスポートは、Amazon EMR AMI 2.2.x 以降でサポートされる Hive 0.8.1.5 以降で利用できます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (item map<string,string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1");

CREATE EXTERNAL TABLE s3TableName (item map<string, string>)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY '\t' LINES TERMINATED BY '\n'
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

INSERT OVERWRITE TABLE s3TableName SELECT *
FROM hiveTableName;
```

データ圧縮を使用して DynamoDB テーブルを Amazon S3 バケットにエクスポートするには

- Hive では、Hive セッション中に設定できる圧縮コーデックが複数あります。これを行うことで、エクスポートデータは、指定した形式で圧縮されます。次の例では、LZO (Lempel-Ziv-Oberhumer) アルゴリズムを使用して、エクスポートされたファイルを圧縮します。

```
SET hive.exec.compress.output=true;
SET io.seqfile.compression.type=BLOCK;
SET mapred.output.compression.codec = com.hadoop.compression.lzo.LzopCodec;


CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
```

```
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");


CREATE EXTERNAL TABLE lzo_compression_table (line STRING)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY '\t' LINES TERMINATED BY '\n'
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

INSERT OVERWRITE TABLE lzo_compression_table SELECT *
FROM hiveTableName;
```

以下の圧縮コーデックを利用できます。

- org.apache.hadoop.io.compress.GzipCodec
- org.apache.hadoop.io.compress.DefaultCodec
- com.hadoop.compression.lzo.LzoCodec
- com.hadoop.compression.lzo.LzopCodec
- org.apache.hadoop.io.compress.BZip2Codec
- org.apache.hadoop.io.compress.SnappyCodec

DynamoDB テーブルを HDFS にエクスポートするには

- 次の Hive コマンドを使用します。*hdfs:///directoryName* は有効な HDFS パスであり、*hiveTableName* は Hive のテーブルで、DynamoDB を参照しています。Hive 0.7.1.1 はデータを Amazon S3 にエクスポートする際に HDFS を中間ステップとして使用するので、このエクスポート操作は、DynamoDB テーブルを Amazon S3 にエクスポートするよりも高速です。また、次の例は、`dynamodb.throughput.read.percent` を 1.0 に設定して読み取りリクエストレートを上げる方法を示しています。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");

SET dynamodb.throughput.read.percent=1.0;

INSERT OVERWRITE DIRECTORY 'hdfs:///directoryName' SELECT * FROM hiveTableName;
```

Amazon S3 へのエクスポートで説明したように、書式設定や圧縮を使用して HDFS にデータをエクスポートすることもできます。これを行うには、上記の例の Amazon S3 ディレクトリを HDFS ディレクトリに置き換えるだけです。

印刷不可の UTF-8 文字データを Hive で読み取るには

- テーブル作成時に STORED AS SEQUENCEFILE 句を使用すると、印刷不可の UTF-8 文字データを Hive で読み取ることができます。SequenceFile は Hadoop バイナリファイル形式です。このファイルを読み取るには Hadoop を使用する必要があります。次の例に、DynamoDB から Amazon S3 にデータをエクスポートする方法を示します。この機能を使用して印刷不可の UTF-8 でエンコードされた文字を処理できます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");


CREATE EXTERNAL TABLE s3_export(a_col string, b_col bigint, c_col array<string>)
STORED AS SEQUENCEFILE
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

INSERT OVERWRITE TABLE s3_export SELECT *
FROM hiveTableName;
```

DynamoDB へのデータのアップロード

Hive を使用してデータを DynamoDB に書き込む場合は、書き込み容量単位の数をクラスター内のマッパーの数より大きいことを確認する必要があります。たとえば、m1.xlarge EC2 インスタンスで実行されるクラスターは、インスタンスごとに 8 個のマッパーを作成します。10 個のインスタンスがあるクラスターの場合は、合計 80 個のマッパーがあることになります。書き込み容量単位がクラスター内のマッパーの数以下である場合、Hive の書き込み操作は書き込みスループットを消費しきるか、プロビジョニングされた以上のスループットを消費しようとします。各 EC2 インスタンスタイプによって生成されるマッパーの数の詳細については、Hadoop の設定 を参照してください。

Hadoop 内のマッパーの数は入力分割数によって決まります。分割数が少なすぎる場合、書き込みコマンドは書き込みスループットを消費しきれない可能性があります。

同じキーを持つ項目がターゲット DynamoDB テーブルに存在する場合、項目は上書きされます。キーを持つ項目がターゲット DynamoDB テーブルに存在しない場合、その項目は挿入されます。

Amazon S3 のテーブルを DynamoDB にインポートするには

- Amazon EMR (Amazon EMR) と Hive を使用して、Amazon S3 から DynamoDB にデータを書き込むことができます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE s3_import(a_col string, b_col bigint, c_col array<string>)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY ','
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");

INSERT OVERWRITE TABLE hiveTableName SELECT * FROM s3_import;
```

カラムマッピングを指定せずに Amazon S3 バケットのテーブルを DynamoDB にインポートするには

- 以前 DynamoDB からエクスポートされ Amazon S3 に格納されたデータを参照する EXTERNAL テーブルを作成します。インポートする前に、テーブルが DynamoDB に存在することと、そのキースキーマが、以前エクスポートされた DynamoDB テーブルと同じであることを確認します。また、テーブルには map<string, string> 方の列が 1 つだけ含まれる必要があります。次に、DynamoDB にリンクされている Hive テーブルを作成したら、INSERT OVERWRITE コマンドを呼び出して Amazon S3 のデータを DynamoDB に書き込みます。カラムマッピングがないので、この方法でインポートされたテーブルにクエリを行うことはできません。カラムマッピングを指定しないデータのインポートは、Amazon EMR AMI 2.2.3 以降でサポートされる Hive 0.8.1.5 以降で利用できます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE s3TableName (item map<string, string>)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY '\t' LINES TERMINATED BY '\n'
```

```
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (item map<string,string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1");

INSERT OVERWRITE TABLE hiveTableName SELECT *
FROM s3TableName;
```

HDFS のテーブルを DynamoDB にインポートするには

- Amazon EMR と Hive を使用して HDFS のデータを DynamoDB にインポートすることができます。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hdfs_import(a_col string, b_col bigint, c_col array<string>)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY ','
LOCATION 'hdfs:///directoryName';

CREATE EXTERNAL TABLE hiveTableName (col1 string, col2 bigint, col3 array<string>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "dynamodbtable1",
"dynamodb.column.mapping" = "col1:name,col2:year,col3:holidays");

INSERT OVERWRITE TABLE hiveTableName SELECT * FROM hdfs_import;
```

DynamoDB 内データのクエリ

次の例は、Amazon EMR を使用して DynamoDB のデータにクエリを行うさまざまな方法を示します。

マッピングされたカラムで最大値を検索するには（**max**）

- 次のような Hive コマンドを使用します。最初のコマンドの CREATE ステートメントで、DynamoDB に格納されたデータを参照する Hive テーブルを作成します。次に、SELECT ステートメントで、そのテーブルを使用して、DynamoDB に格納されたデータのクエリを行います。次の例では、指定された顧客による最大の注文を検索します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hive_purchases(customerId bigint, total_cost double,
 items_purchased array<String>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "Purchases",
"dynamodb.column.mapping" =
 "customerId:CustomerId,total_cost:Cost,items_purchased:Items");

SELECT max(total_cost) from hive_purchases where customerId = 717;
```

GROUP BY 句を使用してデータを集計するには

- GROUP BY 句を使用して、複数のレコードのデータを収集できます。多くの場合、これは sum、count、min、または max のような集計関数とともに使用されます。次の例は、4 件以上注文した顧客の注文のうち最大の注文のリストを返します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hive_purchases(customerId bigint, total_cost double,
 items_purchased array<String>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "Purchases",
"dynamodb.column.mapping" =
 "customerId:CustomerId,total_cost:Cost,items_purchased:Items");

SELECT customerId, max(total_cost) from hive_purchases GROUP BY customerId HAVING
 count(*) > 3;
```

2 つの DynamoDB テーブルを結合するには

- 次の例では、2 つの Hive テーブルを DynamoDB に格納されているデータにマッピングします。その後、2 つのテーブルに対して join を呼び出します。結合はクラスターで計算され、以下を返します。結合は DynamoDB 内では発生しません。この例は、3 件以上注文した顧客について、顧客とその購入品のリストを返します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hive_purchases(customerId bigint, total_cost double,
 items_purchased array<String>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "Purchases",
"dynamodb.column.mapping" =
 "customerId:CustomerId,total_cost:Cost,items_purchased:Items");

CREATE EXTERNAL TABLE hive_customers(customerId bigint, customerName string,
 customerAddress array<String>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "Customers",
"dynamodb.column.mapping" =
 "customerId:CustomerId,customerName:Name,customerAddress:Address");

Select c.customerId, c.customerName, count(*) as count from hive_customers c
JOIN hive_purchases p ON c.customerId=p.customerId
GROUP BY c.customerId, c.customerName HAVING count > 2;
```

異なるソースの 2 つのテーブルを結合するには

- 次の例の Customer_S3 は、Amazon S3 に格納された CSV ファイルを読み込む Hive テーブルであり、hive_purchases は、DynamoDB のデータを参照するテーブルです。次の例では、Amazon S3 に CSV ファイルとして格納されている顧客データと、DynamoDB に格納されている注文データを結合し、名前に「Miller」が含まれる顧客による注文を表すデータのセットを返します。

```
CREATE EXTERNAL TABLE hive_purchases(customerId bigint, total_cost double,
 items_purchased array<String>)
STORED BY 'org.apache.hadoop.hive.dynamodb.DynamoDBStorageHandler'
TBLPROPERTIES ("dynamodb.table.name" = "Purchases",
"dynamodb.column.mapping" =
 "customerId:CustomerId,total_cost:Cost,items_purchased:Items");

CREATE EXTERNAL TABLE Customer_S3(customerId bigint, customerName string,
 customerAddress array<String>)
ROW FORMAT DELIMITED FIELDS TERMINATED BY ','
LOCATION 's3://amzn-s3-demo-bucket/path/subpath/';

Select c.customerId, c.customerName, c.customerAddress from
```

```
Customer_S3 c
JOIN hive_purchases p
ON c.customerid=p.customerid
where c.customerName like '%Miller%';
```

> **Note**
>
> 前の各例には、明確かつ完全にするために CREATE TABLE 句が含まれていました。指定された Hive テーブルに対して複数のクエリやエクスポート操作を実行する場合は、Hive セッションの開始時にテーブルを一度作成するだけで済みます。

DynamoDB での Amazon EMR オペレーションのパフォーマンスの最適化

DynamoDB テーブルでの Amazon EMR の操作は読み込み操作としてカウントされ、テーブルのプロビジョニング済みスループットの設定が適用されます。Amazon EMR は独自のロジックを実装して、DynamoDB テーブルの負荷を分散させ、プロビジョニング済みスループットを超過する可能性を最小限に抑えようとします。Amazon EMR はそれぞれの Hive クエリの最後に、プロビジョニング済みスループットを超過した回数など、クエリの処理に使用されたクラスターに関する情報を返します。この情報とともに、DynamoDB スループットに関する CloudWatch メトリクスを使用すると、以降のリクエストで DynamoDB テーブルの負荷をより適切に管理することができます。

DynamoDB テーブルを操作する際に Hive クエリのパフォーマンスに影響を与える要因を次に示します。

プロビジョニングされた読み込み容量単位

DynamoDB テーブルに対して Hive クエリを実行する際には、十分な量の読み込み容量単位をプロビジョニングしておく必要があります。

たとえば、DynamoDB テーブルに対して 100 ユニットの読み込みキャパシティーをプロビジョニングしているとします。この場合、1 秒間に 100 の読み込み (409,600 バイト) を実行できます。そのテーブルに 20 GB (21,474,836,480 バイト) のデータが含まれており、Hive クエリがフルテーブルスキャンを実行する場合、クエリの実行にかかる時間は次のように見積もられます。

21,474,836,480 / 409,600 = 52,429 秒 = 14.56 時間

必要な時間を短縮するには、ソース DynamoDB テーブルで読み込みキャパシティーユニットを調整する以外に方法はありません。Amazon EMR クラスターにノードをさらに追加しても、時間は短縮されません。

Hive 出力では、1 つ以上のマッパープロセスが終了すると、完了のパーセンテージが更新されます。プロビジョニングされた読み込みキャパシティーが小さく設定された大きな DynamoDB テーブルでは、完了のパーセンテージ出力が長時間更新されない場合があります。上記のような場合、ジョブは数時間にわたって 0% 完了として表示されます。ジョブの進行状況の詳細なステータスについては、Amazon EMR コンソールに移動してください。ここで、個別のマッパータスクのステータスおよびデータ読み込みの統計を表示できます。

また、マスターノードの Hadoop インターフェイスにログオンし、Hadoop 統計を表示することもできます。ここには、個別のマップタスクのステータスおよびいくつかのデータ読み込み統計が表示されます。詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「マスターノードでホストされているウェブインターフェイス」を参照してください。

読み込みパーセントの設定

デフォルトでは、Amazon EMR は現在のプロビジョニング済みスループットに基づいて、DynamoDB テーブルに対するリクエスト負荷を管理します。ただし、プロビジョニング済みスループットを超過した応答を多数含むジョブに関する情報を Amazon EMR が返す場合は、Hive テーブルを設定する際に、`dynamodb.throughput.read.percent` パラメータを使用してデフォルトの読み込みレートを調整することができます。読み込みパーセントパラメータの設定の詳細については、「Hive のオプション」を参照してください。

書き込みパーセントの設定

デフォルトでは、Amazon EMR は現在のプロビジョニング済みスループットに基づいて、DynamoDB テーブルに対するリクエスト負荷を管理します。ただし、プロビジョニング済みスループットを超過した応答を多数含むジョブに関する情報を Amazon EMR が返す場合は、Hive テーブルを設定する際に、`dynamodb.throughput.write.percent` パラメータを使用してデフォルトの書き込みレートを調整することができます。書き込みパーセントパラメータの設定の詳細については、「Hive のオプション」を参照してください。

再試行間隔の設定

デフォルトでは、Hive クエリが 2 分以内 (デフォルトの再試行間隔) に結果を返さない場合、Amazon EMR はこのクエリを再実行します。この間隔は、Hive クエリの実行時に `dynamodb.retry.duration` パラメータを設定することによって調整できます。書き込みパーセントパラメータの設定の詳細については、「Hive のオプション」を参照してください。

マップタスクの数

DynamoDB に格納されているデータのエクスポートおよびクエリ実行のリクエストを処理するために Hadoop が起動するマッパーデーモンは、最大読み込みレート (毎秒 1 MiB) を上限値として、使用される読み込みキャパシティーを制限します。DynamoDB で追加のプロビジョニング済みスループットを使用できる場合は、マッパーデーモンの数を増やせば、Hive エクスポートおよびクエリオペレーションのパフォーマンスを向上させることができます。そのためには、クラスター内の EC2 インスタンスの数を増やすか、または各 EC2 インスタンスで実行されているマッパーデーモンの数を増やします。

クラスター内の EC2 インスタンスの数を増やすには、現在のクラスターを停止し、より多くの EC2 インスタンスとともに再起動します。Amazon EMRコンソールからクラスターを起動する場合は、[Configure EC2 Instances] (EC2 インスタンスの設定) ダイアログボックスで EC2 インスタンスの数を指定します。または、CLI からクラスターを起動する場合は `--num-instances` オプションを使用します。

インスタンスで実行されるマップタスクの数は、EC2 インスタンスタイプによって異なります。サポートされる EC2 インスタンスタイプ、および各タイプで提供されるマッパーの数の詳細については、[タスクの設定](#) を参照してください。そこには、サポートされる設定ごとに "タスクの設定" セクションがあります。

マッパーデーモンの数を増やすもう 1 つの方法としては、Hadoop の `mapreduce.tasktracker.map.tasks.maximum` 設定パラメータをより大きい値に変更します。この場合は、EC2 インスタンスの数またはサイズを大きくせずにマッパーの数を増やすことができるので、コストを削減できるという利点があります。欠点としては、この値を大きく設定しすぎると、クラスター内の EC2 インスタンスがメモリ不足になる可能性があります。`mapreduce.tasktracker.map.tasks.maximum` を設定するには、クラスターを起動し、`mapreduce.tasktracker.map.tasks.maximum` の値を mapred-site 設定分類のプロパティとして指定します。以下の例ではこれを示しています。詳細については、「[アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

```
{
    "configurations": [
    {
        "classification": "mapred-site",
        "properties": {
            "mapred.tasktracker.map.tasks.maximum": "10"
        }
    }
```

```
    ]
}
```

並列データリクエスト

複数のユーザーまたは複数のアプリケーションから単一のテーブルに複数のデータリクエストが行われると、プロビジョニング済み読み込みスループットが減少し、パフォーマンス速度が低下します。

処理間隔

DynamoDB におけるデータの整合性は、各ノードで実行される読み込み/書き込みオペレーションの順序に影響を受けます。Hive クエリの進行中に、別のアプリケーションが DynamoDB テーブルに新しいデータをロードしたり、既存のデータの変更や削除を行ったりする場合があります。この場合、クエリの実行中にデータに対して行われた変更は Hive クエリの結果に反映されないことがあります。

スループットの超過の回避

DynamoDB に対して Hive クエリを実行する際には、プロビジョニング済みスループットを超過しないように注意してください。超過すると、アプリケーションによる `DynamoDB::Get` の呼び出しに必要な容量が不足してしまいます。この状態が発生しないようにするには、Amazon CloudWatch でログの確認およびメトリクスのモニタリングを行うことで、アプリケーションによる `DynamoDB::Get` の呼び出し時に読み込み量とスロットリングを定期的にモニタリングする必要があります。

[Request time] (リクエストタイム)

DynamoDB テーブルの需要が低いタイミングでテーブルにアクセスするように、Hive クエリをスケジューリングすると、パフォーマンスを向上させられます。たとえば、アプリケーションのほとんどのユーザーがサンフランシスコに住んでいる場合、大部分のユーザーが睡眠中で DynamoDB データベースを更新していない毎朝 4 時 (PST) にデータをエクスポートするように選択することができます。

時間ベースのテーブル

データが一連の時間ベースの DynamoDB テーブル (たとえば、1 日あたり 1 つのテーブル) として構成されている場合は、テーブルが非アクティブになったときにデータをエクスポートできます。この手法を使用すると、データを Amazon S3 に継続的にバックアップできます。

アーカイブされたデータ

DynamoDB に格納されているデータに対して多数の Hive クエリを実行する予定であり、アーカイブされたデータがアプリケーションで許容される場合は、データを HDFS または Amazon S3 にエクスポートし、DynamoDB の代わりにデータのコピーに対して Hive クエリを実行することができます。これにより、読み込みオペレーションおよびプロビジョニング済みスループットを過度に使用せずに済みます。

Kinesis

Amazon EMR クラスターは、Hive、Pig、MapReduce、Hadoop Streaming API、Cascading などの Hadoop エコシステムで使い慣れたツールを使用して、Amazon Kinesis Streams を直接読み込み、処理することができます。また、実行しているクラスターで Amazon Kinesis のリアルタイムデータを Amazon S3、Amazon DynamoDB、および HDFS の既存データと結合できます。後処理のアクティビティとして、Amazon EMR から Amazon S3 または DynamoDB に直接データをロードできます。Amazon Kinesis の主なサービスと料金については、「Amazon Kinesis」ページを参照してください。

Amazon EMR と Amazon Kinesis の統合で何ができますか?

Amazon EMR と Amazon Kinesis の統合により、以下のようなシナリオへの対応が非常に容易になります。

- ストリーミングログ分析 – ストリーミングのウェブログを分析して、リージョン別、ブラウザ別、およびアクセスドメイン別に、数分ごとの上位 10 件のエラータイプのリストを生成できます。
- カスタマーエンゲージメント – Amazon Kinesis のクリックストリームデータと DynamoDB テーブルに保存されている広告キャンペーン情報を結合するクエリを作成し、特定のウェブサイトに表示される最も効果的な広告カテゴリを特定できます。
- アドホックインタラクティブクエリ – Amazon Kinesis Streams から HDFS に定期的にデータを読み込み、ローカルの Impala テーブルとして使用可能にすることで、高速かつインタラクティブな分析クエリを実行できます。

Amazon Kinesis Streams のチェックポイントの分析

ユーザーは、Amazon Kinesis Streams の定期的なバッチ分析をいわゆる反復で実行できます。Amazon Kinesis Streams のデータレコードはシーケンス番号を使用して取得されるため、反復

の境界は Amazon EMR によって DynamoDB テーブルに格納される開始と終了のシーケンス番号で定義されます。たとえば、iteration0 が終了すると、終了のシーケンス番号が DynamoDB に格納されるため、iteration1 ジョブが開始されたとき、ストリームからそれに続くデータを取得できます。このストリームデータの反復のマッピングはチェックポイントと呼ばれます。詳細については、「Kinesis コネクター」を参照してください。

反復にチェックポイントが設定された後に、ジョブの反復処理が失敗した場合、Amazon EMR では、その反復のレコード処理が再試行されます。

チェックポイントは、次のことが可能になる機能です。

- 同じストリームと論理名で実行した前のクエリにより処理された連続番号の後でデータ処理を開始します
- 前のクエリで処理された Kinesis のデータと同じバッチを再処理します

チェックポイントを有効にするには、スクリプトで `kinesis.checkpoint.enabled` パラメータを `true` に設定します。また、以下のパラメータを設定します。

構成設定	説明
kinesis.checkpoint.metastore.table.name	チェックポイント情報が保存される DynamoDB テーブル名
kinesis.checkpoint.metastore.hash.key.name	DynamoDB テーブルのハッシュキー名
kinesis.checkpoint.metastore.hash.range.name	DynamoDB テーブルの範囲キー名
kinesis.checkpoint.logical.name	現在の処理の論理名
kinesis.checkpoint.iteration.no	論理名に関連付けられている処理の反復番号
kinesis.rerun.iteration.without.wait	失敗した反復がタイムアウトを待たずに再実行できるかどうかを示すブール値 (デフォルトは `false`)。

Amazon DynamoDB テーブルのプロビジョニングされた IOPS に関する推奨事項

Amazon Kinesis 用の Amazon EMR コネクターは、チェックポイントのメタデータの補助として DynamoDB データベースを使用します。Amazon Kinesis Streams のデータをチェックポイントの間隔で Amazon EMR クラスターで使用する前に、DynamoDB のテーブルを作成する必要があります。テーブルは Amazon EMR クラスターと同じリージョンに存在する必要があります。以下は、DynamoDB テーブルにプロビジョニングする必要がある IOPS の数に関する一般的な推奨です。j は同時に実行できる Hadoop ジョブ (異なる論理名 + 反復数の組み合わせ) の最大数で、s はジョブが処理するシャードの最大数です。

読み込みキャパシティーユニット: j*s/5

書き込みキャパシティーユニット: j*s

パフォーマンスに関する考慮事項

Amazon Kinesis シャードスループットは、Amazon EMR クラスターのノードのインスタンスのサイズ、およびストリームのレコードのサイズに正比例しています。マスターノードやコアノードで m5.xlarge かそれ以上のインスタンスを使用することをお勧めします。

Amazon EMR で Amazon Kinesis 分析をスケジュールする

任意の繰り返しについてタイムアウトと最大期間で制限される、アクティブな Amazon Kinesis Streams でデータを分析するときは、ストリームから定期的に詳細を取得するために、分析を頻繁に実行することが重要です。定期的な間隔でこのようなスクリプトおよびクエリを実行する方法は複数ありますが、これらのような反復タスクには、 AWS Data Pipeline を使用することをお勧めします。詳細については、「AWS Data Pipeline 開発者ガイド」の「AWS Data Pipeline PigActivity」および「AWS Data Pipeline HiveActivity」を参照してください。

Amazon EMR 7.0 用スパークキネシスコネクターの SDK 2.x への移行

AWS SDK は、認証情報の管理、S3 および Kinesis サービスへの接続など、クラウドコンピューティングサービスとやり取り AWS するための豊富な APIs とライブラリのセットを提供します。Spark Kinesis コネクターは Kinesis データストリームからデータを消費するために使用され、受信したデータは Spark の実行エンジンで変換および処理されます。現在、このコネクタは 1.x の AWS SDK と Kinesis-client-library (KCL) 上に構築されています。

AWS SDK 2.x 移行の一環として、Spark Kinesis コネクタも SDK 2.x で実行されるように更新されます。Amazon EMR 7.0 リリースの Spark には、コミュニティバージョンの Apache Spark ではまだ利用できない SDK 2.x アップグレードが含まれています。7.0 より前のリリースの Spark Kinesis

コネクタを使用する場合、Amazon EMR 7.0 に移行する前に、アプリケーションコードを SDK 2.x で実行するように移行する必要があります。

移行ガイド

このセクションでは、アップグレードされた Spark Kinesis コネクタにアプリケーションを移行する手順について説明します。これには、 AWS SDK 2.x の Kinesis Client Library (KCL) 2.x、 AWS 認証情報プロバイダー、および AWS サービスクライアントに移行するためのガイドが含まれています。参考までに、Kinesis コネクタを使用するサンプル WordCount プログラムも含まれています。

トピック

1.x から 2.x への移行

- **`KinesisInputDStream`** のメトリクスレベルとディメンション

  `KinesisInputDStream` をインスタンス化すると、ストリームのメトリクスレベルとディメンションを制御できます。以下の例は、KCL 1.x でこれらのパラメータをカスタマイズする方法を示しています。

```
import
 com.amazonaws.services.kinesis.clientlibrary.lib.worker.KinesisClientLibConfiguration
import com.amazonaws.services.kinesis.metrics.interfaces.MetricsLevel

val kinesisStream = KinesisInputDStream.builder
  .streamingContext(ssc)
  .streamName(streamName)
  .endpointUrl(endpointUrl)
  .regionName(regionName)
  .initialPosition(new Latest())
  .checkpointAppName(appName)
  .checkpointInterval(kinesisCheckpointInterval)
  .storageLevel(StorageLevel.MEMORY_AND_DISK_2)
  .metricsLevel(MetricsLevel.DETAILED)
```

```
 .metricsEnabledDimensions(KinesisClientLibConfiguration.DEFAULT_METRICS_ENABLED_DIMENSIONS.a
  .build()
```

KCL 2.x では、これらの構成設定のパッケージ名は異なります。2.x に移行するには:

1. com.amazonaws.services.kinesis.clientlibrary.lib.worker.KinesisClientLibCon および com.amazonaws.services.kinesis.metrics.interfaces.MetricsLevel のインポートステートメントをそれぞれ software.amazon.kinesis.metrics.MetricsLevel および software.amazon.kinesis.metrics.MetricsUtil に変更します。

```
// import com.amazonaws.services.kinesis.metrics.interfaces.MetricsLevel
import software.amazon.kinesis.metrics.MetricsLevel

// import
 com.amazonaws.services.kinesis.clientlibrary.lib.worker.KinesisClientLibConfiguration
import software.amazon.kinesis.metrics.MetricsUtil
```

2. 行 metricsEnabledDimensionsKinesisClientLibConfiguration.DEFAULT_METRICS_ENABL を metricsEnabledDimensionsSet(MetricsUtil.OPERATION_DIMENSION_NAME, MetricsUtil.SHARD_ID_DIMENSION_NAME) に置き換えます。

以下は、カスタマイズされたメトリクスレベルとメトリクスディメンションを備えた KinesisInputDStream の更新バージョンです。

```
import software.amazon.kinesis.metrics.MetricsLevel
import software.amazon.kinesis.metrics.MetricsUtil

val kinesisStream = KinesisInputDStream.builder
  .streamingContext(ssc)
  .streamName(streamName)
  .endpointUrl(endpointUrl)
  .regionName(regionName)
  .initialPosition(new Latest())
  .checkpointAppName(appName)
  .checkpointInterval(kinesisCheckpointInterval)
  .storageLevel(StorageLevel.MEMORY_AND_DISK_2)
  .metricsLevel(MetricsLevel.DETAILED)
```

```
  .metricsEnabledDimensions(Set(MetricsUtil.OPERATION_DIMENSION_NAME,
MetricsUtil.SHARD_ID_DIMENSION_NAME))
  .build()
```

- `KinesisInputDStream` のメッセージハンドラー関数

  `KinesisInputDStream` をインスタンス化するときに、パーティションキーなどの Record に含まれる他のデータを使用したい場合に備えて、Kinesis Record を取得して汎用オブジェクト T を返す「メッセージハンドラー関数」を提供することもできます。

  KCL 1.x では、メッセージハンドラー関数のシグネチャは `Record => T` であり、レコードは `com.amazonaws.services.kinesis.model.Record` です。KCL 2.x では、ハンドラーの署名は `KinesisClientRecord => T` に変更され、KinesisClientRecord は `software.amazon.kinesis.retrieval.KinesisClientRecord` です。

  KCL 1.x でメッセージハンドラーを提供する例を以下に示します。

```
import com.amazonaws.services.kinesis.model.Record


def addFive(r: Record): Int = JavaUtils.bytesToString(r.getData).toInt + 5
val stream = KinesisInputDStream.builder
  .streamingContext(ssc)
  .streamName(streamName)
  .endpointUrl(endpointUrl)
  .regionName(regionName)
  .initialPosition(new Latest())
  .checkpointAppName(appName)
  .checkpointInterval(Seconds(10))
  .storageLevel(StorageLevel.MEMORY_ONLY)
  .buildWithMessageHandler(addFive)
```

  メッセージハンドラーを移行するには:

  1. `com.amazonaws.services.kinesis.model.Record` のインポートステートメントを `software.amazon.kinesis.retrieval.KinesisClientRecord` に変更します。

```
// import com.amazonaws.services.kinesis.model.Record
import software.amazon.kinesis.retrieval.KinesisClientRecord
```

  2. メッセージハンドラーのメソッドシグネチャを更新します。

```
//def addFive(r: Record): Int = JavaUtils.bytesToString(r.getData).toInt + 5
def addFive = (r: KinesisClientRecord) => JavaUtils.bytesToString(r.data()).toInt
 + 5
```

KCL 2.x でメッセージハンドラーを提供する、更新済みの例を以下に示します。

```
import software.amazon.kinesis.retrieval.KinesisClientRecord


def addFive = (r: KinesisClientRecord) => JavaUtils.bytesToString(r.data()).toInt + 5
val stream = KinesisInputDStream.builder
  .streamingContext(ssc)
  .streamName(streamName)
  .endpointUrl(endpointUrl)
  .regionName(regionName)
  .initialPosition(new Latest())
  .checkpointAppName(appName)
  .checkpointInterval(Seconds(10))
  .storageLevel(StorageLevel.MEMORY_ONLY)
  .buildWithMessageHandler(addFive)
```

KCL 1.x から 2.x への移行について詳しくは、「KCL 1.x から KCL 2.x へのコンシューマの移行」を参照してください。

AWS SDK 1.x から 2.x への AWS 認証情報プロバイダーの移行

認証情報プロバイダーは、 とのやり取りの AWS 認証情報を取得するために使用されます AWS。SDK 2.x の認証情報プロバイダーに関連するインターフェイスとクラスの変更がいくつかあります。詳しくは、こちらをご覧ください。Spark Kinesis コネクタは、1.x バージョンの AWS 認証情報プロバイダーを返すインターフェイス (`org.apache.spark.streaming.kinesis.SparkAWSCredentials`) と実装クラスを定義しています。これらの認証情報プロバイダーは、Kinesis クライアントを初期化する際に必要です。たとえば、`SparkAWSCredentials.provider`アプリケーションで メソッドを使用している場合は、2.x バージョンの AWS 認証情報プロバイダーを使用するようにコードを更新する必要があります。

AWS SDK 1.x で認証情報プロバイダーを使用する例を次に示します。

```
import org.apache.spark.streaming.kinesis.SparkAWSCredentials
import com.amazonaws.auth.AWSCredentialsProvider

val basicSparkCredentials = SparkAWSCredentials.builder
    .basicCredentials("accessKey", "secretKey")
    .build()

val credentialProvider = basicSparkCredentials.provider
assert(credentialProvider.isInstanceOf[AWSCredentialsProvider], "Type should be
 AWSCredentialsProvider")
```

SDK 2.x に移行するには:

1. `com.amazonaws.auth.AWSCredentialsProvider` のインポートステートメントを `software.amazon.awssdk.auth.credentials.AwsCredentialsProvider` に変更します。

   ```
   //import com.amazonaws.auth.AWSCredentialsProvider
   import software.amazon.awssdk.auth.credentials.AwsCredentialsProvider
   ```

2. このクラスを使用する残りのコードを更新します。

   ```
   import org.apache.spark.streaming.kinesis.SparkAWSCredentials
   import software.amazon.awssdk.auth.credentials.AwsCredentialsProvider

   val basicSparkCredentials = SparkAWSCredentials.builder
       .basicCredentials("accessKey", "secretKey")
       .build()

   val credentialProvider = basicSparkCredentials.provider
   assert (credentialProvider.isInstanceOf[AwsCredentialsProvider], "Type should be
    AwsCredentialsProvider")
   ```

AWS SDK 1.x から 2.x への AWS サービスクライアントの移行

AWS サービスクライアントは 2.x (例: `software.amazon.awssdk`) で異なるパッケージ名を持っていますが、SDK 1.x は を使用します`com.amazonaws`。クライアント変更に関する詳細については、こちらを参照してください。コードでこれらのサービスクライアントを使用している場合は、それに応じてクライアントを移行する必要があります。

SDK 1.x でクライアントを作成する例を以下に示します。

```
import com.amazonaws.services.dynamodbv2.AmazonDynamoDBClient
import com.amazonaws.services.dynamodbv2.document.DynamoDB

AmazonDynamoDB ddbClient = AmazonDynamoDBClientBuilder.defaultClient();
AmazonDynamoDBClient ddbClient = new AmazonDynamoDBClient();
```

2.x に移行するには:

1. サービスクライアントのインポートステートメントを変更します。DynamoDB クライアントを例にとってみましょう。`com.amazonaws.services.dynamodbv2.AmazonDynamoDBClient` または `com.amazonaws.services.dynamodbv2.document.DynamoDB` を `software.amazon.awssdk.services.dynamodb.DynamoDbClient` に変更する必要があります。

   ```
   // import com.amazonaws.services.dynamodbv2.AmazonDynamoDBClient
   // import com.amazonaws.services.dynamodbv2.document.DynamoDB
   import software.amazon.awssdk.services.dynamodb.DynamoDbClient
   ```

2. クライアントを初期化するコードを更新してください

   ```
   // AmazonDynamoDB ddbClient = AmazonDynamoDBClientBuilder.defaultClient();
   // AmazonDynamoDBClient ddbClient = new AmazonDynamoDBClient();

   DynamoDbClient ddbClient = DynamoDbClient.create();
   DynamoDbClient ddbClient = DynamoDbClient.builder().build();
   ```

   AWS SDK を 1.x から 2.x に移行する方法の詳細については、[AWS 「 SDK for Java 1.x と 2.x の違い」を参照してください。]

ストリーミングアプリケーションのコード例

```
import java.net.URI
import software.amazon.awssdk.auth.credentials.DefaultCredentialsProvider
import software.amazon.awssdk.http.apache.ApacheHttpClient
import software.amazon.awssdk.services.kinesis.KinesisClient
import software.amazon.awssdk.services.kinesis.model.DescribeStreamRequest
import software.amazon.awssdk.regions.Region
```

```
import software.amazon.kinesis.metrics.{MetricsLevel, MetricsUtil}

import org.apache.spark.SparkConf
import org.apache.spark.storage.StorageLevel
import org.apache.spark.streaming.{Milliseconds, StreamingContext}
import org.apache.spark.streaming.dstream.DStream.toPairDStreamFunctions
import org.apache.spark.streaming.kinesis.KinesisInitialPositions.Latest
import org.apache.spark.streaming.kinesis.KinesisInputDStream


object KinesisWordCountASLSDKV2 {

  def main(args: Array[String]): Unit = {
    val appName = "demo-app"
    val streamName = "demo-kinesis-test"
    val endpointUrl = "https://kinesis.us-west-2.amazonaws.com"
    val regionName = "us-west-2"

    // Determine the number of shards from the stream using the low-level Kinesis
 Client
    // from the AWS Java SDK.
    val credentialsProvider = DefaultCredentialsProvider.create
    require(credentialsProvider.resolveCredentials() != null,
      "No AWS credentials found. Please specify credentials using one of the methods
 specified " +
        "in https://docs.aws.amazon.com/sdk-for-java/latest/developer-guide/
credentials.html")
    val kinesisClient = KinesisClient.builder()
      .credentialsProvider(credentialsProvider)
      .region(Region.US_WEST_2)
      .endpointOverride(URI.create(endpointUrl))
      .httpClientBuilder(ApacheHttpClient.builder())
      .build()
    val describeStreamRequest = DescribeStreamRequest.builder()
      .streamName(streamName)
      .build()
    val numShards = kinesisClient.describeStream(describeStreamRequest)
      .streamDescription
      .shards
      .size


    // In this example, we are going to create 1 Kinesis Receiver/input DStream for
 each shard.
```

```
    // This is not a necessity; if there are less receivers/DStreams than the number of
 shards,
    // then the shards will be automatically distributed among the receivers and each
 receiver
    // will receive data from multiple shards.
    val numStreams = numShards

    // Spark Streaming batch interval
    val batchInterval = Milliseconds(2000)

    // Kinesis checkpoint interval is the interval at which the DynamoDB is updated
 with information
    // on sequence number of records that have been received. Same as batchInterval for
 this
    // example.
    val kinesisCheckpointInterval = batchInterval

    // Setup the SparkConfig and StreamingContext
    val sparkConfig = new SparkConf().setAppName("KinesisWordCountASLSDKV2")
    val ssc = new StreamingContext(sparkConfig, batchInterval)

    // Create the Kinesis DStreams
    val kinesisStreams = (0 until numStreams).map { i =>
      KinesisInputDStream.builder
        .streamingContext(ssc)
        .streamName(streamName)
        .endpointUrl(endpointUrl)
        .regionName(regionName)
        .initialPosition(new Latest())
        .checkpointAppName(appName)
        .checkpointInterval(kinesisCheckpointInterval)
        .storageLevel(StorageLevel.MEMORY_AND_DISK_2)
        .metricsLevel(MetricsLevel.DETAILED)
        .metricsEnabledDimensions(Set(MetricsUtil.OPERATION_DIMENSION_NAME,
 MetricsUtil.SHARD_ID_DIMENSION_NAME))
        .build()
    }

    // Union all the streams
    val unionStreams = ssc.union(kinesisStreams)

    // Convert each line of Array[Byte] to String, and split into words
    val words = unionStreams.flatMap(byteArray => new String(byteArray).split(" "))
```

```
    // Map each word to a (word, 1) tuple so we can reduce by key to count the words
    val wordCounts = words.map(word => (word, 1)).reduceByKey(_ + _)

    // Print the first 10 wordCounts
    wordCounts.print()

    // Start the streaming context and await termination
    ssc.start()
    ssc.awaitTermination()
  }
}
```

アップグレードされた Spark Kinesis コネクターを使用する際の考慮事項

- アプリケーションが 11 より前のバージョンの JDK の `Kinesis-producer-library` を使用している場合、`java.lang.NoClassDefFoundError: javax/xml/bind/DatatypeConverter` のような例外が発生する可能性があります。これは、EMR 7.0 にはデフォルトで JDK 17 が付属しており、J2EE モジュールは Java 11 以降で標準ライブラリから削除されているためです。これは pom ファイルに次の依存関係を追加することで修正できます。必要に応じてライブラリバージョンを適切なもので交換します。

```
<dependency>
      <groupId>javax.xml.bind</groupId>
      <artifactId>jaxb-api</artifactId>
      <version>${jaxb-api.version}</version>
    </dependency>
```

- EMR クラスターの作成後、Spark Kinesis コネクタ jar はパス `/usr/lib/spark/connector/lib/` にあります。

S3DistCp (s3-dist-cp)

Apache DistCp は、大量のデータをコピーするときに使用できるオープンソースツールです。S3DistCp は DistCp に似ていますが、特に Amazon S3 の AWSで動作するように最適化されています。Amazon EMR バージョン 4.0 以降での S3DistCp のコマンドは `s3-dist-cp` で、これをクラスターのステップまたはコマンドラインに追加します。S3DistCp を使用すると、Amazon S3 の大量のデータを HDFS に効率的にコピーできます。ここにコピーされたデータは、Amazon EMR クラスターの以降のステップで処理できます。また、S3DistCp を使用して、Amazon S3 バケット間で、または HDFS から Amazon S3 にデータをコピーすることもできます。S3DistCp は、バケット間お

よび AWS アカウント間で多数のオブジェクトを並列コピーするために、よりスケーラブルで効率的です。

実際のシナリオでの S3DistCP の柔軟性を示す特定のコマンドについては、 AWS ビッグデータブログの S3DistCp を使用するための 7 つのヒント」を参照してください。

DistCp と同様に、S3DistCp は MapReduce を使用して、分散された方法でコピーを実行します。複数のサーバー全体でのコピー、エラー処理、復旧、および報告のタスクが共有されます。Apache DistCp オープンソースプロジェクトの詳細については、Apache Hadoop ドキュメントの「DistCp ガイド」を参照してください。

指定したファイルの一部またはすべてを S3DistCp がコピーできない場合、クラスターステップは失敗し、ゼロ以外のエラーコードを返します。この場合、S3DistCp では、コピーされたファイルの一部がクリーンアップされません。

> **Important**
>
> S3DistCp では、アンダースコア文字を含む Amazon S3 バケット名はサポートされません。
> S3DistCp は、Parquet 形式ファイルの連結をサポートしていません。代わりに PySpark を使用します。詳細については、「Amazon EMR での Parquet ファイルの連結」を参照してください。
> S3DistCP を使用して (ディレクトリではなく) 1 つのファイルを S3 から HDFS にコピーするときにコピーエラーを回避するには、Amazon EMR バージョン 5.33.0 以降、または Amazon EMR 6.3.0 以降を使用してください。

S3DistCp のオプション

S3DistCp は DistCp と似ていますが、データのコピーと圧縮の方法を変更するためのさまざまな一連のオプションをサポートしています。

S3DistCp を呼び出す際に、次の表で示されているオプションを指定できます。オプションは、引数リストを使用してステップに追加されます。S3DistCp の引数の例を次の表に示します。

オプション	説明	必須
`--src=LOCATION`	コピーするデータのロケーション。HDFS または Amazon S3 ロケーションのいずれかを指定できます。	はい

オプション	説明	必須
	例: `--src=s3://amzn-s3-demo-bucket/logs/j-3GYXXXXXX9IOJ/node` **Important** S3DistCp では、アンダースコア文字を含む Amazon S3 バケット名はサポートされません。	
`--dest=LOCATION`	データのコピー先。HDFS または Amazon S3 ロケーションのいずれかを指定できます。 例: `--dest=hdfs:///output` **Important** S3DistCp では、アンダースコア文字を含む Amazon S3 バケット名はサポートされません。	はい
`--srcPattern=PATTERN`	`--src` でのデータのサブセットへのコピー操作をフィルタリングする正規表現。`--srcPattern` と `--groupBy` がどちらも指定されていない場合は、`--src` のすべてのデータが `--dest` にコピーされます。 正規表現の引数にアスタリスク (*) などの特殊文字が含まれる場合は、正規表現または `--args` 文字列全体のいずれかを引用符 (') で囲む必要があります。 例: `--srcPattern=.*daemons.*-hadoop-.*`	いいえ

オプション	説明	必須
`--groupBy=PATTERN`	複数のファイルを統合する正規表現。この表現に一致するファイルが S3DistCp によって統合されます。たとえば、このオプションを使用すると、1 時間で書き込まれたすべてのログファイルを 1 つのファイルに統合できます。統合されたファイル名は、グループ化のためのこの正規表現と一致する値になります。 括弧は、ファイルをグループ化する方法を示しています。括弧で囲まれたステートメントと一致するすべての項目が 1 つの出力ファイルに統合されます。正規表現に括弧で囲まれたステートメントが含まれない場合、クラスターは S3DistCp ステップで失敗し、エラーを返します。 正規表現の引数にアスタリスク (*) などの特殊文字が含まれる場合は、正規表現または `--args` 文字列全体のいずれかを引用符 (') で囲む必要があります。 `--groupBy` が指定されている場合は、指定されたパターンと一致するファイルのみがコピーされます。`--groupBy` と `--srcPattern` は同時に指定する必要はありません。 例: `--groupBy=.*subnetid.*([0-9]+-[0-9]+-[0-9]+-[0-9]+).*`	いいえ

オプション	説明	必須
`--targetSize=SIZE`	`--groupBy` オプションに基づいて作成するファイルのサイズ（メビバイト（Mib）単位）。整数の値である必要があります。`--targetSize` が設定されている場合、S3DistCp はファイルのサイズをこの値に合わせようとしますが、コピーされたファイルの実際のサイズは、この値より大きかったり小さかったりする場合があります。ジョブはデータファイルのサイズに基づいて集計されるため、ターゲットファイルサイズがソースデータファイルのサイズに一致する場合があります。 `--groupBy` によって統合されたファイルが `--targetSize` の値よりも大きい場合、そのファイルはパートファイルに分割され、それぞれのファイル名の末尾に数値が順番に付けられます。たとえば、`myfile.gz` に統合されたファイルは、`myfile0.gz` 、`myfile1.gz` などにパートに分割されます。 例: `--targetSize=2`	いいえ
`--appendToLastFile`	Amazon S3 から HDFS へ既存するファイルをコピーする際の S3DistCp の動作を指定します。既存のファイルに新しいファイルのデータが追加されます。`--appendToLastFile` を指定して `--groupBy` を使用すると、新しいデータは同じグループのファイルに追加されます。このオプションは、`--targetSize` を `--groupBy.` を指定して使用した動作にも順守しています。	いいえ

オプション	説明	必須
`--outputCodec=CODEC`	コピーされたファイルで使用する圧縮コーデックを指定します。値としては `gzip`、`gz`、`lzo`、`snappy`、または `none` をとることができます。このオプションを使用すると、たとえば、Gzip で圧縮された入力ファイルを LZO 圧縮の出力ファイルに変換したり、コピーオペレーションの一環としてファイルを解凍したりできます。出力コーデックを選択した場合、ファイル名には適切な拡張子（`gz` や `gzip` など。拡張子は `.gz`）が付加されます。`--outputCodec` の値を指定しない場合、圧縮に変更が加えられずにファイルがコピーされます。 例: `--outputCodec=lzo`	いいえ
`--s3ServerSideEncryption`	ターゲットデータが SSL を使用して転送され、AWS サービス側のキーを使用して Amazon S3 で自動的に暗号化されるようにします。S3DistCp を使用してデータを取得するとき、オブジェクトは自動的に暗号化解除されます。暗号化されていないオブジェクトを、暗号化が必要な Amazon S3 バケットにコピーしようとすると、操作は失敗します。詳細については、「データ暗号化の使用」を参照してください。 例: `--s3ServerSideEncryption`	いいえ

オプション	説明	必須
`--deleteOnSuccess`	コピーオペレーションが成功すると、このオプションにより、S3DistCp がコピーされたファイルをコピー元の場所を削除します。このオプションは、スケジュールされたタスクとして、ログファイルなどの出力ファイルを、あるロケーションから他のロケーションにコピーするときに役立ちます。これにより、同じファイルを 2 回コピーせずに済むようになります。 例: `--deleteOnSuccess`	いいえ
`--disableMultipartUpload`	マルチパートアップロードの使用を無効にします。 例: `--disableMultipartUpload`	いいえ
`--multipartUploadChunkSize=SIZE`	Amazon S3 マルチパートアップロードでの各パートサイズ (MiB 単位)。S3DistCp では、`multipartUploadChunkSize` より大きいデータをコピーする場合、マルチパートアップロードが使用されます。ジョブのパフォーマンスを向上させるには、各パートサイズを大きく設定します。デフォルトのサイズは 128 MiB です。 例: `--multipartUploadChunkSize=1000`	いいえ
`--numberFiles`	出力ファイル名の先頭に通し番号を付けます。`--startingIndex` で別の値を指定しない限り、番号は 0 で開始されます。 例: `--numberFiles`	いいえ
`--startingIndex=INDEX`	`--numberFiles` とともに使用され、通し番号の開始値を指定します。 例: `--startingIndex=1`	いいえ

オプション	説明	必須
--outputManifest=FILENAME	Gzip で圧縮されたテキストファイルを作成します。このテキストファイルには、S3DistCp によってコピーされたすべてのファイルのリストが含まれます。 例: --outputManifest=manifest-1.gz	いいえ
--previousManifest=PATH	--outputManifest フラグを使用して S3DistCp への以前の呼び出し中に作成されたマニフェストファイルを読み込みます。この --previousManifest フラグが設定されている場合、このマニフェストにリストされているファイルは S3DistCp のコピーオペレーションから除外されます。--outputManifest と共に --previousManifest が指定されている場合、新しいマニフェストファイルには、以前のマニフェストにリストされているファイルも表示されます。ただし、そのファイルはコピーされません。 例: --previousManifest=/usr/bin/manifest-1.gz	いいえ
--requirePreviousManifest	以前の S3DistCp の呼び出し中に作成したマニフェストファイルが必要です。これが false に設定されている場合、以前のマニフェストが指定されていないときにエラーが生成されません。デフォルトは true です。	いいえ
--copyFromManifest	--previousManifest の逆を行い、S3DistCp において、指定したマニフェストファイルを、コピーから除外するファイルのリストではなく、コピーするファイルのリストとして使用します。 例: --copyFromManifest --previousManifest=/usr/bin/manifest-1.gz	いいえ

オプション	説明	必須
--s3Endpoint=ENDPOINT	ファイルをアップロードするときに使用する Amazon S3 エンドポイントを指定します。このオプションは、アップロード元とアップロード先の両方のエンドポイントを設定します。設定しない場合は、デフォルトのエンドポイント s3.amazonaws.com が使用されます。Amazon S3 エンドポイントの一覧は、「リージョンとエンドポイント」を参照してください。 例: --s3Endpoint=s3.eu-west-1.amazonaws.com	いいえ
--storageClass=CLASS	送信先が Amazon S3 のときに使用するストレージクラス。有効な値は、STANDARD と REDUCED_REDUNDANCY です。このオプションを指定しない場合、S3DistCp はストレージクラスを維持しようとします。 例: --storageClass=STANDARD	いいえ

オプション	説明	必須
--srcPrefixesFile=PATH	src プレフィックスのリスト (1 行ごとにプレフィックスが 1 つずつ) を含む Amazon S3 (s3://)、HDFS (hdfs:///)、またはローカルファイルシステム (file:/) 内のテキストファイル。 srcPrefixesFile が提供されている場合、S3DistCp は src パスをリストしません。代わりに、このファイルで指定されたすべてのプレフィックスをリストした結果を組み合わせたソースリストを生成します。これらのプレフィックスの代わりに、src パスに対する相対パスを使用して宛先パスが生成されます。srcPattern も指定された場合、入力をさらにフィルタリングするため、ソースプレフィックスを組み合わせたリスト結果に適用されます。copyFromManifest が使用された場合、マニフェストのオブジェクトがコピーされ、srcPrefixesFile が無視されます。 例: --srcPrefixesFile=PATH	いいえ

上記のオプション以外にも、S3DistCp は[ツールインターフェイス](#)を実装しているので、一般的なオプションもサポートしています。

クラスターに S3DistCp をステップとして追加する

S3DistCp を呼び出すには、これをステップとしてクラスターに追加します。ステップは、起動時にクラスターに追加することも、コンソール、CLI、または API を使用して実行中のクラスターに追加することもできます。以下の例では、実行中のクラスターへの S3DistCp ステップの追加を示します。クラスターへのステップの追加の詳細については、「Amazon EMR 管理ガイド」の「クラスターへの作業の送信」を参照してください。

を使用して実行中のクラスターに S3DistCp ステップを追加するには AWS CLI

での Amazon EMR コマンドの使用の詳細については AWS CLI、AWS CLI 「 コマンドリファレンス」を参照してください。

- S3DistCp を呼び出すステップをクラスターに追加するには、S3DistCp によるコピーオペレーションの実行方法を指定するパラメータを引数として渡します。

  次の例では、デーモンログを Amazon S3 から `hdfs:///output` にコピーします。次のコマンドについて説明します。

  - `--cluster-id` でクラスターを指定します。
  - `Jar` は、S3DistCp JAR ファイルのロケーションです。command-runner.jar を使用してクラスターでコマンドを実行する方法の例については、「カスタム JAR ステップを送信してスクリプトまたはコマンドを実行する」を参照してください。
  - `Args` は、S3DistCp に渡すオプション名/値ペアのカンマ区切りのリストです。使用可能なオプションの完全なリストについては、「S3DistCp のオプション」を参照してください。

  実行中のクラスターに S3DistCp コピーステップを追加するには、Amazon S3 に保存された JSON ファイルまたはローカルファイルシステムのファイル (この例では *myStep.json*) に次の内容を配置します。*j-3GYXXXXXX9IOK* をクラスター ID に置き換え、*amzn-s3-demo-bucket* を Amazon S3 バケット名に置き換えます。

```
[
    {
        "Name":"S3DistCp step",
        "Args":["s3-dist-cp","--s3Endpoint=s3.amazonaws.com","--src=s3://amzn-s3-demo-bucket/logs/j-3GYXXXXXX9IOJ/node/","--dest=hdfs:///output","--srcPattern=.*[a-zA-Z,]+"],
        "ActionOnFailure":"CONTINUE",
        "Type":"CUSTOM_JAR",
        "Jar":"command-runner.jar"
    }
]
```

```
aws emr add-steps --cluster-id j-3GYXXXXXX9IOK --steps file://./myStep.json
```

Example Amazon S3 からのログファイルを HDFS へコピーする

この例では、実行中のクラスターにステップを追加して、Amazon S3 バケットに格納されたログファイルを HDFS にコピーする方法も示します。この例では、`--srcPattern` オプションを使用して、デーモンログにコピーされたデータを制限しています。

`--srcPattern` オプションを使用してログファイルを Amazon S3 から HDFS にコピーするには、Amazon S3 に保存された JSON ファイルまたはローカルファイルシステムのファイル (この例では *mystep.json*) に次の内容を配置します。*j-3GYXXXXXX9IOK* をクラスター ID に置き換え、*amzn-s3-demo-bucket* を Amazon S3 バケット名に置き換えます。

```
[
    {
        "Name":"S3DistCp step",
        "Args":["s3-dist-cp","--s3Endpoint=s3.amazonaws.com","--src=s3://amzn-s3-demo-
bucket/logs/j-3GYXXXXXX9IOJ/node/","--dest=hdfs:///output","--srcPattern=.*daemons.*-
hadoop-.*"],
        "ActionOnFailure":"CONTINUE",
        "Type":"CUSTOM_JAR",
        "Jar":"command-runner.jar"
    }
]
```

S3DistCp ジョブが失敗した後のクリーンアップ

指定したファイルの一部またはすべてを S3DistCp がコピーできない場合、コマンドまたはクラスターステップは失敗し、ゼロ以外のエラーコードを返します。この場合、S3DistCp では、コピーされたファイルの一部がクリーンアップされません。手動で削除する必要があります。

部分的にコピーされたファイルは、S3DistCp ジョブの一意の識別子が付けられて、サブディレクトリの HDFS tmp ディレクトリに保存されます。この ID はジョブの標準出力に含まれます。

たとえば、S3DistCp ジョブの ID が `4b1c37bb-91af-4391-aaf8-46a6067085a6` の場合、クラスターのマスターノードに接続し、以下のコマンドを実行して、ジョブに関連付けられた出力ファイルを表示できます。

```
hdfs dfs -ls /tmp/4b1c37bb-91af-4391-aaf8-46a6067085a6/output
```

このコマンドによって以下のようなファイルのリストが返されます。

```
Found 8 items
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:03 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/_SUCCESS
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:02 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00000
```

```
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:02 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00001
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:02 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00002
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:03 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00003
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:03 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00004
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:03 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00005
-rw-r--r--   1 hadoop hadoop          0 2018-12-10 06:03 /tmp/4b1c37bb-91af-4391-
aaf8-46a6067085a6/output/part-r-00006
```

その後、以下のコマンドを実行して、ディレクトリとそのすべての内容を削除できます。

```
hdfs dfs rm -rf /tmp/4b1c37bb-91af-4391-aaf8-46a6067085a6
```

Amazon EMR クラスターでのコマンドとスクリプトの実行

このトピックでは、クラスターでステップとしてコマンドまたはスクリプトを実行する方法について説明します。コマンドまたはスクリプトをステップとして実行することは、クラスターに作業を送信する多くの方法の 1 つであり、次のような場合に役立ちます。

- Amazon EMR クラスターへの SSH アクセスがないとき
- bash コマンドまたはシェルコマンドを実行してクラスターのトラブルシューティングを行うとき

スクリプトは、クラスターを作成するときにも、クラスターが `WAITING` 状態のときにも実行できます。ステップの処理が始まる前にスクリプトを実行するには、代わりにブートストラップアクションを使用します。ブートストラップアクションの詳細については、Amazon EMR 管理ガイドのブートストラップアクションを作成して追加のソフトウェアをインストールするを参照してください。

Amazon EMR には、スクリプト、コマンド、およびその他のクラスター上のプログラムを実行するのに役立つ次のツールが用意されています。どちらのツールも、Amazon EMR 管理コンソールまたは AWS CLIを使用して起動できます。

`command-runner.jar`

クラスターの Amazon EMR AMI にあります。`command-runner.jar` を使用して、クラスター上でコマンドを実行できます。`command-runner.jar` は、フルパスを使用せずに指定します。

`script-runner.jar`

Amazon S3 (`s3://<region>.elasticmapreduce/libs/script-runner/script-runner.jar`) でホストされます。ここで、*`<region>`* は Amazon EMR クラスターが存在するリージョンです。`script-runner.jar` を使用して、ローカルまたはクラスター上の Amazon S3 に保存されたスクリプトを実行できます。ステップを送信するときに、`script-runner.jar` の完全な URI を指定する必要があります。

スクリプトまたはコマンドを実行するためのカスタム JAR ステップの送信

次の AWS CLI 例は、Amazon EMR `script-runner.jar`での `command-runner.jar`と の一般的なユースケースを示しています。

Example : **command-runner.jar** を使用したクラスターでのコマンドの実行

command-runner.jar を使用するとき、ステップの引数のリストに、コマンド、オプション、および値を指定します。

次の の AWS CLI 例では、 を呼び出す実行中のクラスターにステップを送信しますcommand-runner.jar。Args リストで指定されたコマンドは、*my-script.sh* というスクリプトを Amazon S3 から hadoop ユーザーのホームディレクトリにダウンロードします。次に、コマンドはスクリプトの権限を変更し、*my-script.sh* を実行します。

を使用する場合 AWS CLI、Argsリスト内の項目はカンマで区切られ、リスト要素間に空白は表示されません。例えば、Args=[example-command, example-option, "example option value"] ではなく Args=[example-command,example-option,"example option value"] を使用します。

```
aws emr add-steps \
--cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Download a script from S3, change its permissions, and
 run it",ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=command-runner.jar,Args=[bash,-c,"aws s3 cp s3://
amzn-s3-demo-bucket/my-script.sh /home/hadoop; chmod u+x /home/hadoop/my-script.sh;
 cd /home/hadoop; ./my-script.sh"]
```

Example : **script-runner.jar** を使用したクラスターでのスクリプトの実行

script-runner.jar を使用するとき、ステップの引数のリストで実行するスクリプトを指定します。

次の の AWS CLI 例では、 を呼び出す実行中のクラスターにステップを送信しますscript-runner.jar。この場合、*my-script.sh* という名前のスクリプトが Amazon S3 に保存されます。クラスターのマスターノードに保存されているローカルスクリプトを指定することもできます。

```
aws emr add-steps \
--cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Run a script from S3 with script-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=s3://us-west-2.elasticmapreduce/libs/script-
runner/script-runner.jar,Args=[s3://amzn-s3-demo-bucket/my-script.sh]
```

command-runner.jar のその他の使用方法

command-runner.jar を使用して、spark-submit や hadoop-streaming などのツールがあるクラスターに作業を送信することもできます。command-runner.jar を使用してアプリケーションを起動するときは、SPARK、STREAMING、PIG などの値を使用する代わりに、ステップタイプとして CUSTOM_JAR を指定します。ツールの可用性は、クラスターにインストールしたアプリケーションによって異なります。

次のコマンド例では、command-runner.jar を使用して、spark-submit を使用するステップを送信します。Args リストにはコマンドとして spark-submit が指定され、その後に Spark アプリケーション *my-app.py* の Amazon S3 URI が引数と値とともに続きます。

```
aws emr add-steps \
--cluster-id j-2AXXXXXXGAPLF \
--steps Type=CUSTOM_JAR,Name="Run spark-submit using command-
runner.jar",ActionOnFailure=CONTINUE,Jar=command-runner.jar,Args=[spark-submit,S3://
amzn-s3-demo-bucket/my-app.py,ArgName1,ArgValue1,ArgName2,ArgValue2]
```

次の表に、command-runner.jar を使用して実行できるその他のツールを示します。

ツール名	説明
hadoop-streaming	Hadoop ストリーミングプログラムを送信します。コンソールと SDK では、これはストリーミングステップです。
hive-script	Hive スクリプトを実行します。コンソールと SDK では、これは、Hive のステップです。
pig-script	Pig スクリプトを実行します。コンソールと SDK では、これは、Pig のステップです。
spark-submit	Spark アプリケーションを実行します。コンソールでは、これは Spark のステップです。
hadoop-lzo	ディレクトリで [Hadoop LZO インデクサ](#)を実行します。

ツール名	説明
`s3-dist-cp`	大量のデータを Amazon S3 から HDFS に分散コピーします。詳細については、「S3DistCp (s3-dist-cp)」を参照してください。

AWS 用語集

最新の AWS 用語については、「 AWS の用語集 リファレンス」のAWS 「 用語集」を参照してください。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。